

VI-2-1-5 波及的影響に係る基本方針

目 次

1. 概要	1
2. 基本方針	1
3. 波及的影響を考慮した施設の設計方針	1
3.1 波及的影響を考慮した施設の設計の観点	1
3.2 不等沈下又は相対変位の観点による設計	1
3.2.1 地盤の不等沈下による影響	2
3.2.2 建屋間の相対変位による影響	2
3.3 接続部の観点による設計	3
3.4 損傷、転倒及び落下等の観点による建屋内施設の設計	3
3.5 損傷、転倒及び落下等の観点による建屋外施設の設計	4
4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設	5
4.1 不等沈下又は相対変位の観点	5
4.1.1 地盤の不等沈下による影響	5
4.1.2 建屋間の相対変位による影響	6
4.2 接続部の観点	6
4.3 建屋内施設の損傷、転倒及び落下等の観点	7
4.3.1 施設の損傷、転倒及び落下等による影響	7
4.4 建屋外施設の損傷、転倒及び落下等の観点	11
4.4.1 施設の損傷、転倒及び落下等による影響	11
5. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計方針	13
5.1 耐震評価部位	13
5.2 地震応答解析	13
5.3 設計用地震動又は地震力	13
5.4 荷重の種類及び荷重の組合せ	13
5.5 許容限界	14
5.5.1 建物・構築物	14
5.5.2 機器・配管系	14
5.5.3 土木構造物	14
6. 工事段階における下位クラス施設の調査・検討	15

1. 概要

本資料は、VI-2-1-1「耐震設計の基本方針」の「3.3 波及的影響に対する考慮」に基づき、設計基準対象施設及び重大事故等対処施設の耐震設計を行うに際して、波及的影響を考慮した設計の基本的な考え方を説明するものである。

本資料の適用範囲は、設計基準対象施設及び重大事故等対処施設である。

2. 基本方針

設計基準対象施設のうち耐震重要度分類のSクラスに属する施設(以下「Sクラス施設」という。)、重大事故等対処施設のうち常設耐震重要重大事故防止設備、常設重大事故緩和設備、常設重大事故防止設備(設計基準拡張)(当該設備が属する耐震重要度分類がSクラスのもの)及び常設重大事故緩和設備(設計基準拡張)並びにこれらが設置される常設重大事故等対処施設(以下「SA施設」という。)は、下位クラス施設の波及的影響によって、それぞれその安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないように設計する。

3. 波及的影響を考慮した施設の設計方針

3.1 波及的影響を考慮した施設の設計の観点

Sクラス施設の設計においては、「設置許可基準規則の解釈別記2」(以下「別記2」という。)に記載の以下の4つの観点で実施する。

SA施設の設計においては、別記2における「耐震重要施設」を「SA施設」に、「安全機能」を「重大事故等に対処するために必要な機能」に読み替えて適用する。

- ①設置地盤及び地震応答性状の相違等に起因する相対変位又は不等沈下による影響
- ②耐震重要施設と下位のクラスの施設との接続部における相互影響
- ③建屋内における下位のクラスの施設の損傷、転倒及び落下等による耐震重要施設への影響
- ④建屋外における下位のクラスの施設の損傷、転倒及び落下等による耐震重要施設への影響

また、上記①～④以外に設計の観点に含める事項がないかを確認する。原子力発電情報公開ライブラリ(NUCIA:ニューシア)に登録された原子力発電所の被害情報と東北地方太平洋沖地震時の福島第二原子力発電所の不適合情報から地震による被害情報を抽出し、その要因を整理する。地震被害の発生要因が「別記2」①～④の検討事項に分類されない要因については、その要因も設計の観点に追加する。

以上の①～④の具体的な設計方法を以下に示す。

3.2 不等沈下又は相対変位の観点による設計

建屋外に設置する設計基準対象施設及び重大事故等対処施設を対象に、別記2①「設置地盤及び地震応答性状の相違等に起因する相対変位又は不等沈下による影響」の観点で、上位クラス施設の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう下位クラス

施設を設計する。

3.2.1 地盤の不等沈下による影響

下位クラス施設が設置される地盤の不等沈下により、上位クラス施設の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう、以下のとおり設計する。

離隔による防護を講じて設計する場合には、下位クラス施設の不等沈下を想定しても上位クラス施設に衝突しない程度に十分な距離をとって配置するか、下位クラス施設と上位クラス施設の間に波及的影響を防止するために、衝突に対する強度を有する障壁を設置する。

下位クラス施設を上位クラス施設への波及的影響を及ぼす可能性がある位置に設置する場合には、下位クラス施設を上位クラス施設と同等の支持性能を持つ地盤に、同等の基礎を設けて設置する。支持性能が十分でない地盤に下位クラス施設を設置する場合は、基礎の補強や周辺の地盤改良を行った上で、同等の支持性能を確保する。

上記の方針で設計しない場合は、下位クラス施設が設置される地盤の不等沈下を想定し、上位クラス施設の有する機能を保持するよう設計する。

以上の設計方針のうち、不等沈下を想定し、上位クラス施設の有する機能を保持するよう設計する下位クラス施設を「4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設」に、その設計方針を「5. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計方針」に示す。

3.2.2 建屋間の相対変位による影響

下位クラス施設と上位クラス施設との相対変位により、上位クラス施設の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう、以下のとおり設計する。

離隔による防護を講じて設計する場合には、下位クラス施設と上位クラス施設との相対変位を想定しても、下位クラス施設が上位クラス施設に衝突しない程度に十分な距離をとって配置するか、下位クラス施設と上位クラス施設との間に波及的影響を防止するために、衝突に対する強度を有する障壁を設置する。下位クラス施設と上位クラス施設との相対変位により、下位クラス施設が上位クラス施設に衝突する位置にある場合には、衝突部分の接触状況の確認、建屋全体評価又は局部評価を実施し、衝突に伴い、上位クラス施設について、それぞれその安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれのないよう設計する。

以上の設計方針のうち、建屋全体評価又は局部評価を実施して設計する下位クラス施設を「4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設」に、その設計方針を「5. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計方針」に示す。

3.3 接続部の観点による設計

建屋内外に設置する設計基準対象施設及び重大事故等対処施設を対象に、別記 2②「耐震重要施設と下位のクラスの施設との接続部における相互影響」の観点で、上位クラス施設の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう下位クラス施設を設計する。

上位クラス施設と下位クラス施設との接続部には、原則、上位クラス施設の隔離弁等を設置することにより分離し、事故時等に隔離されるよう設計する。隔離されない接続部以降の下位クラス施設については、下位クラス施設が上位クラス施設の設計に用いる地震動又は地震力に対して、内部流体の内包機能、機器の動的機能、構造強度等を確保するよう設計する。又は、これらが維持されなくなる可能性がある場合は、下位クラス施設の損傷と隔離によるプロセス変化により、上位クラス施設の内部流体の温度、圧力に影響を与えても、支持構造物を含めて系統としての機能が設計の想定範囲内に維持されるよう設計する。

以上の設計方針のうち、内部流体の内包機能、機器の動的機能、構造強度を確保するよう設計する下位クラス施設を「4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設」に、その設計方針を「5. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計方針」に示す。

3.4 損傷、転倒及び落下等の観点による建屋内施設の設計

建屋内に設置する設計基準対象施設及び重大事故等対処施設を対象に、別記 2③「建屋内における下位のクラスの施設の損傷、転倒及び落下等による耐震重要施設への影響」の観点で、上位クラス施設の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう下位クラス施設を設計する。

離隔による防護を講じて設計する場合には、下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を想定しても上位クラス施設に衝突しない程度に十分な距離をとって配置するか、下位クラス施設と上位クラス施設の間には波及的影響を防止するために衝突に対する強度を有する障壁を設置する。下位クラス施設を上位クラス施設への波及的影響を及ぼす可能性がある位置に設置する場合には、下位クラス施設が上位クラス施設の設計に用いる地震動又は地震力に対して、下位クラス施設が損傷、転倒及び落下等に至らないよう構造強度設計を行う。

上記の方針で設計しない場合は、下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を想定し、上位クラス施設の有する機能を保持するよう設計する。

以上の設計方針のうち、構造強度設計を行う、又は下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を想定し、上位クラス施設の有する機能を保持するよう設計する下位クラス施設を「4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設」に、その設計方針を「5. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計方針」に示す。

3.5 損傷、転倒及び落下等の観点による建屋外施設の設計

建屋外に設置する設計基準対象施設及び重大事故等対処施設を対象に、別記 2④「建屋外における下位のクラスの施設の損傷、転倒及び落下等による耐震重要施設への影響」の観点で、上位クラス施設の安全機能及び重大事故等に対処するために必要な機能を損なわないよう下位クラス施設を設計する。

離隔による防護を講じて設計する場合には、下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を想定しても上位クラス施設に衝突しない程度に十分な距離をとって配置するか、下位クラス施設と上位クラス施設の間に波及的影響を防止するために衝突に対する強度を有する障壁を設置する。下位クラス施設を上位クラス施設への波及的影響を及ぼす可能性がある位置に設置する場合には、下位クラス施設が上位クラス施設の設計に用いる地震動又は地震力に対して、下位クラス施設が損傷、転倒及び落下等に至らないよう構造強度設計を行う。

上記の方針で設計しない場合は、下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を想定し、上位クラス施設の有する機能を保持するよう設計する。

以上の設計方針のうち、構造強度設計を行う、又は下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を想定し、上位クラス施設の有する機能を保持するよう設計する下位クラス施設を「4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設」に、その設計方針を「5. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計方針」に示す。

4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設

「3. 波及的影響を考慮した施設の設計方針」に基づき、構造強度等を確保するように設計するものとして選定した下位クラス施設を以下に示す。

4.1 不等沈下又は相対変位の観点

4.1.1 地盤の不等沈下による影響

(1) サービス建屋

下位クラス施設であるサービス建屋は、上位クラス施設であるコントロール建屋に隣接しており、岩盤（一部が古安田層）に支持されていることから、不等沈下による衝突影響の観点で波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

ここで選定した波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の不等沈下により、波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設を表 4-1 に示す。

表 4-1 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設（不等沈下）

波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設	波及的影響の設計対象とする下位クラス施設
コントロール建屋	サービス建屋

4.1.2 建屋間の相対変位による影響

(1) サービス建屋

下位クラス施設であるサービス建屋は、上位クラス施設であるコントロール建屋に隣接していることから、上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う相対変位により衝突して、コントロール建屋に対して波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

ここで選定した波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の相対変位により、波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設を表4-2に示す。

表4-2 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設（相対変位）

波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設	波及的影響の設計対象とする下位クラス施設
コントロール建屋	サービス建屋

4.2 接続部の観点

上位クラス施設と下位クラス施設との接続部は隔離弁等により隔離されていること、又は下位クラス施設の損傷と隔離によるプロセス変化に対する上位クラス施設への過渡条件が設計の想定範囲内に維持されることから、接続部における相互影響の観点で波及的影響を及ぼす下位クラス施設はない。

4.3 建屋内施設の損傷、転倒及び落下等の観点

4.3.1 施設の損傷、転倒及び落下等による影響

(1) 原子炉遮蔽壁

下位クラス施設である原子炉遮蔽壁は、上位クラス施設である原子炉压力容器及び原子炉压力容器支持構造物に隣接していることから、上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う損傷により、原子炉压力容器及び原子炉压力容器支持構造物に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(2) 原子炉建屋クレーン

下位クラス施設である原子炉建屋クレーンは、上位クラス施設である使用済燃料貯蔵プール、使用済燃料貯蔵ラック等の上部に設置していることから、上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う落下により、使用済燃料貯蔵プール、使用済燃料貯蔵ラック等に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(3) 燃料取替機

下位クラス施設である燃料取替機は、上位クラス施設である使用済燃料貯蔵プール、使用済燃料貯蔵ラック等の上部又は近傍に設置していることから、上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う転倒又は落下により、使用済燃料貯蔵プール、使用済燃料貯蔵ラック等に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(4) 原子炉ウェル遮蔽プラグ

下位クラス施設である原子炉ウェル遮蔽プラグは、上位クラス施設である原子炉格納容器の上部に設置していることから、上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う落下により、原子炉格納容器に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(5) 中央制御室天井照明

下位クラス施設である中央制御室天井照明は、上位クラス施設である中央運転監視盤及び運転監視補助盤の上部に設置していることから、上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う落下により、中央運転監視盤及び運転監視補助盤に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(6) 換気空調系ダクト防護壁

下位クラス施設である換気空調系ダクト防護壁は、上位クラス施設であるコントロール建屋計測制御電源盤区域換気空調系ダクト・配管，中央制御室換気空調系ダクト・配管等の上部又は近傍に設置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う転倒又は落下により，コントロール建屋計測制御電源盤区域換気空調系ダクト・配管，中央制御室換気空調系ダクト・配管等に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(7) 原子炉補機冷却海水系配管防護壁

下位クラス施設である原子炉補機冷却海水系配管防護壁は，上位クラス施設である原子炉補機冷却海水系配管の上部又は近傍に設置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う転倒又は落下により，原子炉補機冷却海水系配管に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(8) 耐火隔壁

下位クラス施設である耐火隔壁は，上位クラス施設である非常用ガス処理系排風機，中央制御室送風機等の近傍に設置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う転倒により，非常用ガス処理系排風機，中央制御室送風機等に衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(9) 見学者ギャラリー室竜巻防護扉

下位クラス施設である見学者ギャラリー室竜巻防護扉は，上位クラス施設である原子炉建屋エアロックの近傍に設置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う転倒により，原子炉建屋エアロックに衝突し波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

ここで選定した波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の損傷，転倒及び落下等により波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設を表 4-3 に示す。

表 4-3 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設(損傷、転倒及び落下等) (1/2)

波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設	波及的影響の設計対象とする下位クラス施設
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉压力容器 ・原子炉压力容器支持構造物 	原子炉遮蔽壁
<ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料貯蔵プール ・キャスクピット ・使用済燃料貯蔵ラック ・制御棒・破損燃料貯蔵ラック ・燃料プール冷却浄化系配管 ・静的触媒式水素再結合器 ・燃料プール冷却浄化系スキマサージタンク ・燃料プール冷却浄化系使用済燃料貯蔵プール散水管逆止弁 ・サイフォンブレーク孔 ・燃料取替エリア排気放射線モニタ ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (S A 広域) ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (S A) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (低レンジ) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ) ・静的触媒式水素再結合器動作監視装置 ・原子炉建屋水素濃度 	原子炉建屋クレーン
<ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料貯蔵プール ・キャスクピット ・使用済燃料貯蔵ラック ・制御棒・破損燃料貯蔵ラック ・燃料プール冷却浄化系配管 ・燃料プール冷却浄化系スキマサージタンク ・静的触媒式水素再結合器 ・燃料プール冷却浄化系使用済燃料貯蔵プール散水管逆止弁 ・サイフォンブレーク孔 ・燃料取替エリア排気放射線モニタ ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (S A 広域) ・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (S A) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (低レンジ) ・使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ) 	燃料取替機
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器 	原子炉ウェル遮蔽プラグ
<ul style="list-style-type: none"> ・中央運転監視盤 ・運転監視補助盤 	中央制御室天井照明
<ul style="list-style-type: none"> ・コントロール建屋計測制御電源盤区域換気空調系ダクト・配管 ・中央制御室換気空調系ダクト・配管 ・海水熱交換器区域換気空調系ダクト・配管 ・モータコントロールセンタ 	換気空調系ダクト防護壁
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却海水系配管 	原子炉補機冷却海水系配管防護壁

表 4-3 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設(損傷, 転倒及び落下等) (2/2)

波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設	波及的影響の設計対象とする下位クラス施設
<ul style="list-style-type: none"> ・非常用ガス処理系乾燥装置 ・非常用ガス処理系排風機 ・非常用ガス処理系室空調機 ・非常用ガス処理系配管 ・非常用ガス処理系乾燥装置入口弁 ・中央制御室送風機 ・中央制御室再循環送風機 ・中央制御室排風機 ・中央制御室換気空調系ダクト・配管 ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置 ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置加熱器 ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置冷却器 ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置ブロワ ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置 気水分離器 ・可燃性ガス濃度制御系配管 ・可燃性ガス濃度制御系入口流量調節弁 ・可燃性ガス濃度制御系再循環流量調節弁 ・可燃性ガス濃度制御系冷却水入口弁 ・原子炉補機冷却水系配管 ・換気空調補機非常用冷却水系配管 ・中央制御室冷却コイル温度調節弁前弁 ・中央制御室冷却コイル温度調節弁 ・中央制御室冷却コイル温度調節弁後弁 ・中央制御室冷却コイル出口弁 ・中央制御室冷却コイル温度調節弁バイパス弁 ・復水補給水系配管 ・格納容器圧力逃がし装置／耐圧強化ベント系 遠隔手動弁操作設備 	<p style="text-align: center;">耐火隔壁</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋エアロック 	<p>見学者ギャラリー室竜巻防護扉</p>

4.4 建屋外施設の損傷，転倒及び落下等の観点

4.4.1 施設の損傷，転倒及び落下等による影響

(1) 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ防護板

下位クラス施設である非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ防護板は，上位クラス施設である非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ，非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ出口逆止弁等が転倒範囲に位置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う転倒により，非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ，非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ出口逆止弁等に衝突し，波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(2) 非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板

下位クラス施設である非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板は，上位クラス施設である非常用ディーゼル発電設備燃料油系配管の上部又は近傍に設置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う転倒又は落下により，非常用ディーゼル発電設備燃料油系配管に衝突し，波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(3) 竜巻防護鋼製フード

下位クラス施設である竜巻防護鋼製フードは，上位クラス施設である格納容器圧力逃がし装置配管及び格納容器圧力逃がし装置配管遮蔽の上部に設置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う落下により，格納容器圧力逃がし装置配管及び格納容器圧力逃がし装置配管遮蔽に衝突し，波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(4) 竜巻防護ネット

下位クラス施設である竜巻防護ネットは，上位クラス施設である燃料プール冷却浄化系配管の上部に設置していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う落下により，燃料プール冷却浄化系配管に衝突し，波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

(5) サービス建屋

下位クラス施設であるサービス建屋は，上位クラス施設であるコントロール建屋に隣接していることから，上位クラス施設の設計に適用する地震動又は地震力に伴う損傷により，コントロール建屋に衝突し，波及的影響を及ぼすおそれが否定できない。このため波及的影響の設計対象とした。

ここで選定した波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等により波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設を表 4-4 に示す。

表 4-4 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設(損傷、転倒及び落下等)

波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設	波及的影響の設計対象とする下位クラス施設
<ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ ・非常用ディーゼル発電設備燃料油系配管 ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ出口逆止弁 	非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ防護板
<ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電設備燃料油系配管 	非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板
<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器圧力逃がし装置配管 ・格納容器圧力逃がし装置配管遮蔽 	竜巻防護鋼製フード
<ul style="list-style-type: none"> ・燃料プール冷却浄化系配管 	竜巻防護ネット
<ul style="list-style-type: none"> ・コントロール建屋 	サービス建屋

5. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計方針

「4. 波及的影響の設計対象とする下位クラス施設」で選定した施設の耐震設計方針を以下に示す。

5.1 耐震評価部位

波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の評価対象部位は、それぞれの損傷モードに応じて選定する。すなわち、評価対象下位クラス施設の不等沈下、相対変位、接続部における相互影響、損傷、転倒及び落下等を防止するよう、主要構造部材、支持部、固定部等を対象とする。

また、地盤の不等沈下又は下位クラス施設の転倒を想定して設計する施設については、上位クラス施設の機能に影響がないよう評価部位を選定する。

各施設の耐震評価部位は、VI-2-11-1「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」の「3.1 耐震評価部位」に示す。

5.2 地震応答解析

波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の耐震設計において実施する地震応答解析については、VI-2-1-1「耐震設計の基本方針」の「10. 耐震計算の基本方針」に従い、既工事計画で実績があり、かつ最新の知見に照らしても妥当な手法及び条件を基本として行う。

各施設の設計に適用する地震応答解析は、VI-2-11-1「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」の「3.2 地震応答解析」に示す。

5.3 設計用地震動又は地震力

波及的影響の設計対象とする下位クラス施設においては、上位クラス施設の設計に用いる地震動又は地震力を適用する。

各施設の設計に適用する地震動又は地震力は、VI-2-11-1「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」の「3.3 設計用地震動又は地震力」に示す。

5.4 荷重の種類及び荷重の組合せ

波及的影響の防止を目的とした設計において用いる荷重の種類及び荷重の組合せについては、波及的影響を受けるおそれのある上位クラス施設と同じ運転状態において下位クラス施設に発生する荷重を組み合わせる。

また、地盤の不等沈下又は転倒を想定し、上位クラス施設の機能に影響がないよう設計する場合は、転倒等に伴い発生する荷重を組み合わせる。

荷重の設定においては、実運用・実事象上定まる範囲を考慮して設定する。

各施設の設計に適用する荷重の種類及び組合せは、VI-2-11-1「波及的影響を及ぼすおそれ

のある下位クラス施設の耐震評価方針」の「3.4 荷重の種類及び荷重の組合せ」に示す。

5.5 許容限界

波及的影響の設計対象とする下位クラス施設の評価に用いる許容限界設定の考え方を、以下、建物・構築物、機器・配管系及び土木構造物に分けて示す。

5.5.1 建物・構築物

建物・構築物について離隔による防護を講じることで、下位クラス施設の相対変位等による波及的影響を防止する場合は、下位クラス施設と上位クラス施設との距離を基本として許容限界を設定する。

また、施設の構造を保つことで、下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を防止する場合は、部材に発生する応力に対して、「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」、
「鋼構造設計規準—許容応力度設計法—」及び「各種合成構造設計指針・同解説」に基づく許容応力度及び許容荷重、並びに「建築基準法及び同施行令」に基づく層間変形角の評価基準値を許容限界として設定する。

5.5.2 機器・配管系

機器・配管系について、施設の構造を保つことで、下位クラス施設の接続部における相互影響並びに損傷、転倒及び落下等を防止する場合は、許容限界として、評価部位に塑性ひずみが生じる場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有していることに相当する許容限界を設定する。機器の動的機能維持を確保することで、下位クラス施設の接続部における相互影響を防止する場合は、機能確認済加速度を許容限界として設定する。配管については、配管耐震評価上影響のある下位クラス配管を上位クラス配管に含めて構造強度設計を行う。

また、地盤の不等沈下又は転倒を想定する場合は、下位クラス施設の転倒等に伴い発生する荷重により、上位クラス施設の評価部位に塑性ひずみが生じる場合であっても、その量が小さなレベルに留まって破断延性限界に十分な余裕を有していること、また転倒した下位クラス施設と上位クラス施設との距離を許容限界として設定する。

5.5.3 土木構造物

土木構造物について、施設の構造を保つことで、下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等を防止する場合は、構造部材の終局耐力に対し妥当な安全余裕を考慮することを基本として許容限界を設定する。

また、構造物の変形により上位クラス施設の機能に影響がないよう設計する場合は、構造物の変形量に対し妥当な安全余裕を考慮することを基本として許容限界を設定す

る。

各施設の評価に適用する許容限界は、VI-2-11-1「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」の「3.5 許容限界」に示す。

6. 工事段階における下位クラス施設の調査・検討

工事段階においても、設計基準対象施設及び重大事故等対処施設の設計段階の際に検討した配置・補強等が設計どおりに施されていることを、敷地全体を俯瞰した調査・検討を行うことで確認する。また、仮置資材等、現場の配置状況等の確認を必要とする下位クラス施設についても合わせて確認する。

工事段階における検討は、別記2の4つの観点のうち、③及び④の観点、すなわち下位クラス施設の損傷、転倒及び落下等による影響について、プラントウォークダウンにより実施する。

確認事項としては、設計段階において検討した離隔による防護の観点で行う。すなわち、施設の損傷、転倒及び落下等を想定した場合に上位クラス施設に衝突するおそれのある範囲内に下位クラス施設がないこと、又は間に衝撃に耐えうる障壁、緩衝物等が設置されていること、仮置資材等については固縛など、転倒及び落下を防止する措置が適切に講じられていることを確認する。

ただし、仮置機器等の下位クラス施設自体が、明らかに影響を及ぼさない程度の大きさ、重量等の場合は対象としない。

以上を踏まえて、損傷、転倒及び落下等により、上位クラス施設に波及的影響を及ぼす可能性がある下位クラス施設が抽出されれば、必要に応じて、上記の確認事項と同じ観点で対策・検討を行う。すなわち、下位クラス施設の配置を変更したり、間に緩衝物等を設置したり、固縛等の転倒・落下防止措置等を講じたりすることで対策・検討を行う。

また、工事段階における確認の後も、波及的影響を防止するように現場を保持するため、保安規定に機器設置時の配慮事項等を定めて管理する。

VI-2-1-6 地震応答解析の基本方針

目 次

1. 概要	1
2. 地震応答解析の方針	5
2.1 建物・構築物	5
2.2 機器・配管系	9
2.3 屋外重要土木構造物	11
3. 設計用減衰定数	12

別紙 地震観測網について

1. 概要

本資料は、VI-2-1-1「耐震設計の基本方針」のうち「4. 設計用地震力」に基づき、建物・構築物、機器・配管系及び屋外重要土木構造物の耐震設計を行う際の地震応答解析の基本方針を説明するものである。

図1-1、図1-2及び図1-3に建物・構築物、機器・配管系及び屋外重要土木構造物の地震応答解析の手順をそれぞれ示す。

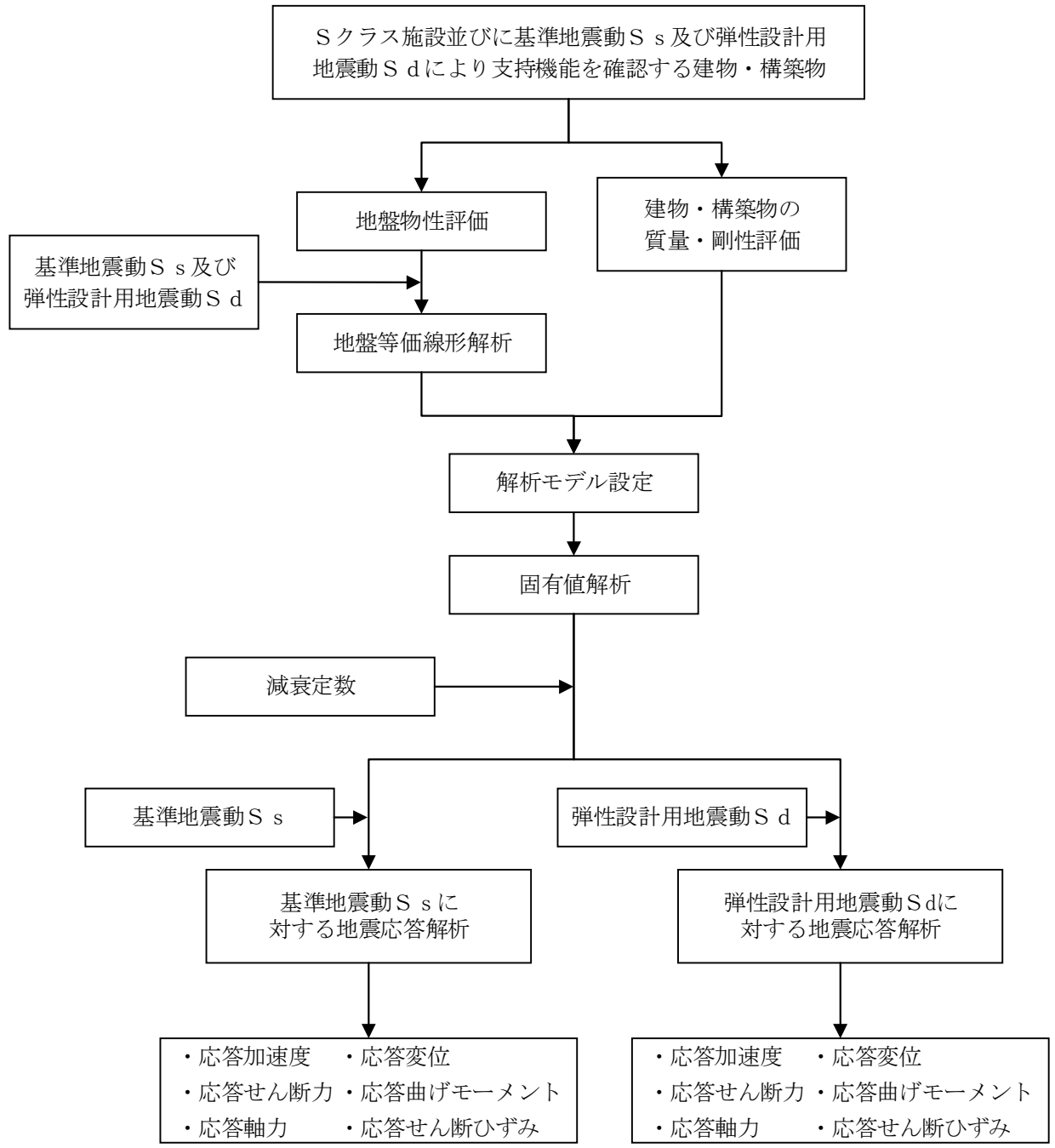


図 1-1 建物・構築物の地震応答解析の手順

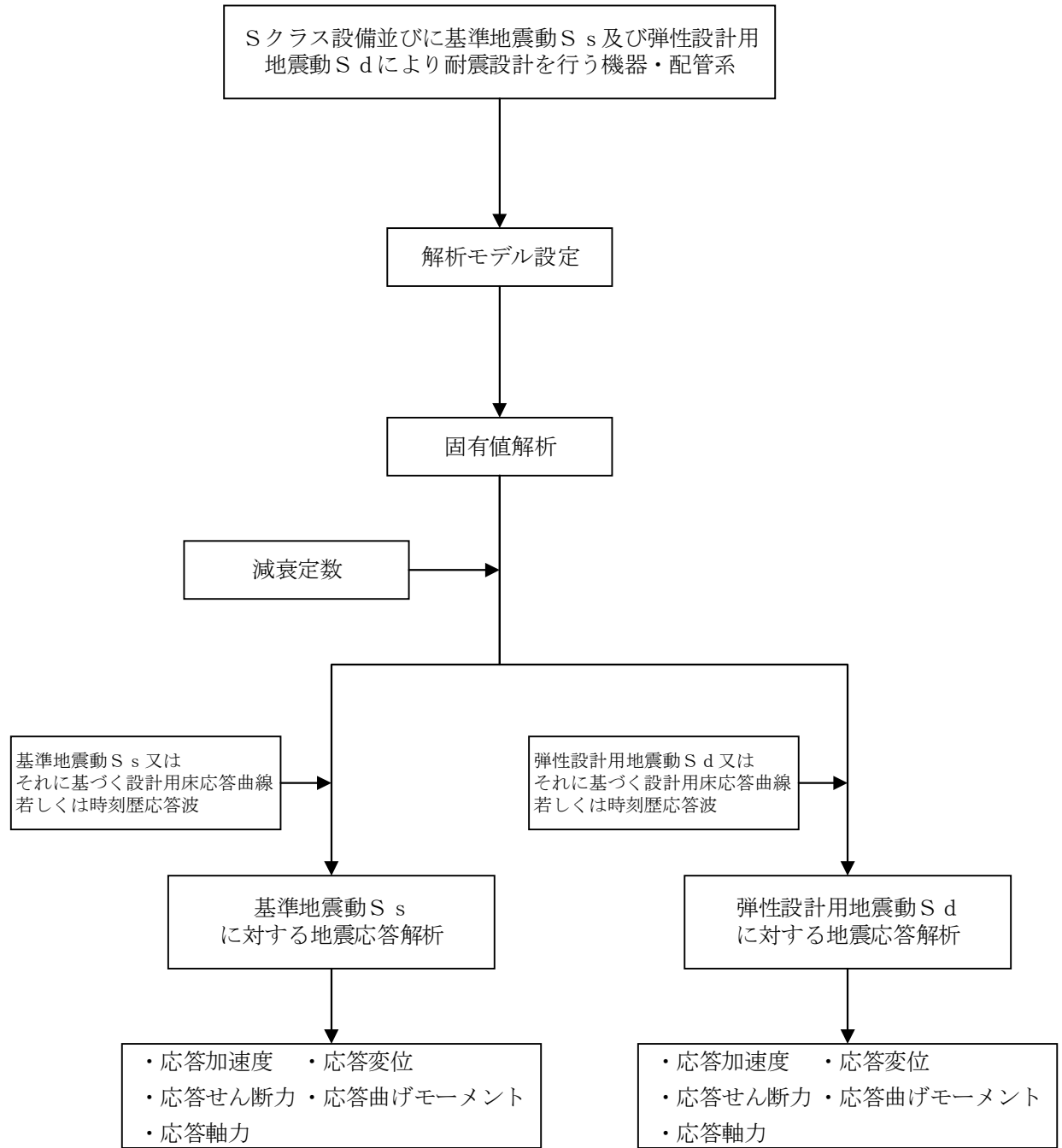


図 1-2 機器・配管系の地震応答解析の手順

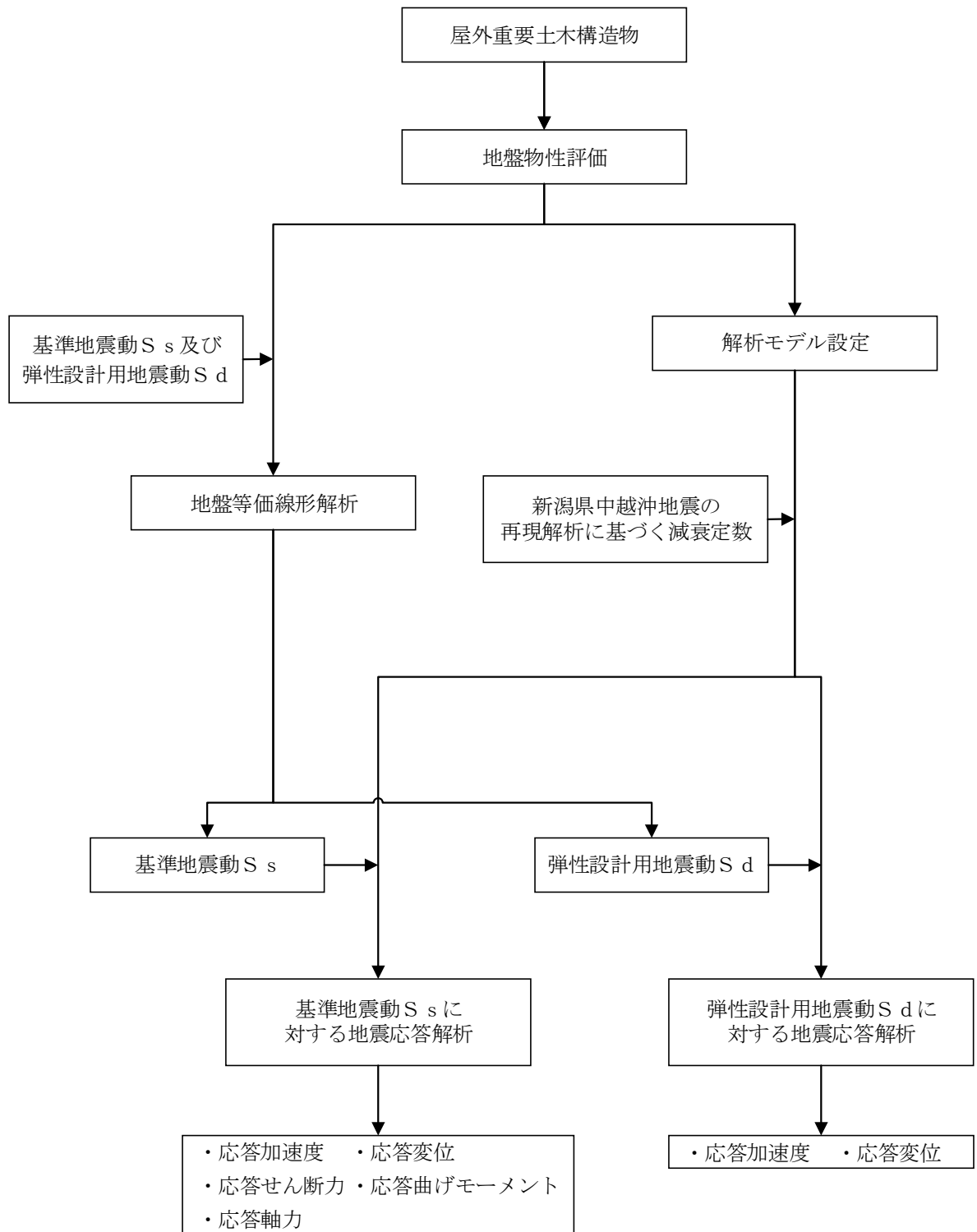


図 1-3 屋外重要土木構造物の地震応答解析の手順

2. 地震応答解析の方針

2.1 建物・構築物

(1) 入力地震動

入力地震動の評価においては、解放基盤表面以浅の影響を適切に考慮するため、解放基盤表面は、地盤調査の結果から、S波速度が0.7km/s以上であるT.M.S.L.-155m(6号機及び7号機)、T.M.S.L.-134m(5号機)としている。

建物・構築物の地震応答解析における入力地震動は、解放基盤表面で定義される基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d を基に、対象建物・構築物の地盤条件を適切に考慮した上で、必要に応じ2次元FEM解析又は1次元波動論により、地震応答解析モデルの入力位置で評価した入力地震動を設定する。

地盤条件を考慮する場合には、地震動評価で考慮した敷地全体の地下構造との関係や対象建物・構築物位置と炉心位置での地質・速度構造の違いにも留意するとともに、地盤の非線形応答に関する動的変形特性を考慮する。更に必要に応じ敷地における観測記録による検証や最新の科学的・技術的知見を踏まえ、地質・速度構造等の地盤条件を設定する。

また、設計基準対象施設におけるBクラスの建物・構築物及び重大事故等対処施設におけるBクラスの施設の機能を代替する常設重大事故防止設備又は常設重大事故防止設備(設計基準拡張)(当該設備が属する耐震重要度分類がBクラスのもの)が設置される重大事故等対処施設の建物・構築物のうち共振のおそれがあり、動的解析が必要なものに対しては、弾性設計用地震動 S_d を1/2倍したものをを用いる。

(2) 解析方法及び解析モデル

動的解析による地震力の算定に当たっては、地震応答解析手法の適用性、適用限界等を考慮の上、適切な解析法を選定するとともに、建物・構築物に応じた適切な解析条件を設定する。また、原則として、建物・構築物の地震応答解析及び床応答曲線の策定は、線形解析及び非線形解析に適用可能な時刻歴応答解析法による。

建物・構築物の動的解析に当たっては、建物・構築物の剛性はそれらの形状、構造特性等を十分考慮して評価し、集中質点系等に置換した解析モデルを設定する。なお、建物の補助壁を耐震要素として考慮するに当たっては、その適用性を確認した上で、適切な解析モデルを設定する。

動的解析には、建物・構築物と地盤との相互作用を考慮するものとし、解析モデルの地盤のばね定数は、基礎スラブの平面形状、基礎側面と地盤の接触状況、地盤の剛性等を考慮して定める。各入力地震動が接地率に与える影響を踏まえて、地盤ばねには必要に応じて、基礎浮上りによる非線形性又は誘発上下動を考慮できる浮上り非線形性を考慮するものとする。設計用地盤定数は、原則として、弾性波試験によるものをを用いる。

地盤-建物・構築物連成系の減衰定数は、振動エネルギーの地下逸散及び地震応答における各部のひずみレベルを考慮して定める。

地震応答解析において、主要構造要素がある程度以上弾性範囲を超える場合には、実験等の結果に基づき、該当する建物部分の構造特性に応じて、その弾塑性挙動を適切に模擬した復元力特性を考慮した地震応答解析を行う。

また、Sクラスの施設を支持する建物・構築物及び常設耐震重要重大事故防止設備、常設重大事故緩和設備、常設重大事故防止設備（設計基準拡張）（当該設備が属する耐震重要度分類がSクラスのもの）又は常設重大事故緩和設備（設計基準拡張）が設置される重大事故等対処施設を支持する建物・構築物の支持機能を検討するための動的解析において、建物・構築物の主要構造要素がある程度以上弾性範囲を超える場合には、その弾塑性挙動を適切に模擬した復元力特性を考慮した地震応答解析を行う。

地震応答解析に用いる材料定数については、材料物性のばらつき等を適切に考慮する。なお、コンクリートの実強度を考慮して剛性を設定する場合は、建物・構築物ごとの建設時の試験データ等の代表性及び網羅性を踏まえた上で保守性を考慮して適用する。また、ばらつきによる変動が建物・構築物の振動性状や応答性状に及ぼす影響として考慮すべきばらつきの要因を選定した上で、選定された要因を考慮した動的解析により設計用地震力を設定する。

建物・構築物の3次元応答性状及び機器・配管系への影響については、建物・構築物の3次元FEMモデルによる解析に基づき、施設の重要性、建屋規模、構造特性を考慮して評価する。3次元応答性状等の評価は、周波数応答解析法等による。解析方法及び解析モデルについては、VI-2-1-8「水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針」に示す。

建屋の設置状況を踏まえ、隣接建屋が建物・構築物の応答性状及び機器・配管系へ及ぼす影響については、地盤3次元FEMモデルによる解析に基づき評価する。解析方法及び解析モデルについては、VI-2-2-別添2「隣接建屋による影響を考慮した耐震性についての計算書」に示す。

原子炉建屋は設備の補強や追加等の改造工事に伴う重量増加が有意であることから、原子炉建屋の応答性状及び機器・配管系へ及ぼす影響については、重量増加を反映したモデルによる解析に基づき評価する。解析方法及び解析モデルについては、VI-2-2-1「原子炉建屋の地震応答計算書」の別紙に示す。

また、更なる信頼性の向上を目的として設置した地震観測網から得られた観測記録により振動性状を把握する。動的解析に用いるモデルについては、地震観測網により得られた観測記録を用い解析モデルの妥当性確認等を行う。地震観測網の概要は、別紙「地震観測網について」に示す。

a. 解析方法

建物・構築物の地震応答は、(2.1)式の多質点系の振動方程式をNewmark- β 法（ $\beta = 1/4$ ）を用いた直接積分法により求める。

$$[m] \cdot \{\ddot{x}\}_t + [c] \cdot \{\dot{x}\}_t + [k] \cdot \{x\}_t = -[m] \cdot \{\ddot{y}\}_t \quad \dots\dots\dots (2. 1)$$

ここで,

- [m] : 質量マトリックス
- [c] : 減衰マトリックス
- [k] : 剛性マトリックス
- { \ddot{x} }_t : 時刻 t の加速度ベクトル
- { \dot{x} }_t : 時刻 t の速度ベクトル
- {x}_t : 時刻 t の変位ベクトル
- { \ddot{y} }_t : 時刻 t の入力加速度ベクトル

ここで、時刻 t+ Δt における解を次のようにして求める。なお、 Δt は時間メッシュを示す。

$$\{x\}_{t+\Delta t} = \{x\}_t + \{\dot{x}\}_t \cdot \Delta t + \left[\left(\frac{1}{2} - \beta \right) \cdot \{\ddot{x}\}_t + \beta \cdot \{\ddot{x}\}_{t+\Delta t} \right] \cdot \Delta t^2 \quad \dots\dots\dots (2. 2)$$

$$\{\dot{x}\}_{t+\Delta t} = \{\dot{x}\}_t + \frac{1}{2} \cdot [\{\ddot{x}\}_t + \{\ddot{x}\}_{t+\Delta t}] \cdot \Delta t \quad \dots\dots\dots (2. 3)$$

$$\{\ddot{x}\}_{t+\Delta t} = \{\ddot{x}\}_t + \{\Delta \ddot{x}\}_{t+\Delta t} \quad \dots\dots\dots (2. 4)$$

(2. 2) , (2. 3) 及び (2. 4) 式を (2. 1) 式に代入して整理すると、加速度応答増分ベクトルが次のように求められる。

$$\{\Delta \ddot{x}\}_{t+\Delta t} = -[A]^{-1} \cdot ([B] + [m] \cdot \{\Delta \ddot{y}\}_{t+\Delta t}) \quad \dots\dots\dots (2. 5)$$

ここで,

$$[A] = [m] + \frac{1}{2} \cdot \Delta t \cdot [c] + \beta \cdot \Delta t^2 \cdot [k]$$

$$[B] = \left(\Delta t \cdot [c] + \frac{1}{2} \cdot \Delta t^2 \cdot [k] \right) \cdot \{\ddot{x}\}_t + \Delta t \cdot [k] \cdot \{\dot{x}\}_t$$

$$\{\Delta \ddot{y}\}_{t+\Delta t} = \{\ddot{y}\}_{t+\Delta t} - \{\ddot{y}\}_t$$

(2. 5) 式を (2. 2) , (2. 3) 及び (2. 4) 式に代入することにより、時刻 t+ Δt の応答が時刻 t の応答から求められる。

b. 解析モデル

代表的な建物・構築物の解析モデルを以下に示す。

(a) 原子炉建屋

水平方向は、地盤との相互作用を考慮し、耐震壁、補助壁等の曲げ及びせん断剛性を考慮した多質点系モデルとする。鉛直方向は、地盤との相互作用を考慮し、耐震壁等の軸剛性及び屋根トラスの曲げせん断剛性を評価した多質点系モデルとする。

(b) 原子炉建屋屋根トラス

原子炉建屋屋根トラスは水平2方向及び鉛直方向地震力の同時入力の影響を受ける可能性があることから、原子炉建屋の燃料取替床 (T. M. S. L. 31. 7m) より上部の鉄骨鉄筋コンクリート造の柱、はり及び壁並びに鉄骨造の屋根トラス、水平ブレース等をモデル化した立体フレームモデルとする。各鉄骨部材は軸変形及び曲げ変形を考慮したはり要素と軸変形のみを考慮したトラス要素とし、耐震壁及び外周はりには各々シェル要素並びに軸変形及び曲げ変形を考慮したはり要素としてモデル化する。

(c) 主排気筒

主排気筒は塔状構造物であり、水平2方向及び鉛直方向地震力の同時入力の影響を受ける可能性があることから、原子炉建屋屋上 (T. M. S. L. 38. 2m) より上部を立体的にモデル化した立体フレームモデルとし、部材に発生する応力を地震応答解析によって直接評価できるモデルとする。構成部材のうち、筒身、鉄塔部の支柱及び鉄骨鉄筋コンクリートの基礎部については軸変形及び曲げ変形を考慮したはり要素として、鉄塔斜材及び水平材についてはトラス要素としてモデル化する。

(d) 格納容器圧力逃がし装置基礎及び遮蔽壁

基礎及び遮蔽壁については、多質点系モデルとし、地盤は3次元FEMモデルとする。杭は全てを線材モデルとし、杭と地盤の相互作用を考慮する。遮蔽壁の多質点系モデルは、水平方向において曲げ及びせん断剛性を考慮する。鉛直方向については、軸剛性を考慮する。

2.2 機器・配管系

(1) 入力地震動又は入力地震力

機器・配管系の地震応答解析における入力地震動又は入力地震力は、基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d 、又は当該機器・配管系の設置床における設計用床応答曲線若しくは時刻歴応答波とする。設計用床応答曲線の作成方法については、VI-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」に示す。なお、建屋応答解析における各入力地震動が接地率に与える影響を踏まえ、誘発上下動を考慮するモデルを用いている場合については、鉛直方向の加速度応答時刻歴に、以下のとおり誘発上下動を考慮することとする。

$$\cdot V + X_V$$

$$\cdot V + Y_V$$

$$\cdot V - X_V$$

$$\cdot V - Y_V$$

ここで、

V : 鉛直方向地震力に対する鉛直方向の加速度応答時刻歴

X_V : X 方向地震力に対する誘発上下動の加速度応答時刻歴

Y_V : Y 方向地震力に対する誘発上下動の加速度応答時刻歴

また、設計基準対象施設における B クラスの機器・配管系及び重大事故等対処施設における B クラスの施設の機能を代替する常設重大事故防止設備又は常設重大事故防止設備（設計基準拡張）（当該設備が属する耐震重要度分類が B クラスのもの）が設置される重大事故等対処施設の機器・配管系のうち共振のおそれがあり、動的解析が必要なものに対しては、弾性設計用地震動 S_d を基に線形解析により作成した設計用床応答曲線の応答加速度を 1/2 倍したものをを用いる。

(2) 解析方法及び解析モデル

動的解析による地震力の算定に当たっては、地震応答解析手法の適用性、適用限界等を考慮の上、適切な解析法を選定するとともに、解析条件として考慮すべき減衰定数、剛性等の各種物性値は、適切な規格・基準、あるいは実験等の結果に基づき設定する。ここで、原子炉本体基礎については、鋼板とコンクリートの複合構造物として、より現実に近い適正な地震応答解析を実施する観点から、既往の知見や実物の原子炉本体基礎を模擬した試験体による加力試験結果を踏まえて、妥当性、適用性を確認した上で、コンクリートの剛性変化を適切に考慮した復元力特性を設定する。

機器の解析に当たっては、形状、構造特性等を考慮して、代表的な振動モードを適切に表現できるよう質点系モデル、有限要素法モデル等に置換し、設計用床応答曲線を用いたスペクトルモーダル解析法又は時刻歴応答解析法により応答を求める。配管系については、適切なモデルを作成し、設計用床応答曲線を用いたスペクトルモーダル解析法又は時刻歴応答解析法により応答を求める。また、スペクトルモーダル解析法又は時刻歴応答解析法を用いる

場合は材料物性のばらつき等を適切に考慮する。

クレーン類におけるスペクトルモーダル解析法及び時刻歴応答解析法の選択に当たっては、衝突・すべり等の非線形現象を模擬する観点又は既往研究の知見を取り入れ実機の挙動を模擬する観点で、材料物性のばらつき等への配慮を考慮しつつ時刻歴応答解析法を用いる等、解析対象とする現象、対象設備の振動特性・構造特性等を考慮し適切に選定する。

3次元的な広がりを持つ設備については、3次元的な配置を踏まえ、適切にモデル化し、水平2方向及び鉛直方向の応答成分について適切に組み合わせるものとする。具体的な方針についてはVI-2-1-8「水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針」に示す。

剛性の高い機器は、その機器の設置床面の最大応答加速度の1.2倍の加速度を震度として作用させて構造強度評価に用いる地震力を算定する。

a. 解析方法

スペクトルモーダル解析法における最大値は、二乗和平方根（SRSS）法により求める。時刻歴応答解析法においては直接積分法、若しくはモーダル時刻歴解析による。

b. 解析モデル

代表的な機器・配管系の解析モデルを以下に示す。

(a) 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物

原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物は、建物質量に対しその質量が比較的大きく、また支持構造上からも原子炉建屋による影響が無視できないため、原子炉建屋と連成させた解析モデルを用いる。原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物は、多質点系モデルに置換し、各構造物を結合するスタビライザ等は等価なばねに置換する。

(b) 一般機器

容器、熱交換器等の一般の機器は、機器本体及び支持構造物の剛性をそれぞれ考慮し、原則として重心位置に質量を集中させた1質点系モデルに置換する。

ただし、振動特性の観点から質量分布、剛性変化等を考慮する方が適切と考えられる構造の場合は、多質点系モデルに置換する。

(c) 配管

配管は、その振動性状を適切に考慮するため、3次元多質点はりモデルに置換する。

(d) クレーン類

クレーン類は、その構造特性を考慮して3次元はりモデルに置換する。なお、すべり等の非線形現象を考慮する場合は、すべり要素等の非線形要素を取り入れた上で3次元はりモデルに置換する。

2.3 屋外重要土木構造物

(1) 入力地震動

屋外重要土木構造物及び常設耐震重要重大事故防止設備，常設重大事故緩和設備，常設重大事故防止設備（設計基準拡張）（当該設備が属する耐震重要度分類がSクラスのもの）又は常設重大事故緩和設備（設計基準拡張）が設置される重大事故等対処施設の土木構造物の地震応答解析における入力地震動は，解放基盤表面で定義される基準地震動 S_s を基に，対象構造物の地盤条件を適切に考慮した上で，必要に応じ2次元FEM解析又は1次元波動論により，地震応答解析モデルの入力位置で評価した入力地震動を設定する。地盤条件を考慮する場合には，地震動評価で考慮した敷地全体の地下構造との関係にも留意し，地盤の非線形応答に関する動的変形特性を考慮する。

(2) 解析方法及び解析モデル

動的解析による地震力の算定に当たっては，地震応答解析手法の適用性，適用限界等を考慮の上，適切な解析法を選定するとともに，各構造物に応じた適切な解析条件を設定する。地震応答解析は，地盤と構造物の相互作用を考慮できる手法とし，地盤及び構造物の地震時における非線形挙動の有無や程度に応じて，線形，等価線形，非線形解析のいずれかにて行う。地震応答解析に用いる材料定数については，材料物性のばらつき等による変動が屋外重要土木構造物の振動性状や応答性状に及ぼす影響を検討し，材料物性のばらつき等を適切に考慮する。

また，動的解析にて地震時の地盤の有効応力の変化に伴う影響を考慮する場合には，有効応力解析を実施する。有効応力解析に用いる液状化強度特性は，代表性及び網羅性を踏まえた上で保守性を考慮して設定する。液状化，サイクリックモビリティ等を示す土層については，敷地の中で当該土層の分布範囲等を踏まえた上で，ばらつき及び不確実性を考慮して液状化強度特性を設定する。上部土木構造物及び機器・配管系への応答加速度に対する保守的な配慮として，地盤の非液状化の影響を考慮する場合は，原地盤において非液状化の条件を仮定した解析を実施する。

また，地震応答解析では，水平地震動と鉛直地震動の同時加振とするが，構造物の応答特性により水平2方向の同時性を考慮する必要がある場合は，水平2方向の組合せについて適切に評価する。具体的な方針についてはVI-2-1-8「水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針」に示す。

重大事故等対処施設のうち，設計基準対象施設の既往評価を適用できる基本構造等と異なる施設については，適用する地震力に対して，要求される機能及び構造健全性が維持されることを確認するため，当該施設の構造を適切にモデル化した上での地震応答解析，加振試験等を実施する。

3. 設計用減衰定数

地震応答解析に用いる減衰定数は、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1987（（社）日本電気協会）」、「原子力発電所耐震設計技術指針 追補版 JEAG 4601-1991（（社）日本電気協会）」（以下「JEAG 4601-1991 追補版」という。）に記載されている減衰定数を設備の種類，構造等により適切に選定するとともに，試験等で妥当性が確認された値も用いる。具体的には表 3-1 に示す値を用いる。

なお，建物・構築物の地震応答解析に用いる鉄筋コンクリートの材料減衰定数の設定については，既往の知見に加え，既施設の地震観測記録等により，その妥当性を検討する。入力地震動による建物・構築物の応答レベル及び構造形状の複雑さを踏まえて，既往の知見に加え，地震観測記録等による検討を行い，適用性が確認できたことから表 3-1 に示すとおり鉄筋コンクリートに対して 5%と設定する。

地盤と屋外重要土木建造物の連成系地震応答解析モデルの減衰定数については，地中建造物としての特徴，同モデルの振動特性を考慮して適切に設定する。

表 3-1 減衰定数

1. 建物・構築物

対象設備		使用材料	減衰定数 (%)	
			水平方向	鉛直方向
原子炉建屋	建屋	鉄筋コンクリート	5	5
		鉄骨	—	2
	地盤	—	J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版の近似法により算定*	
原子炉建屋屋根トラス	建屋	鉄筋コンクリート	5	5
		鉄骨	2	2
主排気筒	構築物	鉄筋コンクリート	5	5
		鉄骨	2	2
格納容器圧力逃がし装置基礎及び遮蔽壁	構築物	鉄筋コンクリート	5	5
	地盤	—	等価線形解析により算定	

注記*：地盤条件，基礎形状等に基づき動的地盤ばねを算定し，J E A G 4 6 0 1 -1991 追補版の近似法により算定

2. 機器・配管系

設 備	減衰定数(%)	
	水平方向	鉛直方向
溶接構造物	1.0	1.0 ^{*1}
ボルト及びリベット構造物	2.0	2.0 ^{*1}
ポンプ・ファン等の機械装置	1.0	1.0 ^{*1}
燃料集合体	7.0	1.0 ^{*1}
制御棒駆動機構	3.5	1.0 ^{*1}
原子炉冷却材再循環ポンプ	3.0	1.0 ^{*1}
空調用ダクト	2.5	2.5 ^{*1}
電気盤	4.0	1.0 ^{*1}
使用済燃料貯蔵ラック	基準地震動 $S_s : 7.0^{*2}$ 弾性設計用地震動 $S_d : 5.0^{*2}$	1.0 ^{*1}
原子炉建屋クレーン	2.0 ^{*2}	2.0 ^{*2}
燃料取替機	2.0 ^{*2}	1.5(2.0) ^{*2, *3}
配管系	0.5~3.0 ^{*2, *4}	0.5~3.0 ^{*1, *2, *4}
液体の揺動	0.5	—

注記*1 : 既往の研究等において、設備の地震入力方向の依存性や減衰特性について検討され妥当性が確認された値

*2 : 既往の研究等において、試験及び解析等により妥当性が評価されている値

*3 : ()外は、燃料取替機のトロリ位置が端部にある場合、()内は、燃料取替機のトロリ位置が中央部にある場合

*4 : 具体的な適用条件を「3. 配管系の減衰定数」に示す。

(参考文献)

電力共通研究「機器・配管系に対する合理的耐震評価法の研究(H12~H13)」

電力共通研究「鉛直地震動を受ける設備の耐震評価手法に関する研究(H7~H10)」

浪田ほか、「水中振動試験によるBWR使用済燃料貯蔵ラックの減衰比」, 日本機械学会 [No.10-8] Dynamics and Design Conference 2010 論文集 No.417

長坂ほか、「BWR使用済燃料貯蔵ラックの減衰特性評価」, 日本原子力学会「2015年秋の大会」No. B36

3. 配管系の減衰定数

配管区分 ^{*1,2}		減衰定数 ^{*3} (%)	
		保温材無	保温材有 ^{*4}
I	スナッパ及び架構レストレイント支持主体の配管で、その支持具（スナバ及び架構レストレイント）数が4個以上のもの	2.0	3.0 ^{*5}
II	スナッパ、架構レストレイント、ロッドレストレイント、ハンガ等を有する配管系でその支持具（アンカ及びUボルトを除く）数が4個以上であり、配管区分Iに属さないもの	1.0	2.0 ^{*5}
III	Uボルトを有する配管系で、架構で水平配管の自重を受けるUボルトの数が4個以上のもの	2.0 ^{*5}	3.0 ^{*5}
IV	配管区分I、II及びIIIに属さないもの	0.5	1.5 ^{*5}

注記*1：支持具の種類及び数は、アンカからアンカまでの独立した振動系について算定する。

*2：支持具の算定は、当該支持点を同一方向に複数の支持具で分配して支持する場合には支持具数は1個として扱い、同一支持点を複数の支持具で2方向に支持する場合は2個として取扱うものとする。

*3：水平方向及び鉛直方向の減衰定数は同じ値を使用

*4：保温材有の減衰定数は、無機多孔質保温材による付加減衰定数として1.0%を考慮したものである。金属保温材による付加減衰定数は、配管全長に対する金属保温材の使用割合が40%以下の場合1.0%を適用するが、金属保温材使用割合が40%を超える場合は0.5%とする。

*5：J E A G 4 6 0 1-1991 追補版で規定されている配管系の減衰定数に、既往の研究等において妥当性が確認された値を反映

(参考文献)

電力共通研究「機器・配管系に対する合理的耐震評価法の研究(H12～H13)」

電力共通研究「鉛直地震動を受ける設備の耐震評価手法に関する研究(H7～H10)」

地震観測網について

目 次

1. 概要	1
2. 地震観測網の基本方針	1
3. 地震観測網の配置計画	1

1. 概要

柏崎刈羽原子力発電所第6号機の主要な建屋には、原子炉格納施設等の安全上重要な施設の実地震時の振動特性を把握するために、各建屋に地震計を設置し、継続して地震観測を行う。また、比較的規模の大きい地震の観測記録が得られた場合は、それらの測定結果に基づく解析等により、主要な施設の健全性を確認すること等に活用する。

2. 地震観測網の基本方針

原子炉建屋及びタービン建屋については、地震時の建屋の水平方向及び鉛直方向の振動特性を把握するため、建屋の最地下階（基礎スラブ上）及びその他の階の床面の適切な位置に地震計を配置する。また、原子炉建屋及びタービン建屋の高さ及び平面形状が柏崎刈羽原子力発電所第7号機と共通であることから、7号機の地震観測網についても参照することで、振動特性について、相対的な比較を行うことができるよう地震計を配置する。これらの地震計により、実地震による建屋の振動（建屋増幅特性、ロッキング動等）を観測する。

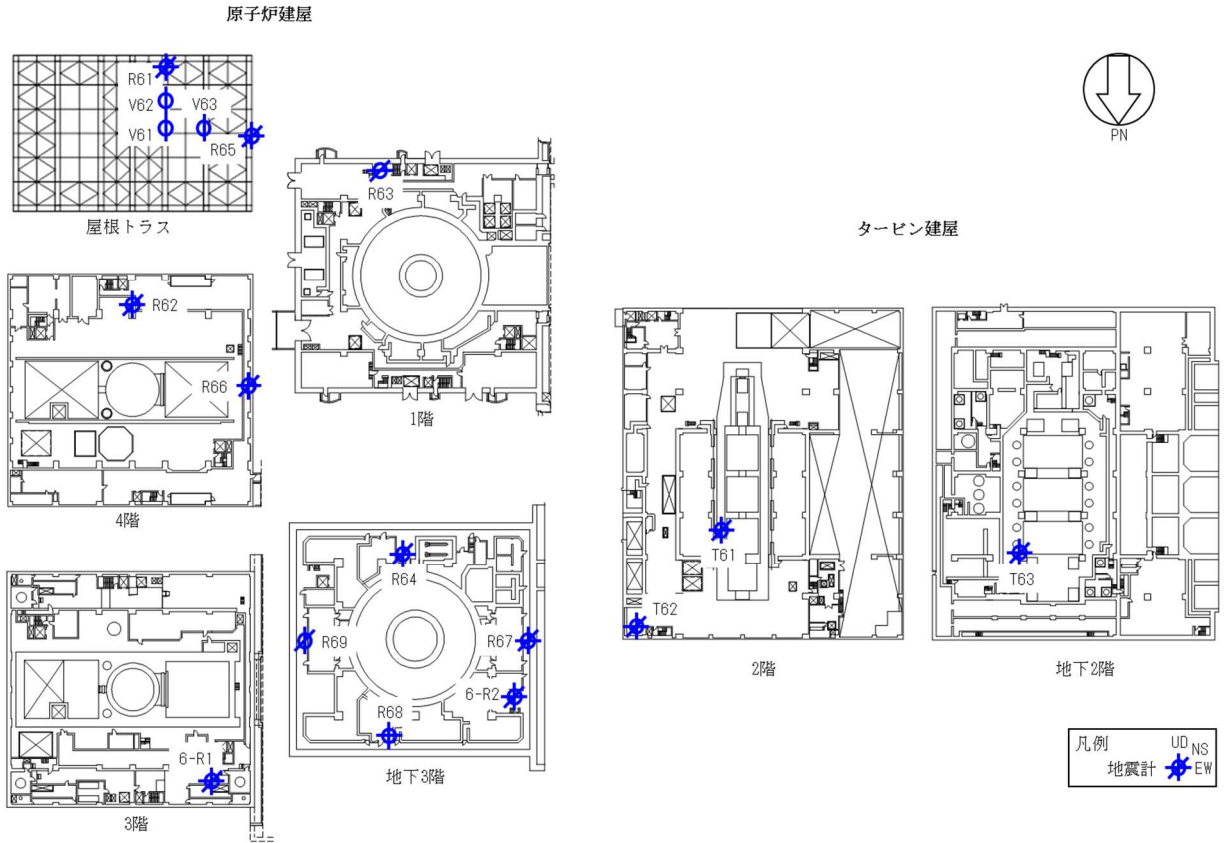
なお、地震計は、原則として水平2成分と鉛直1成分の計3成分を観測するものとするが、建屋の振動特性を踏まえて合理的な配置を行う。

3. 地震観測網の配置計画

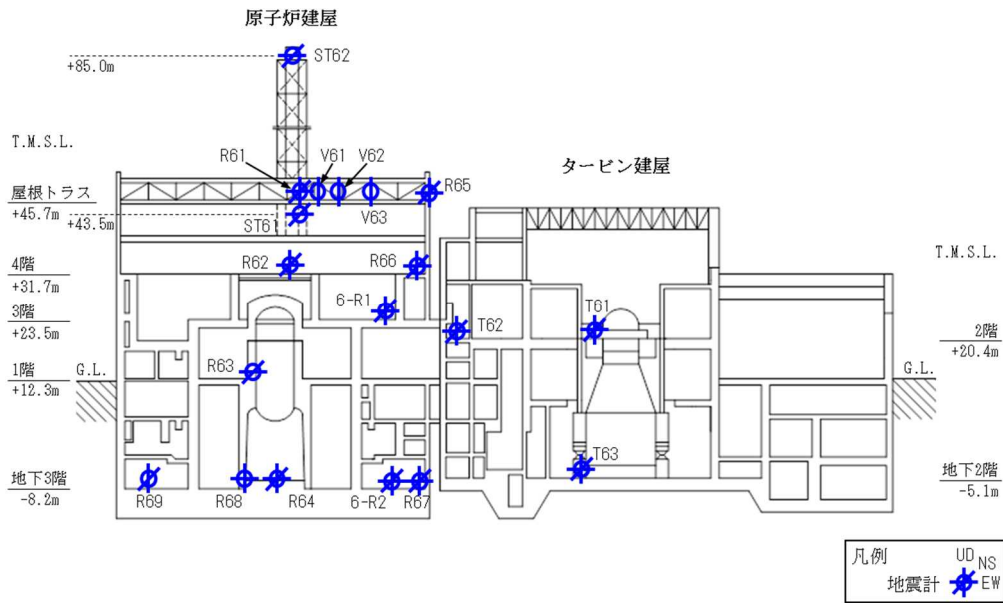
柏崎刈羽原子力発電所第6号機及び第7号機の各建屋の地震計の設置方針を表3-1に、地震計配置を図3-1及び図3-2に示す。

表 3-1 各建屋の地震計の設置方針

建屋		設置方針
6号機	原子炉建屋	・水平方向及び鉛直方向の振動を観測する。 ・ロッキング動を確認できるよう設置する。
	タービン建屋	・水平方向及び鉛直方向の振動を観測する。
7号機	原子炉建屋	・水平方向及び鉛直方向の振動を観測する。 ・振動特性について、6号機と相対的な比較を行えるよう設置する。
	タービン建屋	・水平方向及び鉛直方向の振動を観測する。

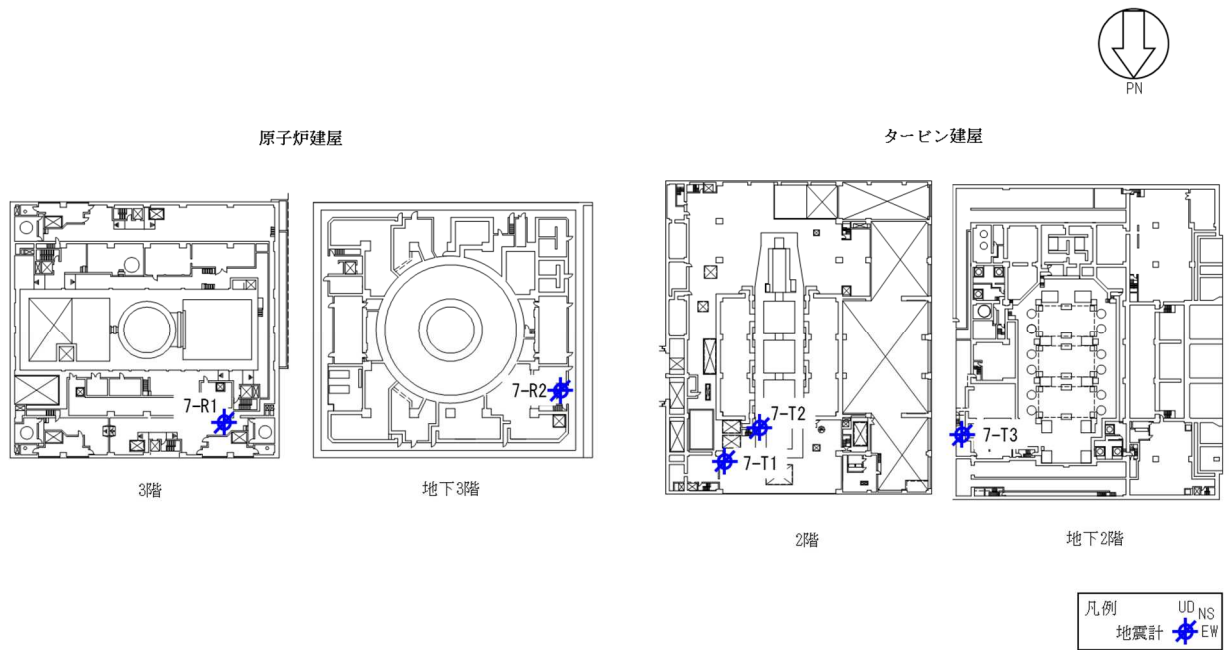


(1) 平面図

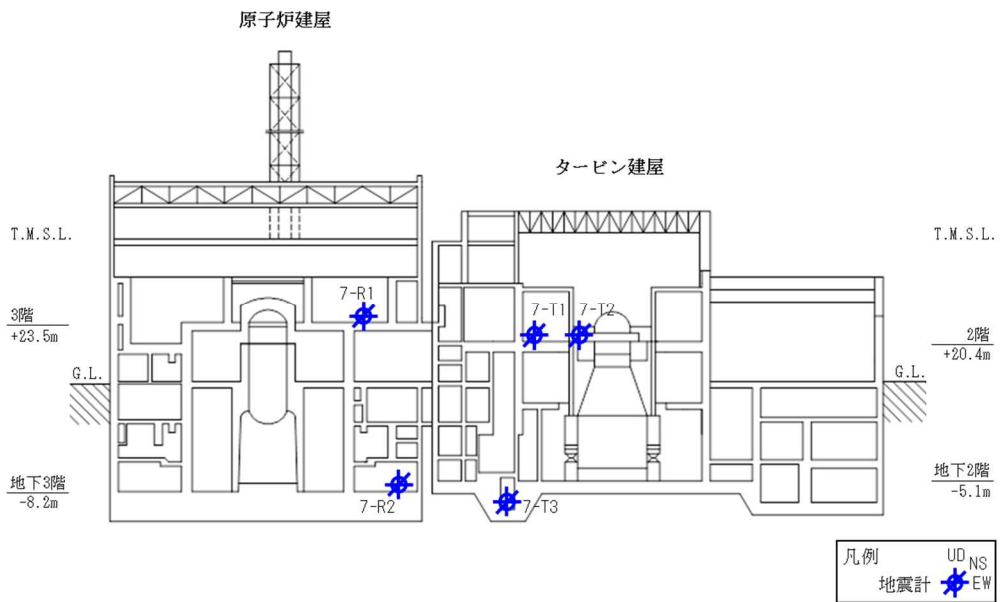


(2) 断面図

図 3-1 地震計配置図 (6号機)



(1) 平面図



(2) 断面図

図 3-2 地震計配置図 (7号機)

VI-2-1-7 設計用床応答曲線の作成方針

目 次

1. 概要	1
2. 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度作成に係る基本方針及び作成方法	1
2.1 基本方針	1
2.1.1 設計用床応答曲線	1
2.1.2 設計用最大応答加速度	1
2.2 作成方法	5
2.2.1 応答スペクトルの作成方法	5
2.2.2 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度の作成方法	6
2.2.3 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度の作成位置	9
2.2.4 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度の適用方法	9
3. 地震応答解析モデル	11
4. 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度	28
4.1 弾性設計用地震動 S_d	28
4.2 基準地震動 S_s	30
4.3 余震荷重を算定するための地震動	32

1. 概要

本資料は、VI-2-1-1「耐震設計の基本方針」のうち「4. 設計用地震力」に基づき、機器・配管系の動的解析に用いる設計用床応答曲線の作成方針及びその方針に基づき作成した設計用床応答曲線に関して説明するものである。

また、機器・配管系の静的解析に用いる設計用最大応答加速度及び静的震度についても併せて説明する。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機と共通の建物・構築物及び屋外重要土木構造物の設計用床応答曲線、設計用最大応答加速度及び静的震度を使用する場合は令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機の設計及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」によることとし、「4.1 弾性設計用地震動 S_d 」及び「4.2 基準地震動 S_s 」において、柏崎刈羽原子力発電所第7号機の設計用床応答曲線、設計用最大応答加速度及び静的震度を使用する旨、記載する。

2. 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度作成に係る基本方針及び作成方法

2.1 基本方針

2.1.1 設計用床応答曲線

- (1) VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」のうち「2. 地震応答解析の方針」に基づき策定した各原子炉施設の解析モデルに対して、入力地震動を用いた時刻歴応答解析を行い、各質点位置における加速度応答時刻歴を求める。入力地震動は、VI-2-1-2「基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の策定概要」に基づくものとして、表2-1及び表2-2に示す。
- (2) (1)で求めた各質点の加速度応答時刻歴を入力として、減衰付1自由度系の応答スペクトルを必要な減衰定数の値に対して求める。
- (3) (2)で求めた応答スペクトルに対し、各原子炉施設の固有周期のシフトを考慮し、周期方向に±10%の拡幅を行う。本資料においては、これを「床応答曲線」という。
- (4) (3)で求めた床応答曲線に対し、材料物性の不確かさ等や地震動及び地殻変動による基礎地盤の傾斜に対する影響を考慮して作成したものを、設計用床応答曲線Ⅰとする。
- (5) 全ての固有周期における震度が設計用床応答曲線Ⅰ以上となるように作成したものを設計用床応答曲線Ⅱとする。
- (6) 設計用床応答曲線Ⅰと設計用床応答曲線Ⅱを総称して、設計用床応答曲線という。

2.1.2 設計用最大応答加速度

- (1) 2.1.1(1)で求めた各質点の加速度応答時刻歴の最大値（最大応答加速度）に対し、材料物性の不確かさ等や地震動及び地殻変動による基礎地盤の傾斜に対する影響を考慮して作成したものを、設計用最大応答加速度Ⅰとする。

- (2) 設計用最大応答加速度Ⅰ以上となるように作成したものを設計用最大応答加速度Ⅱとする。
- (3) 設計用最大応答加速度Ⅰと設計用最大応答加速度Ⅱを総称して、設計用最大応答加速度という。

表2-1 入力地震動（基準地震動 S_s）

基準地震動 S _s			最大加速度 (cm/s ²)				
			NS 方向	EW 方向	鉛直 方向		
Ss-1	F-B 断層 による地震	応答スペクトルに基づく 地震動評価		1050		650	
Ss-2		断層モデルを用いた手法による 地震動評価		848	1209	466	
Ss-3	長岡平野西 縁断層帯に よる地震	応答スペク トルに基づ く地震動評 価	応力降下量及び断層 傾斜角の不確かさを それぞれ考慮したケ ースを包絡		600		400
Ss-4		断層モデル を用いた手 法による地 震動評価	応力降下量の 不確かさを考慮		428	826	332
Ss-5			断層傾斜角の 不確かさを考慮		426	664	346
Ss-6	長岡平野西 縁断層帯～ 山本山断層 ～十日町断 層帯西部の 連動を考慮 した地震	断層モデル を用いた手 法による地 震動評価	応力降下量の 不確かさを考慮		434	864	361
Ss-7			断層傾斜角の 不確かさを考慮		389	780	349
Ss-8	震源を特定 せず策定す る地震動	2004年北海道留萌支庁南部地震を 考慮した地震動評価		650		330	

表 2-2 入力地震動（弾性設計用地震動 S d）

弾性設計用地震動 S d	最大加速度 (cm/s ²)		
	NS 方向	EW 方向	鉛直方向
Sd-1	525		325
Sd-2	424	604	233
Sd-3	300		200
Sd-4	214	413	166
Sd-5	213	332	173
Sd-6	217	432	180
Sd-7	194	390	175
Sd-8	325		165

2.2 作成方法

2.2.1 応答スペクトルの作成方法

(1) 解析方法

2.1.1(1)で述べた方針で時刻歴応答解析を行い，各モデルの各質点における加速度応答時刻歴を求める。この加速度応答時刻歴を入力波として応答スペクトルを作成する。すなわち，入力波の絶対加速度を \ddot{Y}_i とおけば，質点系の振動方程式は，

$$\ddot{Z}_i + 2 \cdot h \cdot \omega \cdot \dot{Z}_i + \omega^2 \cdot Z_i = -\ddot{Y}_i \quad \dots\dots\dots (2.1)$$

ただし，

ω : 質点系の固有円振動数

Z_i : i 質点上の質点の相対変位

h : 減衰定数

地震の間の $\ddot{Y}_i + \ddot{Z}_i$ の最大値を ω 及び h をパラメータとして求め，応答スペクトルを作成する。応答スペクトルの作成には，「VIANA」，「Seismic Analysis System (SAS)」及び「MakeFRS」を使用し，解析コードの検証及び妥当性確認等の概要については，別紙「計算機プログラム（解析コード）の概要」に示す。

(2) 減衰定数

応答スペクトルは，VI-2-1-6「地震応答解析の基本方針」の機器・配管系の減衰定数を用いて作成する。

(3) 数値計算用諸元

固有周期作成幅	0.05～1.0s
固有周期計算間隔	
0.05 ～ 0.1s	$\Delta \omega = 4.0(\text{rad/s})$
0.1 ～ 0.2s	$\Delta \omega = 1.5(\text{rad/s})$
0.2 ～ 0.39s	$\Delta \omega = 1.0(\text{rad/s})$
0.39 ～ 0.6s	$\Delta \omega = 0.3(\text{rad/s})$
0.6 ～ 1.0s	$\Delta \omega = 0.5(\text{rad/s})$

2.2.2 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度の作成方法

(1) 設計用床応答曲線

設計用床応答曲線Ⅰは、基準地震動 S_s 又は弾性設計用地震動 S_d による時刻歴応答解析から得られる応答波を用いて作成した応答スペクトルを固有周期の多少のずれにより、応答に大幅な変化が生じないように周期軸方向に±10%の拡幅を行うとともに基礎地盤の傾斜の影響を加味したものと、材料物性の不確かさ等を考慮して作成した応答スペクトルを包絡させたものである（図2-1）。

設計用床応答曲線Ⅱは、設計用床応答曲線Ⅰの設定に先立って機器・配管系の耐震設計を行うことを目的として作成したものであり、事前検討段階の地震応答解析モデルによる床応答曲線を係数倍すること等により作成し、設計用床応答曲線Ⅰを包絡することを確認したものを使用する（図2-2）。

(2) 設計用最大応答加速度

設計用最大応答加速度Ⅰは、基準地震動 S_s 又は弾性設計用地震動 S_d による時刻歴応答解析から得られる応答波の最大値（最大応答加速度）に基礎地盤の傾斜の影響を加味したものと、材料物性の不確かさ等を考慮した時刻歴応答解析の応答波の最大値を包絡させたものである。

設計用最大応答加速度Ⅱは、設計用最大応答加速度Ⅰの設定に先立って機器・配管系の耐震設計を行うことを目的として作成したものであり、事前検討段階の地震応答解析モデルによる最大応答加速度を係数倍すること等により作成し、設計用最大応答加速度Ⅰを包絡することを確認したものを使用する。

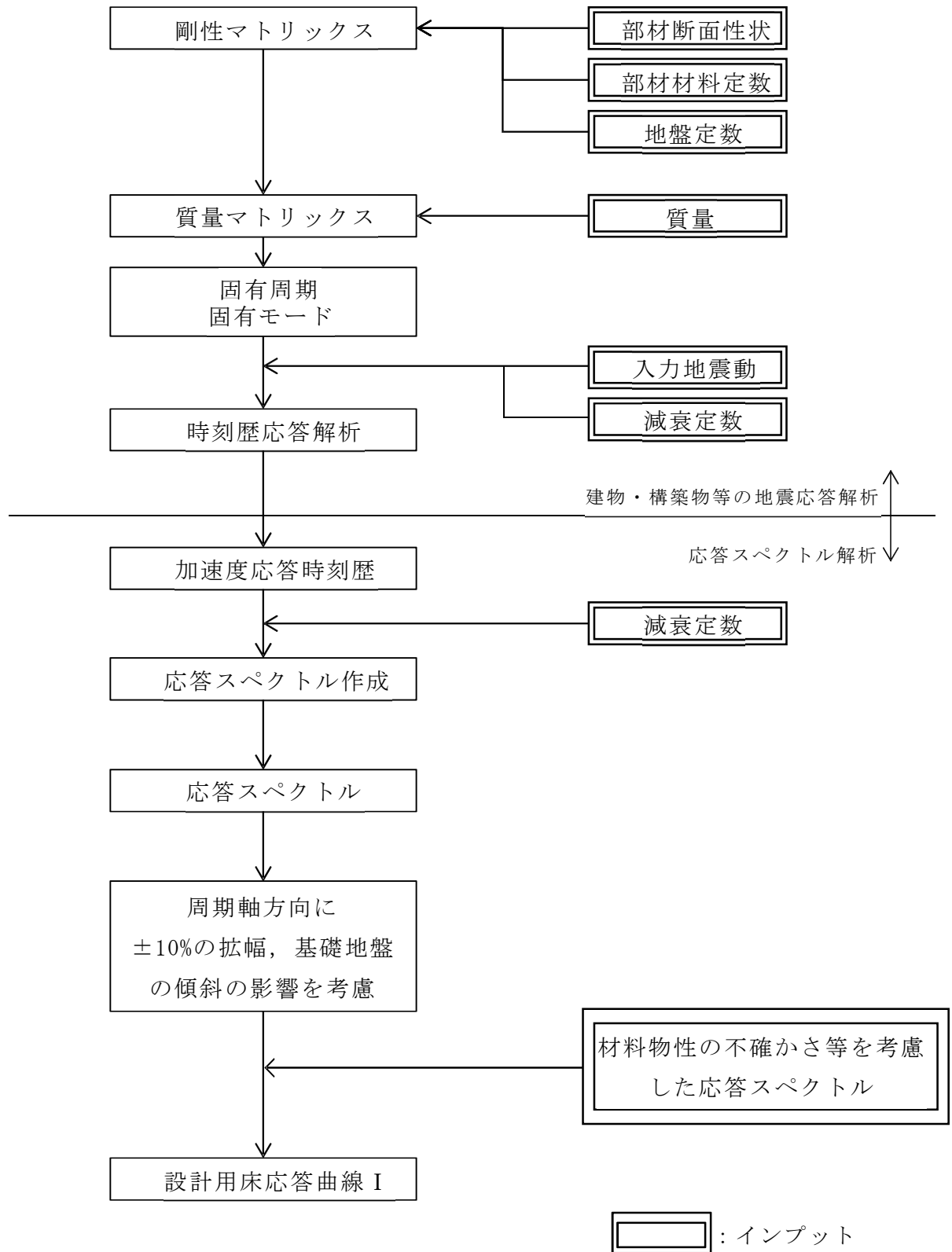


図2-1 設計用床応答曲線 I の作成方法

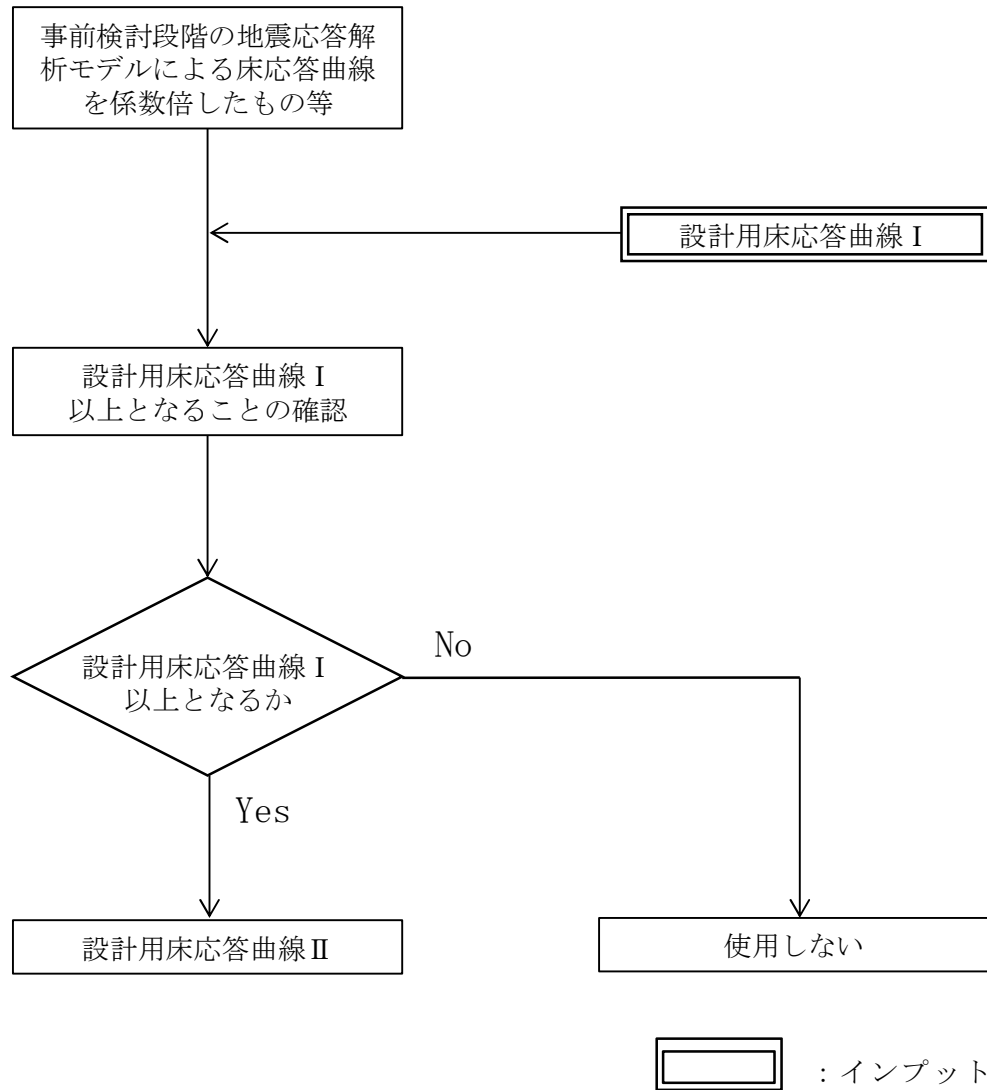


図2-2 設計用床応答曲線 II の作成方法

2.2.3 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度の作成位置

図3-1～図3-6の解析モデルについて設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度を作成する。

2.2.4 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度の適用方法

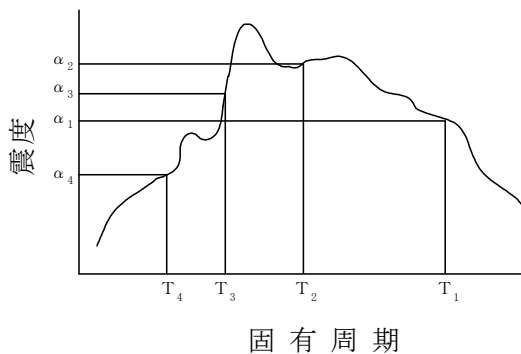
(1) 概要

機器・配管系の動的地震力を求める場合は、それぞれの据付位置における設計用床応答曲線又は設計用最大応答加速度を使用して設計震度を定める。この場合、以下の運用方法に従う。

(2) 運用方法

a. 設計用床応答曲線

- (a) 設計用床応答曲線Ⅰ又は設計用床応答曲線Ⅱを用いる。
- (b) 振動方向に合わせ水平方向及び鉛直方向の各方向の設計用床応答曲線を使用する。
- (c) 建屋床より自立する機器・配管系については、設置階の設計用床応答曲線を用い、建屋壁より支持される機器・配管系及び建屋中間階に設置される機器・配管系については、上下階の設計用床応答曲線のうち安全側のものを用いるものとする。また、建屋上下階を貫通する配管系及び異なる建物・構築物等を渡る配管系については、それぞれの据付位置の設計用床応答曲線のうち安全側のものを用いるものとする。ただし、設計用床応答曲線の運用において合理性が示される場合には、その方法を採用できるものとする。
- (d) 設計用床応答曲線を用いて動的解析を行う場合には以下に示す方法によりモード合成を行うものとする。



T_s : S 次の固有周期

α_s : T_s に対応する震度

ϕ_{si} : S 次の i 質点の固有モード

β_s : S 次の刺激係数

A_i : i 質点の設計震度

$$A_i = \sqrt{\sum_{S=1}^n (\beta_s \cdot \phi_{si} \cdot \alpha_s)^2}$$

b. 設計用最大応答加速度

- (a) 設計用最大応答加速度Ⅰ又は設計用最大応答加速度Ⅱを用いる。なお、耐震計算書においては、無次元化した設計震度として記載されることもある。
- (b) 振動方向に合わせ水平方向及び鉛直方向の各方向の設計用最大応答加速度を使用する。
- (c) 建屋床より自立する機器・配管系については、設置階の設計用最大応答加速度を用い、建屋壁より支持される機器・配管系及び建屋中間階に設置される機器・配管系については、上下階の設計用最大応答加速度のうち安全側のものを用いるものとする。また、建屋上下階を貫通する配管系及び異なる建物・構築物等を渡る配管系については、それぞれの据付位置の設計用最大応答加速度のうち安全側のものを用いるものとする。ただし、設計用最大応答加速度の運用において合理性が示される場合には、その方法を採用できるものとする。

3. 地震応答解析モデル

(1) 原子炉建屋

原子炉建屋の地震応答解析モデルにはVI-2-2-1「原子炉建屋の地震応答計算書」に記載する解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図 3-1(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図 3-1(2)に示す。

(2) 原子炉本体の基礎

原子炉本体の基礎の地震応答解析モデルにはVI-2-2-4「原子炉本体の基礎の地震応答計算書」に記載する解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-2(1)及び図3-2(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-2(3)に示す。

(3) 炉心，原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物

炉心，原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物の地震応答解析モデルにはVI-2-3-1「炉心，原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物の地震応答計算書」に記載する解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図3-3(1)及び図3-3(2)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図3-3(3)に示す。

(4) タービン建屋

タービン建屋の地震応答解析モデルにはVI-2-2-5「タービン建屋の地震応答計算書」に記載する解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図 3-4(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図 3-4(2)に示す。

(5) 軽油タンク基礎

軽油タンク基礎の地震応答解析モデルにはVI-2-2-17「軽油タンク基礎の地震応答計算書」に記載する解析モデルを用いる。NS断面の地震応答解析モデルを図 3-5(1)に、加速度応答算出位置を図 3-5(2)に示し、EW断面の地震応答解析モデルを図 3-5(3)に、加速度応答算出位置を図 3-5(4)に示す。

(6) 格納容器圧力逃がし装置基礎

格納容器圧力逃がし装置基礎の地震応答解析モデルにはVI-2-2-13「格納容器圧力逃がし装置基礎の地震応答計算書」に記載する解析モデルを用いる。水平方向の地震応答解析モデルを図 3-6(1)に、鉛直方向の地震応答解析モデルを図 3-6(2)に示す。

(7) コントロール建屋

コントロール建屋については、柏崎刈羽原子力発電所第7号機と共通の建物・構築物であることから、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機的设计及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち、「3. 地震応答解析モデル」による。

(8) 廃棄物処理建屋

廃棄物処理建屋については、柏崎刈羽原子力発電所第7号機と共通の建物・構築物であることから、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機的设计及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち、「3. 地震応答解析モデル」による。

(9) 緊急時対策所

緊急時対策所については、柏崎刈羽原子力発電所第7号機と共通の建物・構築物であることから、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機的设计及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち、「3. 地震応答解析モデル」による。

(10) 第一ガスタービン発電機基礎

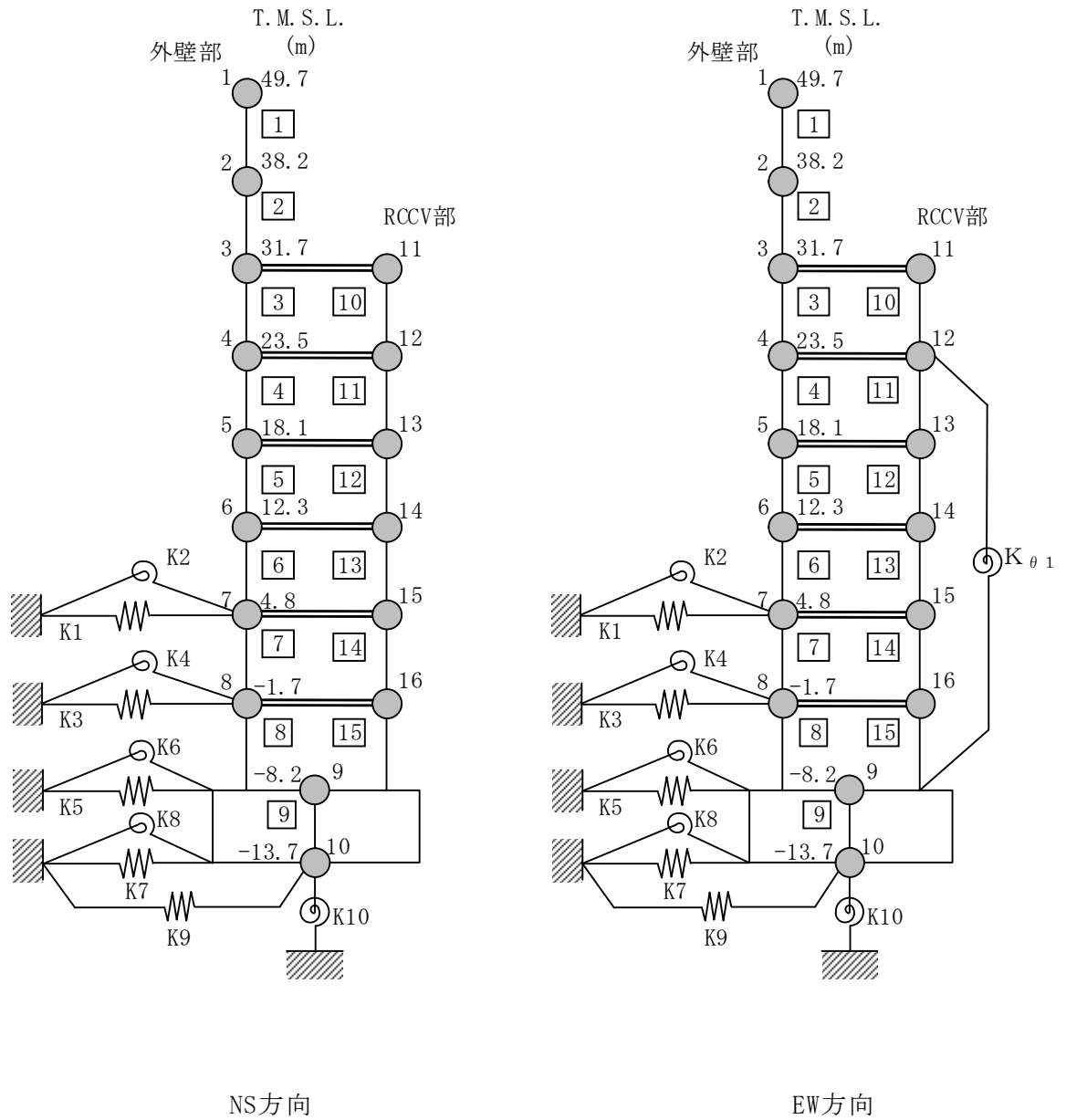
第一ガスタービン発電機基礎については、柏崎刈羽原子力発電所第7号機と共通の屋外重要土木構造物であることから、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機的设计及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち、「3. 地震応答解析モデル」による。

(11) 第一ガスタービン発電機用燃料タンク基礎

第一ガスタービン発電機用燃料タンク基礎については、柏崎刈羽原子力発電所第7号機と共通の屋外重要土木構造物であることから、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機的设计及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち、「3. 地震応答解析モデル」による。

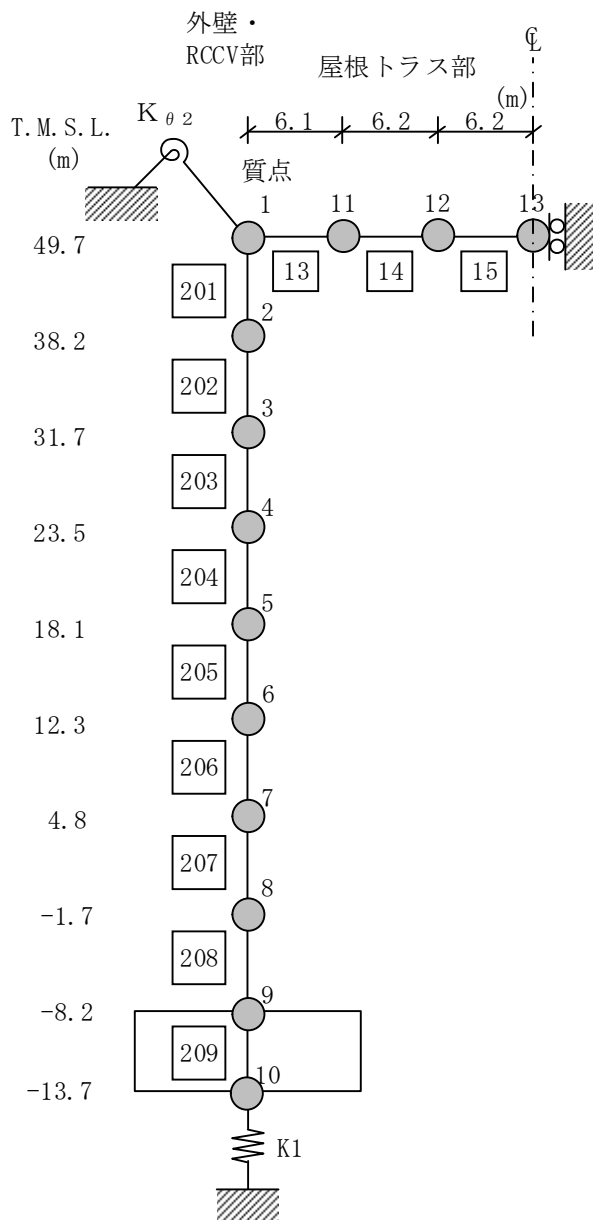
(12) 軽油タンク基礎（7号機設備）

軽油タンク基礎（7号機設備）については、柏崎刈羽原子力発電所第7号機で申請された屋外重要土木構造物であることから、令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽原子力発電所第7号機的设计及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち、「3. 地震応答解析モデル」による。



注： $K_{\theta 1}$ はRCCV回転ばねを示す。

図3-1(1) 原子炉建屋地震応答解析モデル（水平方向）



注： $K_{\theta 2}$ は屋根トラス端部回転拘束ばねを示す。

図3-1(2) 原子炉建屋地震応答解析モデル（鉛直方向）

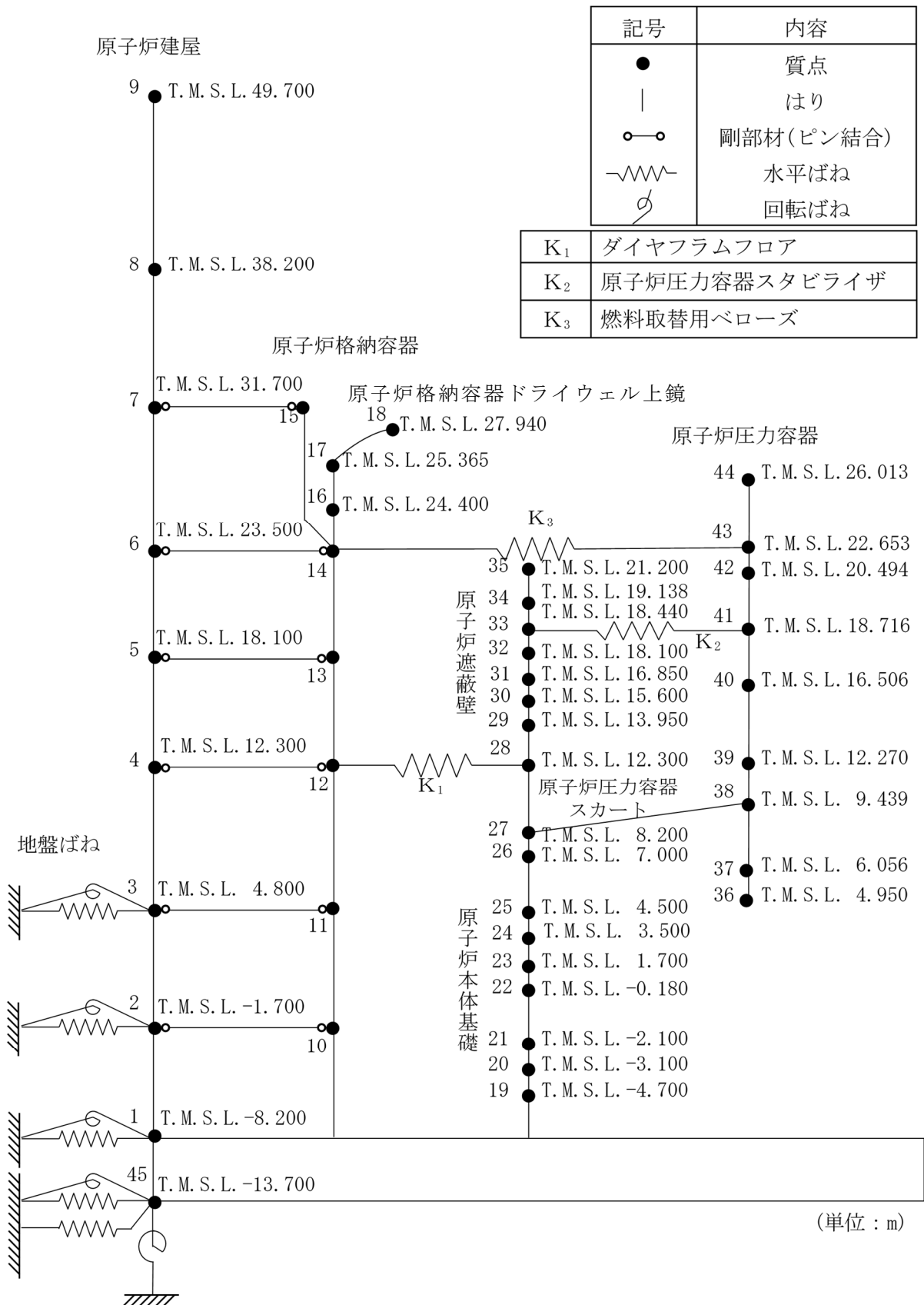


図 3-2(1) 原子炉圧力容器，原子炉遮蔽壁及び原子炉本体基礎地震応答解析モデル
(水平方向 (NS 方向))

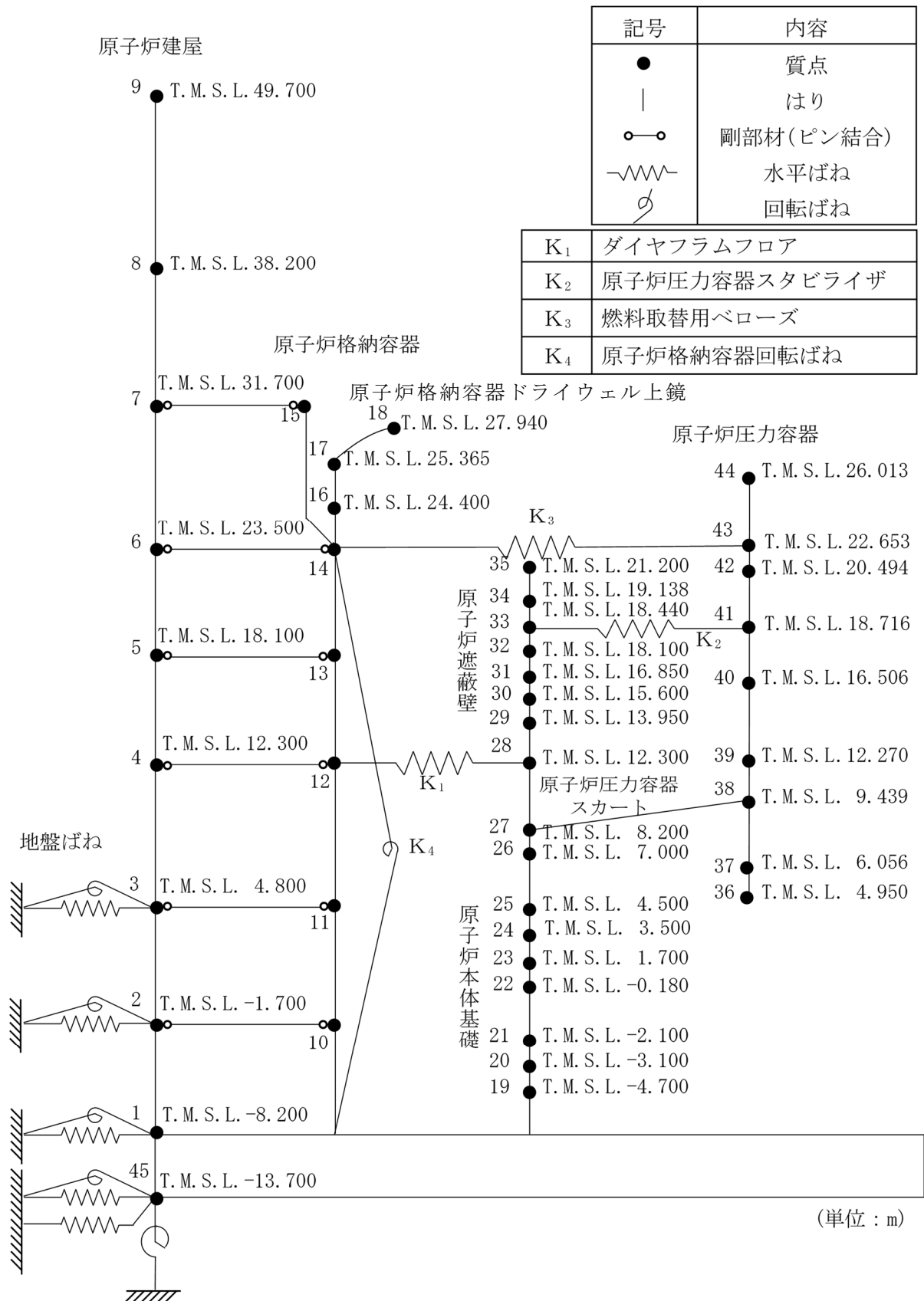


図 3-2(2) 原子炉圧力容器，原子炉遮蔽壁及び原子炉本体基礎地震応答解析モデル
(水平方向 (EW 方向))

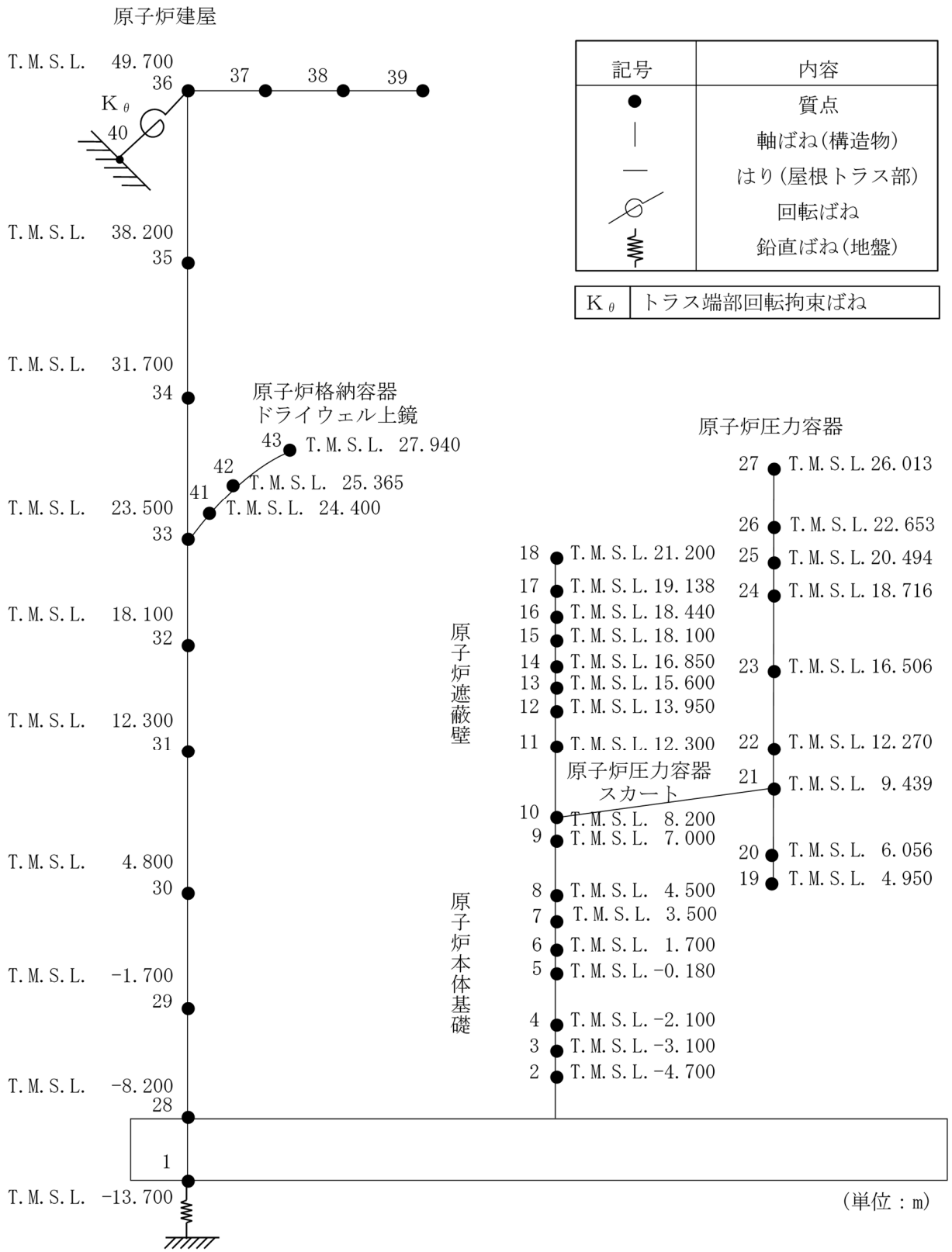


図 3-2(3) 原子炉压力容器, 原子炉遮蔽壁及び原子炉本体基礎地震応答解析モデル
(鉛直方向)

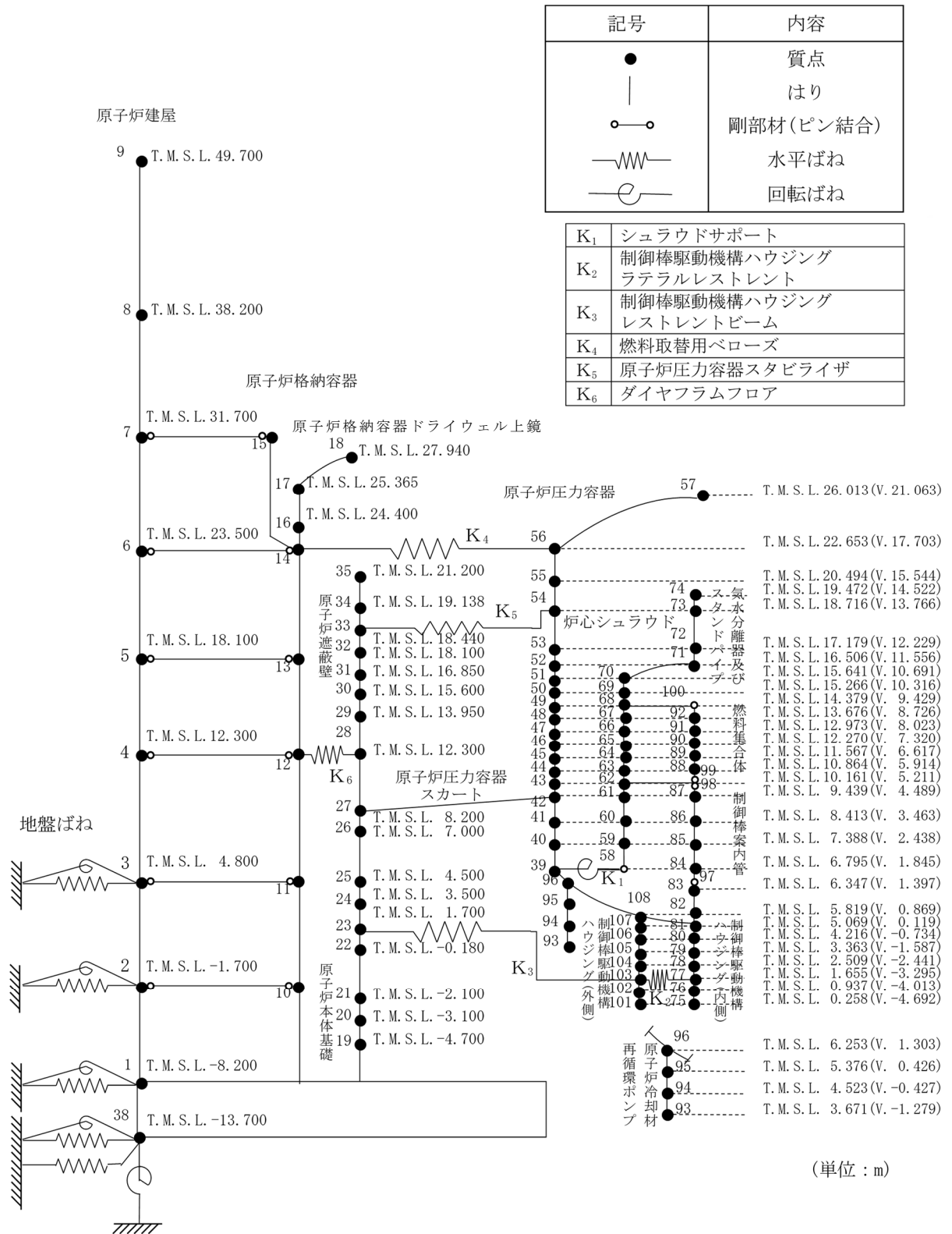


図 3-3(1) 原子炉本体地震応答解析モデル (水平方向 (NS 方向))

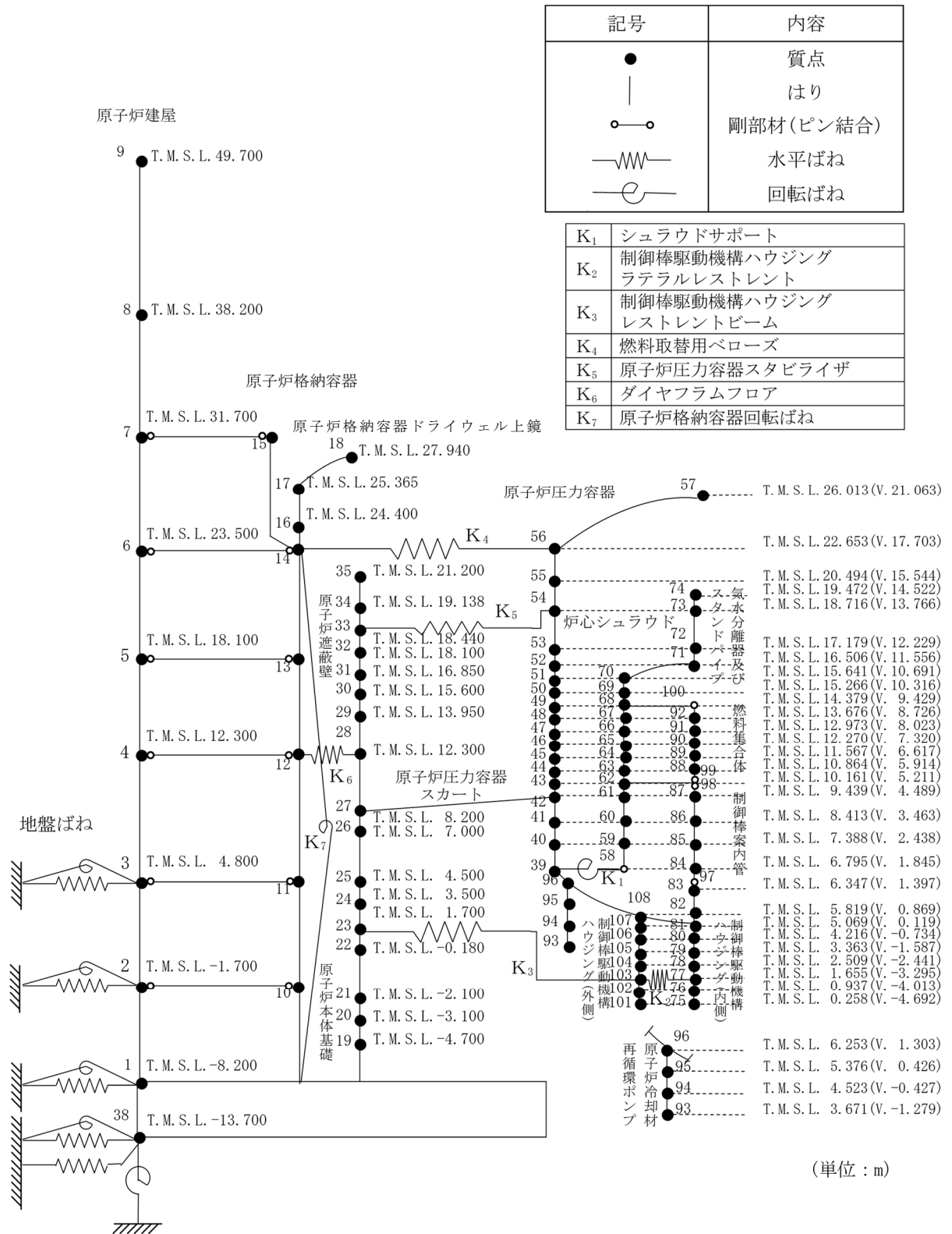


図 3-3(2) 原子炉本体地震応答解析モデル (水平方向 (EW 方向))

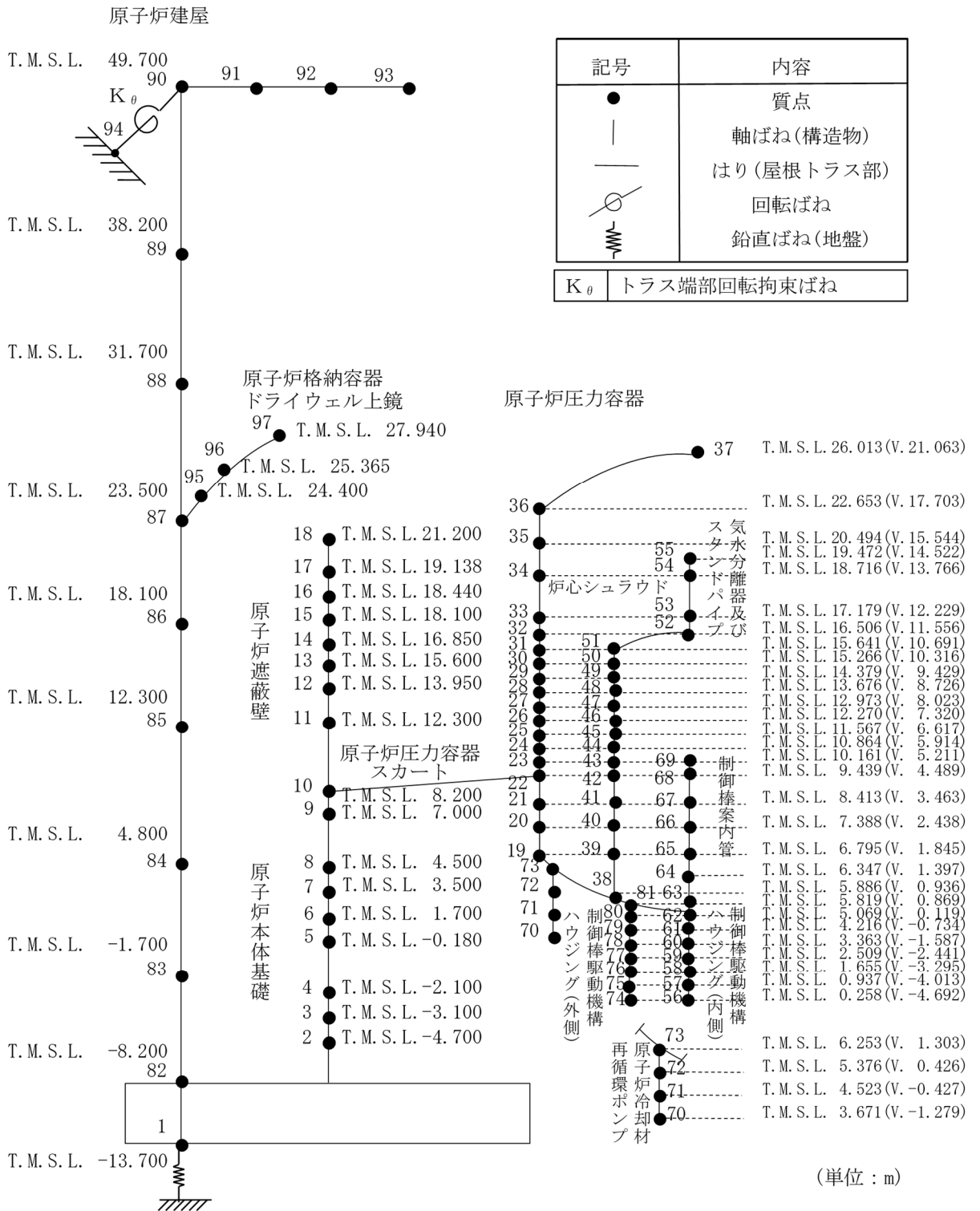
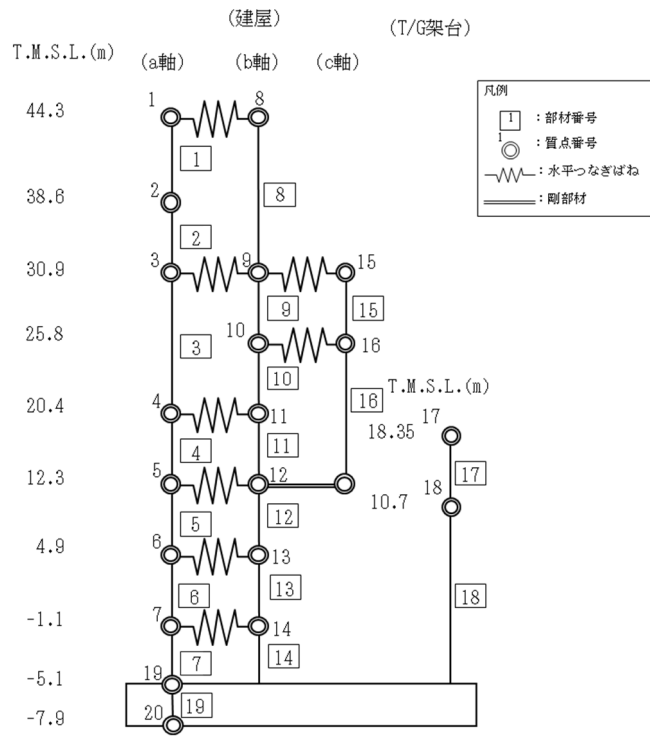
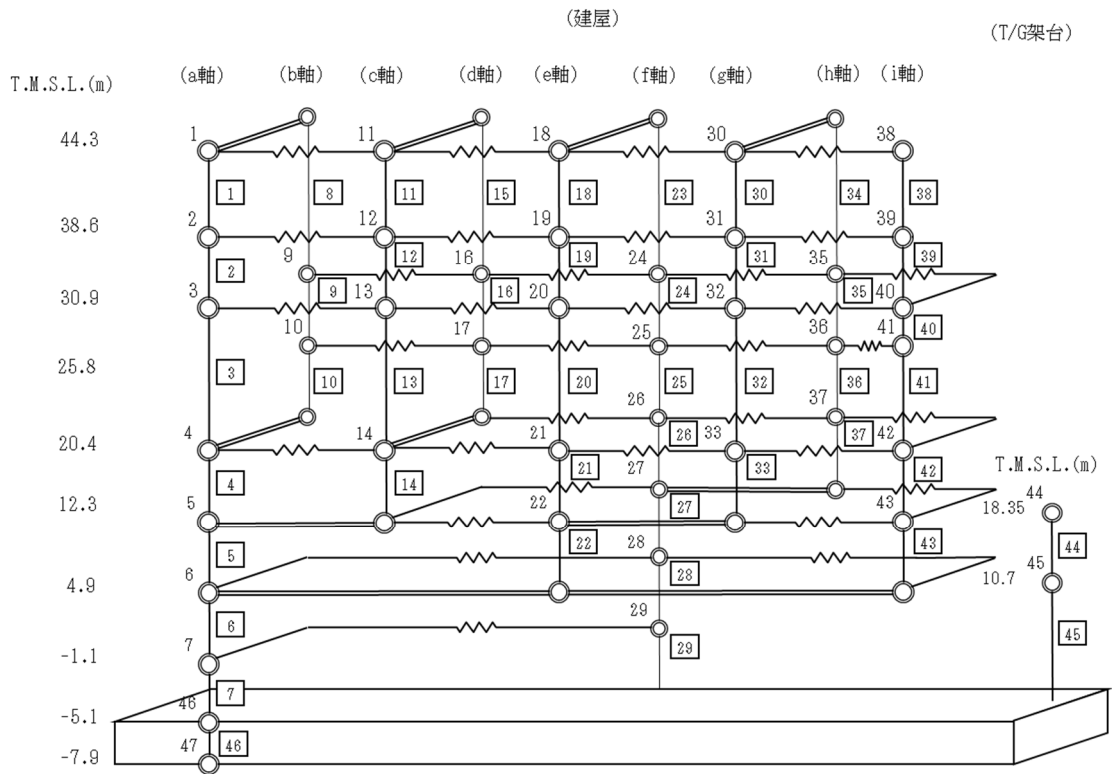


図 3-3(3) 原子炉本体地震応答解析モデル (鉛直方向)

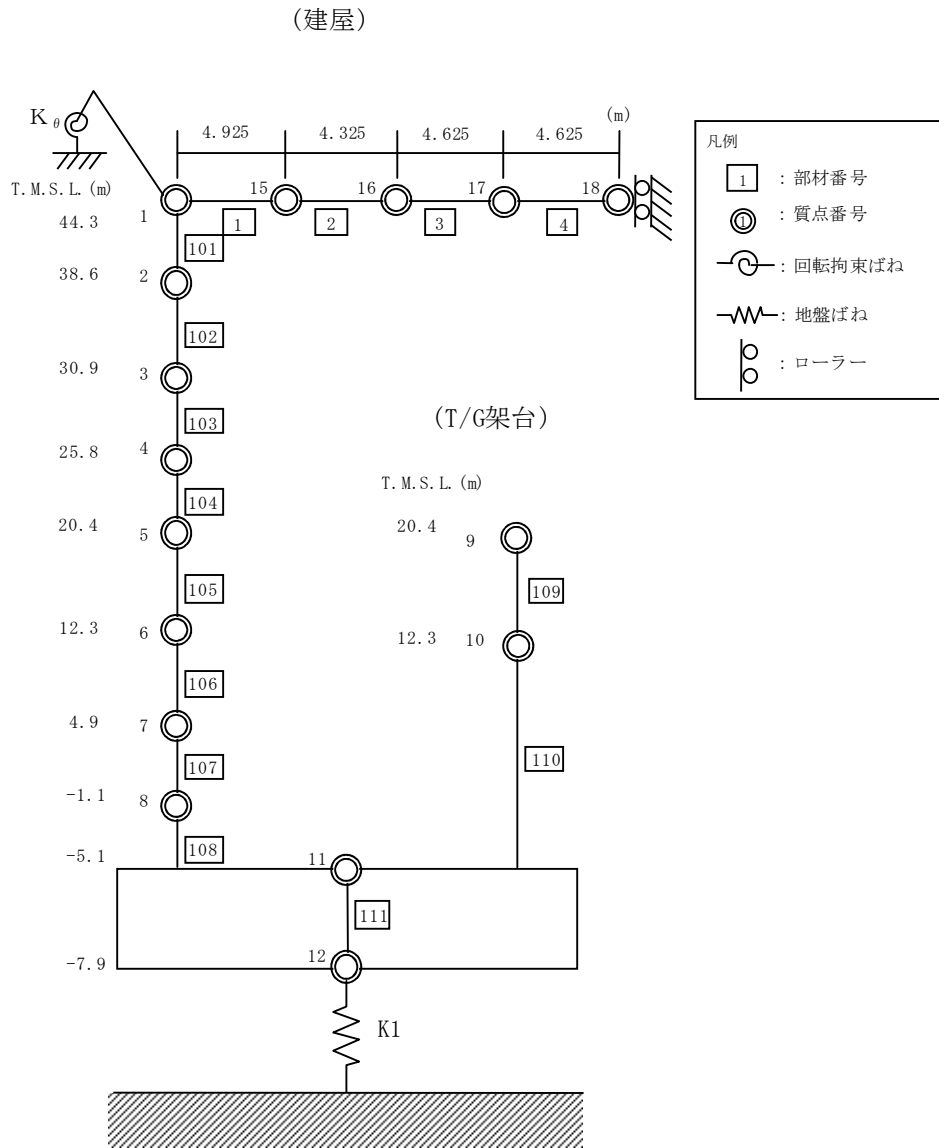


NS 方向



EW 方向

図 3-4(1) タービン建屋地震応答解析モデル (水平方向)



注： K_{θ} は屋根トラス端部回転拘束ばねを示す。

図 3-4(2) タービン建屋地震応答解析モデル (鉛直方向)

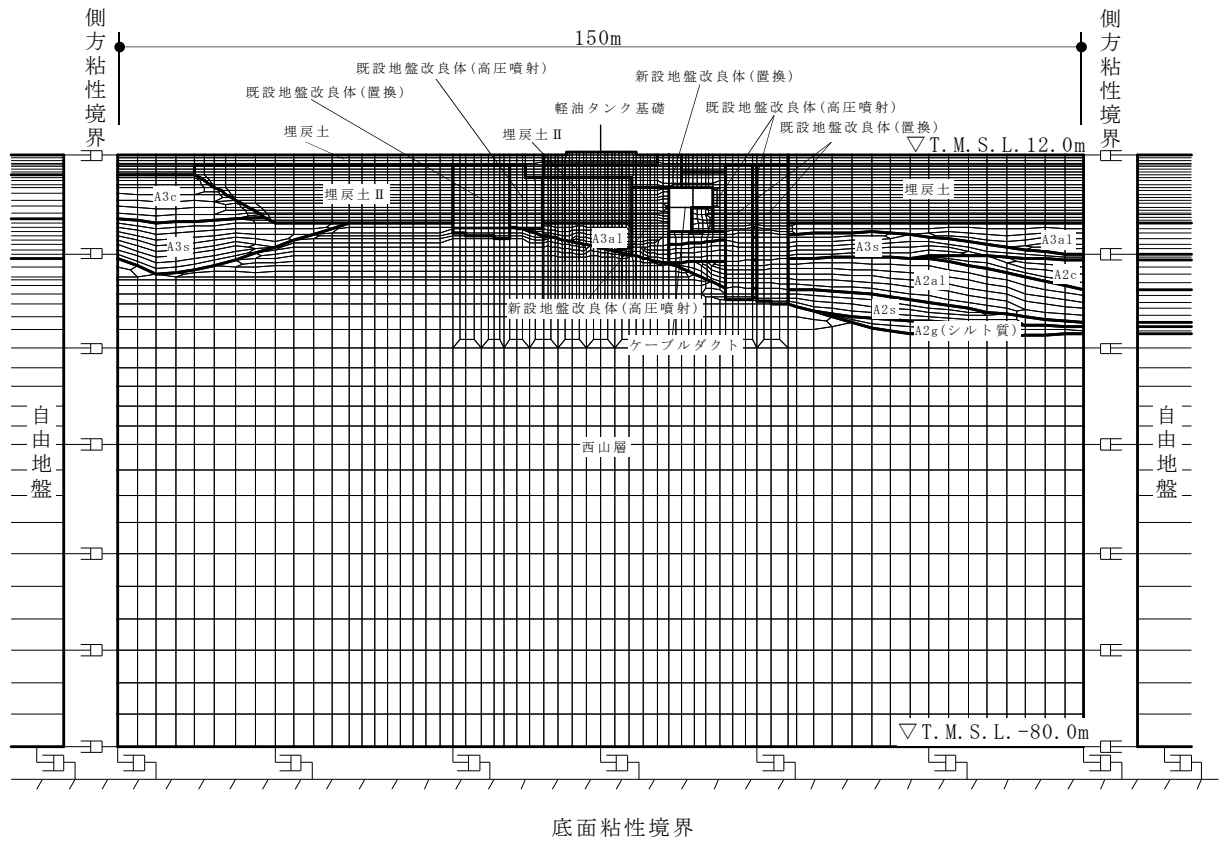


図 3-5(1) 軽油タンク基礎地震応答解析モデル (NS 断面)

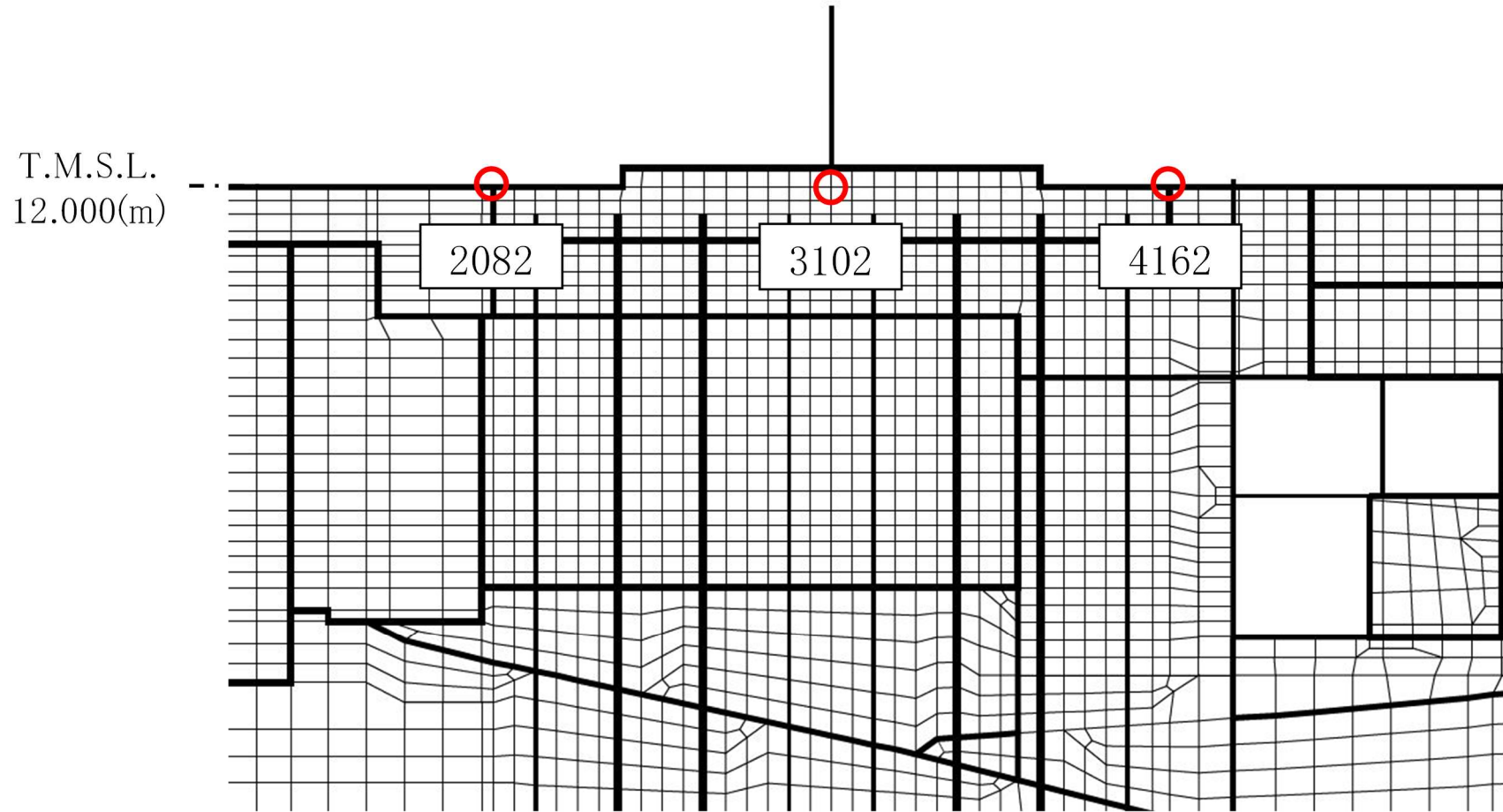


図 3-5(2) 軽油タンク基礎の加速度応答算出位置 (地震応答解析モデルの拡大図) (NS 断面)

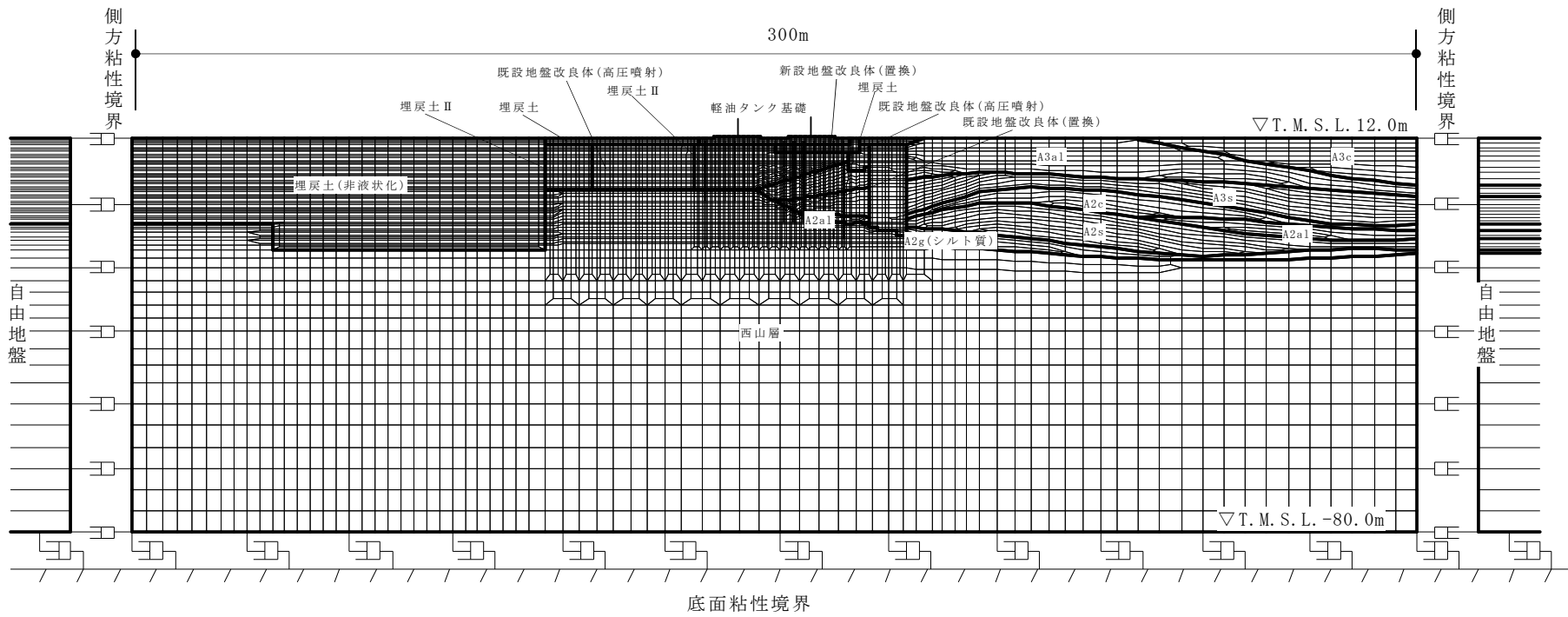


図 3-5(3) 軽油タンク基礎地震応答解析モデル (EW 断面)

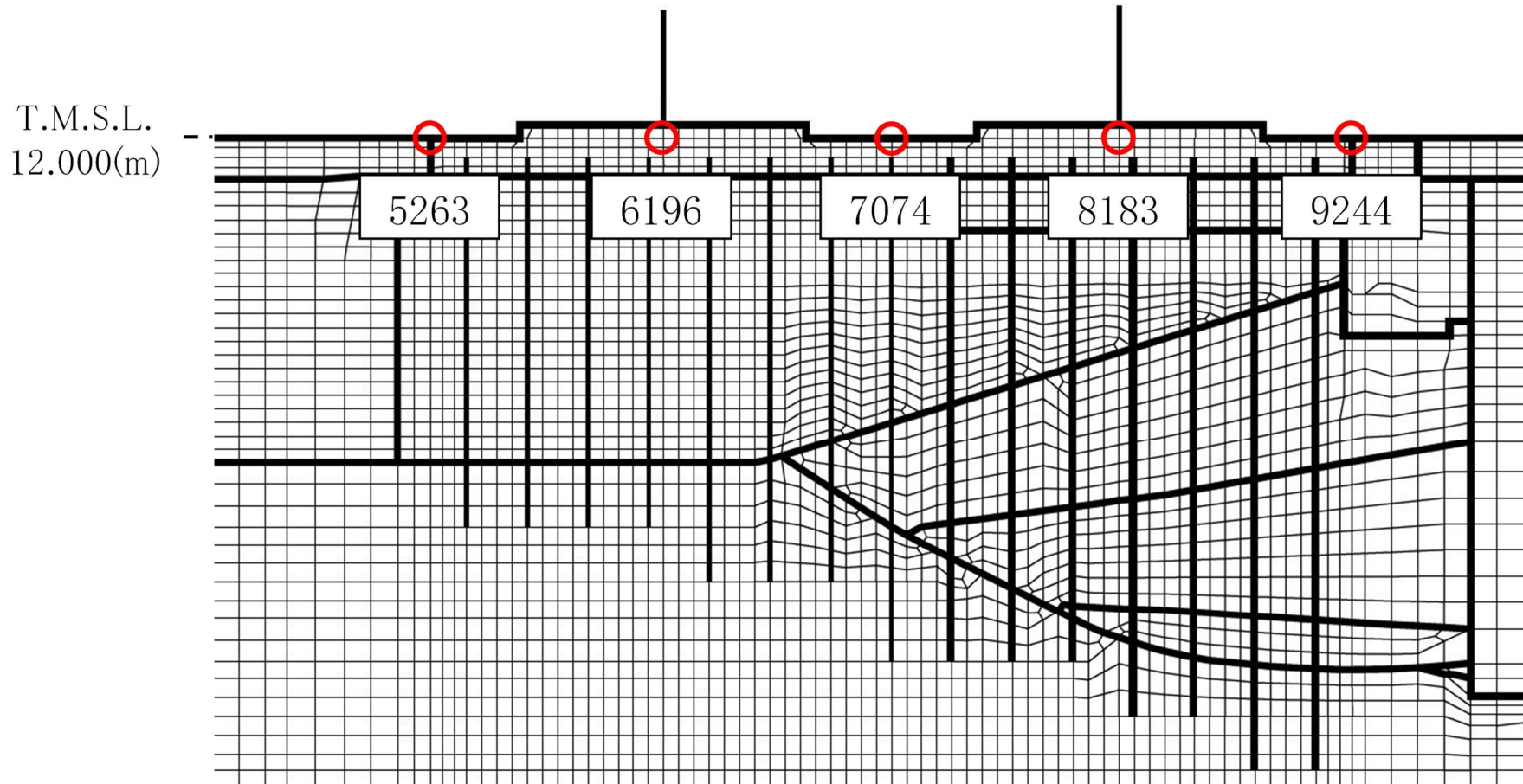
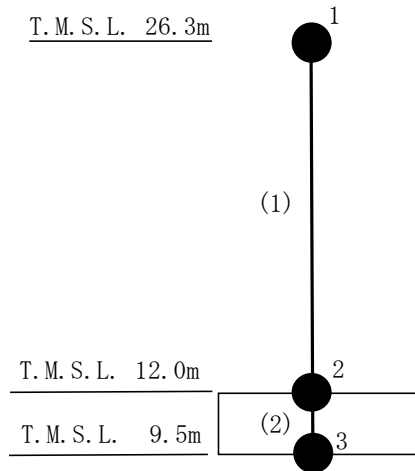
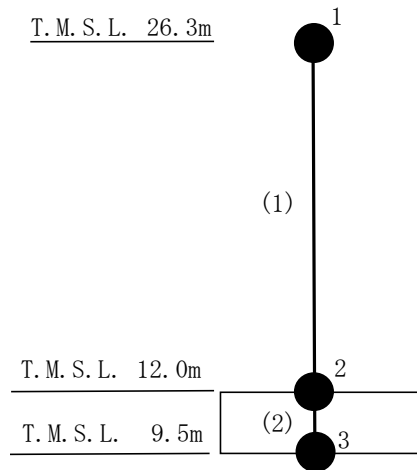


図 3-5(4) 軽油タンク基礎の加速度応答算出位置 (地震応答解析モデルの拡大図) (EW 断面)



注：数字は質点番号を，（ ）内は部材番号を示す。

図 3-6(1) 格納容器圧力逃がし装置基礎地震応答解析モデル
(水平方向 (NS 方向, EW 方向))



注：数字は質点番号を，（ ）内は部材番号を示す。

図 3-6(2) 格納容器圧力逃がし装置基礎地震応答解析モデル (鉛直方向)

4. 設計用床応答曲線及び設計用最大応答加速度

本章では、施設ごとの各床面の設計用最大応答加速度及び静的震度並びに設計用床応答曲線を示す。なお、静的震度はVI-2-1-1「耐震設計の基本方針」の「4. 設計用地震力」に従って算出した値以上となるように作成したものである。

4.1 弾性設計用地震動 S d

設計用最大応答加速度及び静的震度並びに設計用床応答曲線（S d）を示す。また、最大応答加速度及び床応答曲線（S d）についても示す。

(1) 設計用最大応答加速度一覧表

建物・構築物等の各床面の設計用最大応答加速度及び静的震度並びに最大応答加速度を表 4. 1-1～表 4. 1-5 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4. 1 に示す。

表 4. 1 建物・構築物等と表番号との関連（弾性設計用地震動 S d）

No.	建物・構築物等	設計用最大応答 加速度及び静的震度	最大応答加速度* ¹
1	原子炉建屋	表 4. 1-1(1)	表 4. 1-1(2)
2	原子炉本体の基礎	表 4. 1-2(1)	表 4. 1-2(2)
3	炉心，原子炉压力容器及び压力容器 内部構造物	表 4. 1-3(1)	表 4. 1-3(2)
4	タービン建屋	表 4. 1-4(1)	表 4. 1-4(2)
5	軽油タンク基礎	表 4. 1-5(1)	表 4. 1-5(2)
6	コントロール建屋	—* ²	—* ²

注記*1：地震応答解析モデルの設定に用いる物性値，定数等を標準的なものとする解析ケース（基本ケース）での地震応答解析から得られた加速度応答時刻歴の最大値

*2：コントロール建屋の設計用最大応答加速度及び静的震度，最大応答加速度については，令和 2 年 10 月 14 日付け原規規発第 2010147 号にて認可された柏崎刈羽発電所第 7 号機の設計及び工事の計画の V-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち，「4.1 弾性設計用地震動 S d」による

(2) 設計用床応答曲線の図番

各床面の減衰定数に応じた設計用床応答曲線及び床応答曲線の図番を表 4. 2-1～表 4. 2-5 に示す。また、建物・構築物等の表番号との関連を表 4. 2 に示す。

表 4. 2 建物・構築物等と表番号との関連（弾性設計用地震動 S d）

No.	建物・構築物等	設計用床応答曲線	床応答曲線* ¹
1	原子炉建屋	表 4. 2-1(1)	表 4. 2-1(2)
2	原子炉本体の基礎	表 4. 2-2(1)	表 4. 2-2(2)
3	炉心，原子炉圧力容器及び圧力容器 内部構造物	表 4. 2-3(1)	表 4. 2-3(2)
4	タービン建屋	表 4. 2-4(1)	表 4. 2-4(2)
5	軽油タンク基礎	表 4. 2-5(1)	表 4. 2-5(2)
6	コントロール建屋	—* ²	—* ²

注記*1：基本ケースでの地震応答解析から得られた加速度応答時刻歴を入力として作成した応答スペクトルに対し，周期軸方向に±10%の拡幅を行ったもの

*2：コントロール建屋の設計用床応答曲線，床応答曲線については，令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽発電所第7号機の設計及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち，「4.1 弾性設計用地震動 S d」による

4.2 基準地震動 S_s

設計用最大応答加速度及び設計用床応答曲線 (S_s) を示す。また、最大応答加速度及び床応答曲線 (S_s) についても示す。

(1) 設計用最大応答加速度一覧表

建物・構築物等の各床面の設計用最大応答加速度及び最大応答加速度を表 4. 3-1～表 4. 3-6 に示す。また、建物・構築物等と表番号との関連を表 4. 3 に示す。

表 4. 3 建物・構築物等と表番号との関連 (基準地震動 S_s)

No.	建物・構築物等	設計用最大応答 加速度	最大応答加速度* ¹
1	原子炉建屋	表 4. 3-1(1)	表 4. 3-1(2)
2	原子炉本体の基礎	表 4. 3-2(1)	表 4. 3-2(2)
3	炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器 内部構造物	表 4. 3-3(1)	表 4. 3-3(2)
4	タービン建屋	表 4. 3-4(1)	表 4. 3-4(2)
5	軽油タンク基礎	表 4. 3-5(1)	表 4. 3-5(2)
6	格納容器圧力逃がし装置基礎	表 4. 3-6(1)	表 4. 3-6(2)
7	コントロール建屋	—* ²	—* ²
8	廃棄物処理建屋	—* ²	—* ²
9	緊急時対策所	—* ²	—* ²
10	第一ガスタービン発電機基礎	—* ²	—* ²
11	第一ガスタービン発電機用燃料タンク 基礎	—* ²	—* ²
12	軽油タンク基礎 (7号機設備)	—* ²	—* ²

注記*¹: 地震応答解析モデルの設定に用いる物性値, 定数等を標準的なものとする解析ケース (基本ケース) での地震応答解析から得られた加速度応答時刻歴の最大値

*²: コントロール建屋, 廃棄物処理建屋, 緊急時対策所, 第一ガスタービン発電機基礎, 第一ガスタービン発電機用燃料タンク基礎, 軽油タンク基礎 (7号機設備) の設計用最大応答加速度, 最大応答加速度については, 令和2年10月14日付け原規規発第2010147号にて認可された柏崎刈羽発電所第7号機の設計及び工事の計画のV-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち, 「4.2 基準地震動 S_s 」による

(2) 設計用床応答曲線の図番

各床面の減衰定数に応じた設計用床応答曲線及び床応答曲線の図番を表 4. 4-1～表 4. 4-6 に示す。また，建物・構築物等の表番号との関連を表 4. 4 に示す。

表 4. 4 建物・構築物等と表番号との関連（基準地震動 S s）

No.	建物・構築物等	設計用床応答曲線	床応答曲線*1
1	原子炉建屋	表 4. 4-1(1)	表 4. 4-1(2)
2	原子炉本体の基礎	表 4. 4-2(1)	表 4. 4-2(2)
3	炉心，原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物	表 4. 4-3(1)	表 4. 4-3(2)
4	タービン建屋	表 4. 4-4(1)	表 4. 4-4(2)
5	軽油タンク基礎	表 4. 4-5(1)	表 4. 4-5(2)
6	格納容器圧力逃がし装置基礎	表 4. 4-6(1)	表 4. 4-6(2)
7	コントロール建屋	—*2	—*2
8	廃棄物処理建屋	—*2	—*2
9	緊急時対策所	—*2	—*2
10	第一ガスタービン発電機基礎	—*2	—*2
11	第一ガスタービン発電機用燃料タンク基礎	—*2	—*2

注記*1：基本ケースでの地震応答解析から得られた加速度応答時刻歴を入力として作成した応答スペクトルに対し，周期軸方向に±10%の拡幅を行ったもの

*2：コントロール建屋，廃棄物処理建屋，緊急時対策所，第一ガスタービン発電機基礎，第一ガスタービン発電機用燃料タンク基礎の設計用床応答曲線，床応答曲線については，令和 2 年 10 月 14 日付け原規規発第 2010147 号にて認可された柏崎刈羽発電所第 7 号機の設計及び工事の計画の V-2-1-7「設計用床応答曲線の作成方針」のうち，「4.2 基準地震動 S s」による

4.3 余震荷重を算定するための地震動

津波荷重と重畳させる余震荷重を算定するための地震動及び震度は、VI-3「強度に関する説明書」のうち、VI-3-別添 3-1「津波への配慮が必要な施設の強度に関する説明書」に示す。

表4. 1-1(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (原子炉建屋) (1/3)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
			設計用最大応答加速度 I		設計用最大応答加速度 II	
			S d		S d	
			水平	鉛直	水平	鉛直
原子炉建屋	1	49.700	1.03	0.52	1.28	0.66
	2	38.200	0.75	0.50	0.89	0.63
	3	31.700	0.61	0.48	0.71	0.62
	4	23.500	0.53	0.47	0.66	0.60
	5	18.100	0.49	0.46	0.60	0.59
	6	12.300	0.47	0.44	0.59	0.56
	7	4.800	0.43	0.42	0.55	0.54
	8	-1.700	0.38	0.42	0.50	0.53
	9	-8.200	0.34	0.42	0.41	0.51
	10	-13.700	0.36	0.42	0.45	0.51

表4. 1-1(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (原子炉建屋) (2/3)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
			設計用最大応答加速度 I		設計用最大応答加速度 II	
			S d		S d	
			水平	鉛直	水平	鉛直
原子炉建屋	1	49.700	1.24	0.62	1.54	0.77
	2	38.200	0.90	0.60	1.06	0.75
	3	31.700	0.73	0.58	0.85	0.73
	4	23.500	0.64	0.56	0.77	0.72
	5	18.100	0.59	0.55	0.72	0.69
	6	12.300	0.57	0.52	0.71	0.68
	7	4.800	0.51	0.51	0.66	0.64
	8	-1.700	0.45	0.50	0.59	0.63
	9	-8.200	0.41	0.50	0.50	0.62
	10	-13.700	0.43	0.50	0.54	0.62

表4. 1-1(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (原子炉建屋) (3/3)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 (3.0Ci)	静的震度 (3.6Ci)	静的震度 (1.0Cv)	静的震度 (1.2Cv)
			水平	水平	鉛直	鉛直
原子炉建屋	1	49.700	0.96	1.15	0.24	0.29
	2	38.200	0.83	1.00		
	3	31.700	0.73	0.88		
	4	23.500	0.65	0.78		
	5	18.100	0.61	0.74		
	6	12.300	0.56	0.67		
	7	4.800	0.52	0.62		
	8	-1.700	0.48	0.58		
	9	-8.200	0.48	0.58		
	10	-13.700	0.48	0.58		

表4. 1-1(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉建屋) (1/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
原子炉建屋	1	49.700	0.99	0.93	0.55	0.72	0.57	0.53	0.39	0.51	0.34	0.56	0.41	0.52	0.34	0.58	0.69	0.67	0.99
	2	38.200	0.68	0.66	0.40	0.60	0.46	0.43	0.31	0.37	0.25	0.46	0.33	0.39	0.25	0.47	0.59	0.56	0.68
	3	31.700	0.53	0.53	0.36	0.55	0.40	0.39	0.27	0.32	0.24	0.41	0.28	0.33	0.22	0.41	0.52	0.51	0.55
	4	23.500	0.47	0.45	0.31	0.50	0.35	0.34	0.22	0.32	0.21	0.36	0.23	0.34	0.19	0.35	0.45	0.44	0.50
	5	18.100	0.42	0.42	0.27	0.47	0.33	0.33	0.19	0.32	0.19	0.33	0.20	0.34	0.17	0.32	0.42	0.40	0.47
	6	12.300	0.38	0.38	0.26	0.46	0.32	0.32	0.17	0.32	0.18	0.30	0.18	0.33	0.16	0.30	0.38	0.37	0.46
	7	4.800	0.33	0.33	0.26	0.42	0.30	0.30	0.15	0.29	0.17	0.27	0.15	0.31	0.15	0.29	0.32	0.32	0.42
	8	-1.700	0.31	0.31	0.24	0.37	0.30	0.29	0.14	0.26	0.16	0.26	0.16	0.28	0.15	0.28	0.28	0.29	0.37
	9	-8.200	0.32	0.31	0.22	0.30	0.32	0.31	0.14	0.23	0.14	0.26	0.16	0.24	0.15	0.29	0.24	0.25	0.32
	10	-13.700	0.34	0.33	0.26	0.30	0.34	0.33	0.14	0.23	0.13	0.27	0.16	0.24	0.15	0.29	0.22	0.22	0.34

表4. 1-1(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉建屋) (2/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
原子炉建屋	1	49.700	0.50	0.32	0.33	0.25	0.24	0.26	0.25	0.20	0.50
	2	38.200	0.49	0.31	0.31	0.23	0.24	0.24	0.24	0.18	0.49
	3	31.700	0.47	0.30	0.31	0.22	0.23	0.23	0.23	0.16	0.47
	4	23.500	0.46	0.30	0.30	0.21	0.23	0.22	0.23	0.15	0.46
	5	18.100	0.45	0.29	0.30	0.21	0.22	0.22	0.22	0.14	0.45
	6	12.300	0.43	0.29	0.30	0.20	0.22	0.22	0.21	0.13	0.43
	7	4.800	0.41	0.28	0.29	0.20	0.21	0.21	0.20	0.13	0.41
	8	-1.700	0.40	0.27	0.30	0.20	0.20	0.20	0.18	0.13	0.40
	9	-8.200	0.39	0.25	0.30	0.20	0.20	0.20	0.18	0.13	0.39
	10	-13.700	0.39	0.25	0.29	0.19	0.20	0.20	0.18	0.13	0.39

表4. 1-1(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉建屋) (3/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
原子炉建屋	1	49.700	1.19	1.11	0.65	0.86	0.68	0.63	0.47	0.61	0.41	0.67	0.49	0.62	0.41	0.70	0.83	0.80	1.19
	2	38.200	0.82	0.80	0.48	0.72	0.56	0.52	0.37	0.45	0.30	0.55	0.39	0.47	0.30	0.56	0.71	0.67	0.82
	3	31.700	0.64	0.64	0.43	0.66	0.48	0.47	0.32	0.38	0.28	0.49	0.34	0.40	0.26	0.50	0.62	0.61	0.66
	4	23.500	0.56	0.54	0.37	0.60	0.42	0.41	0.27	0.38	0.25	0.43	0.28	0.41	0.23	0.42	0.54	0.53	0.60
	5	18.100	0.50	0.50	0.33	0.56	0.39	0.39	0.23	0.39	0.23	0.40	0.24	0.41	0.20	0.38	0.50	0.48	0.56
	6	12.300	0.46	0.46	0.32	0.55	0.39	0.38	0.21	0.38	0.22	0.36	0.21	0.40	0.19	0.36	0.46	0.44	0.55
	7	4.800	0.40	0.40	0.31	0.51	0.36	0.36	0.17	0.34	0.20	0.32	0.18	0.37	0.18	0.34	0.39	0.39	0.51
	8	-1.700	0.37	0.37	0.28	0.44	0.36	0.35	0.17	0.31	0.19	0.31	0.19	0.33	0.18	0.34	0.34	0.34	0.44
	9	-8.200	0.38	0.37	0.27	0.36	0.38	0.37	0.17	0.28	0.17	0.31	0.19	0.29	0.18	0.34	0.29	0.30	0.38
	10	-13.700	0.41	0.40	0.31	0.35	0.40	0.40	0.17	0.27	0.16	0.32	0.19	0.29	0.18	0.35	0.26	0.26	0.41

表4. 1-1(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉建屋) (4/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
原子炉建屋	1	49.700	0.60	0.38	0.39	0.30	0.29	0.31	0.30	0.24	0.60
	2	38.200	0.58	0.37	0.38	0.28	0.28	0.29	0.29	0.21	0.58
	3	31.700	0.57	0.36	0.37	0.26	0.28	0.28	0.28	0.19	0.57
	4	23.500	0.55	0.36	0.36	0.26	0.27	0.27	0.27	0.17	0.55
	5	18.100	0.54	0.35	0.36	0.25	0.27	0.26	0.26	0.17	0.54
	6	12.300	0.52	0.35	0.35	0.24	0.26	0.26	0.25	0.16	0.52
	7	4.800	0.49	0.33	0.35	0.24	0.25	0.25	0.23	0.15	0.49
	8	-1.700	0.48	0.32	0.35	0.23	0.24	0.24	0.22	0.15	0.48
	9	-8.200	0.47	0.30	0.35	0.23	0.24	0.24	0.21	0.15	0.47
	10	-13.700	0.47	0.30	0.35	0.23	0.23	0.24	0.21	0.16	0.47

表4. 1-2(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(原子炉本体の基礎) (1/6)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			水平	水平
原子炉遮蔽壁	35	21.200	0.74	0.90
	34	19.138	0.70	0.86
	33	18.440	0.68	0.85
	32	18.100	0.67	0.84
	31	16.850	0.64	0.80
	30	15.600	0.59	0.75
	29	13.950	0.54	0.68
原子炉本体基礎	28	12.300	0.49	0.62
	27	8.200	0.46	0.58
	26	7.000	0.45	0.56
	25	4.500	0.43	0.54
	24	3.500	0.42	0.53
	23	1.700	0.40	0.50
	22	-0.180	0.38	0.49
	21	-2.100	0.37	0.46
	20	-3.100	0.36	0.45
	19	-4.700	0.35	0.43
原子炉圧力容器	44	26.013	0.88	1.06
	43	22.653	0.80	0.98
	42	20.494	0.75	0.93
	41	18.716	0.71	0.88
	40	16.506	0.65	0.81
	39	12.270	0.55	0.69
	38	9.439	0.49	0.62
	37	6.056	0.46	0.58
	36	4.950	0.45	0.56
原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	18	27.940	0.56	0.68
	17	25.365	0.54	0.66
	16	24.400	0.54	0.66

表4. 1-2(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(原子炉本体の基礎) (2/6)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			鉛直	鉛直
原子炉遮蔽壁	18	21.200	0.44	0.62
	17	19.138	0.44	0.62
	16	18.440	0.44	0.62
	15	18.100	0.44	0.62
	14	16.850	0.44	0.60
	13	15.600	0.44	0.60
	12	13.950	0.43	0.59
原子炉本体基礎	11	12.300	0.43	0.58
	10	8.200	0.43	0.58
	9	7.000	0.43	0.58
	8	4.500	0.43	0.56
	7	3.500	0.43	0.55
	6	1.700	0.42	0.54
	5	-0.180	0.42	0.53
	4	-2.100	0.42	0.51
	3	-3.100	0.42	0.51
	2	-4.700	0.42	0.51
原子炉圧力容器	27	26.013	0.43	0.59
	26	22.653	0.43	0.59
	25	20.494	0.43	0.59
	24	18.716	0.43	0.59
	23	16.506	0.43	0.59
	22	12.270	0.43	0.59
	21	9.439	0.43	0.59
	20	6.056	0.43	0.59
	19	4.950	0.44	0.60
原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	43	27.940	0.47	0.60
	42	25.365	0.47	0.60
	41	24.400	0.47	0.60

表4. 1-2(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(原子炉本体の基礎) (3/6)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			水平	水平
原子炉遮蔽壁	35	21.200	0.89	1.08
	34	19.138	0.83	1.03
	33	18.440	0.82	1.02
	32	18.100	0.81	1.01
	31	16.850	0.76	0.95
	30	15.600	0.71	0.90
	29	13.950	0.64	0.81
原子炉本体基礎	28	12.300	0.58	0.73
	27	8.200	0.56	0.69
	26	7.000	0.54	0.68
	25	4.500	0.51	0.64
	24	3.500	0.50	0.63
	23	1.700	0.48	0.60
	22	-0.180	0.45	0.58
	21	-2.100	0.45	0.55
	20	-3.100	0.44	0.54
	19	-4.700	0.42	0.53
原子炉圧力容器	44	26.013	1.05	1.28
	43	22.653	0.96	1.18
	42	20.494	0.90	1.11
	41	18.716	0.85	1.05
	40	16.506	0.78	0.98
	39	12.270	0.66	0.84
	38	9.439	0.59	0.75
	37	6.056	0.55	0.69
	36	4.950	0.54	0.68
原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	18	27.940	0.68	0.81
	17	25.365	0.65	0.79
	16	24.400	0.64	0.79

表4. 1-2(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(原子炉本体の基礎) (4/6)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			鉛直	鉛直
原子炉遮蔽壁	18	21.200	0.53	0.73
	17	19.138	0.53	0.73
	16	18.440	0.53	0.73
	15	18.100	0.53	0.73
	14	16.850	0.53	0.72
	13	15.600	0.52	0.72
	12	13.950	0.52	0.71
原子炉本体基礎	11	12.300	0.52	0.69
	10	8.200	0.51	0.69
	9	7.000	0.51	0.68
	8	4.500	0.51	0.67
	7	3.500	0.51	0.66
	6	1.700	0.51	0.64
	5	-0.180	0.50	0.63
	4	-2.100	0.50	0.62
	3	-3.100	0.50	0.62
	2	-4.700	0.50	0.62
原子炉圧力容器	27	26.013	0.52	0.71
	26	22.653	0.52	0.71
	25	20.494	0.52	0.71
	24	18.716	0.52	0.71
	23	16.506	0.52	0.71
	22	12.270	0.52	0.71
	21	9.439	0.52	0.69
	20	6.056	0.52	0.71
	19	4.950	0.52	0.72
原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	43	27.940	0.56	0.72
	42	25.365	0.56	0.72
	41	24.400	0.56	0.72

表4. 1-2(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(原子炉本体の基礎) (5/6)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 (3. 0C _i)	静的震度 (3. 6C _i)
			水平	水平
原子炉遮蔽壁	35	21. 200	0. 65	0. 78
	34	19. 138	0. 65	0. 78
	33	18. 440	0. 65	0. 78
	32	18. 100	0. 61	0. 74
	31	16. 850	0. 61	0. 74
	30	15. 600	0. 61	0. 74
	29	13. 950	0. 61	0. 74
原子炉本体基礎	28	12. 300	0. 56	0. 67
	27	8. 200	0. 56	0. 67
	26	7. 000	0. 56	0. 67
	25	4. 500	0. 52	0. 62
	24	3. 500	0. 52	0. 62
	23	1. 700	0. 52	0. 62
	22	-0. 180	0. 52	0. 62
	21	-2. 100	0. 48	0. 58
	20	-3. 100	0. 48	0. 58
	19	-4. 700	0. 48	0. 58
原子炉压力容器	44	26. 013	0. 73	0. 88
	43	22. 653	0. 65	0. 78
	42	20. 494	0. 65	0. 78
	41	18. 716	0. 65	0. 78
	40	16. 506	0. 61	0. 74
	39	12. 270	0. 56	0. 67
	38	9. 439	0. 56	0. 67
	37	6. 056	0. 56	0. 67
	36	4. 950	0. 56	0. 67
原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	18	27. 940	0. 73	0. 88
	17	25. 365	0. 73	0. 88
	16	24. 400	0. 73	0. 88

表4. 1-2(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(原子炉本体の基礎) (6/6)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 (1. 0C _v)	静的震度 (1. 2C _v)
			鉛直	鉛直
原子炉遮蔽壁	18	21. 200	0. 24	0. 29
	17	19. 138		
	16	18. 440		
	15	18. 100		
	14	16. 850		
	13	15. 600		
原子炉本体基礎	12	13. 950		
	11	12. 300		
	10	8. 200		
	9	7. 000		
	8	4. 500		
	7	3. 500		
	6	1. 700		
	5	-0. 180		
	4	-2. 100		
	3	-3. 100		
原子炉压力容器	2	-4. 700		
	27	26. 013		
	26	22. 653		
	25	20. 494		
	24	18. 716		
	23	16. 506		
	22	12. 270		
	21	9. 439		
	20	6. 056		
原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	19	4. 950		
	43	27. 940		
	42	25. 365		
	41	24. 400		

表4. 1-2(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉本体の基礎) (1/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
原子炉遮蔽壁	35	21.200	0.65	0.60	0.34	0.70	0.41	0.41	0.22	0.45	0.23	0.40	0.21	0.47	0.23	0.35	0.51	0.48	0.70
	34	19.138	0.60	0.56	0.33	0.66	0.39	0.38	0.21	0.43	0.22	0.38	0.20	0.45	0.21	0.34	0.49	0.45	0.66
	33	18.440	0.58	0.54	0.32	0.64	0.38	0.37	0.20	0.42	0.21	0.37	0.20	0.44	0.21	0.33	0.48	0.44	0.64
	32	18.100	0.57	0.54	0.32	0.64	0.37	0.36	0.20	0.42	0.21	0.37	0.20	0.43	0.20	0.33	0.47	0.44	0.64
	31	16.850	0.53	0.50	0.31	0.61	0.36	0.36	0.20	0.40	0.21	0.35	0.19	0.42	0.19	0.33	0.45	0.42	0.61
	30	15.600	0.49	0.47	0.30	0.57	0.35	0.35	0.19	0.38	0.20	0.34	0.19	0.40	0.18	0.32	0.43	0.40	0.57
	29	13.950	0.43	0.41	0.28	0.52	0.34	0.34	0.18	0.35	0.19	0.32	0.18	0.37	0.16	0.31	0.40	0.38	0.52
原子炉本体基礎	28	12.300	0.38	0.39	0.27	0.48	0.33	0.32	0.17	0.33	0.18	0.31	0.17	0.35	0.16	0.30	0.38	0.36	0.48
	27	8.200	0.36	0.36	0.26	0.46	0.32	0.33	0.16	0.30	0.17	0.29	0.16	0.33	0.16	0.29	0.35	0.35	0.46
	26	7.000	0.35	0.35	0.26	0.45	0.32	0.32	0.15	0.30	0.17	0.29	0.15	0.32	0.16	0.29	0.34	0.34	0.45
	25	4.500	0.33	0.34	0.25	0.41	0.30	0.31	0.14	0.28	0.16	0.28	0.15	0.31	0.15	0.28	0.32	0.33	0.41
	24	3.500	0.32	0.33	0.25	0.41	0.30	0.31	0.14	0.28	0.16	0.28	0.15	0.30	0.15	0.29	0.32	0.33	0.41
	23	1.700	0.32	0.33	0.24	0.39	0.30	0.30	0.14	0.27	0.16	0.27	0.15	0.29	0.15	0.28	0.31	0.32	0.39
	22	-0.180	0.31	0.31	0.24	0.37	0.29	0.29	0.14	0.26	0.16	0.27	0.15	0.28	0.15	0.28	0.29	0.30	0.37
	21	-2.100	0.30	0.30	0.23	0.35	0.30	0.29	0.14	0.25	0.15	0.27	0.15	0.28	0.15	0.28	0.28	0.29	0.35
	20	-3.100	0.30	0.30	0.23	0.34	0.30	0.30	0.14	0.25	0.15	0.26	0.16	0.27	0.15	0.28	0.27	0.29	0.34
19	-4.700	0.31	0.30	0.23	0.34	0.31	0.31	0.14	0.25	0.15	0.27	0.16	0.26	0.15	0.29	0.26	0.27	0.34	
原子炉圧力容器	44	26.013	0.79	0.73	0.39	0.82	0.51	0.49	0.25	0.51	0.26	0.46	0.25	0.52	0.28	0.37	0.60	0.55	0.82
	43	22.653	0.70	0.65	0.36	0.74	0.44	0.43	0.23	0.47	0.24	0.42	0.23	0.49	0.25	0.35	0.55	0.51	0.74
	42	20.494	0.64	0.61	0.34	0.70	0.40	0.39	0.22	0.45	0.23	0.39	0.21	0.47	0.23	0.34	0.52	0.48	0.70
	41	18.716	0.60	0.57	0.33	0.66	0.37	0.37	0.21	0.43	0.22	0.37	0.20	0.45	0.21	0.34	0.49	0.46	0.66
	40	16.506	0.55	0.53	0.31	0.61	0.36	0.36	0.20	0.40	0.21	0.35	0.19	0.43	0.19	0.33	0.45	0.43	0.61
	39	12.270	0.42	0.41	0.29	0.53	0.34	0.34	0.18	0.36	0.19	0.33	0.18	0.38	0.16	0.31	0.39	0.37	0.53
	38	9.439	0.37	0.39	0.27	0.49	0.33	0.33	0.17	0.33	0.18	0.31	0.16	0.35	0.16	0.30	0.35	0.35	0.49
	37	6.056	0.35	0.36	0.26	0.45	0.31	0.30	0.15	0.31	0.17	0.29	0.15	0.32	0.16	0.29	0.35	0.34	0.45
36	4.950	0.34	0.36	0.26	0.44	0.31	0.30	0.15	0.30	0.17	0.29	0.15	0.32	0.15	0.29	0.34	0.34	0.44	
原子炉格納容器 ドライウェル 上鏡	18	27.940	0.49	0.49	0.33	0.52	0.37	0.36	0.25	0.31	0.22	0.38	0.26	0.32	0.20	0.38	0.49	0.47	0.52
	17	25.365	0.47	0.47	0.31	0.51	0.36	0.35	0.23	0.31	0.21	0.36	0.24	0.32	0.20	0.36	0.47	0.45	0.51
	16	24.400	0.47	0.46	0.31	0.50	0.36	0.35	0.23	0.31	0.21	0.36	0.24	0.33	0.19	0.35	0.46	0.44	0.50

表4. 1-2(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉本体の基礎) (2/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
原子炉遮蔽壁	18	21.200	0.44	0.29	0.32	0.22	0.24	0.21	0.23	0.21	0.44
	17	19.138	0.44	0.29	0.32	0.22	0.24	0.21	0.23	0.20	0.44
	16	18.440	0.44	0.29	0.32	0.22	0.24	0.21	0.23	0.20	0.44
	15	18.100	0.44	0.29	0.32	0.22	0.24	0.21	0.23	0.20	0.44
	14	16.850	0.44	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	13	15.600	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.43
	12	13.950	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
原子炉本体基礎	11	12.300	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	10	8.200	0.42	0.28	0.31	0.21	0.22	0.20	0.21	0.18	0.42
	9	7.000	0.42	0.28	0.31	0.21	0.22	0.20	0.21	0.18	0.42
	8	4.500	0.41	0.27	0.31	0.21	0.21	0.20	0.20	0.17	0.41
	7	3.500	0.41	0.27	0.31	0.21	0.21	0.20	0.20	0.16	0.41
	6	1.700	0.40	0.27	0.31	0.20	0.20	0.20	0.20	0.16	0.40
	5	-0.180	0.40	0.27	0.30	0.20	0.20	0.20	0.19	0.15	0.40
	4	-2.100	0.39	0.26	0.30	0.20	0.19	0.20	0.19	0.14	0.39
	3	-3.100	0.39	0.26	0.30	0.20	0.20	0.20	0.19	0.14	0.39
2	-4.700	0.39	0.26	0.30	0.20	0.20	0.20	0.18	0.13	0.39	
原子炉圧力容器	27	26.013	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	26	22.653	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	25	20.494	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	24	18.716	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	23	16.506	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	22	12.270	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	21	9.439	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	20	6.056	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
19	4.950	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43	
原子炉格納容器 ドライウェル 上鏡	43	27.940	0.46	0.30	0.30	0.21	0.22	0.22	0.22	0.14	0.46
	42	25.365	0.46	0.30	0.30	0.21	0.22	0.22	0.22	0.14	0.46
	41	24.400	0.46	0.30	0.30	0.21	0.22	0.22	0.22	0.14	0.46

表4. 1-2(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉本体の基礎) (3/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
原子炉遮蔽壁	35	21.200	0.77	0.72	0.41	0.83	0.50	0.49	0.26	0.54	0.27	0.48	0.25	0.57	0.27	0.41	0.62	0.57	0.83
	34	19.138	0.72	0.67	0.39	0.79	0.46	0.45	0.25	0.51	0.26	0.45	0.24	0.53	0.25	0.40	0.58	0.54	0.79
	33	18.440	0.69	0.65	0.39	0.77	0.45	0.44	0.24	0.50	0.25	0.44	0.24	0.52	0.25	0.40	0.57	0.53	0.77
	32	18.100	0.69	0.64	0.38	0.76	0.44	0.43	0.24	0.50	0.25	0.44	0.24	0.52	0.24	0.40	0.57	0.53	0.76
	31	16.850	0.64	0.60	0.37	0.73	0.43	0.43	0.24	0.47	0.25	0.42	0.23	0.50	0.23	0.39	0.54	0.51	0.73
	30	15.600	0.59	0.56	0.36	0.68	0.42	0.42	0.23	0.45	0.24	0.41	0.23	0.48	0.22	0.38	0.51	0.48	0.68
	29	13.950	0.51	0.49	0.34	0.63	0.40	0.40	0.22	0.42	0.23	0.39	0.22	0.45	0.20	0.37	0.48	0.45	0.63
原子炉本体基礎	28	12.300	0.46	0.47	0.32	0.58	0.39	0.39	0.20	0.39	0.22	0.37	0.21	0.42	0.19	0.36	0.45	0.44	0.58
	27	8.200	0.43	0.43	0.31	0.55	0.39	0.39	0.19	0.36	0.21	0.35	0.19	0.39	0.19	0.35	0.42	0.42	0.55
	26	7.000	0.42	0.42	0.31	0.54	0.38	0.38	0.18	0.36	0.20	0.34	0.18	0.39	0.19	0.35	0.41	0.41	0.54
	25	4.500	0.40	0.41	0.30	0.49	0.36	0.37	0.17	0.34	0.19	0.33	0.17	0.37	0.18	0.34	0.39	0.40	0.49
	24	3.500	0.39	0.39	0.29	0.49	0.36	0.37	0.17	0.33	0.19	0.33	0.18	0.36	0.18	0.34	0.38	0.39	0.49
	23	1.700	0.38	0.39	0.29	0.47	0.36	0.36	0.16	0.32	0.19	0.32	0.18	0.35	0.18	0.34	0.37	0.38	0.47
	22	-0.180	0.37	0.38	0.28	0.44	0.34	0.35	0.16	0.31	0.19	0.32	0.18	0.34	0.18	0.33	0.35	0.36	0.44
	21	-2.100	0.36	0.36	0.27	0.42	0.36	0.35	0.16	0.30	0.18	0.32	0.18	0.33	0.18	0.34	0.34	0.35	0.42
	20	-3.100	0.36	0.36	0.27	0.41	0.36	0.36	0.17	0.30	0.18	0.32	0.19	0.32	0.18	0.34	0.33	0.34	0.41
19	-4.700	0.37	0.36	0.28	0.40	0.37	0.37	0.17	0.30	0.18	0.32	0.19	0.32	0.18	0.34	0.31	0.33	0.40	
原子炉圧力容器	44	26.013	0.94	0.88	0.47	0.99	0.61	0.59	0.29	0.61	0.32	0.55	0.30	0.63	0.33	0.45	0.72	0.66	0.99
	43	22.653	0.83	0.78	0.43	0.89	0.53	0.52	0.27	0.56	0.29	0.50	0.27	0.58	0.29	0.42	0.66	0.61	0.89
	42	20.494	0.77	0.73	0.41	0.83	0.48	0.47	0.26	0.54	0.28	0.47	0.25	0.56	0.27	0.41	0.62	0.58	0.83
	41	18.716	0.72	0.69	0.39	0.79	0.45	0.44	0.25	0.51	0.26	0.45	0.24	0.54	0.25	0.40	0.59	0.55	0.79
	40	16.506	0.66	0.63	0.38	0.73	0.43	0.43	0.24	0.48	0.25	0.42	0.23	0.51	0.23	0.39	0.54	0.51	0.73
	39	12.270	0.51	0.49	0.34	0.64	0.40	0.41	0.21	0.43	0.23	0.39	0.21	0.45	0.20	0.37	0.46	0.44	0.64
	38	9.439	0.45	0.46	0.33	0.58	0.40	0.39	0.20	0.39	0.21	0.37	0.20	0.42	0.19	0.36	0.42	0.42	0.58
	37	6.056	0.42	0.43	0.31	0.53	0.37	0.36	0.18	0.37	0.20	0.35	0.18	0.39	0.19	0.35	0.41	0.41	0.53
36	4.950	0.40	0.43	0.31	0.53	0.37	0.36	0.18	0.36	0.20	0.35	0.18	0.38	0.18	0.35	0.41	0.40	0.53	
原子炉格納容器 ドライウェル 上鏡	18	27.940	0.59	0.59	0.39	0.63	0.44	0.43	0.29	0.37	0.26	0.45	0.31	0.39	0.24	0.45	0.58	0.56	0.63
	17	25.365	0.57	0.56	0.37	0.61	0.43	0.42	0.28	0.37	0.25	0.44	0.29	0.39	0.24	0.43	0.56	0.54	0.61
	16	24.400	0.56	0.55	0.37	0.60	0.43	0.41	0.27	0.37	0.25	0.43	0.28	0.39	0.23	0.42	0.55	0.53	0.60

表4. 1-2(2) 最大応答加速度 (S d) (原子炉本体の基礎) (4/4)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
原子炉遮蔽壁	18	21.200	0.53	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.28	0.25	0.53
	17	19.138	0.53	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.28	0.24	0.53
	16	18.440	0.53	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.53
	15	18.100	0.52	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	14	16.850	0.52	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	13	15.600	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	12	13.950	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.27	0.23	0.51
原子炉本体基礎	11	12.300	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	10	8.200	0.50	0.33	0.38	0.25	0.26	0.24	0.25	0.22	0.50
	9	7.000	0.50	0.33	0.37	0.25	0.26	0.24	0.25	0.21	0.50
	8	4.500	0.49	0.33	0.37	0.25	0.25	0.24	0.24	0.20	0.49
	7	3.500	0.49	0.33	0.37	0.25	0.25	0.24	0.24	0.20	0.49
	6	1.700	0.48	0.32	0.37	0.24	0.24	0.24	0.24	0.19	0.48
	5	-0.180	0.48	0.32	0.36	0.24	0.24	0.24	0.23	0.18	0.48
	4	-2.100	0.47	0.31	0.36	0.24	0.23	0.24	0.23	0.17	0.47
	3	-3.100	0.47	0.31	0.36	0.24	0.23	0.24	0.22	0.16	0.47
2	-4.700	0.47	0.31	0.35	0.24	0.24	0.24	0.22	0.16	0.47	
原子炉圧力容器	27	26.013	0.52	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.27	0.23	0.52
	26	22.653	0.52	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.27	0.23	0.52
	25	20.494	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.27	0.23	0.51
	24	18.716	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	23	16.506	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	22	12.270	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	21	9.439	0.51	0.34	0.38	0.25	0.26	0.25	0.26	0.22	0.51
	20	6.056	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
19	4.950	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52	
原子炉格納容器 ドライウェル 上鏡	43	27.940	0.55	0.36	0.36	0.26	0.27	0.27	0.27	0.17	0.55
	42	25.365	0.55	0.36	0.36	0.26	0.27	0.27	0.27	0.17	0.55
	41	24.400	0.55	0.36	0.36	0.26	0.27	0.27	0.27	0.17	0.55

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (1/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			水平	水平
燃料集合体	100	14.379	0.50	0.62
	92	13.676	0.54	0.67
	91	12.973	0.64	0.79
	90	12.270	0.65	0.80
	89	11.567	0.58	0.75
	88	10.864	0.48	0.62
	99	10.161	0.49	0.62

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (2/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			水平	水平
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シュラウド	74	19.472	1.85	1.94
	73	18.716	1.38	1.54
	72	17.179	0.67	0.81
	71	16.506	0.64	0.72
	70	15.641	0.62	0.72
	69	15.266	0.61	0.72
	68	14.379	0.59	0.73
	67	13.676	0.58	0.73
	66	12.973	0.58	0.73
	65	12.270	0.58	0.73
	64	11.567	0.59	0.73
	63	10.864	0.59	0.73
	62	10.161	0.59	0.73
	61	9.439	0.57	0.73
	60	8.413	0.56	0.72
	59	7.388	0.55	0.71
58	6.795	0.55	0.71	
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	83	6.347	0.59	0.73
	82	5.819	0.56	0.69
	81	5.069	0.54	0.68
	80	4.216	0.57	0.69
	79	3.363	0.57	0.73
	78	2.509	0.63	0.79
	77	1.655	0.63	0.84
	76	0.937	0.67	0.92
	75	0.258	0.74	0.98

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (3/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			水平	水平
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	5.819	0.54	0.69
	107	5.069	0.55	0.68
	106	4.216	0.60	0.69
	105	3.363	0.64	0.71
	104	2.509	0.64	0.73
	103	1.655	0.63	0.84
	102	0.937	0.66	0.98
	101	0.258	0.71	1.15
制御棒案内管	98	10.161	0.59	0.73
	87	9.439	0.59	0.75
	86	8.413	0.62	0.76
	85	7.388	0.62	0.75
	84	6.795	0.59	0.73
	97	6.347	0.59	0.73
原子炉冷却材 再循環ポンプ	96	6.253	0.54	0.69
	95	5.376	0.74	0.89
	94	4.523	0.87	1.24
	93	3.671	1.05	1.59

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (4/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			水平	水平
原子炉压力容器	57	26.013	1.05	1.24
	56	22.653	0.93	1.14
	55	20.494	0.88	1.08
	54	18.716	0.83	1.02
	53	17.179	0.79	0.98
	52	16.506	0.77	0.95
	51	15.641	0.74	0.93
	50	15.266	0.72	0.92
	49	14.379	0.70	0.89
	48	13.676	0.68	0.86
	47	12.973	0.67	0.84
	46	12.270	0.65	0.81
	45	11.567	0.63	0.80
	44	10.864	0.62	0.77
	43	10.161	0.60	0.76
	42	9.439	0.58	0.73
	41	8.413	0.57	0.72
40	7.388	0.55	0.71	
39	6.795	0.55	0.71	

注：原子炉内部構造物の評価に本表に記載の値を用いる。

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (5/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			鉛直	鉛直
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シュラウド	55	19.472	0.54	0.75
	54	18.716	0.54	0.75
	53	17.179	0.54	0.75
	52	16.506	0.54	0.75
	51	15.641	0.53	0.73
	50	15.266	0.53	0.73
	49	14.379	0.53	0.73
	48	13.676	0.52	0.73
	47	12.973	0.52	0.72
	46	12.270	0.52	0.72
	45	11.567	0.52	0.72
	44	10.864	0.52	0.72
	43	10.161	0.52	0.71
	42	9.439	0.52	0.71
	41	8.413	0.52	0.71
	40	7.388	0.52	0.71
	39	6.795	0.52	0.71
	38	5.886	0.52	0.71
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	64	6.347	0.52	0.72
	63	5.819	0.52	0.72
	62	5.069	0.52	0.71
	61	4.216	0.52	0.72
	60	3.363	0.52	0.72
	59	2.509	0.52	0.72
	58	1.655	0.52	0.72
	57	0.937	0.52	0.72
	56	0.258	0.52	0.72

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (6/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			鉛直	鉛直
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	81	5.819	0.52	0.71
	80	5.069	0.52	0.71
	79	4.216	0.52	0.71
	78	3.363	0.52	0.71
	77	2.509	0.52	0.71
	76	1.655	0.52	0.71
	75	0.937	0.52	0.71
	74	0.258	0.52	0.71
制御棒案内管	69	10.161	0.53	0.73
	68	9.439	0.53	0.73
	67	8.413	0.53	0.73
	66	7.388	0.53	0.72
	65	6.795	0.53	0.72
原子炉冷却材 再循環ポンプ	73	6.253	0.52	0.71
	72	5.376	0.52	0.71
	71	4.523	0.52	0.71
	70	3.671	0.52	0.71

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (7/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$	
			設計用最大応答加速度 I	設計用最大応答加速度 II
			S d	S d
			鉛直	鉛直
原子炉压力容器	37	26.013	0.52	0.69
	36	22.653	0.52	0.69
	35	20.494	0.52	0.69
	34	18.716	0.52	0.69
	33	17.179	0.52	0.69
	32	16.506	0.52	0.69
	31	15.641	0.52	0.69
	30	15.266	0.52	0.69
	29	14.379	0.52	0.69
	28	13.676	0.52	0.69
	27	12.973	0.52	0.69
	26	12.270	0.52	0.69
	25	11.567	0.52	0.69
	24	10.864	0.52	0.69
	23	10.161	0.52	0.69
	22	9.439	0.52	0.69
	21	8.413	0.52	0.69
20	7.388	0.52	0.69	
19	6.795	0.52	0.69	

注：原子炉内部構造物の評価に本表に記載の値を用いる。

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物) (8/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 ($3.6C_i$)
			水平
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シュラウド	74	19.472	0.78
	73	18.716	0.78
	72	17.179	0.74
	71	16.506	0.74
	70	15.641	0.74
	69	15.266	0.74
	68	14.379	0.74
	67	13.676	0.74
	66	12.973	0.74
	65	12.270	0.67
	64	11.567	0.67
	63	10.864	0.67
	62	10.161	0.67
	61	9.439	0.67
	60	8.413	0.67
	59	7.388	0.67
58	6.795	0.67	
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	83	6.347	0.67
	82	5.819	0.67
	81	5.069	0.67
	80	4.216	0.62
	79	3.363	0.62
	78	2.509	0.62
	77	1.655	0.62
	76	0.937	0.62
75	0.258	0.62	

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (9/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 (3. 6C _i)
			水平
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	5. 819	0. 62
	107	5. 069	0. 62
	106	4. 216	0. 62
	105	3. 363	0. 62
	104	2. 509	0. 62
	103	1. 655	0. 62
	102	0. 937	0. 62
	101	0. 258	0. 62
制御棒案内管	98	10. 161	0. 67
	87	9. 439	0. 67
	86	8. 413	0. 67
	85	7. 388	0. 67
	84	6. 795	0. 67
	97	6. 347	0. 67
原子炉冷却材 再循環ポンプ	96	6. 253	0. 67
	95	5. 376	0. 67
	94	4. 523	0. 62
	93	3. 671	0. 62
燃料集合体	100	14. 379	0. 74
	92	13. 676	0. 74
	91	12. 973	0. 74
	90	12. 270	0. 67
	89	11. 567	0. 67
	88	10. 864	0. 67
	99	10. 161	0. 67

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (10/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 ($3.6C_i$)
			水平
原子炉压力容器	57	26.013	0.88
	56	22.653	0.78
	55	20.494	0.78
	54	18.716	0.78
	53	17.179	0.74
	52	16.506	0.74
	51	15.641	0.74
	50	15.266	0.74
	49	14.379	0.74
	48	13.676	0.74
	47	12.973	0.74
	46	12.270	0.67
	45	11.567	0.67
	44	10.864	0.67
	43	10.161	0.67
	42	9.439	0.67
	41	8.413	0.67
40	7.388	0.67	
39	6.795	0.67	

注：原子炉内部構造物の評価に本表に記載の値を用いる。

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (11/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 (1.2C _v)
			鉛直
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シュラウド	55	19.472	0.29
	54	18.716	
	53	17.179	
	52	16.506	
	51	15.641	
	50	15.266	
	49	14.379	
	48	13.676	
	47	12.973	
	46	12.270	
	45	11.567	
	44	10.864	
	43	10.161	
	42	9.439	
	41	8.413	
	40	7.388	
39	6.795		
38	5.886		
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	64	6.347	
	63	5.819	
	62	5.069	
	61	4.216	
	60	3.363	
	59	2.509	
	58	1.655	
	57	0.937	
56	0.258		

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (12/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 (1. 2C _v)
			鉛直
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	81	5. 819	0. 29
	80	5. 069	
	79	4. 216	
	78	3. 363	
	77	2. 509	
	76	1. 655	
	75	0. 937	
	74	0. 258	
制御棒案内管	69	10. 161	
	68	9. 439	
	67	8. 413	
	66	7. 388	
	65	6. 795	
原子炉冷却材 再循環ポンプ	73	6. 253	
	72	5. 376	
	71	4. 523	
	70	3. 671	

表4. 1-3(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度
(炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (13/13)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 (1.2C _v)
			鉛直
原子炉压力容器	37	26.013	0.29
	36	22.653	
	35	20.494	
	34	18.716	
	33	17.179	
	32	16.506	
	31	15.641	
	30	15.266	
	29	14.379	
	28	13.676	
	27	12.973	
	26	12.270	
	25	11.567	
	24	10.864	
	23	10.161	
	22	9.439	
	21	8.413	
20	7.388		
19	6.795		

注：原子炉内部構造物の評価に本表に記載の値を用いる。

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物) (1/12)

構造物名	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シェラウド	74	19.472	1.06	1.08	0.61	1.49	0.76	0.71	0.52	0.88	0.61	0.85	0.56	0.91	0.47	0.74	0.51	0.51	1.49
	73	18.716	0.83	0.83	0.51	1.10	0.62	0.57	0.37	0.69	0.44	0.63	0.41	0.73	0.36	0.52	0.48	0.45	1.10
	72	17.179	0.55	0.53	0.40	0.52	0.40	0.38	0.21	0.44	0.24	0.33	0.22	0.49	0.20	0.31	0.49	0.46	0.55
	71	16.506	0.51	0.50	0.36	0.46	0.37	0.36	0.20	0.43	0.23	0.33	0.21	0.47	0.20	0.32	0.49	0.47	0.51
	70	15.641	0.49	0.48	0.35	0.46	0.35	0.34	0.19	0.41	0.22	0.33	0.20	0.45	0.19	0.32	0.47	0.45	0.49
	69	15.266	0.47	0.46	0.35	0.45	0.35	0.33	0.18	0.41	0.22	0.33	0.20	0.44	0.19	0.32	0.46	0.44	0.47
	68	14.379	0.46	0.46	0.34	0.46	0.33	0.33	0.18	0.40	0.21	0.32	0.19	0.43	0.18	0.32	0.46	0.44	0.46
	67	13.676	0.44	0.44	0.33	0.46	0.33	0.32	0.18	0.39	0.20	0.32	0.18	0.42	0.18	0.32	0.44	0.43	0.46
	66	12.973	0.43	0.43	0.33	0.46	0.33	0.33	0.17	0.39	0.20	0.32	0.18	0.42	0.17	0.31	0.43	0.42	0.46
	65	12.270	0.42	0.43	0.33	0.48	0.34	0.33	0.18	0.38	0.20	0.32	0.19	0.41	0.17	0.31	0.41	0.40	0.48
	64	11.567	0.40	0.40	0.32	0.48	0.34	0.33	0.17	0.36	0.19	0.31	0.18	0.39	0.17	0.31	0.40	0.39	0.48
	63	10.864	0.41	0.40	0.32	0.48	0.33	0.33	0.17	0.36	0.19	0.31	0.17	0.38	0.16	0.31	0.39	0.39	0.48
	62	10.161	0.40	0.39	0.30	0.47	0.32	0.32	0.18	0.36	0.19	0.31	0.17	0.38	0.16	0.31	0.39	0.38	0.47
	61	9.439	0.38	0.38	0.29	0.46	0.32	0.32	0.17	0.34	0.18	0.30	0.17	0.36	0.16	0.30	0.37	0.36	0.46
	60	8.413	0.39	0.39	0.29	0.46	0.32	0.31	0.17	0.34	0.18	0.31	0.17	0.36	0.16	0.30	0.37	0.36	0.46
59	7.388	0.37	0.37	0.27	0.45	0.31	0.31	0.16	0.32	0.17	0.30	0.16	0.34	0.16	0.30	0.35	0.34	0.45	
58	6.795	0.36	0.36	0.27	0.45	0.31	0.31	0.16	0.31	0.17	0.29	0.16	0.33	0.16	0.30	0.34	0.34	0.45	
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	83	6.347	0.40	0.40	0.28	0.48	0.33	0.32	0.17	0.32	0.17	0.30	0.17	0.34	0.16	0.30	0.35	0.35	0.48
	82	5.819	0.37	0.37	0.27	0.45	0.32	0.32	0.16	0.31	0.17	0.29	0.16	0.33	0.16	0.30	0.33	0.33	0.45
	81	5.069	0.35	0.36	0.27	0.43	0.31	0.31	0.15	0.30	0.17	0.29	0.15	0.32	0.16	0.29	0.33	0.33	0.43
	80	4.216	0.35	0.37	0.28	0.46	0.31	0.32	0.15	0.31	0.17	0.29	0.16	0.33	0.16	0.30	0.35	0.36	0.46
	79	3.363	0.37	0.37	0.27	0.47	0.31	0.30	0.15	0.31	0.17	0.28	0.15	0.32	0.16	0.30	0.34	0.36	0.47
	78	2.509	0.37	0.36	0.29	0.52	0.31	0.30	0.16	0.33	0.18	0.28	0.17	0.36	0.16	0.31	0.36	0.36	0.52
	77	1.655	0.38	0.39	0.29	0.51	0.31	0.30	0.17	0.36	0.18	0.28	0.18	0.38	0.17	0.32	0.35	0.34	0.51
	76	0.937	0.42	0.41	0.33	0.55	0.33	0.34	0.19	0.40	0.19	0.28	0.20	0.43	0.18	0.33	0.39	0.42	0.55
	75	0.258	0.51	0.54	0.37	0.58	0.36	0.38	0.21	0.44	0.20	0.31	0.23	0.48	0.19	0.35	0.44	0.52	0.58

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物) (2/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	5.819	0.35	0.36	0.27	0.44	0.31	0.31	0.15	0.31	0.17	0.29	0.16	0.33	0.16	0.29	0.34	0.34	0.44
	107	5.069	0.36	0.36	0.26	0.44	0.31	0.31	0.16	0.31	0.17	0.29	0.15	0.33	0.16	0.29	0.34	0.33	0.44
	106	4.216	0.39	0.37	0.27	0.48	0.31	0.31	0.16	0.31	0.17	0.29	0.16	0.32	0.16	0.29	0.35	0.35	0.48
	105	3.363	0.41	0.37	0.27	0.50	0.32	0.31	0.16	0.32	0.17	0.28	0.17	0.35	0.16	0.30	0.36	0.36	0.50
	104	2.509	0.41	0.38	0.28	0.52	0.31	0.31	0.16	0.35	0.17	0.28	0.18	0.36	0.16	0.31	0.35	0.37	0.52
	103	1.655	0.38	0.39	0.29	0.51	0.31	0.30	0.17	0.36	0.18	0.28	0.18	0.38	0.17	0.32	0.35	0.34	0.51
	102	0.937	0.42	0.40	0.32	0.54	0.34	0.34	0.19	0.38	0.19	0.28	0.19	0.41	0.17	0.33	0.35	0.37	0.54
	101	0.258	0.53	0.47	0.35	0.57	0.39	0.38	0.22	0.41	0.20	0.29	0.21	0.44	0.19	0.35	0.37	0.40	0.57
制御棒案内管	98	10.161	0.40	0.39	0.30	0.47	0.32	0.32	0.18	0.36	0.19	0.31	0.17	0.38	0.16	0.31	0.39	0.38	0.47
	87	9.439	0.39	0.39	0.29	0.48	0.33	0.32	0.17	0.34	0.18	0.30	0.17	0.36	0.16	0.30	0.38	0.37	0.48
	86	8.413	0.41	0.40	0.29	0.49	0.33	0.32	0.17	0.34	0.18	0.30	0.17	0.37	0.16	0.30	0.38	0.37	0.49
	85	7.388	0.42	0.40	0.29	0.49	0.33	0.32	0.17	0.33	0.18	0.30	0.17	0.35	0.16	0.30	0.36	0.36	0.49
	84	6.795	0.40	0.39	0.27	0.48	0.33	0.32	0.16	0.32	0.18	0.29	0.16	0.34	0.16	0.29	0.35	0.34	0.48
	97	6.347	0.40	0.40	0.28	0.48	0.33	0.32	0.17	0.32	0.17	0.30	0.17	0.34	0.16	0.30	0.35	0.35	0.48
原子炉冷却材 再循環ポンプ	96	6.253	0.36	0.36	0.27	0.44	0.31	0.31	0.16	0.31	0.17	0.29	0.16	0.33	0.16	0.29	0.34	0.33	0.44
	95	5.376	0.36	0.37	0.35	0.59	0.33	0.33	0.18	0.38	0.19	0.30	0.19	0.41	0.17	0.32	0.35	0.35	0.59
	94	4.523	0.45	0.44	0.39	0.72	0.38	0.37	0.23	0.43	0.26	0.32	0.23	0.47	0.19	0.34	0.35	0.35	0.72
	93	3.671	0.59	0.58	0.46	0.86	0.45	0.44	0.30	0.51	0.34	0.40	0.32	0.56	0.25	0.37	0.37	0.37	0.86
燃料集合体	100	14.379	0.46	0.46	0.34	0.46	0.33	0.33	0.18	0.40	0.21	0.32	0.19	0.43	0.18	0.32	0.46	0.44	0.46
	92	13.676	0.48	0.49	0.30	0.46	0.33	0.34	0.22	0.34	0.23	0.35	0.23	0.36	0.21	0.36	0.45	0.46	0.49
	91	12.973	0.53	0.58	0.38	0.49	0.38	0.38	0.25	0.33	0.24	0.41	0.27	0.34	0.23	0.44	0.50	0.51	0.58
	90	12.270	0.55	0.60	0.41	0.50	0.40	0.40	0.26	0.35	0.25	0.43	0.27	0.38	0.24	0.46	0.51	0.53	0.60
	89	11.567	0.50	0.54	0.36	0.48	0.38	0.38	0.24	0.32	0.24	0.40	0.25	0.35	0.22	0.42	0.48	0.49	0.54
	88	10.864	0.41	0.44	0.28	0.45	0.33	0.33	0.21	0.30	0.20	0.34	0.22	0.31	0.19	0.33	0.41	0.43	0.45
	99	10.161	0.40	0.39	0.30	0.47	0.32	0.32	0.18	0.36	0.19	0.31	0.17	0.38	0.16	0.31	0.39	0.38	0.47

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (3/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
原子炉压力容器	57	26.013	0.79	0.74	0.41	0.81	0.50	0.48	0.25	0.49	0.27	0.46	0.25	0.52	0.27	0.38	0.62	0.57	0.81
	56	22.653	0.69	0.66	0.35	0.71	0.44	0.42	0.23	0.46	0.24	0.42	0.22	0.48	0.24	0.35	0.55	0.51	0.71
	55	20.494	0.64	0.61	0.35	0.69	0.40	0.39	0.22	0.44	0.23	0.39	0.21	0.46	0.23	0.35	0.51	0.48	0.69
	54	18.716	0.59	0.57	0.34	0.66	0.38	0.38	0.21	0.42	0.22	0.37	0.21	0.44	0.21	0.34	0.48	0.46	0.66
	53	17.179	0.55	0.53	0.33	0.63	0.37	0.37	0.20	0.41	0.21	0.36	0.20	0.43	0.20	0.33	0.46	0.43	0.63
	52	16.506	0.53	0.51	0.32	0.61	0.36	0.36	0.20	0.40	0.21	0.36	0.20	0.42	0.19	0.33	0.45	0.42	0.61
	51	15.641	0.51	0.49	0.31	0.59	0.35	0.35	0.19	0.39	0.20	0.35	0.19	0.42	0.19	0.32	0.43	0.41	0.59
	50	15.266	0.50	0.48	0.30	0.58	0.35	0.35	0.19	0.39	0.20	0.34	0.19	0.41	0.18	0.32	0.43	0.41	0.58
	49	14.379	0.48	0.46	0.30	0.56	0.35	0.35	0.19	0.38	0.20	0.33	0.19	0.41	0.18	0.31	0.42	0.40	0.56
	48	13.676	0.45	0.44	0.30	0.55	0.35	0.35	0.19	0.38	0.19	0.33	0.18	0.40	0.17	0.31	0.40	0.39	0.55
	47	12.973	0.43	0.41	0.30	0.54	0.34	0.35	0.18	0.37	0.19	0.32	0.18	0.39	0.17	0.31	0.40	0.38	0.54
	46	12.270	0.41	0.41	0.29	0.53	0.34	0.34	0.18	0.36	0.19	0.32	0.18	0.38	0.17	0.31	0.39	0.38	0.53
	45	11.567	0.41	0.40	0.29	0.52	0.34	0.34	0.18	0.35	0.19	0.32	0.18	0.38	0.16	0.31	0.39	0.37	0.52
	44	10.864	0.40	0.39	0.28	0.51	0.33	0.34	0.17	0.34	0.18	0.31	0.17	0.37	0.16	0.31	0.38	0.36	0.51
	43	10.161	0.39	0.38	0.28	0.49	0.33	0.33	0.17	0.33	0.18	0.31	0.17	0.35	0.16	0.30	0.37	0.36	0.49
	42	9.439	0.38	0.38	0.27	0.48	0.32	0.32	0.17	0.32	0.18	0.30	0.17	0.35	0.16	0.30	0.36	0.35	0.48
	41	8.413	0.37	0.37	0.27	0.47	0.32	0.32	0.16	0.32	0.18	0.30	0.16	0.34	0.16	0.30	0.35	0.34	0.47
40	7.388	0.36	0.37	0.27	0.45	0.31	0.32	0.16	0.32	0.17	0.30	0.16	0.34	0.16	0.30	0.34	0.34	0.45	
39	6.795	0.36	0.36	0.27	0.45	0.31	0.31	0.16	0.31	0.17	0.29	0.16	0.33	0.16	0.30	0.34	0.34	0.45	

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (Sd) (炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物) (4/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シェラウド	55	19.472	0.45	0.29	0.33	0.22	0.24	0.21	0.23	0.21	0.45
	54	18.716	0.45	0.29	0.33	0.22	0.24	0.21	0.23	0.21	0.45
	53	17.179	0.45	0.29	0.33	0.22	0.24	0.21	0.23	0.21	0.45
	52	16.506	0.45	0.29	0.33	0.22	0.24	0.21	0.23	0.21	0.45
	51	15.641	0.44	0.29	0.32	0.22	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	50	15.266	0.44	0.29	0.32	0.22	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	49	14.379	0.44	0.29	0.32	0.22	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	48	13.676	0.44	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	47	12.973	0.44	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	46	12.270	0.44	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	45	11.567	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	44	10.864	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	43	10.161	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	42	9.439	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	41	8.413	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	40	7.388	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	39	6.795	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	38	5.886	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	64	6.347	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	63	5.819	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	62	5.069	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	61	4.216	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	60	3.363	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
	59	2.509	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.20	0.43
58	1.655	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.43	
57	0.937	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.43	
56	0.258	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.23	0.20	0.43	

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (5/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	81	5.819	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	80	5.069	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	79	4.216	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	78	3.363	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	77	2.509	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	76	1.655	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	75	0.937	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	74	0.258	0.43	0.29	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
制御棒案内管	69	10.161	0.44	0.29	0.32	0.22	0.24	0.21	0.23	0.21	0.44
	68	9.439	0.44	0.29	0.32	0.22	0.24	0.21	0.23	0.20	0.44
	67	8.413	0.44	0.29	0.32	0.22	0.24	0.21	0.23	0.20	0.44
	66	7.388	0.44	0.29	0.32	0.22	0.23	0.21	0.23	0.20	0.44
	65	6.795	0.43	0.29	0.32	0.22	0.23	0.21	0.23	0.20	0.43
原子炉冷却材 再循環ポンプ	73	6.253	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	72	5.376	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	71	4.523	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	70	3.671	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (6/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
原子炉压力容器	37	26.013	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	36	22.653	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	35	20.494	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	34	18.716	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	33	17.179	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	32	16.506	0.43	0.28	0.32	0.21	0.23	0.21	0.22	0.19	0.43
	31	15.641	0.43	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.43
	30	15.266	0.43	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.43
	29	14.379	0.43	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.43
	28	13.676	0.43	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.43
	27	12.973	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	26	12.270	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	25	11.567	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	24	10.864	0.42	0.28	0.31	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	23	10.161	0.42	0.28	0.31	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42
	22	9.439	0.42	0.28	0.31	0.21	0.22	0.21	0.21	0.18	0.42
21	8.413	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42	
20	7.388	0.42	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.42	
19	6.795	0.43	0.28	0.32	0.21	0.22	0.21	0.22	0.19	0.43	

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物) (7/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シェラウド	74	19.472	1.27	1.30	0.73	1.79	0.91	0.86	0.62	1.05	0.73	1.02	0.67	1.09	0.57	0.89	0.61	0.61	1.79
	73	18.716	0.99	0.99	0.61	1.32	0.74	0.68	0.45	0.83	0.53	0.76	0.49	0.87	0.43	0.62	0.57	0.54	1.32
	72	17.179	0.65	0.64	0.48	0.62	0.48	0.45	0.25	0.53	0.29	0.40	0.26	0.59	0.24	0.38	0.59	0.55	0.65
	71	16.506	0.61	0.59	0.43	0.55	0.44	0.43	0.24	0.51	0.27	0.40	0.25	0.56	0.23	0.39	0.59	0.56	0.61
	70	15.641	0.58	0.57	0.42	0.55	0.42	0.41	0.23	0.49	0.26	0.40	0.24	0.54	0.23	0.38	0.57	0.54	0.58
	69	15.266	0.56	0.56	0.42	0.54	0.42	0.40	0.22	0.49	0.26	0.39	0.23	0.53	0.22	0.38	0.55	0.53	0.56
	68	14.379	0.55	0.55	0.41	0.55	0.40	0.39	0.21	0.48	0.25	0.39	0.23	0.52	0.22	0.38	0.55	0.52	0.55
	67	13.676	0.53	0.53	0.40	0.55	0.39	0.39	0.21	0.47	0.24	0.38	0.22	0.51	0.22	0.38	0.53	0.51	0.55
	66	12.973	0.51	0.52	0.40	0.55	0.40	0.39	0.21	0.47	0.24	0.39	0.22	0.50	0.21	0.37	0.51	0.50	0.55
	65	12.270	0.50	0.51	0.40	0.57	0.40	0.40	0.21	0.46	0.23	0.38	0.22	0.49	0.20	0.37	0.50	0.48	0.57
	64	11.567	0.48	0.48	0.39	0.58	0.40	0.40	0.21	0.44	0.23	0.38	0.21	0.47	0.20	0.37	0.48	0.46	0.58
	63	10.864	0.49	0.48	0.38	0.57	0.39	0.39	0.20	0.44	0.23	0.37	0.21	0.46	0.19	0.37	0.47	0.46	0.57
	62	10.161	0.48	0.47	0.36	0.56	0.39	0.39	0.21	0.43	0.22	0.37	0.21	0.45	0.19	0.37	0.47	0.45	0.56
	61	9.439	0.45	0.45	0.35	0.55	0.38	0.38	0.20	0.41	0.22	0.36	0.20	0.43	0.19	0.36	0.44	0.43	0.55
	60	8.413	0.46	0.46	0.34	0.55	0.38	0.38	0.20	0.41	0.22	0.37	0.20	0.43	0.19	0.36	0.44	0.43	0.55
59	7.388	0.44	0.44	0.32	0.53	0.37	0.37	0.19	0.38	0.21	0.35	0.19	0.41	0.19	0.35	0.42	0.41	0.53	
58	6.795	0.43	0.44	0.32	0.53	0.37	0.38	0.19	0.37	0.20	0.35	0.19	0.40	0.19	0.35	0.41	0.40	0.53	
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	83	6.347	0.48	0.48	0.34	0.58	0.40	0.39	0.20	0.39	0.21	0.36	0.20	0.41	0.19	0.36	0.42	0.42	0.58
	82	5.819	0.44	0.45	0.33	0.54	0.38	0.38	0.19	0.37	0.20	0.35	0.19	0.40	0.19	0.35	0.40	0.40	0.54
	81	5.069	0.42	0.43	0.32	0.52	0.37	0.38	0.18	0.36	0.20	0.35	0.18	0.39	0.19	0.35	0.40	0.40	0.52
	80	4.216	0.42	0.44	0.34	0.55	0.37	0.38	0.18	0.37	0.21	0.35	0.19	0.39	0.19	0.36	0.42	0.43	0.55
	79	3.363	0.44	0.44	0.32	0.56	0.37	0.36	0.18	0.37	0.20	0.34	0.18	0.39	0.19	0.35	0.41	0.43	0.56
	78	2.509	0.44	0.43	0.35	0.62	0.37	0.36	0.19	0.40	0.21	0.34	0.21	0.43	0.19	0.38	0.43	0.43	0.62
	77	1.655	0.46	0.47	0.35	0.62	0.37	0.36	0.20	0.43	0.21	0.34	0.22	0.46	0.20	0.38	0.42	0.41	0.62
	76	0.937	0.51	0.49	0.39	0.66	0.40	0.40	0.22	0.48	0.23	0.34	0.24	0.51	0.21	0.40	0.47	0.50	0.66
	75	0.258	0.61	0.64	0.44	0.70	0.44	0.45	0.26	0.53	0.24	0.37	0.27	0.58	0.22	0.42	0.53	0.62	0.70

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物) (8/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	108	5.819	0.42	0.43	0.32	0.52	0.37	0.38	0.18	0.37	0.20	0.35	0.19	0.39	0.19	0.35	0.40	0.40	0.52
	107	5.069	0.43	0.43	0.32	0.53	0.37	0.37	0.19	0.37	0.20	0.34	0.18	0.39	0.19	0.35	0.41	0.40	0.53
	106	4.216	0.47	0.45	0.32	0.57	0.38	0.37	0.19	0.37	0.20	0.34	0.19	0.39	0.19	0.35	0.42	0.42	0.57
	105	3.363	0.49	0.44	0.32	0.60	0.38	0.37	0.19	0.39	0.20	0.33	0.20	0.41	0.19	0.36	0.43	0.43	0.60
	104	2.509	0.50	0.45	0.34	0.62	0.37	0.37	0.19	0.41	0.21	0.34	0.21	0.43	0.19	0.37	0.42	0.44	0.62
	103	1.655	0.45	0.46	0.35	0.62	0.37	0.36	0.20	0.43	0.21	0.34	0.22	0.46	0.20	0.38	0.41	0.41	0.62
	102	0.937	0.50	0.47	0.38	0.64	0.41	0.40	0.22	0.46	0.22	0.34	0.23	0.49	0.21	0.40	0.42	0.44	0.64
	101	0.258	0.63	0.57	0.42	0.69	0.47	0.45	0.26	0.49	0.24	0.35	0.25	0.53	0.23	0.41	0.44	0.48	0.69
制御棒案内管	98	10.161	0.48	0.47	0.36	0.56	0.39	0.39	0.21	0.43	0.22	0.37	0.21	0.45	0.19	0.37	0.47	0.45	0.56
	87	9.439	0.47	0.47	0.35	0.58	0.39	0.38	0.21	0.41	0.22	0.36	0.21	0.44	0.19	0.36	0.45	0.44	0.58
	86	8.413	0.50	0.48	0.35	0.59	0.39	0.39	0.20	0.41	0.22	0.36	0.21	0.44	0.19	0.36	0.45	0.44	0.59
	85	7.388	0.50	0.48	0.35	0.59	0.40	0.39	0.20	0.40	0.21	0.36	0.20	0.42	0.19	0.36	0.43	0.43	0.59
	84	6.795	0.48	0.47	0.33	0.58	0.39	0.38	0.20	0.38	0.21	0.35	0.20	0.41	0.19	0.35	0.42	0.40	0.58
	97	6.347	0.48	0.48	0.34	0.58	0.40	0.39	0.20	0.39	0.21	0.36	0.20	0.41	0.19	0.36	0.42	0.42	0.58
原子炉冷却材 再循環ポンプ	96	6.253	0.43	0.44	0.32	0.53	0.38	0.38	0.19	0.37	0.20	0.35	0.19	0.40	0.19	0.35	0.41	0.40	0.53
	95	5.376	0.44	0.44	0.42	0.71	0.39	0.40	0.22	0.45	0.23	0.35	0.23	0.49	0.20	0.39	0.42	0.42	0.71
	94	4.523	0.54	0.53	0.47	0.86	0.45	0.44	0.28	0.52	0.32	0.39	0.28	0.57	0.22	0.40	0.42	0.42	0.86
	93	3.671	0.71	0.70	0.56	1.03	0.54	0.52	0.36	0.61	0.41	0.48	0.38	0.67	0.30	0.45	0.45	0.44	1.03
燃料集合体	100	14.379	0.55	0.55	0.41	0.55	0.40	0.39	0.21	0.48	0.25	0.39	0.23	0.52	0.22	0.38	0.55	0.52	0.55
	92	13.676	0.57	0.59	0.36	0.55	0.40	0.41	0.26	0.41	0.27	0.42	0.28	0.43	0.25	0.43	0.54	0.55	0.59
	91	12.973	0.64	0.69	0.45	0.59	0.46	0.46	0.30	0.39	0.29	0.49	0.32	0.41	0.28	0.53	0.59	0.61	0.69
	90	12.270	0.66	0.72	0.49	0.59	0.48	0.48	0.31	0.42	0.30	0.52	0.33	0.45	0.29	0.55	0.61	0.63	0.72
	89	11.567	0.60	0.65	0.43	0.58	0.45	0.46	0.29	0.38	0.28	0.48	0.30	0.42	0.27	0.50	0.57	0.59	0.65
	88	10.864	0.49	0.53	0.34	0.54	0.39	0.39	0.25	0.36	0.24	0.41	0.26	0.37	0.22	0.39	0.50	0.51	0.54
	99	10.161	0.48	0.47	0.36	0.56	0.39	0.39	0.21	0.43	0.22	0.37	0.21	0.45	0.19	0.37	0.47	0.45	0.56

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (9/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
原子炉压力容器	57	26.013	0.94	0.89	0.49	0.97	0.60	0.58	0.30	0.59	0.32	0.55	0.30	0.63	0.33	0.46	0.74	0.68	0.97
	56	22.653	0.83	0.79	0.42	0.85	0.52	0.51	0.27	0.55	0.29	0.50	0.27	0.57	0.29	0.42	0.66	0.61	0.85
	55	20.494	0.76	0.73	0.42	0.82	0.48	0.47	0.26	0.52	0.27	0.47	0.26	0.55	0.27	0.41	0.61	0.58	0.82
	54	18.716	0.71	0.68	0.41	0.79	0.46	0.45	0.25	0.50	0.26	0.45	0.25	0.53	0.25	0.41	0.58	0.55	0.79
	53	17.179	0.66	0.63	0.40	0.76	0.44	0.44	0.24	0.49	0.25	0.43	0.24	0.51	0.24	0.40	0.55	0.52	0.76
	52	16.506	0.63	0.61	0.39	0.74	0.43	0.43	0.24	0.48	0.25	0.43	0.23	0.51	0.23	0.39	0.54	0.51	0.74
	51	15.641	0.61	0.58	0.37	0.71	0.42	0.42	0.23	0.47	0.24	0.41	0.23	0.50	0.22	0.38	0.52	0.50	0.71
	50	15.266	0.59	0.57	0.36	0.70	0.42	0.42	0.23	0.47	0.24	0.41	0.23	0.49	0.22	0.38	0.51	0.49	0.70
	49	14.379	0.57	0.55	0.36	0.67	0.42	0.42	0.23	0.46	0.24	0.40	0.22	0.49	0.21	0.37	0.50	0.48	0.67
	48	13.676	0.54	0.52	0.36	0.66	0.41	0.42	0.22	0.45	0.23	0.39	0.22	0.48	0.20	0.37	0.48	0.47	0.66
	47	12.973	0.52	0.50	0.36	0.65	0.41	0.41	0.22	0.44	0.23	0.39	0.22	0.47	0.20	0.37	0.48	0.46	0.65
	46	12.270	0.50	0.49	0.35	0.63	0.41	0.41	0.22	0.43	0.23	0.38	0.21	0.46	0.20	0.37	0.47	0.45	0.63
	45	11.567	0.49	0.48	0.35	0.62	0.40	0.41	0.21	0.42	0.22	0.38	0.21	0.45	0.20	0.37	0.46	0.44	0.62
	44	10.864	0.48	0.47	0.34	0.61	0.40	0.40	0.21	0.41	0.22	0.37	0.21	0.44	0.19	0.37	0.45	0.44	0.61
	43	10.161	0.47	0.46	0.33	0.59	0.39	0.40	0.20	0.40	0.22	0.37	0.20	0.42	0.19	0.36	0.44	0.43	0.59
	42	9.439	0.46	0.45	0.32	0.57	0.39	0.39	0.20	0.39	0.21	0.36	0.20	0.41	0.19	0.36	0.43	0.42	0.57
	41	8.413	0.45	0.45	0.32	0.56	0.38	0.38	0.20	0.39	0.21	0.36	0.19	0.41	0.19	0.36	0.42	0.41	0.56
40	7.388	0.44	0.44	0.32	0.54	0.38	0.38	0.19	0.38	0.21	0.35	0.19	0.40	0.19	0.35	0.41	0.40	0.54	
39	6.795	0.43	0.44	0.32	0.53	0.37	0.38	0.19	0.37	0.20	0.35	0.19	0.40	0.19	0.35	0.41	0.40	0.53	

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉圧力容器及び圧力容器内部構造物) (10/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
気水分離器, スタンドパイプ 及び 炉心シェラウド	55	19.472	0.54	0.35	0.40	0.26	0.29	0.26	0.28	0.25	0.54
	54	18.716	0.54	0.35	0.40	0.26	0.29	0.26	0.28	0.25	0.54
	53	17.179	0.54	0.35	0.40	0.26	0.29	0.26	0.28	0.25	0.54
	52	16.506	0.54	0.35	0.40	0.26	0.29	0.26	0.28	0.25	0.54
	51	15.641	0.53	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.53
	50	15.266	0.53	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.53
	49	14.379	0.52	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	48	13.676	0.52	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	47	12.973	0.52	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	46	12.270	0.52	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	45	11.567	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	44	10.864	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	43	10.161	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.23	0.52
	42	9.439	0.52	0.34	0.38	0.26	0.27	0.25	0.27	0.23	0.52
	41	8.413	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.27	0.23	0.51
	40	7.388	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
39	6.795	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51	
38	5.886	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51	
制御棒駆動機構 ハウジング (内側)	64	6.347	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	63	5.819	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	62	5.069	0.52	0.34	0.38	0.26	0.27	0.25	0.27	0.23	0.52
	61	4.216	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	60	3.363	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	59	2.509	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	58	1.655	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	57	0.937	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
56	0.258	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52	

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (S d) (炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (11/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
制御棒駆動機構 ハウジング (外側)	81	5.819	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	80	5.069	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	79	4.216	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	78	3.363	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	77	2.509	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	76	1.655	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	75	0.937	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	74	0.258	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
制御棒案内管	69	10.161	0.53	0.35	0.39	0.26	0.28	0.25	0.28	0.25	0.53
	68	9.439	0.53	0.34	0.39	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.53
	67	8.413	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	66	7.388	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
	65	6.795	0.52	0.34	0.38	0.26	0.28	0.25	0.27	0.24	0.52
原子炉冷却材 再循環ポンプ	73	6.253	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	72	5.376	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	71	4.523	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	70	3.671	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51

表4. 1-3(2) 最大応答加速度 (Sd) (炉心, 原子炉压力容器及び压力容器内部構造物) (12/12)

構造物名	質点 番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
原子炉压力容器	37	26.013	0.51	0.34	0.38	0.26	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	36	22.653	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	35	20.494	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	34	18.716	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	33	17.179	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	32	16.506	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	31	15.641	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	30	15.266	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	29	14.379	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	28	13.676	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51
	27	12.973	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.22	0.51
	26	12.270	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.22	0.51
	25	11.567	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.22	0.51
	24	10.864	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.22	0.51
	23	10.161	0.51	0.34	0.38	0.25	0.26	0.25	0.26	0.22	0.51
	22	9.439	0.51	0.34	0.38	0.25	0.26	0.25	0.26	0.22	0.51
	21	8.413	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.22	0.51
20	7.388	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.22	0.51	
19	6.795	0.51	0.34	0.38	0.25	0.27	0.25	0.26	0.23	0.51	

表 4. 1-4(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (タービン建屋) (1/3)

構造物名	質点番号			標高 T. M. S. L. (m)		最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
	水平		鉛直			設計用最大応答加速度 I		設計用最大応答加速度 II	
	NS	EW		S d		S d			
			水平	鉛直	水平	鉛直	水平	鉛直	
タービン建屋	1, 8	1, 11, 18, 30, 38	1	44.300	44.300	2.28	0.91	2.83	1.14
	2	2, 12, 19, 31, 39	2	38.600	38.600	1.43	0.76	1.81	0.97
	3, 9, 15	3, 9, 13, 16, 20, 24, 32, 35, 40	3	30.900	30.900	1.69	0.46	2.16	0.60
	10, 16	10, 17, 25, 36, 41	4	25.800	25.800	1.31	0.45	1.61	0.59
	4, 11	4, 14, 21, 26, 33, 37, 42	5	20.400	20.400	0.62	0.44	0.77	0.58
	5, 12	5, 22, 27, 43	6	12.300	12.300	0.53	0.41	0.63	0.54
	6, 13	6, 28	7	4.900	4.900	0.47	0.38	0.56	0.50
	7, 14	7, 29	8	-1.100	-1.100	0.42	0.37	0.51	0.47
	19	46	11	-5.100	-5.100	0.39	0.37	0.49	0.47
	20	47	12	-7.900	-7.900	0.39	0.37	0.49	0.47
蒸気タービンの基礎	17	44	9	18.350	20.400	1.46	0.46	1.73	0.57
	18	45	10	10.700	12.300	1.26	0.42	1.54	0.52

表 4. 1-4(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (タービン建屋) (2/3)

構造物名	質点番号			標高 T. M. S. L. (m)		最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
	水平		鉛直			設計用最大応答加速度 I		設計用最大応答加速度 II	
	NS	EW		S d		S d			
			水平	鉛直	水平	鉛直	水平	鉛直	
タービン建屋	1, 8	1, 11, 18, 30, 38	1	44.300	44.300	2.74	1.09	3.39	1.37
	2	2, 12, 19, 31, 39	2	38.600	38.600	1.71	0.91	2.18	1.17
	3, 9, 15	3, 9, 13, 16, 20, 24, 32, 35, 40	3	30.900	30.900	2.02	0.55	2.60	0.72
	10, 16	10, 17, 25, 36, 41	4	25.800	25.800	1.57	0.54	1.93	0.71
	4, 11	4, 14, 21, 26, 33, 37, 42	5	20.400	20.400	0.75	0.52	0.92	0.68
	5, 12	5, 22, 27, 43	6	12.300	12.300	0.64	0.49	0.76	0.64
	6, 13	6, 28	7	4.900	4.900	0.56	0.46	0.67	0.60
	7, 14	7, 29	8	-1.100	-1.100	0.50	0.44	0.61	0.56
	19	46	11	-5.100	-5.100	0.47	0.44	0.58	0.56
	20	47	12	-7.900	-7.900	0.47	0.44	0.58	0.56
蒸気タービンの基礎	17	44	9	18.350	20.400	1.75	0.56	2.08	0.68
	18	45	10	10.700	12.300	1.51	0.50	1.84	0.63

表 4. 1-4(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (タービン建屋) (3/3)

構造物名	質点番号			標高 T. M. S. L. (m)		静的震度 (3. 6C _i)		静的震度 (1. 2C _v)
	水平		鉛直	水平	鉛直	NS	EW	
	NS	EW						鉛直
タービン建屋	1, 8	1, 11, 18, 30, 38	1	44. 300	44. 300	1. 75	2. 56	0. 29
	2	2, 12, 19, 31, 39	2	38. 600	38. 600	1. 64	2. 20	
	3, 9, 15	3, 9, 13, 16, 20, 24, 32, 35, 40	3	30. 900	30. 900	1. 00	1. 32	
	10, 16	10, 17, 25, 36, 41	4	25. 800	25. 800	0. 91	1. 17	
	4, 11	4, 14, 21, 26, 33, 37, 42	5	20. 400	20. 400	0. 76	0. 89	
	5, 12	5, 22, 27, 43	6	12. 300	12. 300	0. 67	0. 72	
	6, 13	6, 28	7	4. 900	4. 900	0. 61	0. 63	
	7, 14	7, 29	8	-1. 100	-1. 100	0. 58	0. 58	
	19	46	11	-5. 100	-5. 100	0. 58	0. 58	
	20	47	12	-7. 900	-7. 900	0. 58	0. 58	
蒸気タービンの基礎	17	44	9	18. 350	20. 400	0. 76	0. 89	
	18	45	10	10. 700	12. 300	0. 67	0. 72	

表 4. 1-4(2) 最大応答加速度 (S d) (タービン建屋) (1/4)

構造物名	質点番号		標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$																包絡値
				Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
	NS	EW		NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
タービン建屋	1, 8	1, 11, 18, 30, 38	44.300	2.06	1.67	2.17	1.72	1.13	1.35	0.90	1.35	0.72	1.26	0.91	1.45	0.72	1.46	1.14	1.14	2.17
	2	2, 12, 19, 31, 39	38.600	1.40	1.16	1.39	1.12	0.85	0.85	0.64	0.72	0.49	0.67	0.66	0.77	0.50	0.74	0.84	0.83	1.40
	3, 9, 15	3, 9, 13, 16, 20, 24, 32, 35, 40	30.900	1.12	0.80	1.67	0.82	1.03	0.58	0.70	0.64	0.91	0.61	0.71	0.70	0.92	0.69	0.67	0.61	1.67
	10, 16	10, 17, 25, 36, 41	25.800	0.72	0.57	1.24	0.65	0.69	0.45	0.44	0.46	0.61	0.49	0.47	0.52	0.61	0.55	0.46	0.49	1.24
	4, 11	4, 14, 21, 26, 33, 37, 42	20.400	0.54	0.59	0.40	0.59	0.38	0.50	0.22	0.43	0.23	0.48	0.22	0.47	0.23	0.54	0.38	0.47	0.59
	5, 12	5, 22, 27, 43	12.300	0.45	0.49	0.34	0.49	0.37	0.40	0.19	0.33	0.19	0.36	0.19	0.36	0.20	0.48	0.37	0.38	0.49
	6, 13	6, 28	4.900	0.39	0.43	0.33	0.38	0.35	0.35	0.17	0.28	0.17	0.33	0.18	0.30	0.16	0.37	0.33	0.32	0.43
	7, 14	7, 29	-1.100	0.35	0.39	0.29	0.36	0.33	0.33	0.16	0.26	0.16	0.31	0.16	0.27	0.15	0.34	0.29	0.29	0.39
	19	46	-5.100	0.36	0.37	0.27	0.34	0.33	0.33	0.16	0.25	0.15	0.30	0.16	0.26	0.15	0.32	0.28	0.27	0.37
20	47	-7.900	0.36	0.37	0.27	0.35	0.33	0.33	0.15	0.25	0.15	0.30	0.16	0.27	0.15	0.32	0.28	0.27	0.37	
蒸気タービンの基礎	17	44	18.350	1.08	1.20	0.96	0.54	0.86	0.80	0.42	0.45	0.39	0.51	0.43	0.47	0.46	0.55	0.63	0.64	1.20
	18	45	10.700	0.91	1.08	0.79	0.51	0.74	0.68	0.34	0.42	0.32	0.44	0.34	0.43	0.37	0.47	0.52	0.58	1.08

表 4. 1-4(2) 最大応答加速度 (S d) (タービン建屋) (2/4)

構造物名	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
タービン建屋	1	44.300	0.88	0.50	0.52	0.47	0.41	0.45	0.48	0.44	0.88
	2	38.600	0.75	0.43	0.41	0.39	0.33	0.39	0.39	0.34	0.75
	3	30.900	0.46	0.30	0.29	0.22	0.22	0.24	0.22	0.19	0.46
	4	25.800	0.45	0.30	0.28	0.21	0.21	0.23	0.21	0.18	0.45
	5	20.400	0.44	0.29	0.28	0.20	0.21	0.22	0.21	0.18	0.44
	6	12.300	0.41	0.27	0.27	0.19	0.20	0.21	0.20	0.17	0.41
	7	4.900	0.38	0.26	0.27	0.19	0.20	0.20	0.19	0.15	0.38
	8	-1.100	0.36	0.25	0.26	0.19	0.19	0.19	0.18	0.14	0.36
	11	-5.100	0.36	0.24	0.26	0.19	0.19	0.19	0.18	0.13	0.36
	12	-7.900	0.36	0.24	0.26	0.18	0.19	0.19	0.18	0.13	0.36
蒸気タービンの基礎	9	20.400	0.44	0.30	0.32	0.24	0.27	0.23	0.25	0.21	0.44
	10	12.300	0.40	0.28	0.30	0.23	0.25	0.22	0.23	0.19	0.40

表 4. 1-4(2) 最大応答加速度 (S d) (タービン建屋) (3/4)

構造物名	質点番号		標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$																包絡値
				Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
	NS	EW		NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
タービン建屋	1, 8	1, 11, 18, 30, 38	44.300	2.47	2.01	2.61	2.06	1.36	1.62	1.08	1.61	0.86	1.51	1.09	1.74	0.87	1.75	1.36	1.37	2.61
	2	2, 12, 19, 31, 39	38.600	1.68	1.39	1.67	1.34	1.02	1.01	0.77	0.86	0.59	0.80	0.79	0.93	0.60	0.89	1.01	1.00	1.68
	3, 9, 15	3, 9, 13, 16, 20, 24, 32, 35, 40	30.900	1.34	0.96	2.00	0.99	1.24	0.70	0.84	0.77	1.09	0.73	0.86	0.83	1.10	0.83	0.80	0.73	2.00
	10, 16	10, 17, 25, 36, 41	25.800	0.87	0.68	1.49	0.78	0.82	0.54	0.53	0.55	0.74	0.59	0.57	0.62	0.74	0.66	0.55	0.58	1.49
	4, 11	4, 14, 21, 26, 33, 37, 42	20.400	0.65	0.70	0.48	0.71	0.46	0.60	0.26	0.51	0.27	0.58	0.26	0.56	0.28	0.65	0.46	0.56	0.71
	5, 12	5, 22, 27, 43	12.300	0.54	0.59	0.40	0.58	0.44	0.48	0.23	0.40	0.23	0.43	0.23	0.43	0.24	0.57	0.44	0.45	0.59
	6, 13	6, 28	4.900	0.47	0.52	0.39	0.46	0.42	0.42	0.21	0.33	0.21	0.39	0.21	0.35	0.20	0.44	0.39	0.38	0.52
	7, 14	7, 29	-1.100	0.42	0.47	0.34	0.43	0.40	0.40	0.19	0.31	0.19	0.37	0.19	0.33	0.18	0.40	0.35	0.34	0.47
	19	46	-5.100	0.43	0.44	0.32	0.41	0.39	0.39	0.19	0.30	0.18	0.36	0.19	0.31	0.18	0.38	0.34	0.33	0.44
	20	47	-7.900	0.43	0.45	0.32	0.42	0.39	0.39	0.19	0.30	0.18	0.36	0.19	0.32	0.18	0.38	0.33	0.32	0.45
蒸気タービンの基礎	17	44	18.350	1.29	1.45	1.15	0.65	1.03	0.95	0.51	0.54	0.46	0.61	0.51	0.57	0.55	0.65	0.75	0.76	1.45
	18	45	10.700	1.09	1.29	0.94	0.61	0.89	0.82	0.40	0.50	0.38	0.53	0.41	0.52	0.44	0.56	0.63	0.69	1.29

表 4. 1-4(2) 最大応答加速度 (S d) (タービン建屋) (4/4)

構造物名	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$								包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8	
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	
タービン建屋	1	44.300	1.06	0.60	0.63	0.56	0.49	0.54	0.58	0.53	1.06
	2	38.600	0.90	0.52	0.49	0.46	0.39	0.46	0.47	0.41	0.90
	3	30.900	0.55	0.36	0.34	0.26	0.26	0.28	0.26	0.23	0.55
	4	25.800	0.54	0.36	0.34	0.25	0.26	0.28	0.26	0.22	0.54
	5	20.400	0.52	0.35	0.33	0.24	0.25	0.27	0.25	0.21	0.52
	6	12.300	0.49	0.32	0.33	0.23	0.24	0.25	0.24	0.20	0.49
	7	4.900	0.45	0.31	0.32	0.22	0.23	0.24	0.23	0.18	0.45
	8	-1.100	0.43	0.29	0.32	0.22	0.23	0.23	0.22	0.16	0.43
	11	-5.100	0.43	0.29	0.31	0.22	0.22	0.23	0.22	0.15	0.43
	12	-7.900	0.43	0.28	0.31	0.22	0.22	0.23	0.21	0.15	0.43
蒸気タービンの基礎	9	20.400	0.52	0.36	0.38	0.29	0.32	0.27	0.29	0.25	0.52
	10	12.300	0.48	0.33	0.36	0.27	0.30	0.26	0.27	0.23	0.48

表4. 1-5(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (軽油タンク基礎) (1/3)

構造物名	節点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$			
			設計用最大応答加速度 I		設計用最大応答加速度 II	
			S d		S d	
			水平	鉛直	水平	鉛直
軽油タンク基礎	2082 (NS) 3102 (NS) 4162 (NS) 5263 (EW) 6196 (EW) 7074 (EW) 8183 (EW) 9244 (EW)	12.000	0.61	0.36	0.75	0.54

表4. 1-5(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (軽油タンク基礎) (2/3)

構造物名	節点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$			
			設計用最大応答加速度 I		設計用最大応答加速度 II	
			S d		S d	
			水平	鉛直	水平	鉛直
軽油タンク基礎	2082 (NS) 3102 (NS) 4162 (NS) 5263 (EW) 6196 (EW) 7074 (EW) 8183 (EW) 9244 (EW)	12.000	0.73	0.43	0.89	0.65

表4. 1-5(1) 設計用最大応答加速度 (S d) 及び静的震度 (軽油タンク基礎) (3/3)

構造物名	節点番号	標高 T. M. S. L. (m)	静的震度 ($3.6C_i$)	静的震度 ($1.2C_v$)
			水平	鉛直
軽油タンク基礎	2082 (NS) 3102 (NS) 4162 (NS) 5263 (EW) 6196 (EW) 7074 (EW) 8183 (EW) 9244 (EW)	12.000	0.58	0.29

表4. 1-5(2) 最大応答加速度 (S d) (軽油タンク基礎) (1/4)

構造物名	節点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
軽油タンク基礎	2082 (NS) 3102 (NS) 4162 (NS) 5263 (EW) 6196 (EW) 7074 (EW) 8183 (EW) 9244 (EW)	12.000	0.60	0.48	0.40	0.43	0.43	0.39	0.20	0.32	0.23	0.32	0.23	0.37	0.20	0.38	0.48	0.41	0.60

表4. 1-5(2) 最大応答加速度 (S d) (軽油タンク基礎) (2/4)

構造物名	節点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.0$										包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8			
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直			
軽油タンク基礎	2082 (NS) 3102 (NS) 4162 (NS) 5263 (EW) 6196 (EW) 7074 (EW) 8183 (EW) 9244 (EW)	12.000	0.36	0.29	0.26	0.19	0.26	0.23	0.24	0.17	0.36		

表4. 1-5(2) 最大応答加速度 (S d) (軽油タンク基礎) (3/4)

構造物名	節点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$																包絡値
			Sd-1		Sd-2		Sd-3		Sd-4		Sd-5		Sd-6		Sd-7		Sd-8		
			NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	NS	EW	
軽油タンク基礎	2082 (NS) 3102 (NS) 4162 (NS) 5263 (EW) 6196 (EW) 7074 (EW) 8183 (EW) 9244 (EW)	12.000	0.72	0.58	0.48	0.52	0.51	0.47	0.24	0.39	0.27	0.39	0.27	0.44	0.23	0.46	0.57	0.49	0.72

表4. 1-5(2) 最大応答加速度 (S d) (軽油タンク基礎) (4/4)

構造物名	節点番号	標高 T. M. S. L. (m)	最大応答加速度 ($\times 9.80665\text{m/s}^2$) $\times 1.2$										包絡値
			Sd-1	Sd-2	Sd-3	Sd-4	Sd-5	Sd-6	Sd-7	Sd-8			
			鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直	鉛直			
軽油タンク基礎	2082 (NS) 3102 (NS) 4162 (NS) 5263 (EW) 6196 (EW) 7074 (EW) 8183 (EW) 9244 (EW)	12.000	0.43	0.35	0.31	0.22	0.31	0.27	0.29	0.20	0.43		

表4. 2-1(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (1/4)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	水平方向	1	49.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 1
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 2
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 3
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 4
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 5
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 6
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 7
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 8
			2	38.200	0.5	K06 - RB - SdH - RB 9
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 10
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 11
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 12
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 13
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 14
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 15
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 16
			3	31.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 17
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 18
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 19
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 20
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 21
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 22
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 23
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 24
			4	23.500	0.5	K06 - RB - SdH - RB 25
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 26
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 27
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 28
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 29
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 30
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 31
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 32
			5	18.100	0.5	K06 - RB - SdH - RB 33
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 34
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 35
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 36
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 37
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 38
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 39
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 40

表4. 2-1(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (2/4)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	水平方向	6	12.300	0.5	K06 - RB - SdH - RB 41
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 42
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 43
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 44
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 45
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 46
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 47
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 48
			7	4.800	0.5	K06 - RB - SdH - RB 49
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 50
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 51
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 52
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 53
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 54
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 55
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 56
			8	-1.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 57
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 58
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 59
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 60
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 61
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 62
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 63
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 64
			9	-8.200	0.5	K06 - RB - SdH - RB 65
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 66
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 67
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 68
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 69
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 70
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 71
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 72
10	-13.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 73			
		1.0	K06 - RB - SdH - RB 74			
		1.5	K06 - RB - SdH - RB 75			
		2.0	K06 - RB - SdH - RB 76			
		2.5	K06 - RB - SdH - RB 77			
		3.0	K06 - RB - SdH - RB 78			
		4.0	K06 - RB - SdH - RB 79			
		5.0	K06 - RB - SdH - RB 80			

K6 -2-1-7 R0

K6

表4. 2-1(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (3/4)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	鉛直方向	1	49.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 1
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 2
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 3
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 4
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 5
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 6
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 7
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 8
			2	38.200	0.5	K06 - RB - SdV - RB 9
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 10
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 11
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 12
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 13
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 14
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 15
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 16
			3	31.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 17
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 18
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 19
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 20
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 21
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 22
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 23
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 24
			4	23.500	0.5	K06 - RB - SdV - RB 25
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 26
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 27
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 28
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 29
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 30
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 31
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 32
			5	18.100	0.5	K06 - RB - SdV - RB 33
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 34
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 35
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 36
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 37
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 38
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 39
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 40

表4. 2-1(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (4/4)

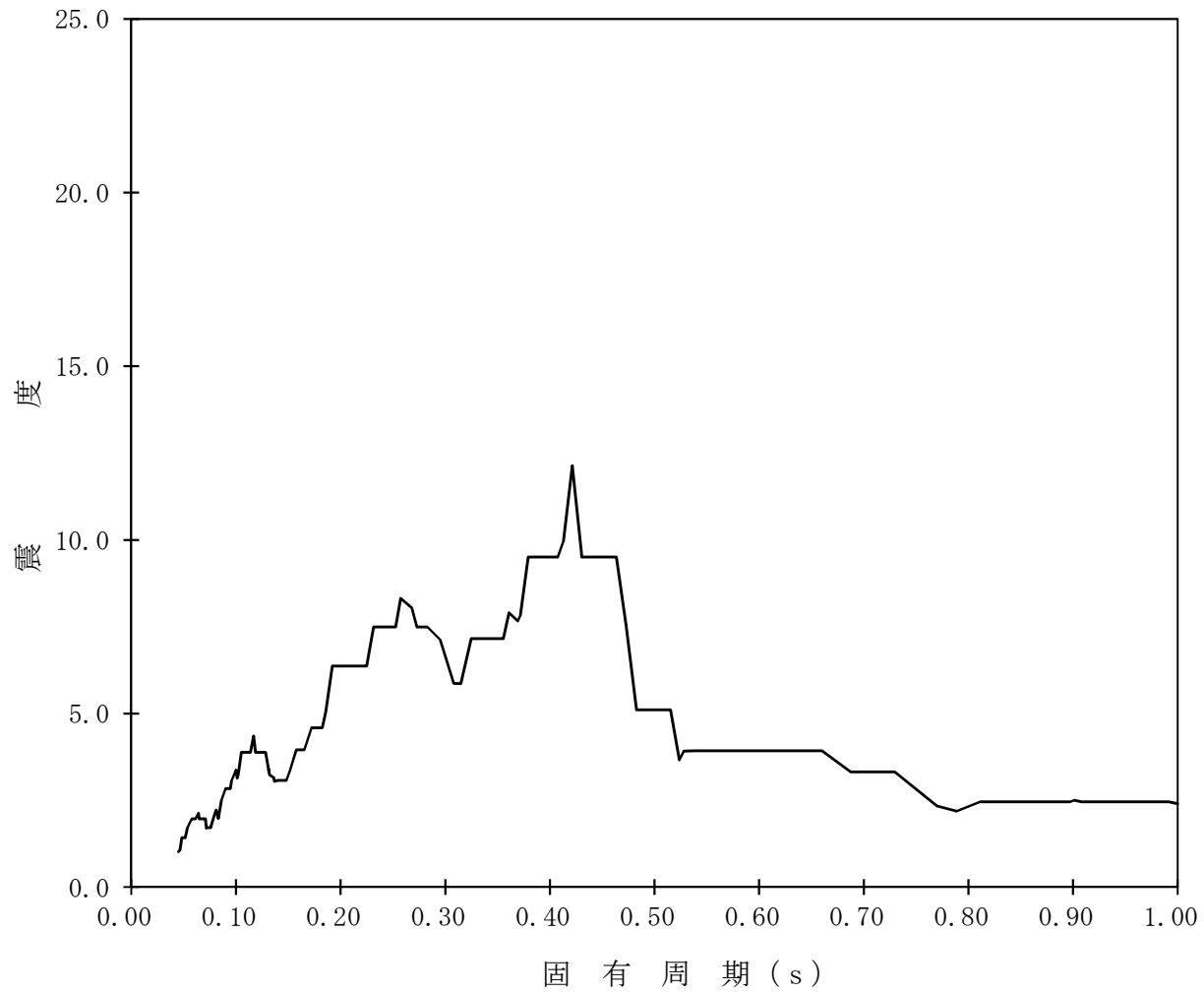
地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	鉛直方向	6	12.300	0.5	K06 - RB - SdV - RB 41
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 42
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 43
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 44
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 45
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 46
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 47
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 48
			7	4.800	0.5	K06 - RB - SdV - RB 49
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 50
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 51
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 52
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 53
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 54
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 55
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 56
			8	-1.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 57
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 58
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 59
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 60
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 61
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 62
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 63
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 64
			9	-8.200	0.5	K06 - RB - SdV - RB 65
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 66
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 67
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 68
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 69
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 70
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 71
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 72
10	-13.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 73			
		1.0	K06 - RB - SdV - RB 74			
		1.5	K06 - RB - SdV - RB 75			
		2.0	K06 - RB - SdV - RB 76			
		2.5	K06 - RB - SdV - RB 77			
		3.0	K06 - RB - SdV - RB 78			
		4.0	K06 - RB - SdV - RB 79			
		5.0	K06 - RB - SdV - RB 80			

【K06-RB-SdH-RB1】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

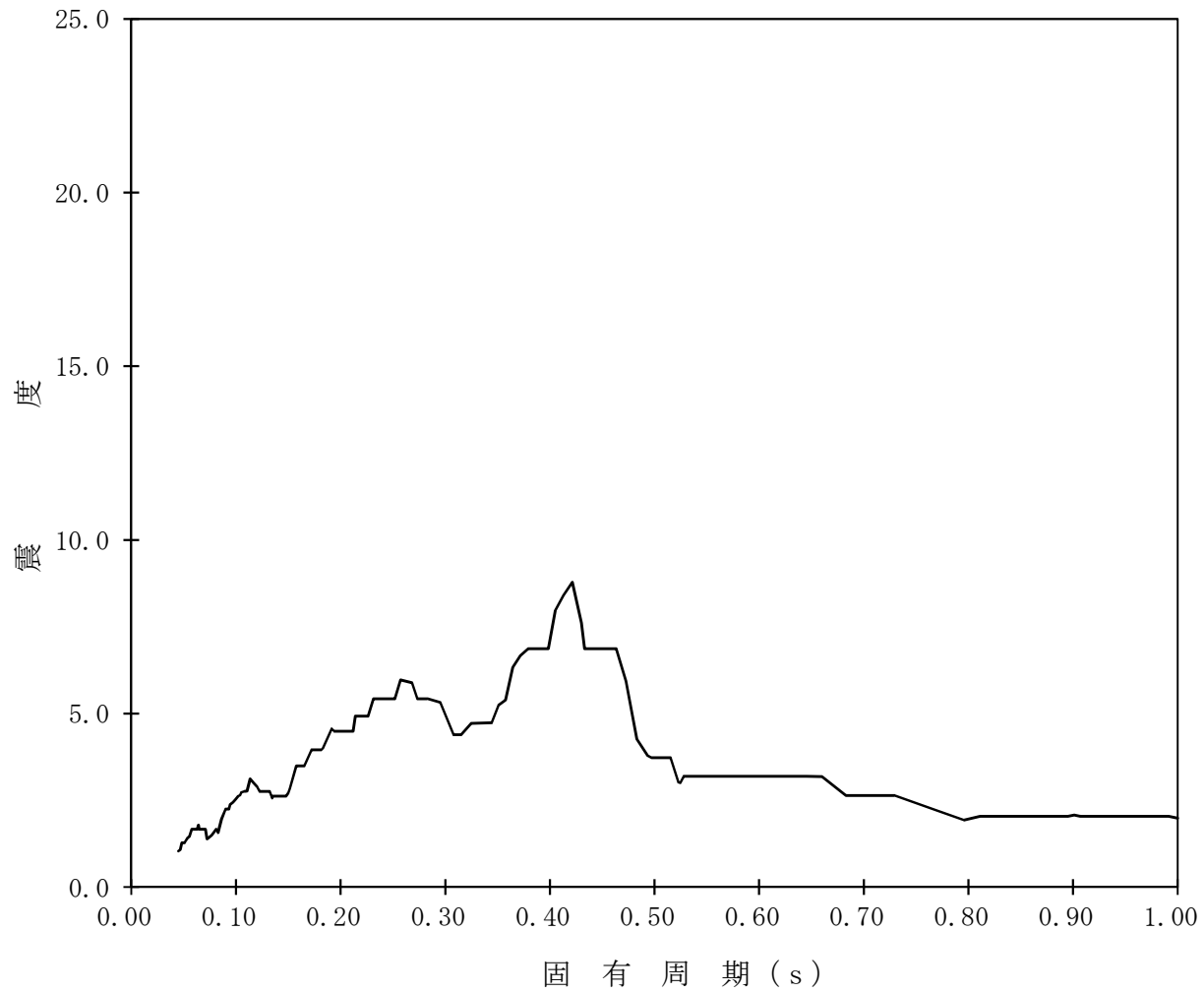


【K06-RB-SdH-RB2】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

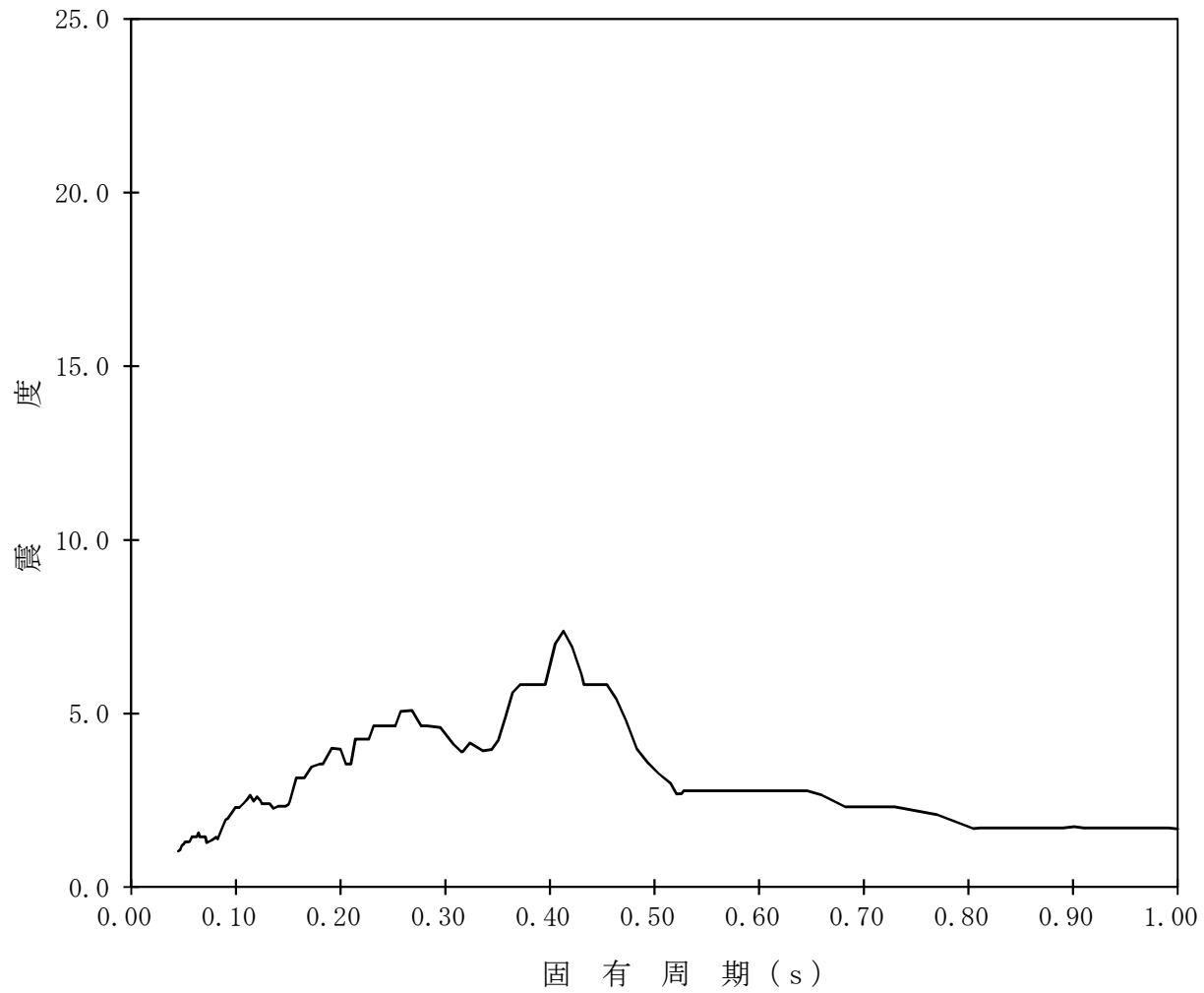


【K06-RB-SdH-RB3】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

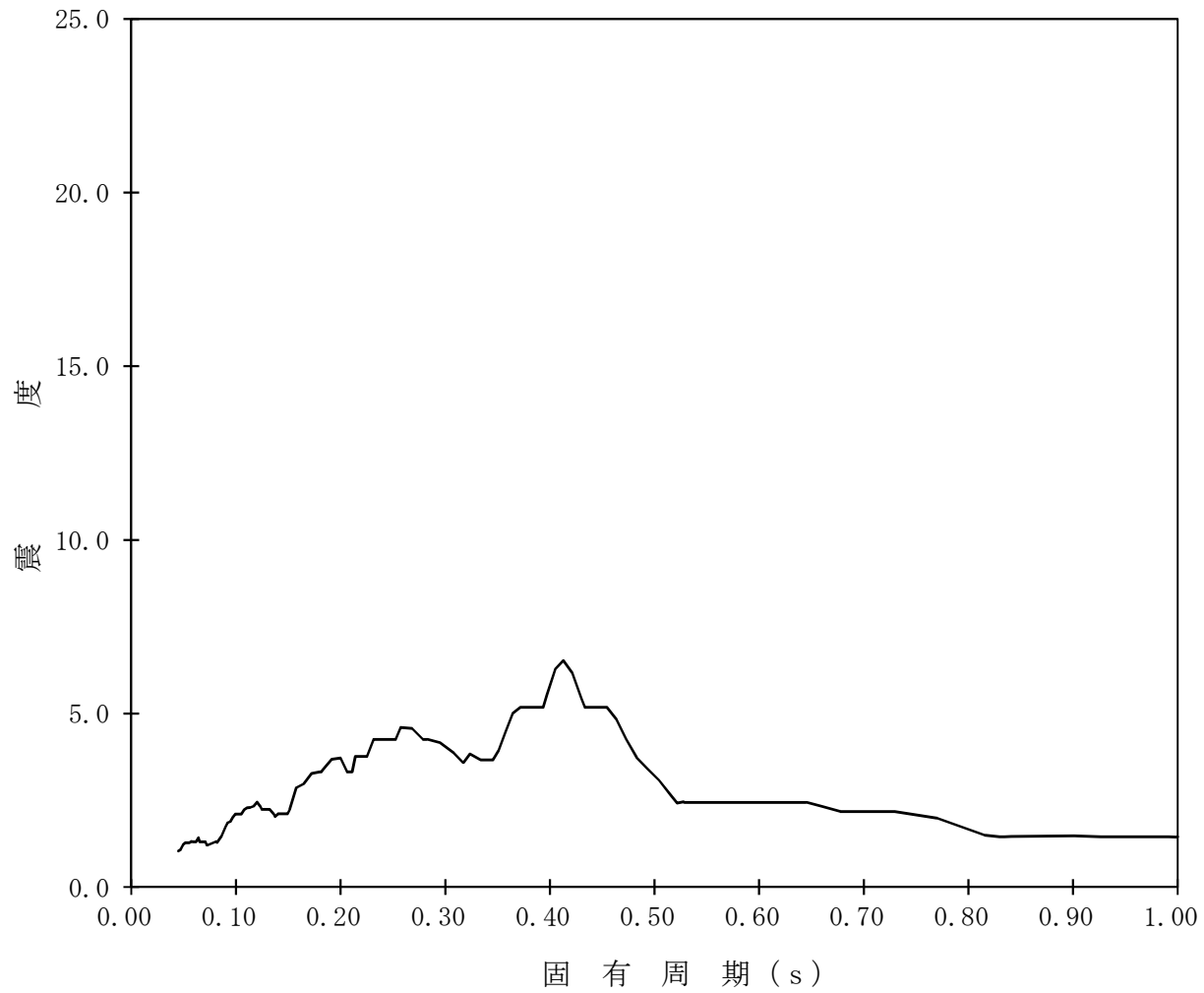


【K06-RB-SdH-RB4】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB5】

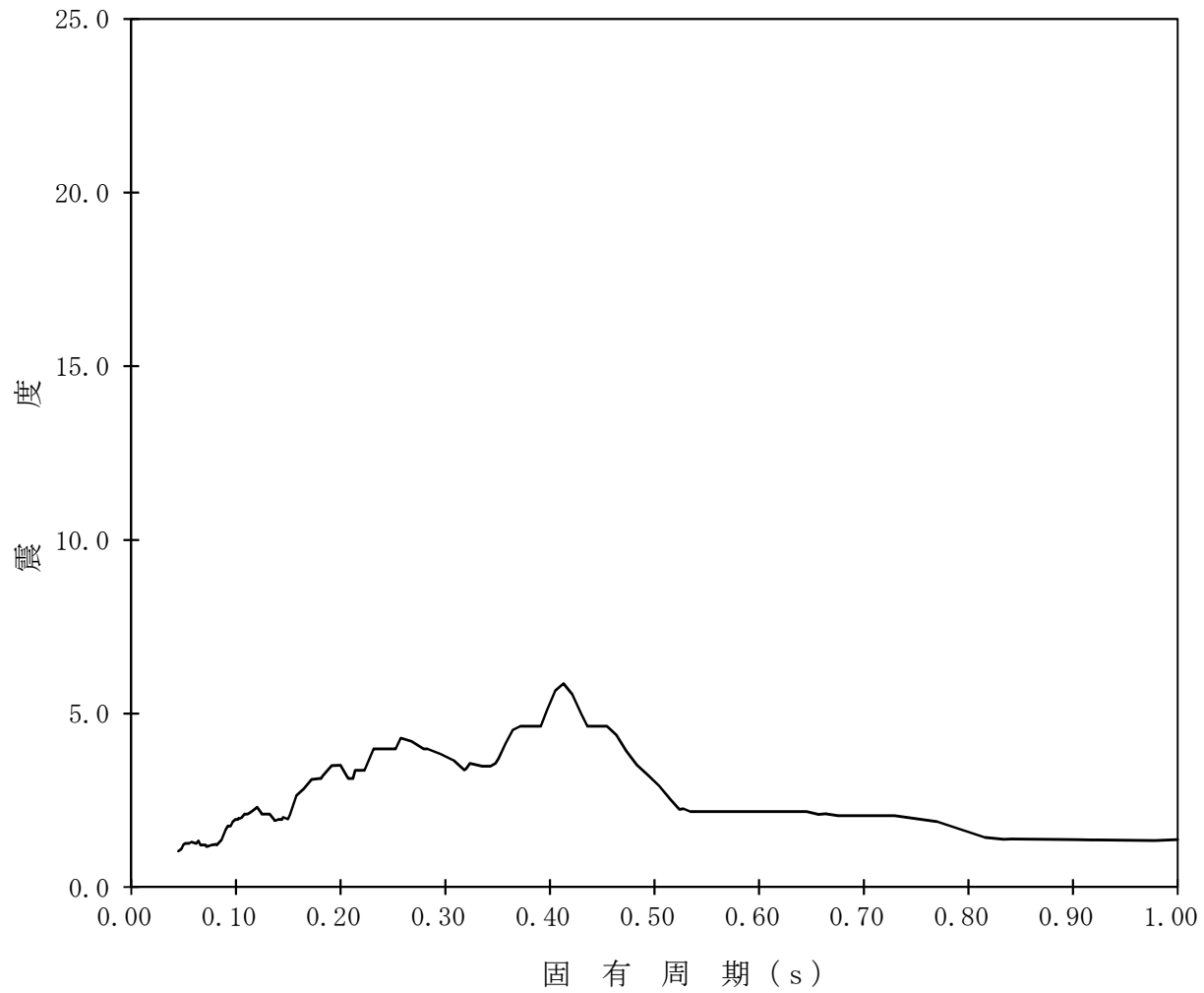
構造物名：原子炉建屋

標高：T. M. S. L. 49.700m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：2.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

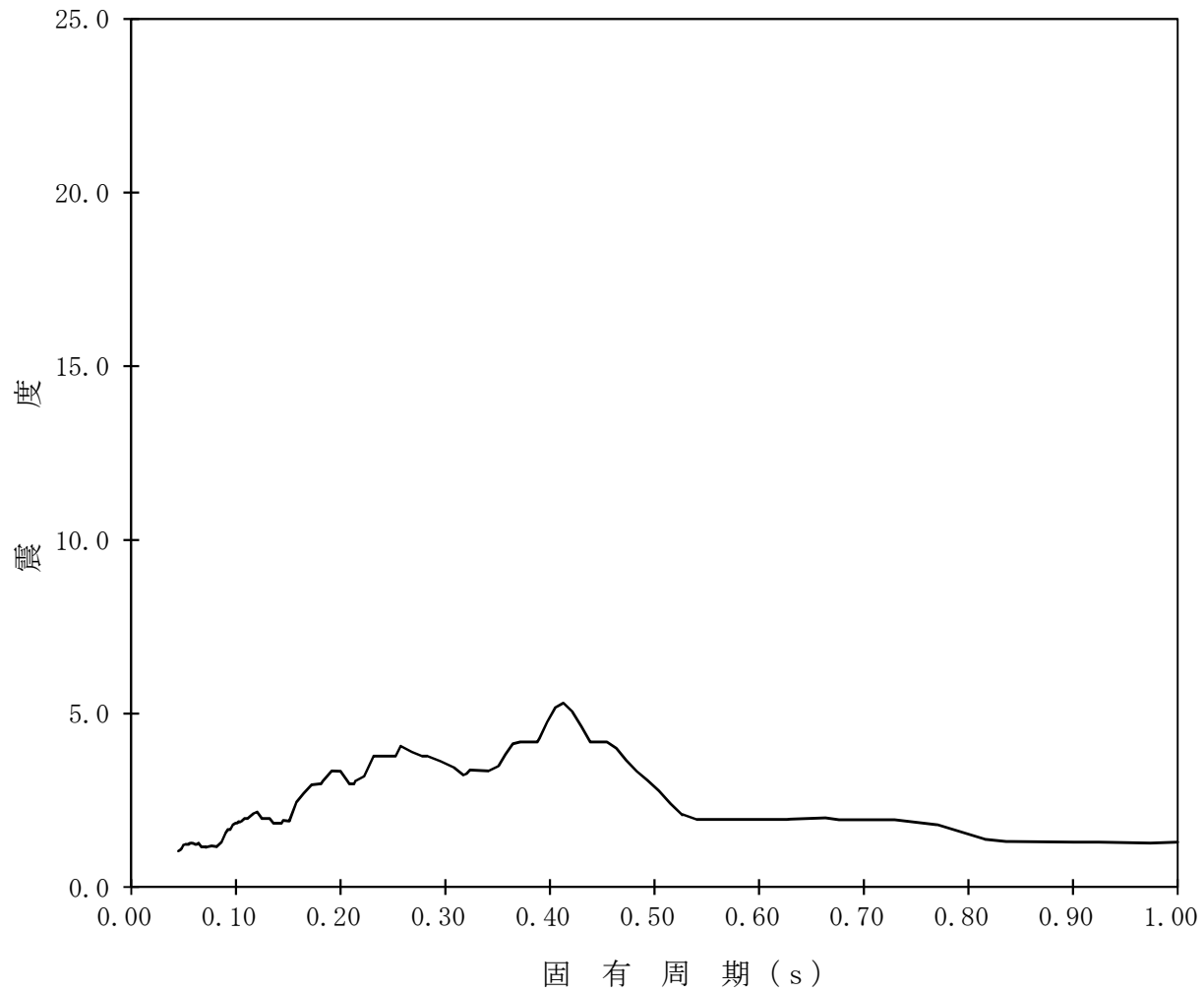


【K06-RB-SdH-RB6】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB7】

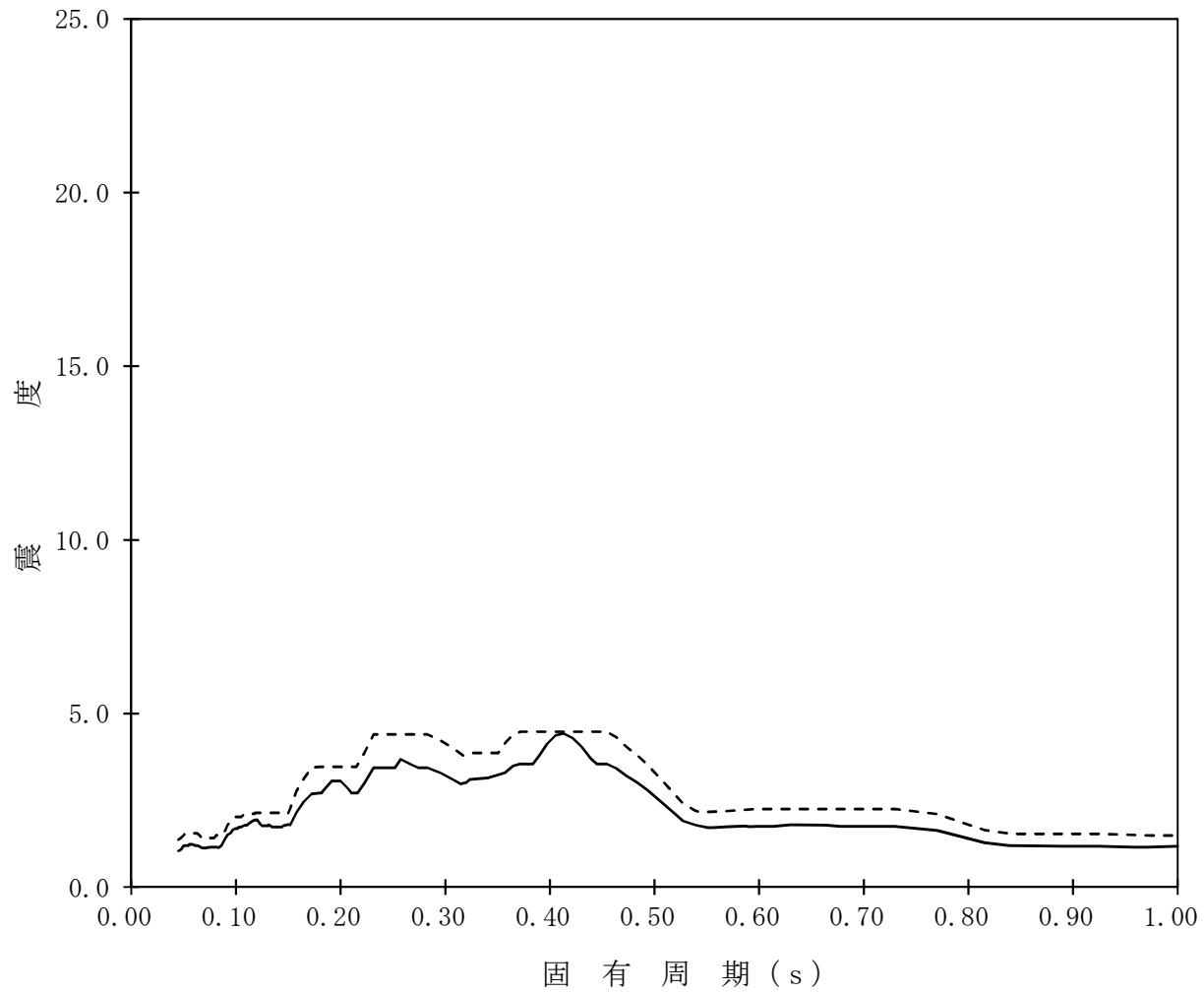
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB8】

構造物名：原子炉建屋

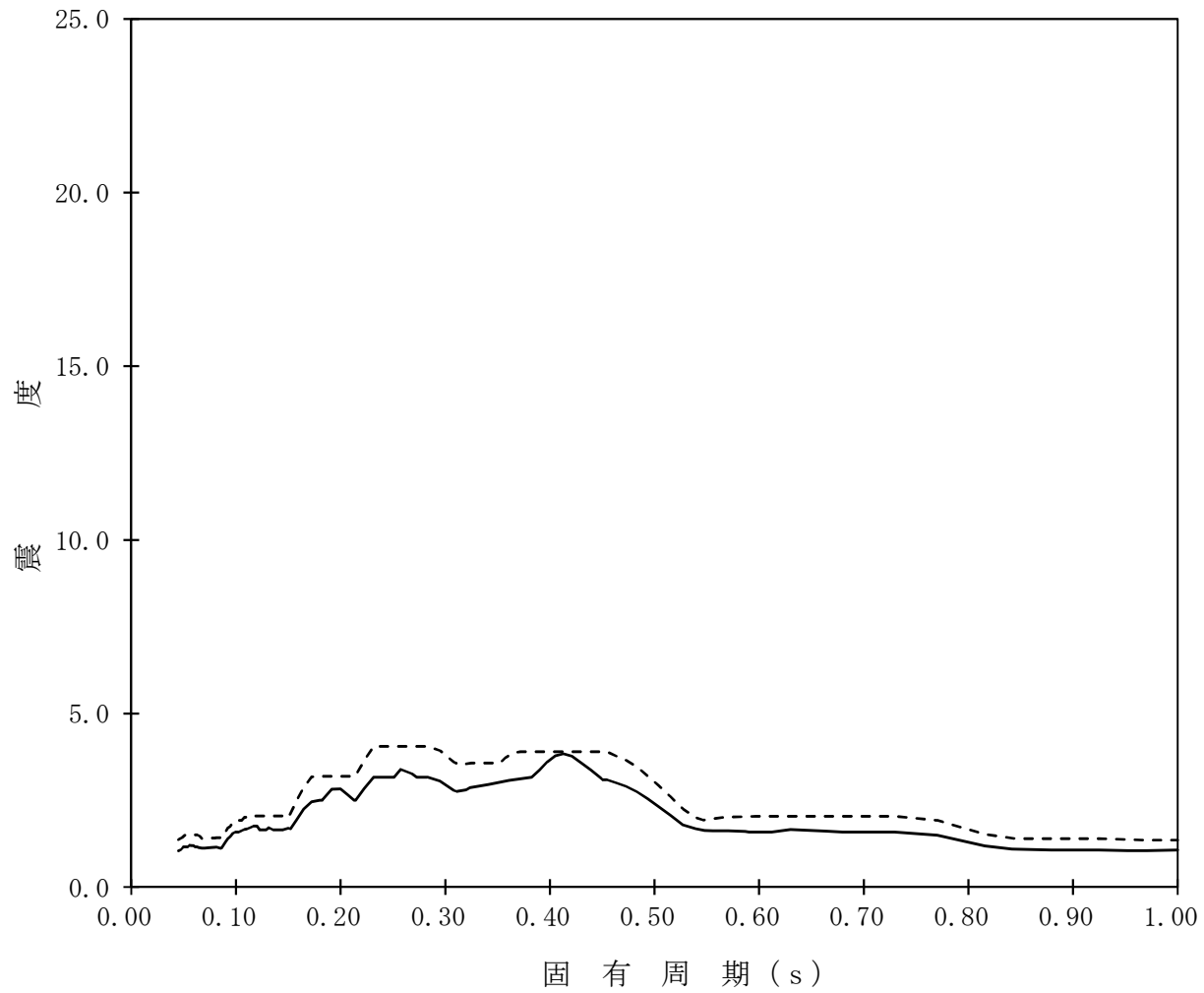
標高：T. M. S. L. 49.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：5.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB9】

構造物名：原子炉建屋

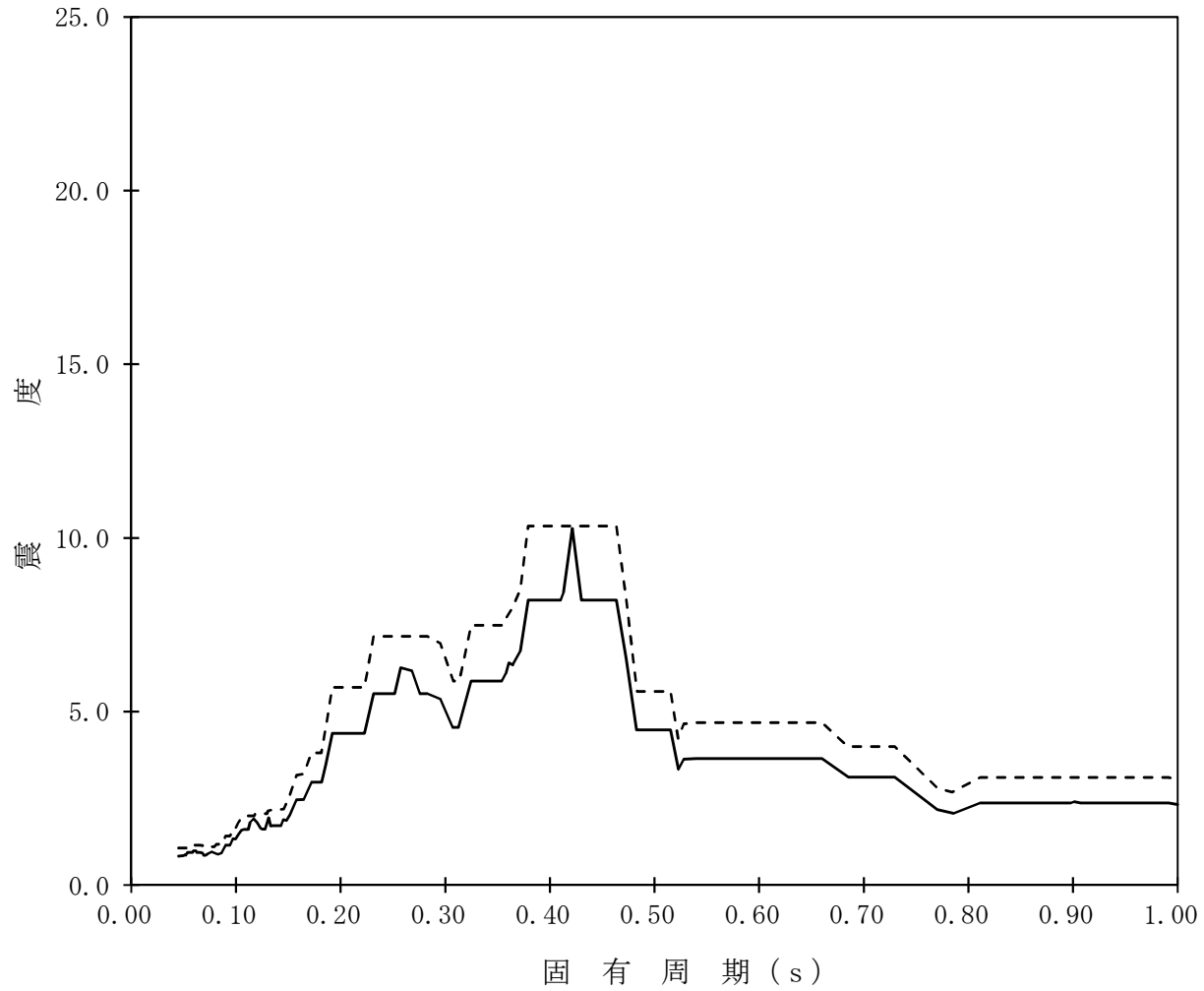
標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：0. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB10】

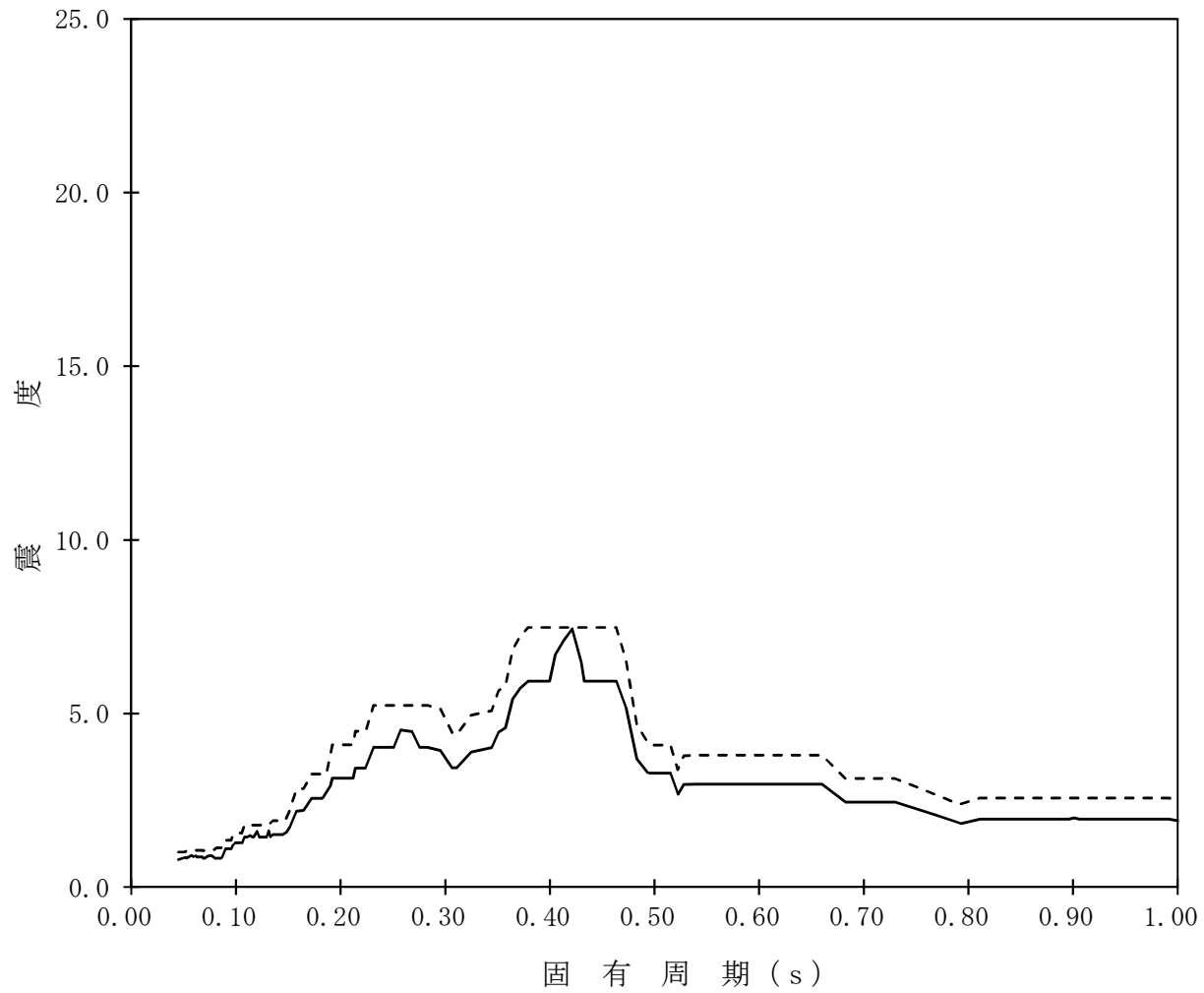
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB11】

構造物名：原子炉建屋

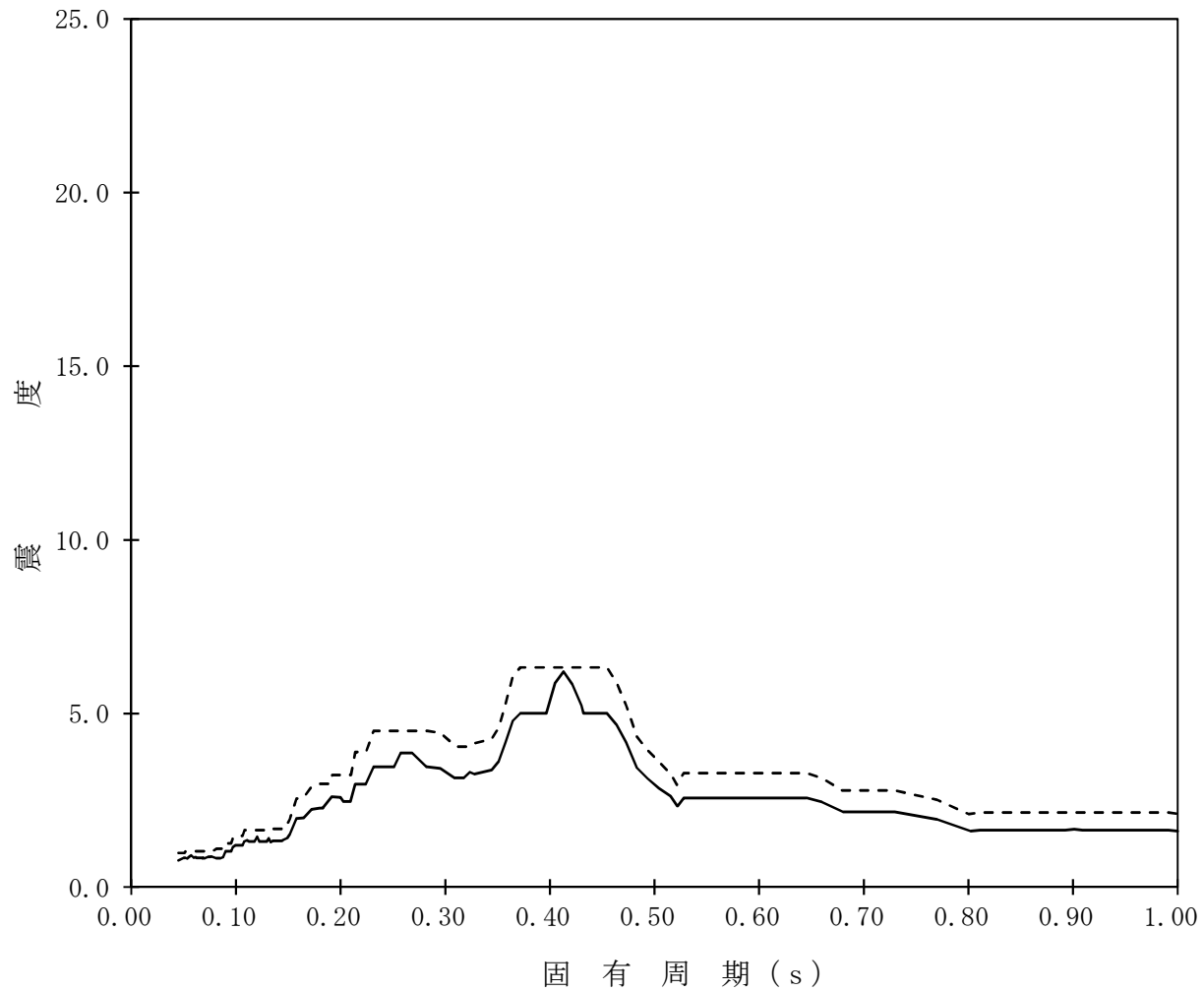
標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：1. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB12】

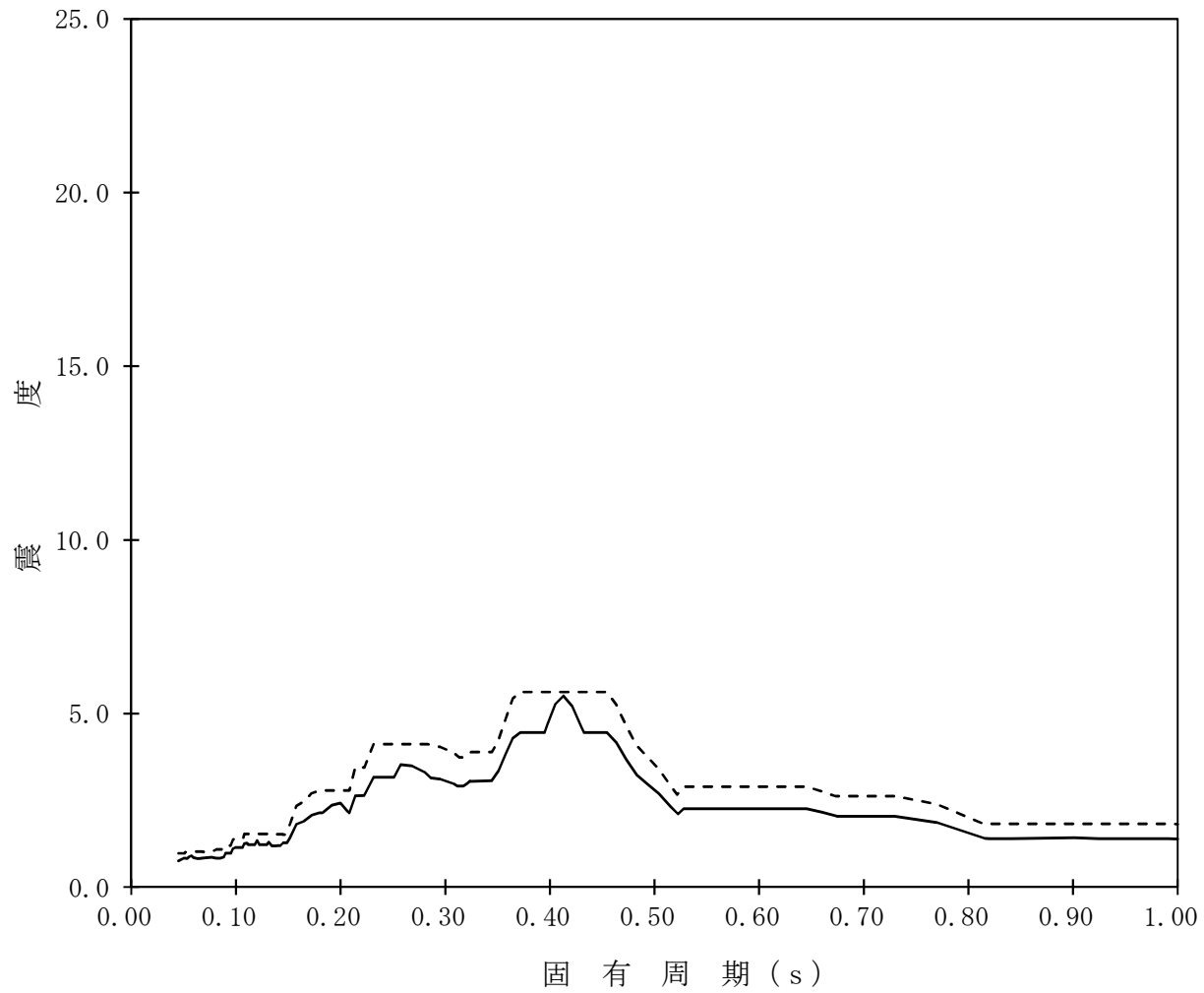
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB13】

構造物名：原子炉建屋

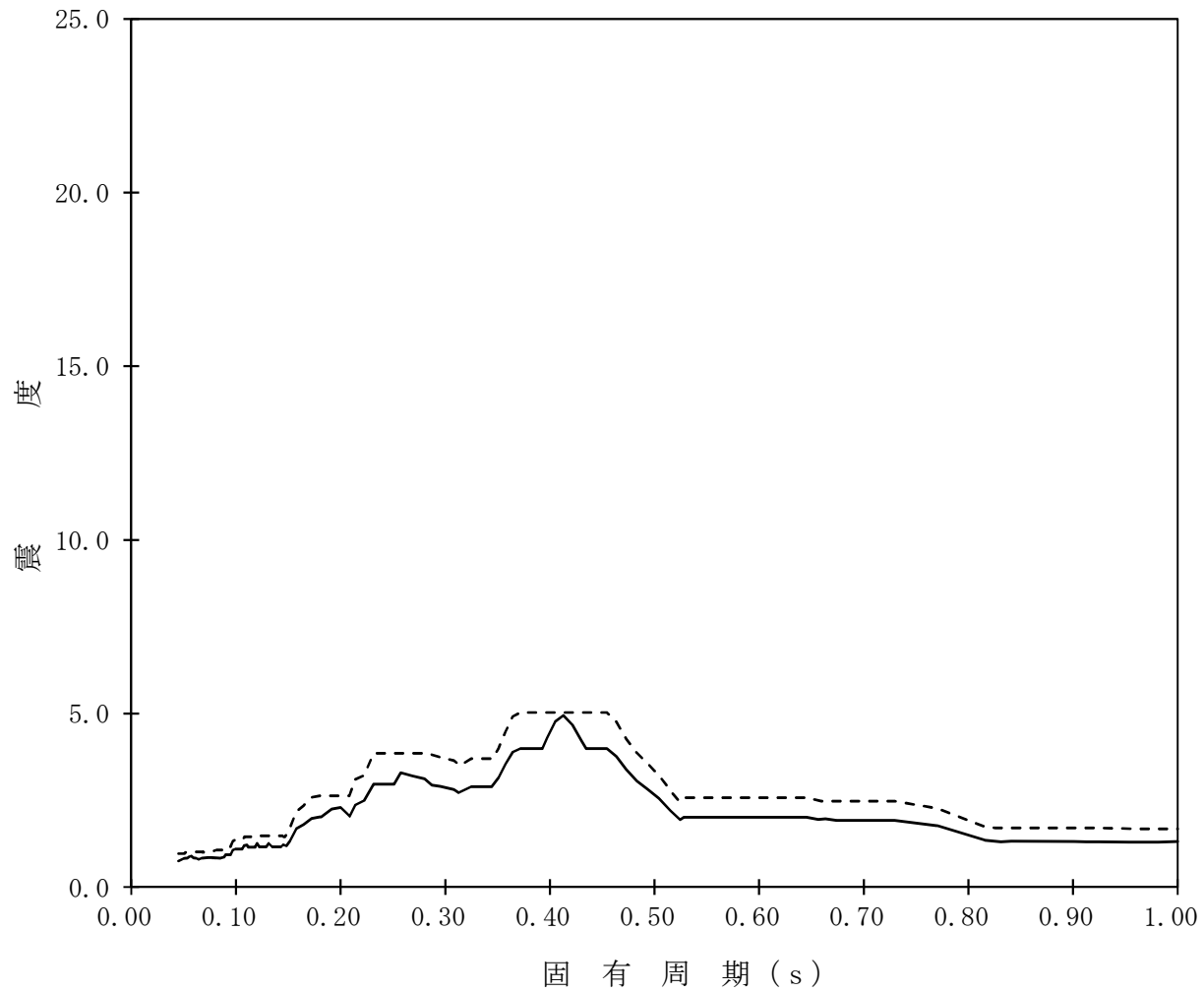
標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB14】

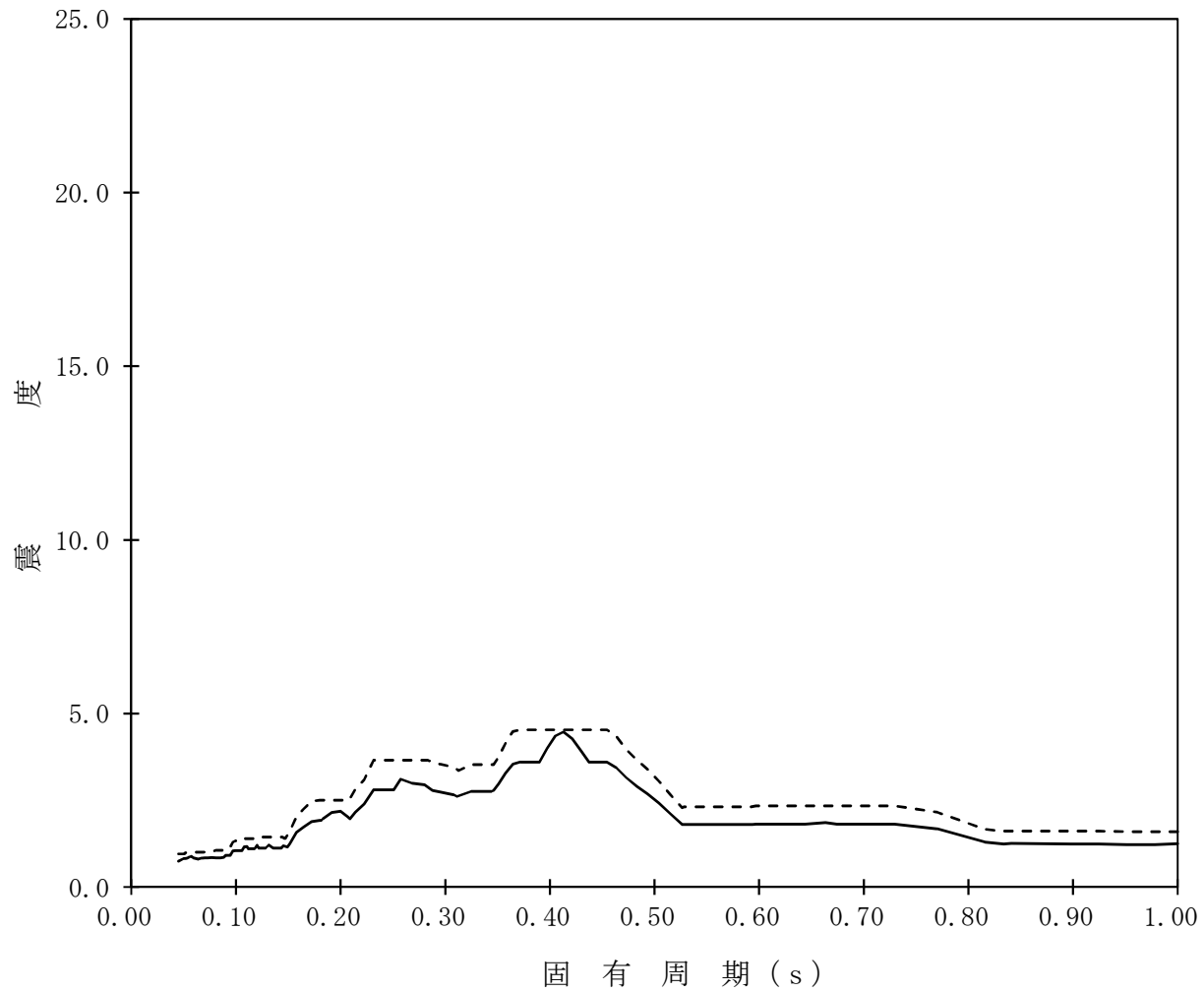
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB15】

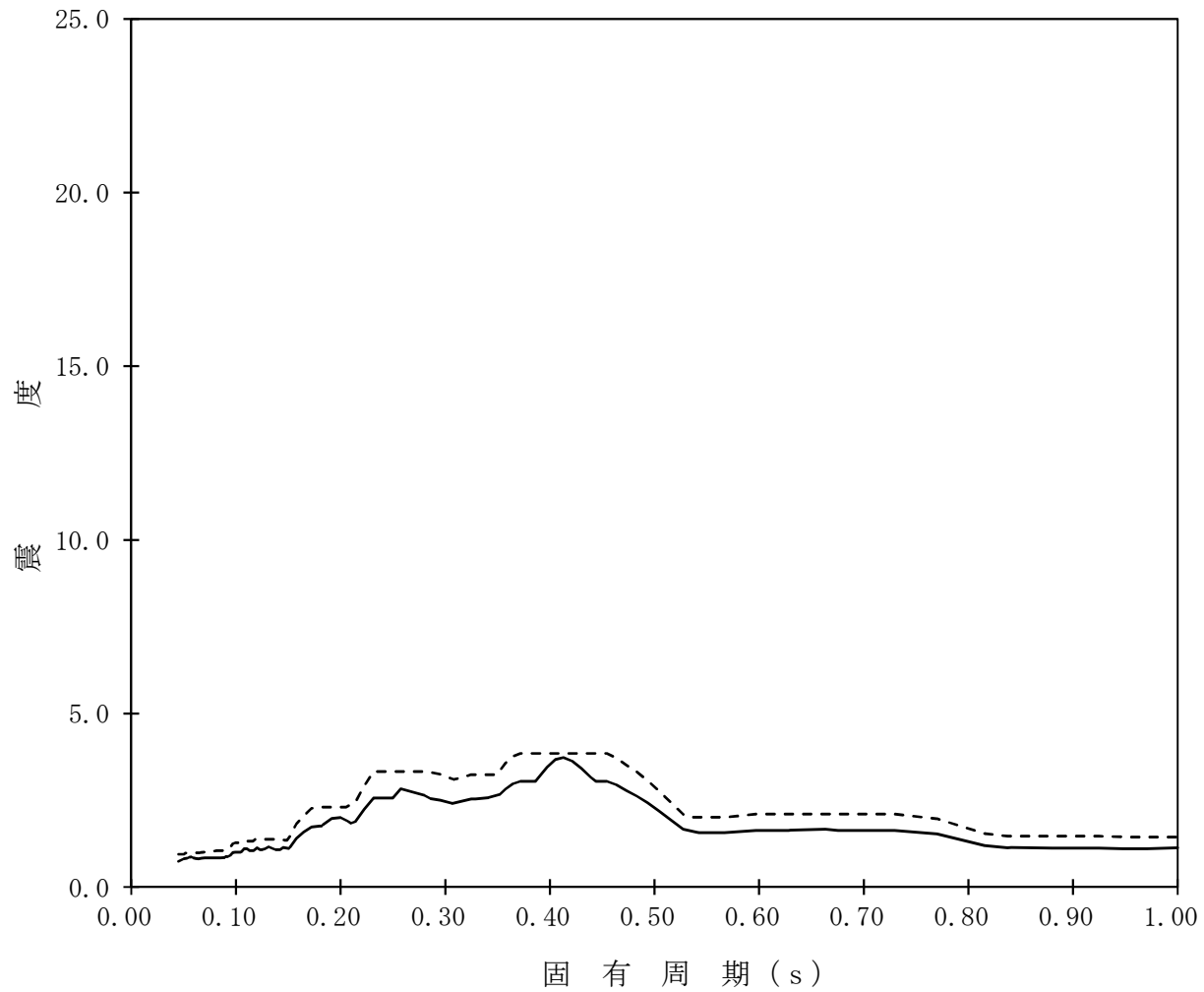
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB16】

構造物名：原子炉建屋

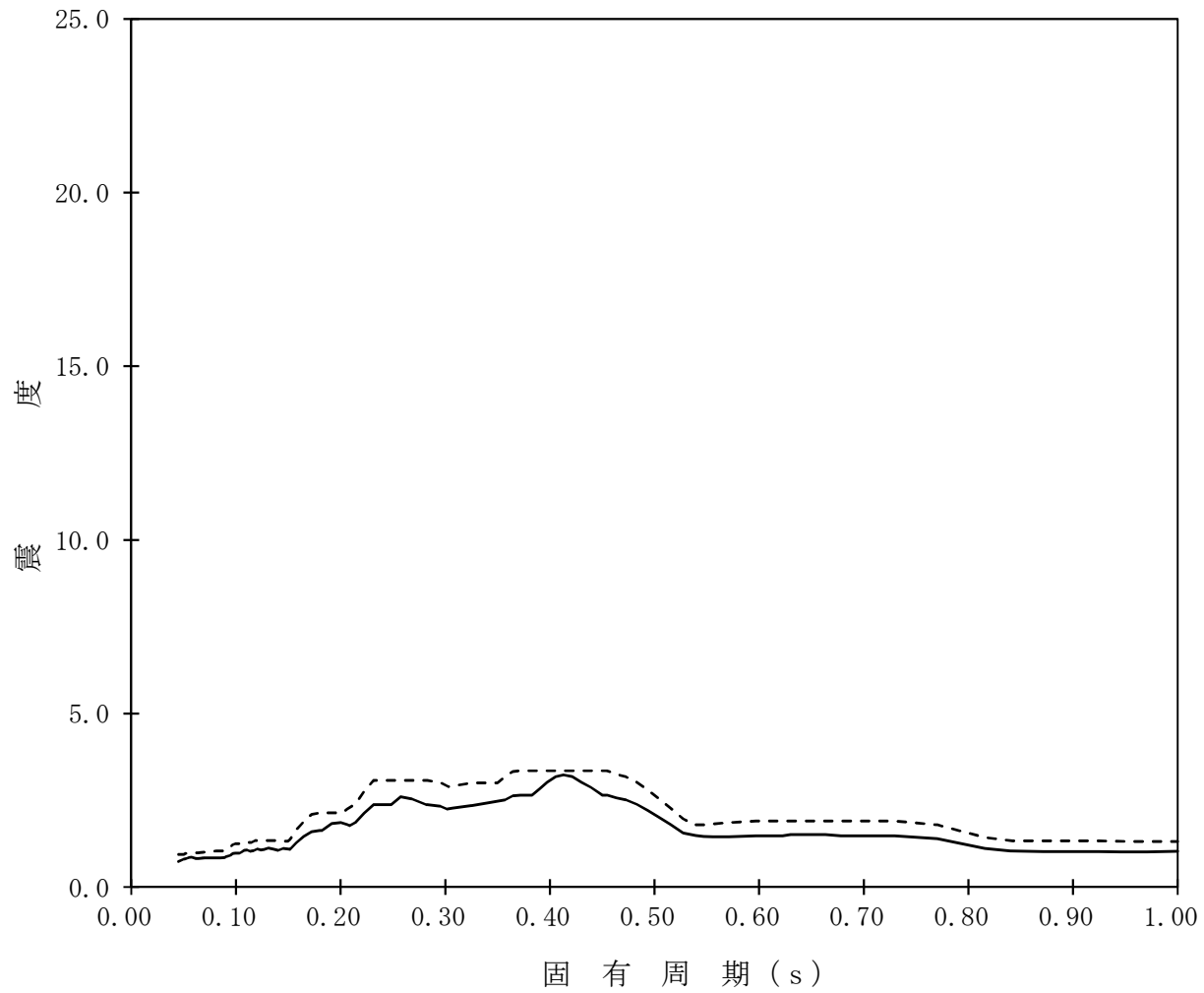
標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：5.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB17】

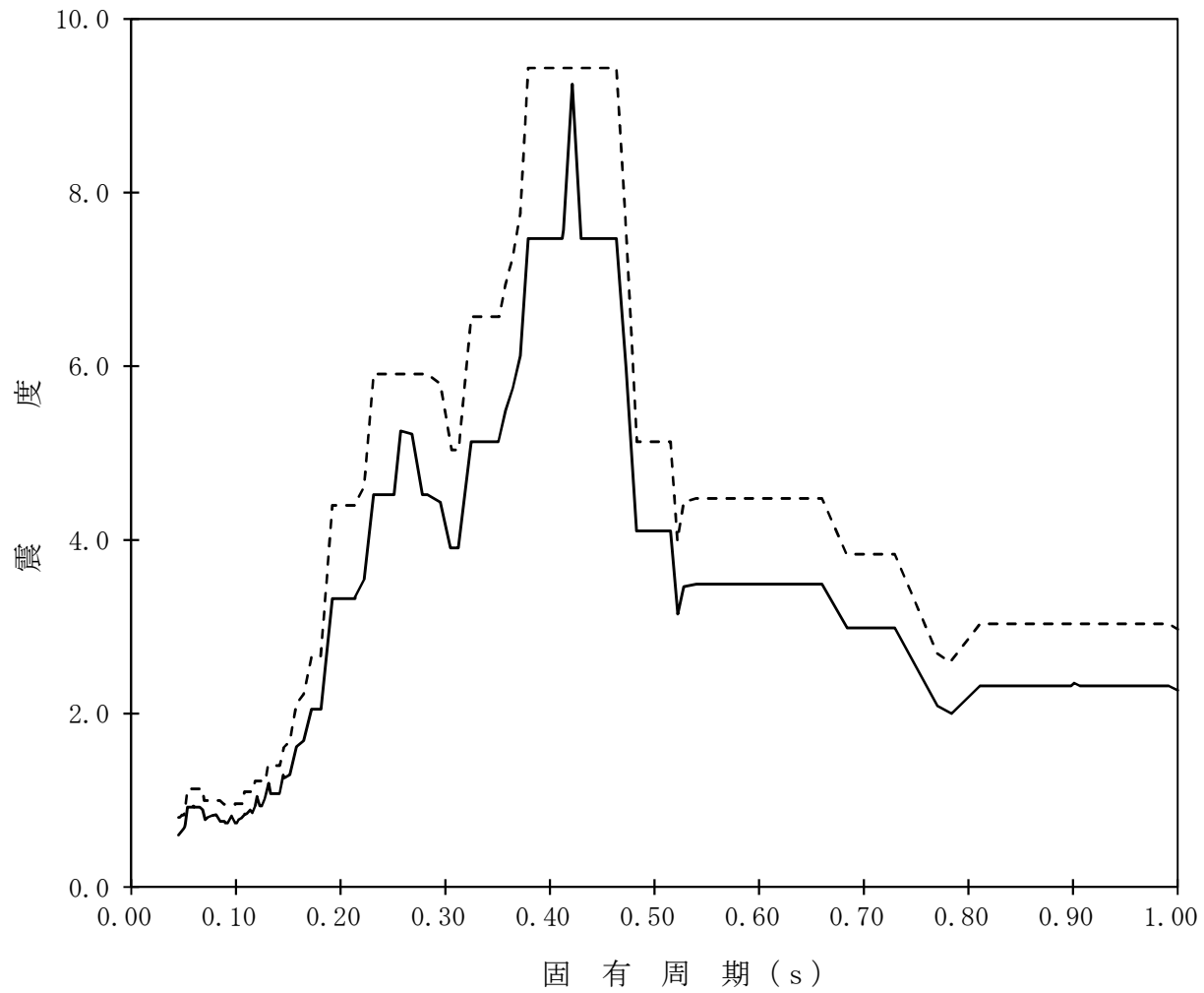
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB18】

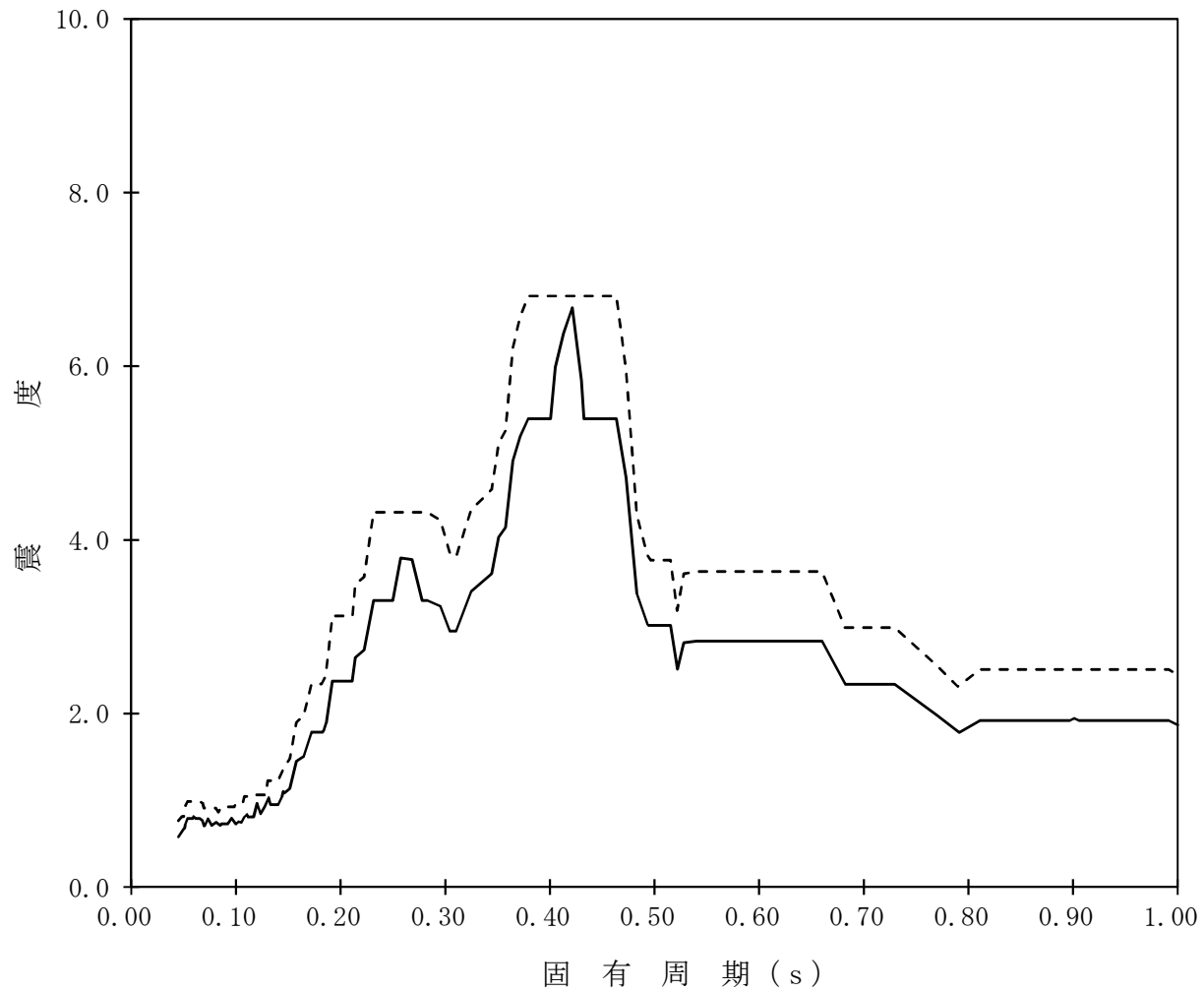
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB19】

構造物名：原子炉建屋

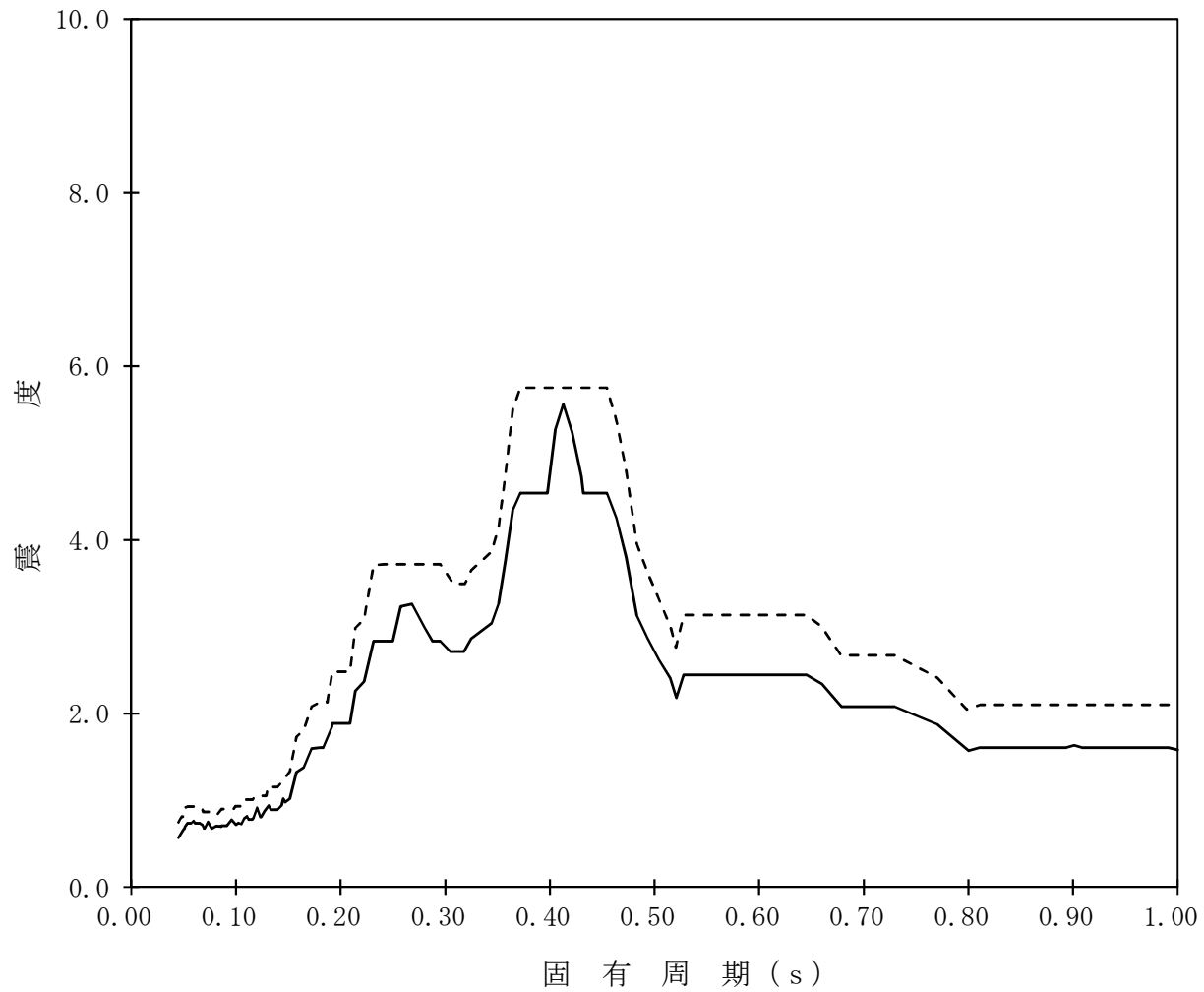
標高：T. M. S. L. 31.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：1.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB20】

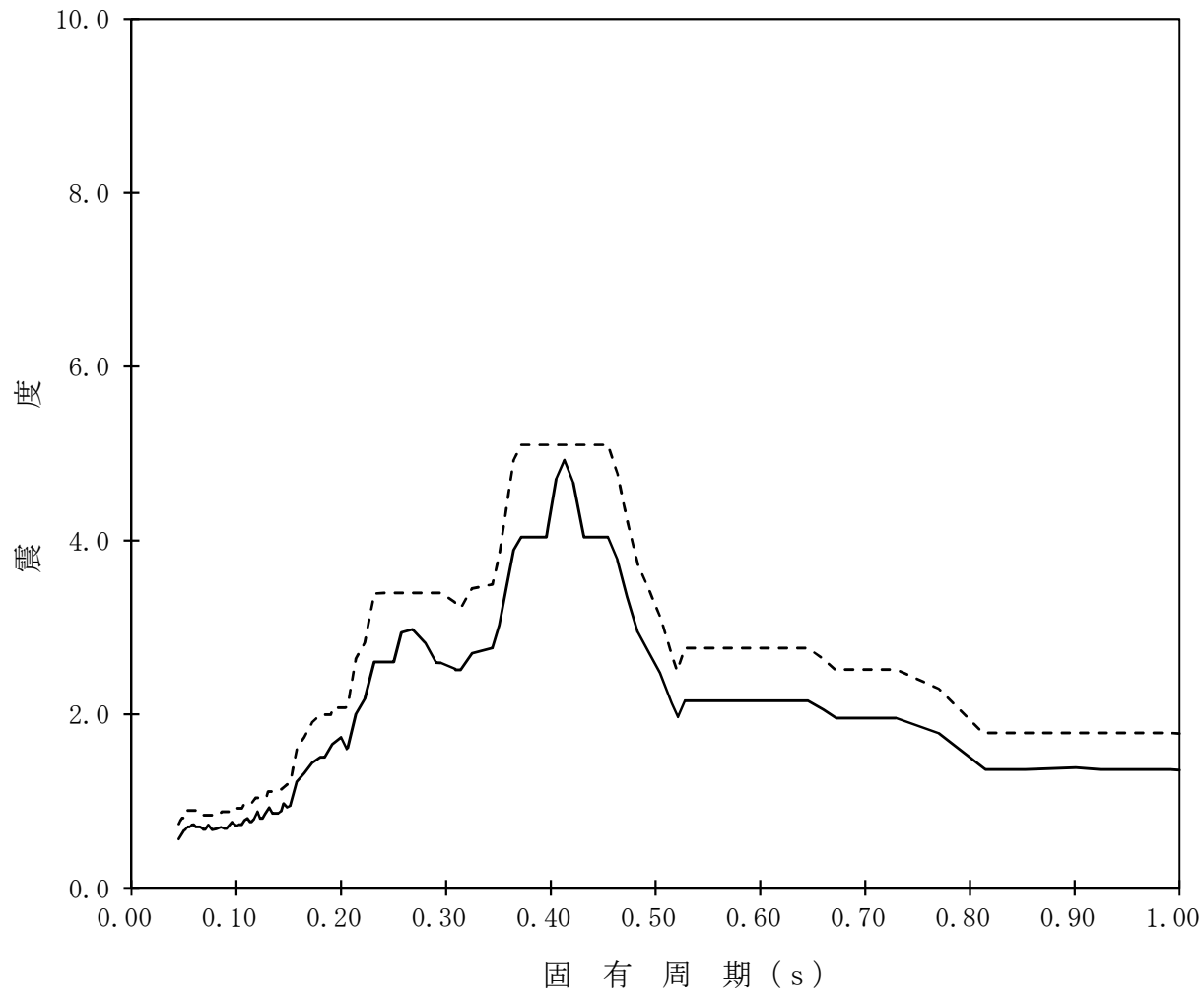
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB21】

構造物名：原子炉建屋

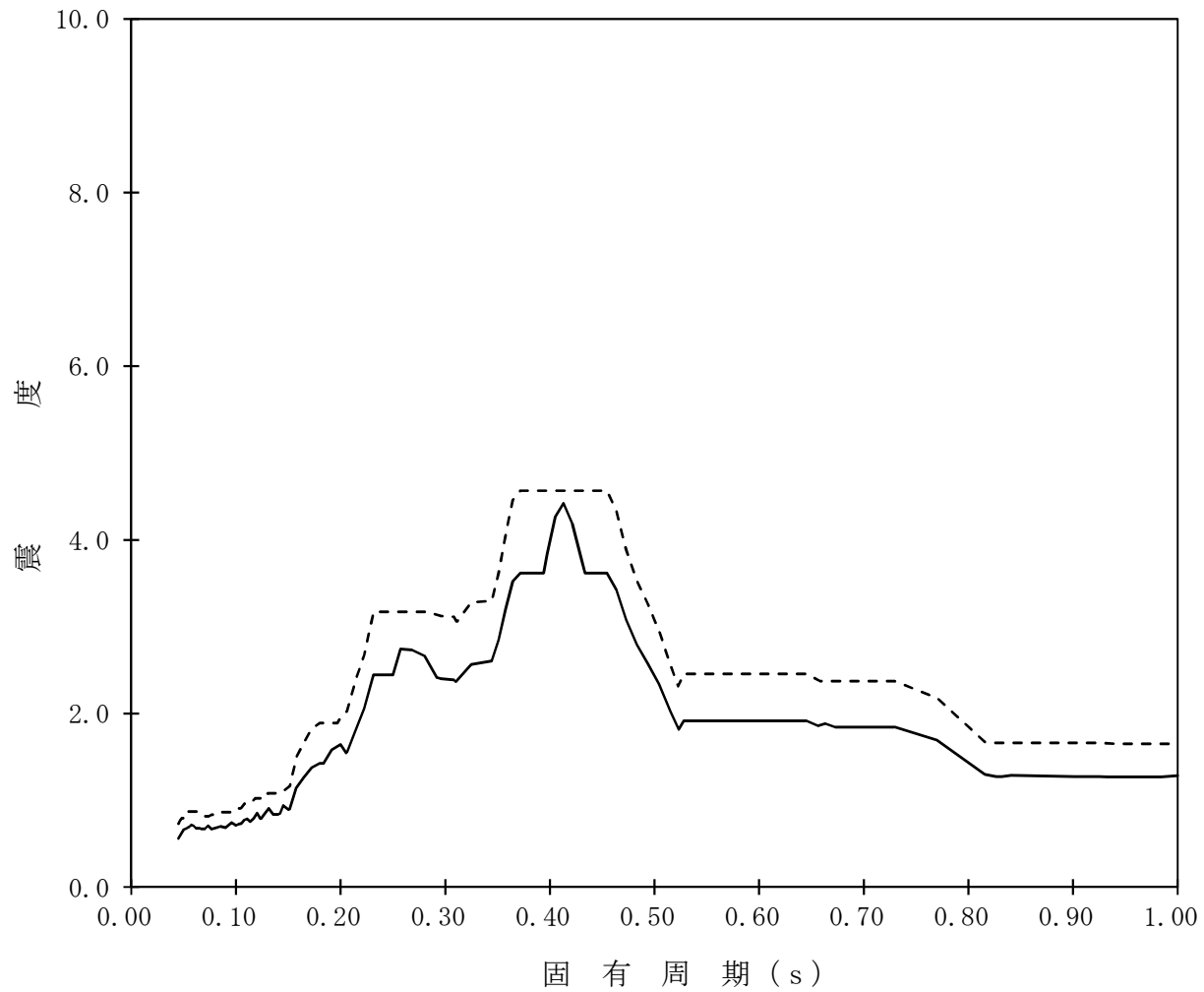
標高：T. M. S. L. 31.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：2.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB22】

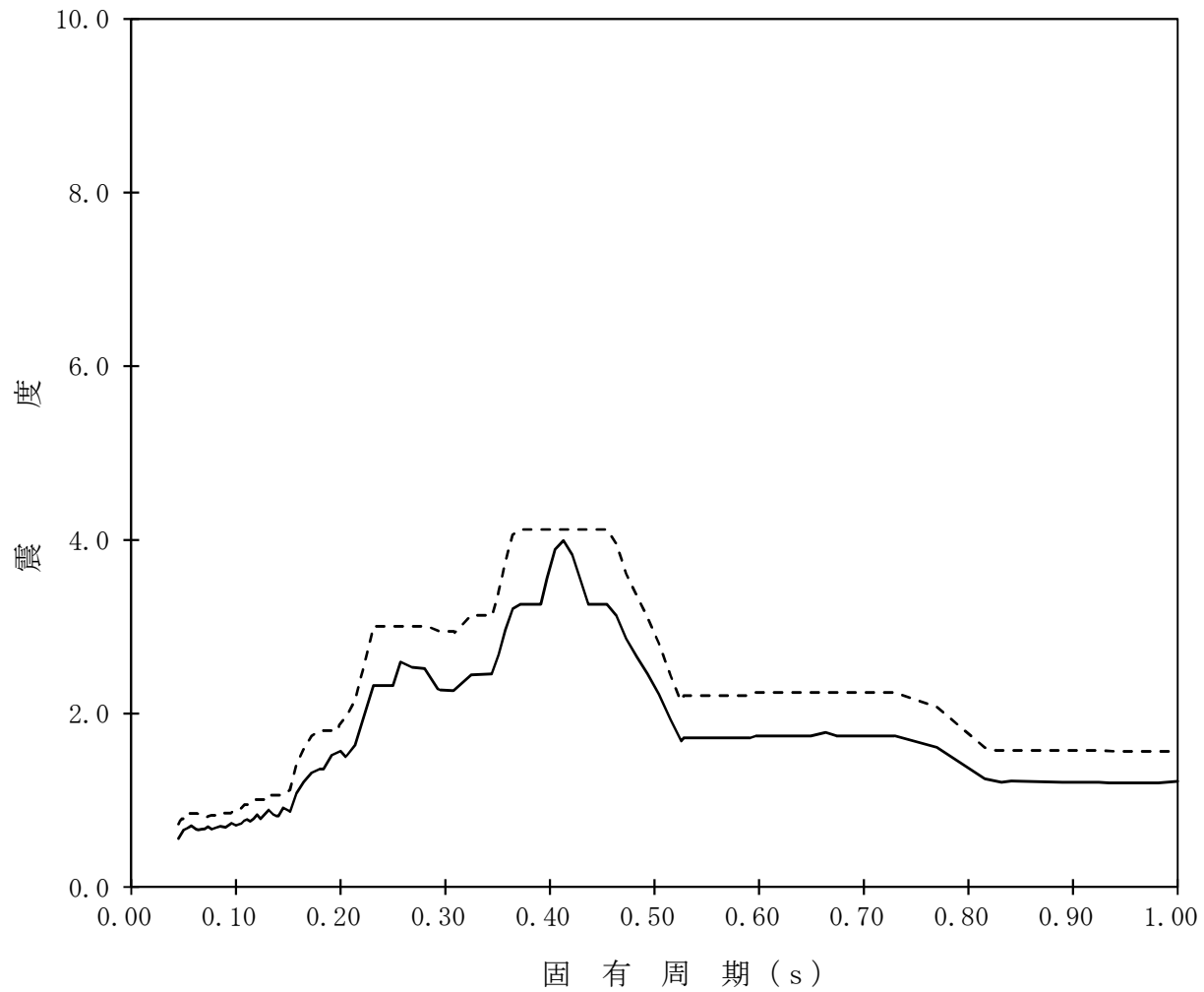
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB23】

構造物名：原子炉建屋

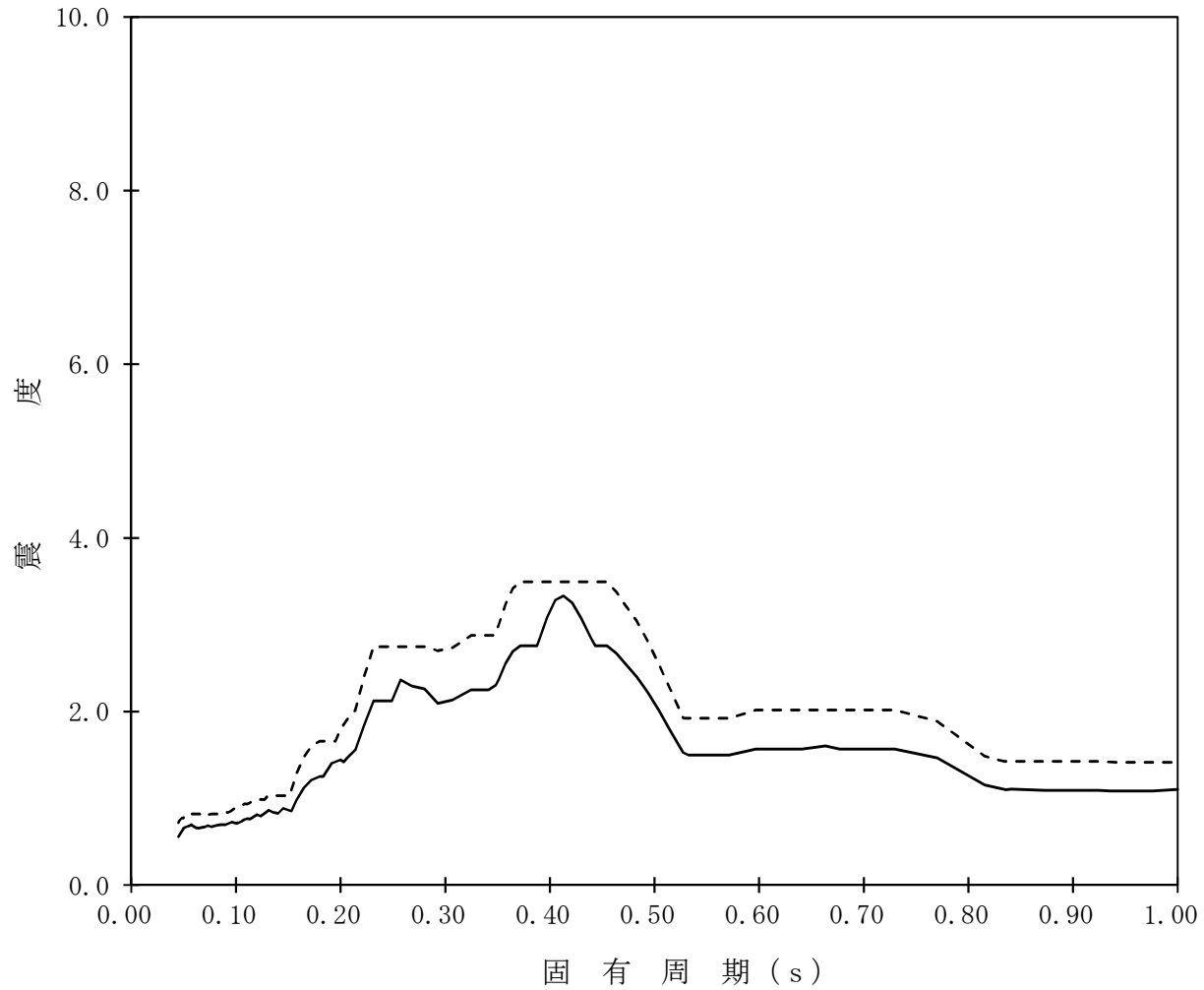
標高：T. M. S. L. 31.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：4.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB24】

構造物名：原子炉建屋

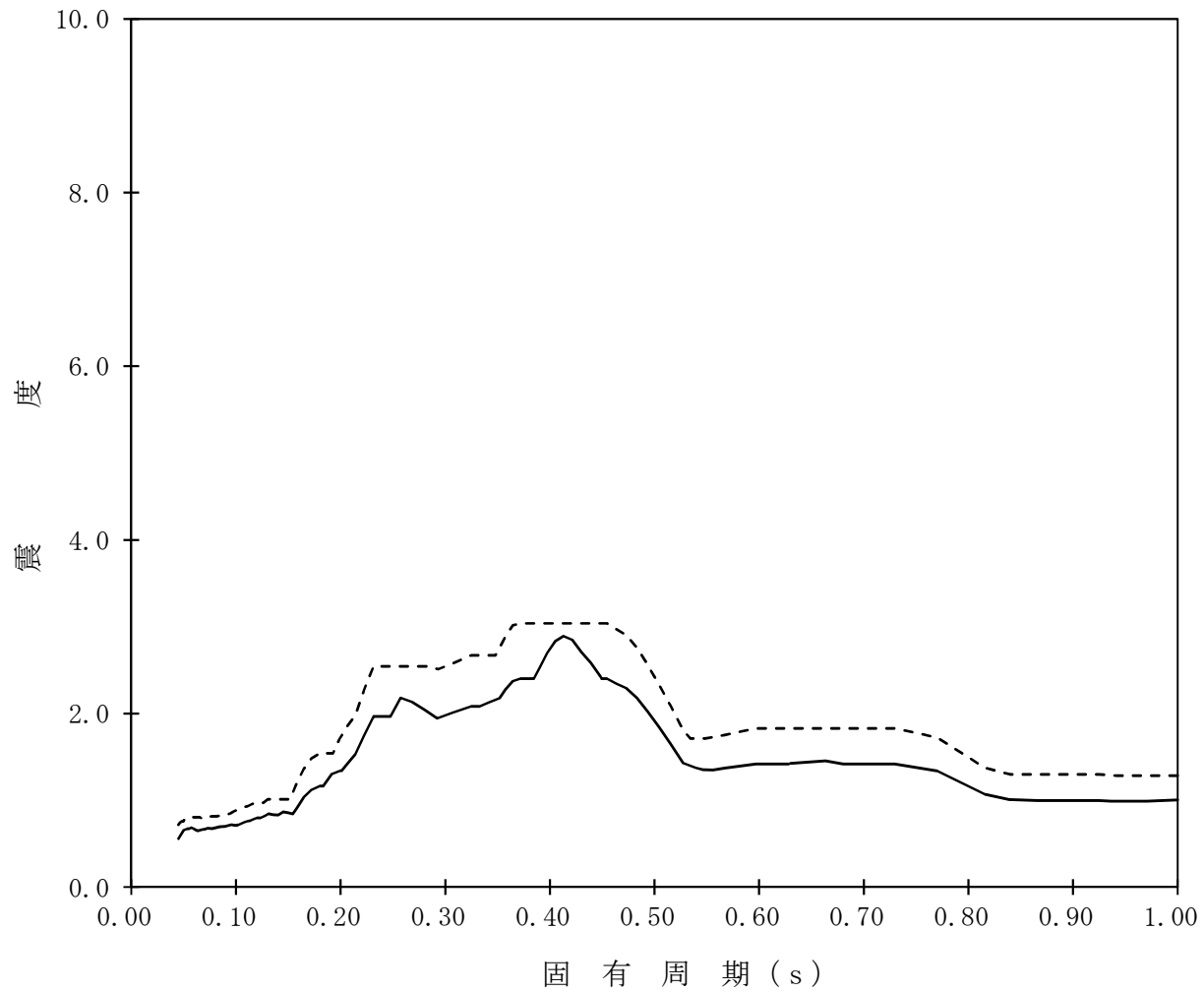
標高：T. M. S. L. 31.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：5.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB25】

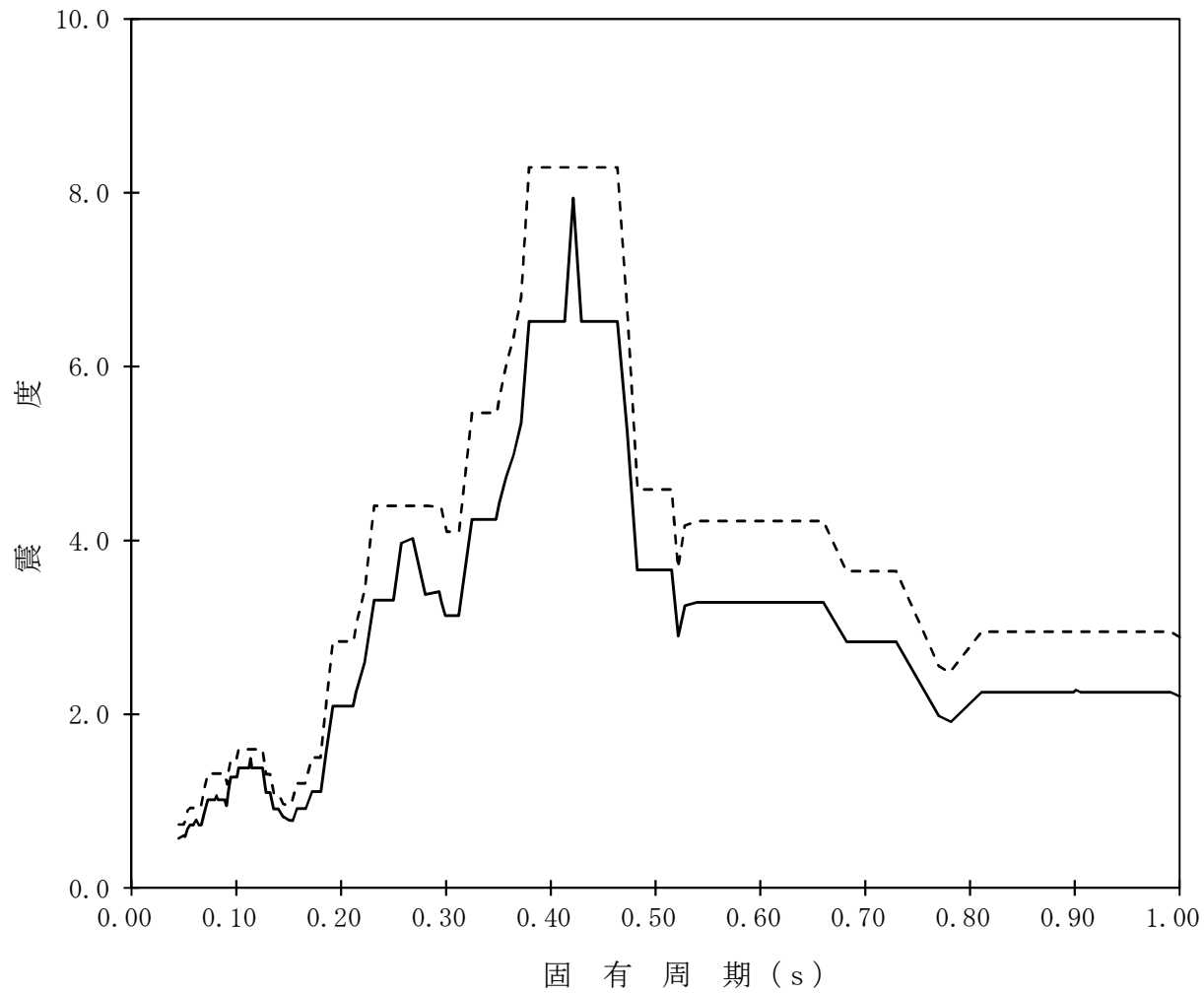
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB26】

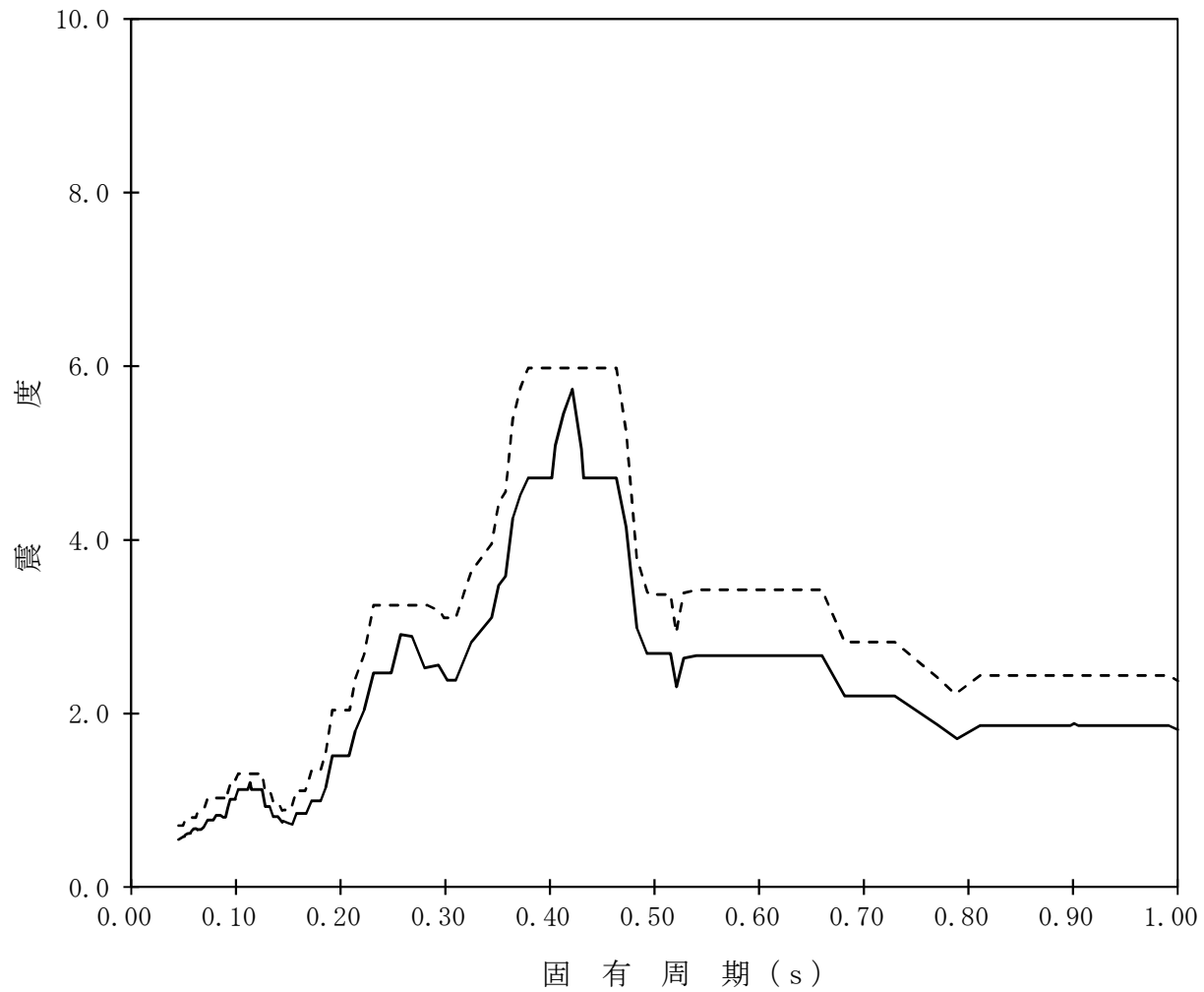
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB27】

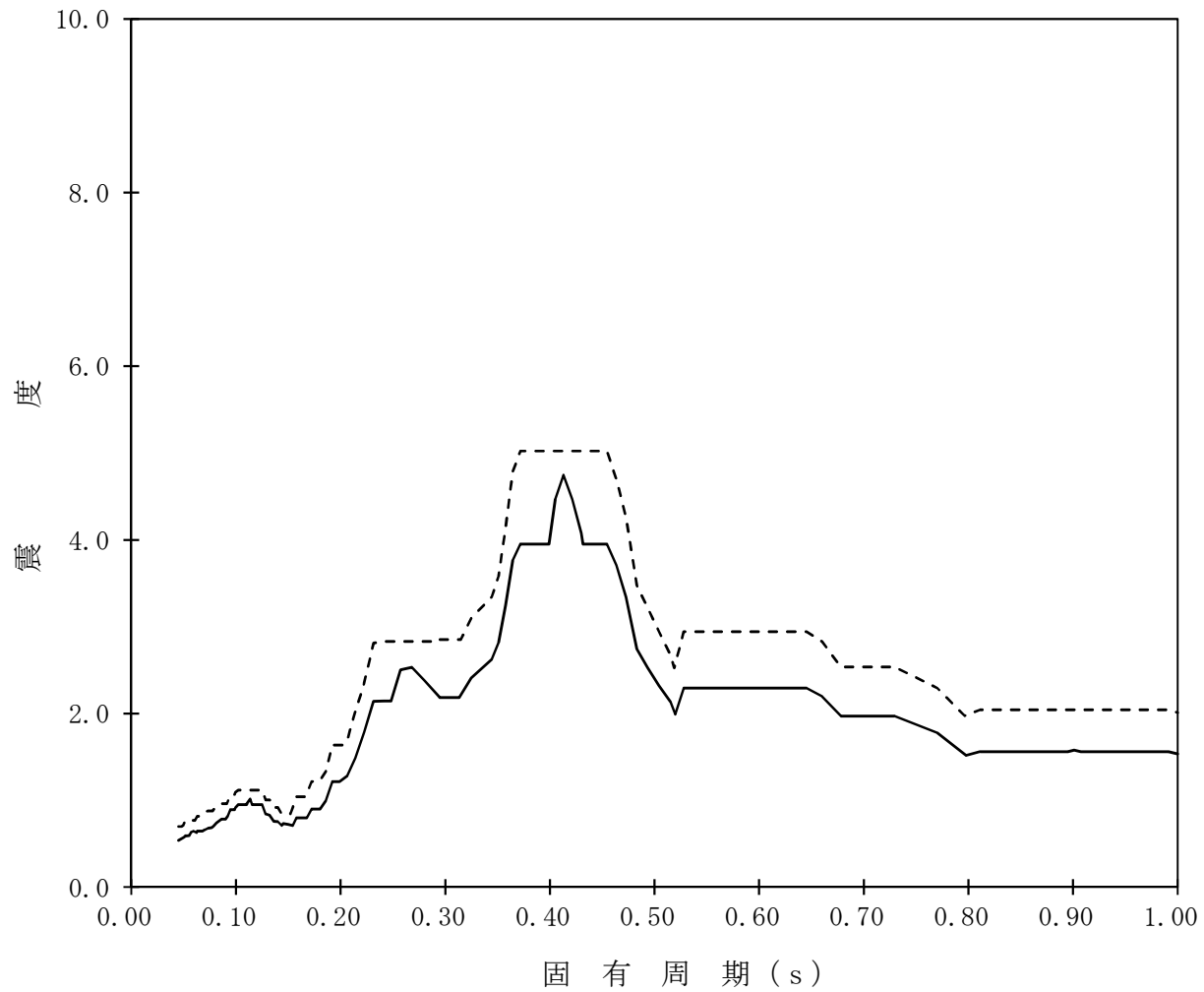
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB28】

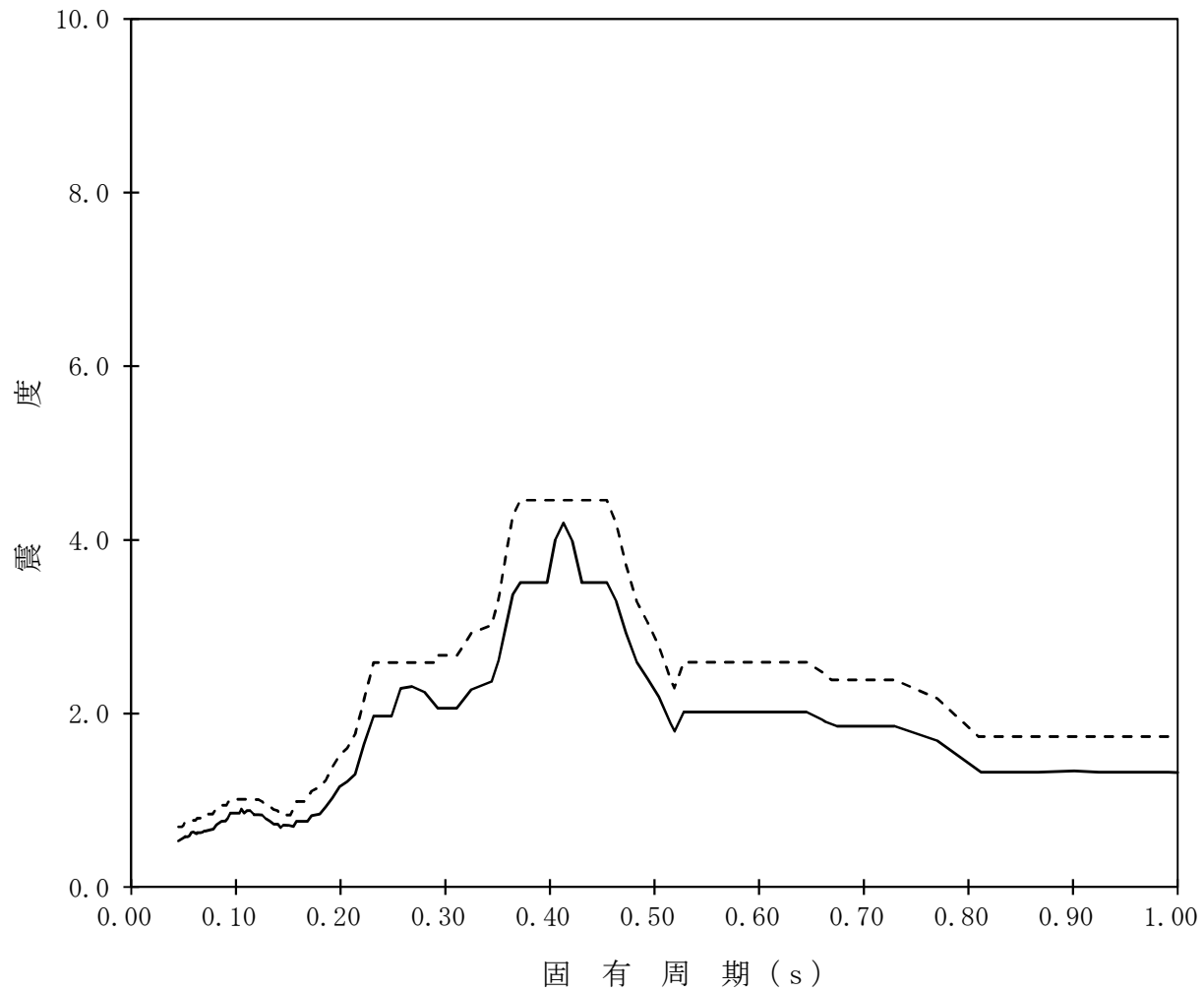
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB29】

構造物名：原子炉建屋

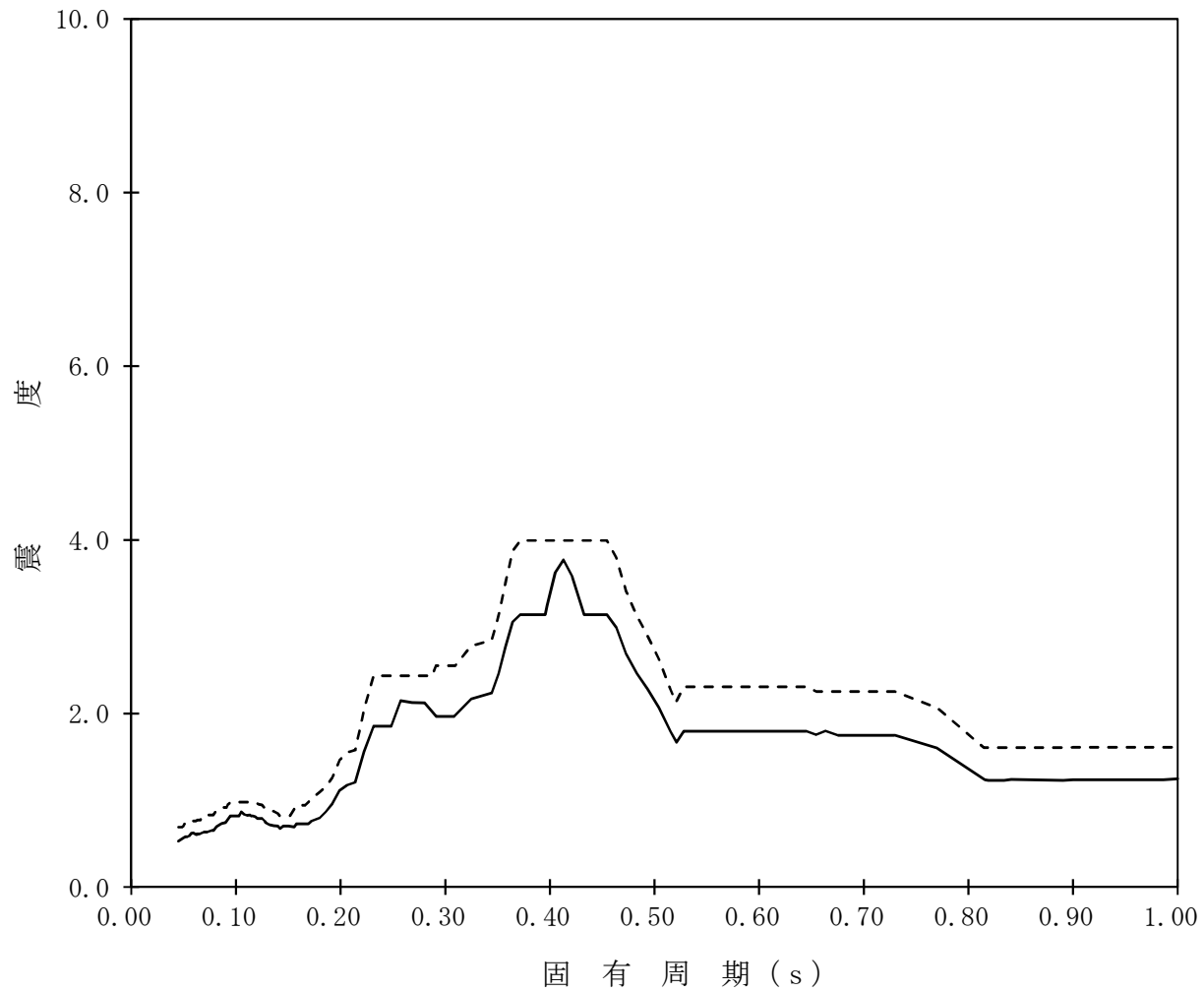
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB30】

構造物名：原子炉建屋

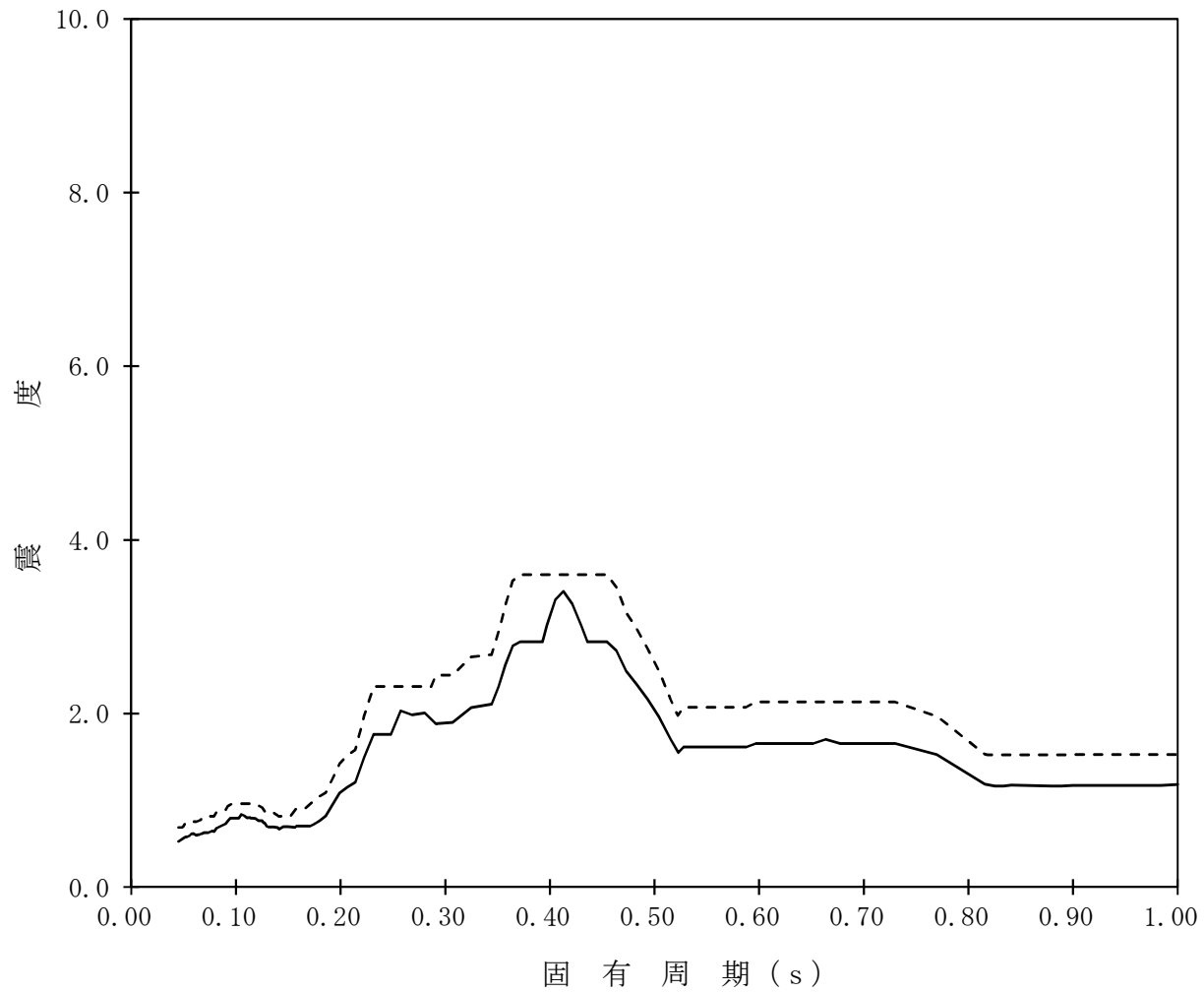
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：3. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB31】

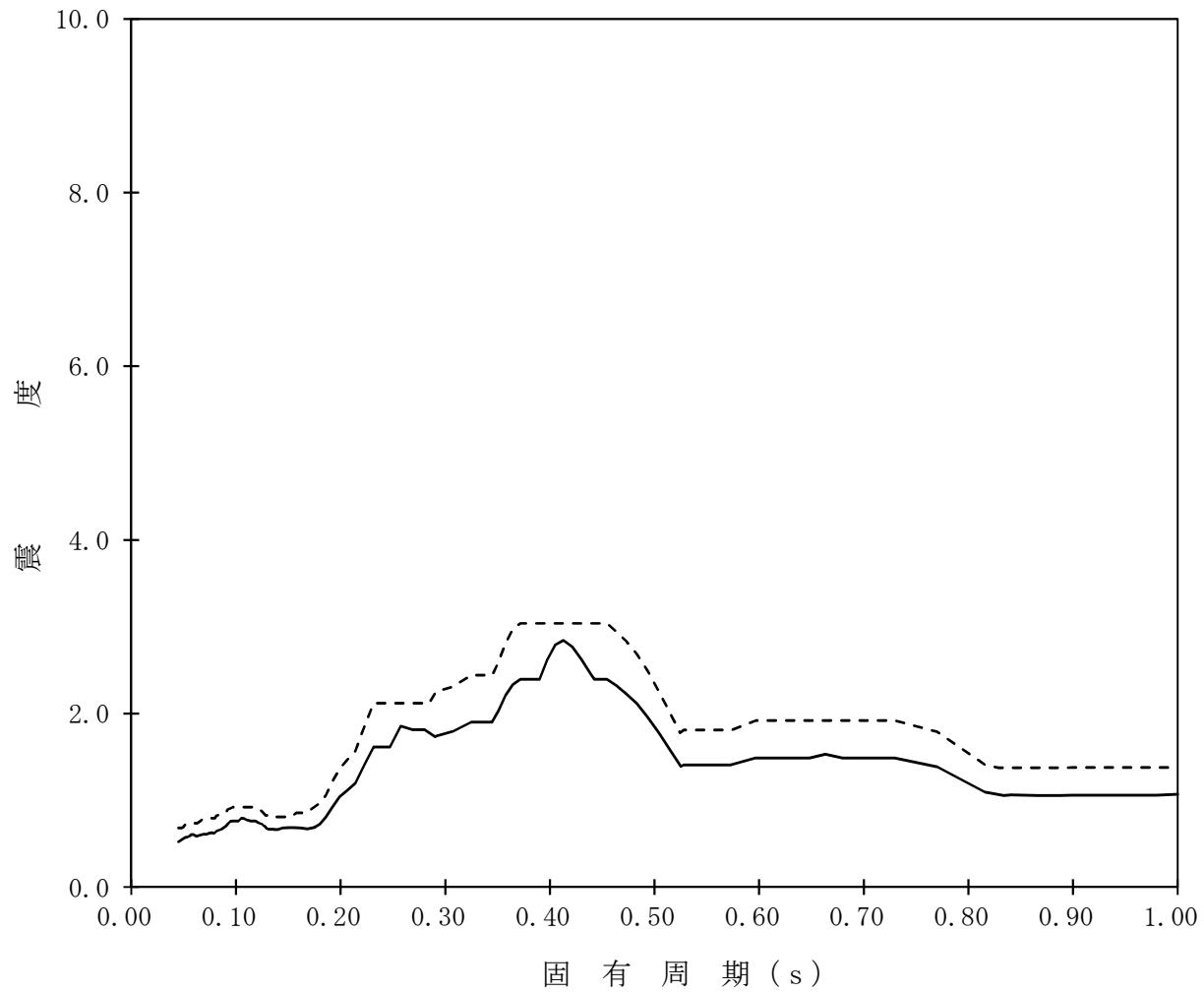
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB32】

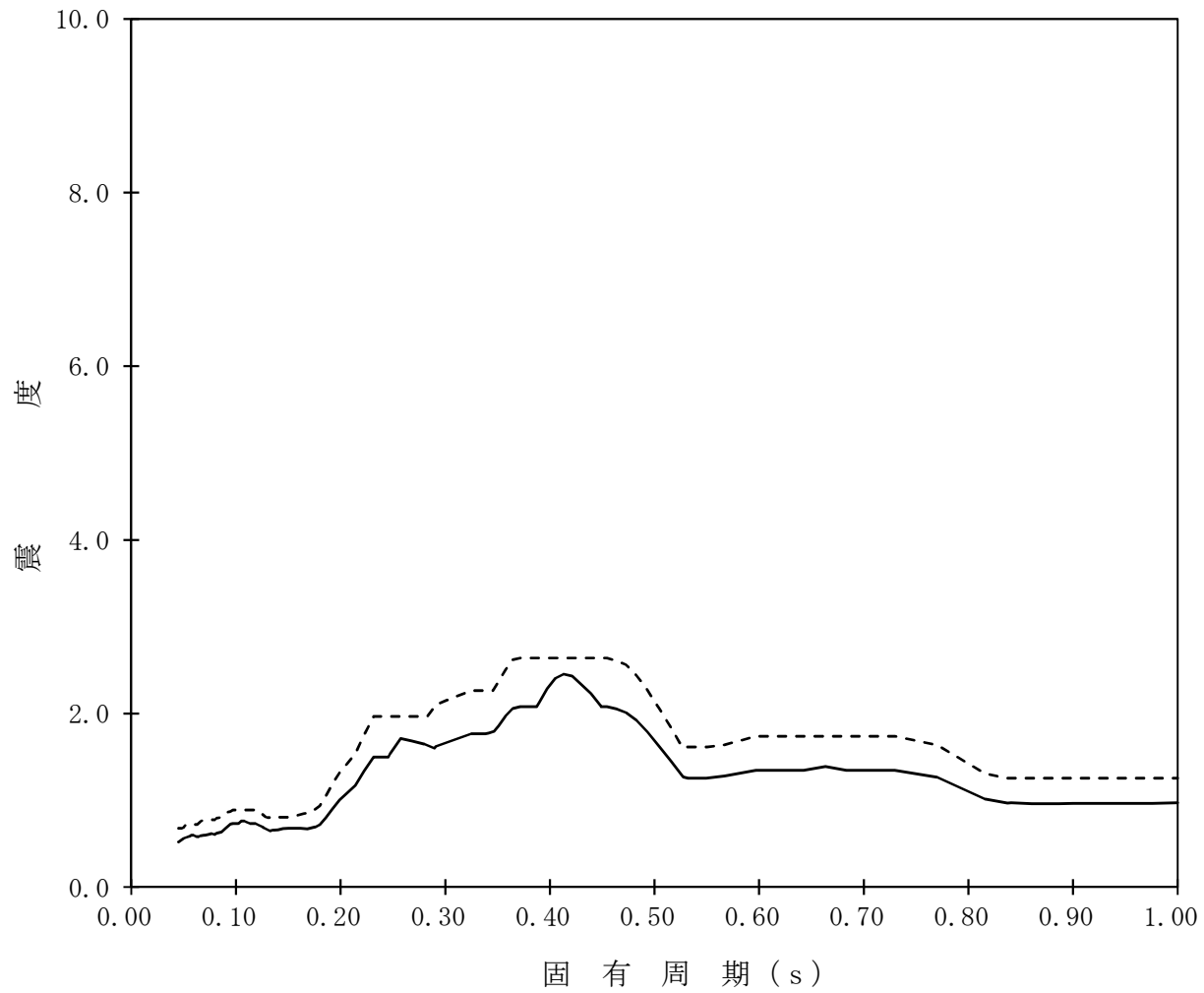
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB33】

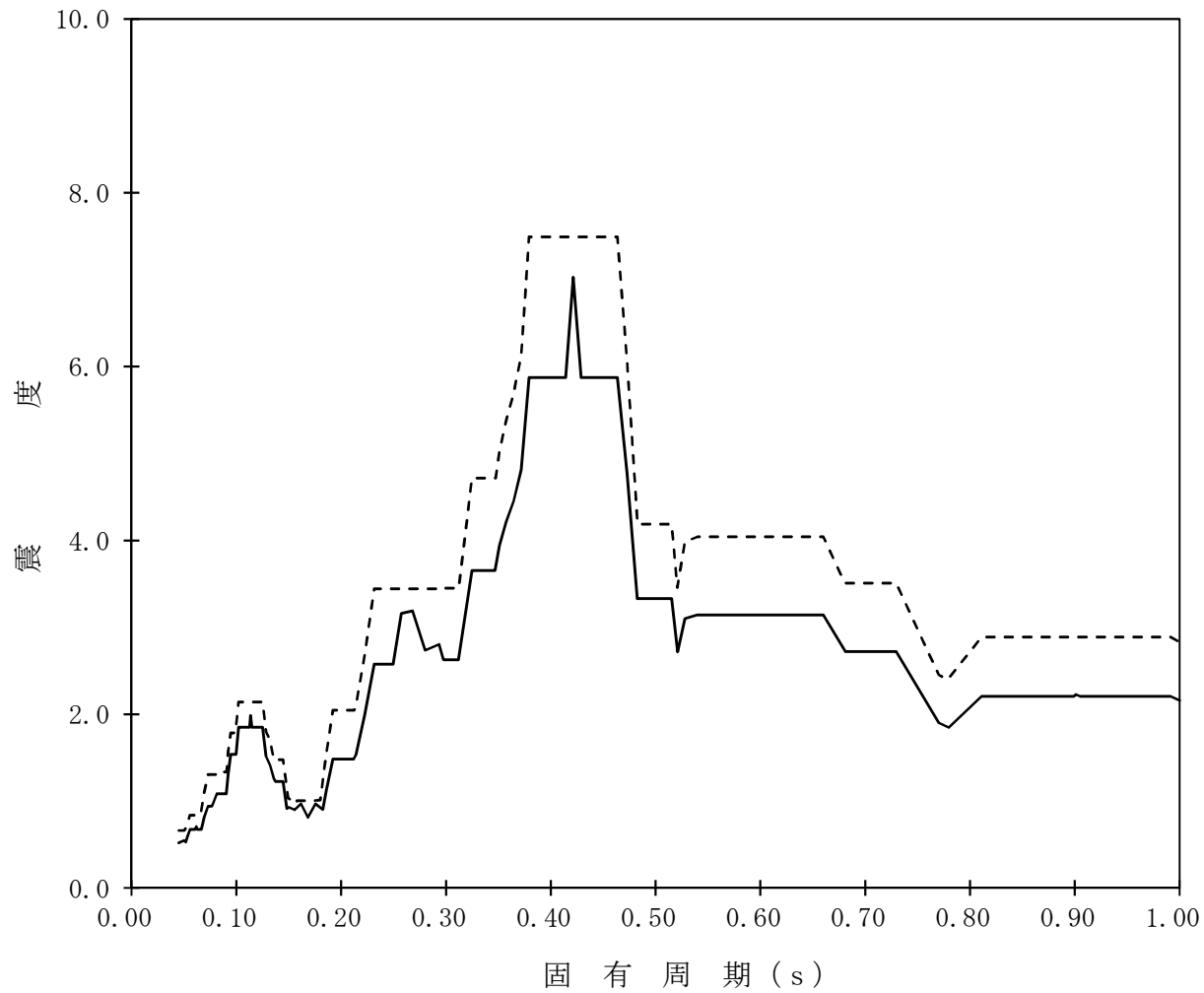
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB34】

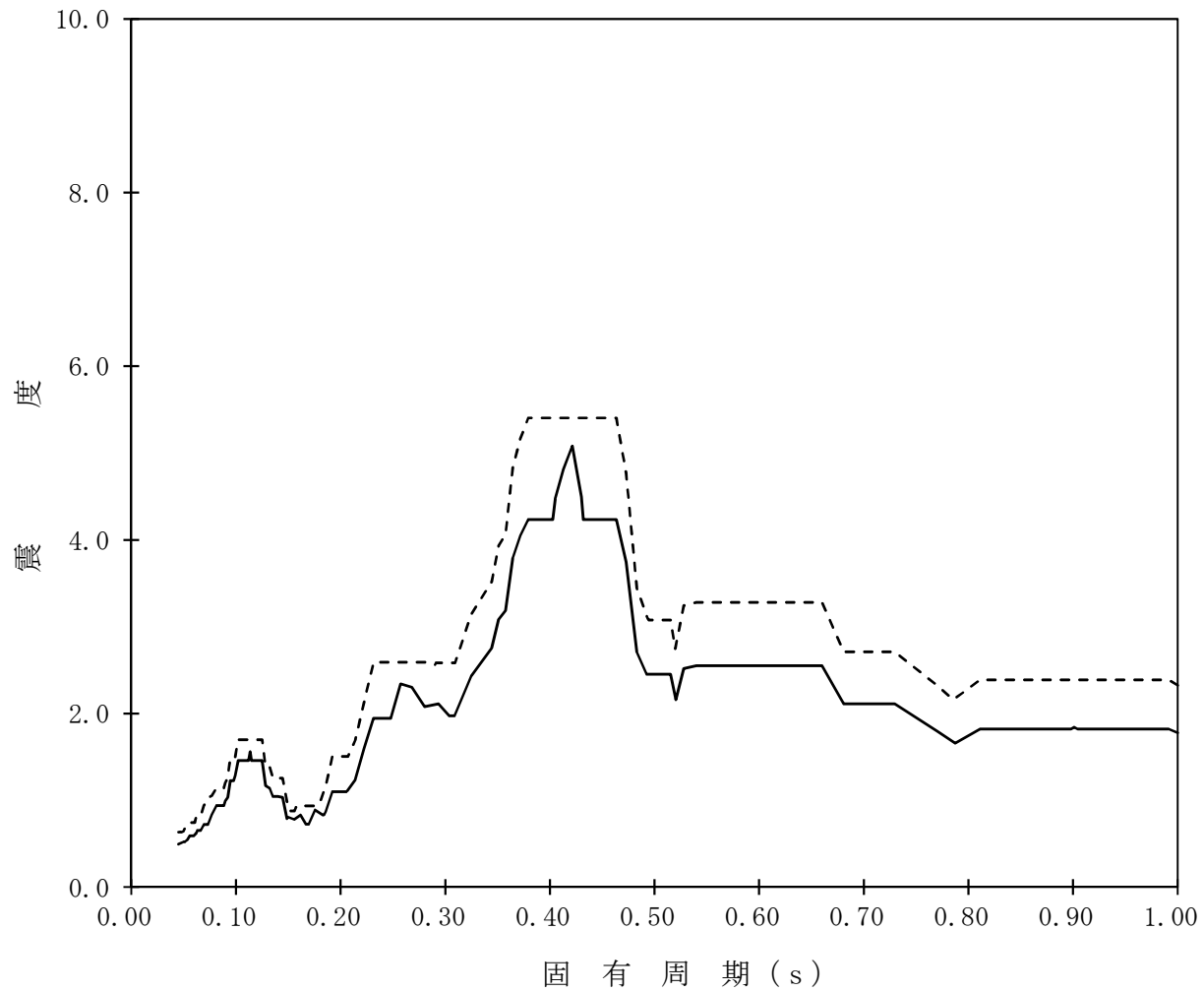
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB35】

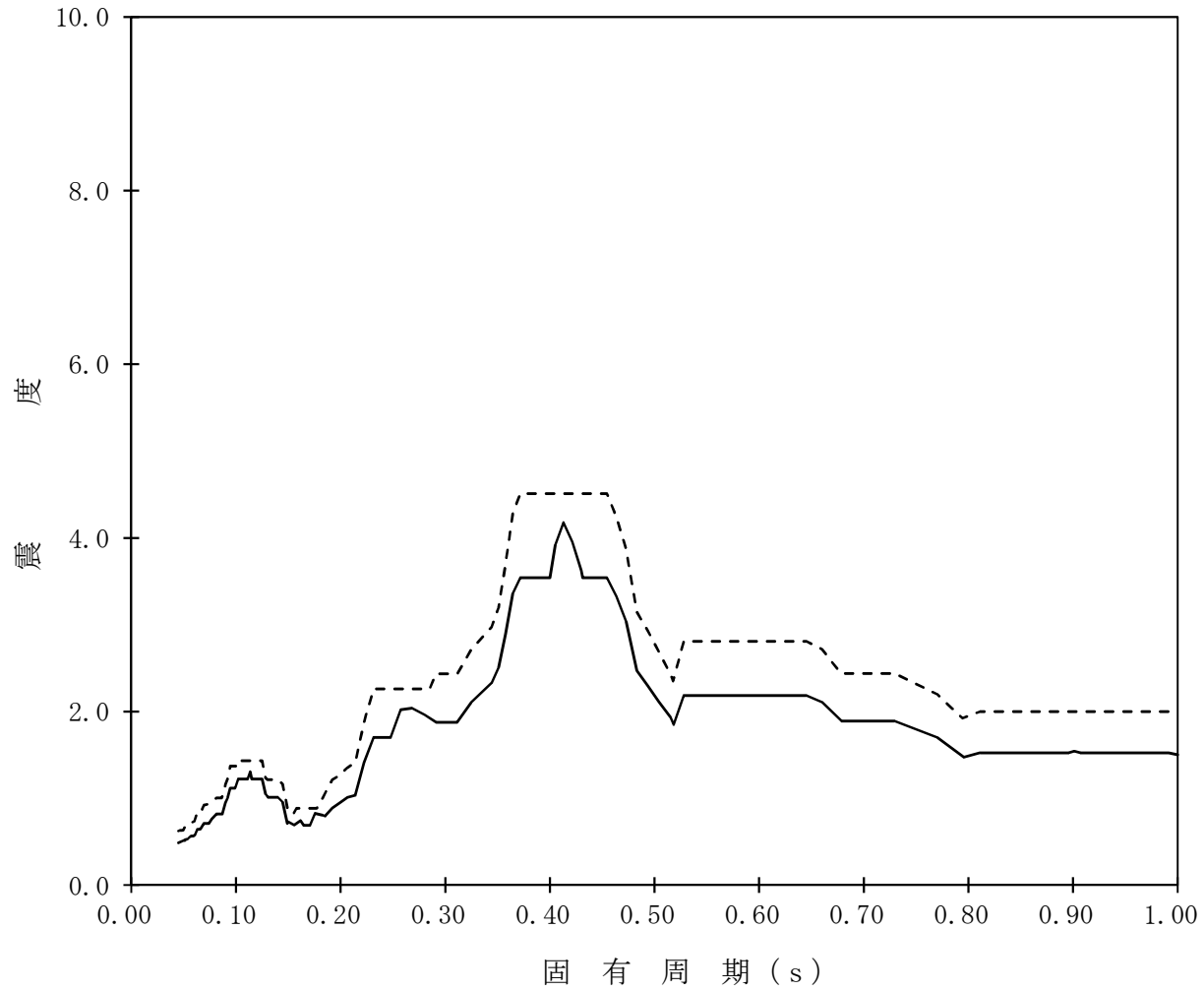
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB36】

構造物名：原子炉建屋

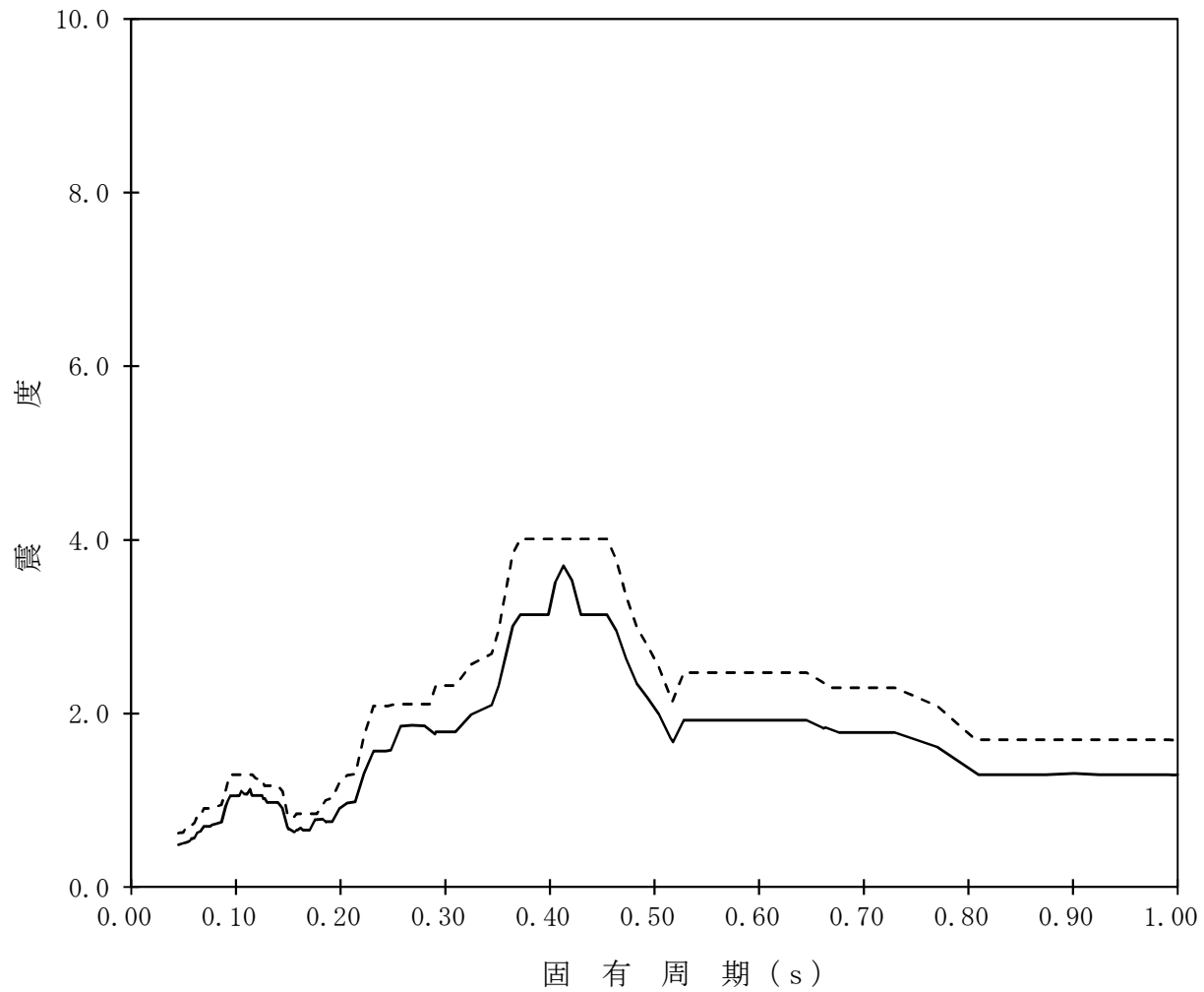
標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：2.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB37】

構造物名：原子炉建屋

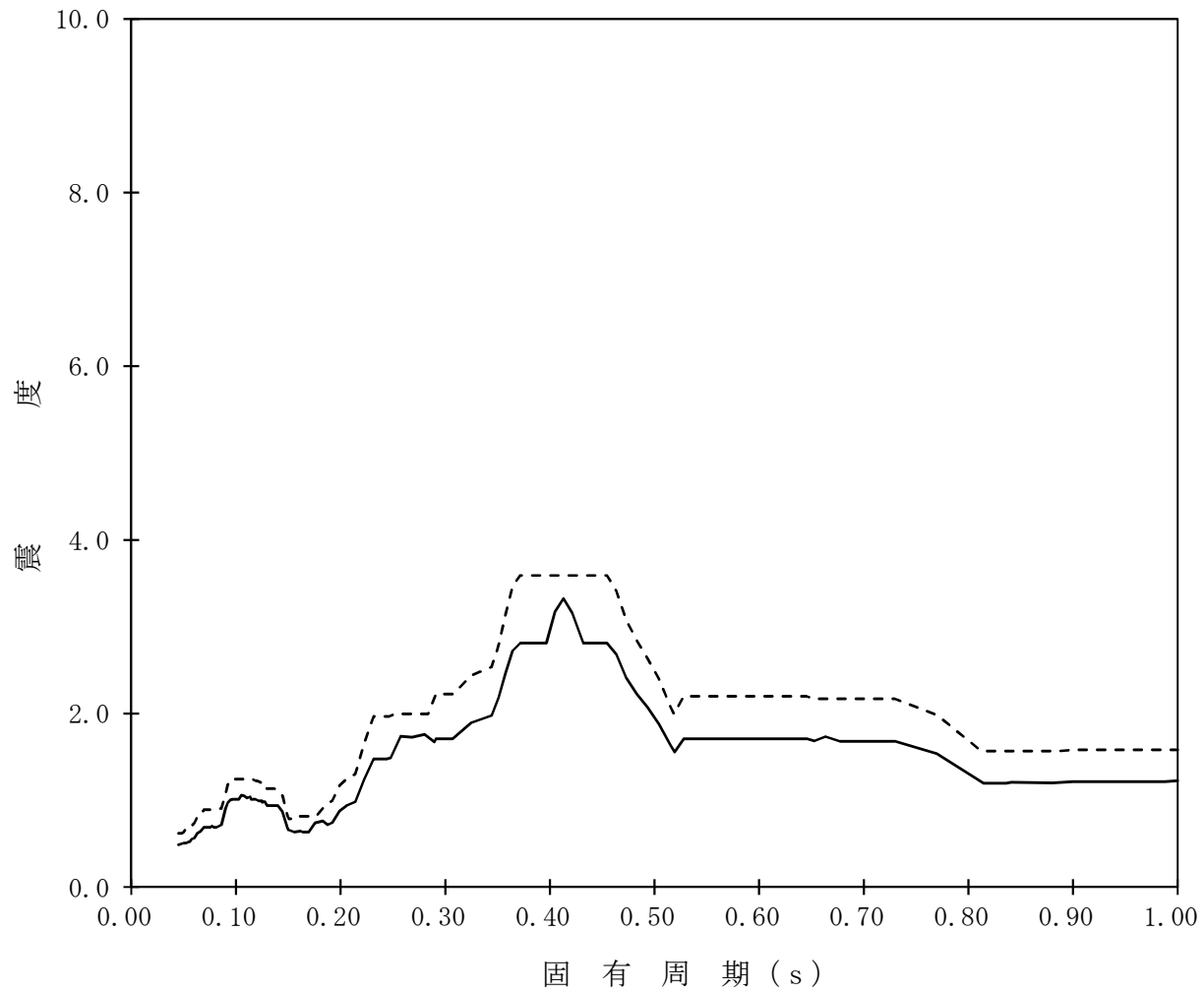
標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB38】

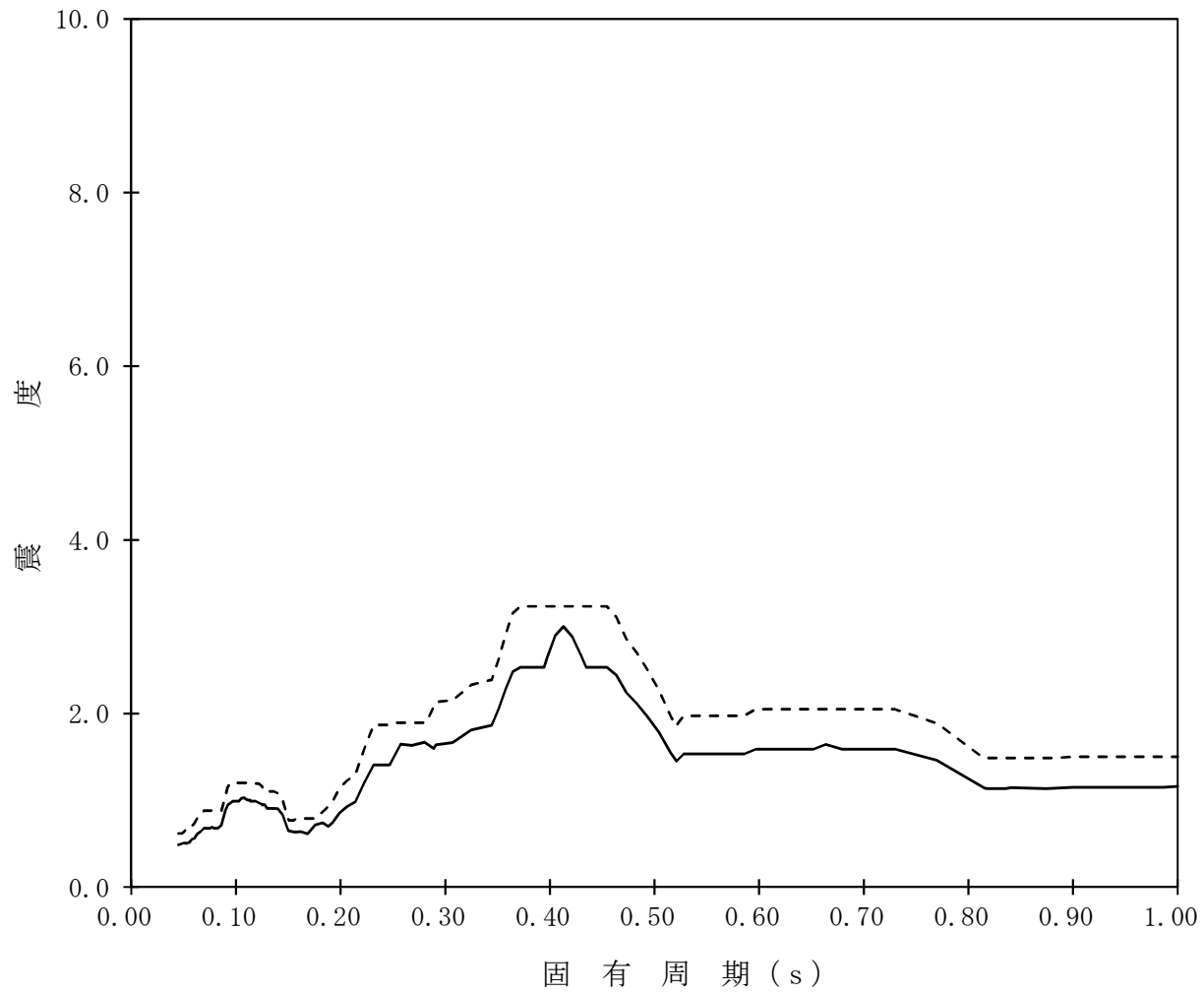
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB39】

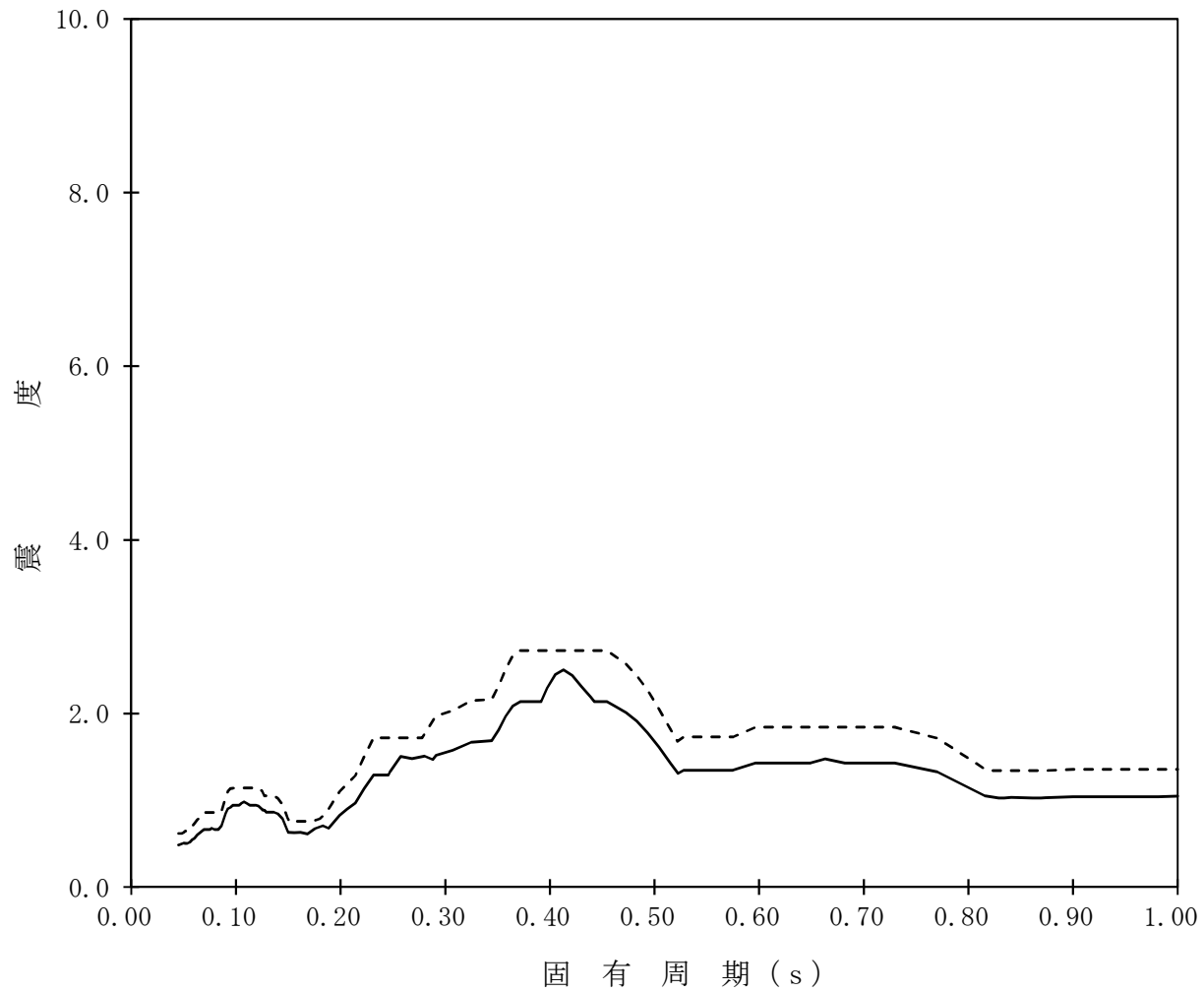
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB40】

構造物名：原子炉建屋

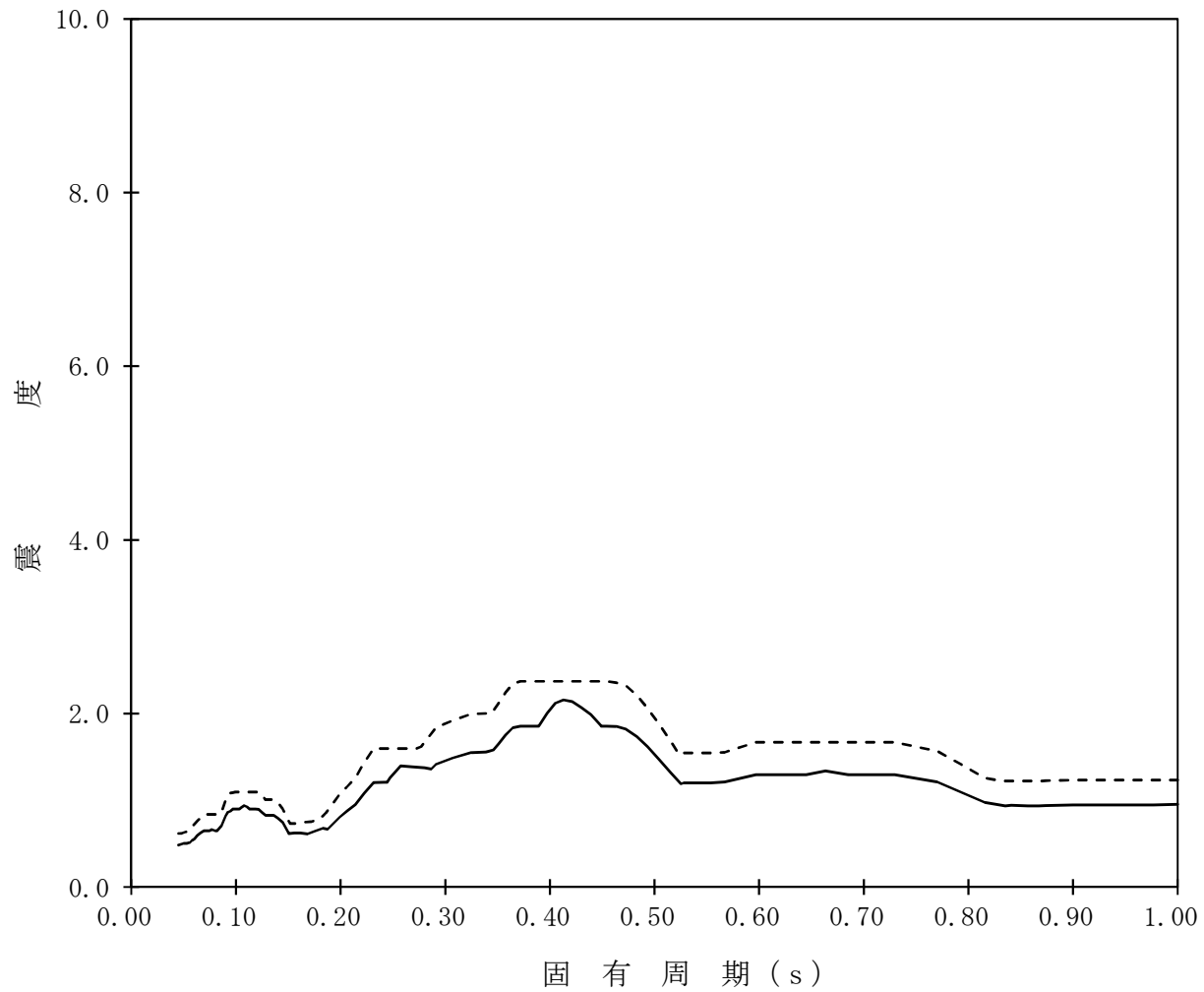
標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：5.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



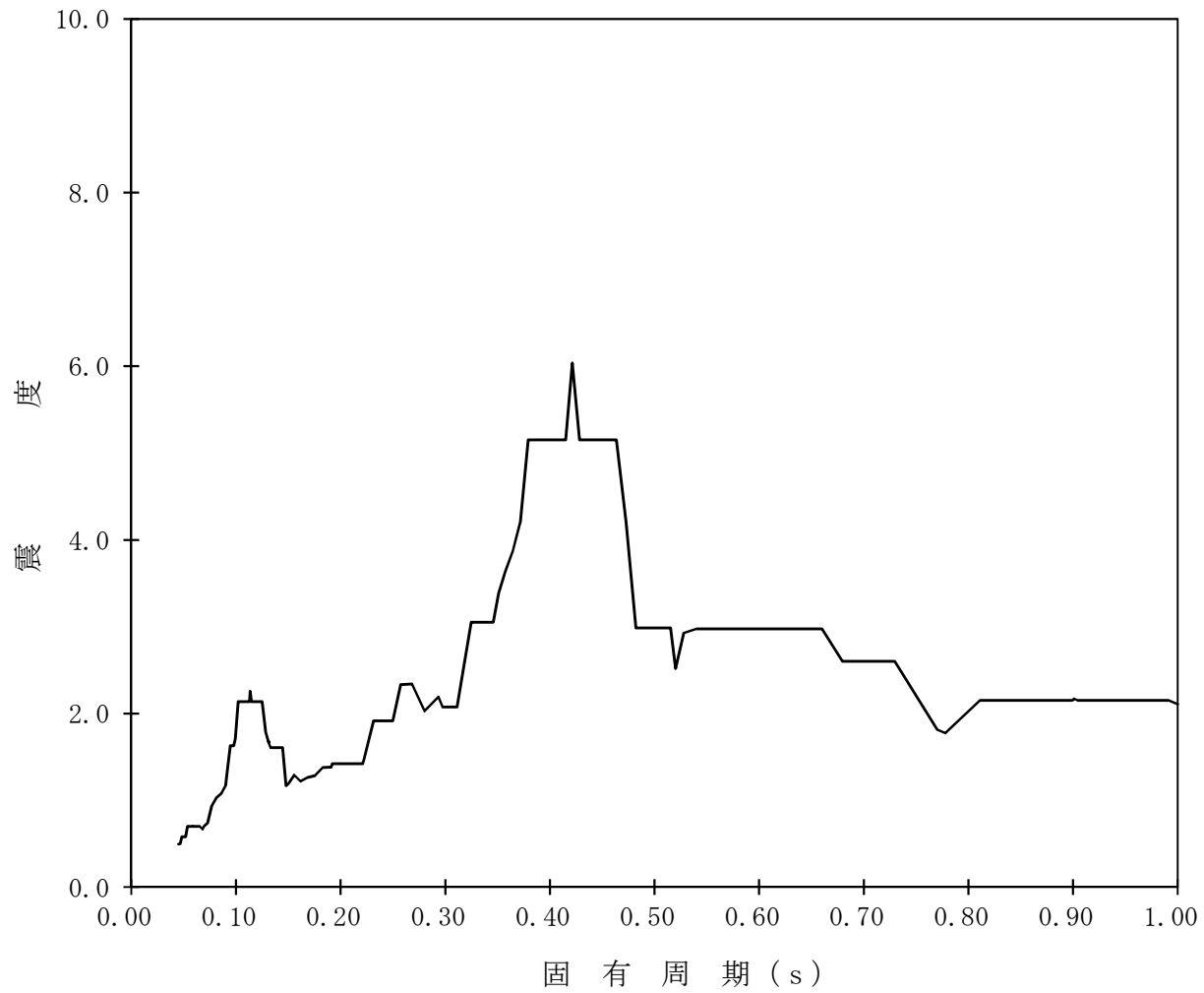
【K06-RB-SdH-RB41】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 12.300m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



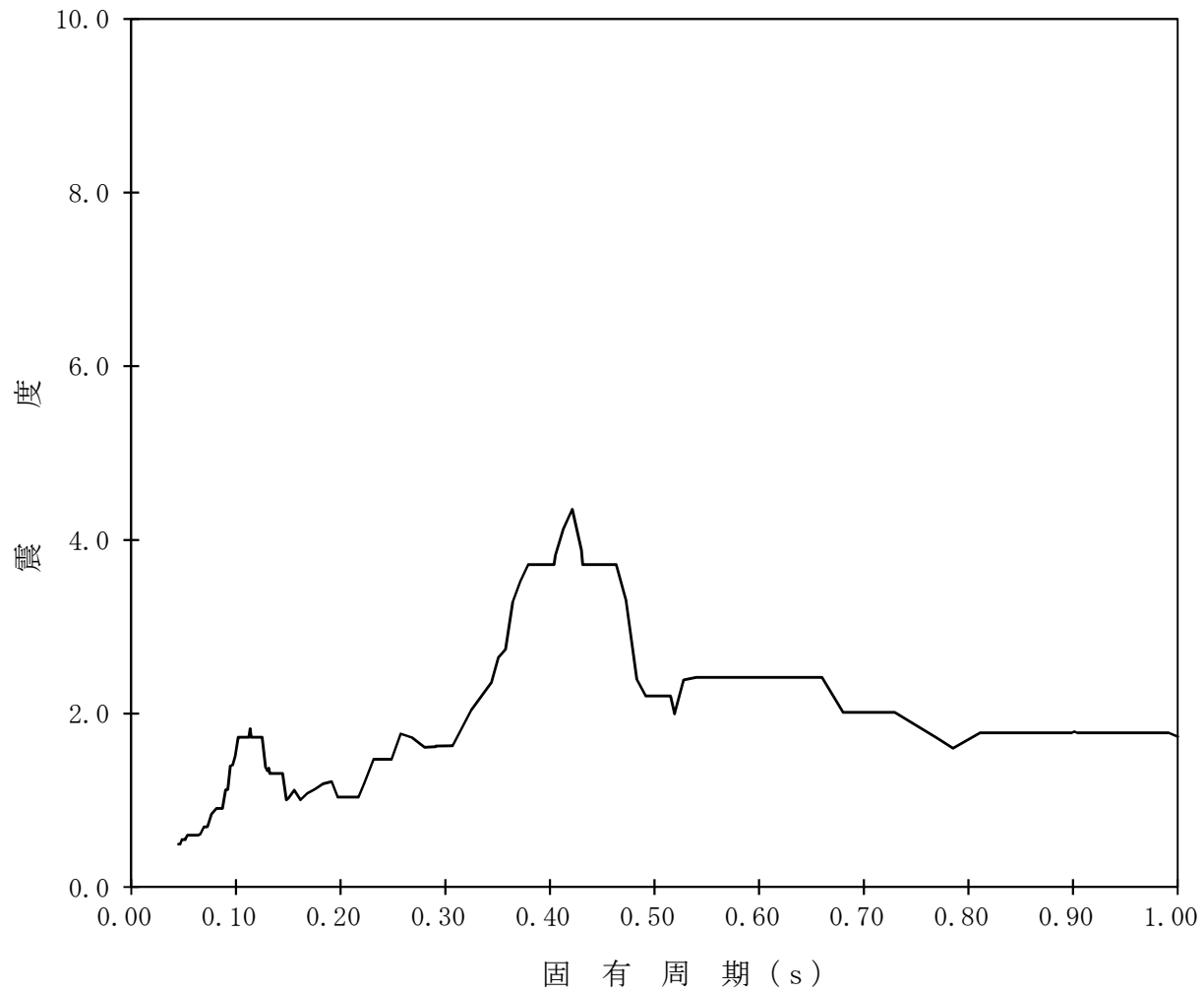
【K06-RB-SdH-RB42】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d

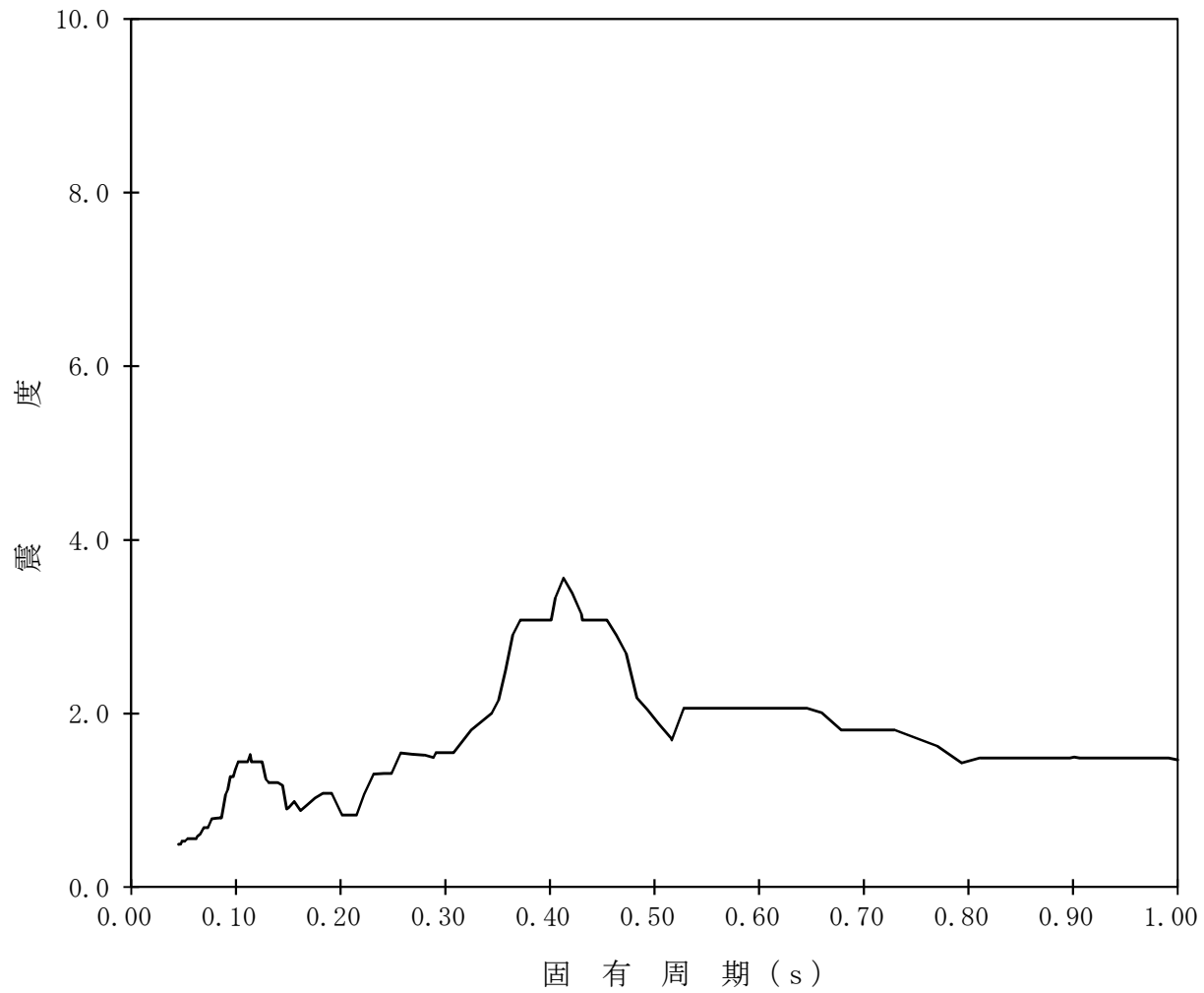


【K06-RB-SdH-RB43】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 12.300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

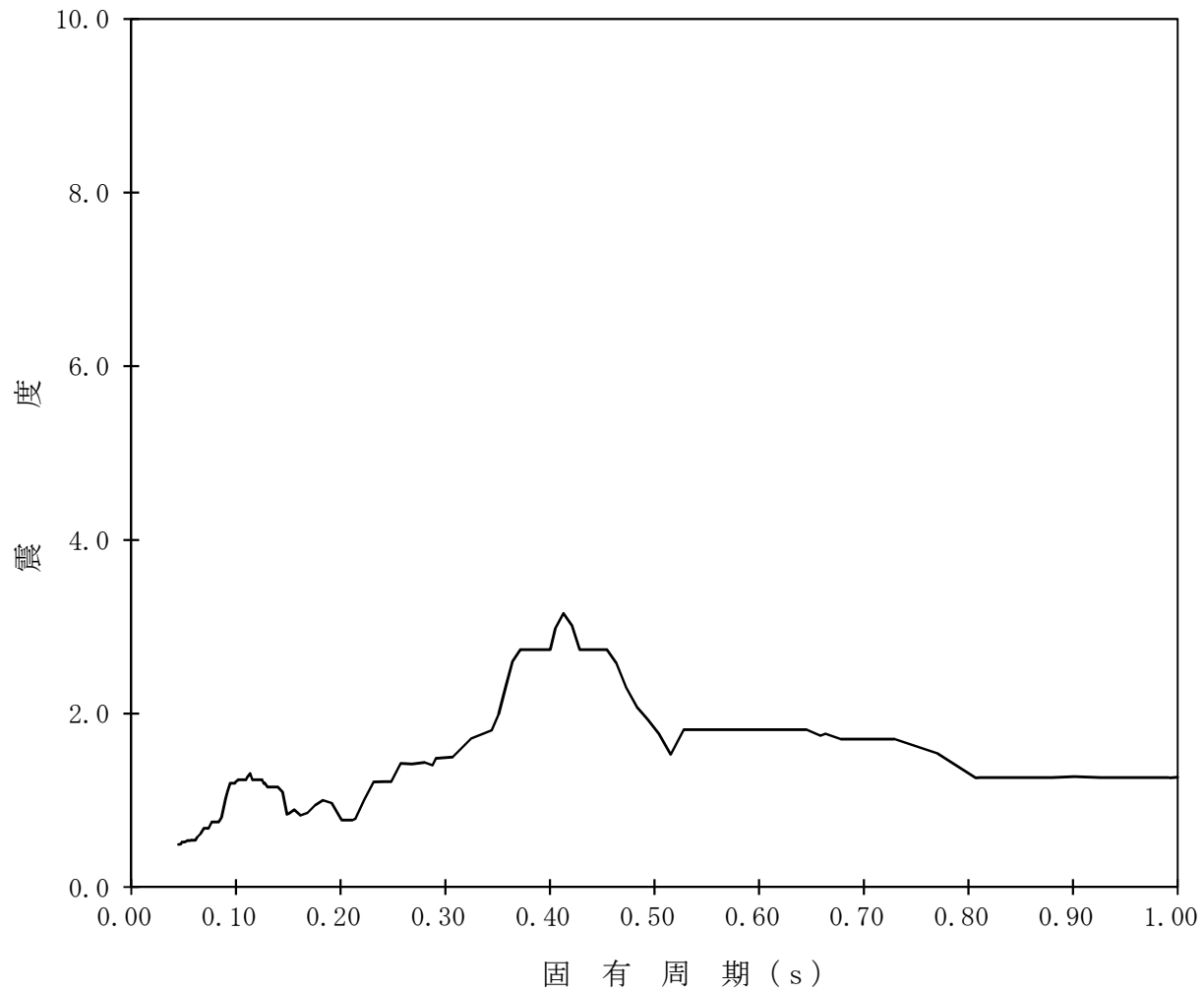


【K06-RB-SdH-RB44】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



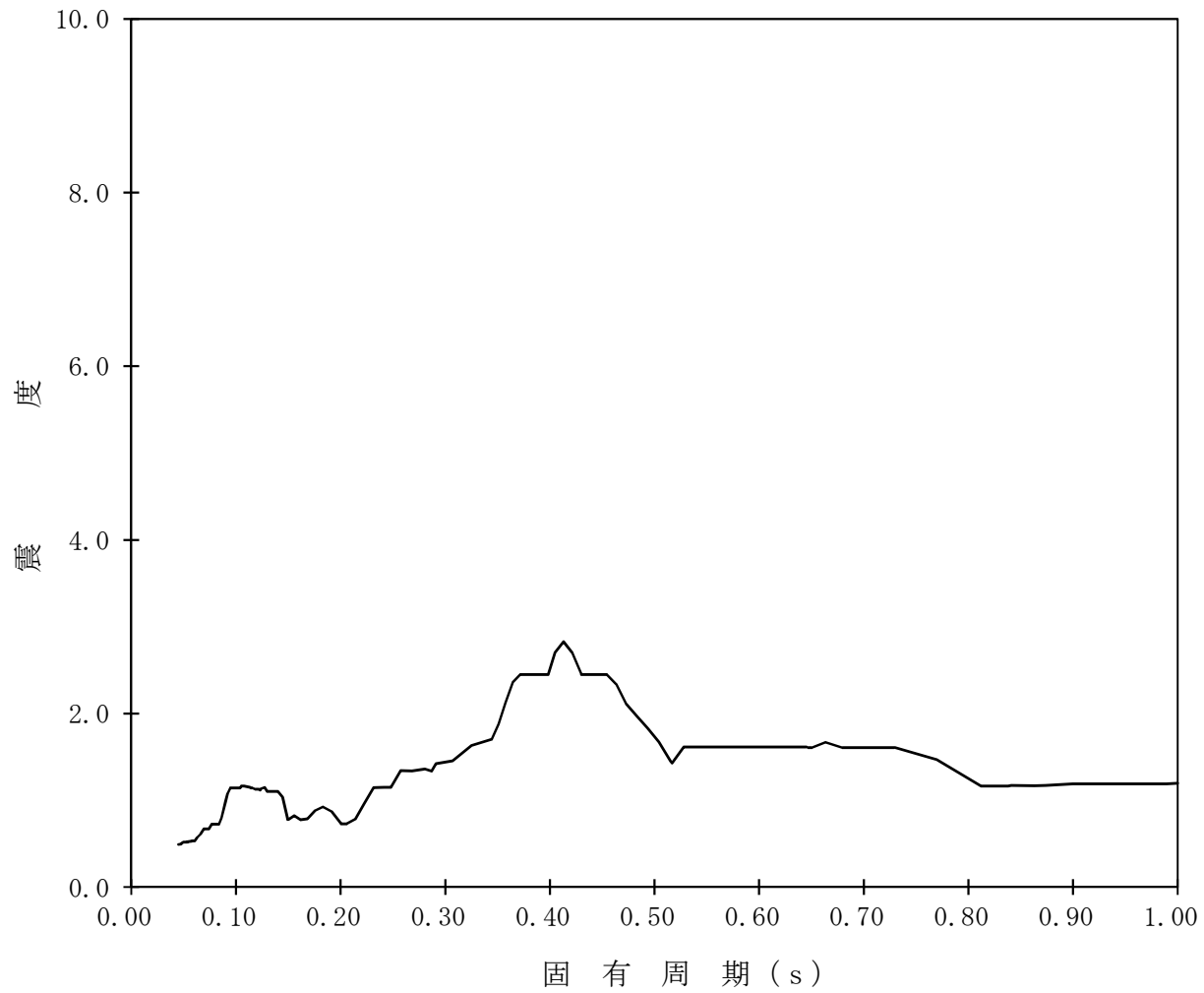
【K06-RB-SdH-RB45】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 12.300m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RB-SdH-RB46】

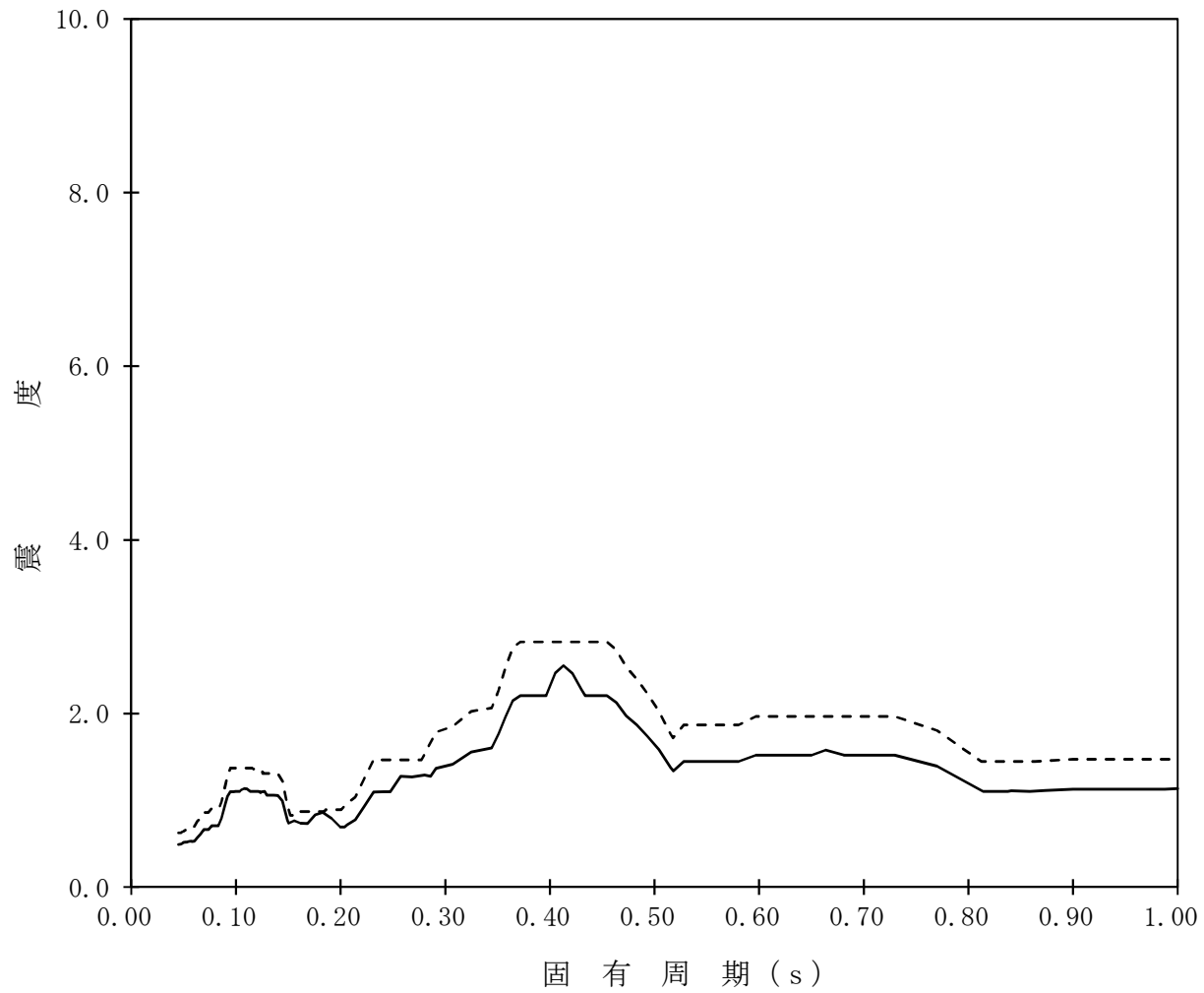
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 12.300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB47】

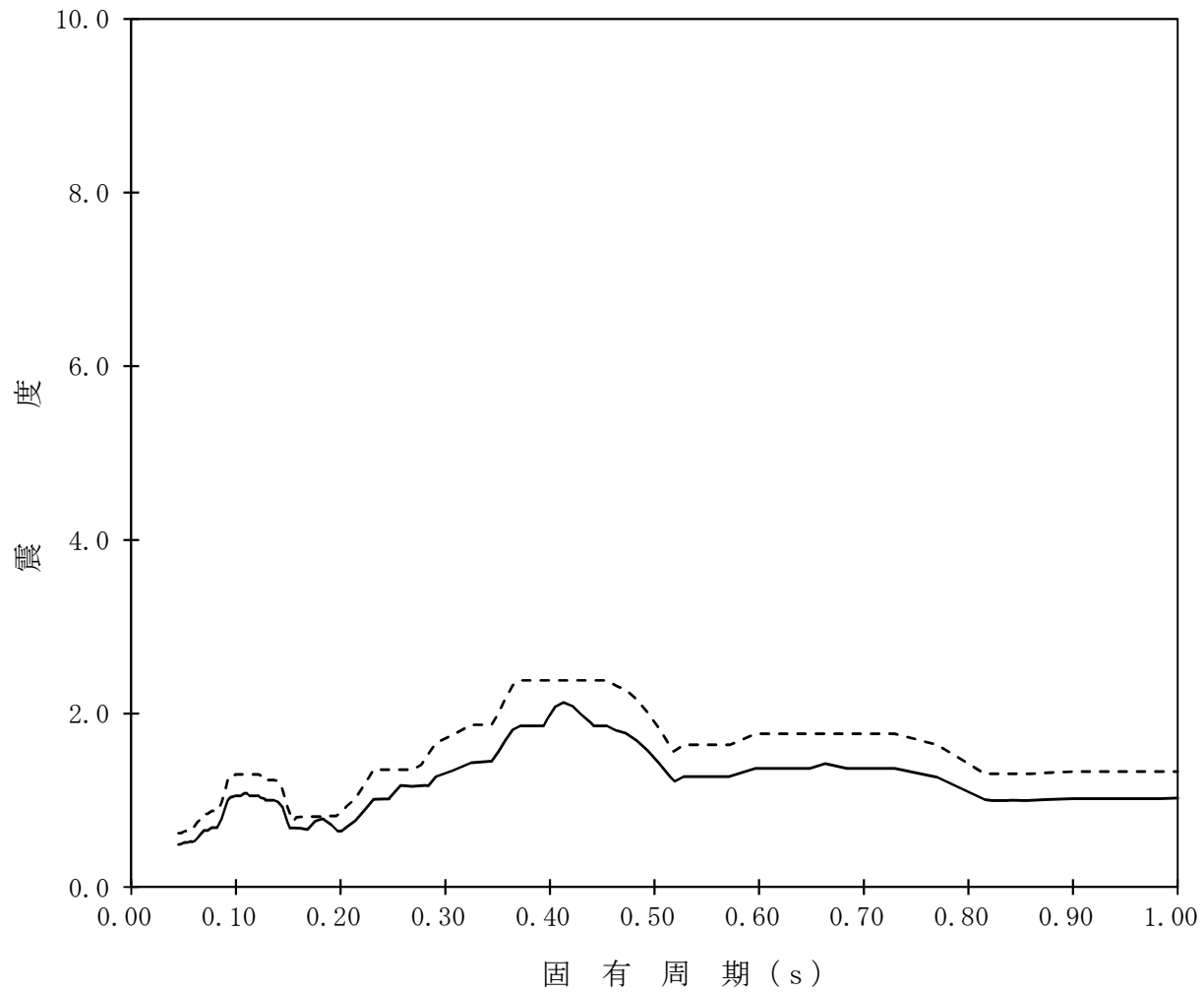
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB48】

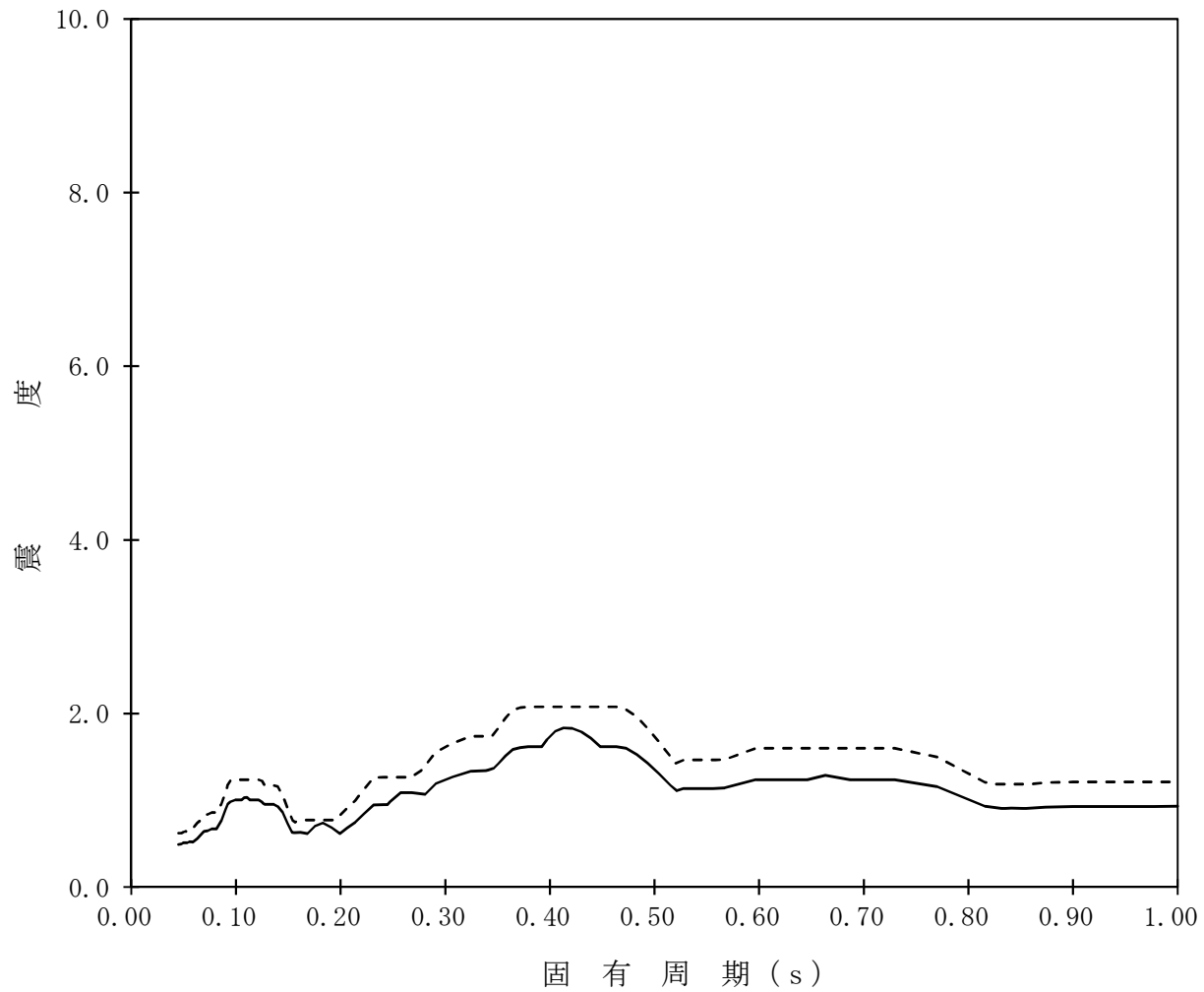
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB49】

構造物名：原子炉建屋

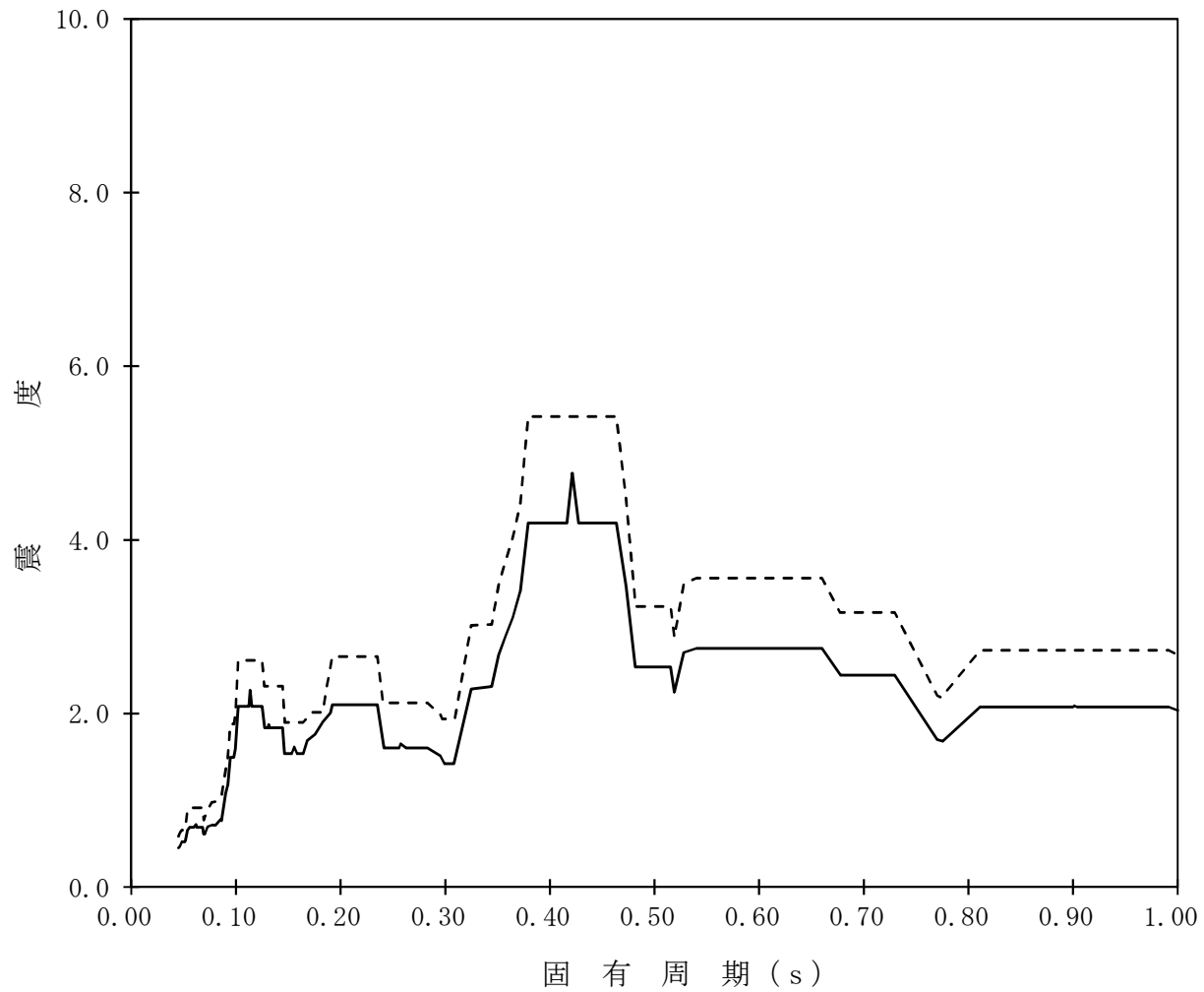
標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：0. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB50】

構造物名：原子炉建屋

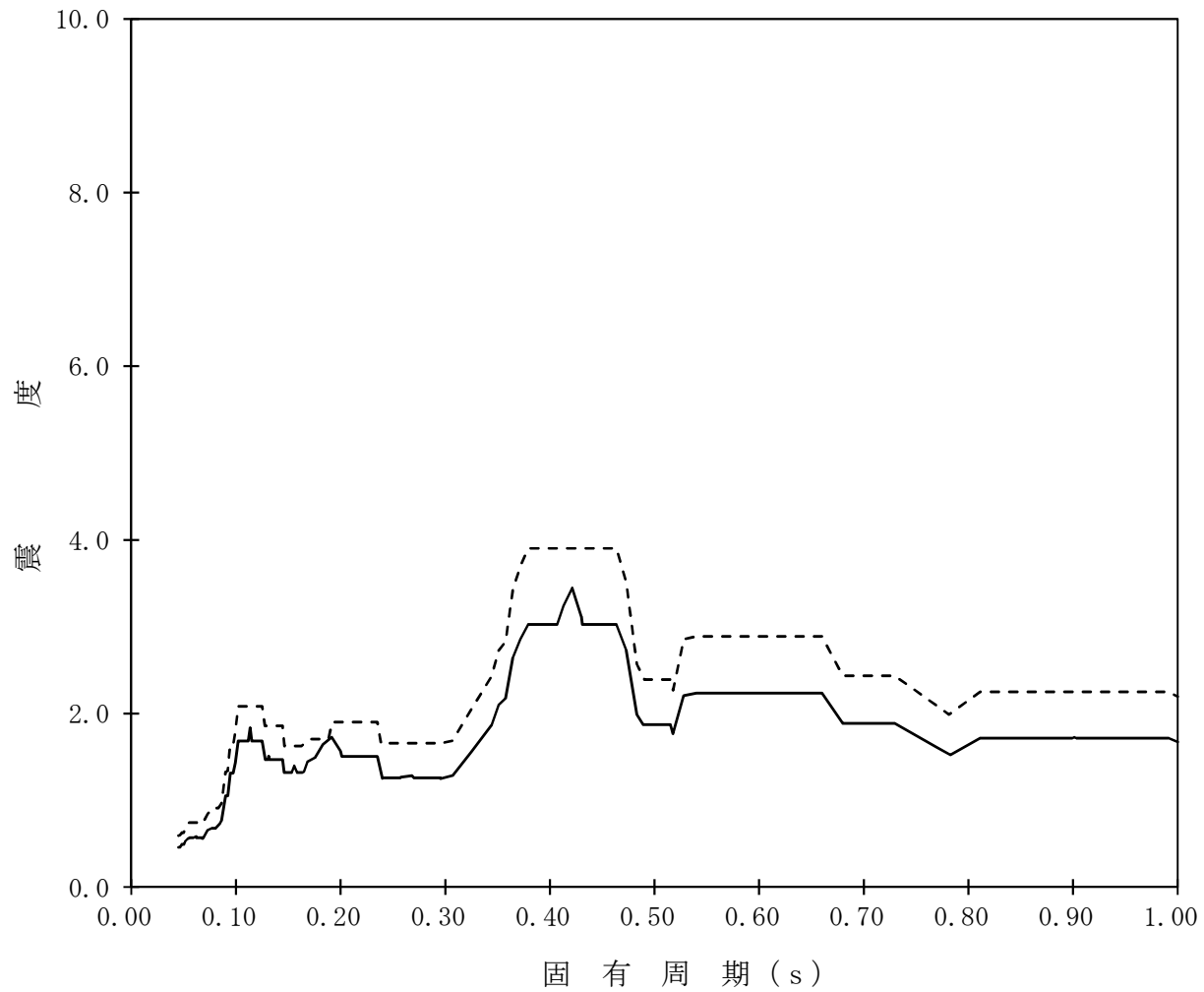
標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：1.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



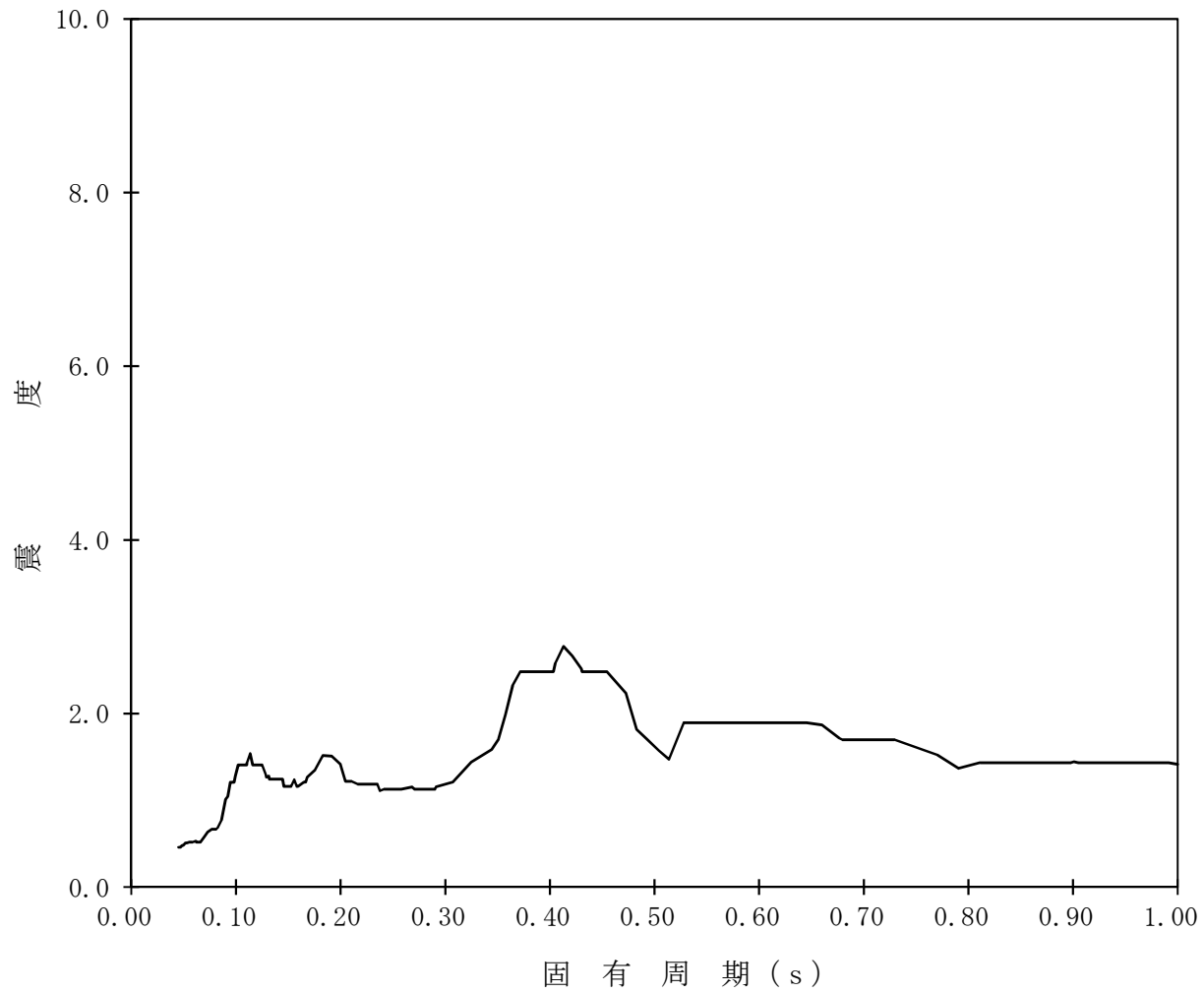
【K06-RB-SdH-RB51】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



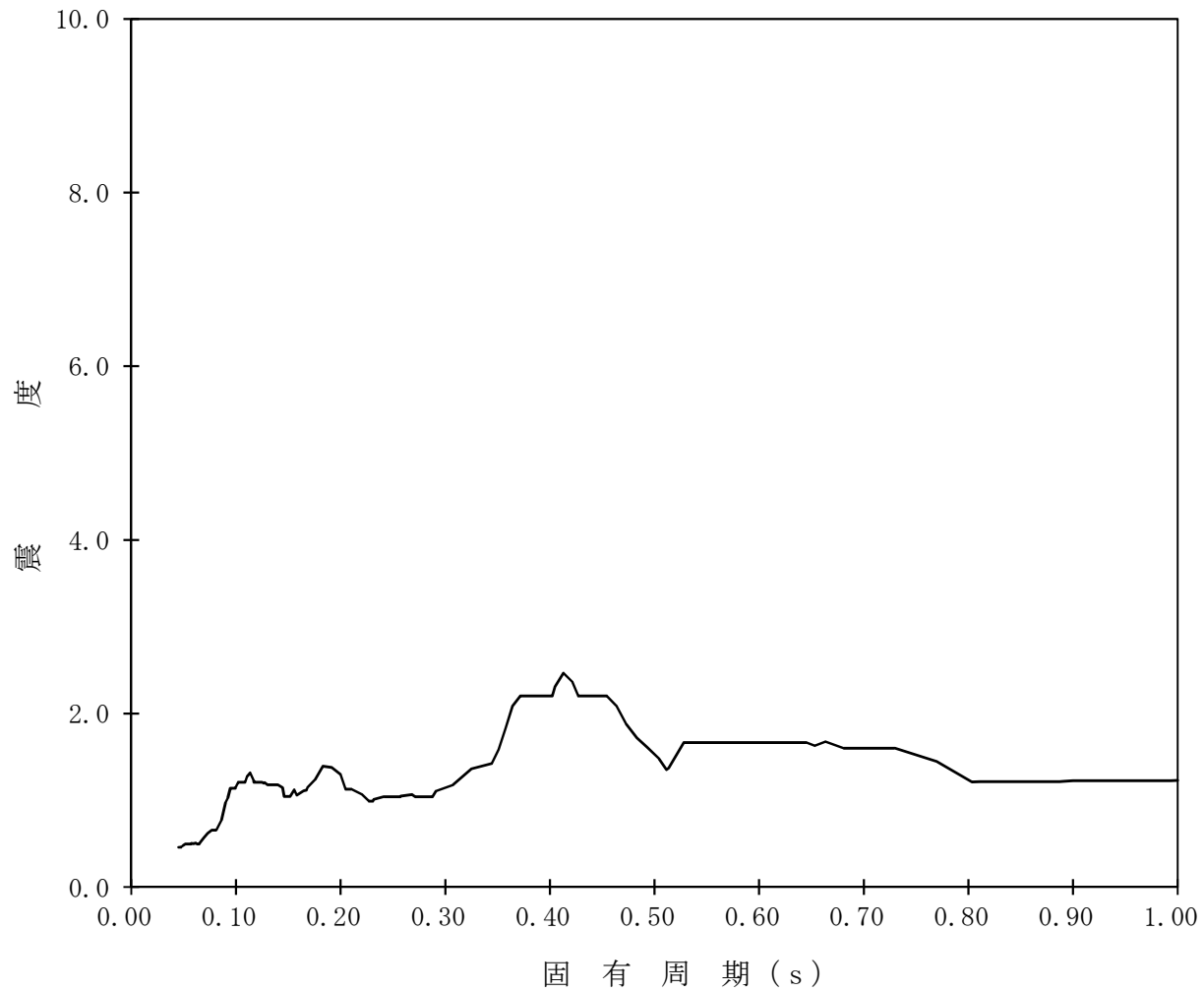
【K06-RB-SdH-RB52】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



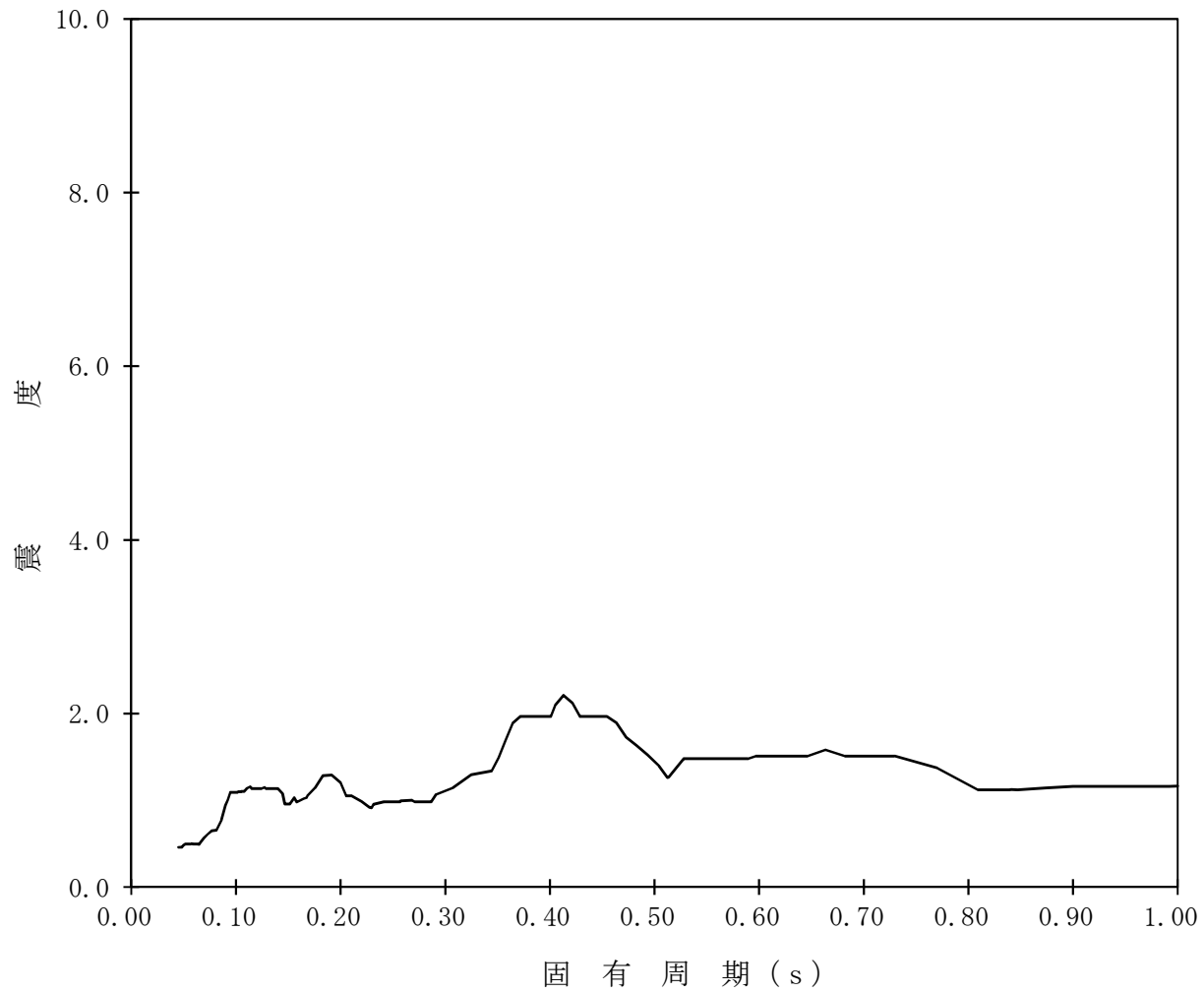
【K06-RB-SdH-RB53】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



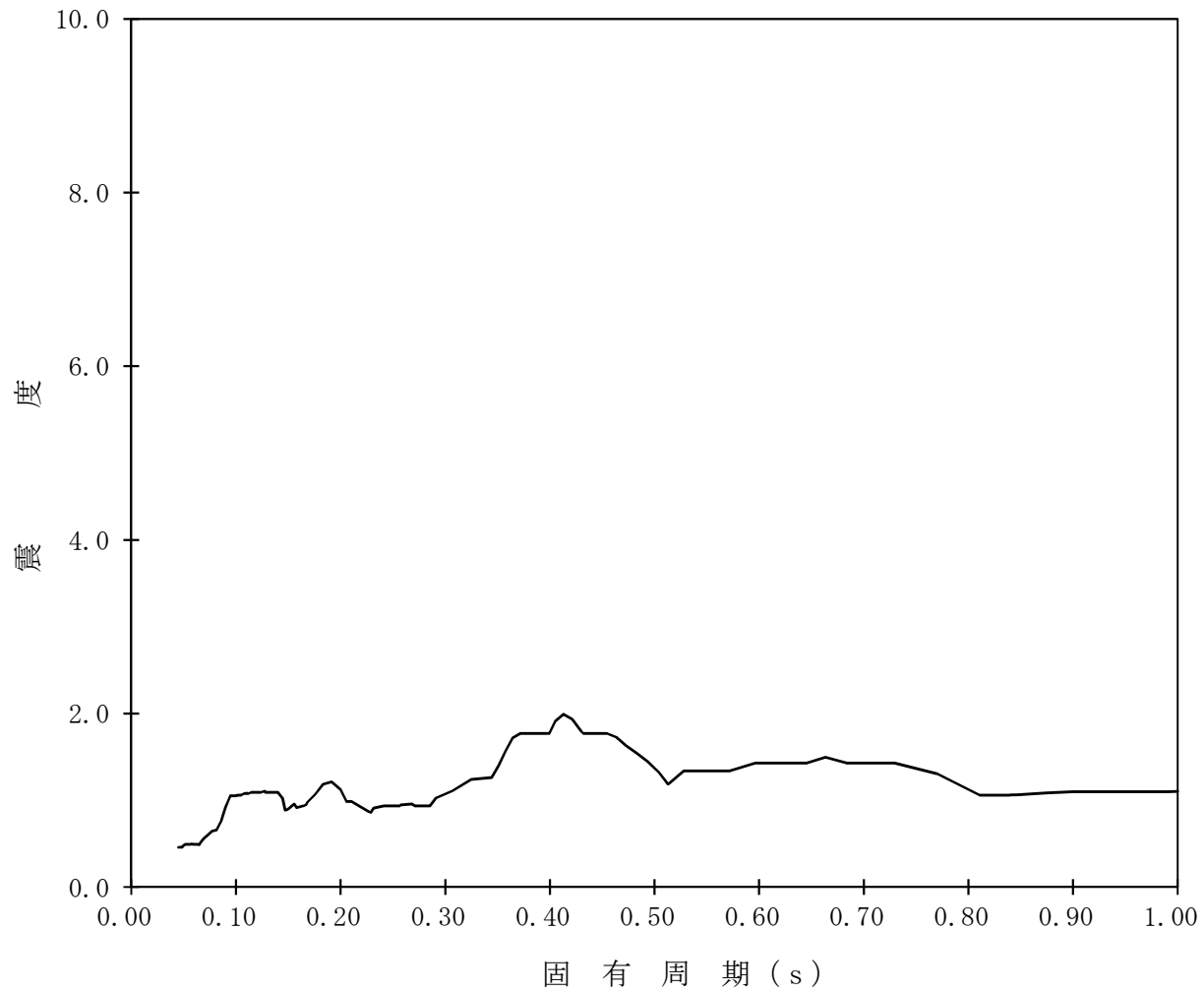
【K06-RB-SdH-RB54】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



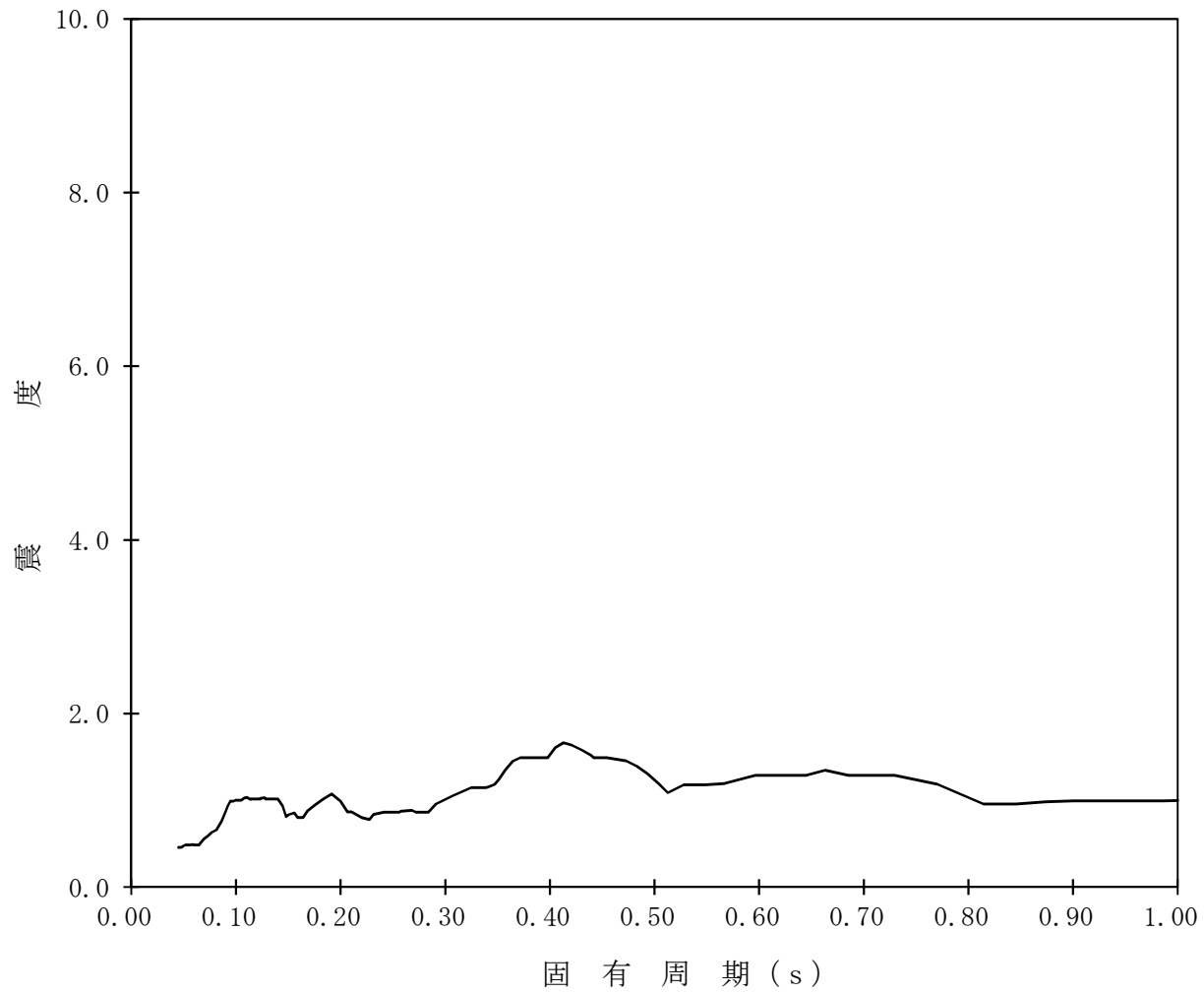
【K06-RB-SdH-RB55】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



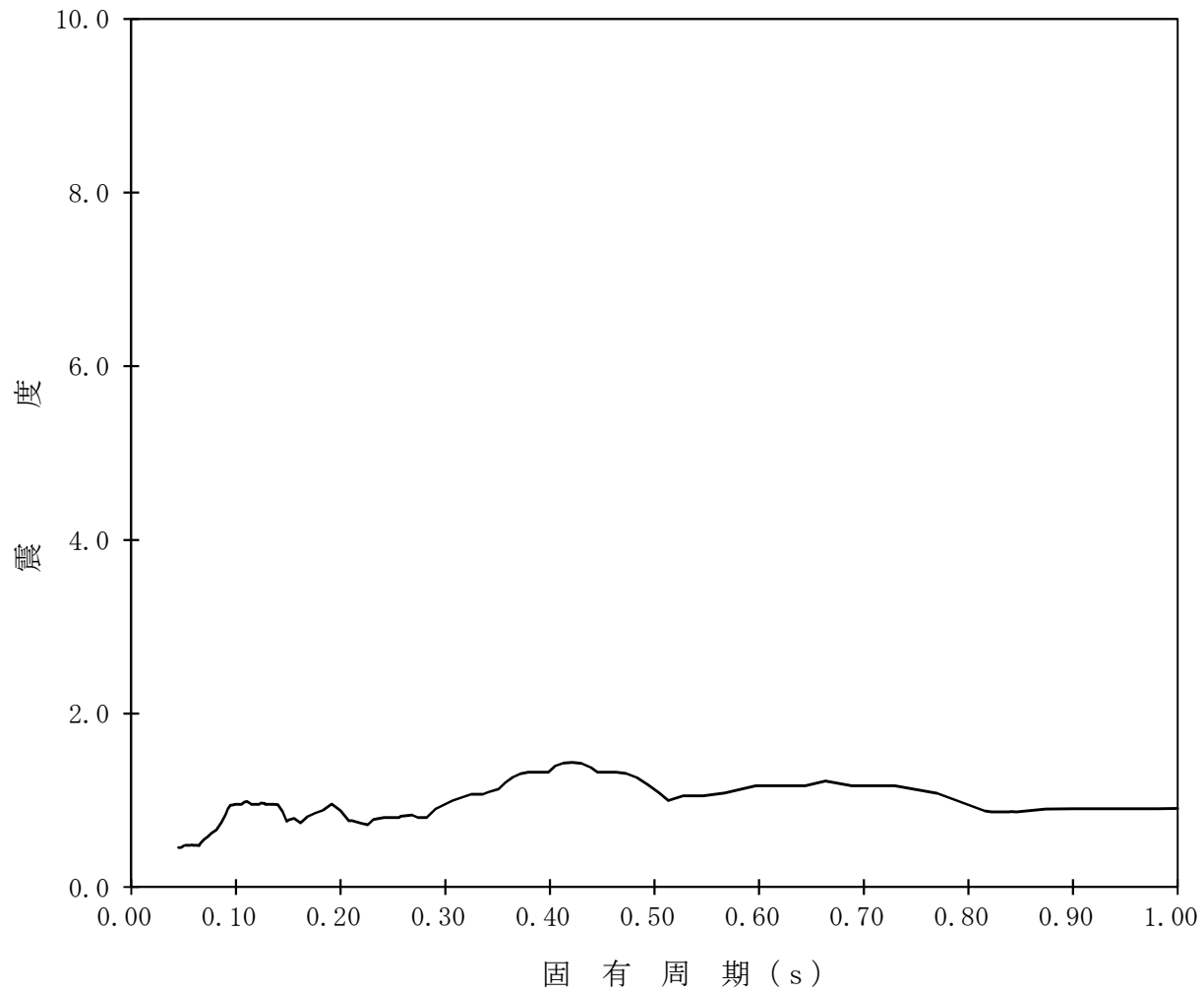
【K06-RB-SdH-RB56】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RB-SdH-RB57】

構造物名：原子炉建屋

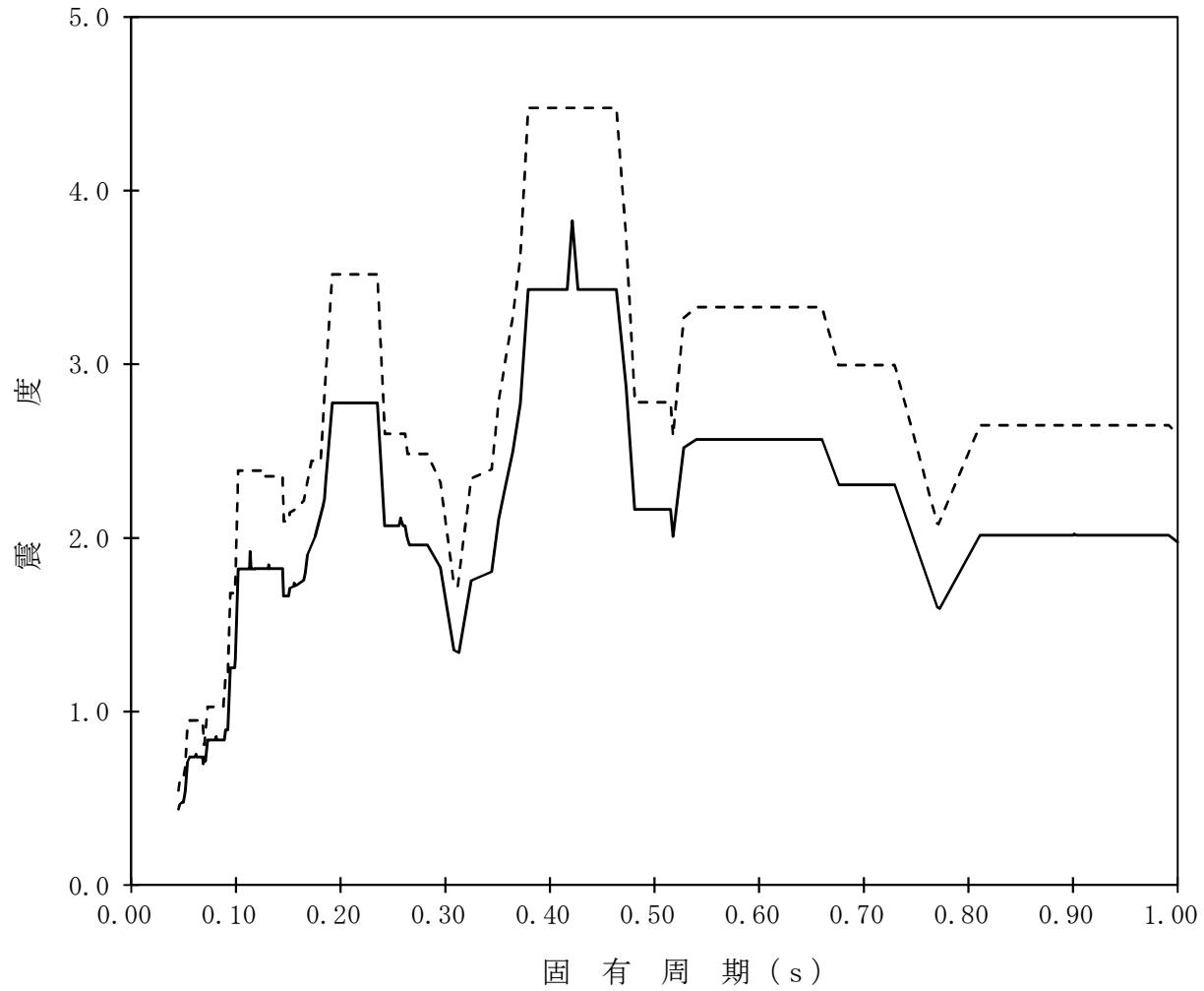
標高：T. M. S. L. -1.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：0.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB58】

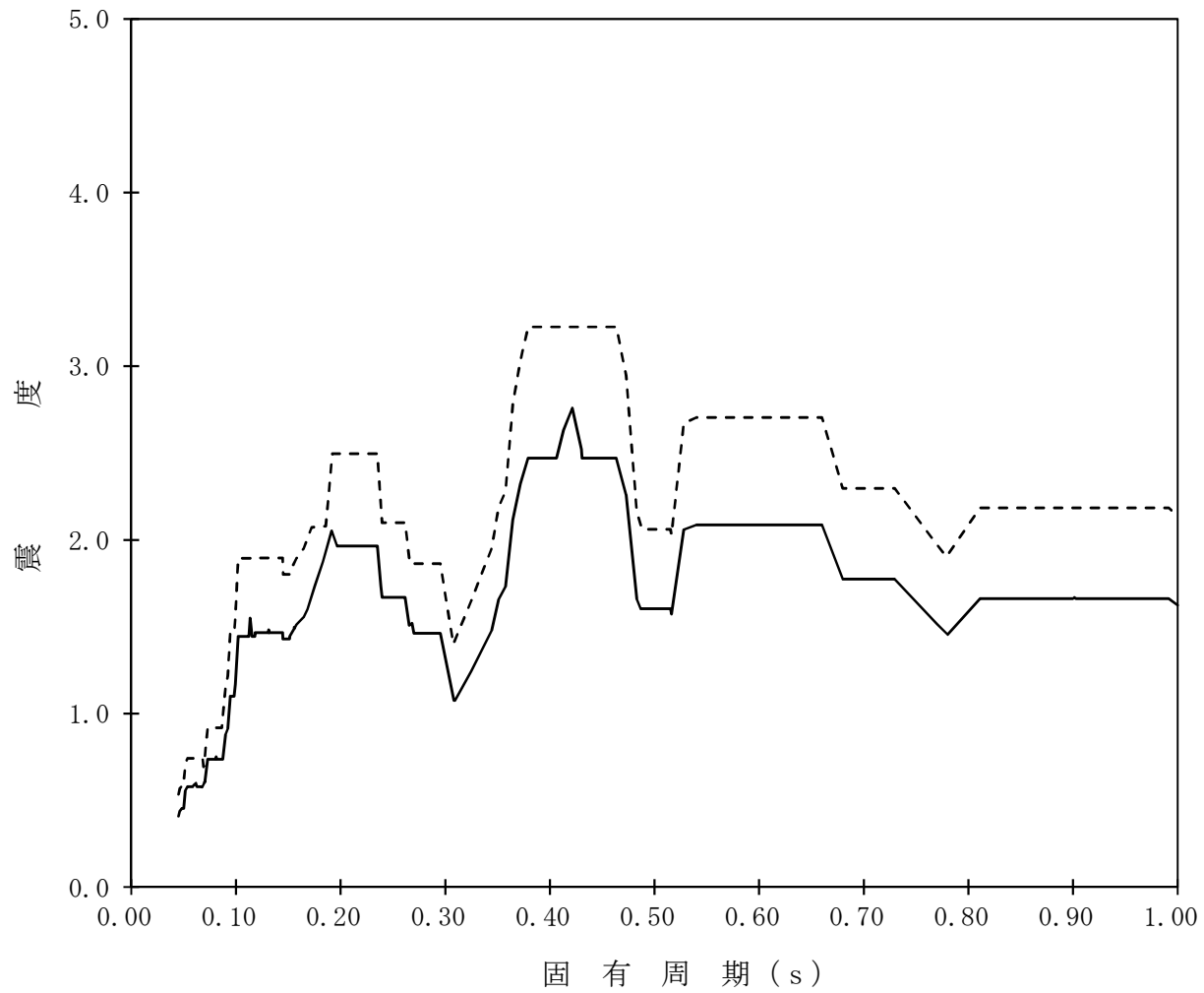
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB59】

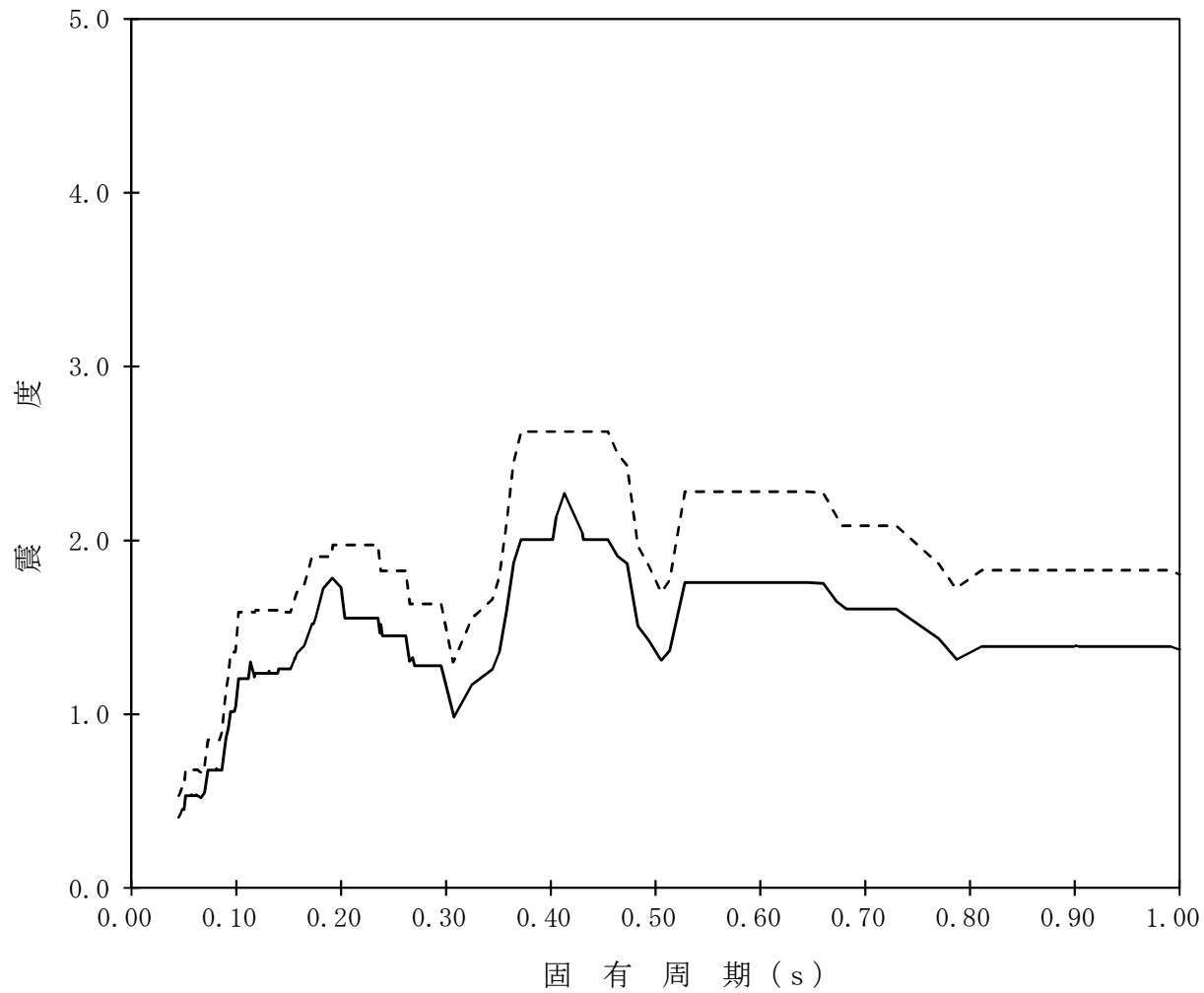
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB60】

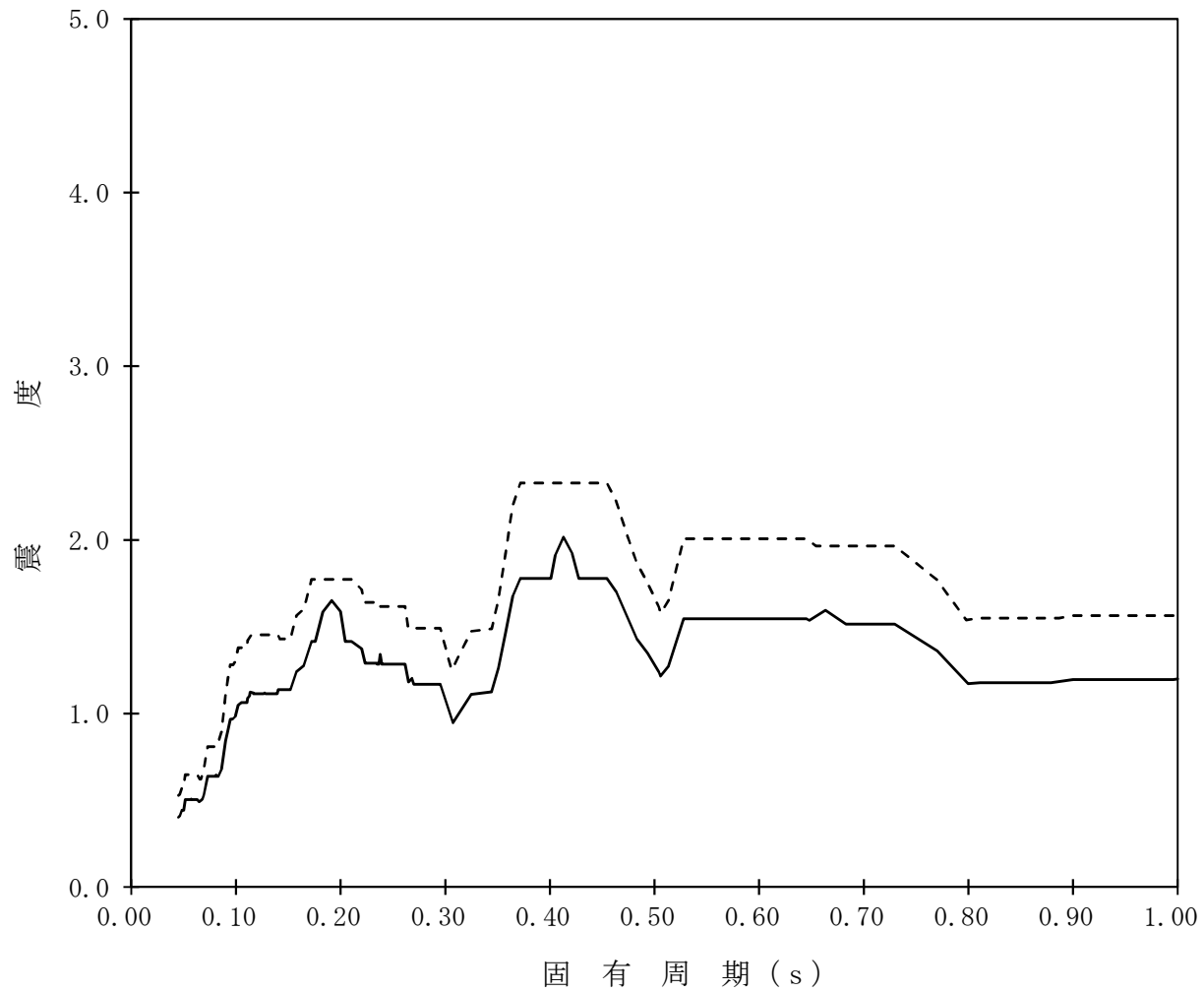
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB61】

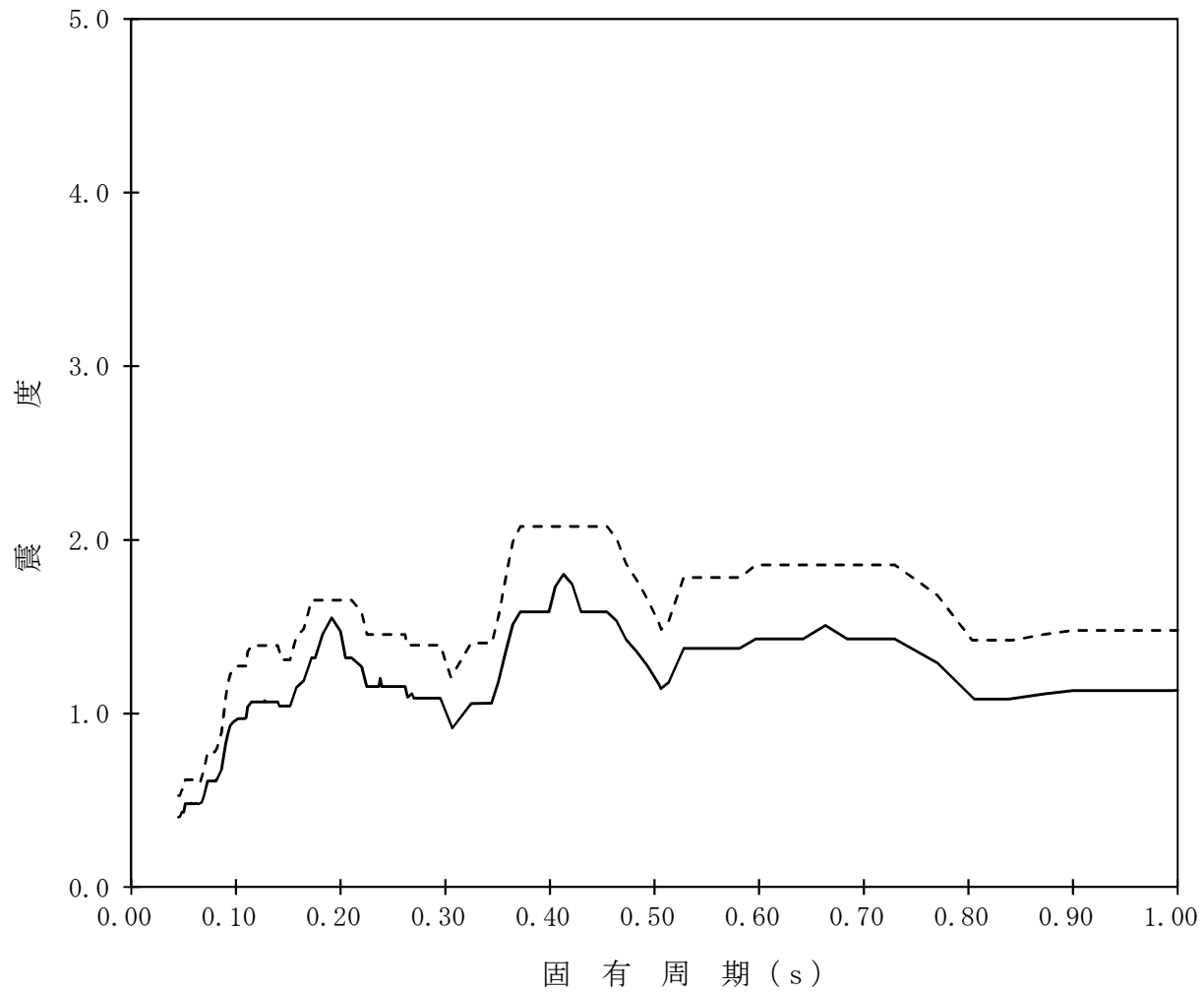
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB62】

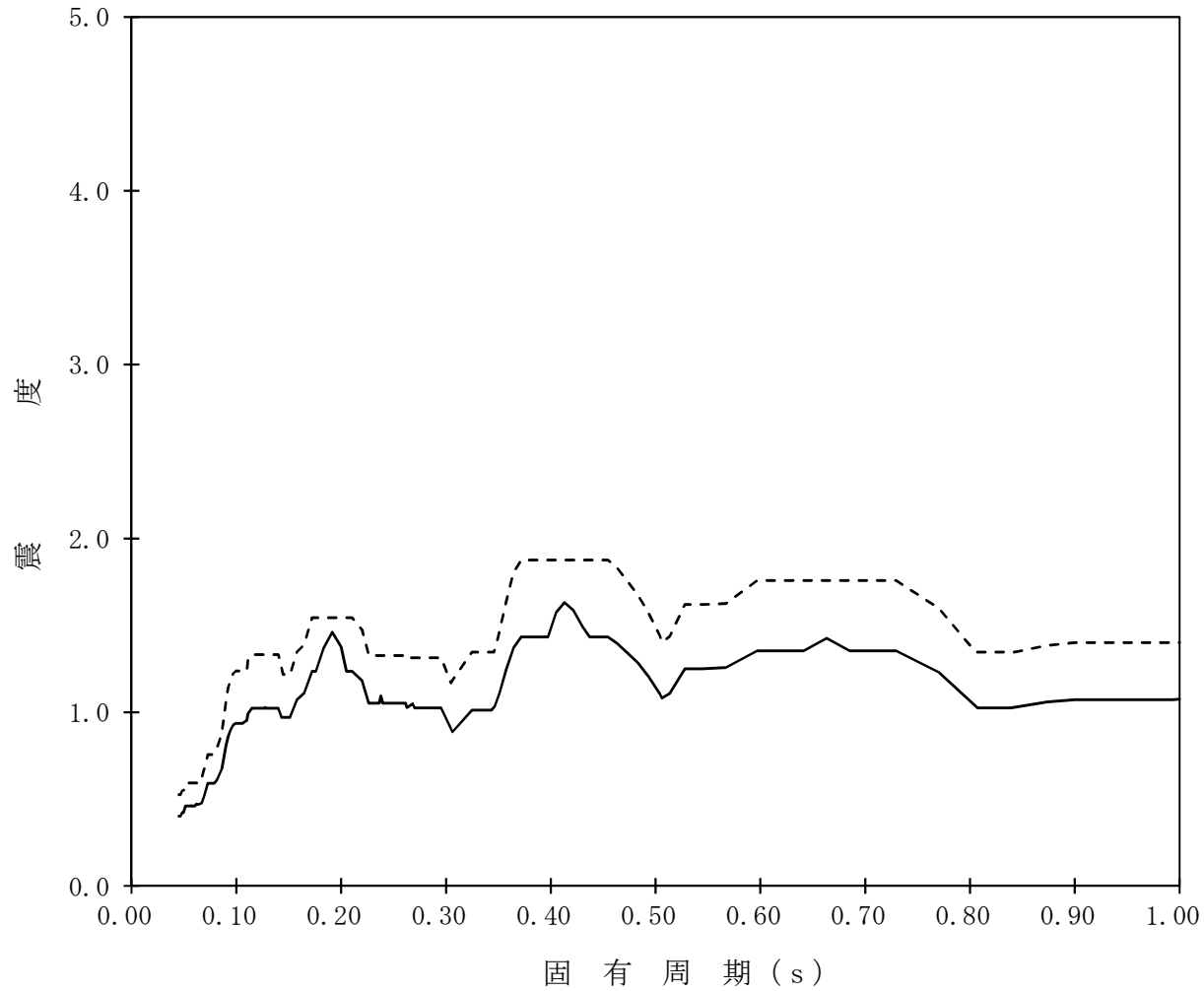
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB63】

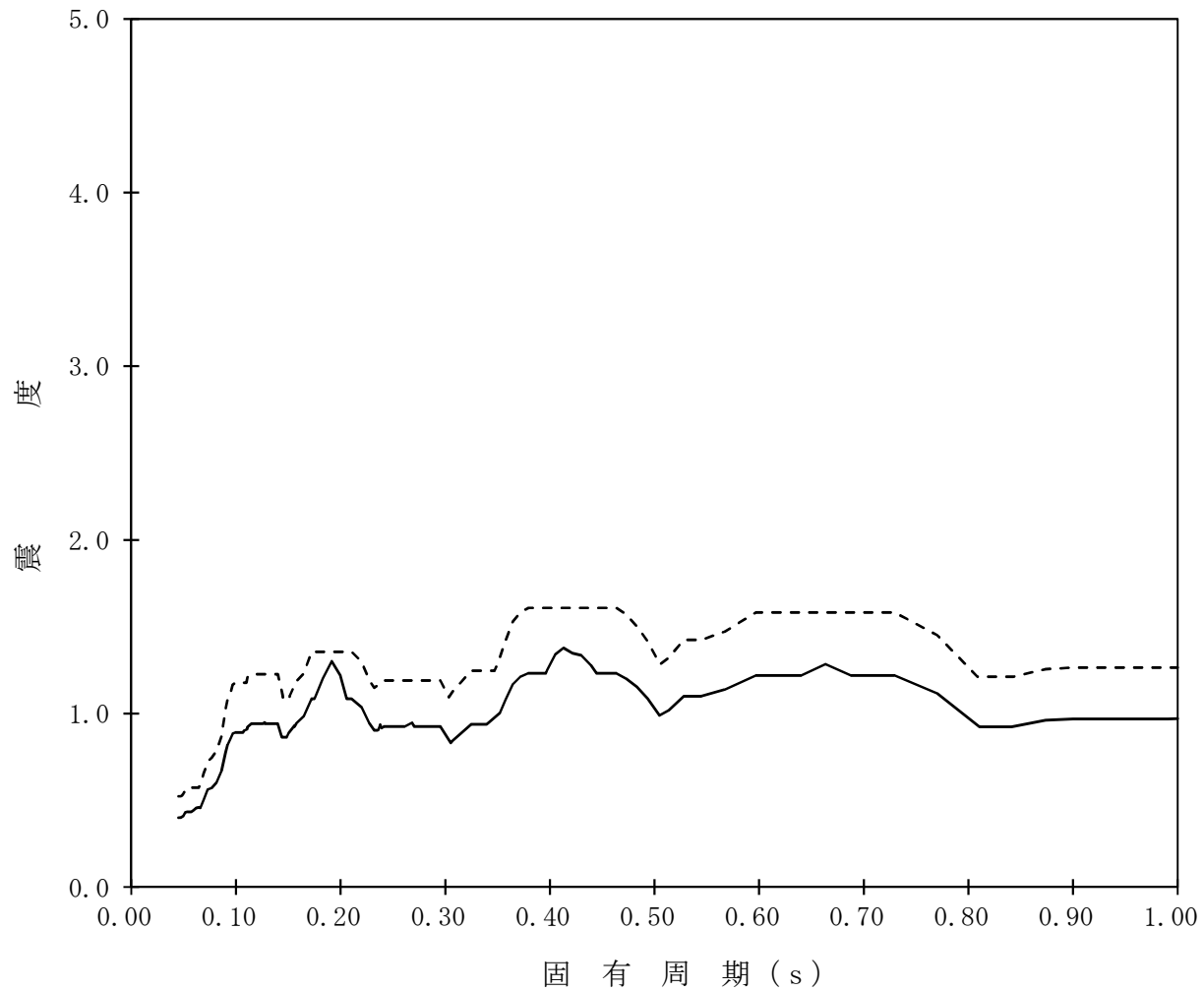
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB64】

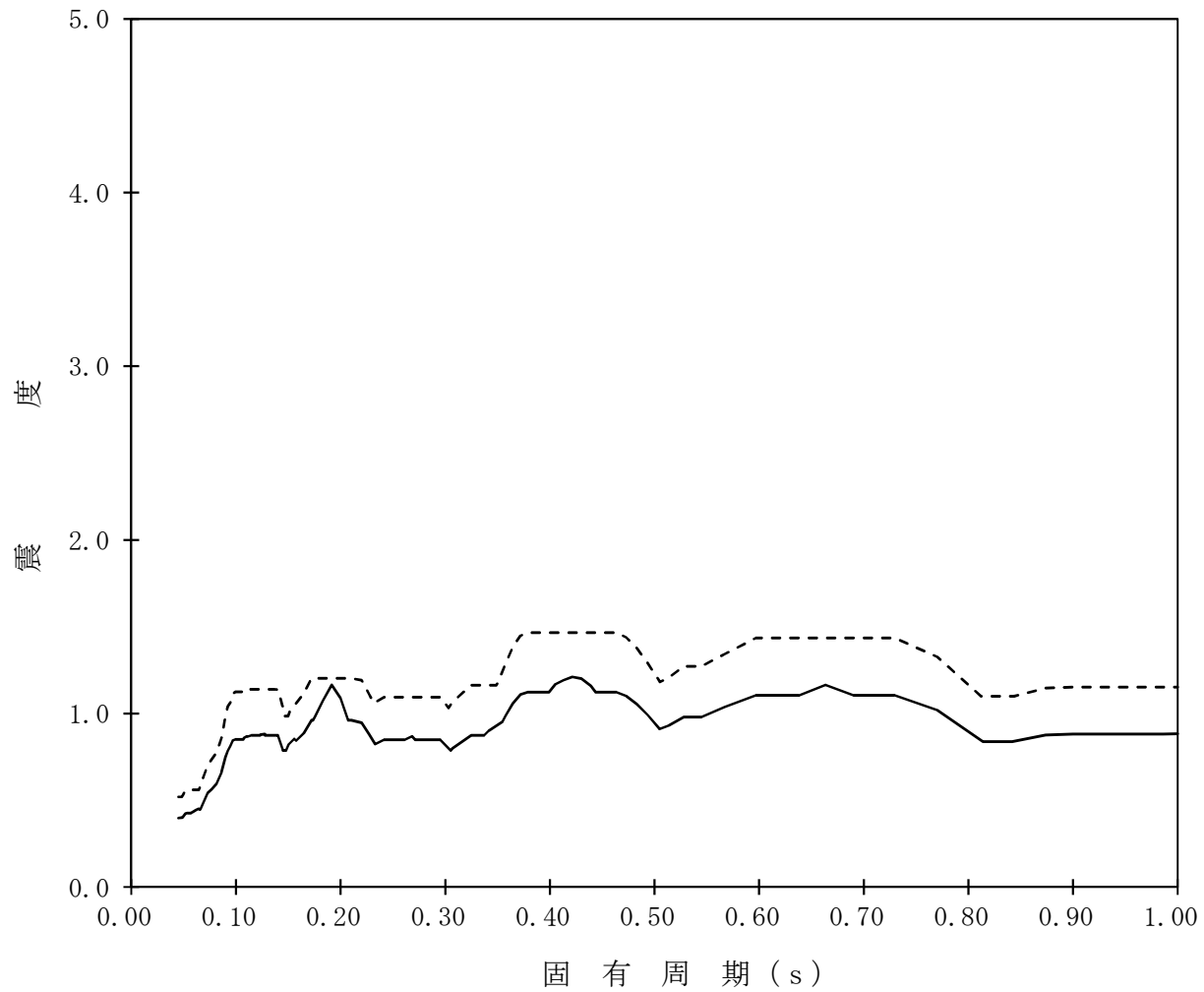
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB65】

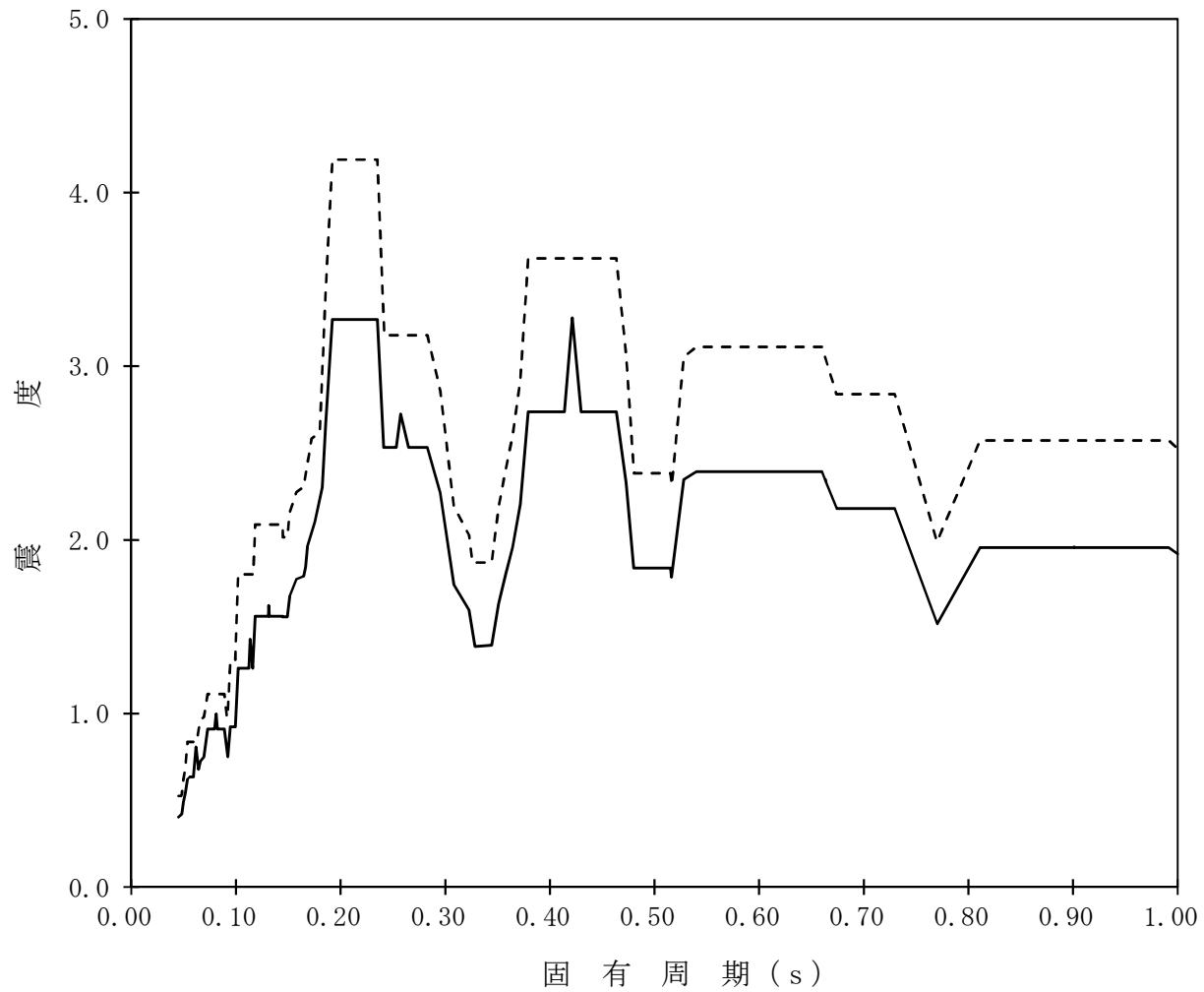
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -8.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB66】

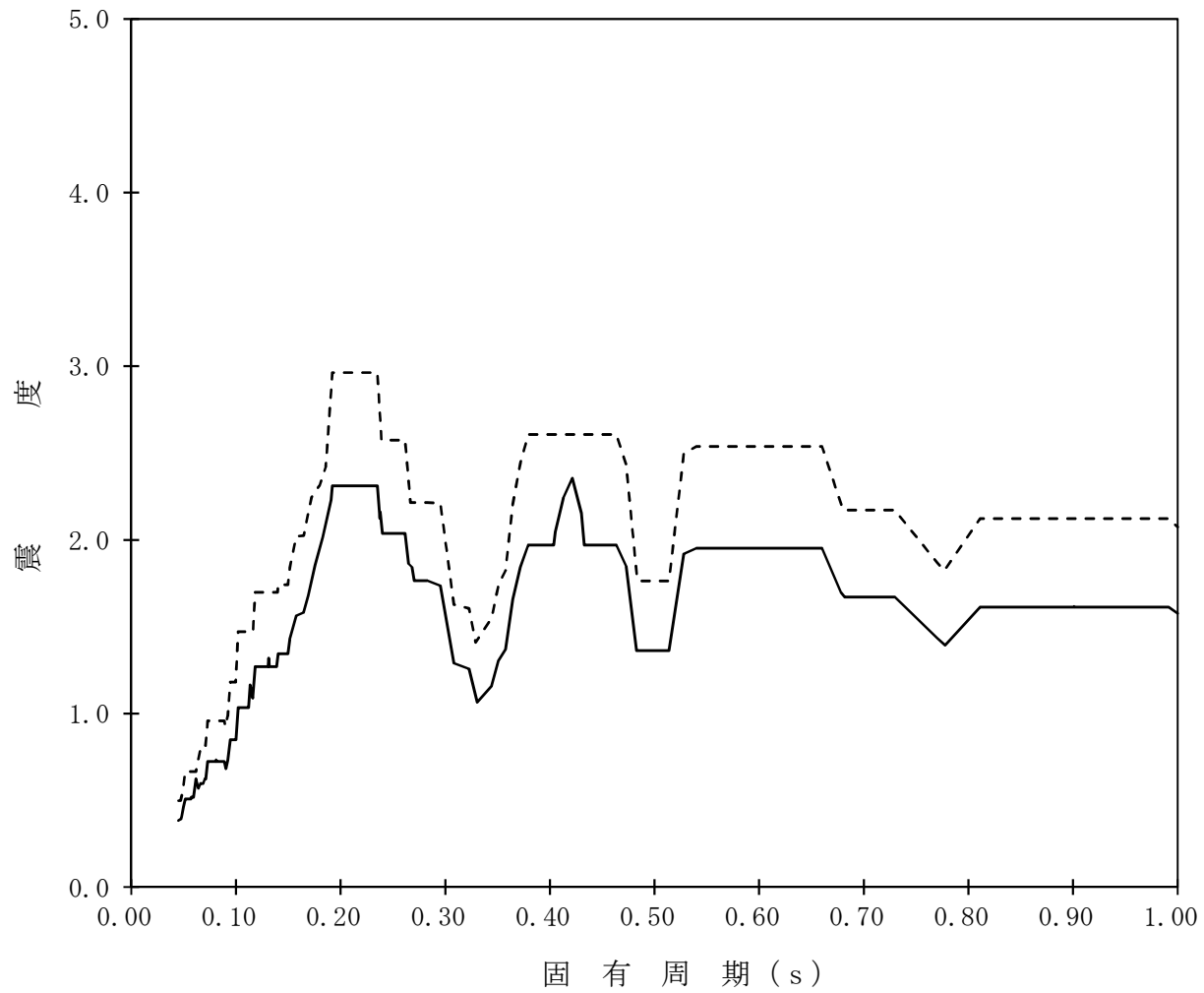
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB67】

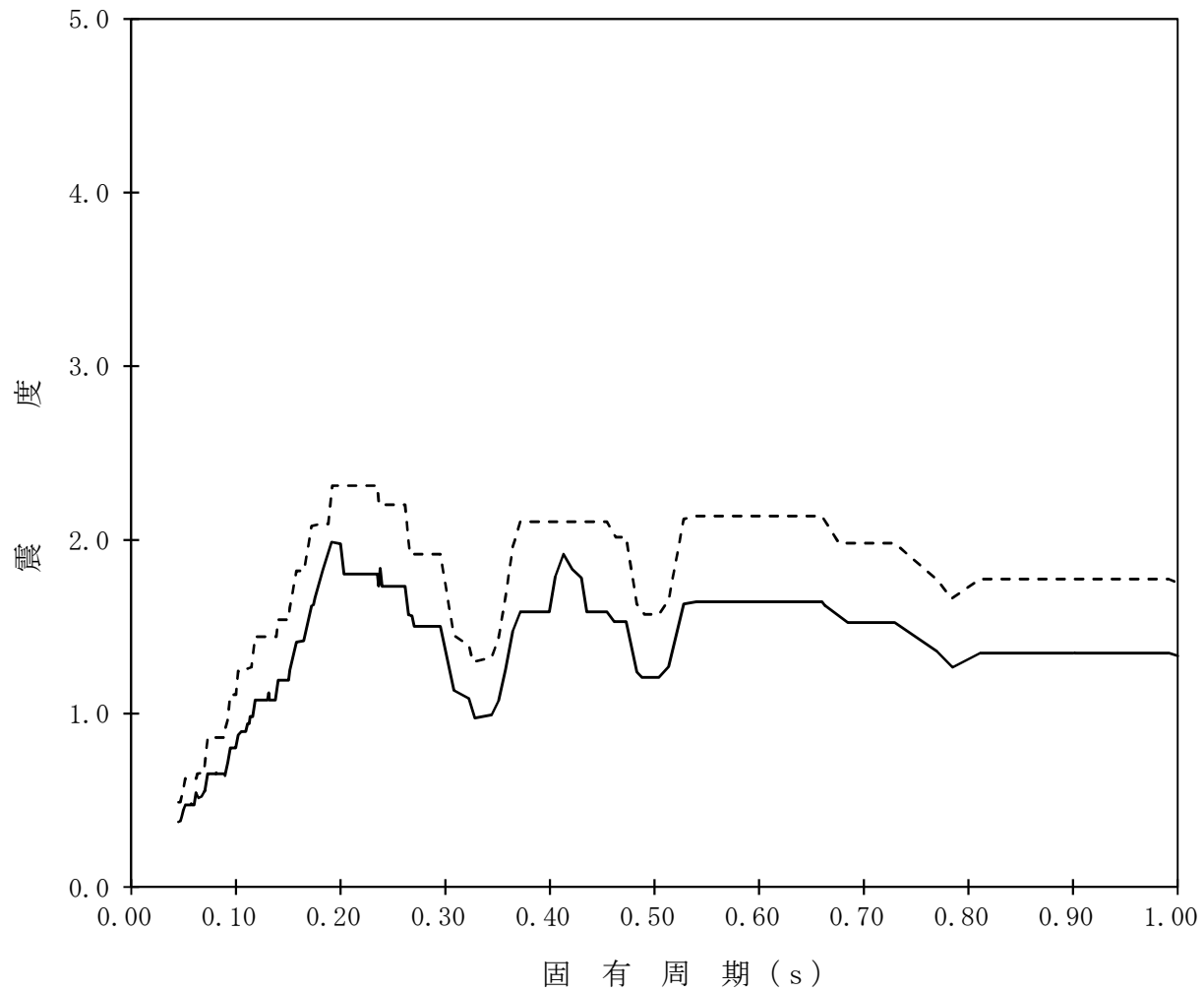
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -8.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB68】

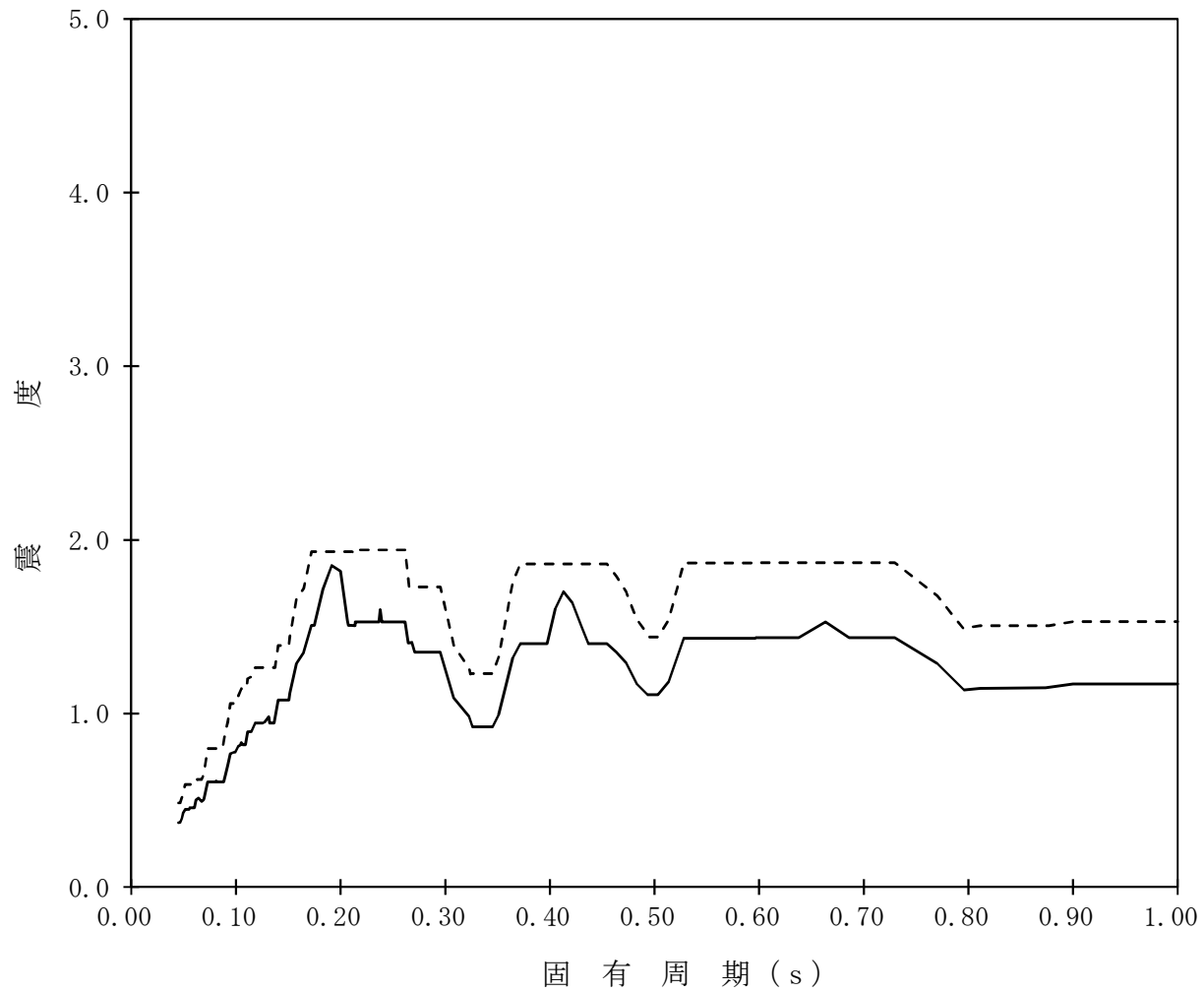
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -8.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB69】

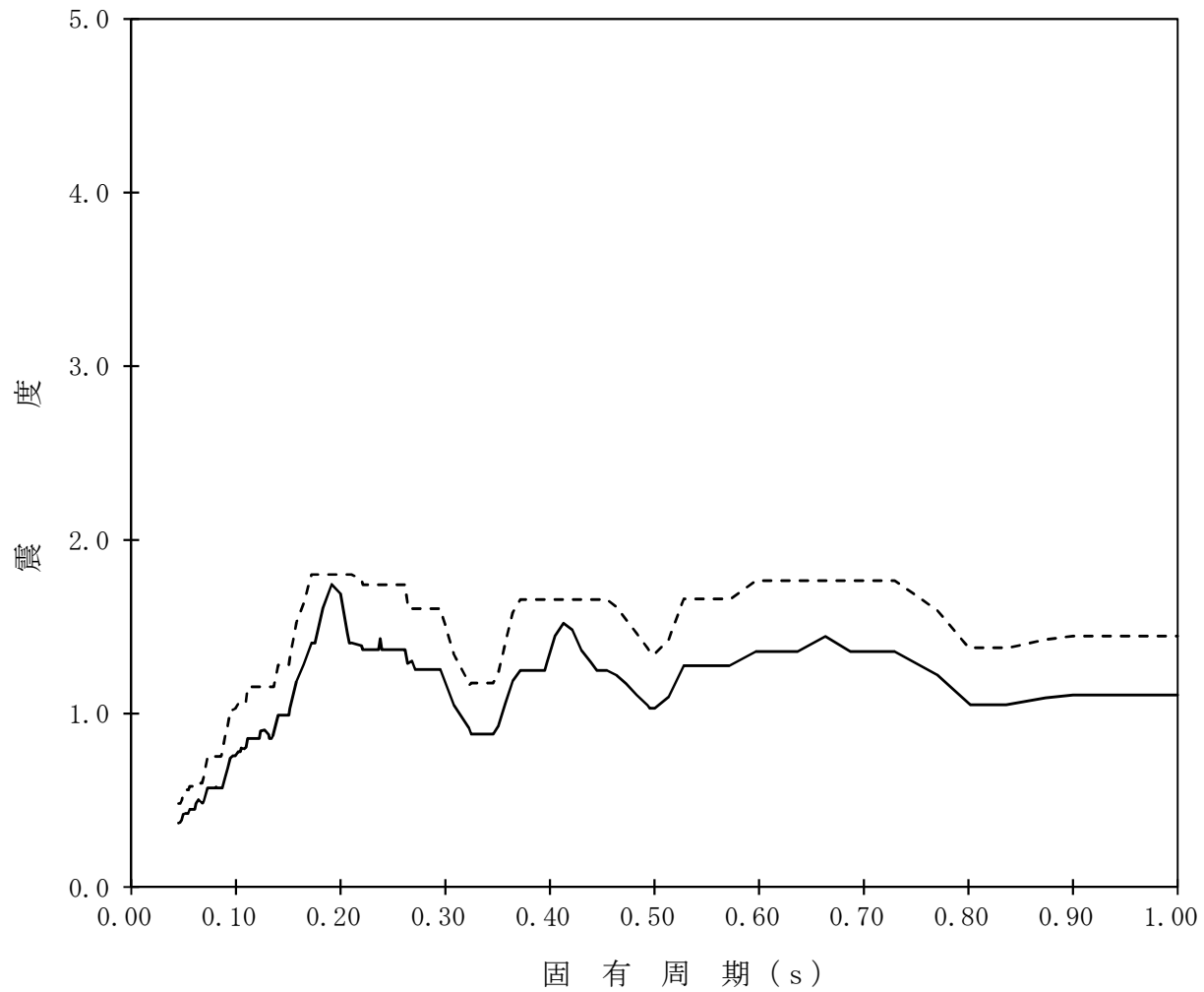
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -8.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB70】

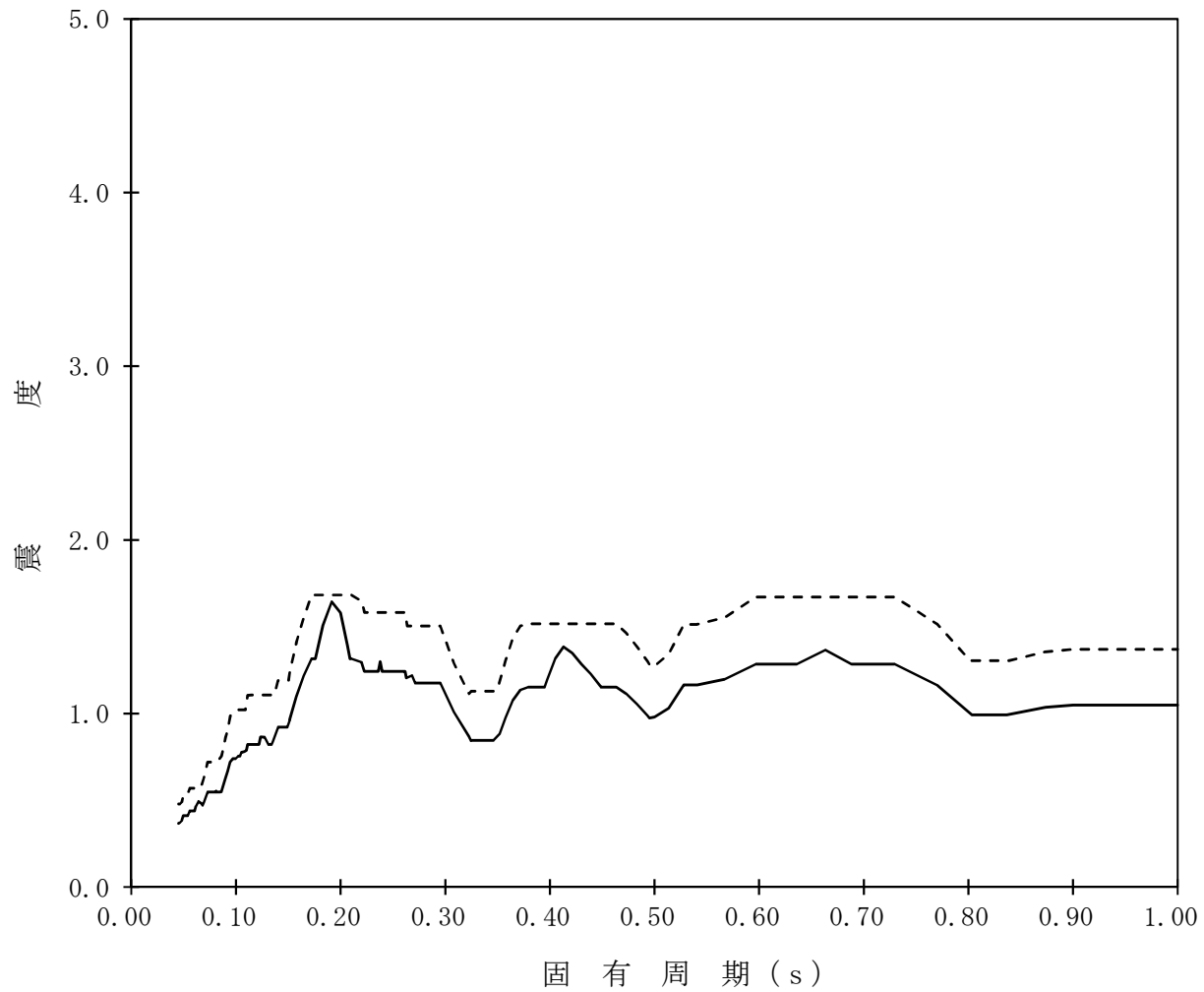
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -8.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB71】

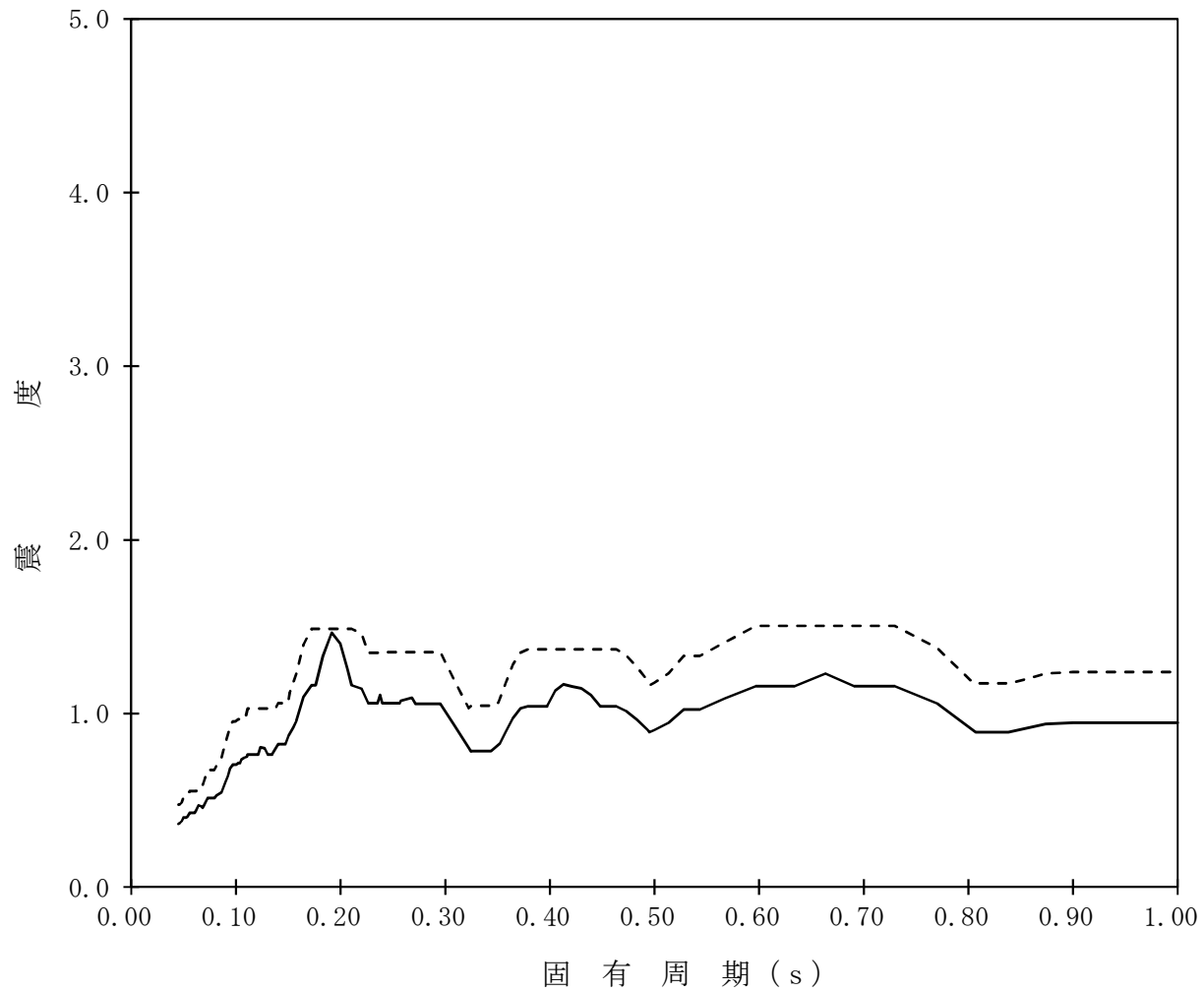
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -8.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB72】

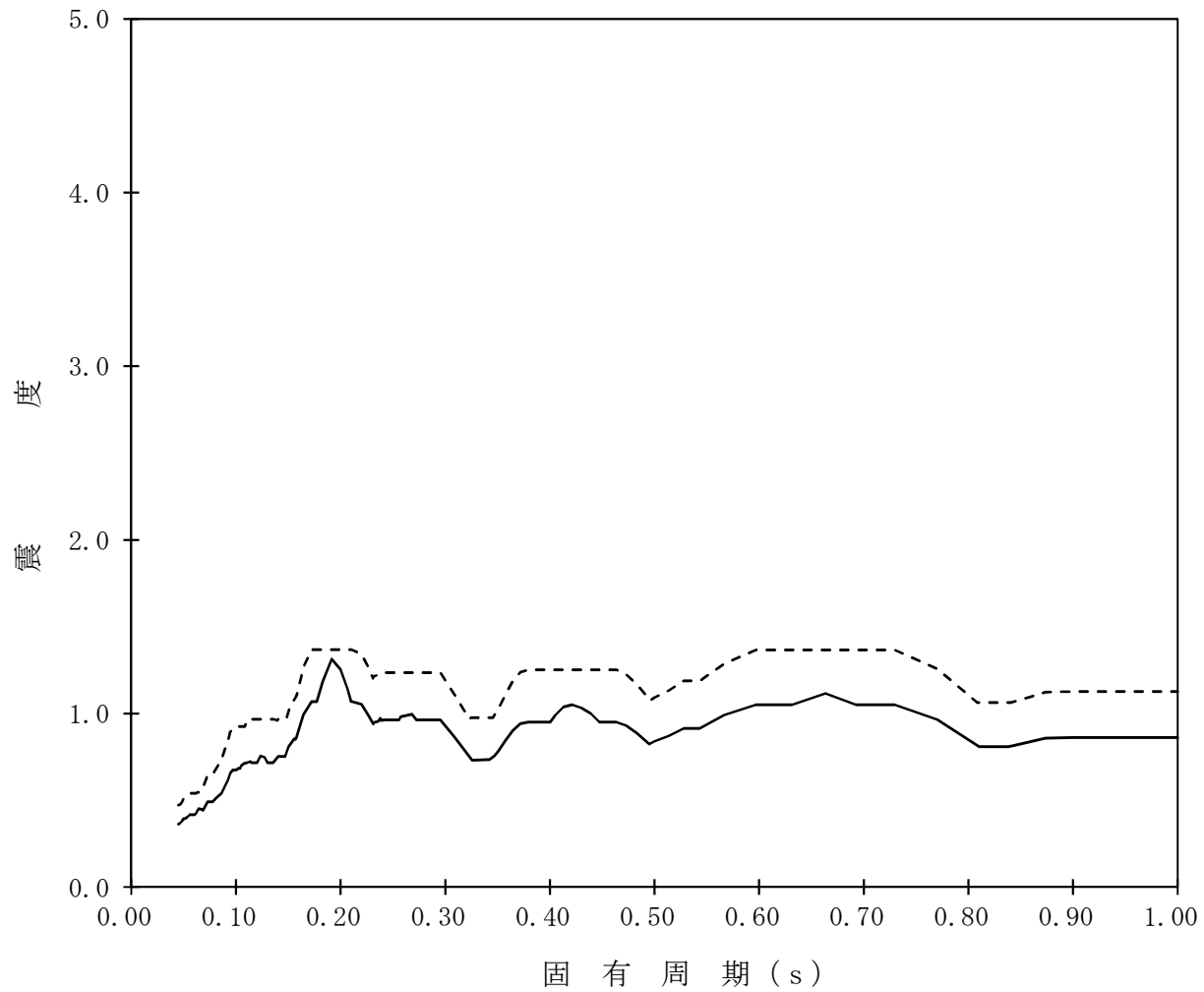
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB73】

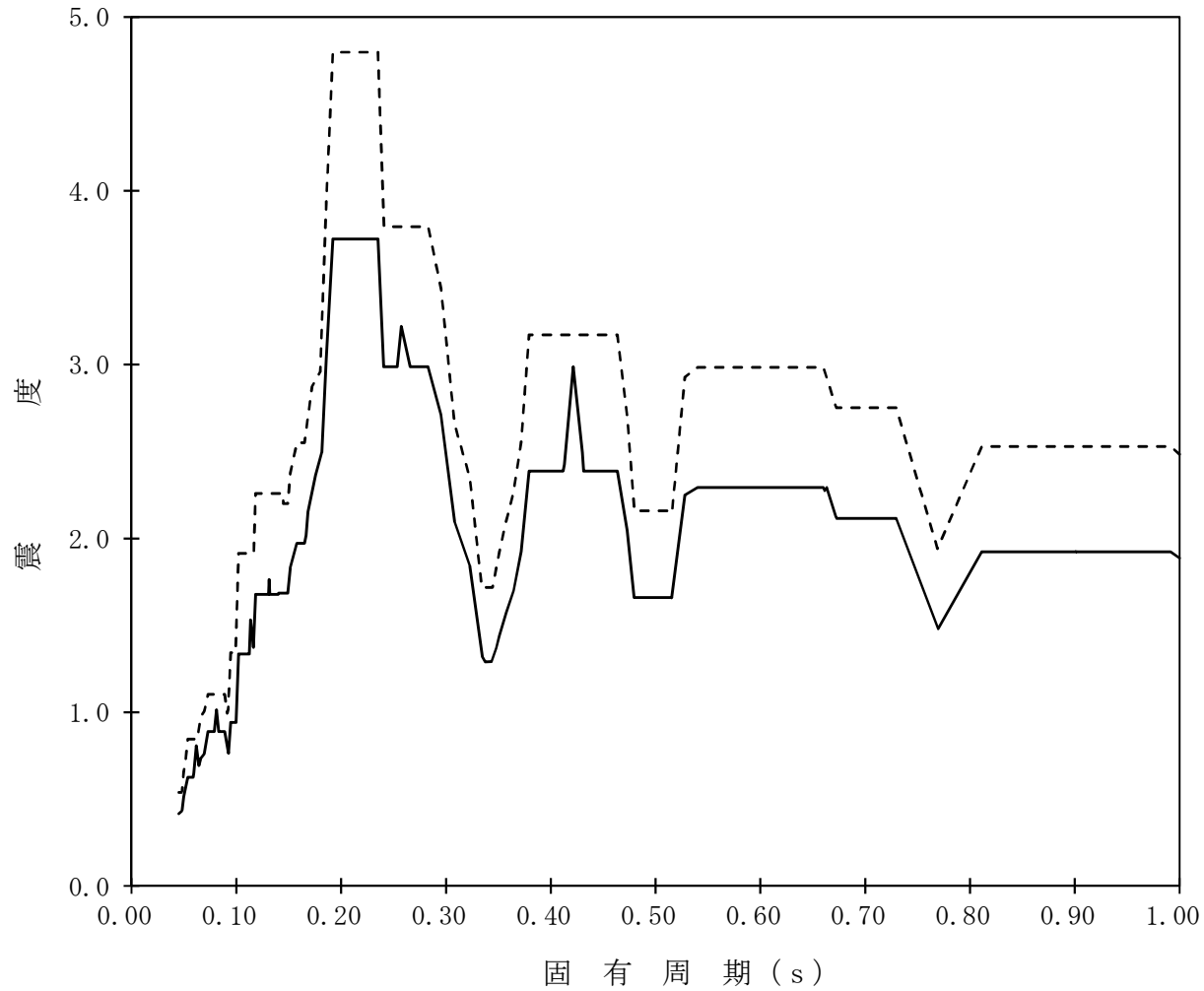
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB74】

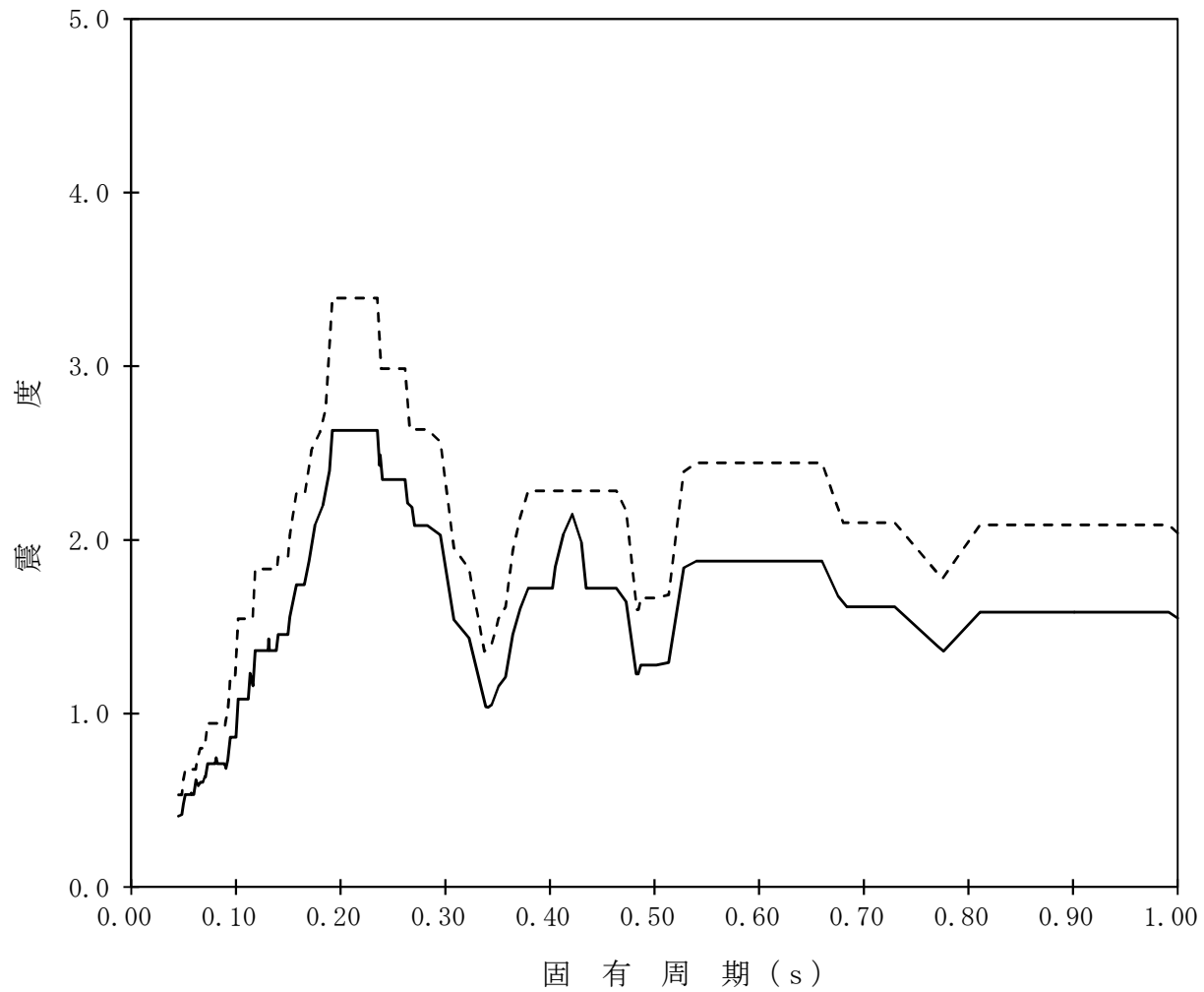
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB75】

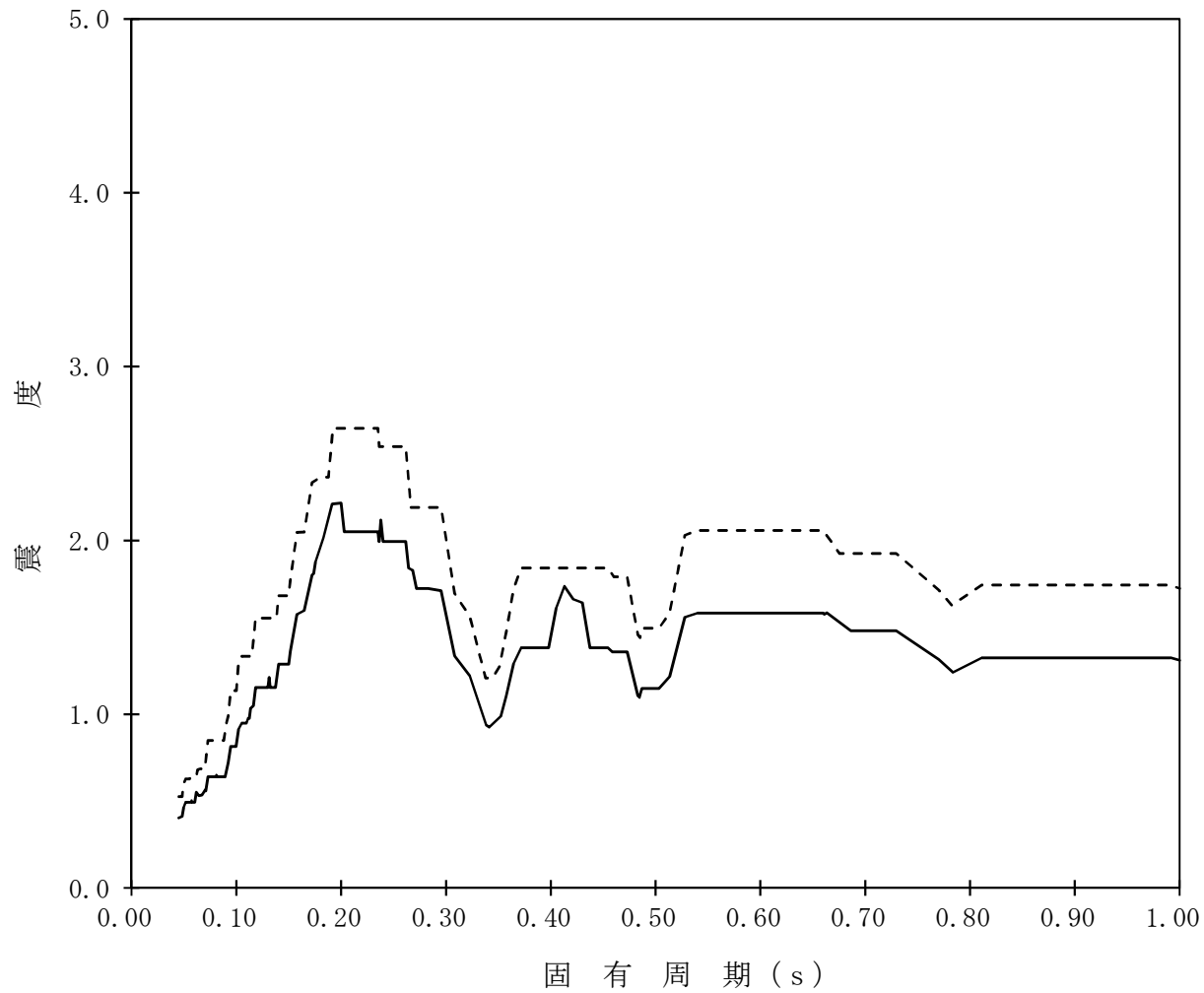
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB76】

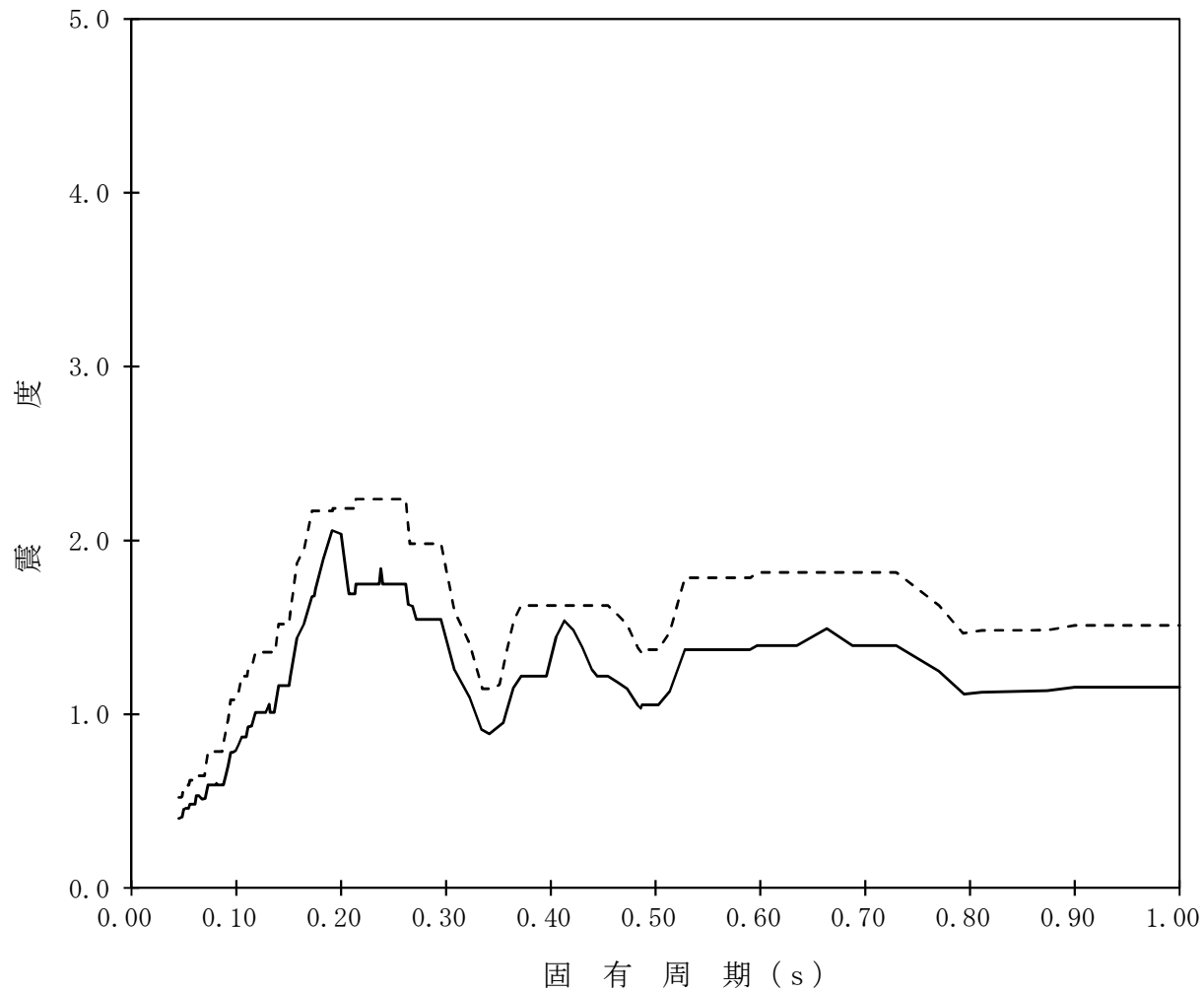
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB77】

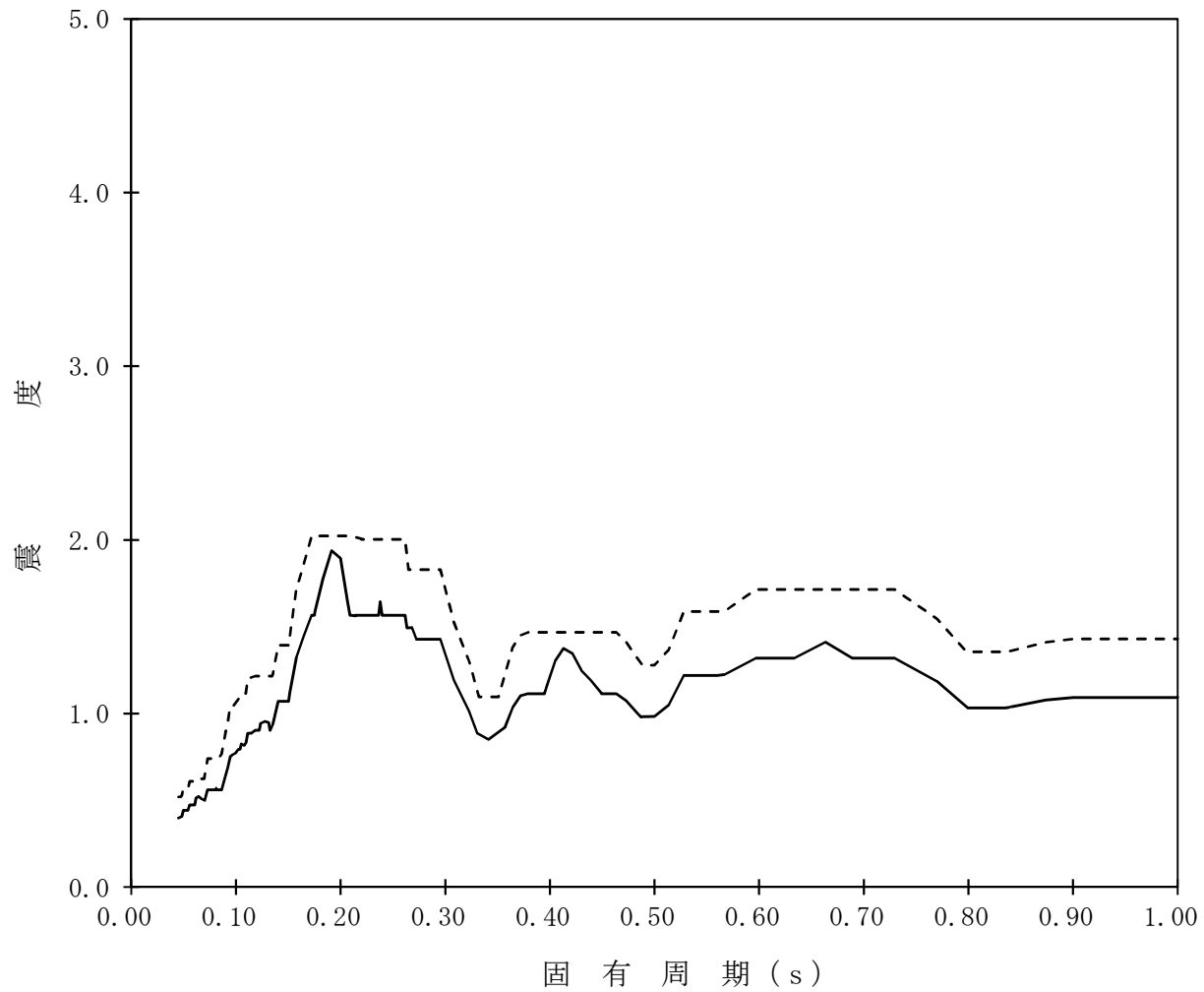
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RB-SdH-RB78】

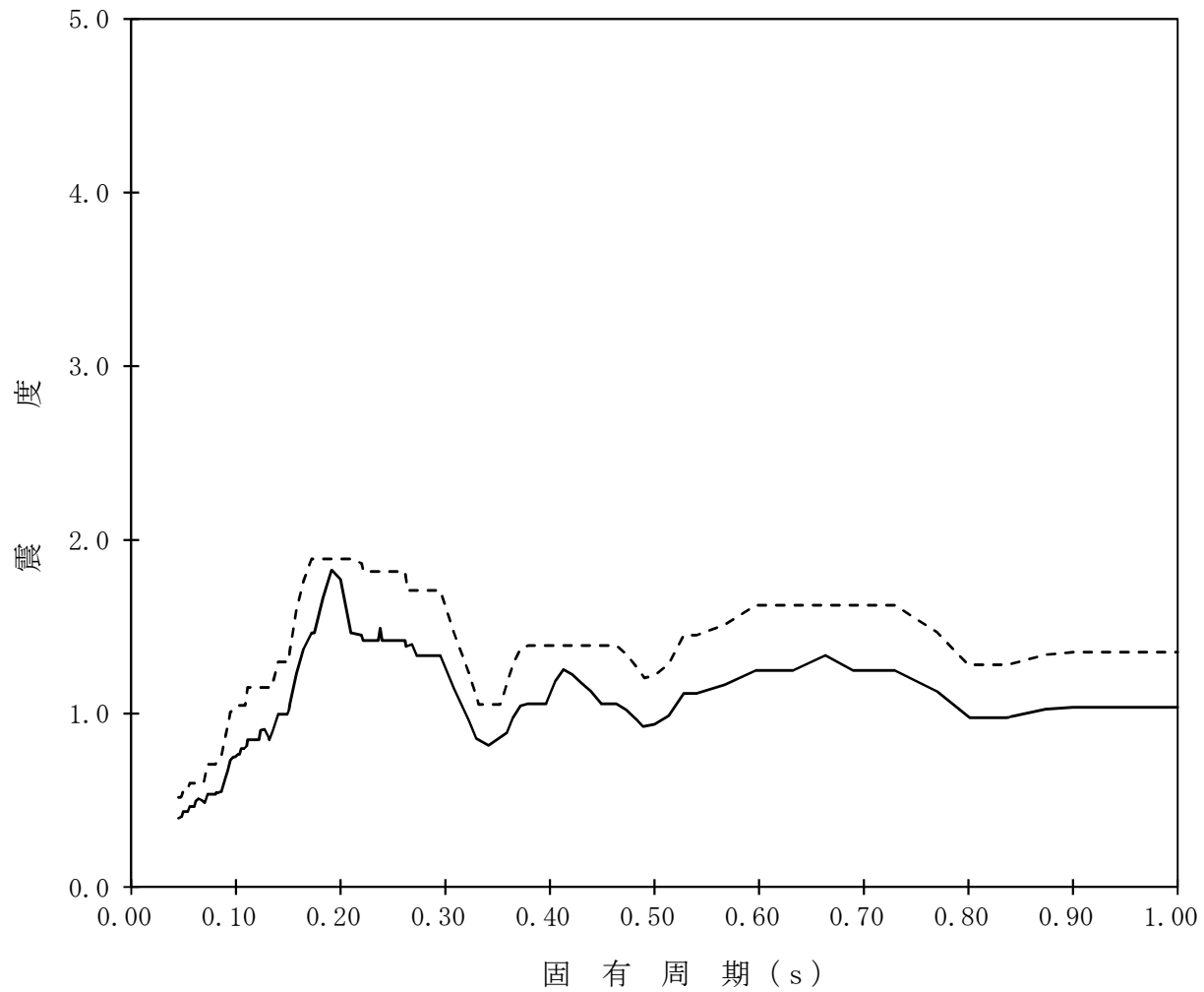
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB79】

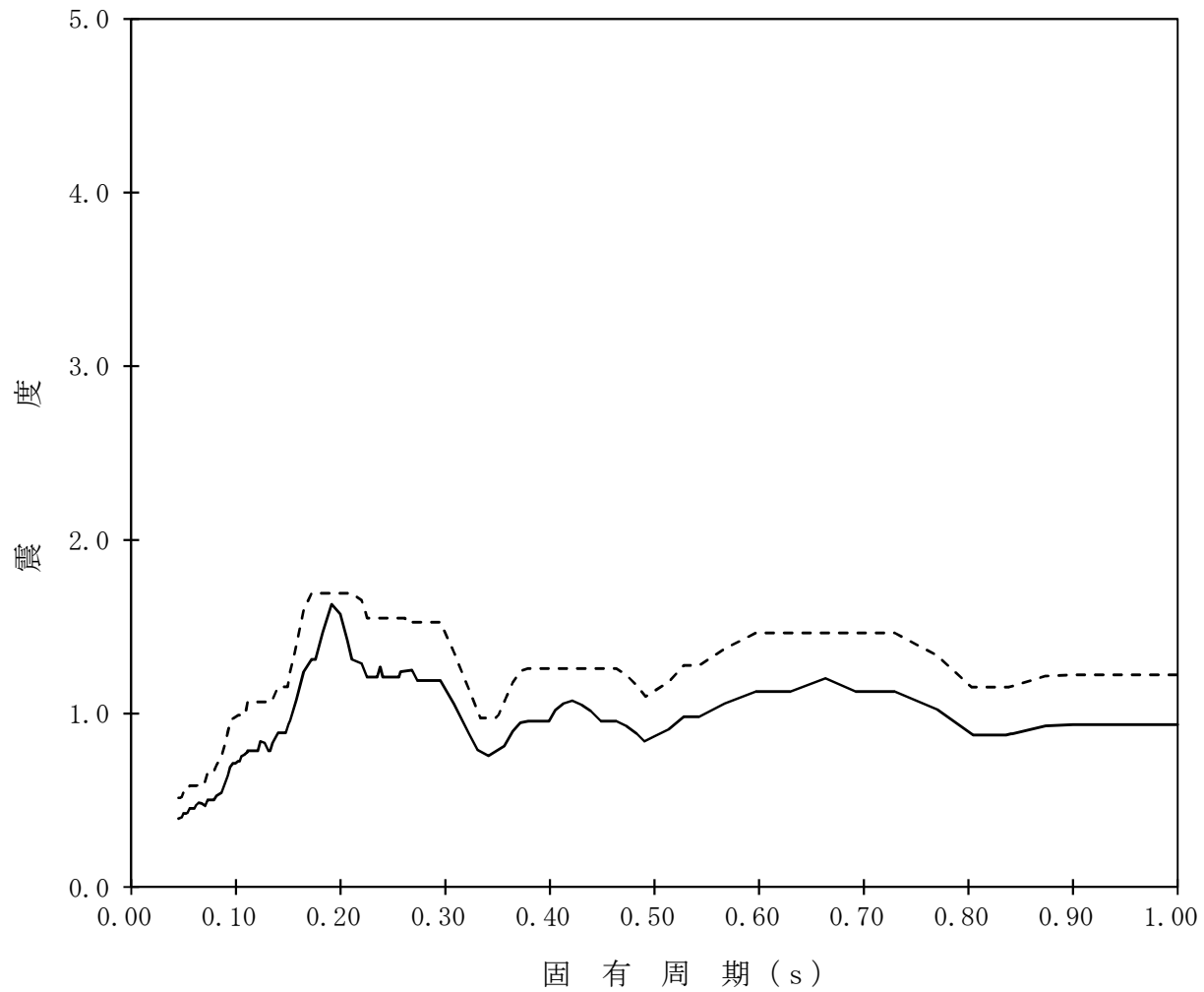
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdH-RB80】

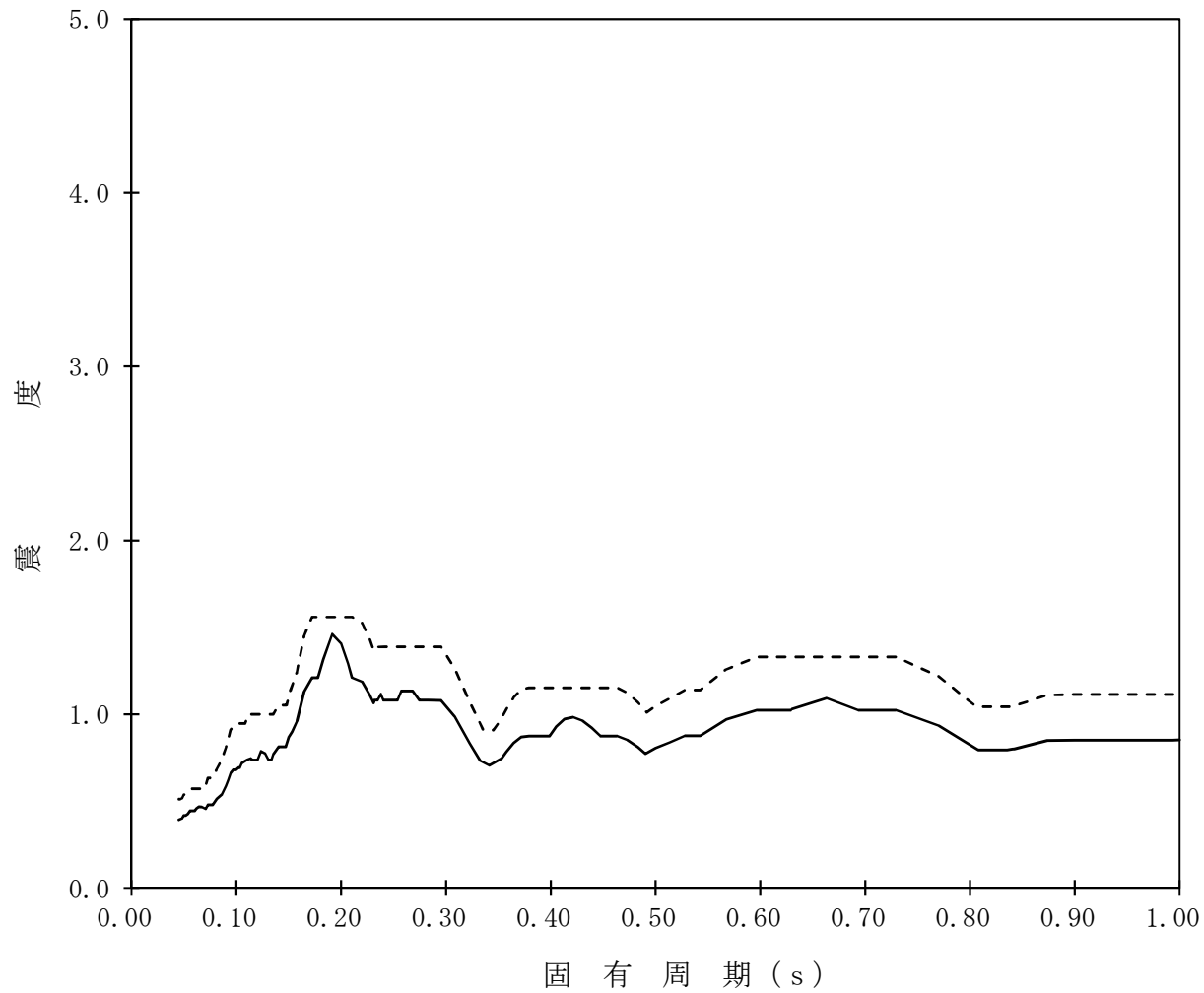
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RB-SdV-RB1】

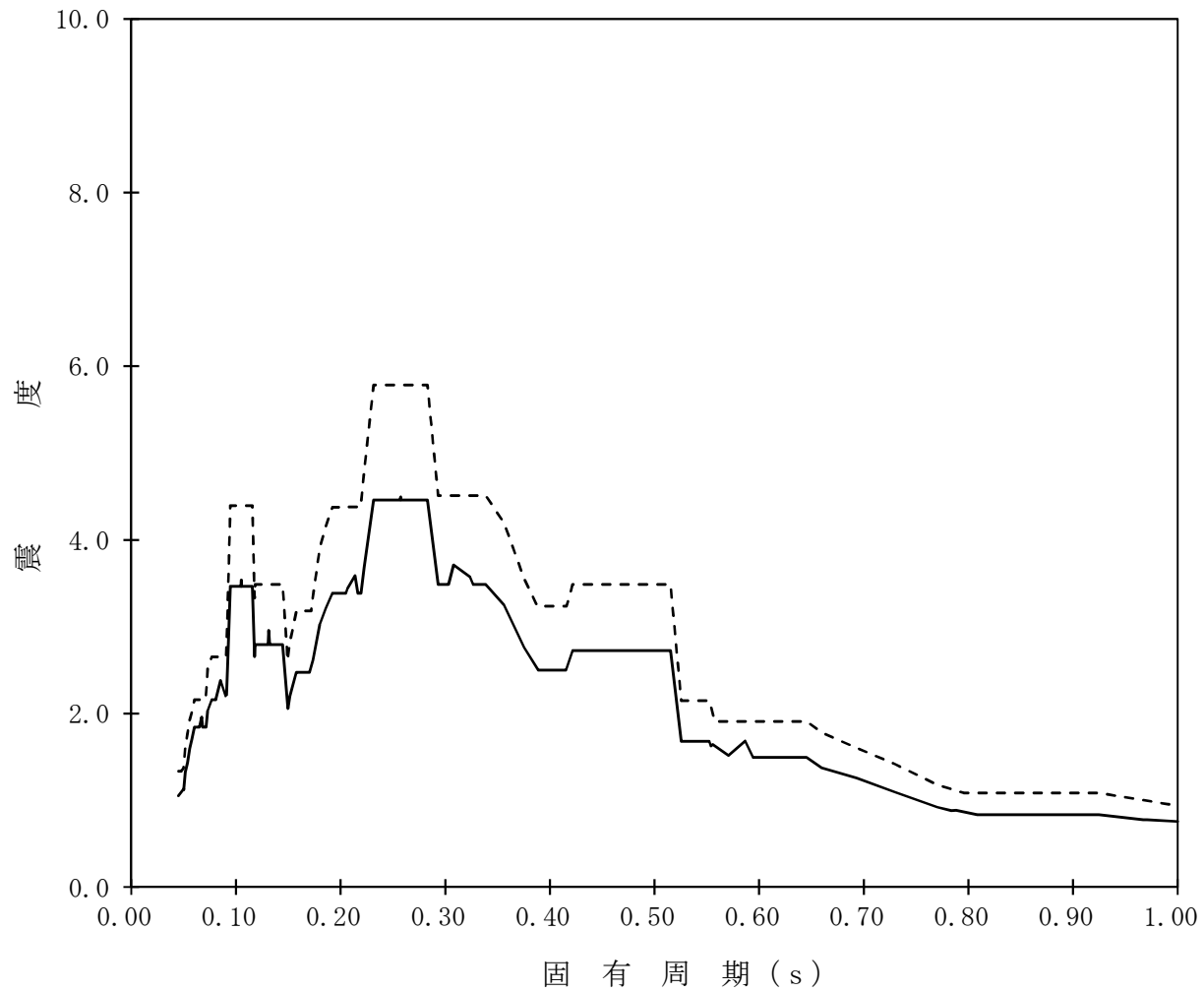
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB2】

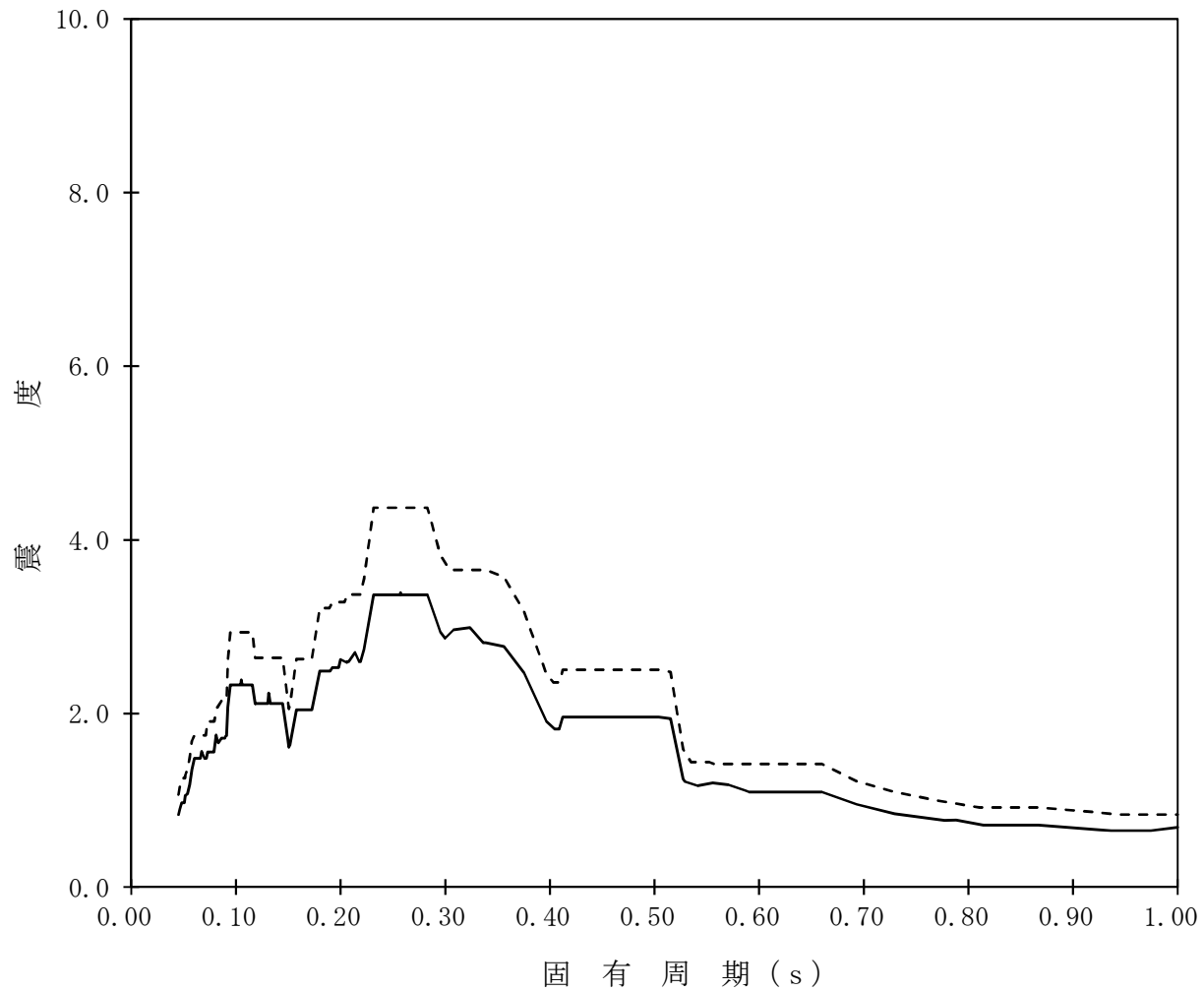
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB3】

構造物名：原子炉建屋

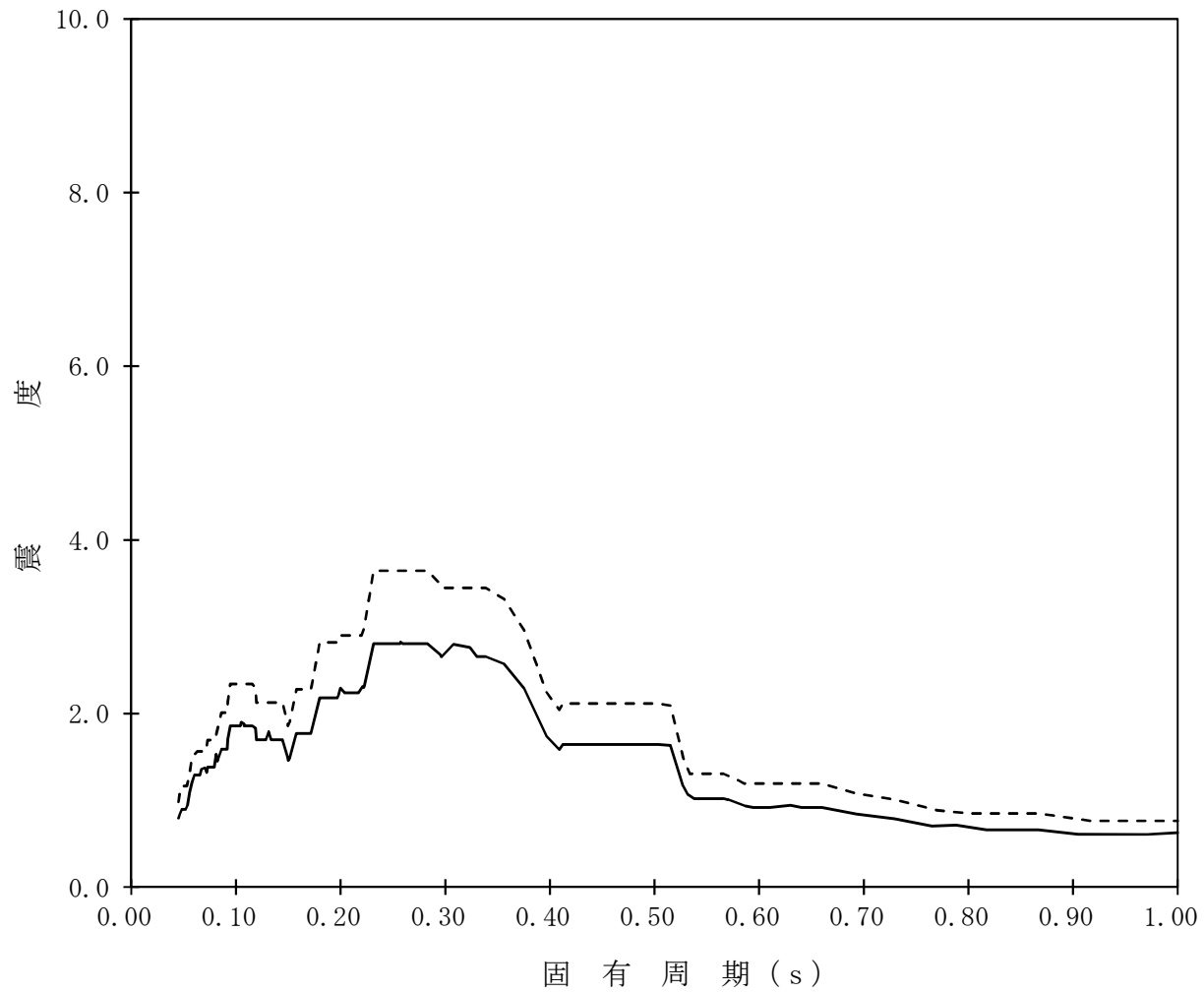
標高：T. M. S. L. 49.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（鉛直方向）

減衰定数：1.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（鉛直方向）



【K06-RB-SdV-RB4】

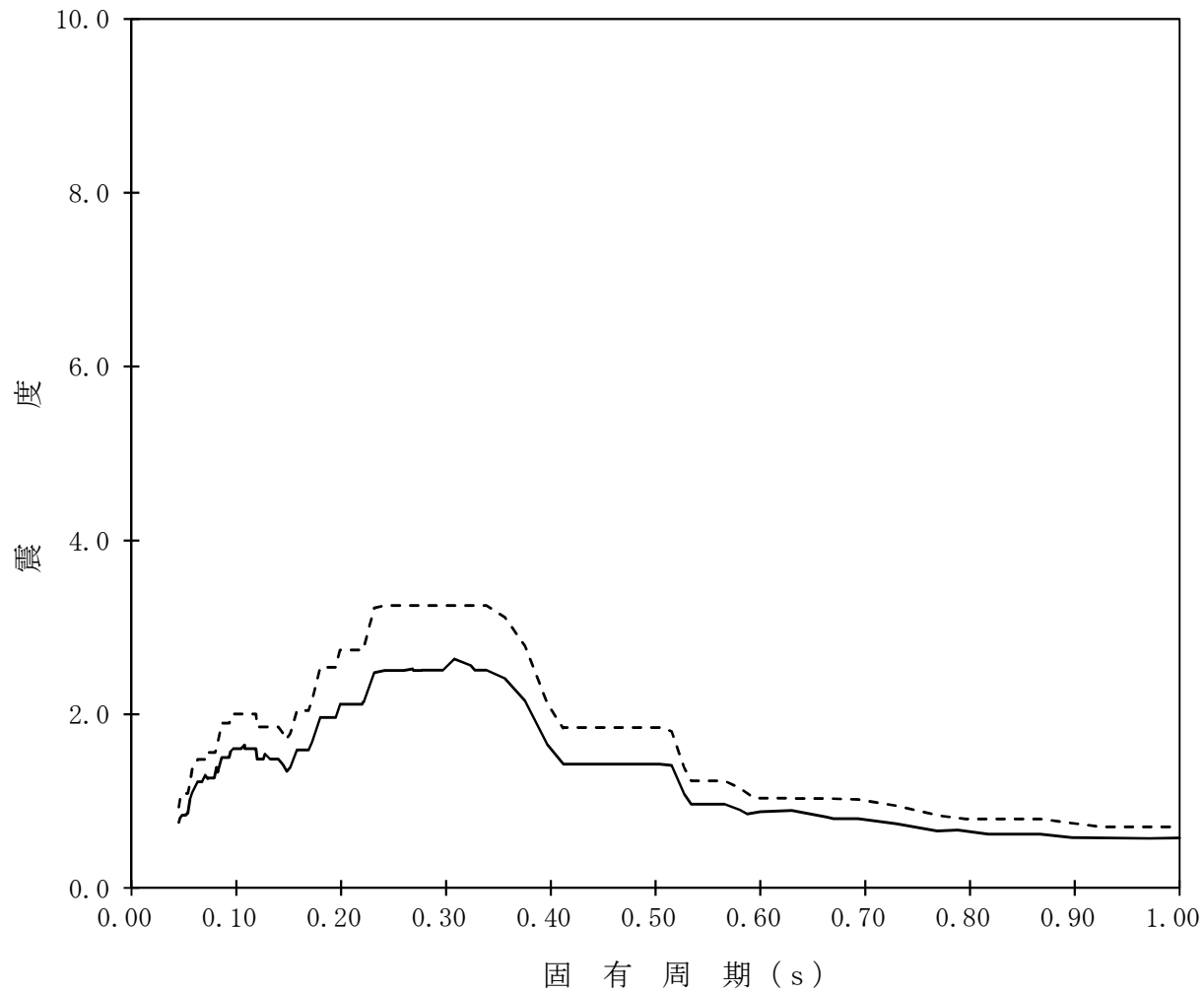
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB5】

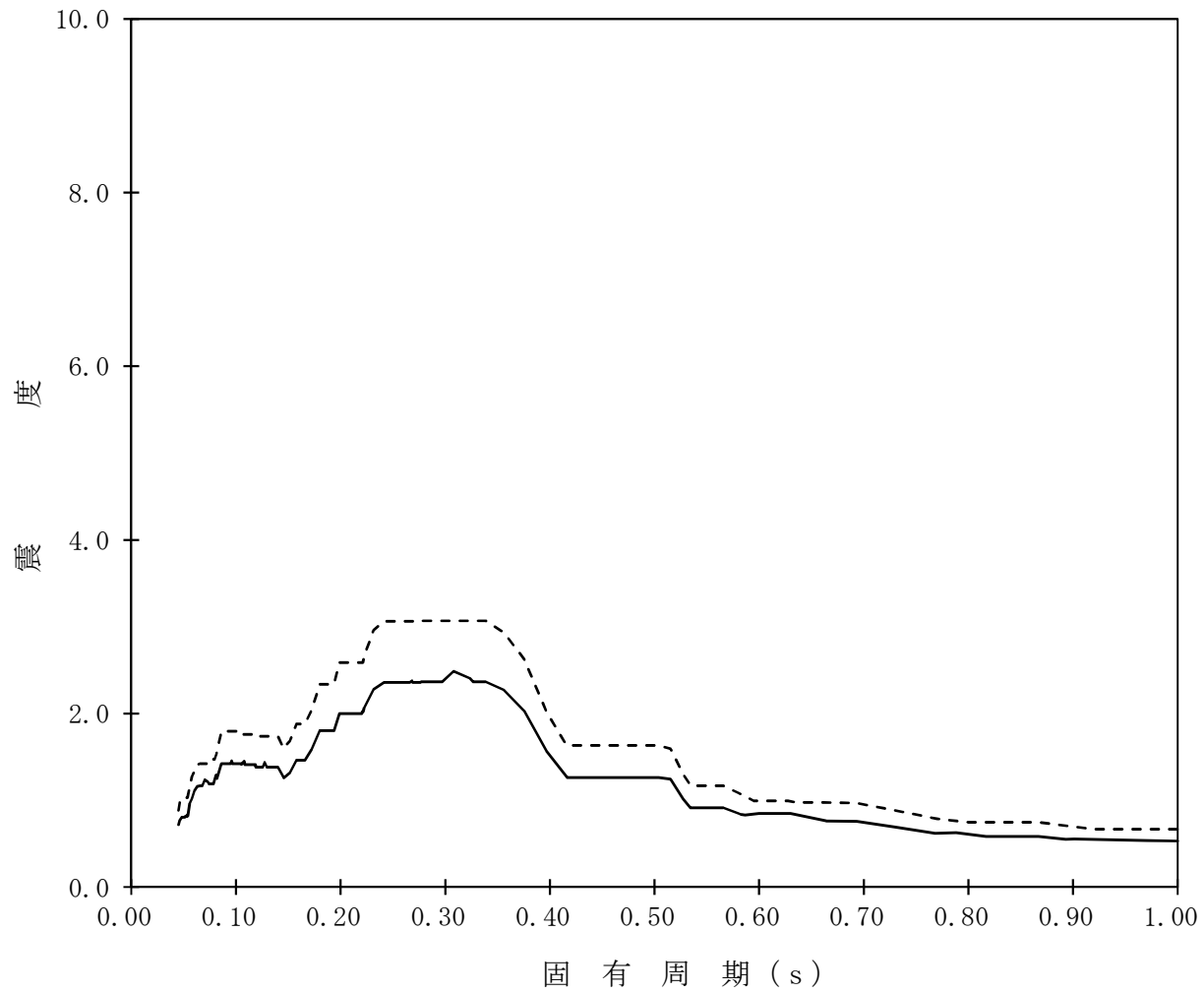
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB6】

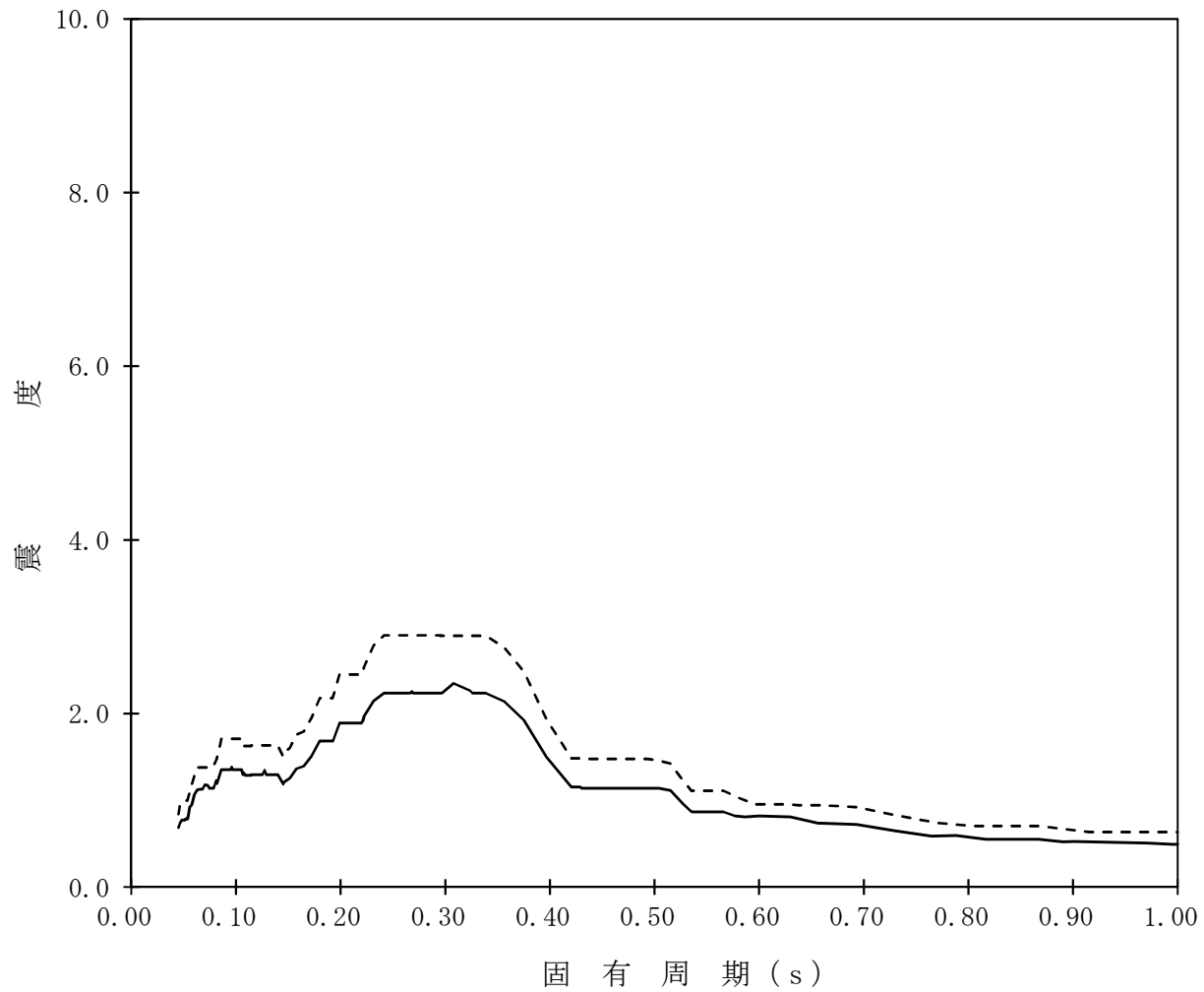
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB7】

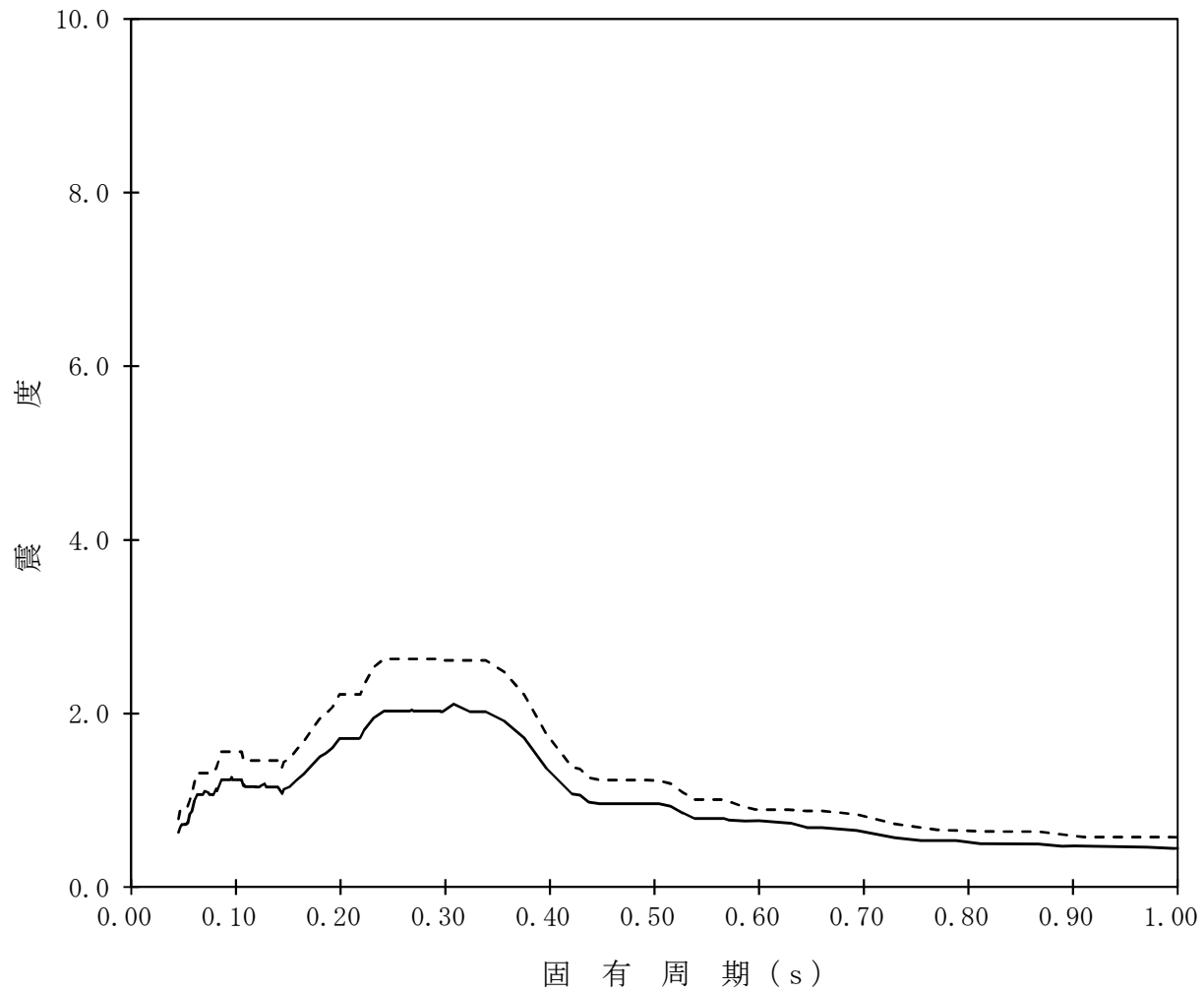
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB8】

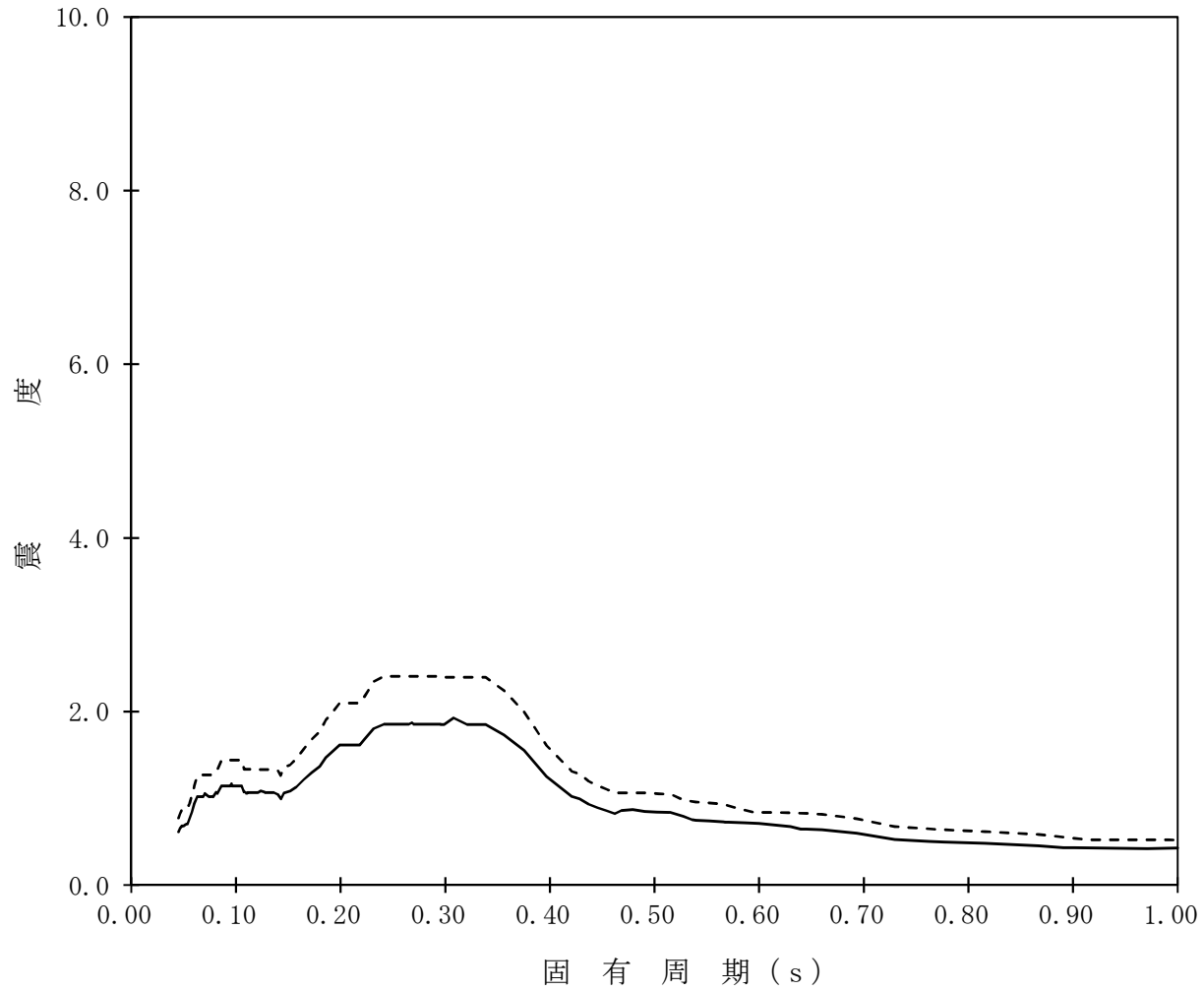
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB9】

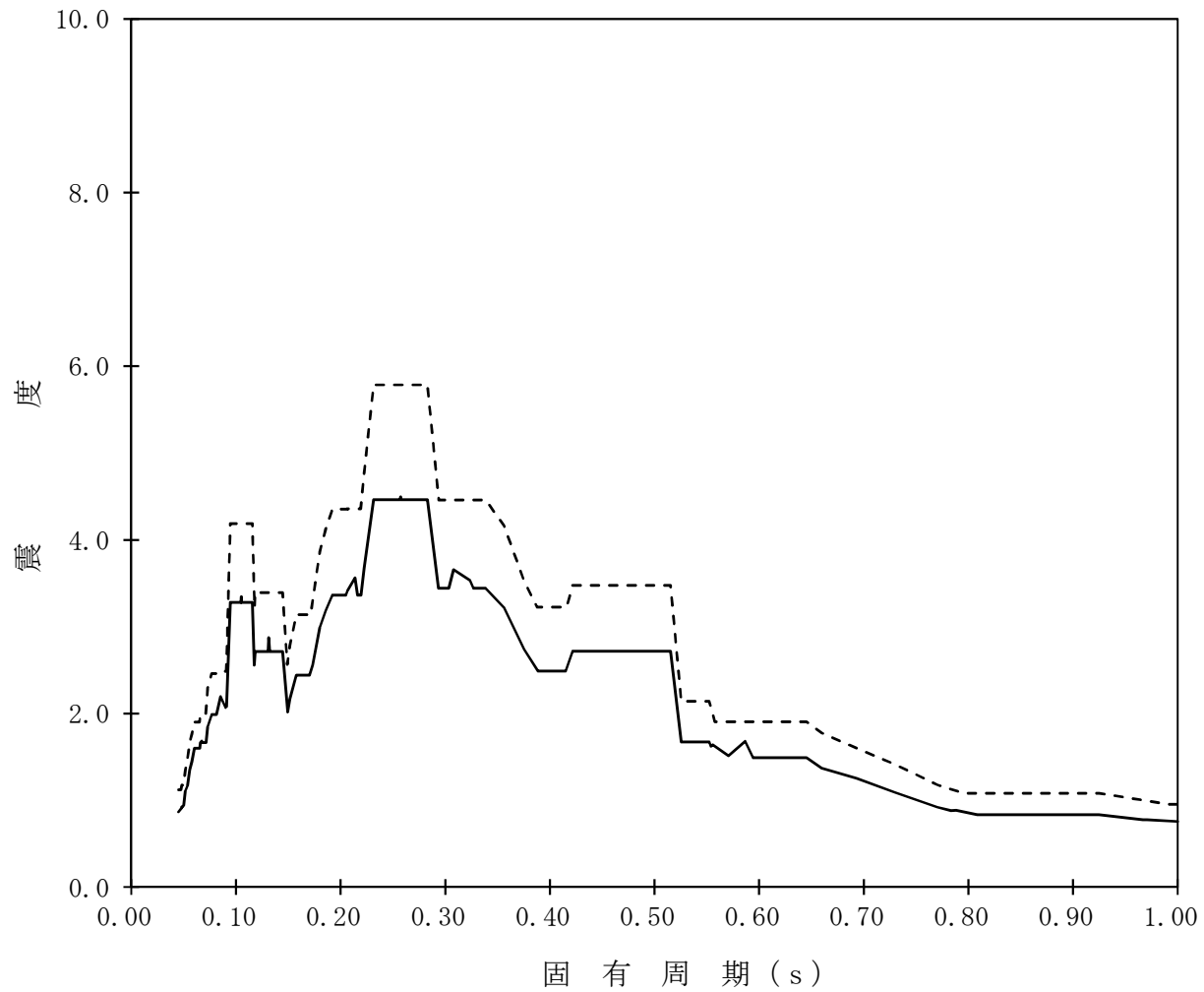
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB10】

構造物名：原子炉建屋

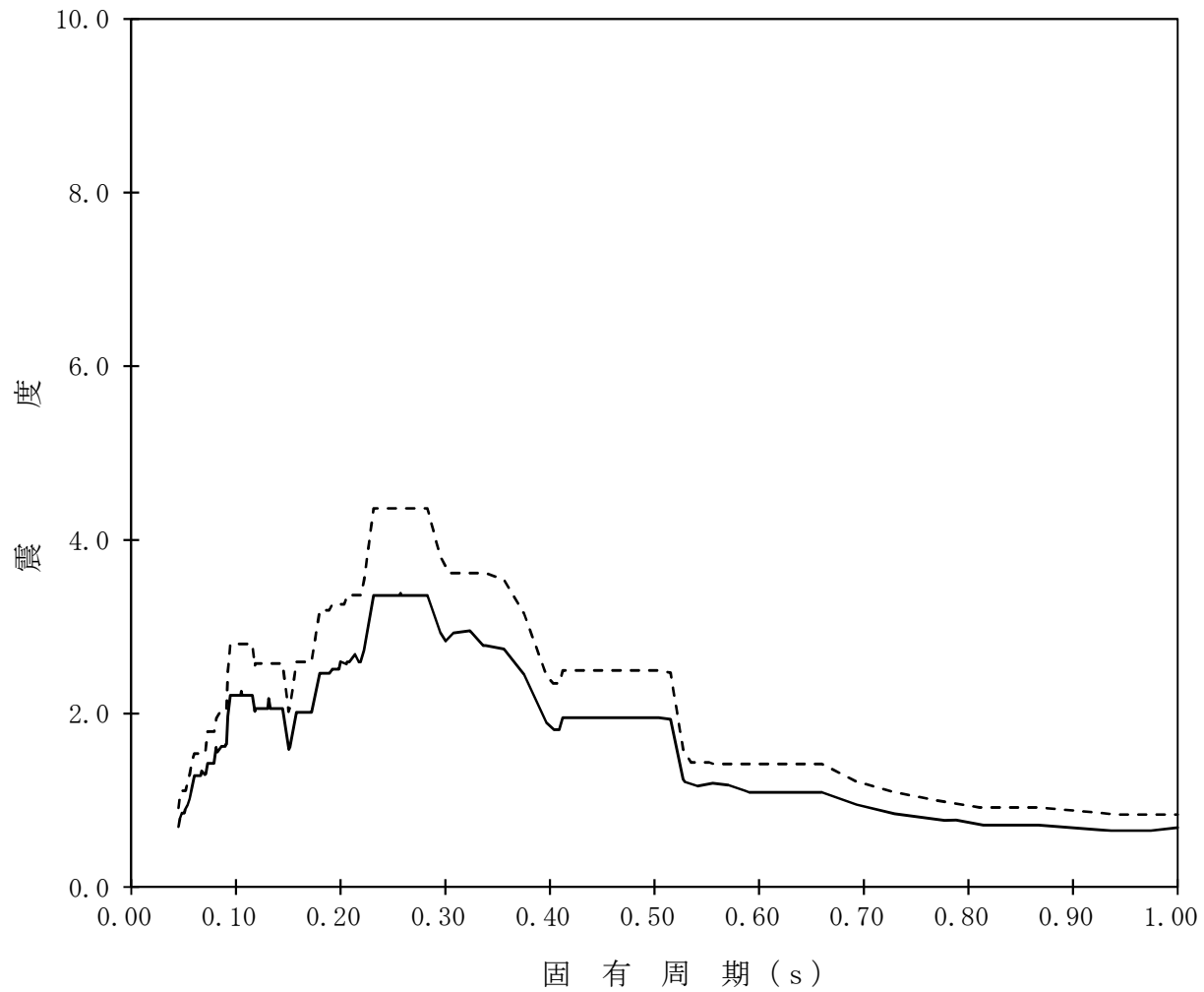
標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：1.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB11】

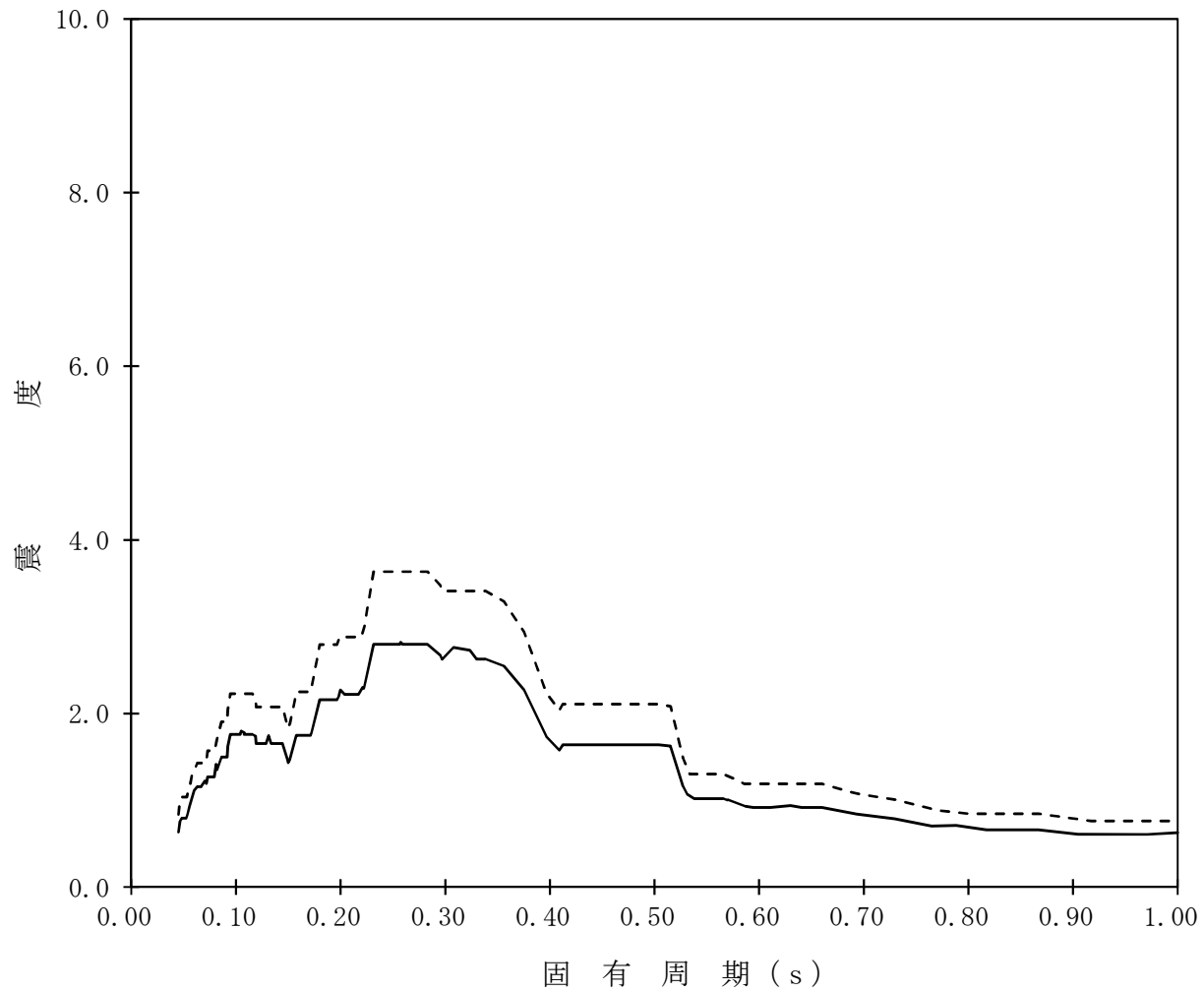
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB12】

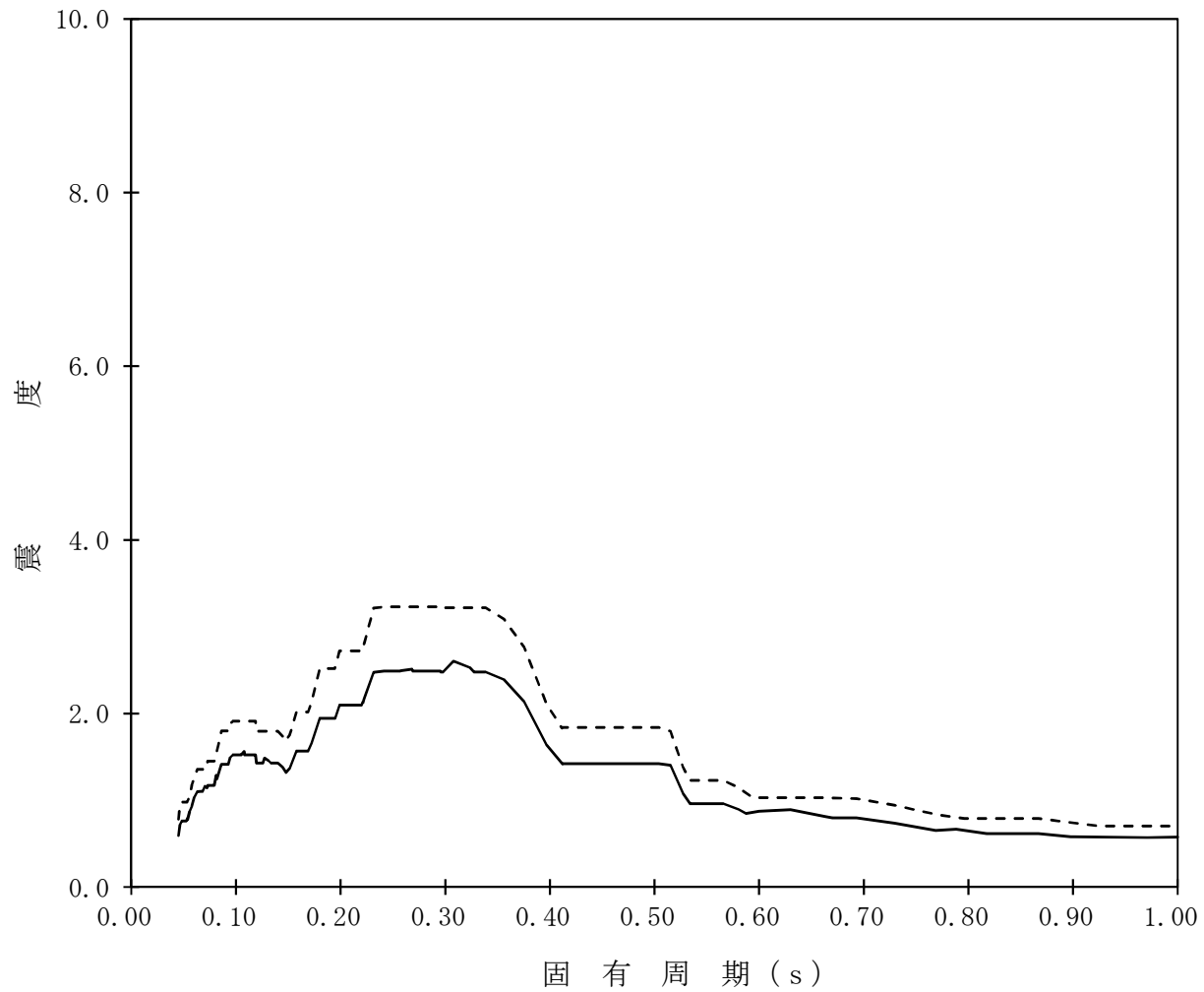
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB13】

構造物名：原子炉建屋

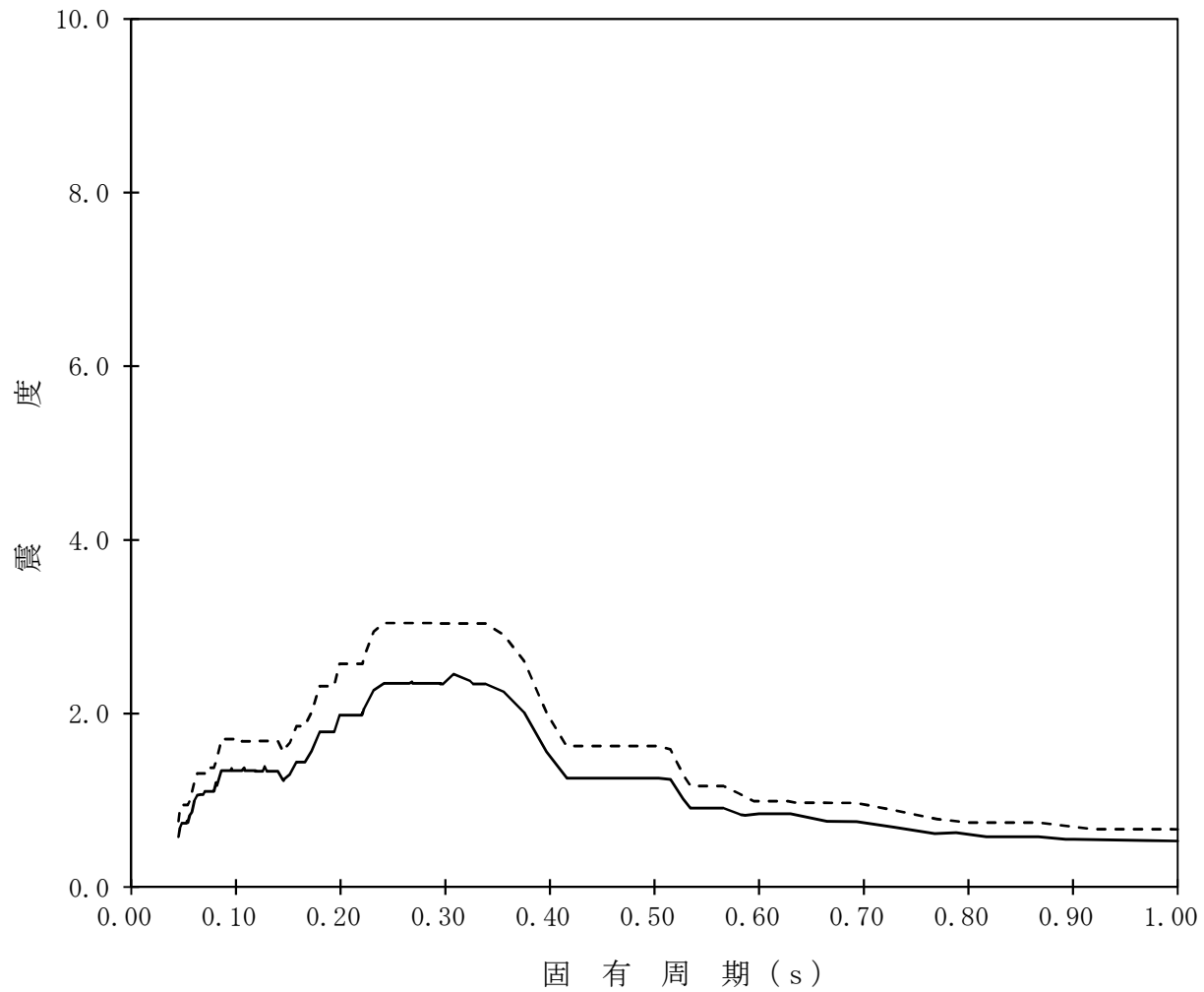
標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（鉛直方向）

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（鉛直方向）



【K06-RB-SdV-RB14】

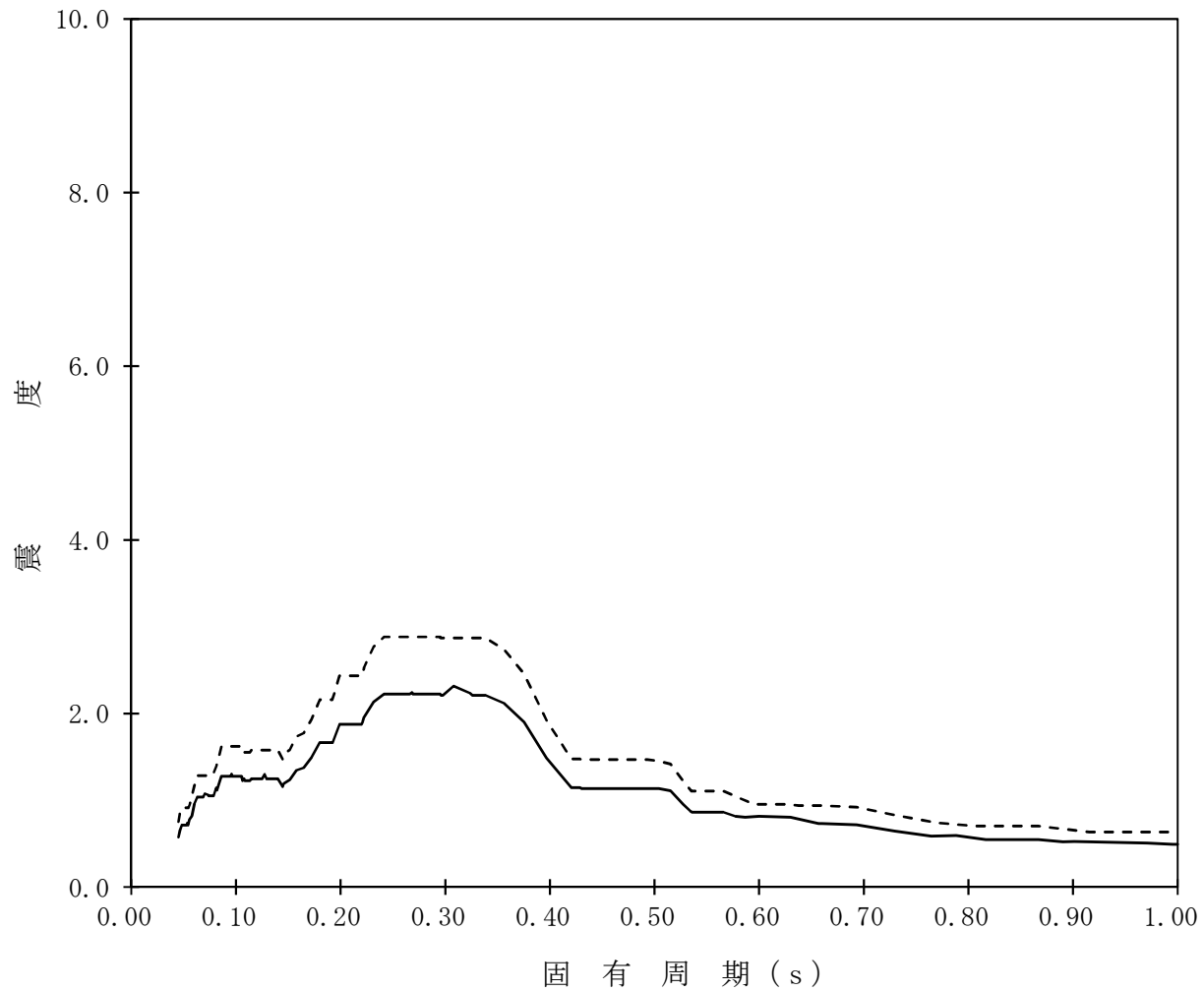
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB15】

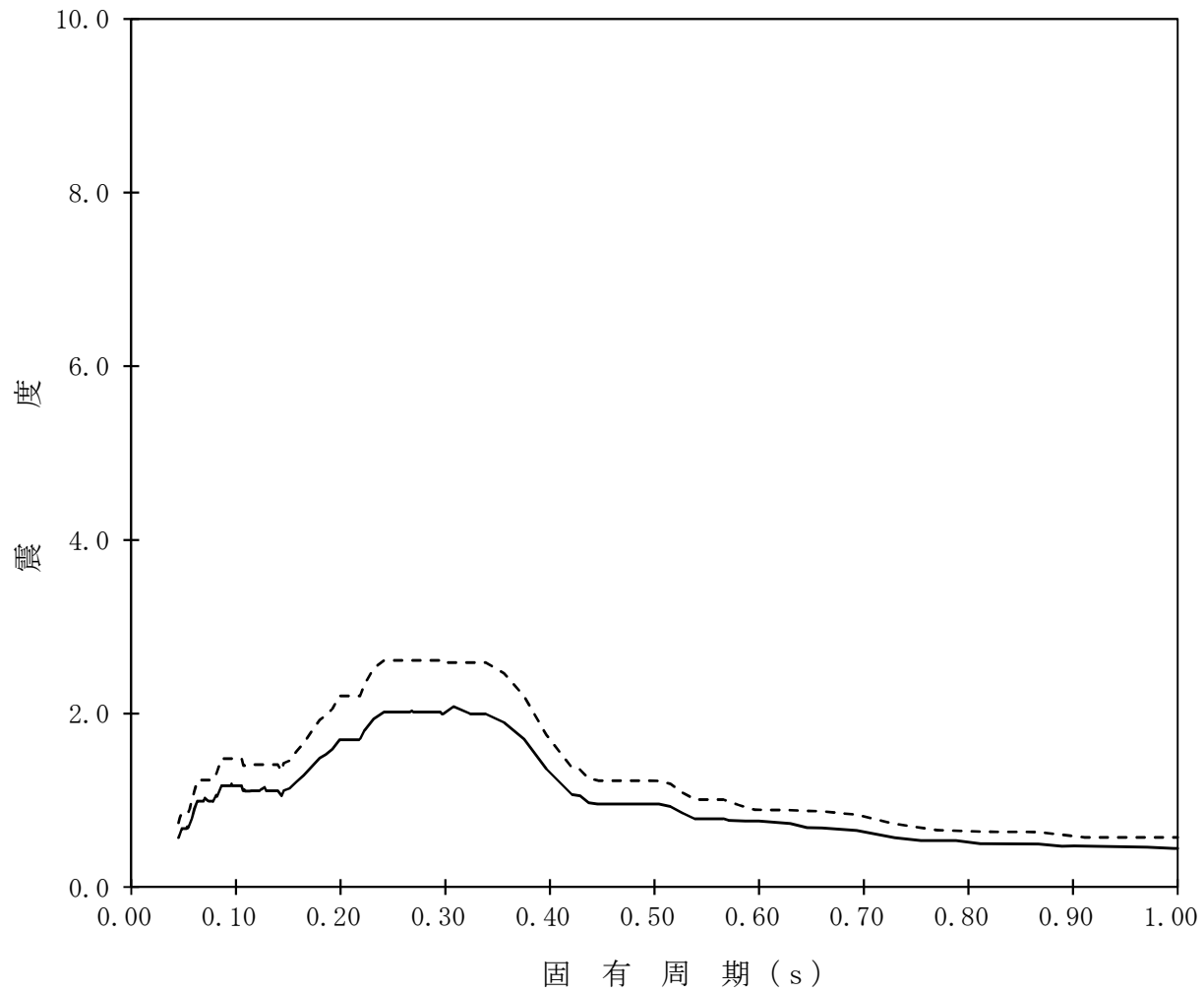
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB16】

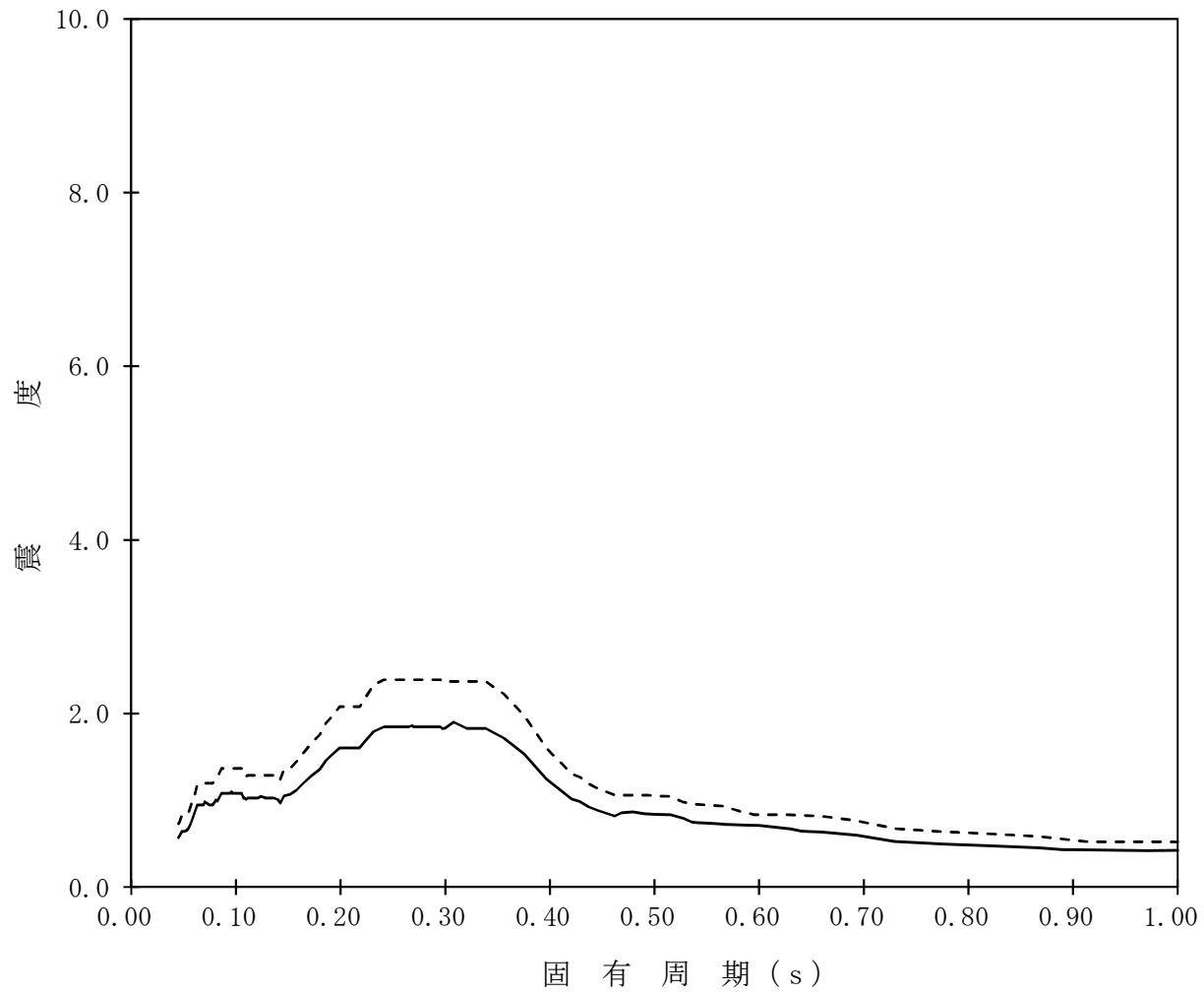
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB17】

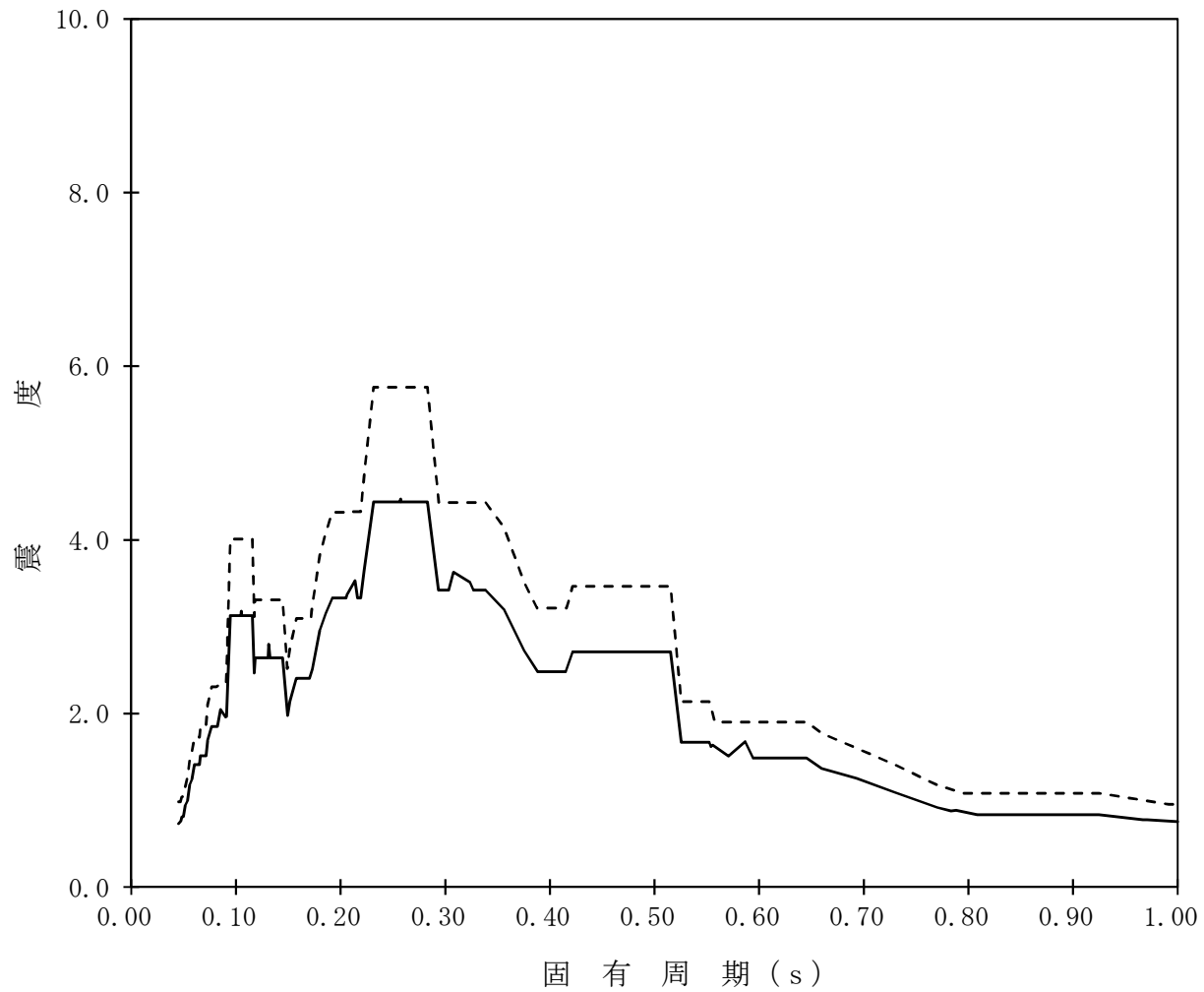
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB18】

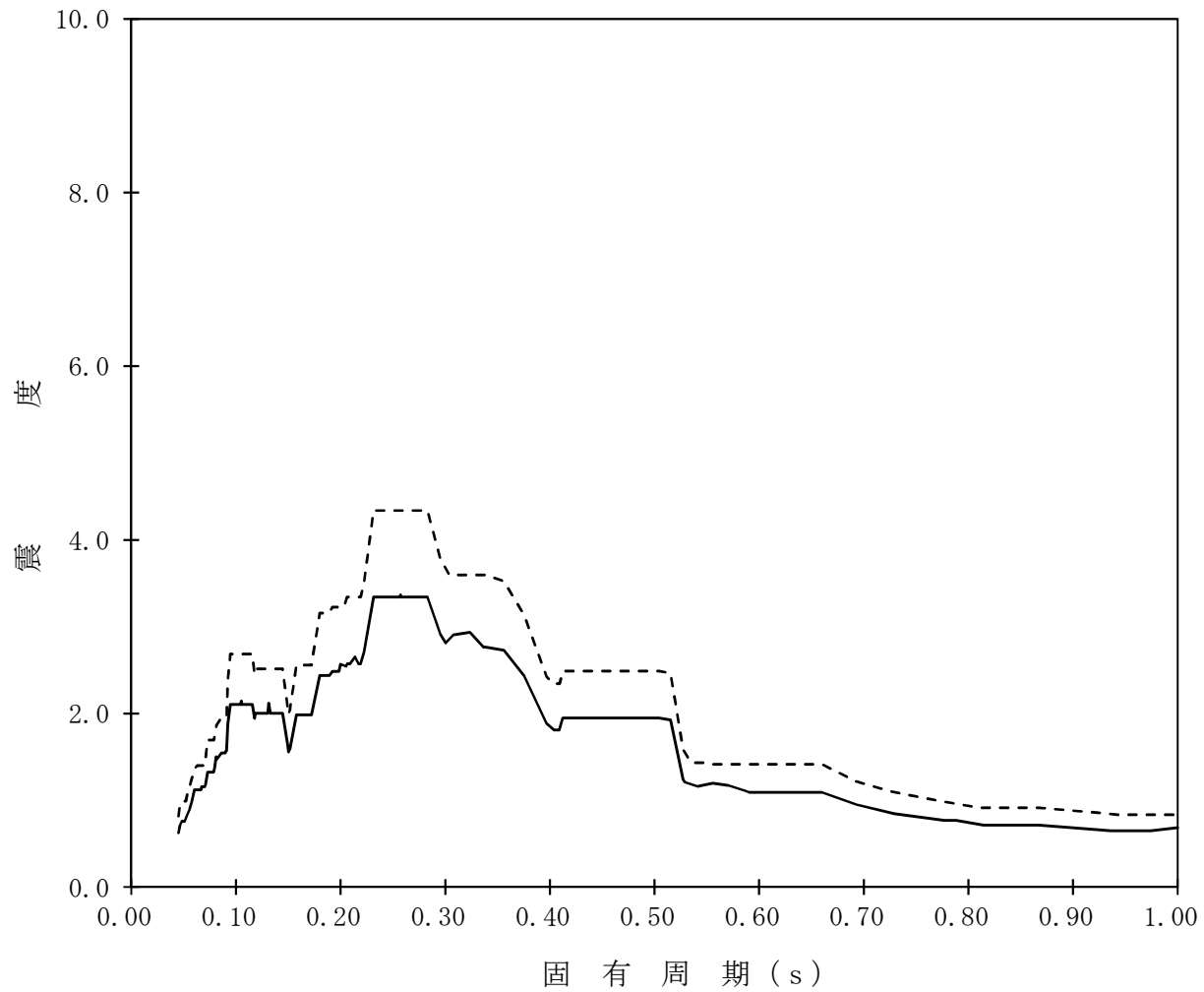
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB19】

構造物名：原子炉建屋

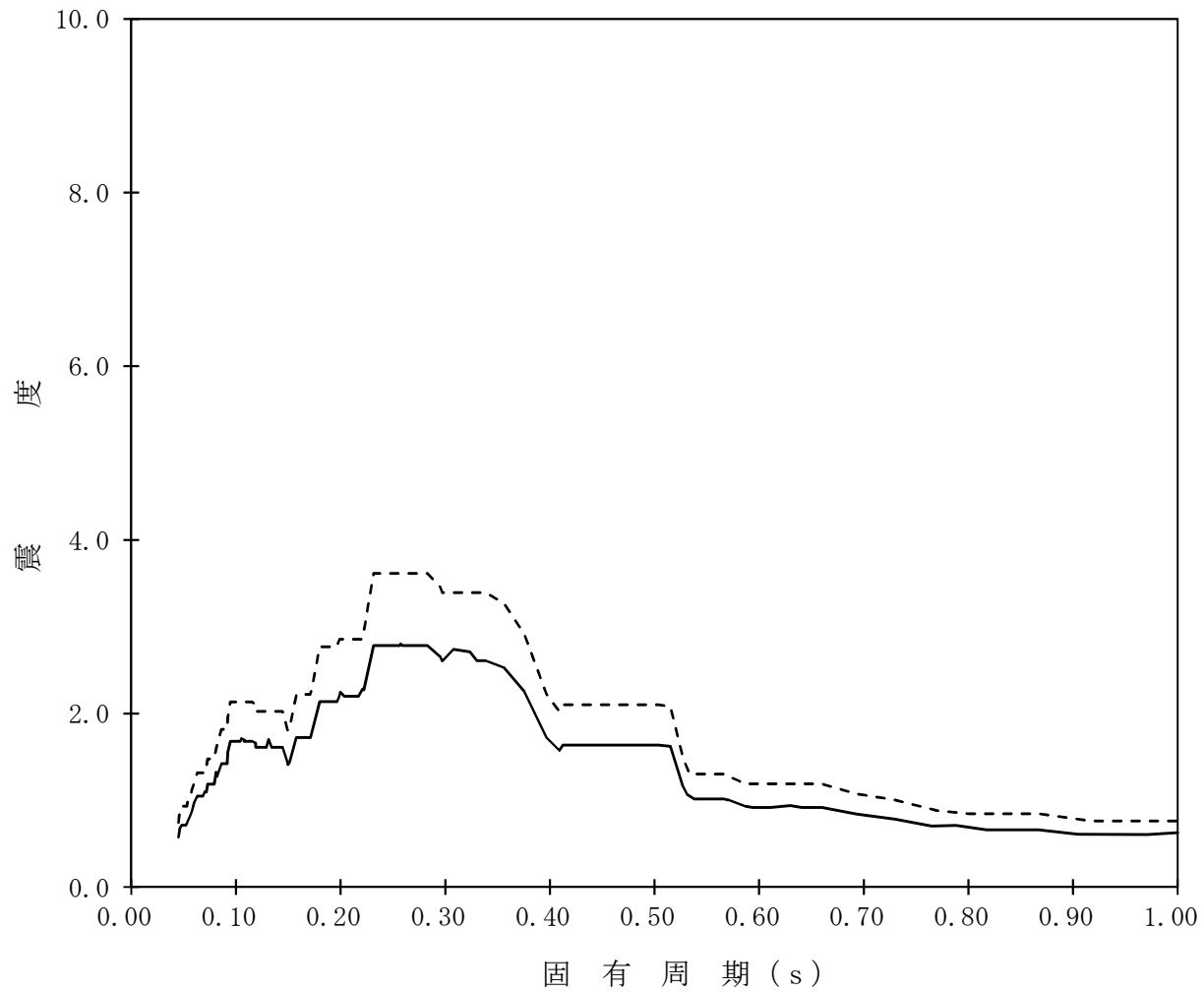
標高：T. M. S. L. 31.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（鉛直方向）

減衰定数：1.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（鉛直方向）



【K06-RB-SdV-RB20】

構造物名：原子炉建屋

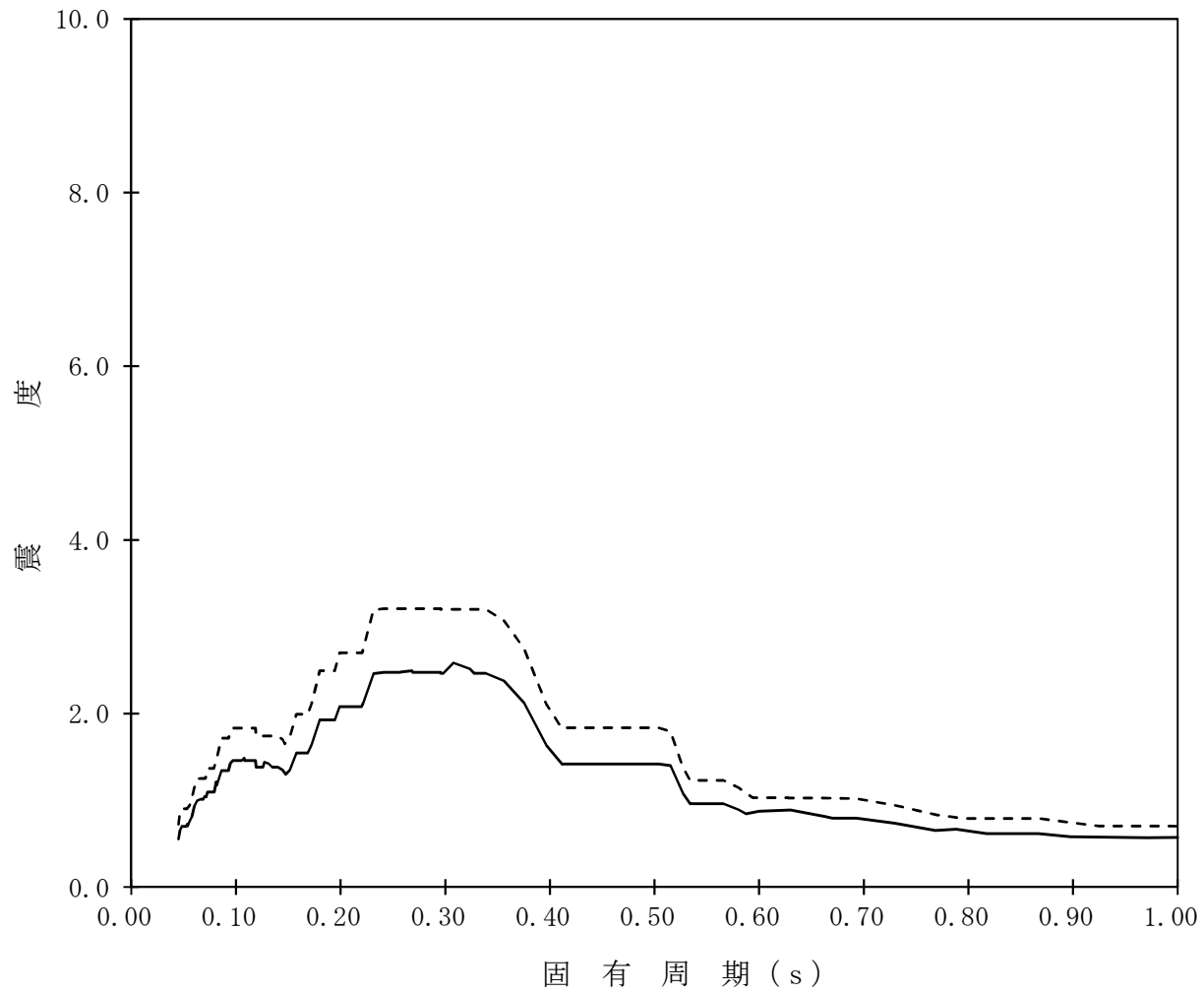
標高：T. M. S. L. 31.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（鉛直方向）

減衰定数：2.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（鉛直方向）



【K06-RB-SdV-RB21】

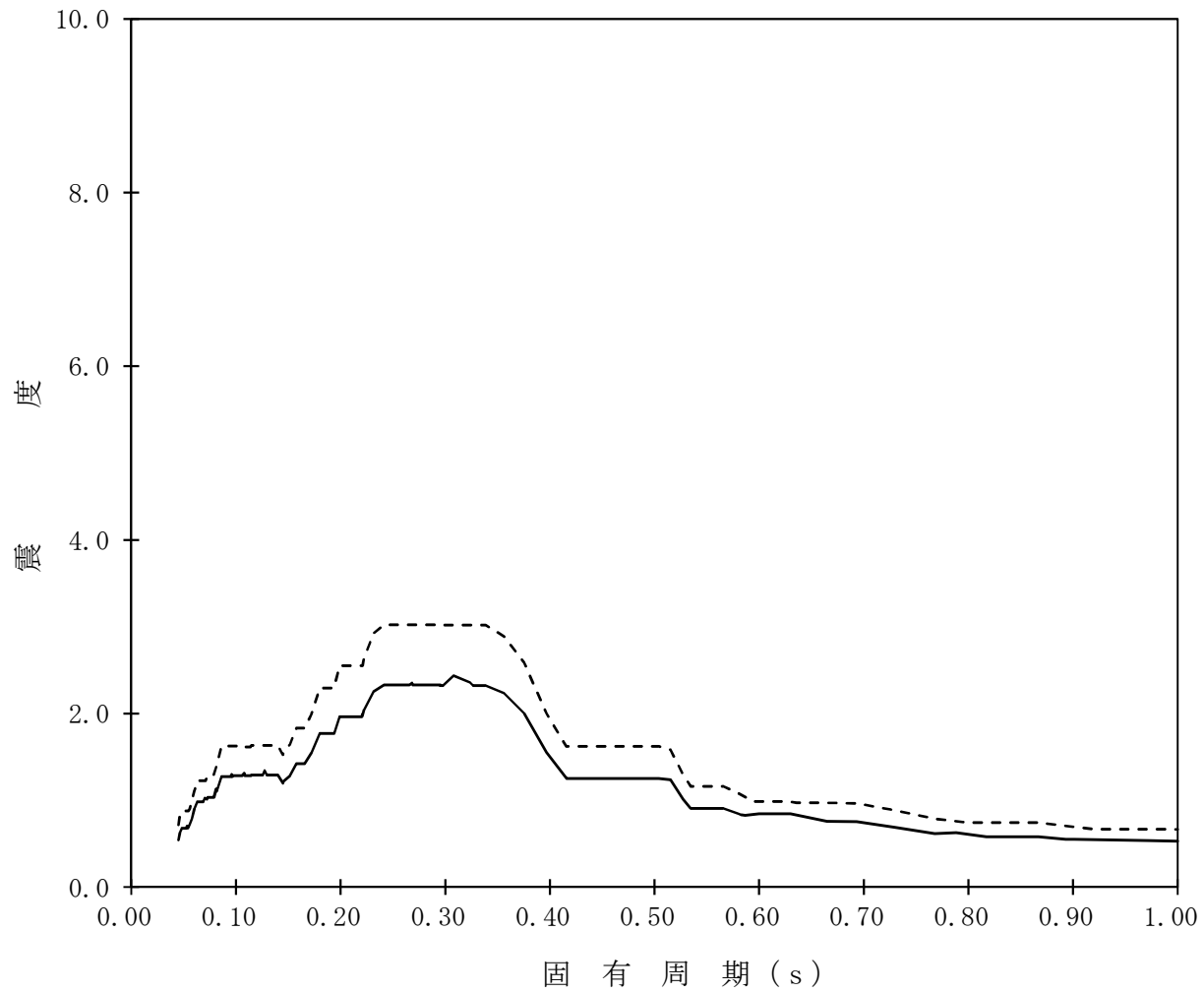
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB22】

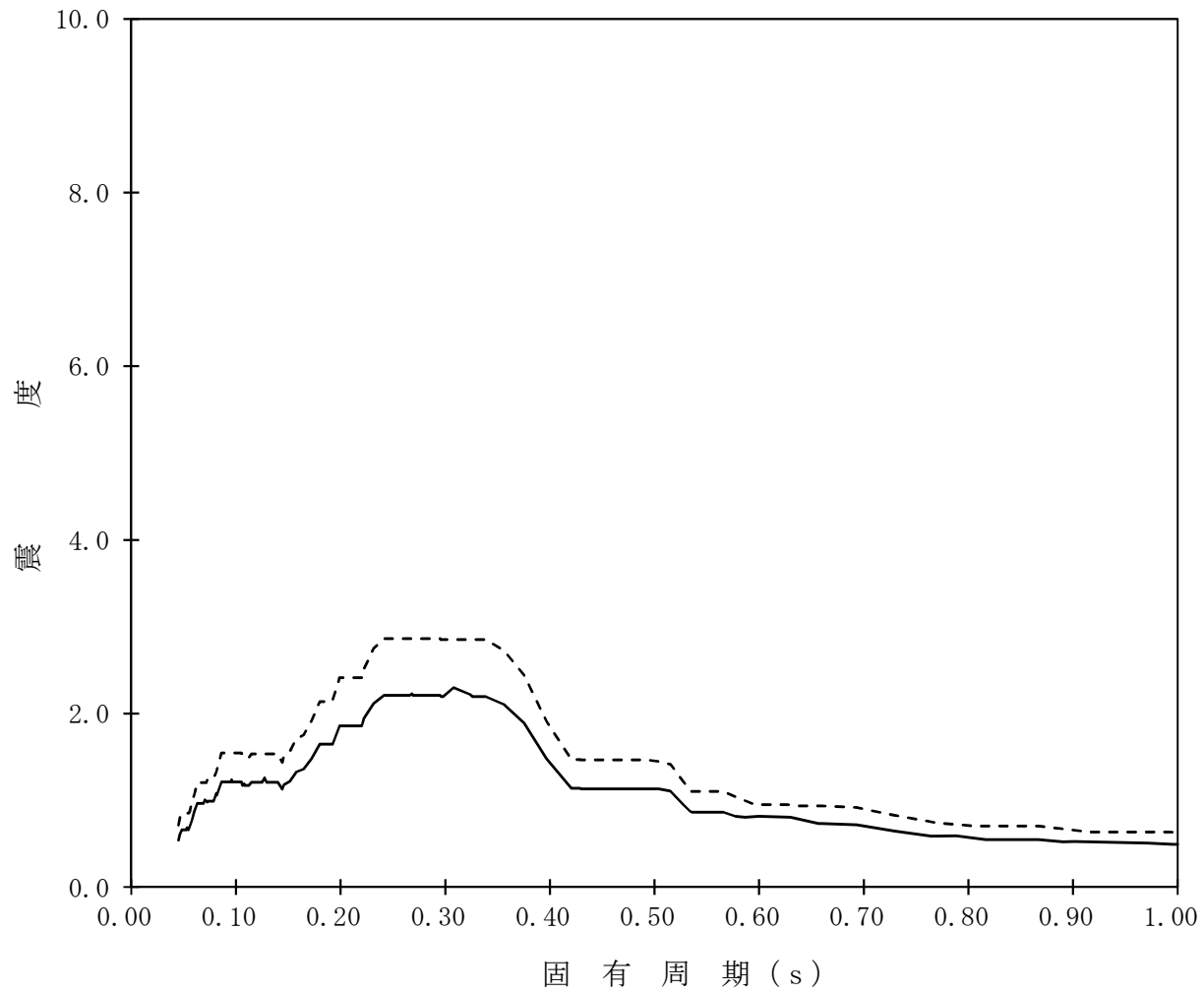
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB23】

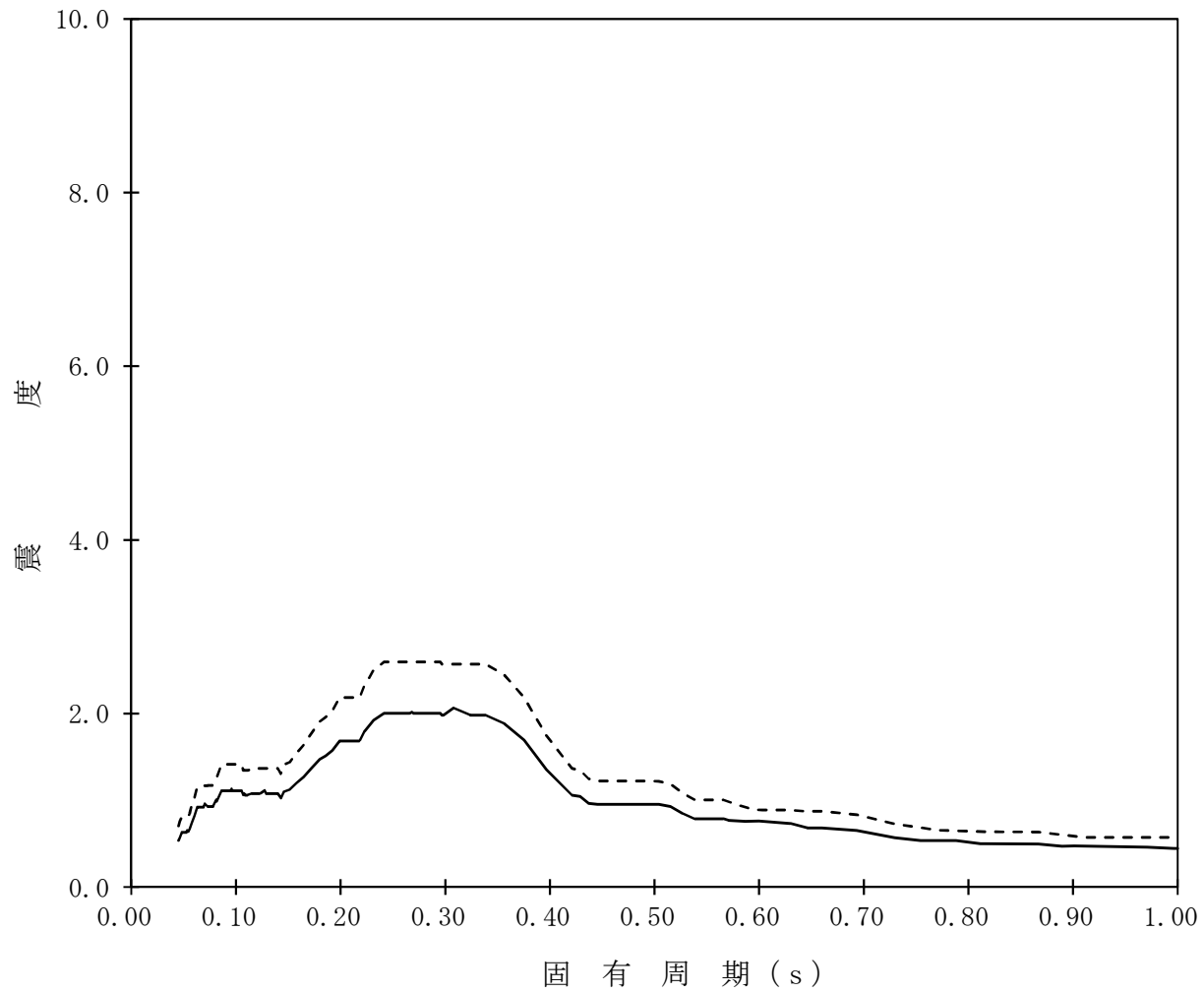
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB24】

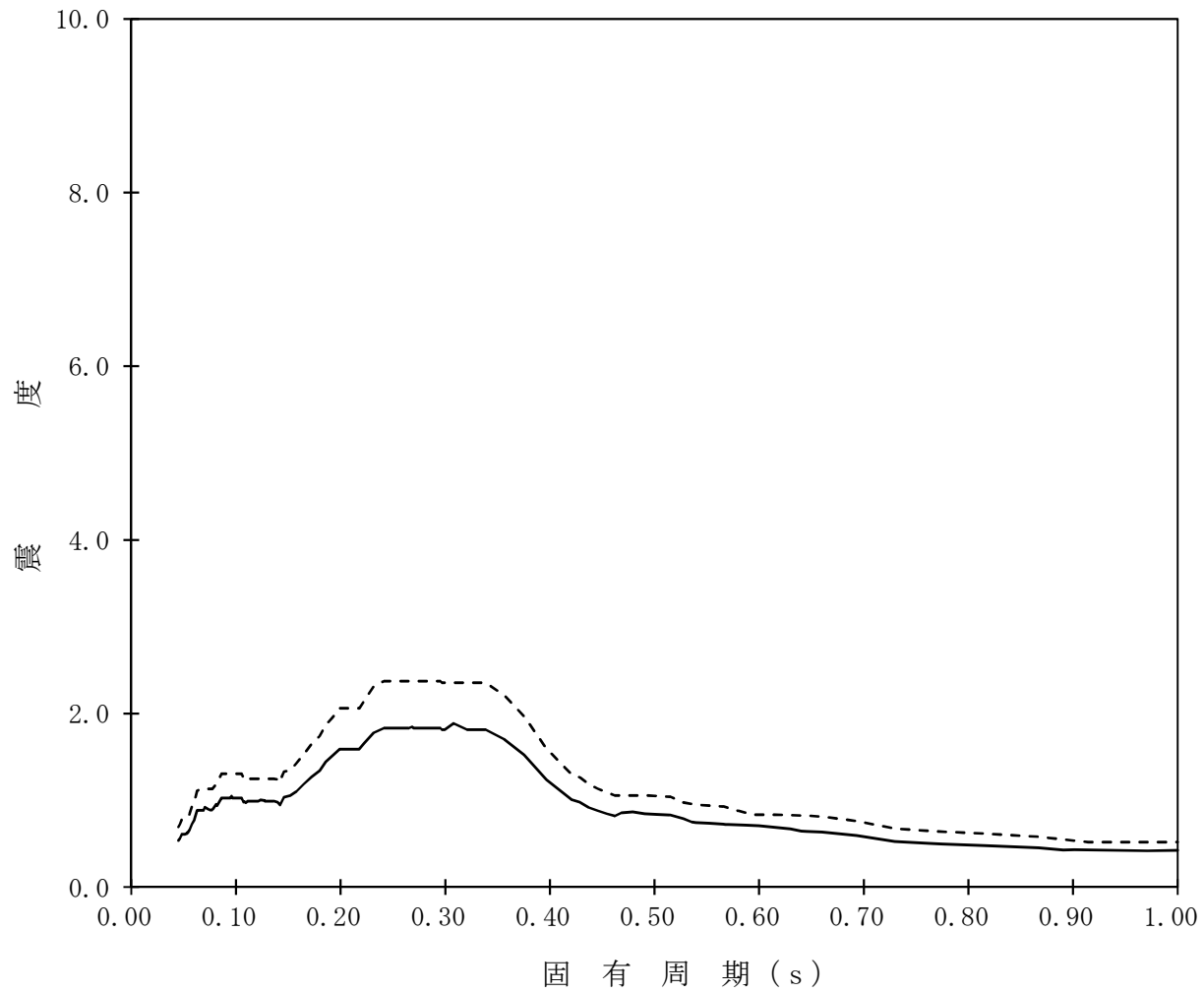
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB25】

構造物名：原子炉建屋

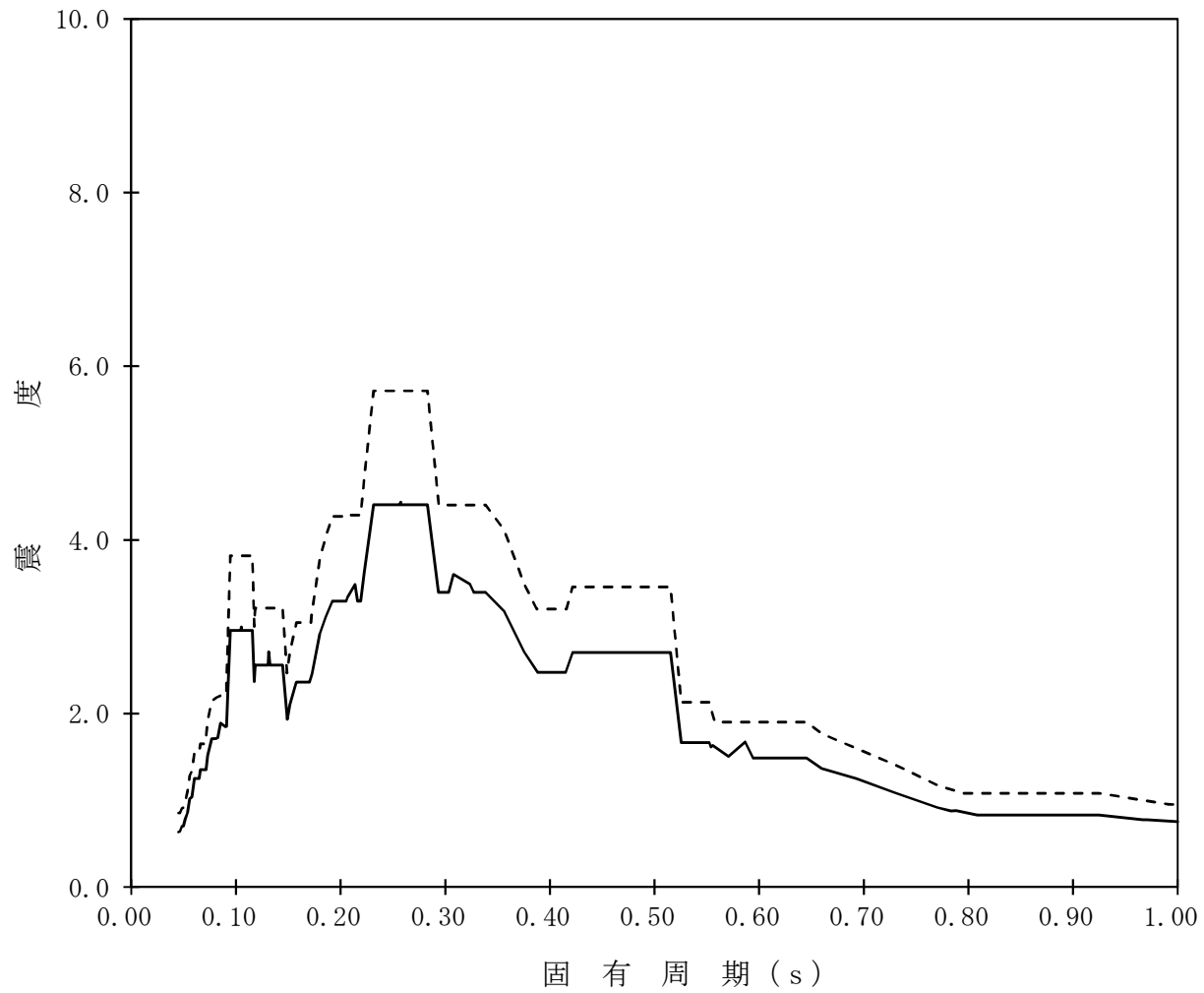
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：0. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB26】

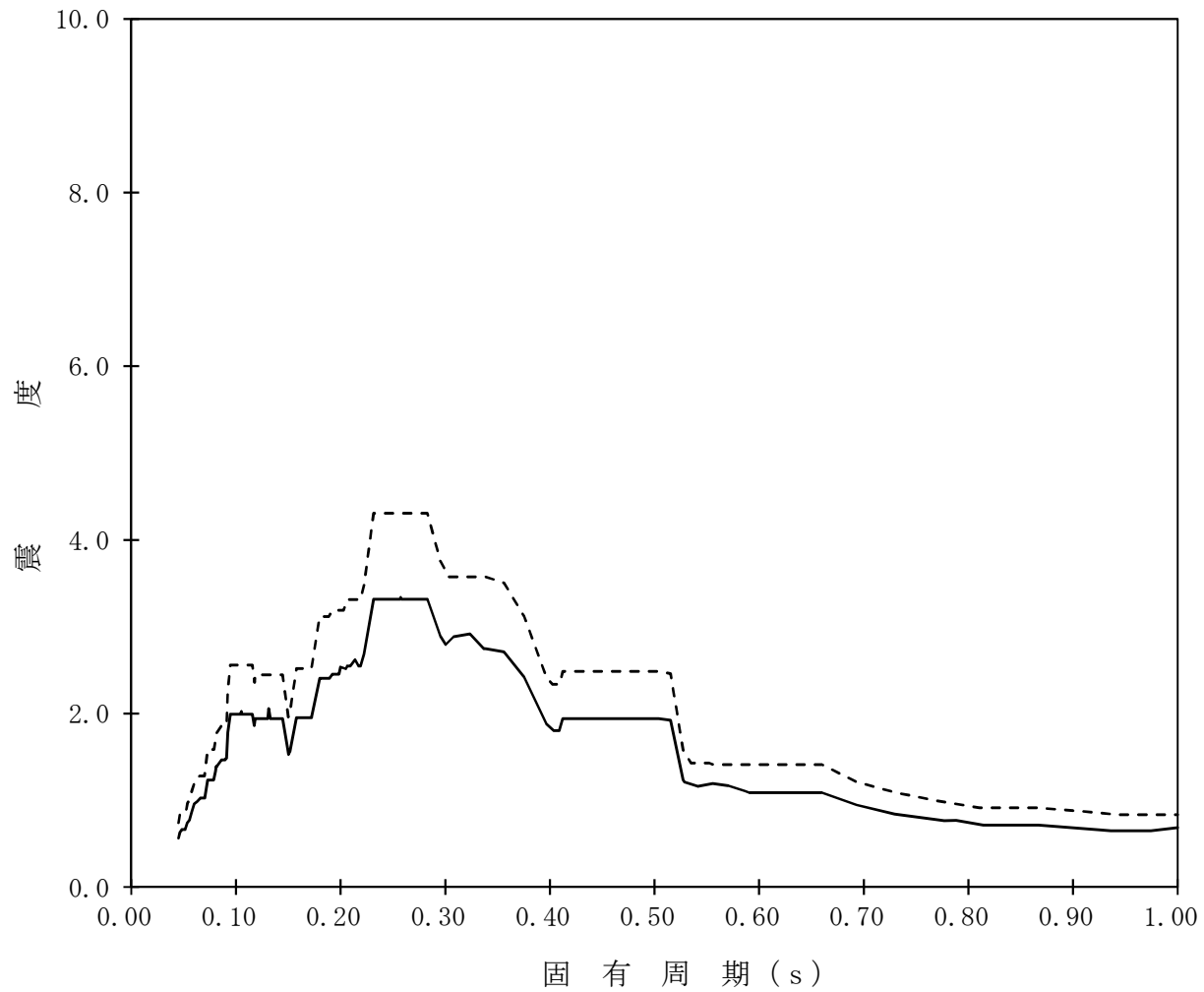
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB27】

構造物名：原子炉建屋

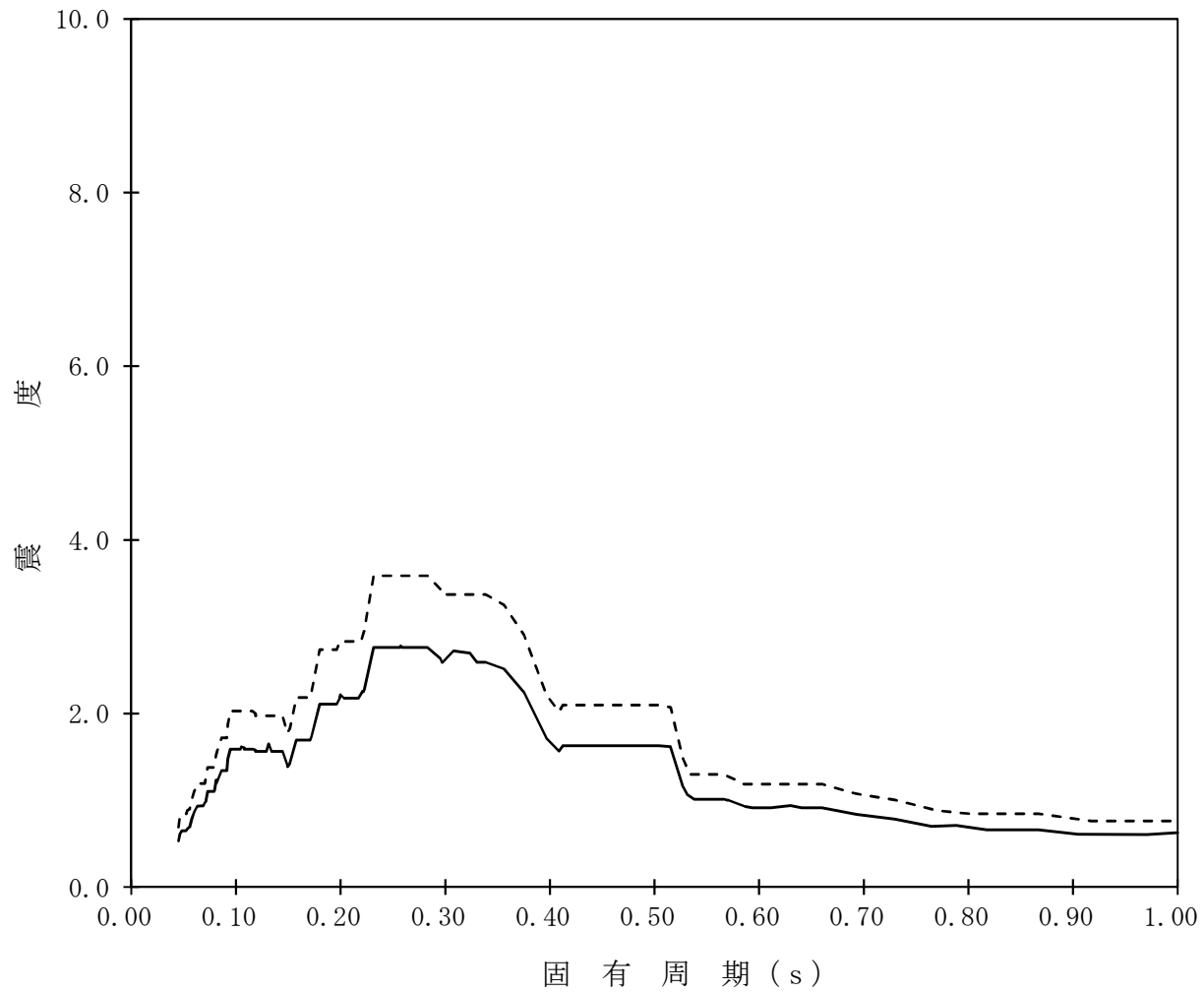
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（鉛直方向）

減衰定数：1. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（鉛直方向）



【K06-RB-SdV-RB28】

構造物名：原子炉建屋

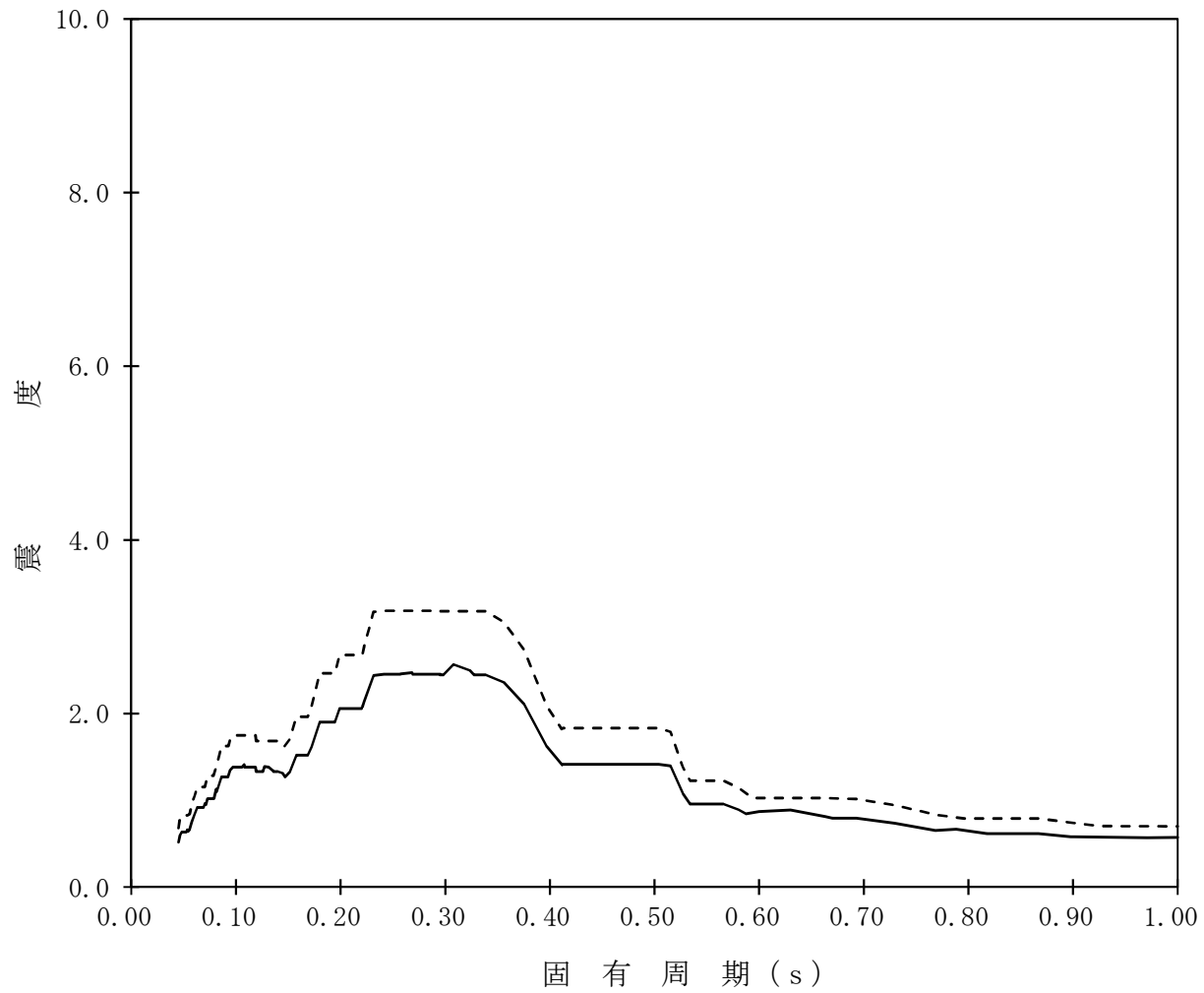
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（鉛直方向）

減衰定数：2. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（鉛直方向）



【K06-RB-SdV-RB29】

構造物名：原子炉建屋

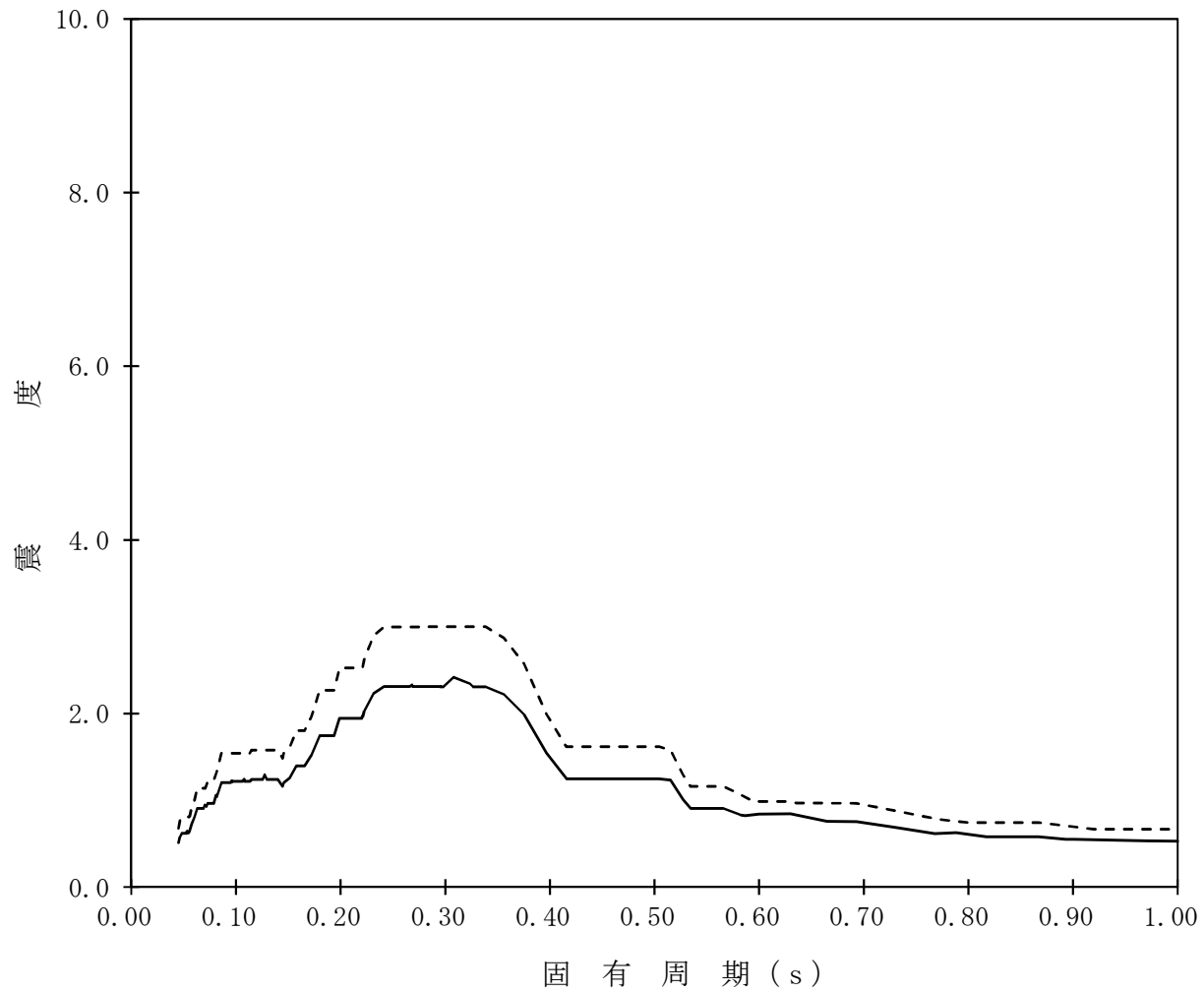
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB30】

構造物名：原子炉建屋

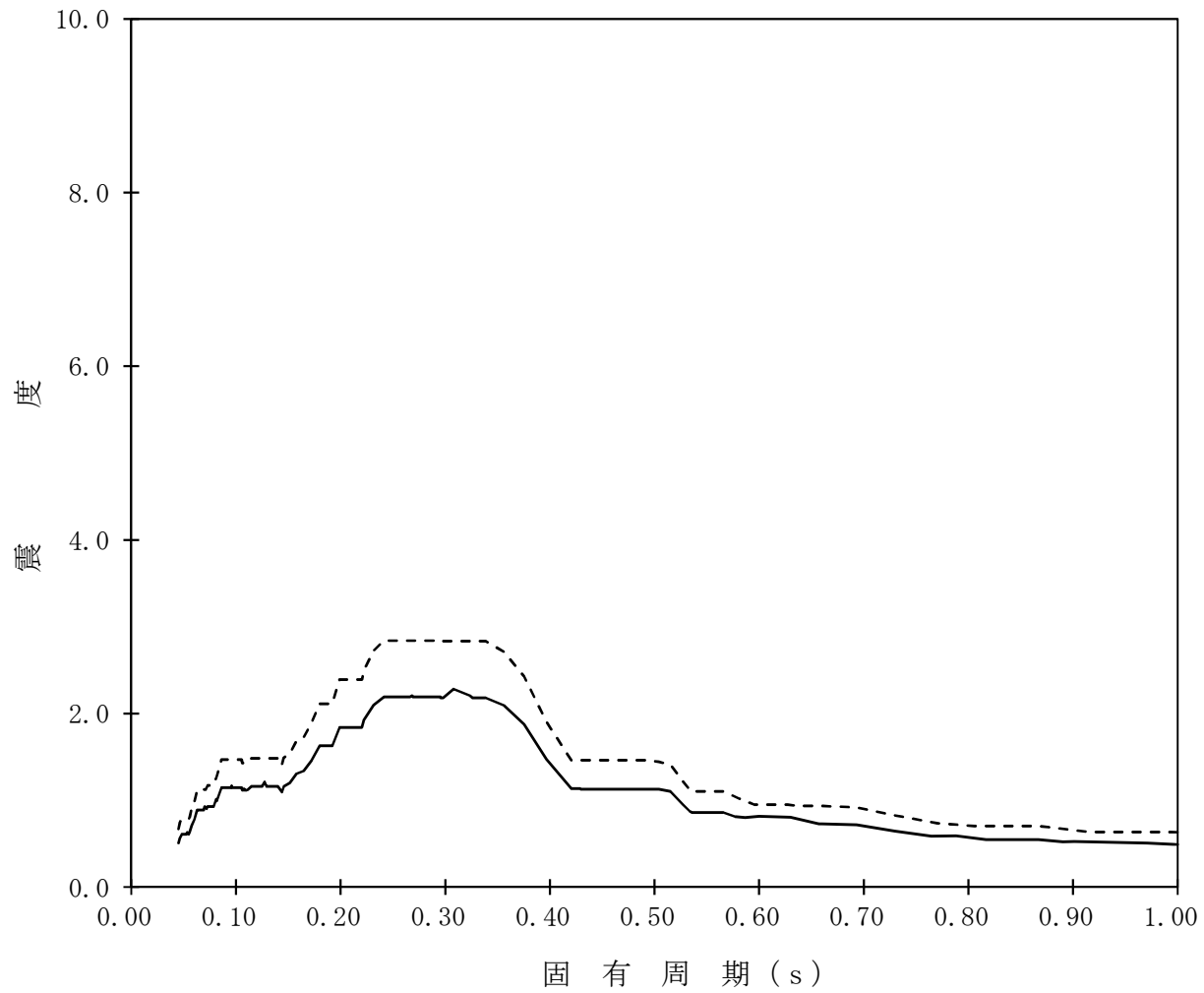
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：3. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB31】

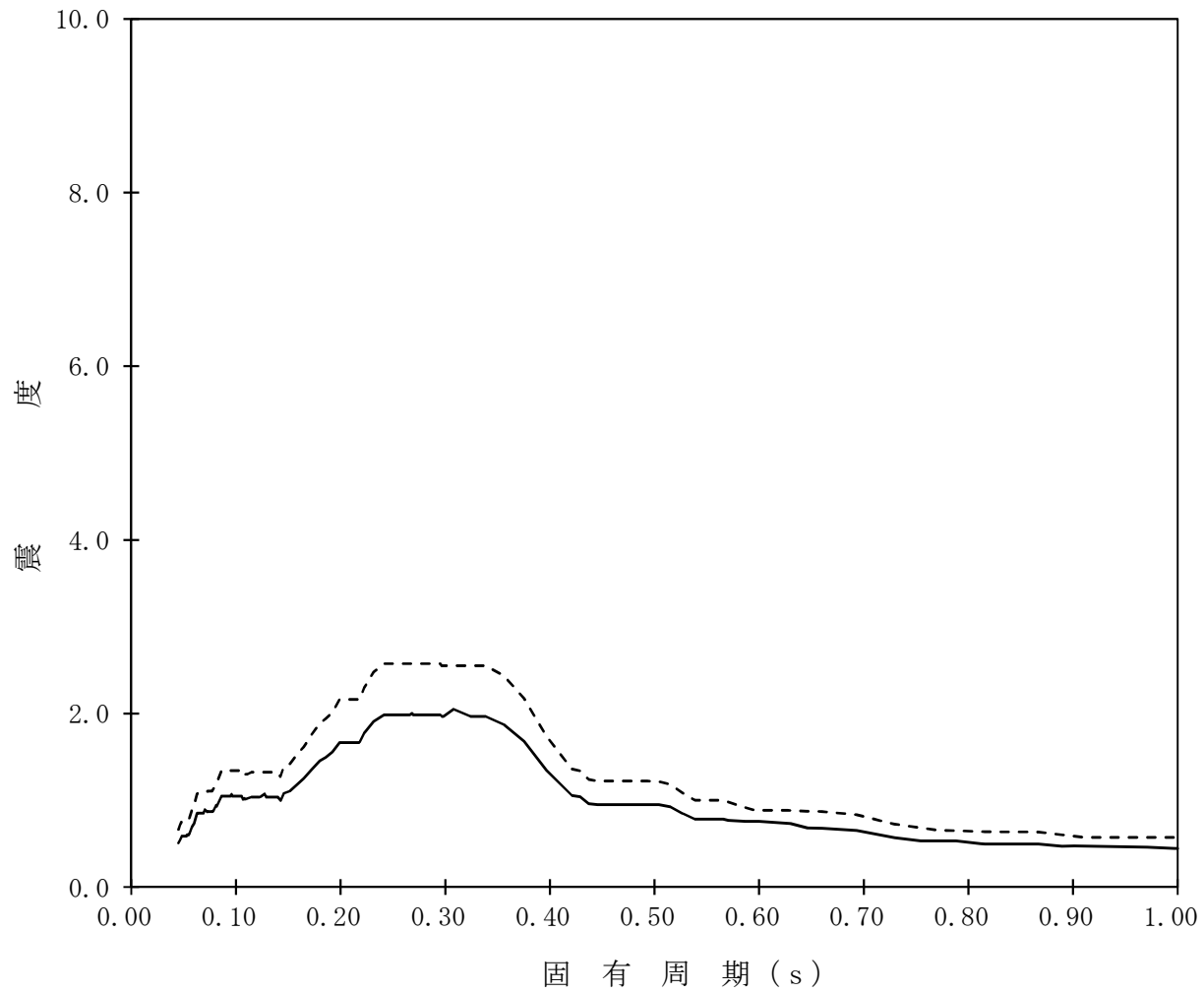
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB32】

構造物名：原子炉建屋

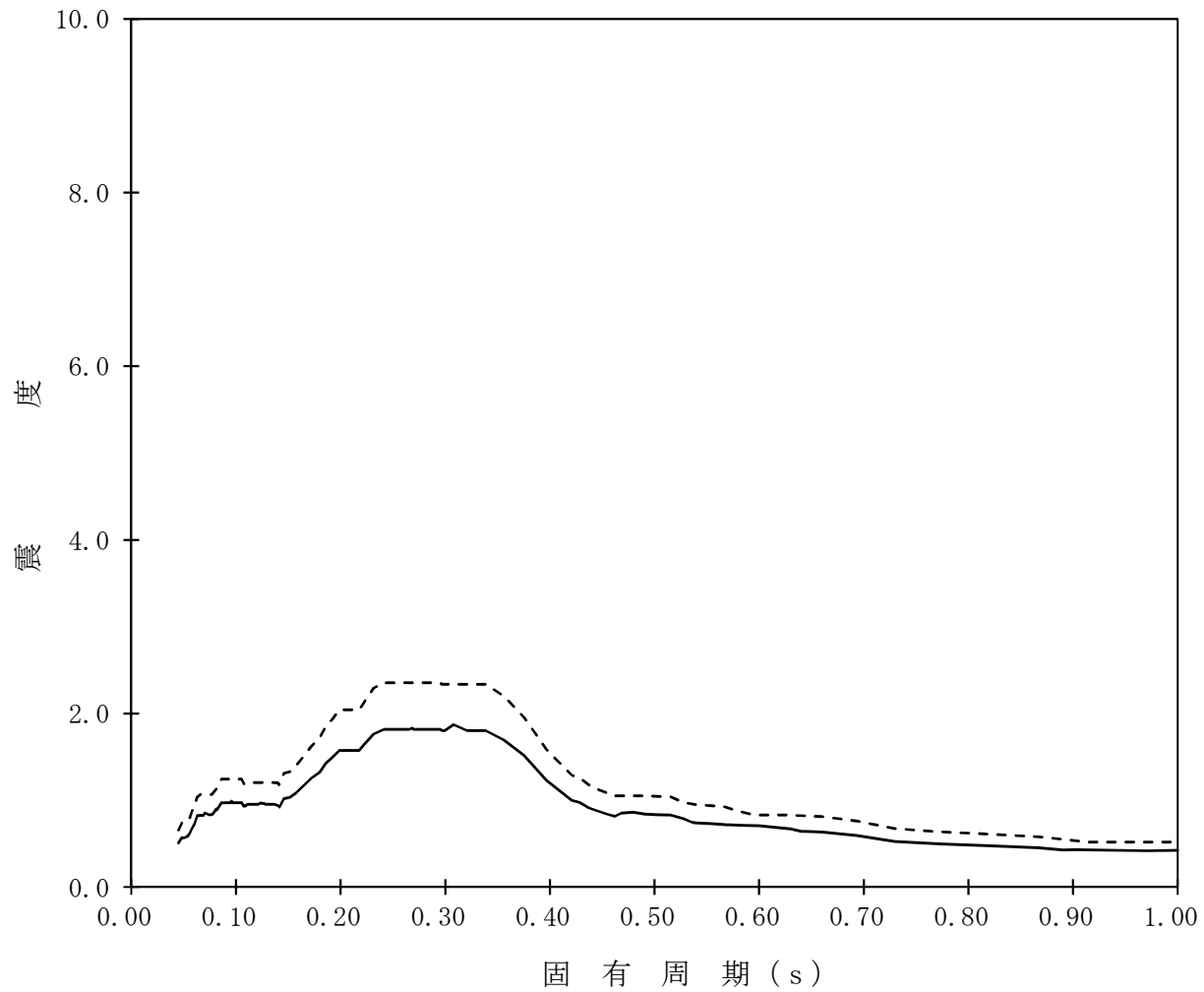
標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：5. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB33】

構造物名：原子炉建屋

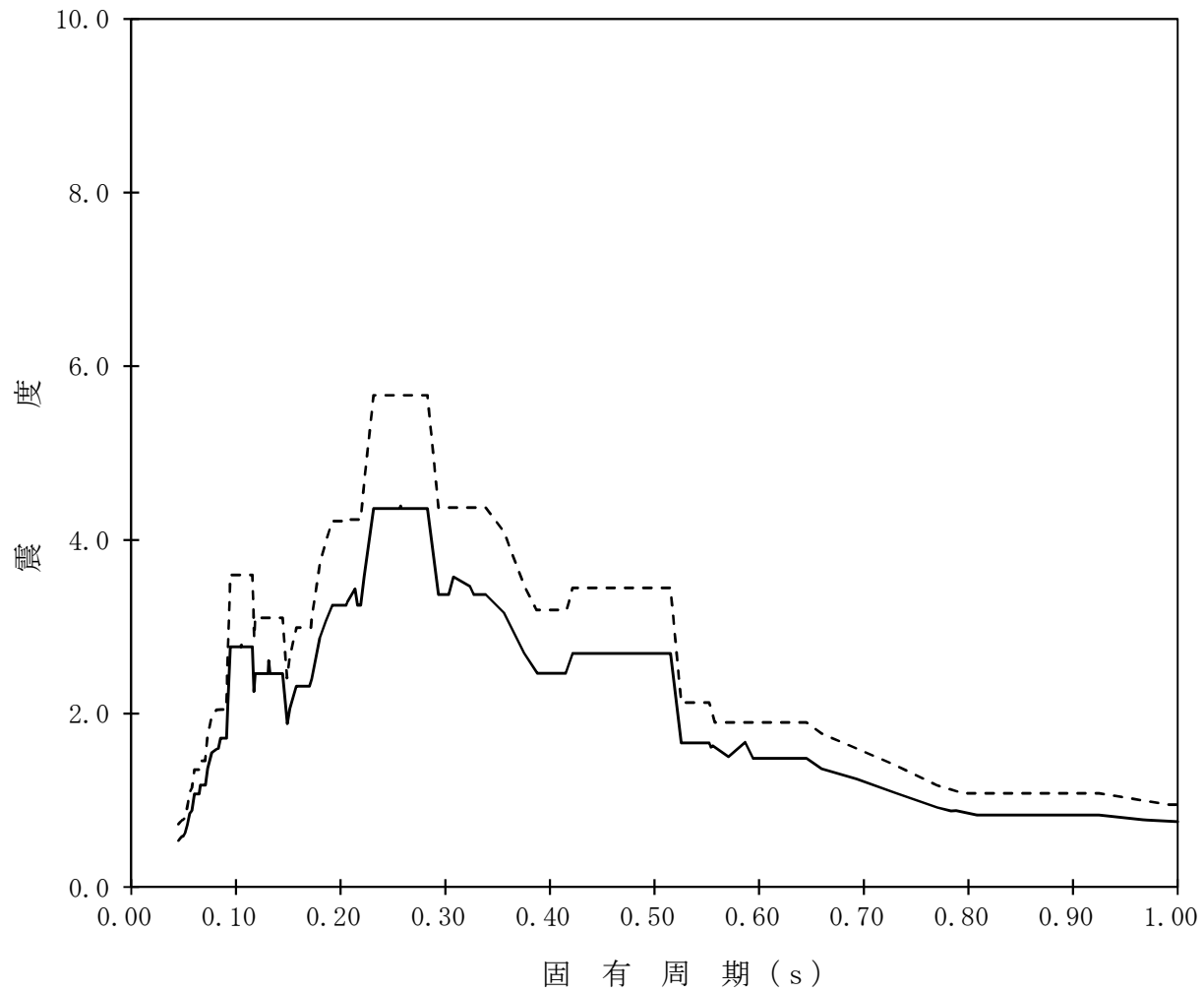
標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：0. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB34】

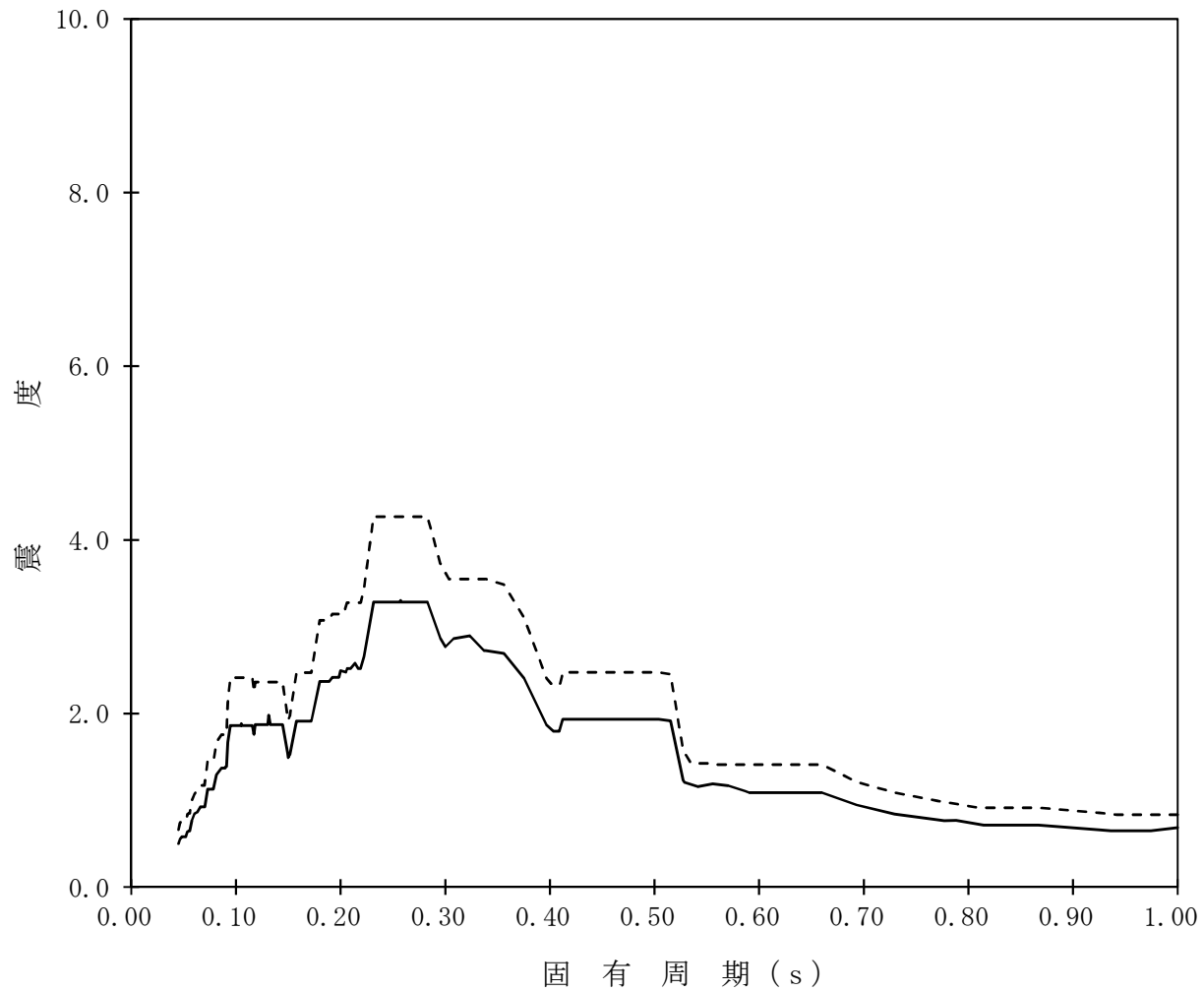
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB35】

構造物名：原子炉建屋

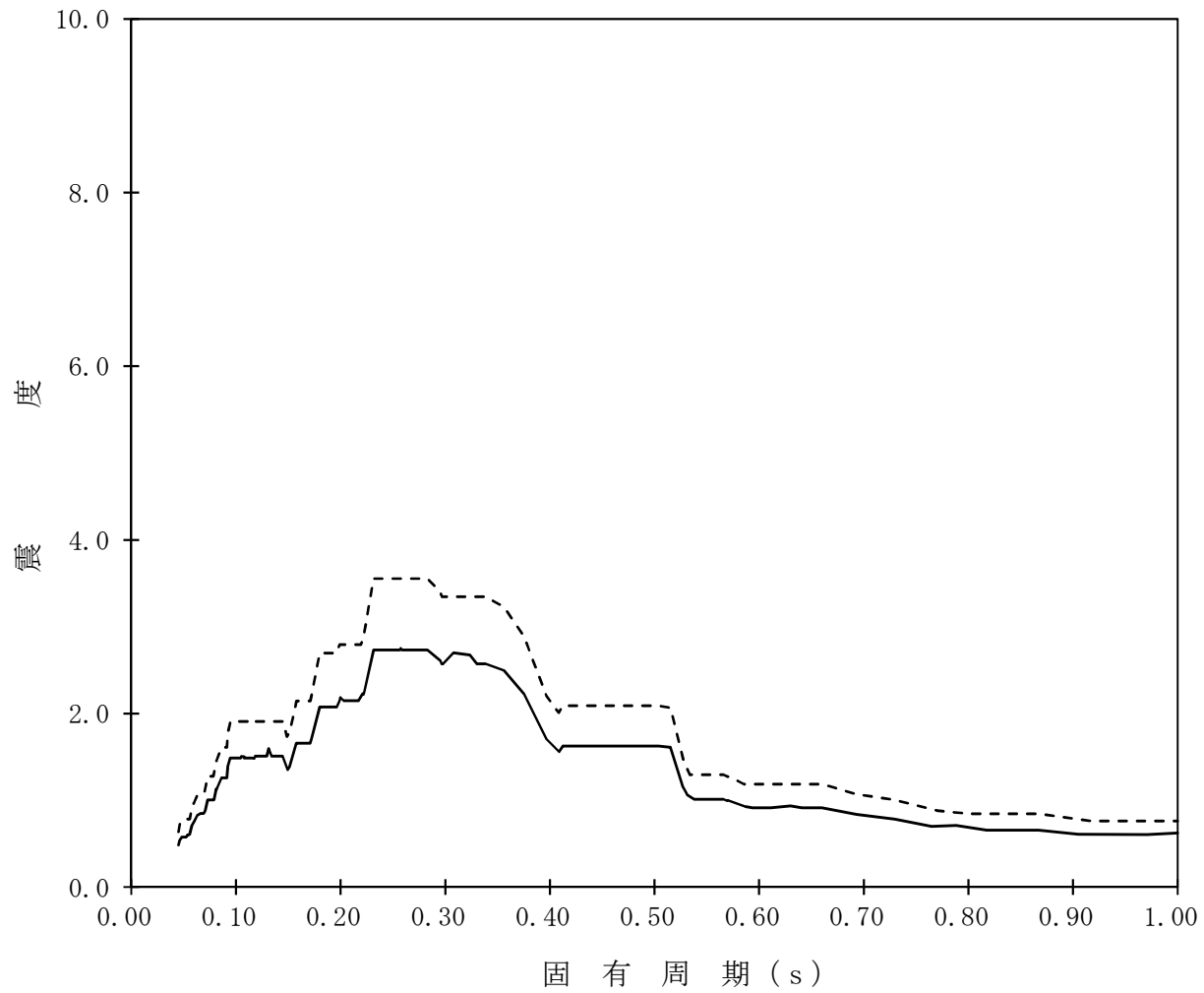
標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：1. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB36】

構造物名：原子炉建屋

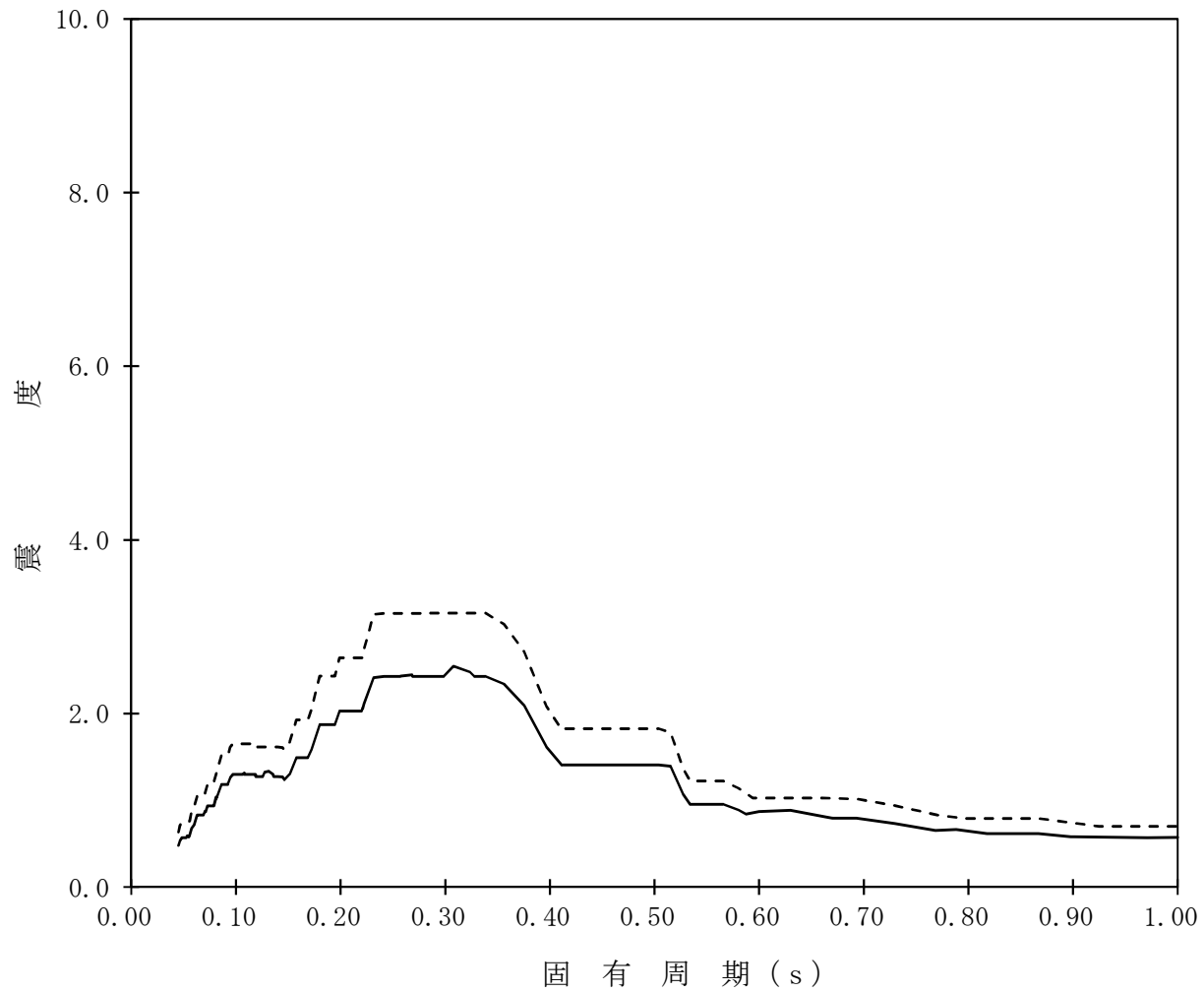
標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：2.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB37】

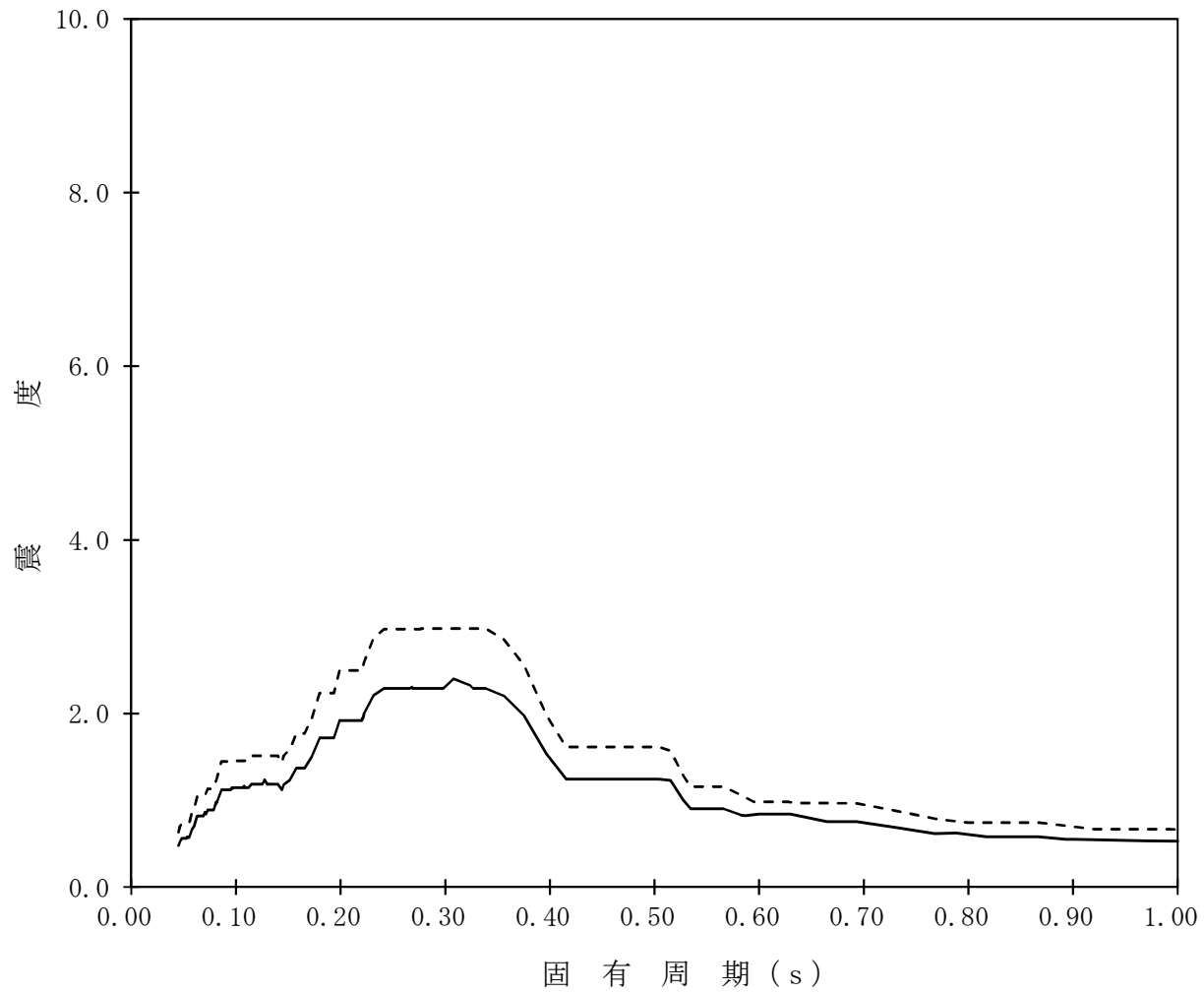
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB38】

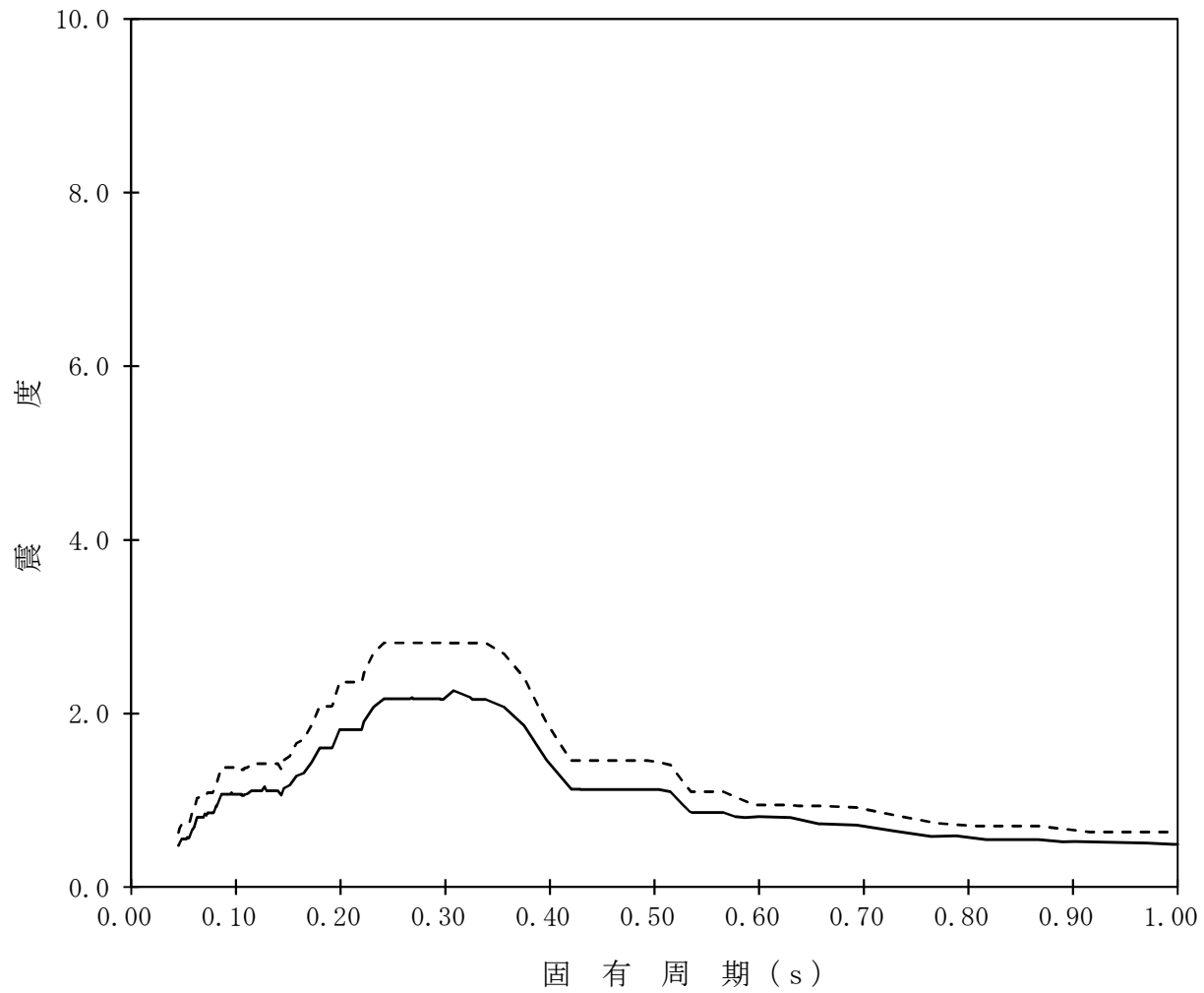
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB39】

構造物名：原子炉建屋

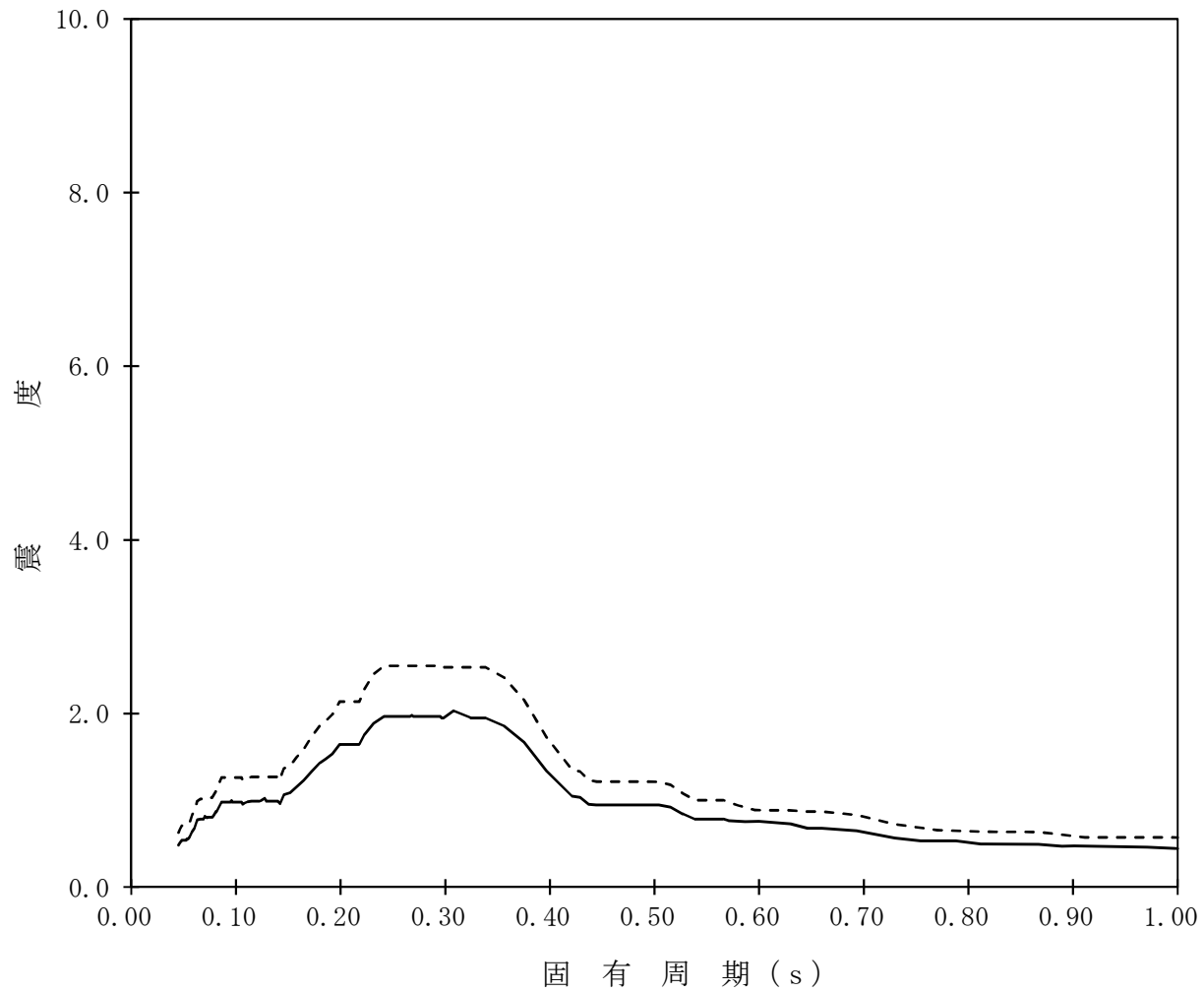
標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：4. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB40】

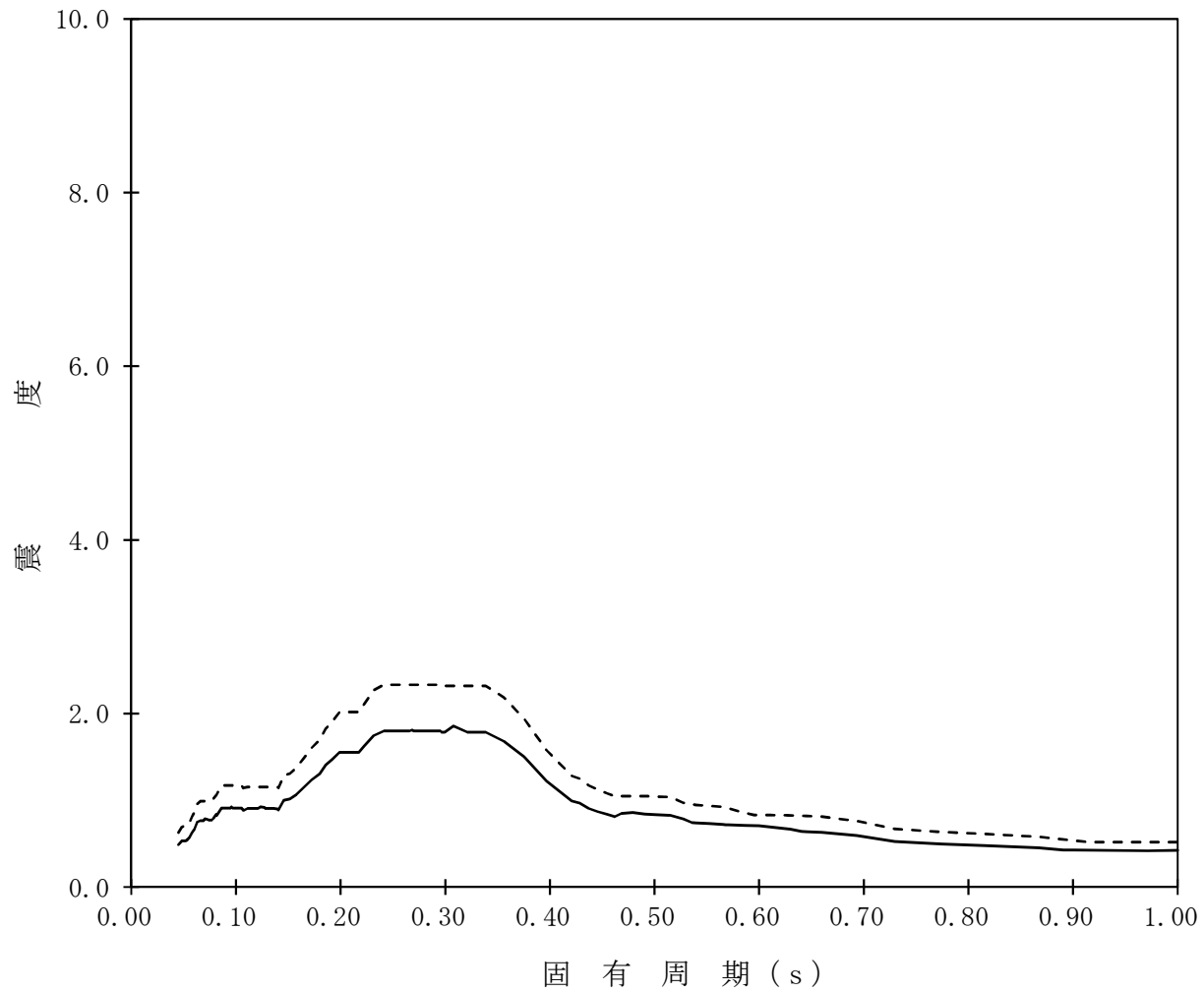
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB41】

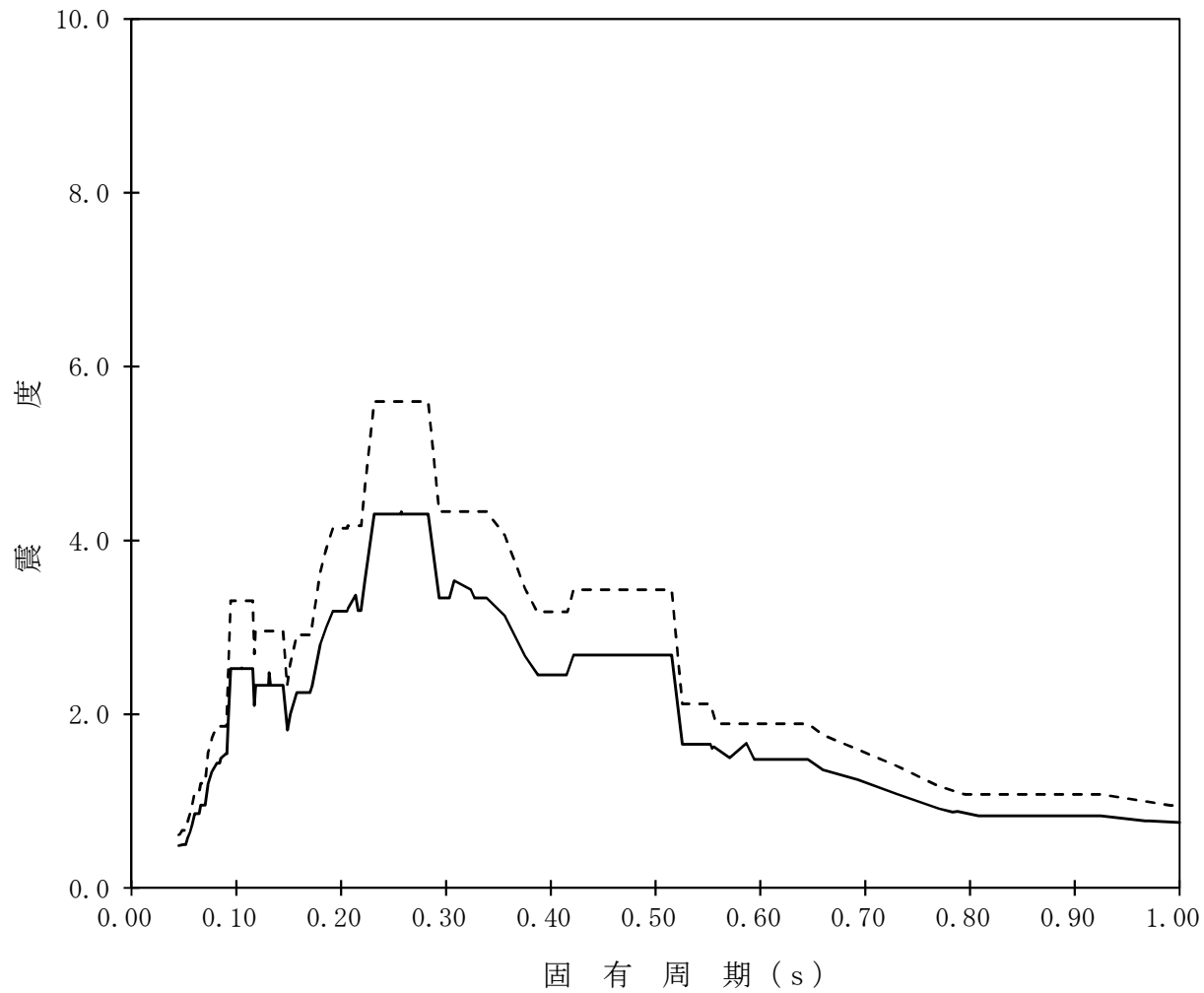
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB42】

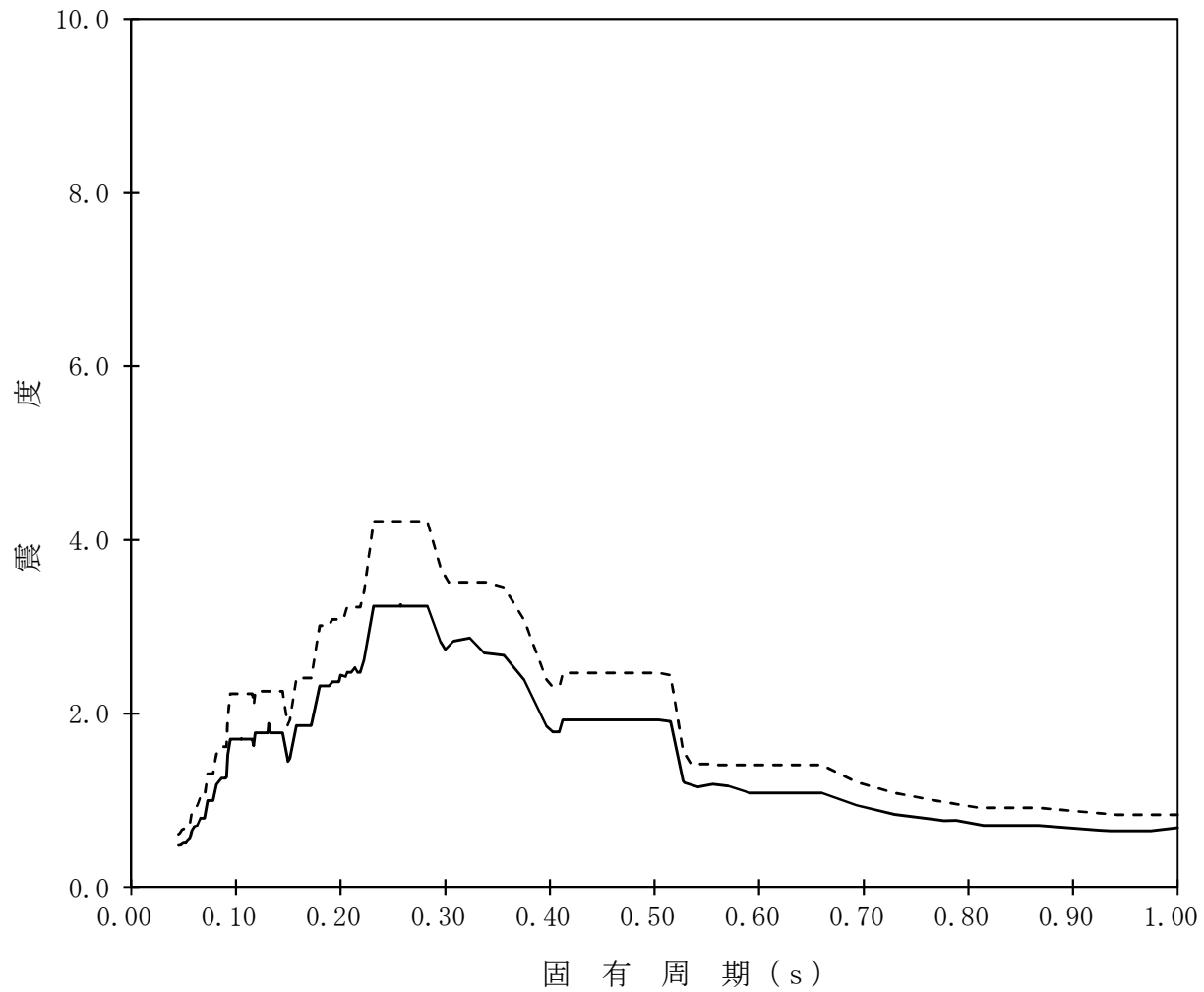
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB43】

構造物名：原子炉建屋

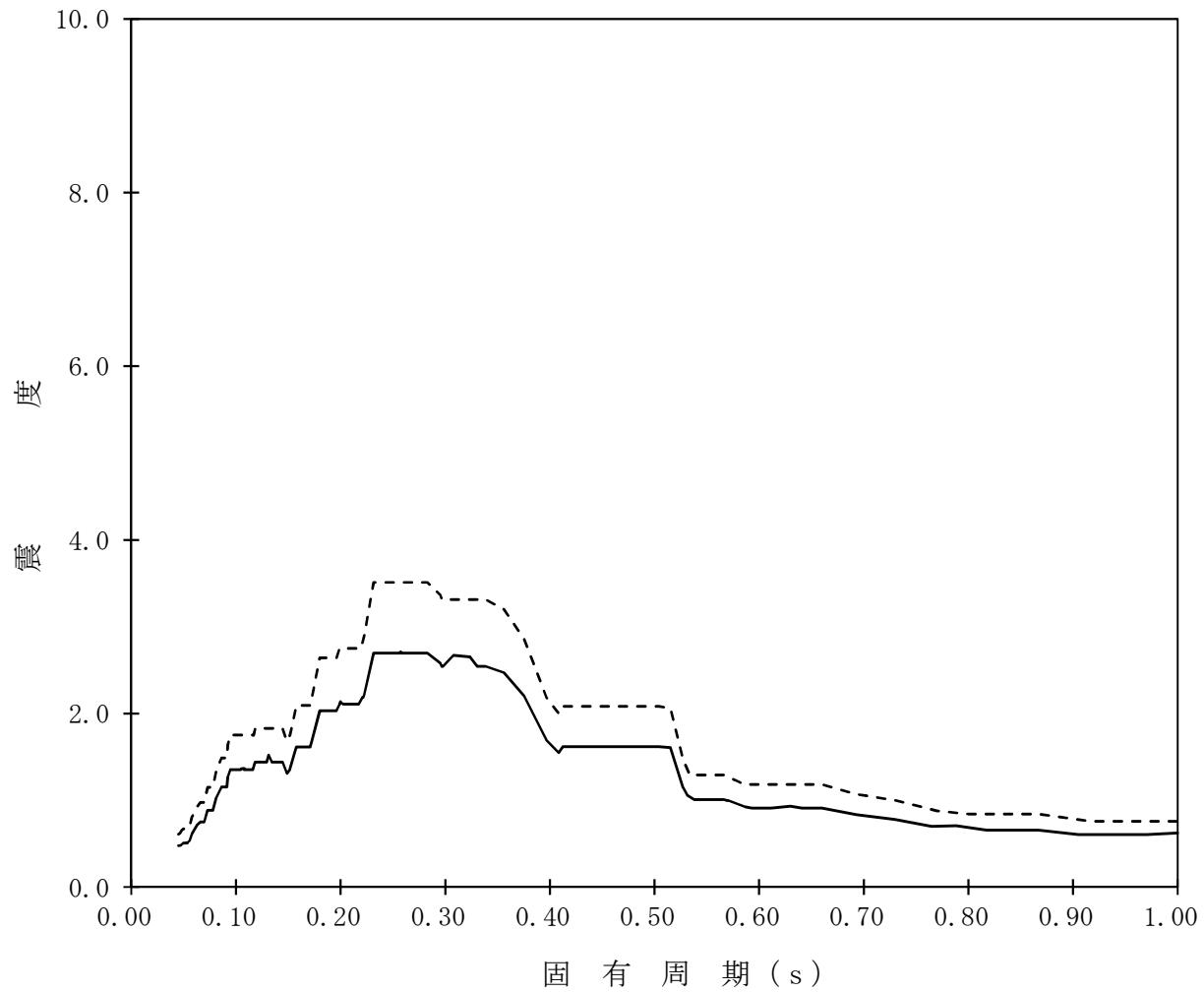
標高：T. M. S. L. 12. 300m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：1. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB44】

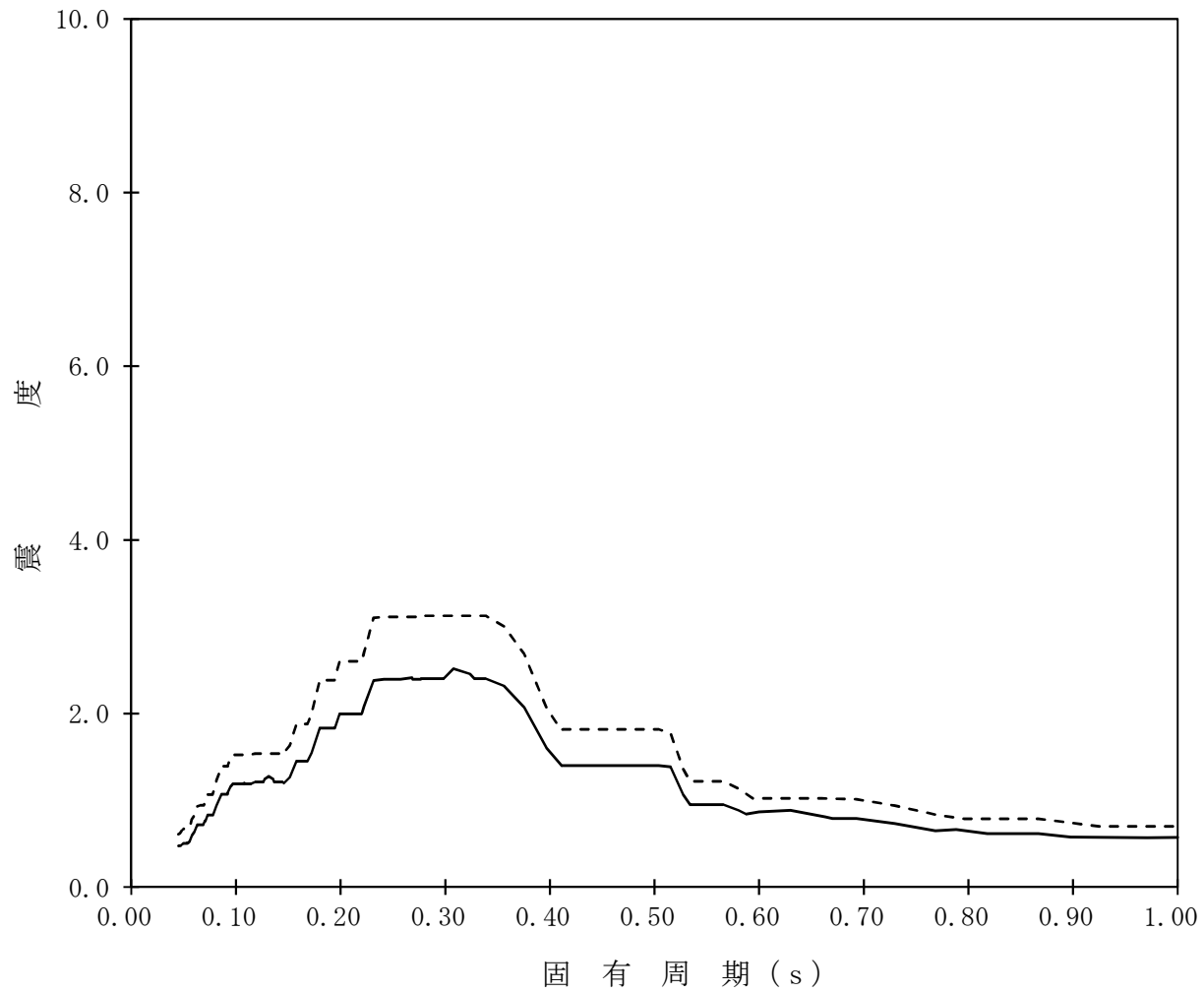
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB45】

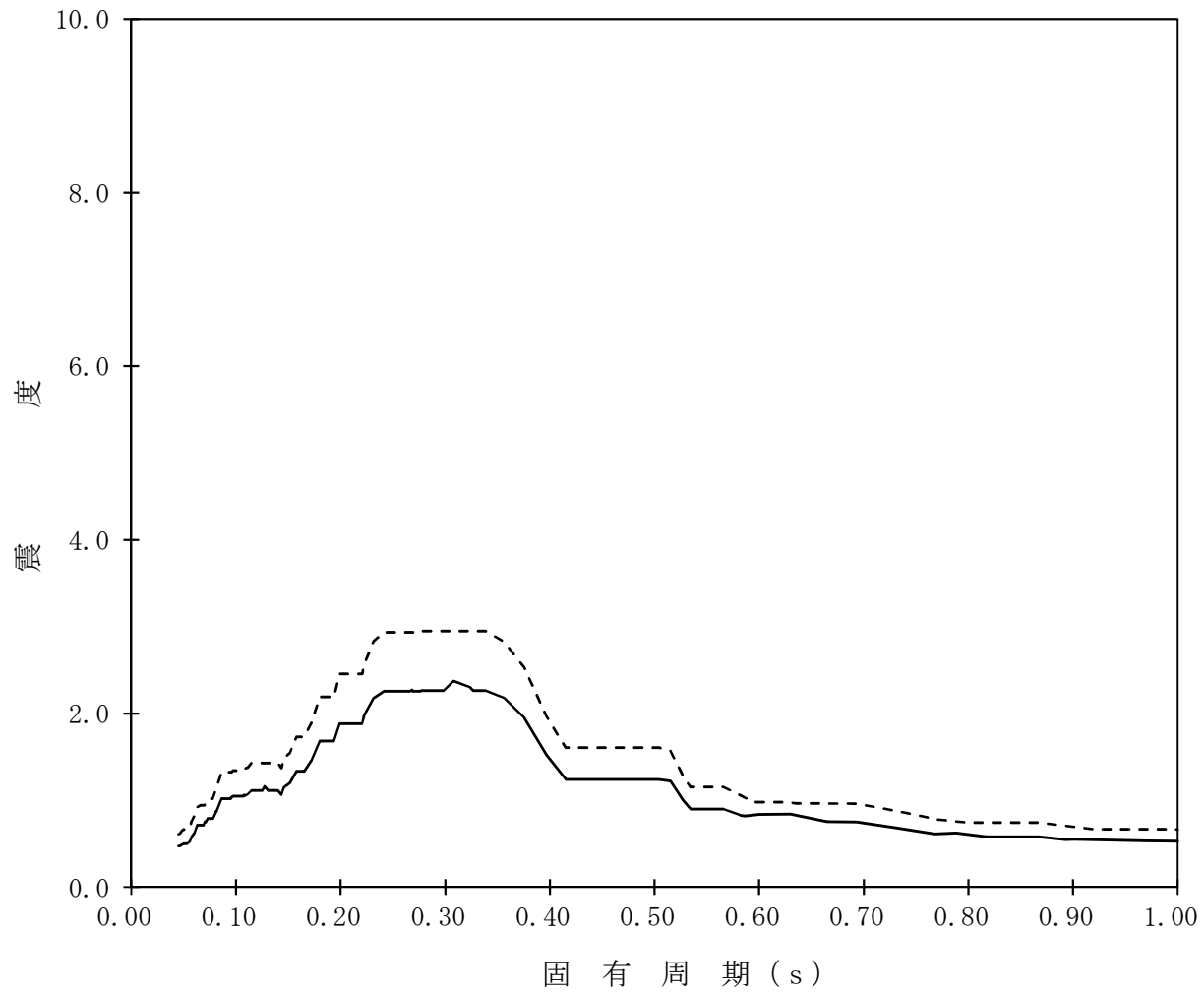
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB46】

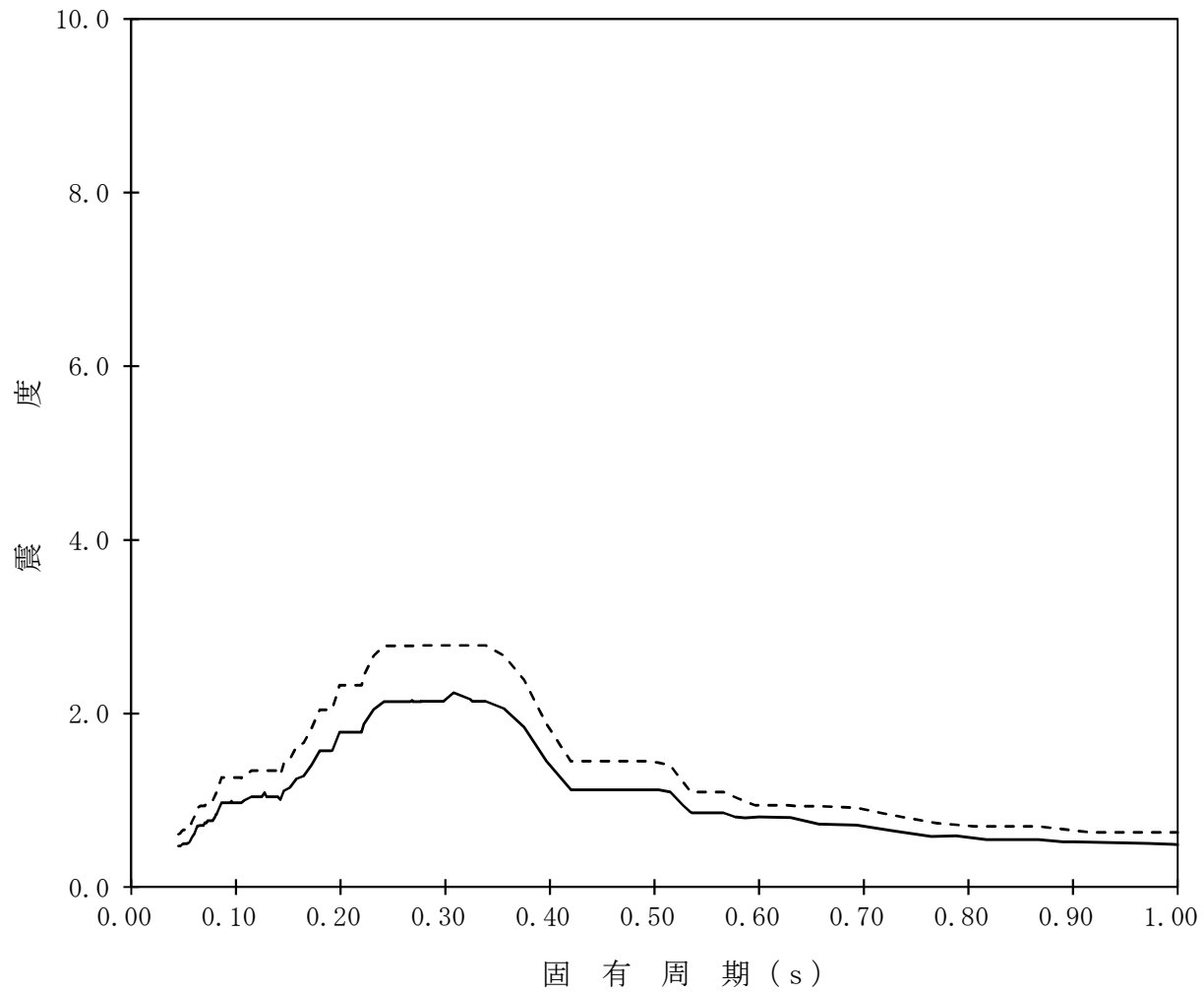
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB47】

構造物名：原子炉建屋

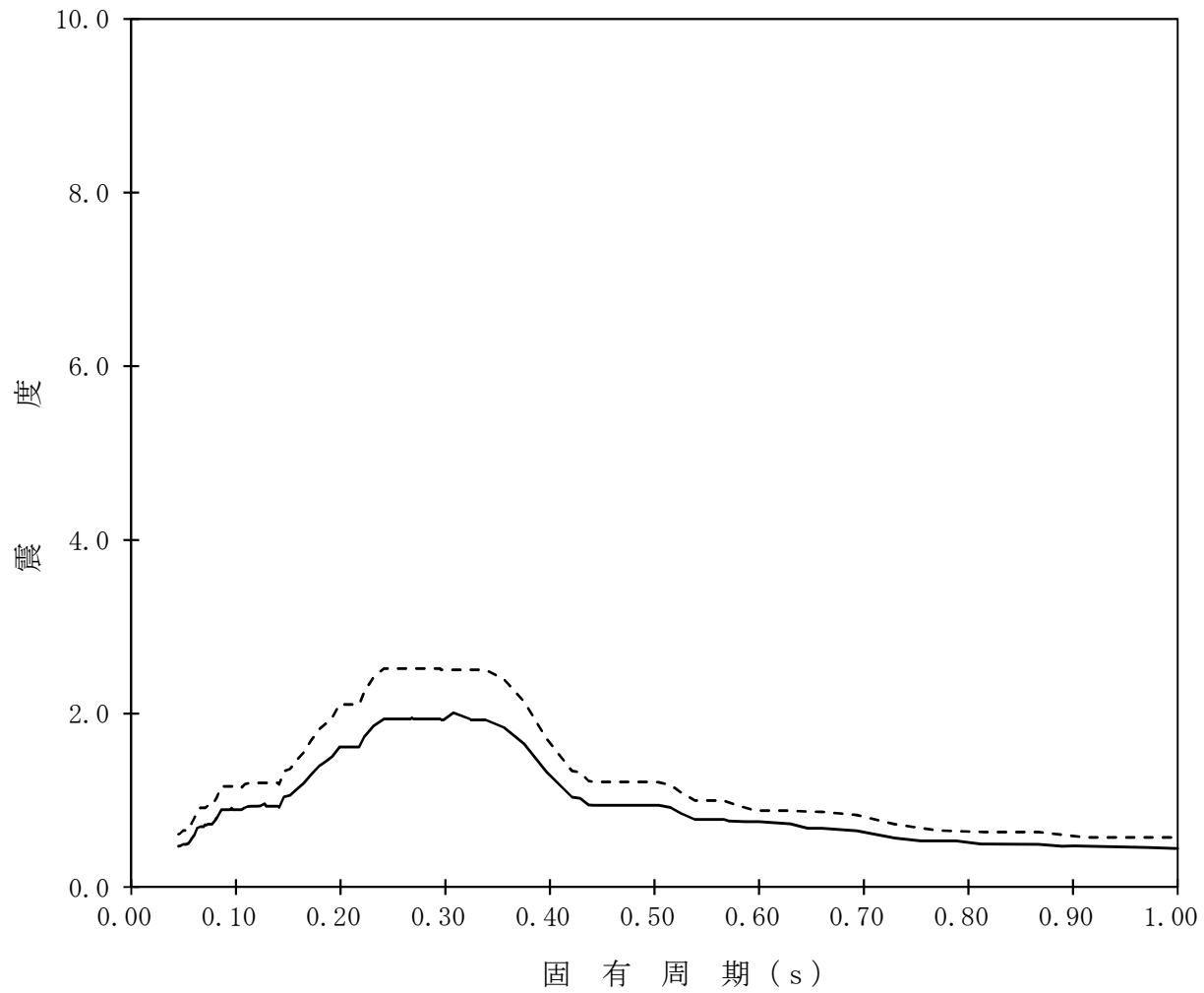
標高：T. M. S. L. 12. 300m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：4. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB48】

構造物名：原子炉建屋

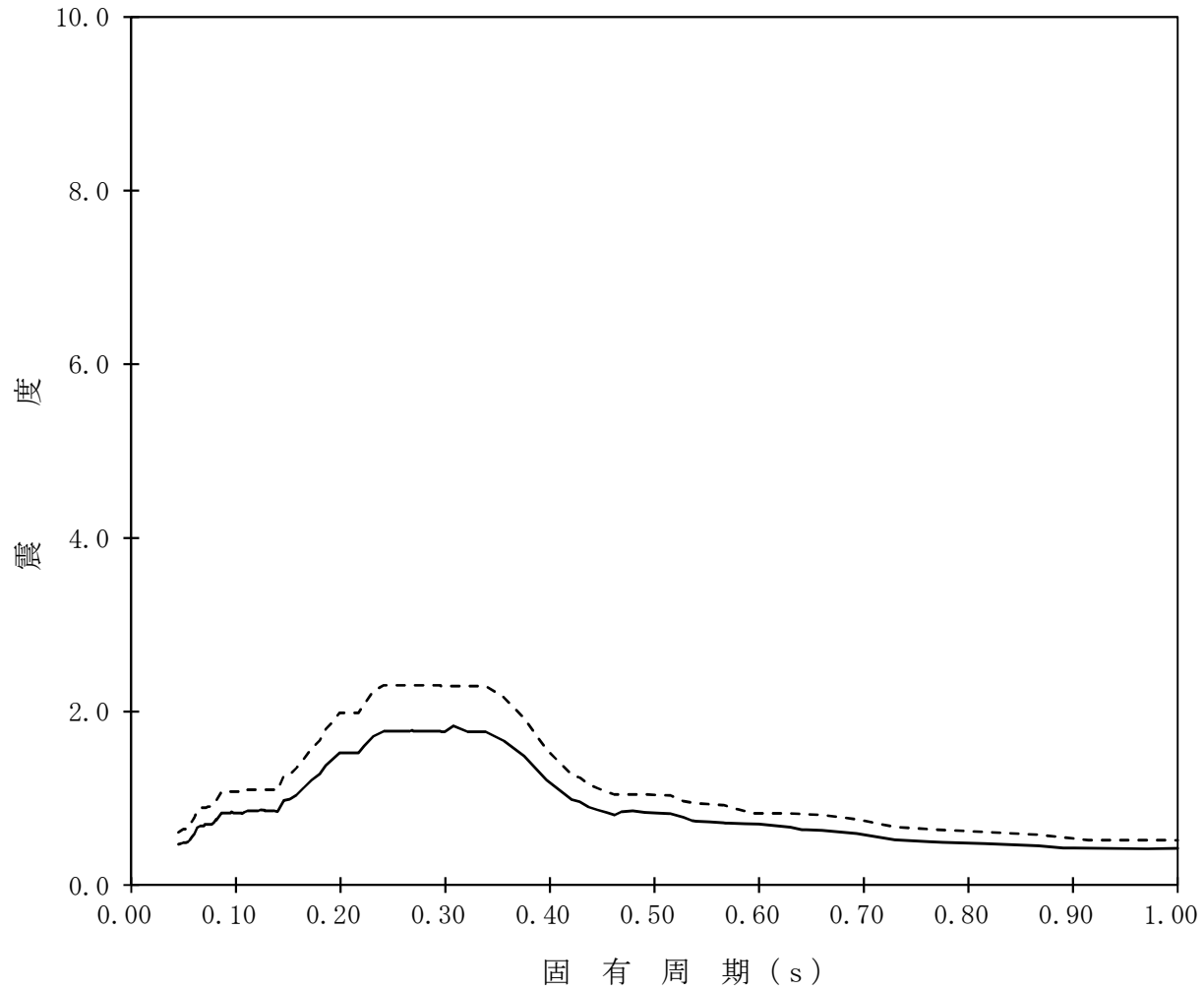
標高：T. M. S. L. 12. 300m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：5. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB49】

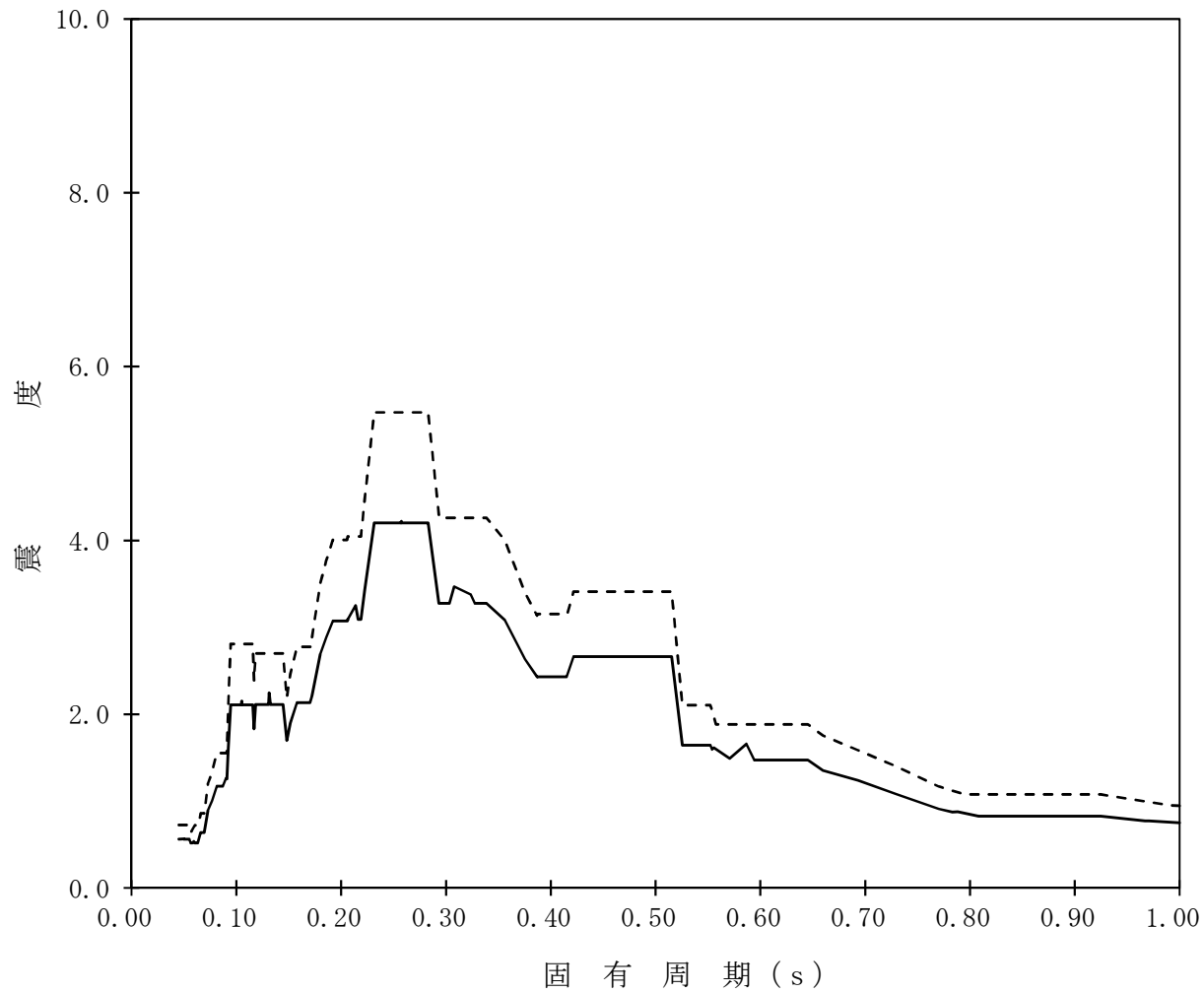
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB50】

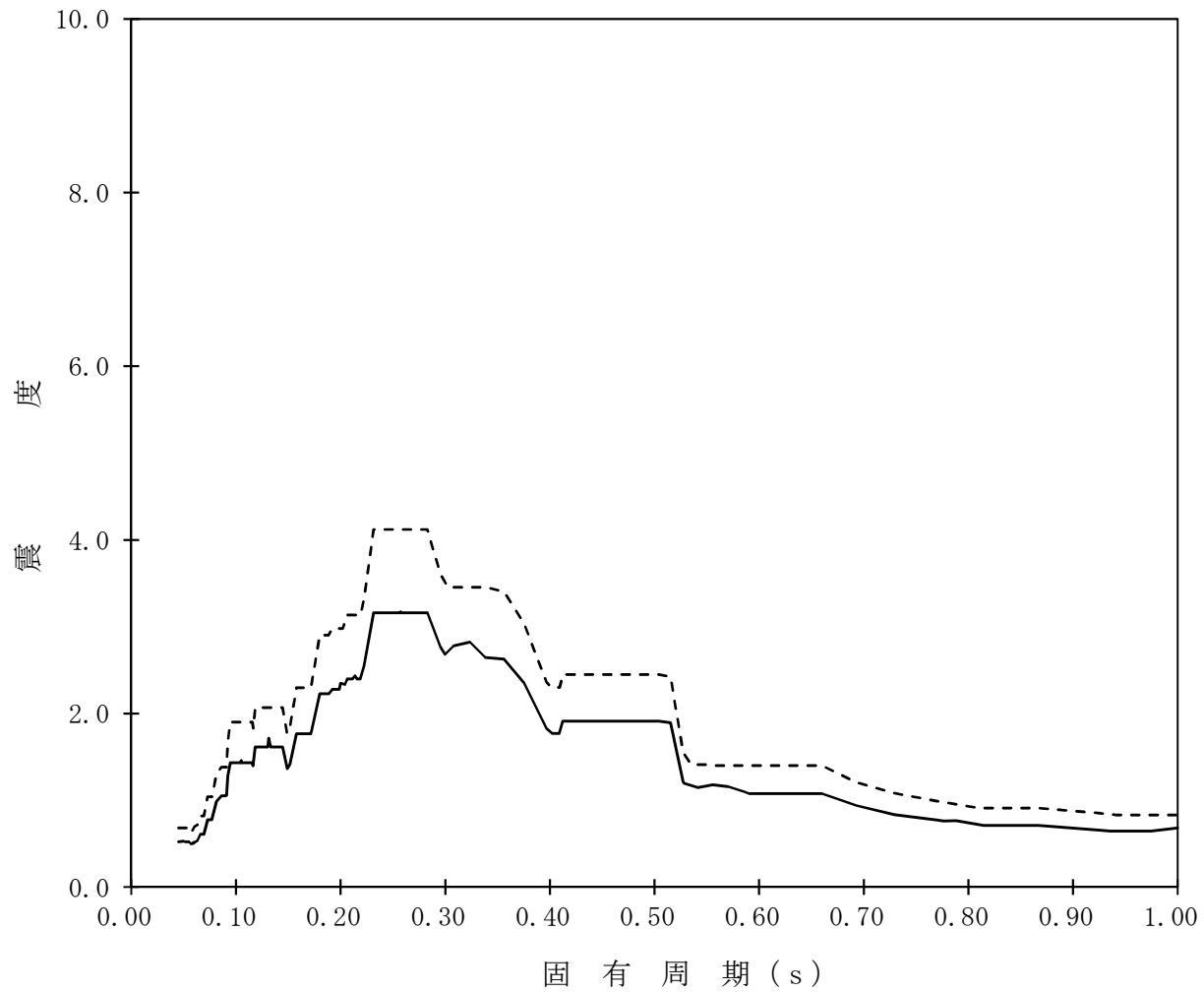
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

波形名：彈性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB51】

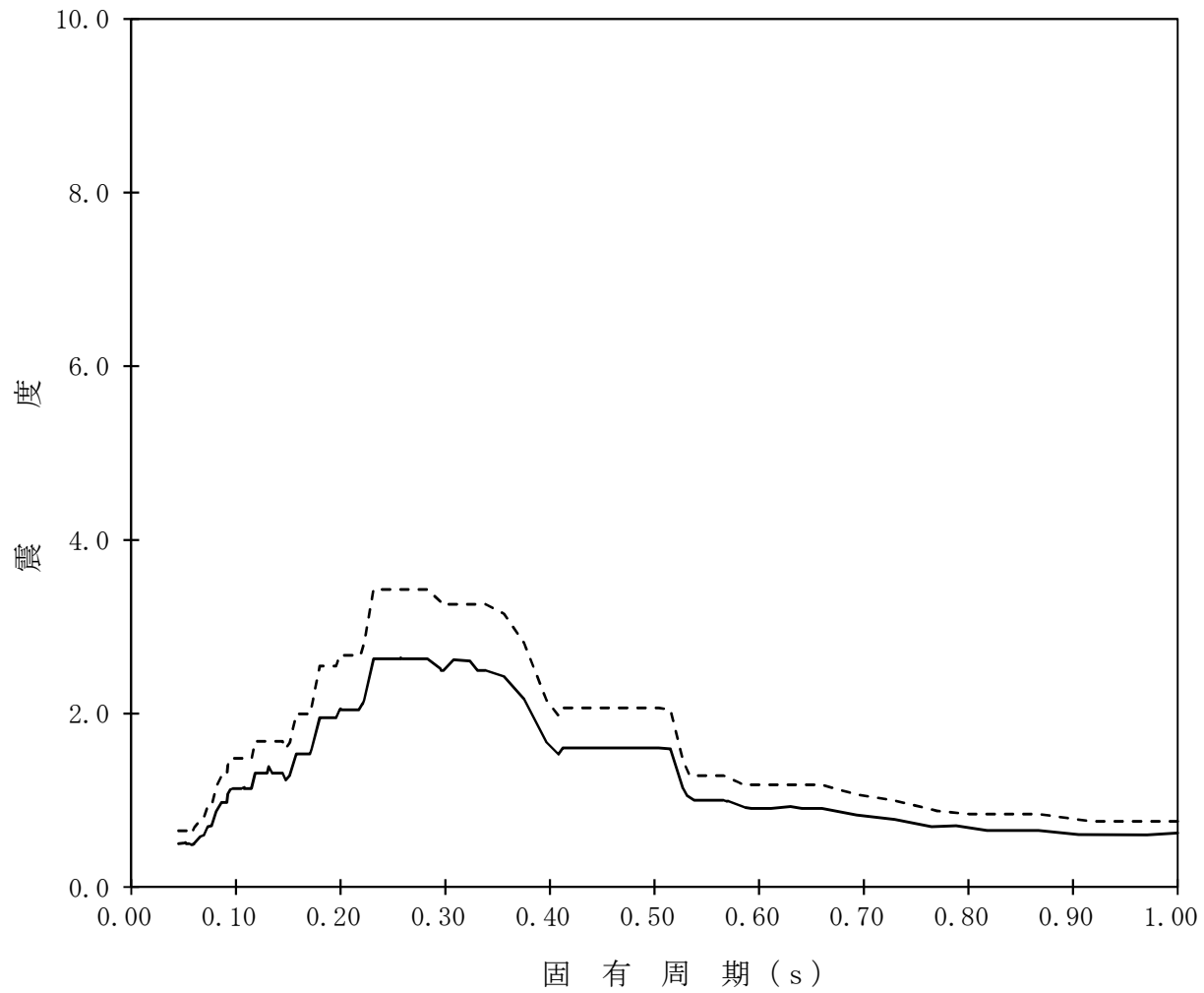
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB52】

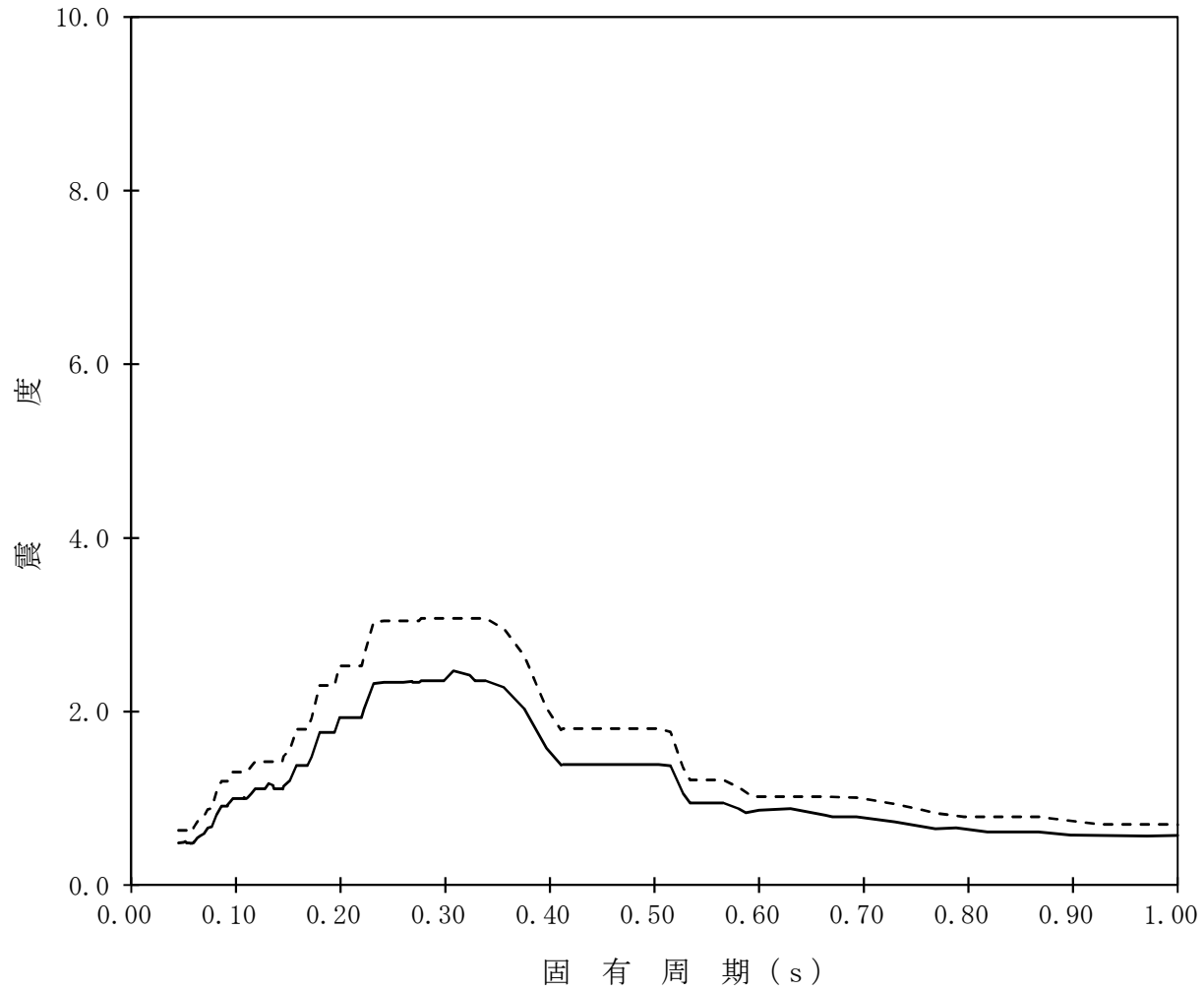
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 4.800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB53】

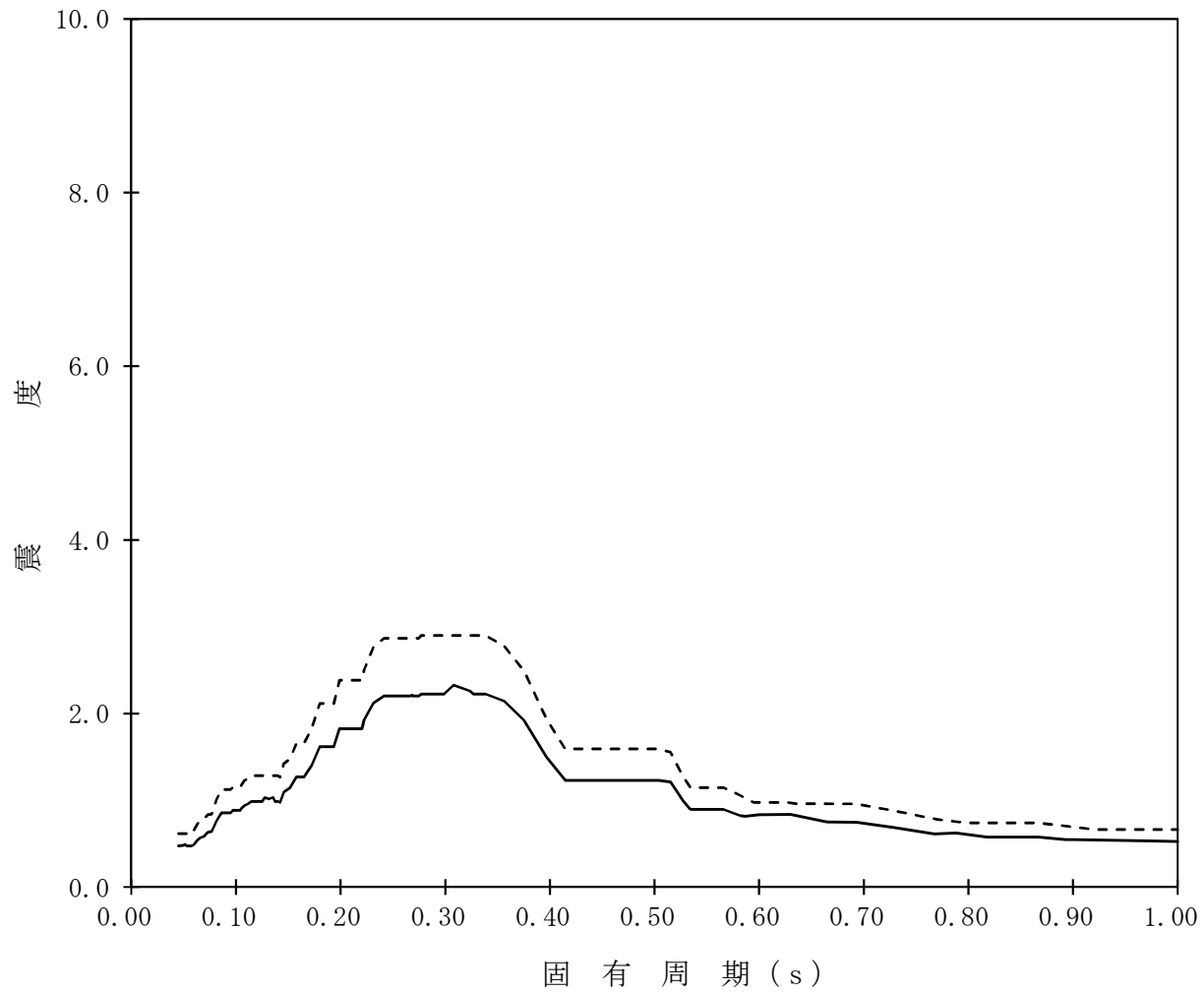
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 4.800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB54】

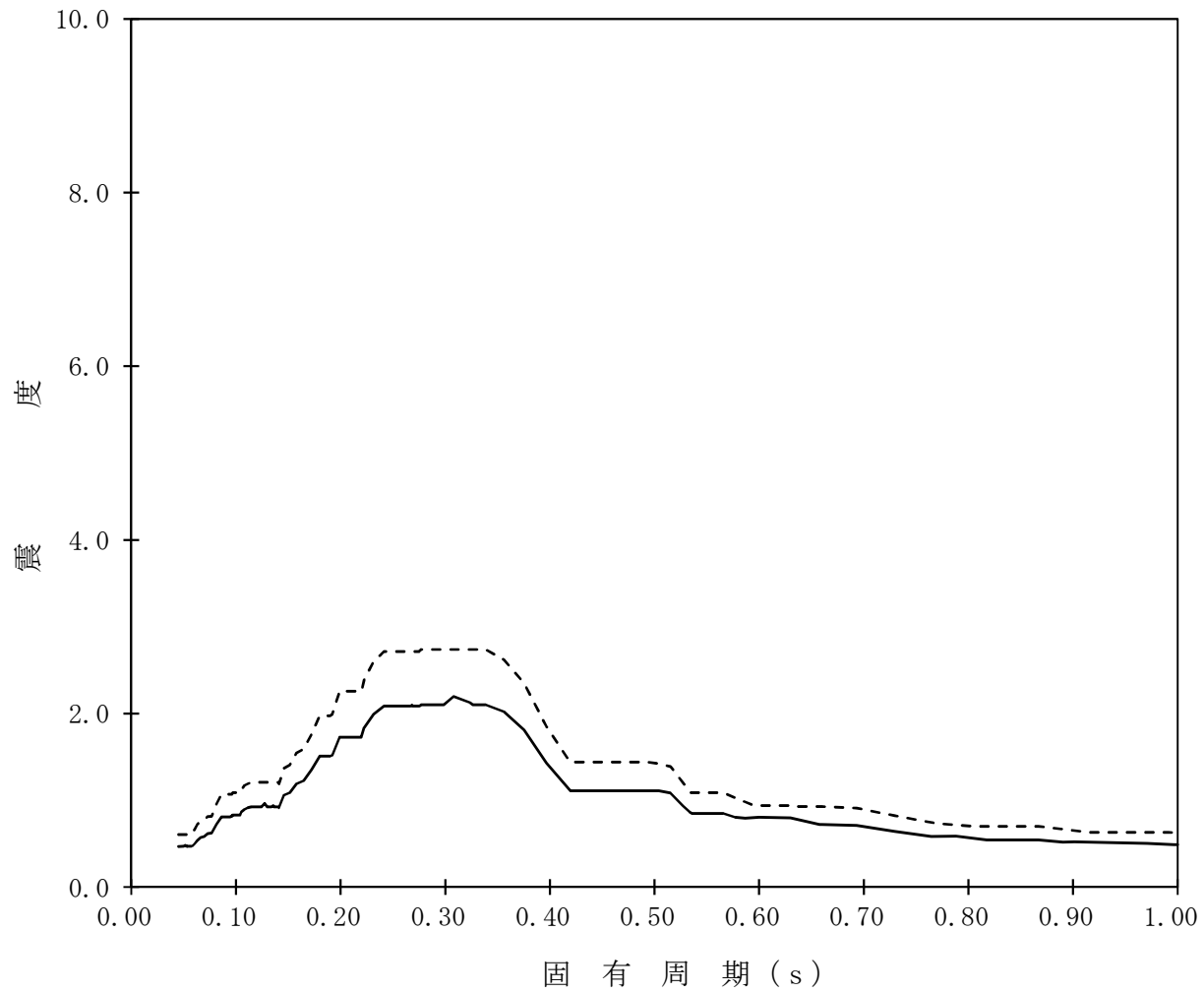
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB55】

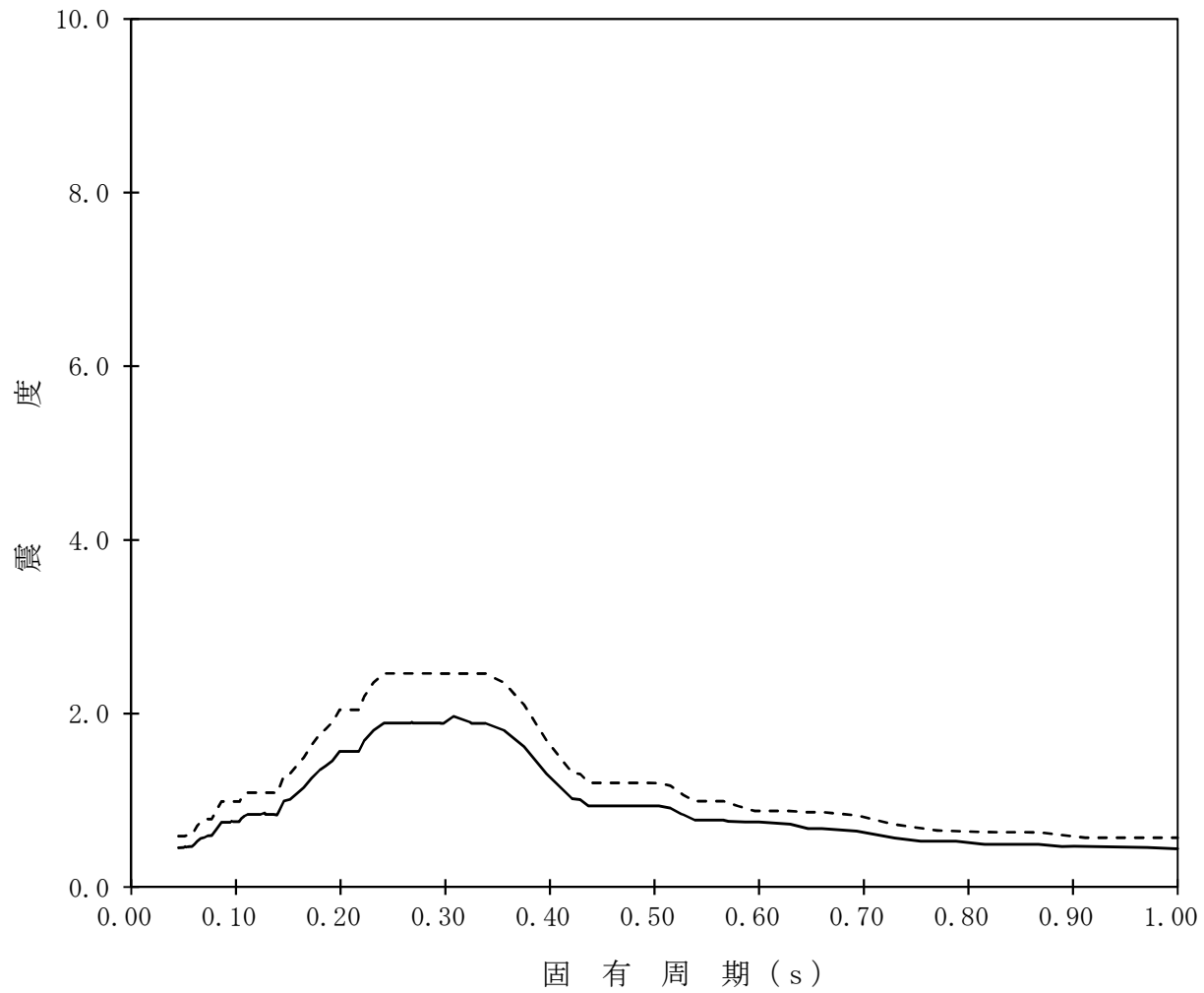
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB56】

構造物名：原子炉建屋

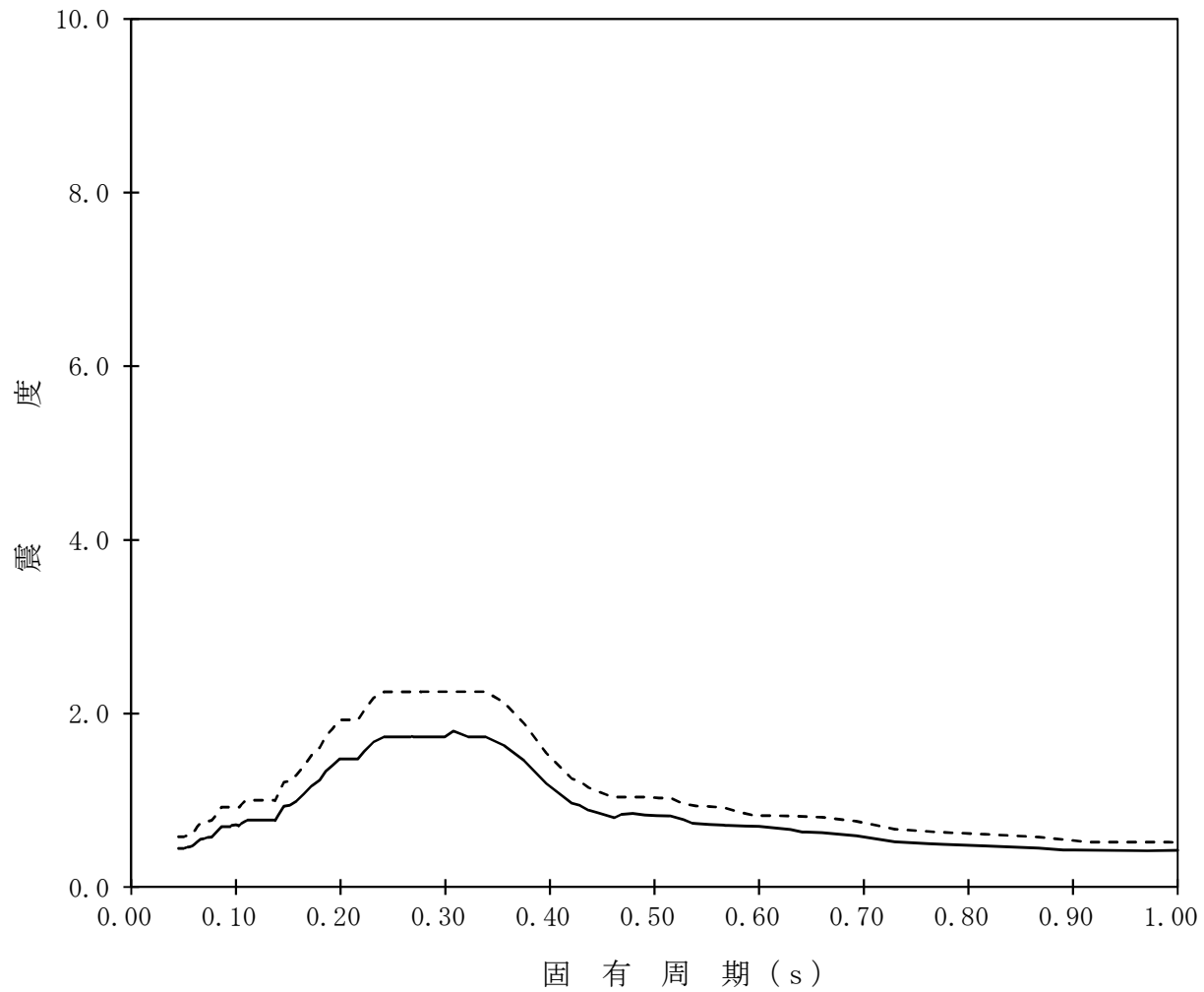
標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：5.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB57】

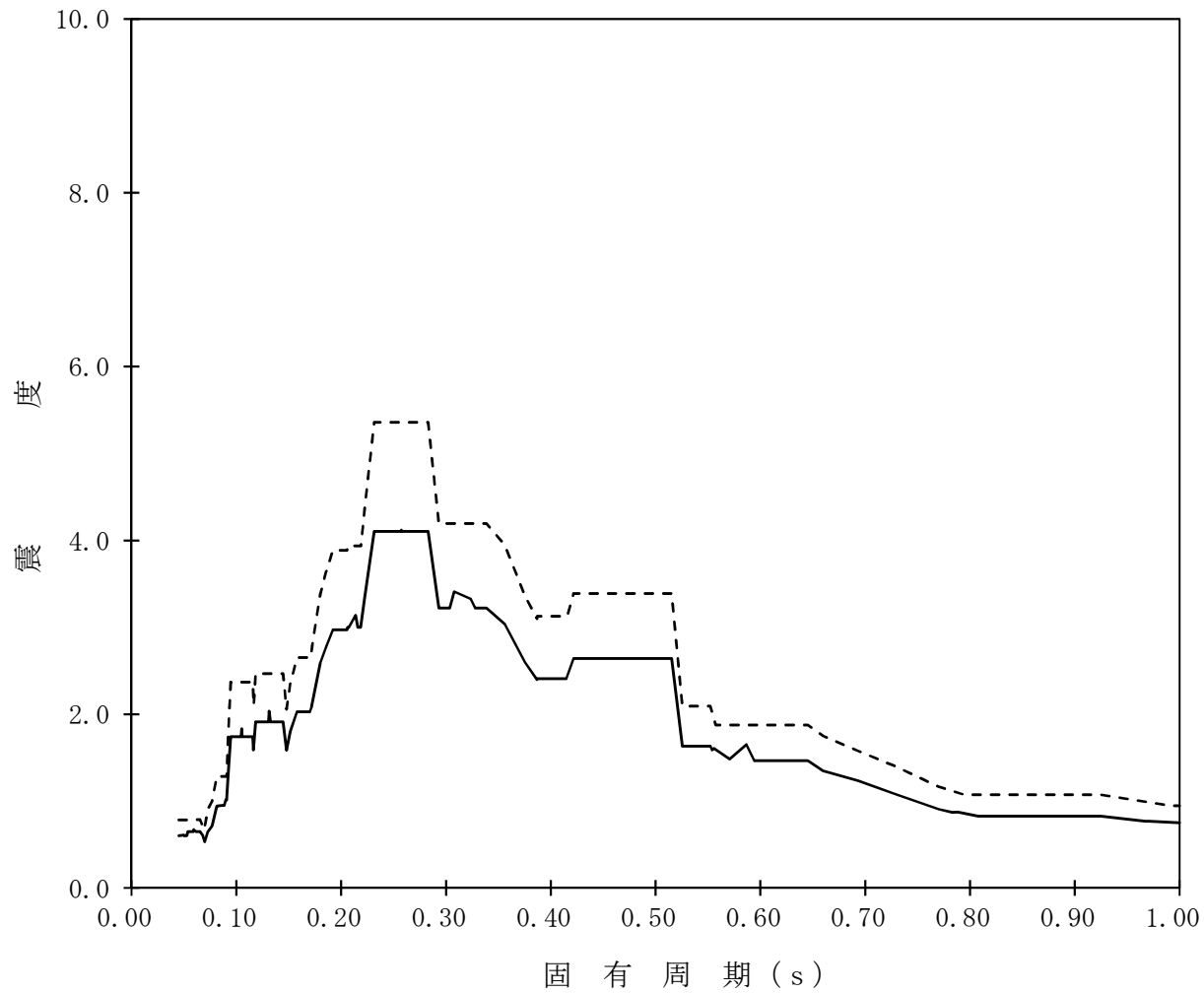
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB58】

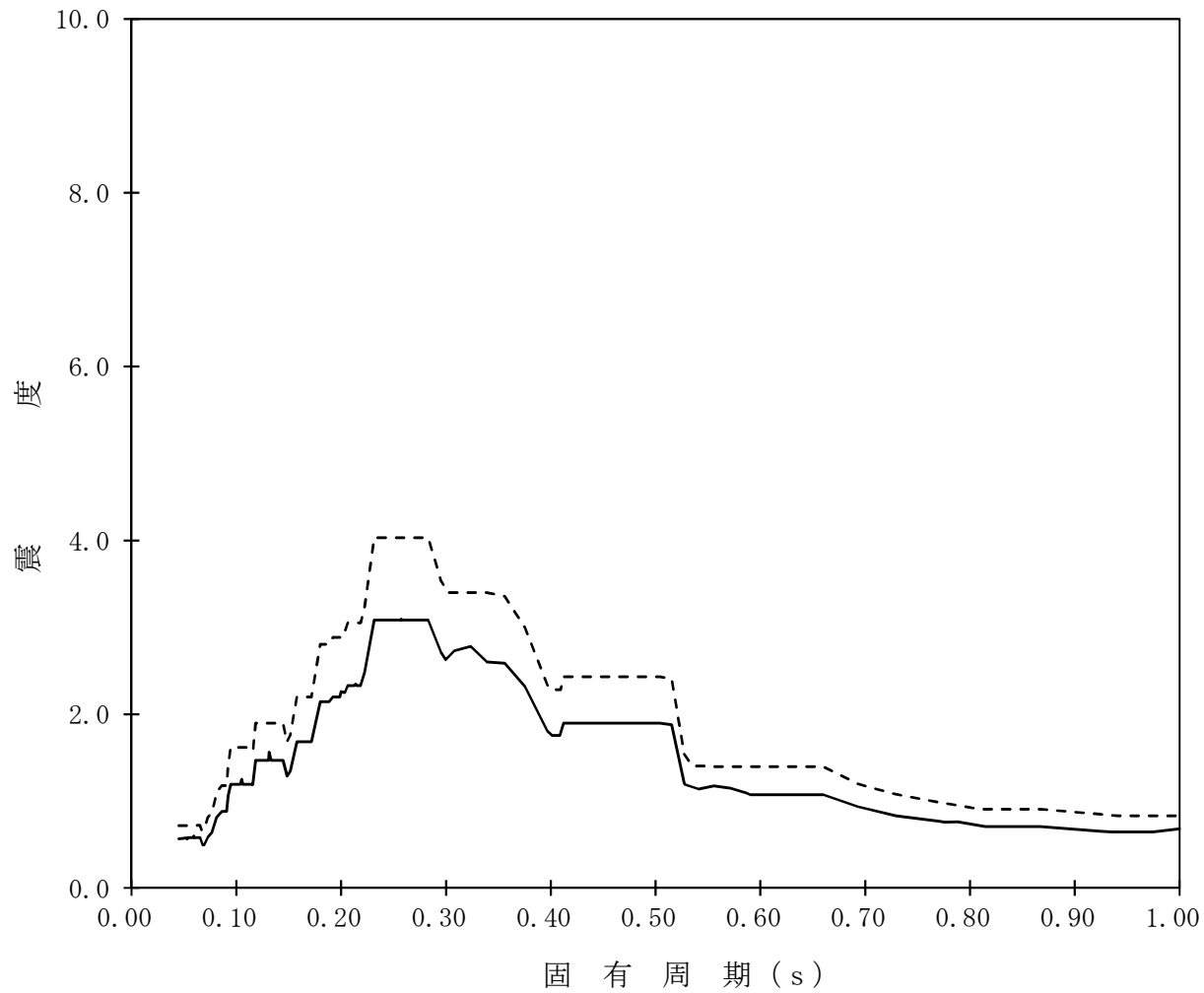
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB59】

構造物名：原子炉建屋

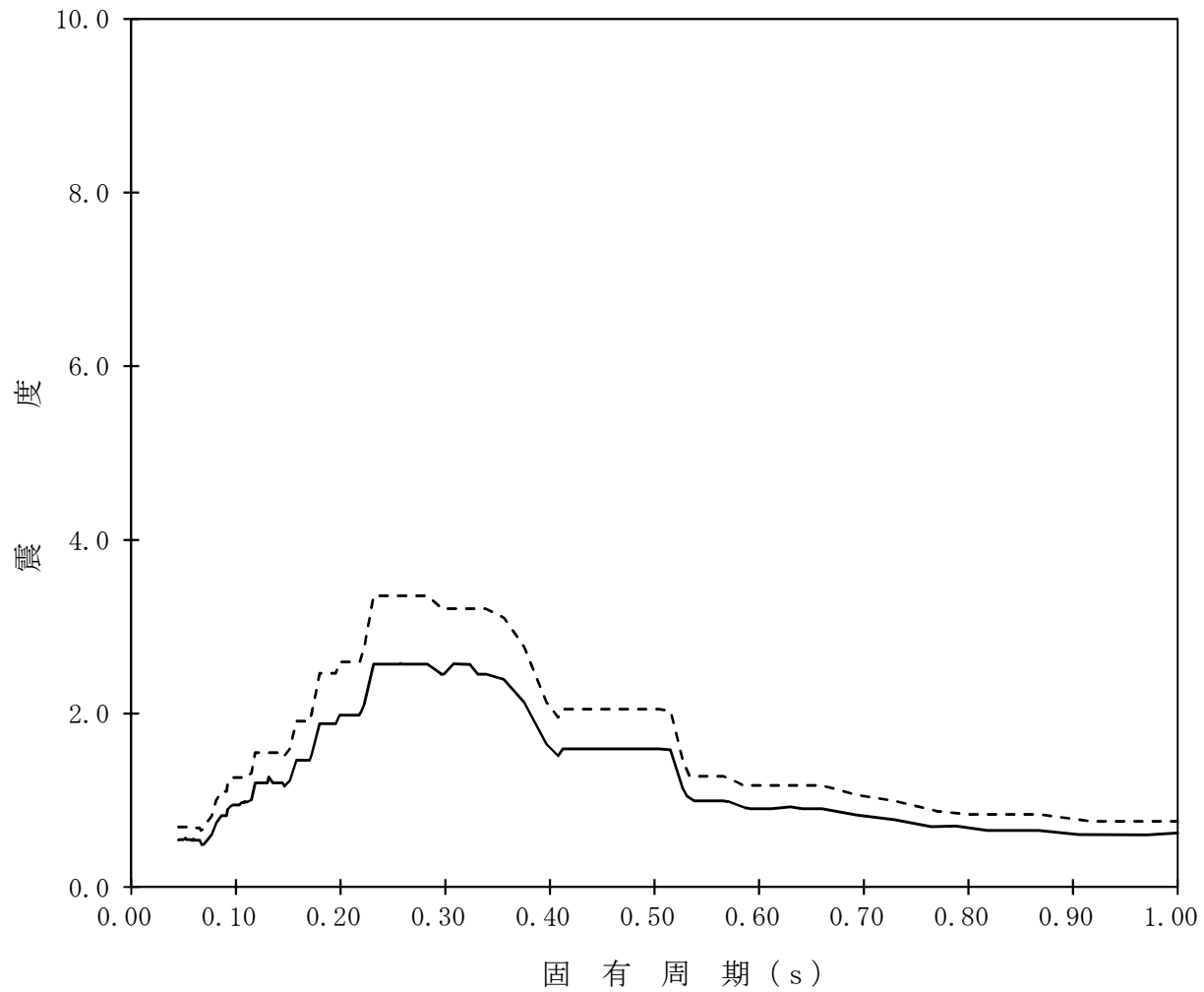
標高：T. M. S. L. -1.700m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：1.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB60】

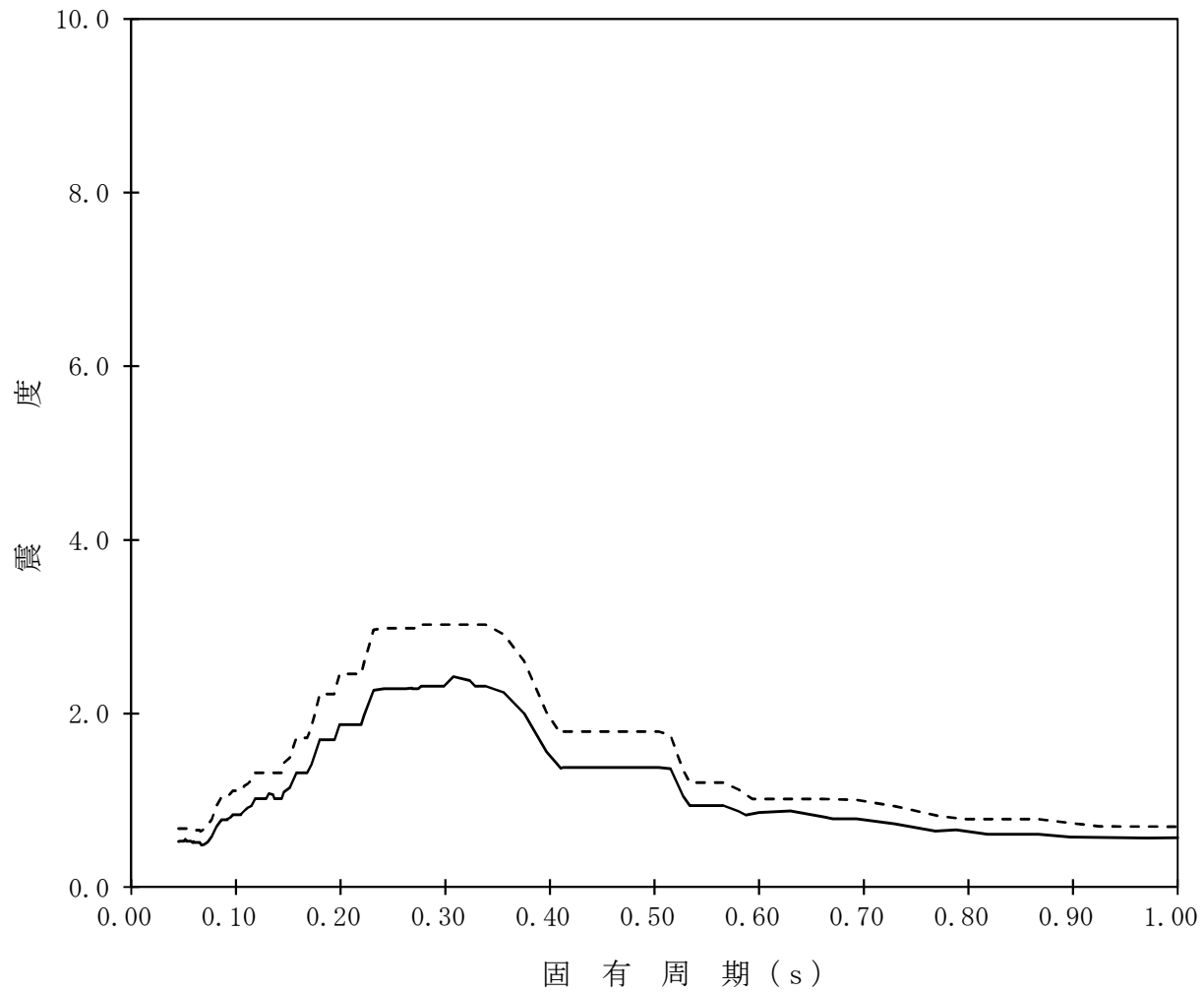
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB61】

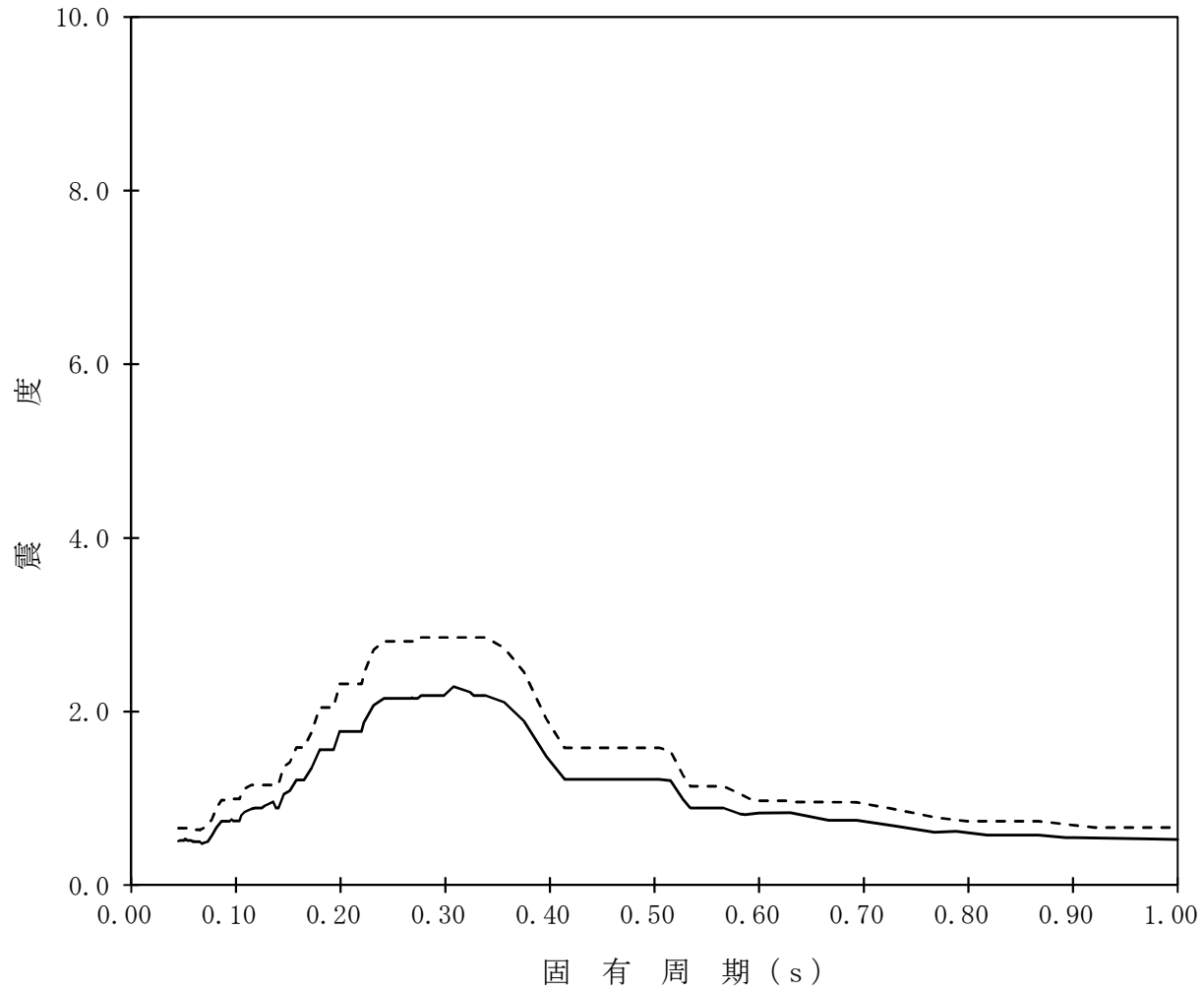
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB62】

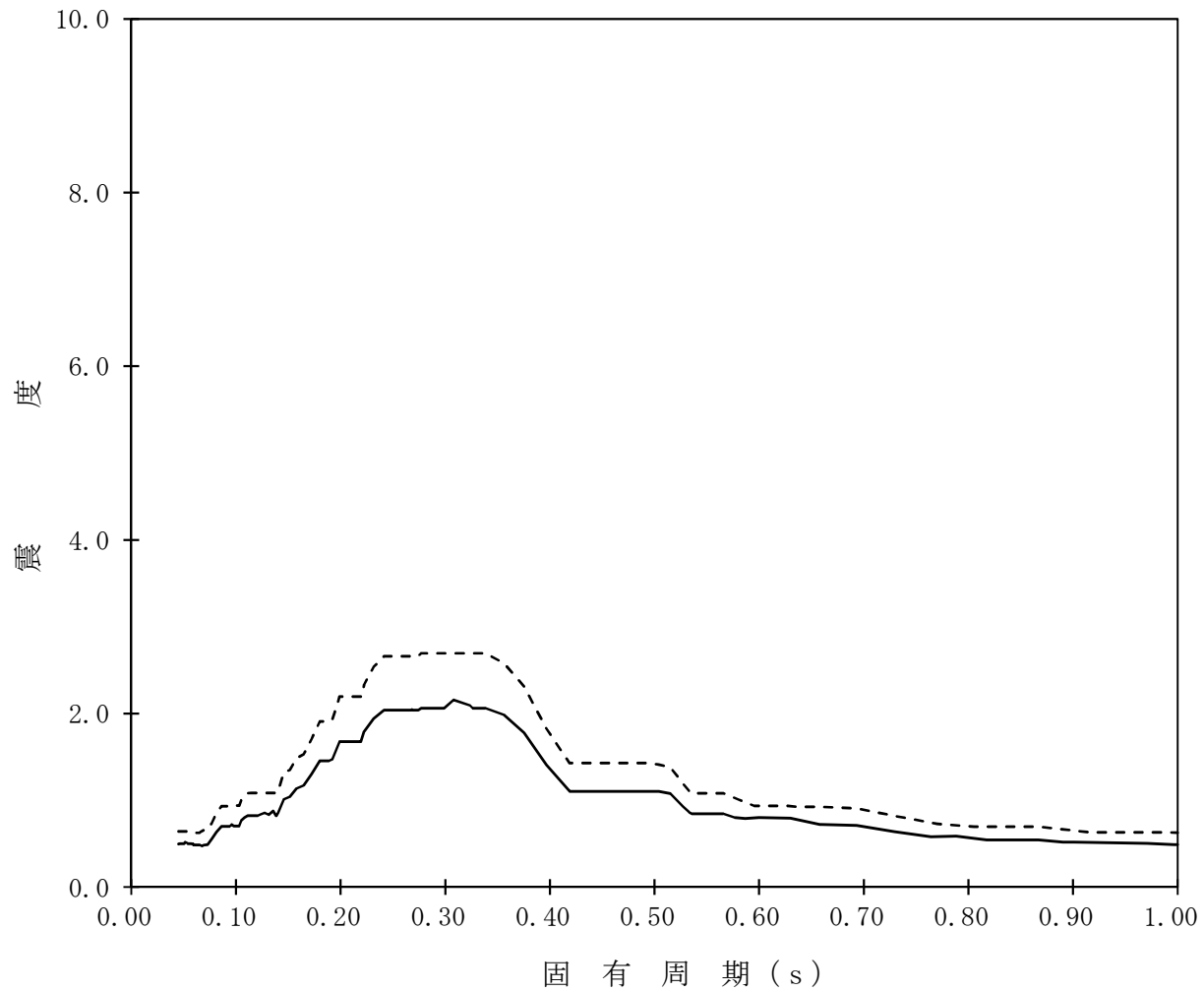
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB63】

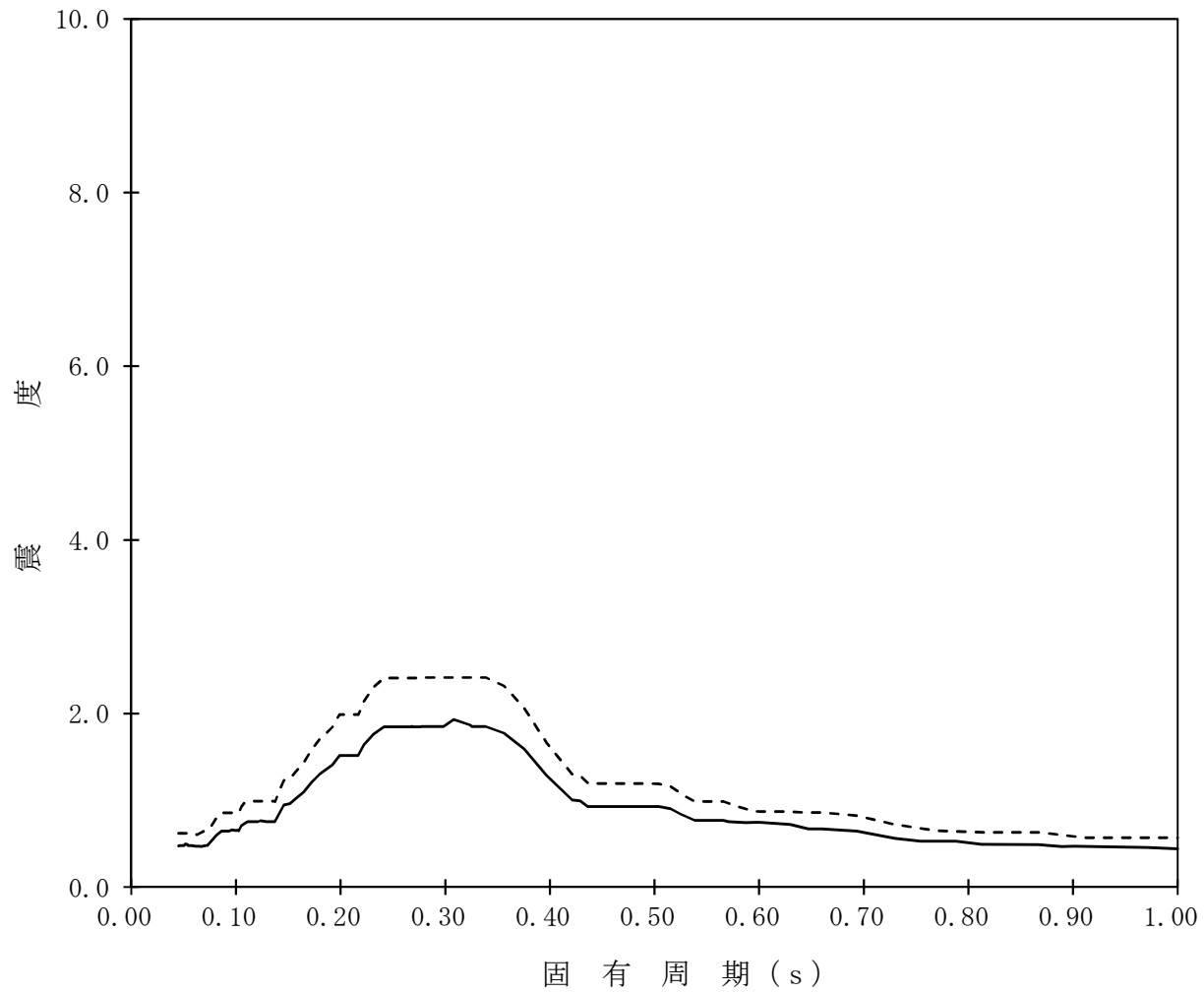
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB64】

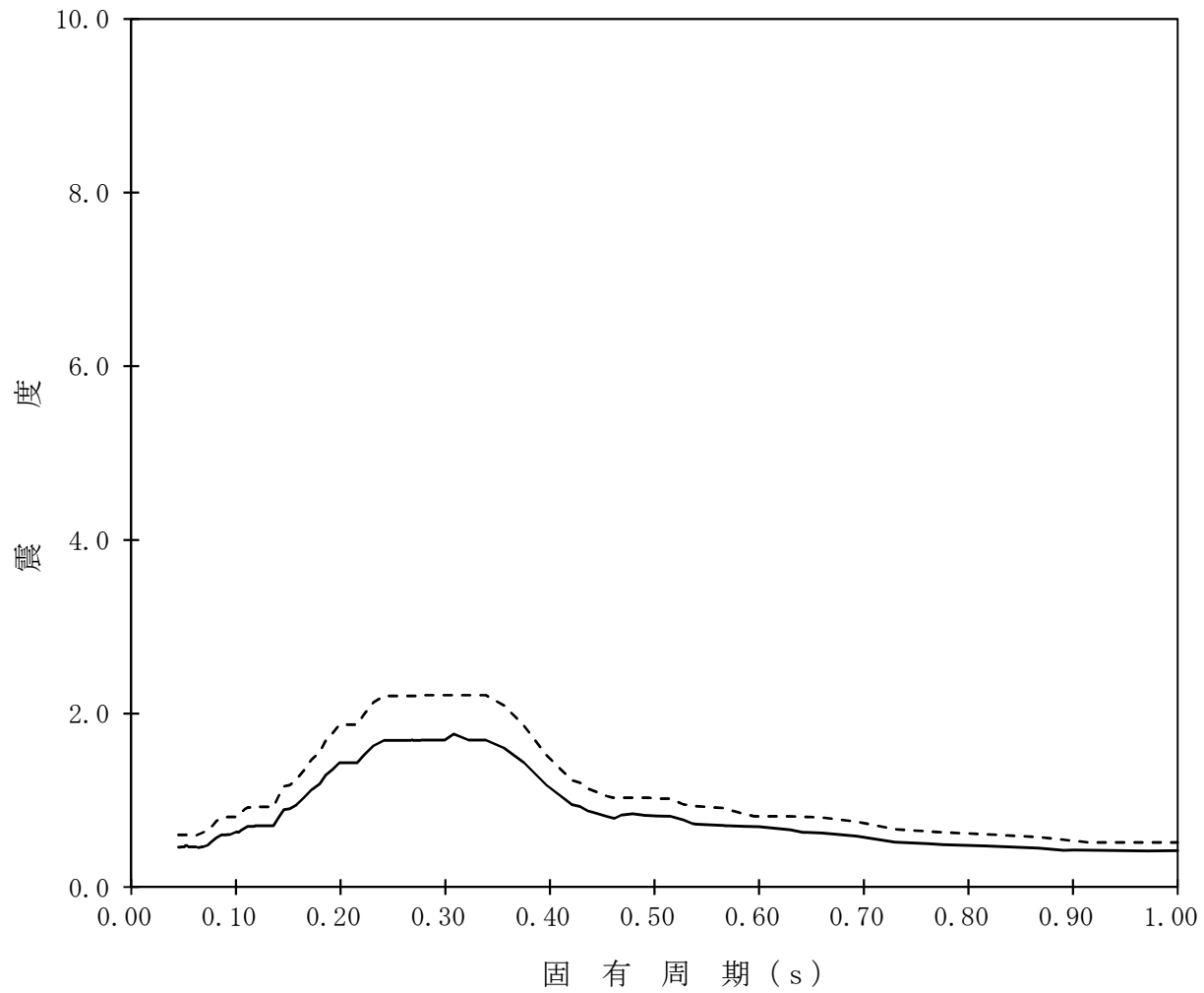
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB65】

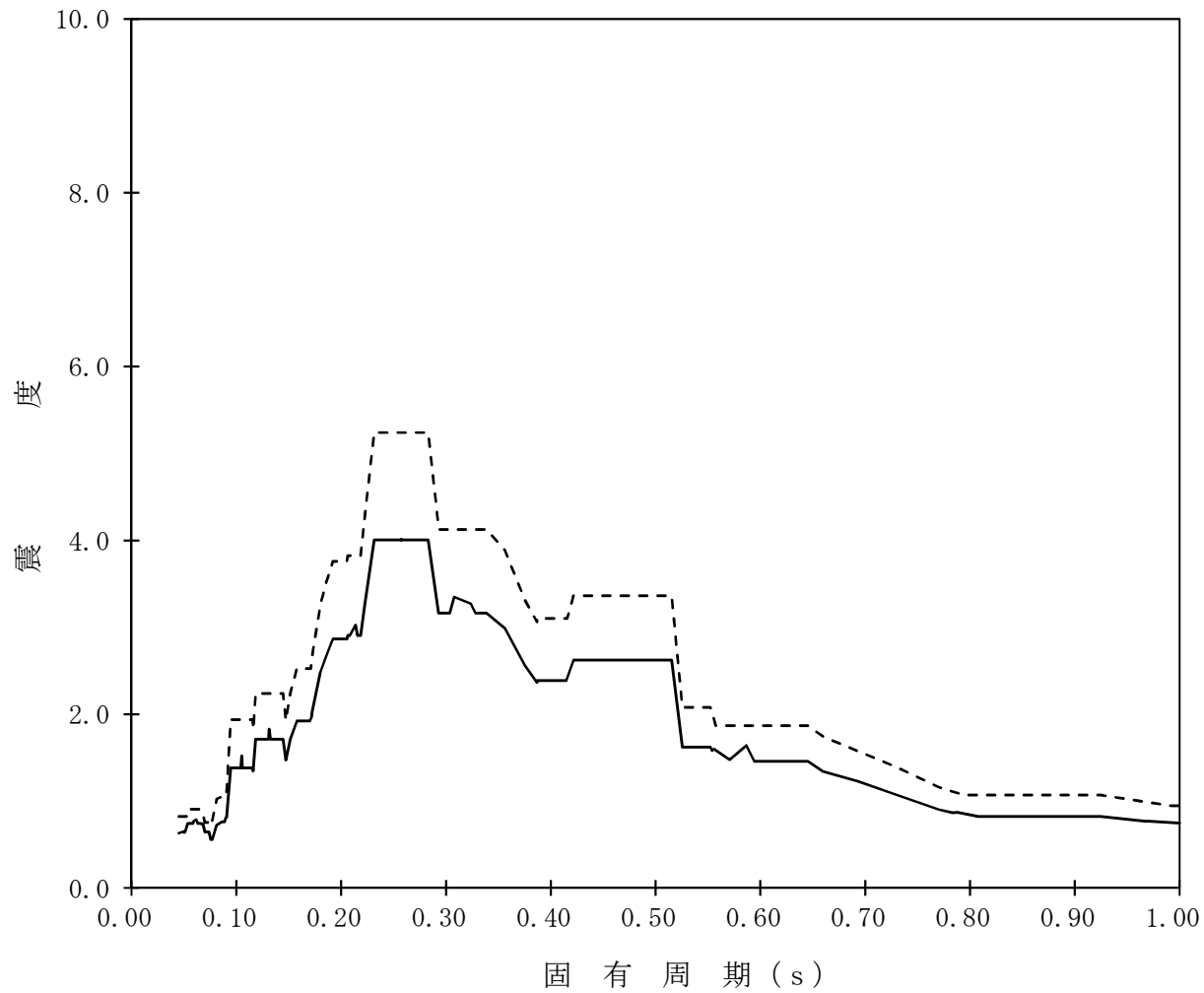
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -8.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB66】

構造物名：原子炉建屋

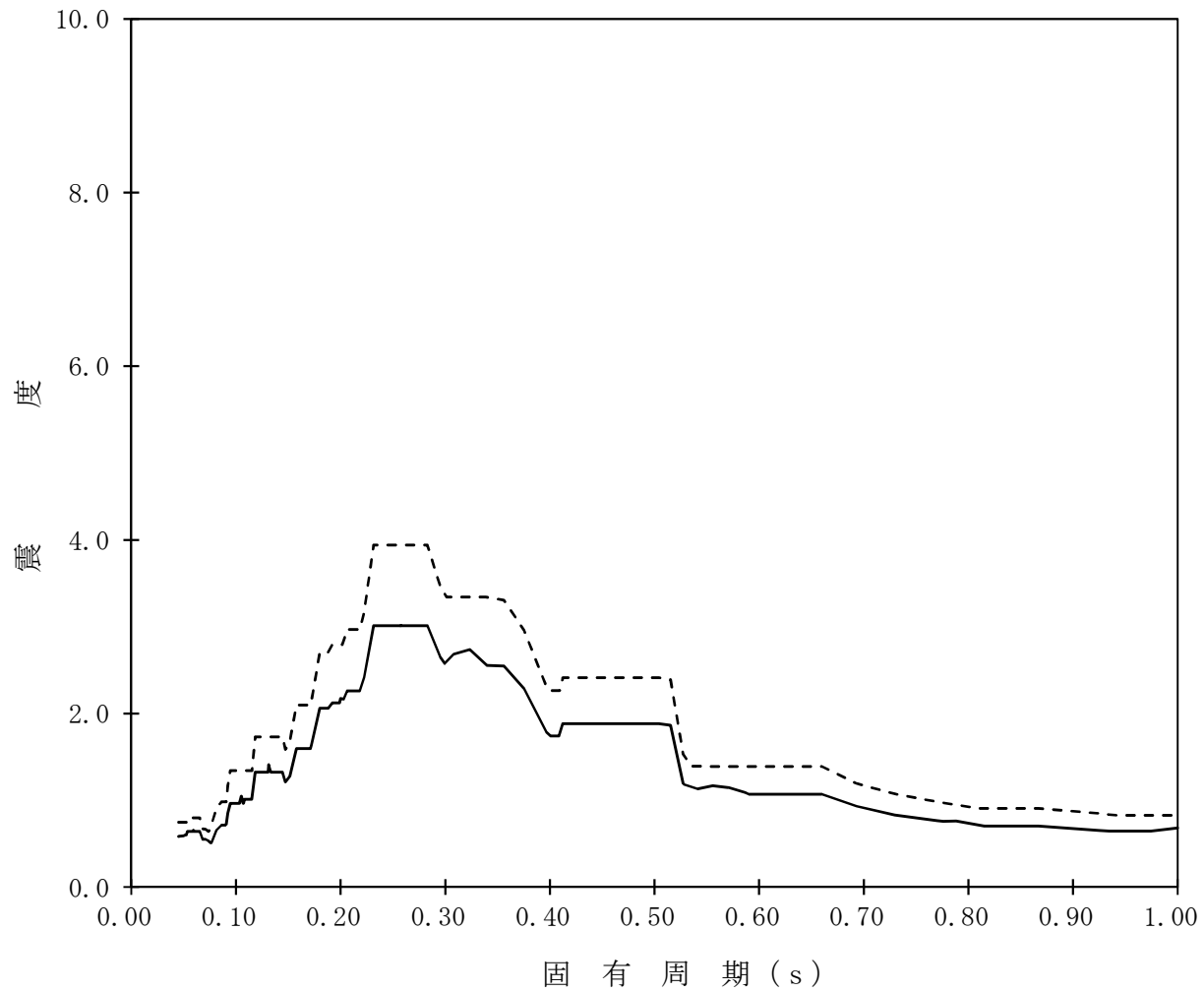
標高：T. M. S. L. -8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：1.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB67】

構造物名：原子炉建屋

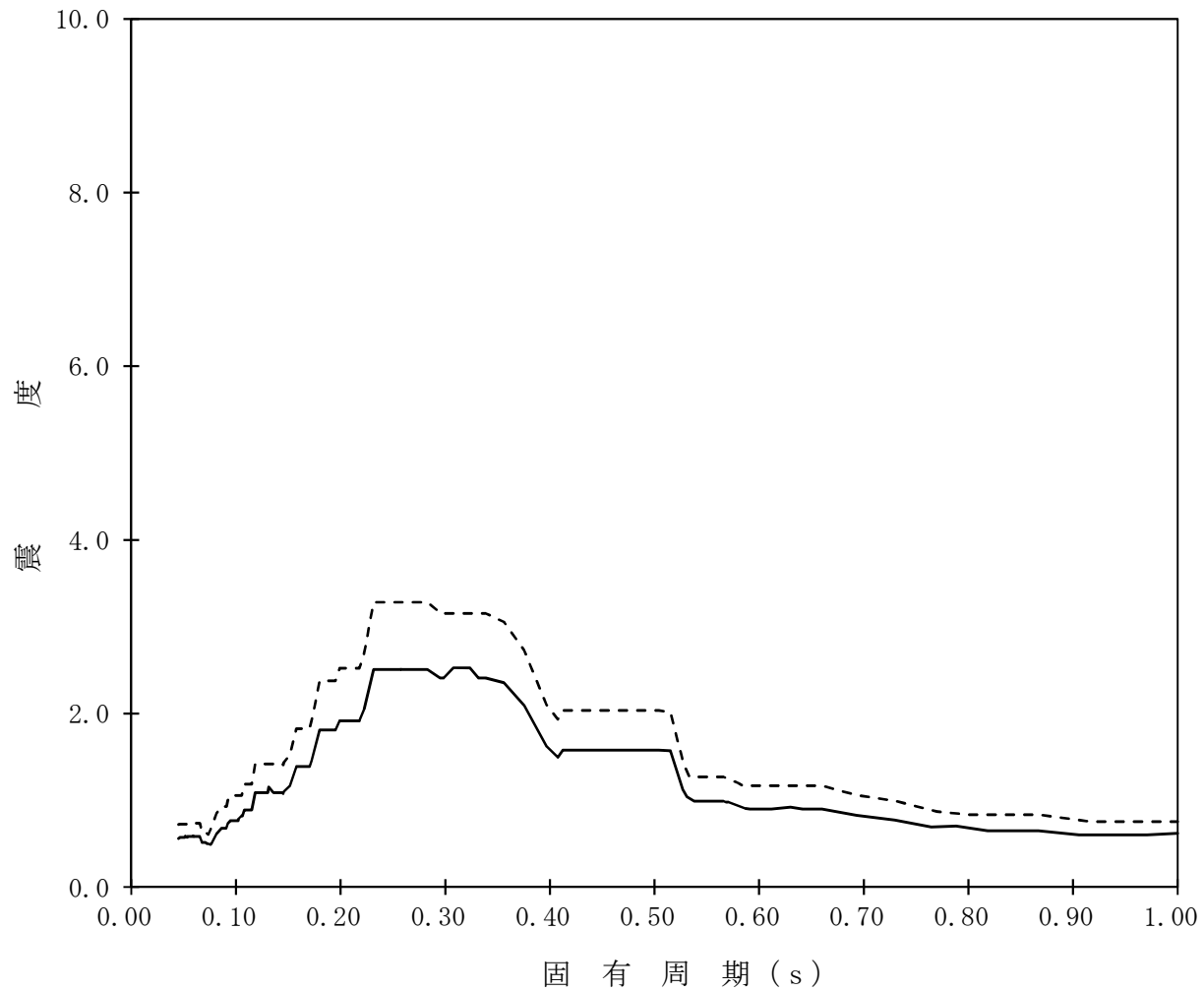
標高：T. M. S. L. -8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：1. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB68】

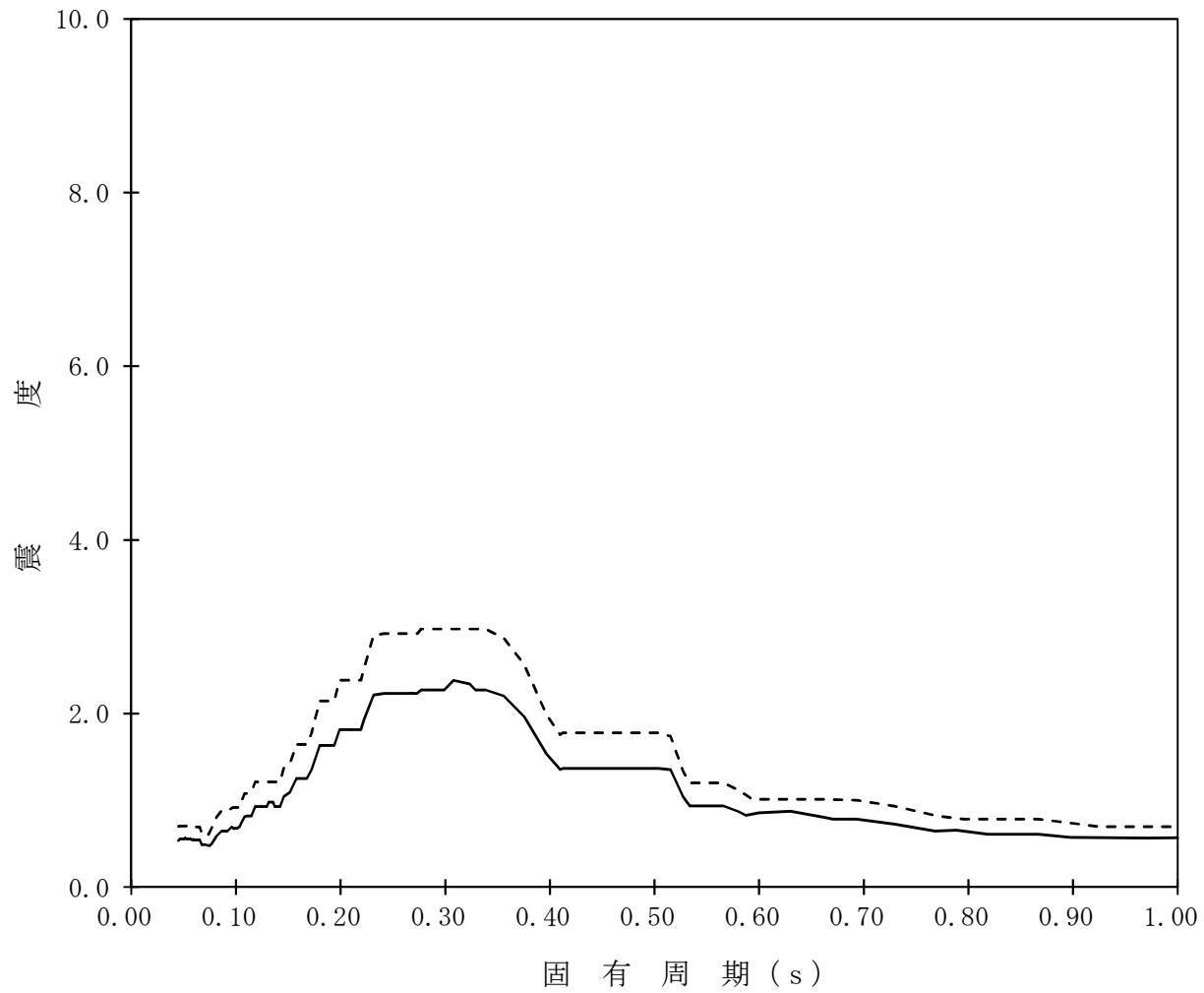
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB69】

構造物名：原子炉建屋

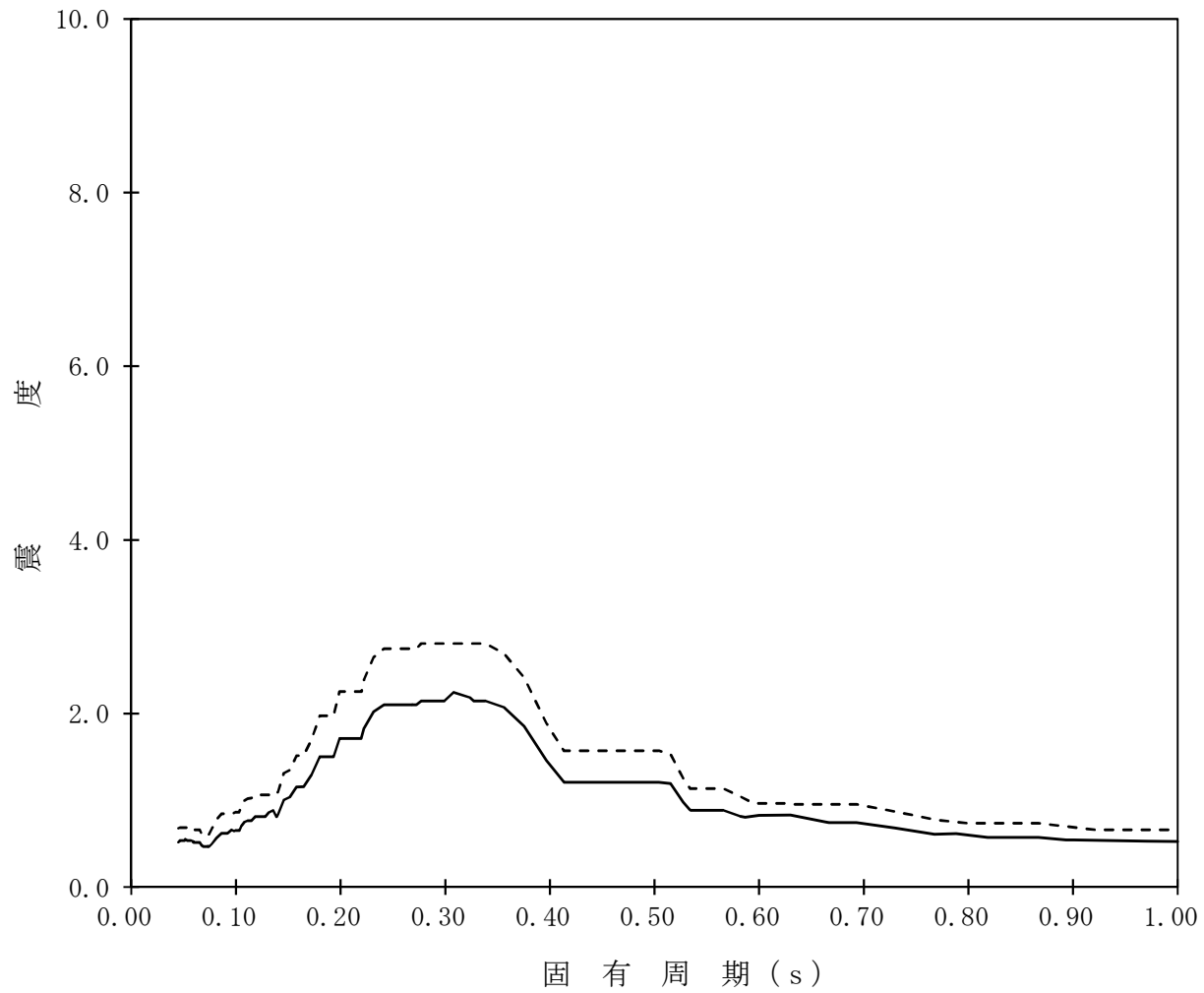
標高：T. M. S. L. -8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB70】

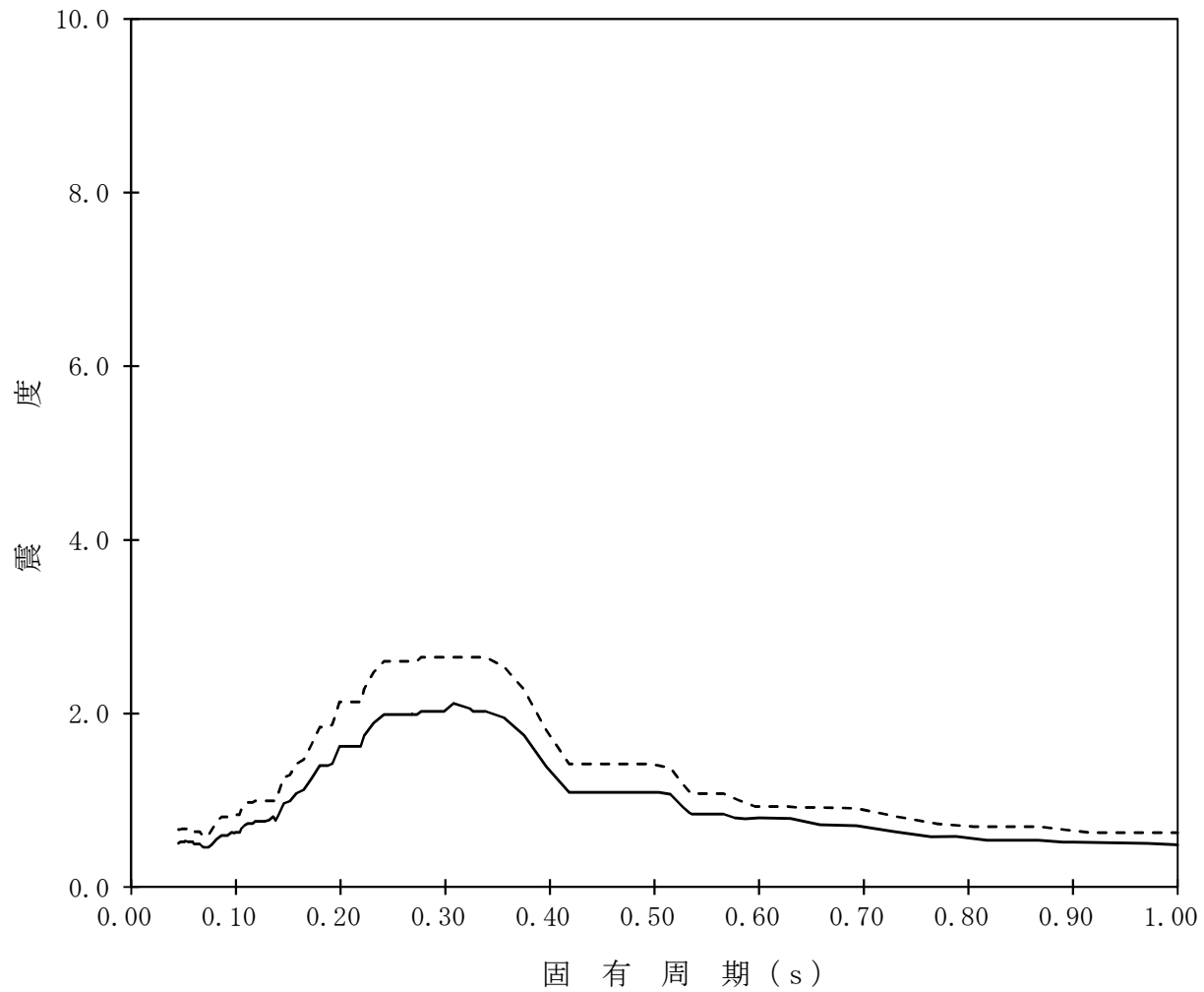
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB71】

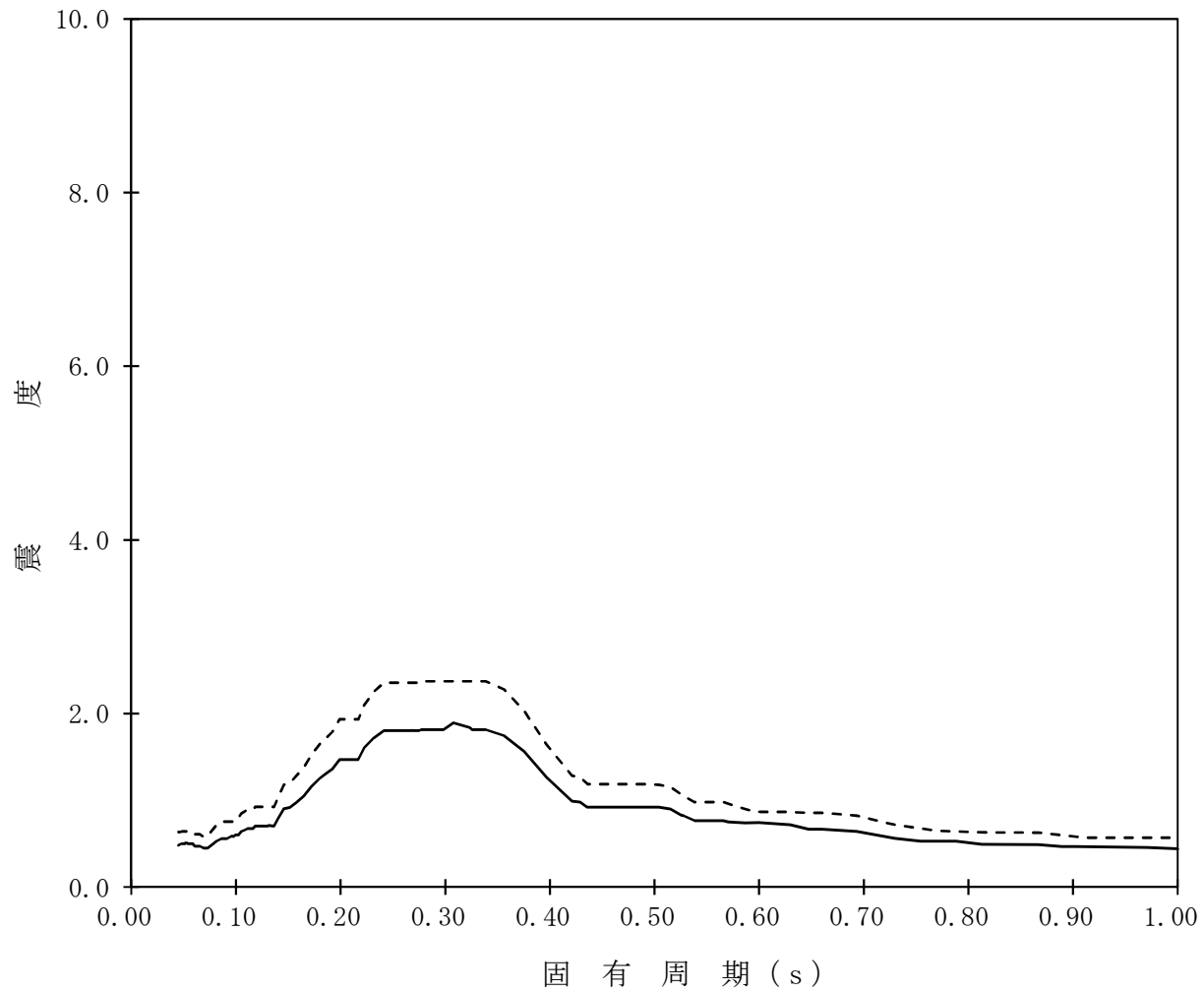
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB72】

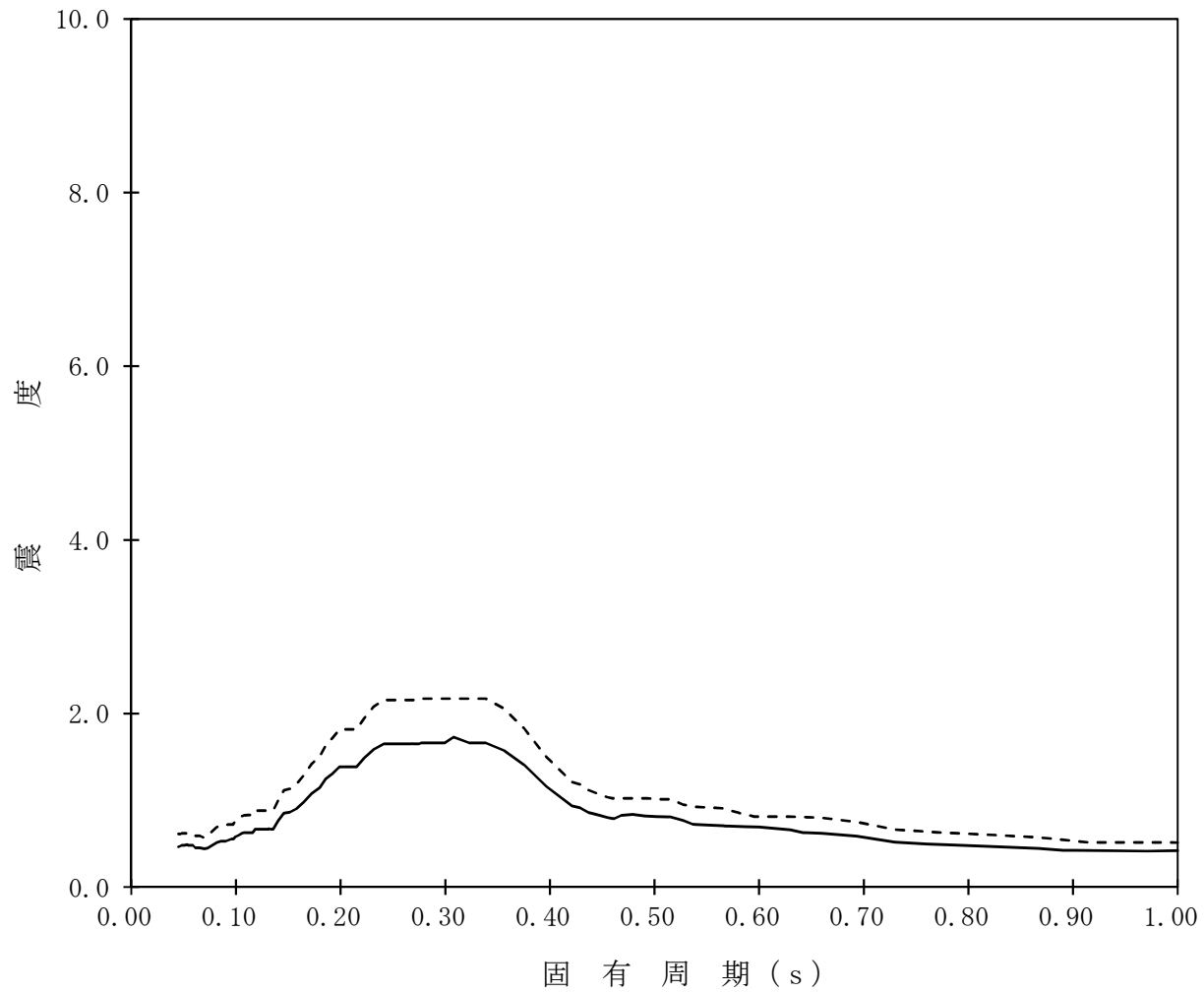
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB73】

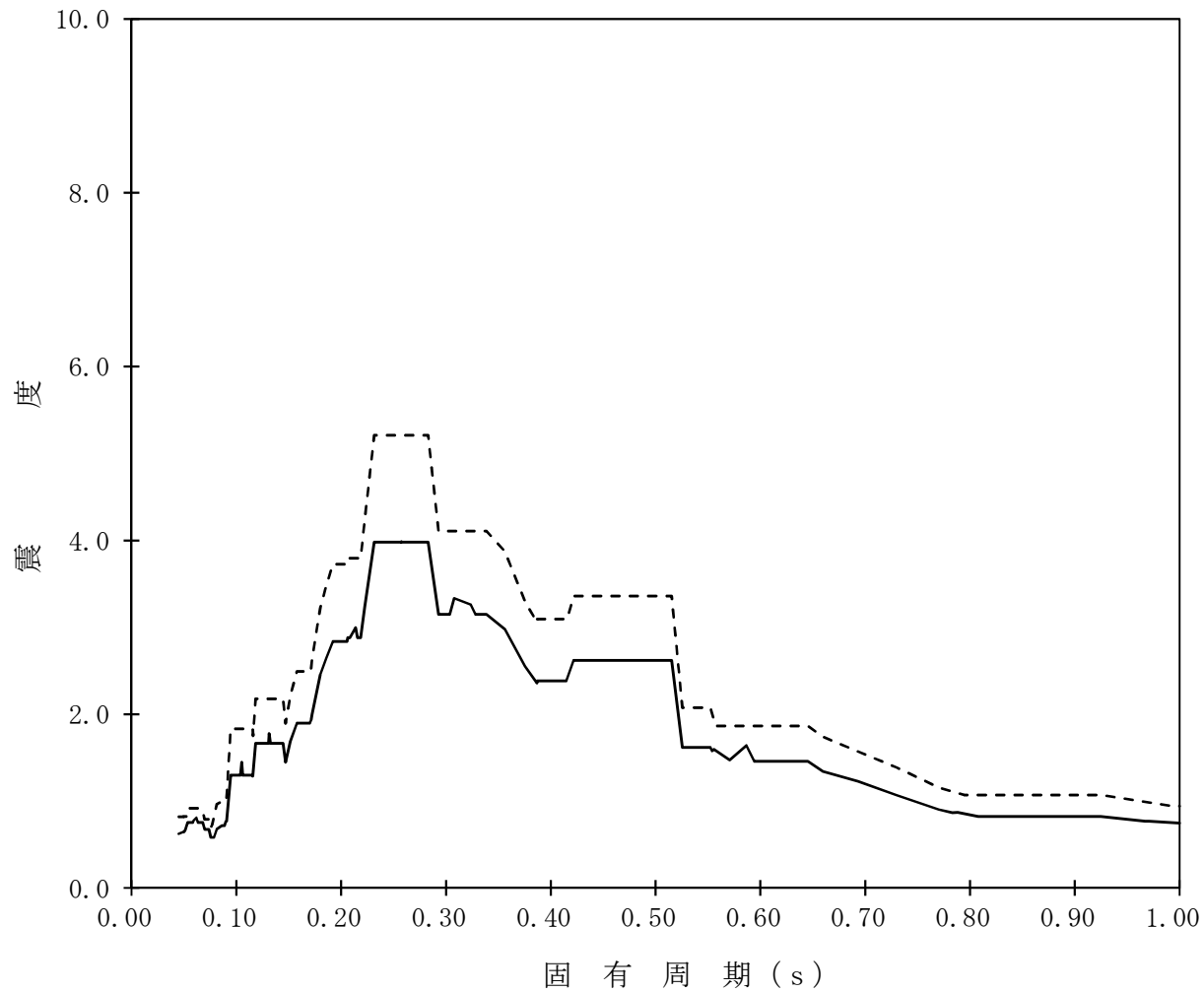
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB74】

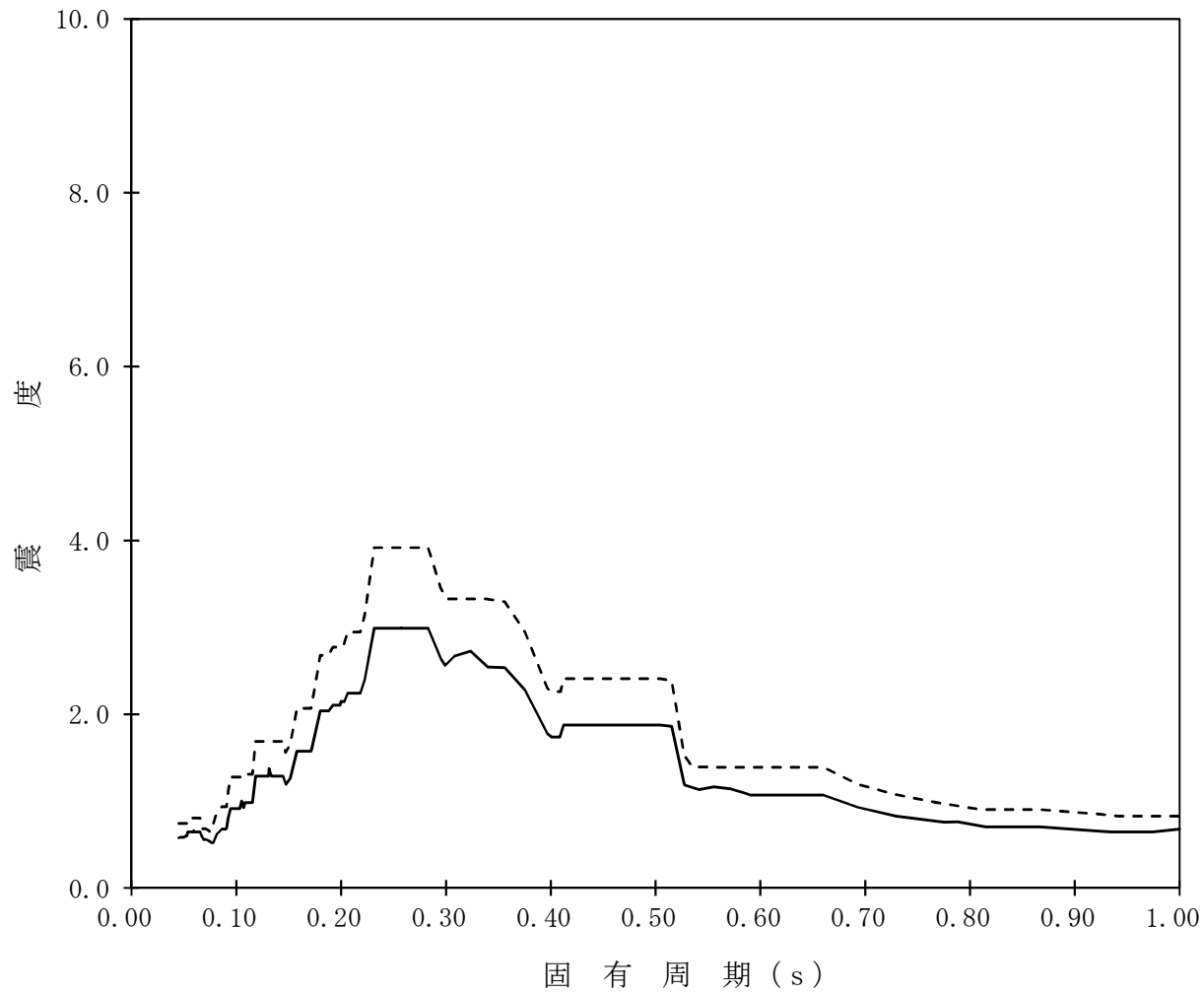
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB75】

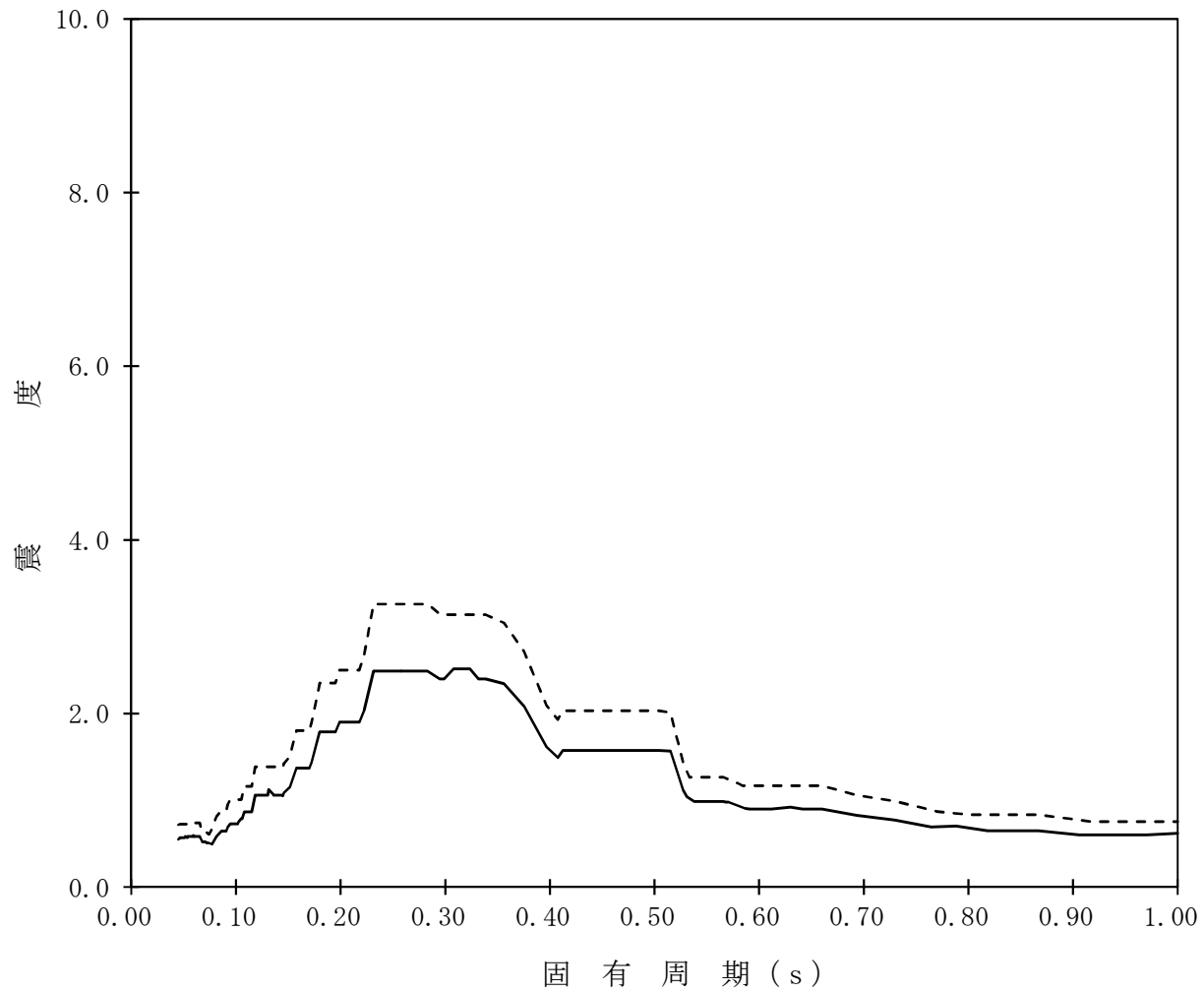
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB76】

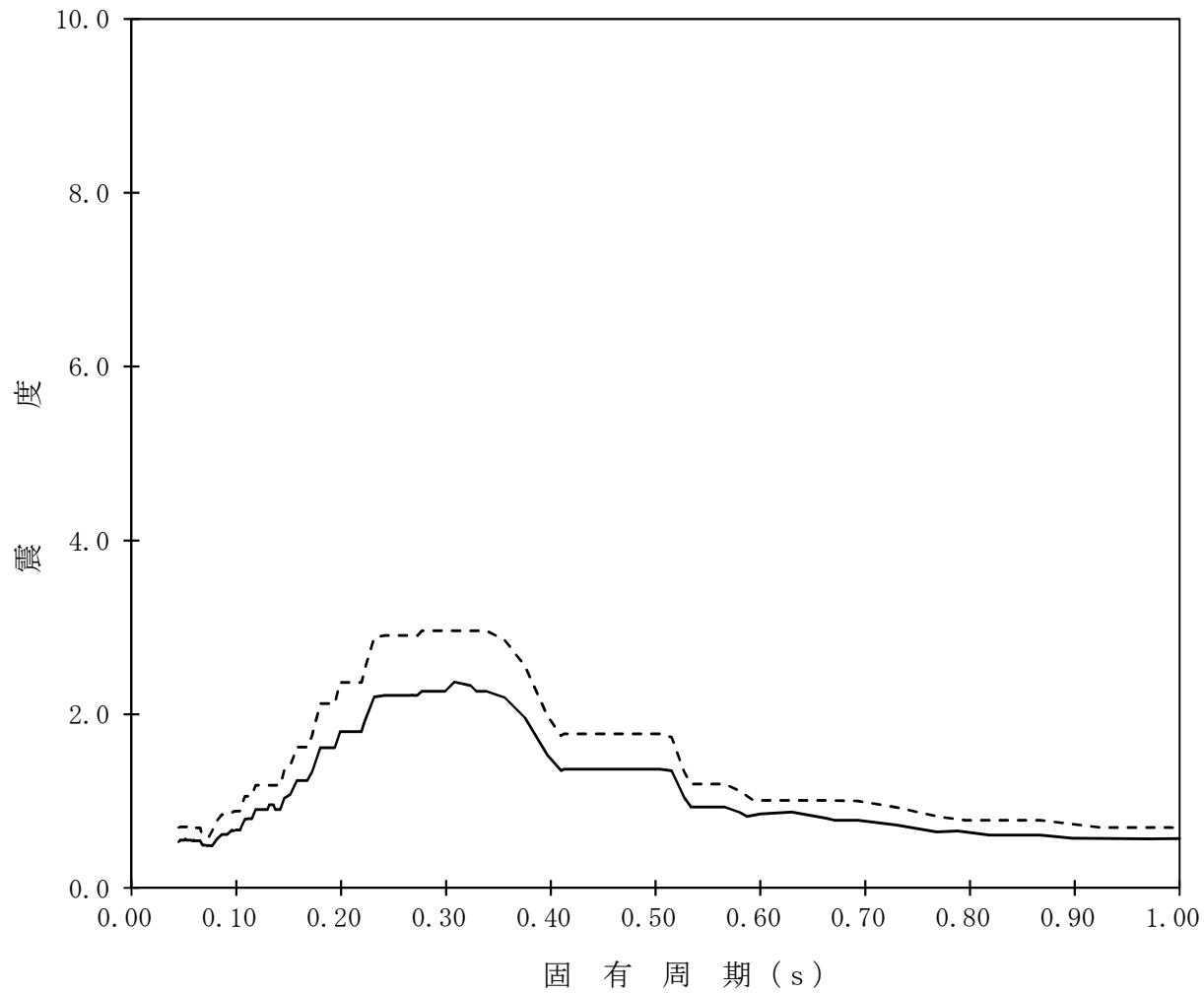
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB77】

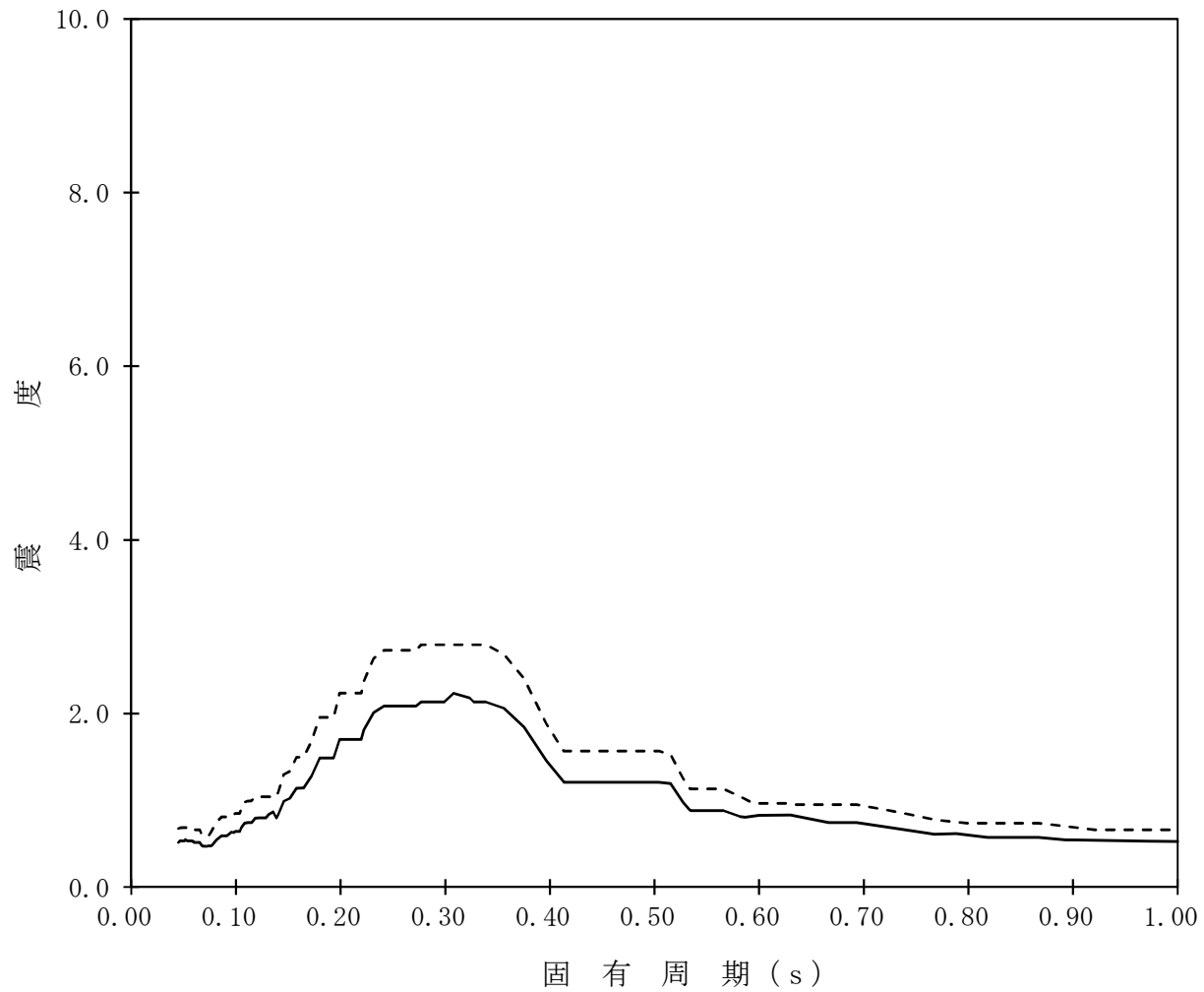
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB78】

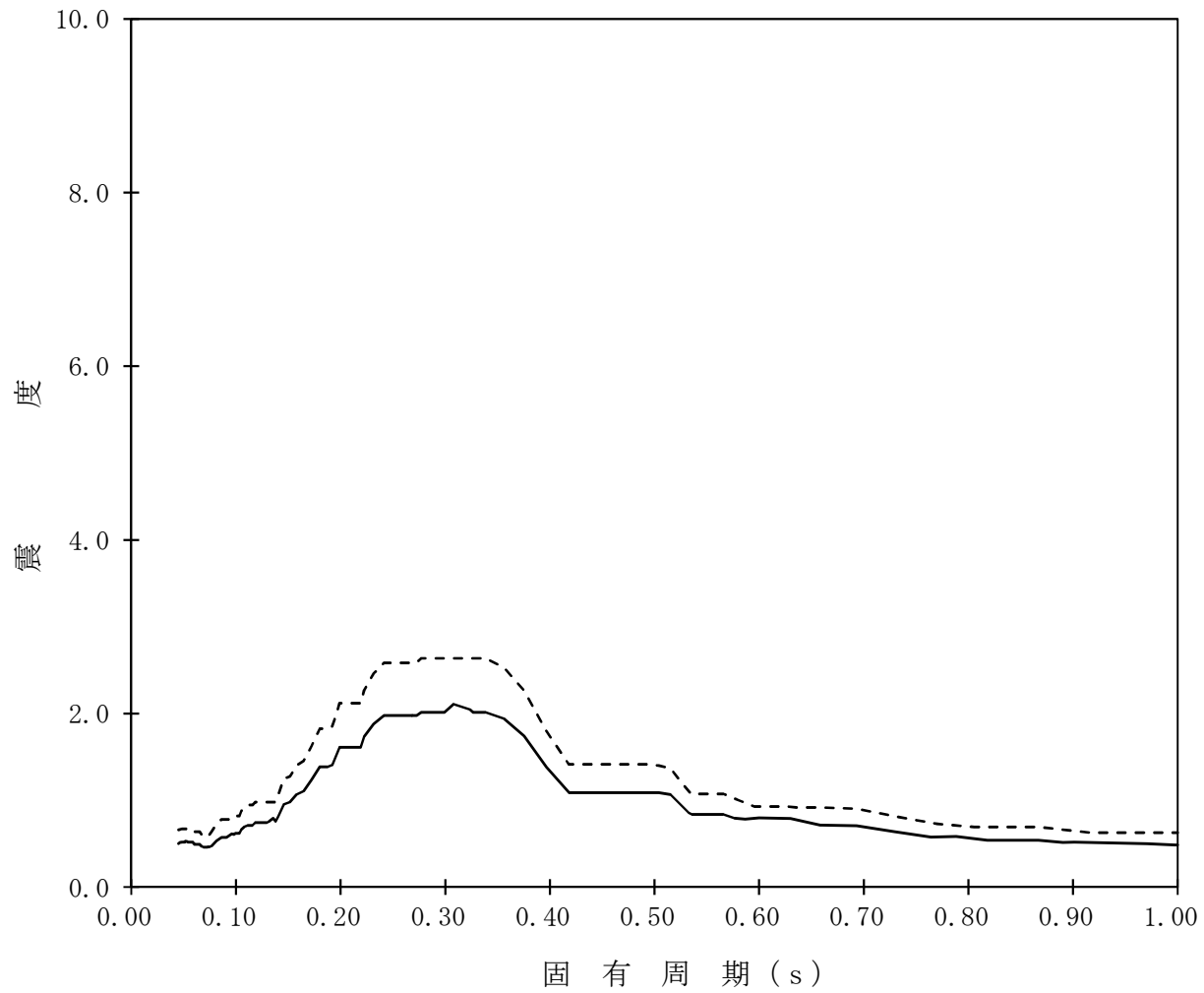
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB79】

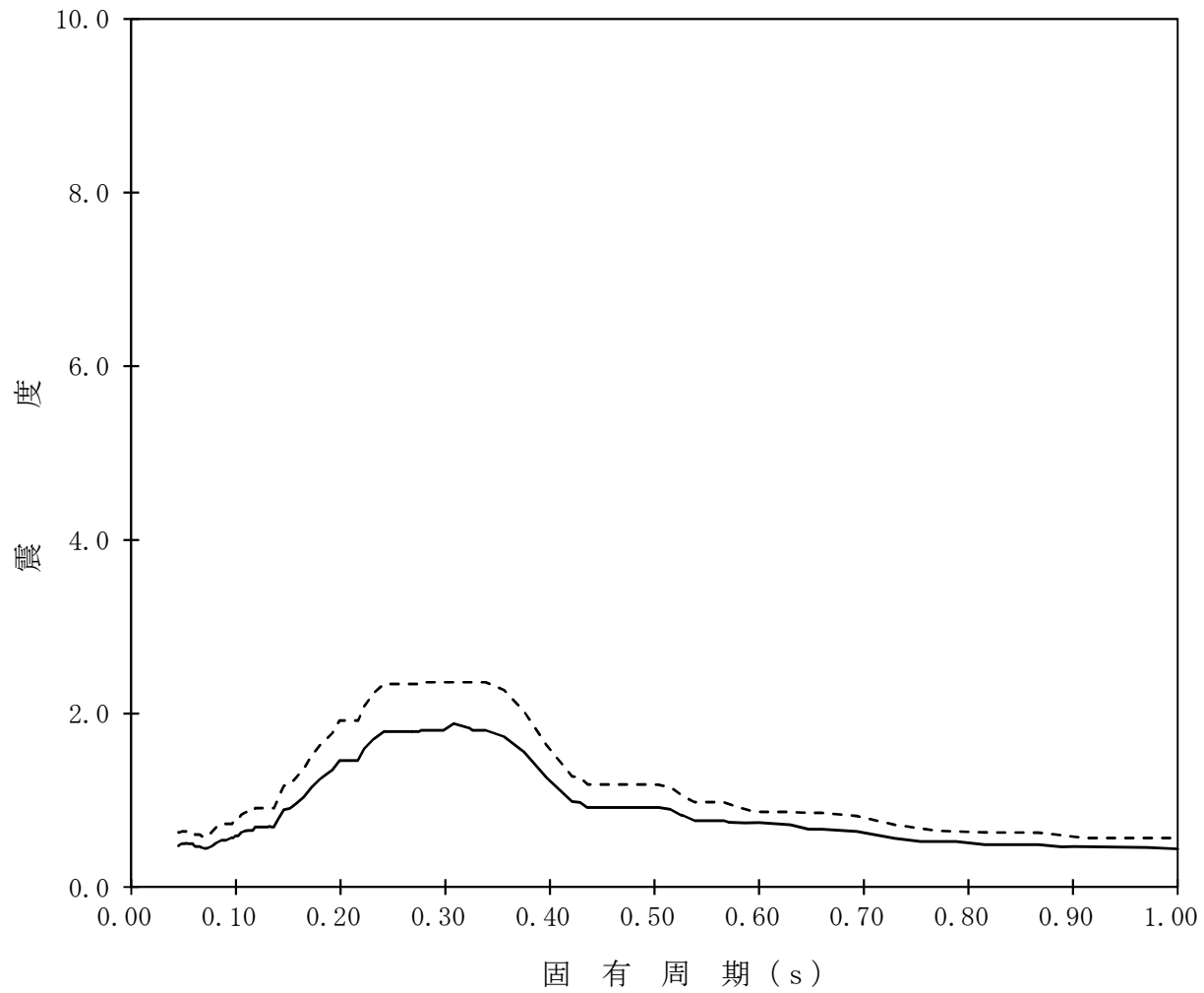
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)



【K06-RB-SdV-RB80】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (鉛直方向)

----- 設計用床応答曲線 II (鉛直方向)

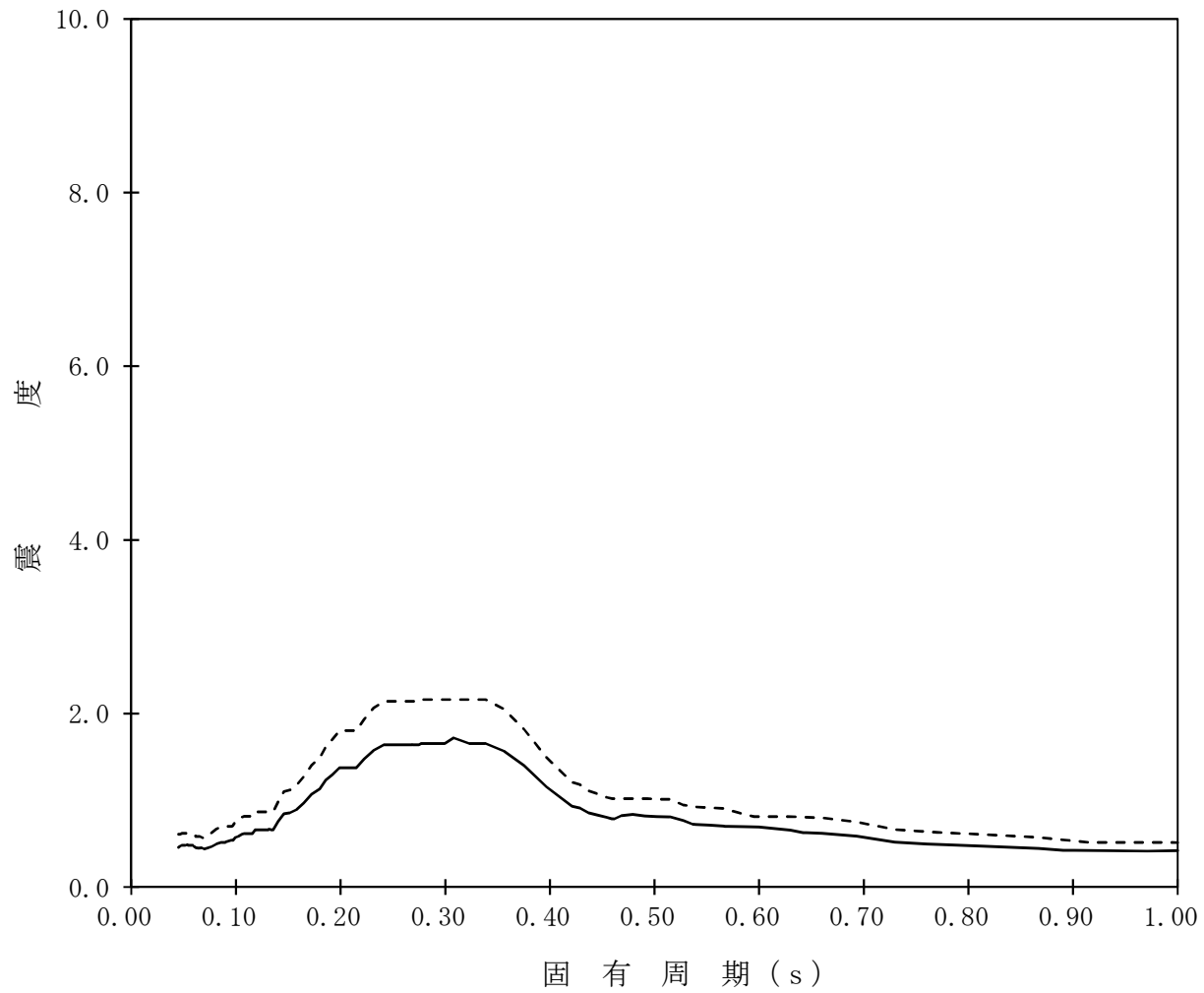


表4. 2-1(2) 床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (1/4)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	水平方向	1	49.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 81
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 82
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 83
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 84
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 85
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 86
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 87
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 88
			2	38.200	0.5	K06 - RB - SdH - RB 89
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 90
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 91
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 92
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 93
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 94
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 95
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 96
			3	31.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 97
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 98
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 99
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 100
2.5	K06 - RB - SdH - RB 101					
3.0	K06 - RB - SdH - RB 102					
4.0	K06 - RB - SdH - RB 103					
5.0	K06 - RB - SdH - RB 104					
4	23.500	0.5	K06 - RB - SdH - RB 105			
		1.0	K06 - RB - SdH - RB 106			
		1.5	K06 - RB - SdH - RB 107			
		2.0	K06 - RB - SdH - RB 108			
		2.5	K06 - RB - SdH - RB 109			
		3.0	K06 - RB - SdH - RB 110			
		4.0	K06 - RB - SdH - RB 111			
		5.0	K06 - RB - SdH - RB 112			
5	18.100	0.5	K06 - RB - SdH - RB 113			
		1.0	K06 - RB - SdH - RB 114			
		1.5	K06 - RB - SdH - RB 115			
		2.0	K06 - RB - SdH - RB 116			
		2.5	K06 - RB - SdH - RB 117			
		3.0	K06 - RB - SdH - RB 118			
		4.0	K06 - RB - SdH - RB 119			
		5.0	K06 - RB - SdH - RB 120			

K6 -2-1-7 R0

表4. 2-1(2) 床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (2/4)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	水平方向	6	12.300	0.5	K06 - RB - SdH - RB 121
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 122
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 123
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 124
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 125
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 126
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 127
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 128
			7	4.800	0.5	K06 - RB - SdH - RB 129
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 130
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 131
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 132
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 133
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 134
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 135
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 136
			8	-1.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 137
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 138
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 139
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 140
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 141
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 142
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 143
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 144
			9	-8.200	0.5	K06 - RB - SdH - RB 145
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 146
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 147
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 148
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 149
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 150
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 151
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 152
			10	-13.700	0.5	K06 - RB - SdH - RB 153
					1.0	K06 - RB - SdH - RB 154
					1.5	K06 - RB - SdH - RB 155
					2.0	K06 - RB - SdH - RB 156
					2.5	K06 - RB - SdH - RB 157
					3.0	K06 - RB - SdH - RB 158
					4.0	K06 - RB - SdH - RB 159
					5.0	K06 - RB - SdH - RB 160

表4. 2-1(2) 床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (3/4)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	鉛直方向	1	49.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 81
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 82
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 83
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 84
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 85
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 86
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 87
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 88
			2	38.200	0.5	K06 - RB - SdV - RB 89
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 90
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 91
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 92
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 93
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 94
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 95
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 96
			3	31.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 97
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 98
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 99
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 100
2.5	K06 - RB - SdV - RB 101					
3.0	K06 - RB - SdV - RB 102					
4.0	K06 - RB - SdV - RB 103					
5.0	K06 - RB - SdV - RB 104					
4	23.500	0.5	K06 - RB - SdV - RB 105			
		1.0	K06 - RB - SdV - RB 106			
		1.5	K06 - RB - SdV - RB 107			
		2.0	K06 - RB - SdV - RB 108			
		2.5	K06 - RB - SdV - RB 109			
		3.0	K06 - RB - SdV - RB 110			
		4.0	K06 - RB - SdV - RB 111			
		5.0	K06 - RB - SdV - RB 112			
5	18.100	0.5	K06 - RB - SdV - RB 113			
		1.0	K06 - RB - SdV - RB 114			
		1.5	K06 - RB - SdV - RB 115			
		2.0	K06 - RB - SdV - RB 116			
		2.5	K06 - RB - SdV - RB 117			
		3.0	K06 - RB - SdV - RB 118			
		4.0	K06 - RB - SdV - RB 119			
		5.0	K06 - RB - SdV - RB 120			

表4. 2-1(2) 床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉建屋) (4/4)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉建屋	鉛直方向	6	12.300	0.5	K06 - RB - SdV - RB 121
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 122
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 123
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 124
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 125
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 126
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 127
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 128
			7	4.800	0.5	K06 - RB - SdV - RB 129
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 130
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 131
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 132
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 133
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 134
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 135
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 136
			8	-1.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 137
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 138
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 139
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 140
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 141
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 142
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 143
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 144
			9	-8.200	0.5	K06 - RB - SdV - RB 145
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 146
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 147
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 148
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 149
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 150
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 151
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 152
			10	-13.700	0.5	K06 - RB - SdV - RB 153
					1.0	K06 - RB - SdV - RB 154
					1.5	K06 - RB - SdV - RB 155
					2.0	K06 - RB - SdV - RB 156
					2.5	K06 - RB - SdV - RB 157
					3.0	K06 - RB - SdV - RB 158
					4.0	K06 - RB - SdV - RB 159
					5.0	K06 - RB - SdV - RB 160

【K06-RB-SdH-RB81】

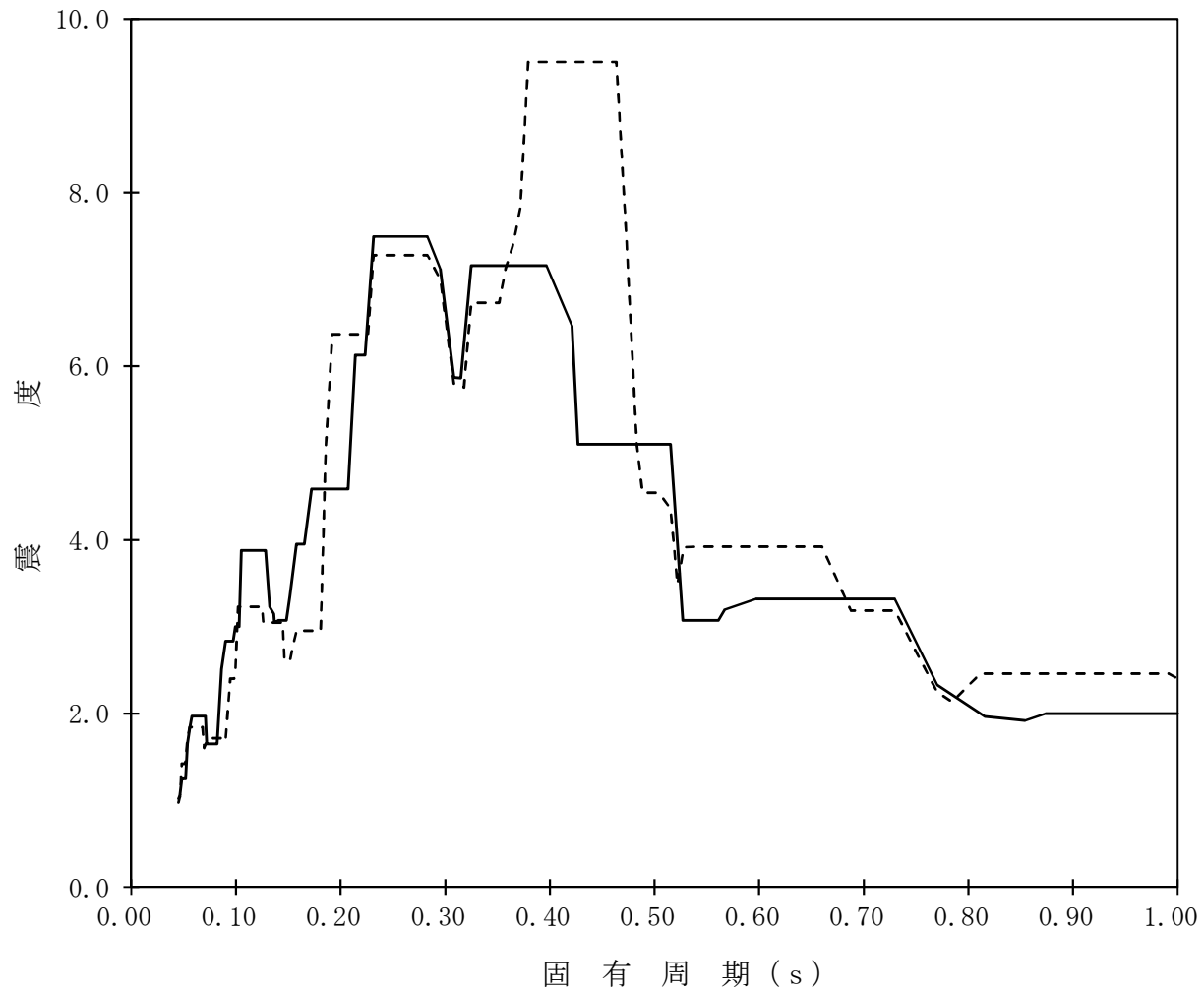
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

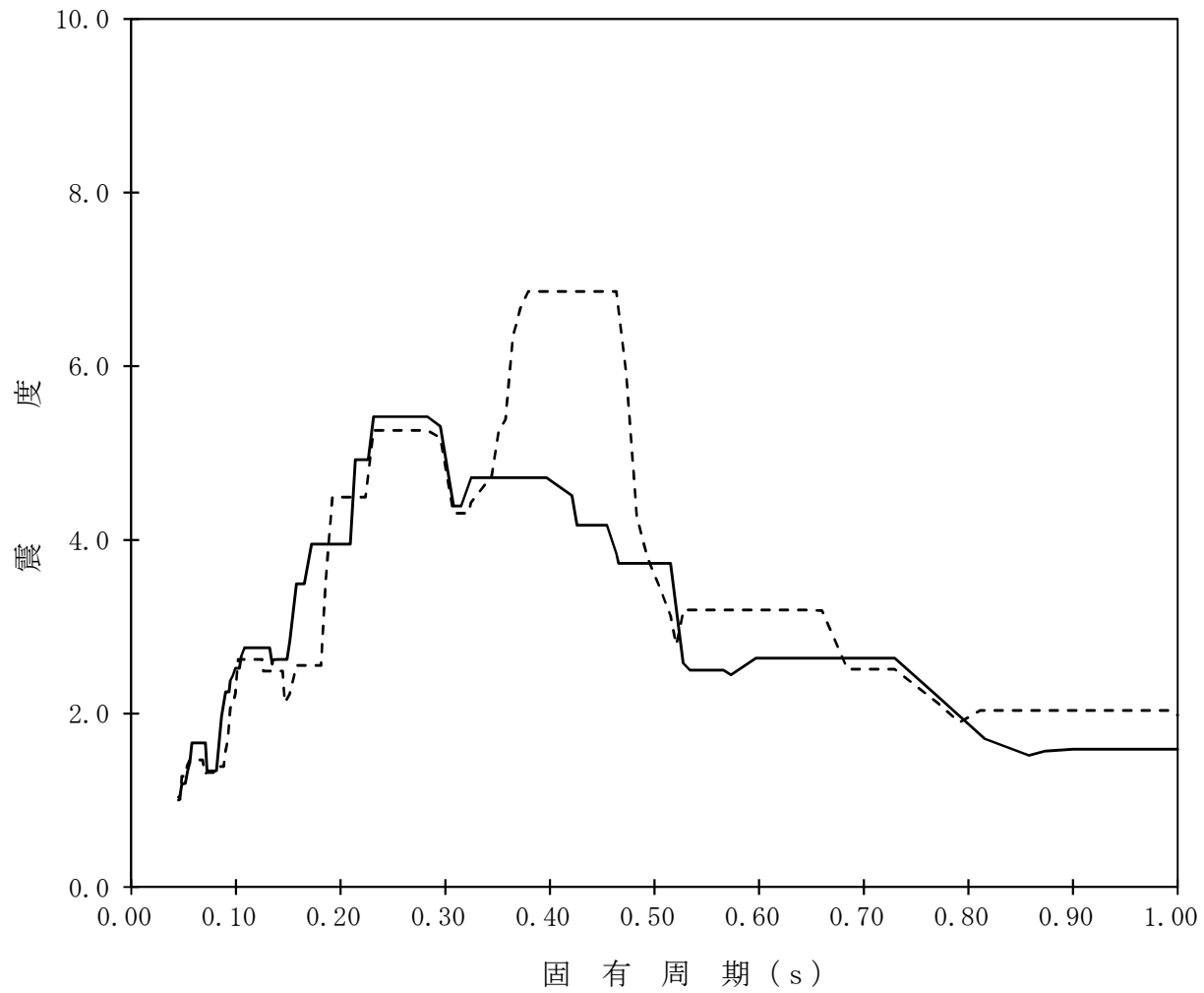
- - - - - EW方向



【K06-RB-SdH-RB82】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB83】

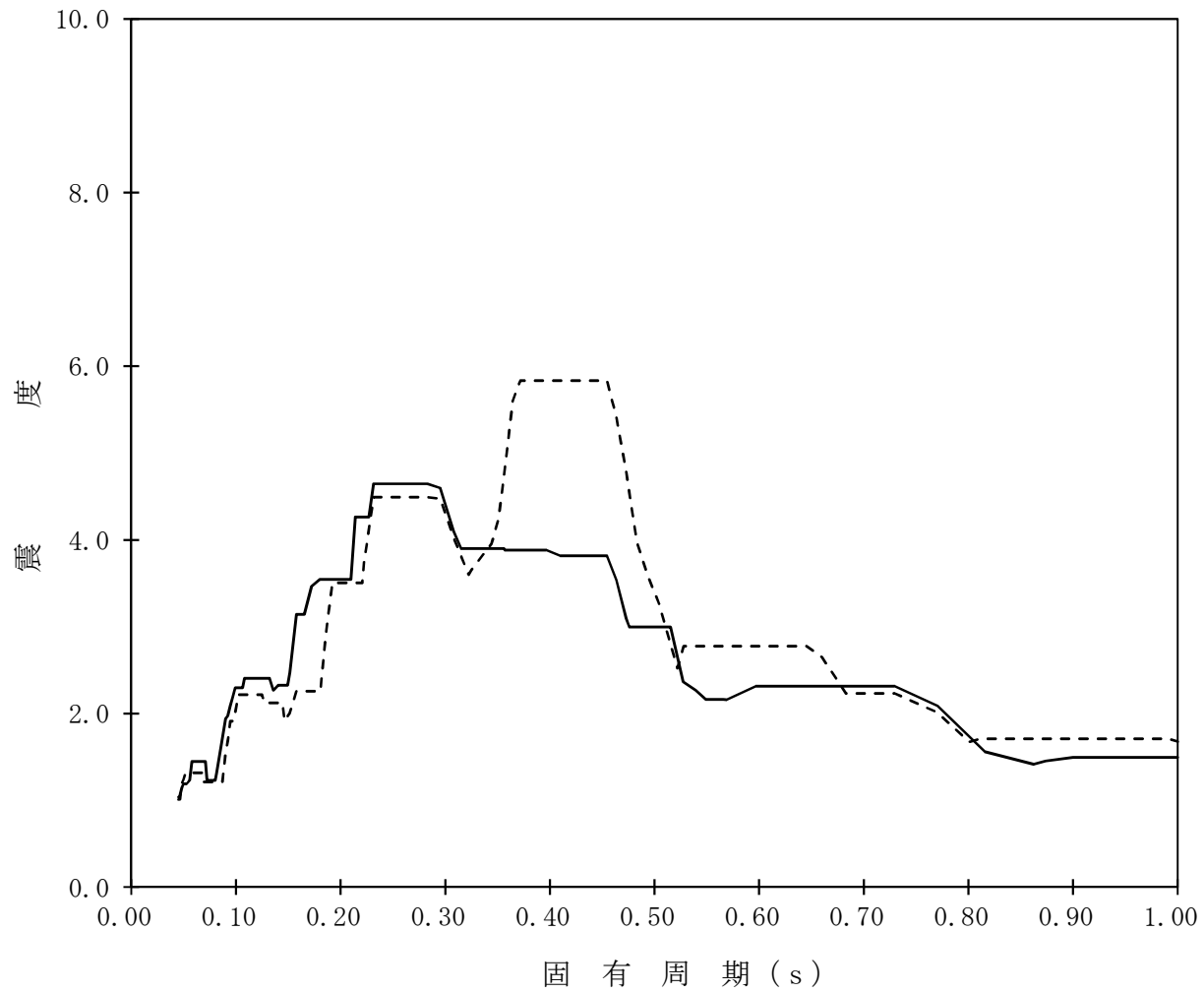
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB84】

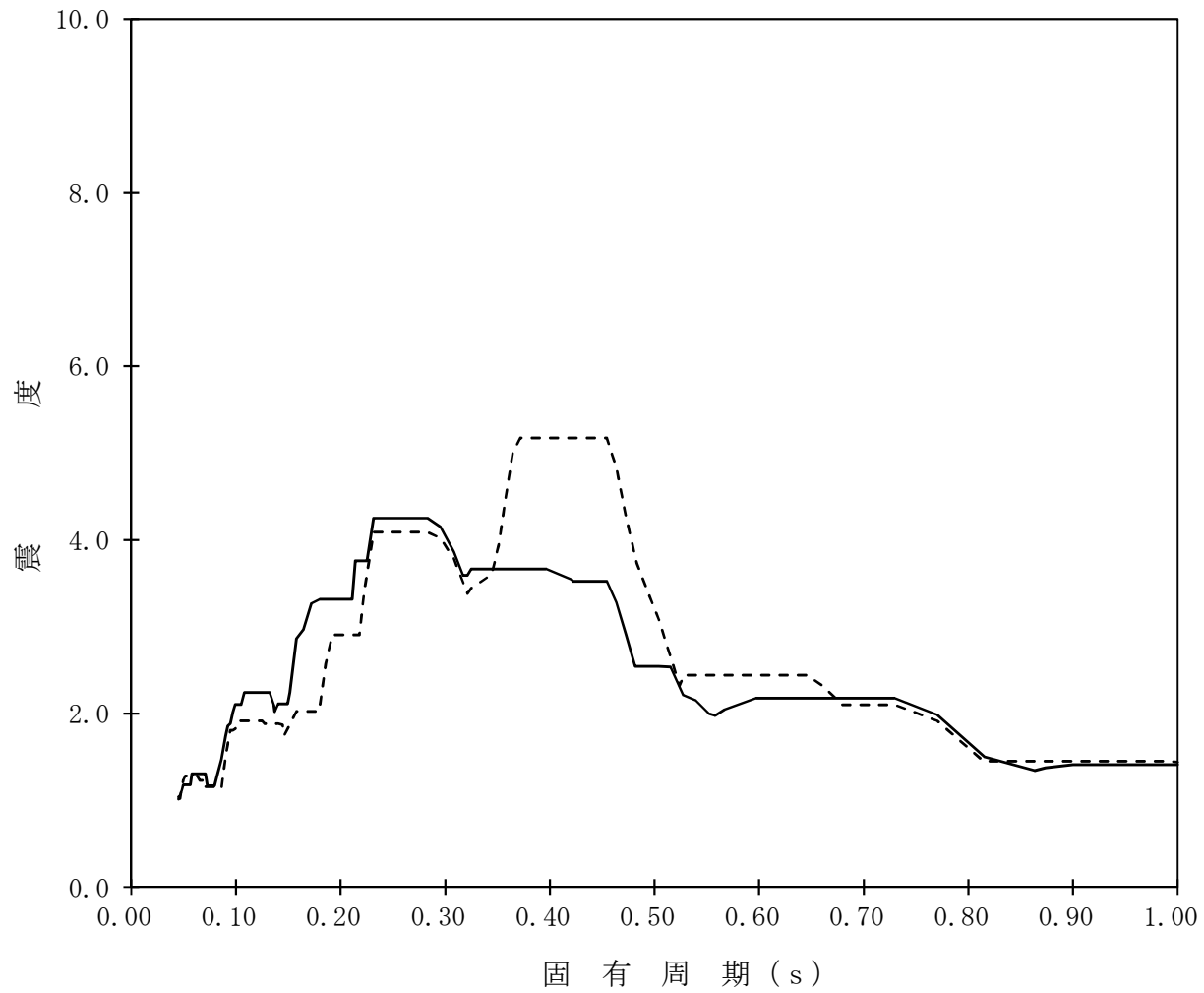
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

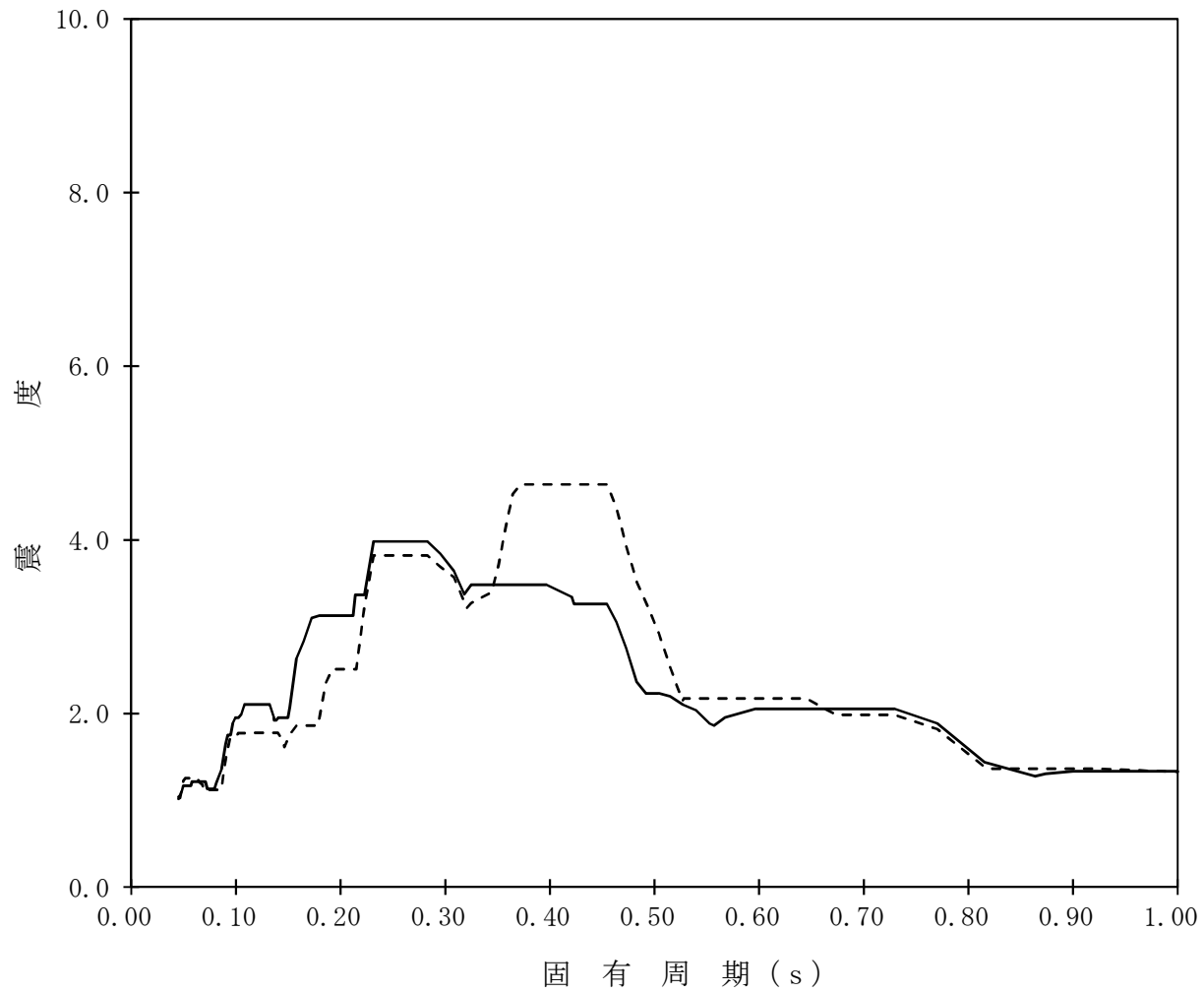
- - - - - EW方向



【K06-RB-SdH-RB85】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向

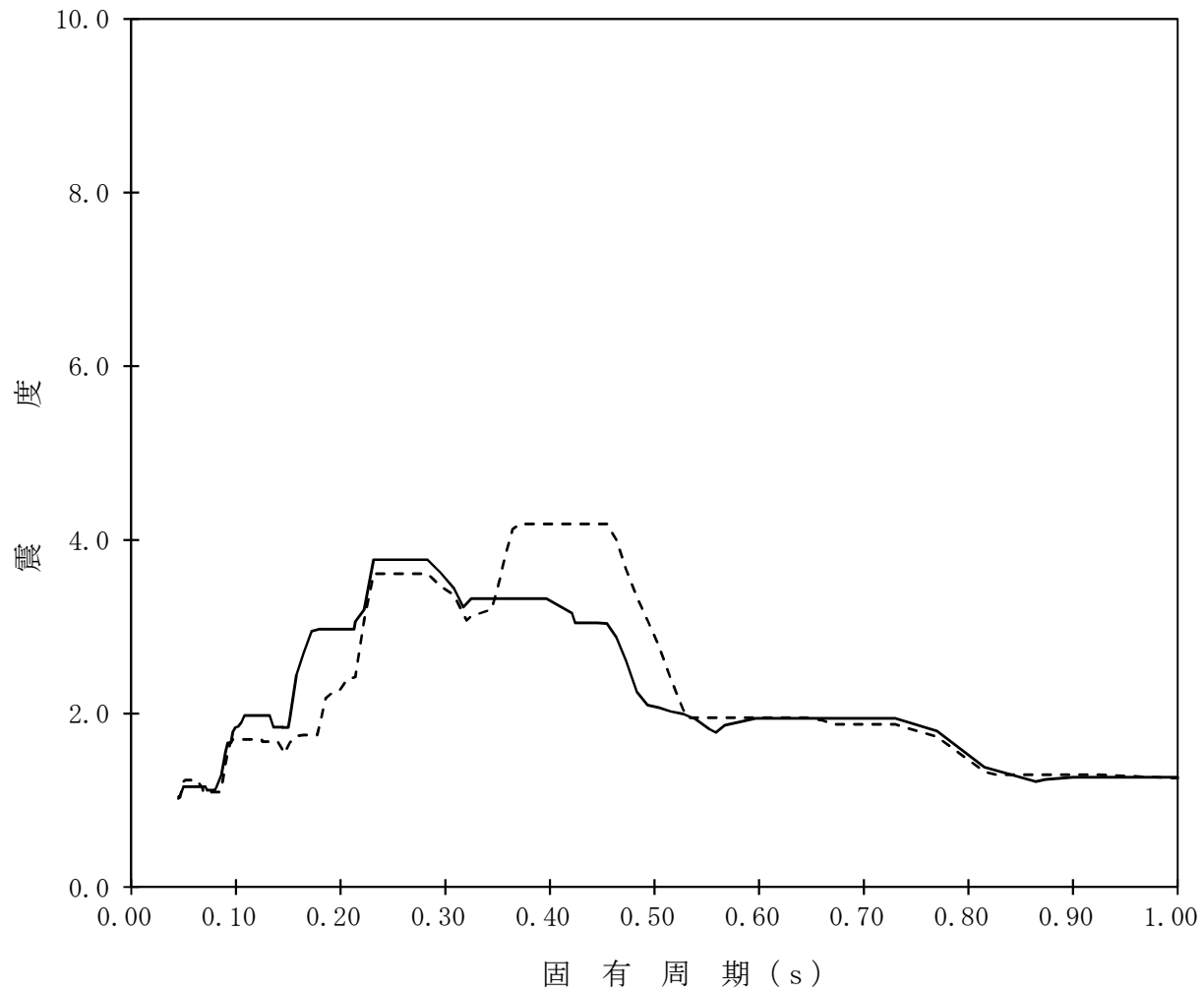


【K06-RB-SdH-RB86】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

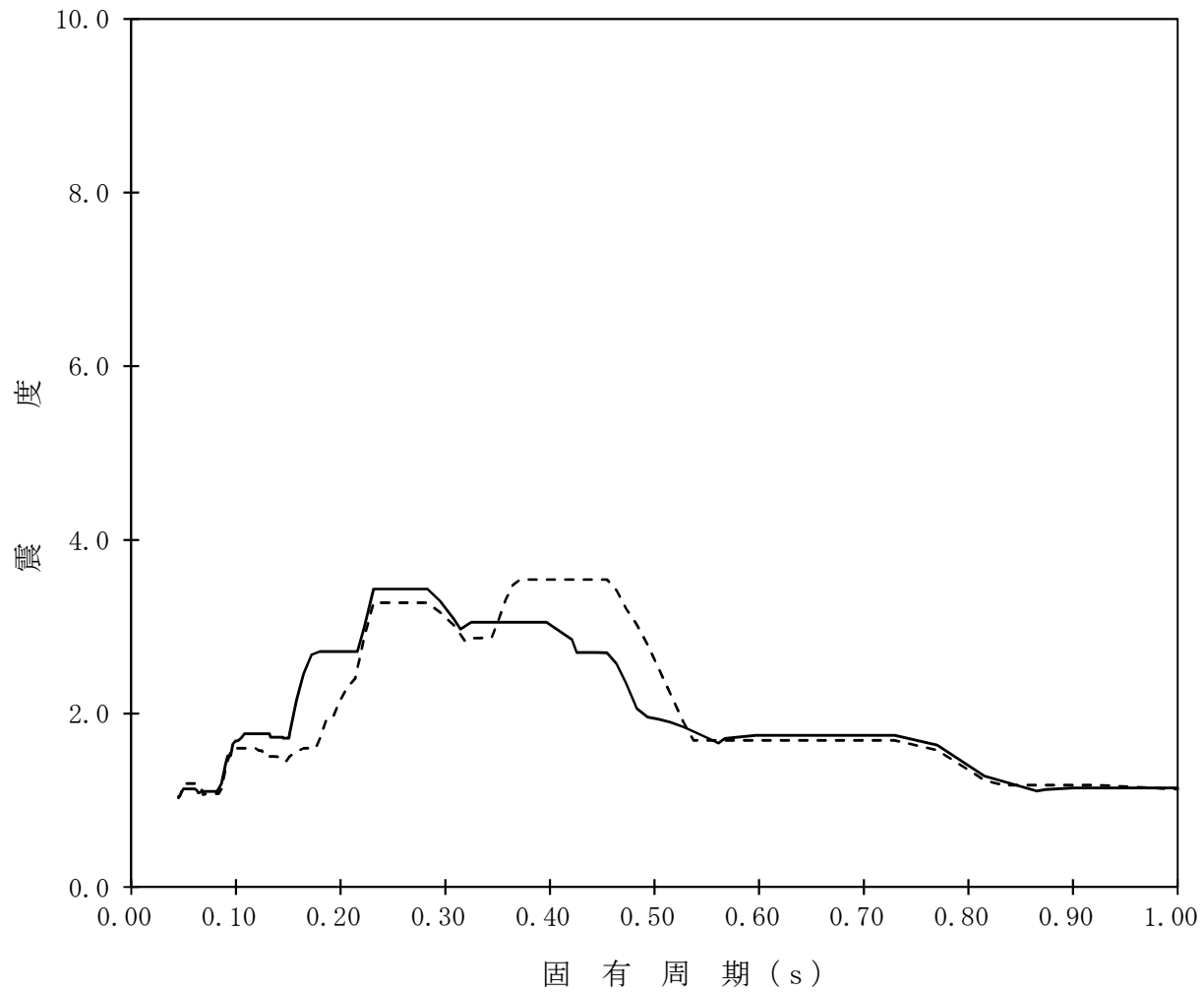
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB87】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

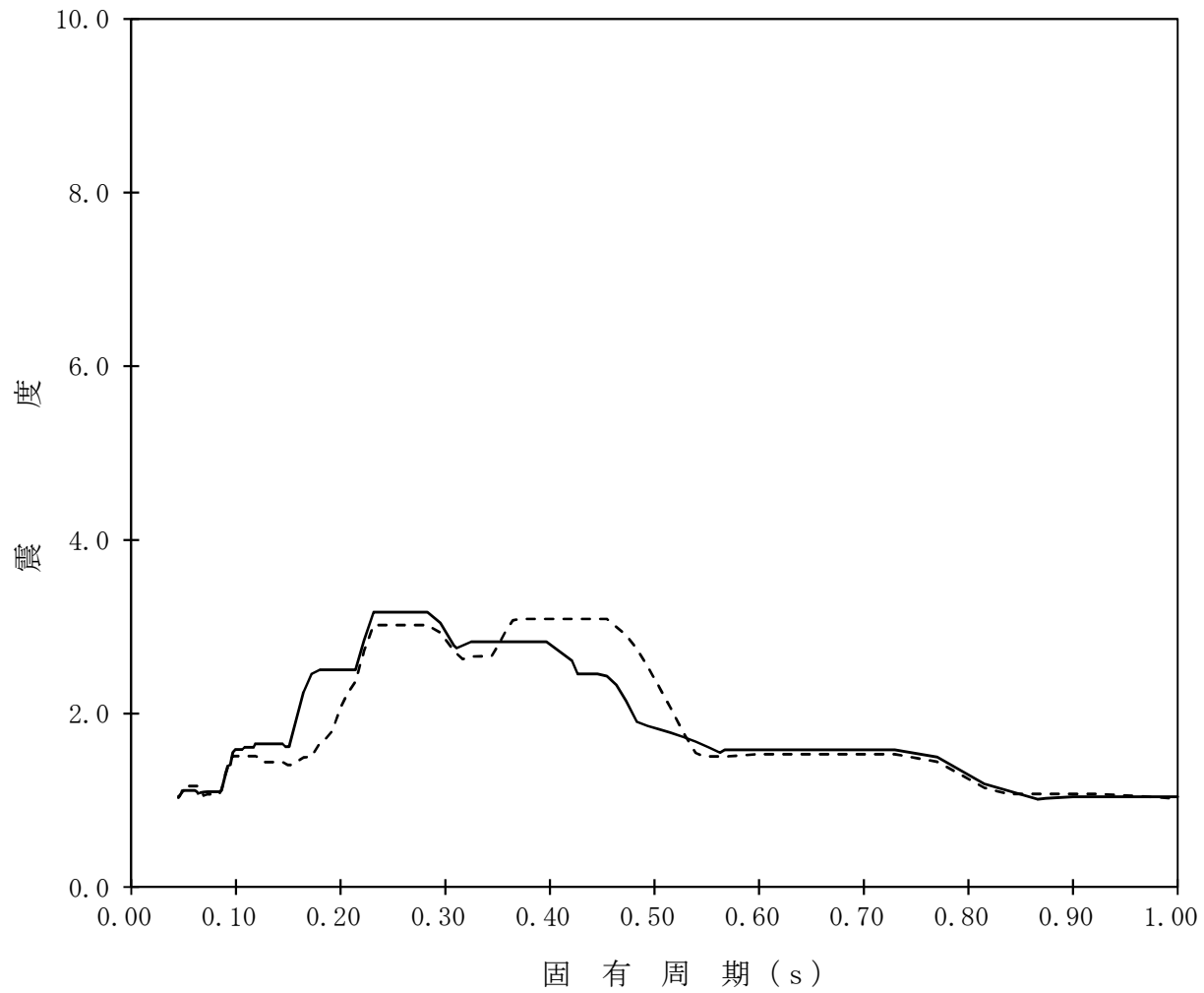
標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB88】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

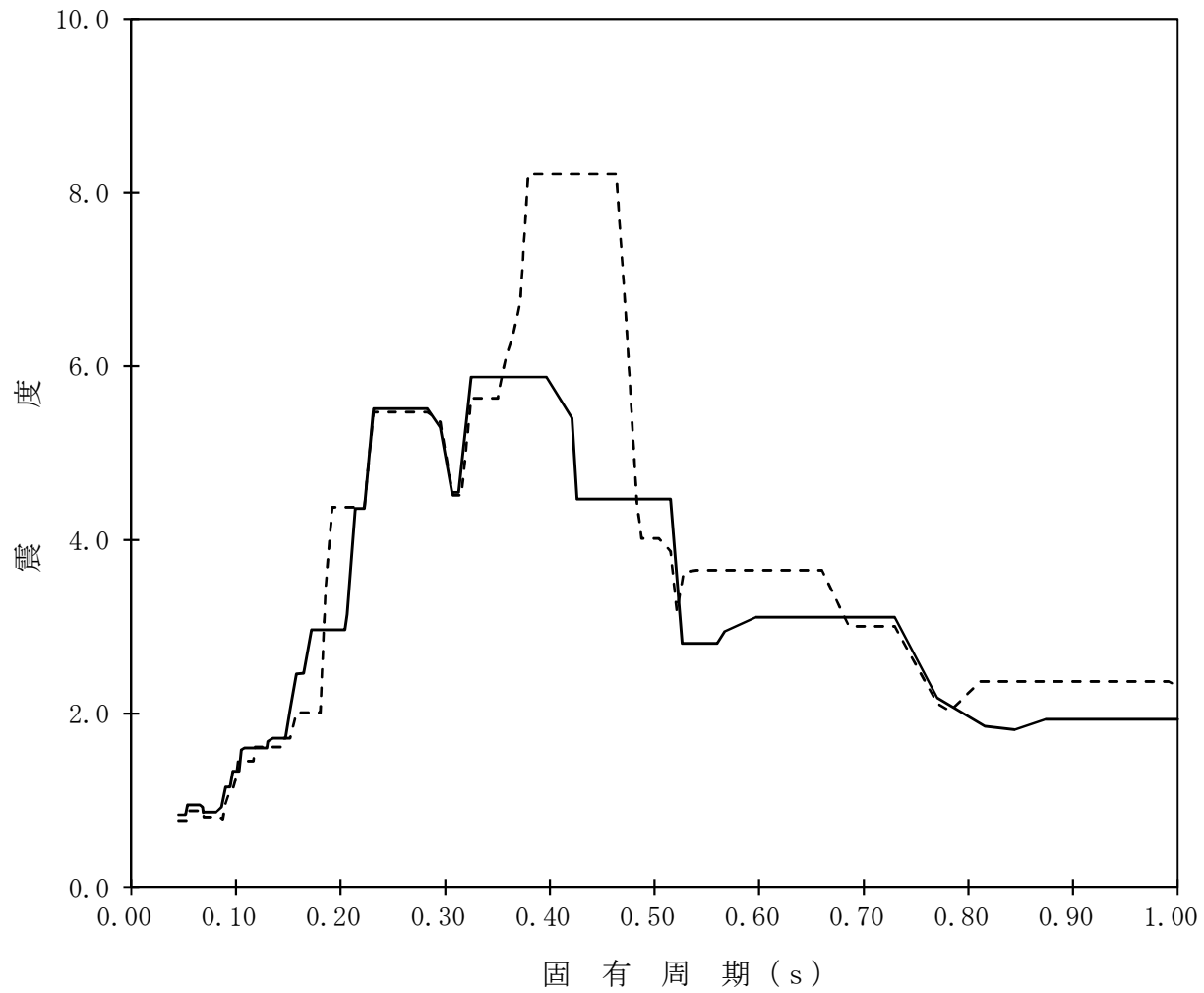
標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB89】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 38.200m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB90】

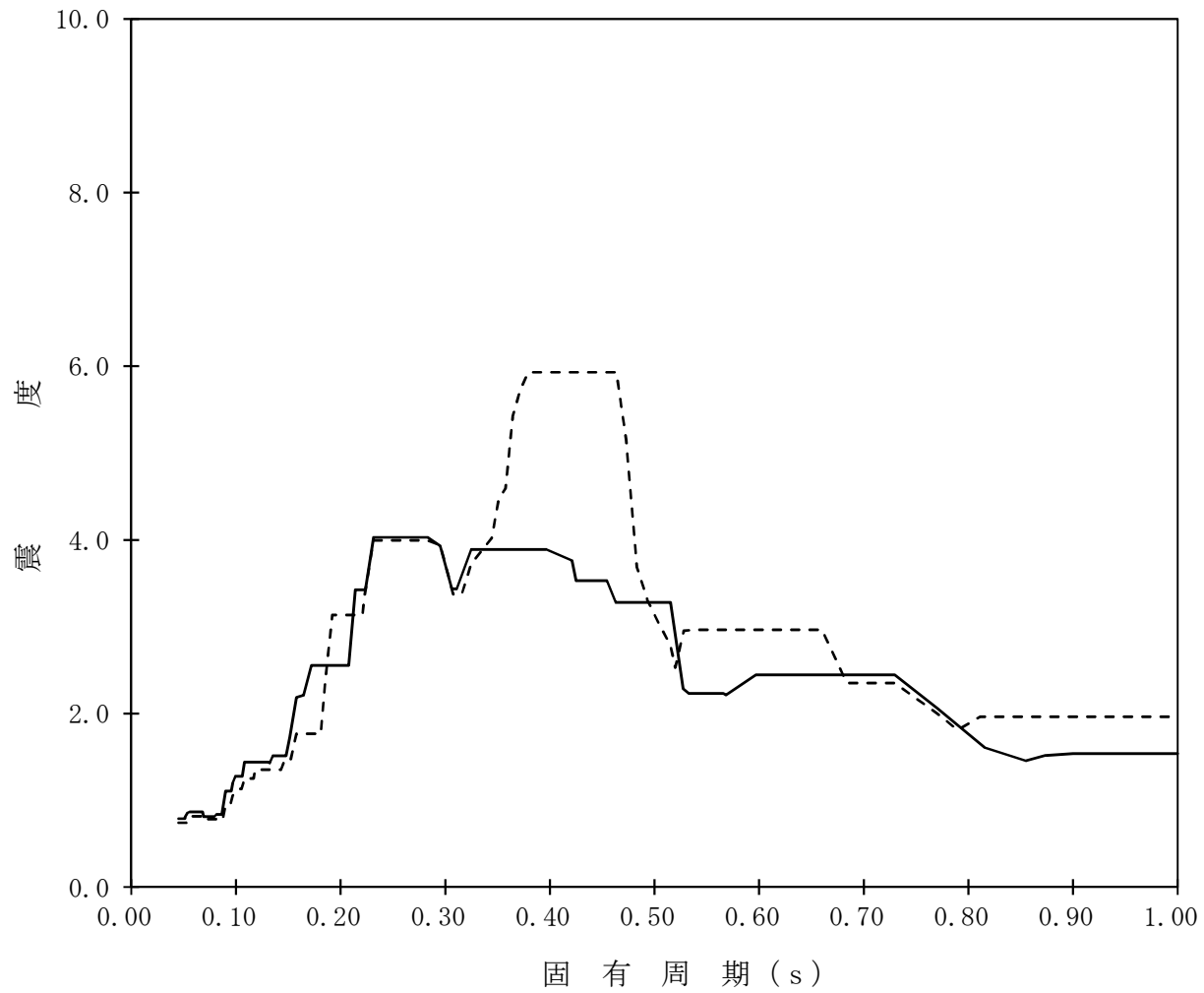
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB91】

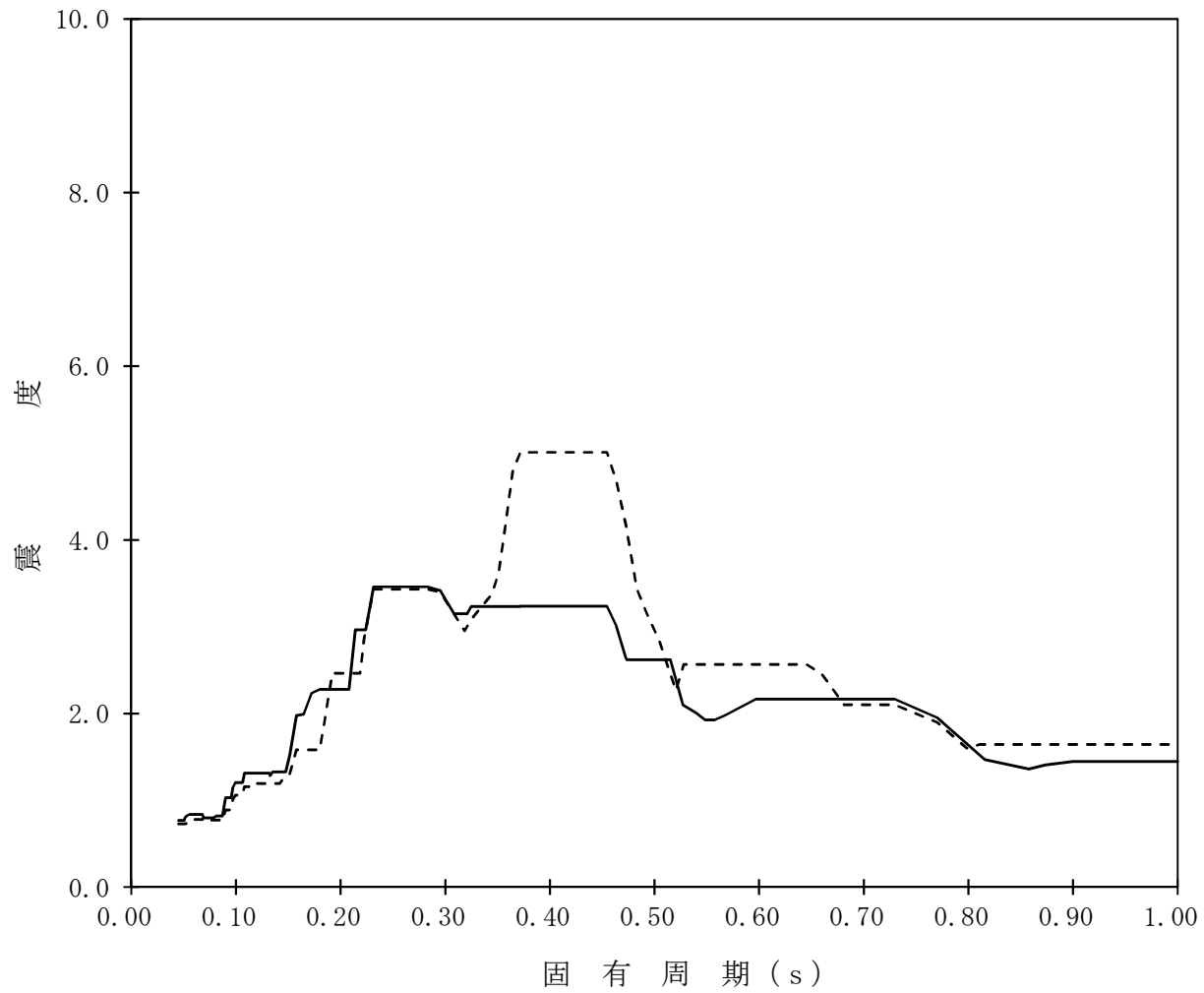
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB92】

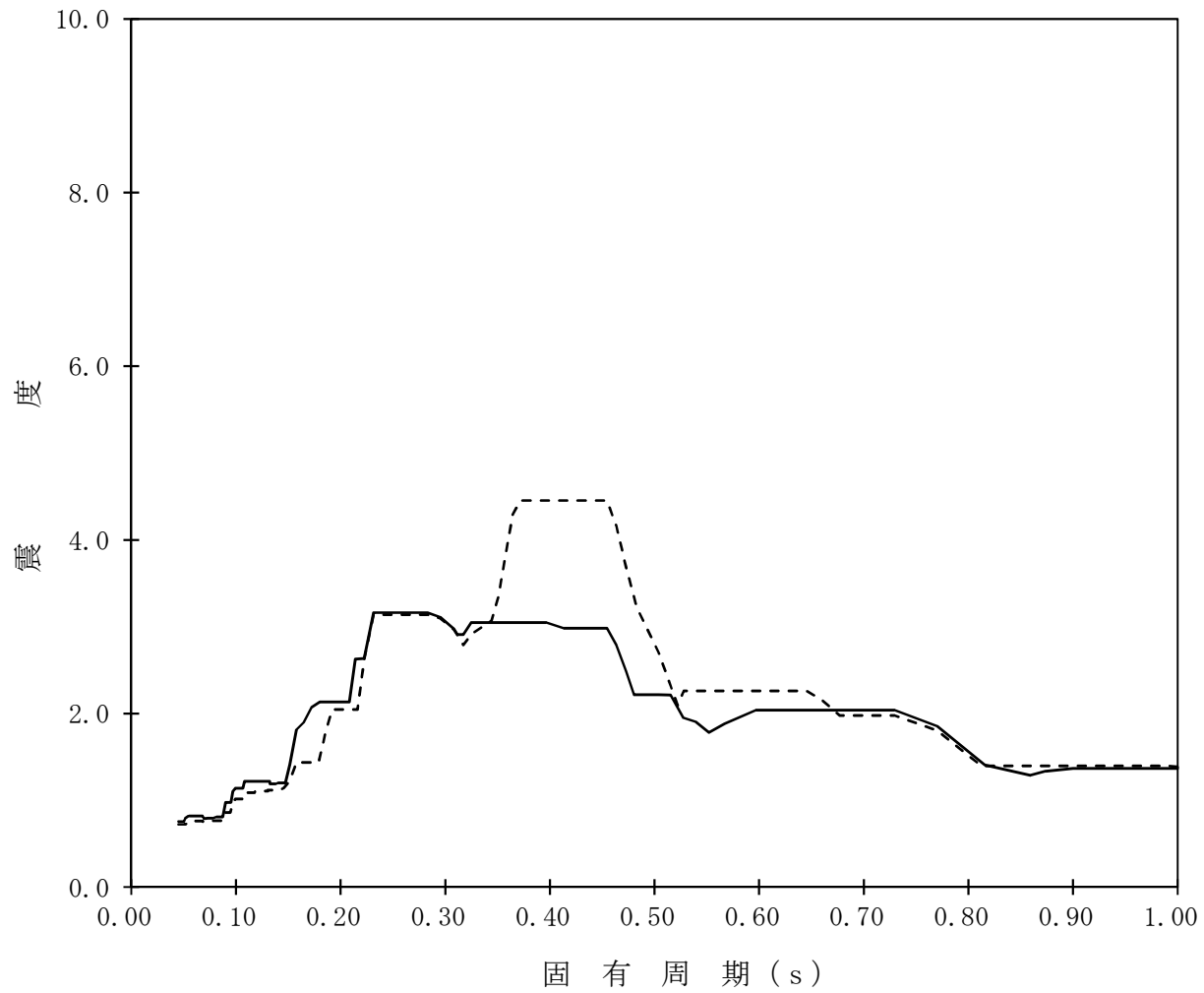
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向

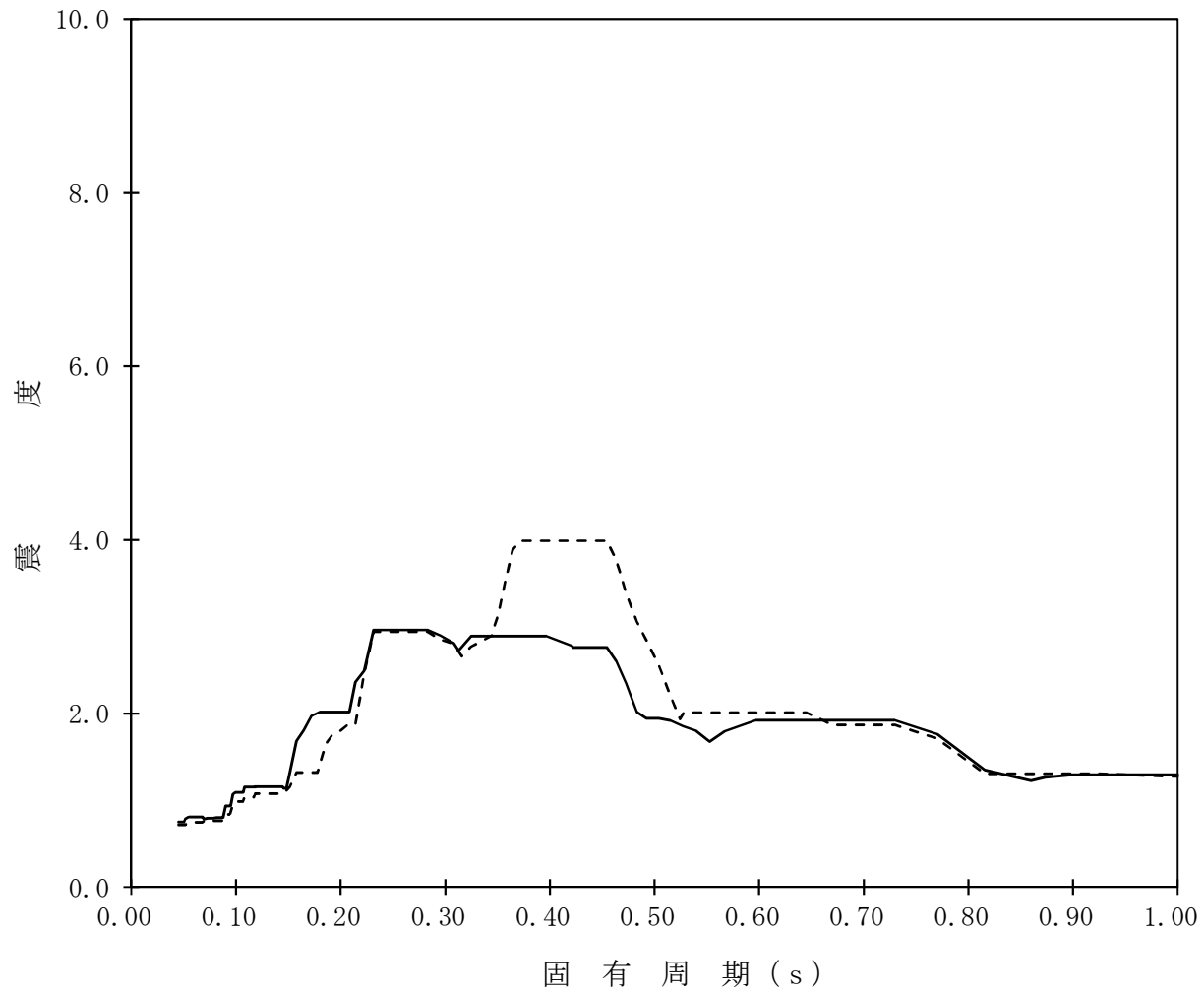


【K06-RB-SdH-RB93】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 38.200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向
----- EW方向

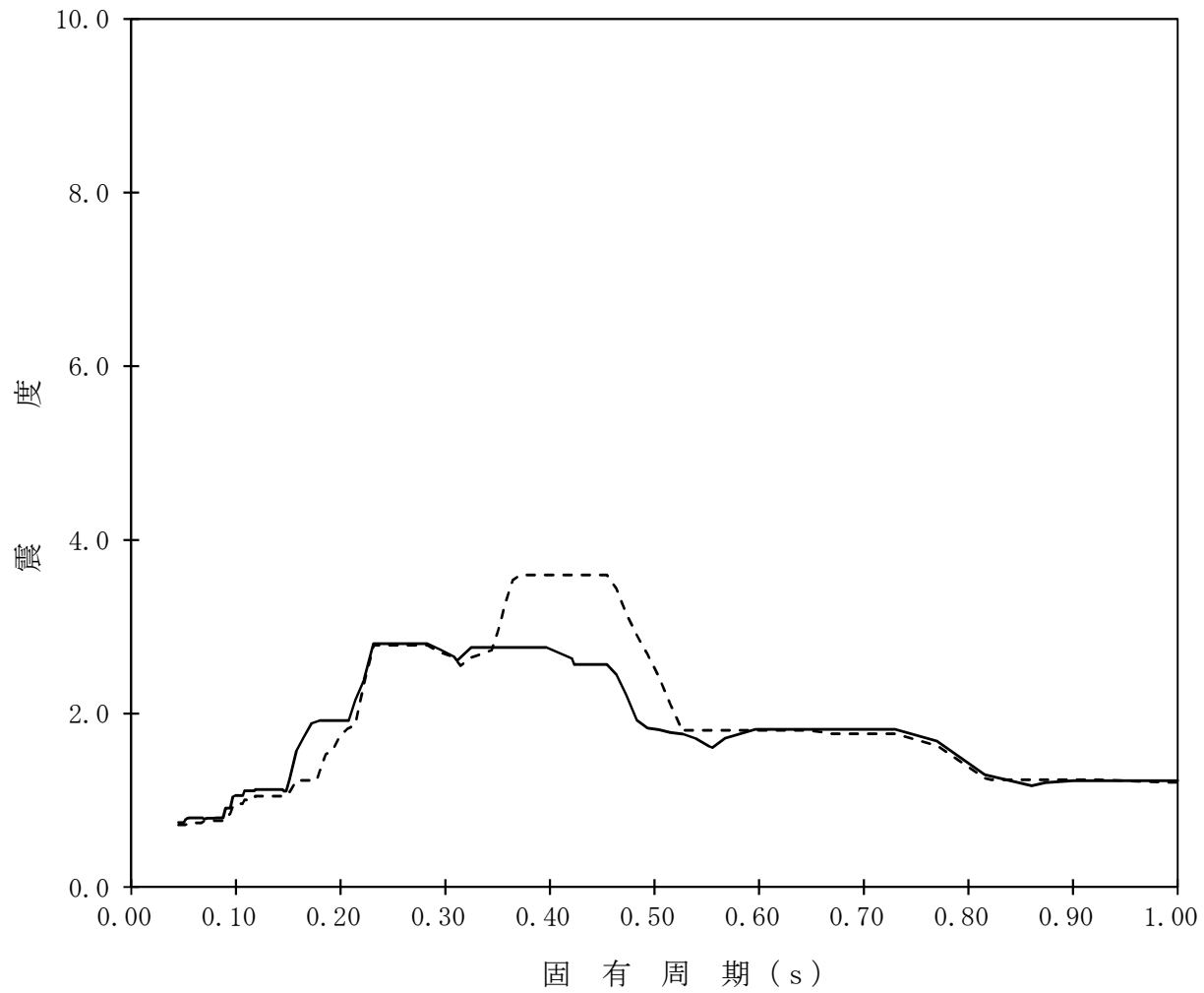


【K06-RB-SdH-RB94】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 38.200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB95】

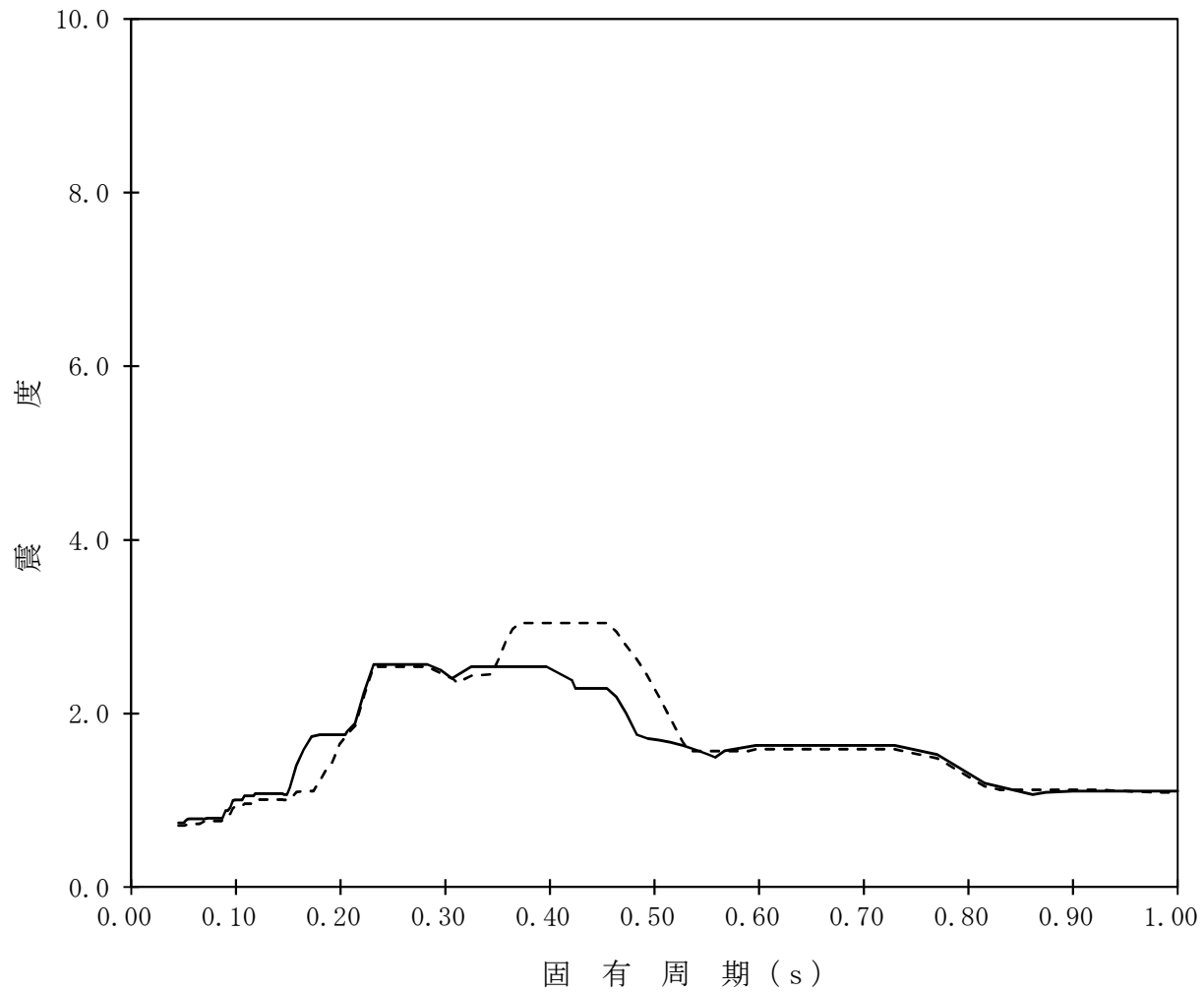
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB96】

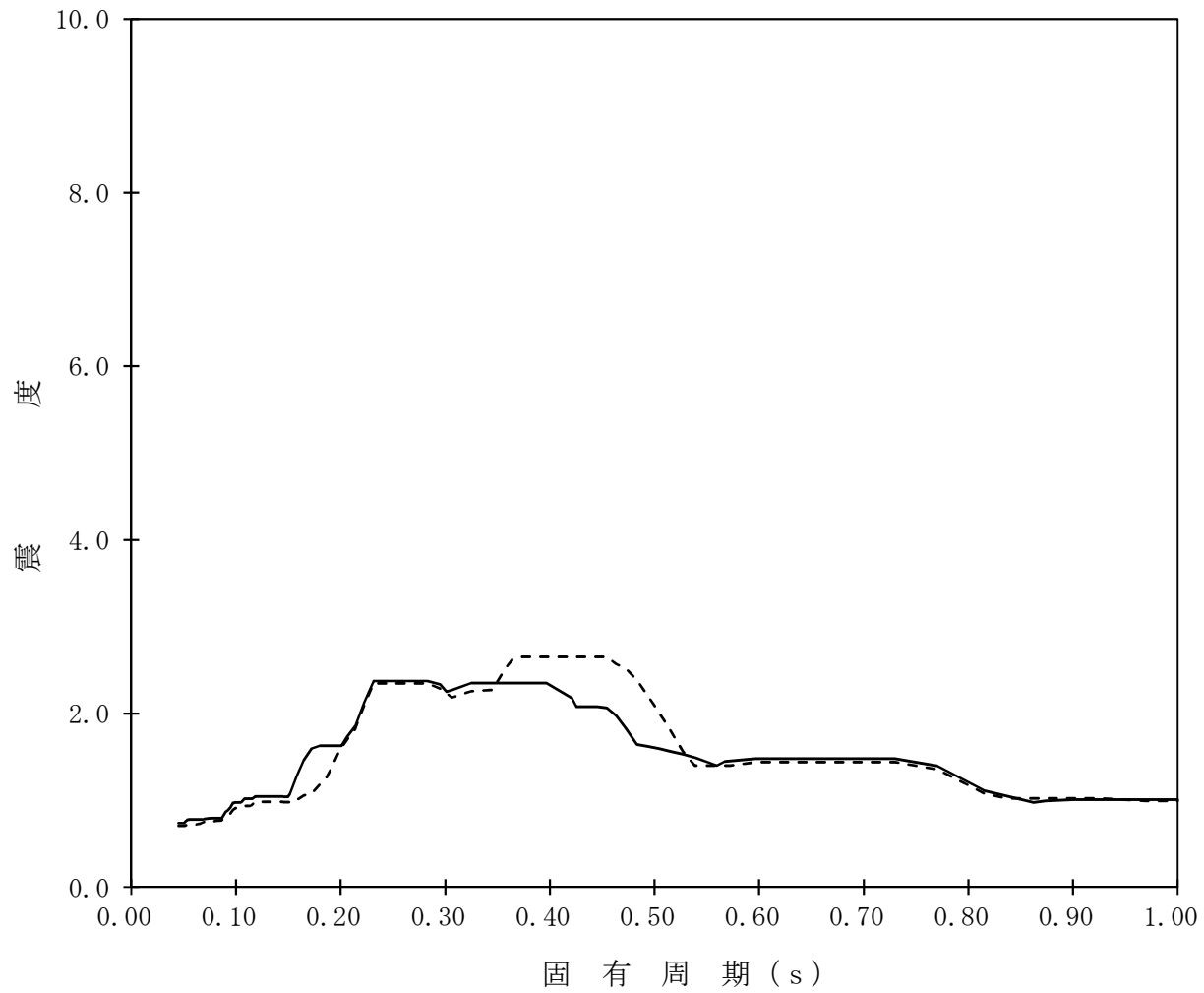
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

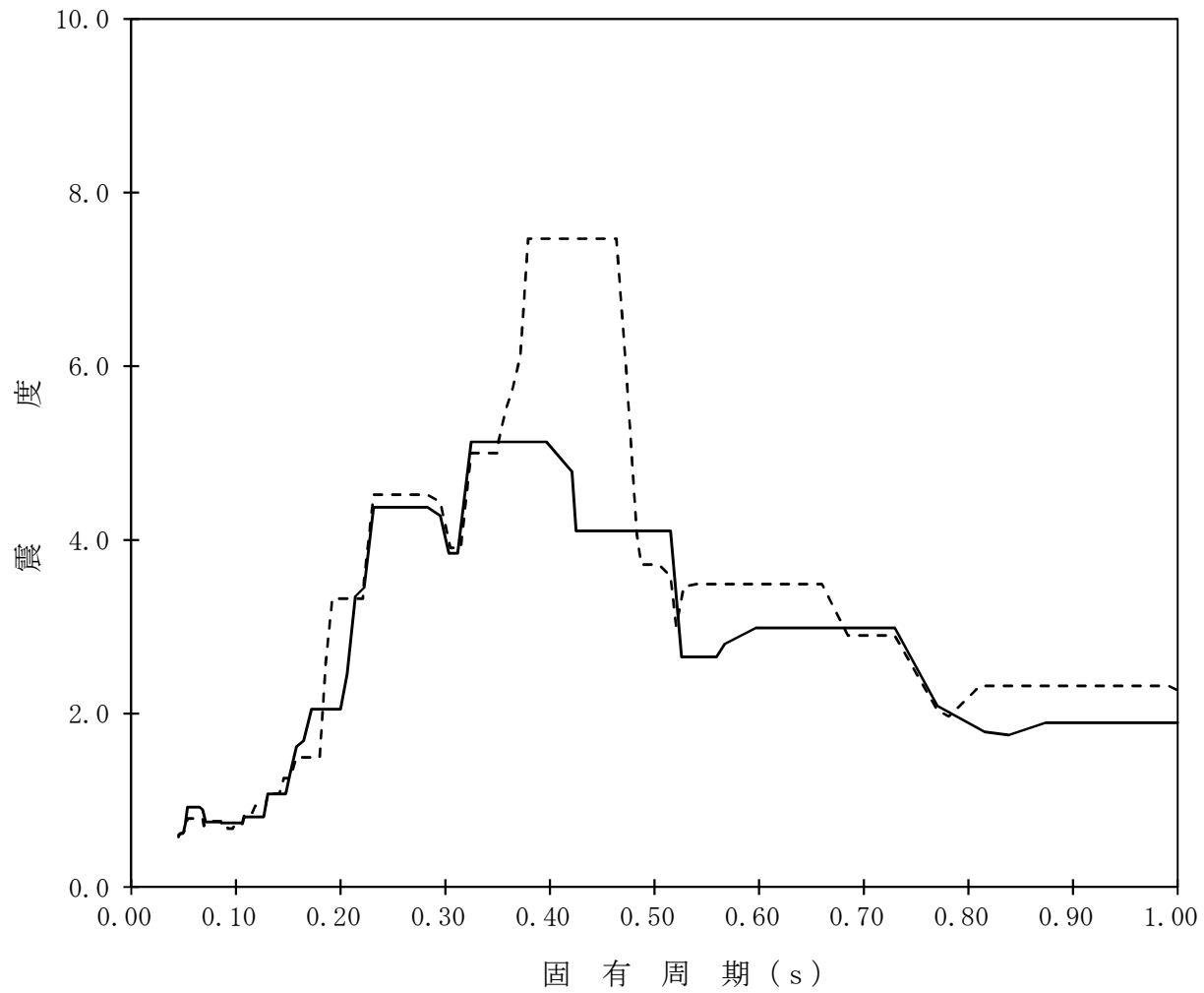
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB97】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

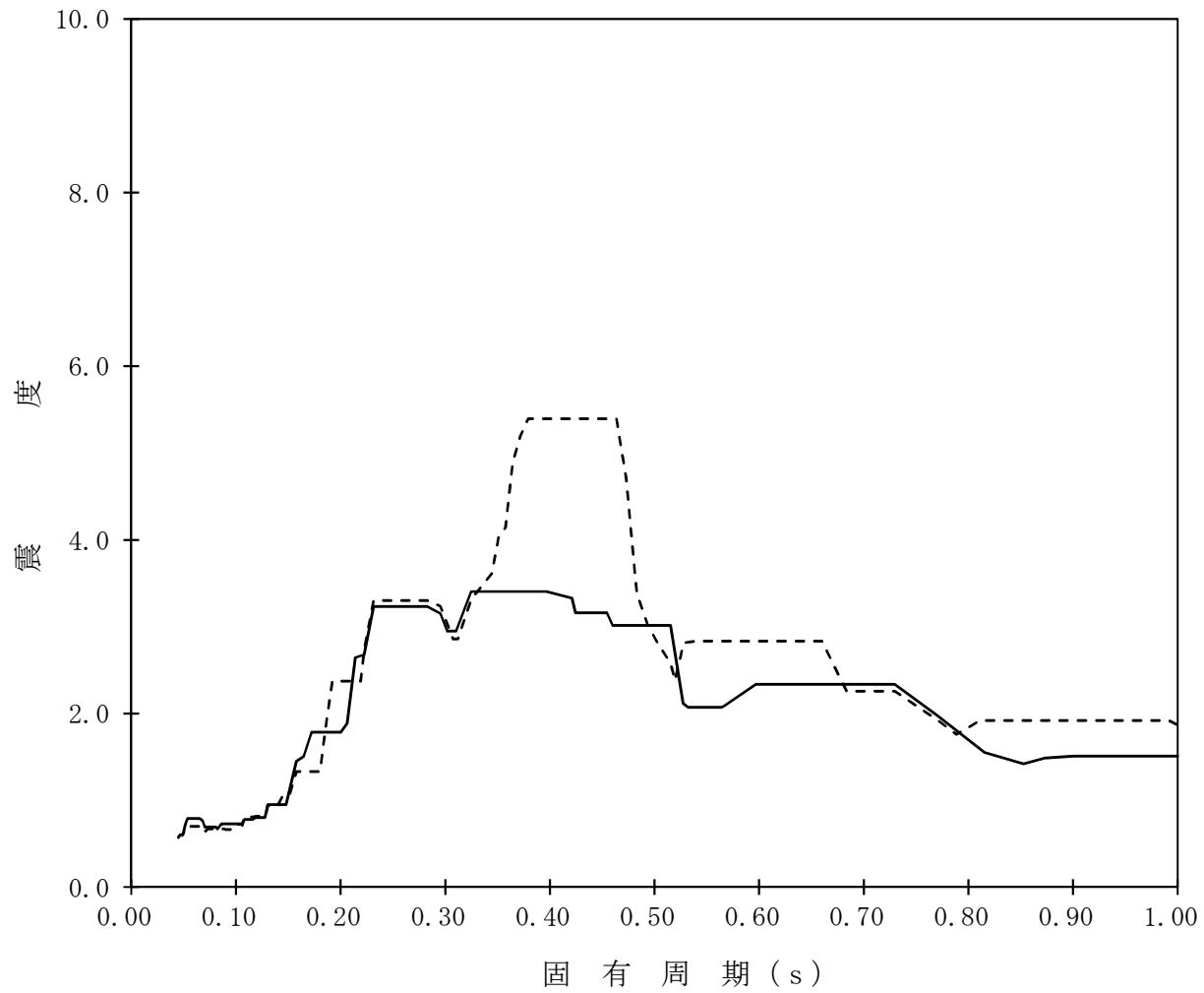
標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB98】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB99】

構造物名：原子炉建屋

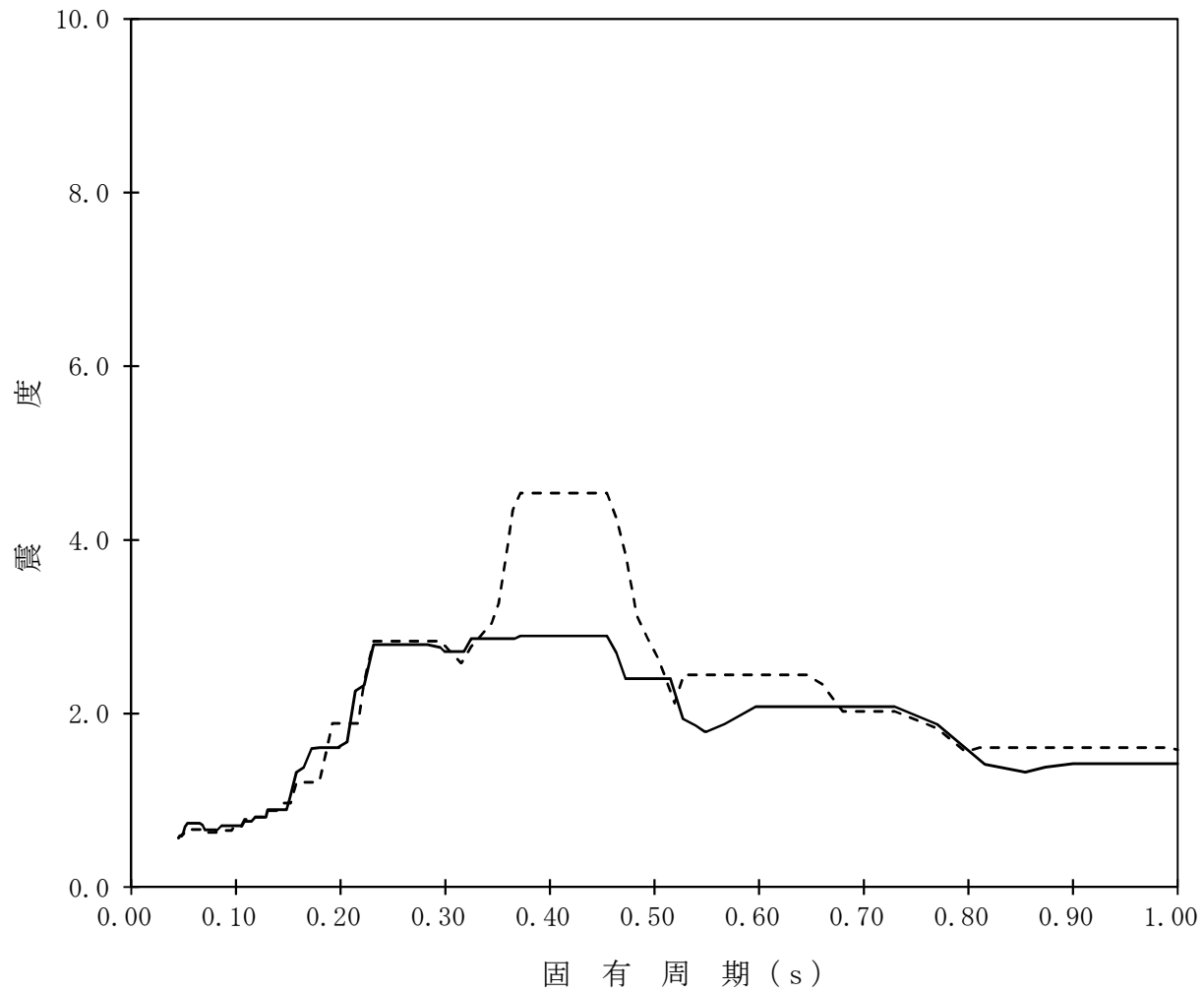
標高：T. M. S. L. 31.700m

—— NS方向

減衰定数：1.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向

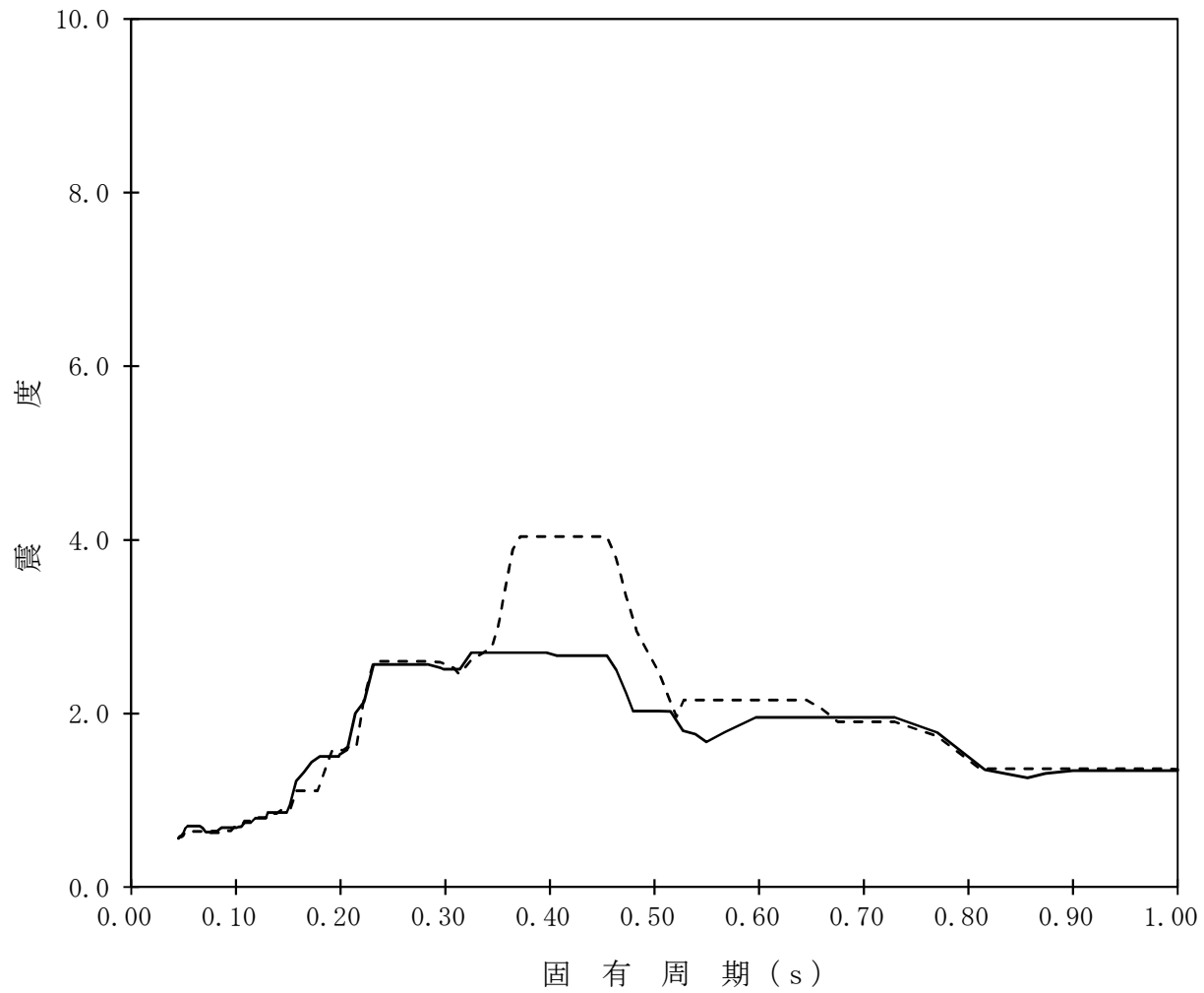


【K06-RB-SdH-RB100】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向
----- EW方向

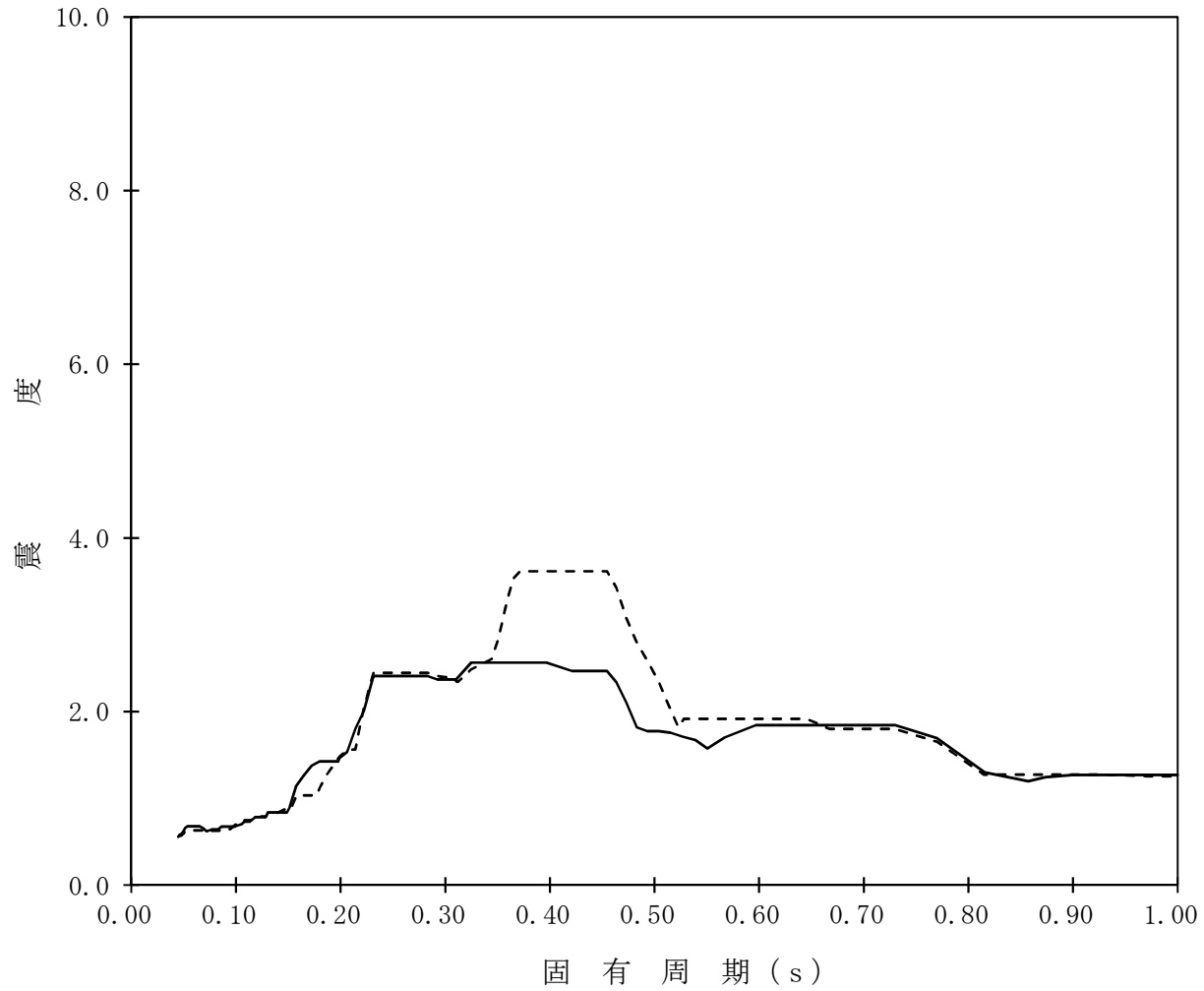


【K06-RB-SdH-RB101】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB102】

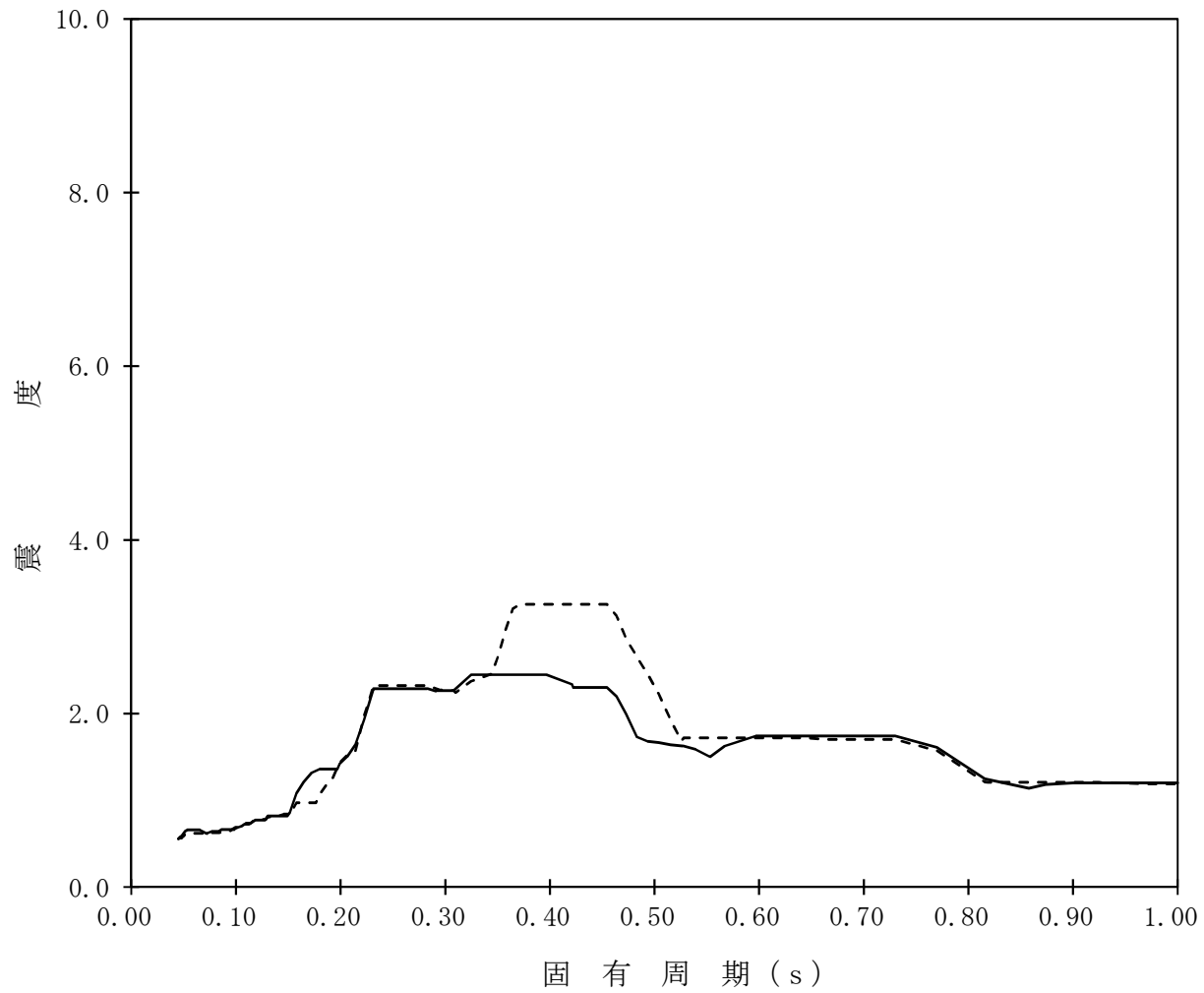
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB103】

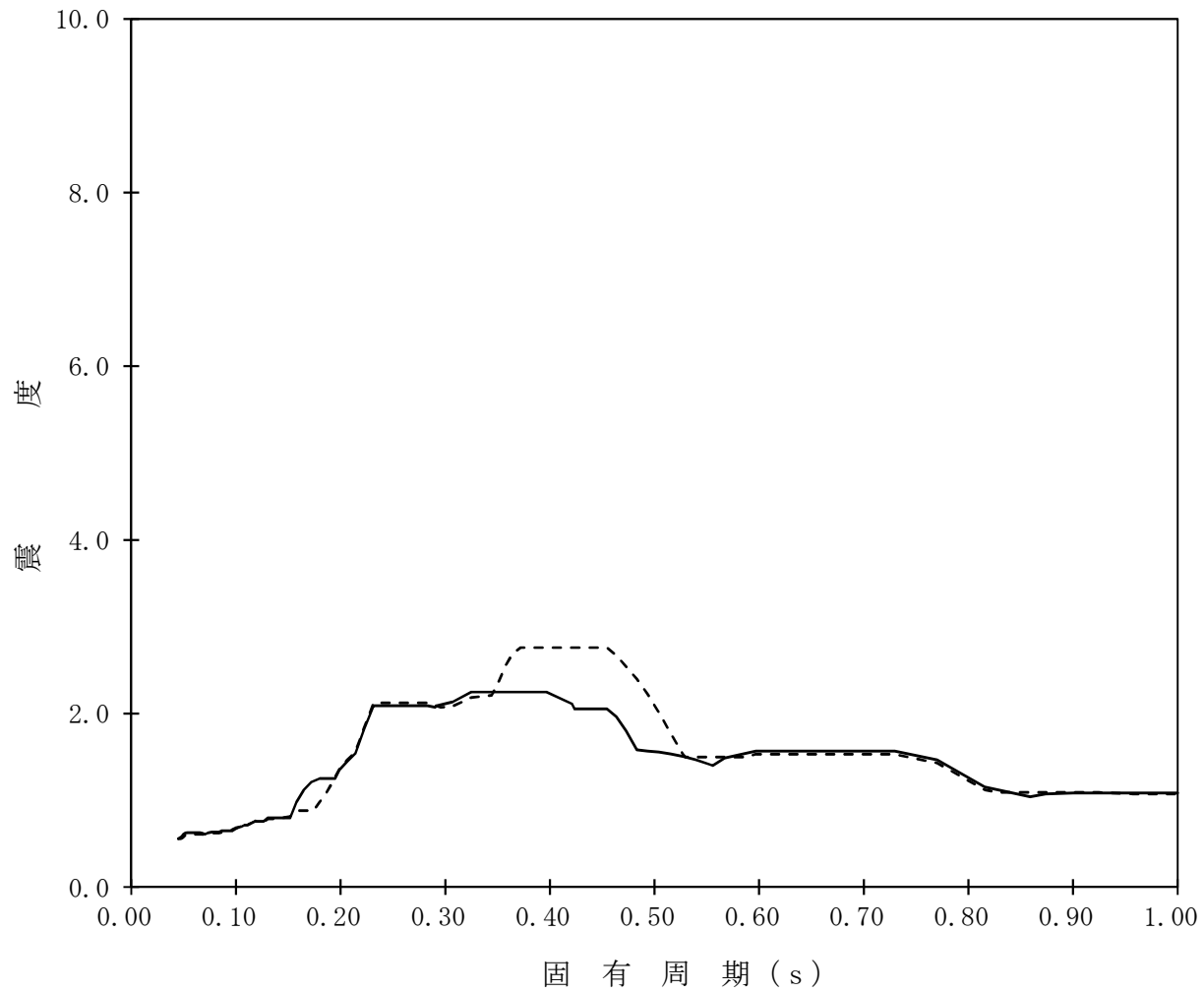
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB104】

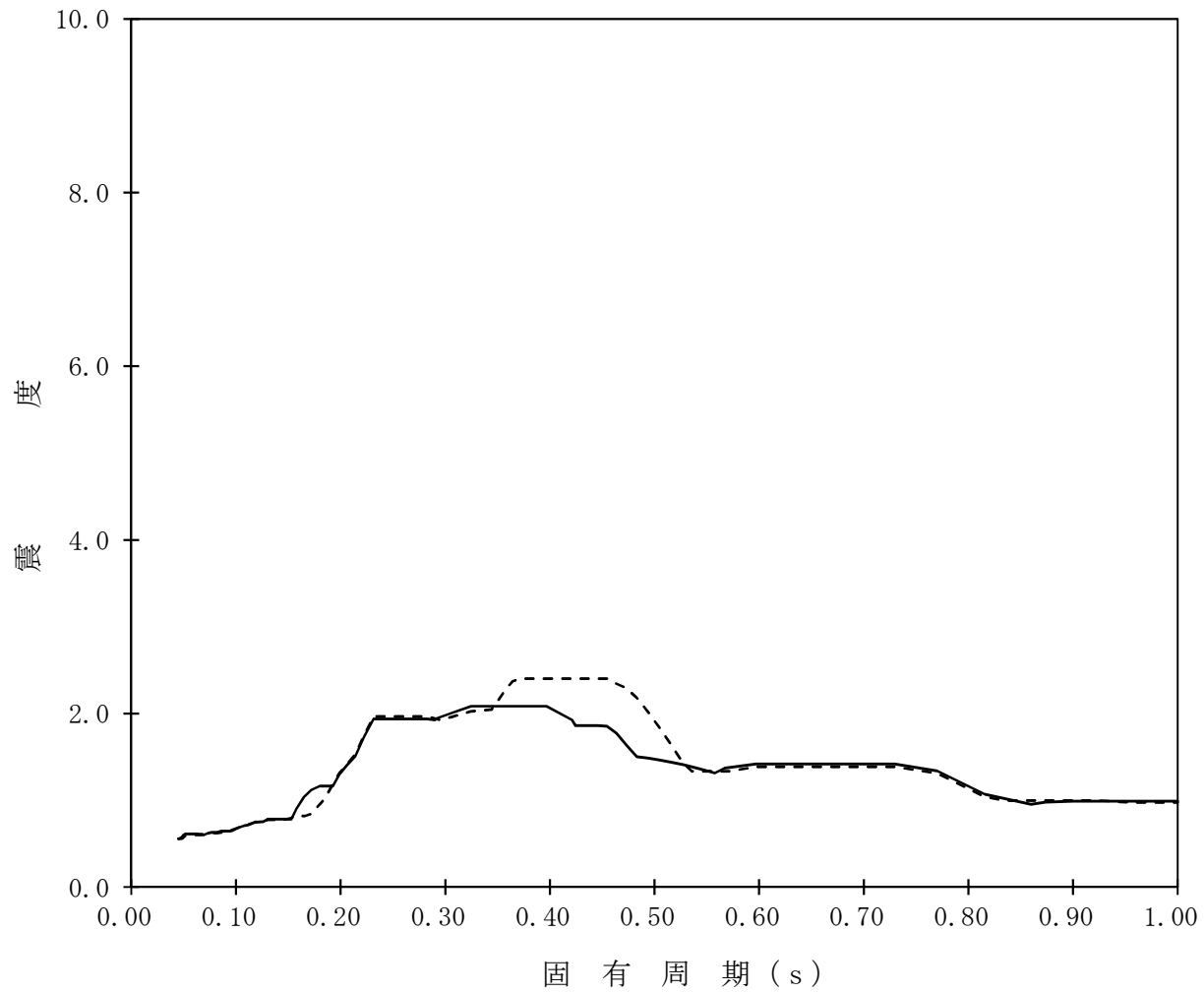
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB105】

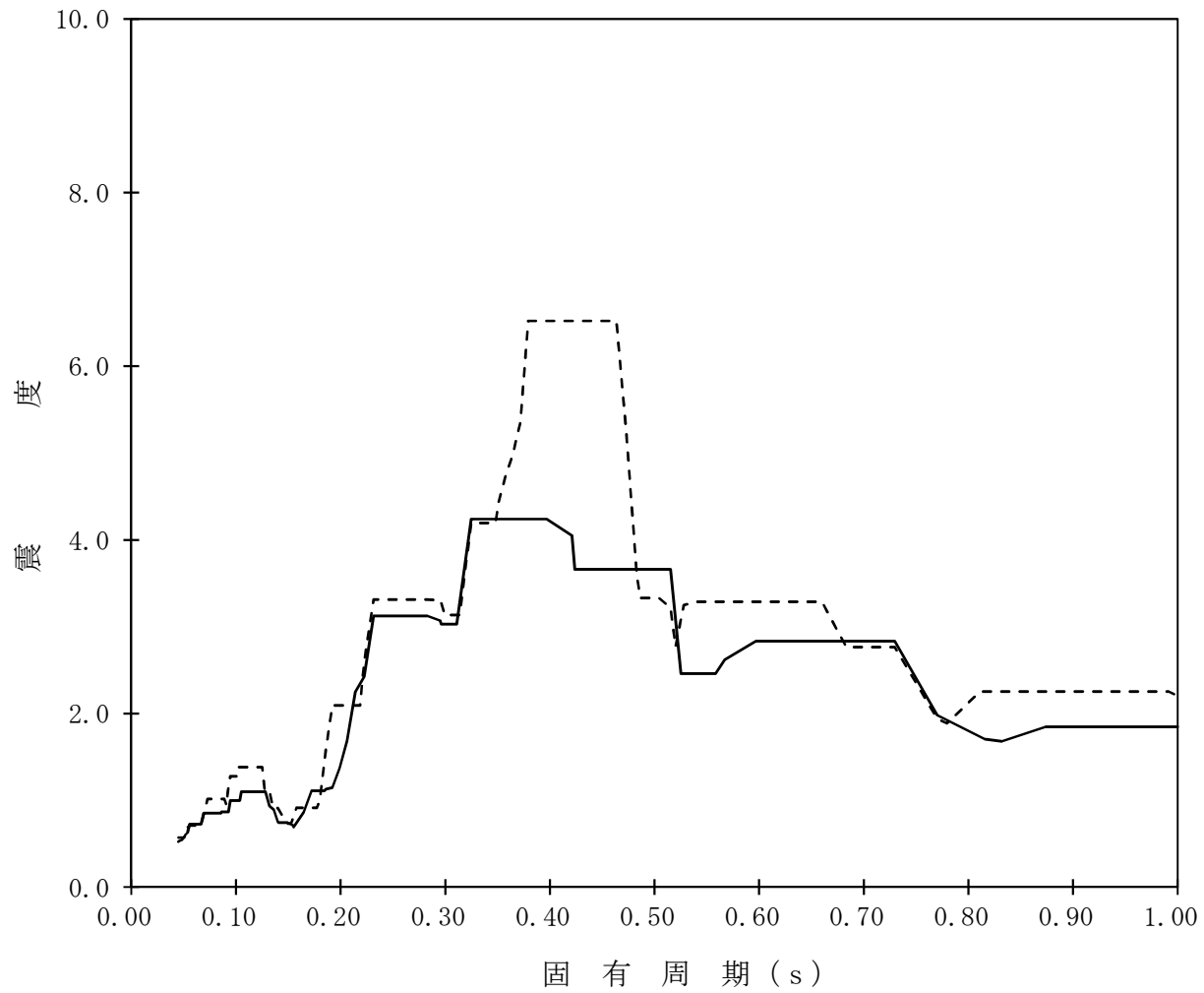
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 23.500m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB106】

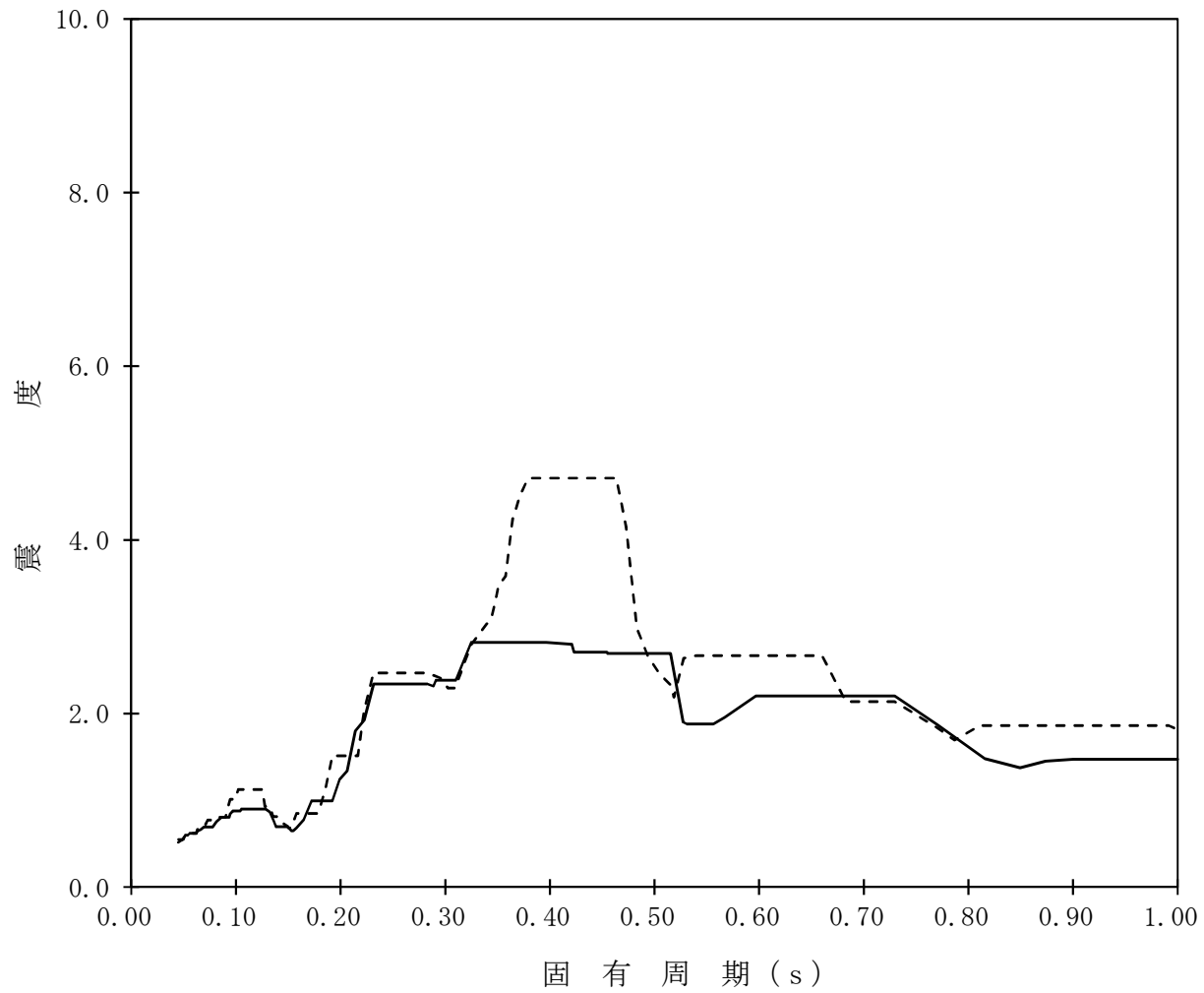
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB107】

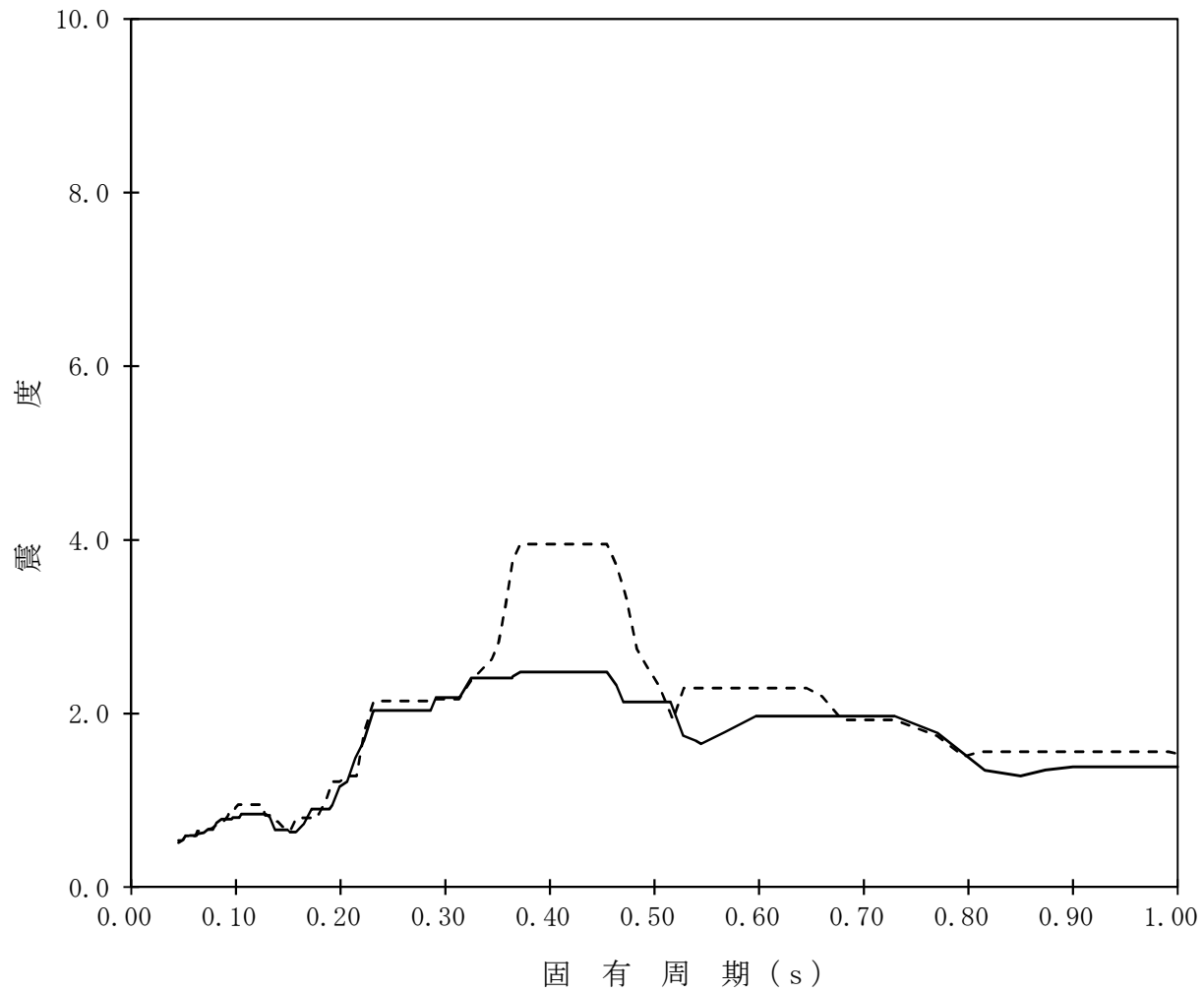
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 23.500m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向

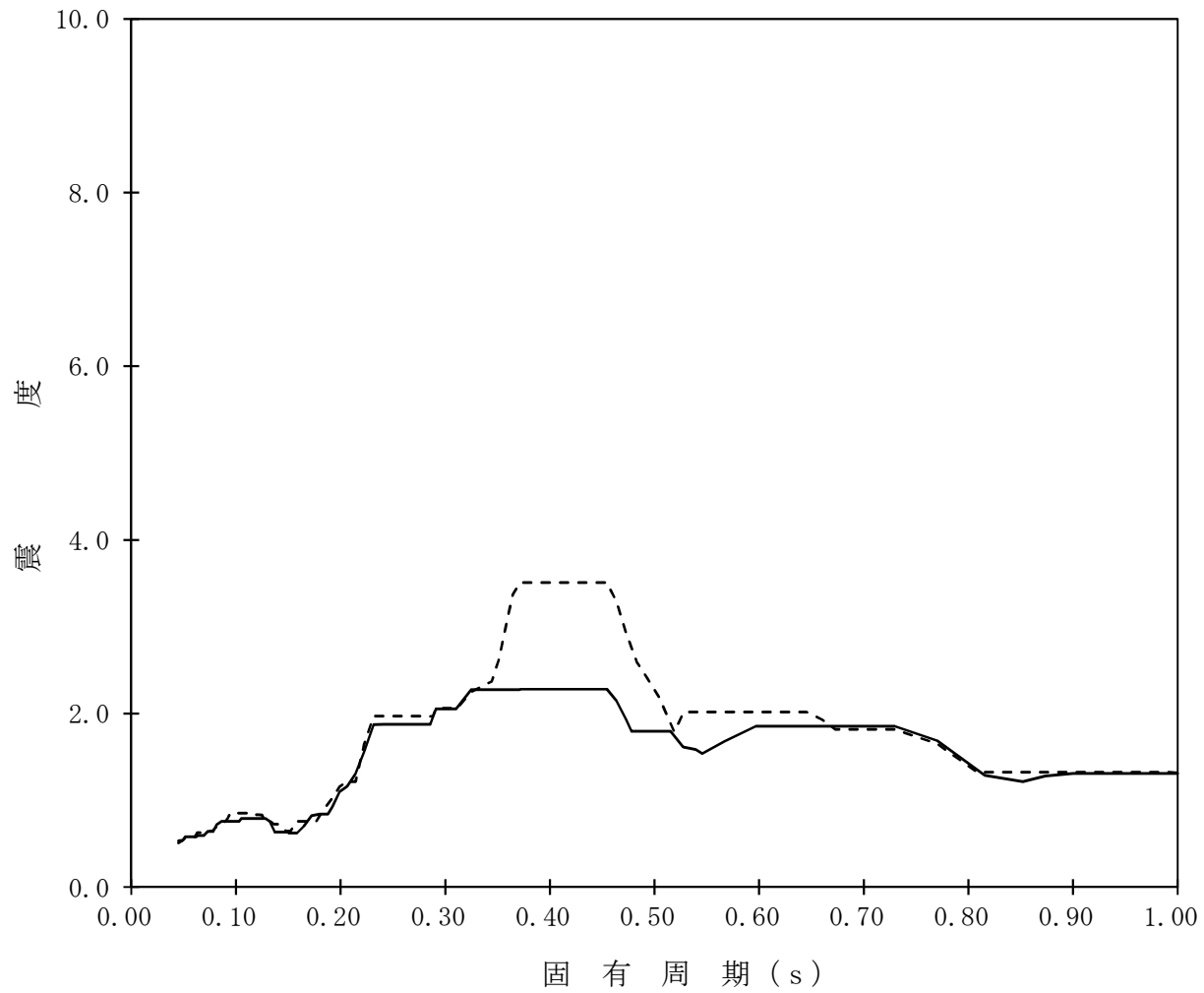


【K06-RB-SdH-RB108】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

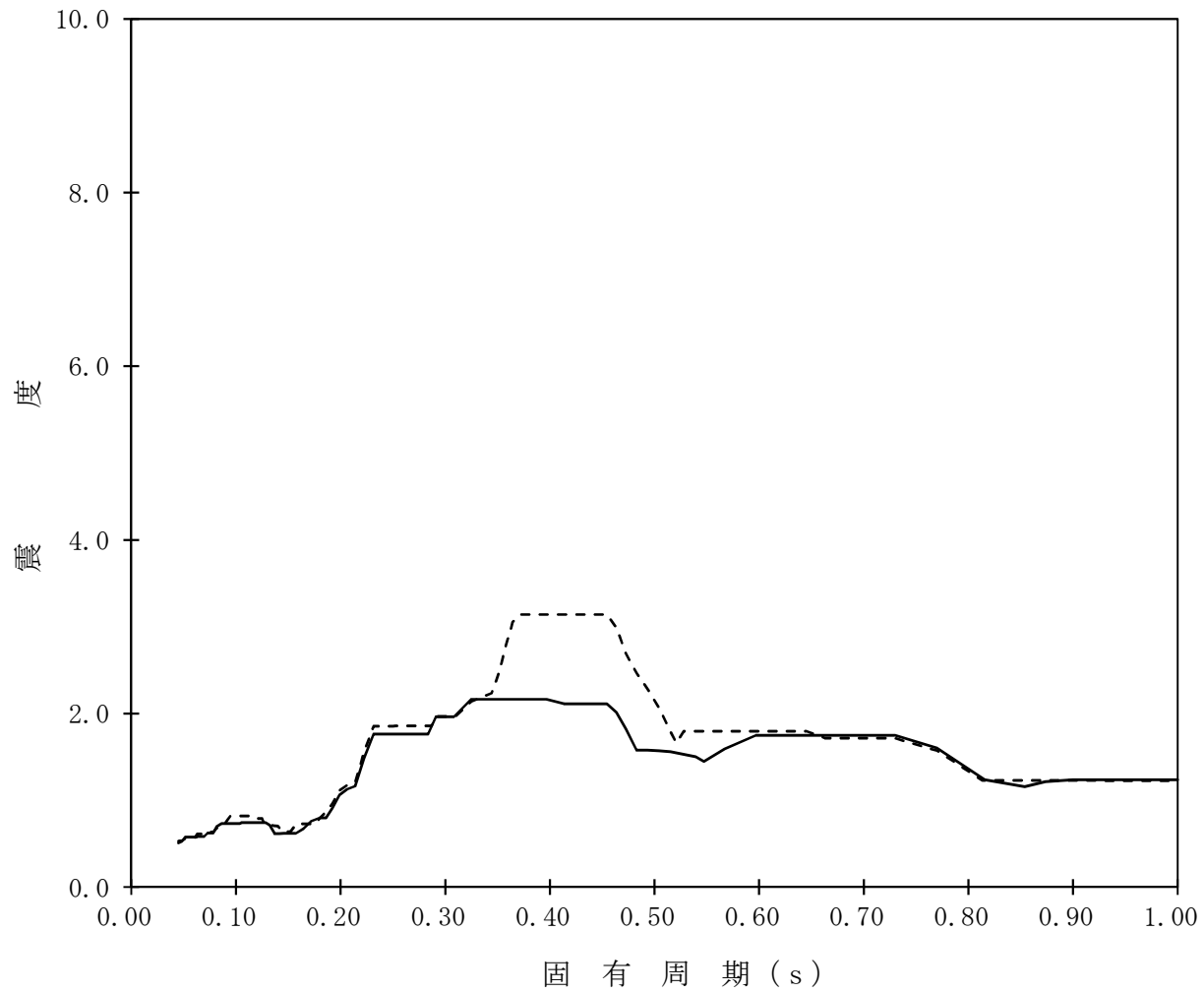
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB109】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB110】

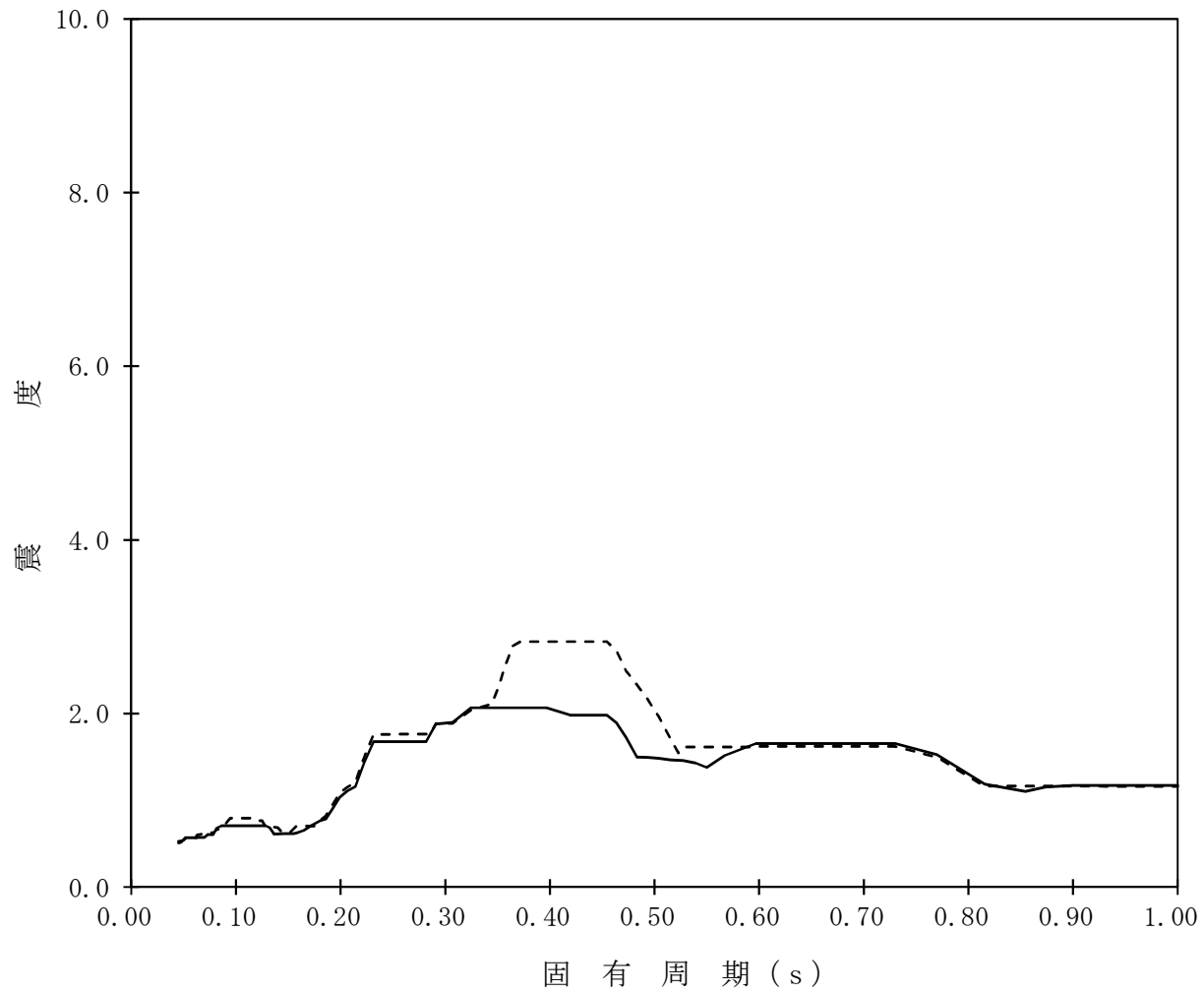
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 23.500m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB111】

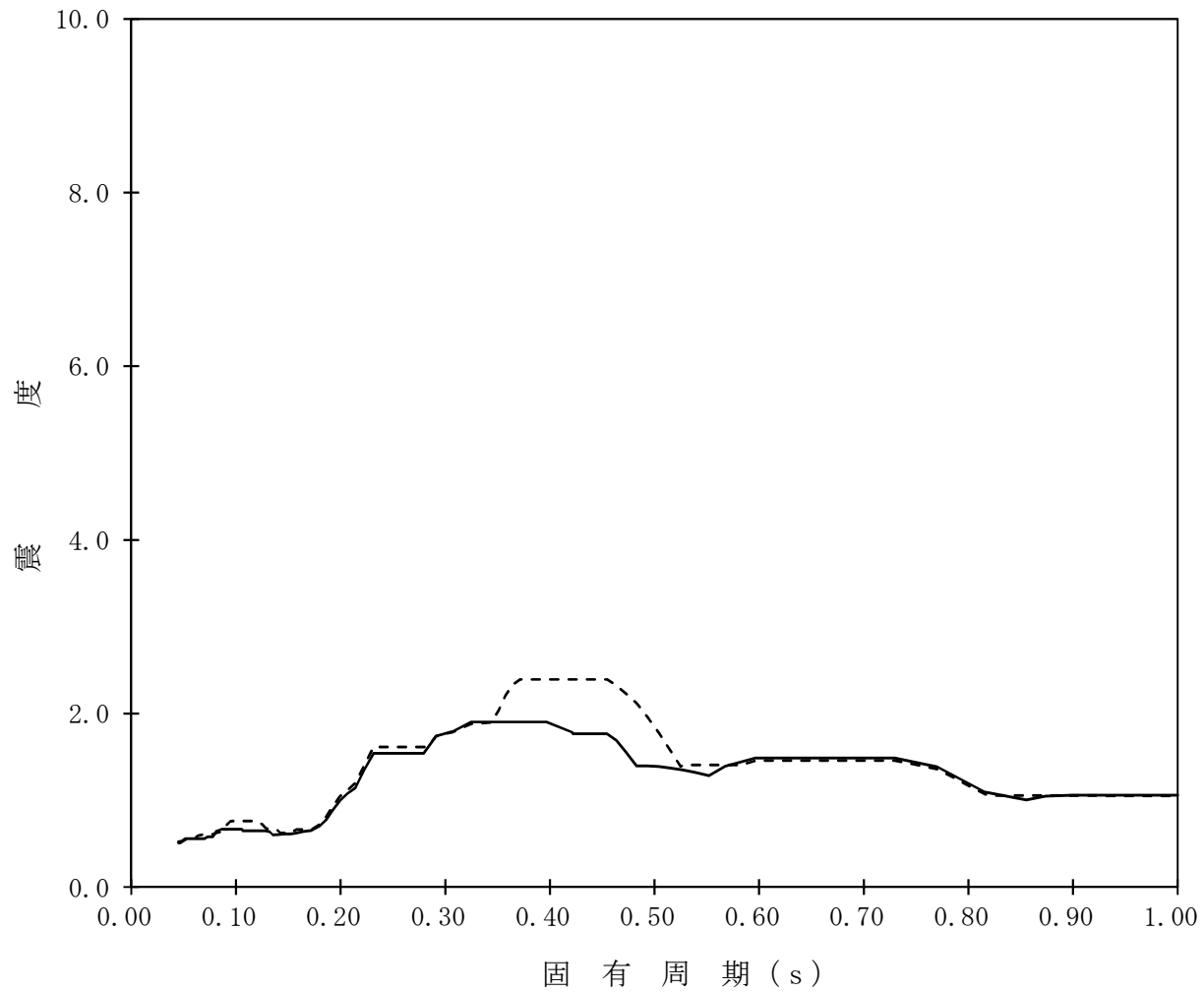
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB112】

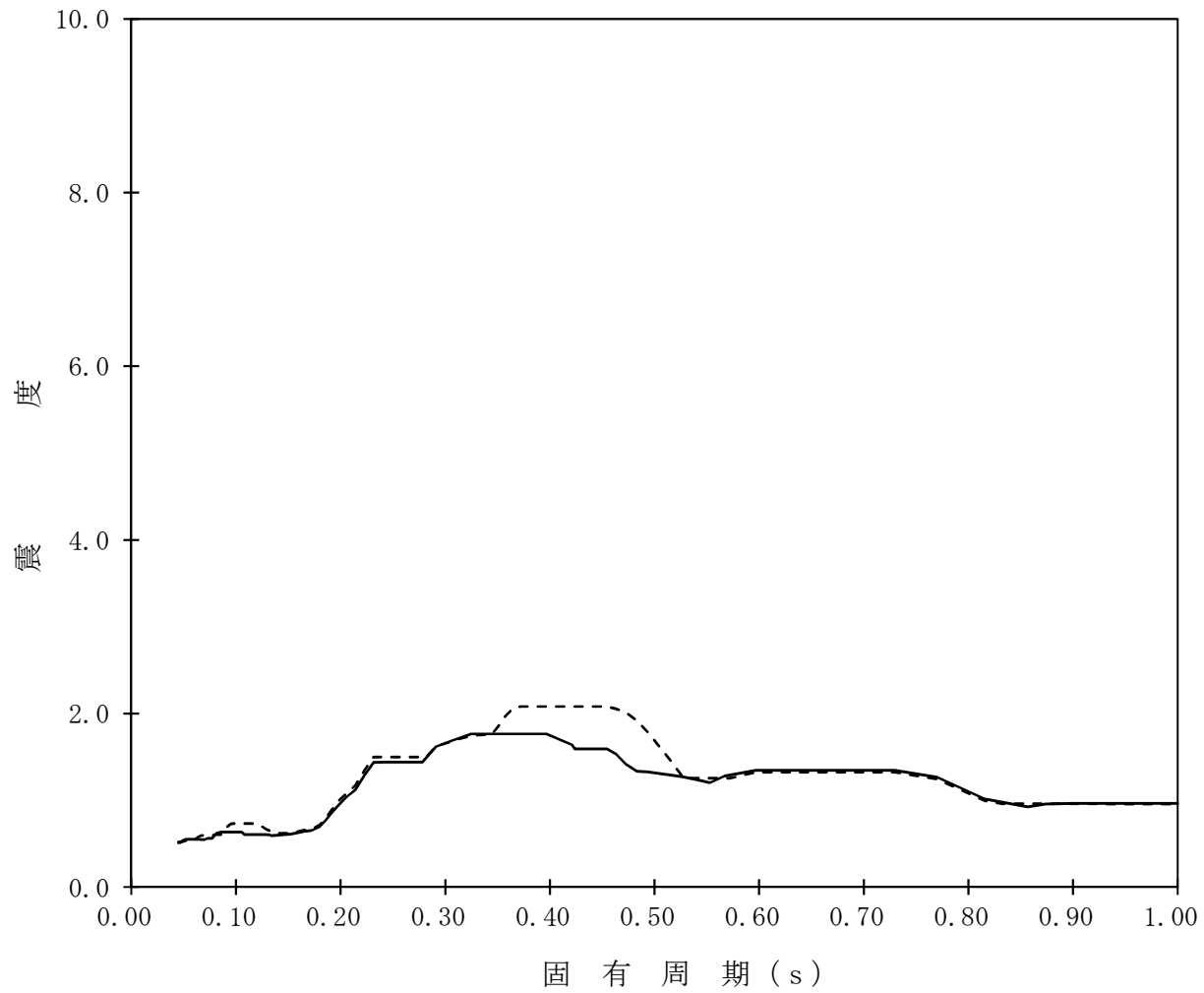
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

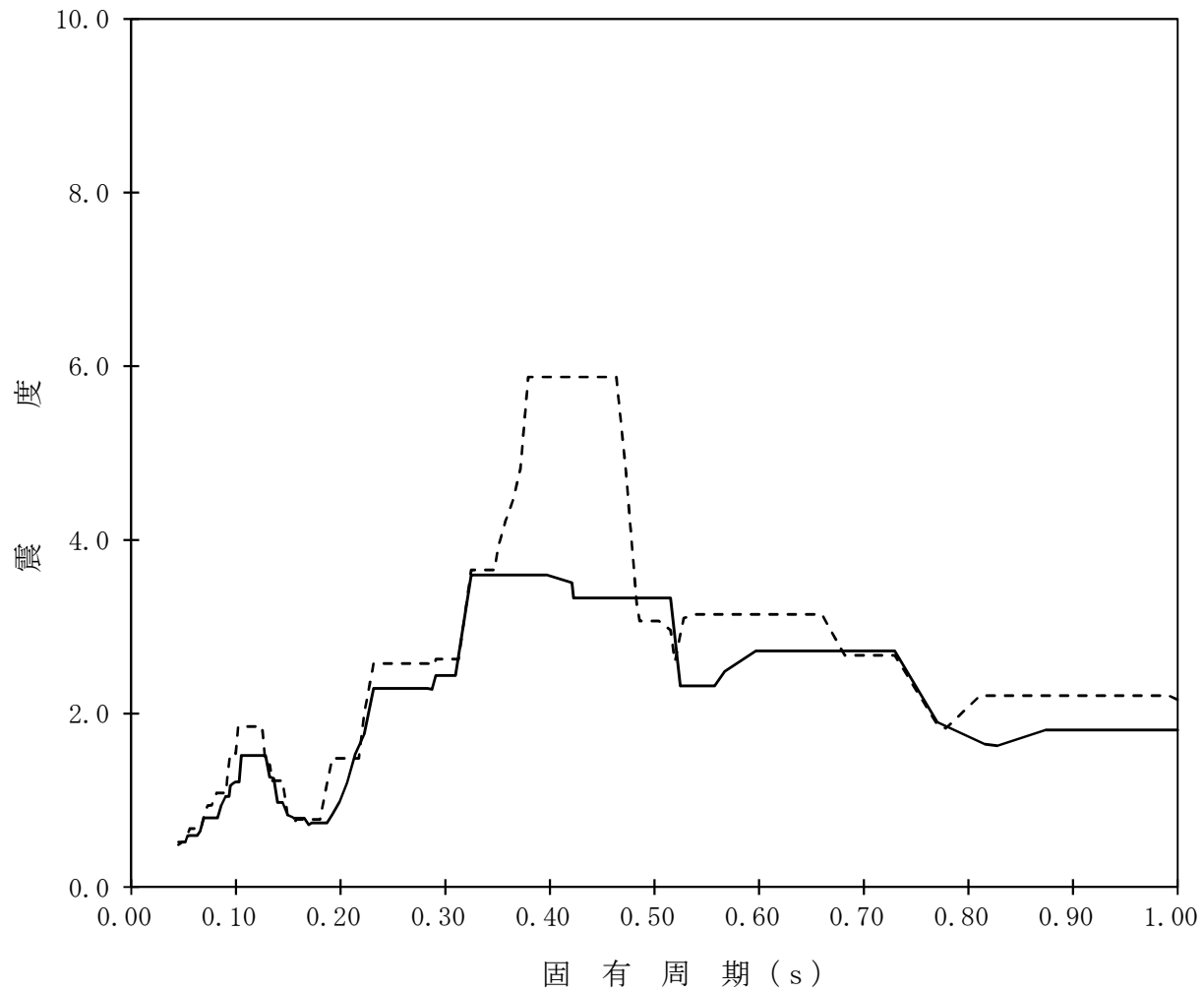
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB113】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向

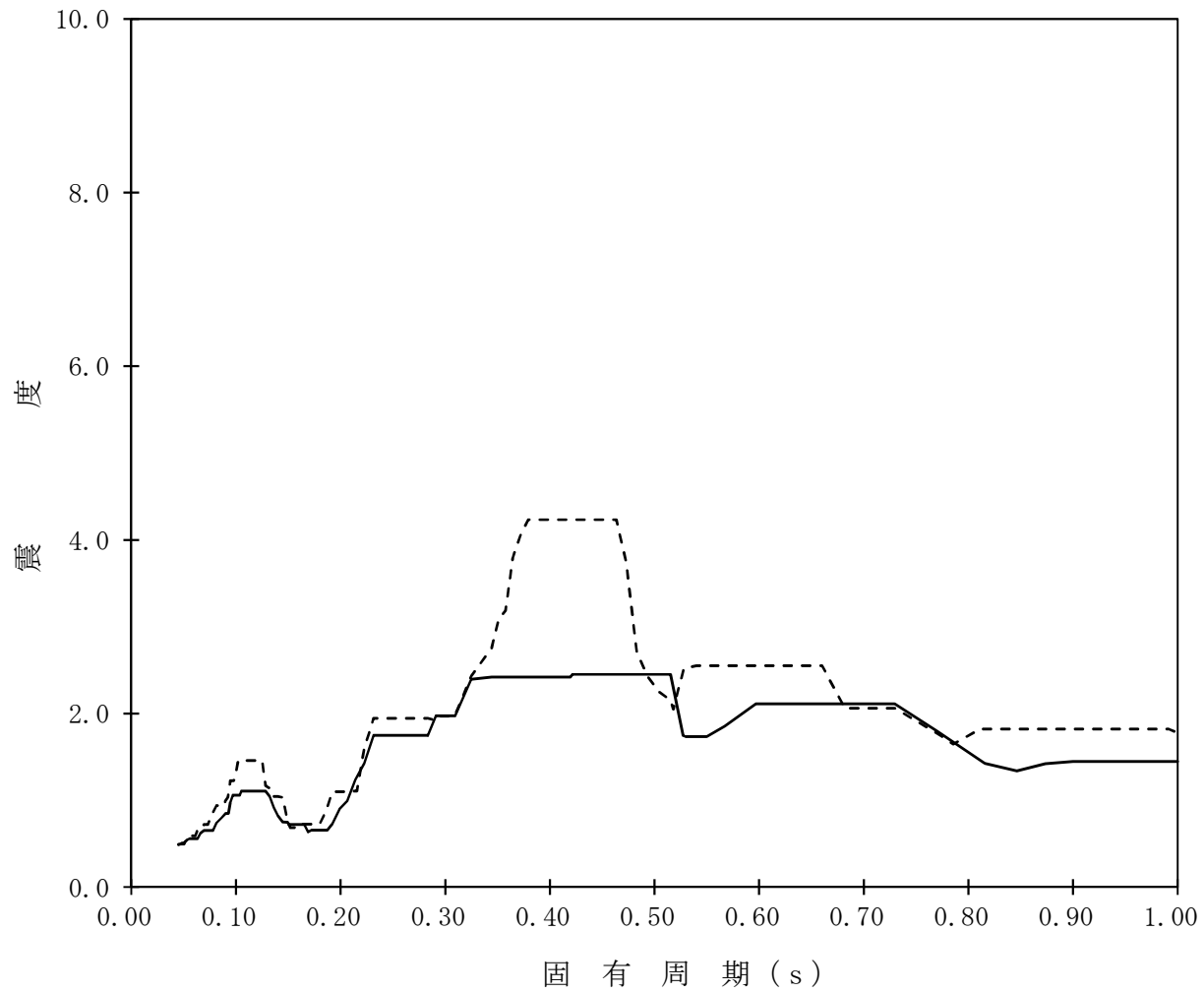


【K06-RB-SdH-RB114】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB115】

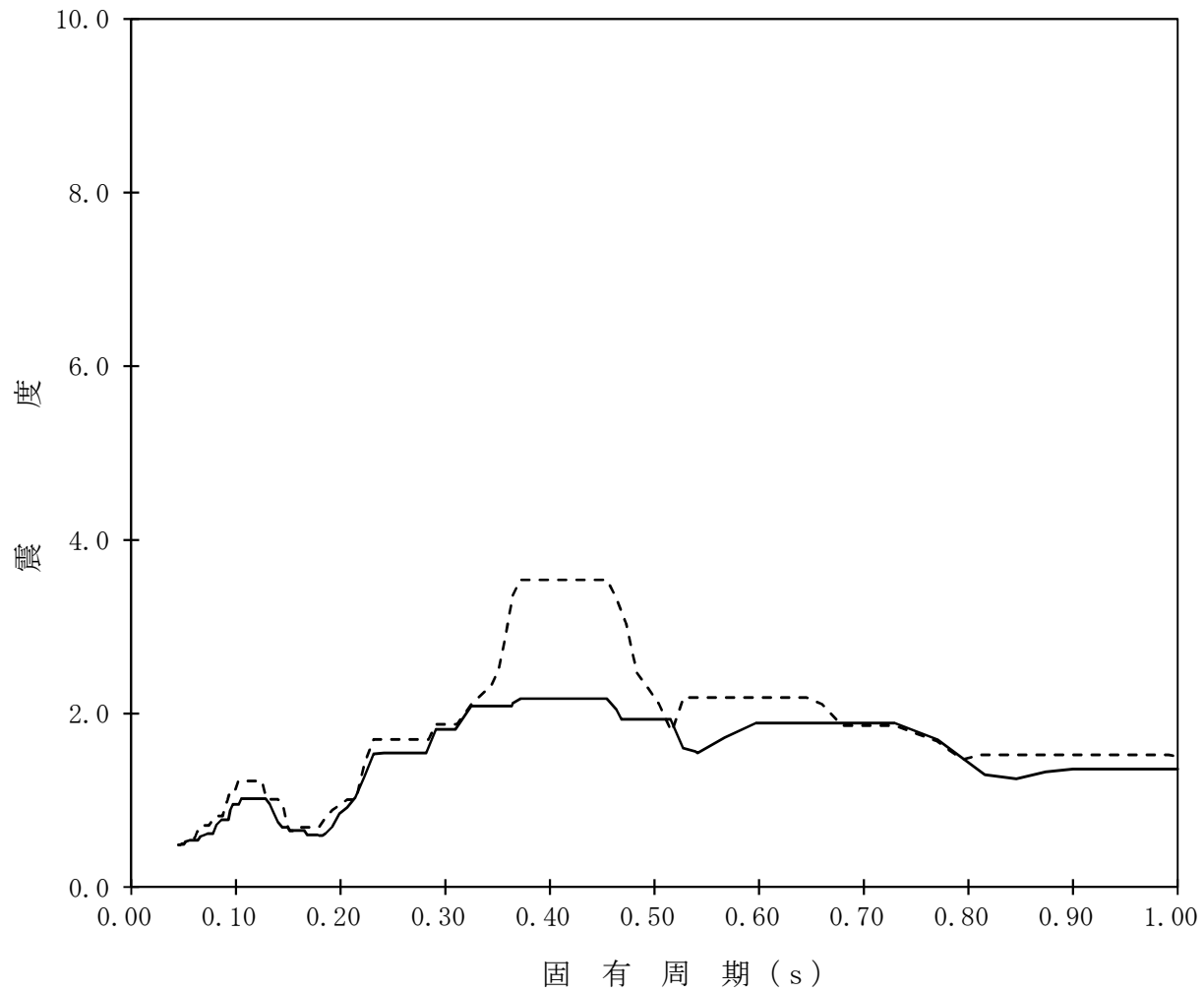
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB116】

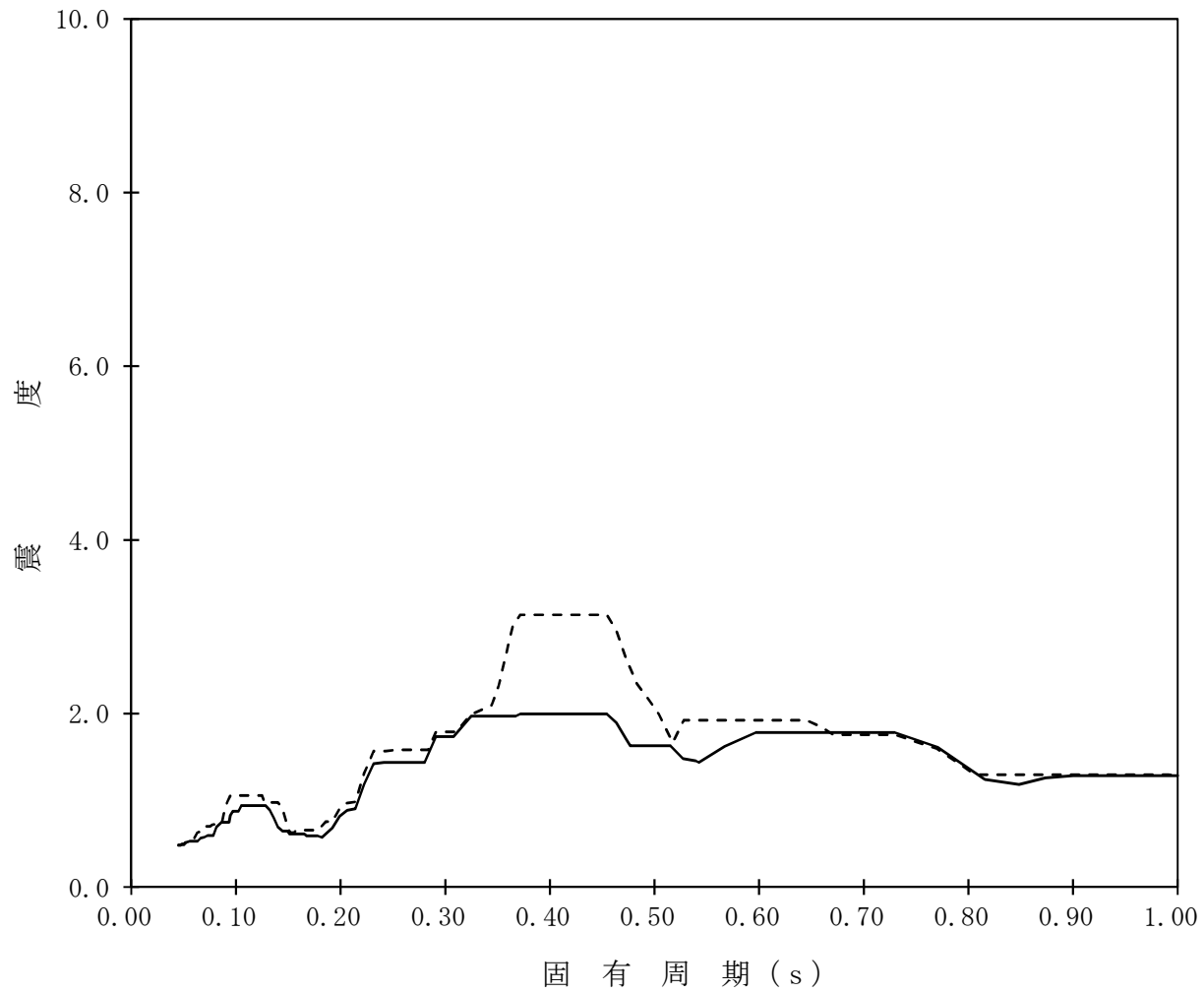
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB117】

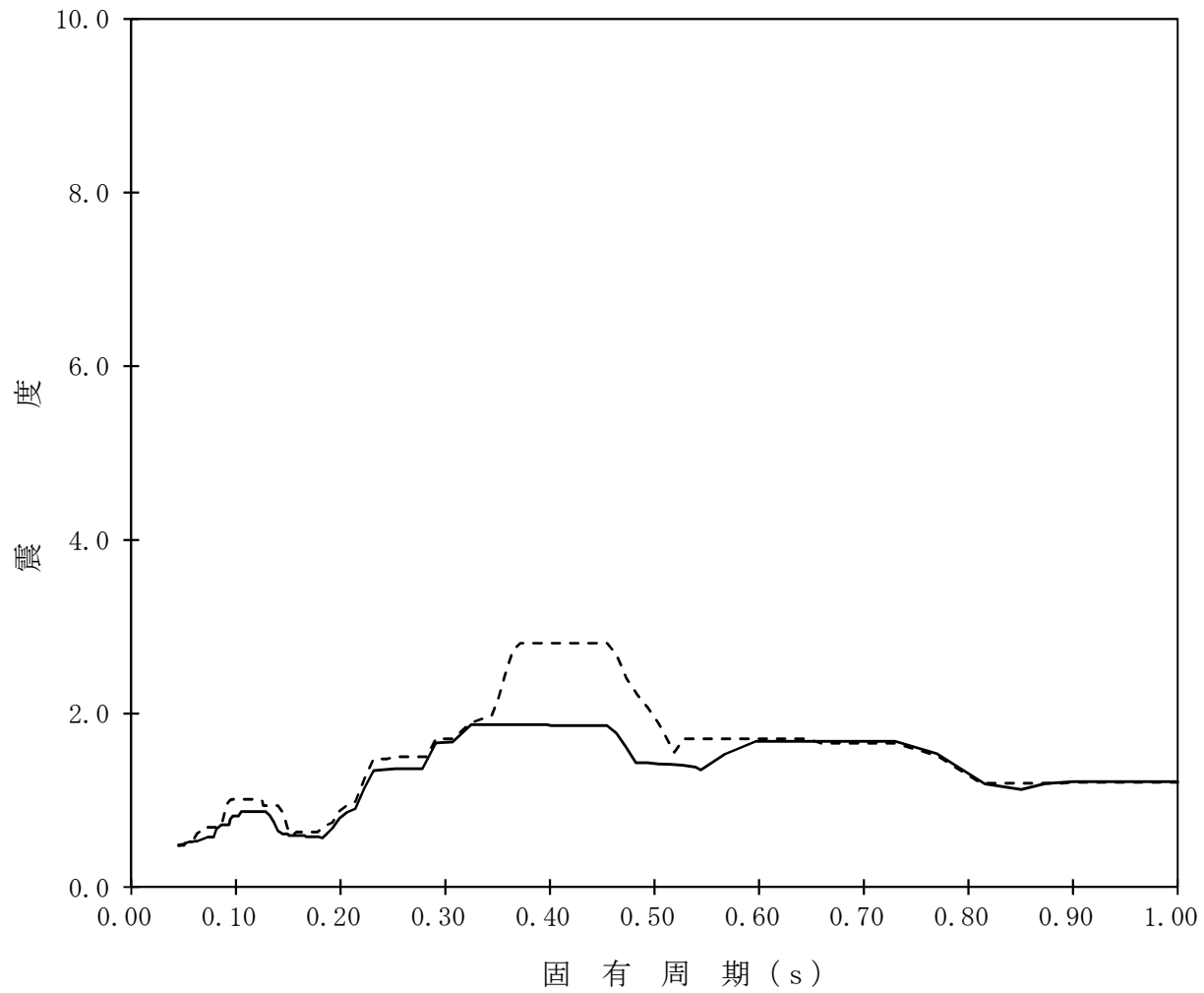
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB118】

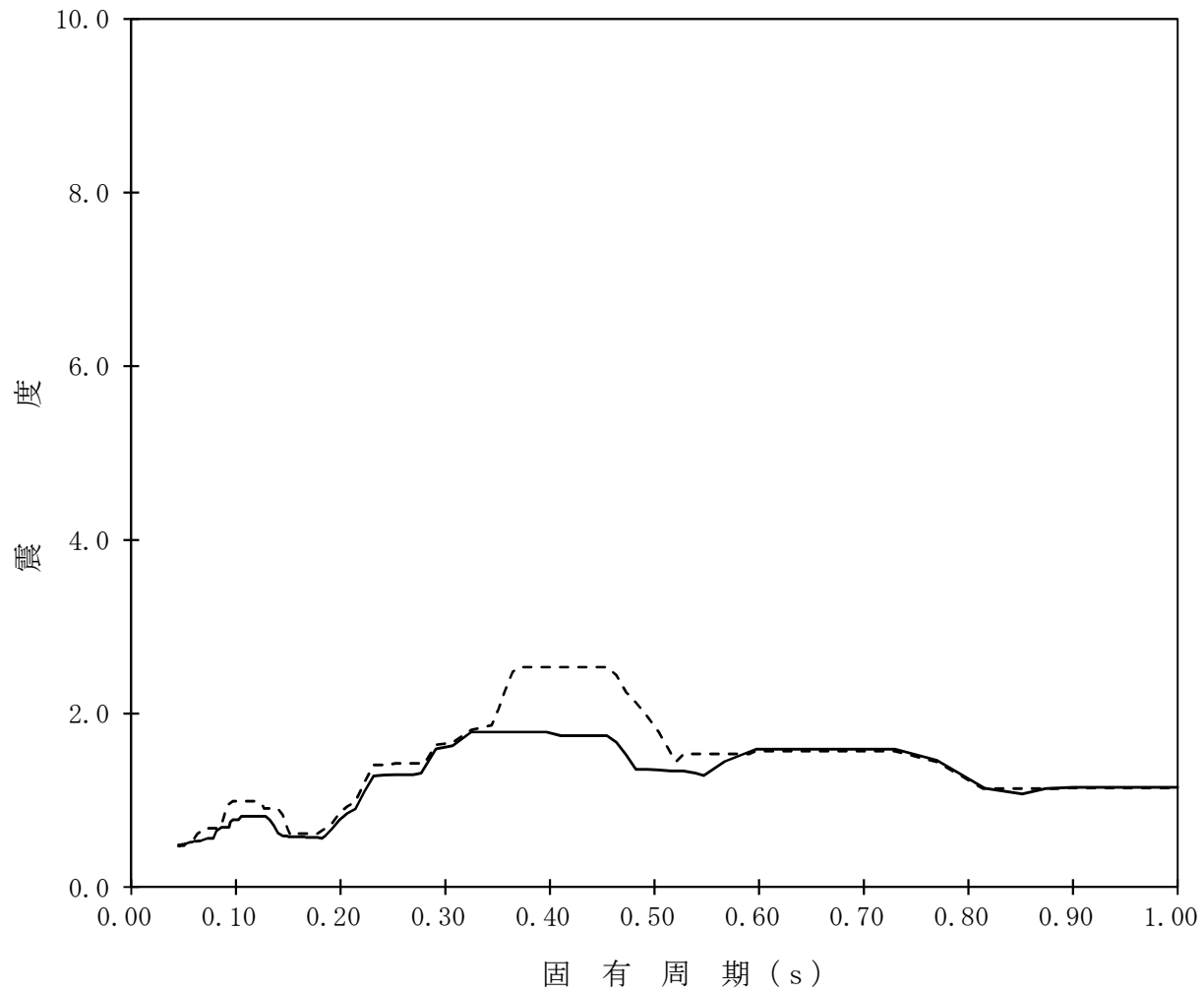
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB119】

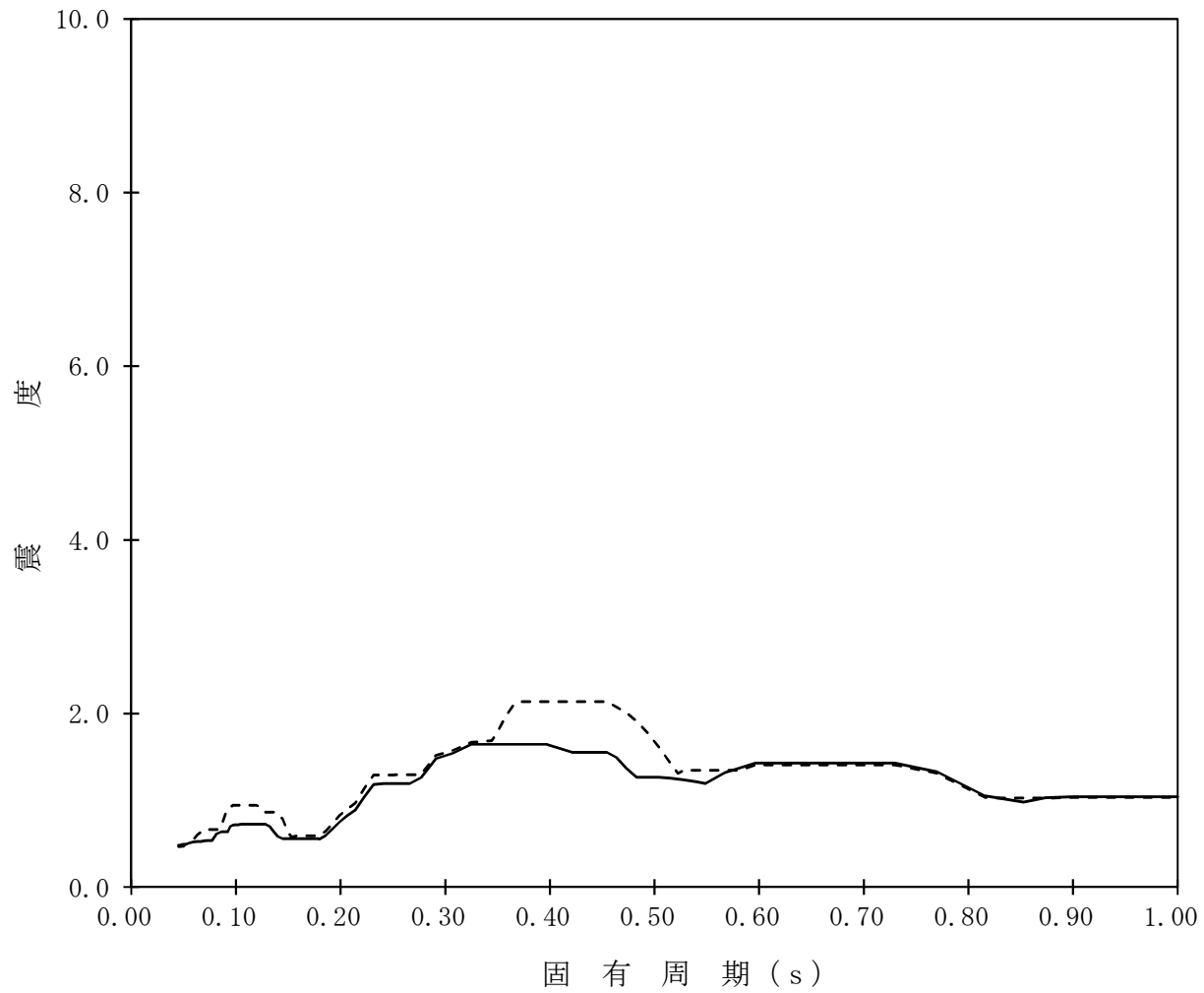
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB120】

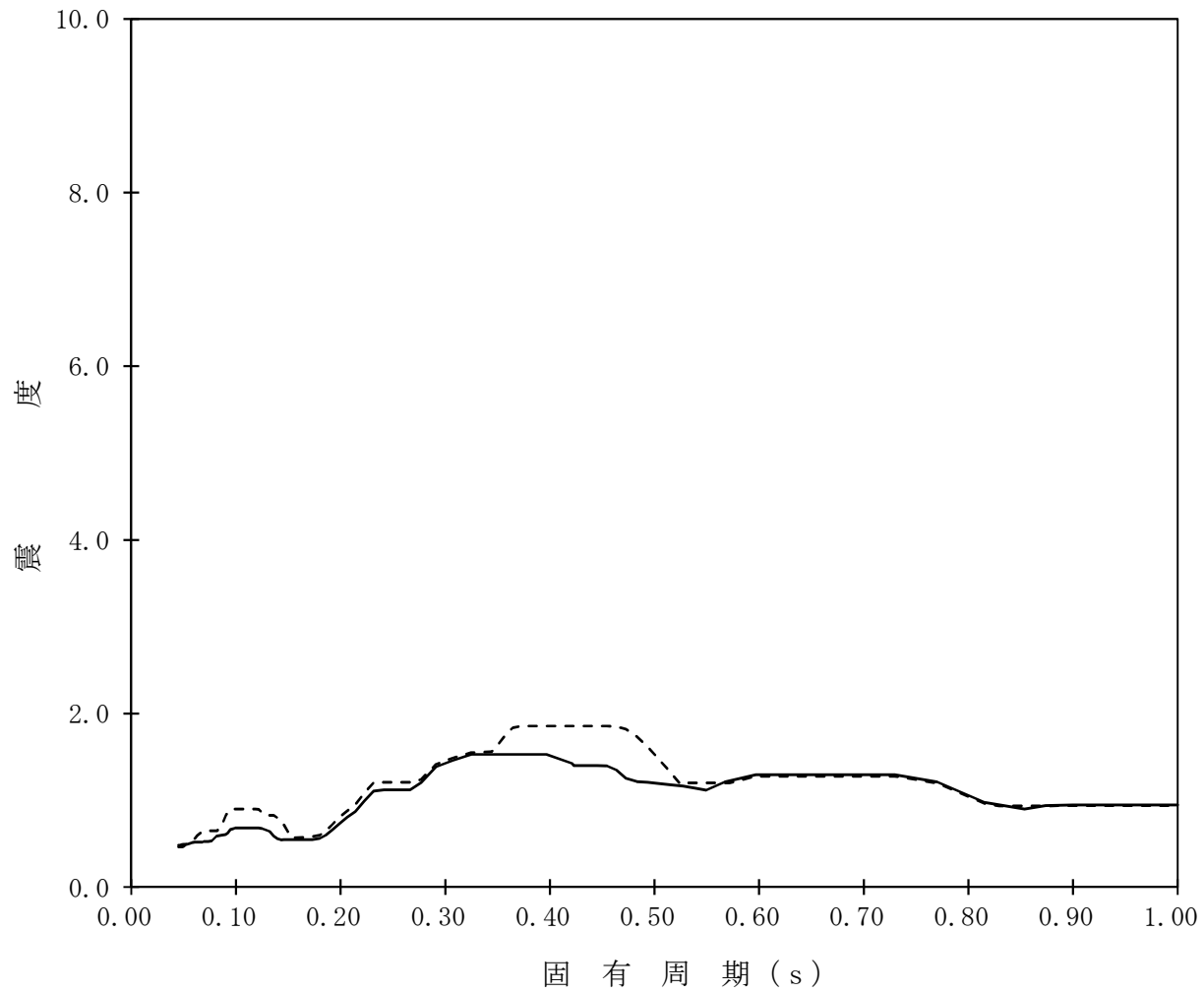
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB121】

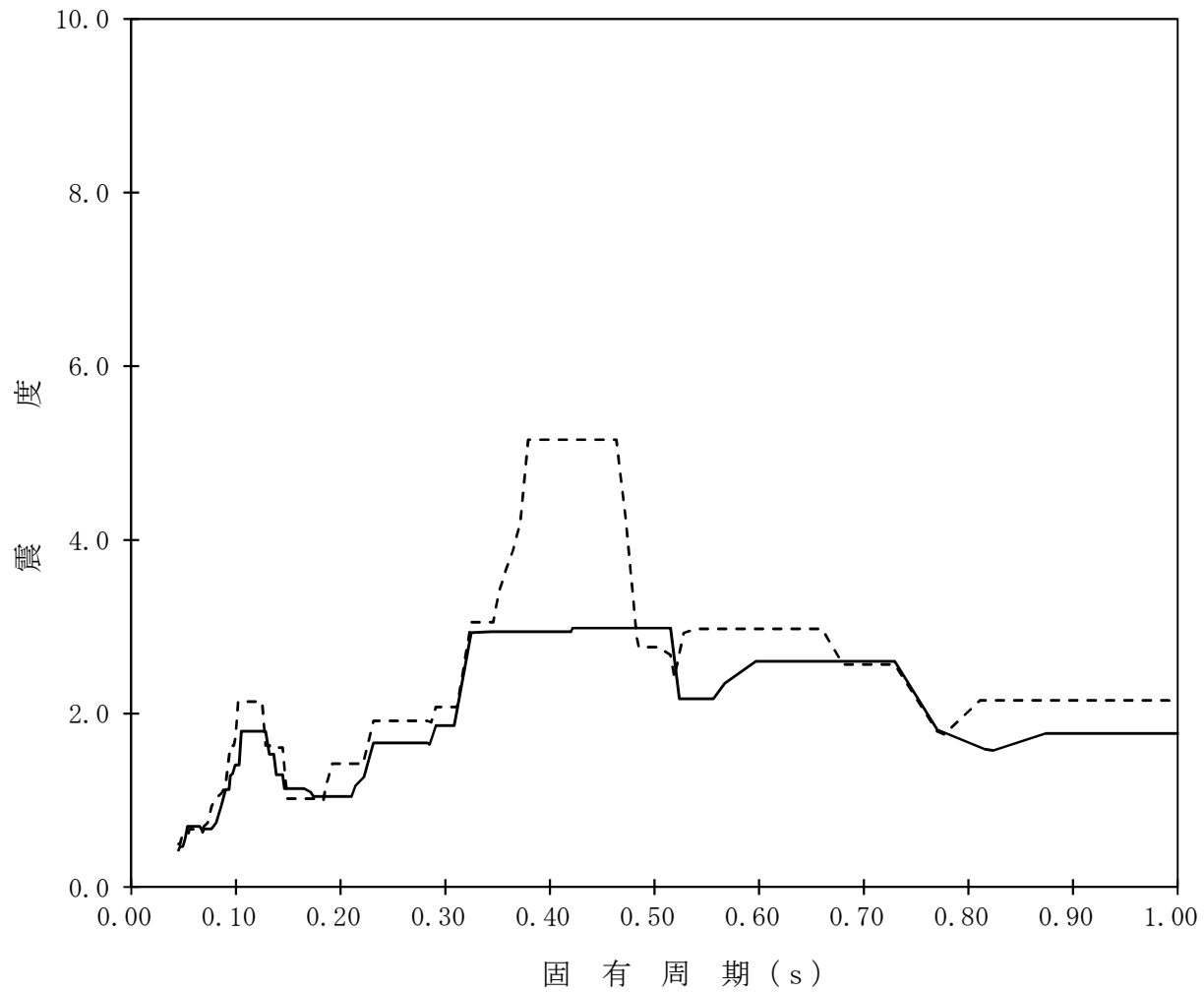
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB122】

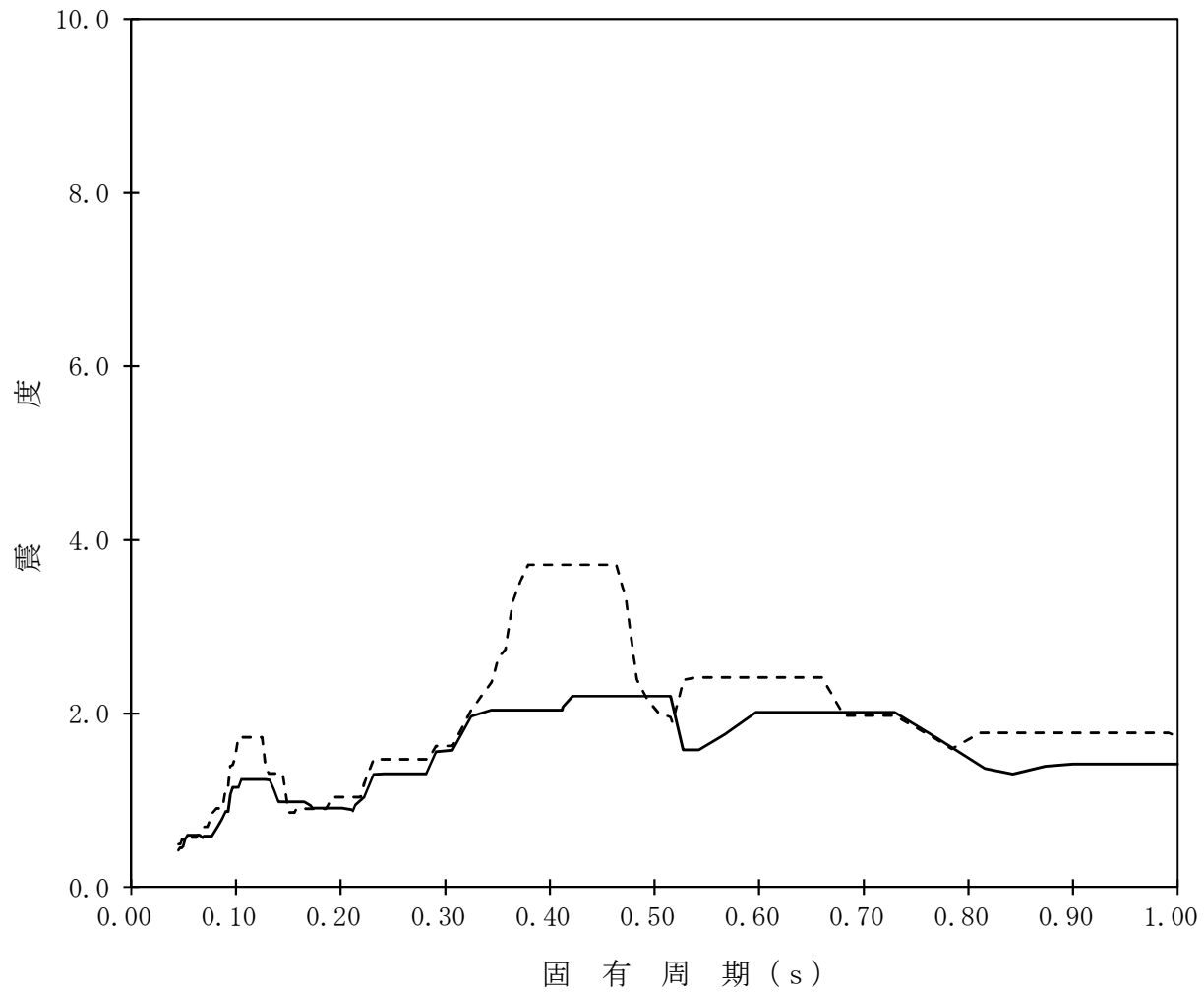
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB123】

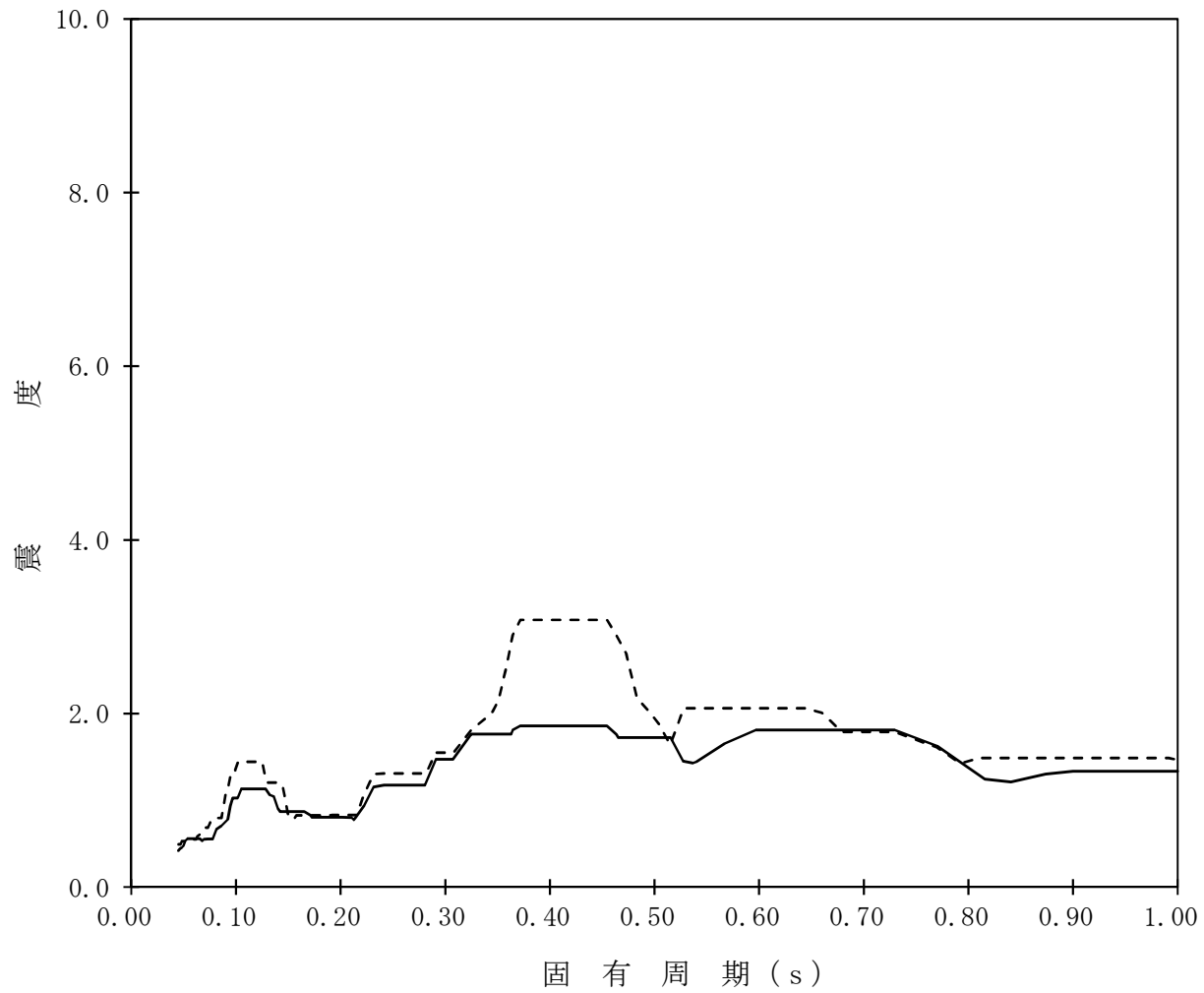
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 12.300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB124】

構造物名：原子炉建屋

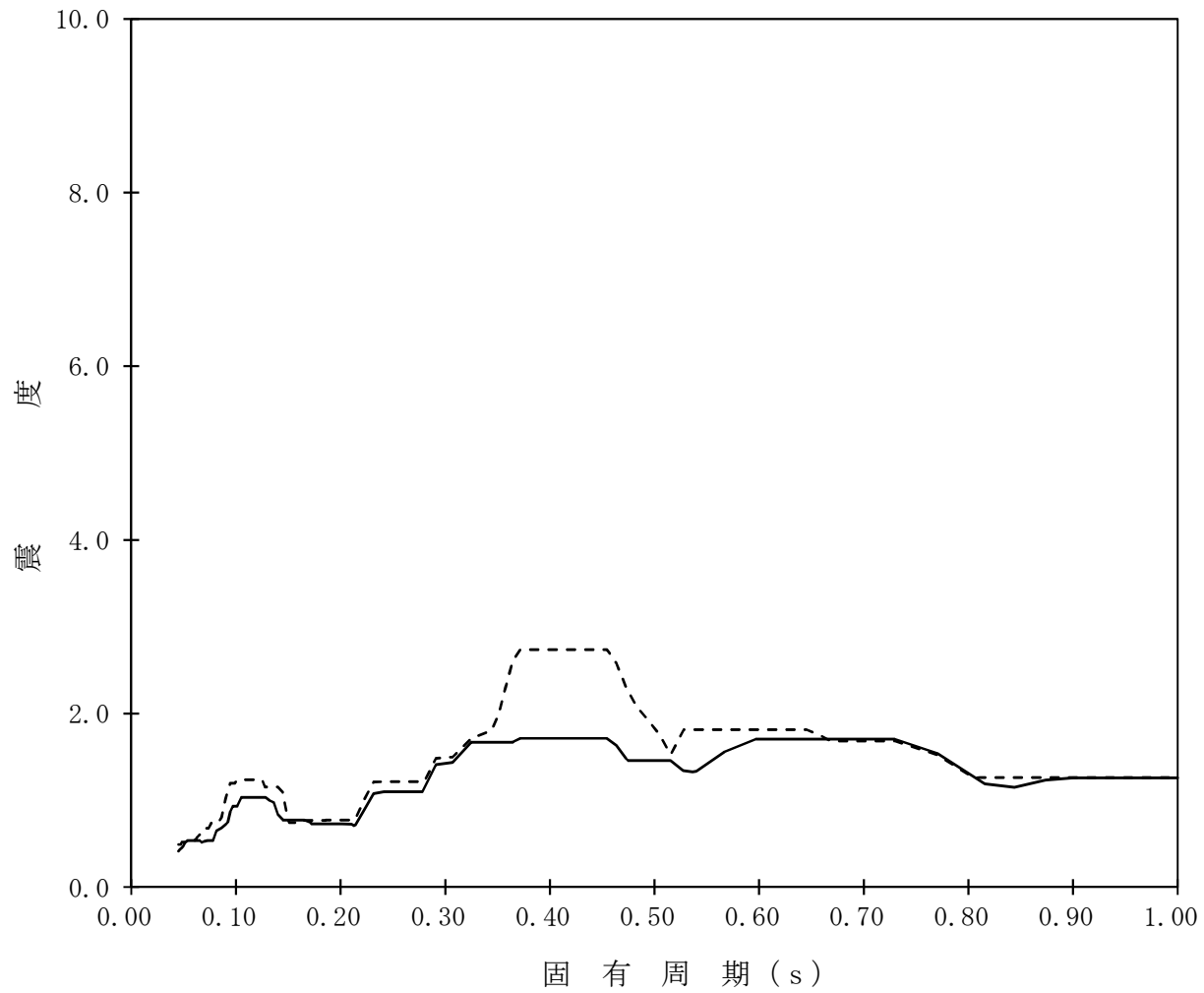
標高：T. M. S. L. 12. 300m

—— NS方向

減衰定数：2. 0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向

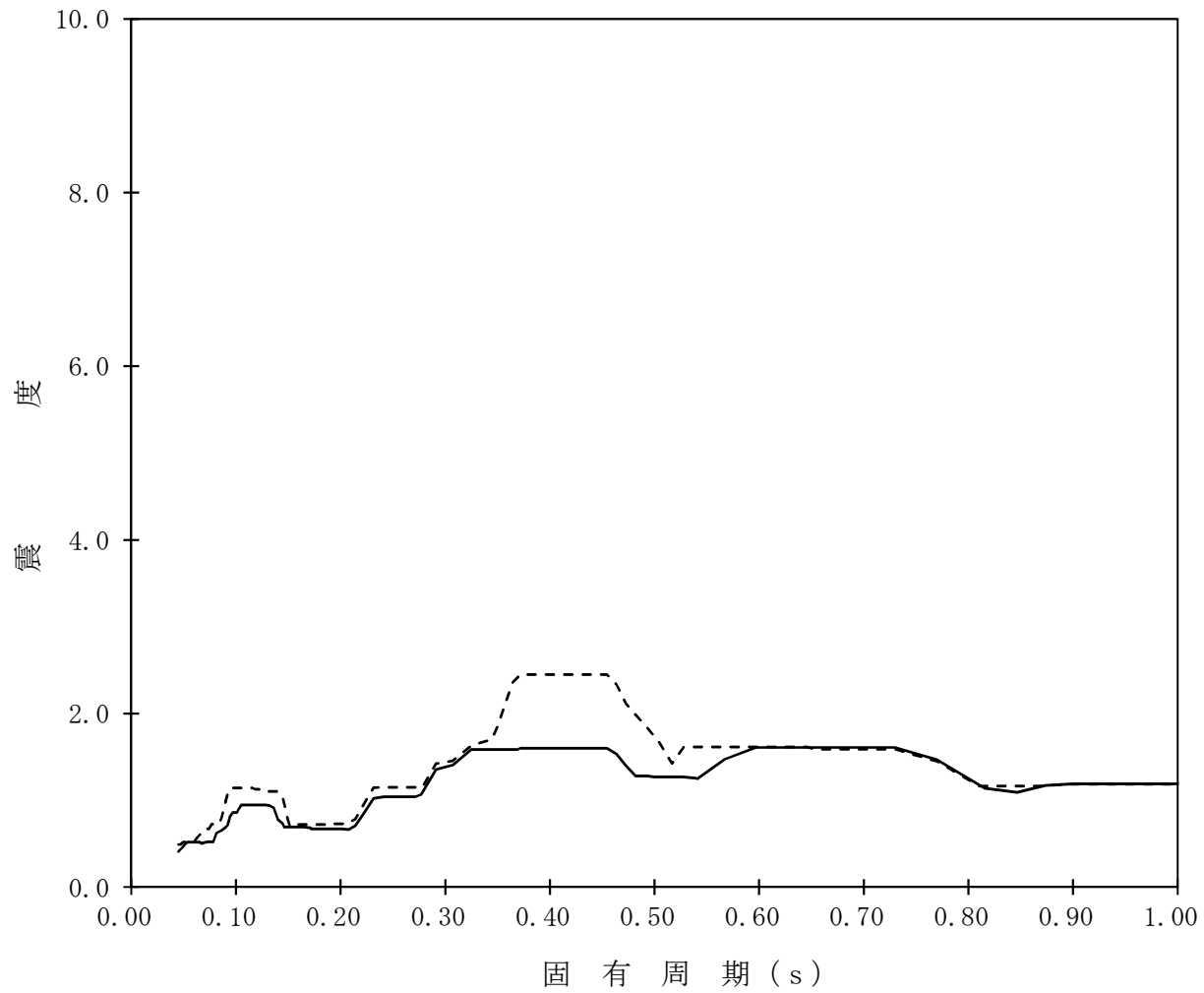


【K06-RB-SdH-RB125】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 12.300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB126】

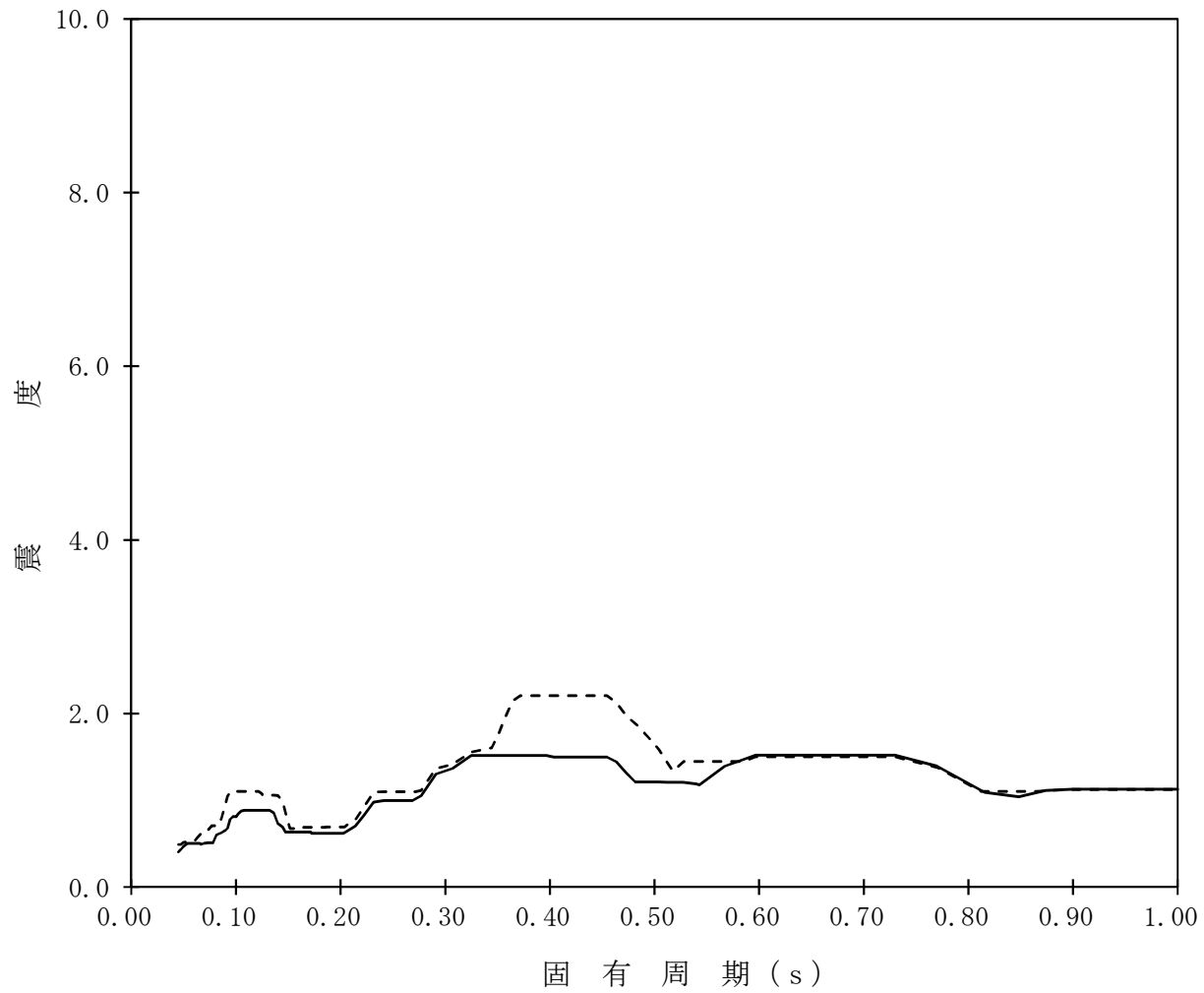
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB127】

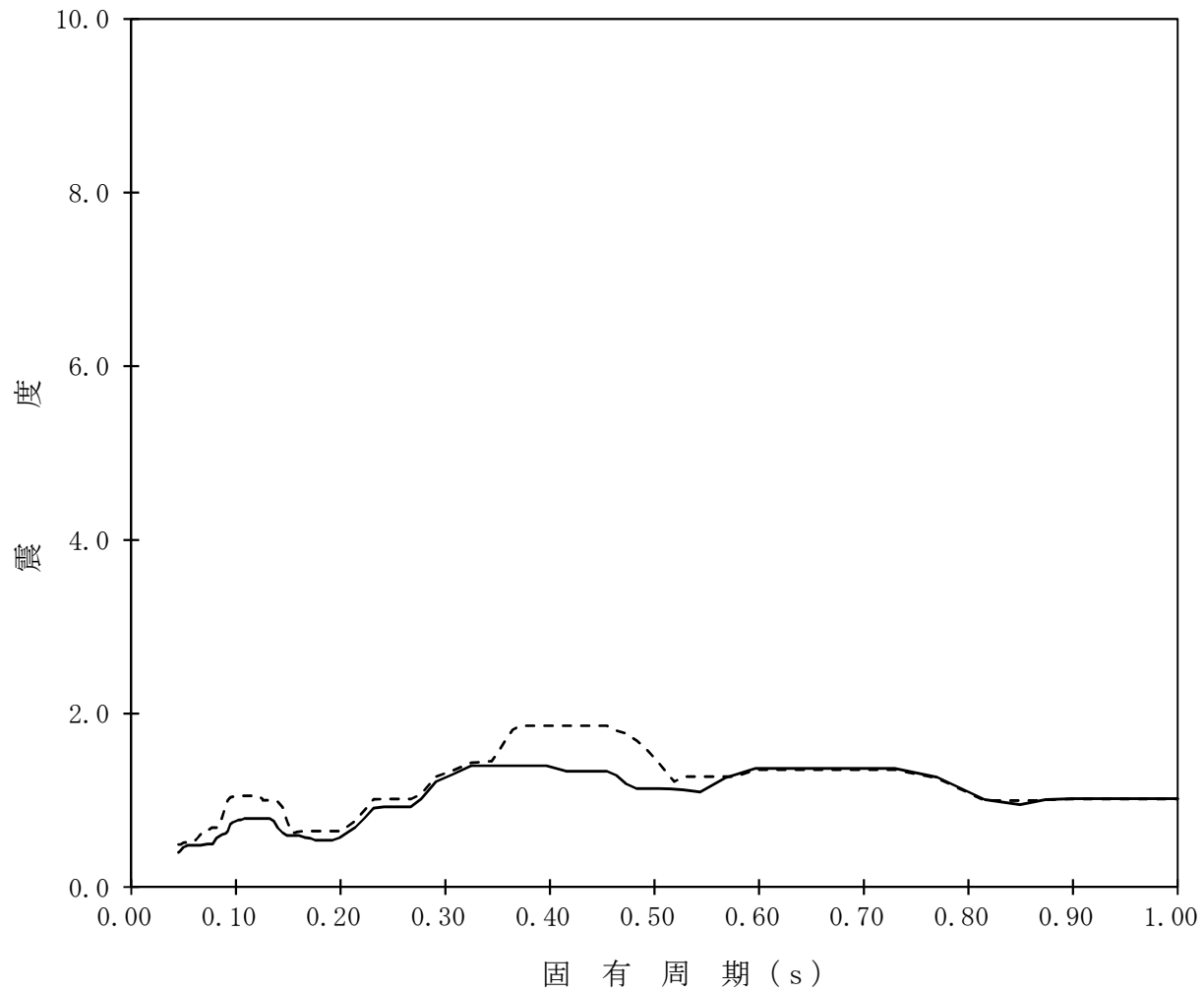
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

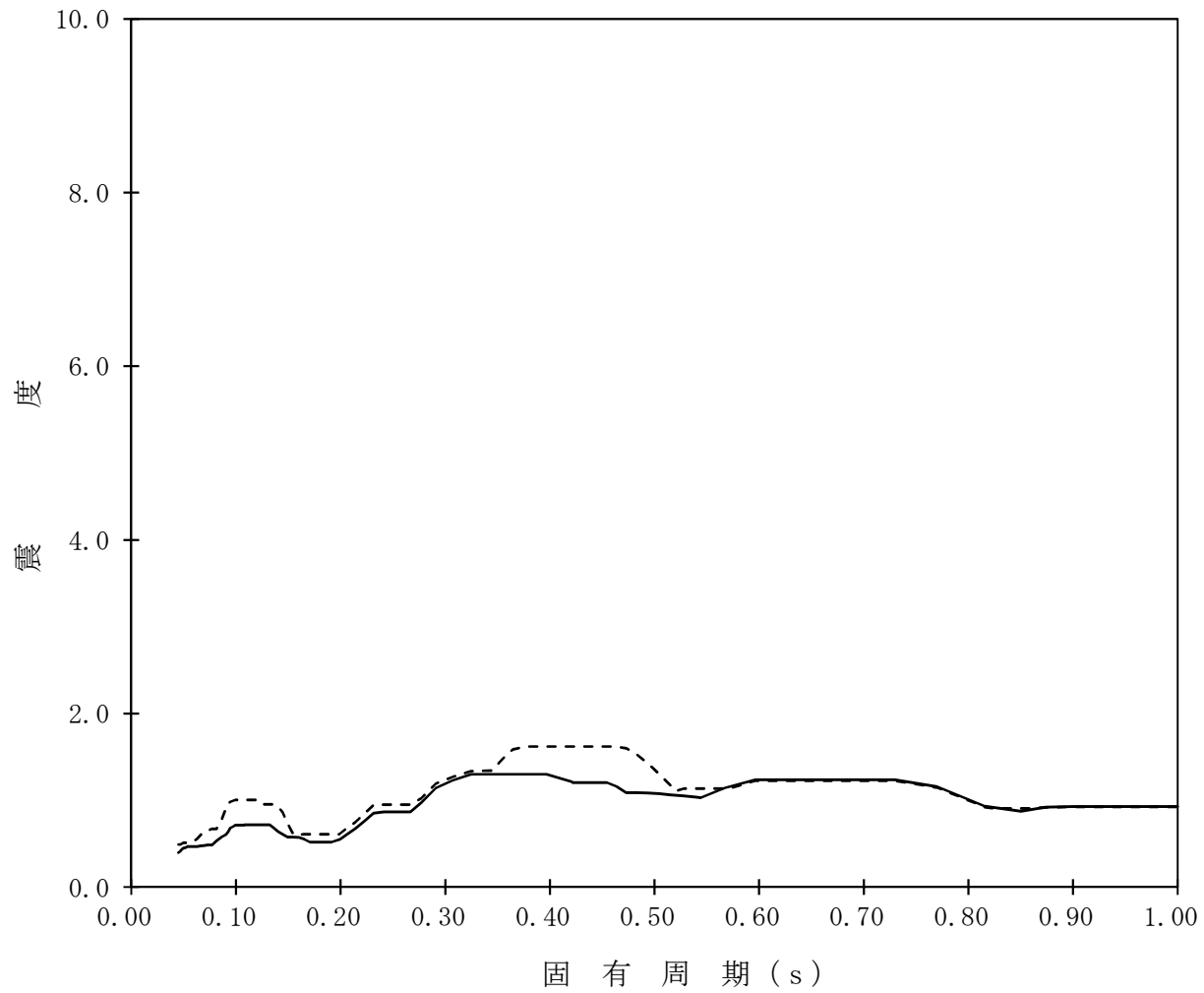
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB128】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB129】

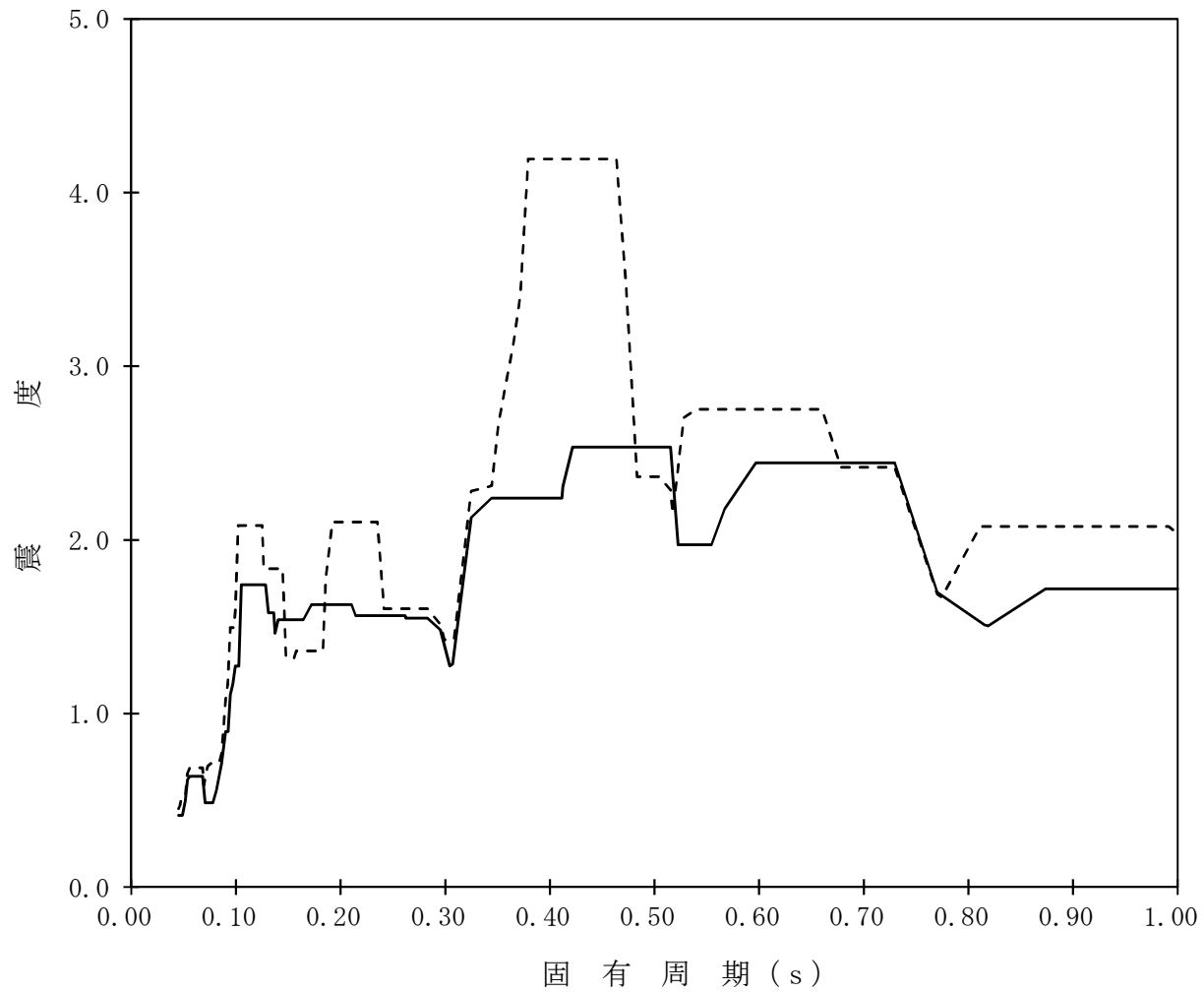
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

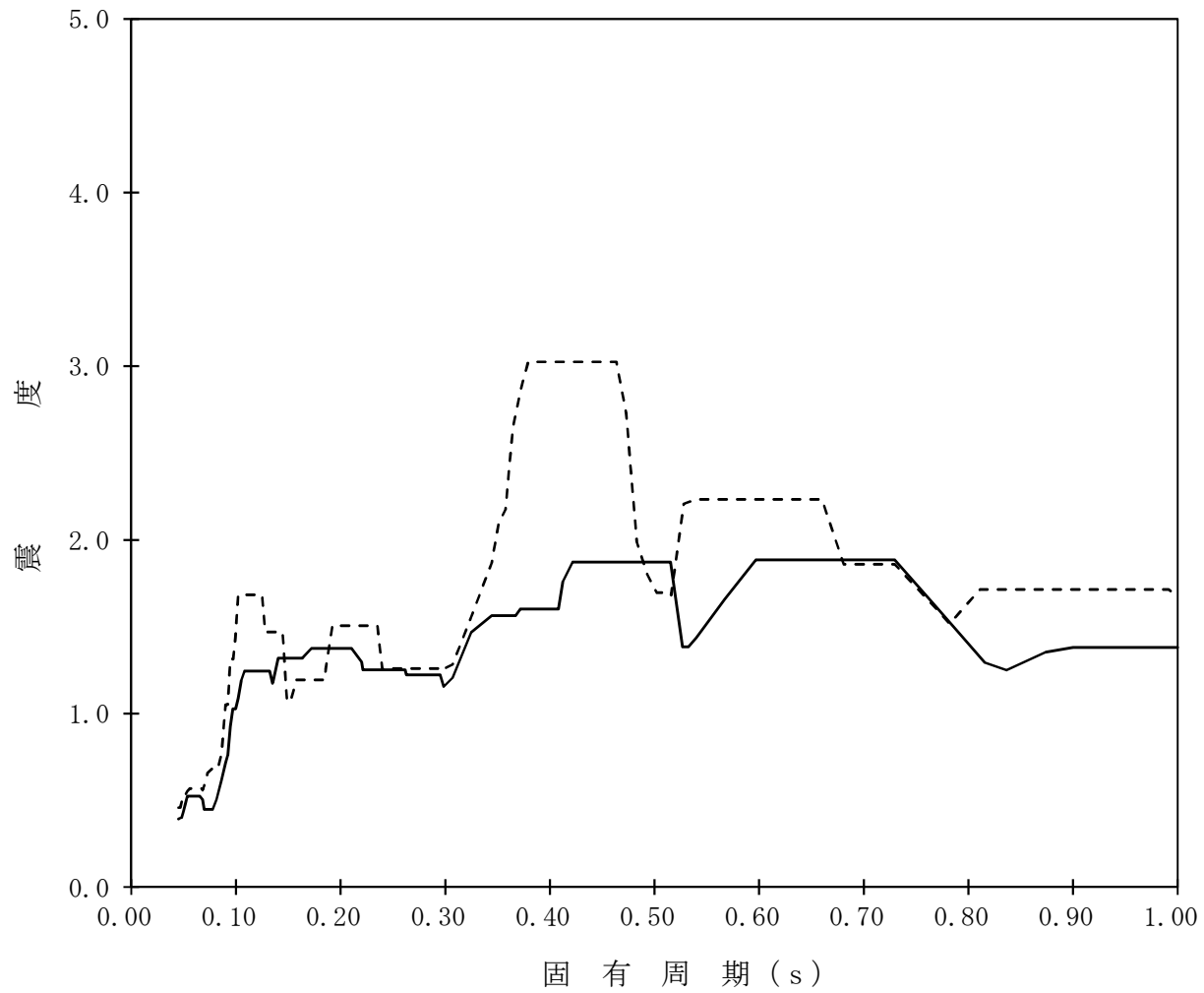
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB130】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 4.800m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB131】

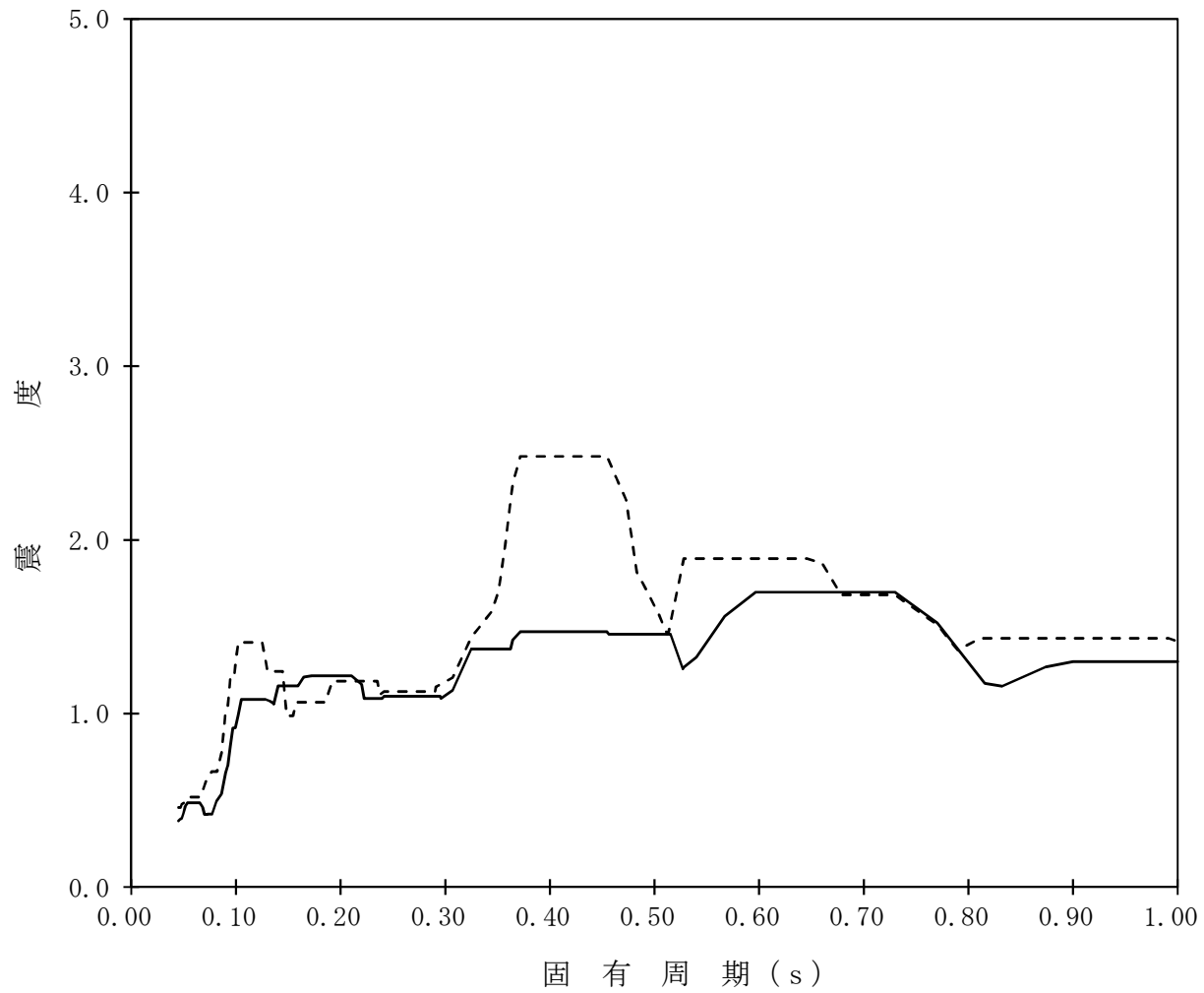
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 4.800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB132】

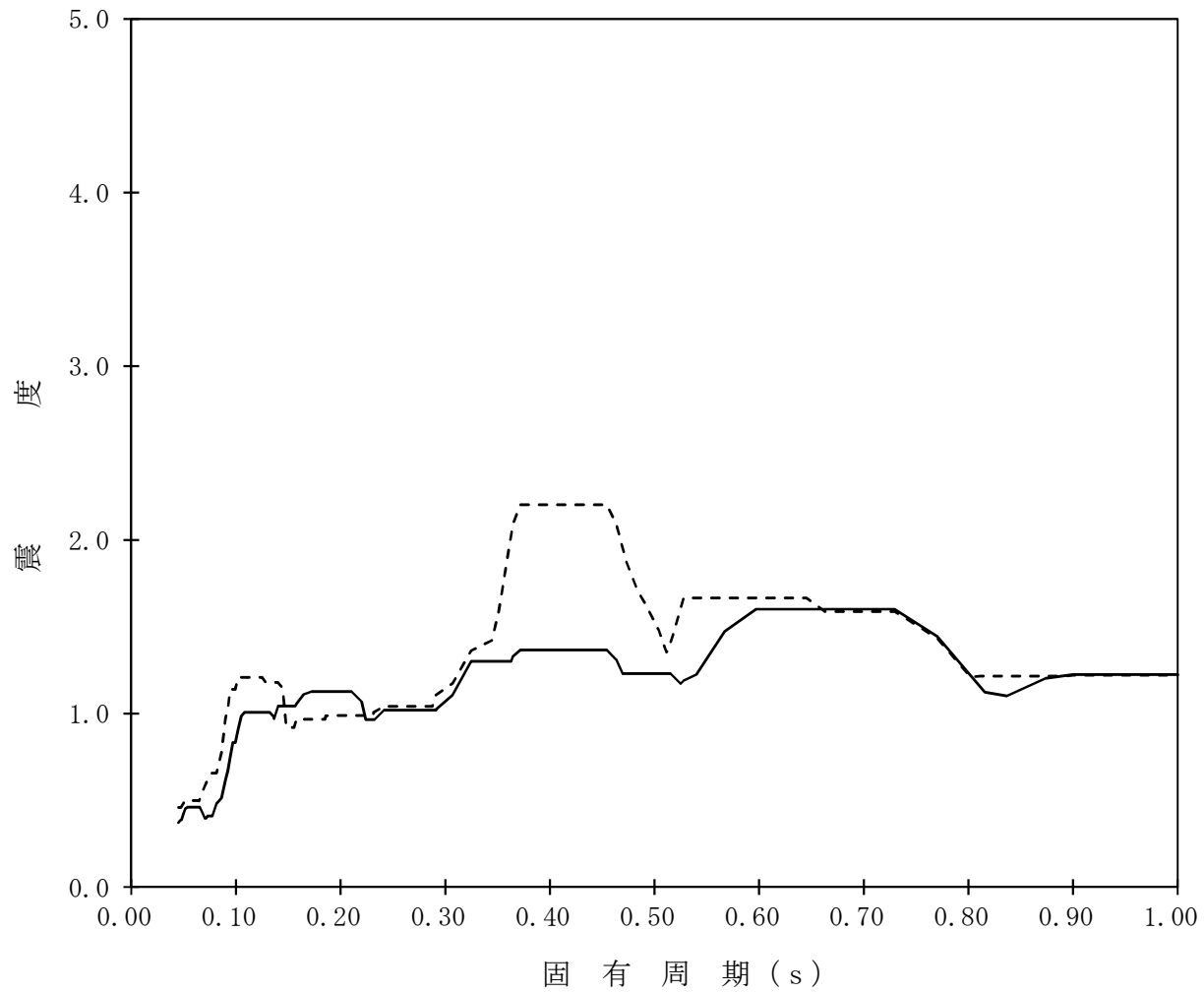
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB133】

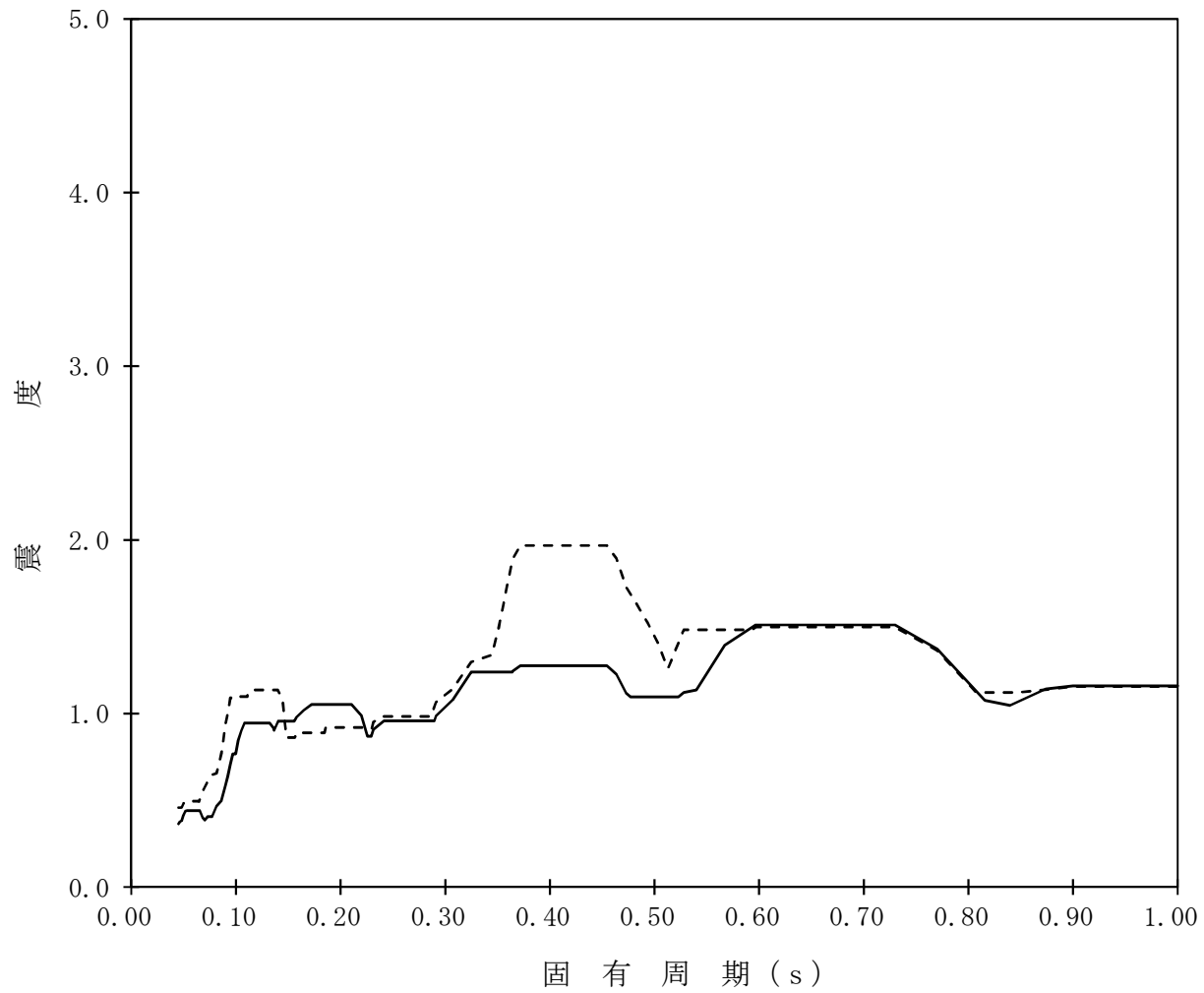
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 4.800m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB134】

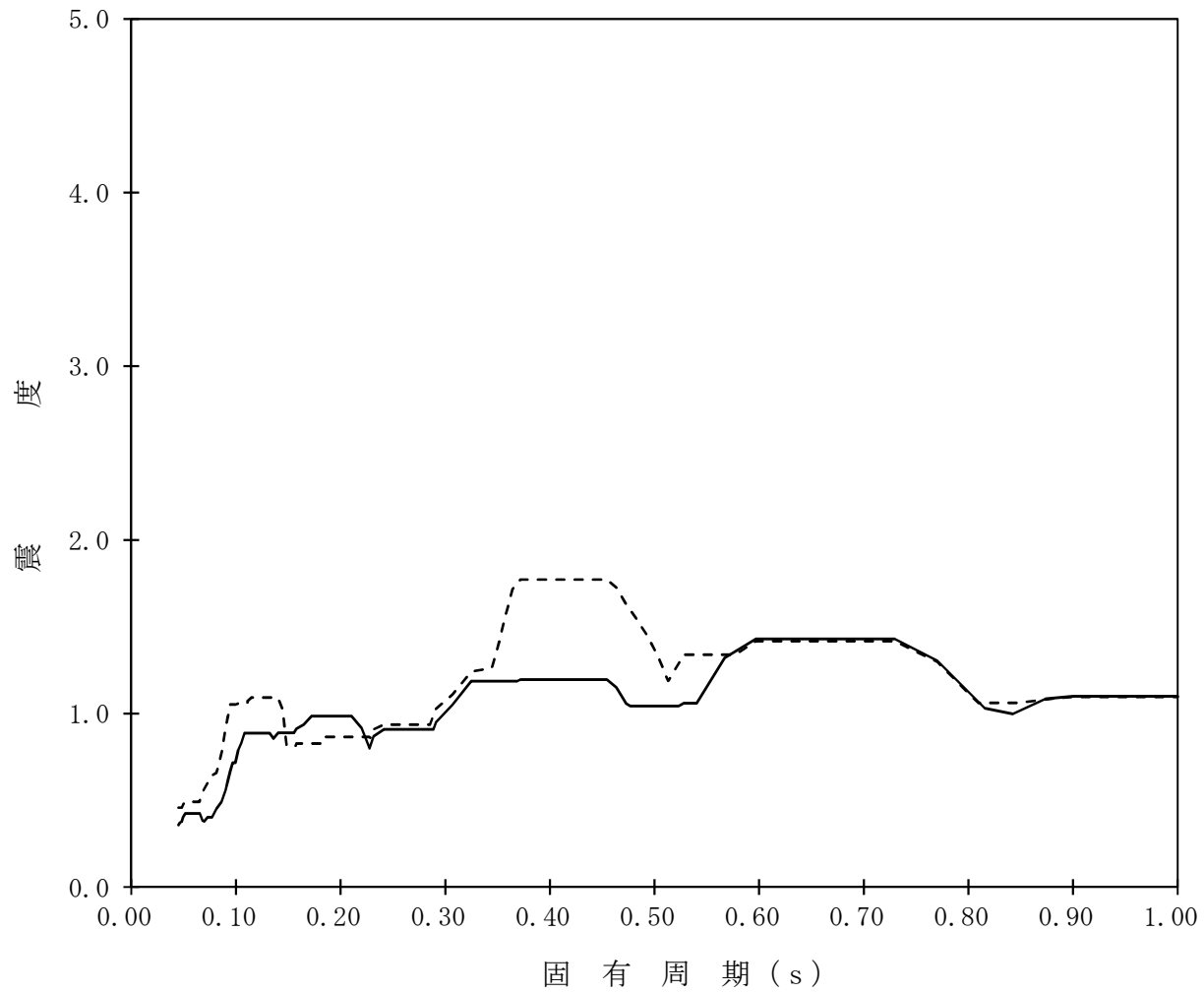
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB135】

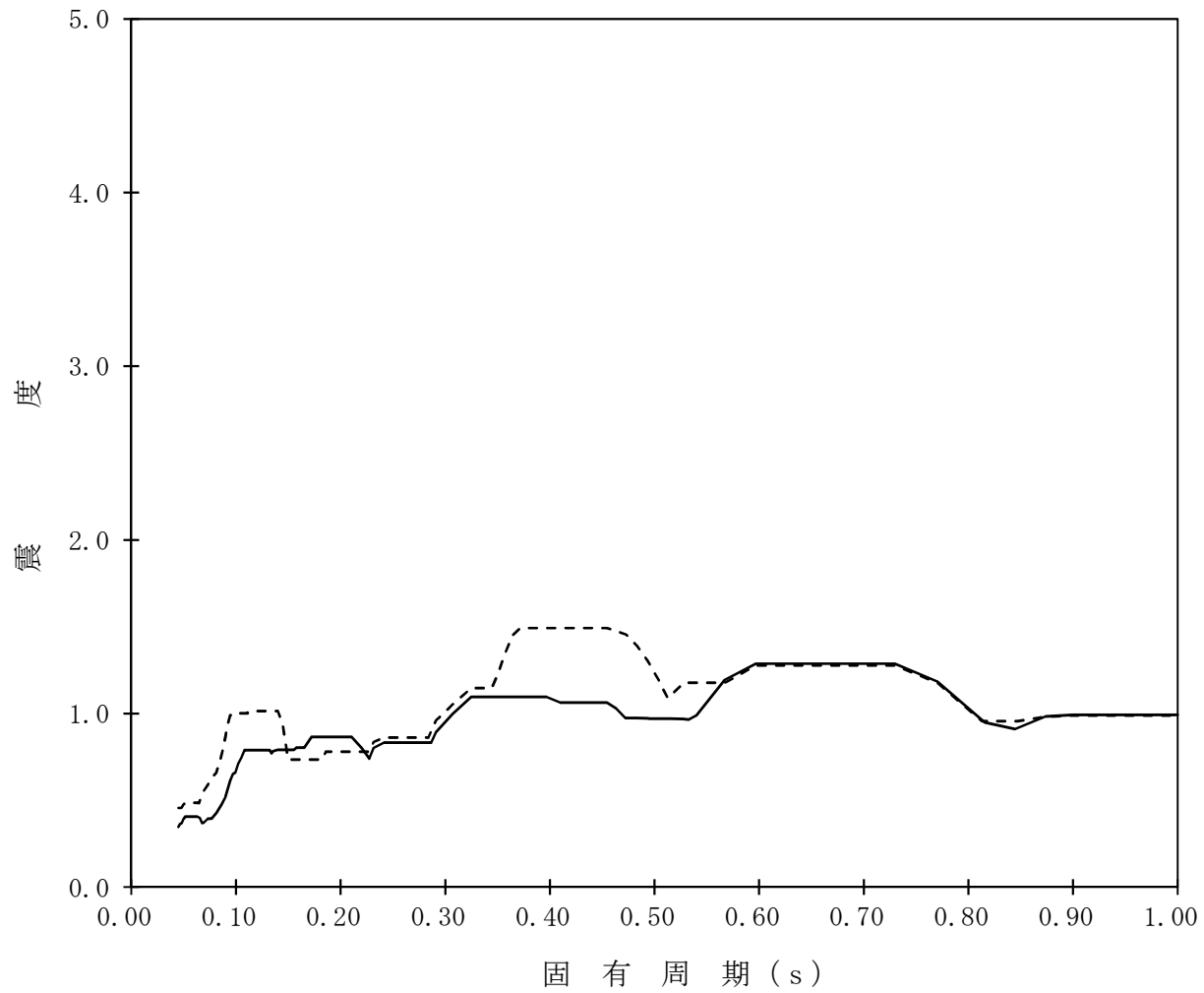
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

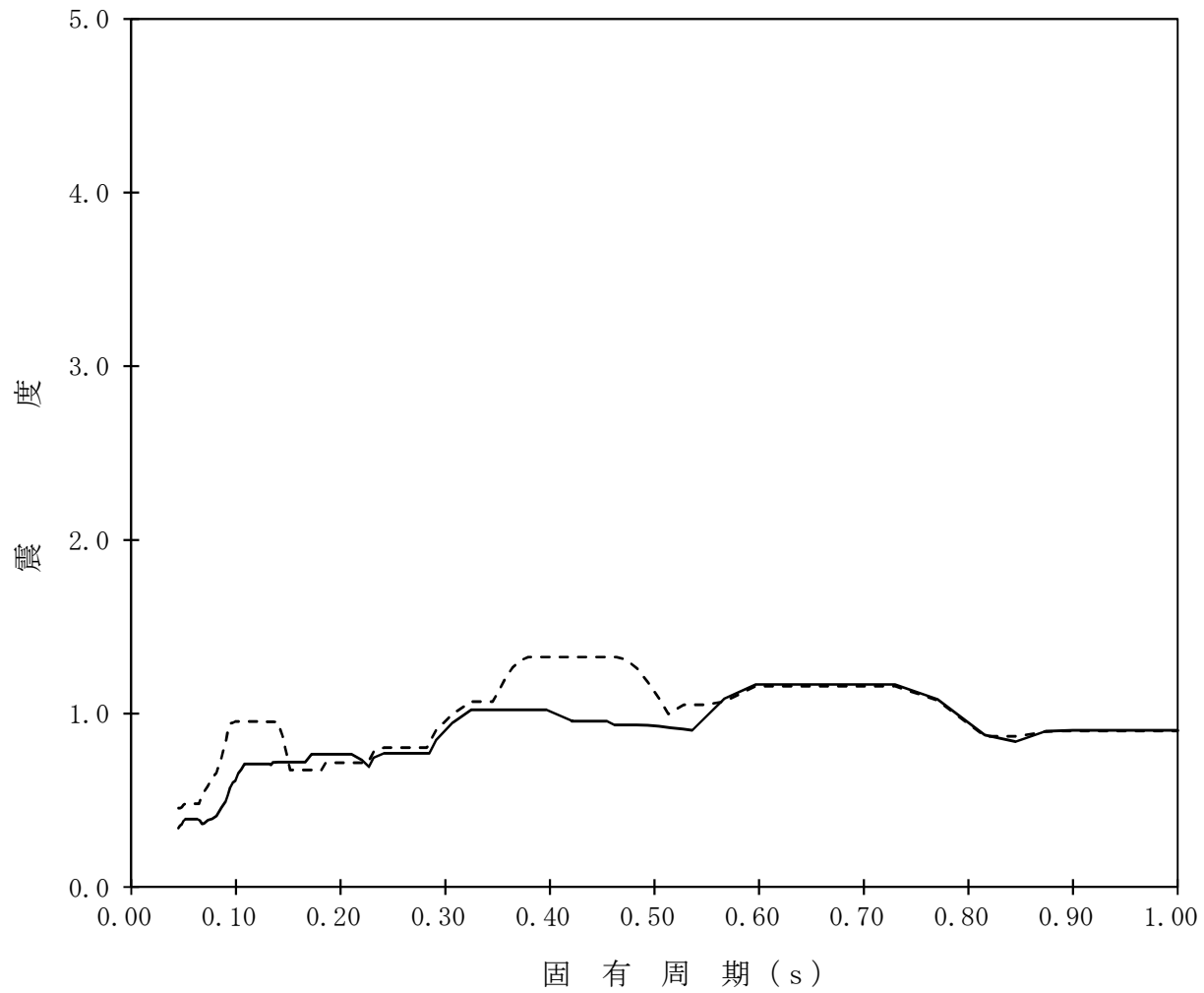
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB136】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

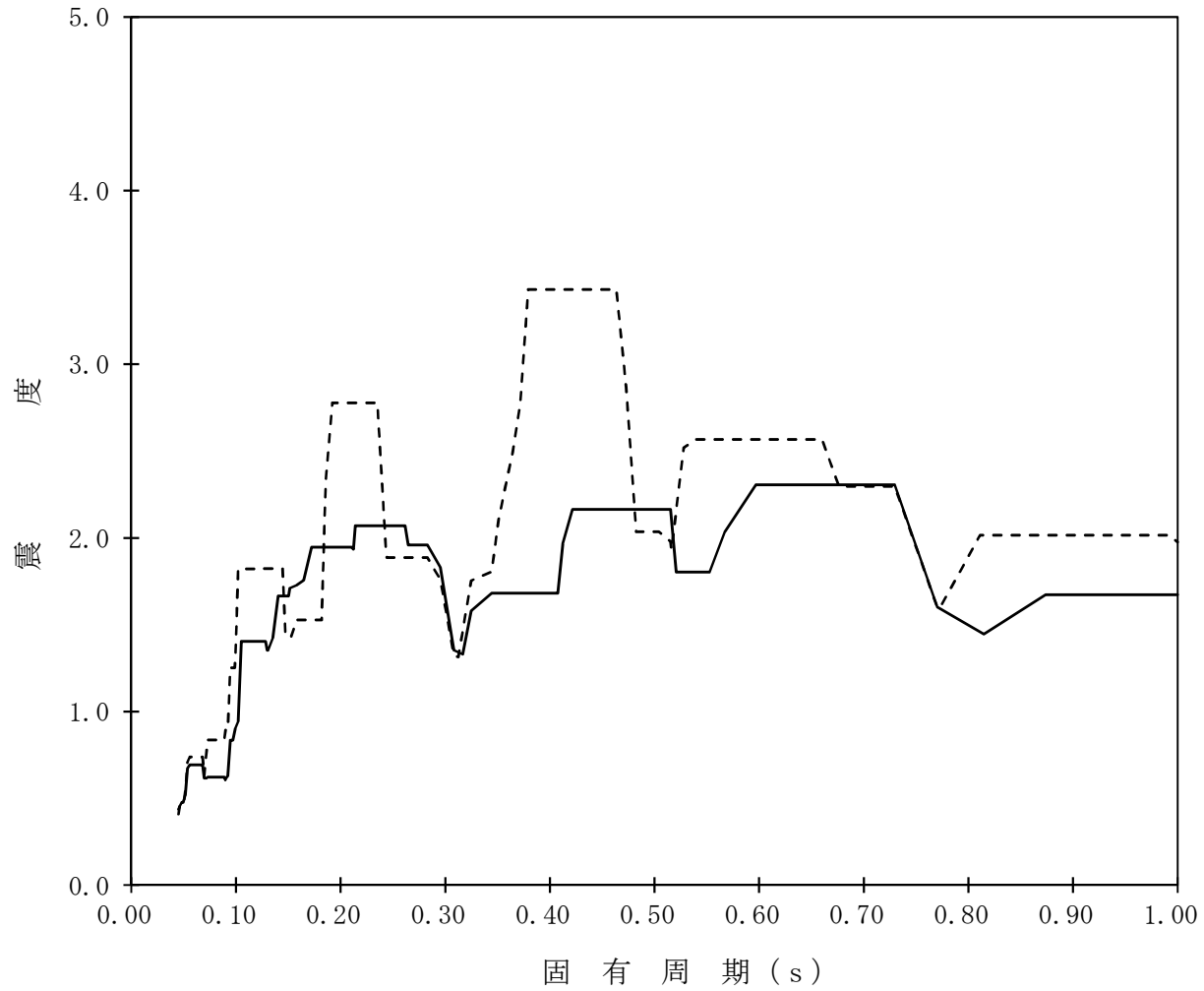
標高：T. M. S. L. 4. 800m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB137】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

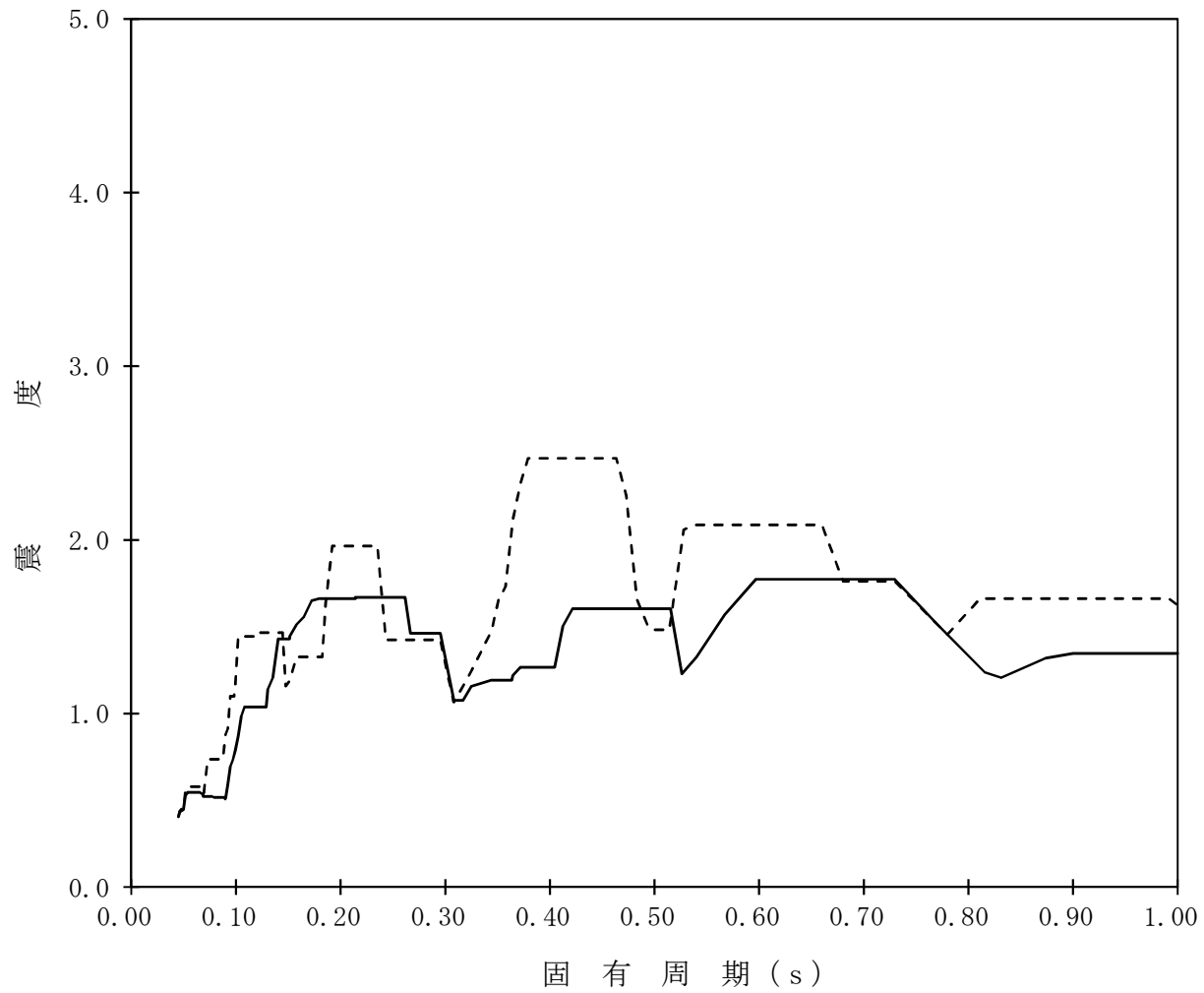
標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB138】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

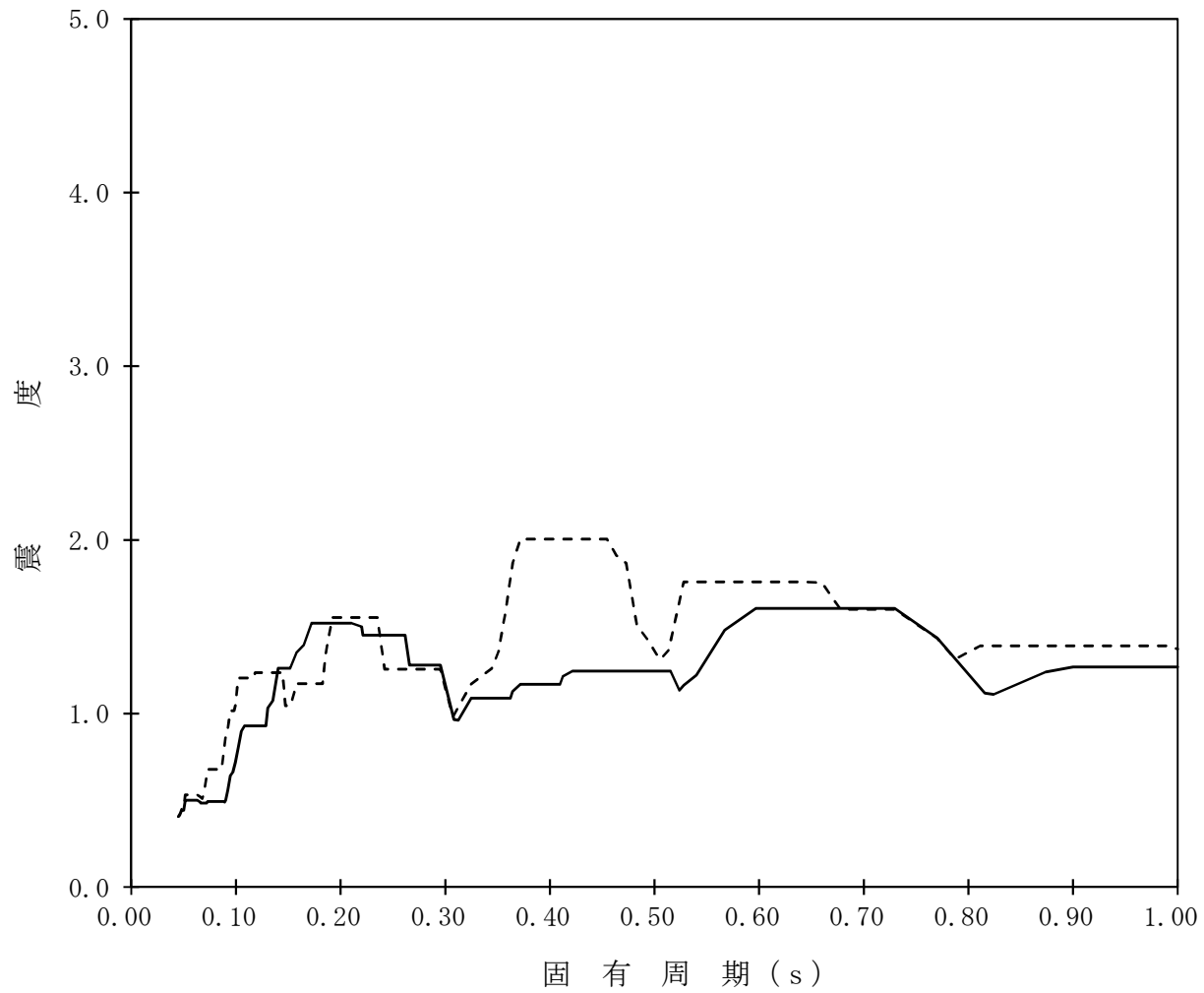
標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB139】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

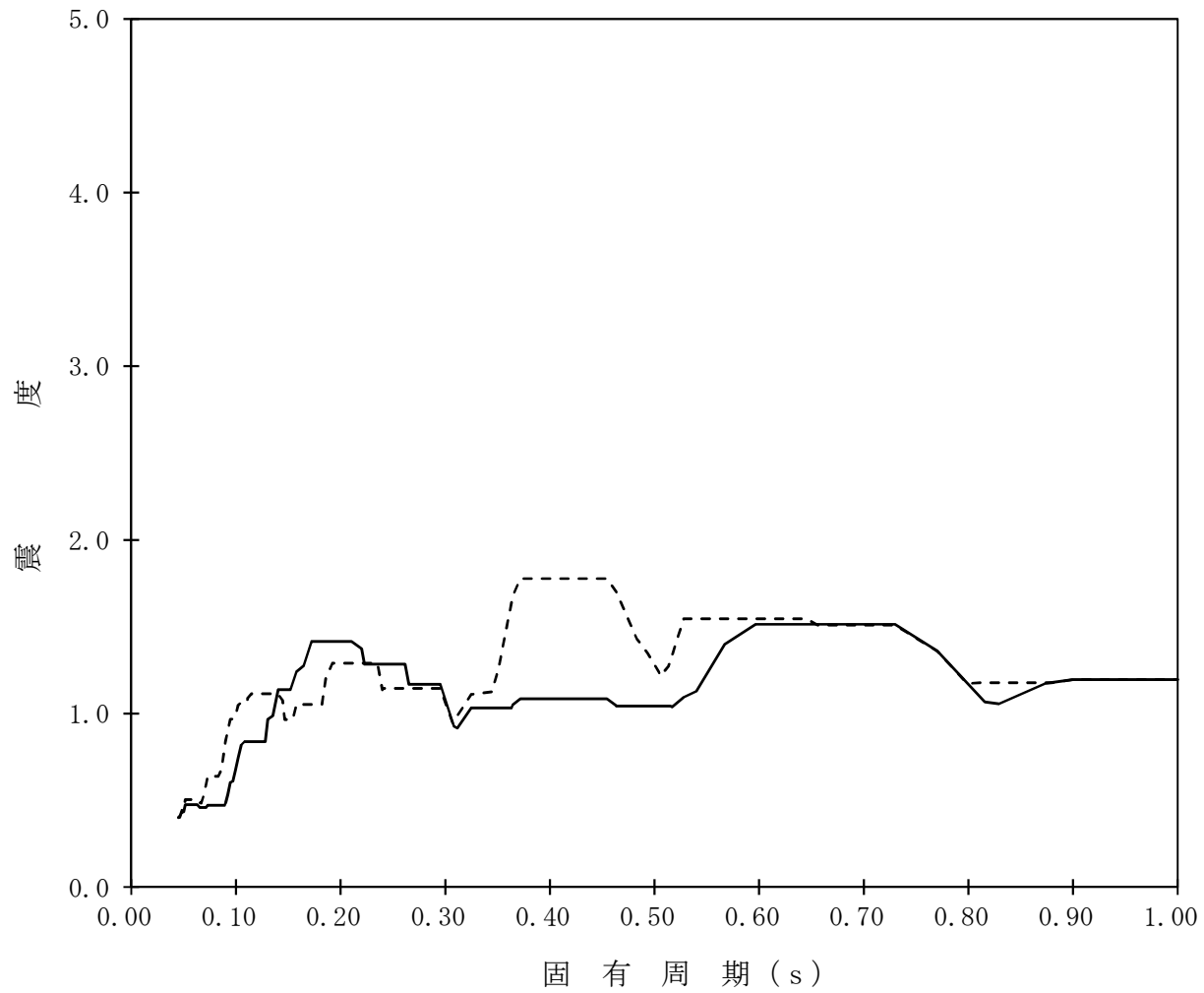
標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB140】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

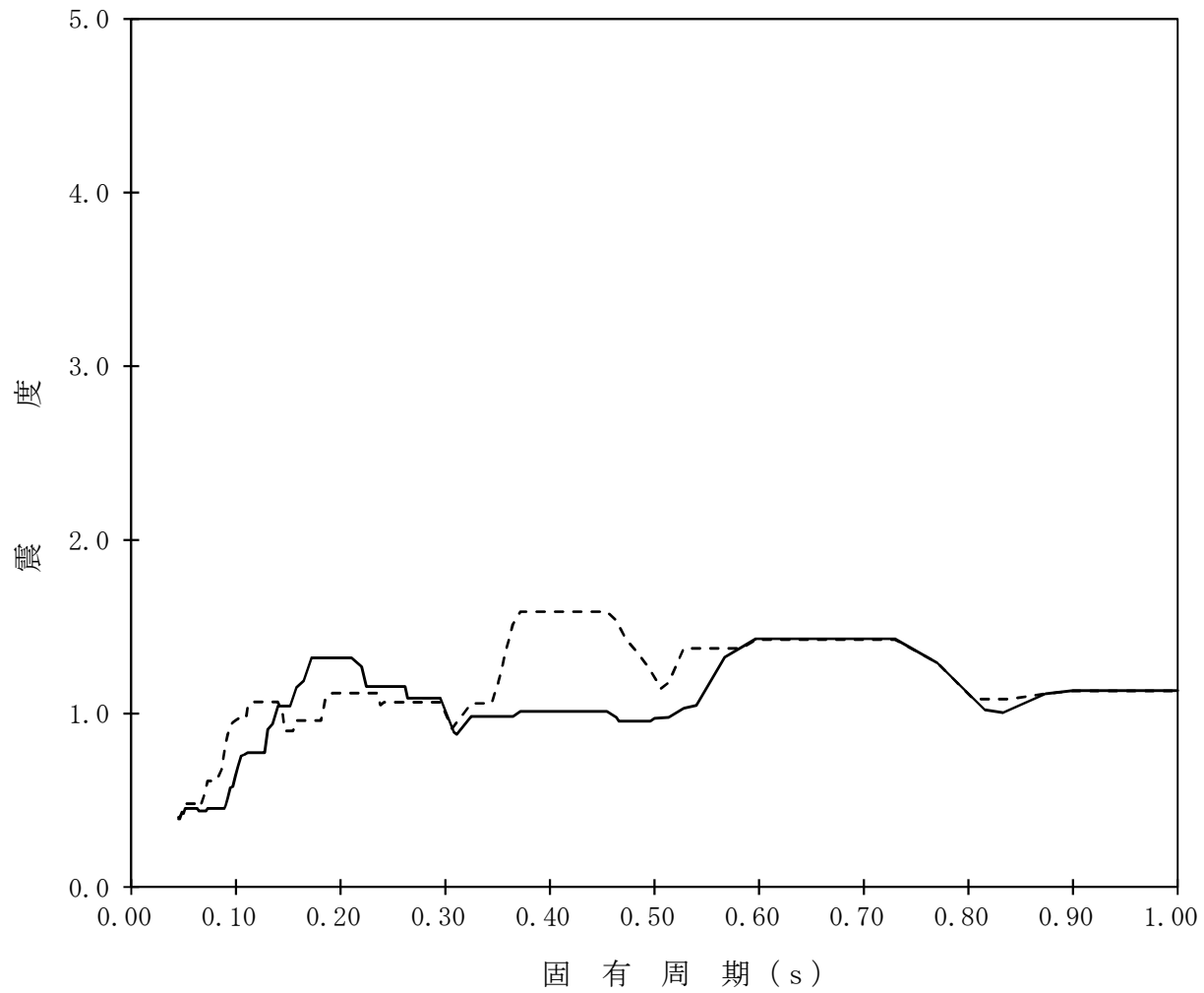
標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB141】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

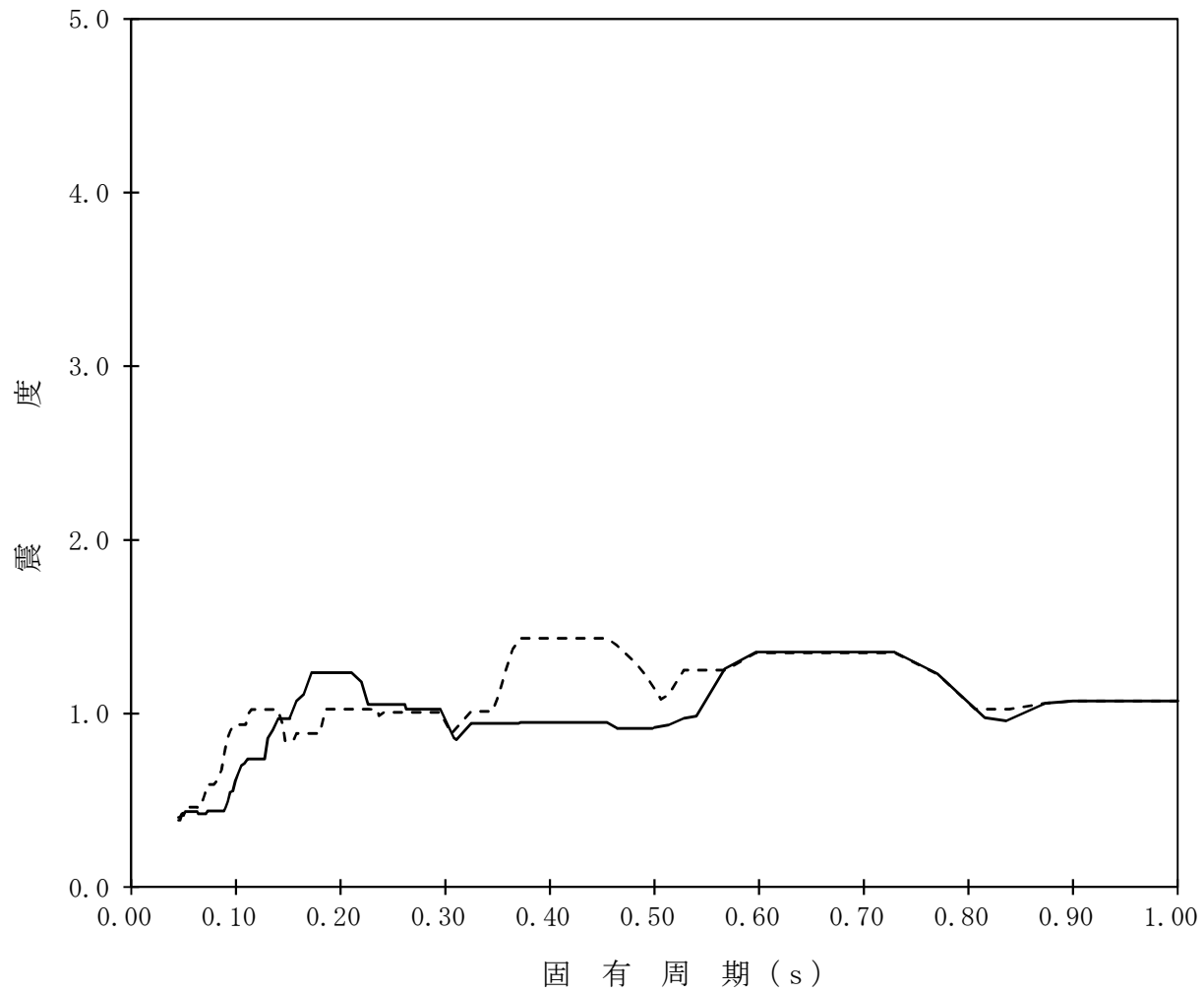
標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB142】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB143】

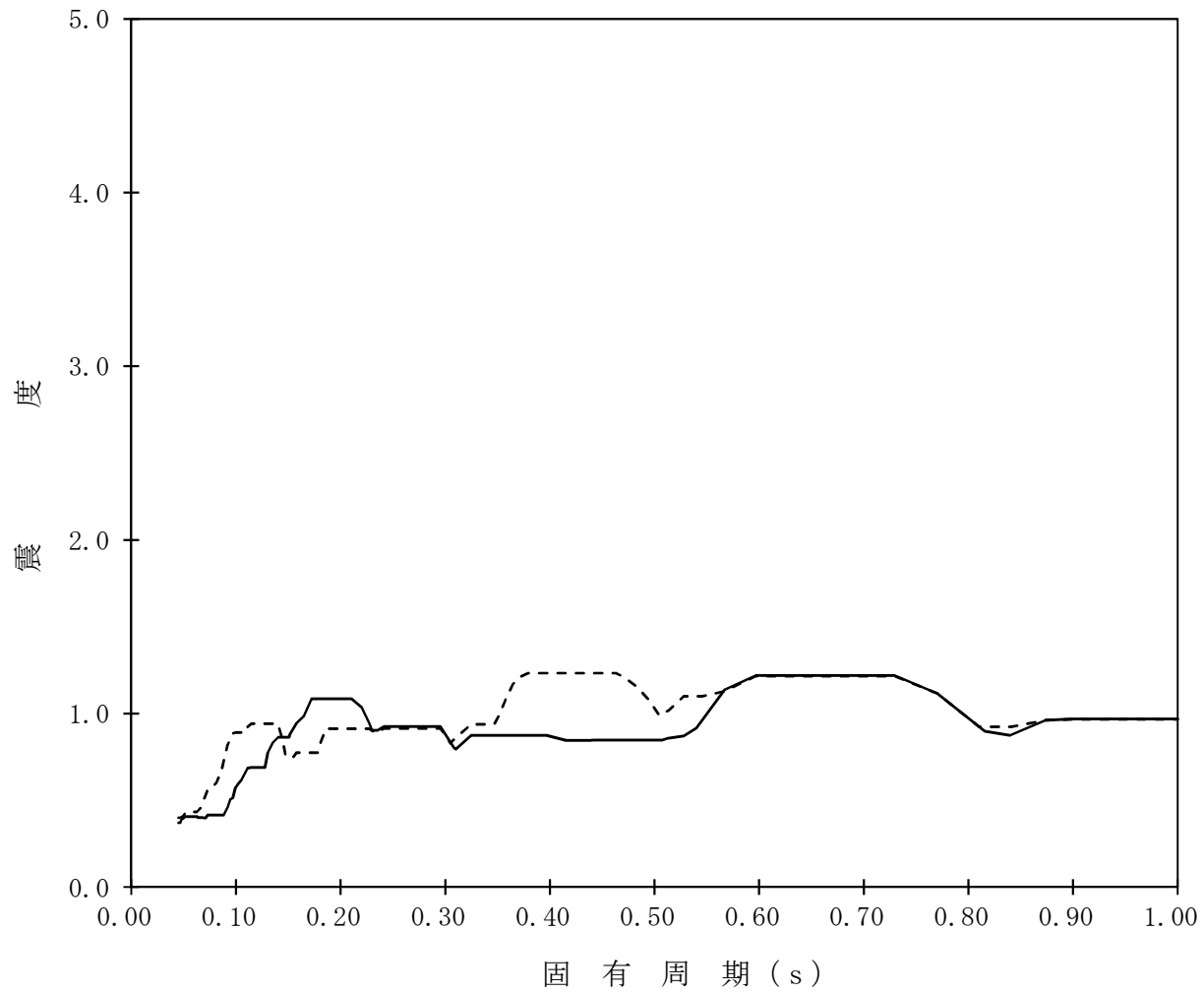
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

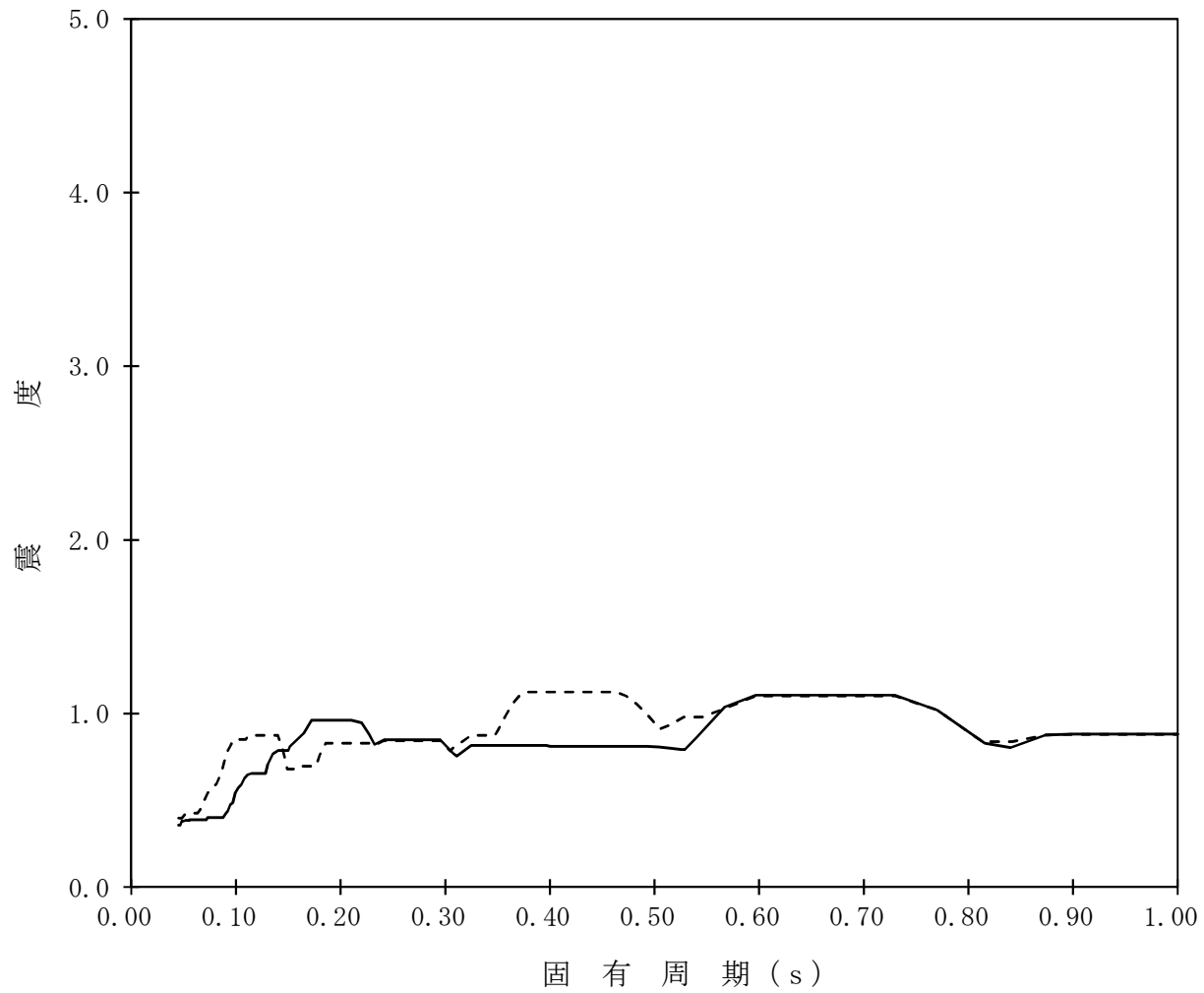
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB144】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

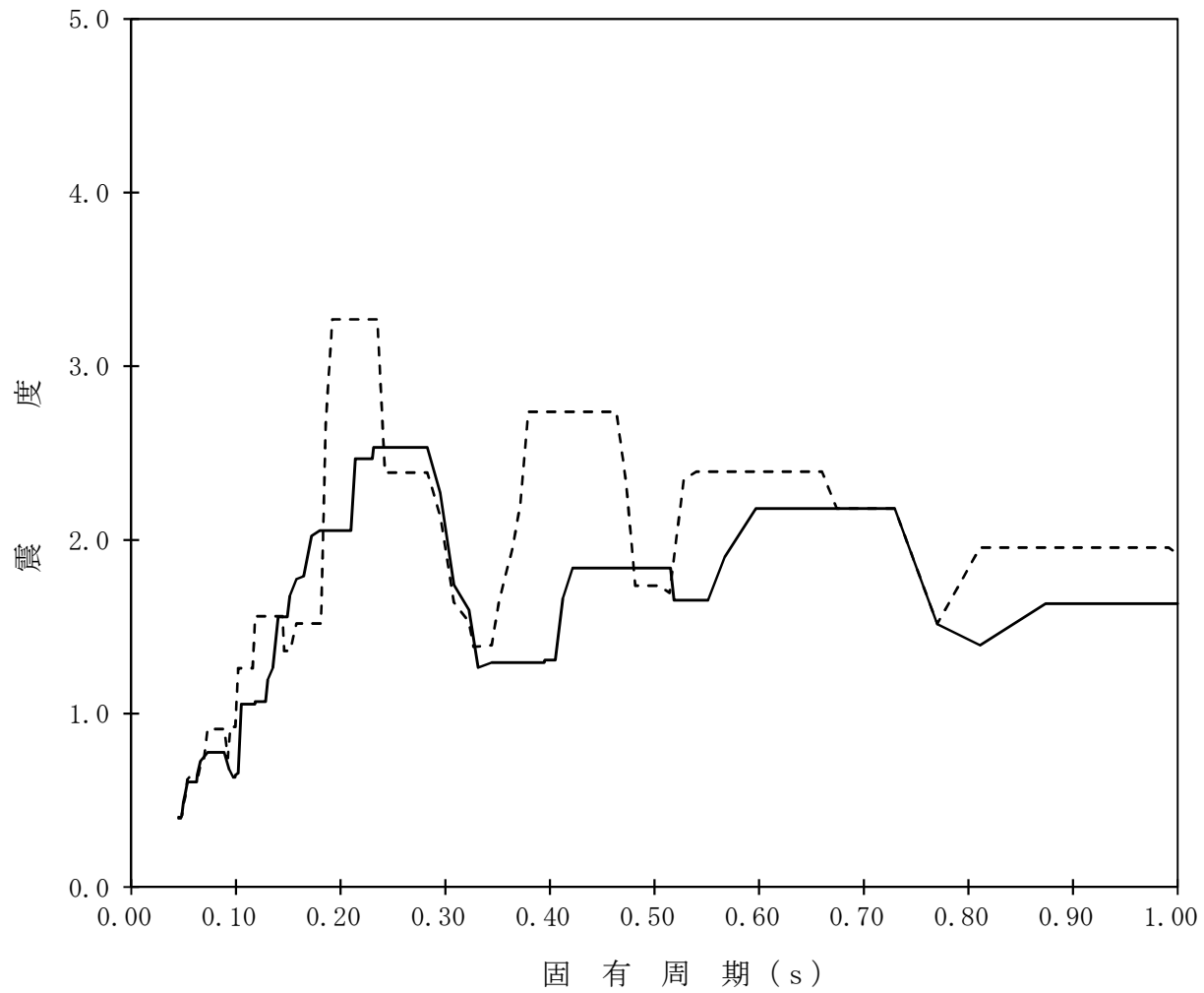
標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB145】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

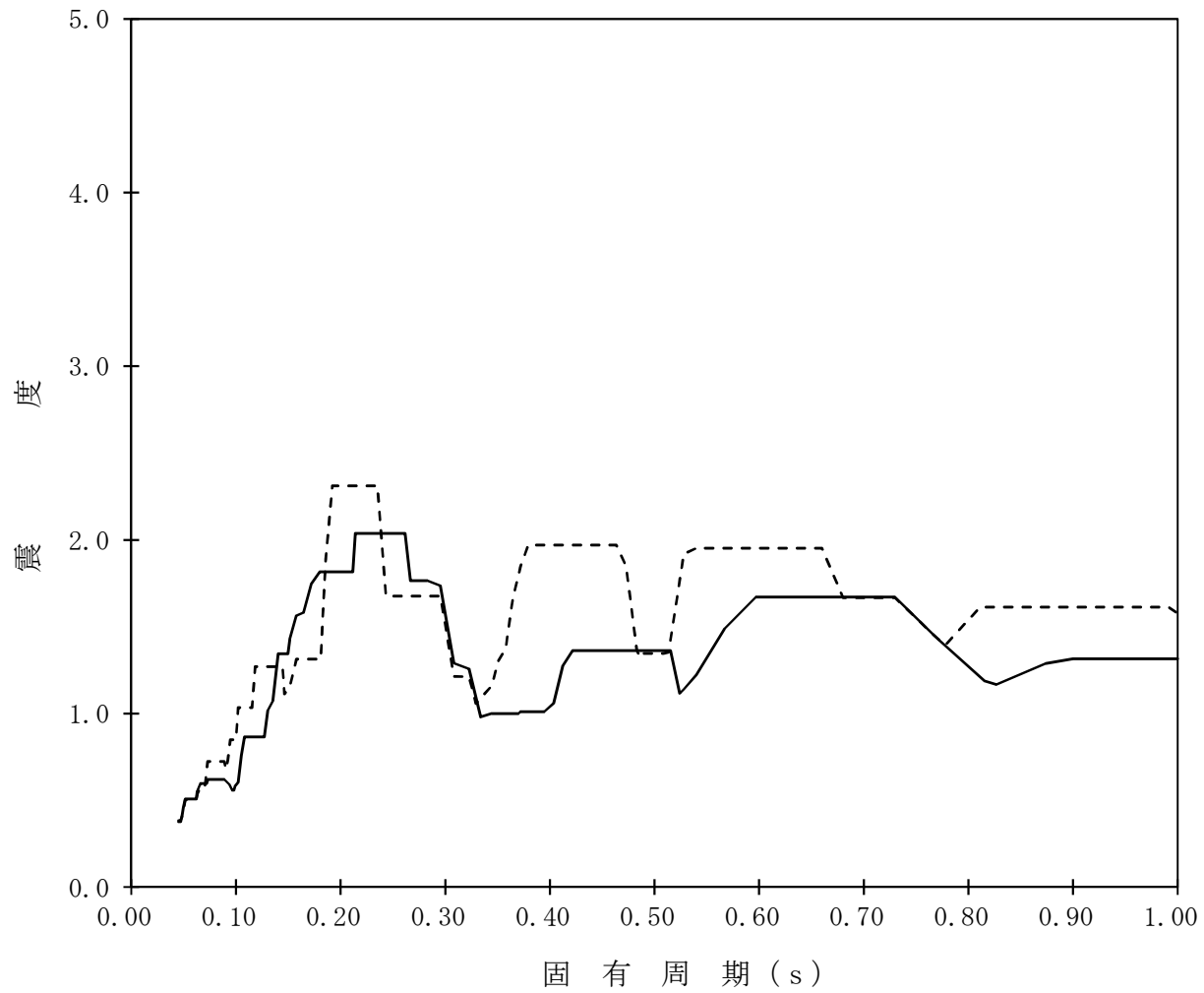
標高：T. M. S. L. -8.200m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB146】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

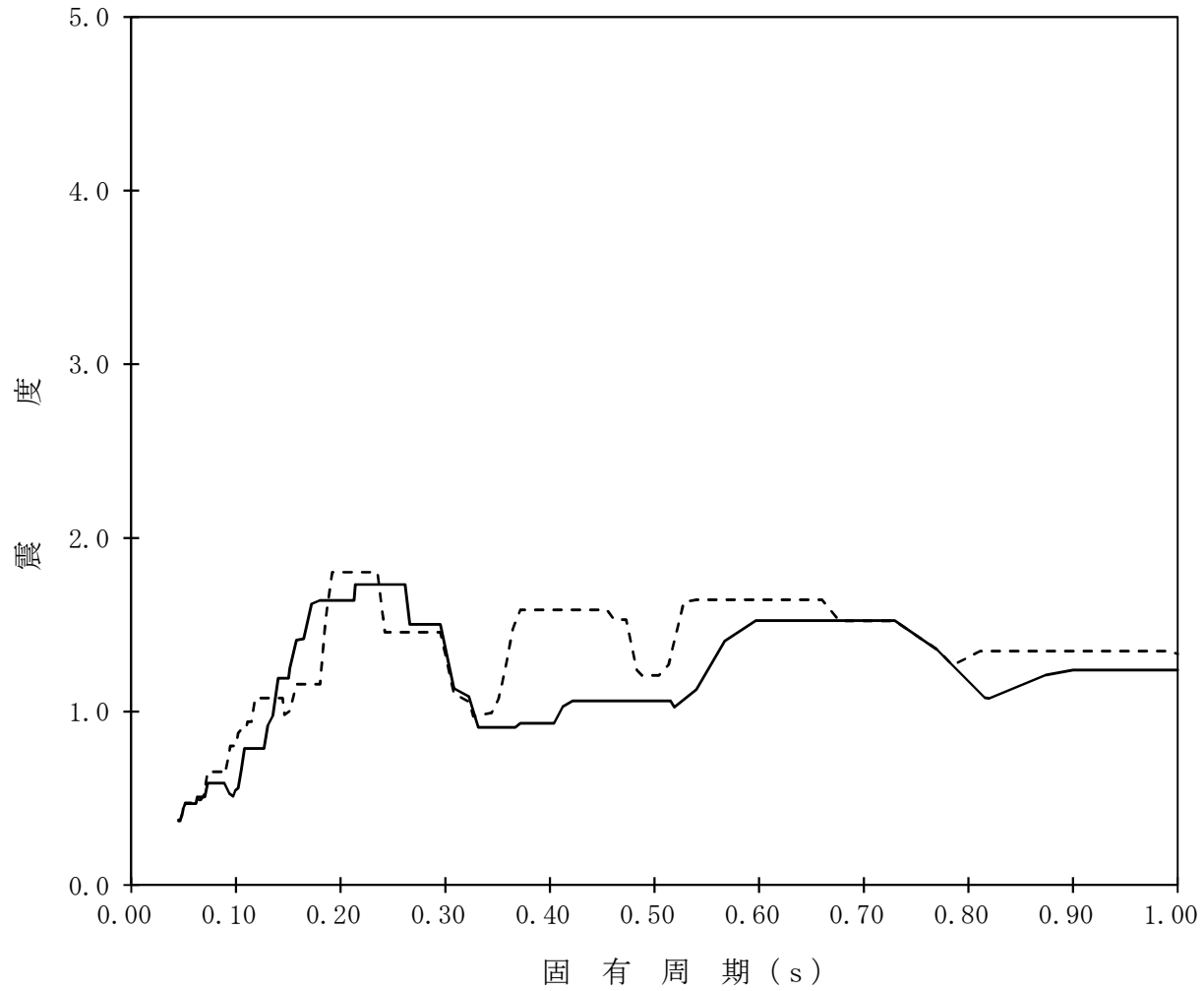
標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB147】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

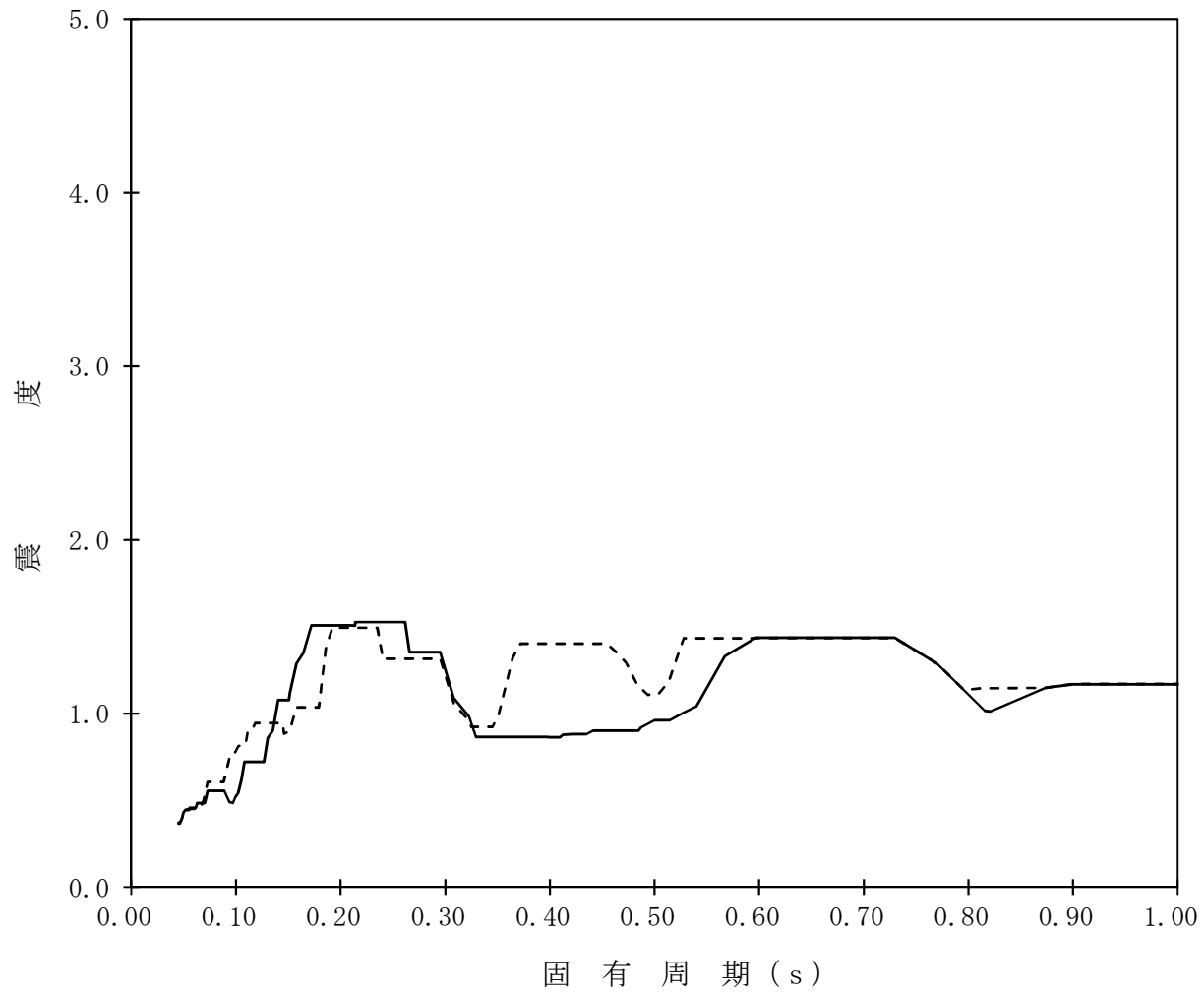
標高：T. M. S. L. -8.200m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB148】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

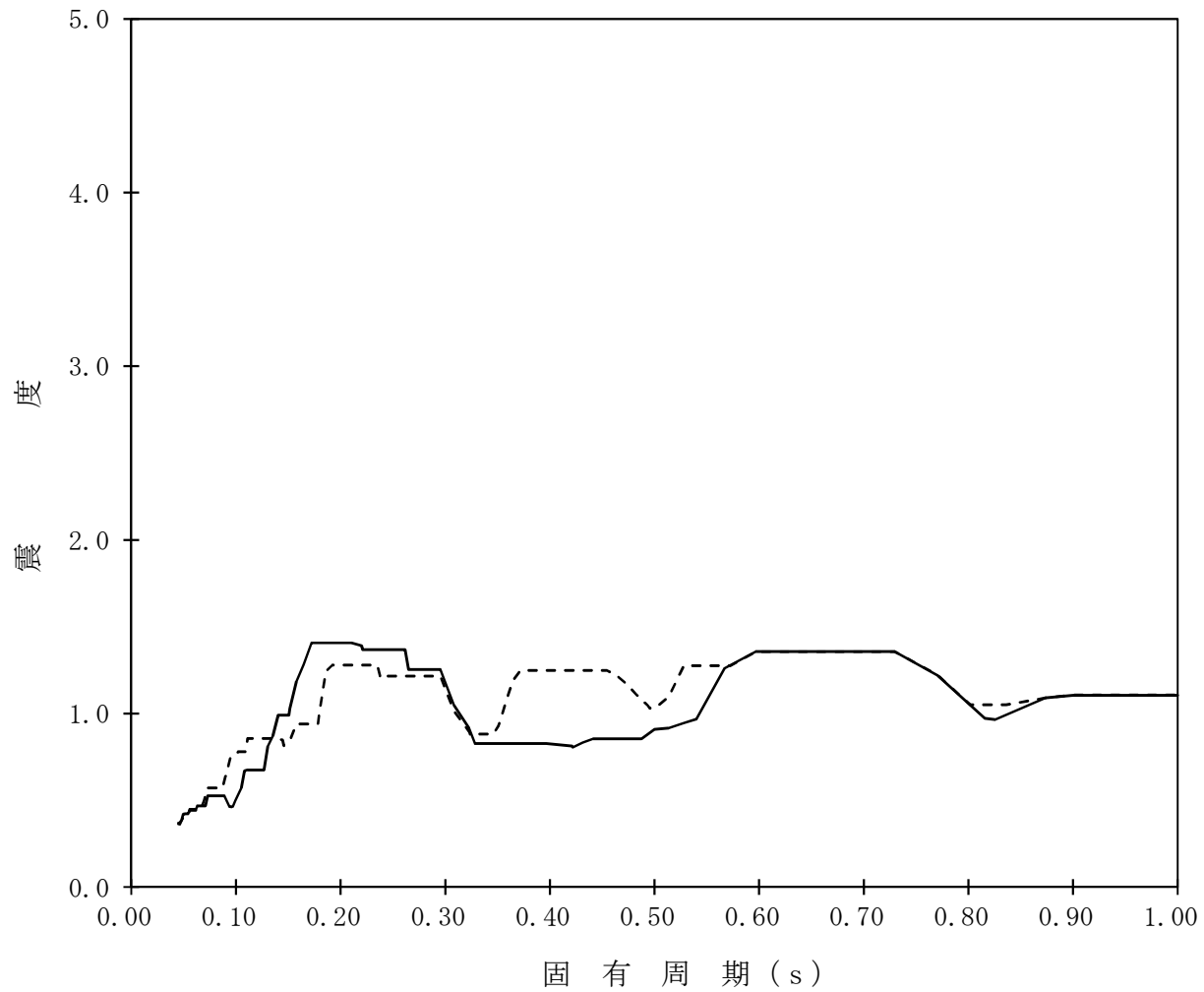
標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB149】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -8.200m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB150】

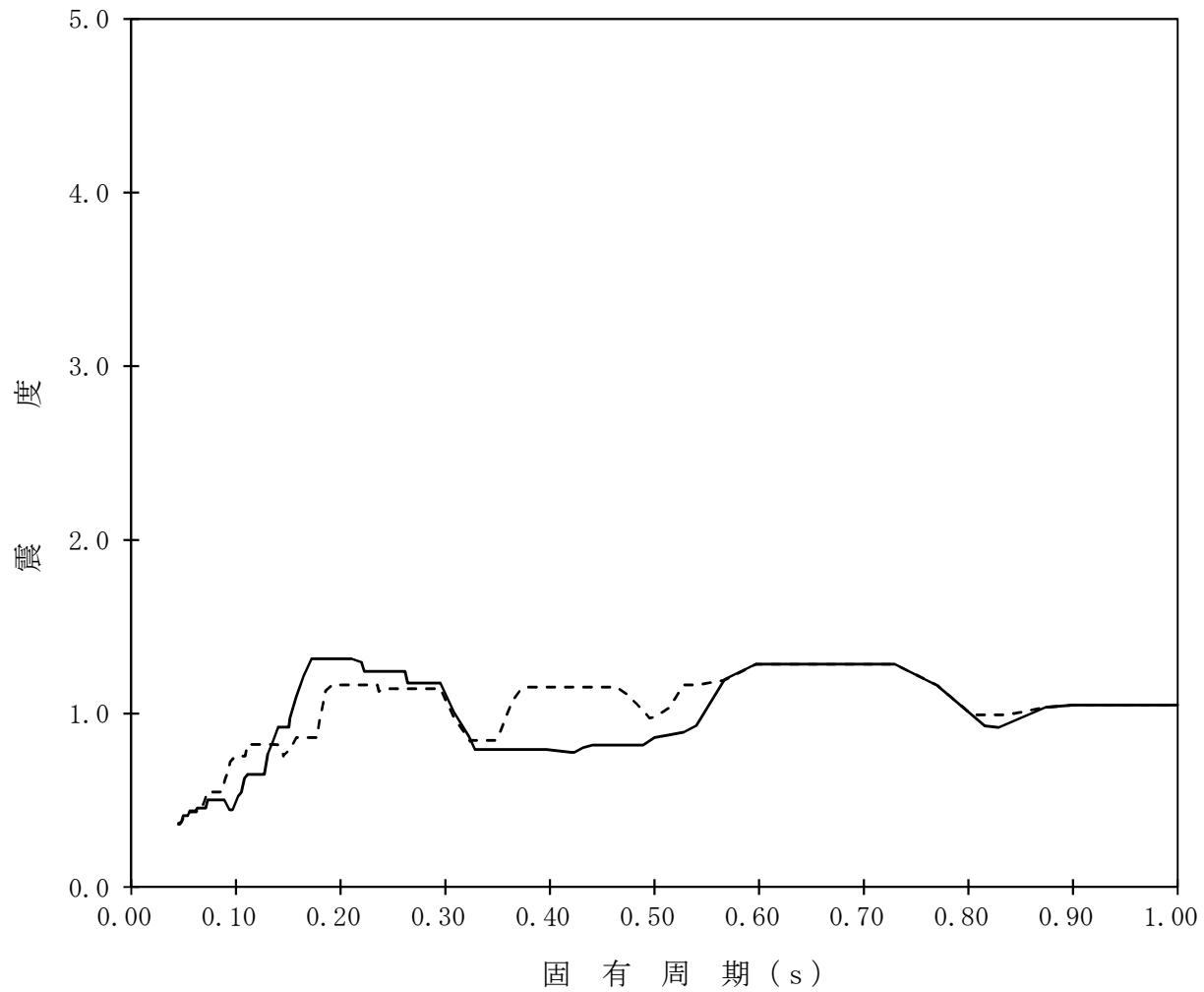
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB151】

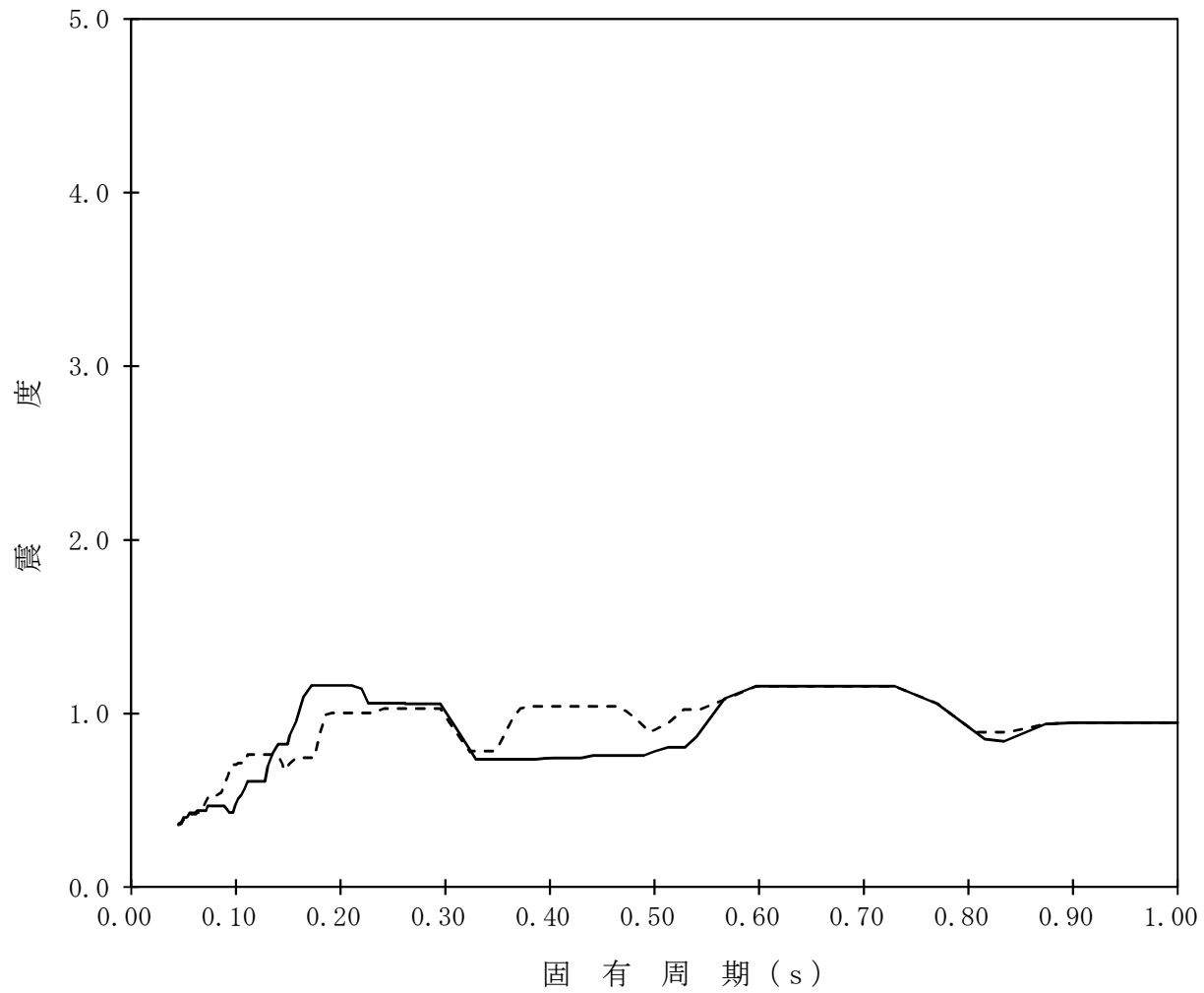
構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m

—— NS方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

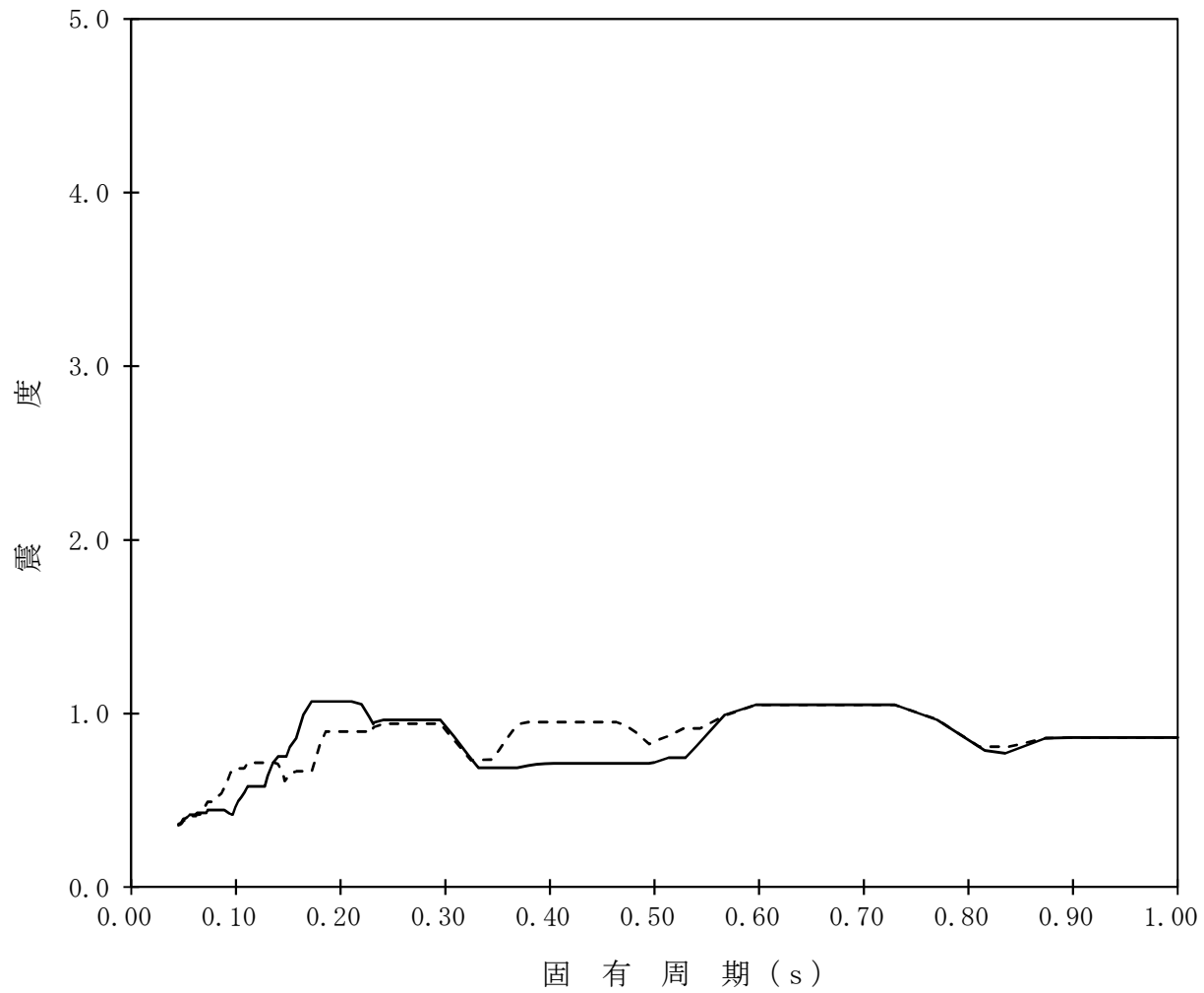
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB152】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

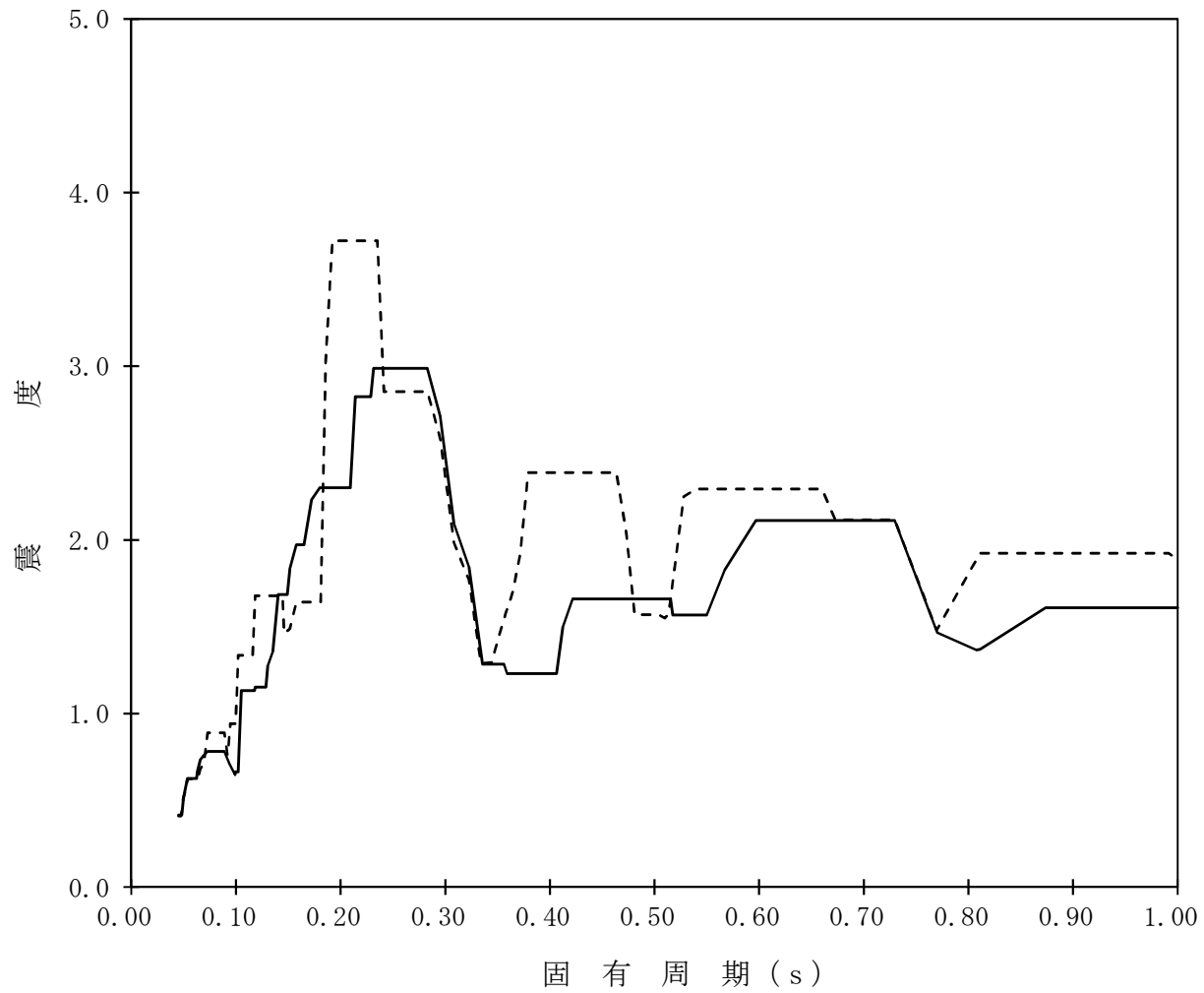
標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB153】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

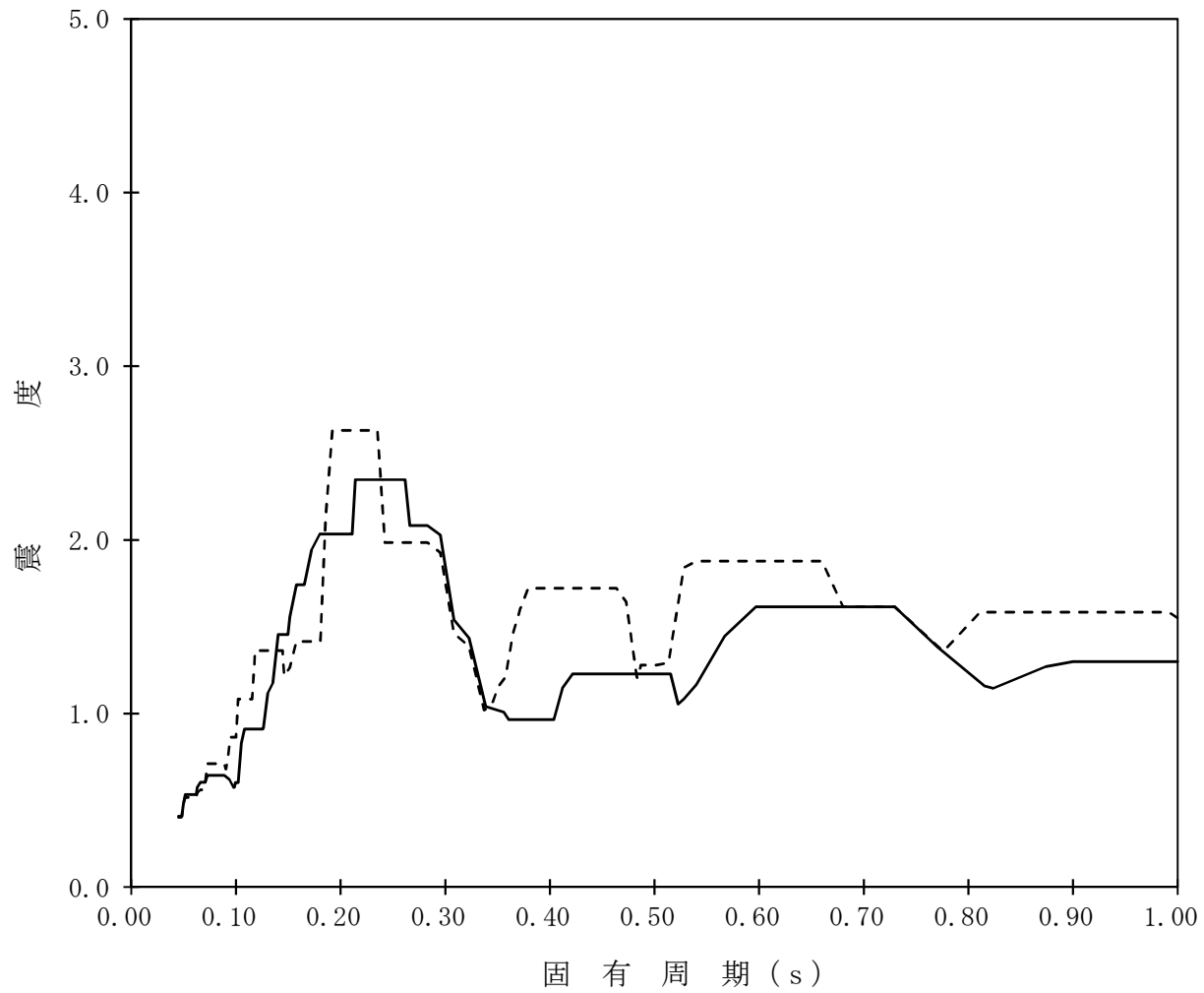
標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB154】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向

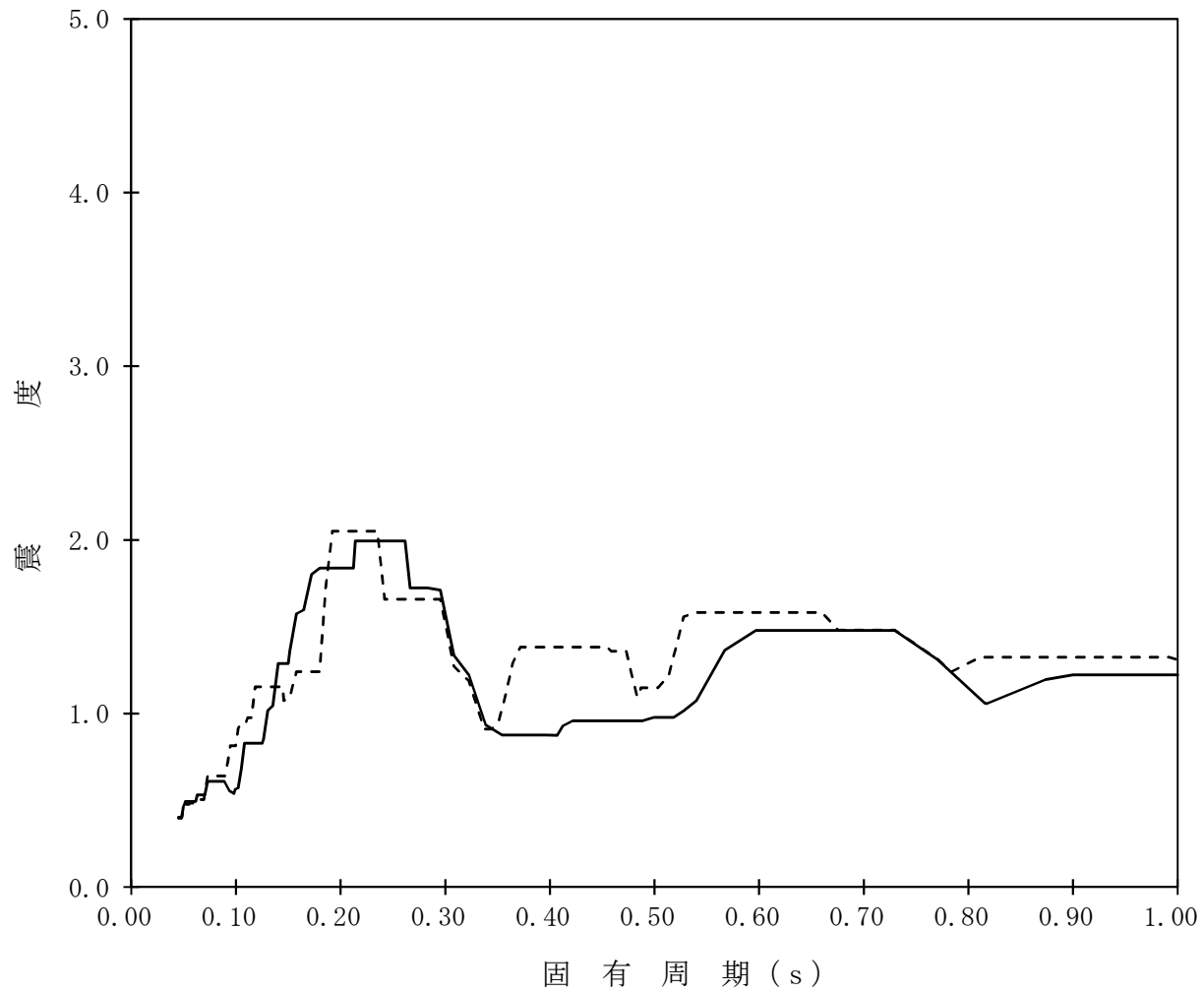


【K06-RB-SdH-RB155】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

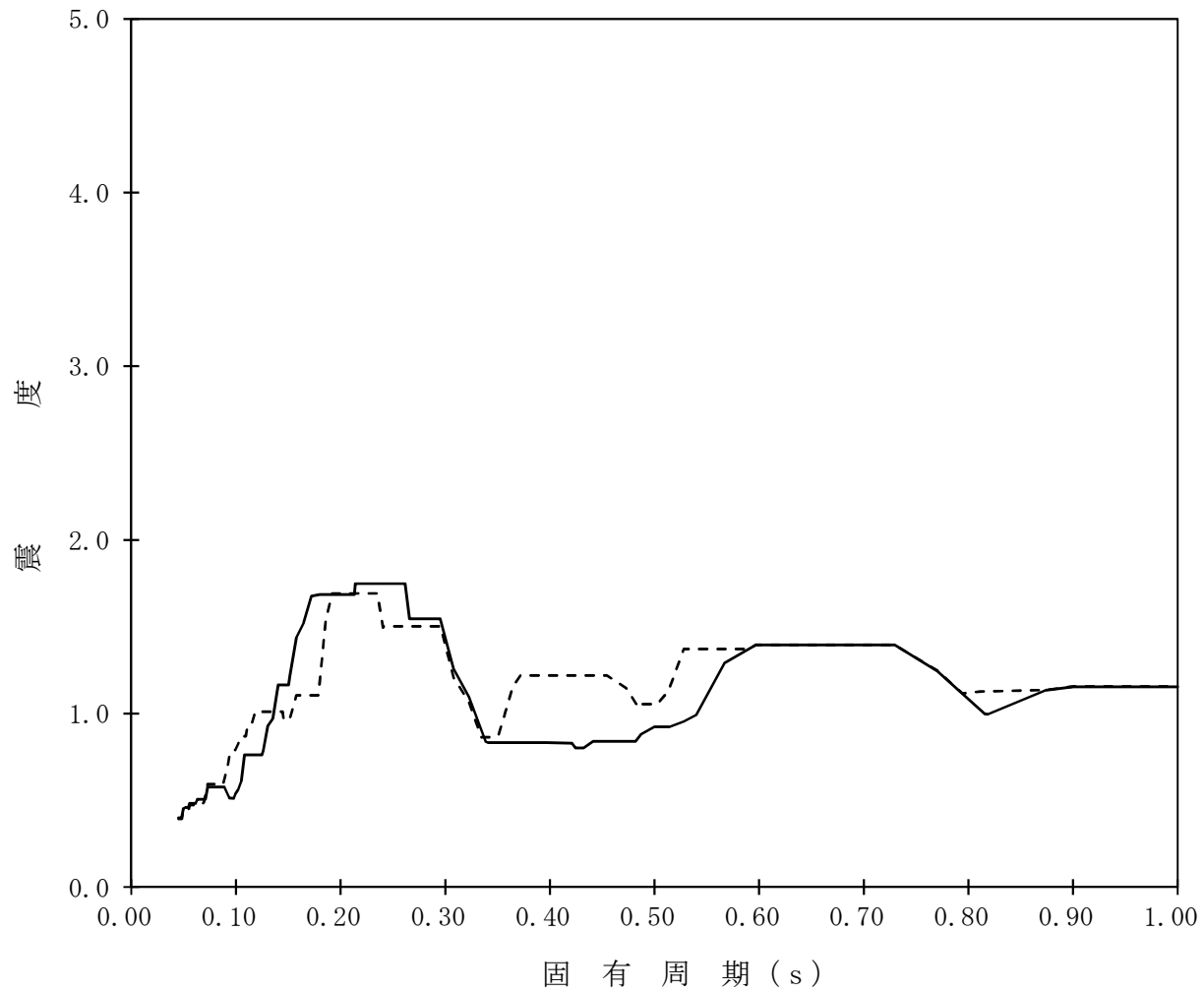
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB156】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

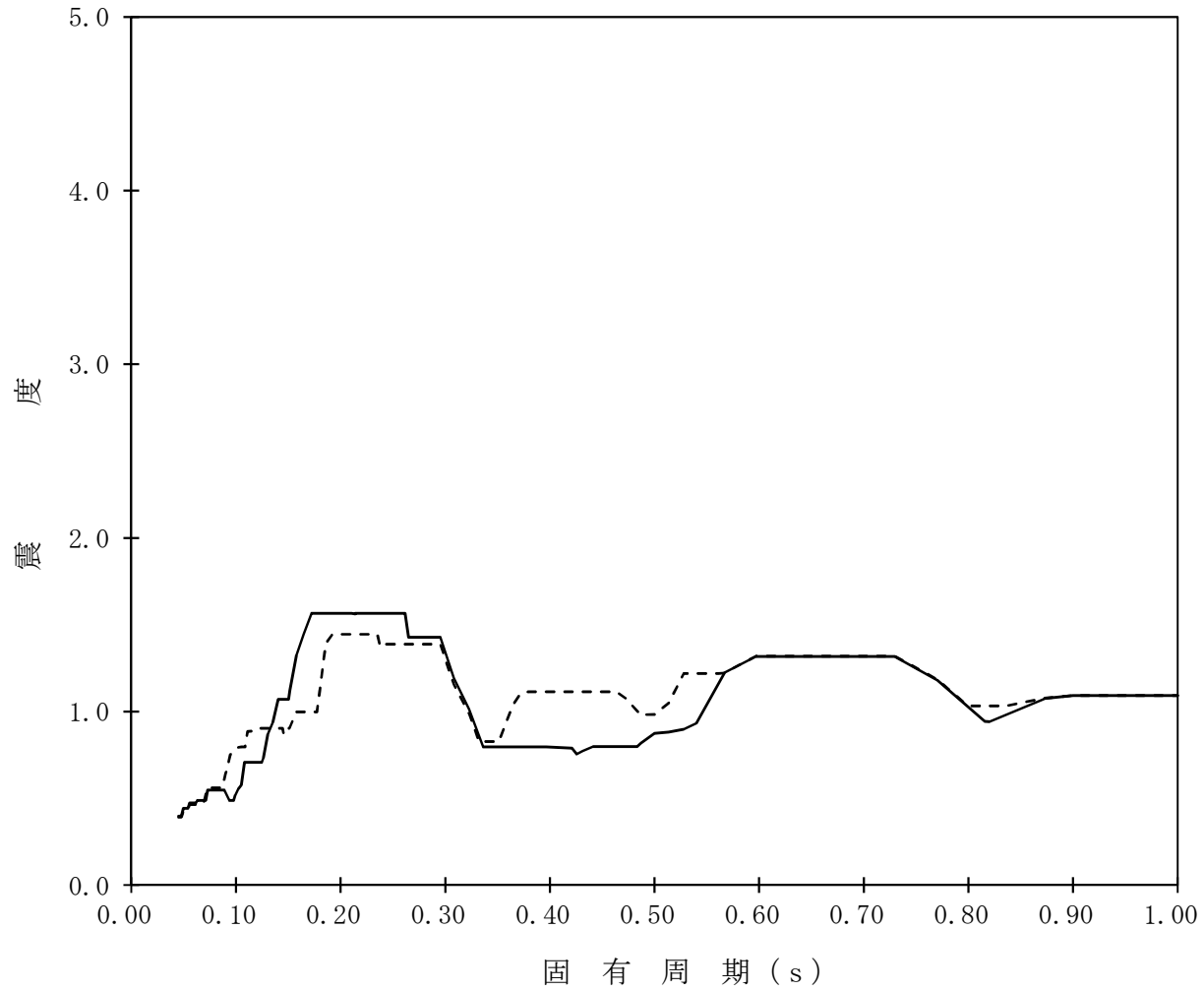
標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB157】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

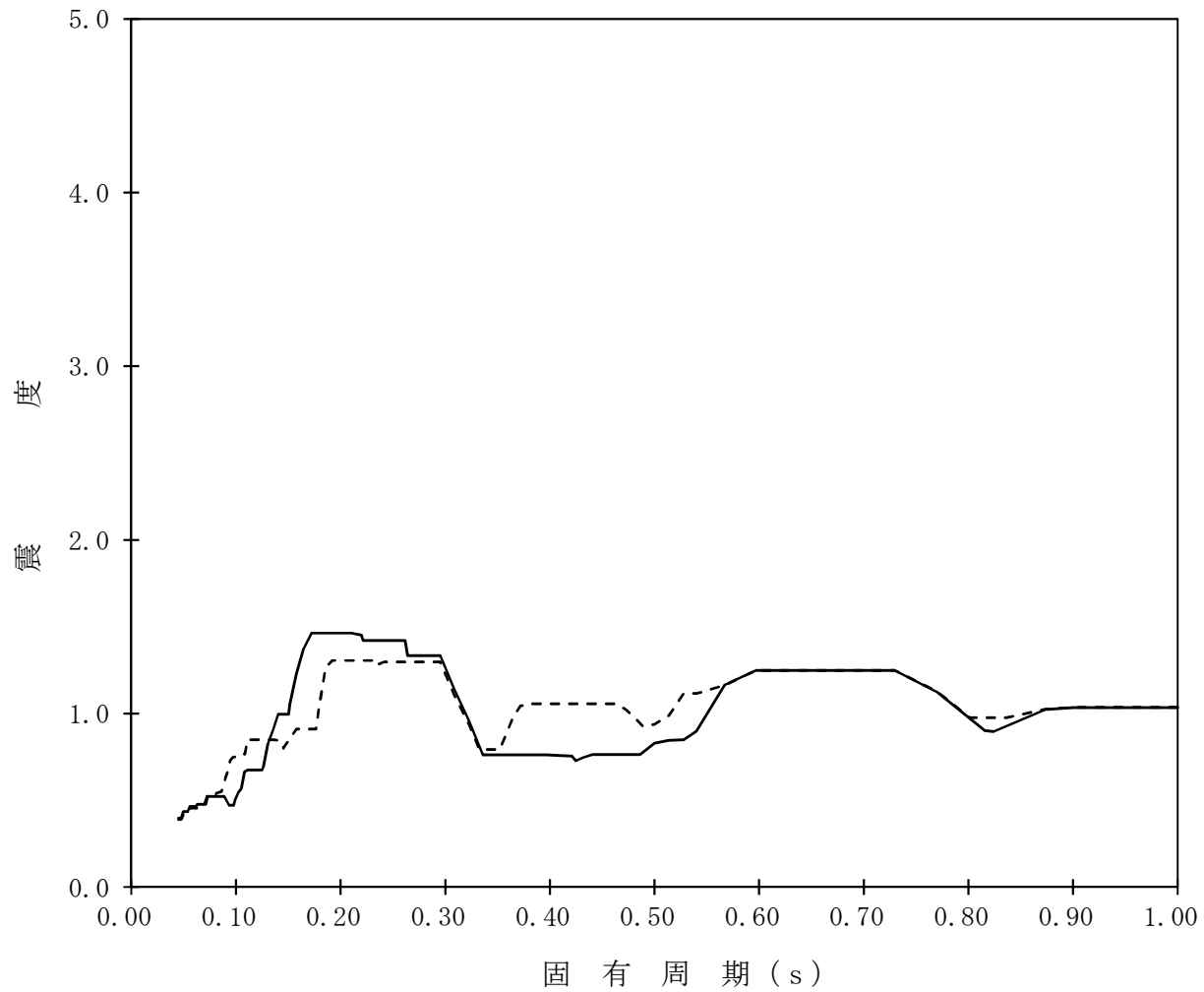
標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB158】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

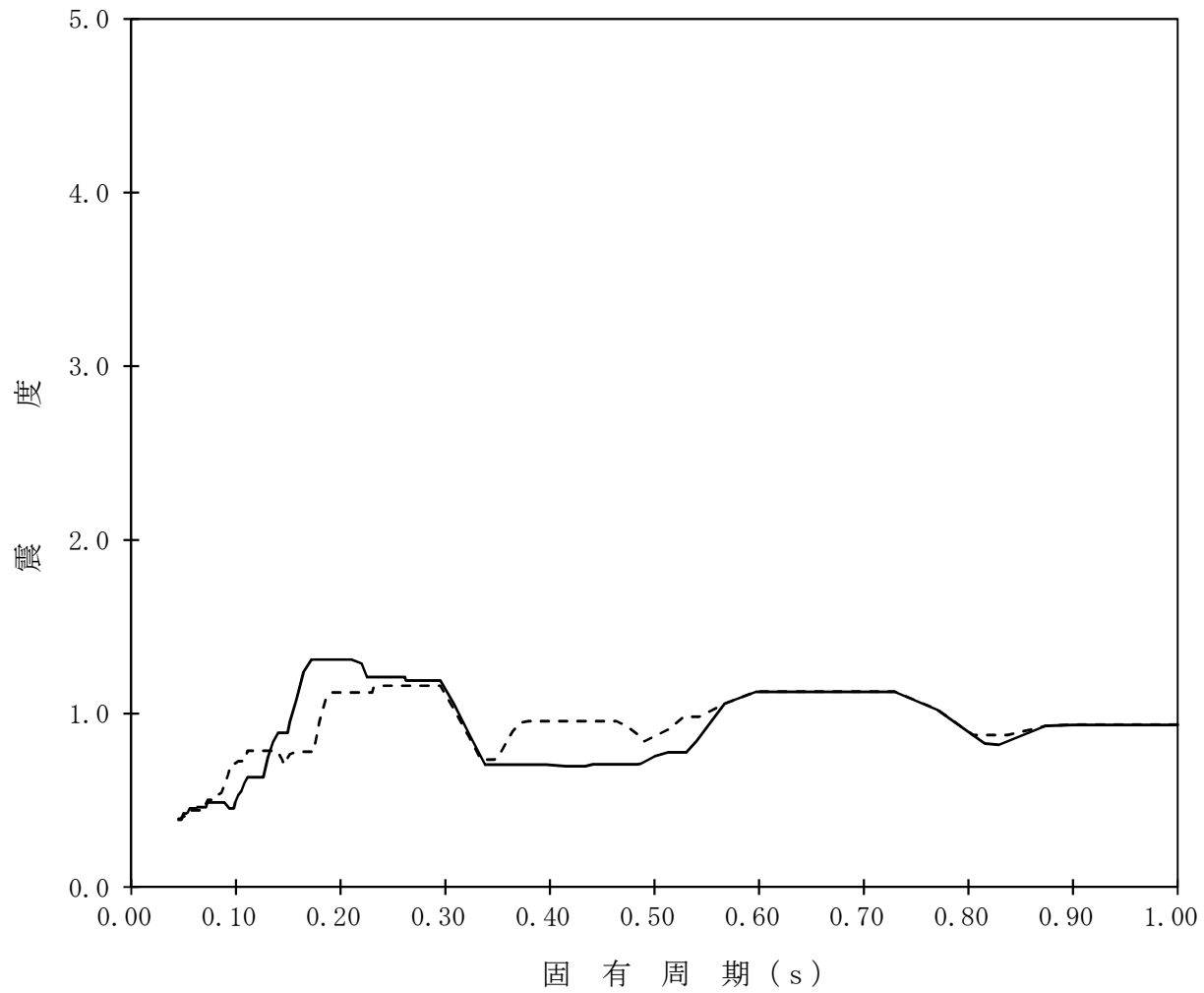
標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向



【K06-RB-SdH-RB159】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d
—— NS方向
----- EW方向

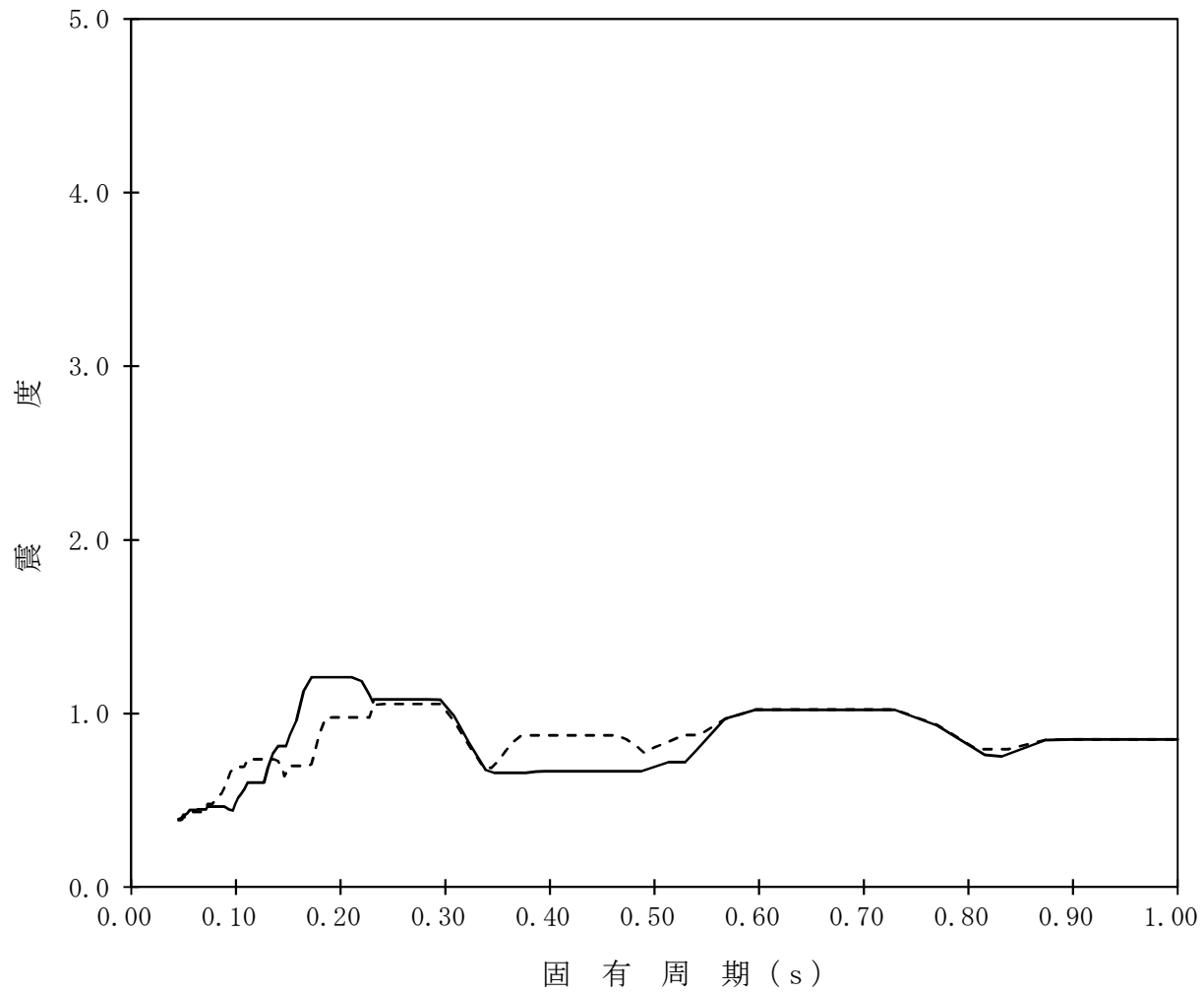


【K06-RB-SdH-RB160】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— NS方向
----- EW方向

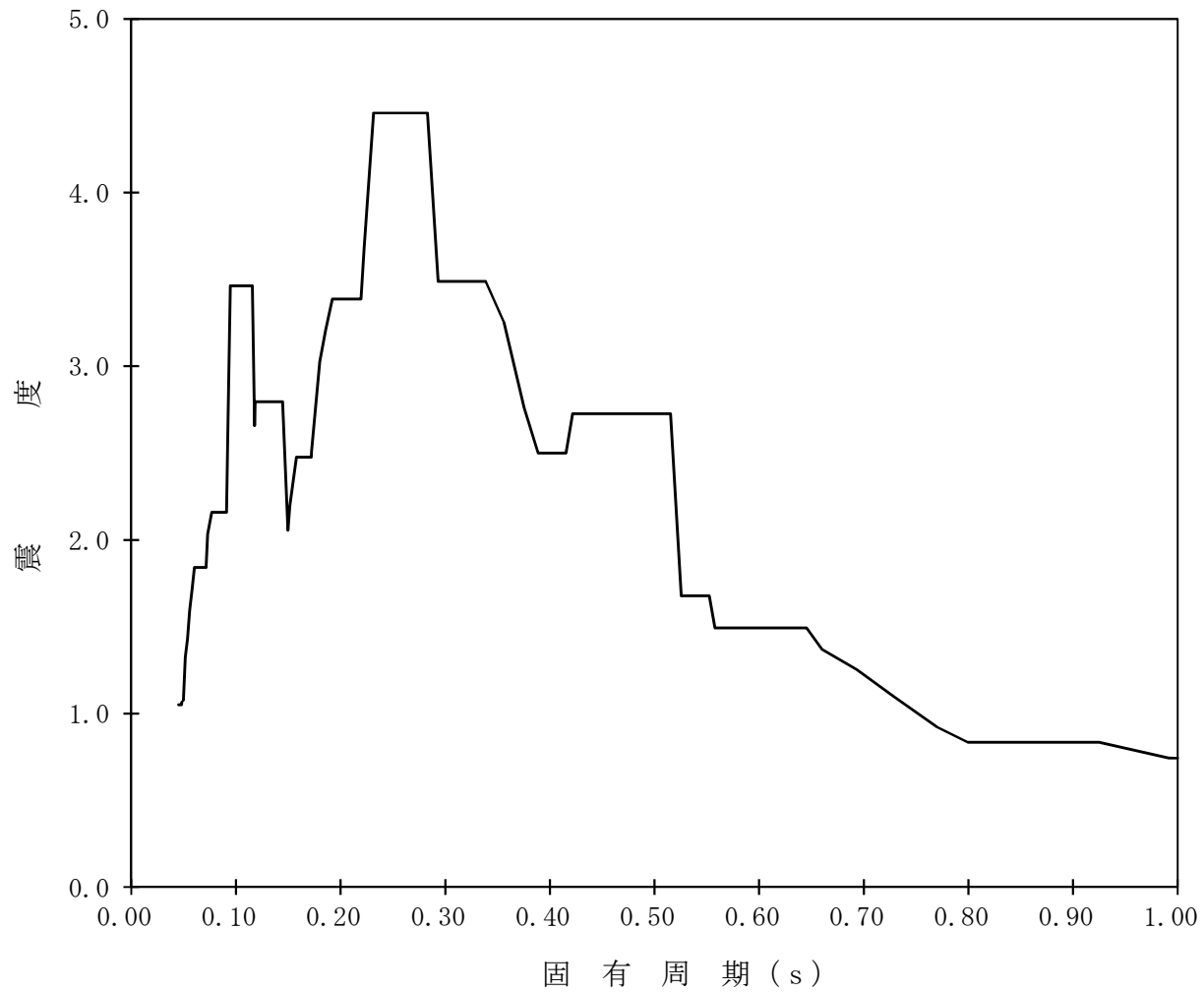


【K06-RB-SdV-RB81】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

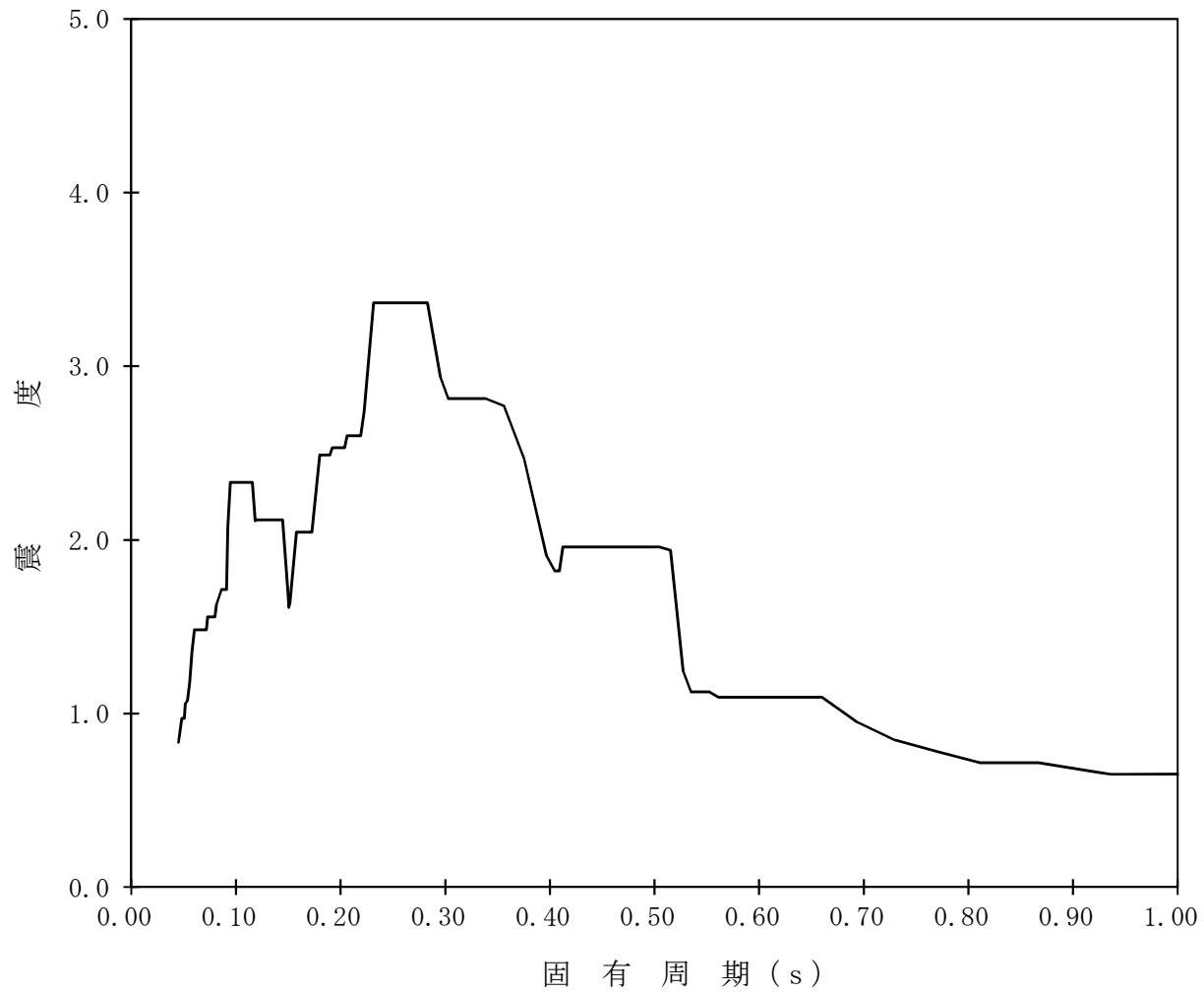


【K06-RB-SdV-RB82】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

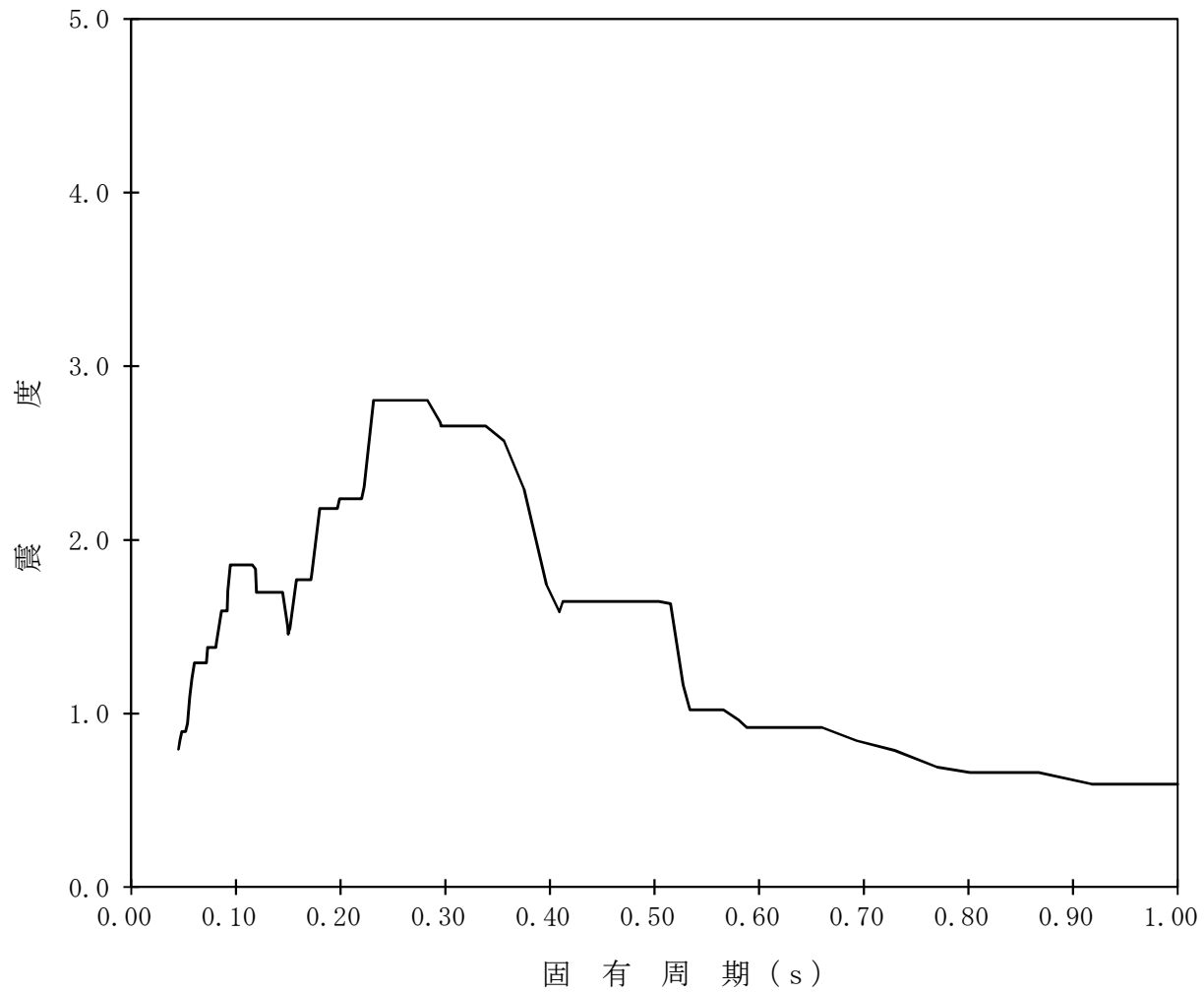


【K06-RB-SdV-RB83】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

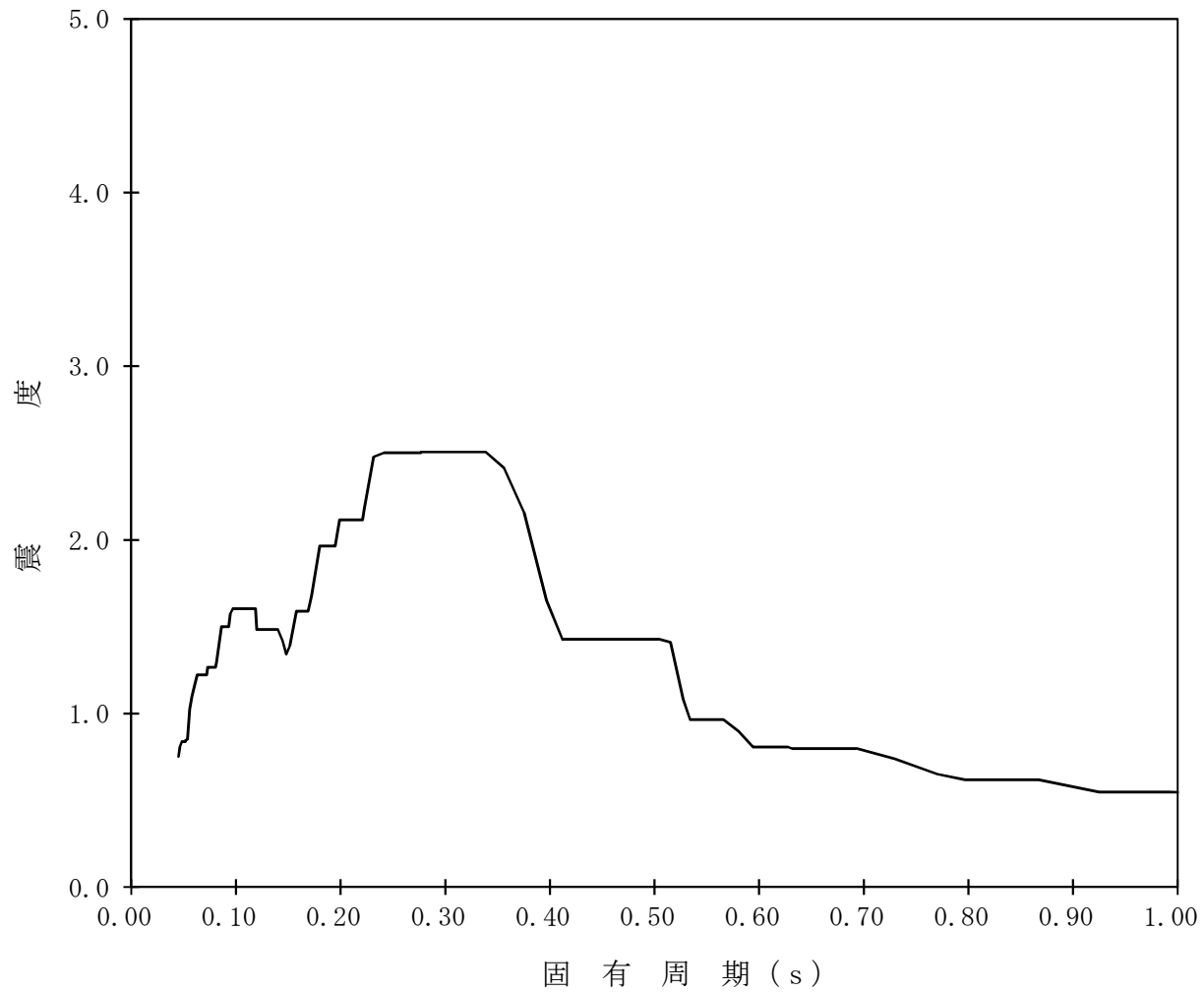


【K06-RB-SdV-RB84】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

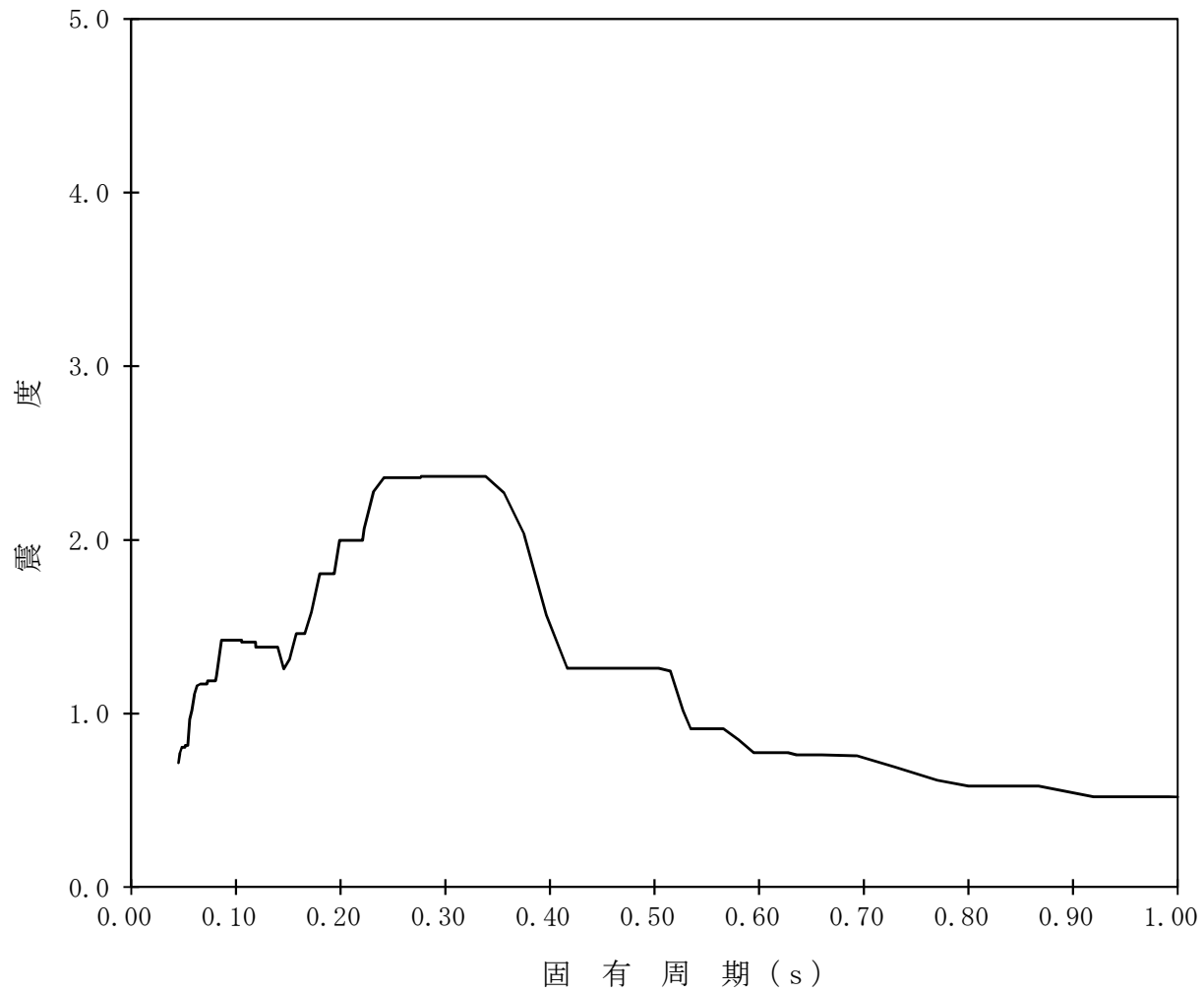


【K06-RB-SdV-RB85】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

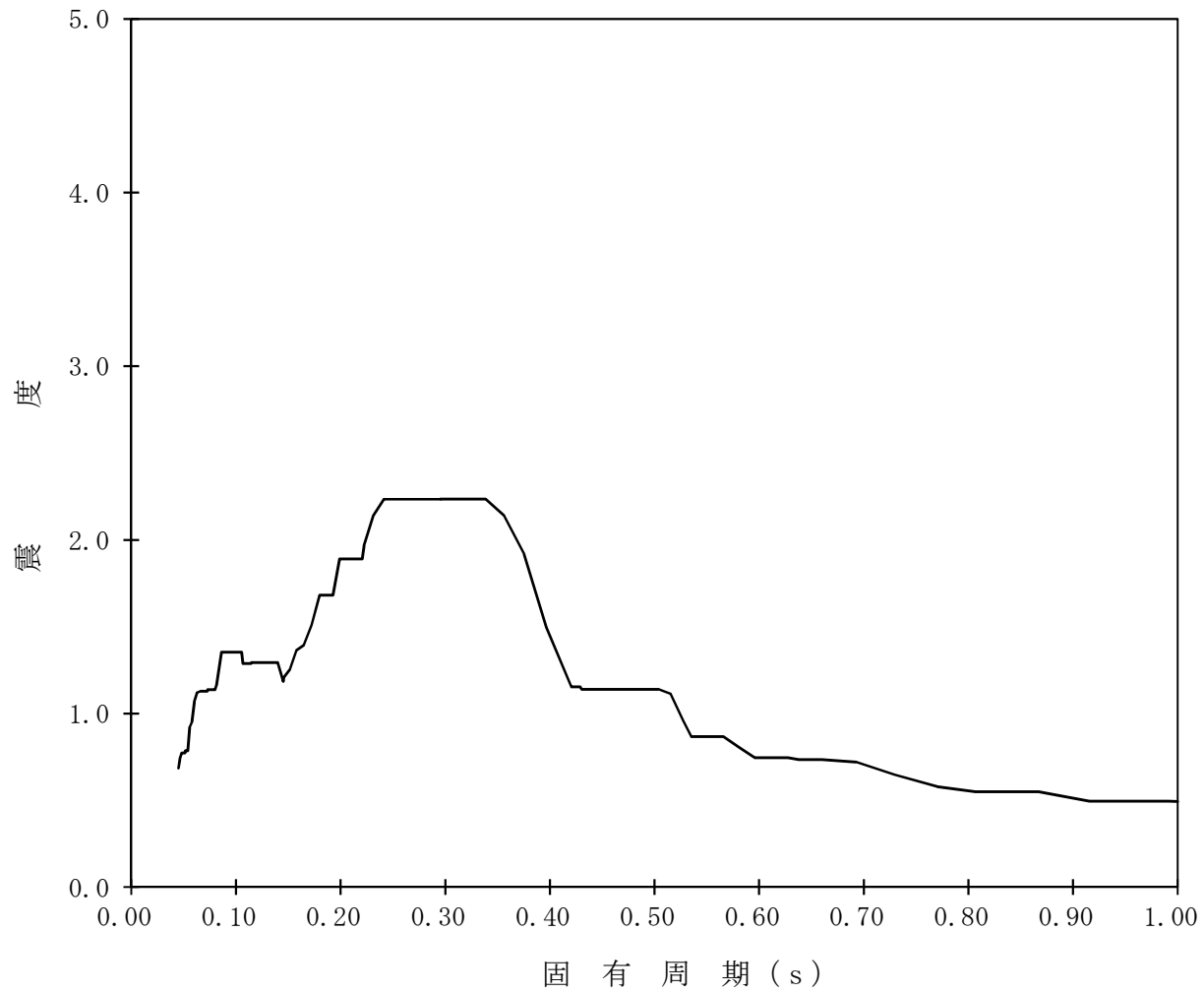


【K06-RB-SdV-RB86】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

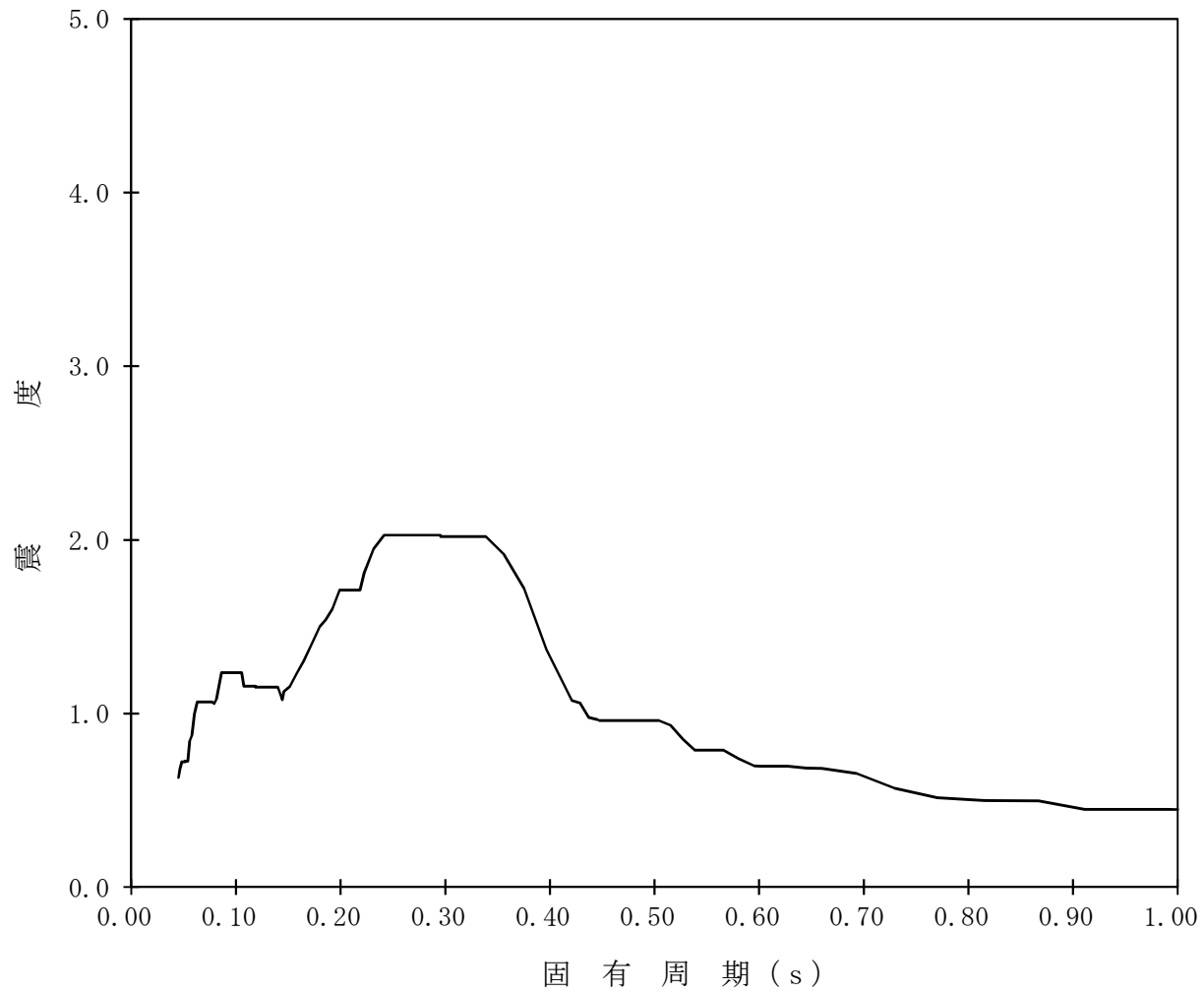


【K06-RB-SdV-RB87】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

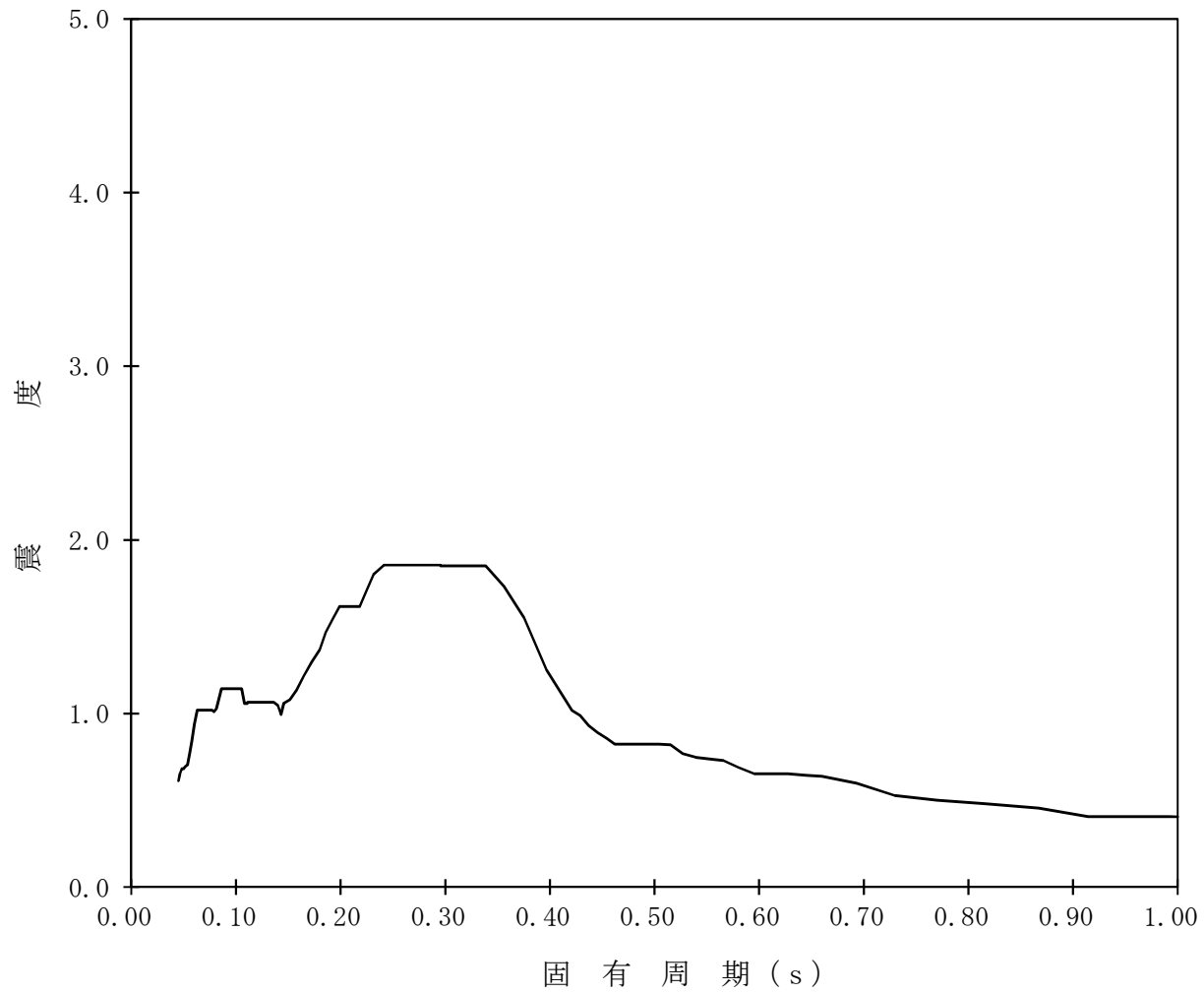


【K06-RB-SdV-RB88】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 49.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

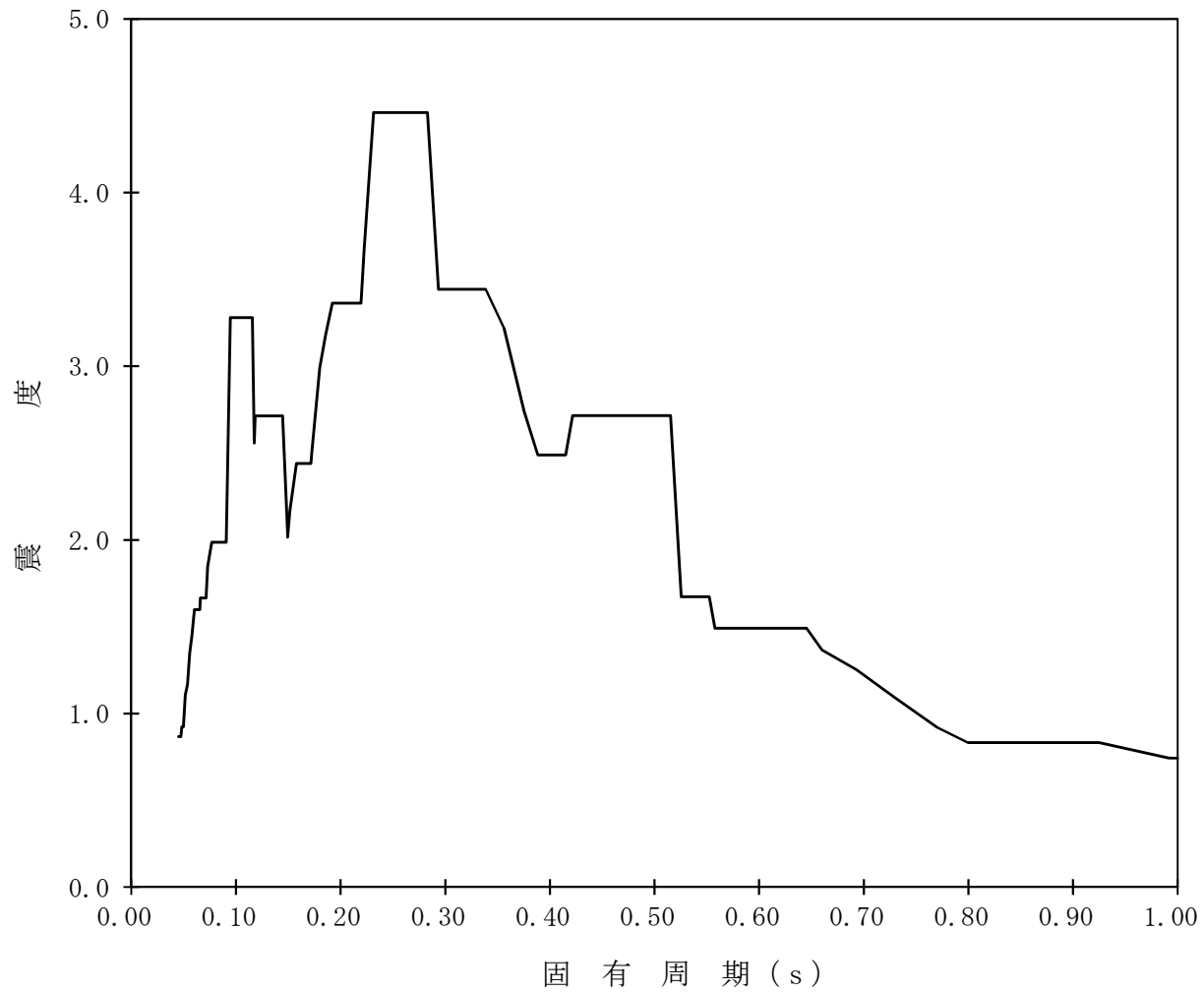


【K06-RB-SdV-RB89】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

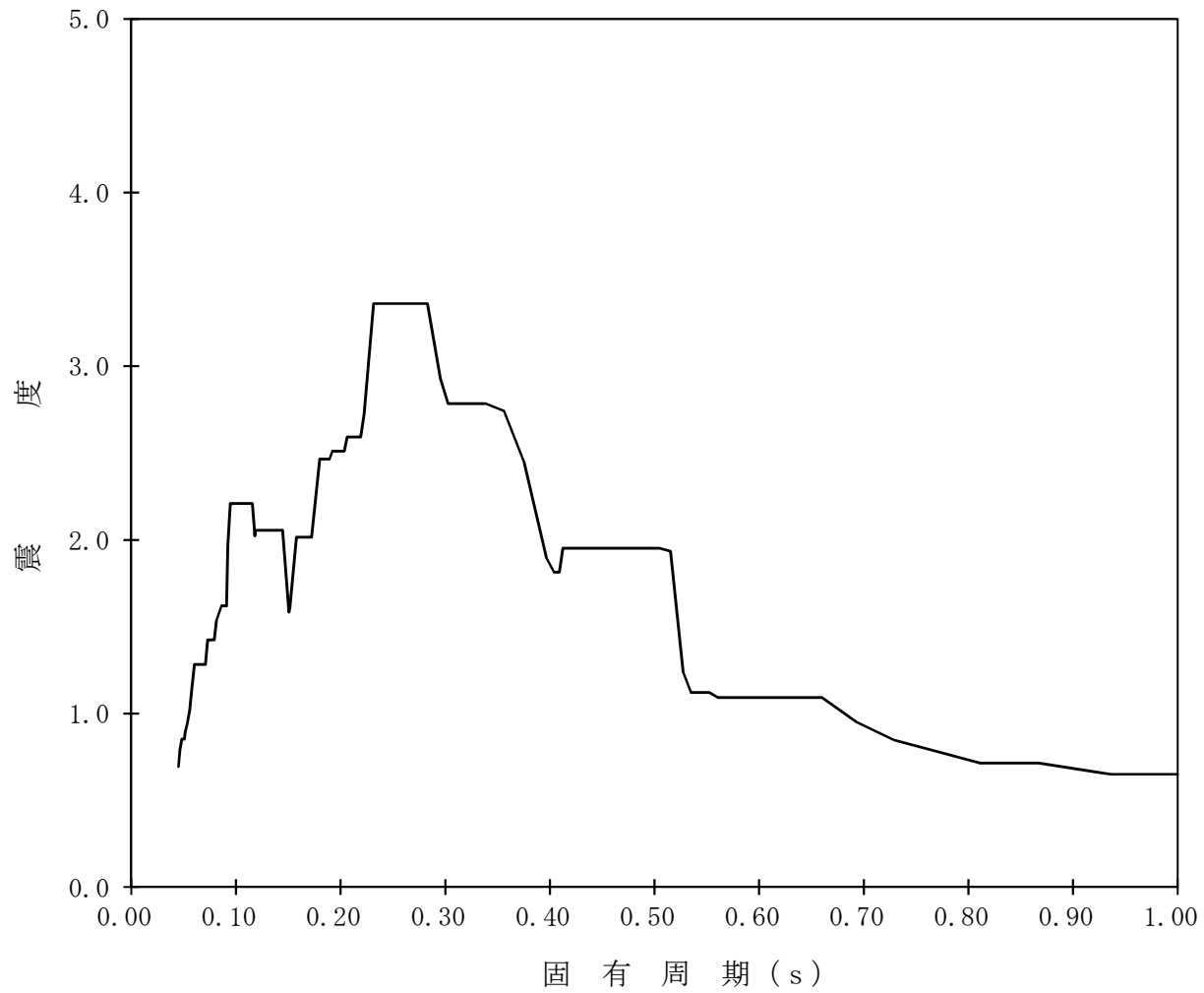


【K06-RB-SdV-RB90】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

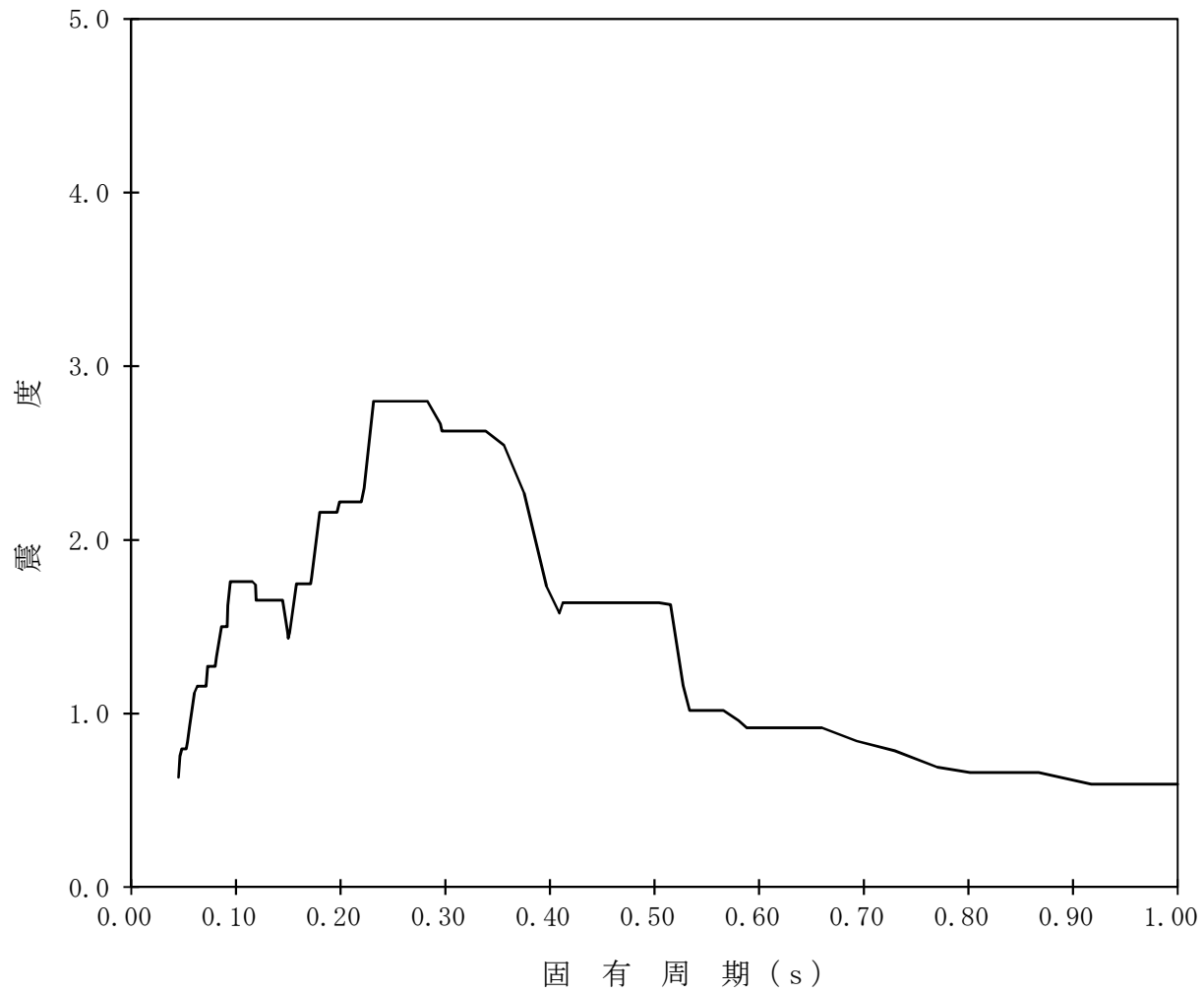


【K06-RB-SdV-RB91】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

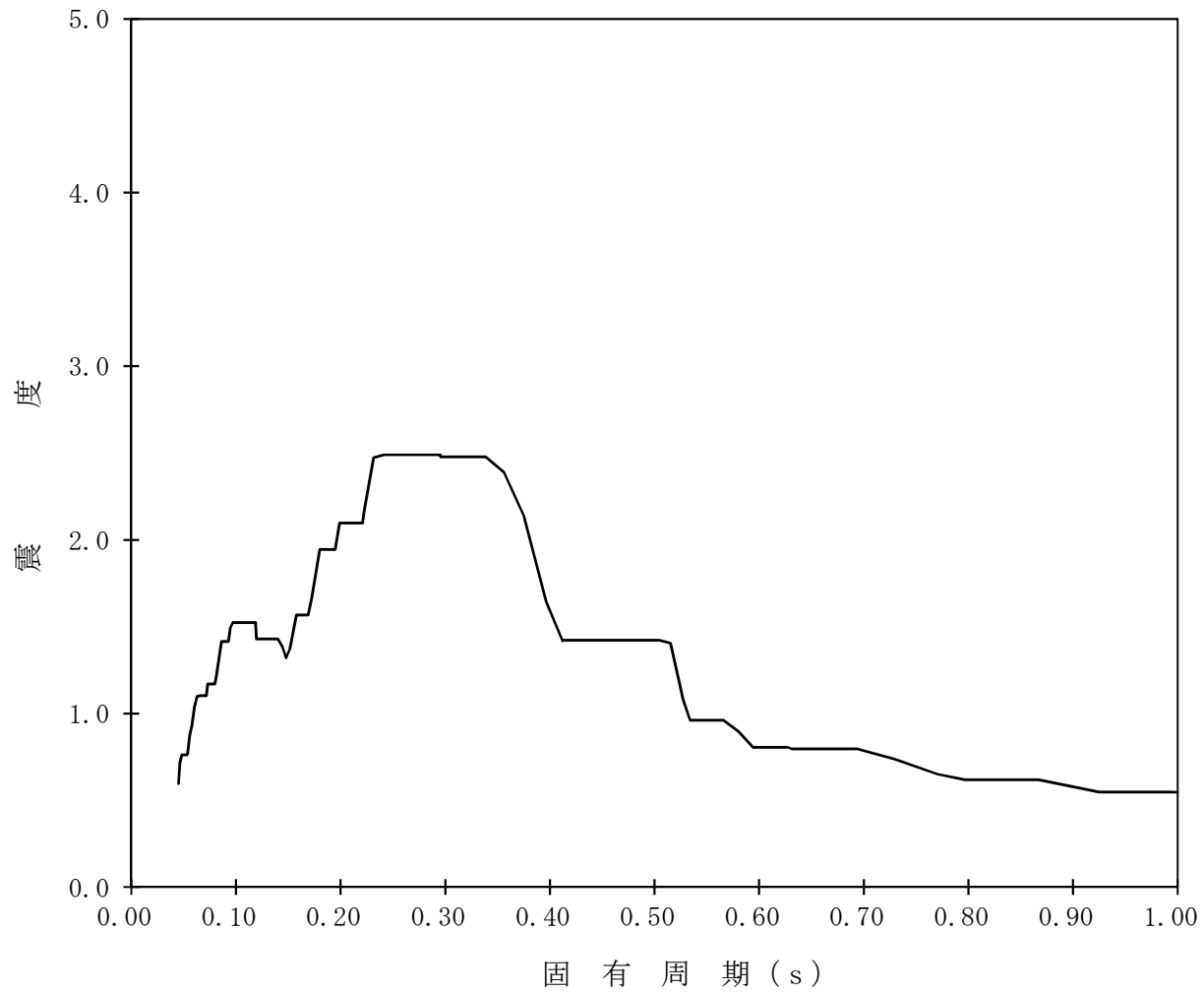


【K06-RB-SdV-RB92】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

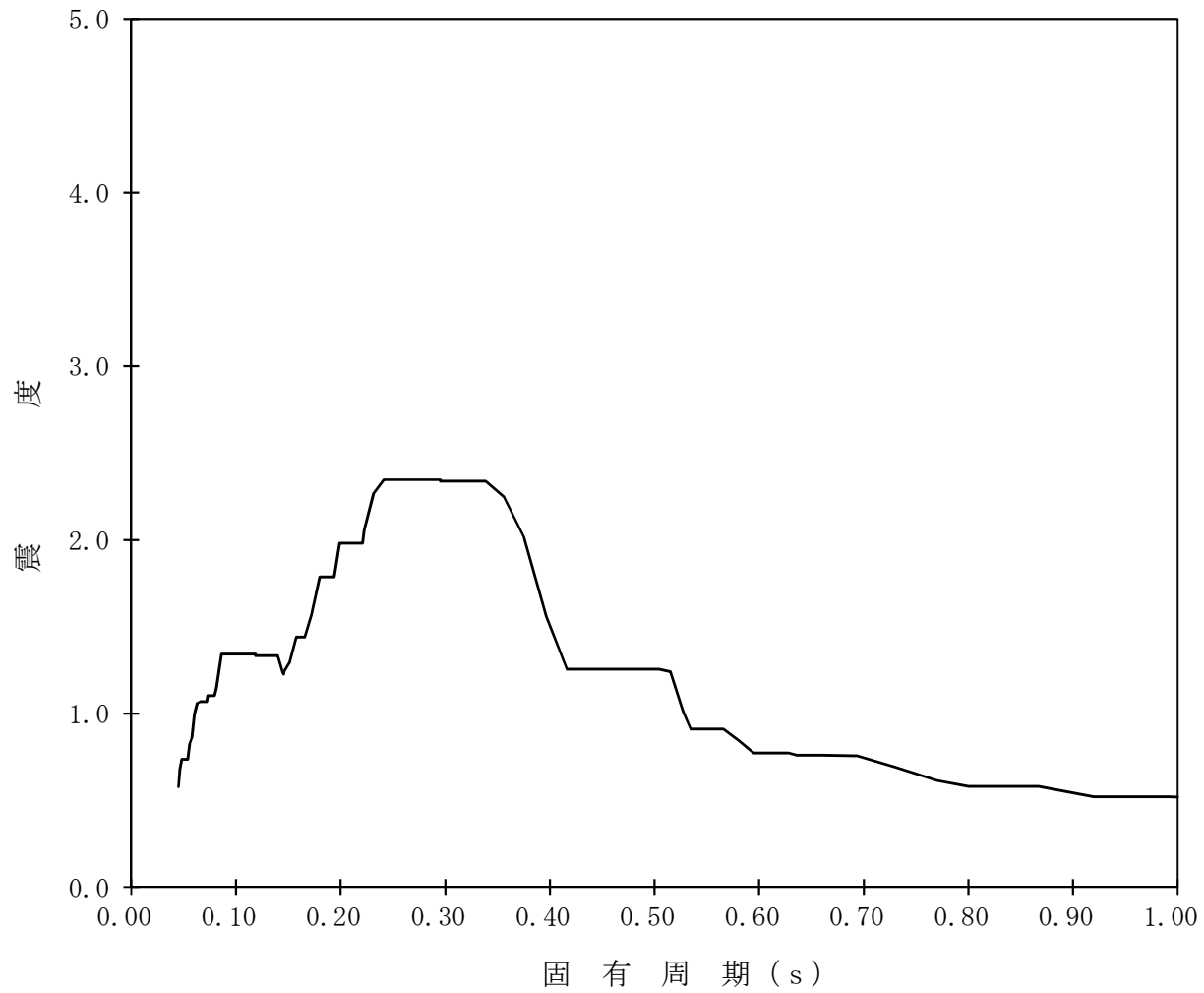


【K06-RB-SdV-RB93】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

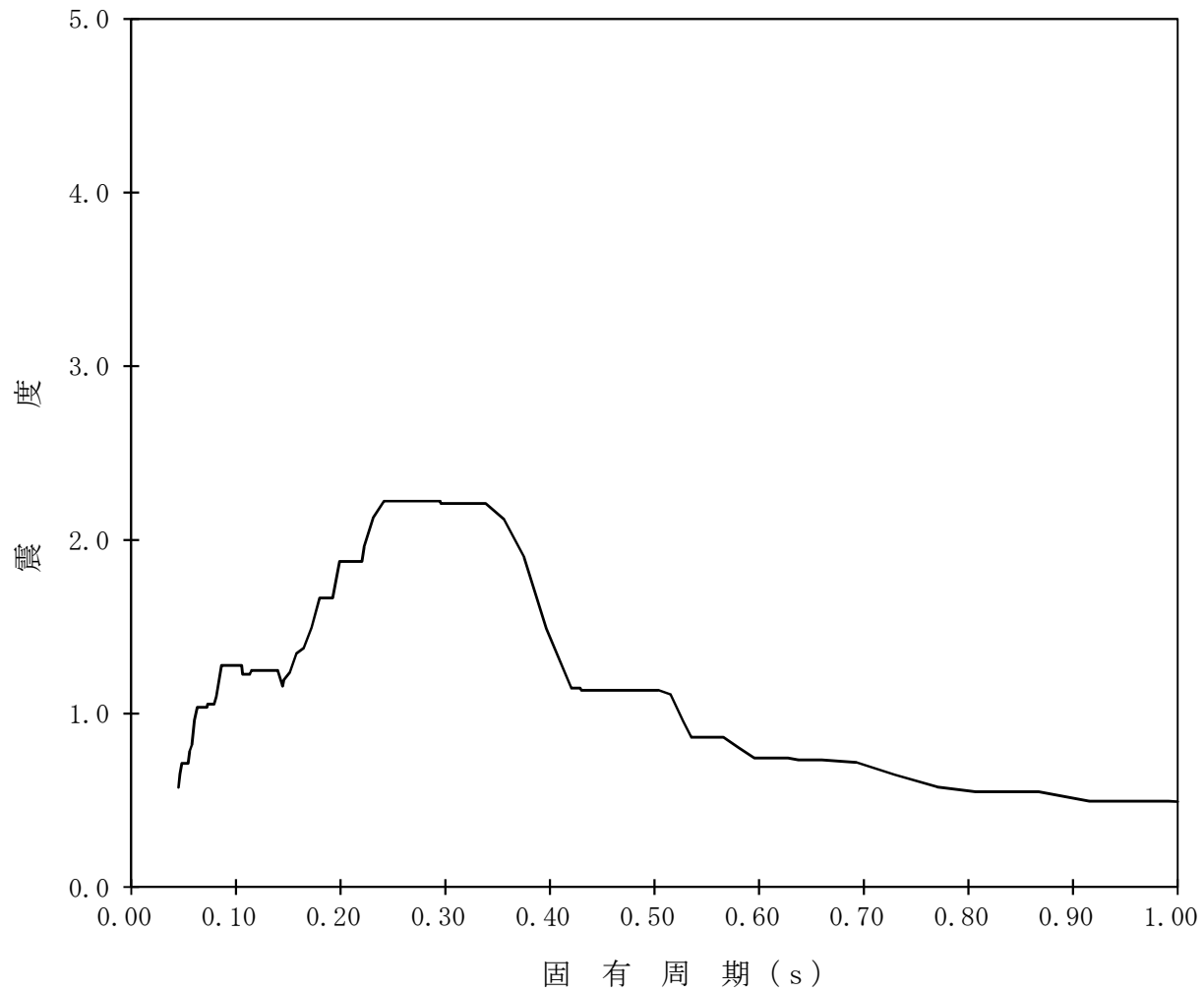


【K06-RB-SdV-RB94】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

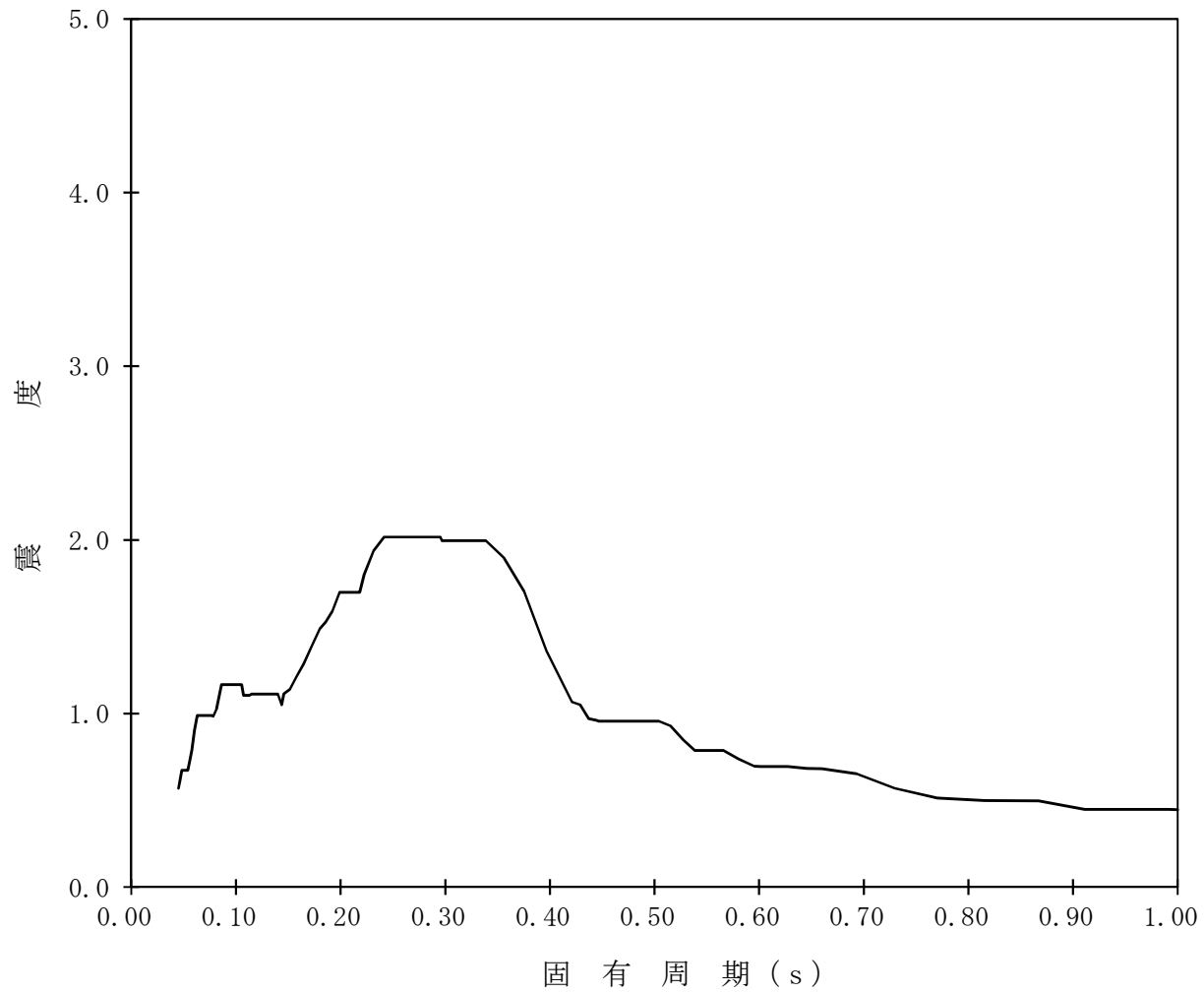


【K06-RB-SdV-RB95】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

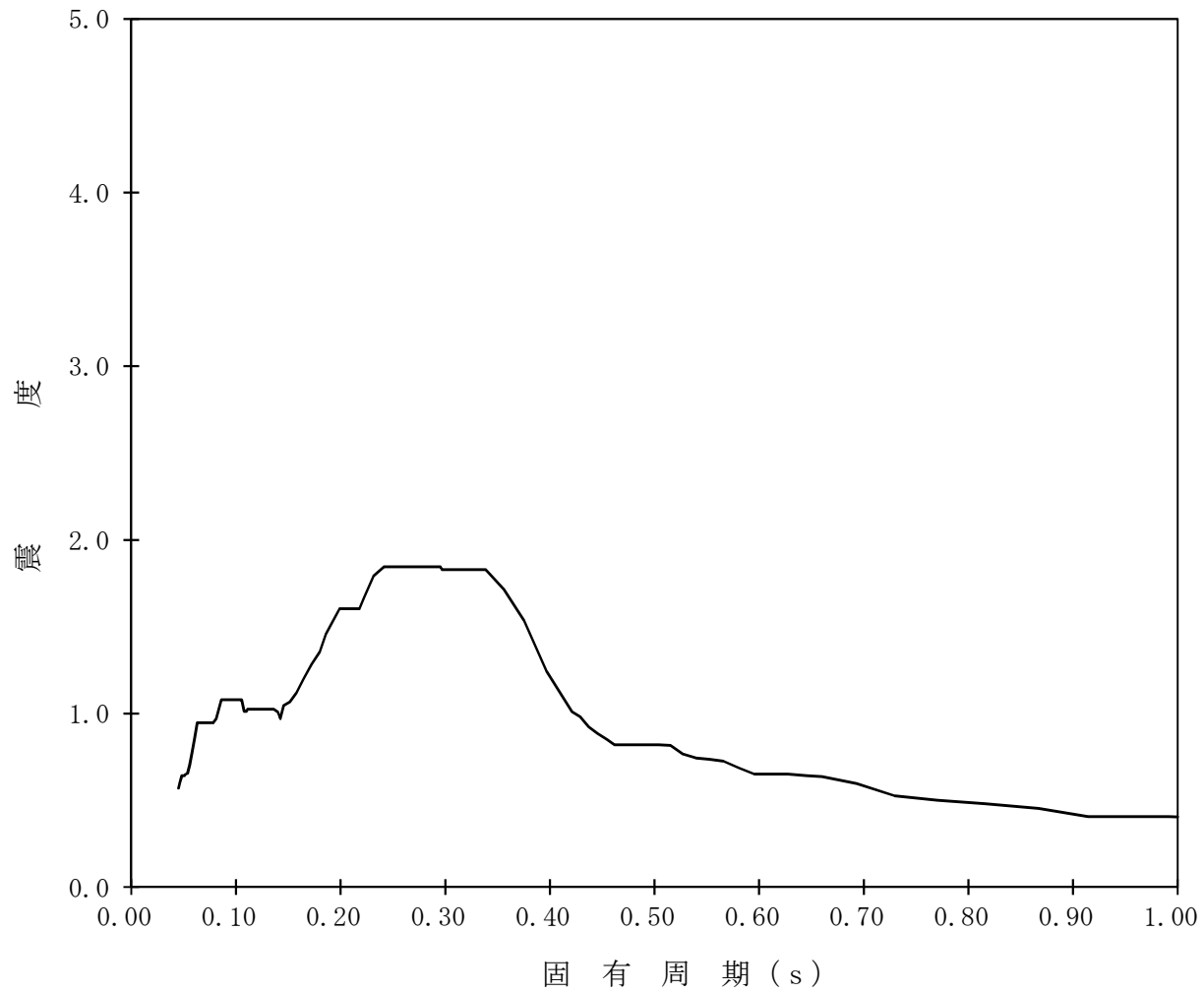


【K06-RB-SdV-RB96】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 38. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

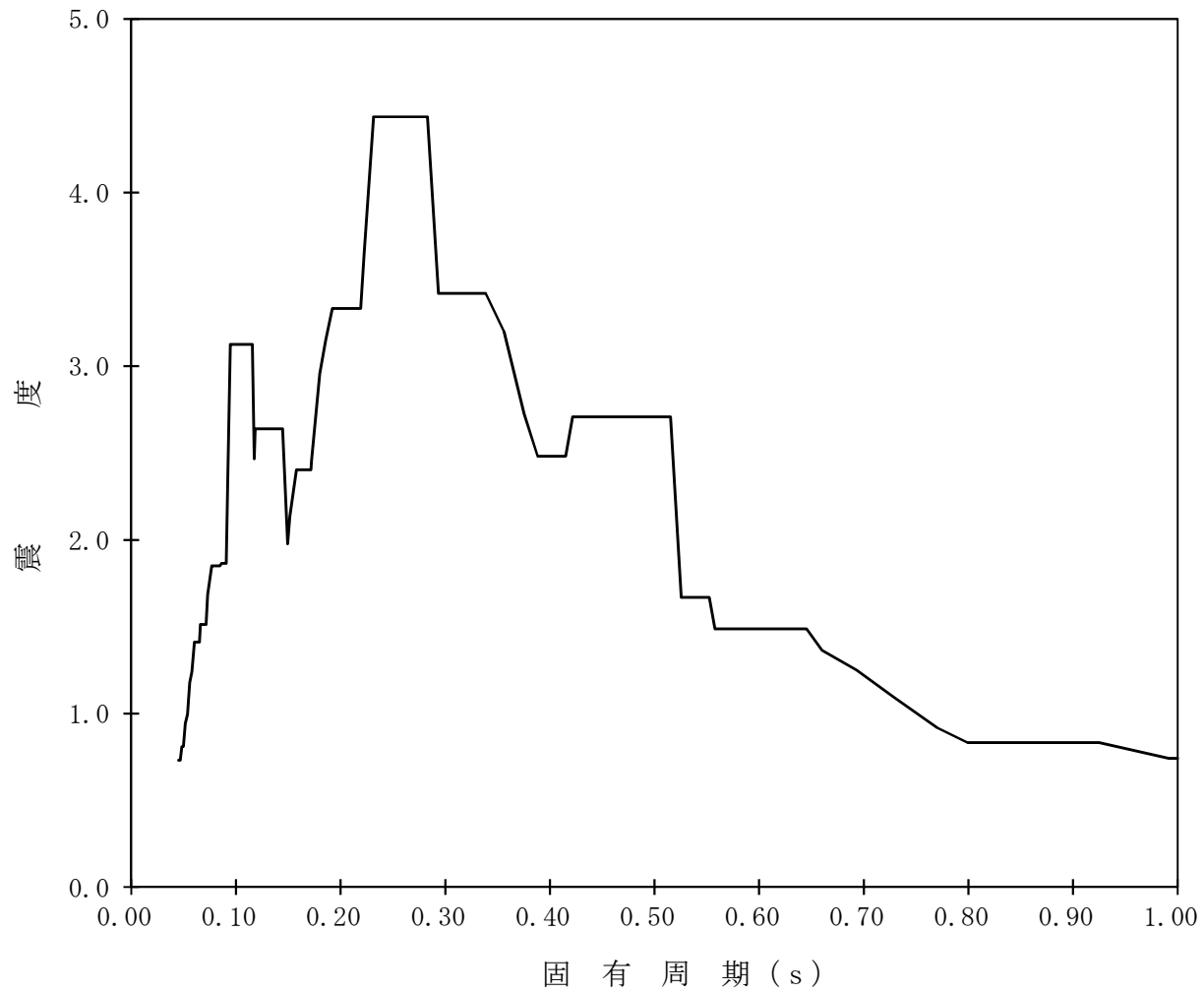


【K06-RB-SdV-RB97】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

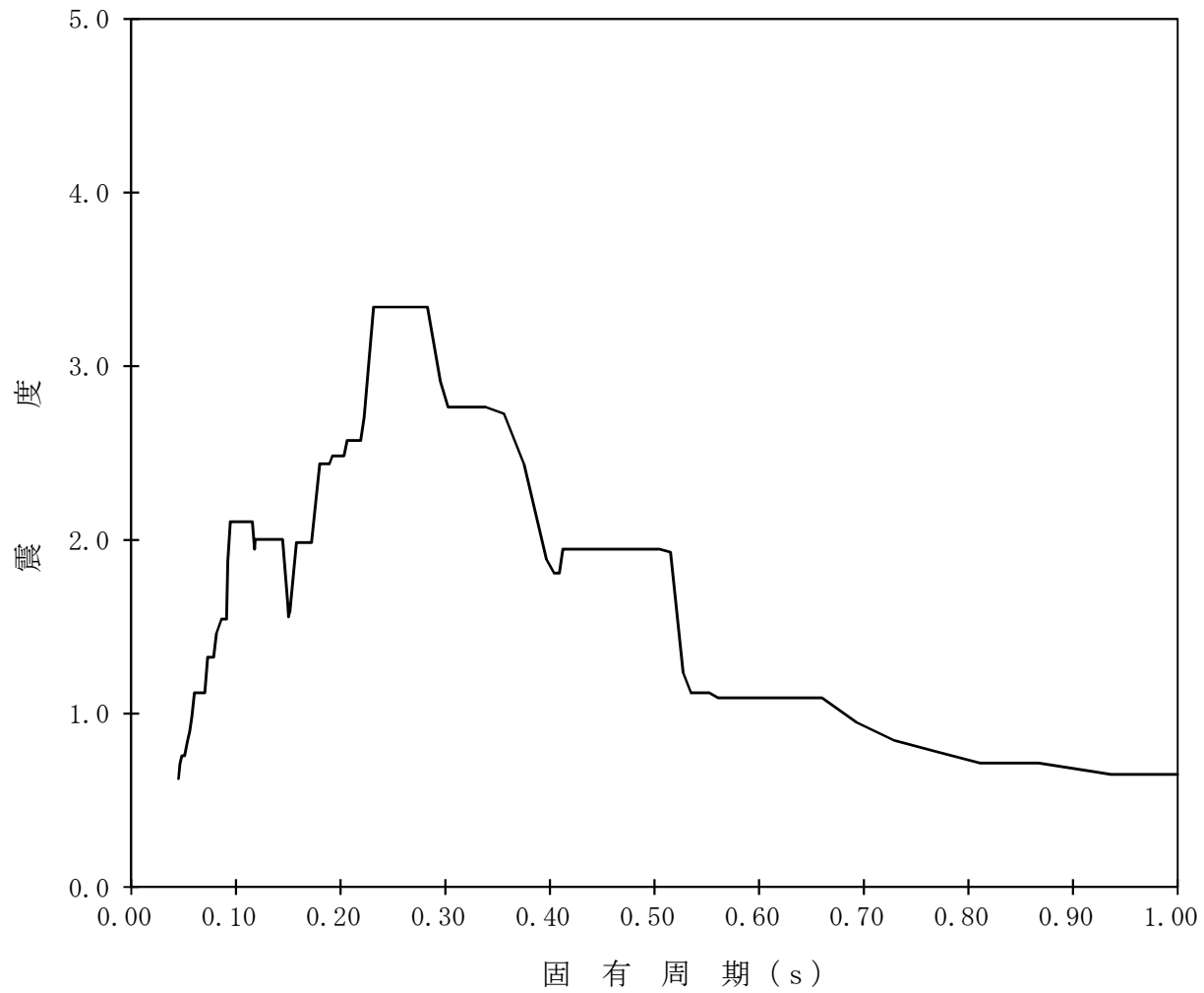


【K06-RB-SdV-RB98】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

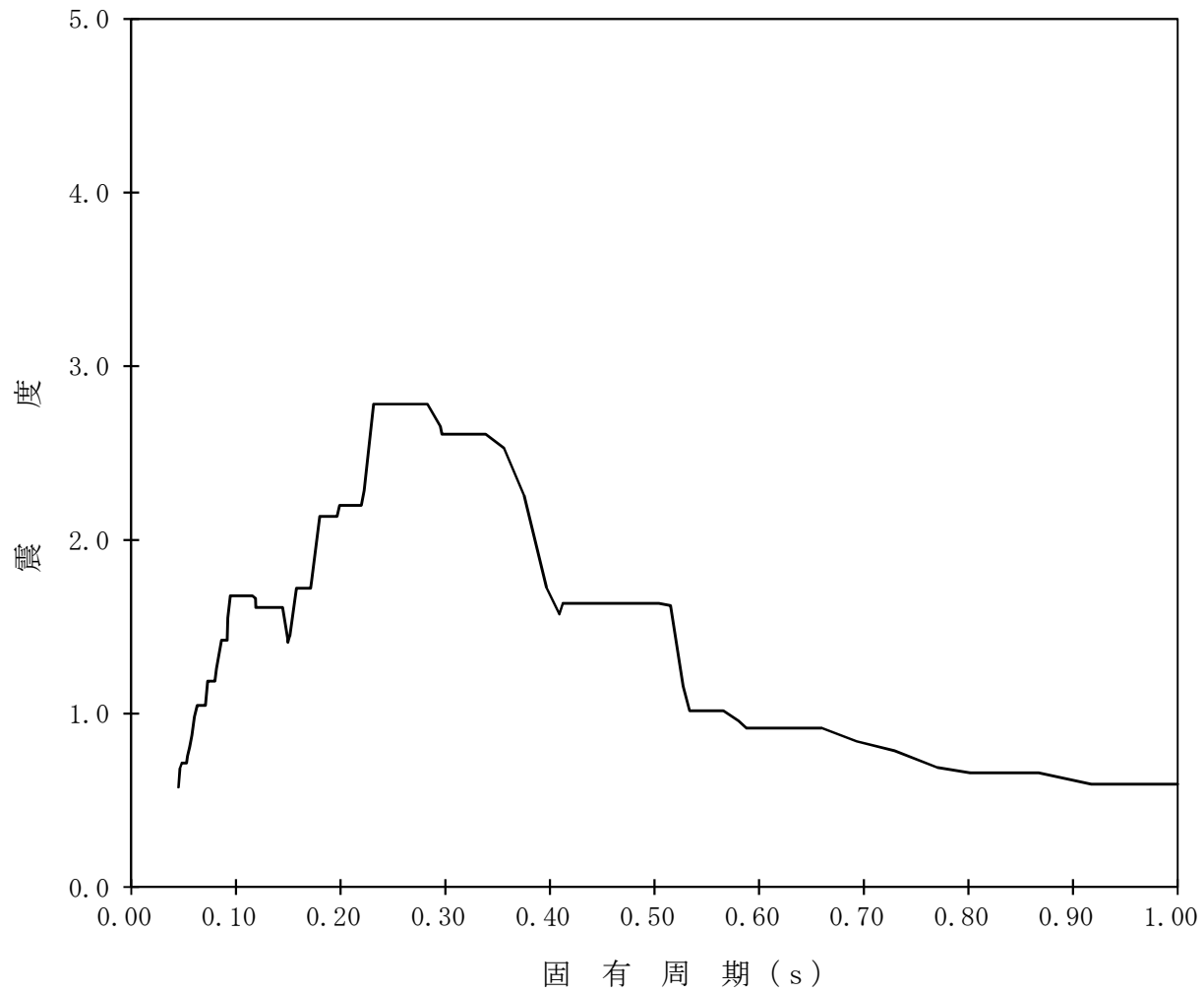


【K06-RB-SdV-RB99】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

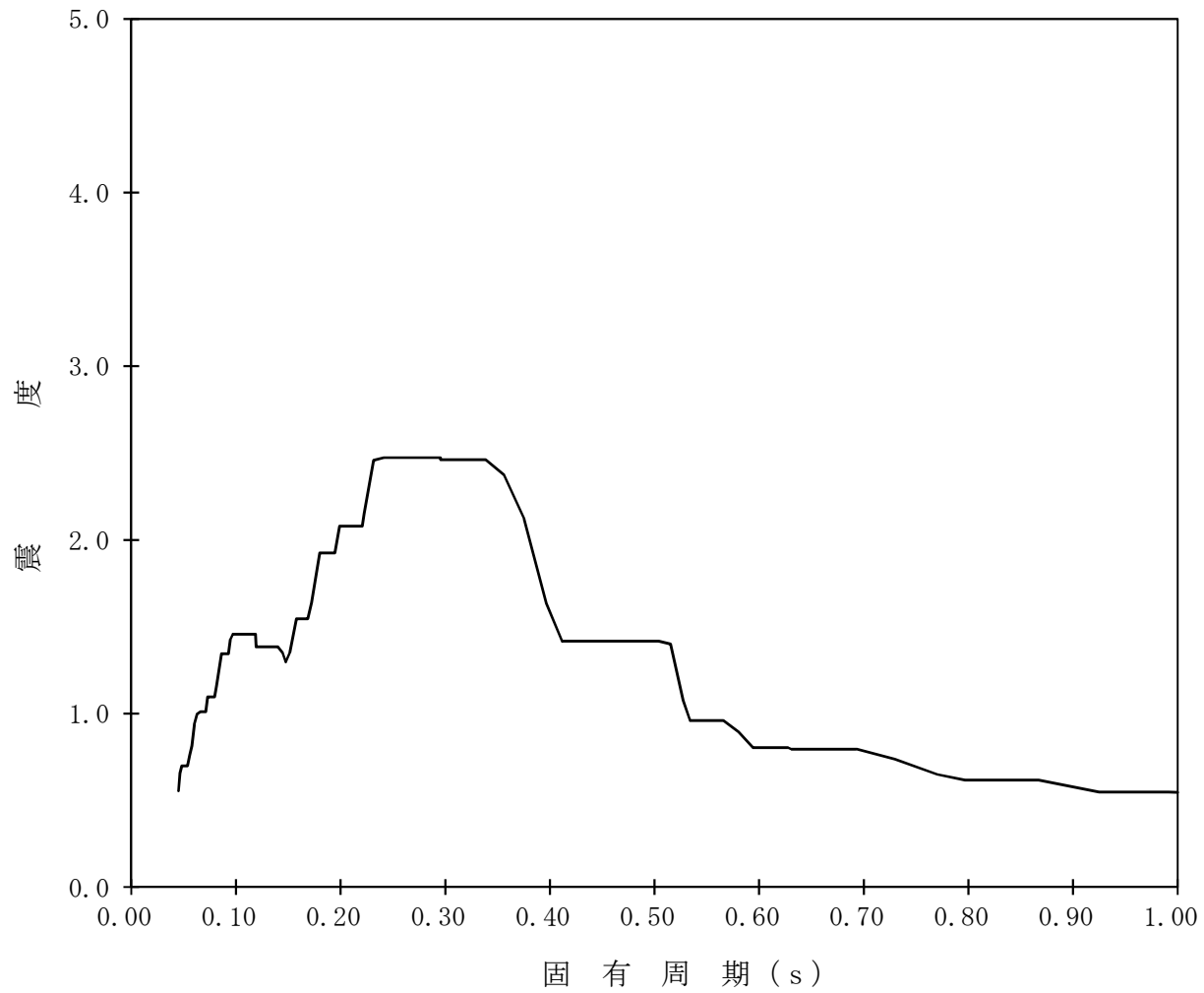


【K06-RB-SdV-RB100】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

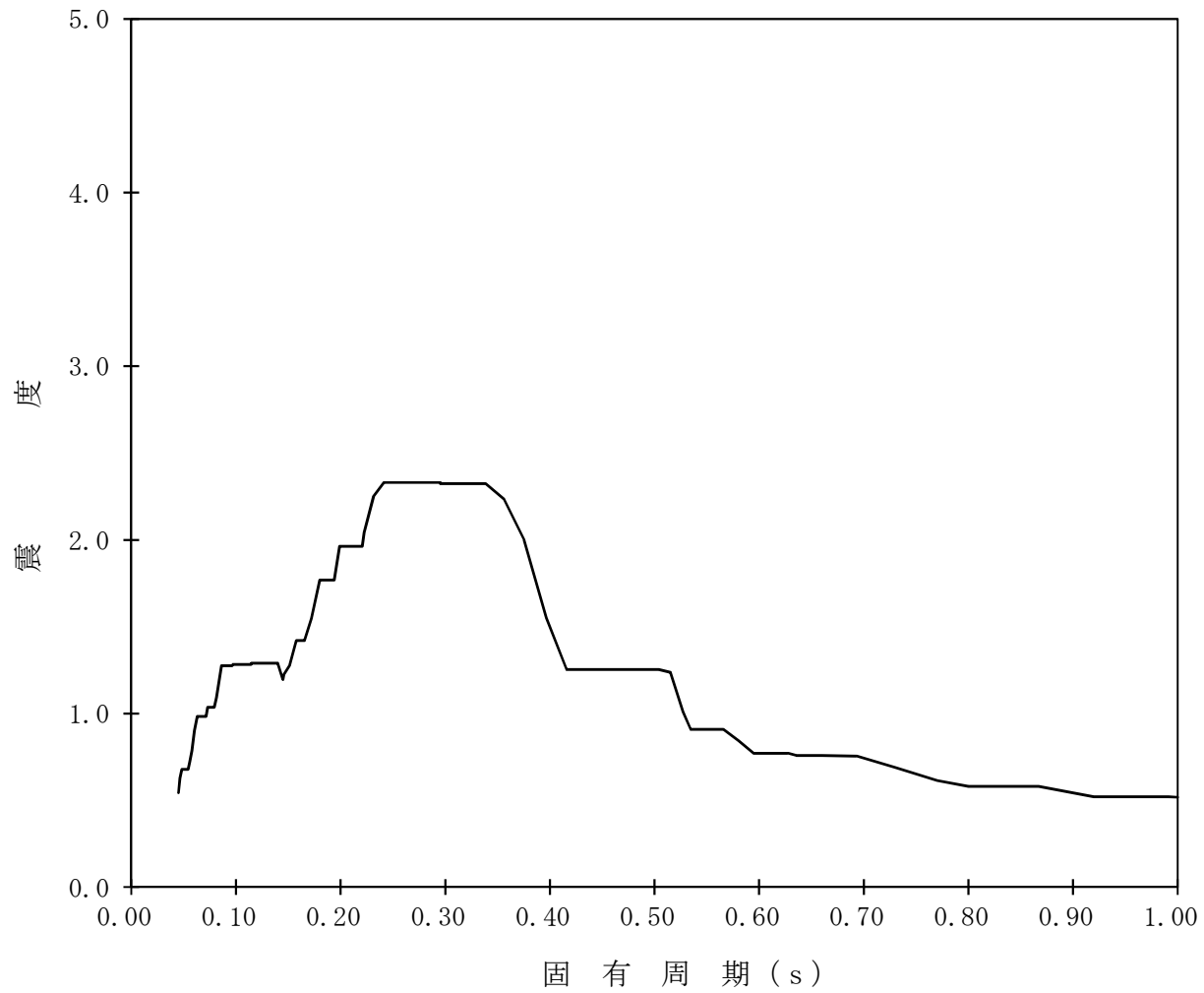


【K06-RB-SdV-RB101】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

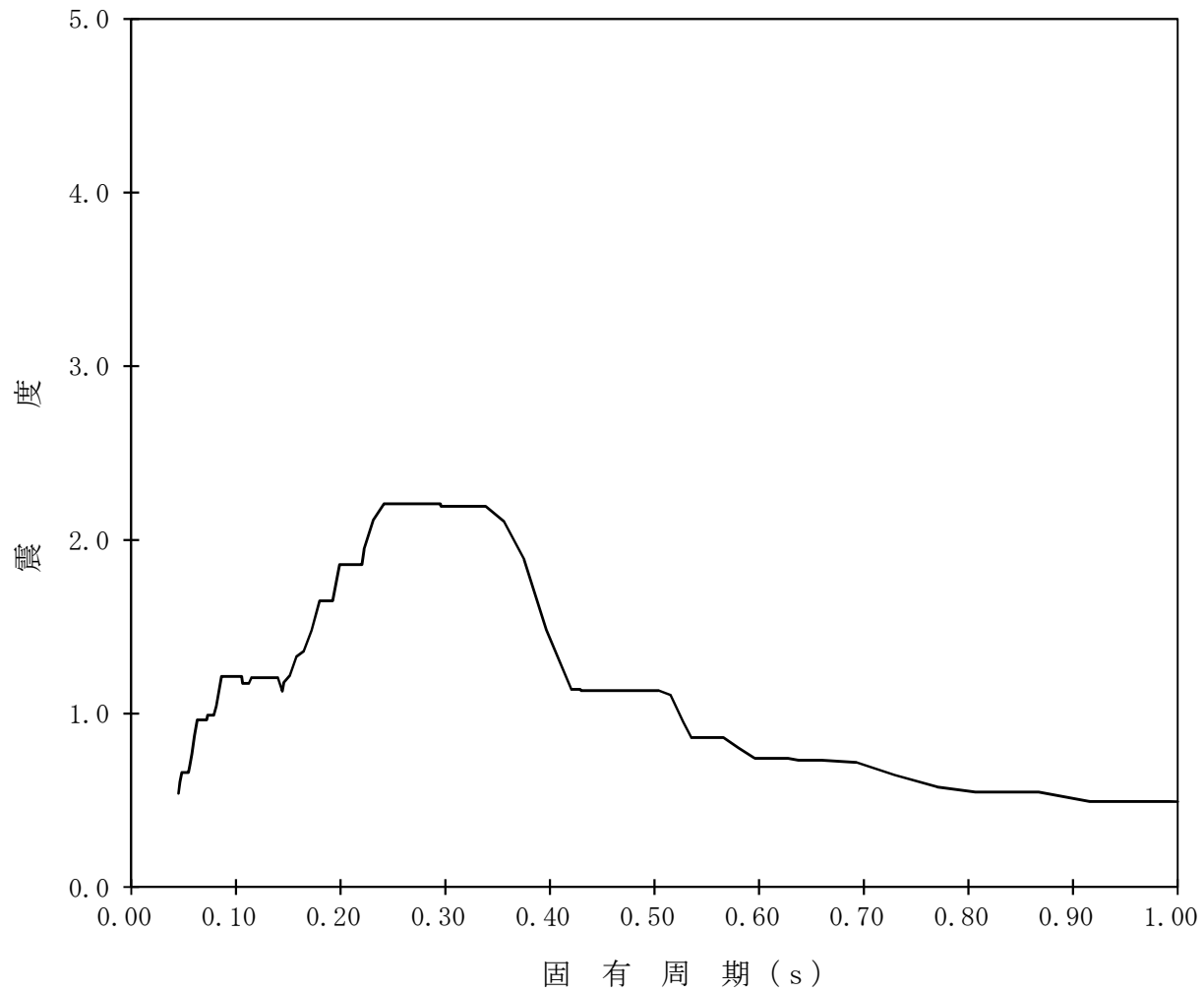


【K06-RB-SdV-RB102】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

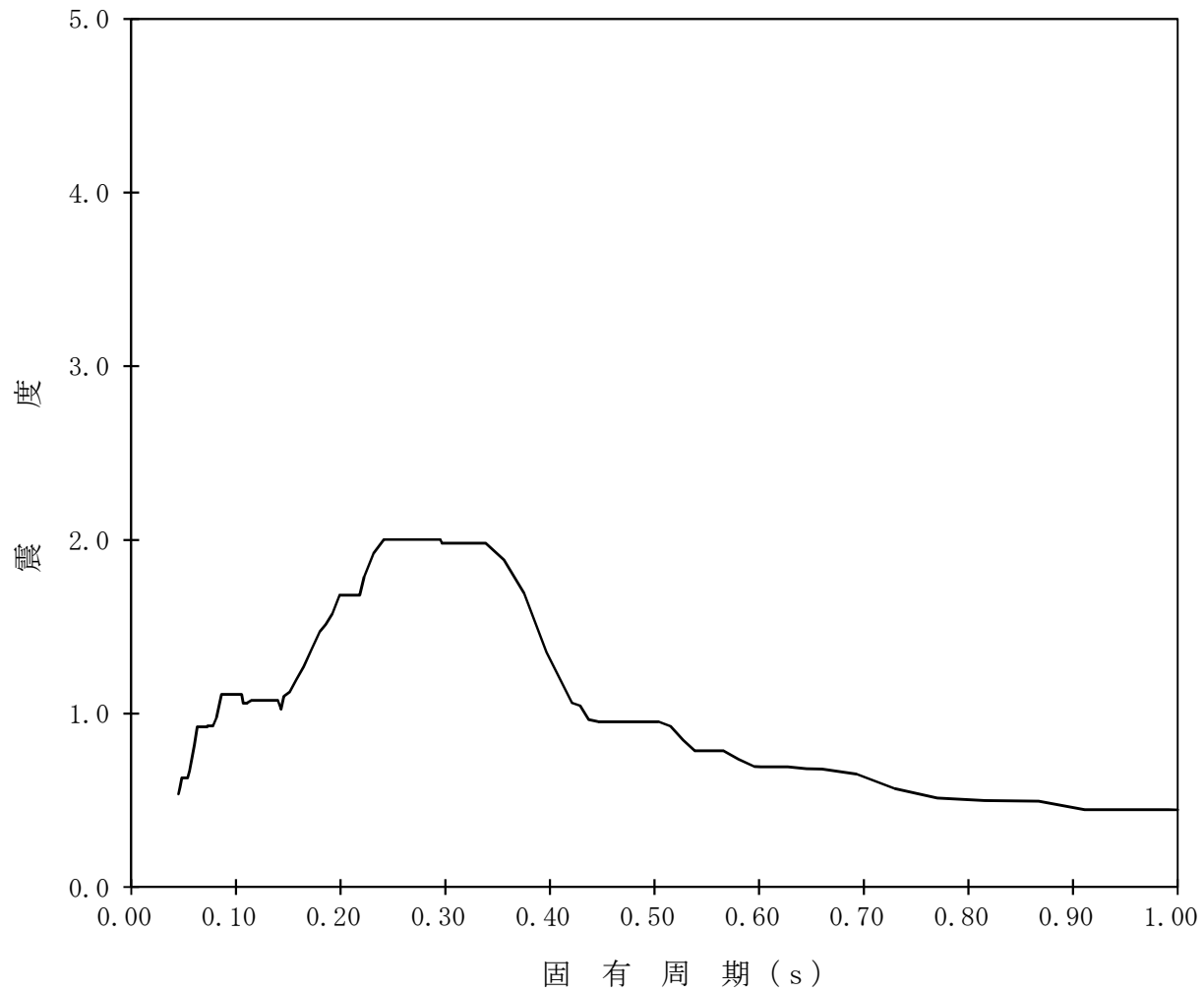


【K06-RB-SdV-RB103】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

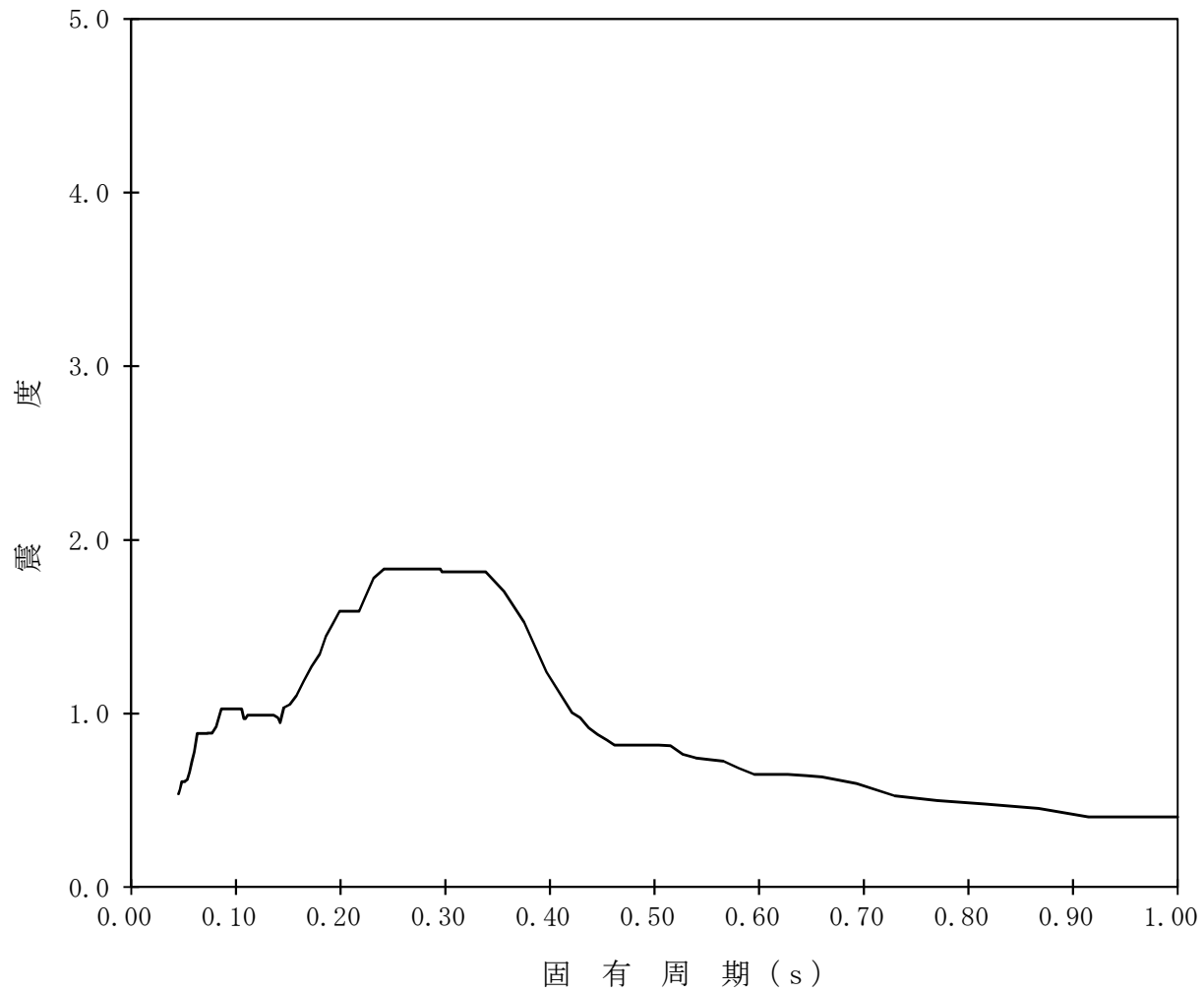


【K06-RB-SdV-RB104】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 31.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

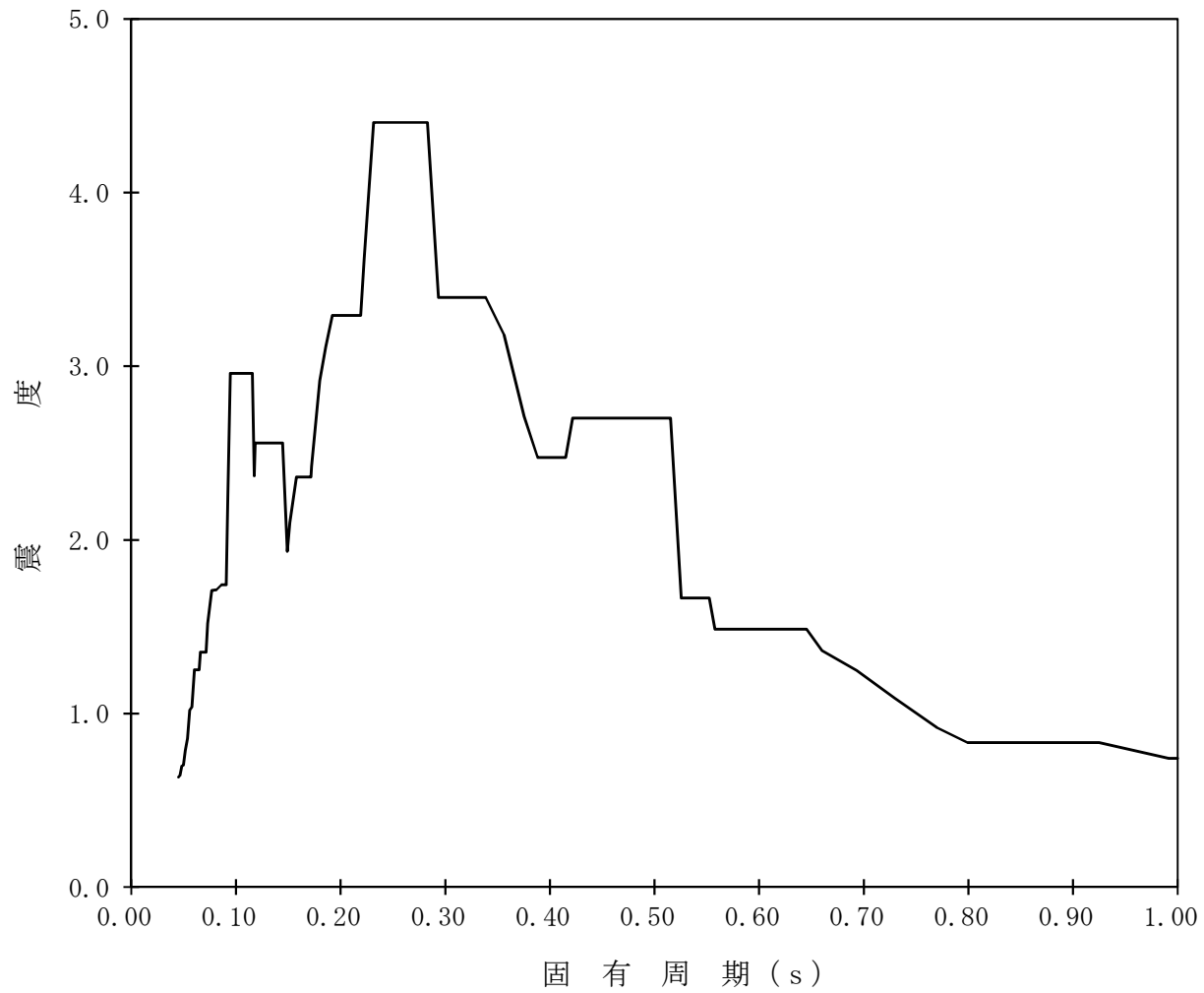


【K06-RB-SdV-RB105】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

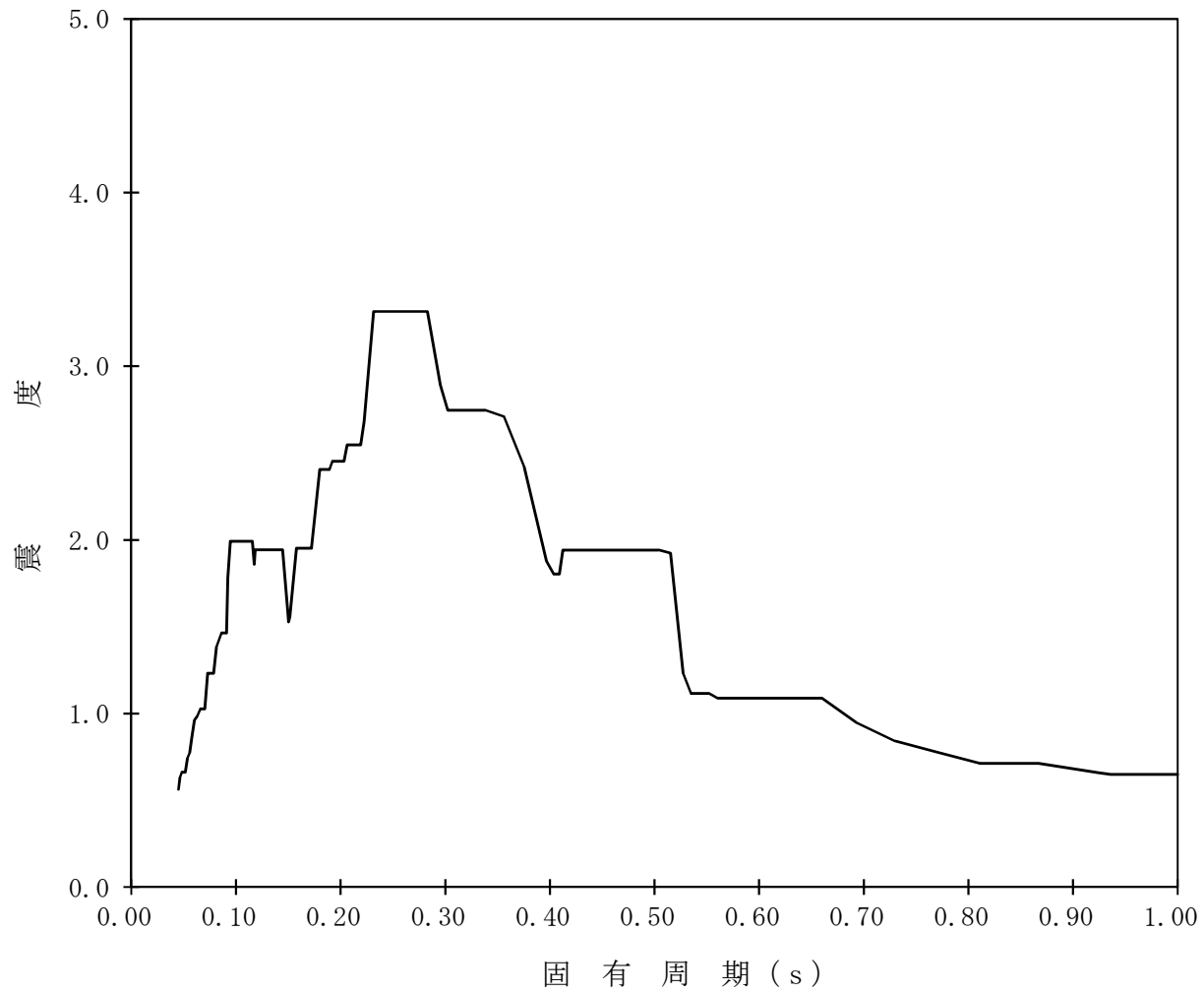


【K06-RB-SdV-RB106】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

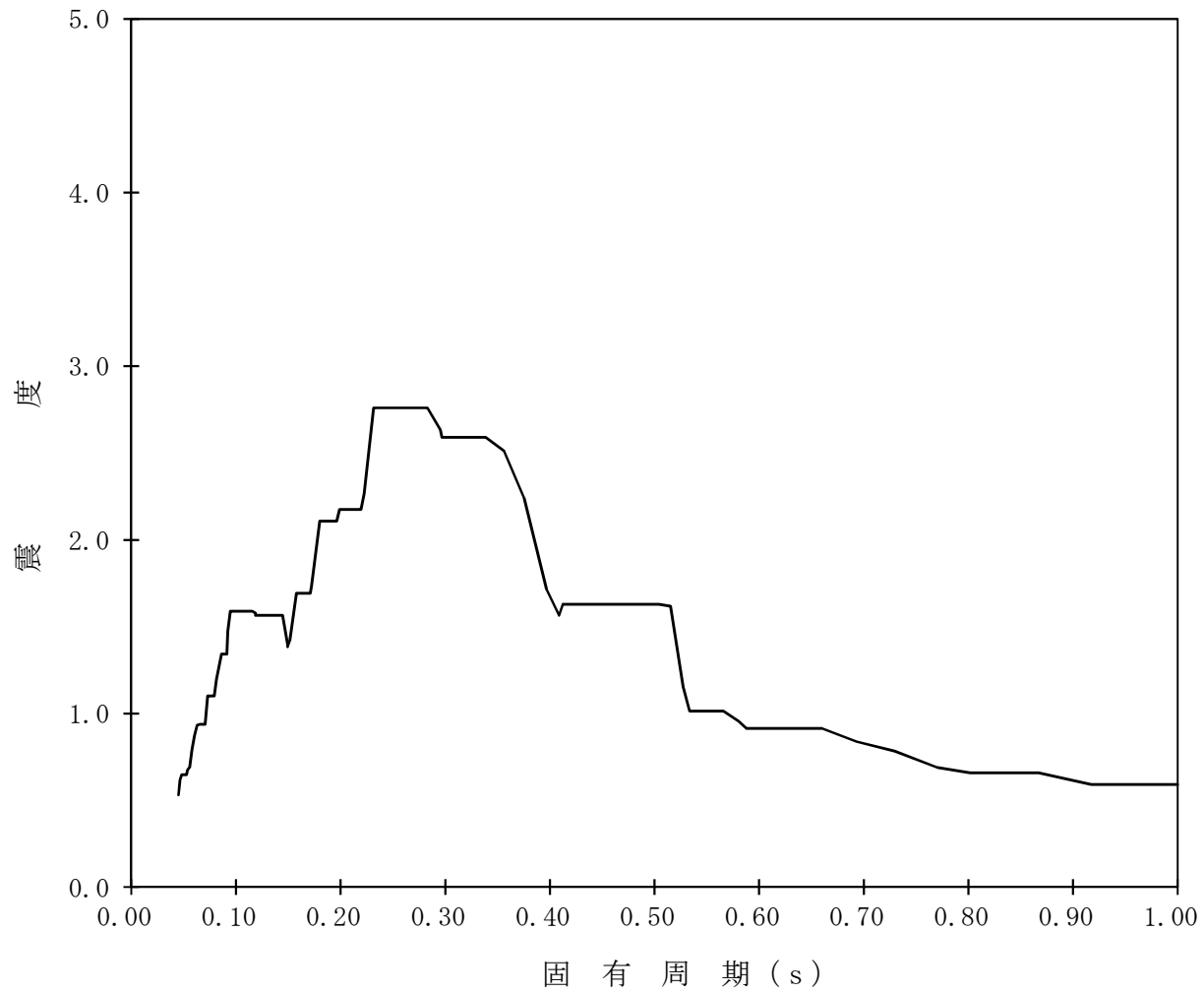


【K06-RB-SdV-RB107】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

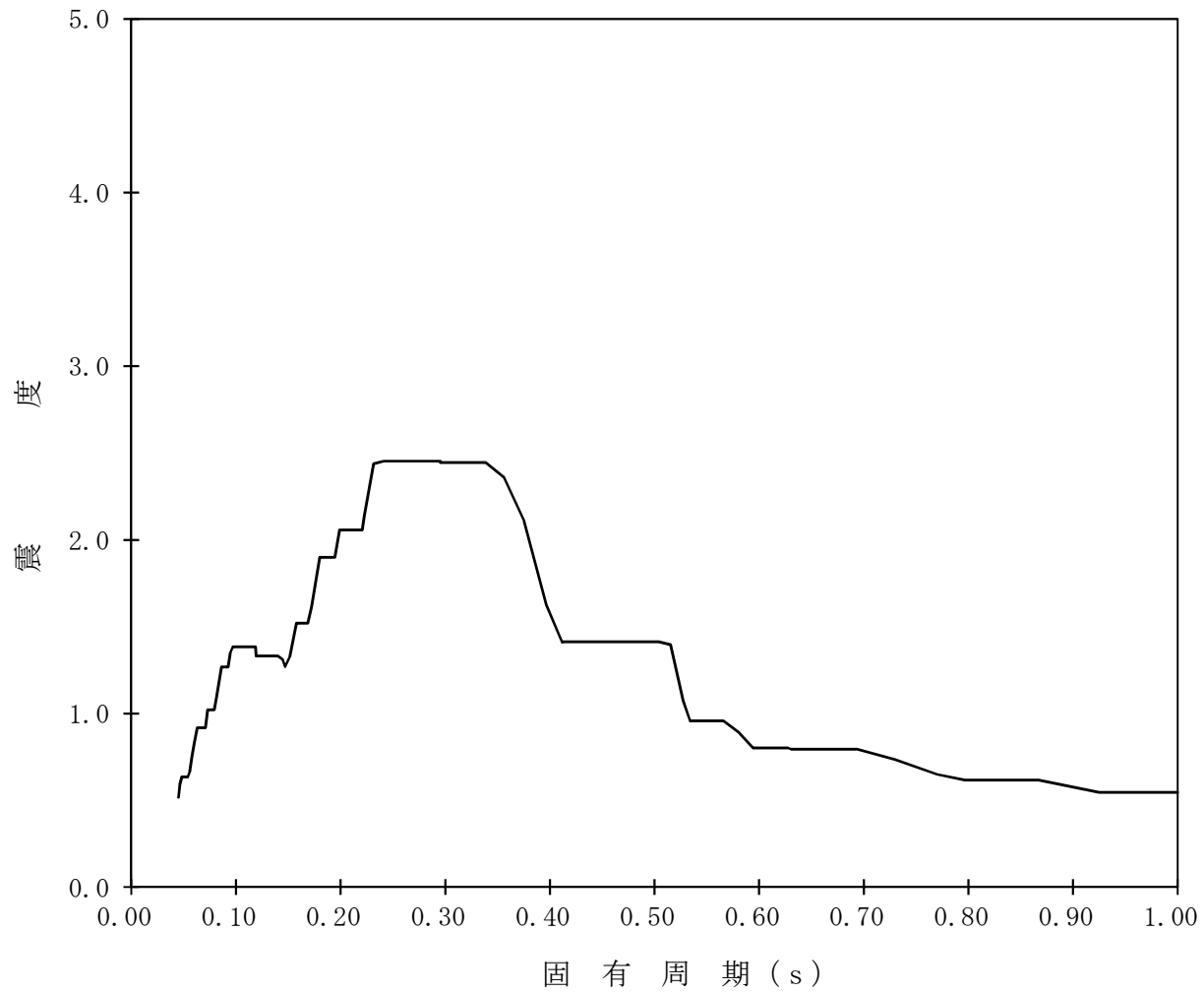


【K06-RB-SdV-RB108】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

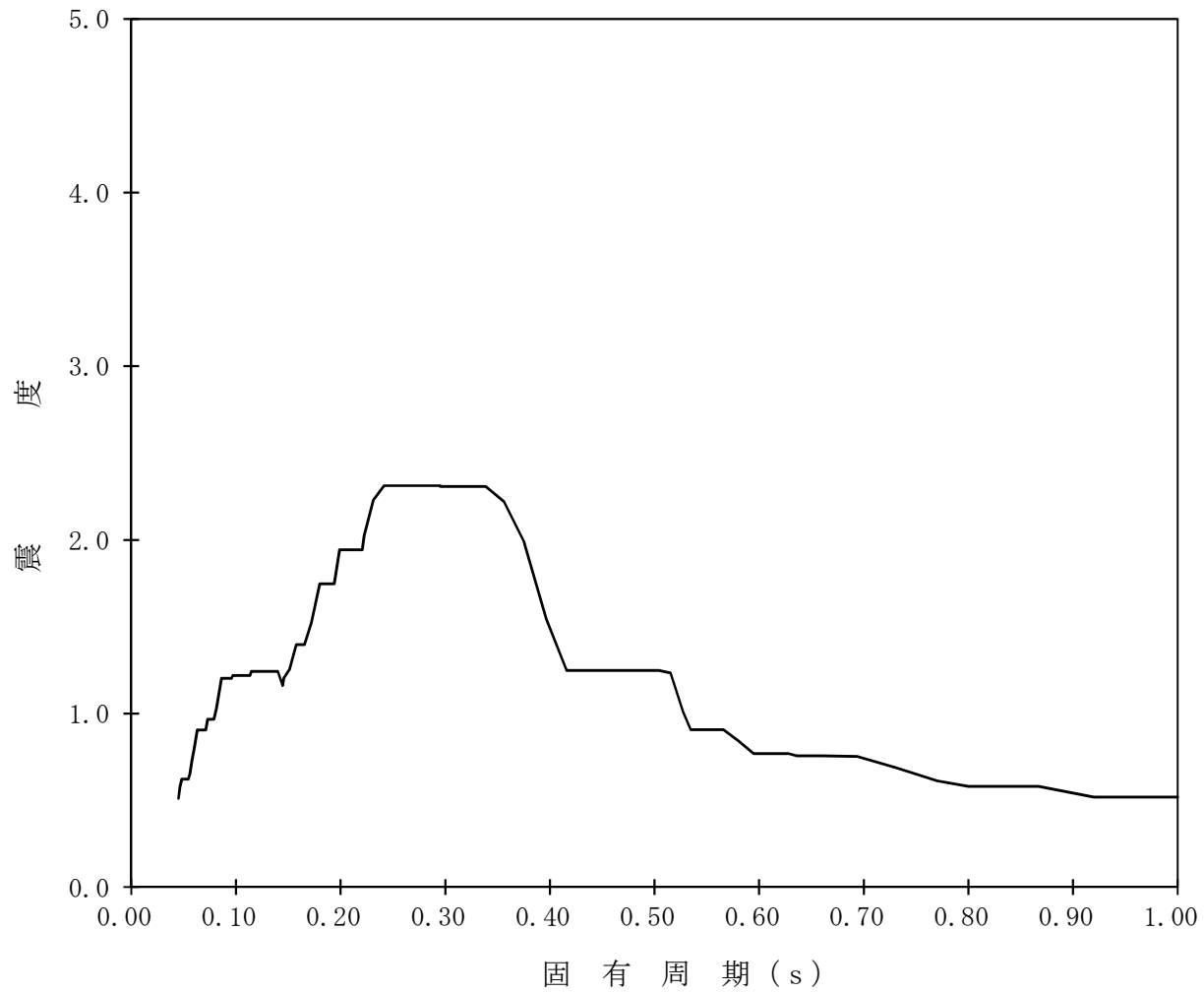


【K06-RB-SdV-RB109】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 23.500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

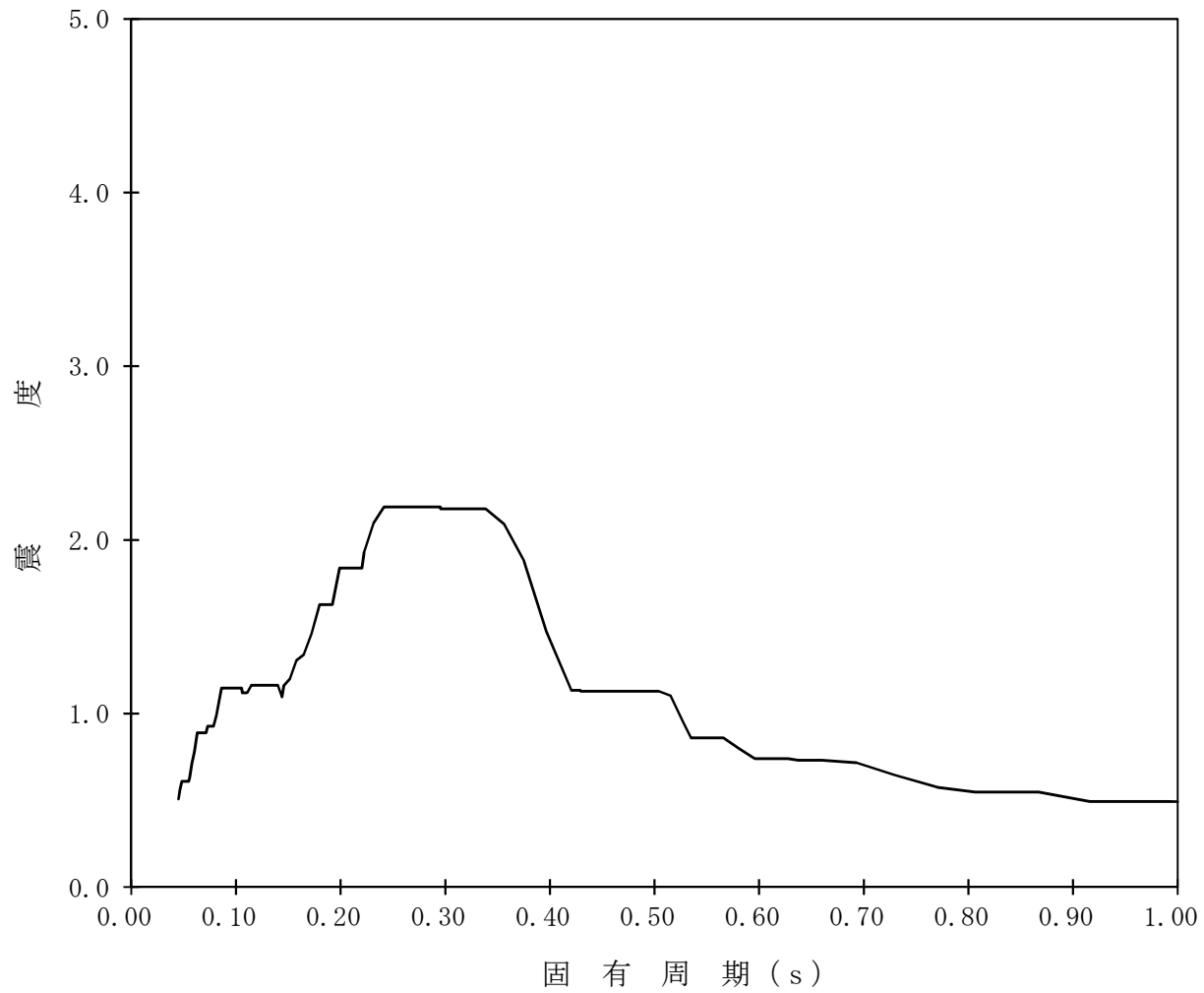


【K06-RB-SdV-RB110】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

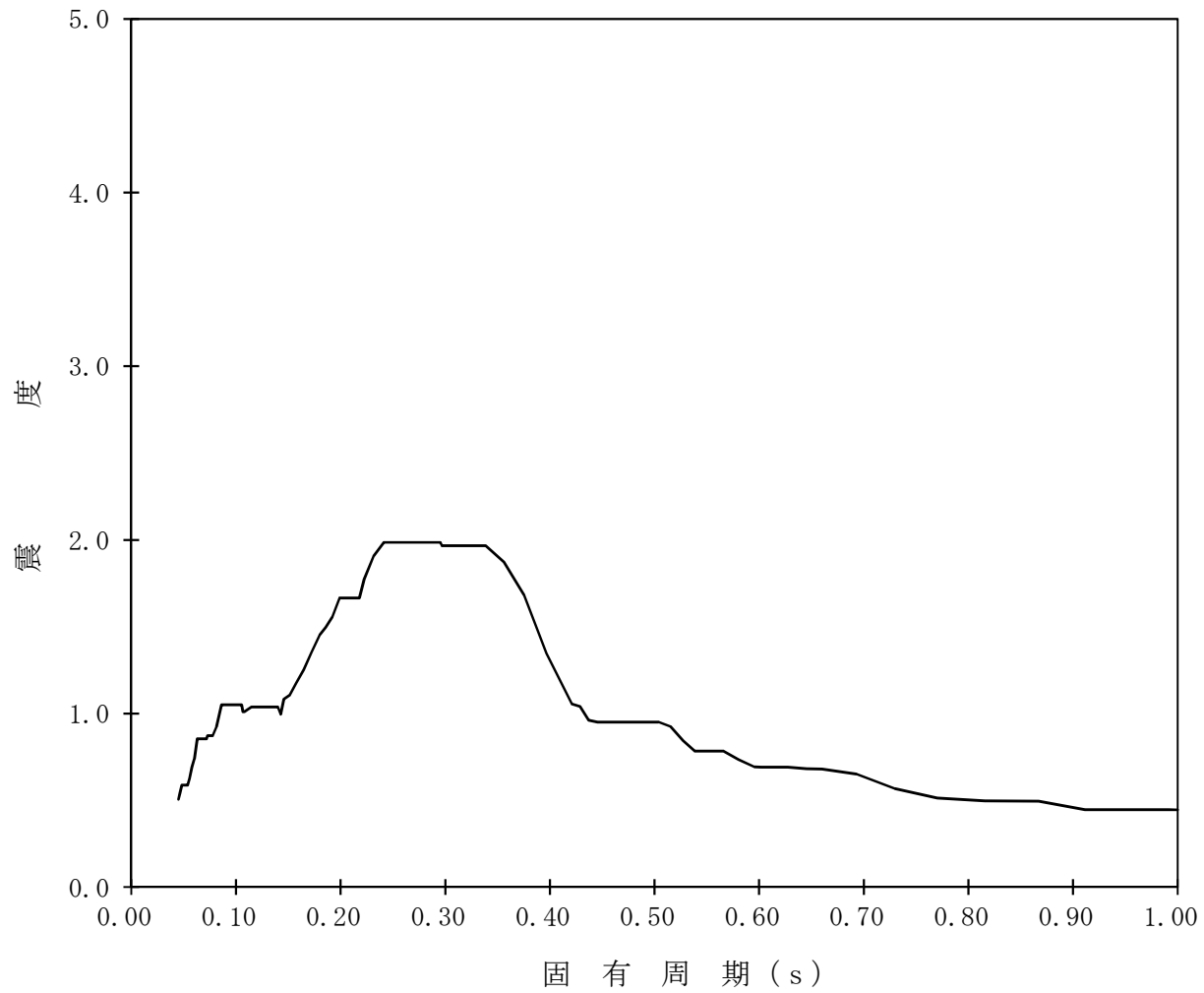


【K06-RB-SdV-RB111】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

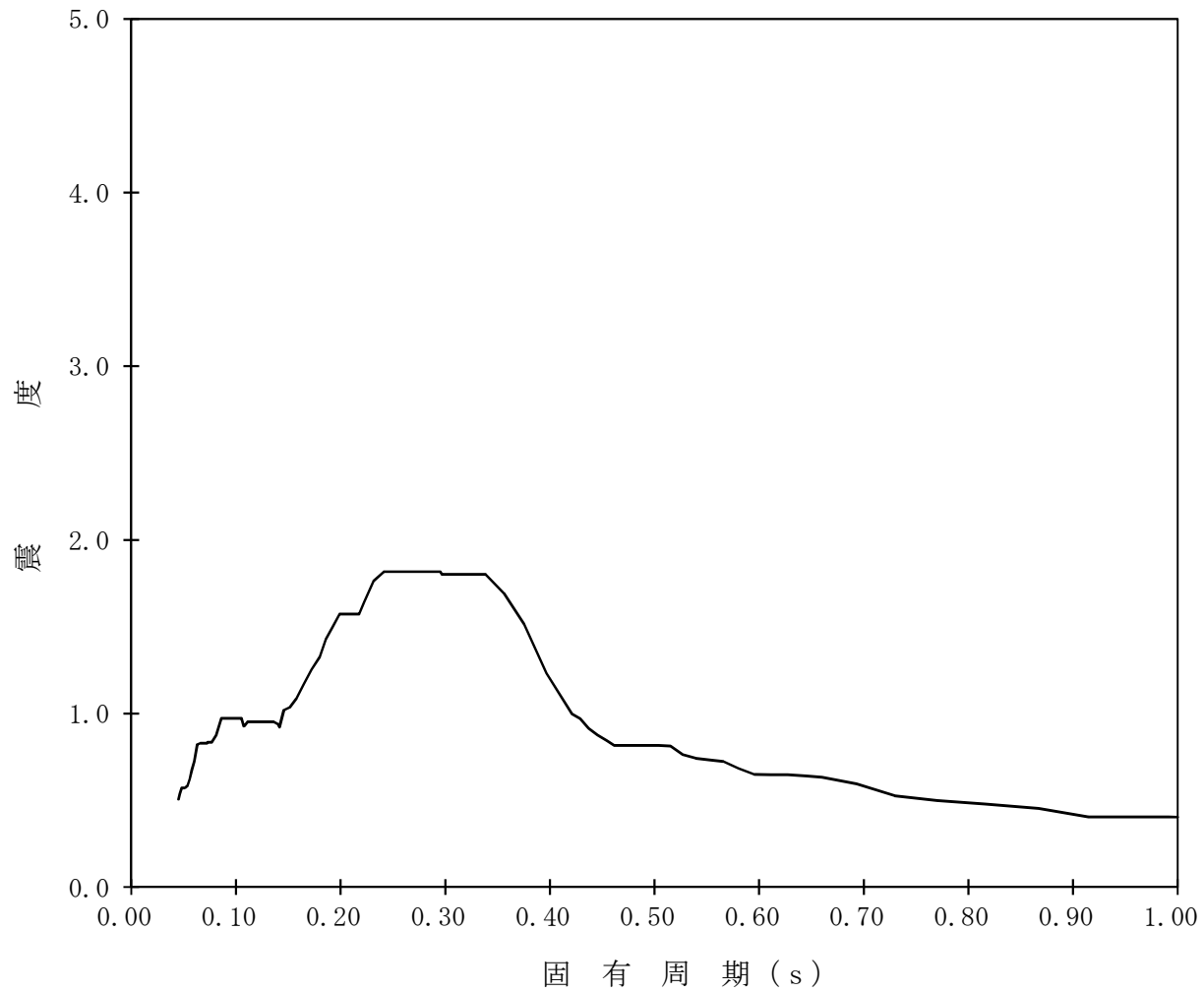


【K06-RB-SdV-RB112】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 23. 500m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

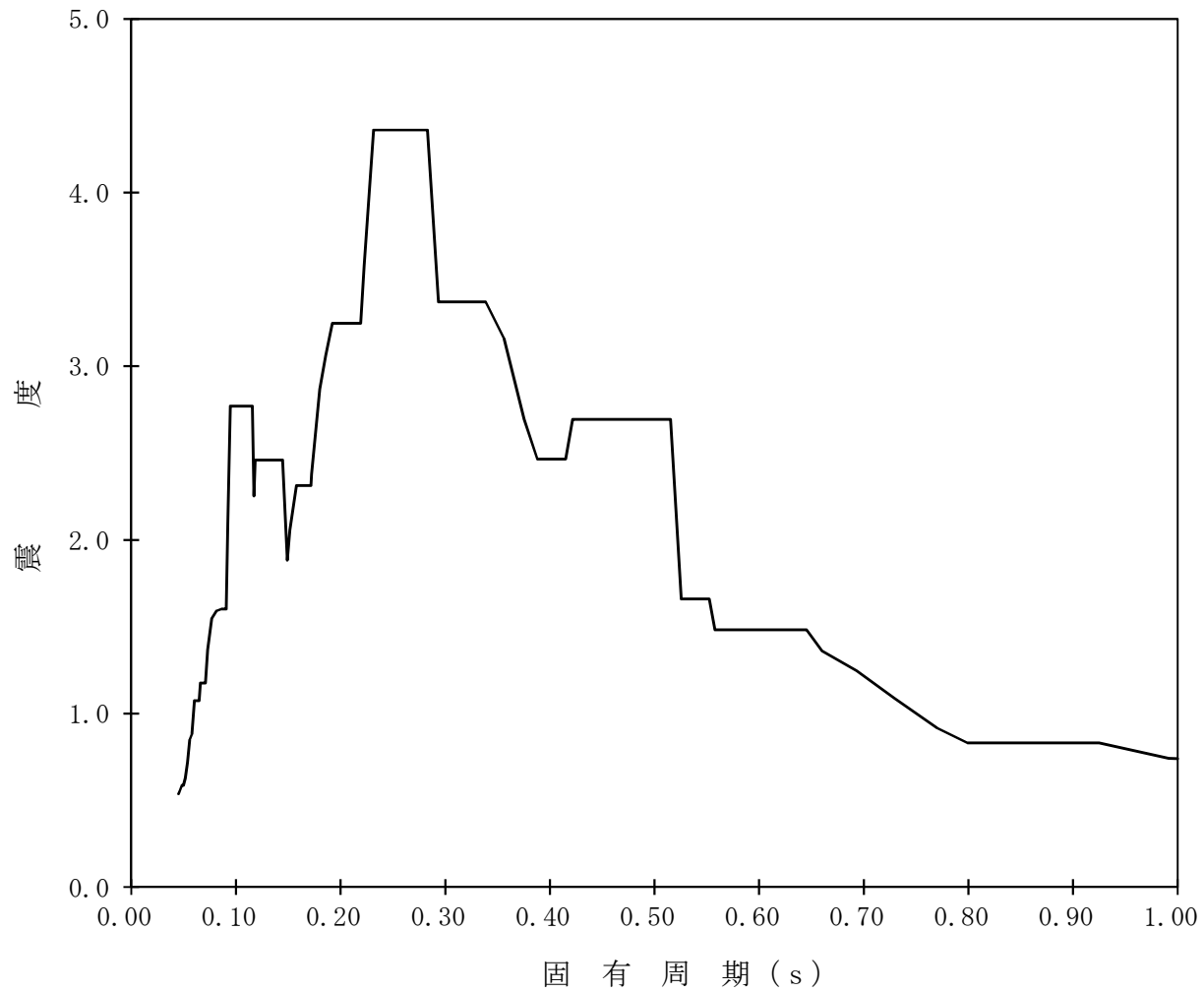


【K06-RB-SdV-RB113】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

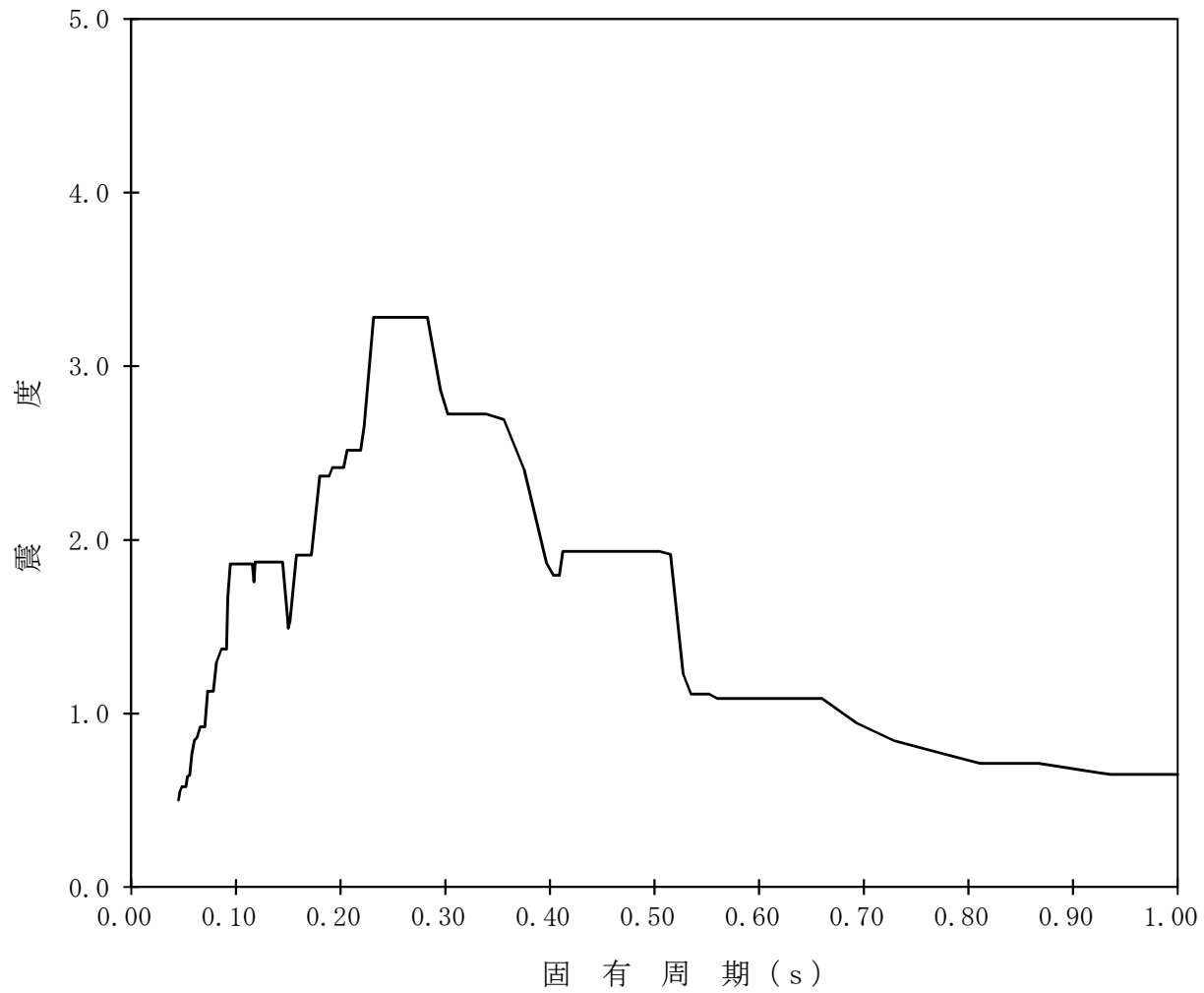
—— 鉛直方向



構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

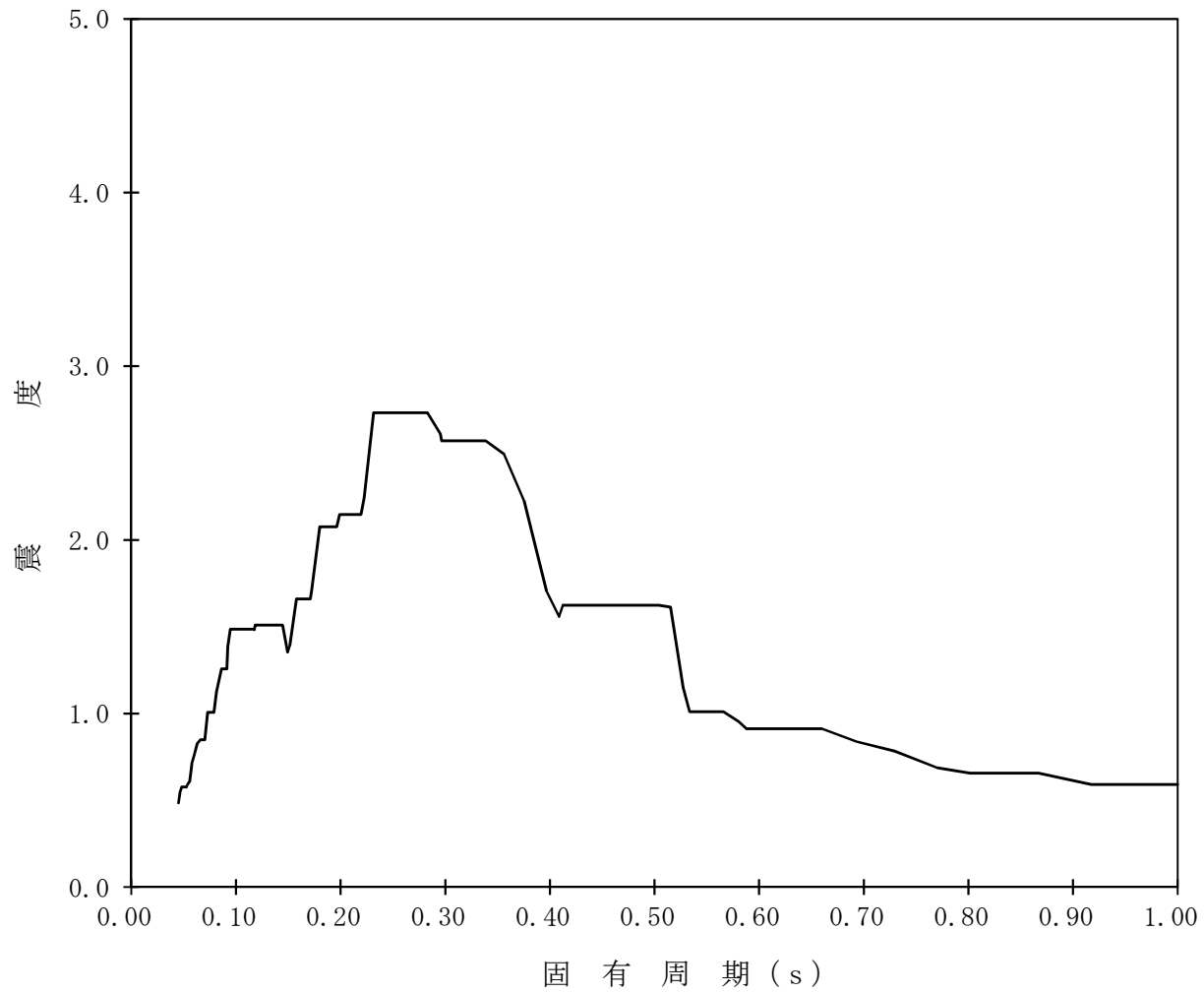


【K06-RB-SdV-RB115】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

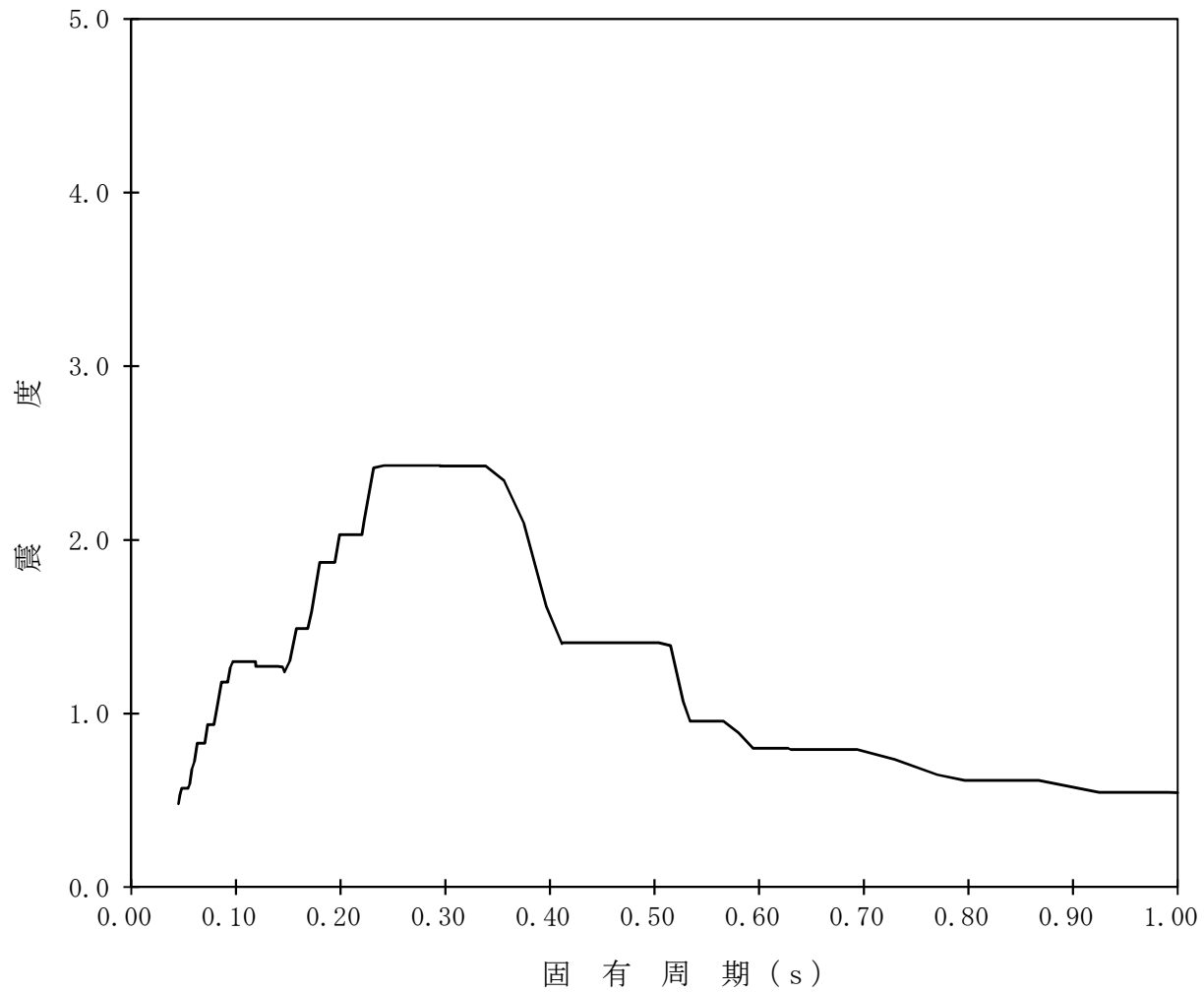


【K06-RB-SdV-RB116】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

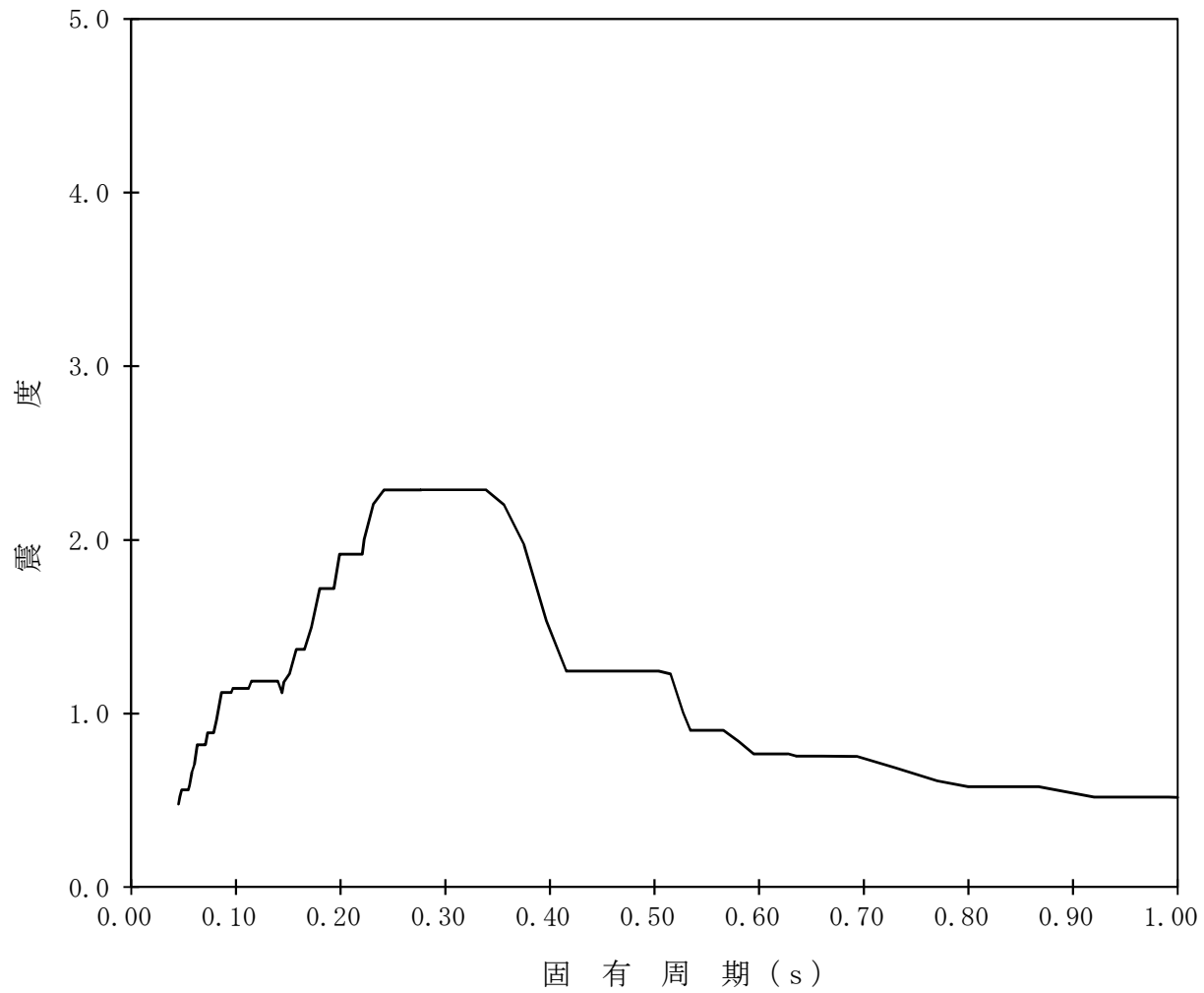


【K06-RB-SdV-RB117】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

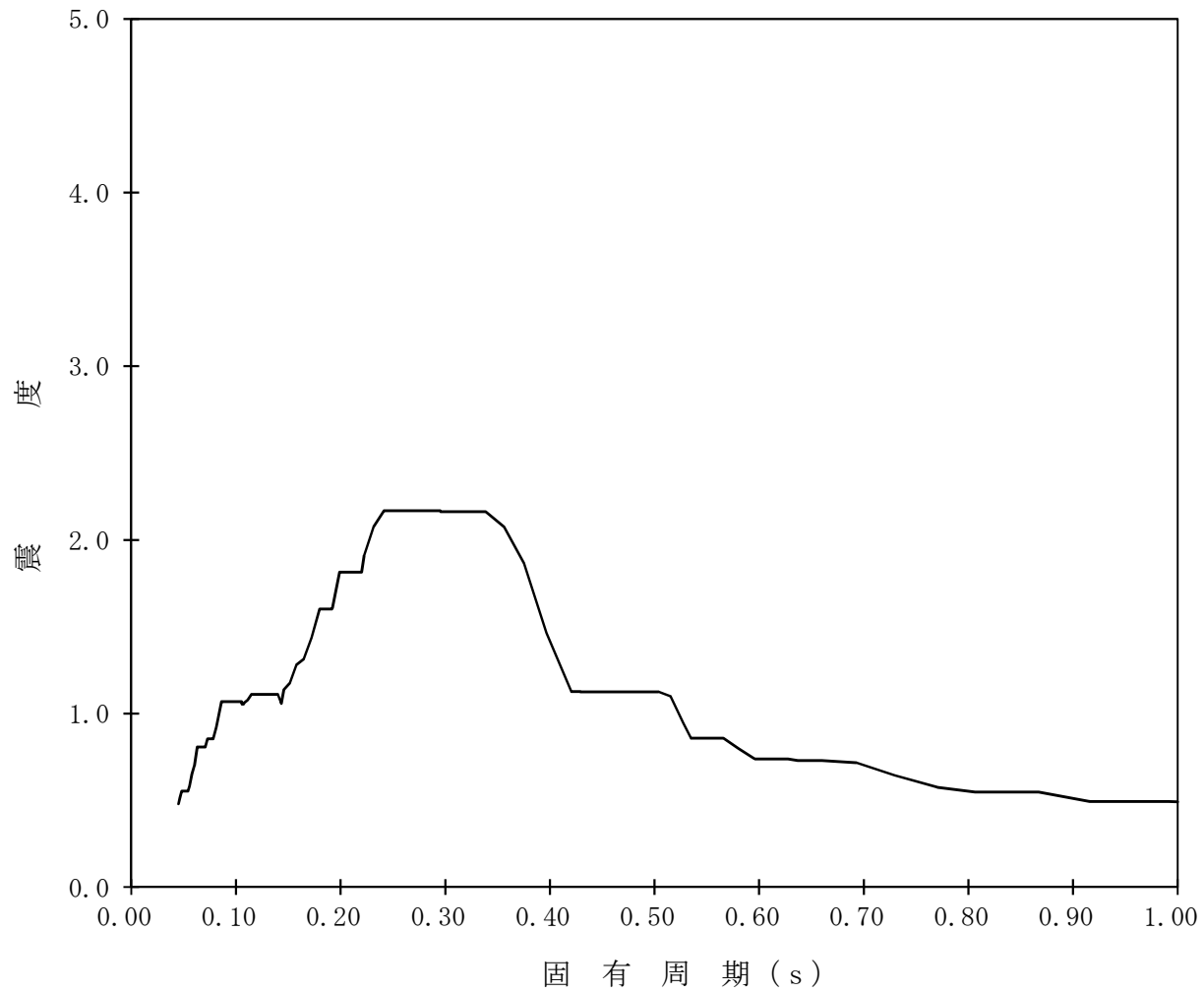


【K06-RB-SdV-RB118】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

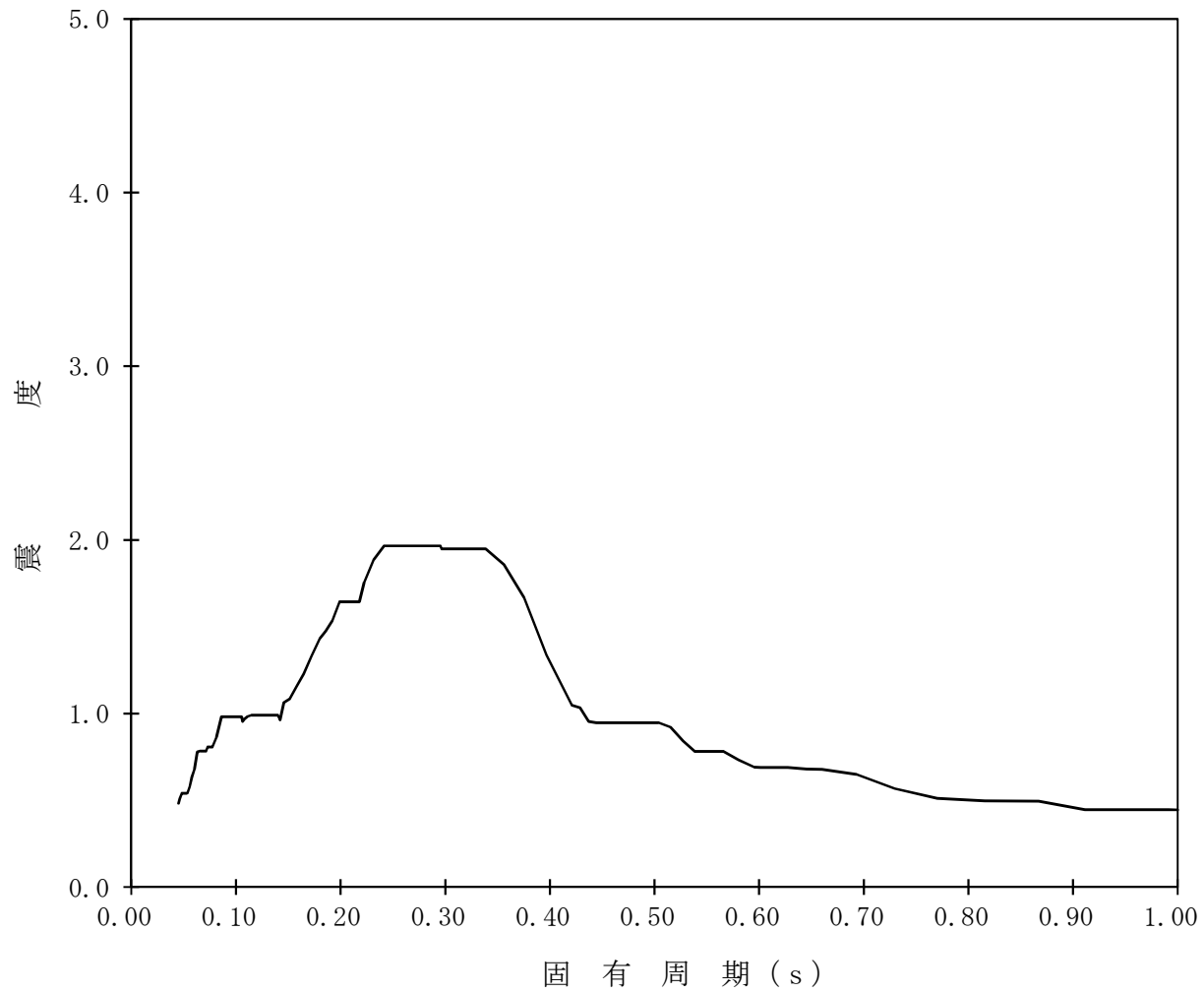


【K06-RB-SdV-RB119】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

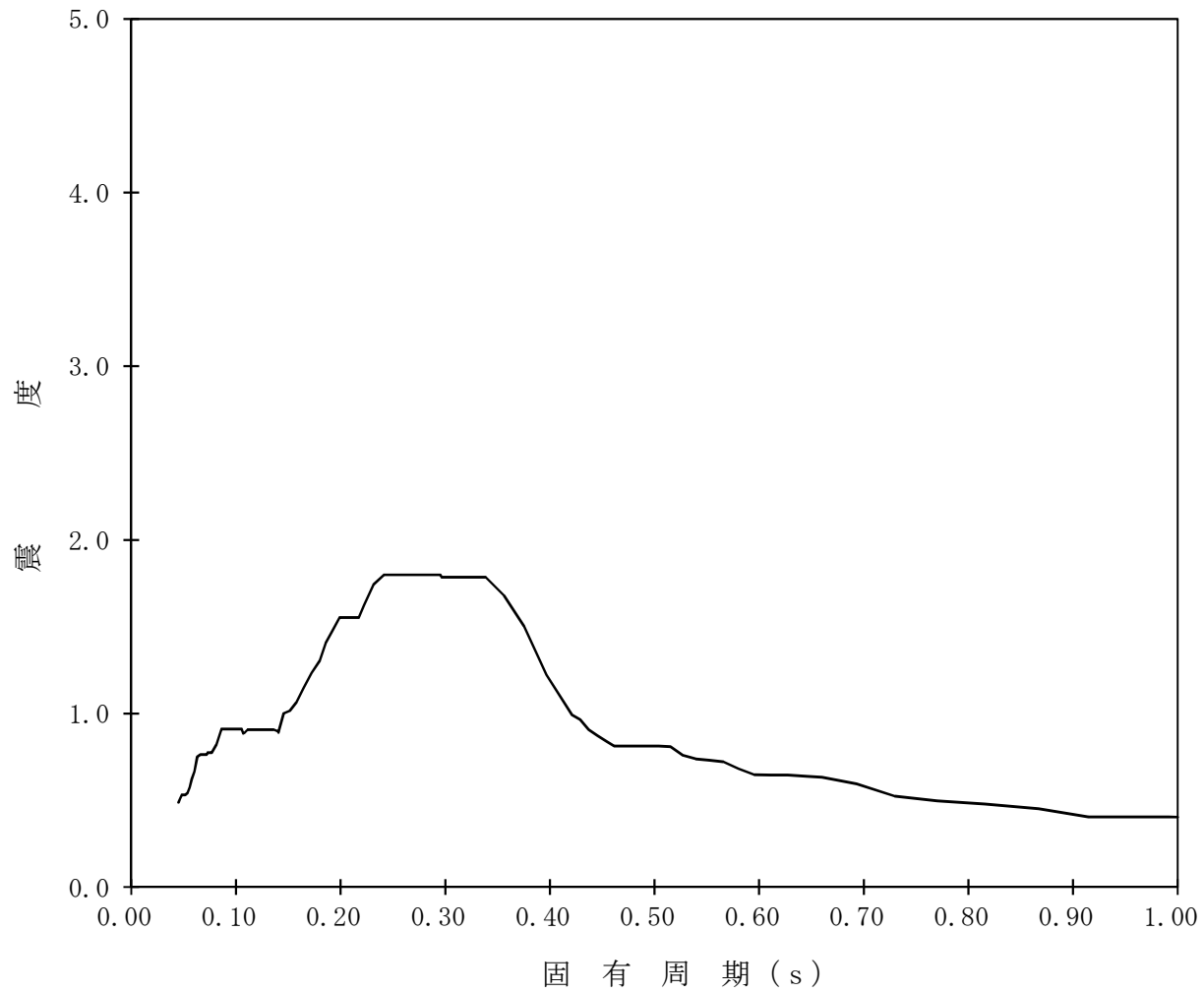


【K06-RB-SdV-RB120】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

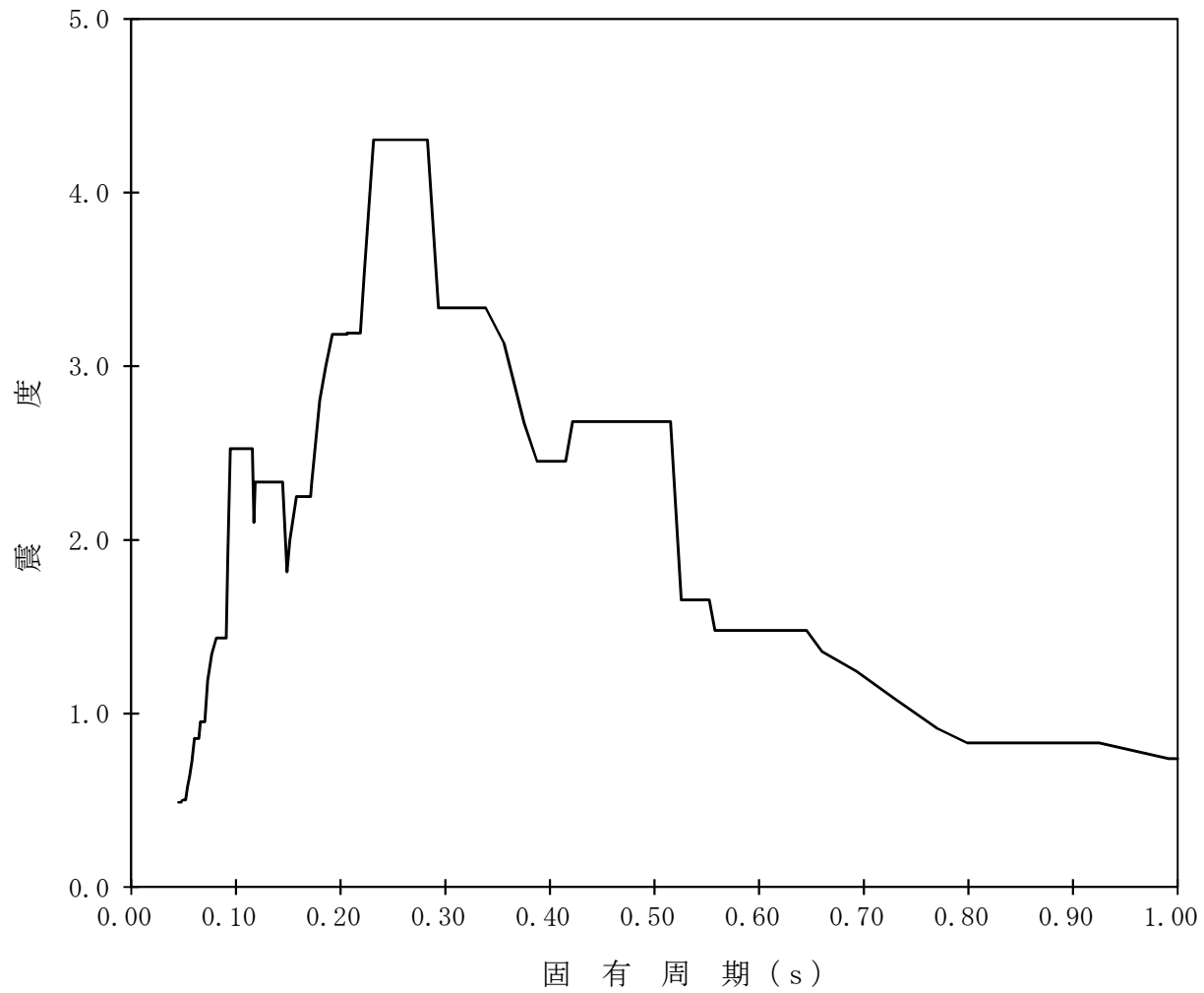


【K06-RB-SdV-RB121】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

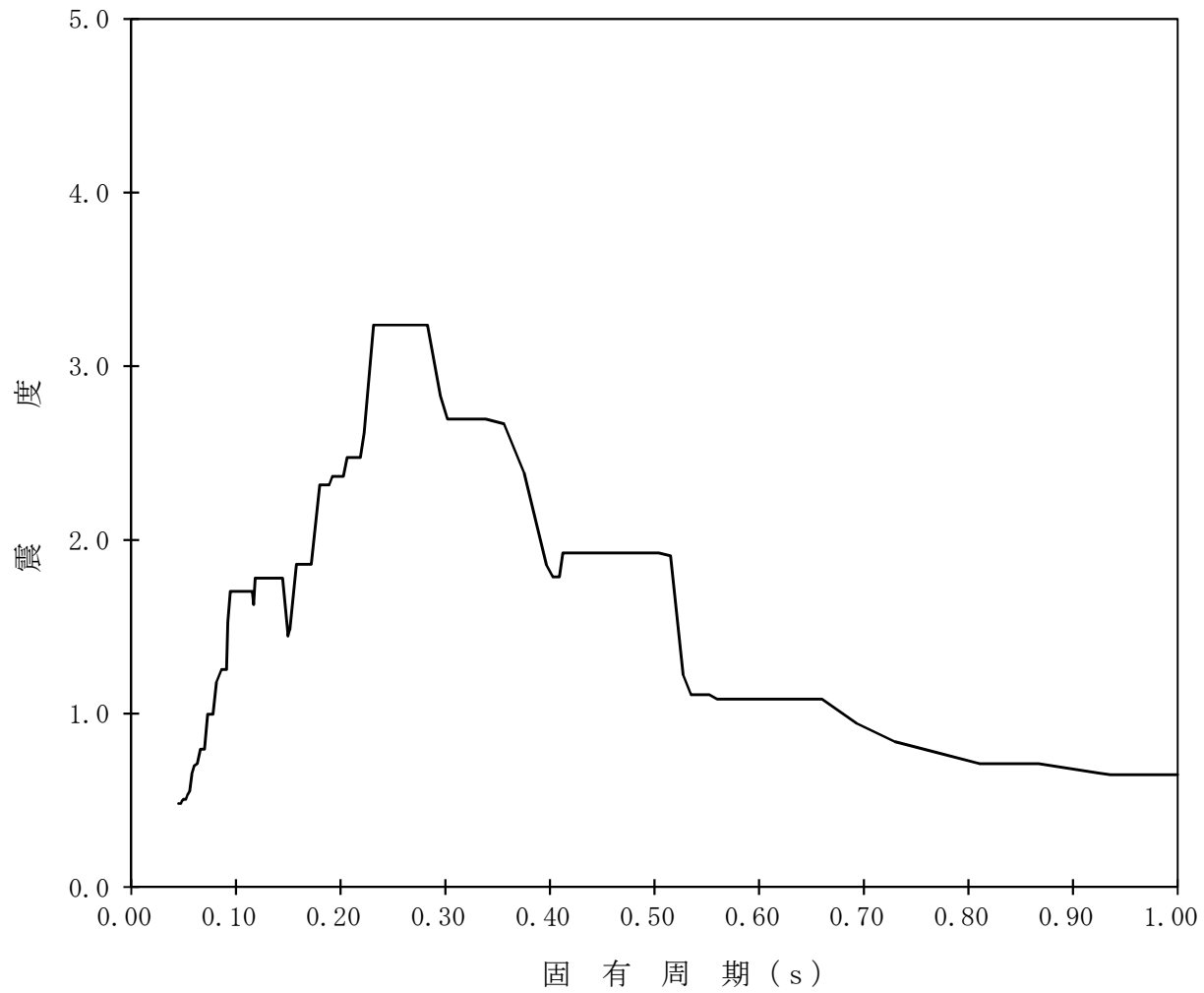


【K06-RB-SdV-RB122】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

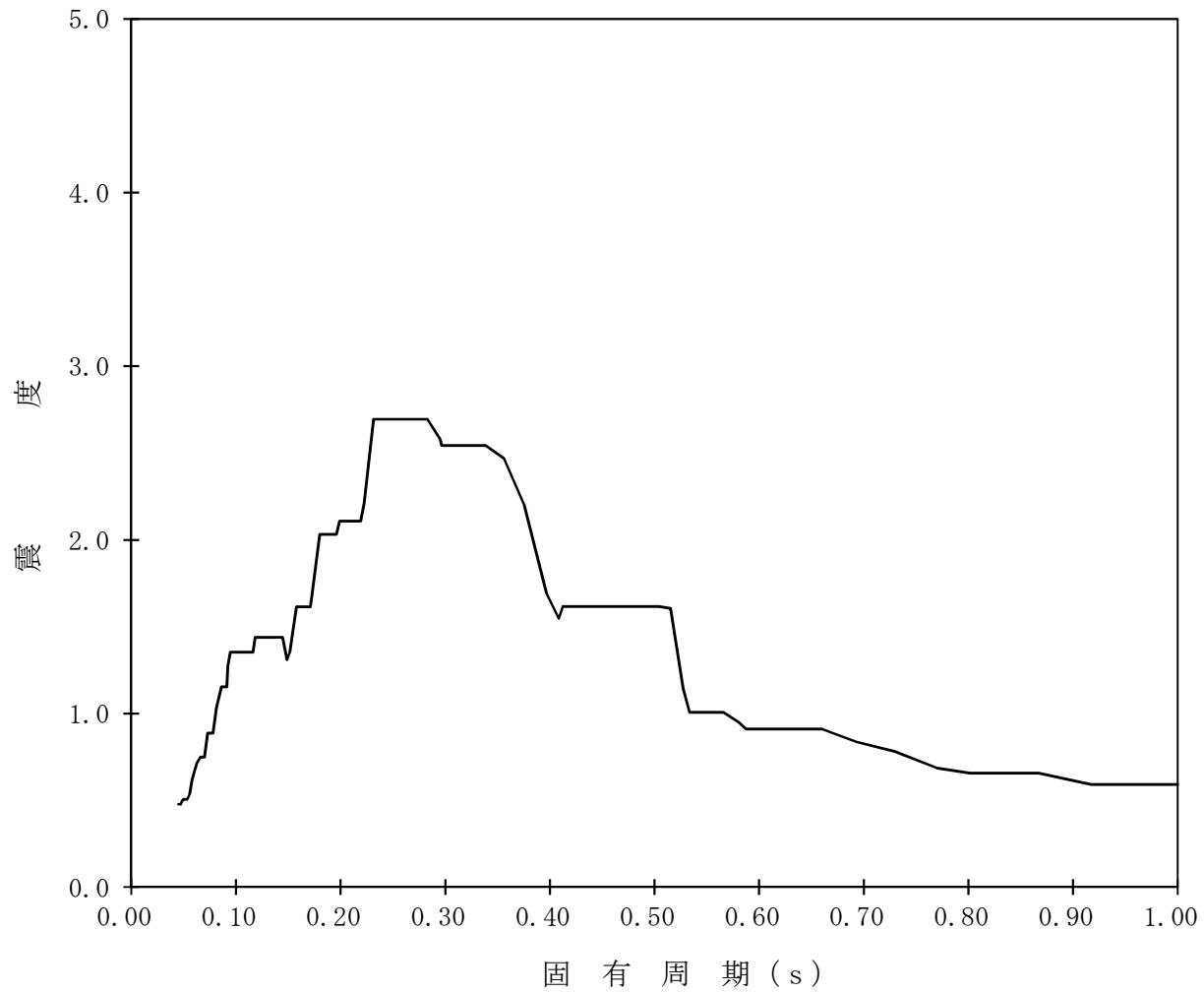


【K06-RB-SdV-RB123】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

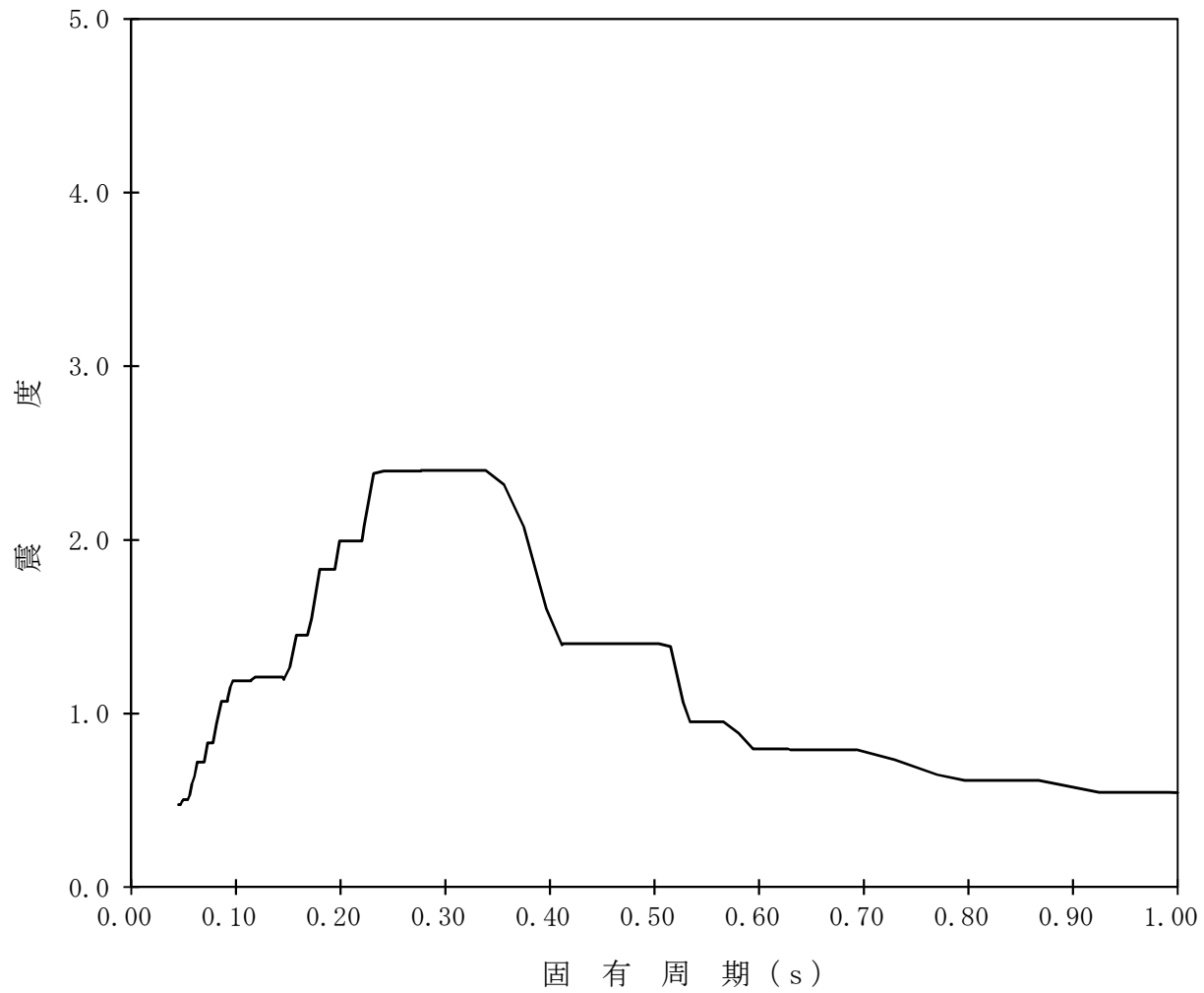
—— 鉛直方向



構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

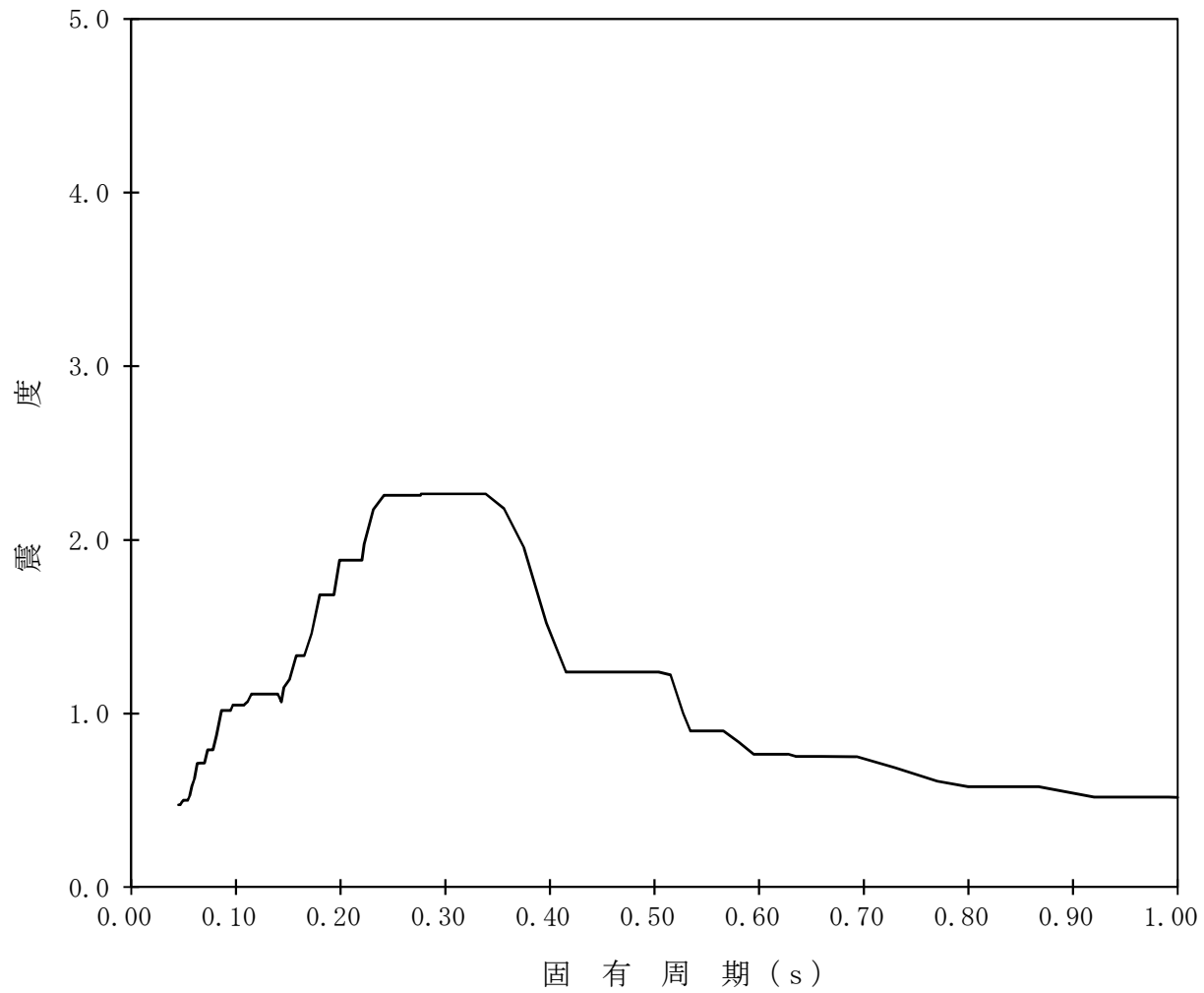
—— 鉛直方向



構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

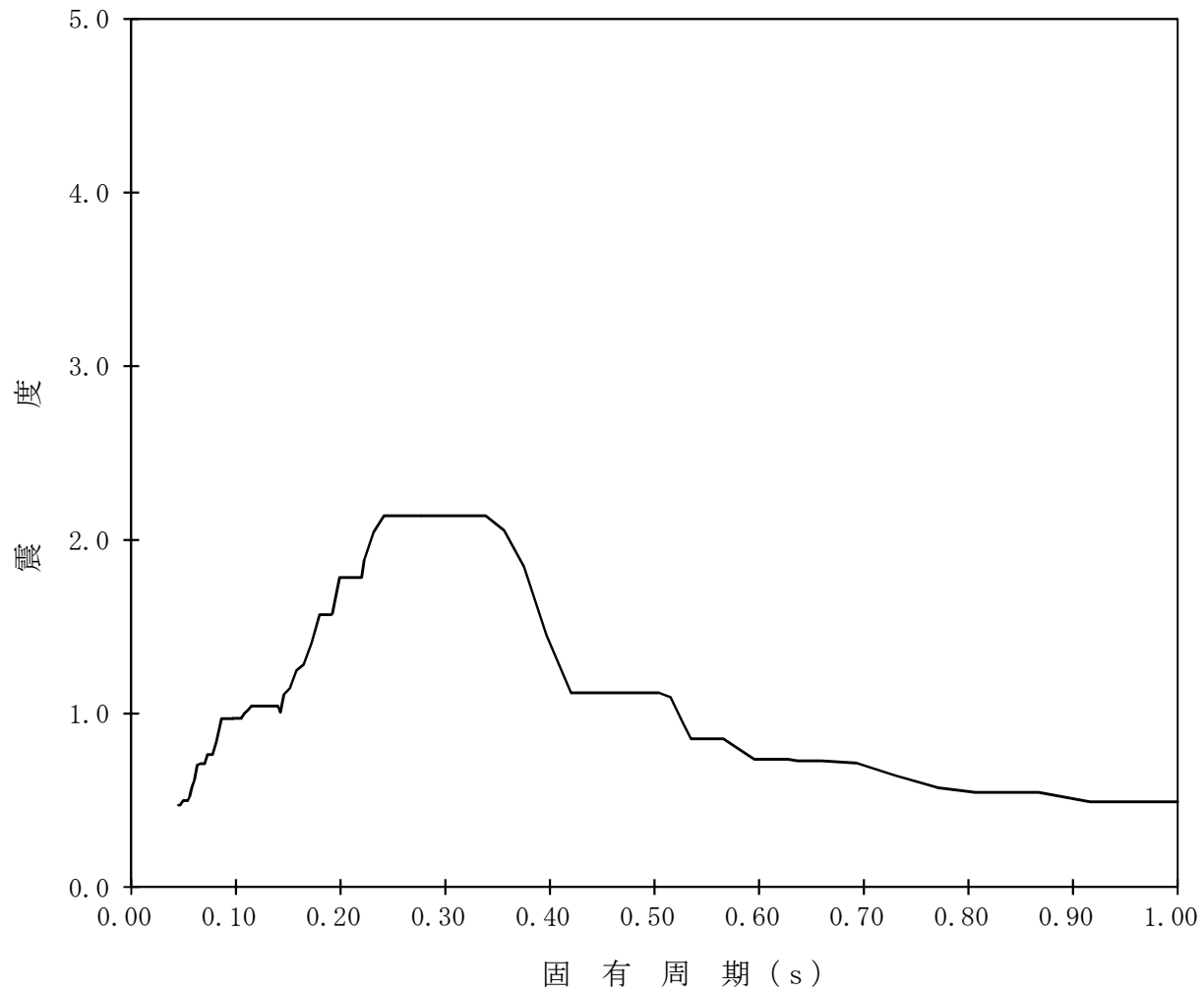


【K06-RB-SdV-RB126】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

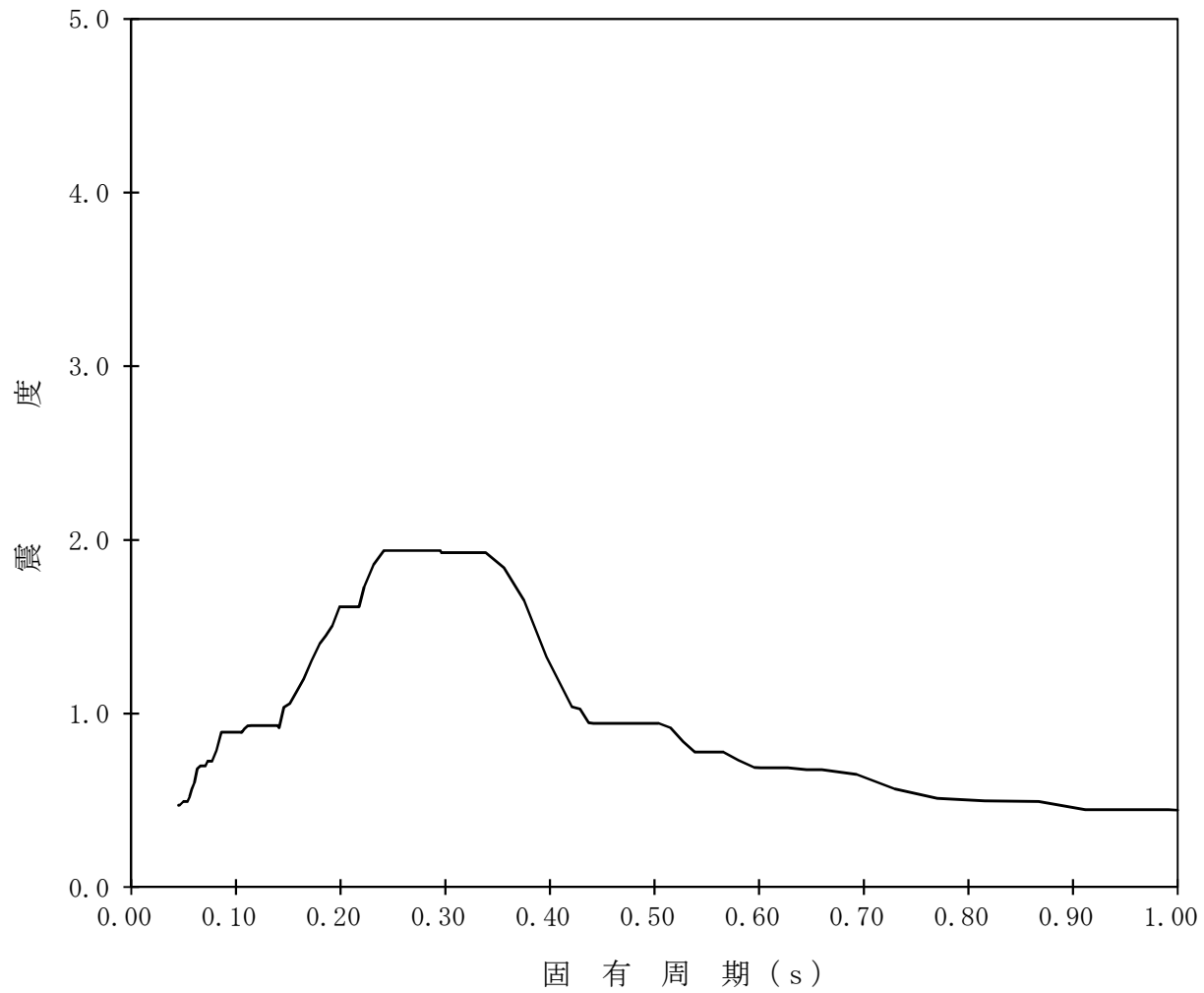


【K06-RB-SdV-RB127】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

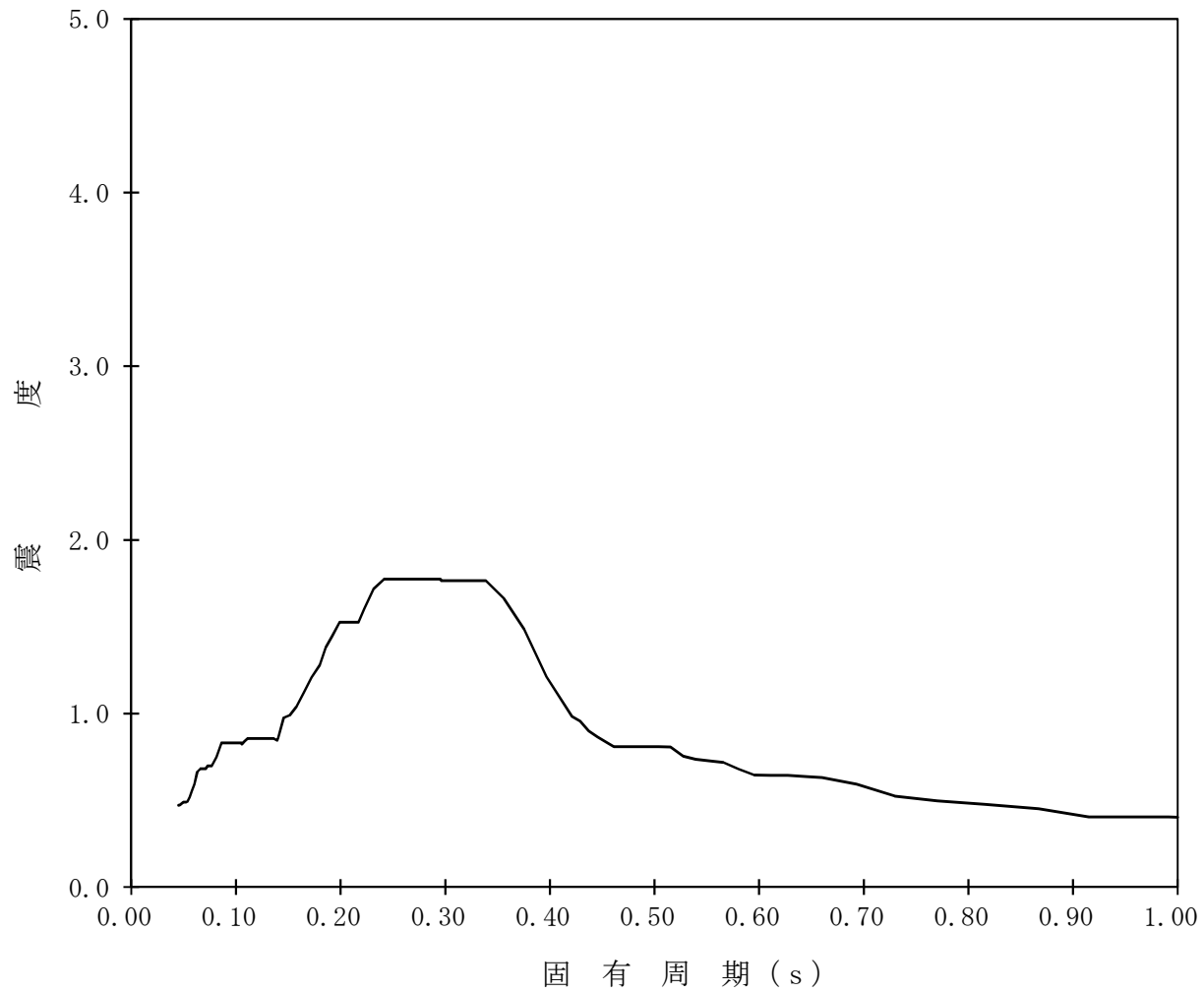


【K06-RB-SdV-RB128】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向



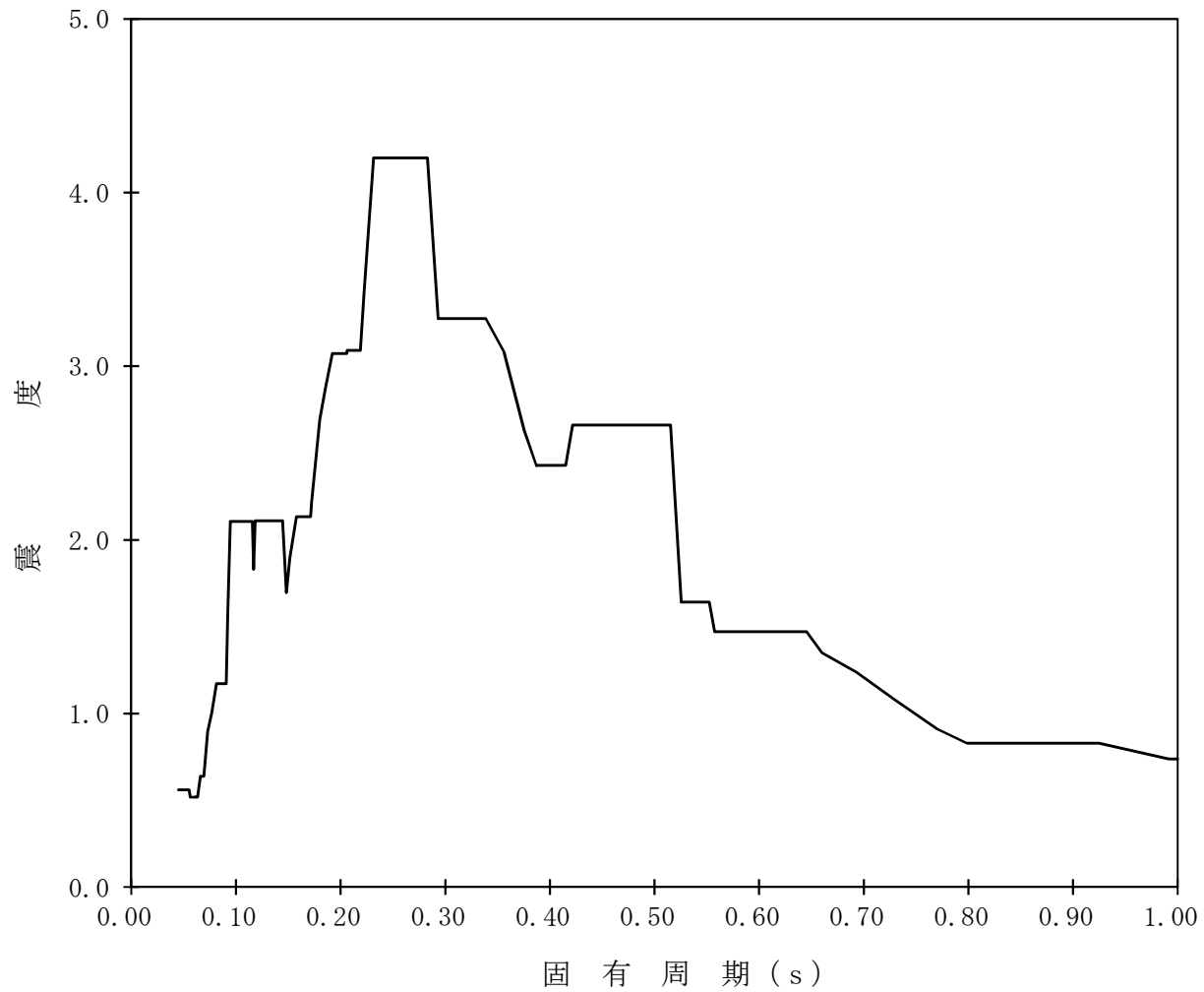
【K06-RB-SdV-RB129】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 4.800m

—— 鉛直方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

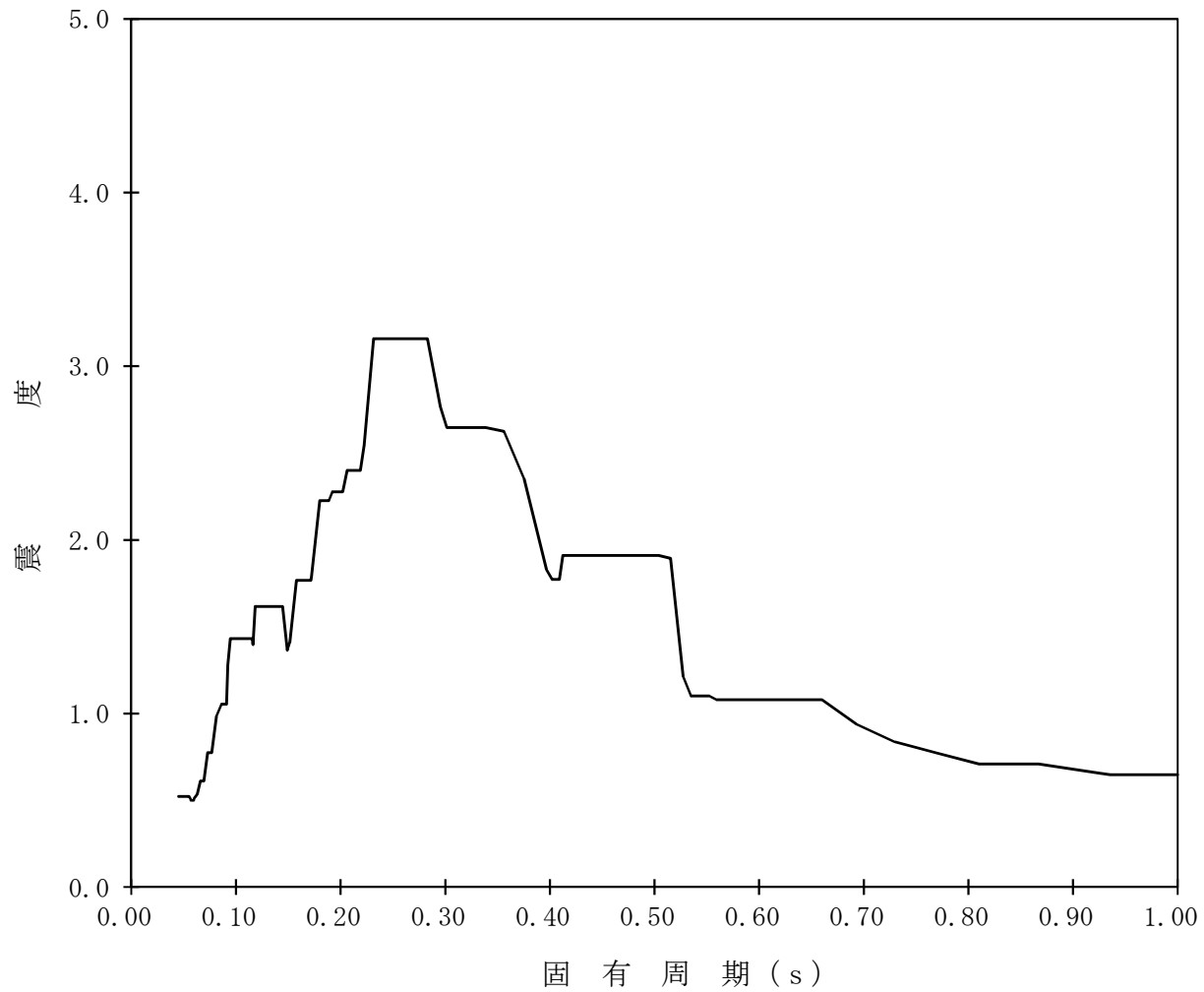


構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 鉛直方向

波形名：弾性設計用地震動 S d



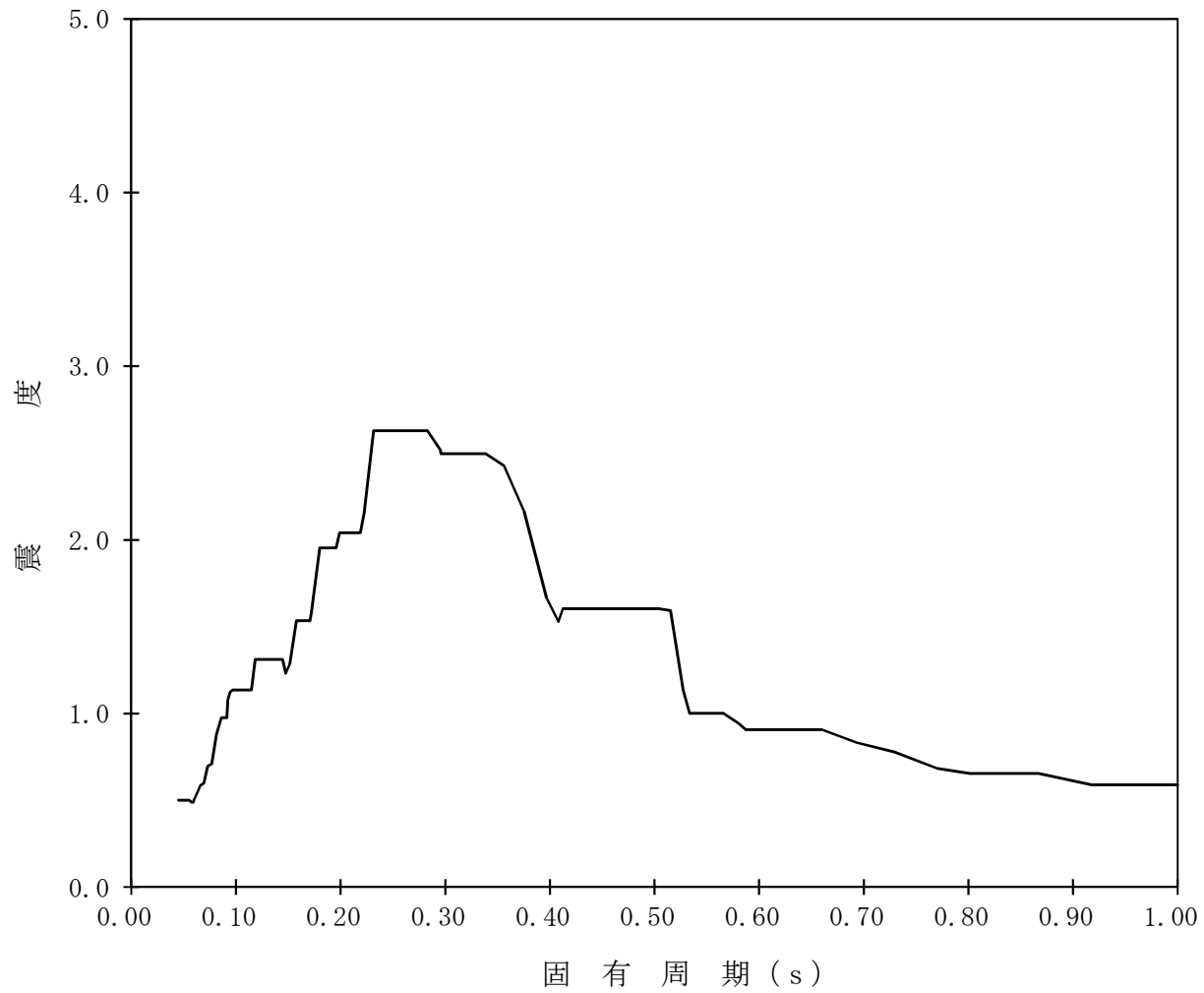
【K06-RB-SdV-RB131】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 鉛直方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

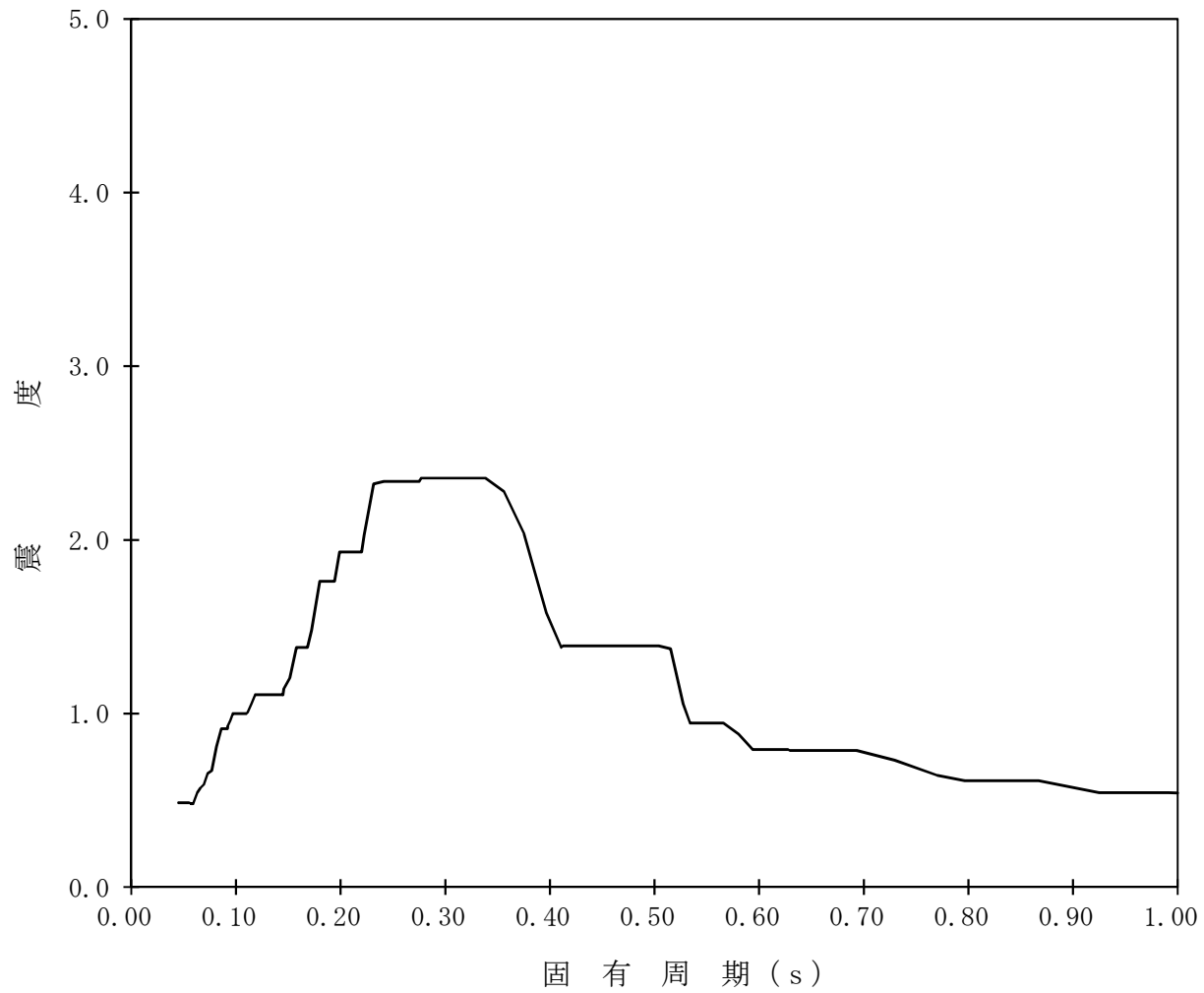


構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 鉛直方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

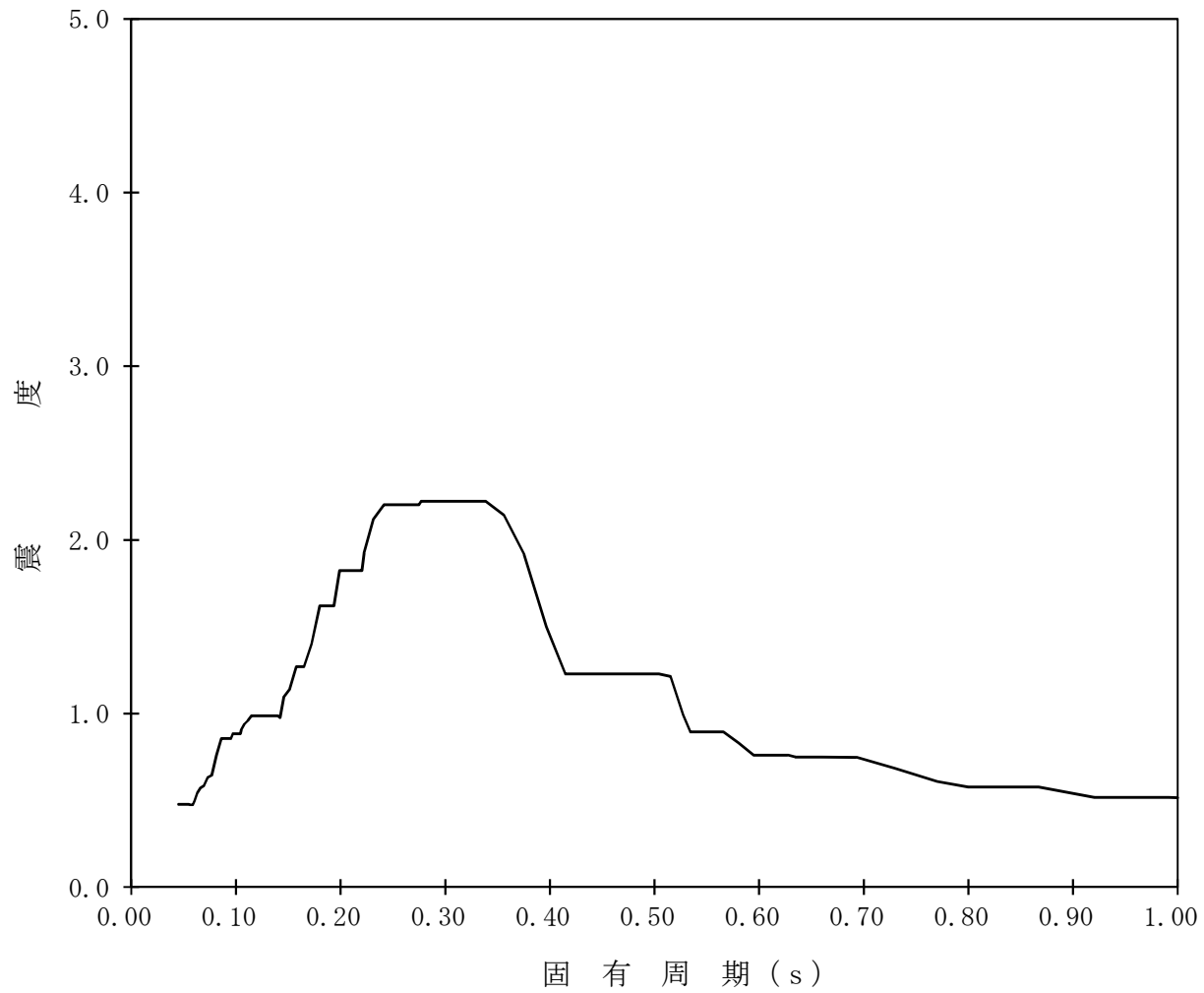


【K06-RB-SdV-RB133】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 4. 800m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向



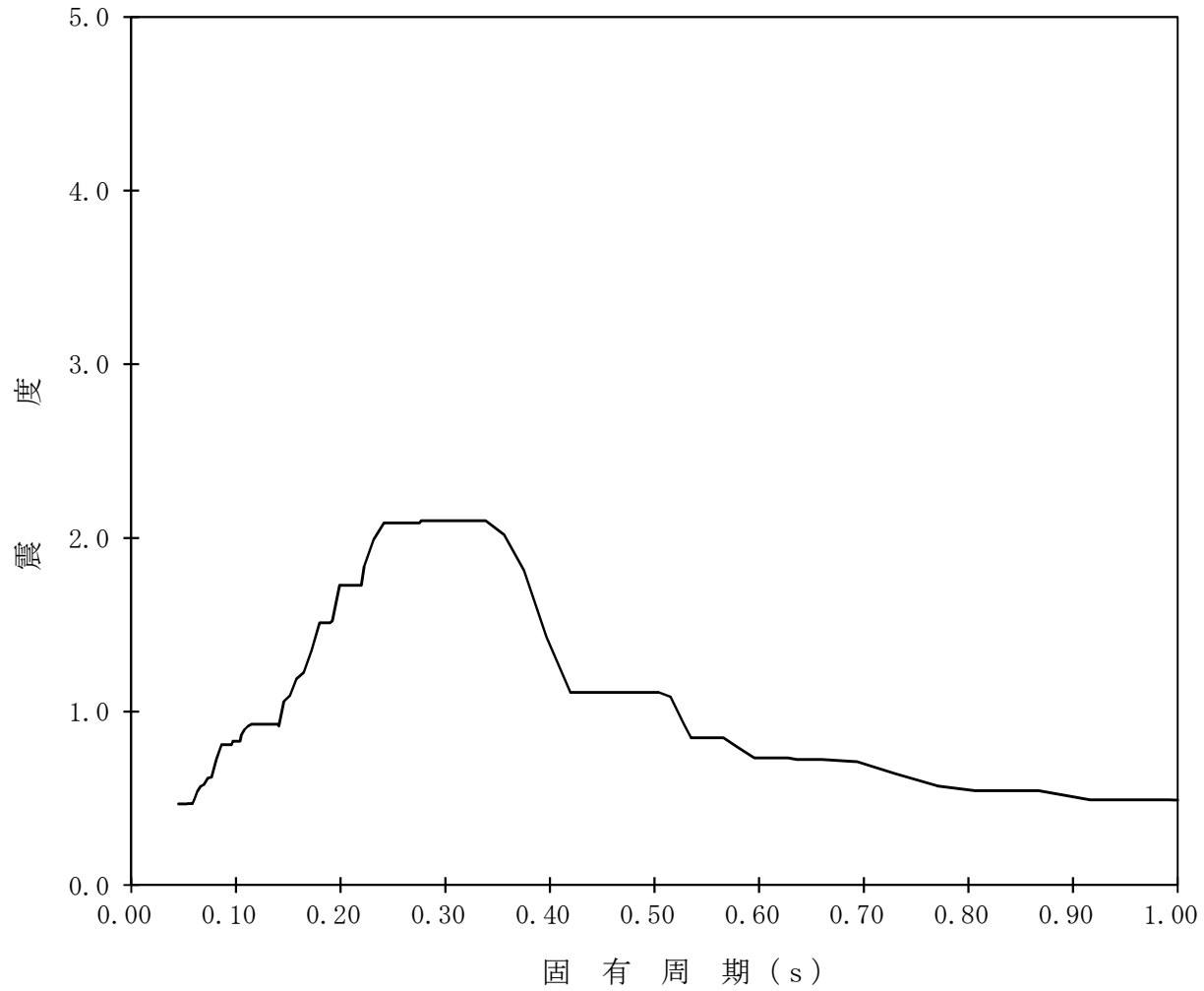
【K06-RB-SdV-RB134】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 鉛直方向

波形名：弾性設計用地震動 S d



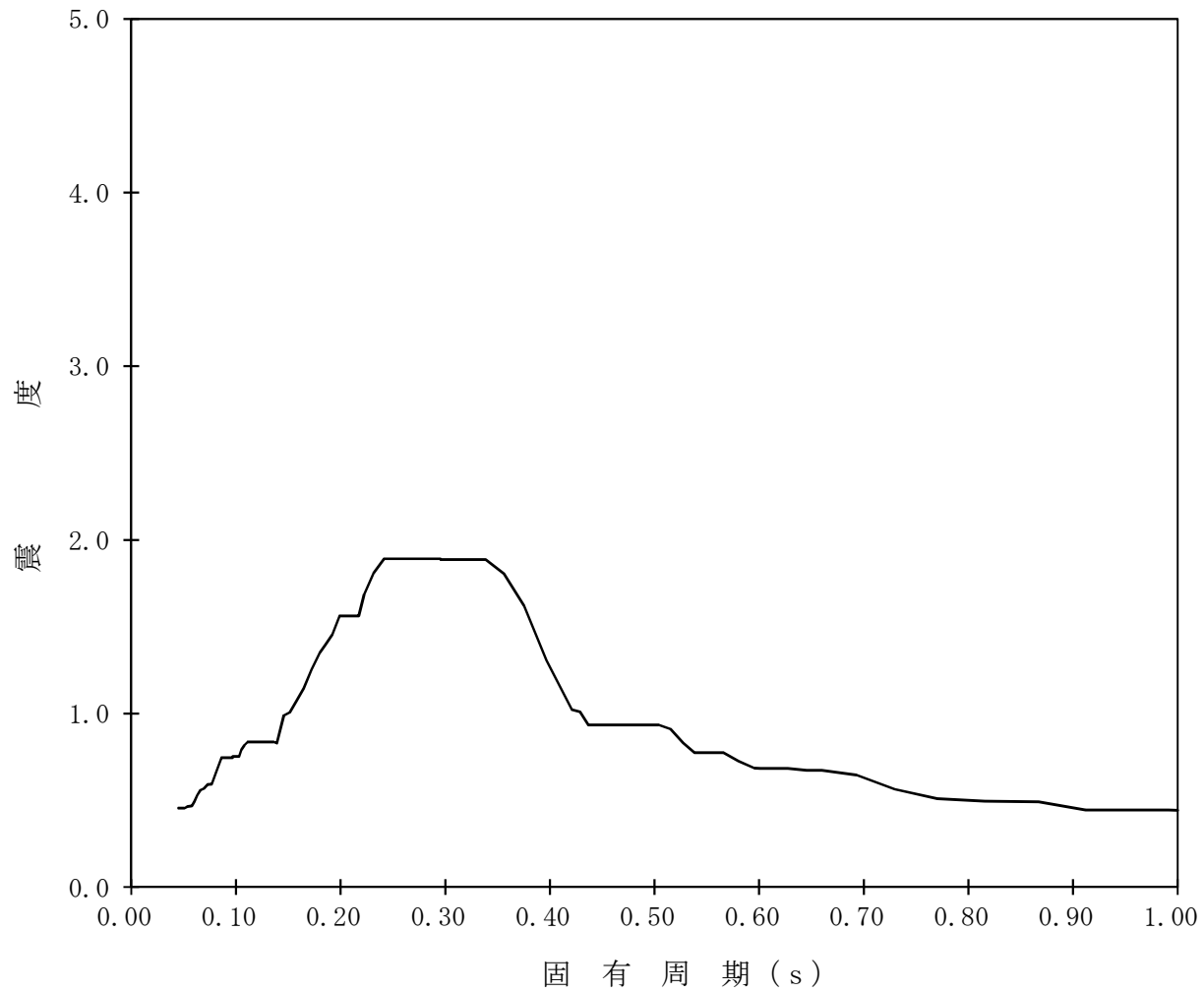
【K06-RB-SdV-RB135】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m

—— 鉛直方向

波形名：弾性設計用地震動 S d

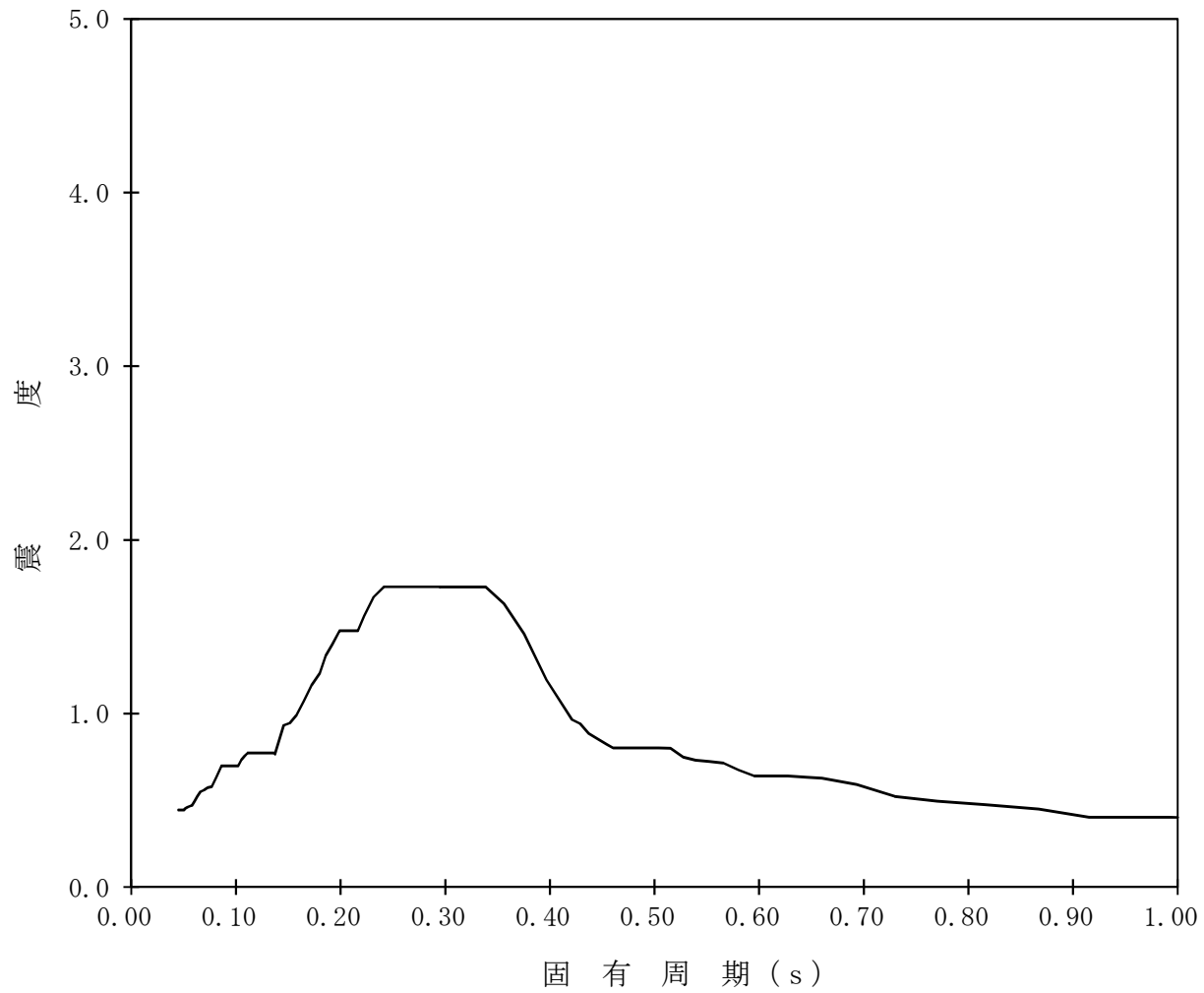


【K06-RB-SdV-RB136】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 4. 800m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

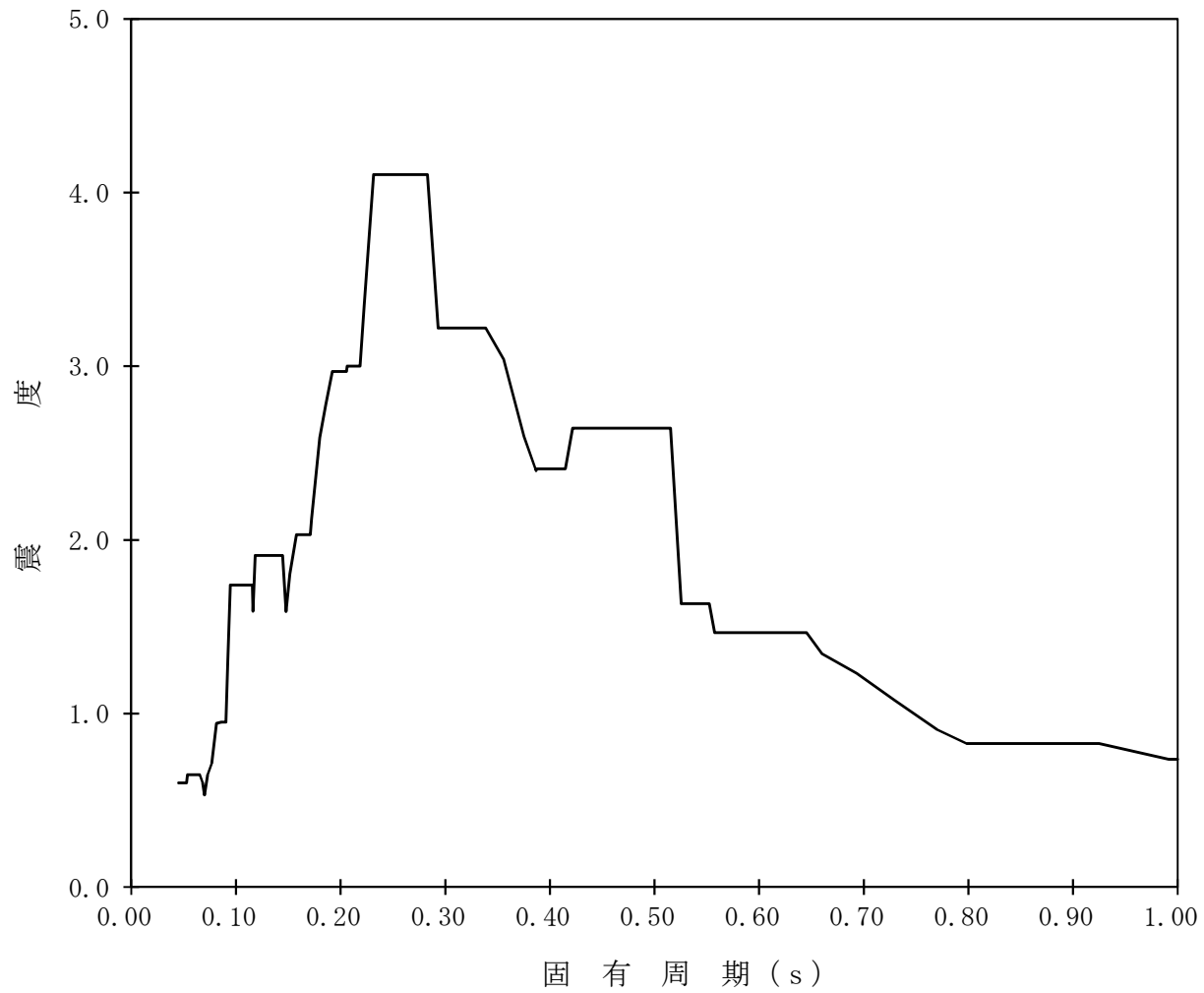


【K06-RB-SdV-RB137】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

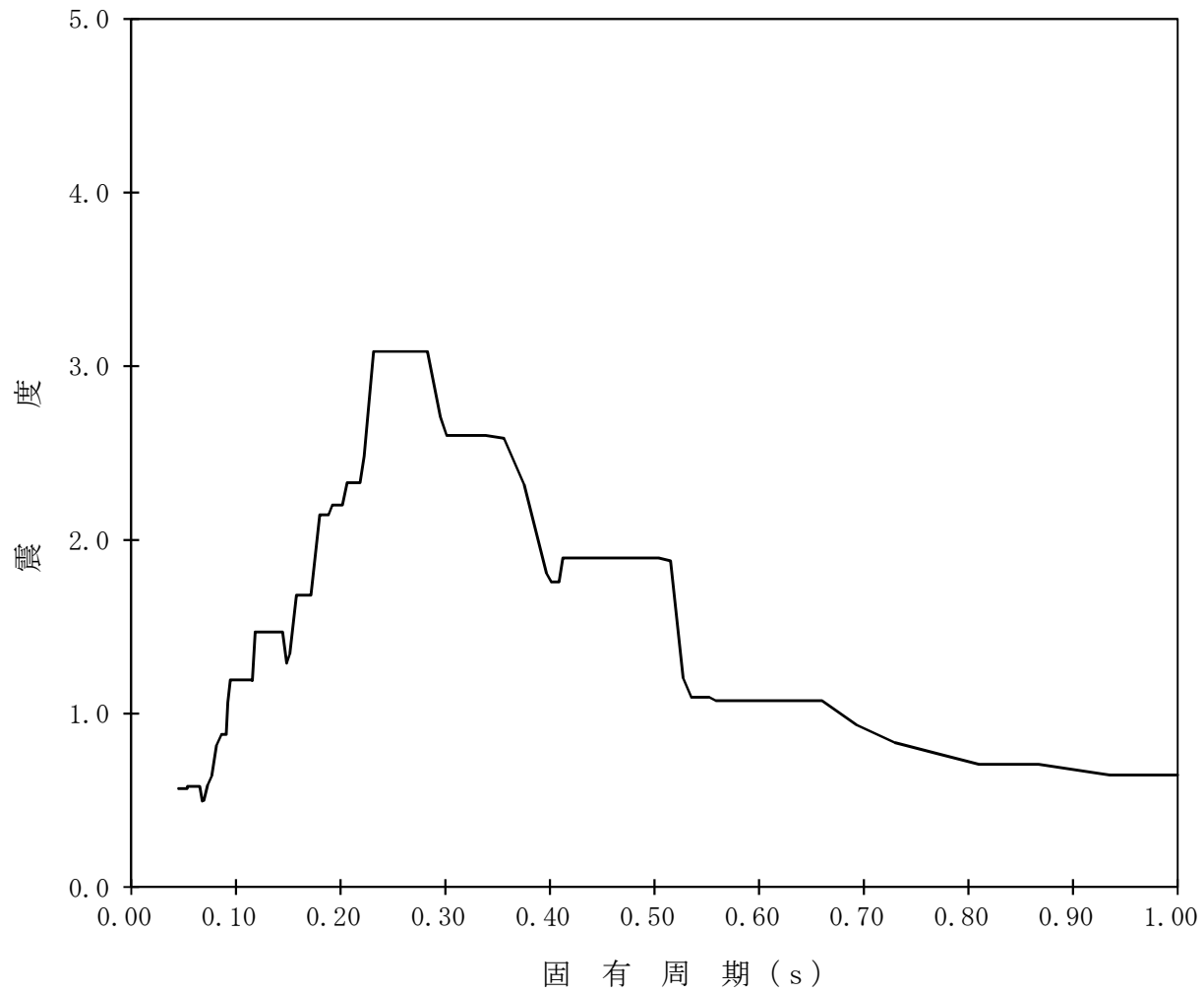


【K06-RB-SdV-RB138】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

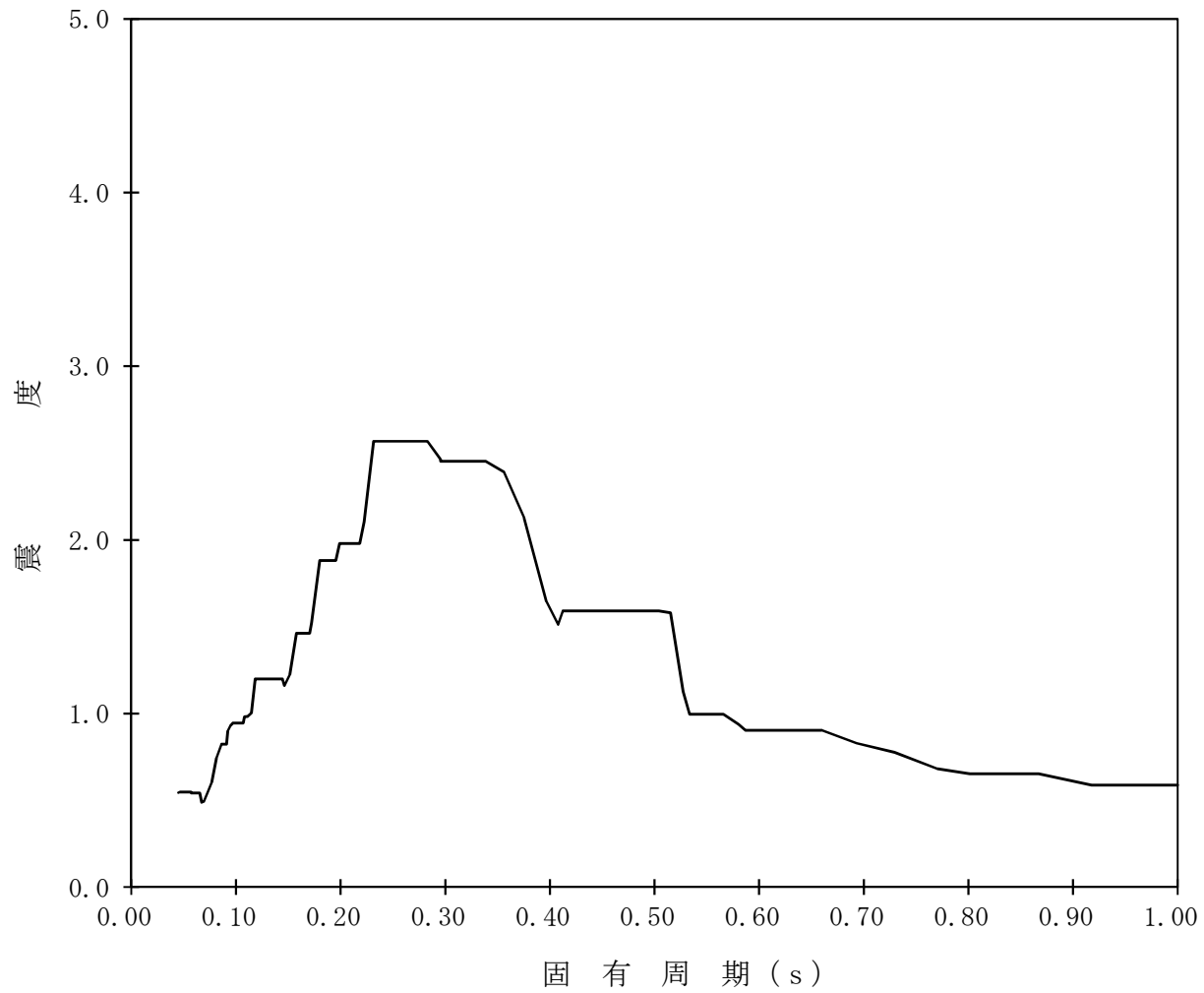


【K06-RB-SdV-RB139】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

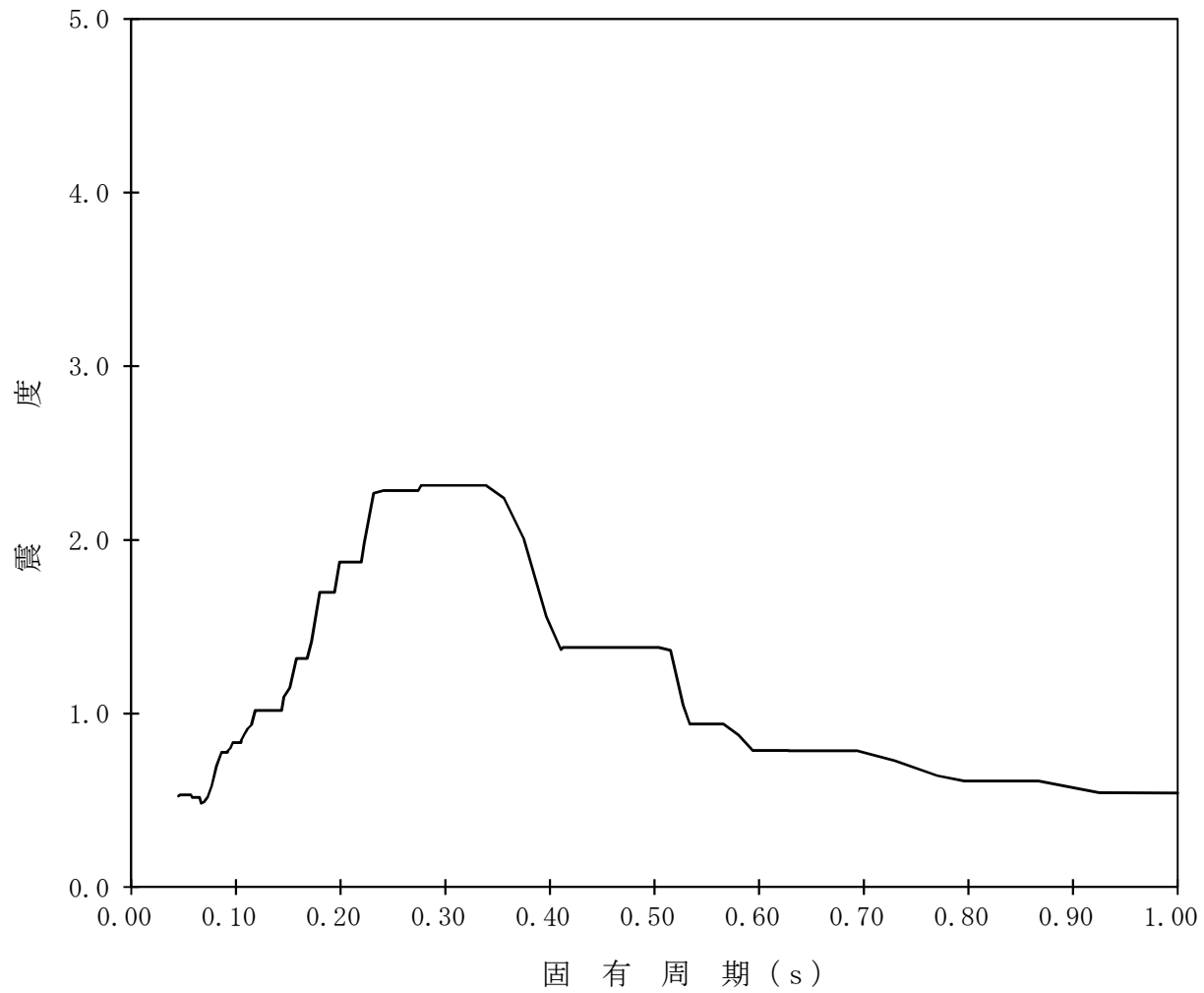


【K06-RB-SdV-RB140】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

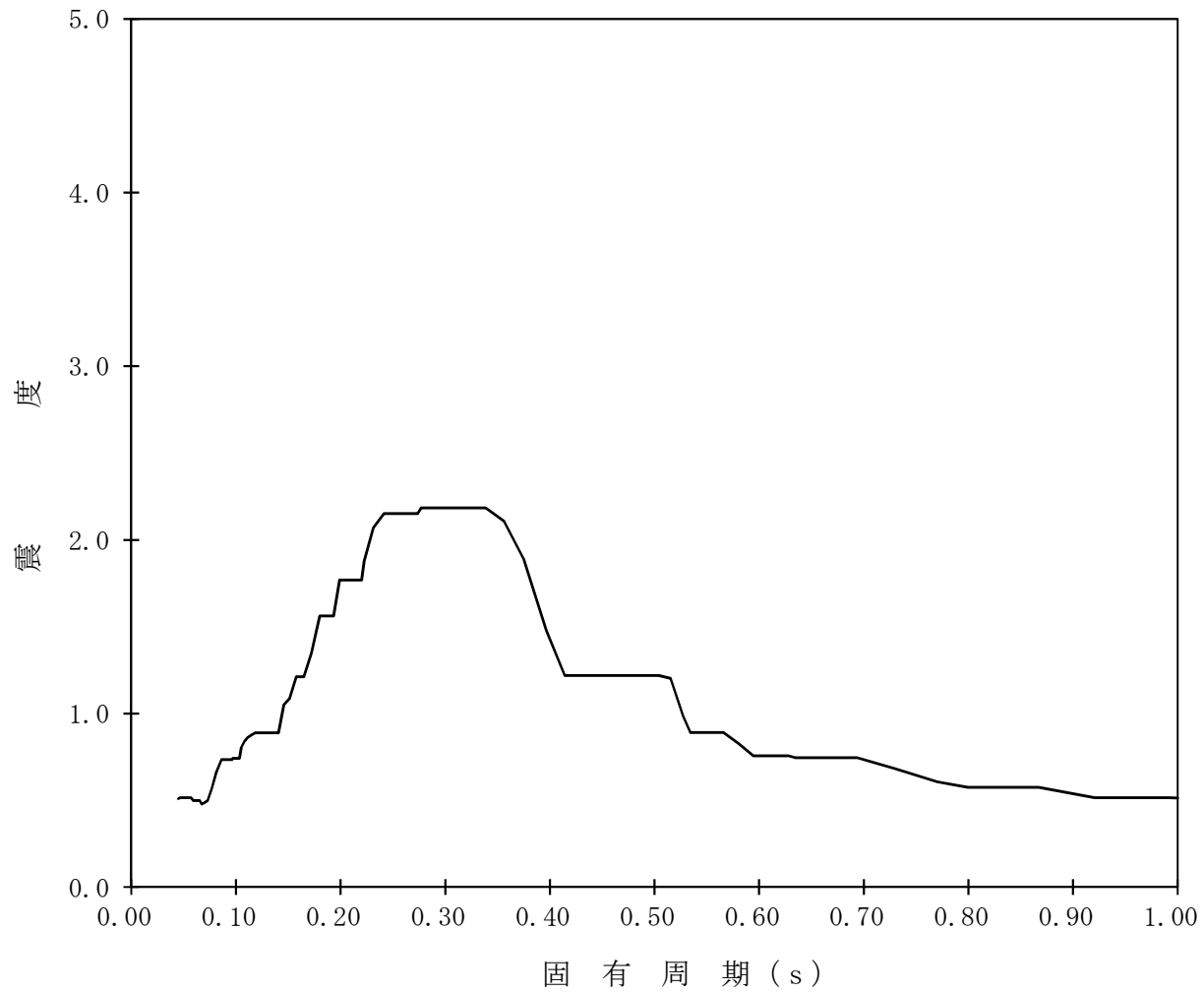


【K06-RB-SdV-RB141】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

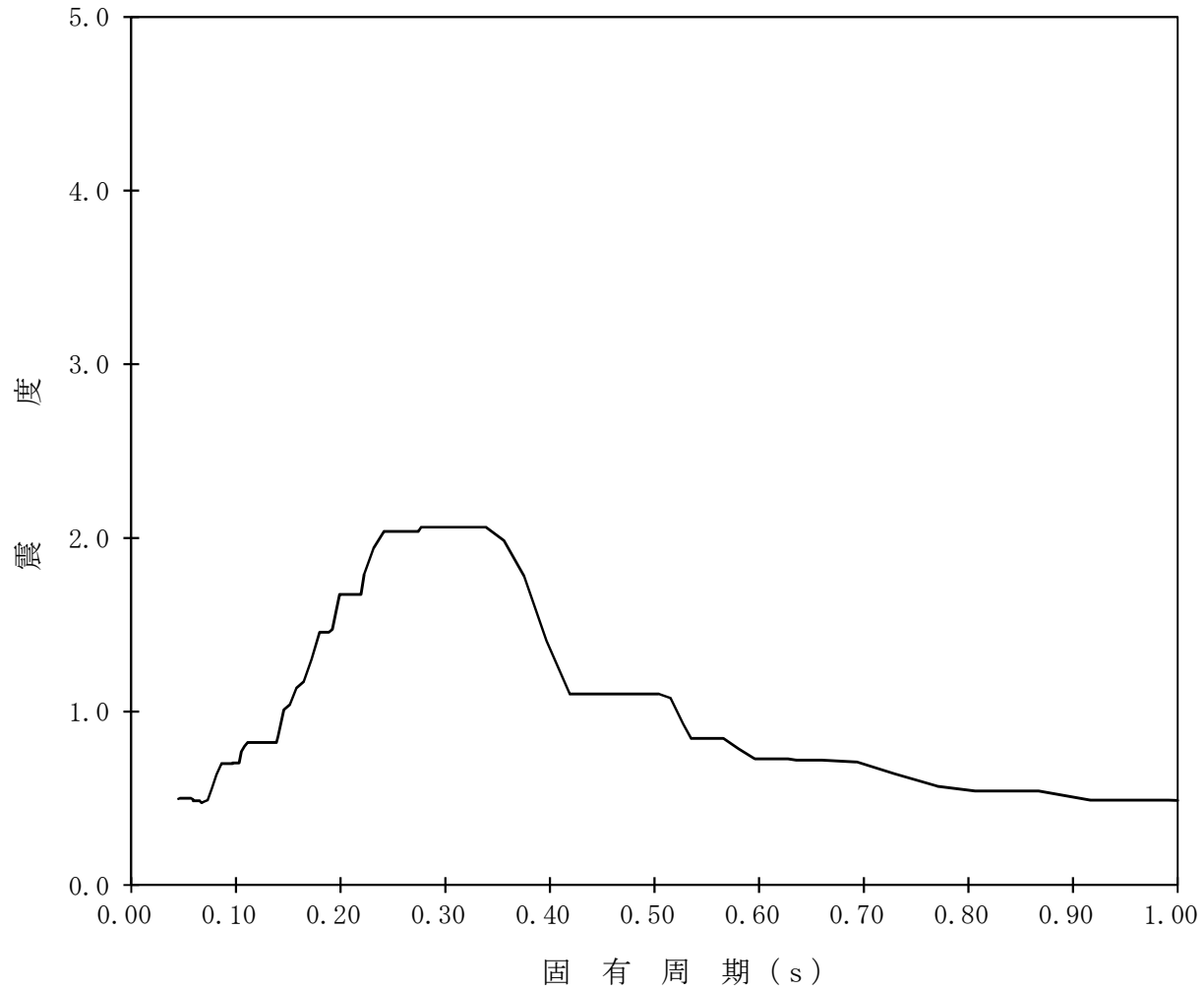


【K06-RB-SdV-RB142】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

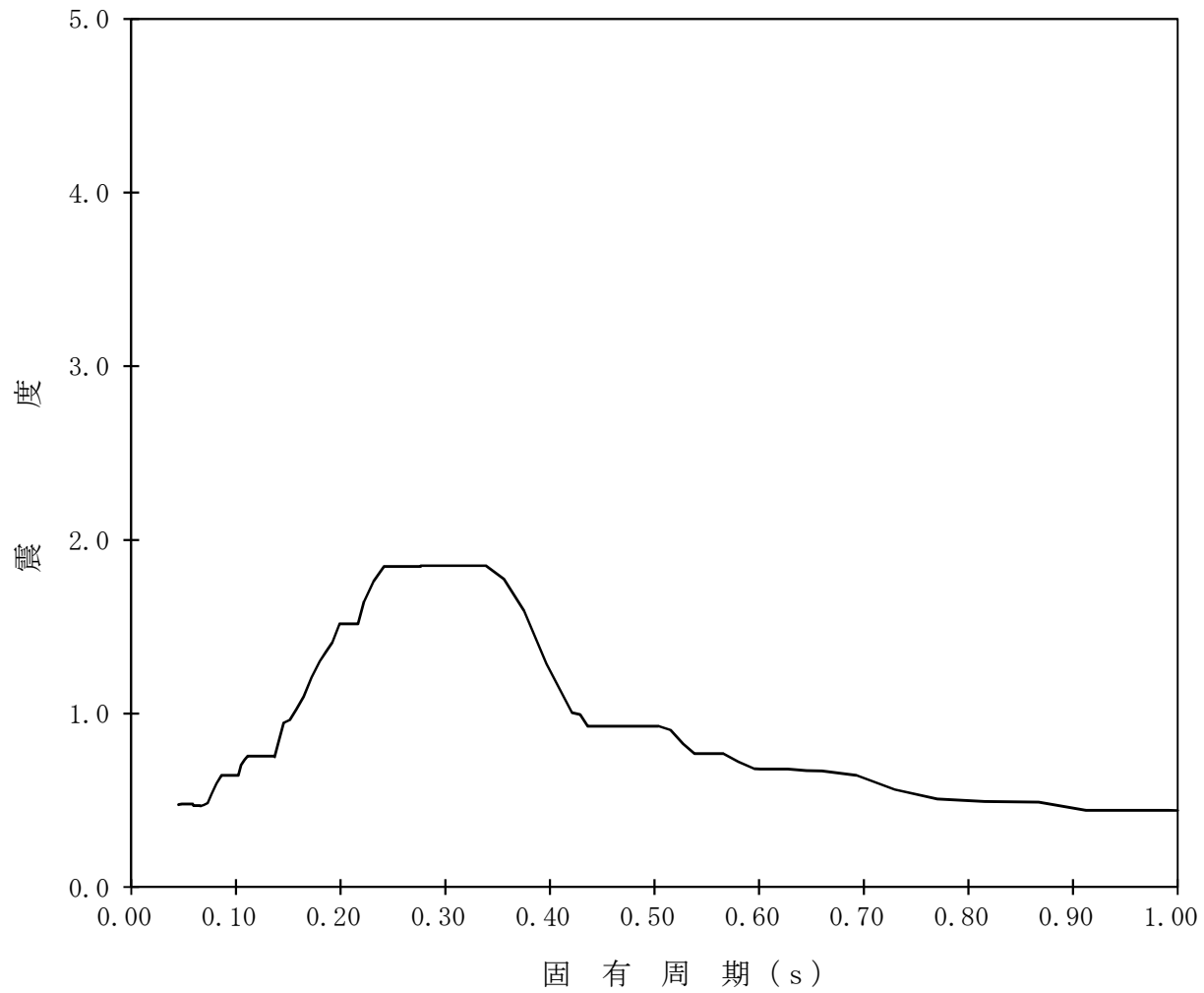


【K06-RB-SdV-RB143】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

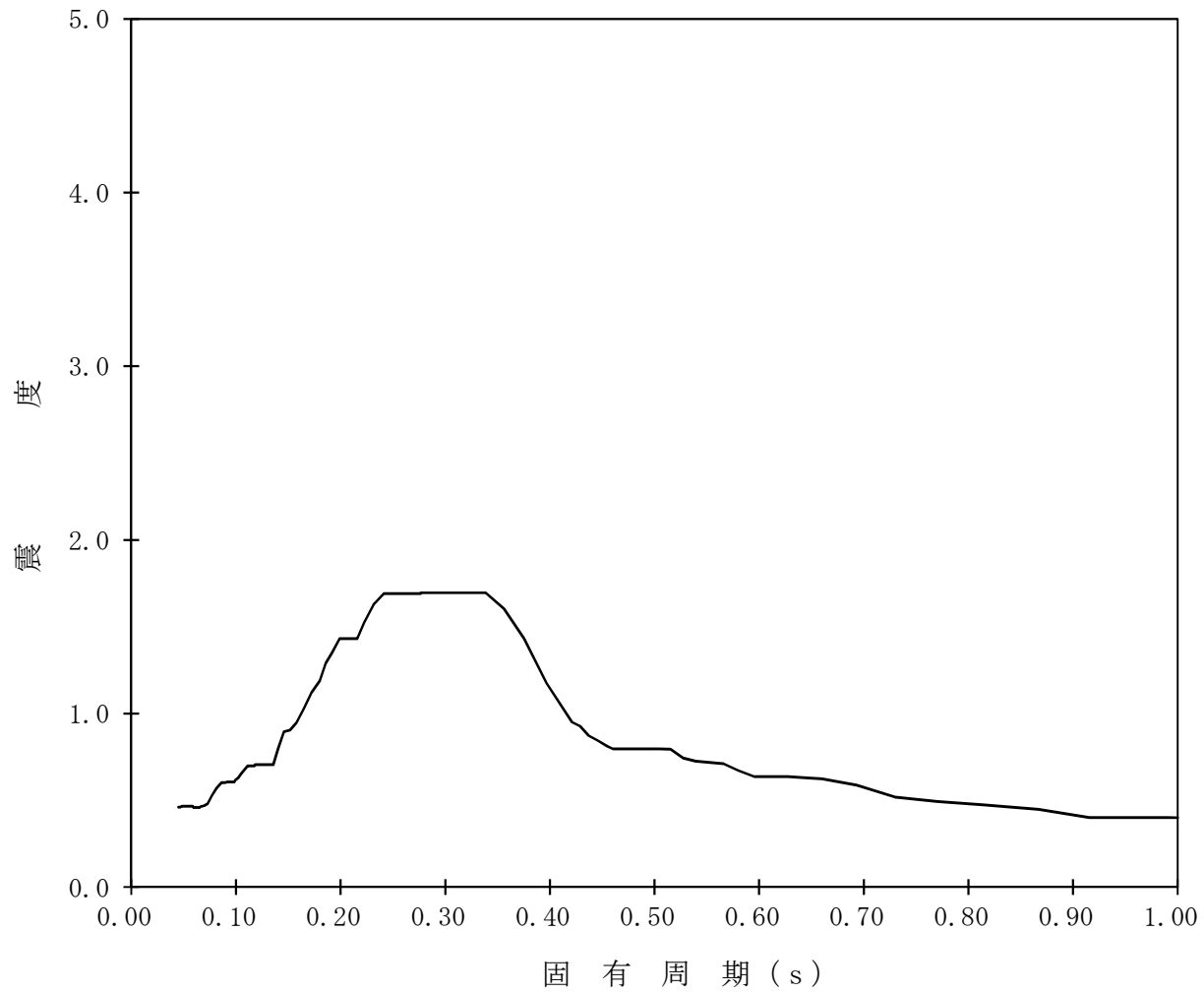


【K06-RB-SdV-RB144】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -1.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

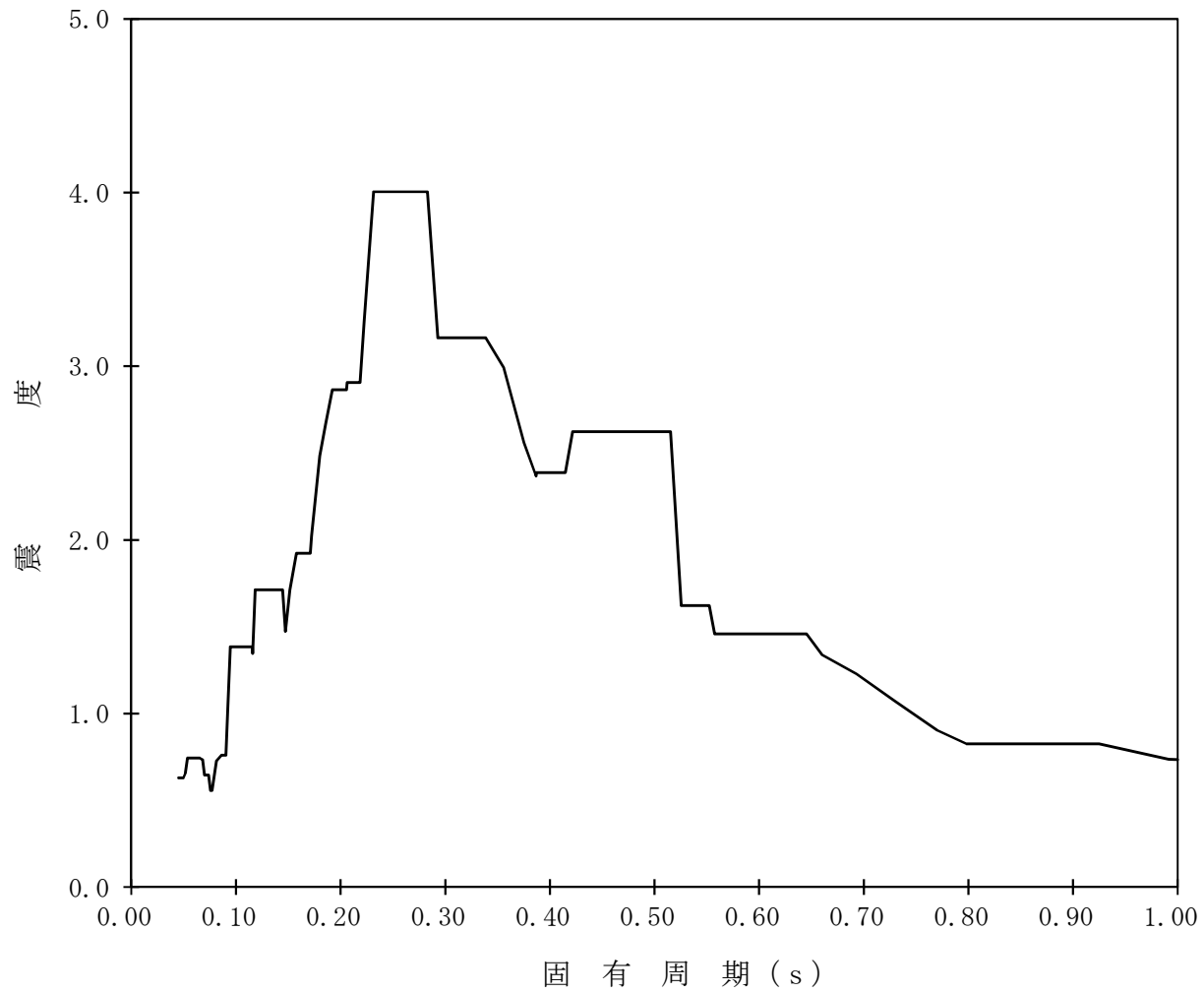


【K06-RB-SdV-RB145】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -8.200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

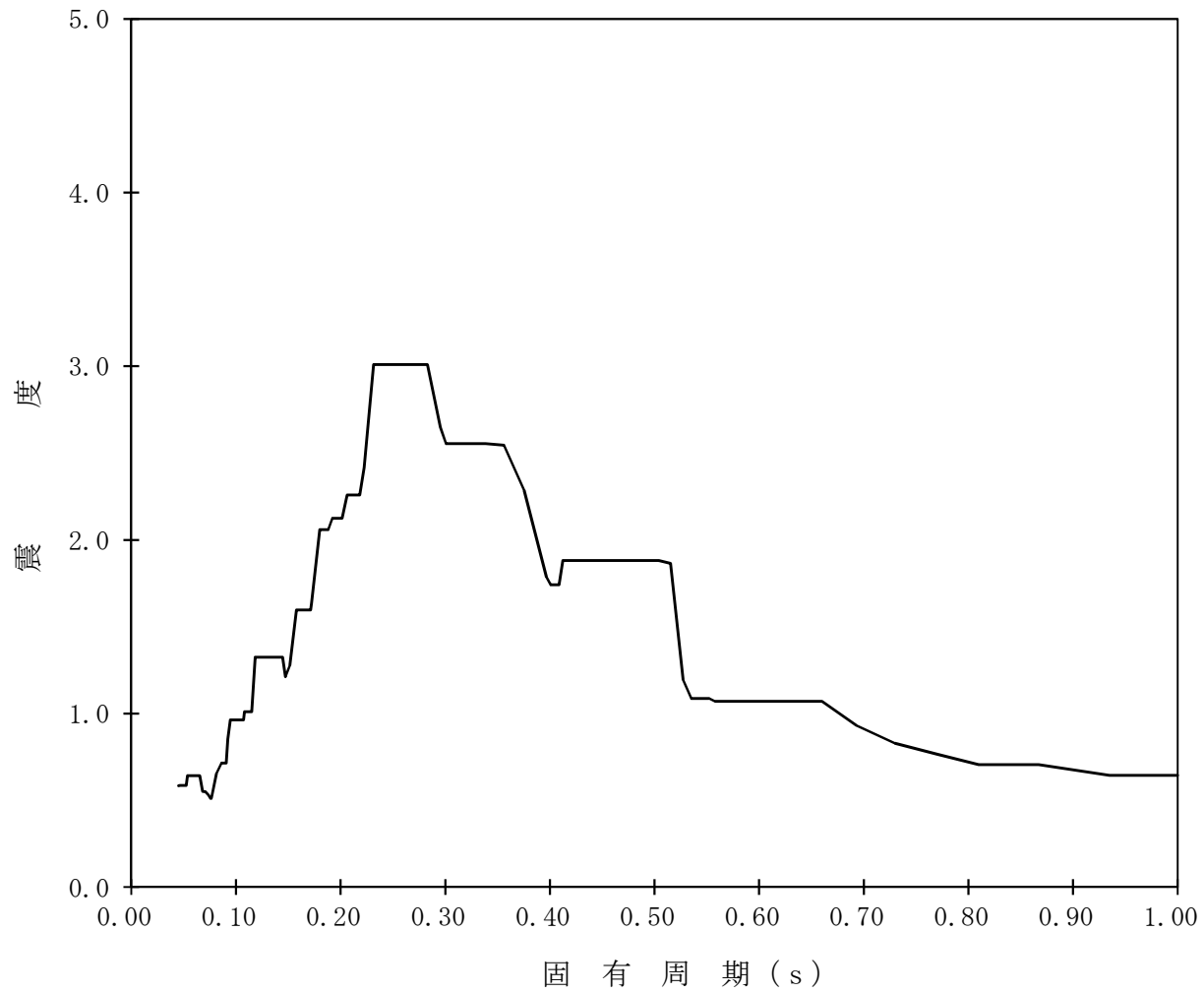


【K06-RB-SdV-RB146】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

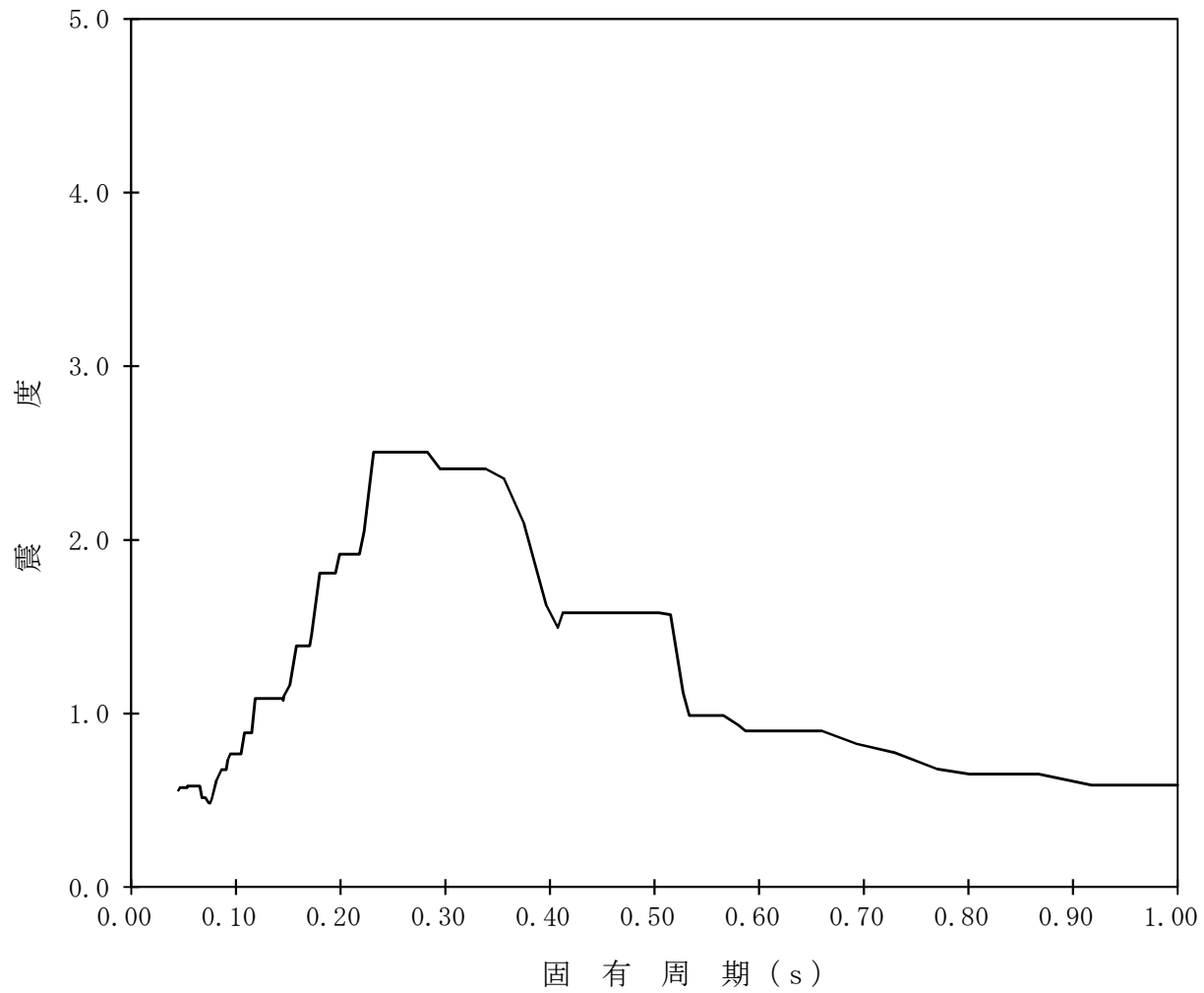


【K06-RB-SdV-RB147】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

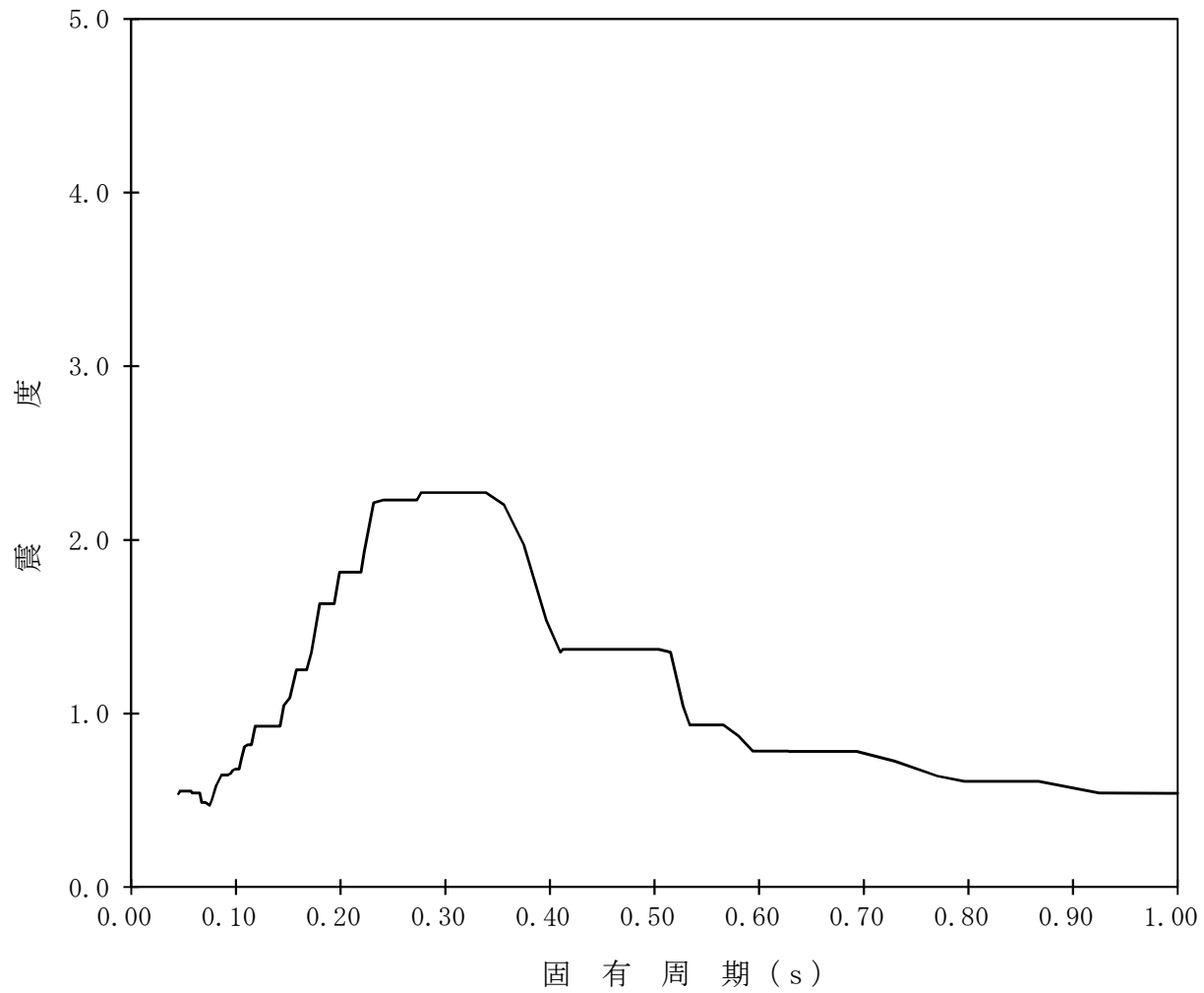


【K06-RB-SdV-RB148】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

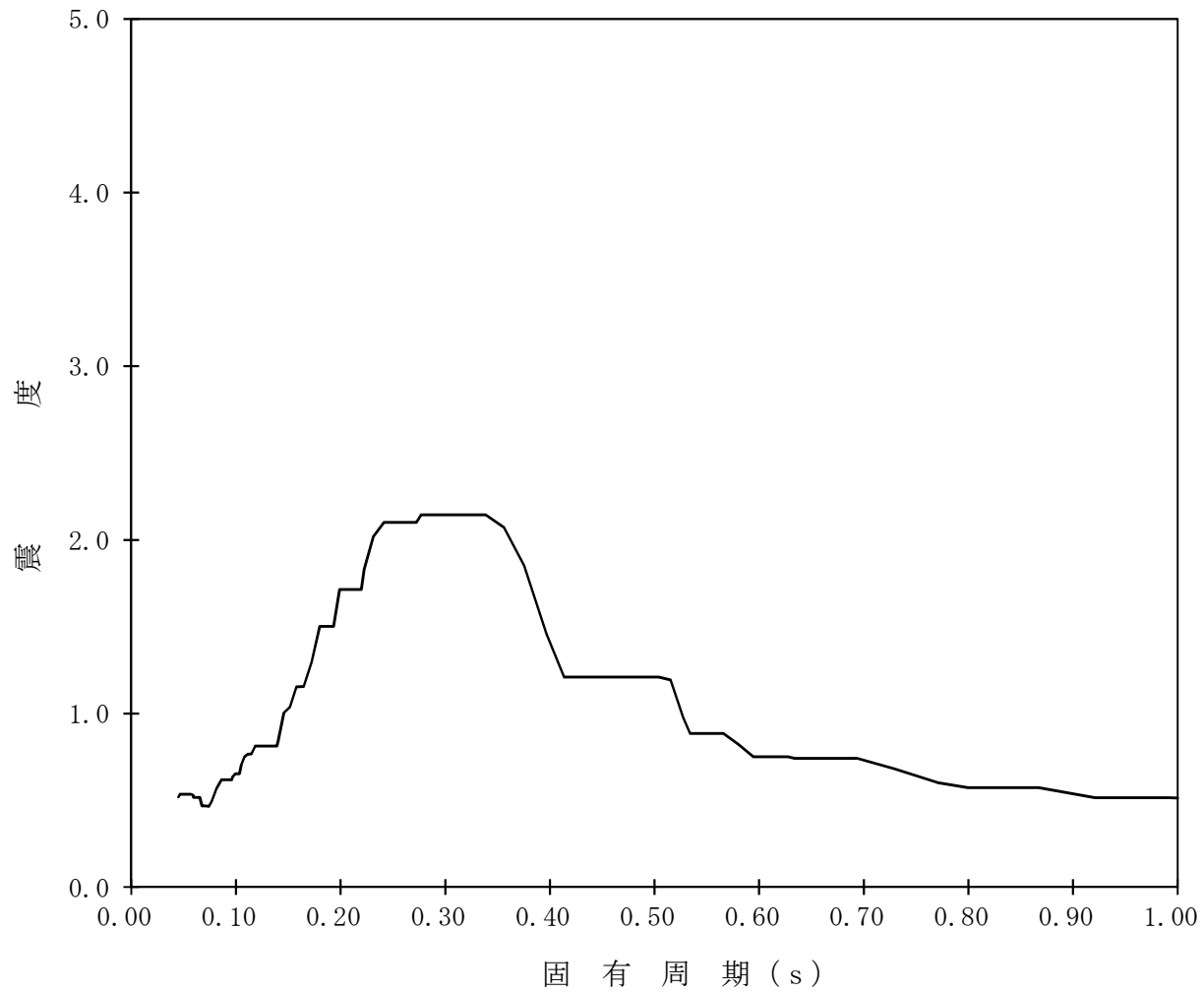


【K06-RB-SdV-RB149】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

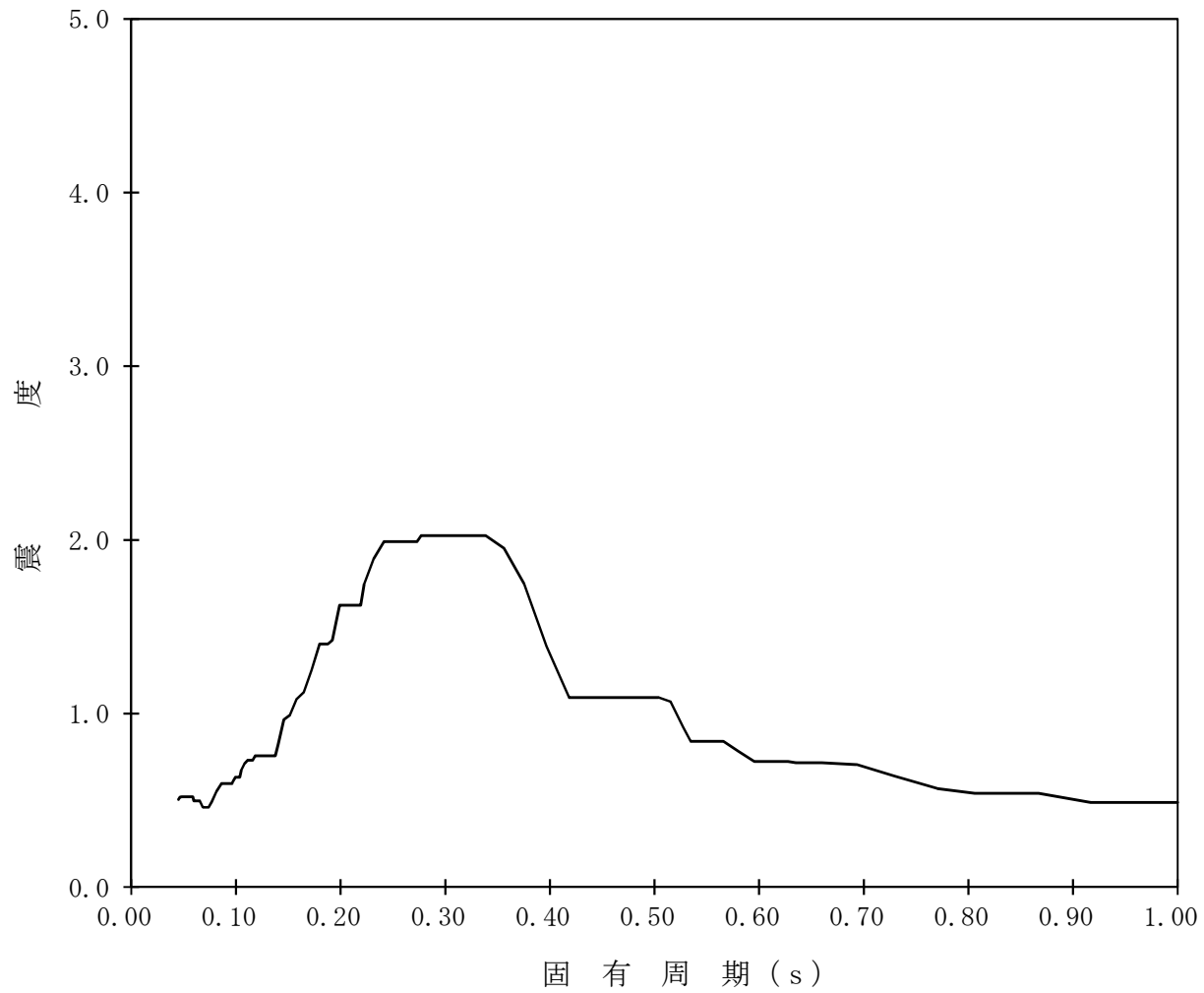


【K06-RB-SdV-RB150】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

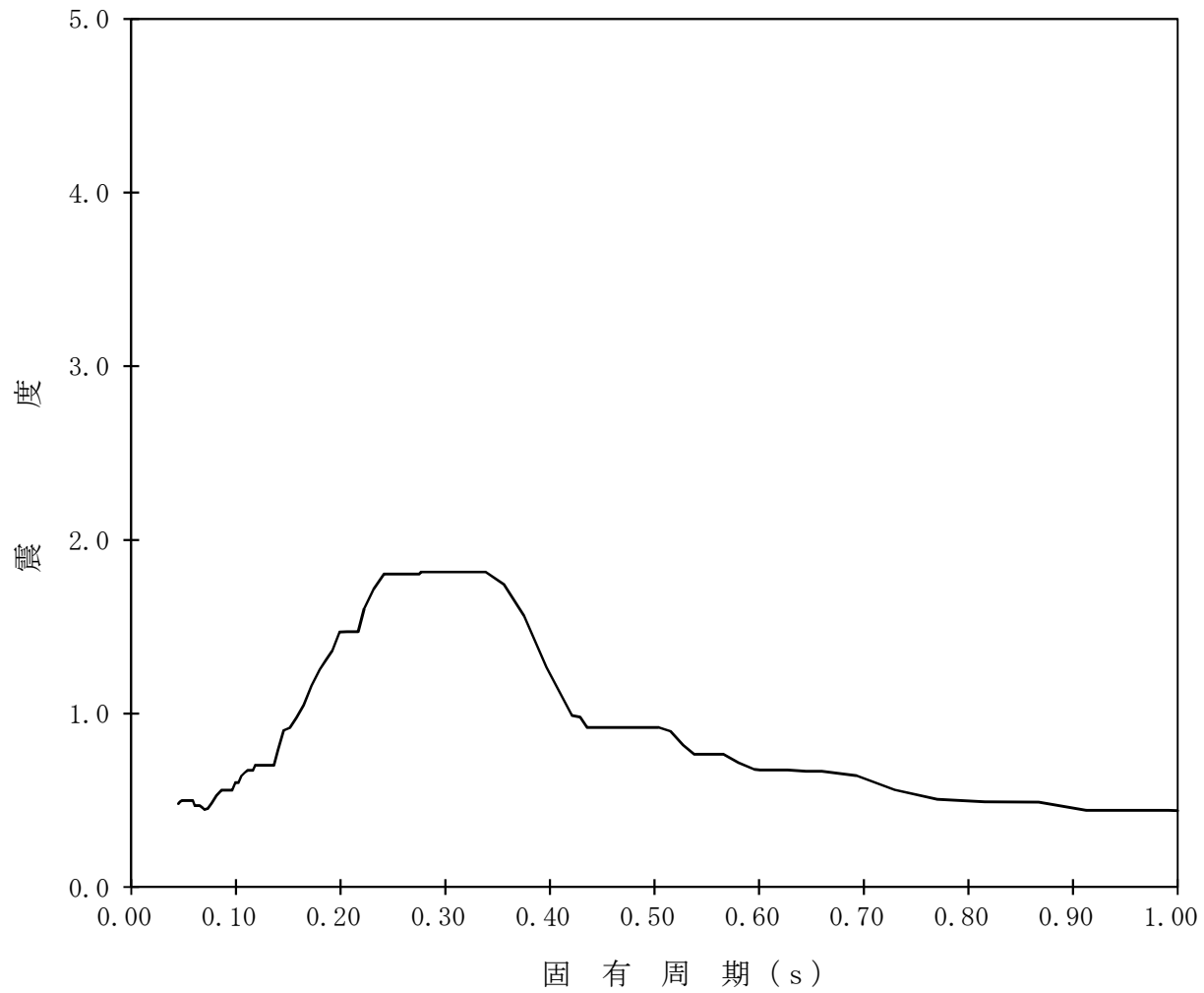


【K06-RB-SdV-RB151】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

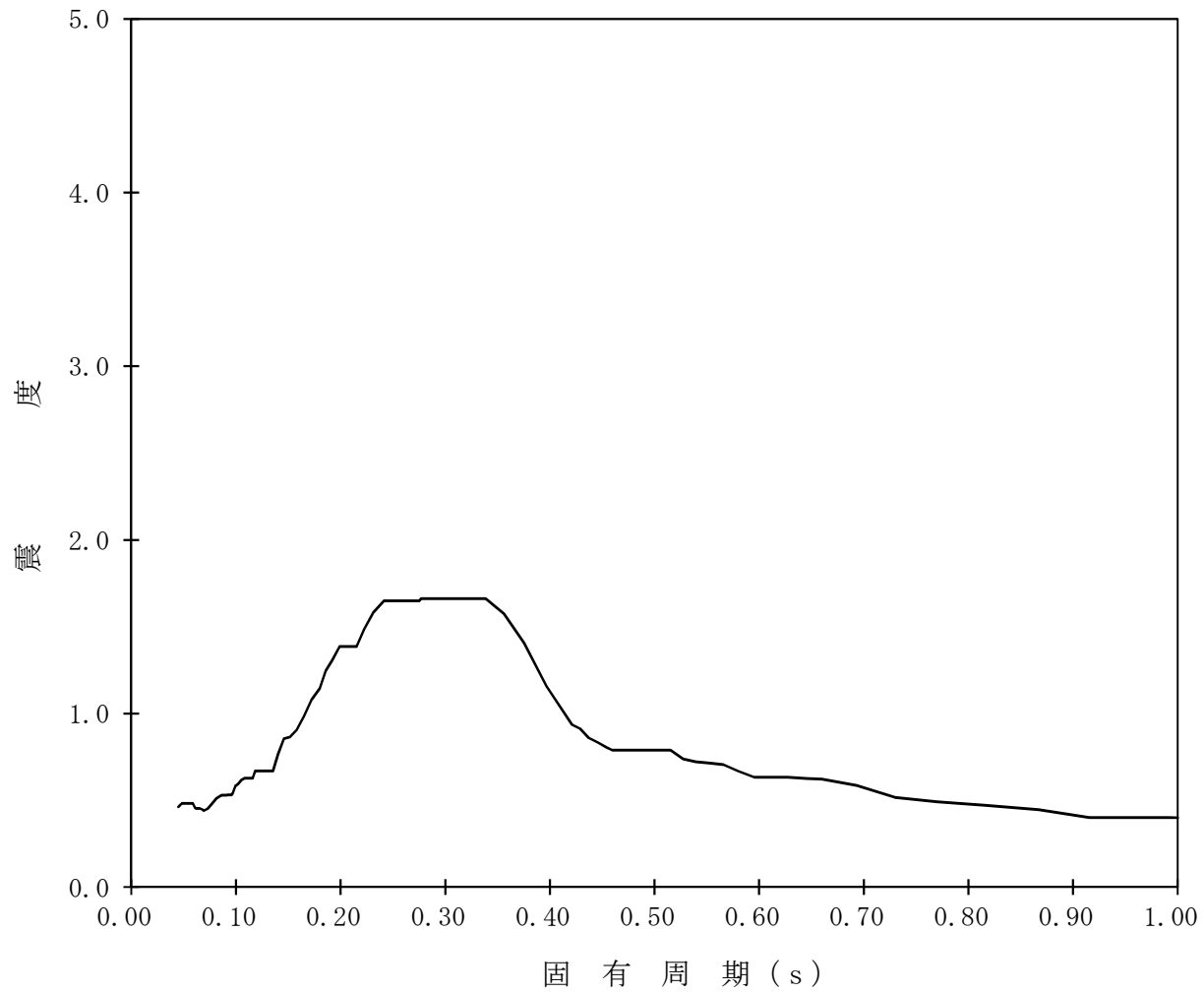


【K06-RB-SdV-RB152】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -8. 200m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

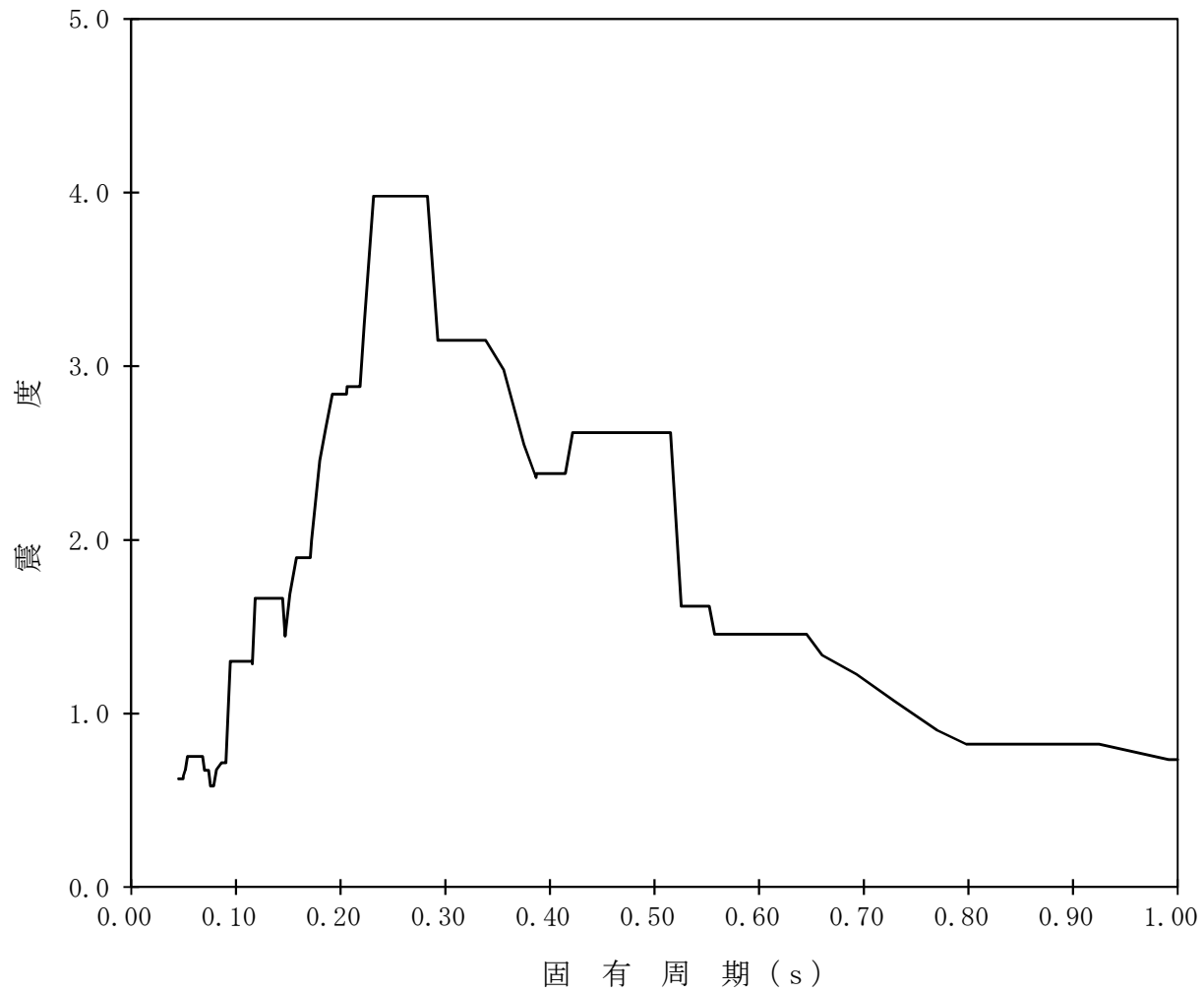


【K06-RB-SdV-RB153】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

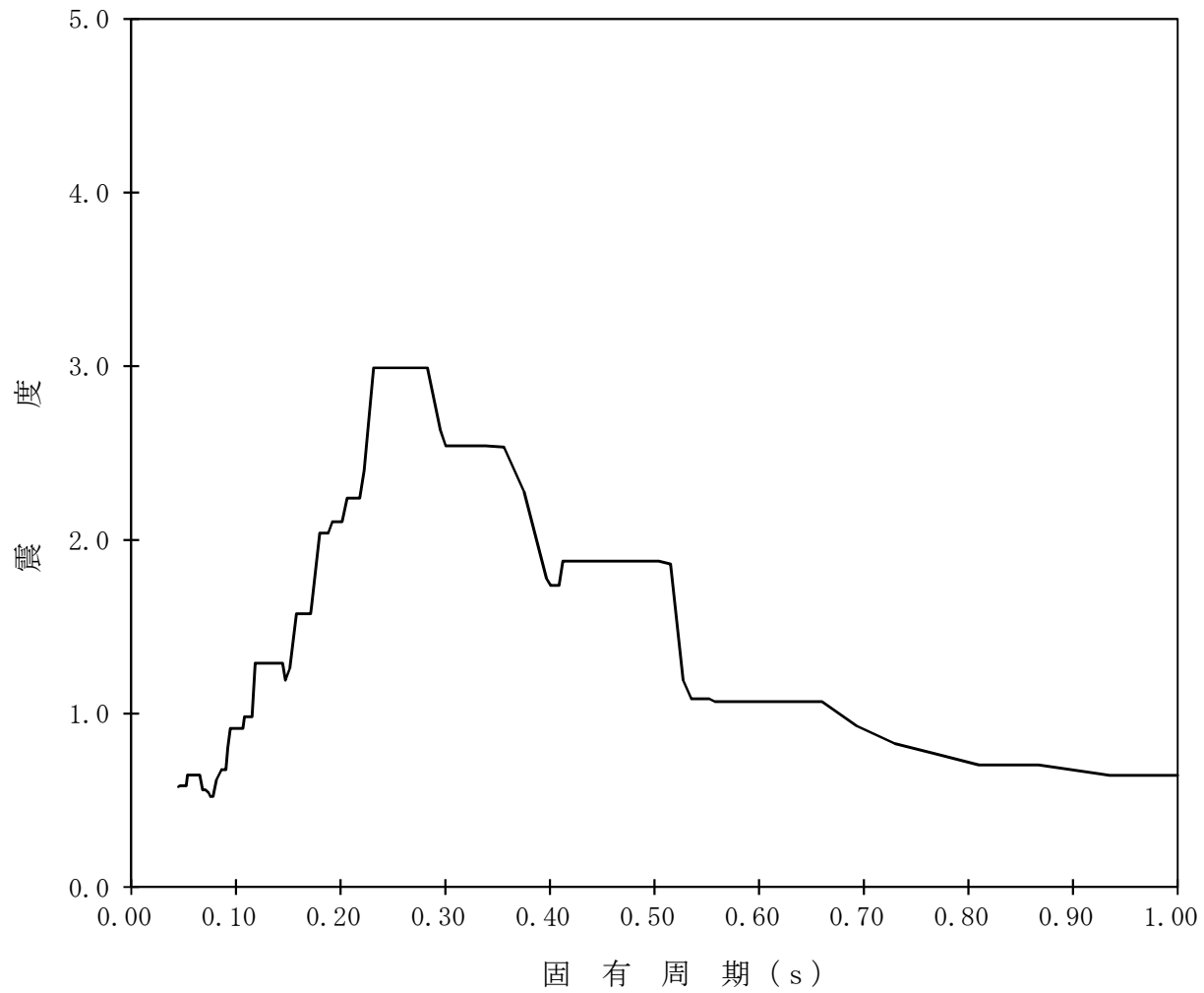


【K06-RB-SdV-RB154】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

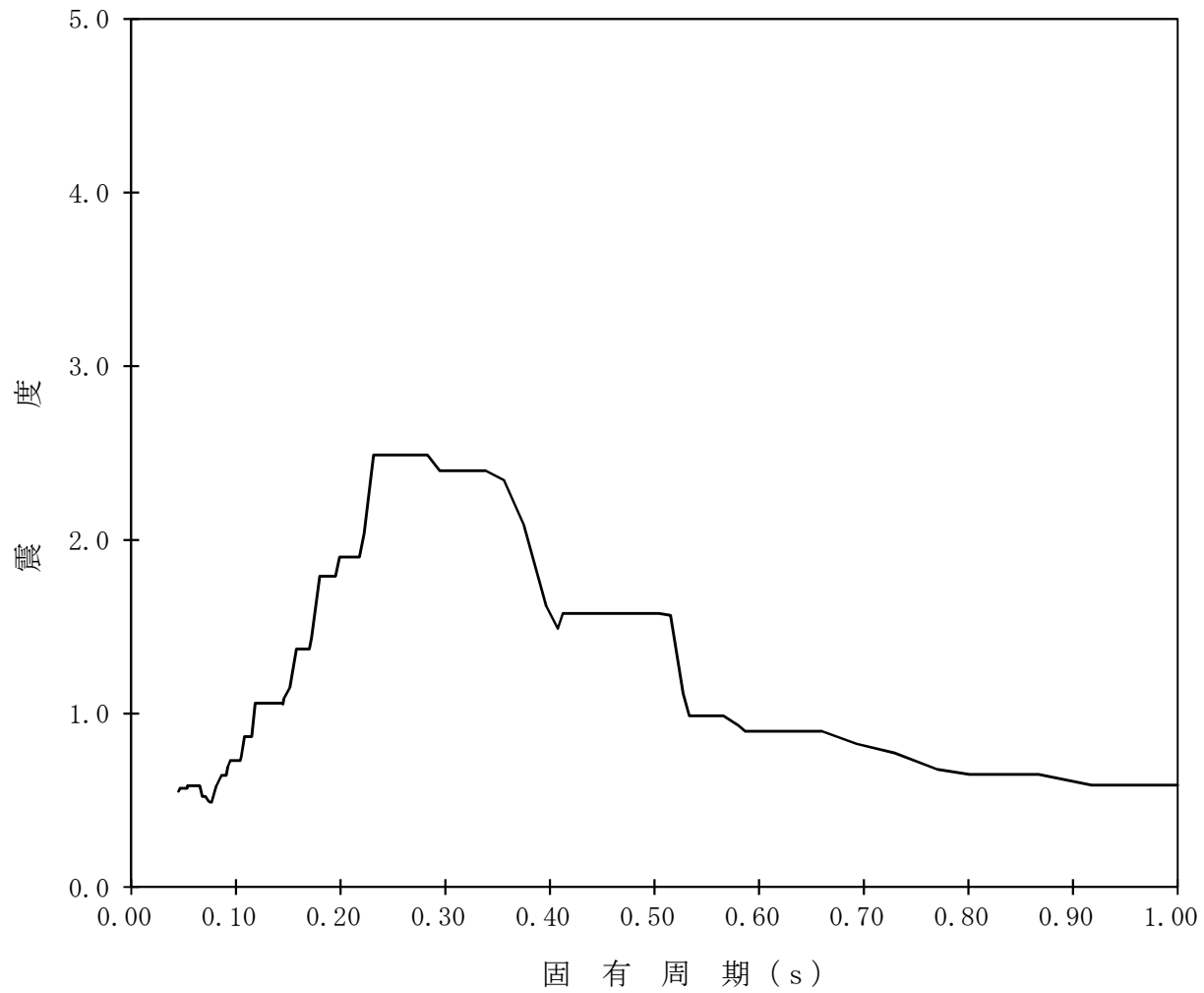


【K06-RB-SdV-RB155】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

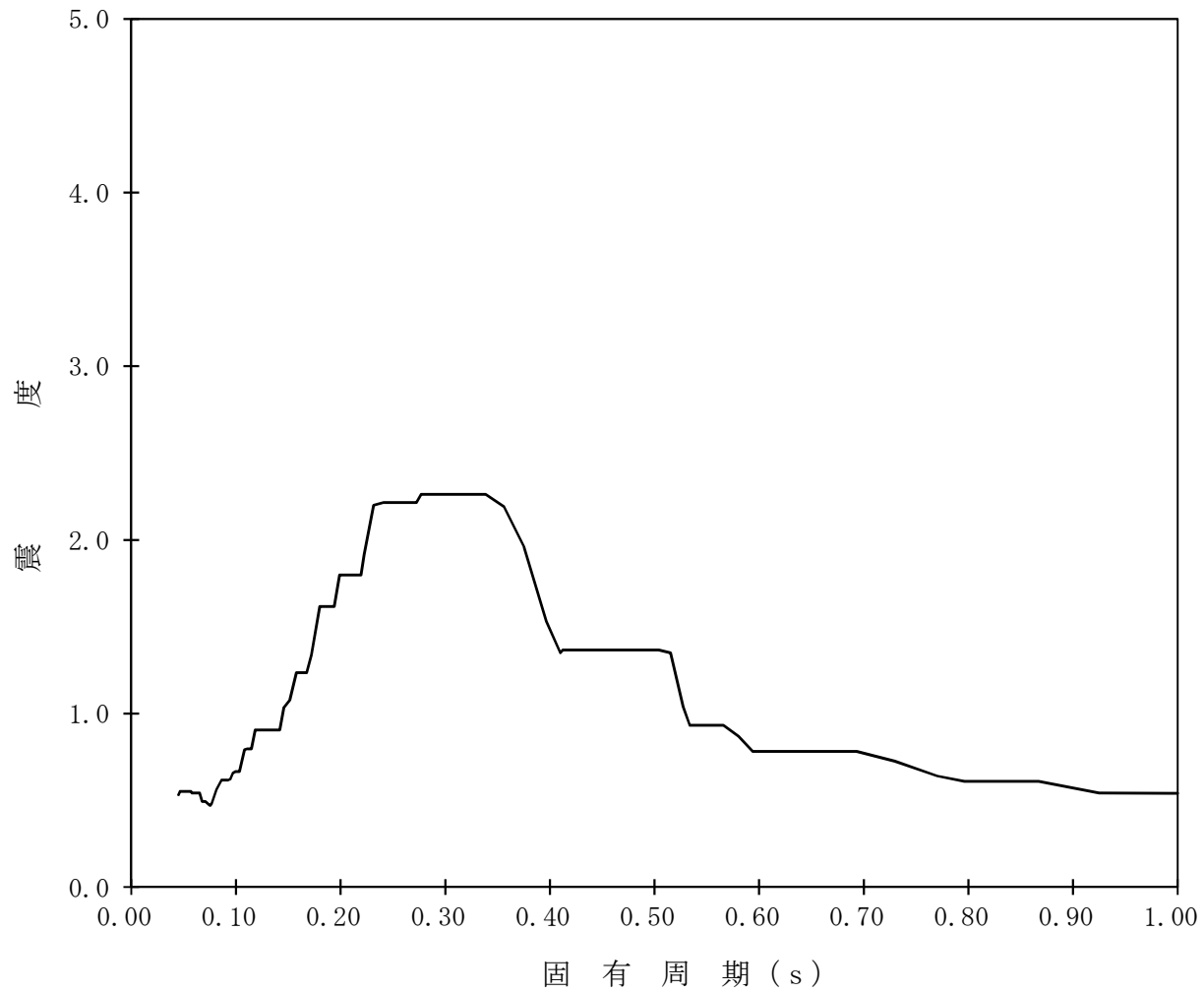


【K06-RB-SdV-RB156】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

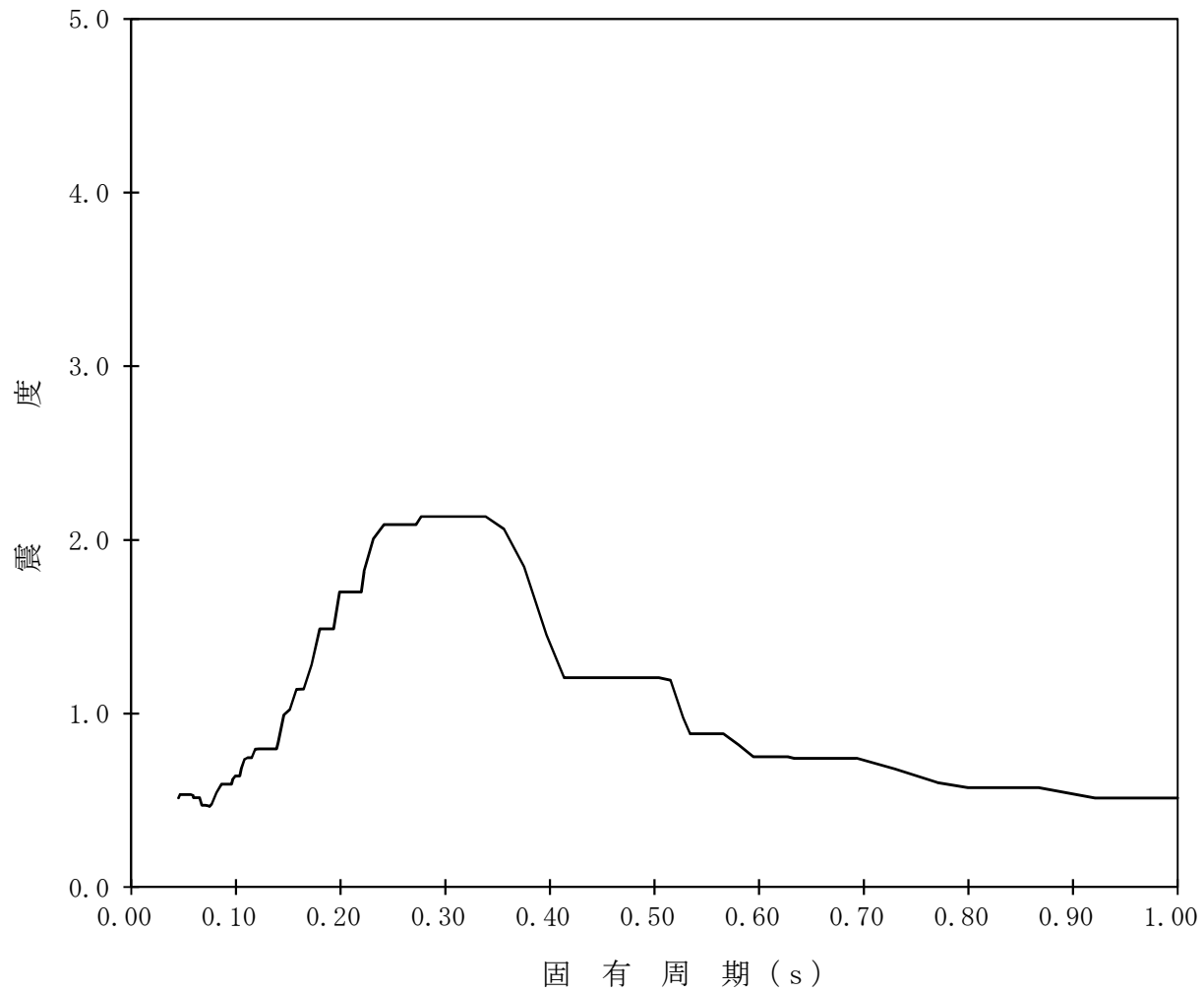


【K06-RB-SdV-RB157】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

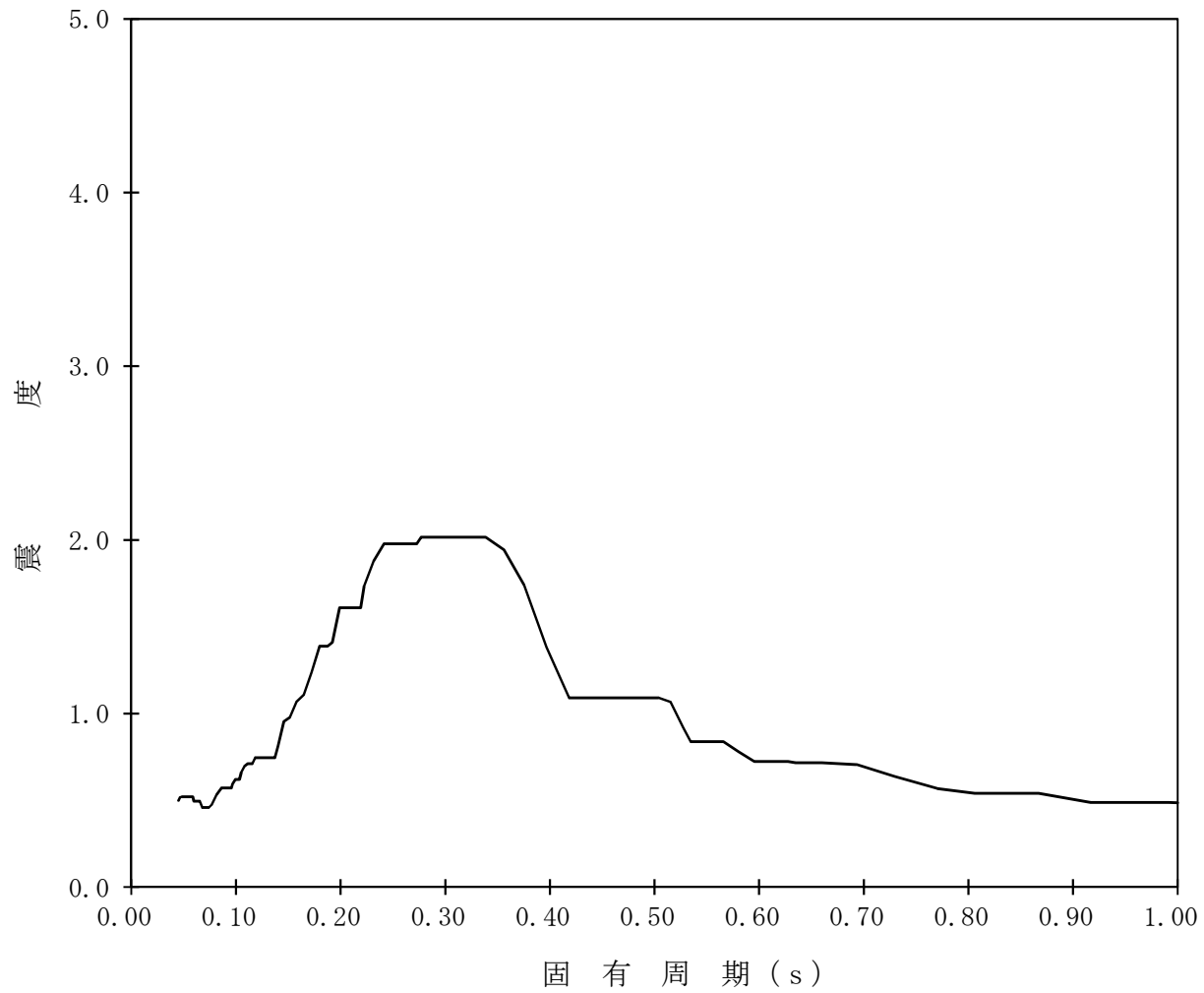


【K06-RB-SdV-RB158】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

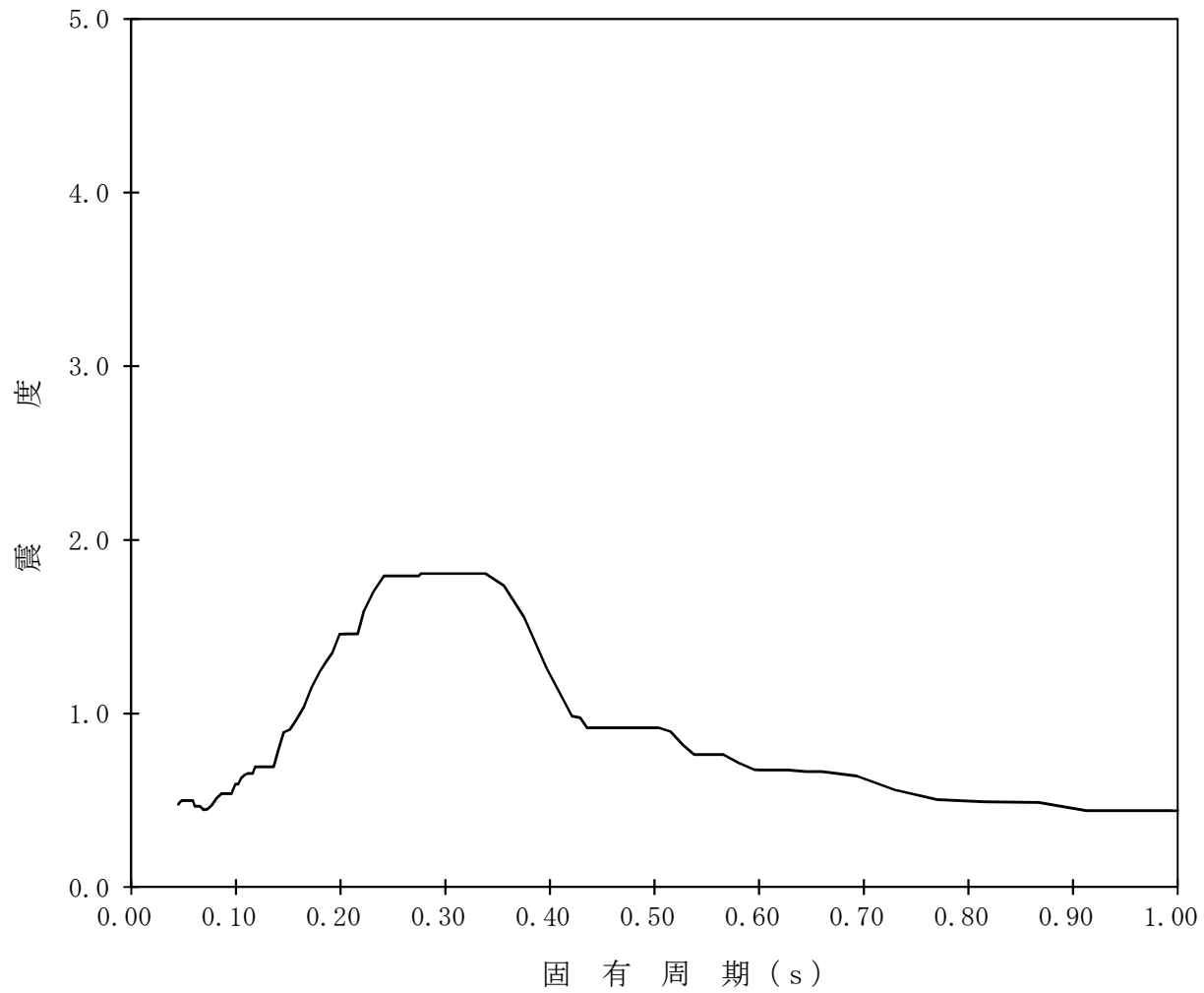


【K06-RB-SdV-RB159】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向



【K06-RB-SdV-RB160】

構造物名：原子炉建屋
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -13.700m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 鉛直方向

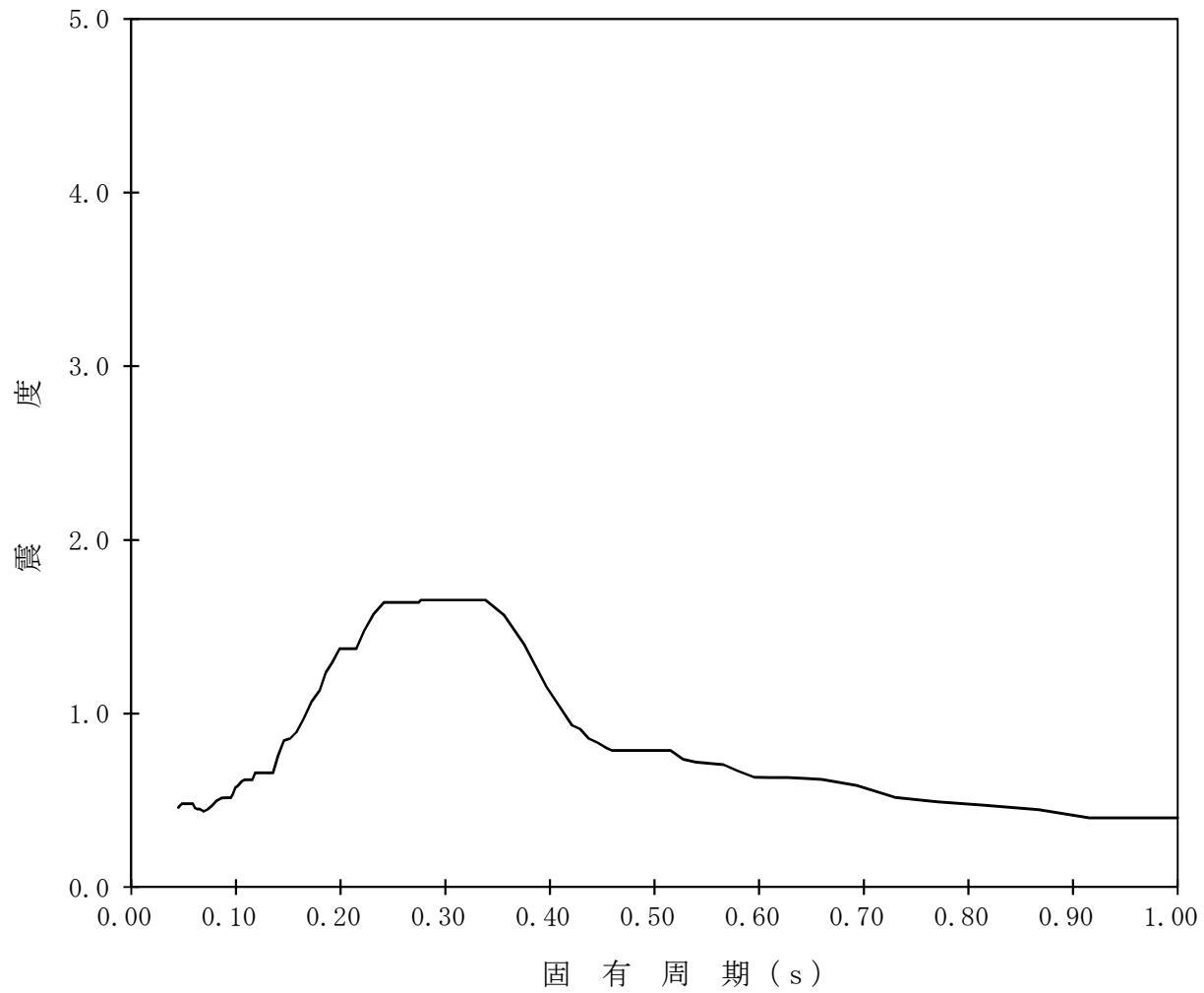


表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (1/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉遮蔽壁	水平方向	35	21.200	0.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 1
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 2
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 3
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 4
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 5
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 6
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 7
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 8
			34	19.138	0.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 9
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 10
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 11
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 12
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 13
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 14
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 15
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 16
			33	18.440	0.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 17
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 18
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 19
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 20
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 21
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 22
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 23
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 24
			32	18.100	0.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 25
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 26
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 27
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 28
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 29
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 30
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 31
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 32
			31	16.850	0.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 33
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 34
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 35
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 36
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 37
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 38
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 39
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 40
			30	15.600	0.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 41
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 42
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 43
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 44
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 45
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 46
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 47
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 48

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (2/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉遮蔽壁	水平方向	29	13.950	0.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 49
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 50
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 51
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 52
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RSW 53
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 54
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 55
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RSW 56
	原子炉本体基礎		28	12.300	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 57
					1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 58
					1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 59
					2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 60
					2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 61
					3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 62
					4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 63
					5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 64
			27	8.200	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 65
					1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 66
					1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 67
					2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 68
					2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 69
					3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 70
					4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 71
					5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 72
			26	7.000	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 73
					1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 74
					1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 75
					2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 76
					2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 77
					3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 78
					4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 79
					5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 80
	25		4.500	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 81	
				1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 82	
				1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 83	
				2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 84	
				2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 85	
				3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 86	
				4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 87	
				5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 88	
	24		3.500	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 89	
				1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 90	
				1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 91	
				2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 92	
				2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 93	
				3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 94	
				4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 95	
				5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 96	

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (3/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉本体基礎	水平方向	23	1.700	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 97
					1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 98
					1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 99
					2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 100
					2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 101
					3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 102
					4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 103
					5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 104
			22	-0.180	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 105
					1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 106
					1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 107
					2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 108
					2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 109
					3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 110
					4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 111
					5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 112
			21	-2.100	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 113
					1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 114
					1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 115
					2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 116
					2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 117
					3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 118
					4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 119
					5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 120
			20	-3.100	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 121
					1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 122
					1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 123
					2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 124
	2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 125				
	3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 126				
	4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 127				
	5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 128				
	19	-4.700	0.5	K06 - RCCV - SdH - PED 129		
			1.0	K06 - RCCV - SdH - PED 130		
			1.5	K06 - RCCV - SdH - PED 131		
			2.0	K06 - RCCV - SdH - PED 132		
			2.5	K06 - RCCV - SdH - PED 133		
			3.0	K06 - RCCV - SdH - PED 134		
			4.0	K06 - RCCV - SdH - PED 135		
			5.0	K06 - RCCV - SdH - PED 136		
	原子炉圧力容器	44	26.013	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 137	
				1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 138	
				1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 139	
				2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 140	
2.5				K06 - RCCV - SdH - RPV 141		
3.0				K06 - RCCV - SdH - RPV 142		
4.0				K06 - RCCV - SdH - RPV 143		
5.0				K06 - RCCV - SdH - RPV 144		

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (4/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉压力容器	水平方向	43	22.653	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 145
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 146
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 147
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 148
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 149
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 150
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 151
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 152
			42	20.494	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 153
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 154
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 155
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 156
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 157
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 158
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 159
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 160
			41	18.716	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 161
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 162
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 163
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 164
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 165
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 166
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 167
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 168
			40	16.506	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 169
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 170
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 171
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 172
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 173
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 174
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 175
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 176
			39	12.270	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 177
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 178
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 179
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 180
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 181
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 182
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 183
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 184
			38	9.439	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 185
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 186
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 187
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 188
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 189
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 190
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 191
					5.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 192

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (5/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉圧力容器	水平方向	37	6.056	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 193
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 194
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 195
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 196
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 197
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 198
					4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 199
			5.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 200		
			36	4.950	0.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 201
					1.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 202
					1.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 203
					2.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 204
					2.5	K06 - RCCV - SdH - RPV 205
					3.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 206
	4.0	K06 - RCCV - SdH - RPV 207				
	原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	18	27.940	0.5	K06 - RCCV - SdH - PCV 209	
				1.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 210	
				1.5	K06 - RCCV - SdH - PCV 211	
				2.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 212	
				2.5	K06 - RCCV - SdH - PCV 213	
				3.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 214	
				4.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 215	
		5.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 216			
		17	25.365	0.5	K06 - RCCV - SdH - PCV 217	
				1.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 218	
				1.5	K06 - RCCV - SdH - PCV 219	
				2.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 220	
				2.5	K06 - RCCV - SdH - PCV 221	
				3.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 222	
	4.0			K06 - RCCV - SdH - PCV 223		
	16	24.400	0.5	K06 - RCCV - SdH - PCV 224		
			1.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 225		
1.5			K06 - RCCV - SdH - PCV 226			
2.0			K06 - RCCV - SdH - PCV 227			
2.5			K06 - RCCV - SdH - PCV 228			
3.0			K06 - RCCV - SdH - PCV 229			
4.0			K06 - RCCV - SdH - PCV 230			
5.0	K06 - RCCV - SdH - PCV 231					
						K06 - RCCV - SdH - PCV 232

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (6/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉遮蔽壁	鉛直方向	18	21.200	0.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 1
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 2
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 3
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 4
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 5
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 6
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 7
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 8
			17	19.138	0.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 9
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 10
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 11
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 12
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 13
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 14
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 15
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 16
			16	18.440	0.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 17
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 18
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 19
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 20
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 21
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 22
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 23
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 24
			15	18.100	0.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 25
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 26
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 27
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 28
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 29
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 30
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 31
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 32
			14	16.850	0.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 33
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 34
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 35
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 36
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 37
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 38
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 39
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 40
			13	15.600	0.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 41
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 42
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 43
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 44
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 45
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 46
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 47
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 48

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (7/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉遮蔽壁	鉛直方向	12	13.950	0.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 49
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 50
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 51
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 52
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RSW 53
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 54
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 55
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RSW 56
	原子炉本体基礎		11	12.300	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 57
					1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 58
					1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 59
					2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 60
					2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 61
					3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 62
					4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 63
					5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 64
			10	8.200	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 65
					1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 66
					1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 67
					2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 68
					2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 69
					3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 70
					4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 71
					5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 72
			9	7.000	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 73
					1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 74
					1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 75
					2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 76
					2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 77
					3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 78
					4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 79
					5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 80
	8		4.500	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 81	
				1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 82	
				1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 83	
				2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 84	
				2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 85	
				3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 86	
				4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 87	
				5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 88	
	7		3.500	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 89	
				1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 90	
				1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 91	
				2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 92	
				2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 93	
				3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 94	
				4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 95	
				5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 96	

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (8/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉本体基礎	鉛直方向	6	1.700	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 97
					1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 98
					1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 99
					2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 100
					2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 101
					3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 102
					4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 103
					5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 104
			5	-0.180	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 105
					1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 106
					1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 107
					2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 108
					2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 109
					3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 110
					4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 111
					5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 112
			4	-2.100	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 113
					1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 114
					1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 115
					2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 116
					2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 117
					3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 118
					4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 119
					5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 120
	3	-3.100	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 121		
			1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 122		
			1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 123		
			2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 124		
			2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 125		
			3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 126		
			4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 127		
			5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 128		
	2	-4.700	0.5	K06 - RCCV - SdV - PED 129		
			1.0	K06 - RCCV - SdV - PED 130		
			1.5	K06 - RCCV - SdV - PED 131		
			2.0	K06 - RCCV - SdV - PED 132		
			2.5	K06 - RCCV - SdV - PED 133		
			3.0	K06 - RCCV - SdV - PED 134		
			4.0	K06 - RCCV - SdV - PED 135		
			5.0	K06 - RCCV - SdV - PED 136		
	原子炉圧力容器	27	26.013	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 137	
				1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 138	
				1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 139	
				2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 140	
2.5				K06 - RCCV - SdV - RPV 141		
3.0				K06 - RCCV - SdV - RPV 142		
4.0				K06 - RCCV - SdV - RPV 143		
5.0				K06 - RCCV - SdV - RPV 144		

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (9/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数(%)	図番
S d	原子炉压力容器	鉛直方向	26	22.653	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 145
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 146
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 147
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 148
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 149
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 150
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 151
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 152
			25	20.494	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 153
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 154
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 155
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 156
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 157
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 158
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 159
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 160
			24	18.716	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 161
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 162
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 163
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 164
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 165
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 166
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 167
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 168
			23	16.506	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 169
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 170
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 171
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 172
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 173
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 174
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 175
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 176
			22	12.270	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 177
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 178
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 179
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 180
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 181
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 182
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 183
					5.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 184
			21	9.439	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 185
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 186
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 187
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 188
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 189
3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 190					
4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 191					
5.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 192					

表4. 2-2(1) 設計用床応答曲線 (S d) 一覧表 (原子炉本体の基礎) (10/10)

地震波	建屋機器	方向	質点番号	標高 T. M. S. L. (m)	減衰定数 (%)	図番
S d	原子炉圧力容器	鉛直方向	20	6.056	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 193
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 194
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 195
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 196
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 197
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 198
					4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 199
			5.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 200		
			19	4.950	0.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 201
					1.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 202
					1.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 203
					2.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 204
					2.5	K06 - RCCV - SdV - RPV 205
					3.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 206
	4.0	K06 - RCCV - SdV - RPV 207				
	原子炉格納容器 ドライウエル 上鏡	43	27.940	0.5	K06 - RCCV - SdV - PCV 209	
				1.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 210	
				1.5	K06 - RCCV - SdV - PCV 211	
				2.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 212	
				2.5	K06 - RCCV - SdV - PCV 213	
				3.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 214	
				4.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 215	
				5.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 216	
				42	25.365	0.5
		1.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 218			
		1.5	K06 - RCCV - SdV - PCV 219			
		2.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 220			
		2.5	K06 - RCCV - SdV - PCV 221			
		3.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 222			
		4.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 223			
		5.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 224			
		41	24.400			0.5
1.0				K06 - RCCV - SdV - PCV 226		
1.5	K06 - RCCV - SdV - PCV 227					
2.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 228					
2.5	K06 - RCCV - SdV - PCV 229					
3.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 230					
4.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 231					
5.0	K06 - RCCV - SdV - PCV 232					

K6 -2-1-7 R0

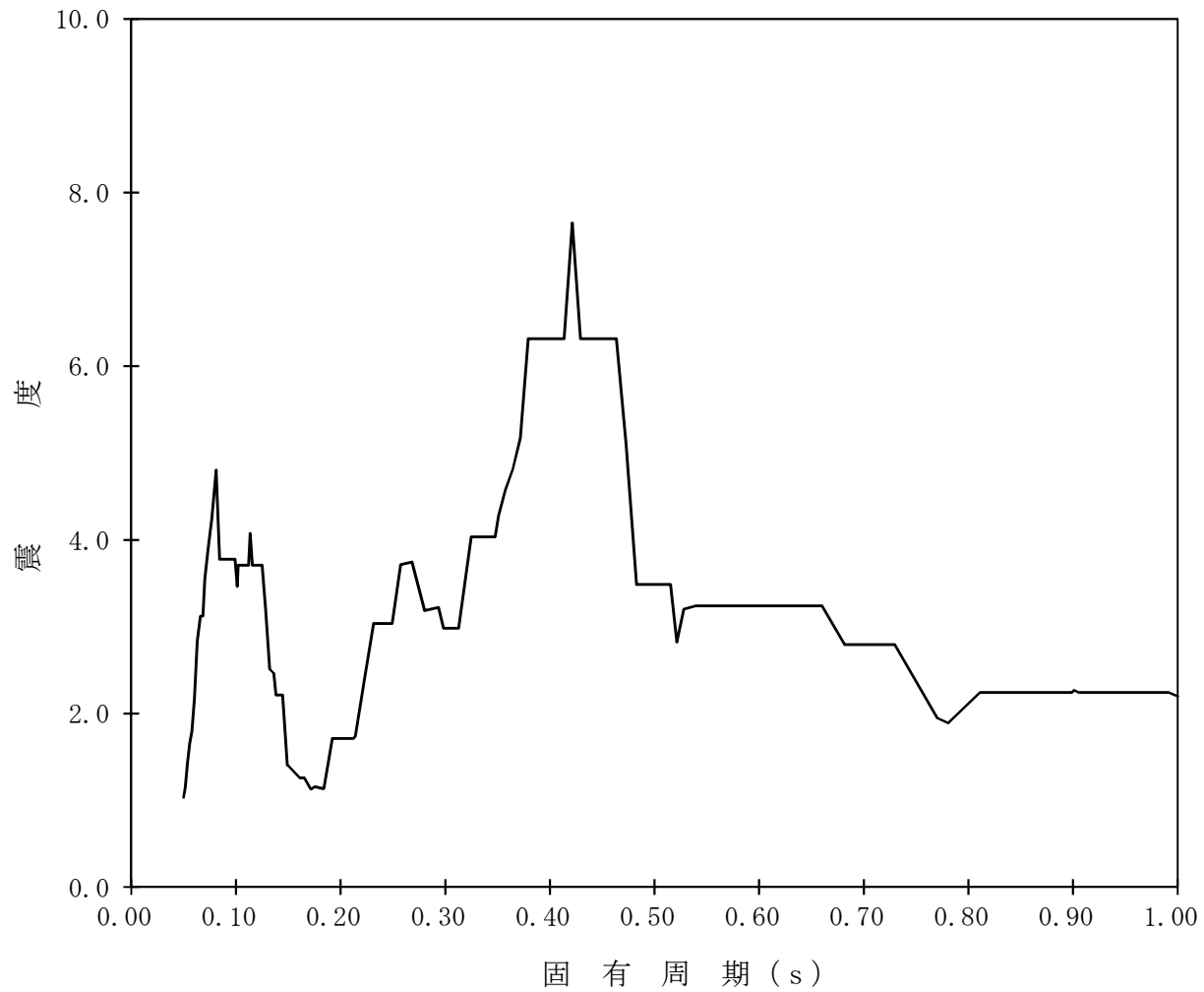
【K06-RCCV-SdH-RSW1】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 21. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



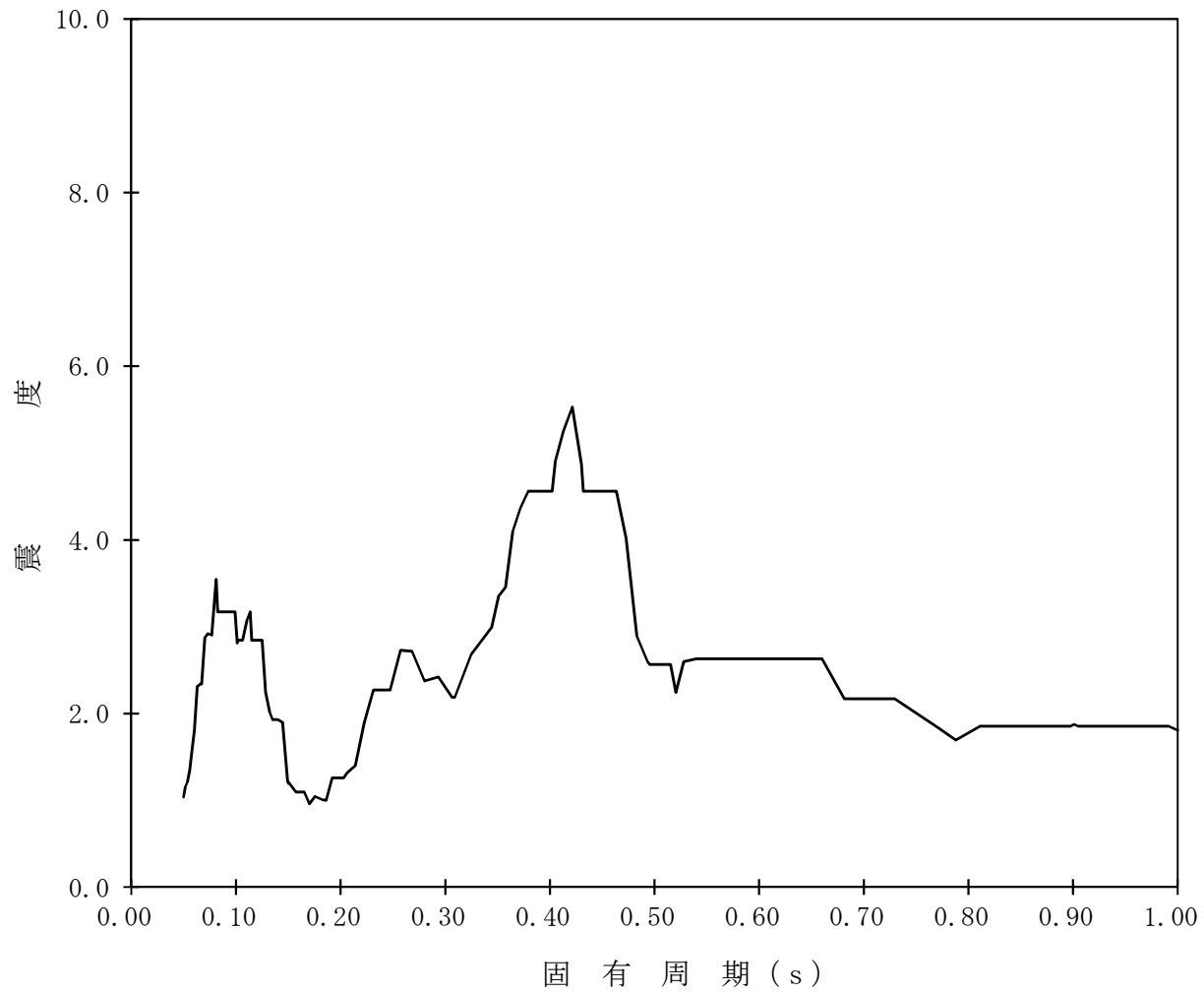
【K06-RCCV-SdH-RSW2】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 21. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-RSW3】

構造物名：原子炉遮蔽壁

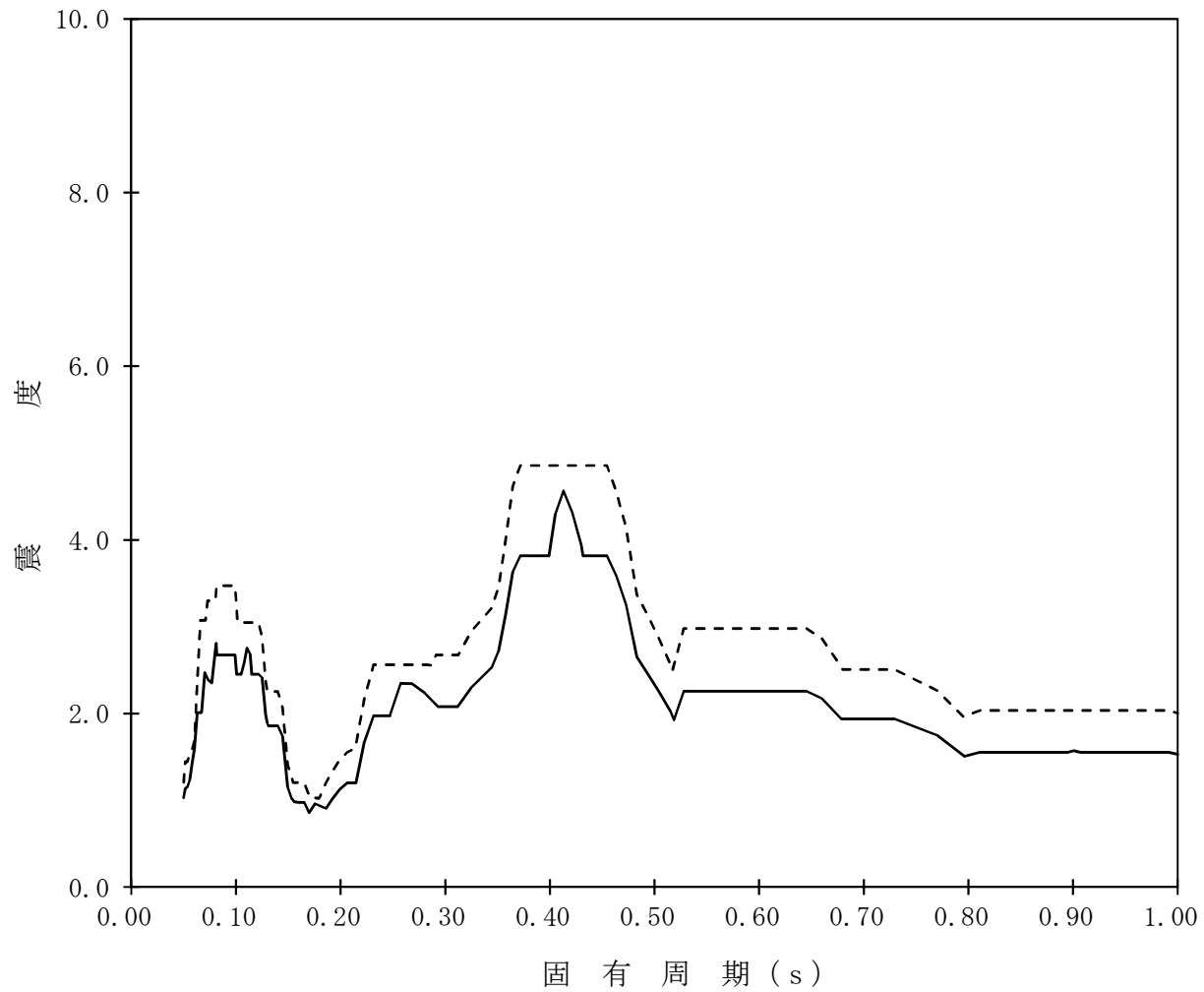
標高：T. M. S. L. 21. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

減衰定数：1. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW4】

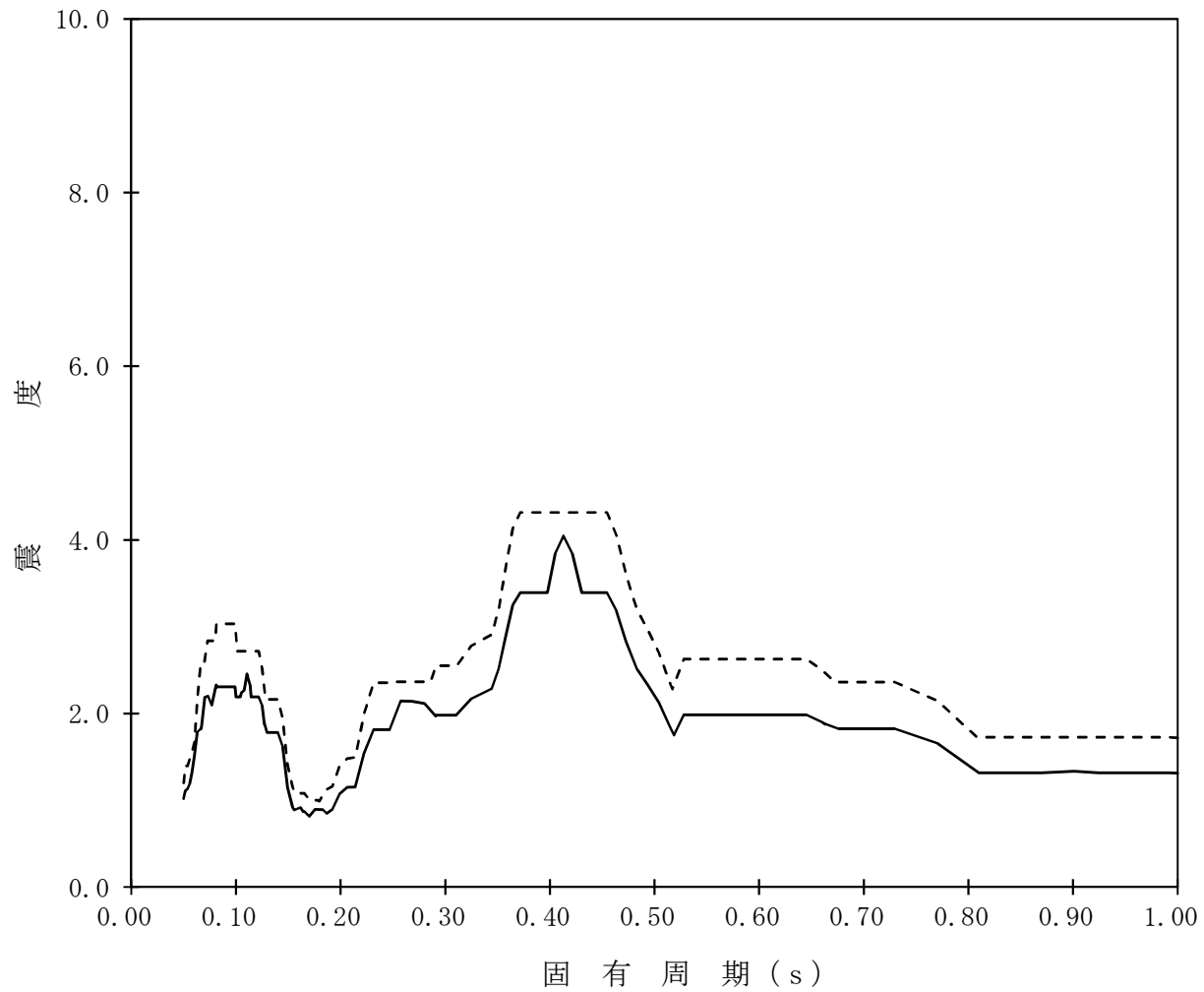
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 21. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW5】

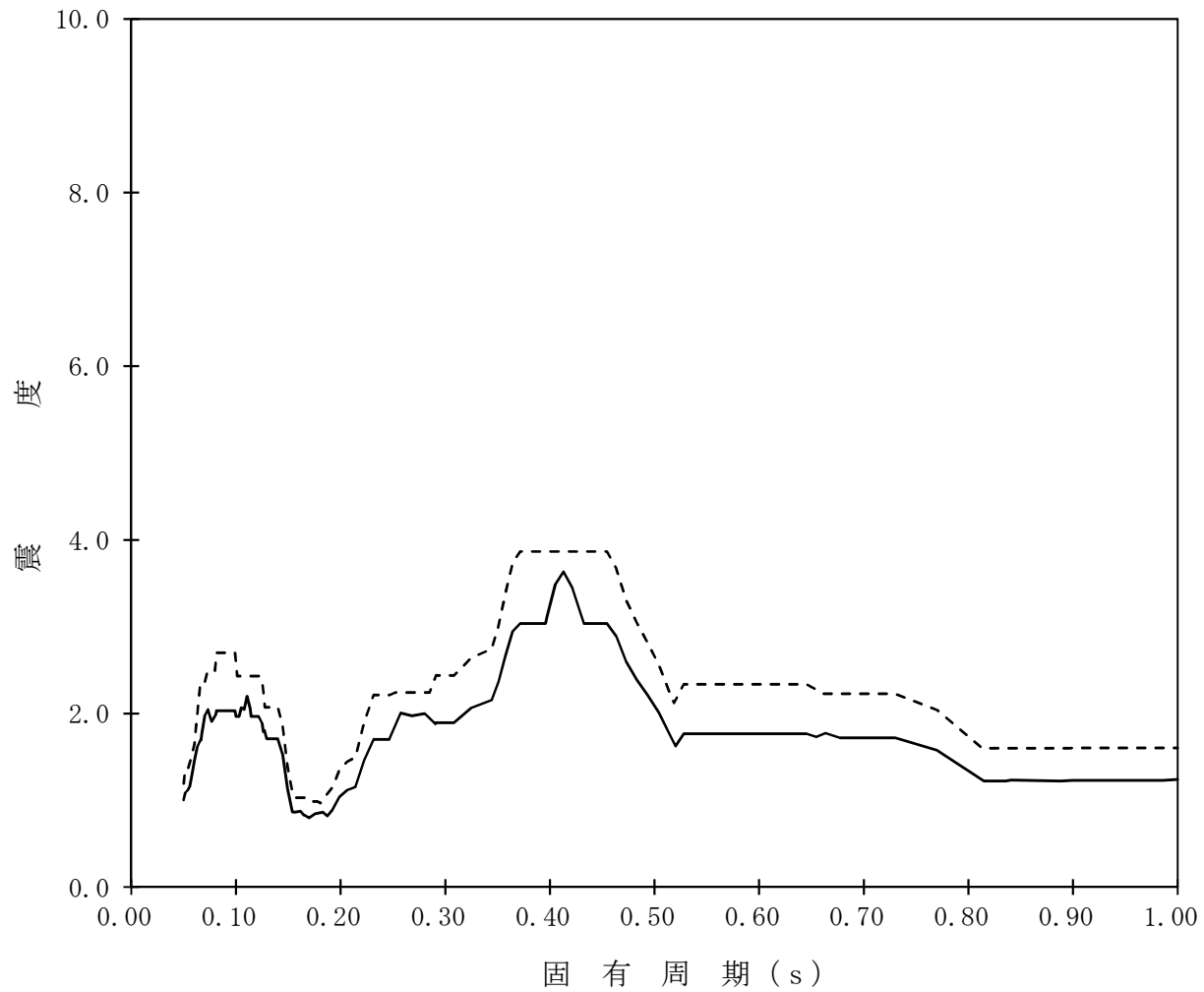
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 21. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW6】

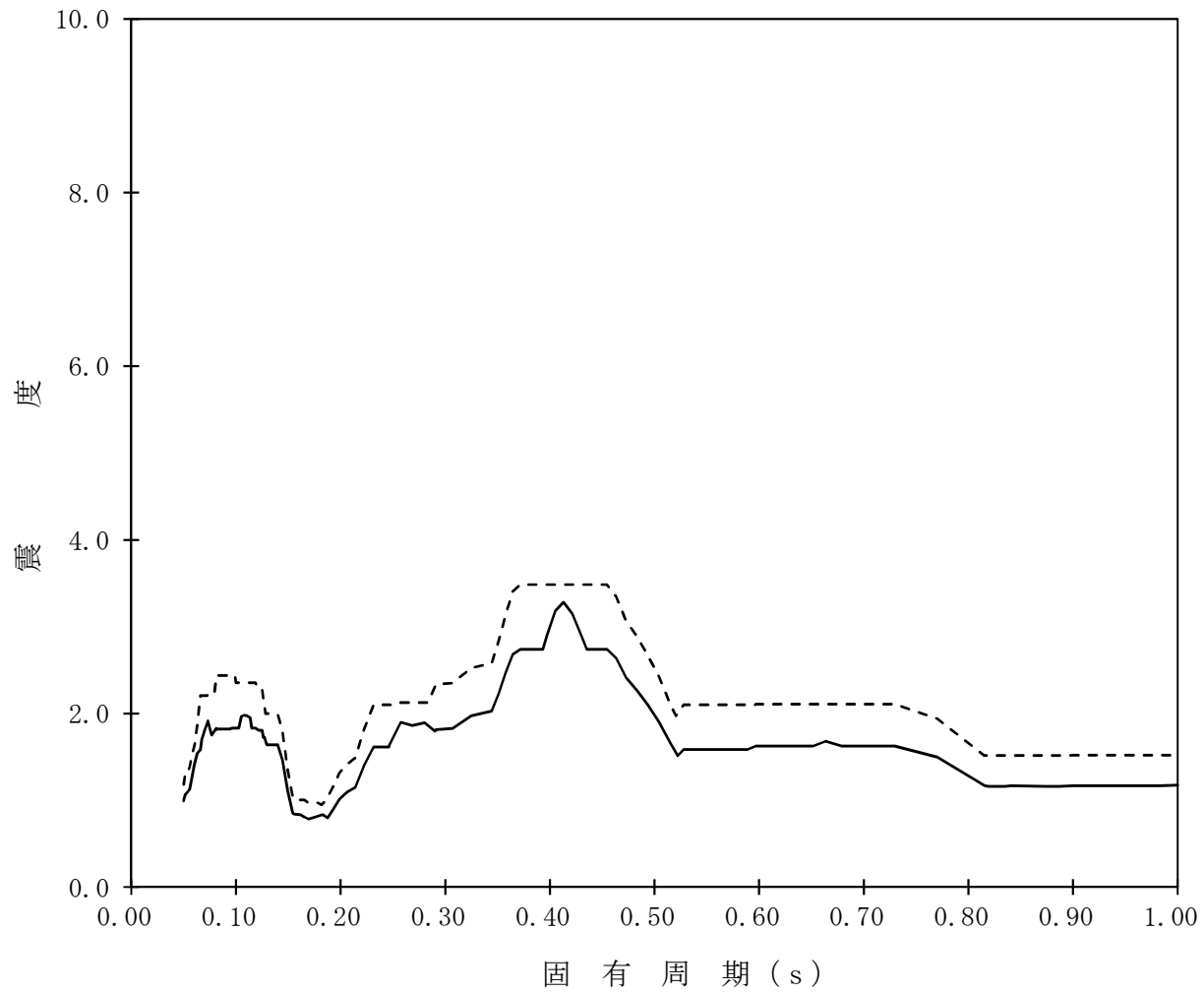
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 21. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW7】

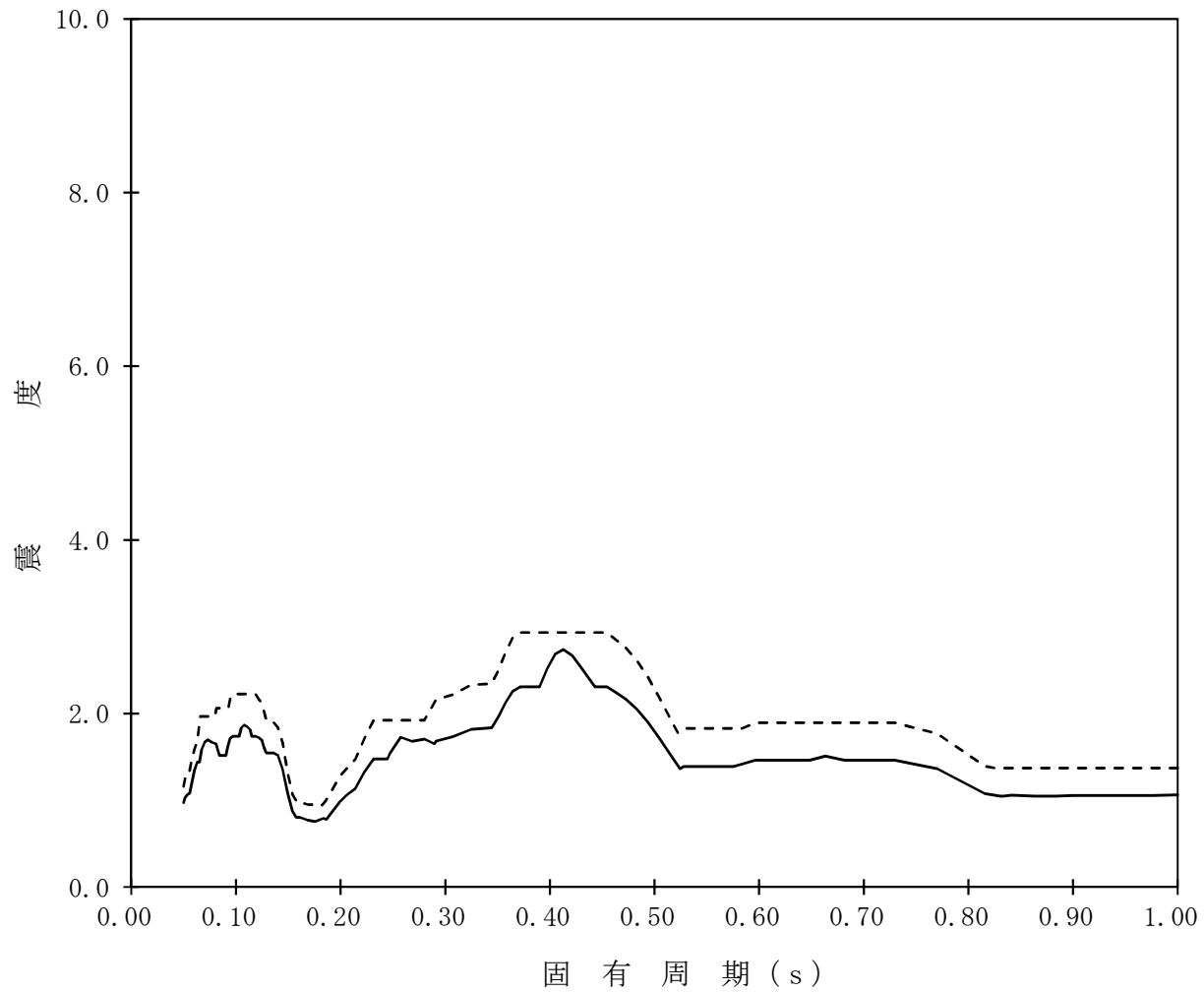
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 21.200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW8】

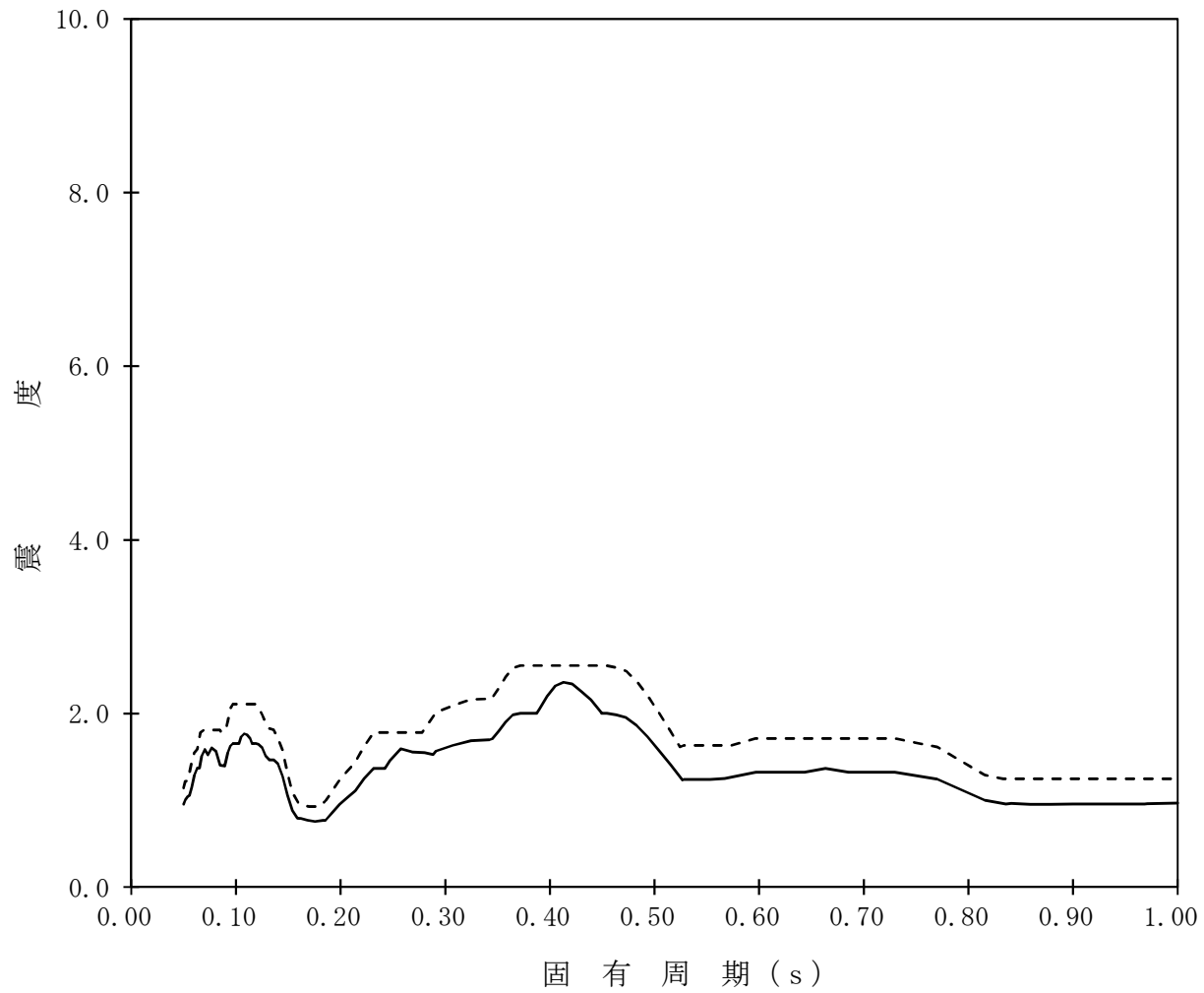
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 21. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



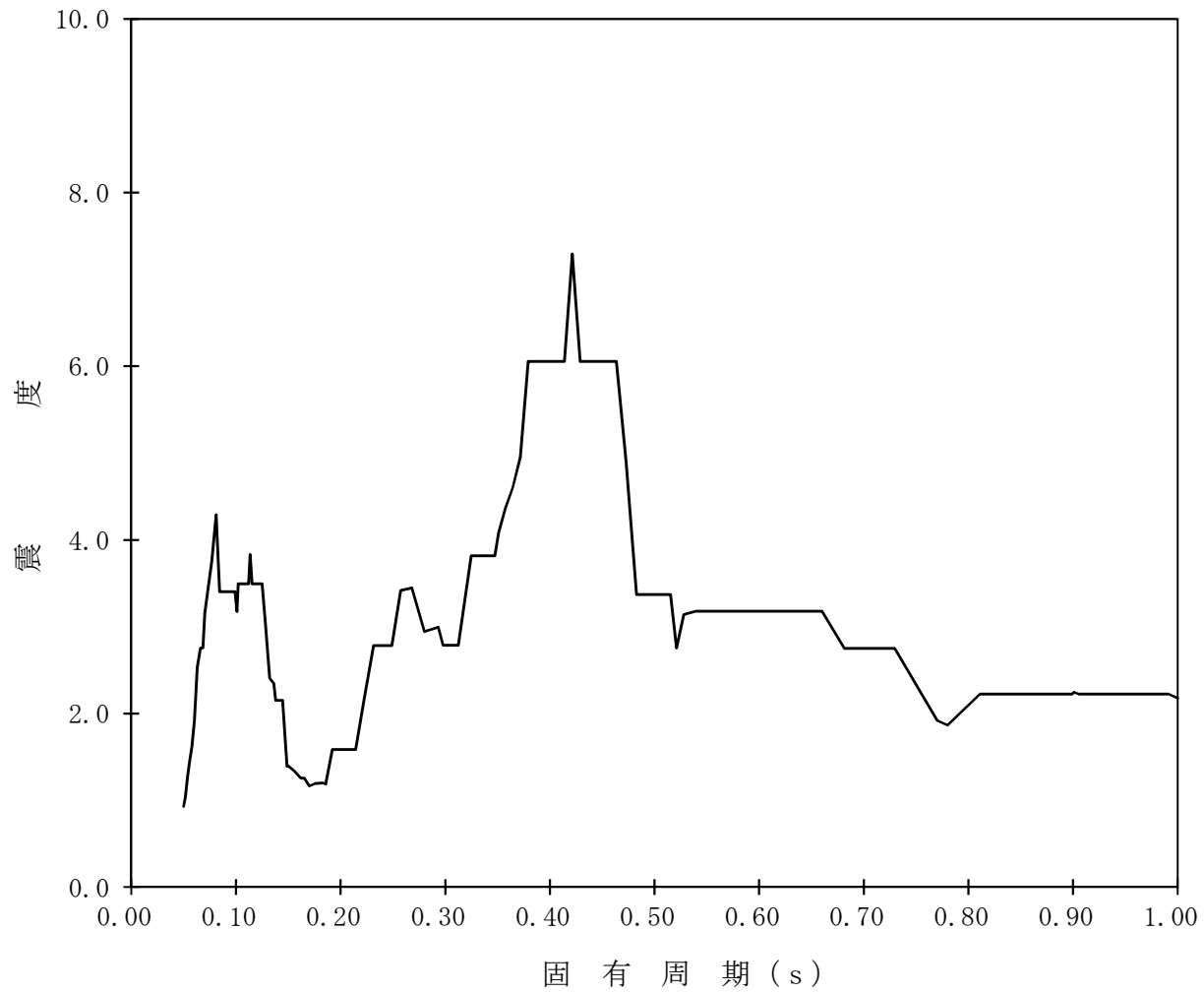
【K06-RCCV-SdH-RSW9】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



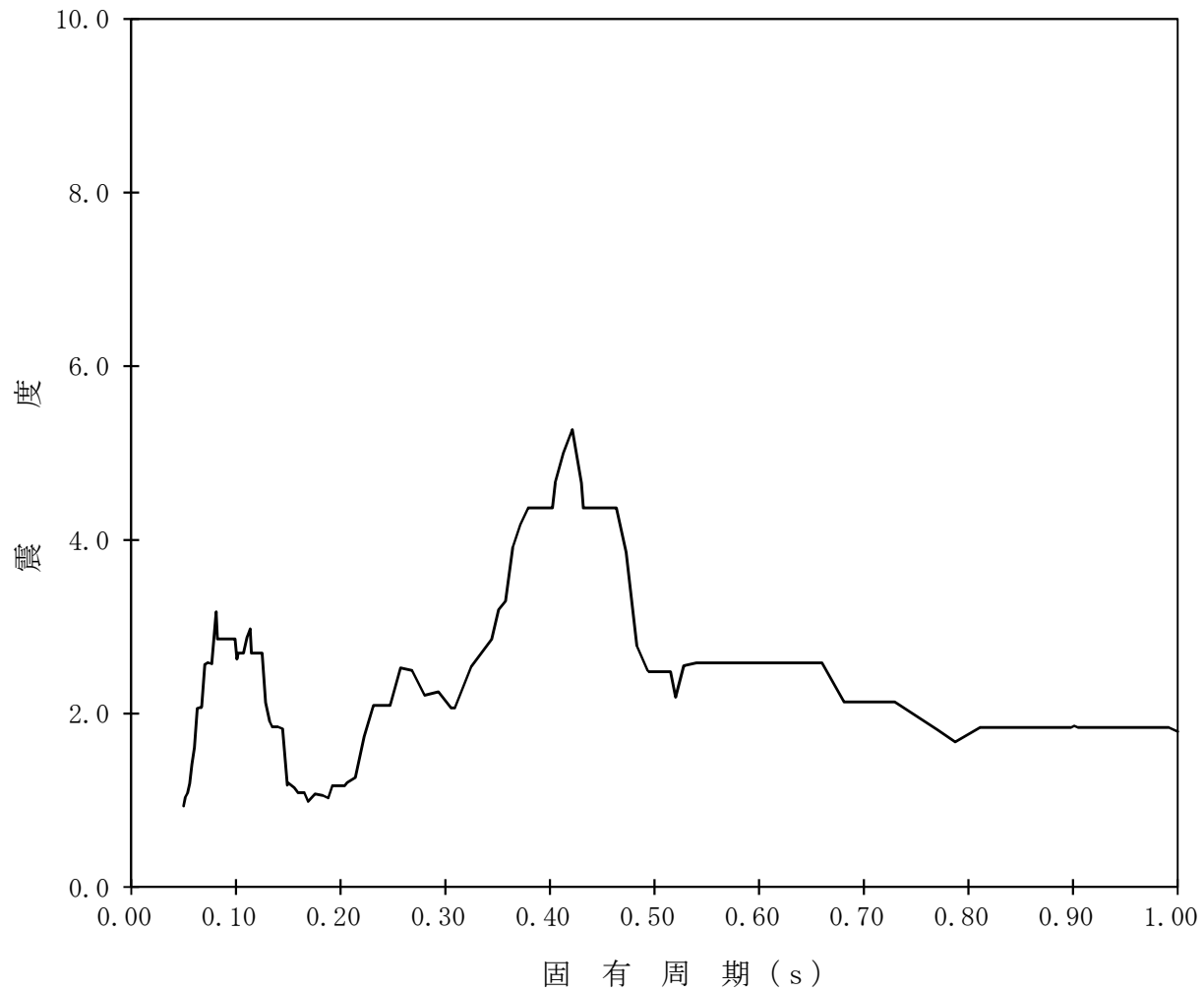
【K06-RCCV-SdH-RSW10】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-RSW11】

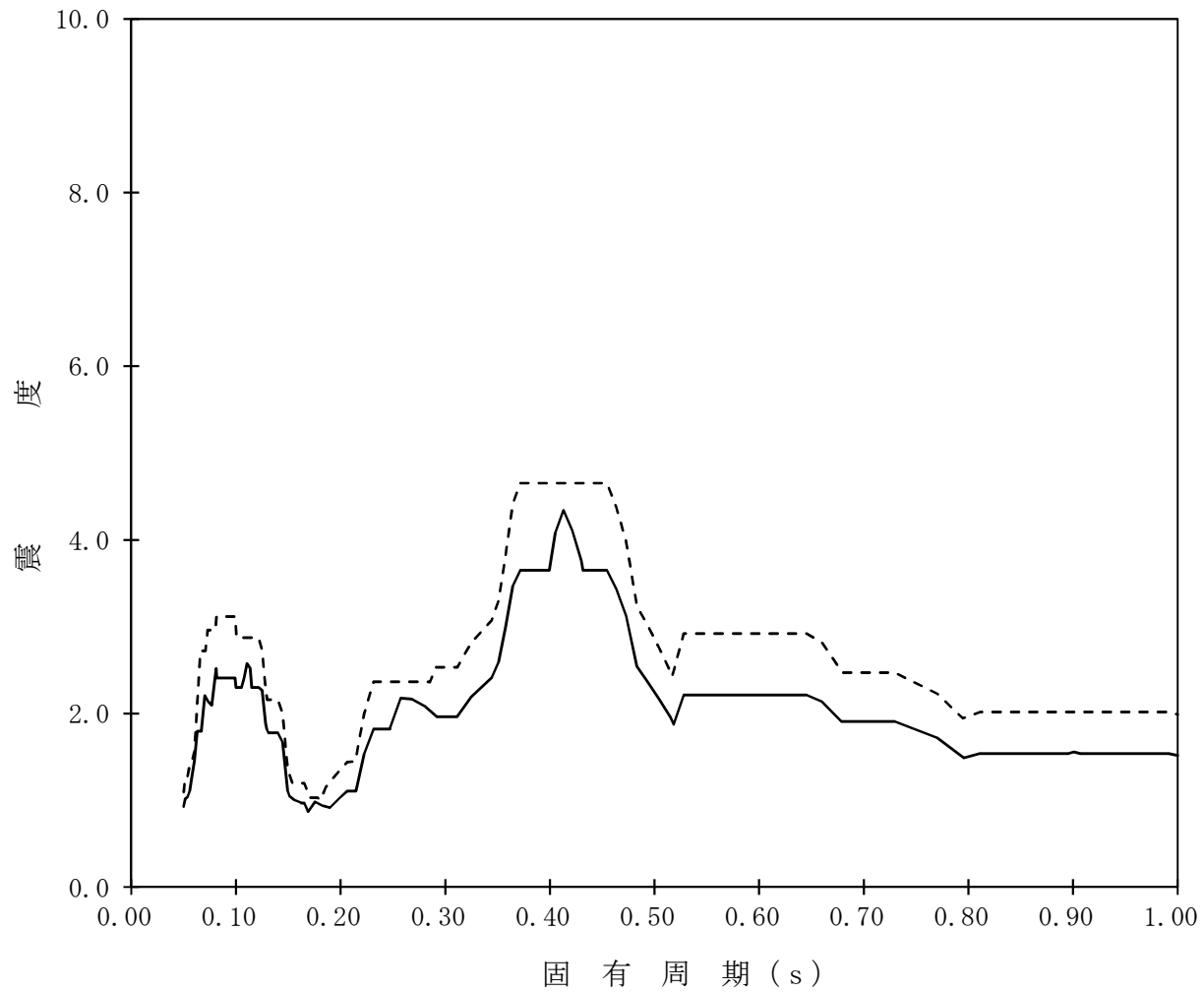
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW12】

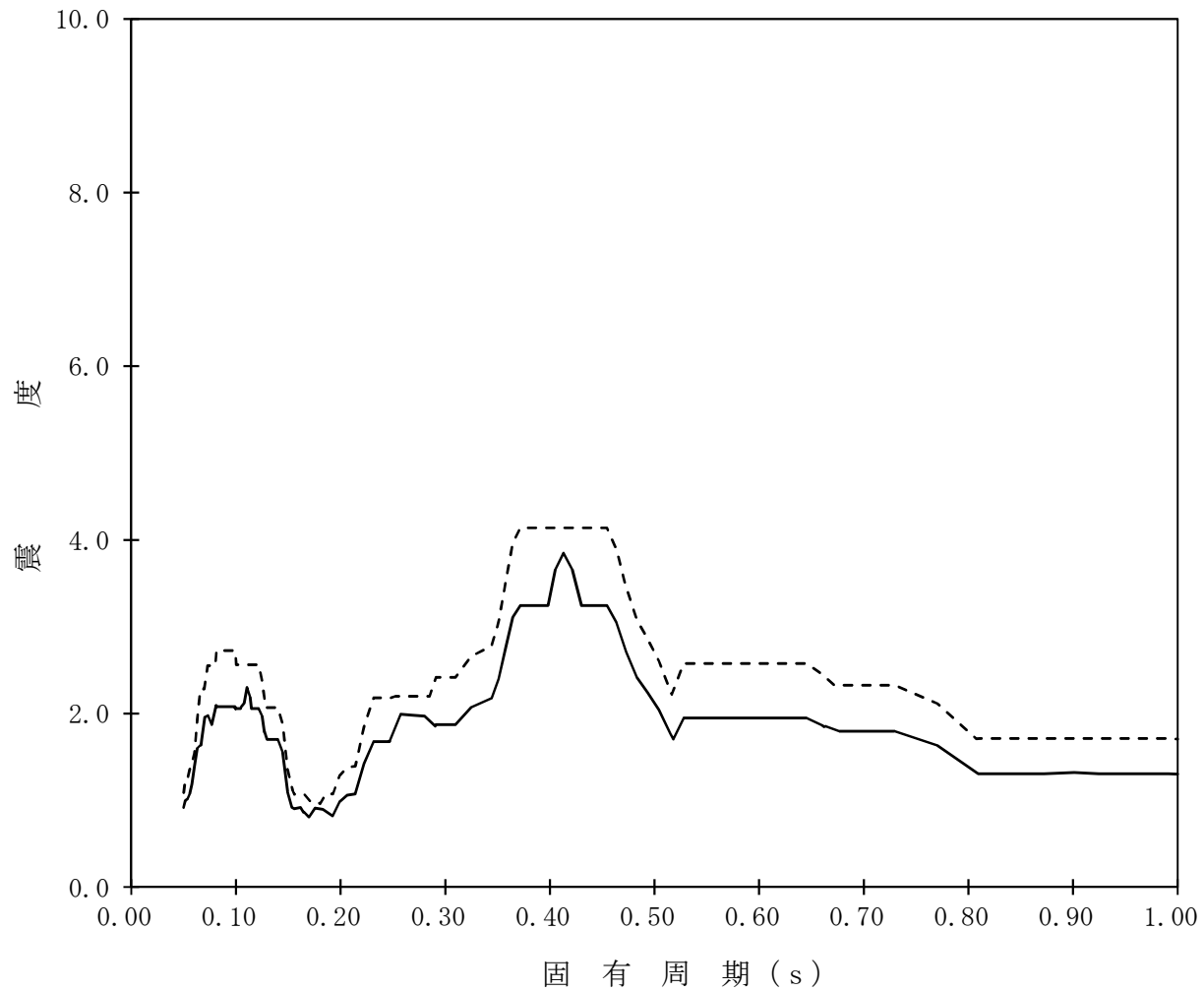
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW13】

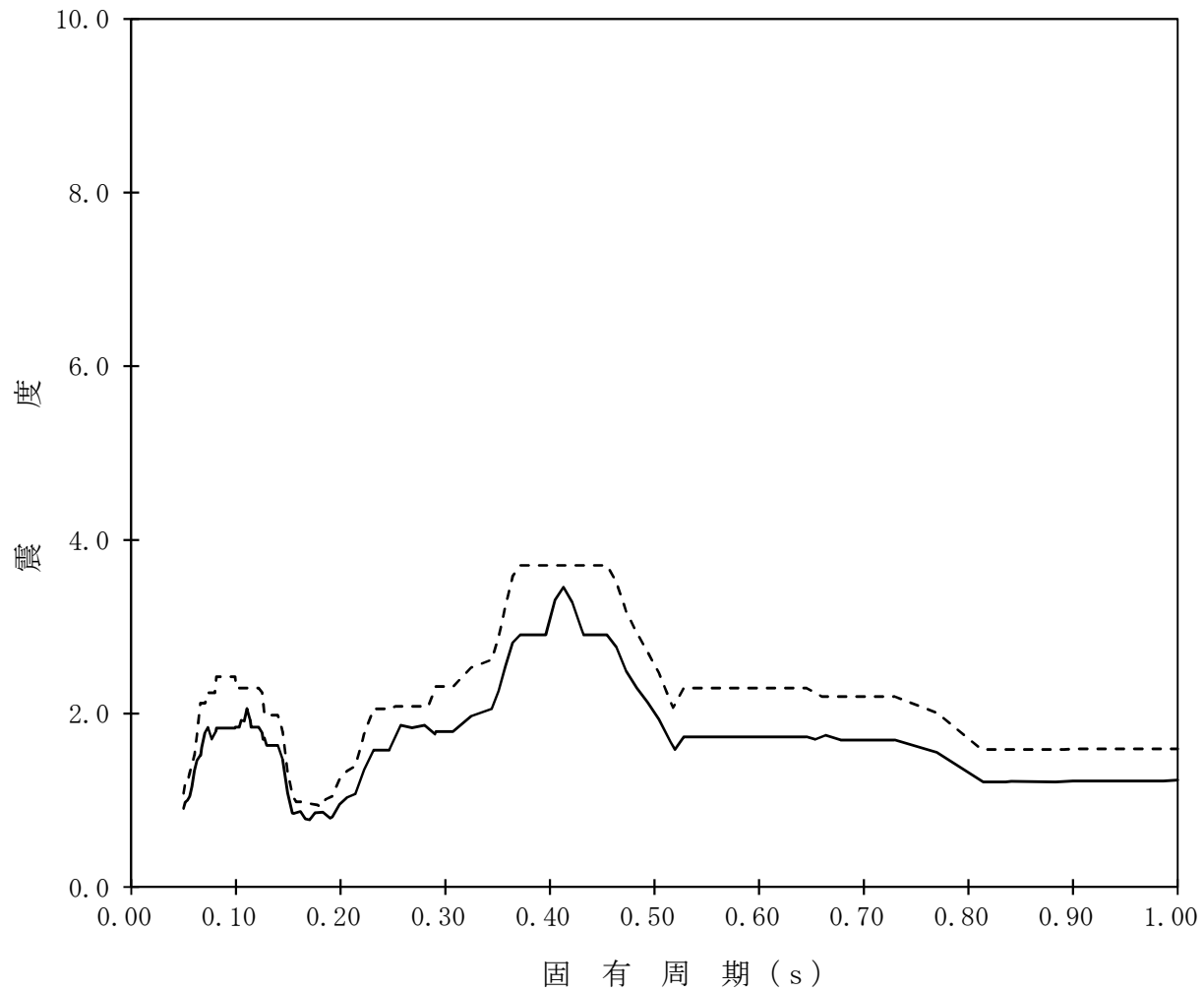
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW14】

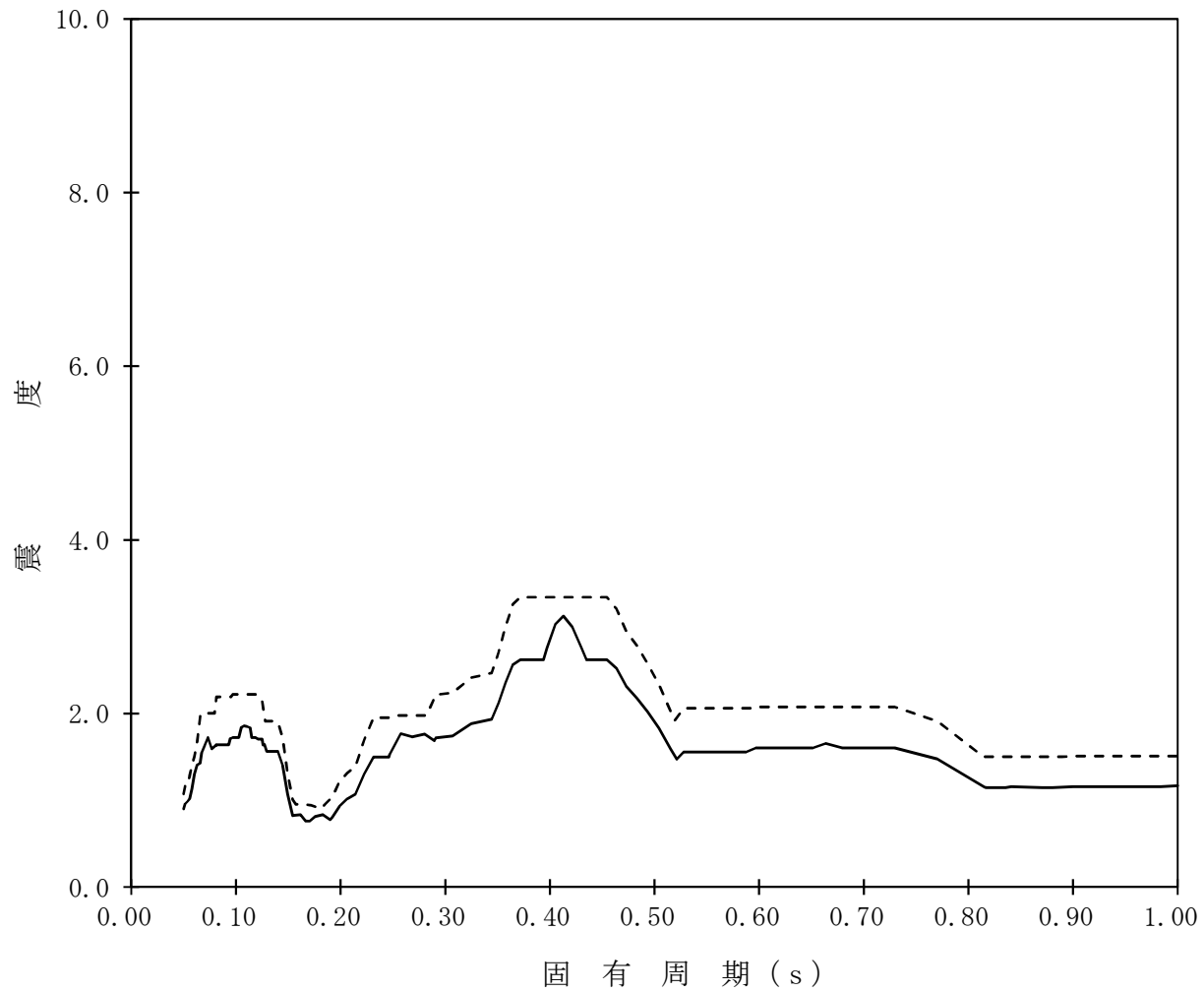
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW15】

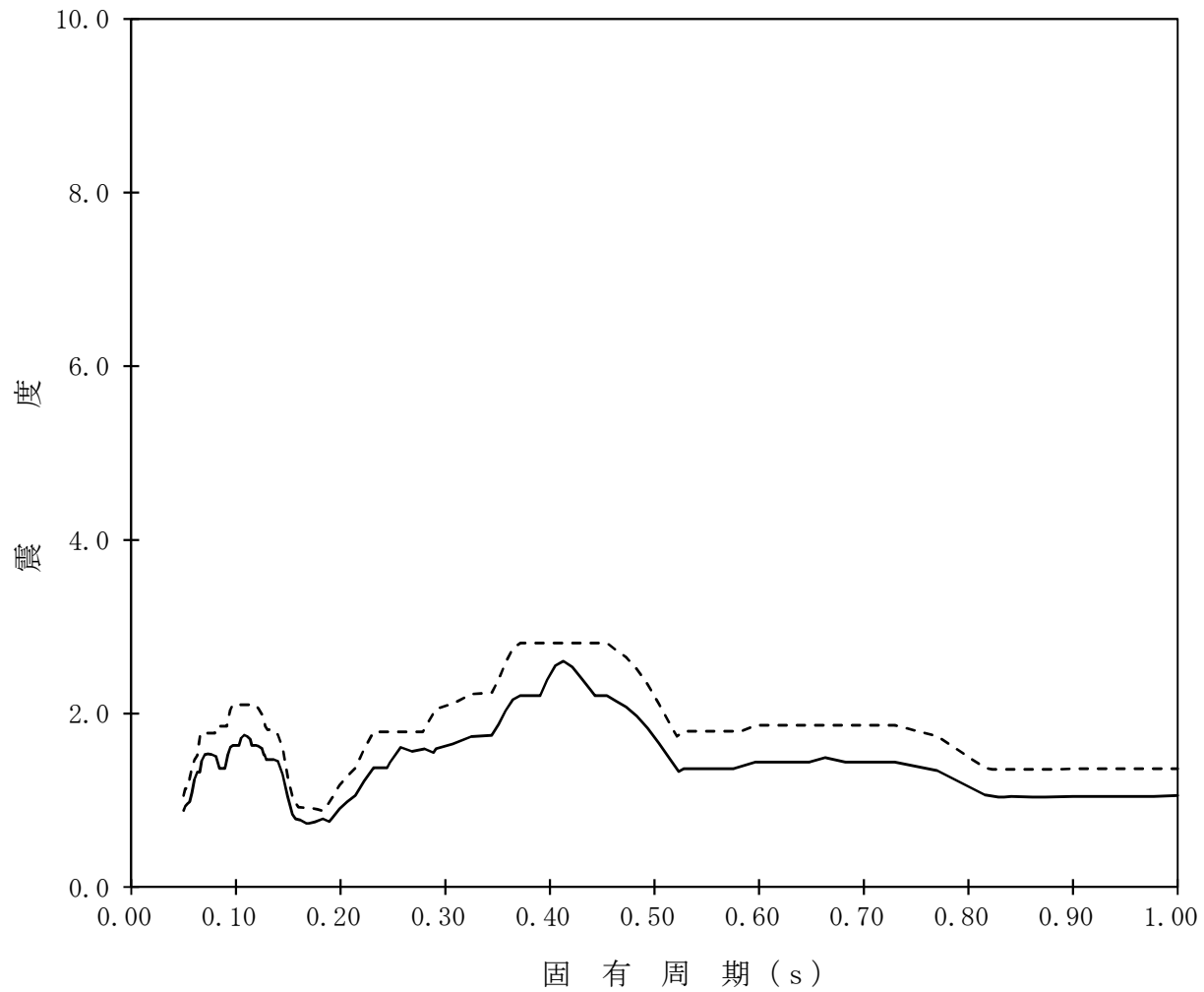
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW16】

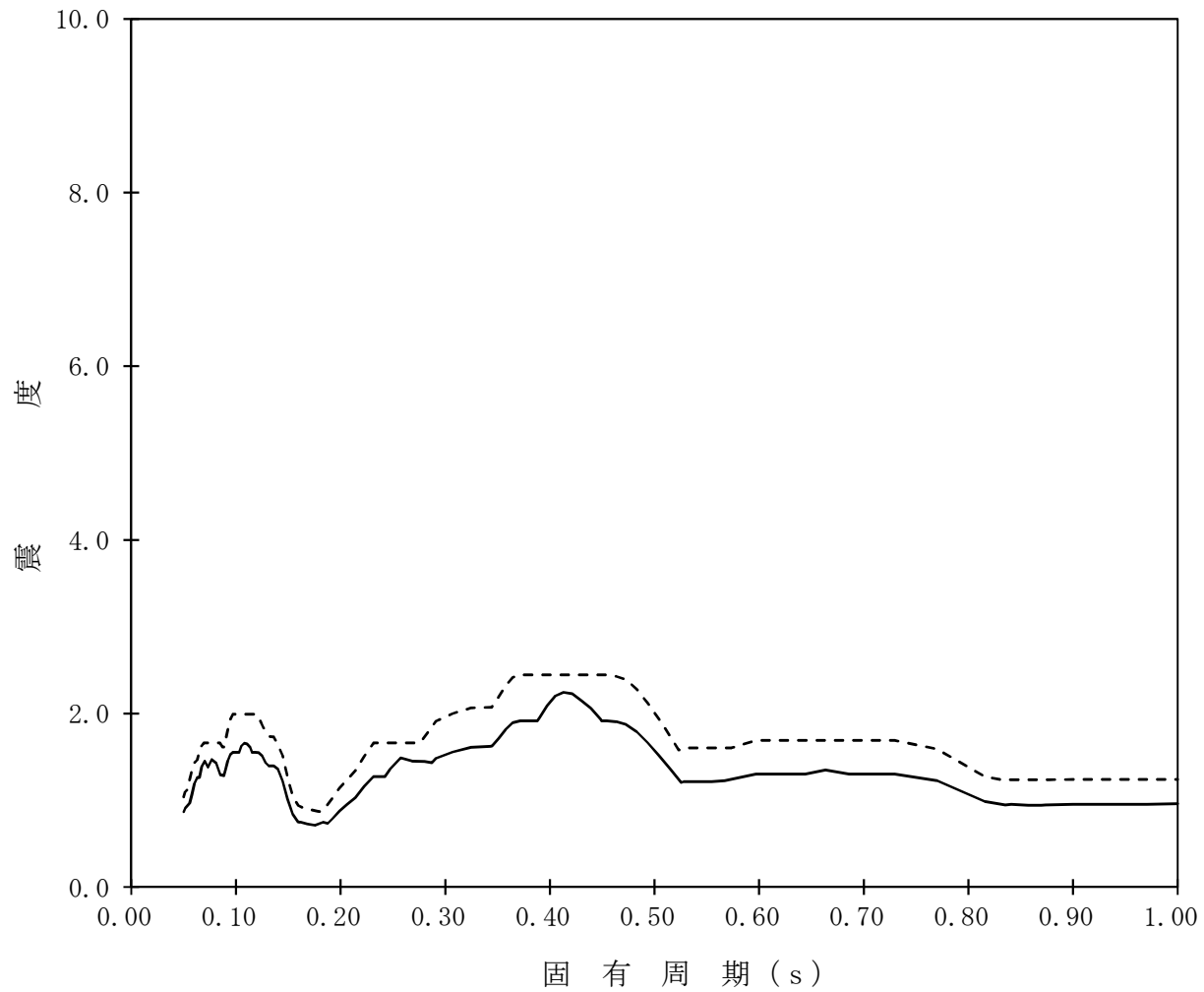
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 19. 138m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)

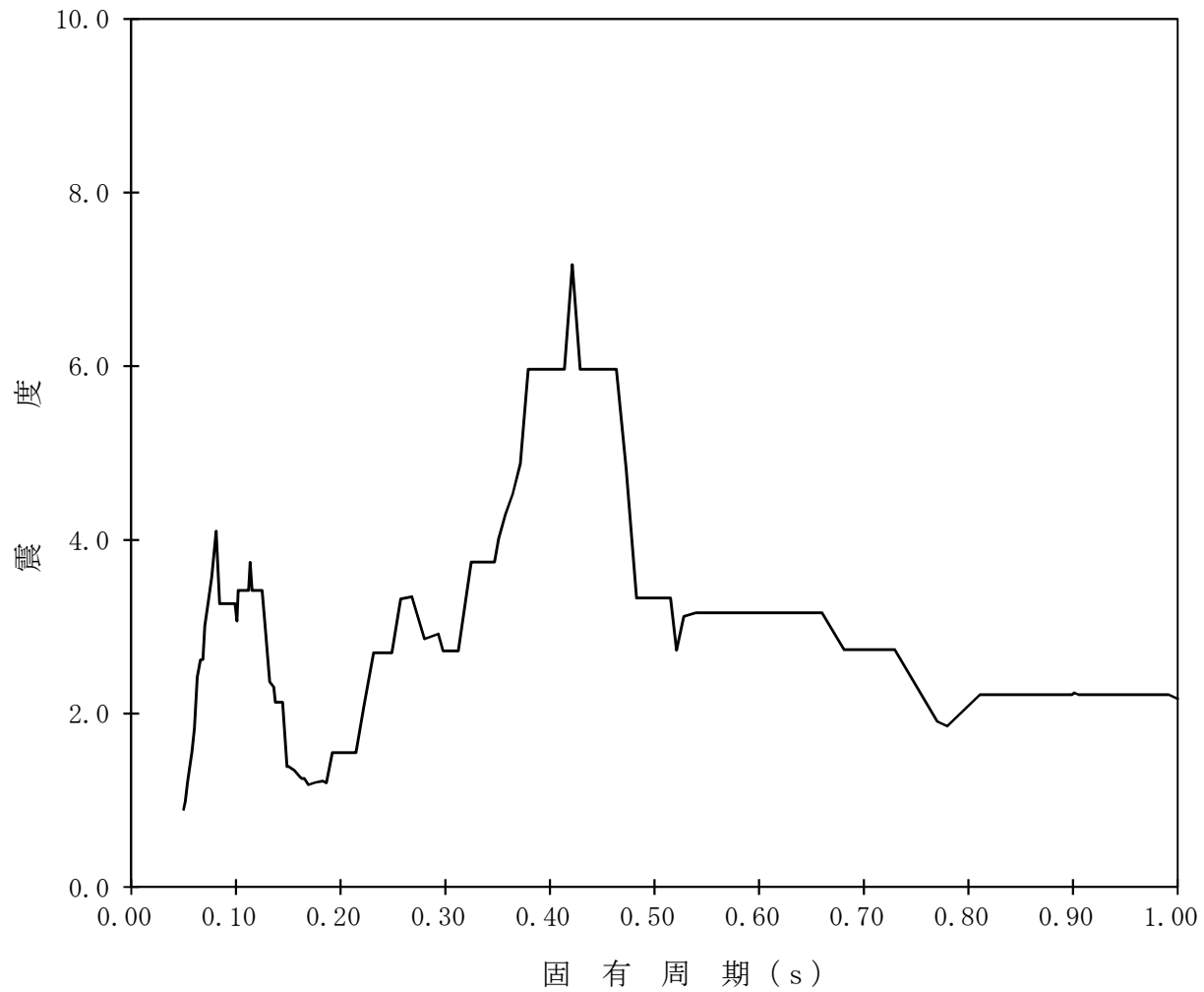


【K06-RCCV-SdH-RSW17】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 18.440m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW18】

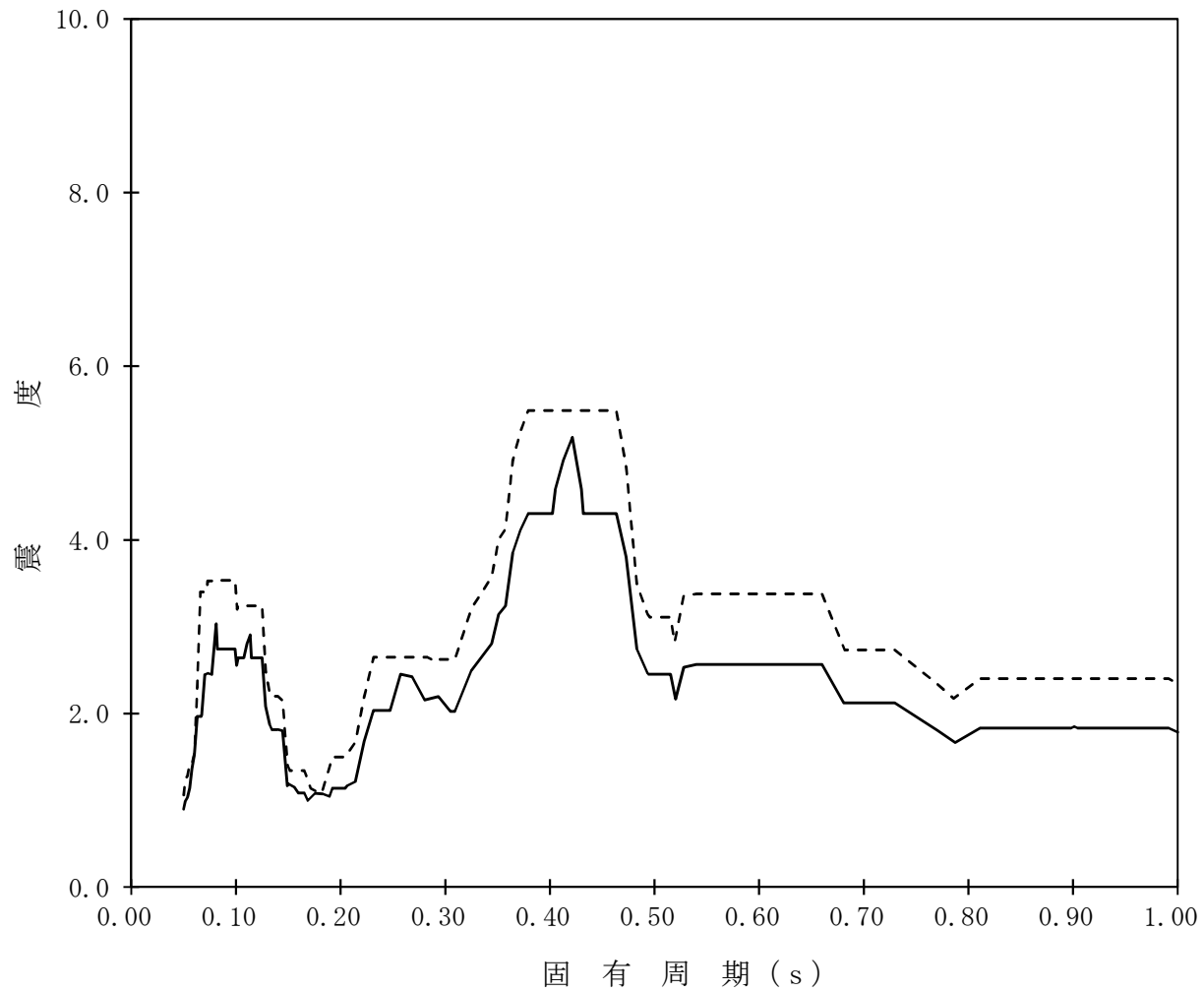
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 18. 440m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW19】

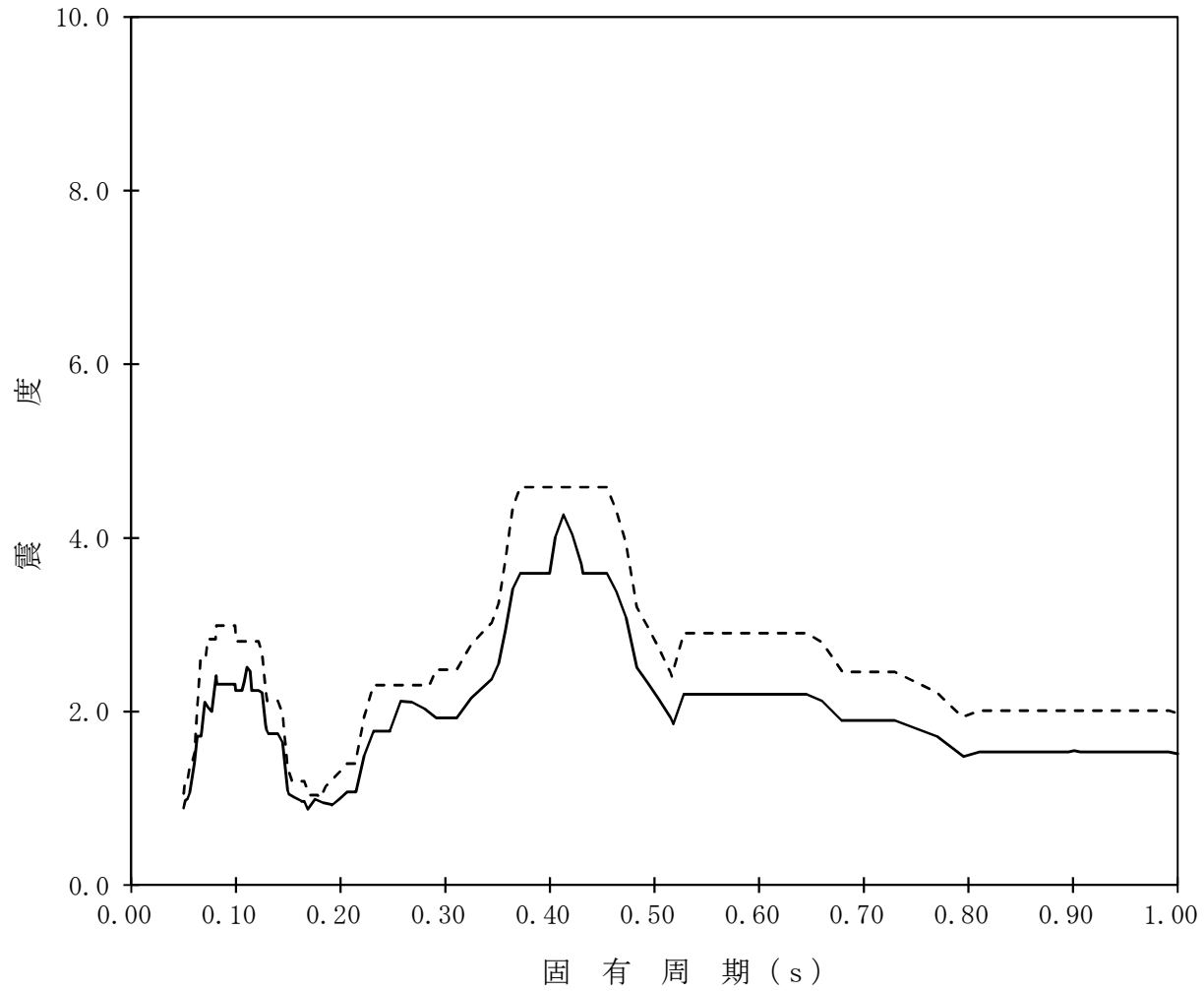
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 18. 440m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW20】

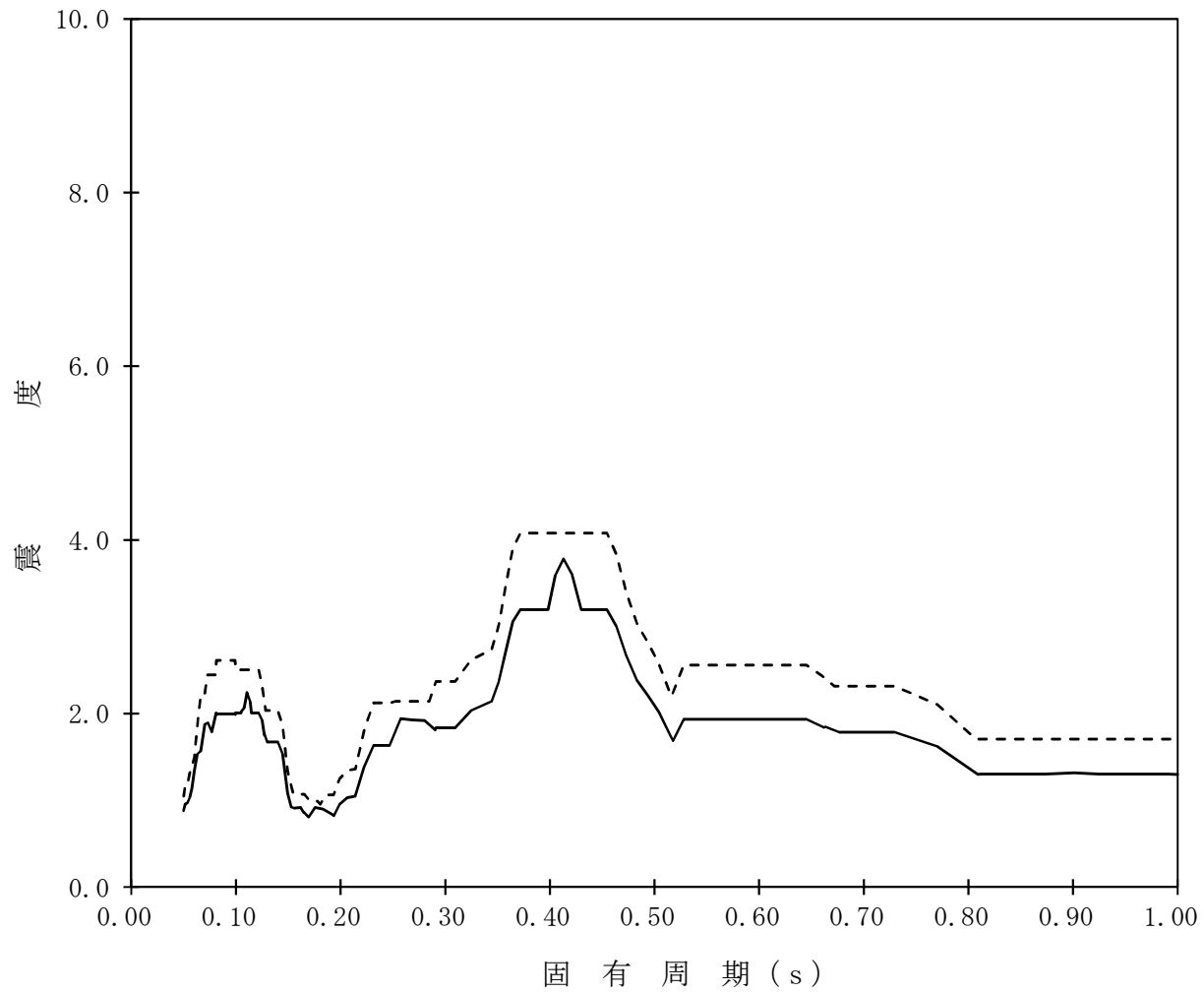
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 18. 440m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW21】

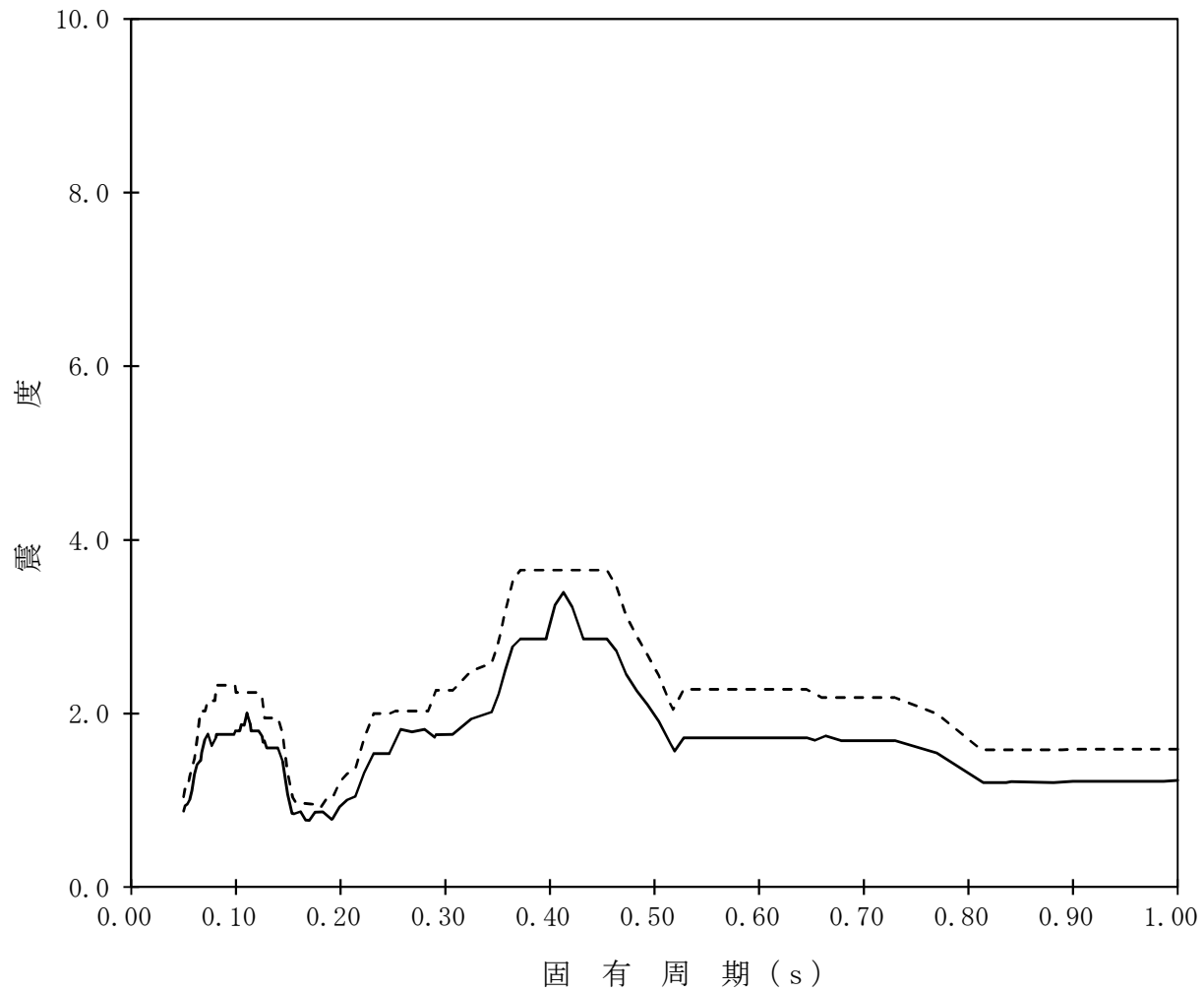
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 18. 440m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW22】

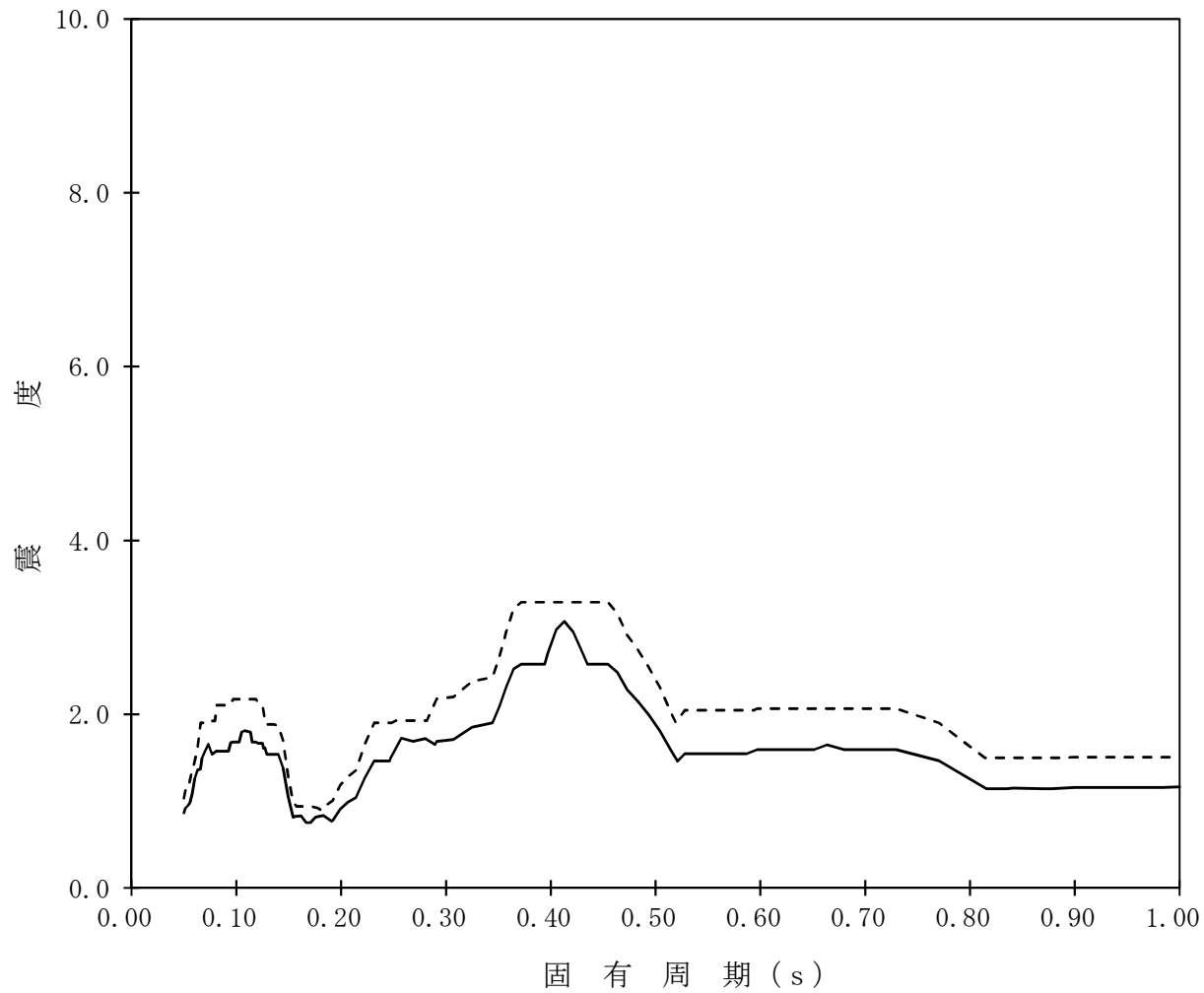
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 18. 440m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW23】

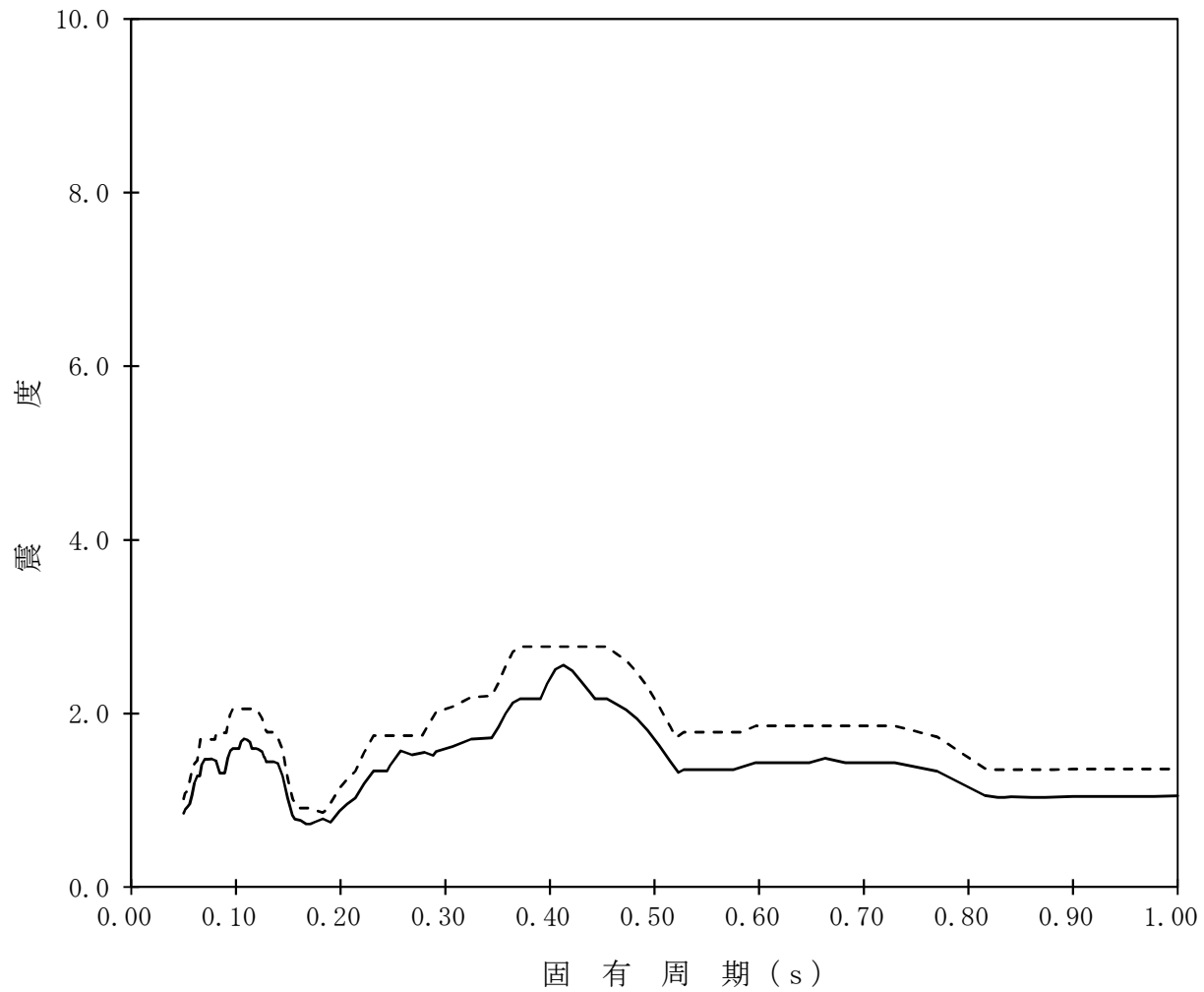
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 18. 440m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW24】

構造物名：原子炉遮蔽壁

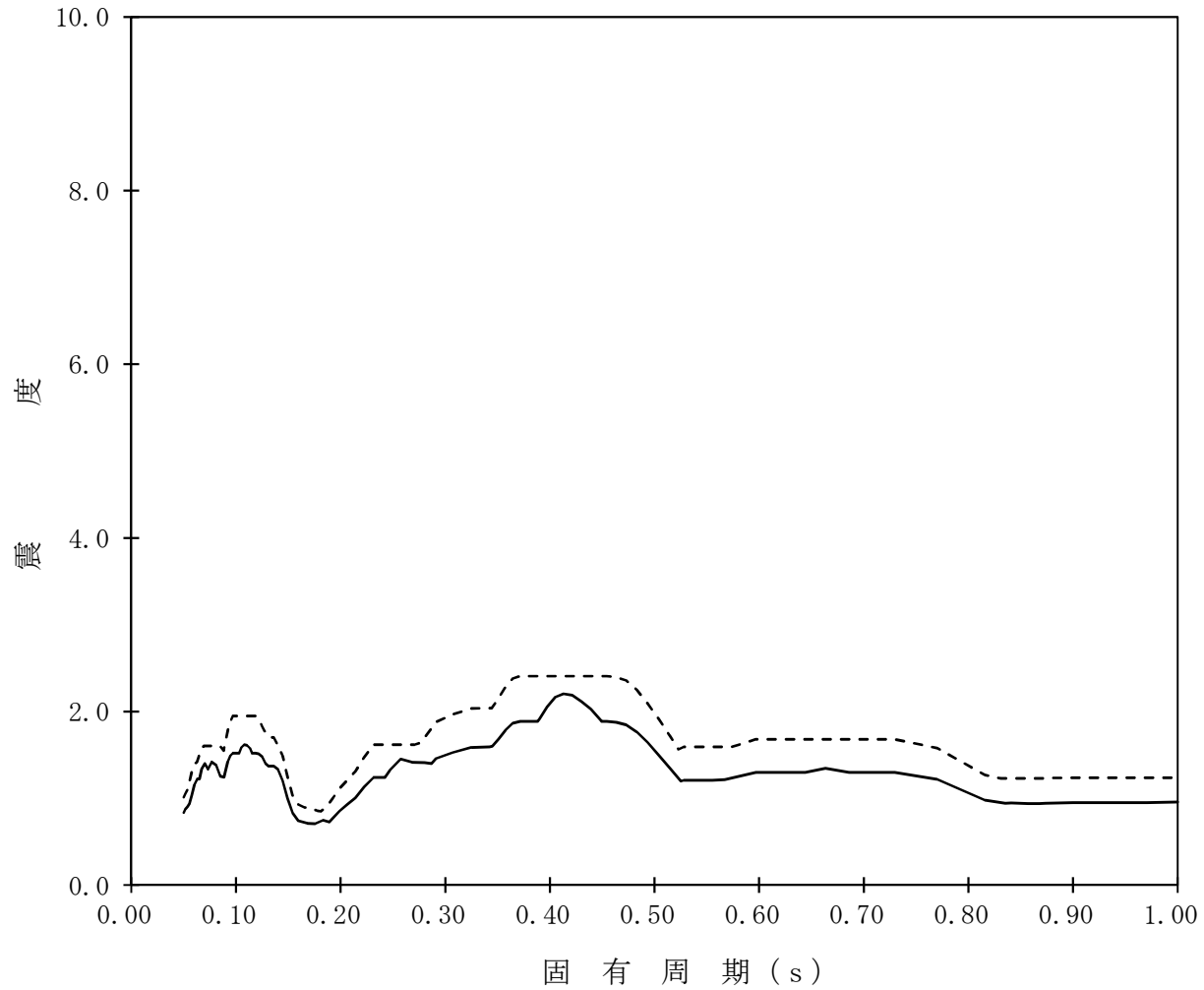
標高：T. M. S. L. 18. 440m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：5.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



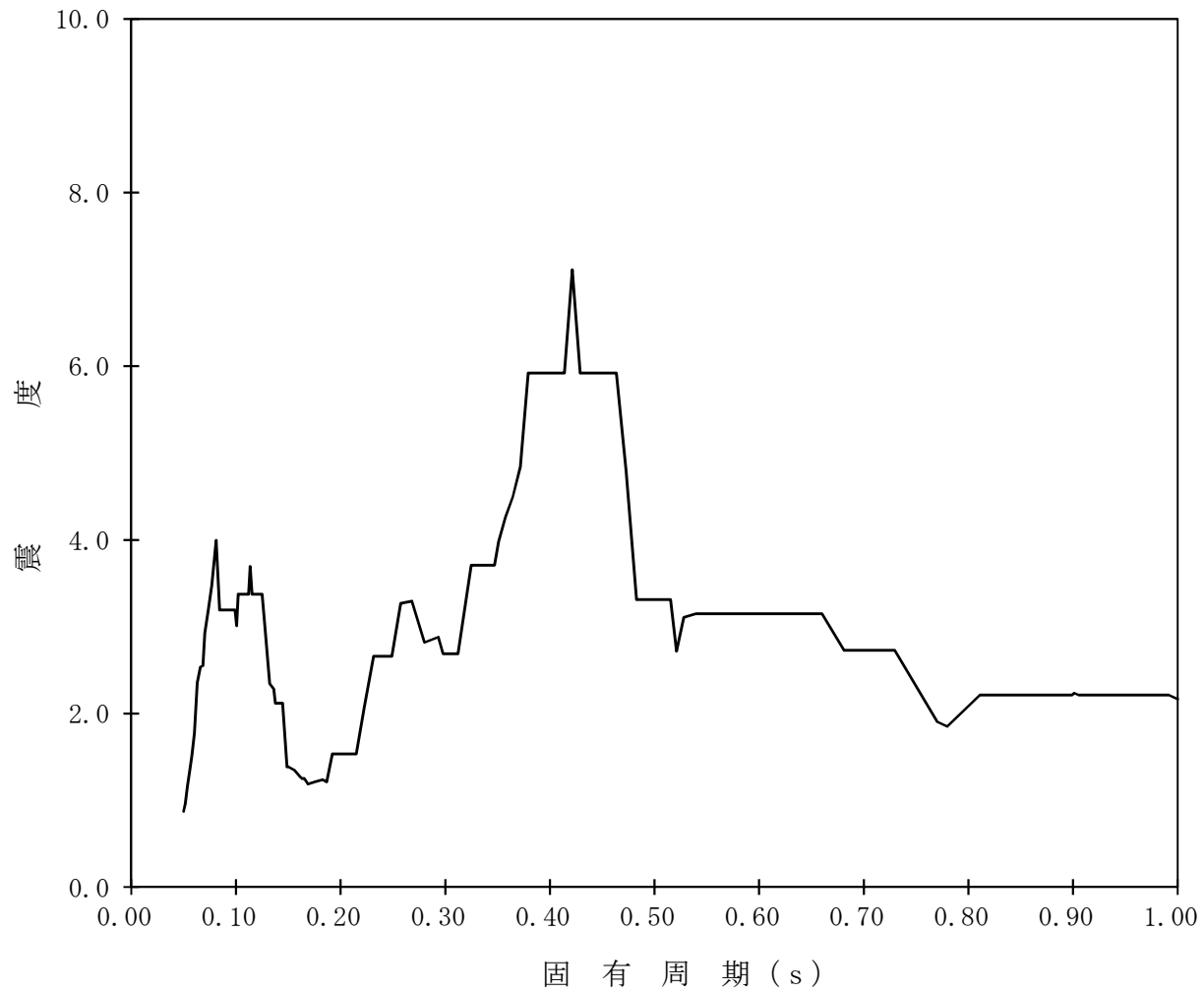
【K06-RCCV-SdH-RSW25】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-RSW26】

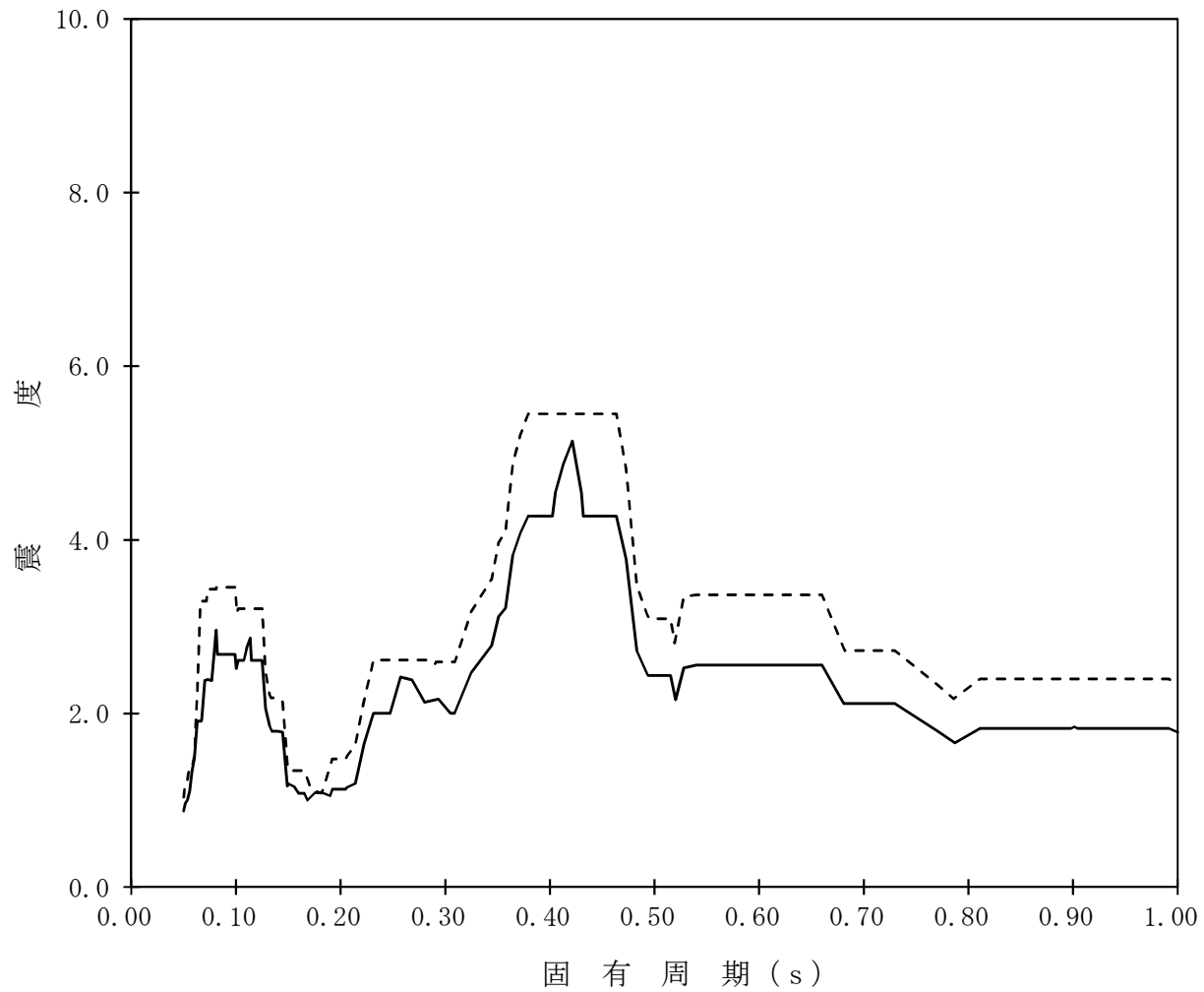
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW27】

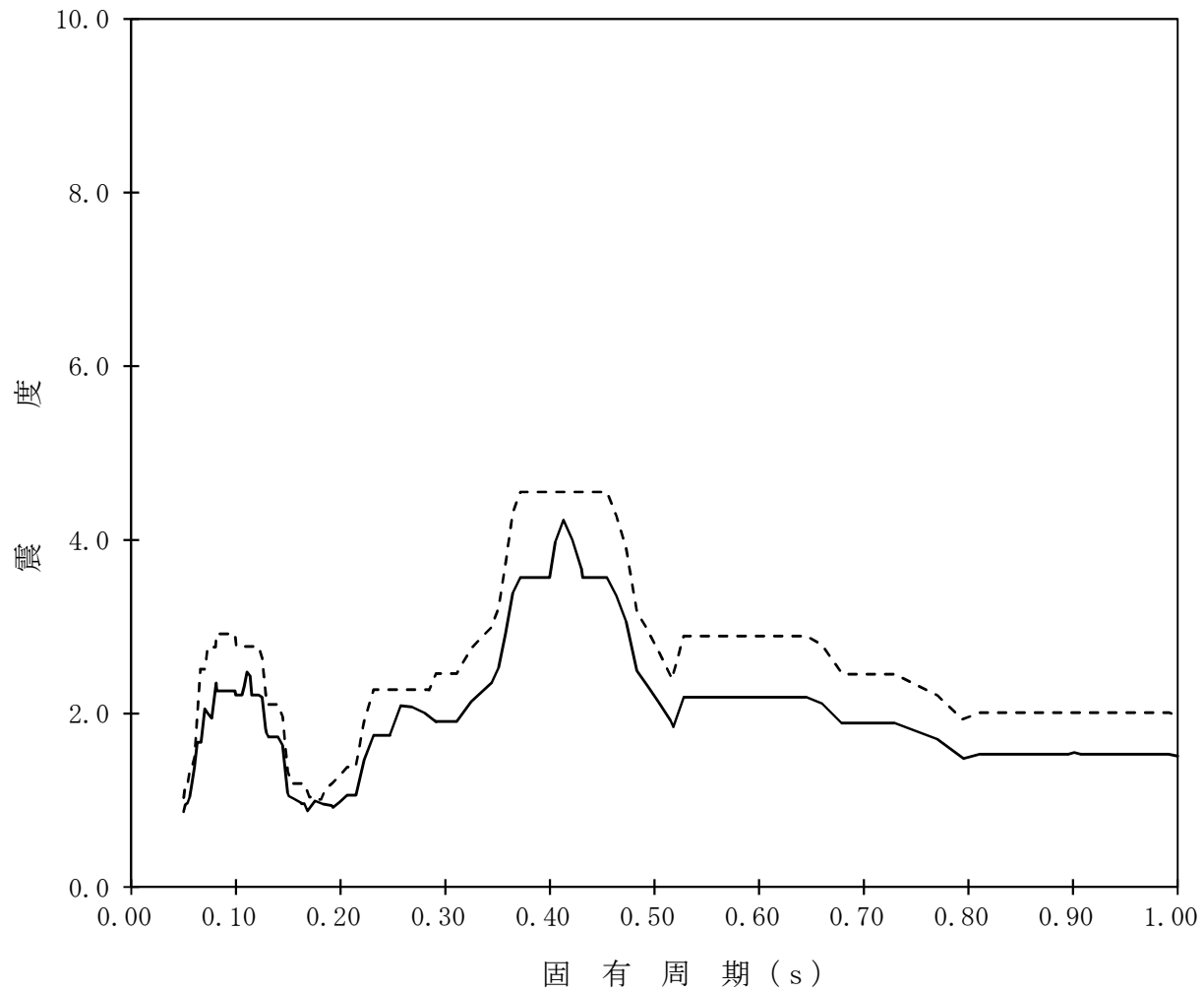
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW28】

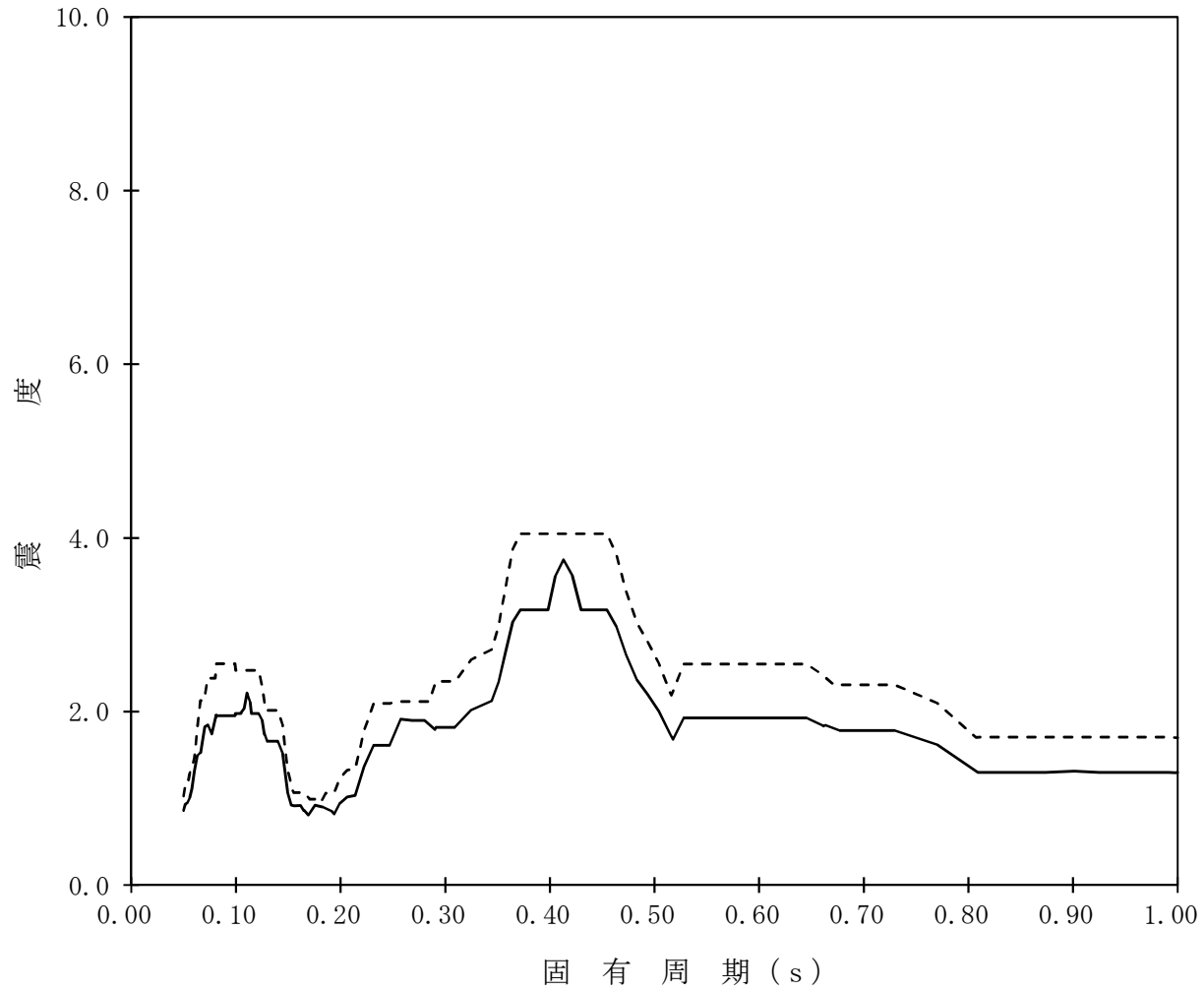
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW29】

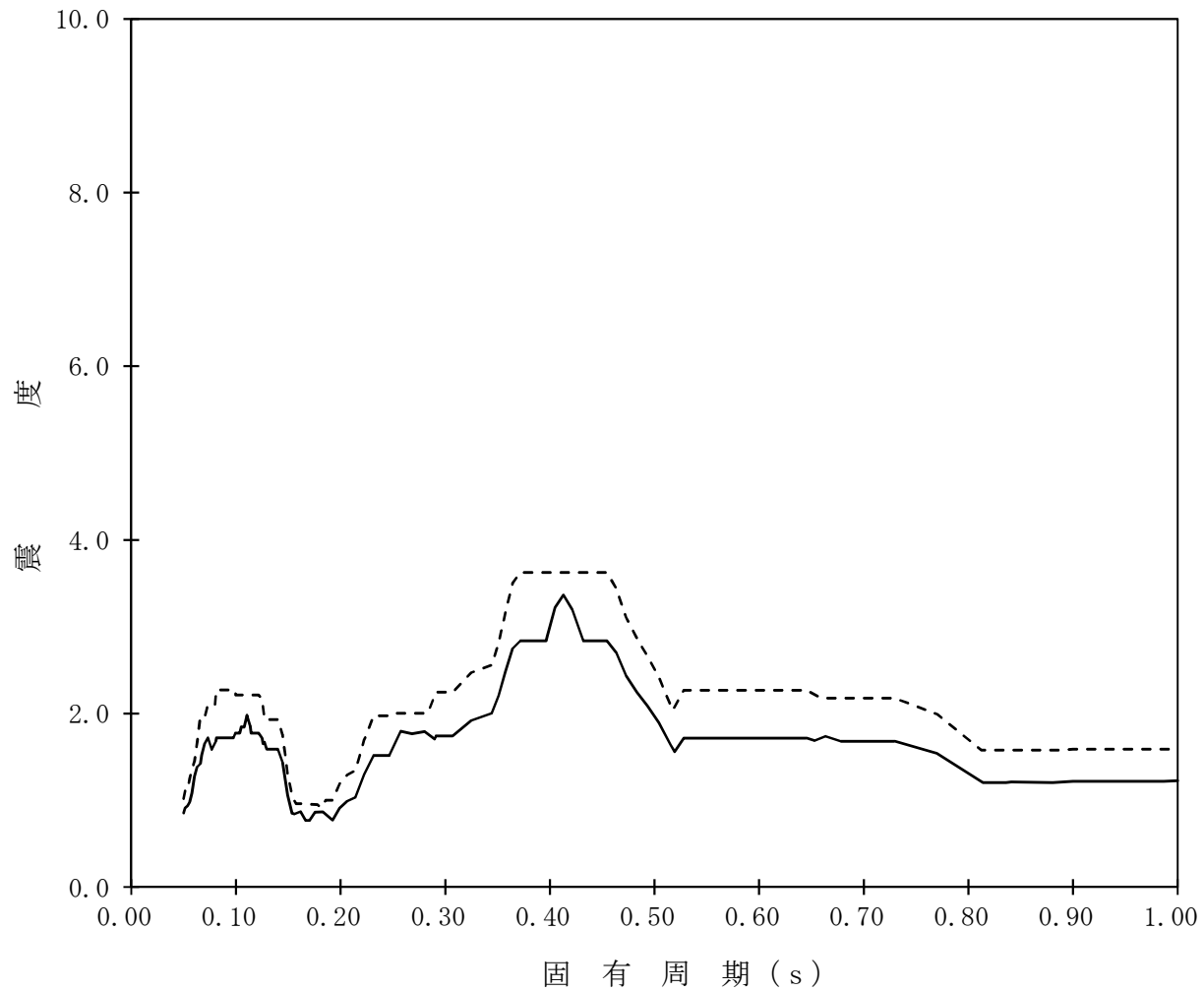
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW30】

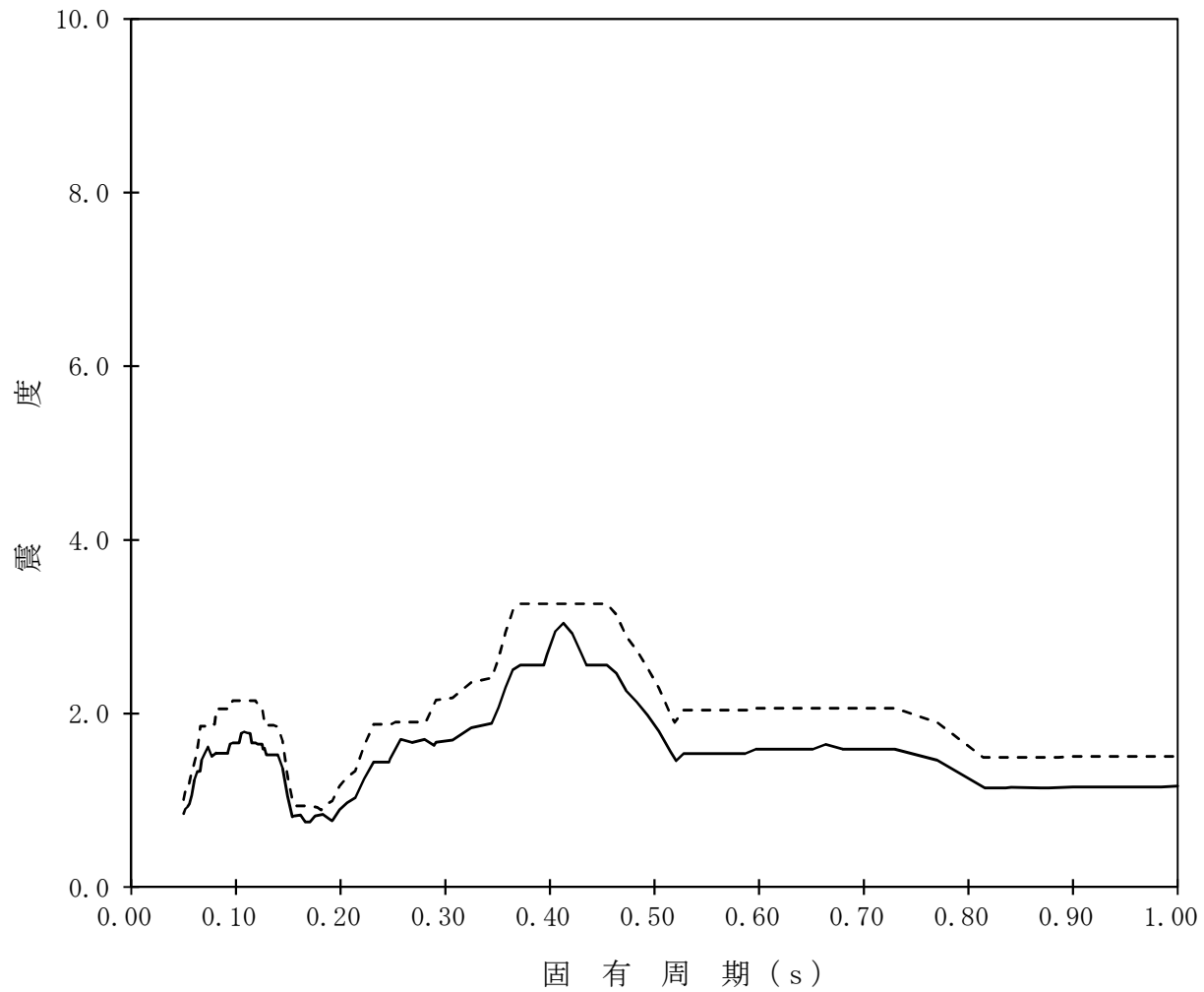
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW31】

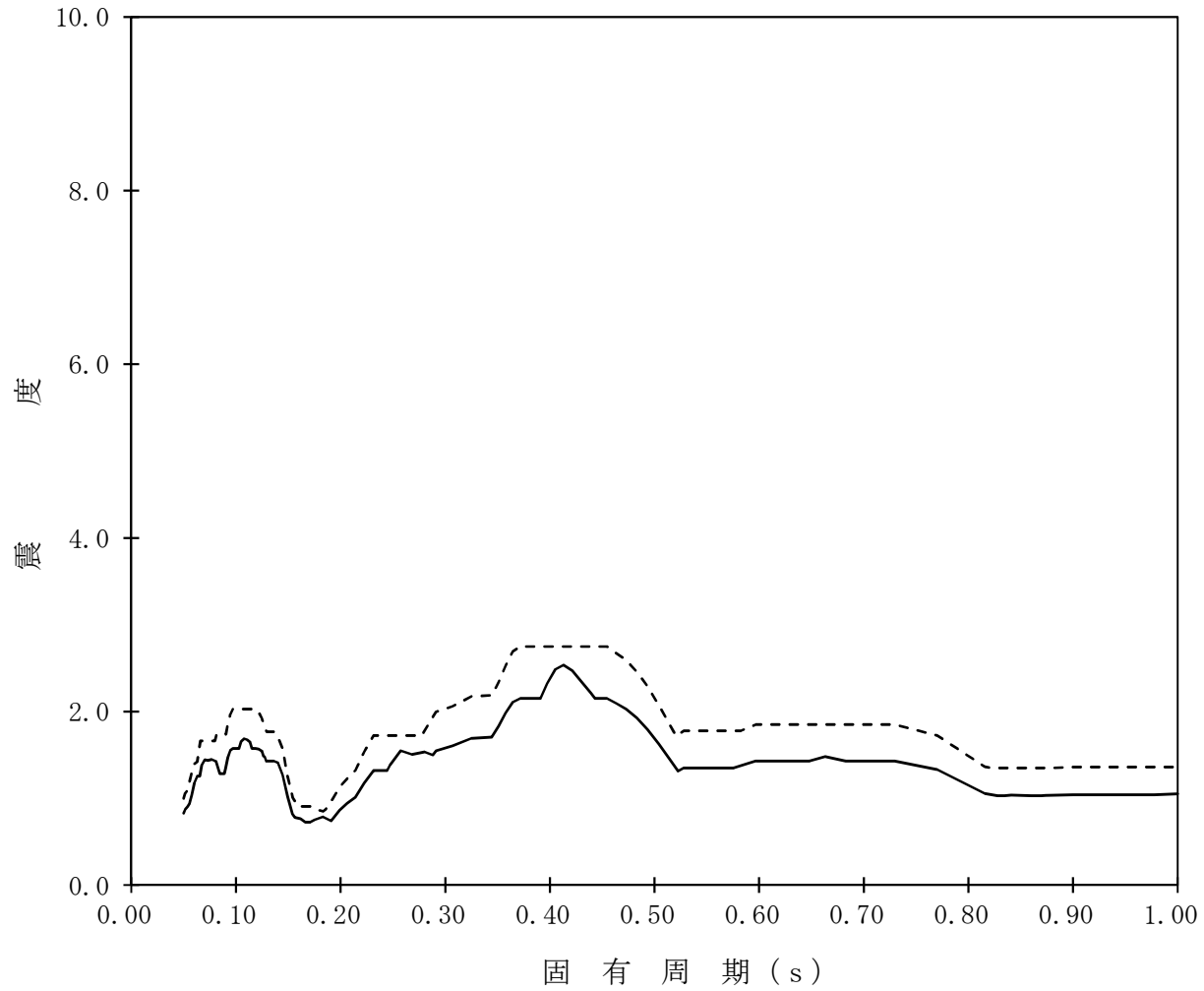
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW32】

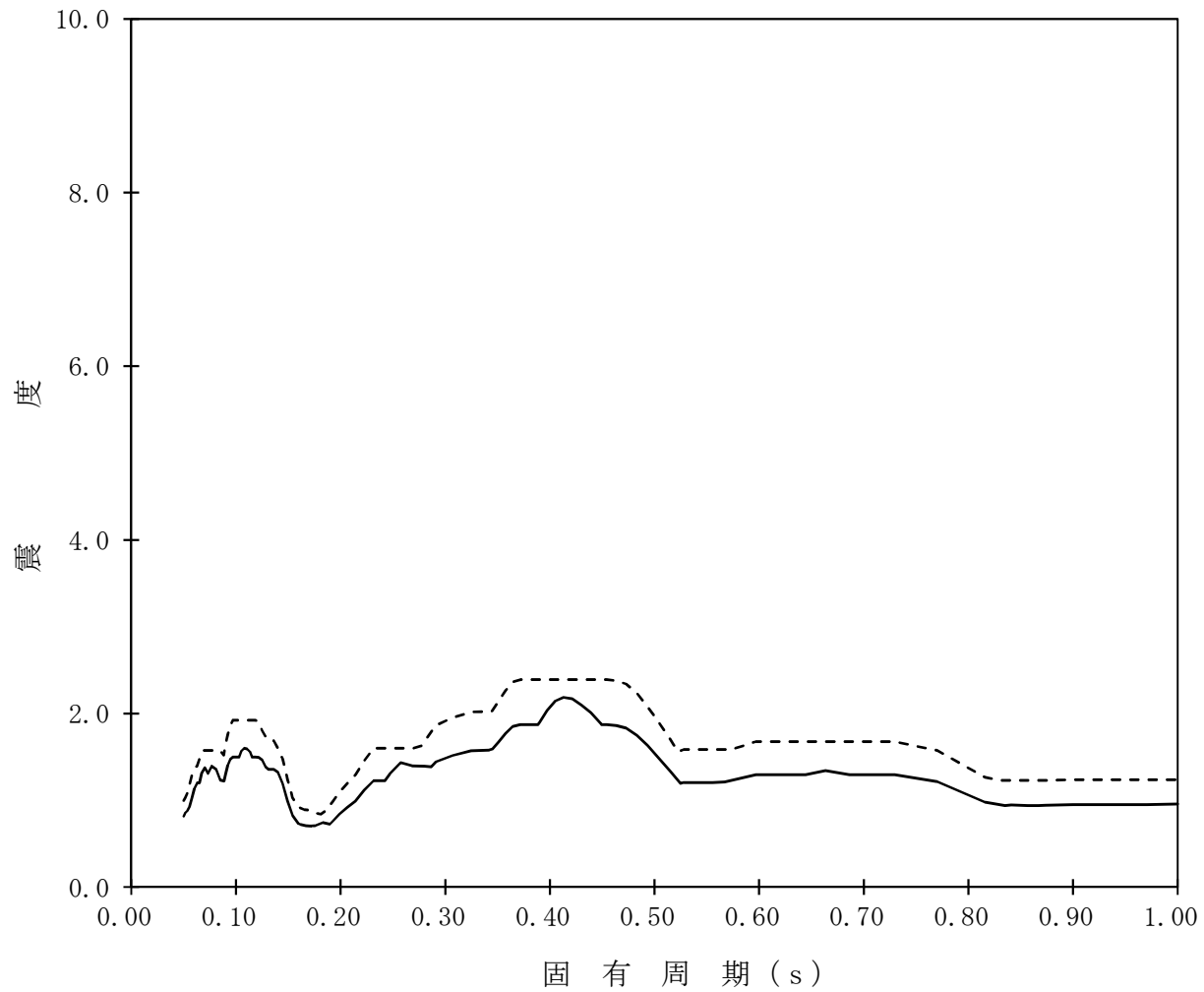
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 18. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



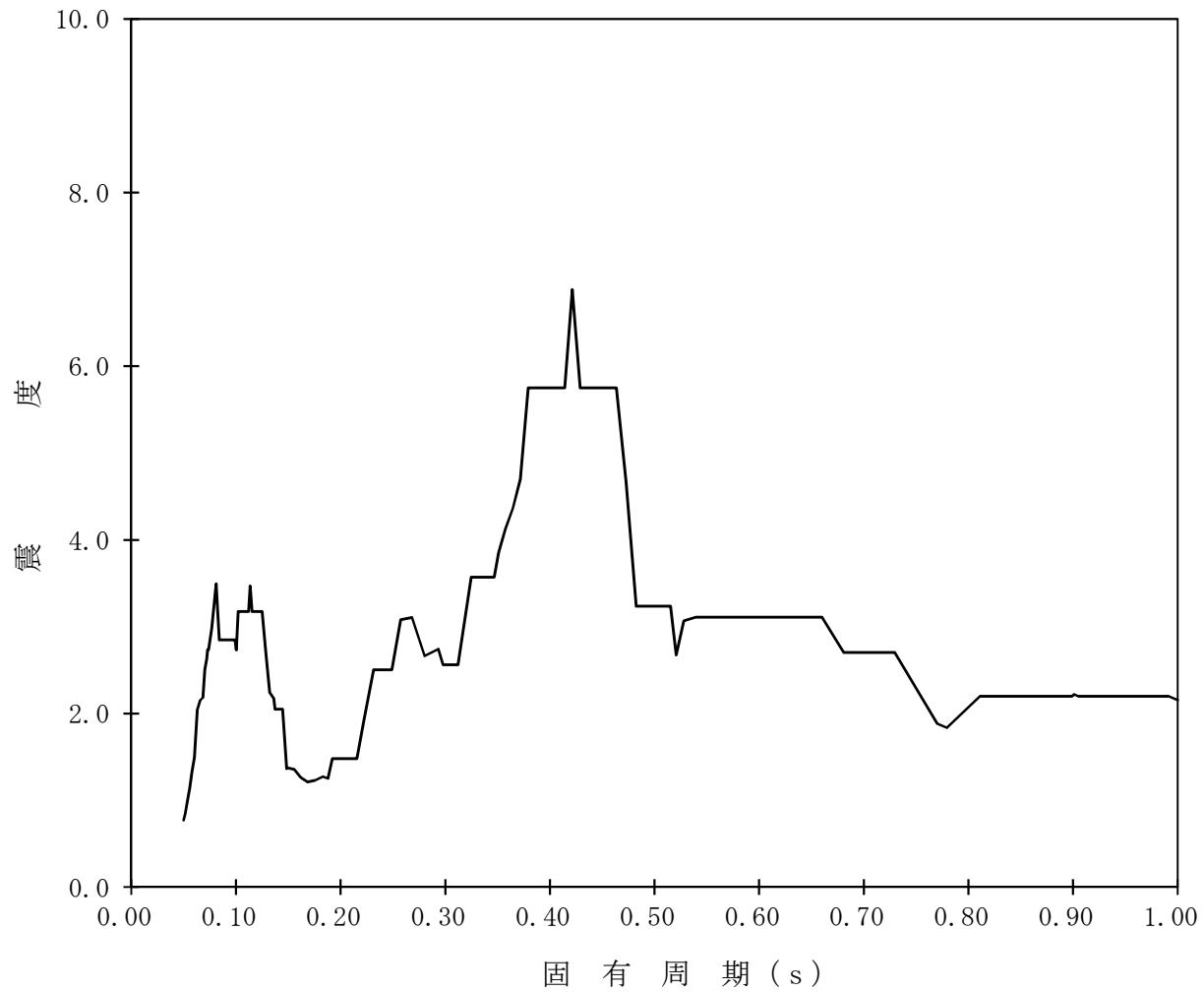
【K06-RCCV-SdH-RSW33】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



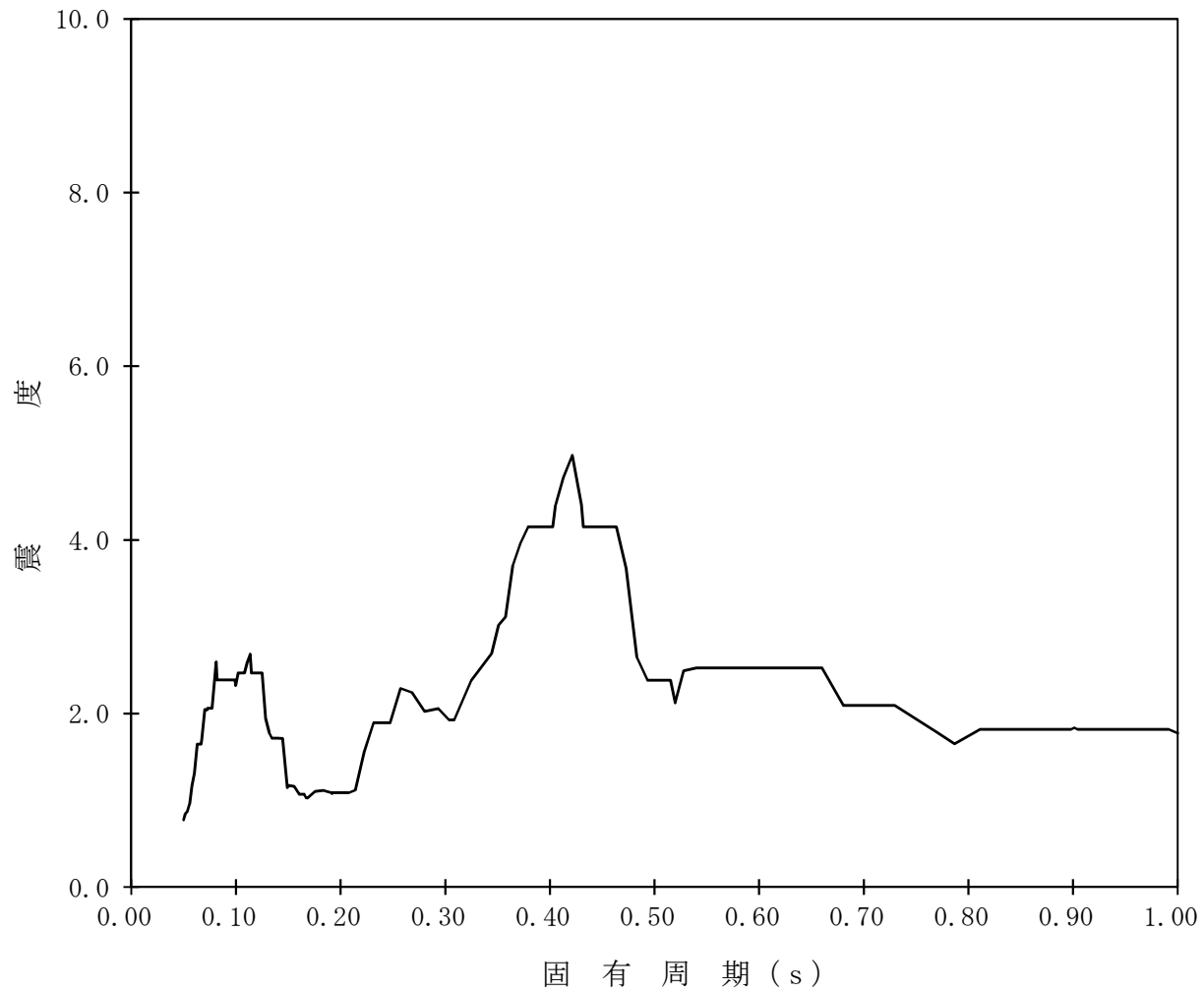
【K06-RCCV-SdH-RSW34】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-RSW35】

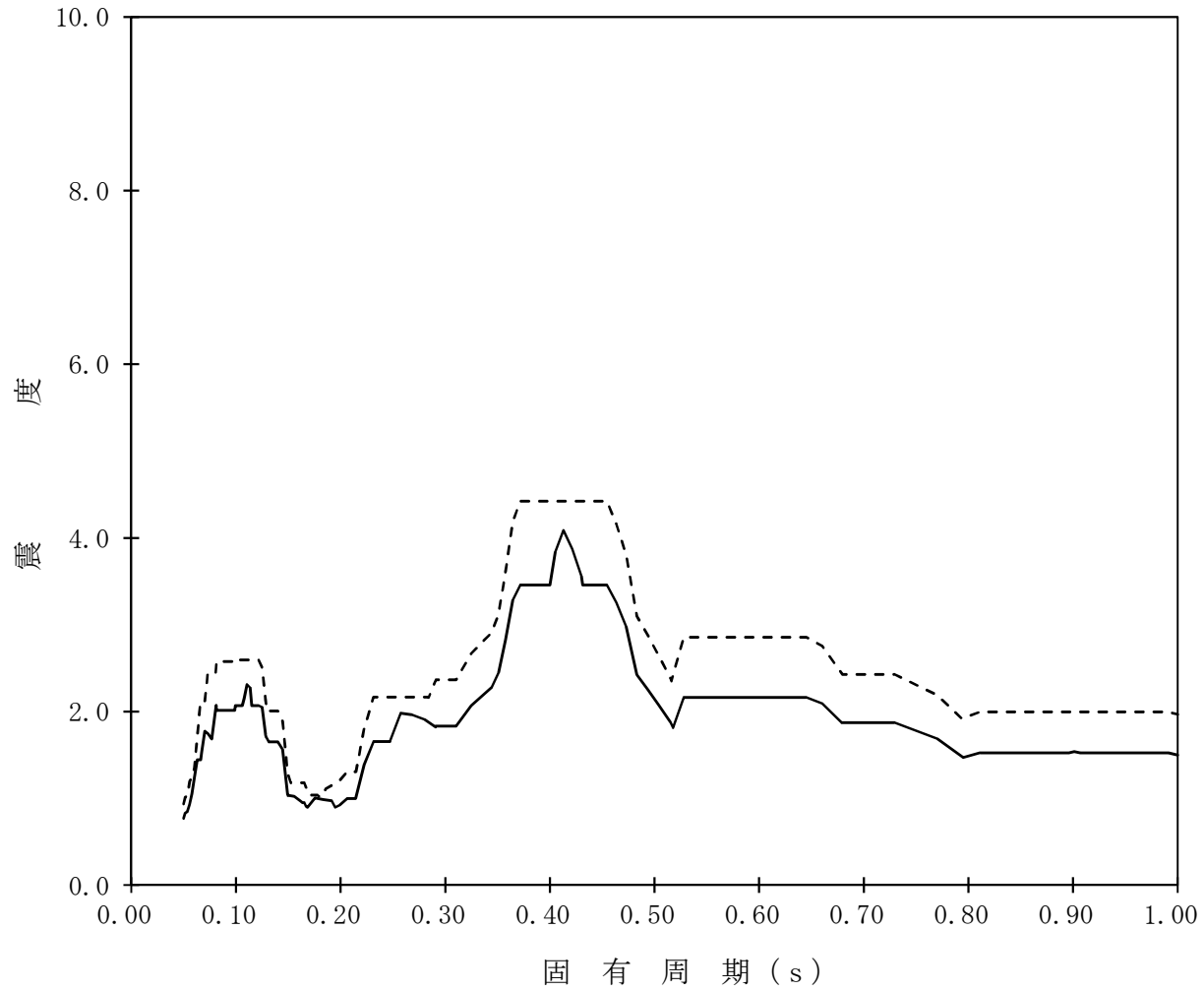
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW36】

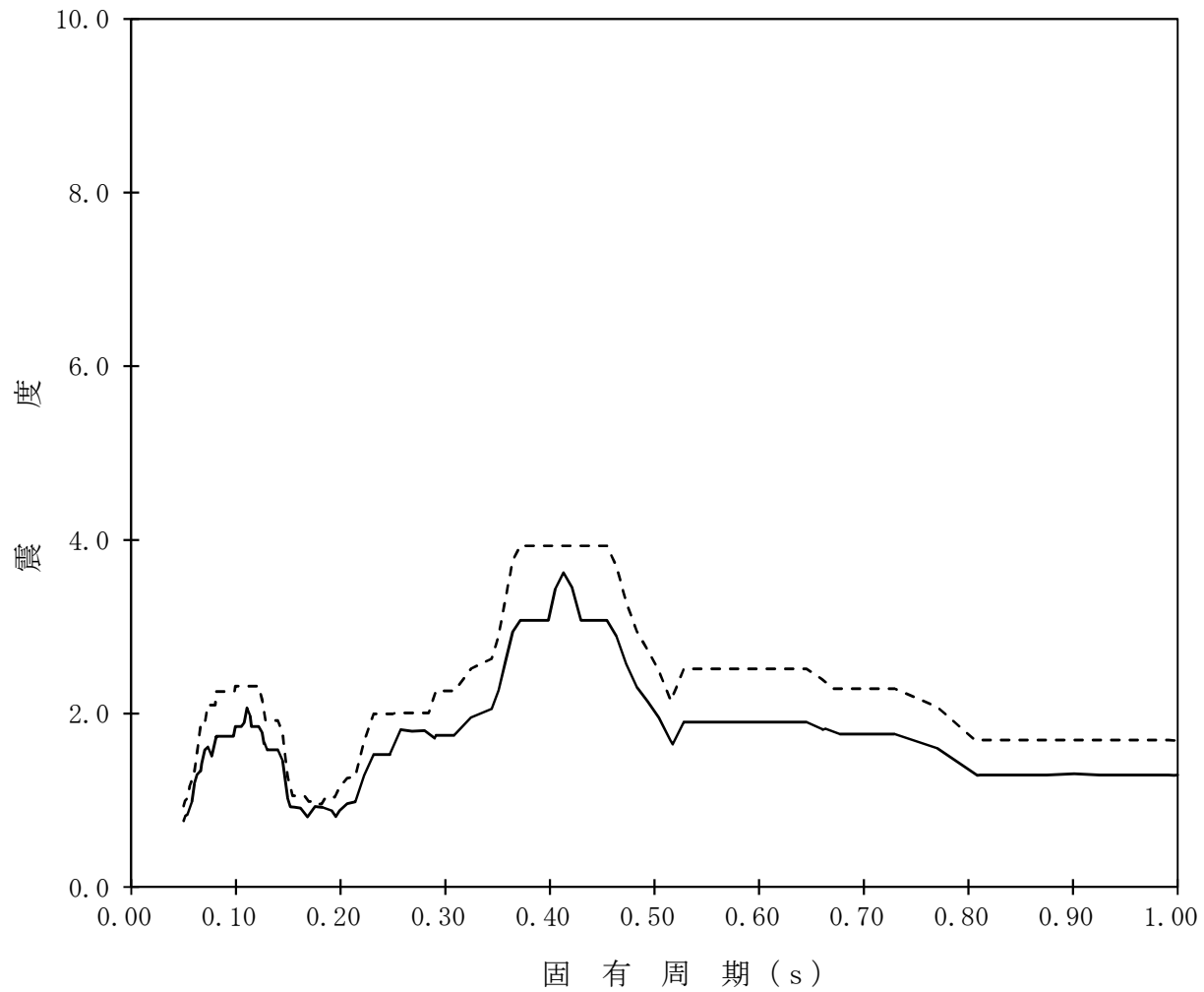
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW37】

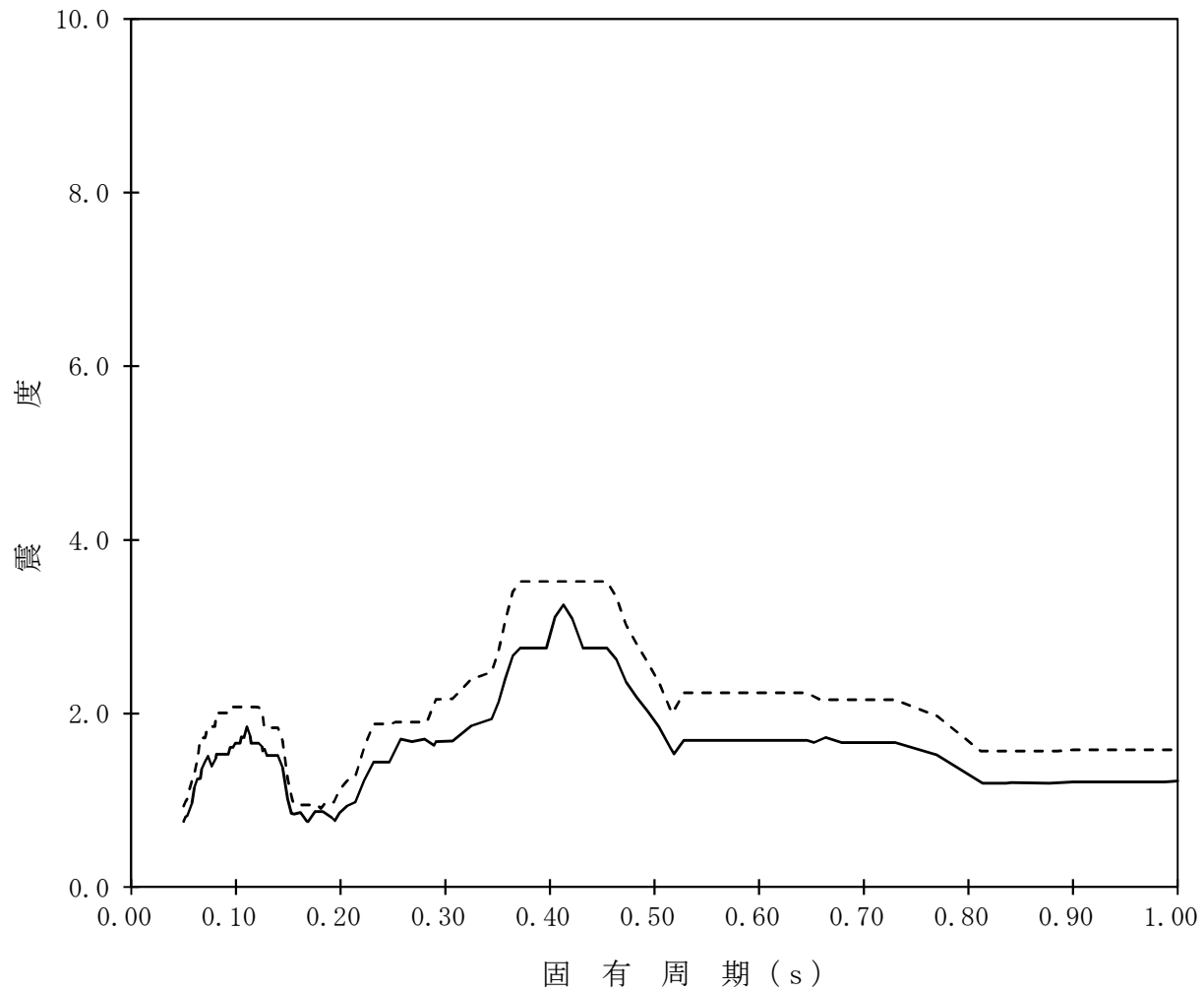
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW38】

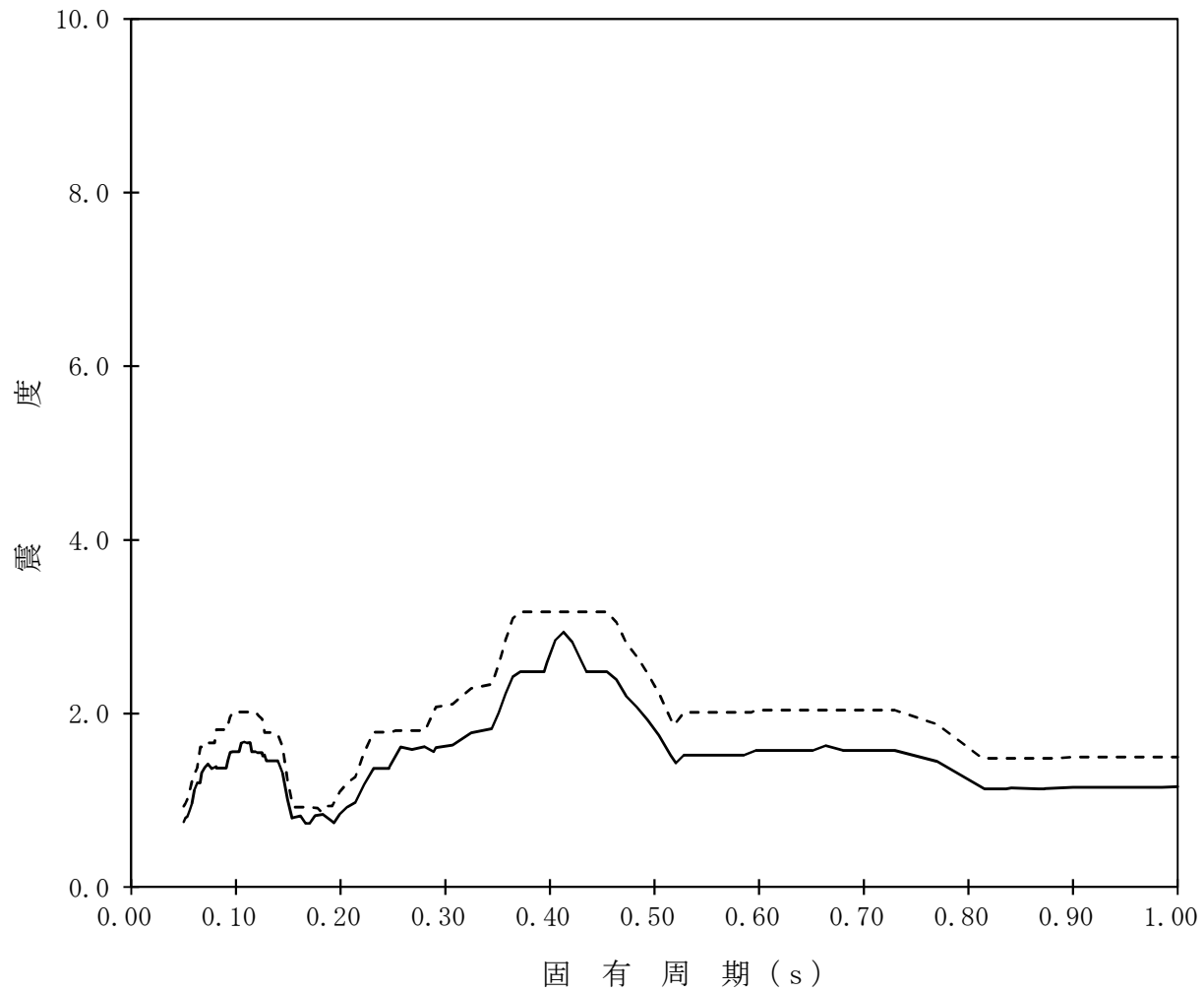
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW39】

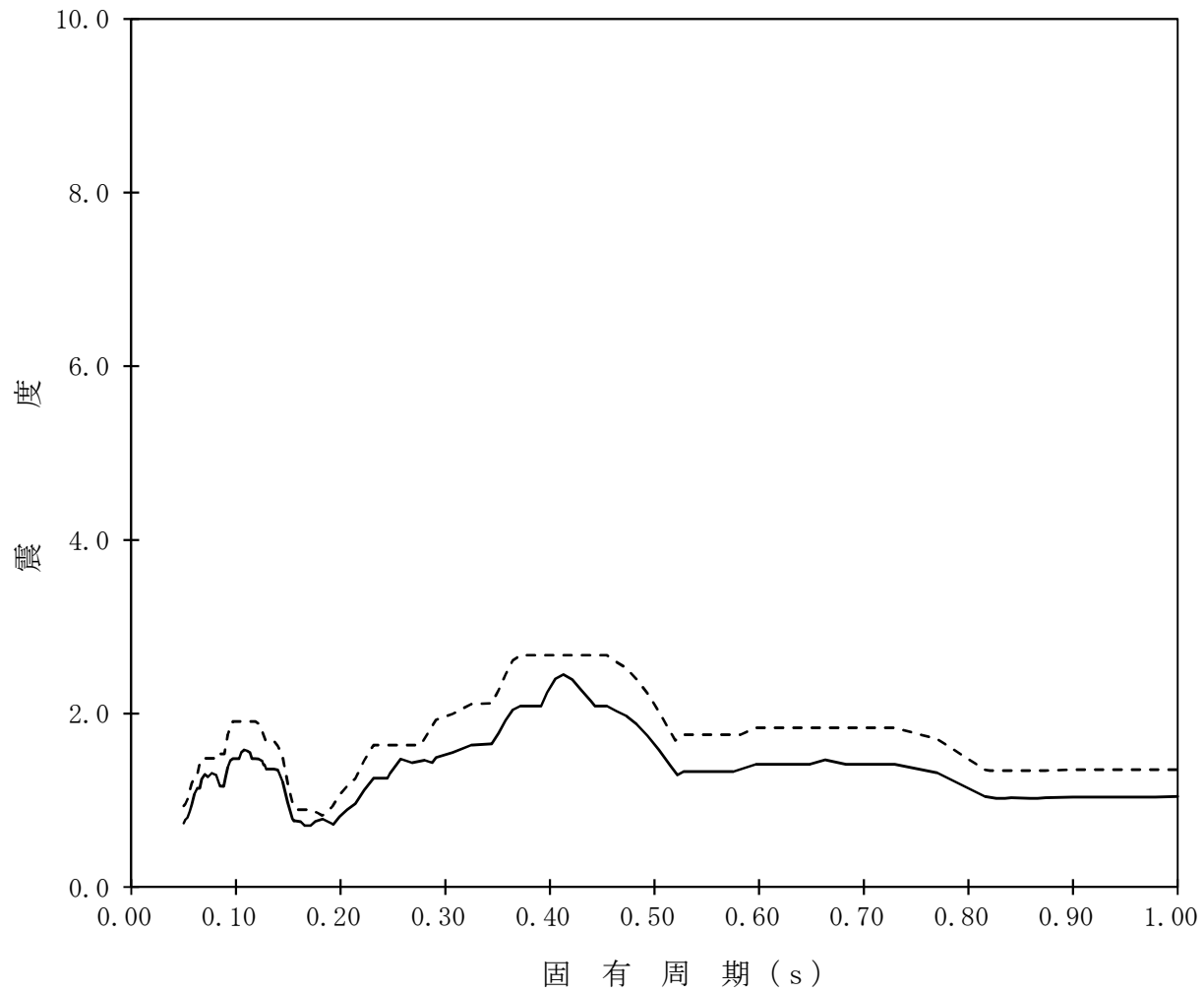
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW40】

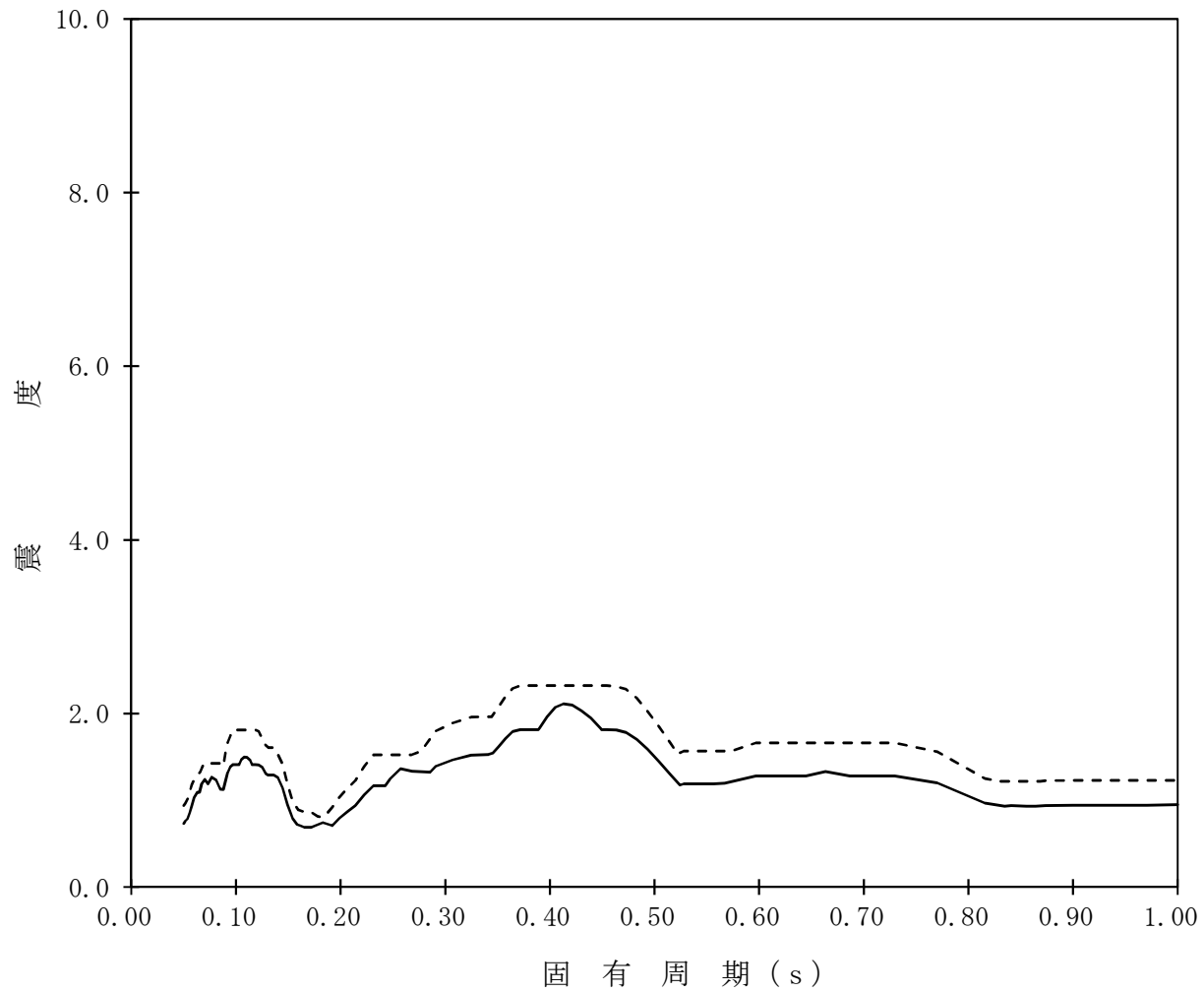
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 16. 850m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



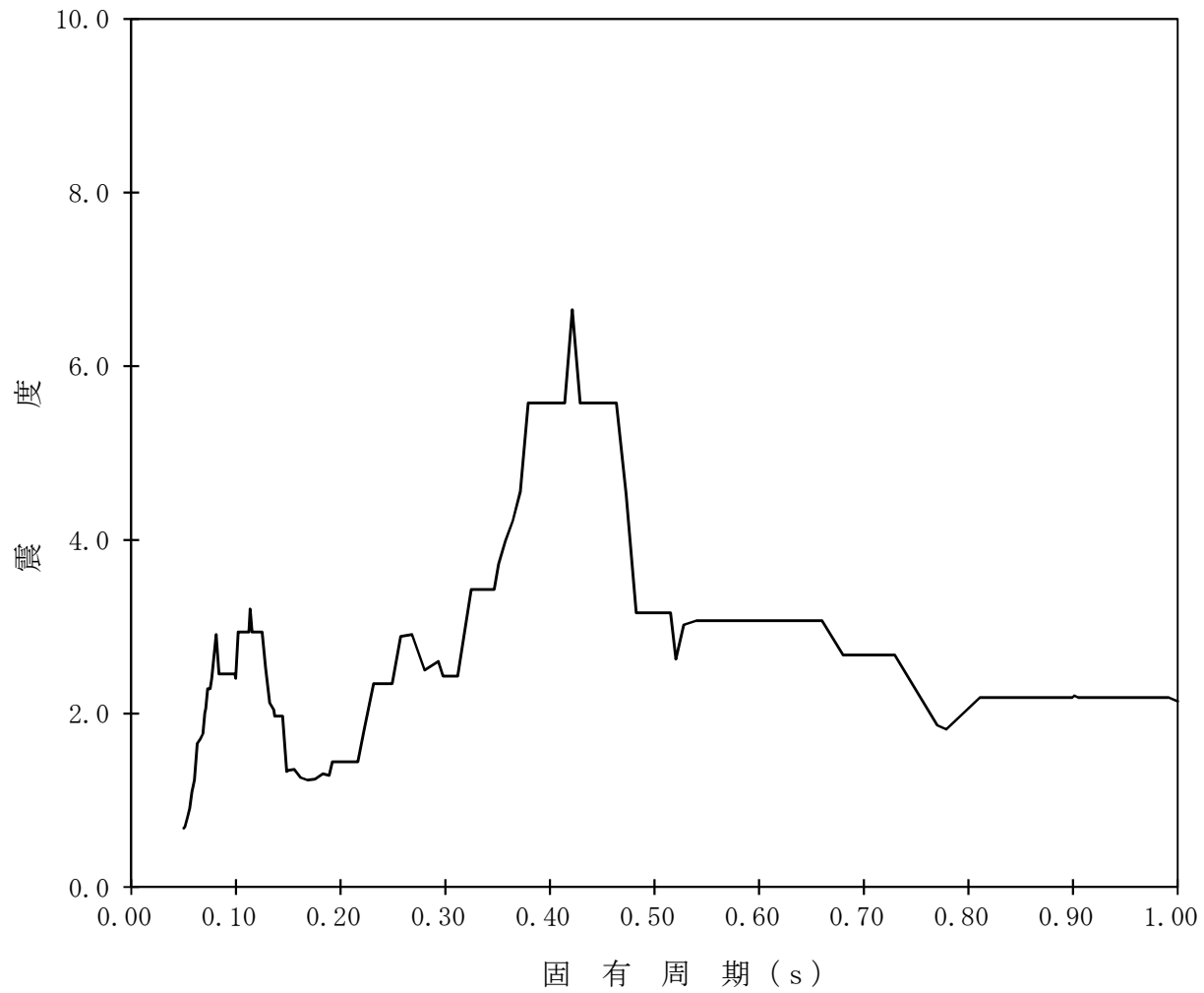
【K06-RCCV-SdH-RSW41】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 15. 600m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



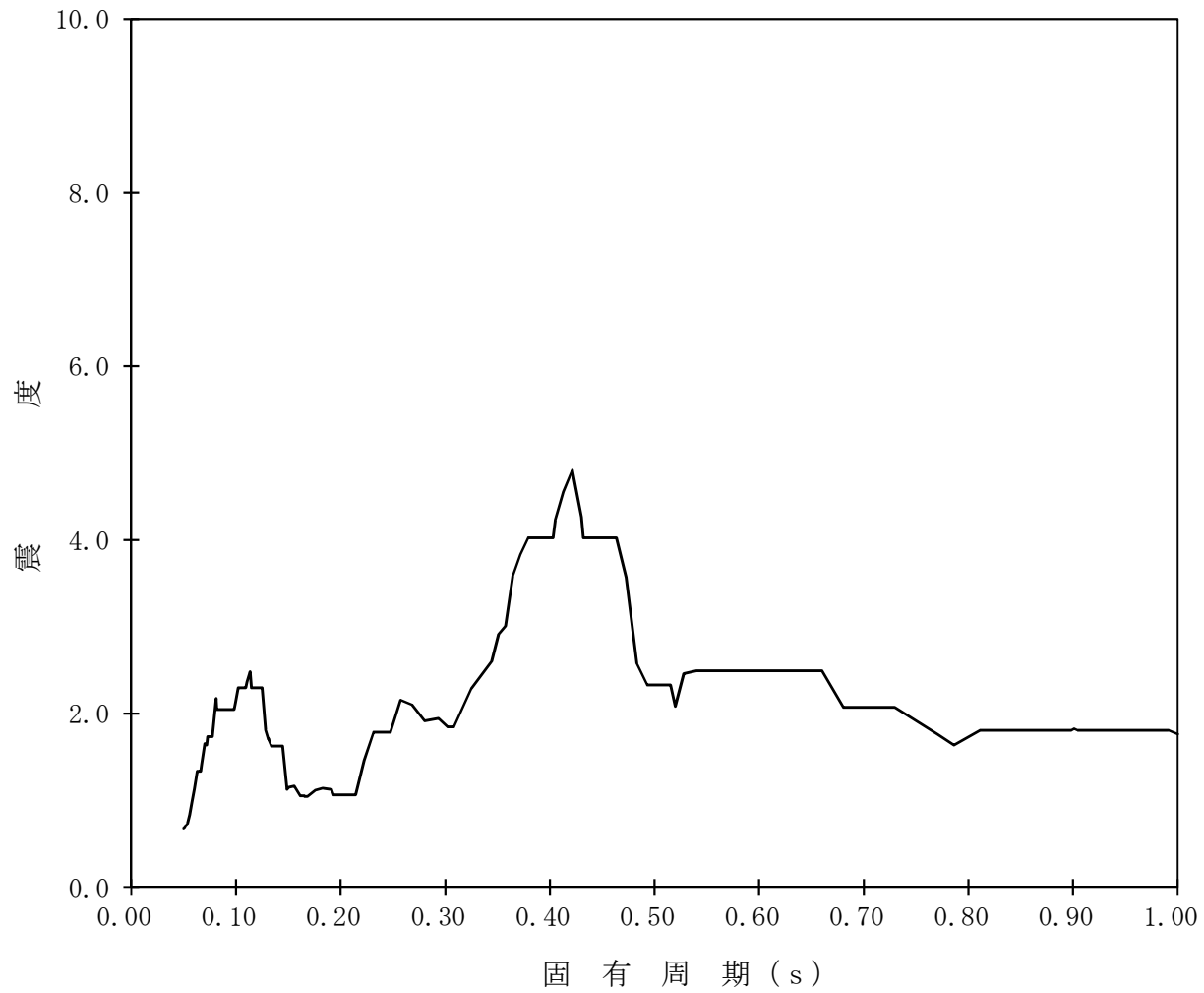
【K06-RCCV-SdH-RSW42】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 15. 600m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-RSW43】

構造物名：原子炉遮蔽壁

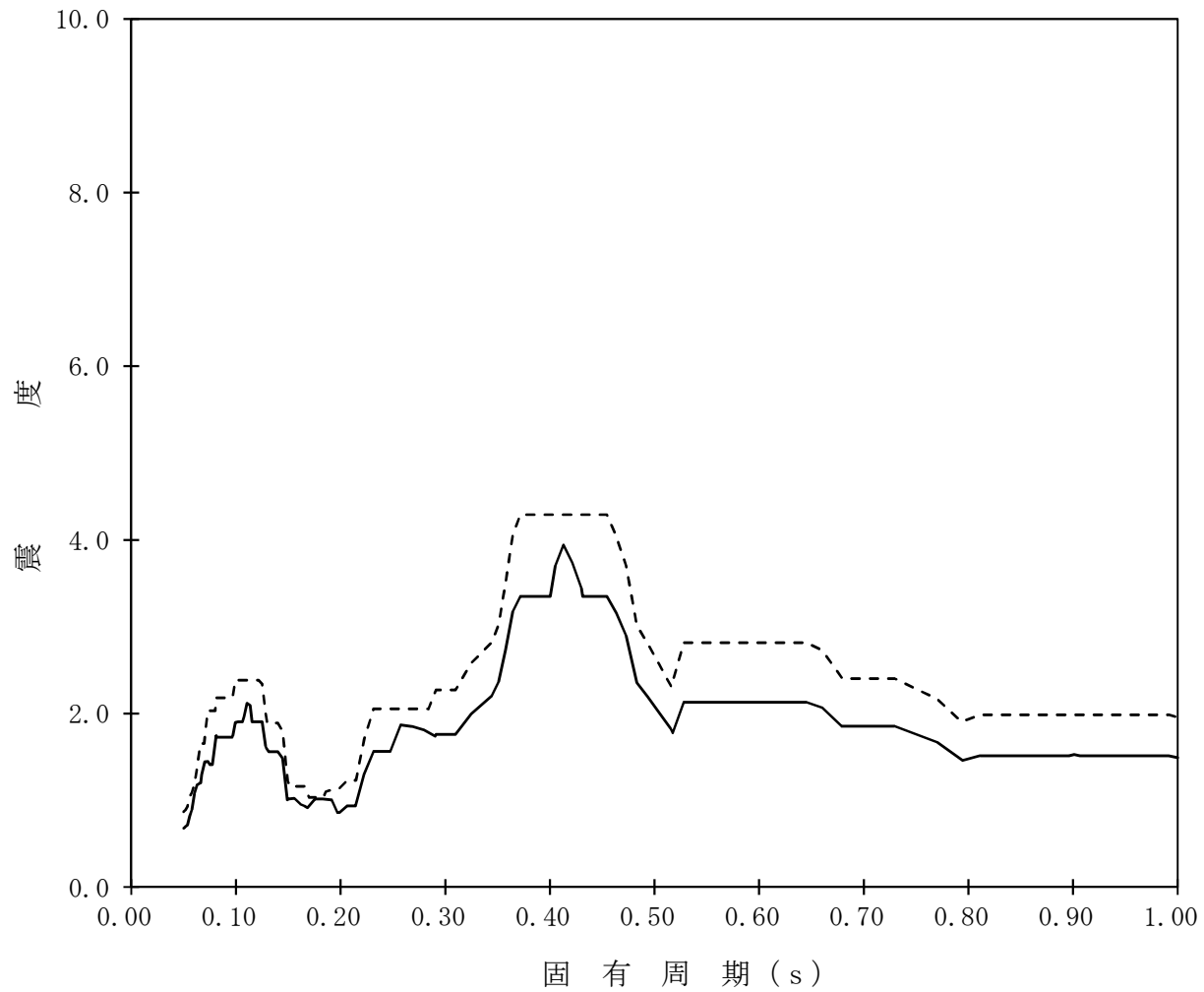
標高：T. M. S. L. 15. 600m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：1. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW44】

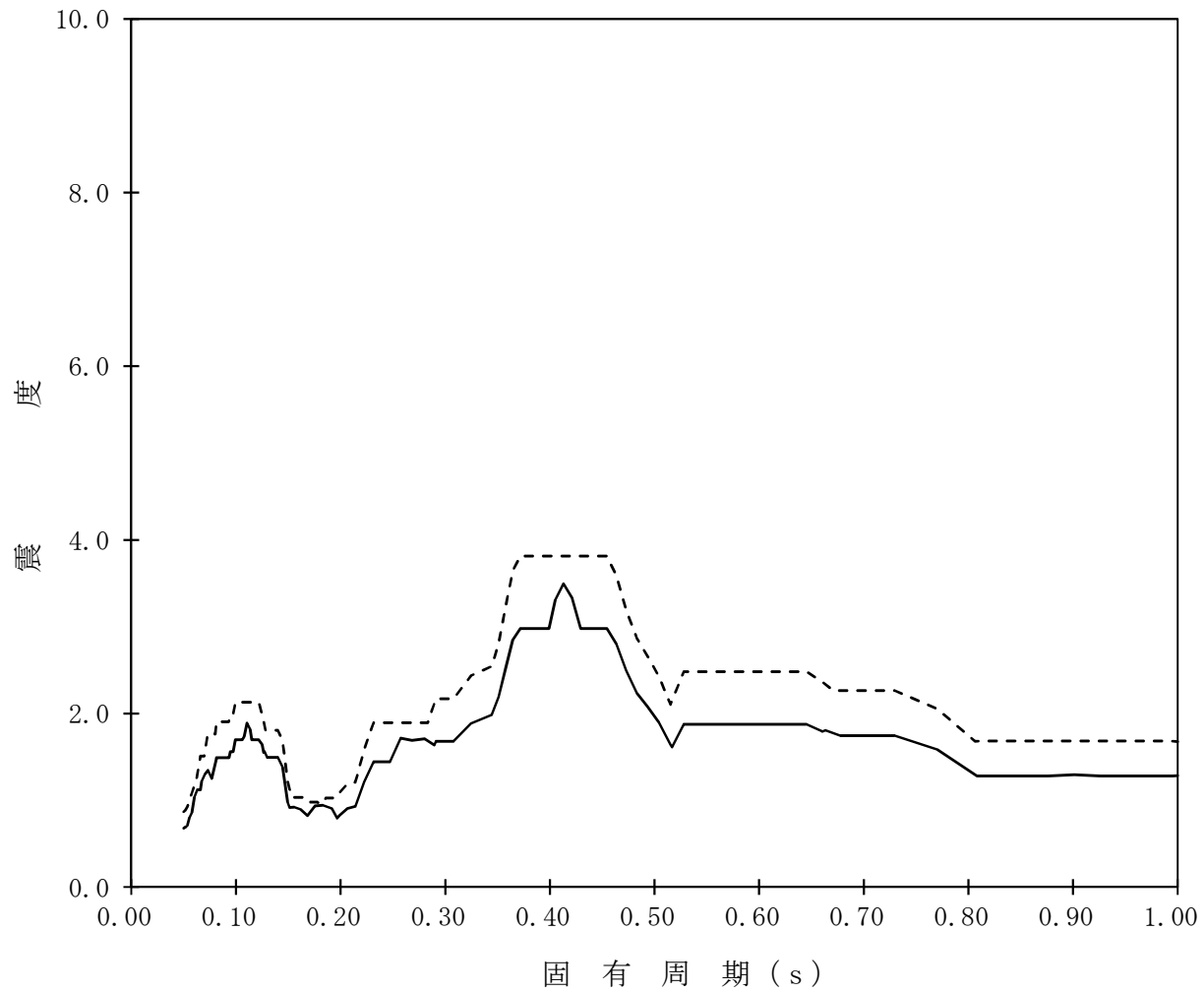
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 15. 600m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW45】

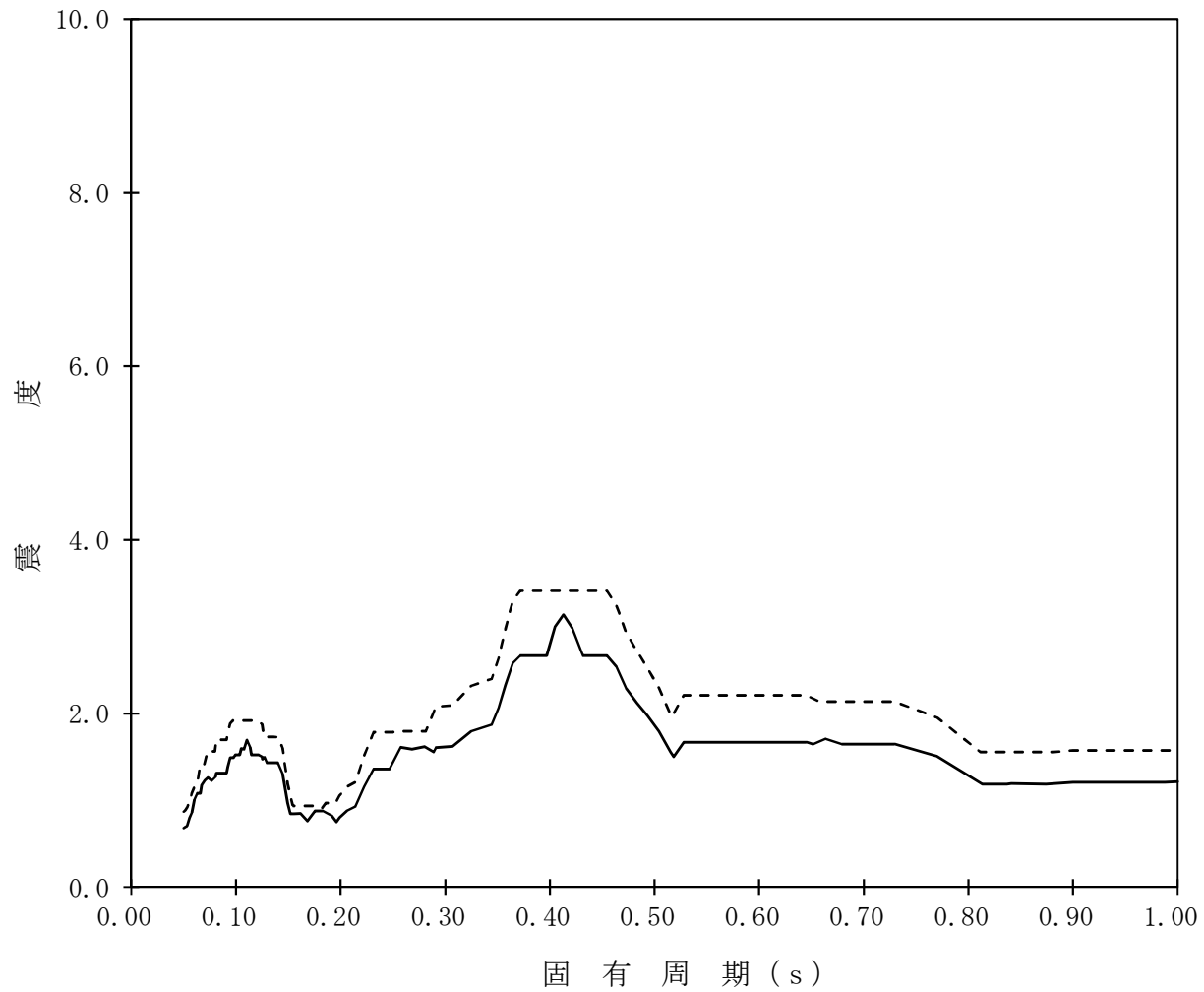
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 15.600m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW46】

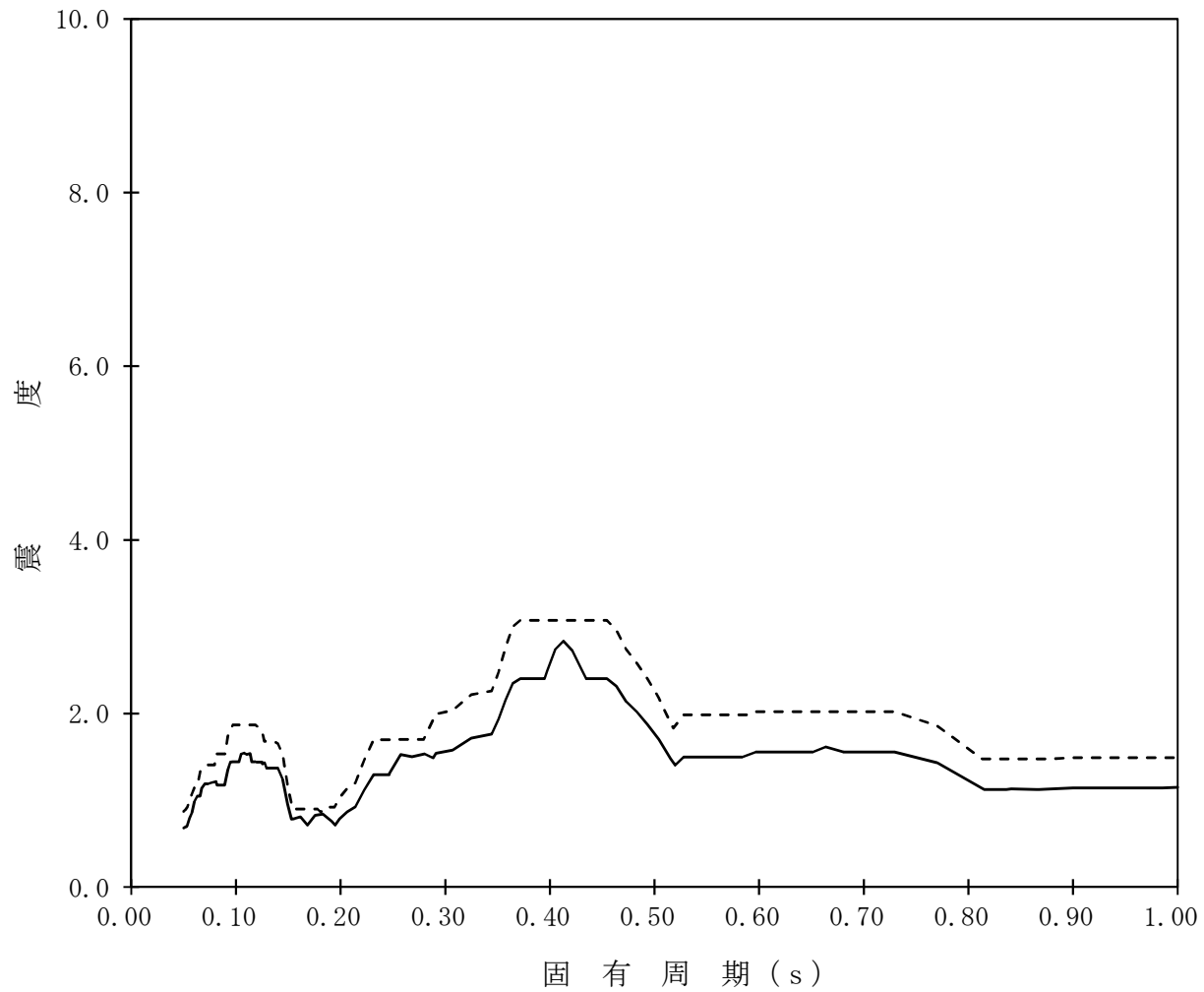
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 15. 600m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW47】

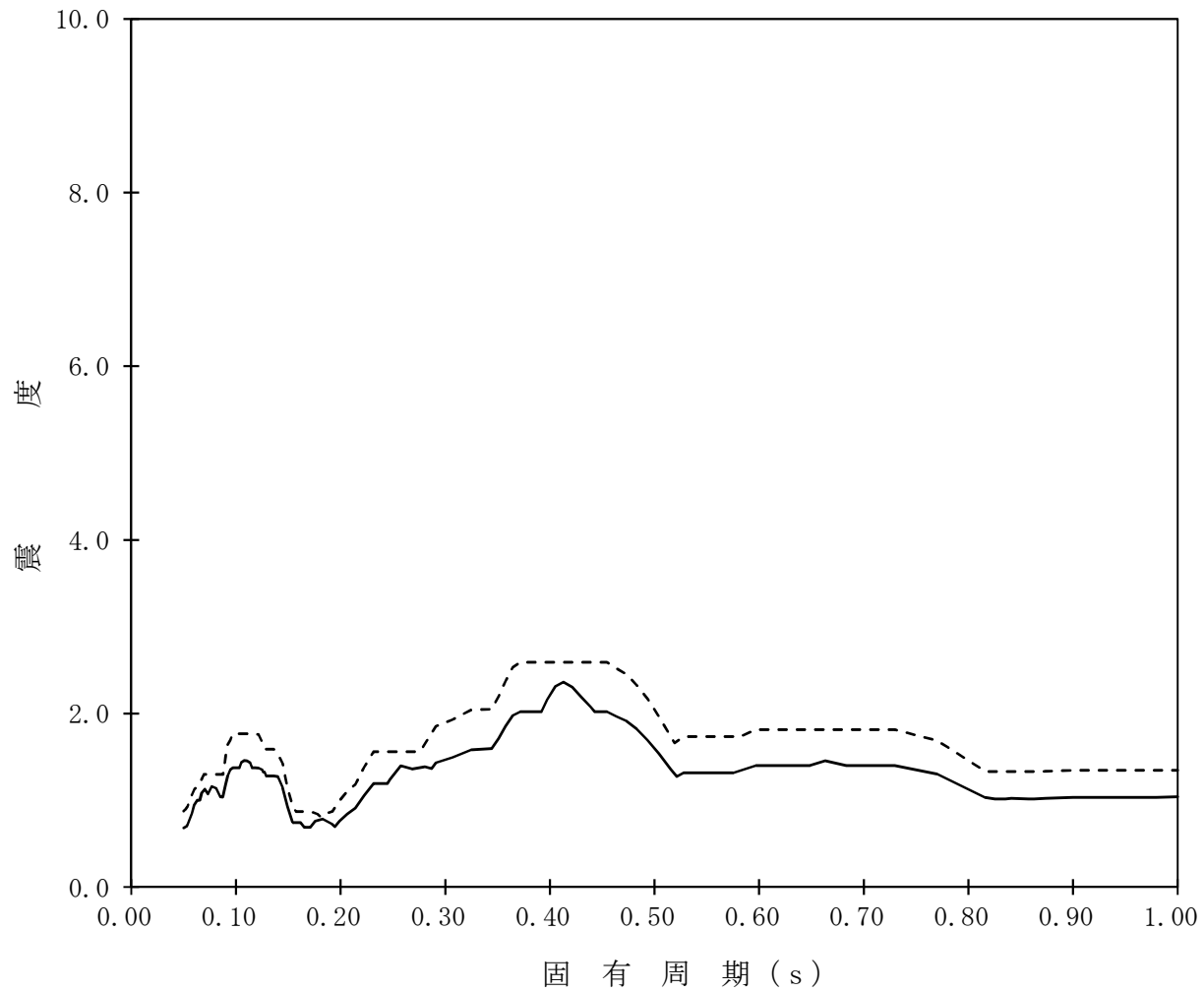
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 15. 600m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW48】

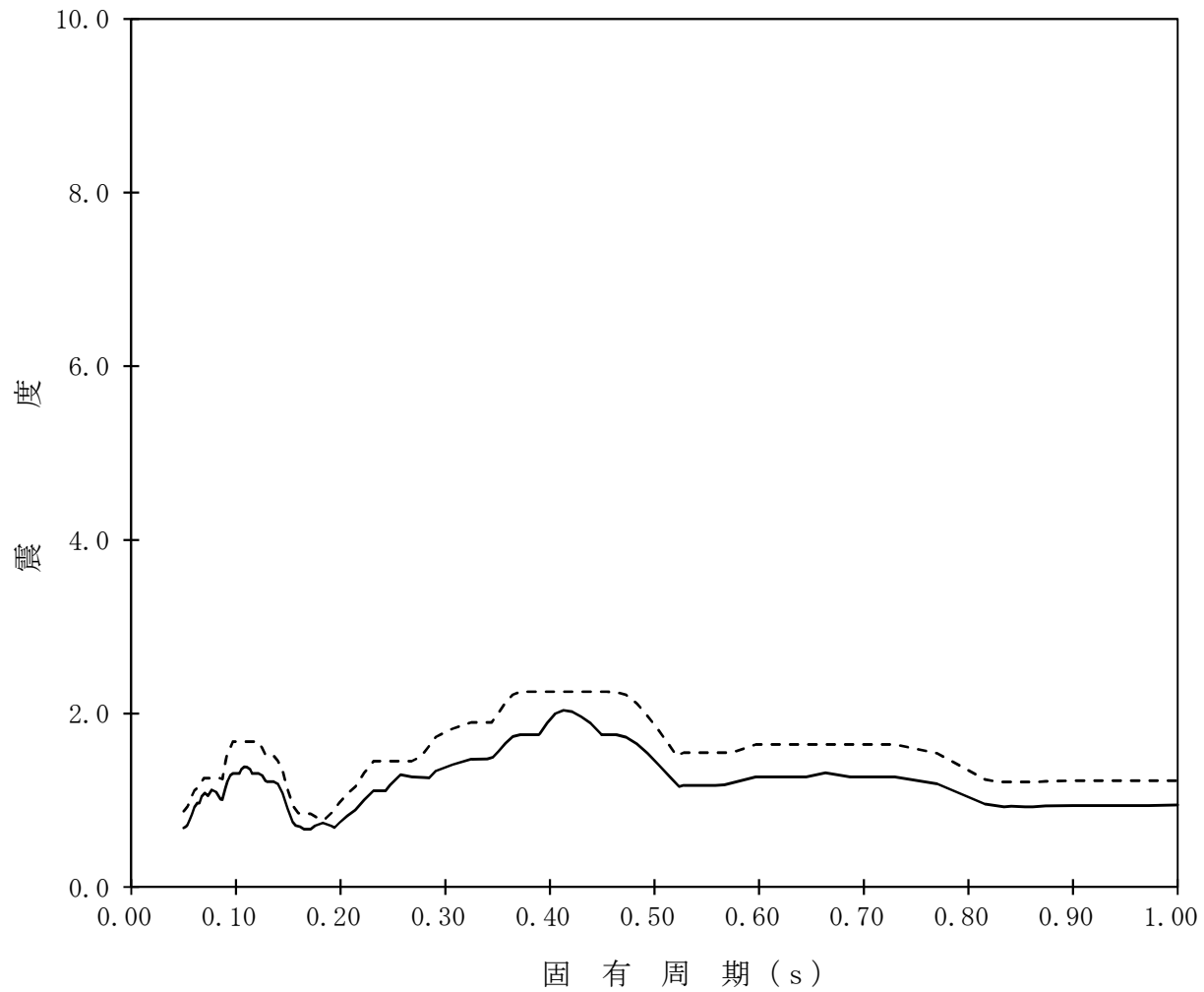
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 15. 600m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



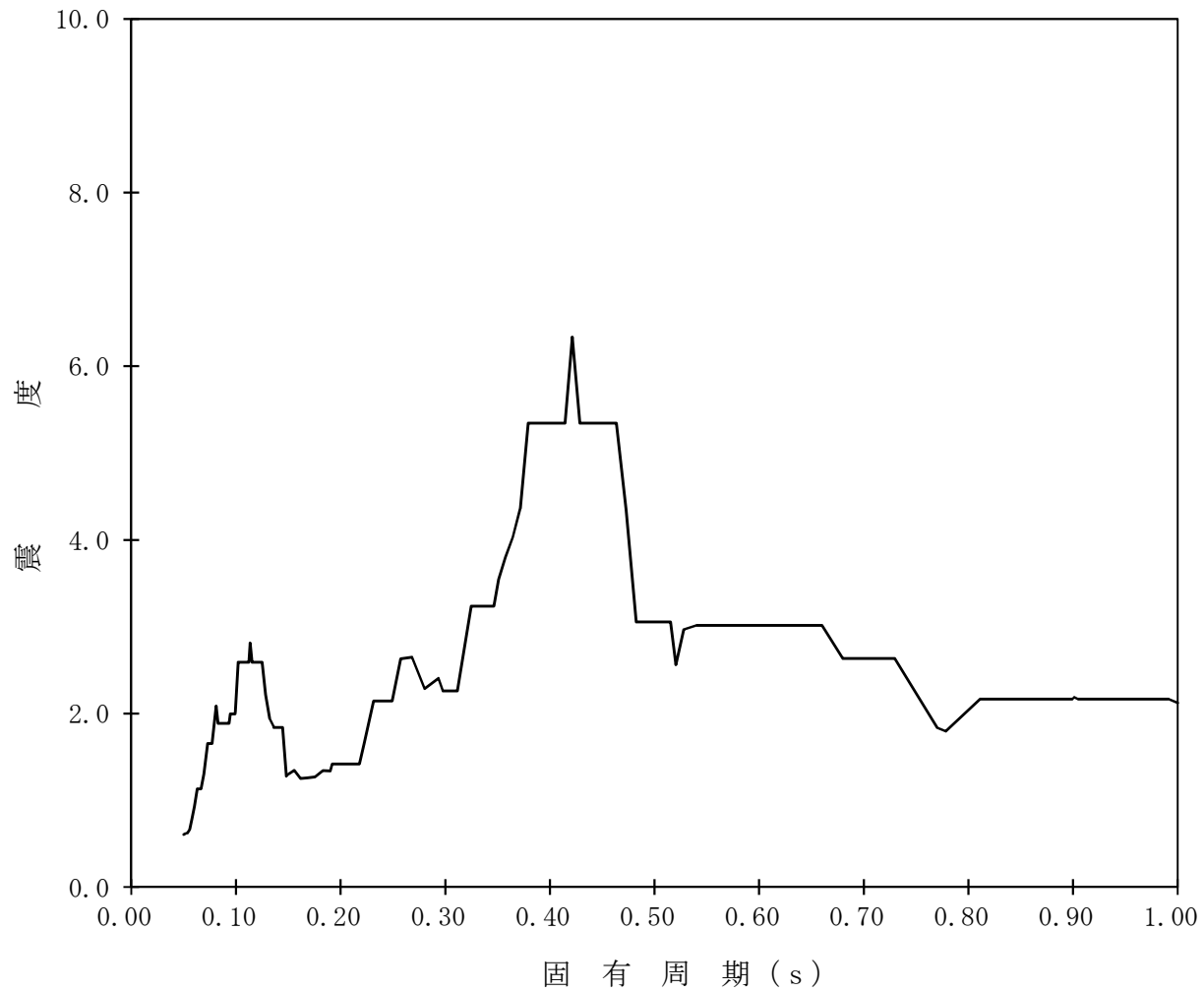
【K06-RCCV-SdH-RSW49】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 13.950m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



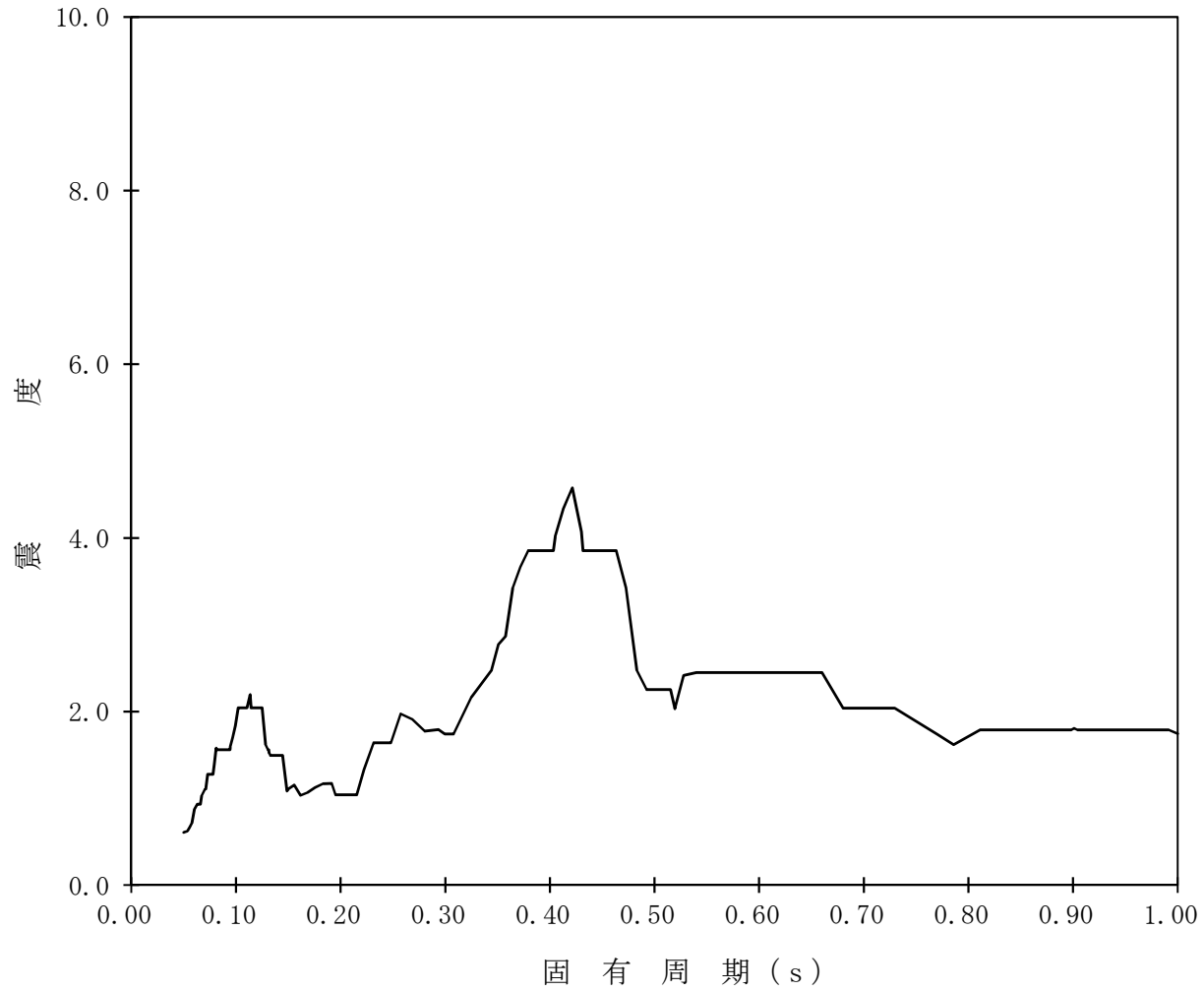
【K06-RCCV-SdH-RSW50】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 13. 950m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



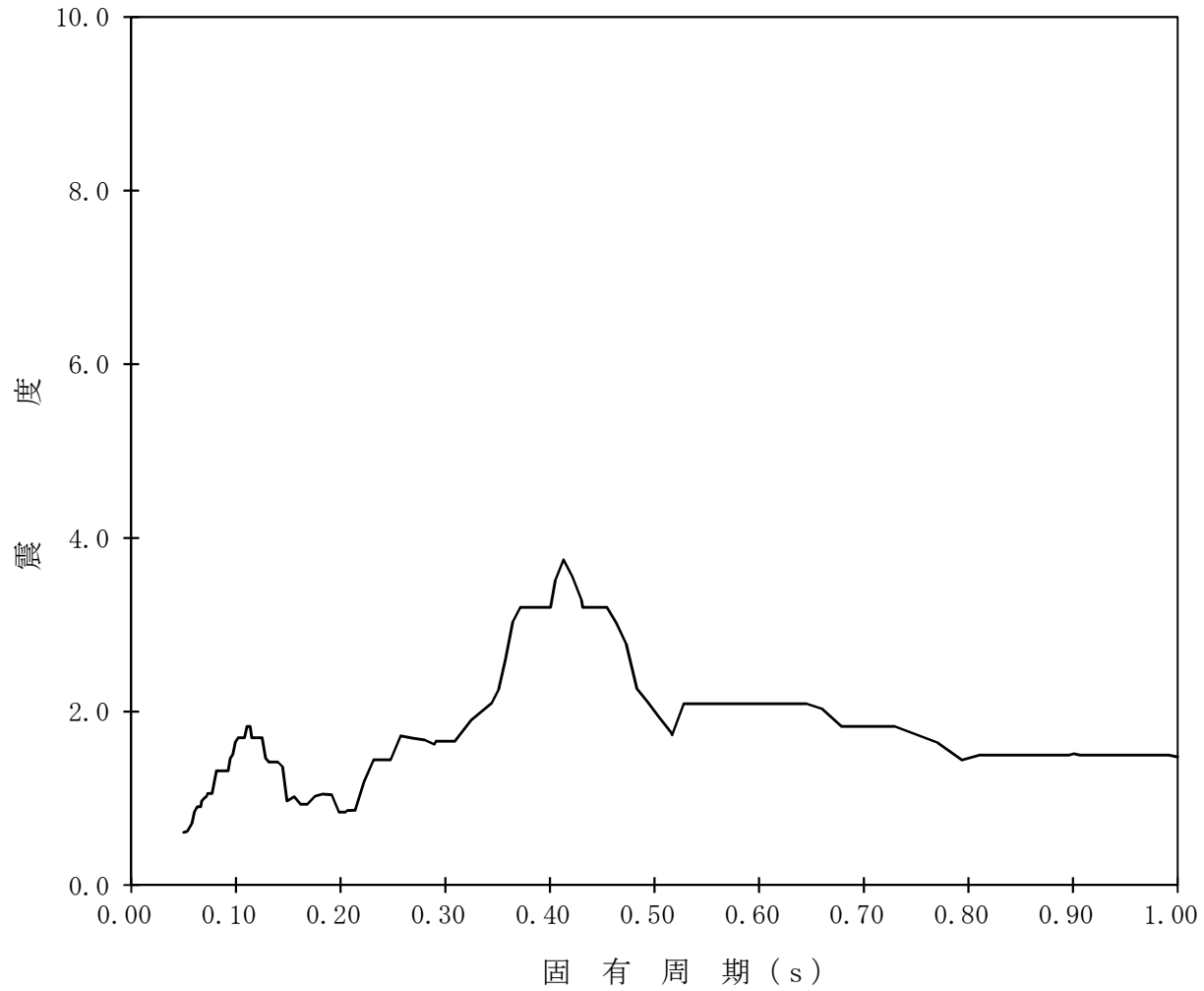
【K06-RCCV-SdH-RSW51】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 13. 950m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



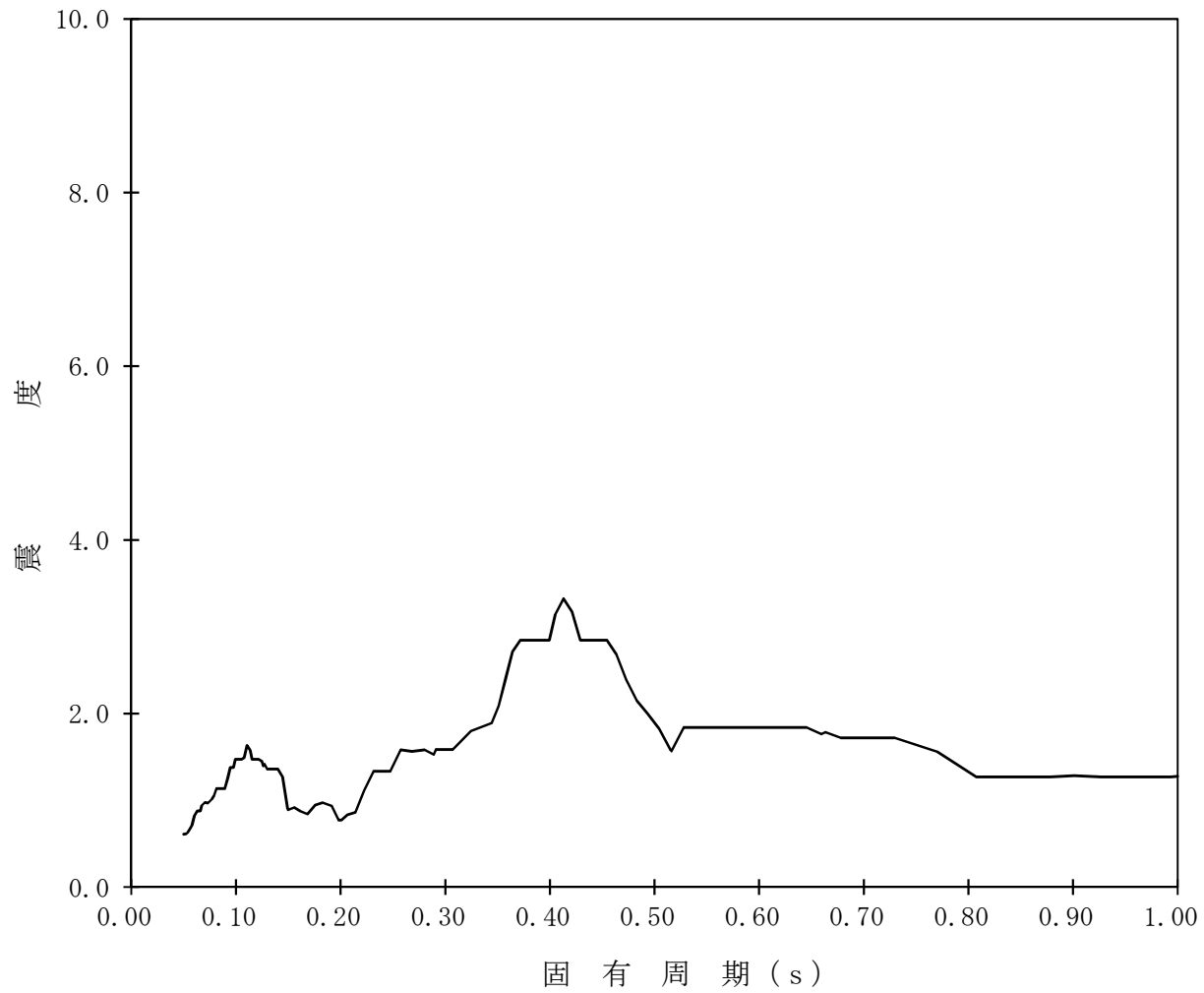
【K06-RCCV-SdH-RSW52】

構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 13. 950m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-RSW53】

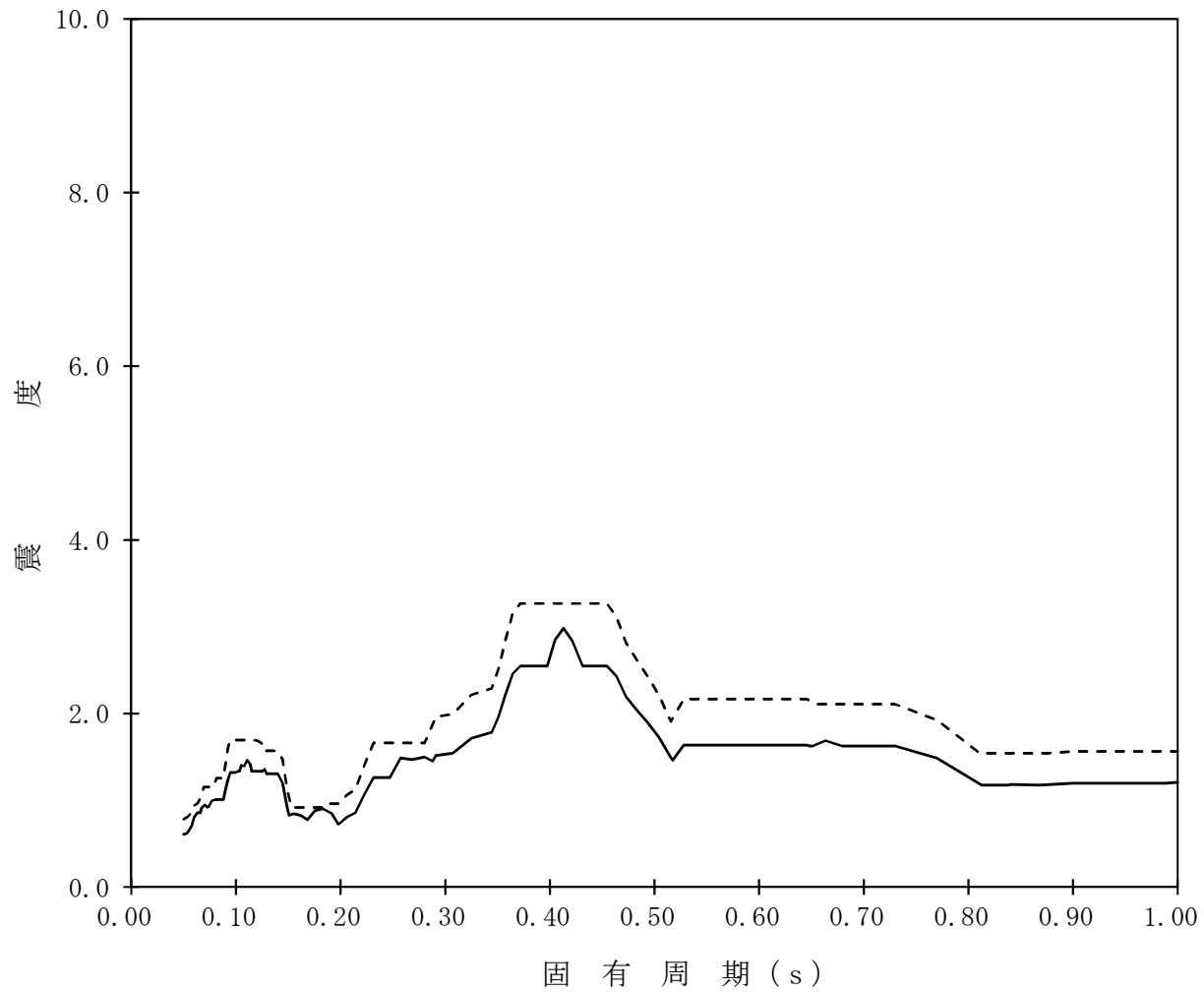
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 13.950m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RSW54】

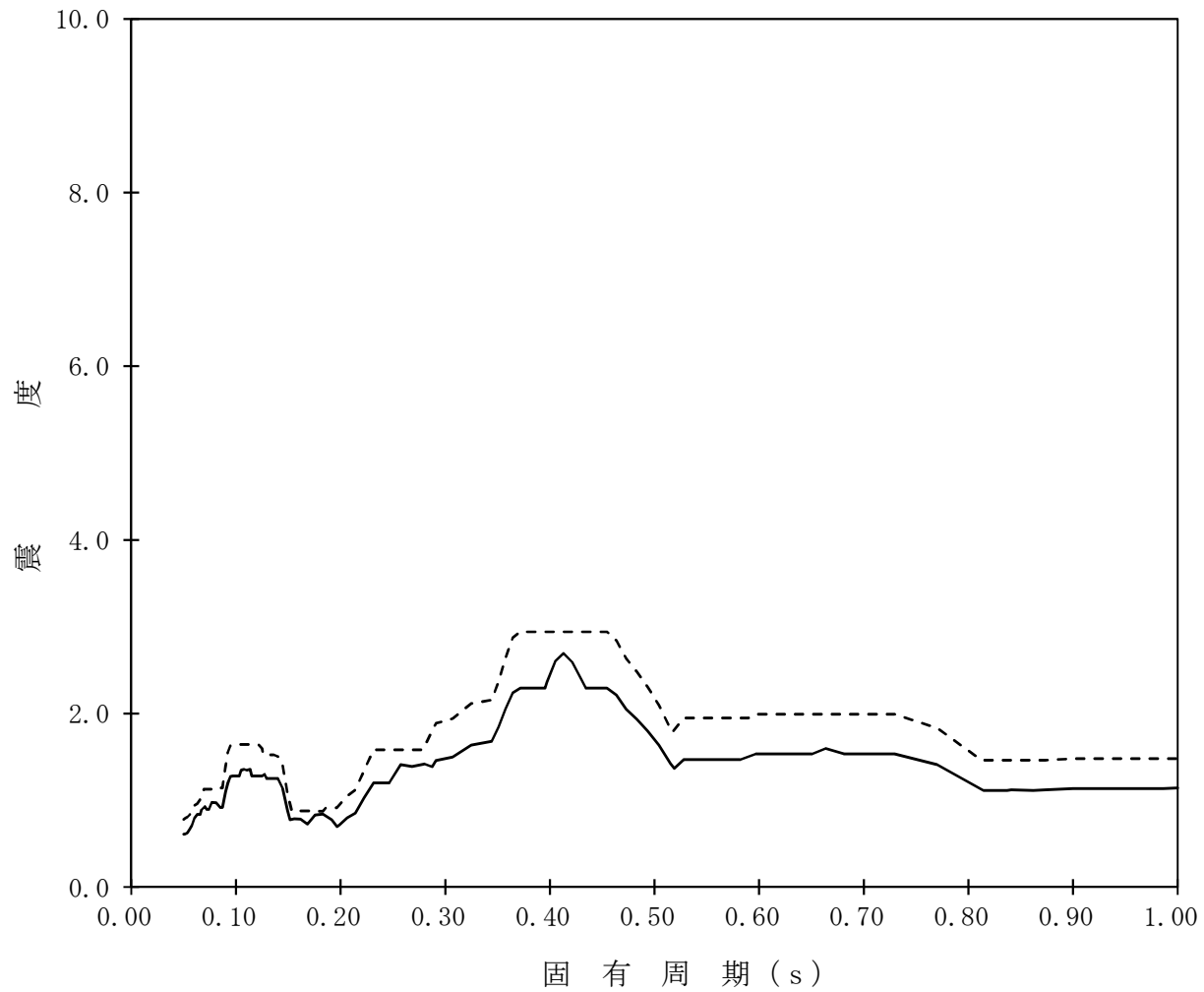
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 13. 950m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW55】

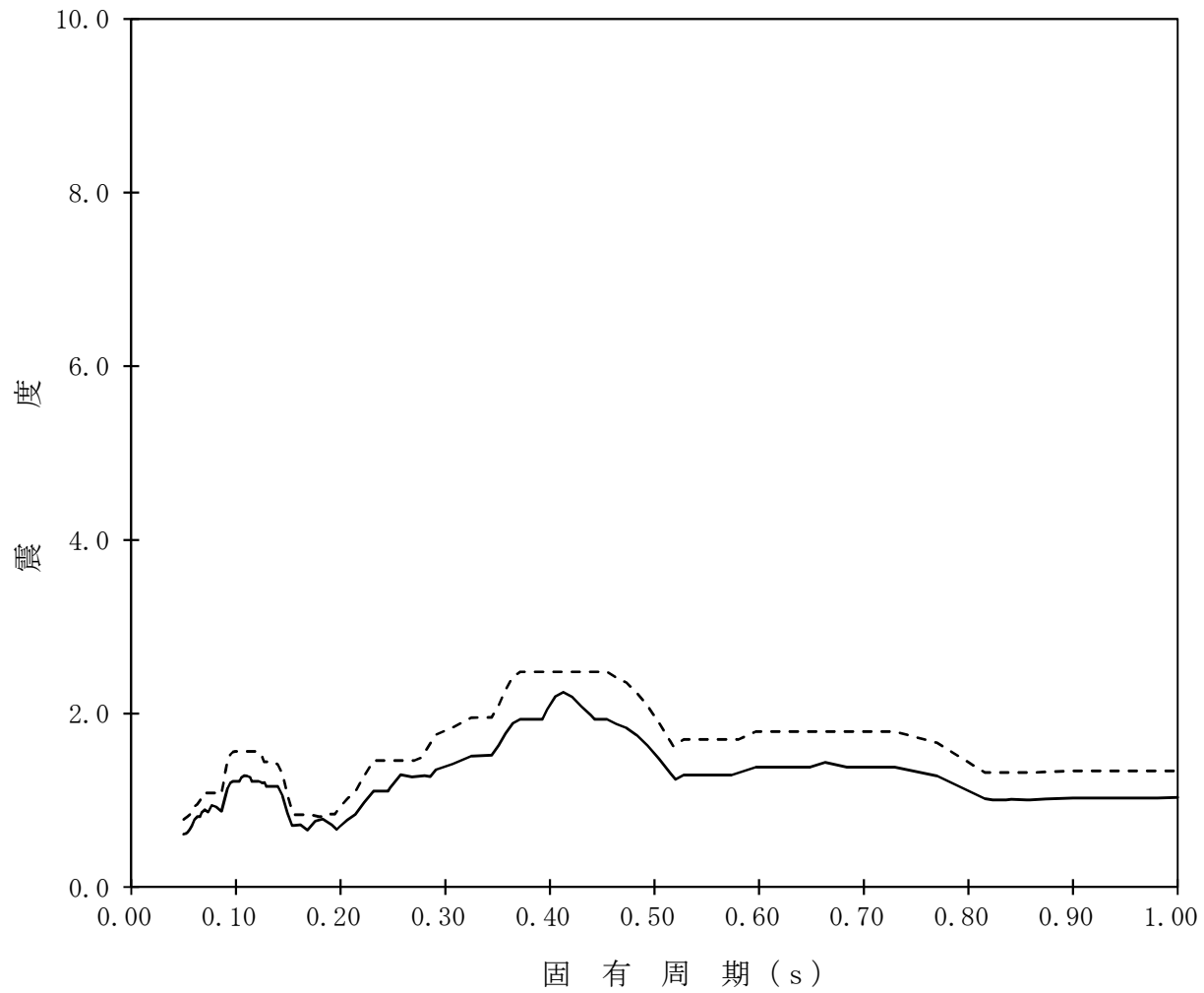
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 13.950m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RSW56】

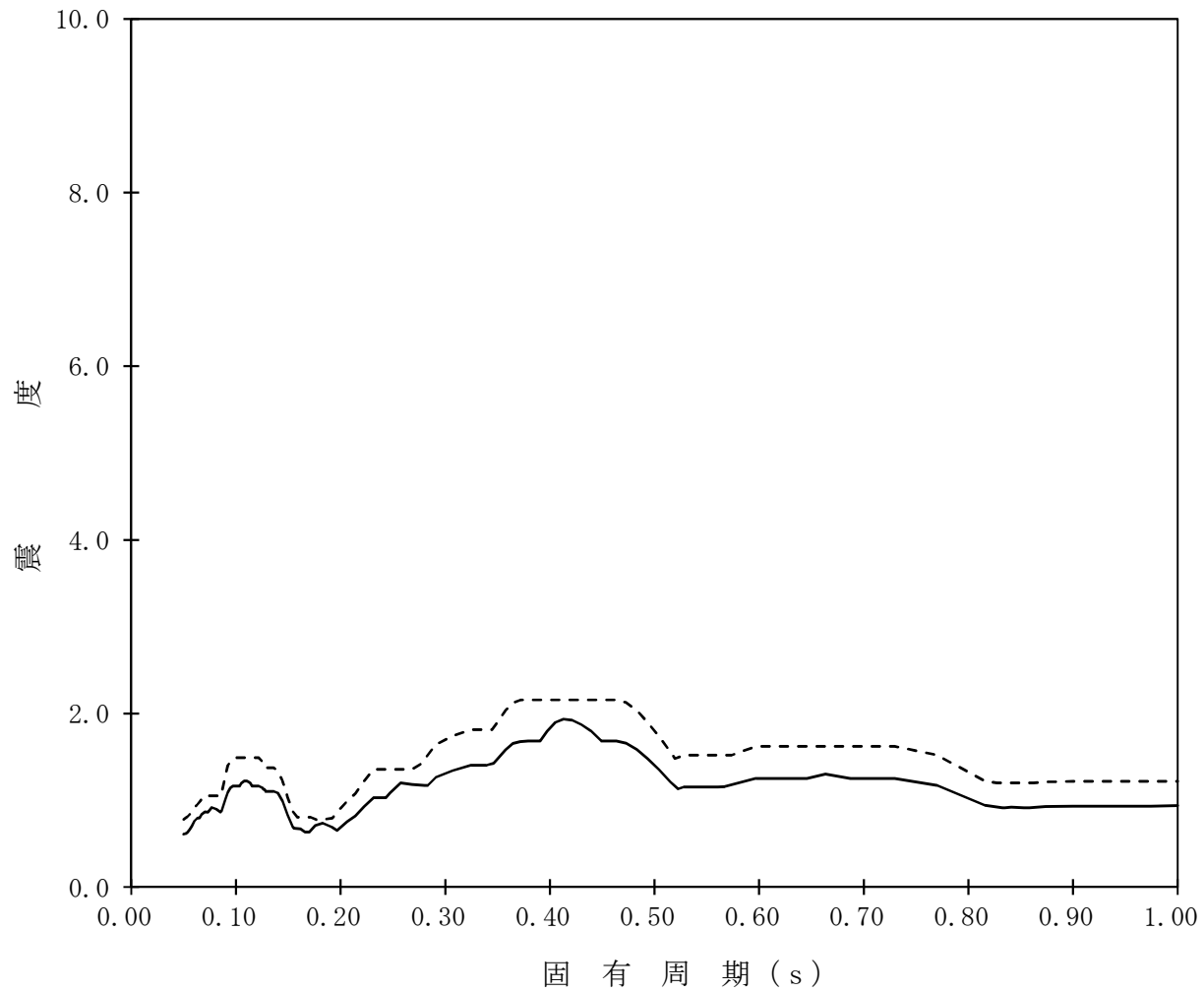
構造物名：原子炉遮蔽壁
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 13.950m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



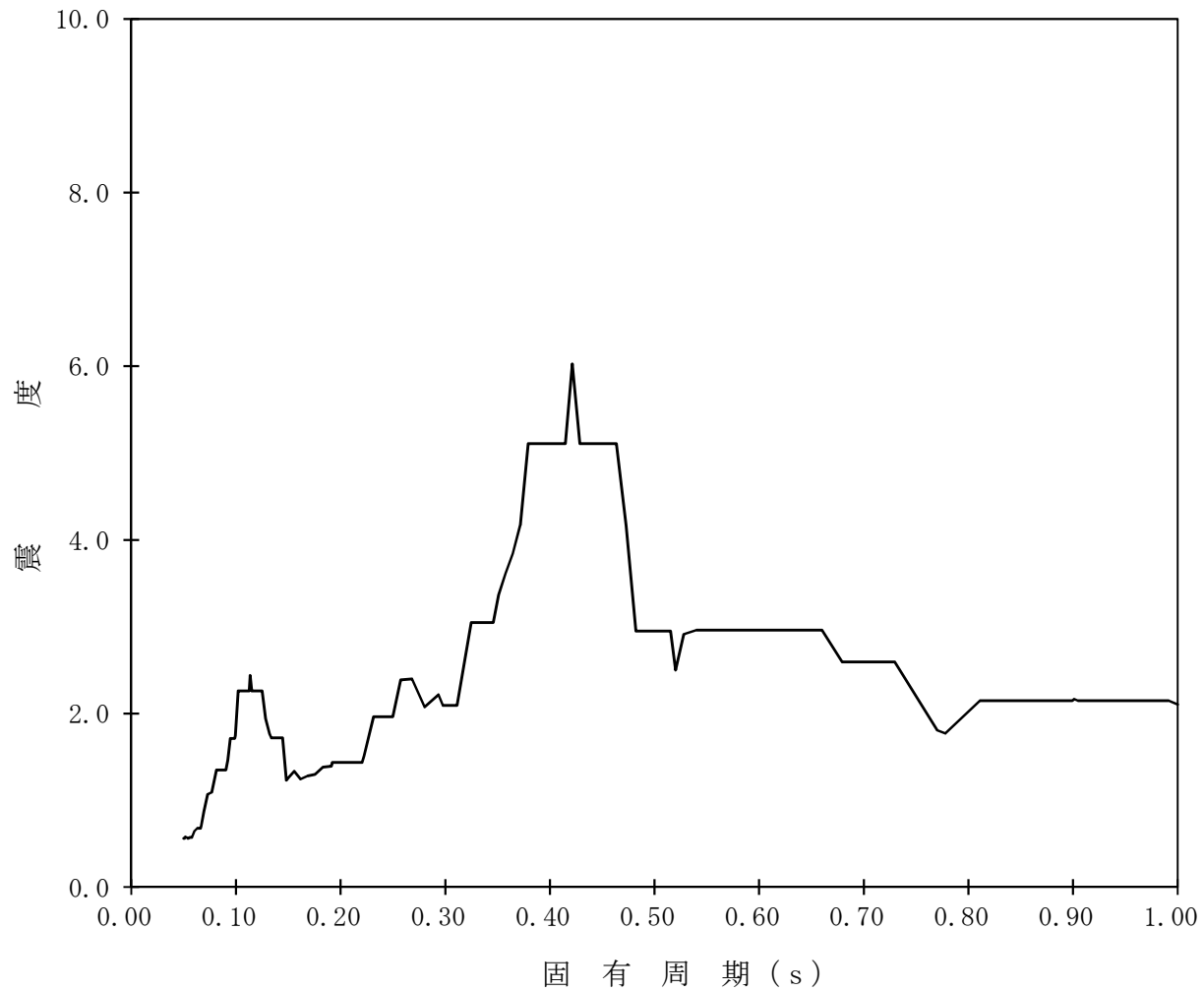
【K06-RCCV-SdH-PED57】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 12.300m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



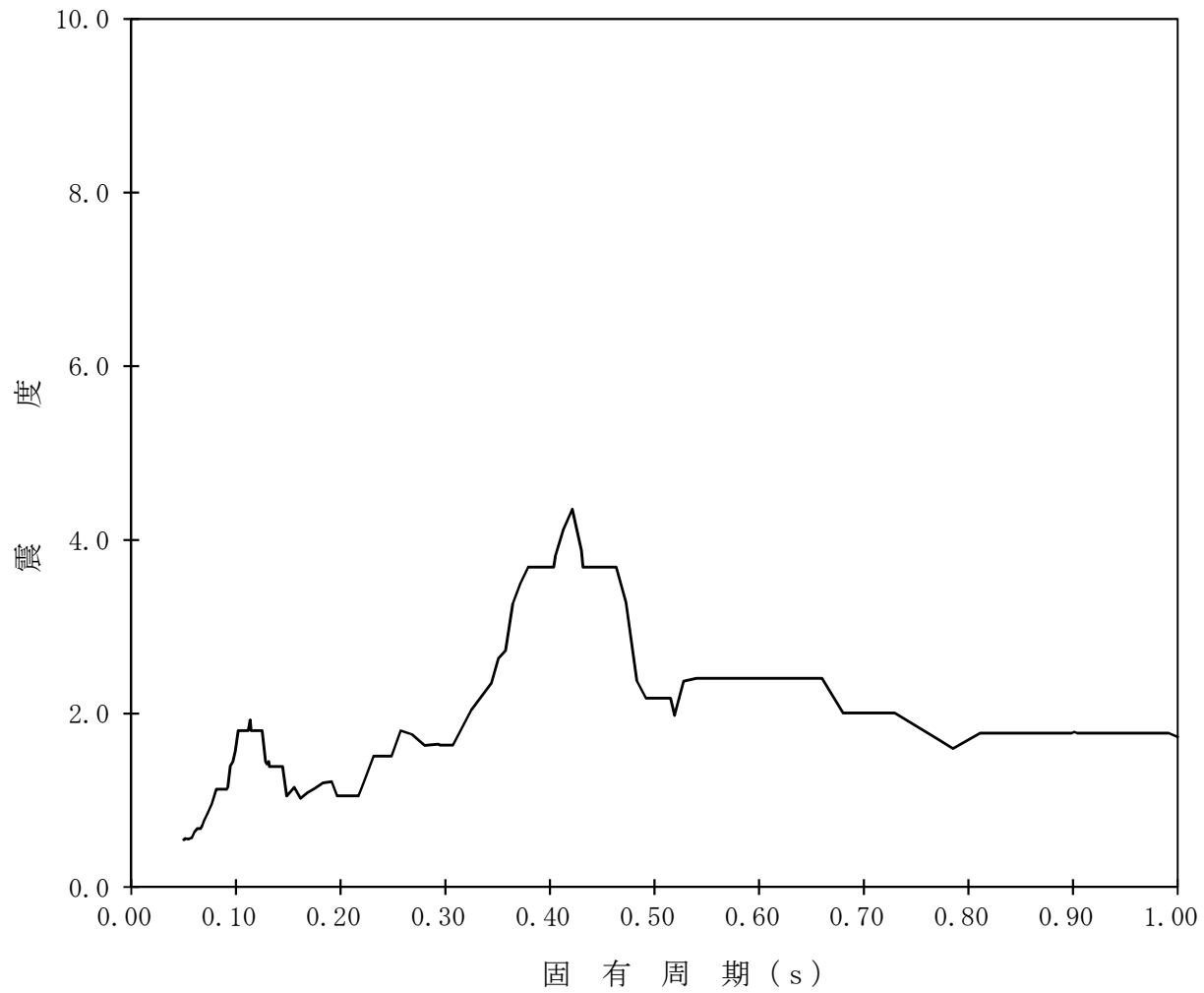
【K06-RCCV-SdH-PED58】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



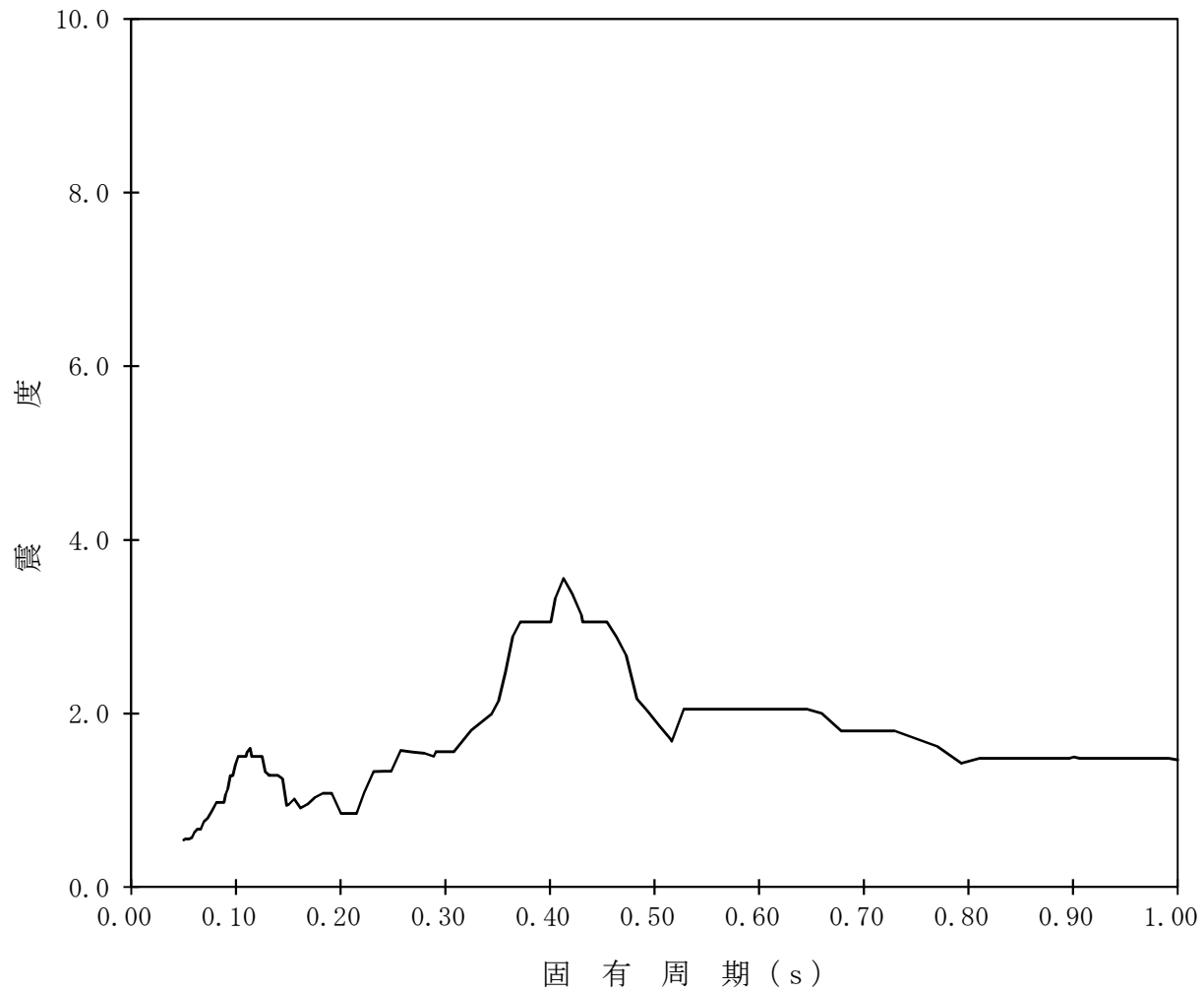
【K06-RCCV-SdH-PED59】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d

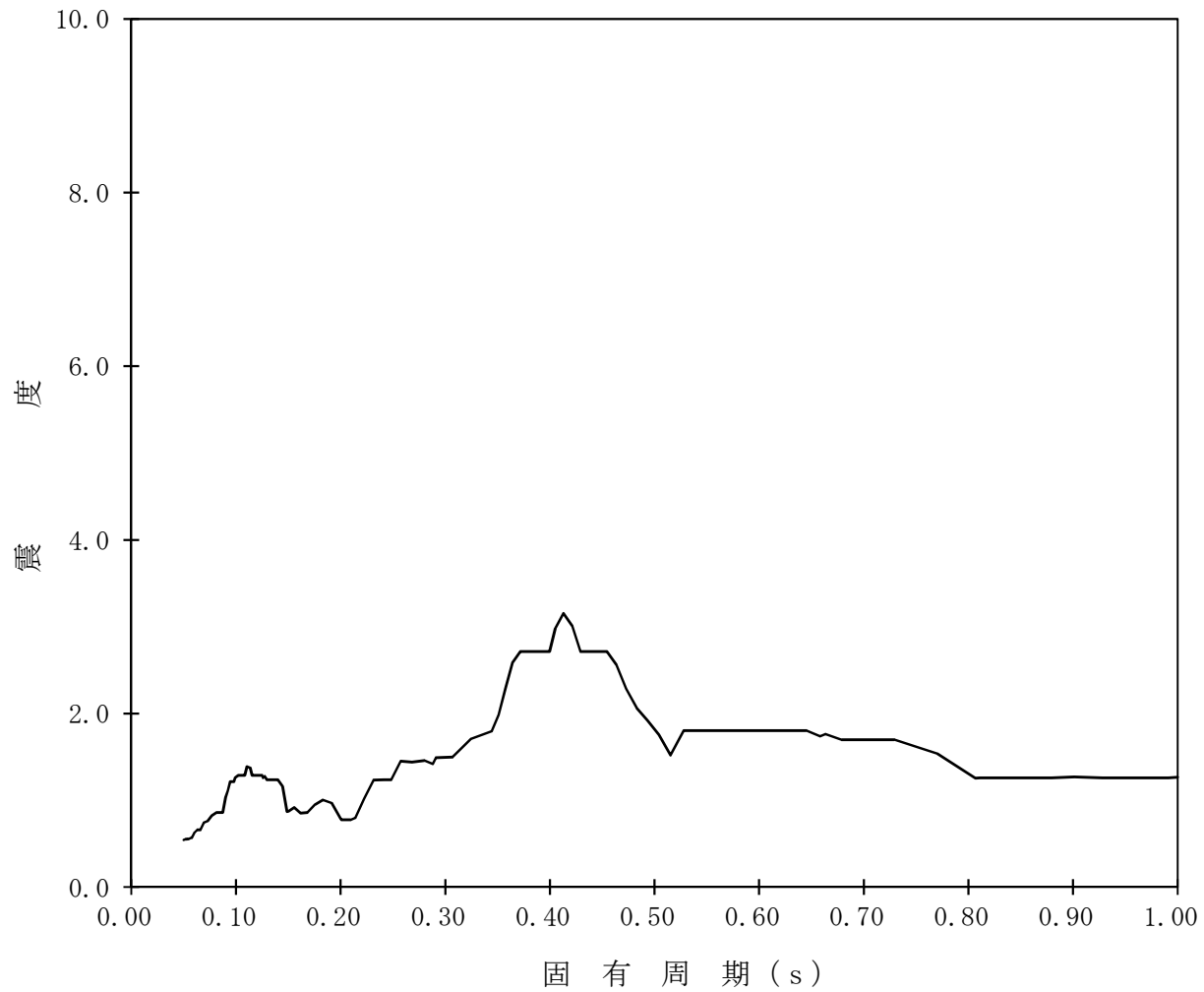


【K06-RCCV-SdH-PED60】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

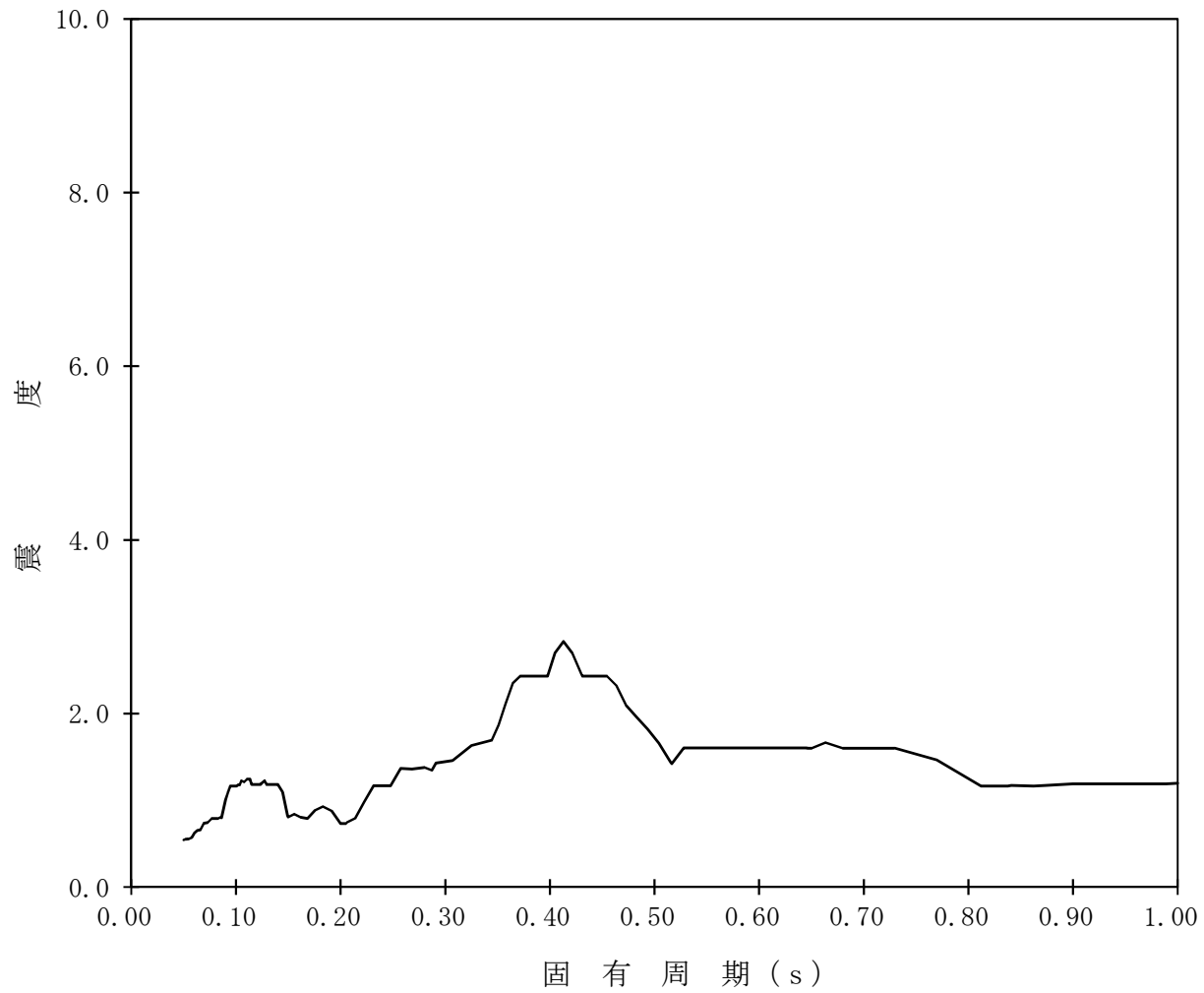


【K06-RCCV-SdH-PED61】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 12.300m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED62】

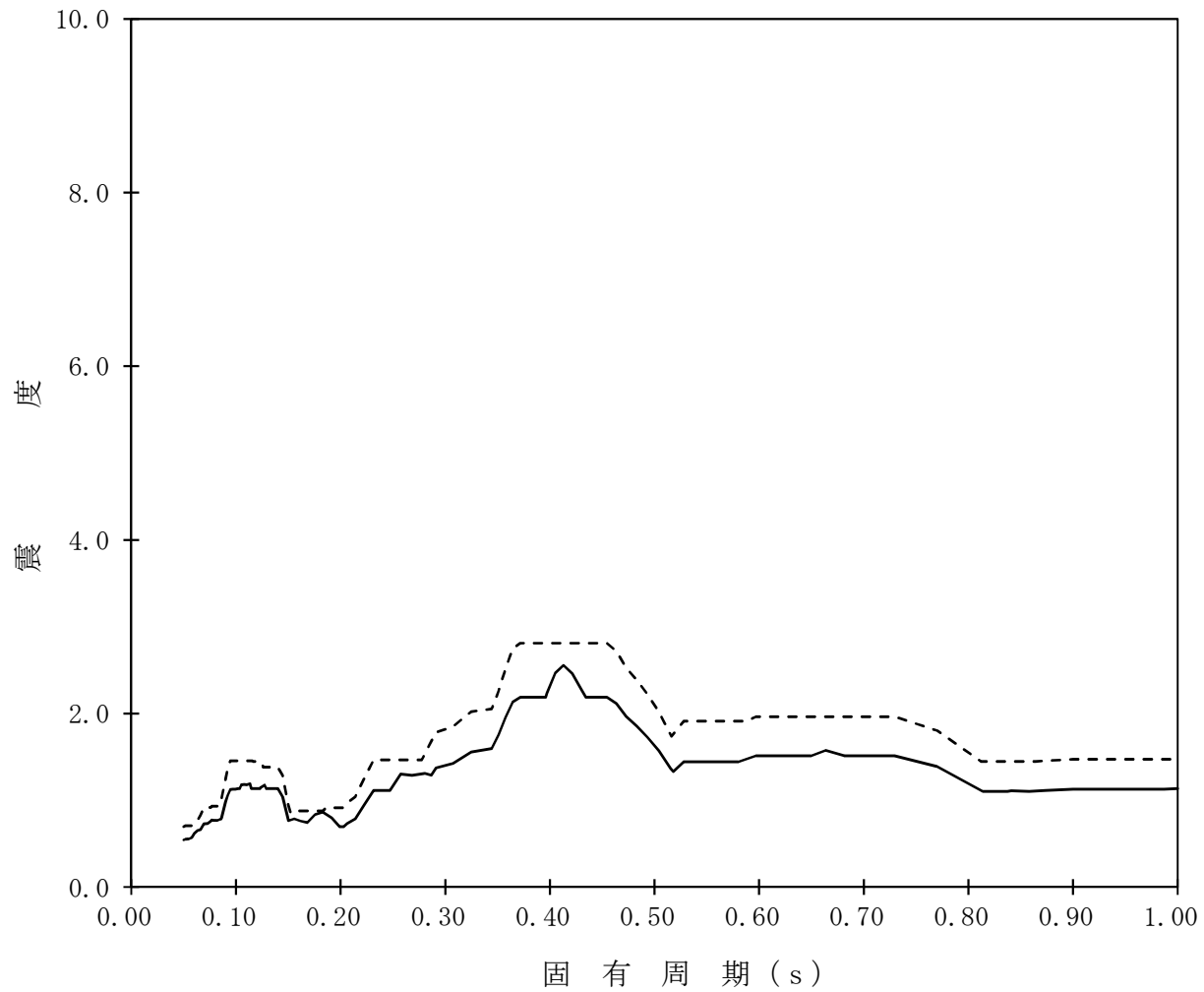
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED63】

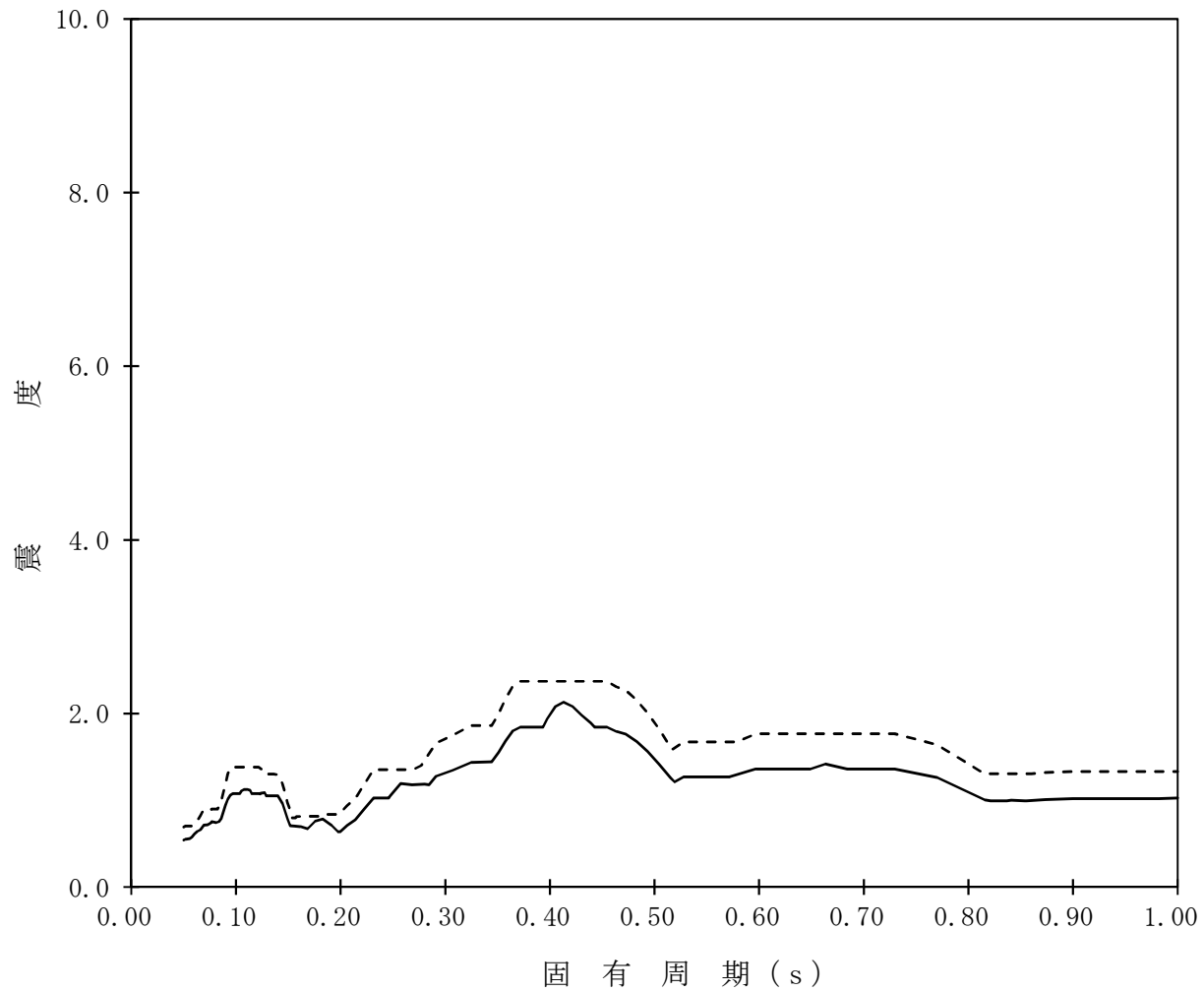
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 12.300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED64】

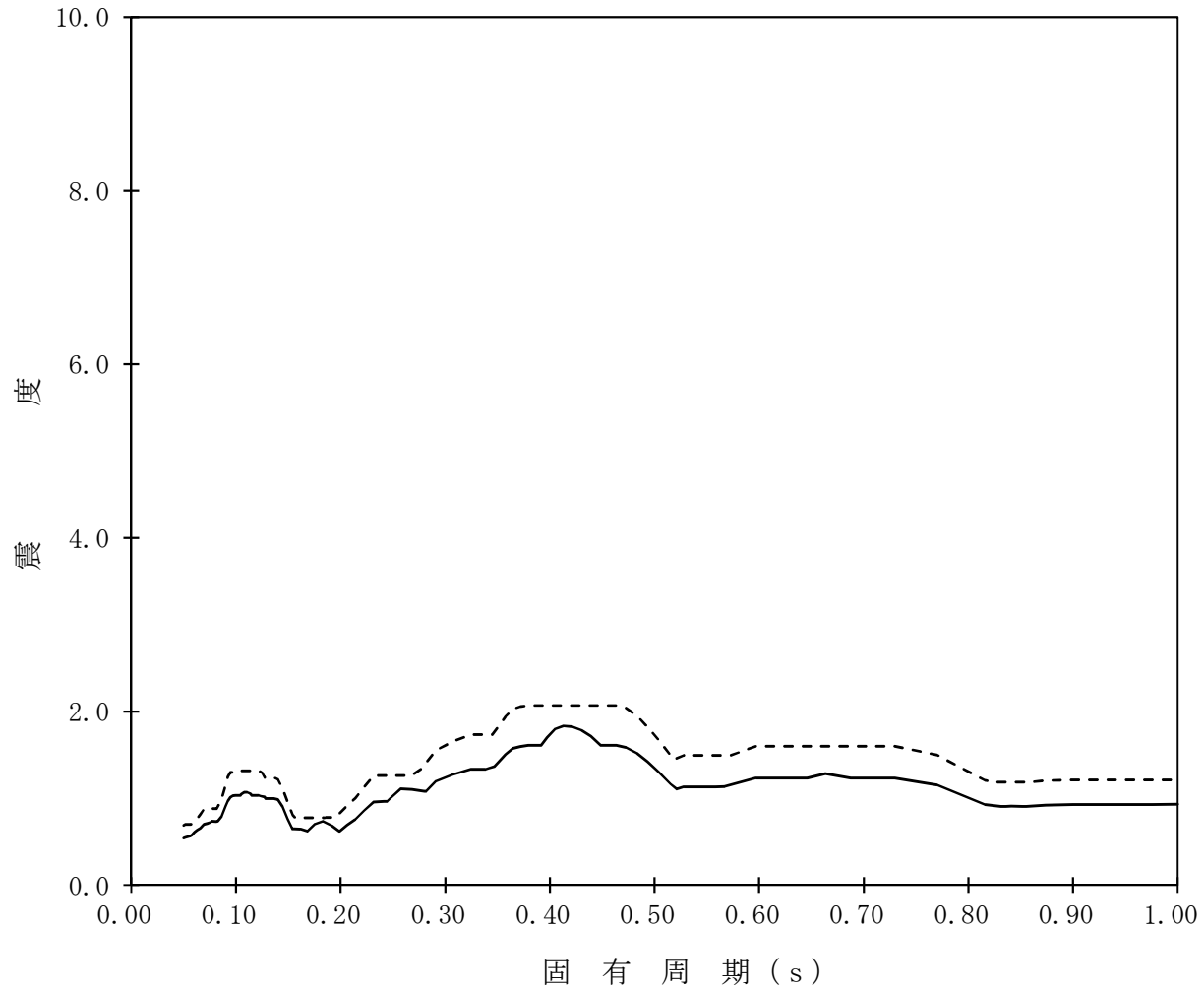
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 12. 300m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED65】

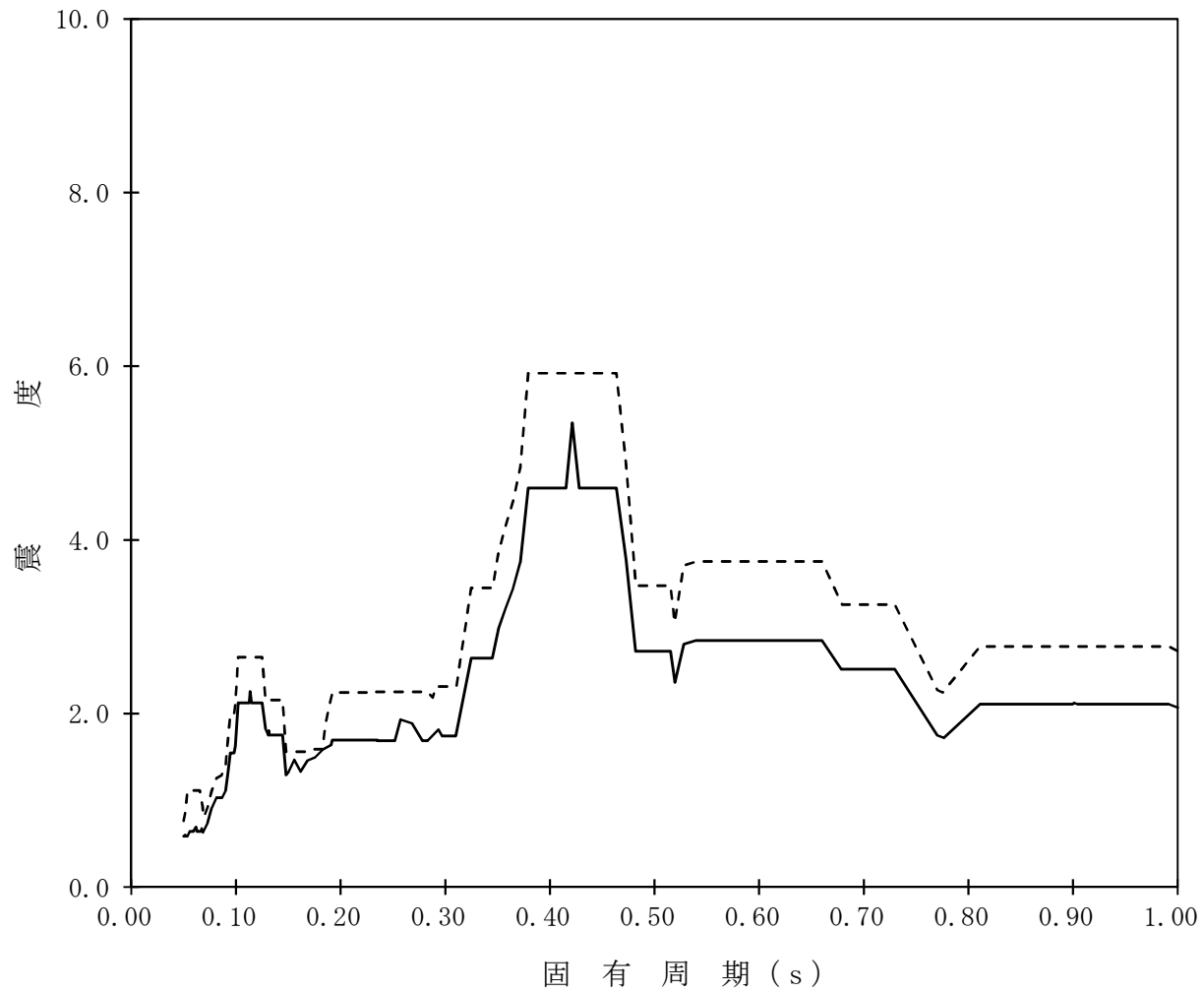
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



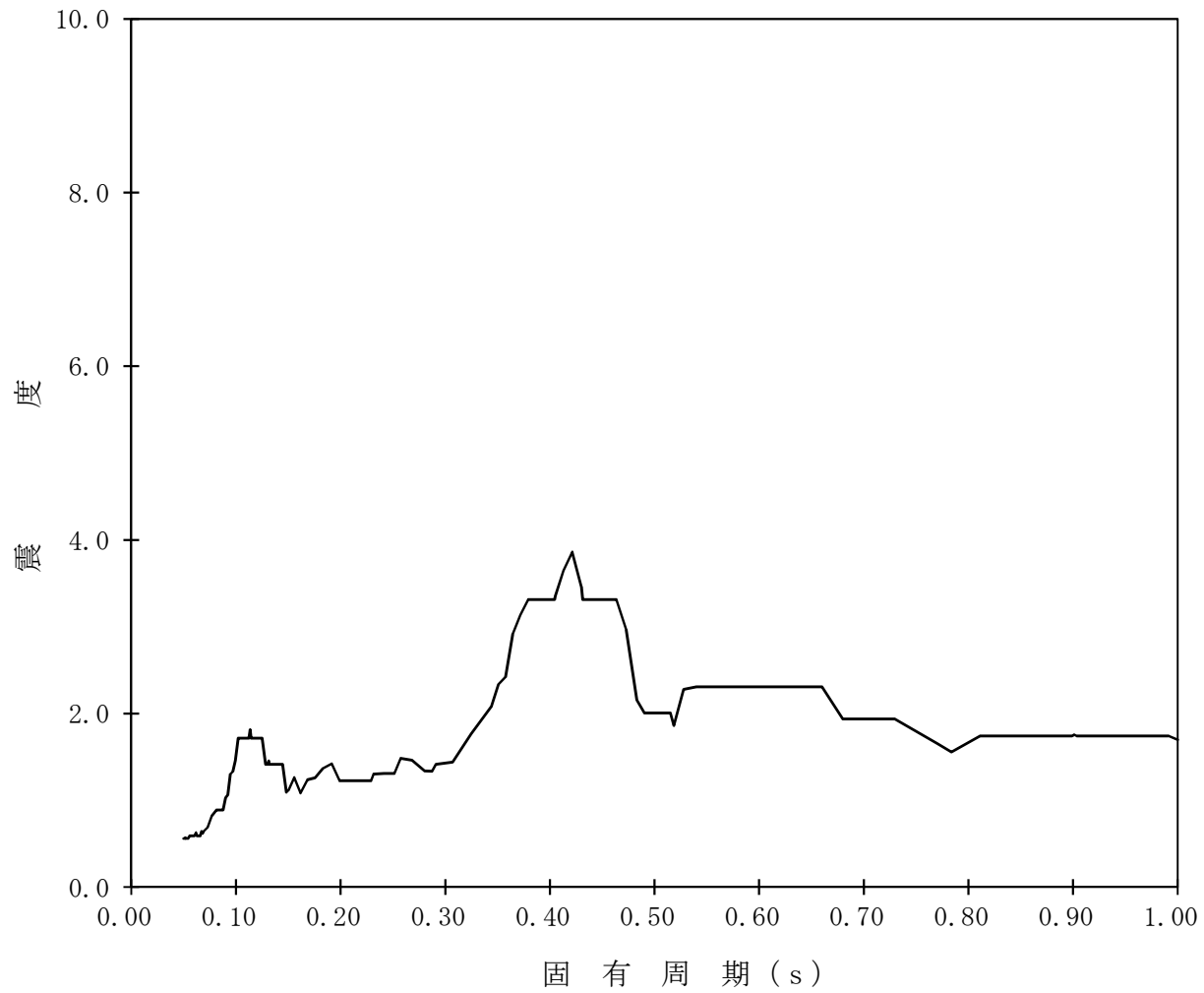
【K06-RCCV-SdH-PED66】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



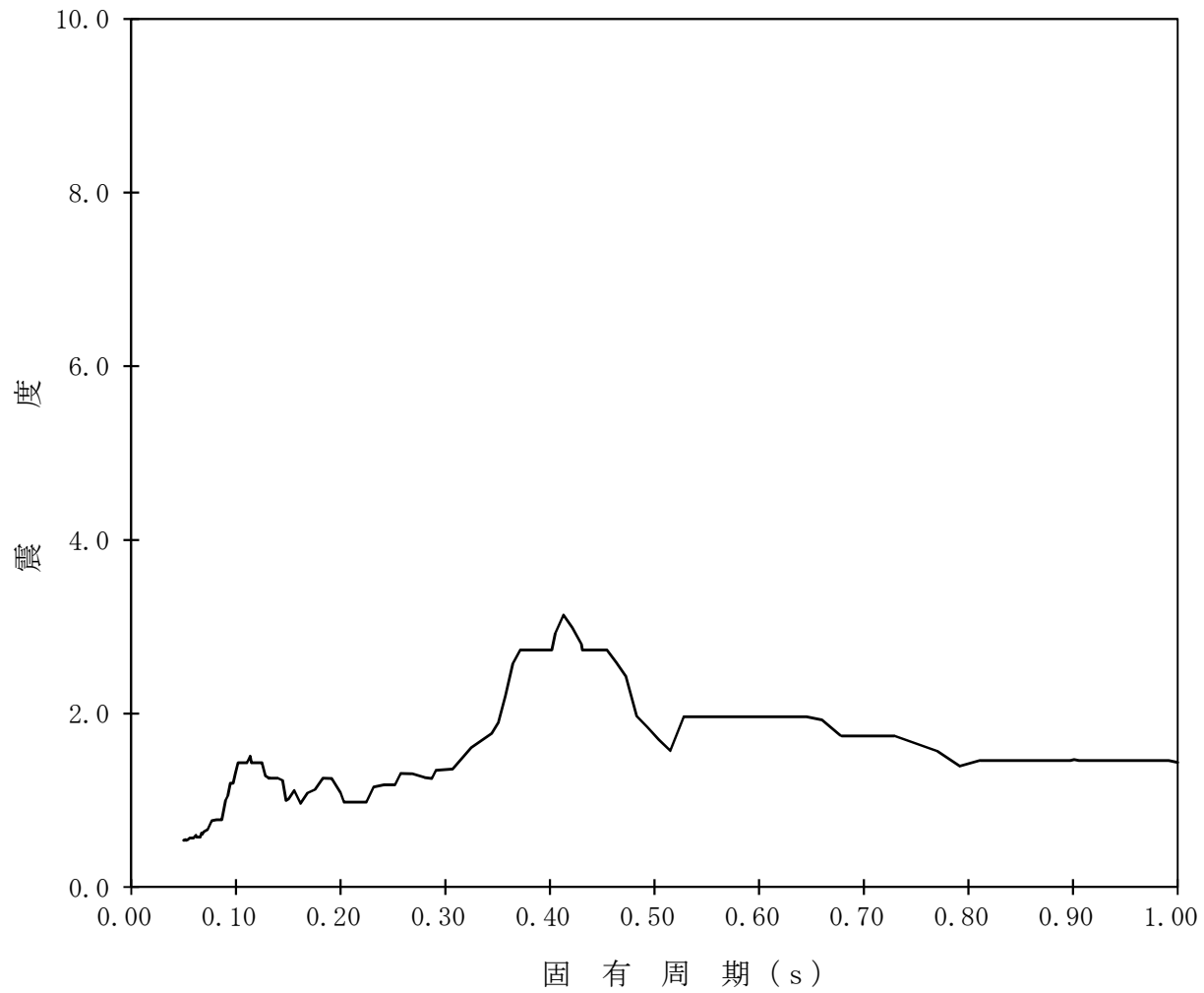
【K06-RCCV-SdH-PED67】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



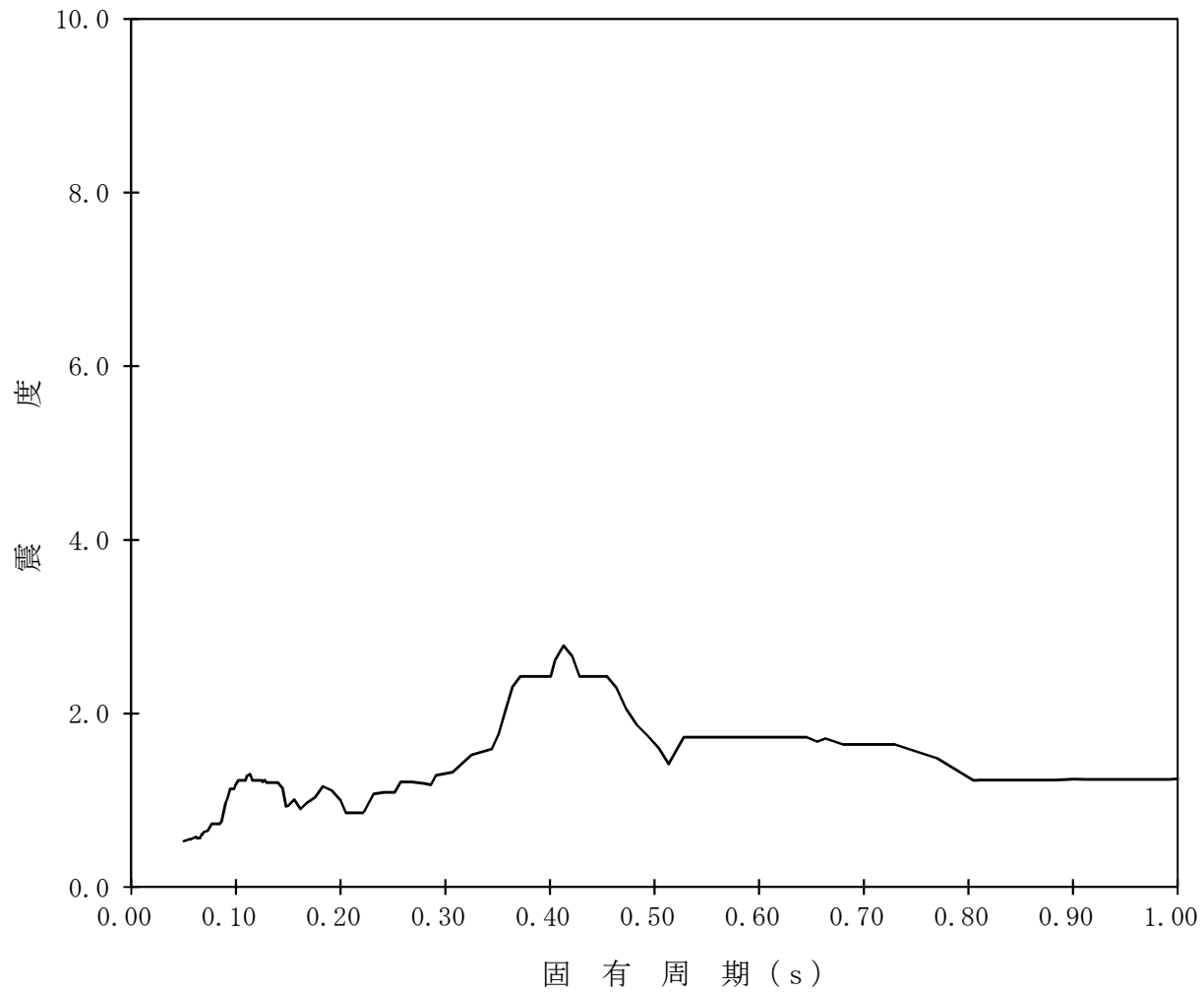
【K06-RCCV-SdH-PED68】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



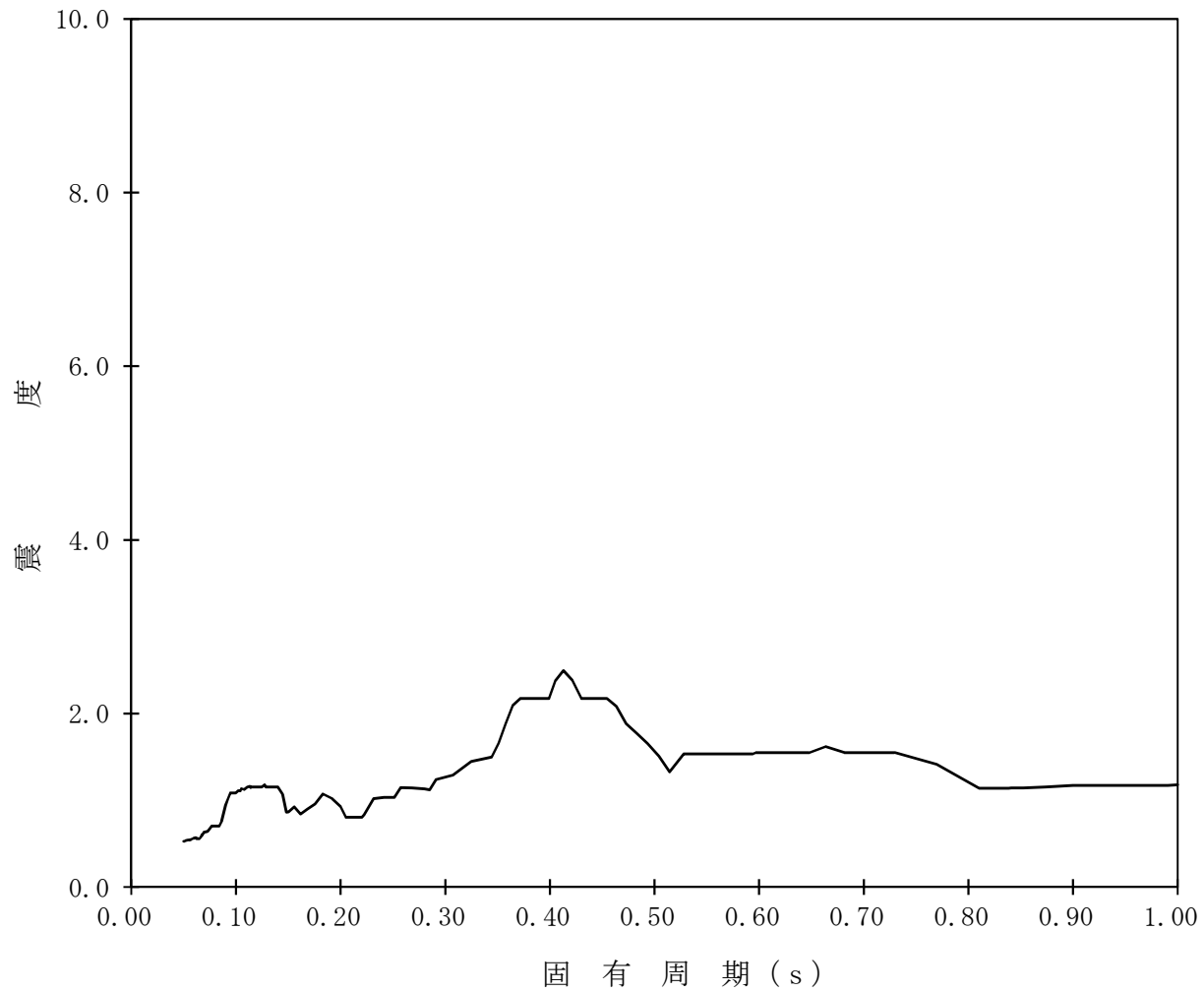
【K06-RCCV-SdH-PED69】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



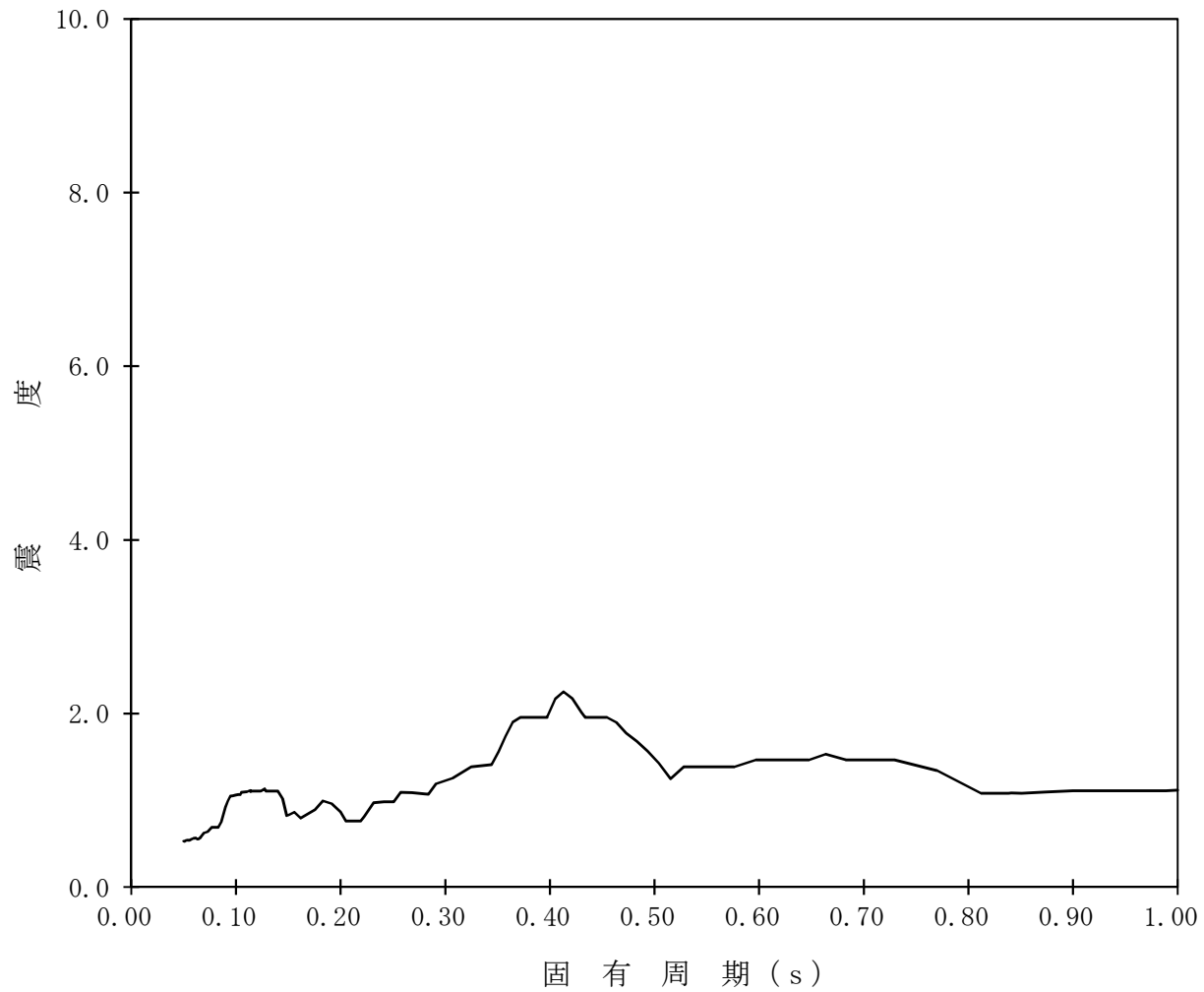
【K06-RCCV-SdH-PED70】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-PED71】

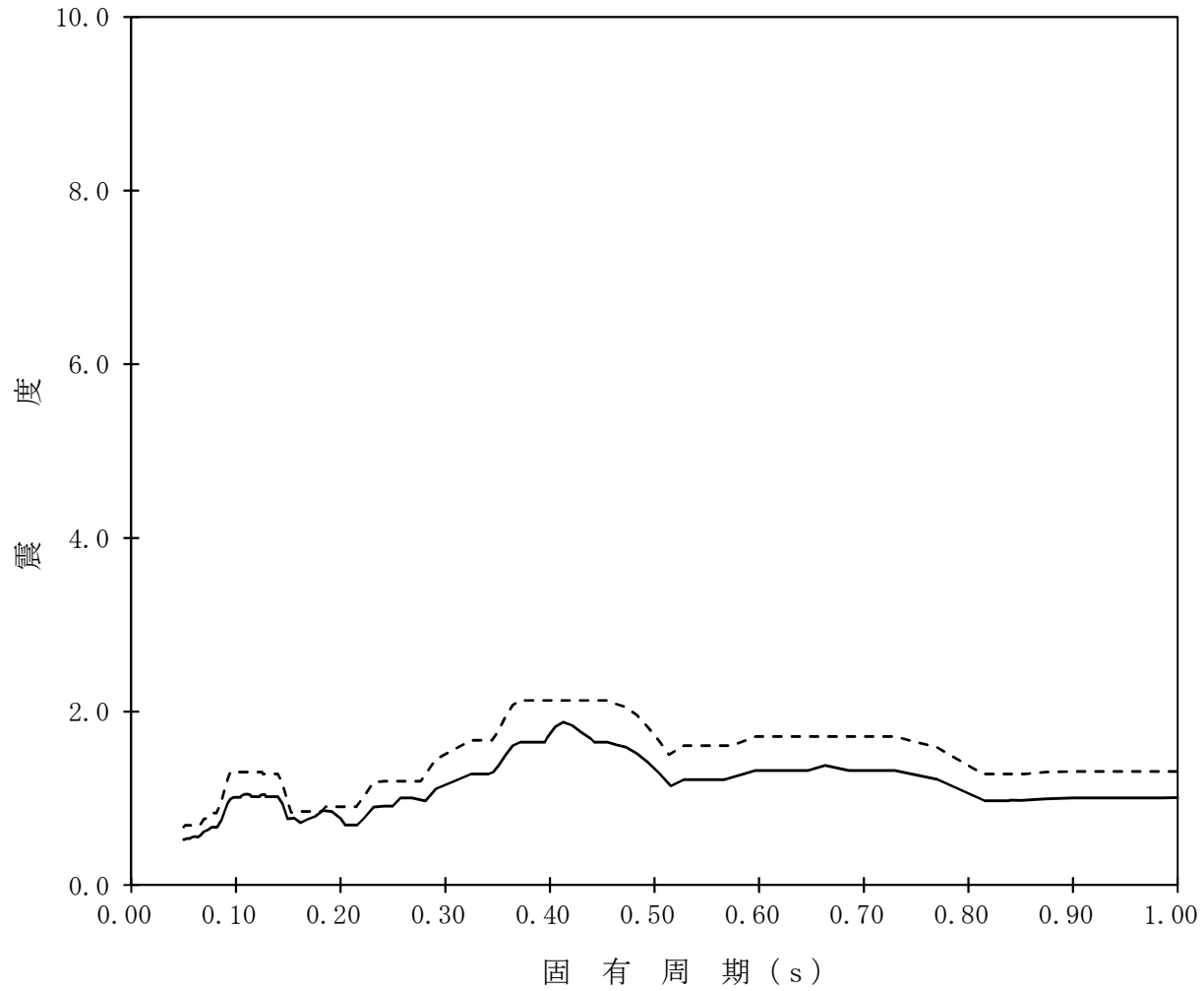
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED72】

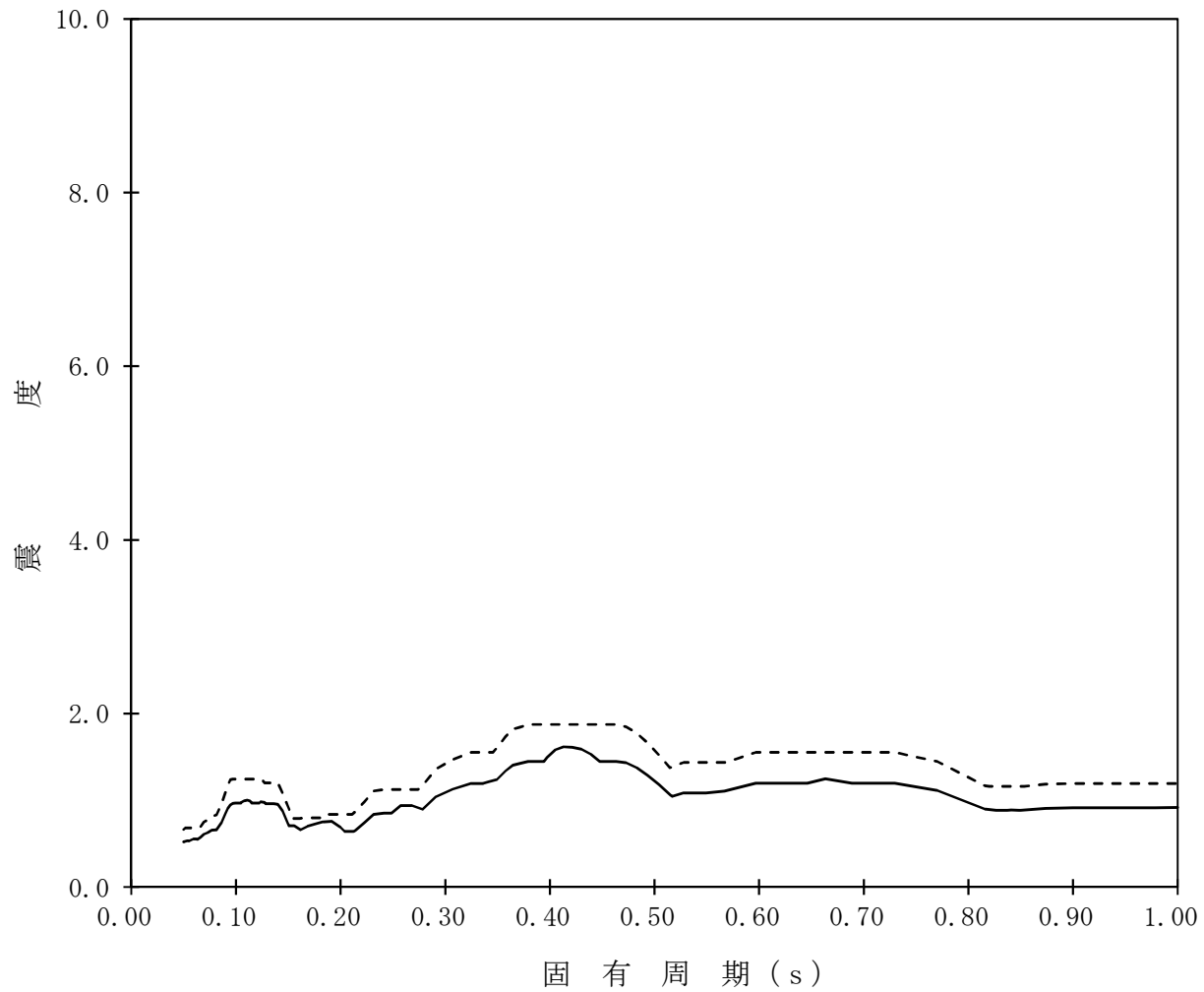
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 8. 200m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED73】

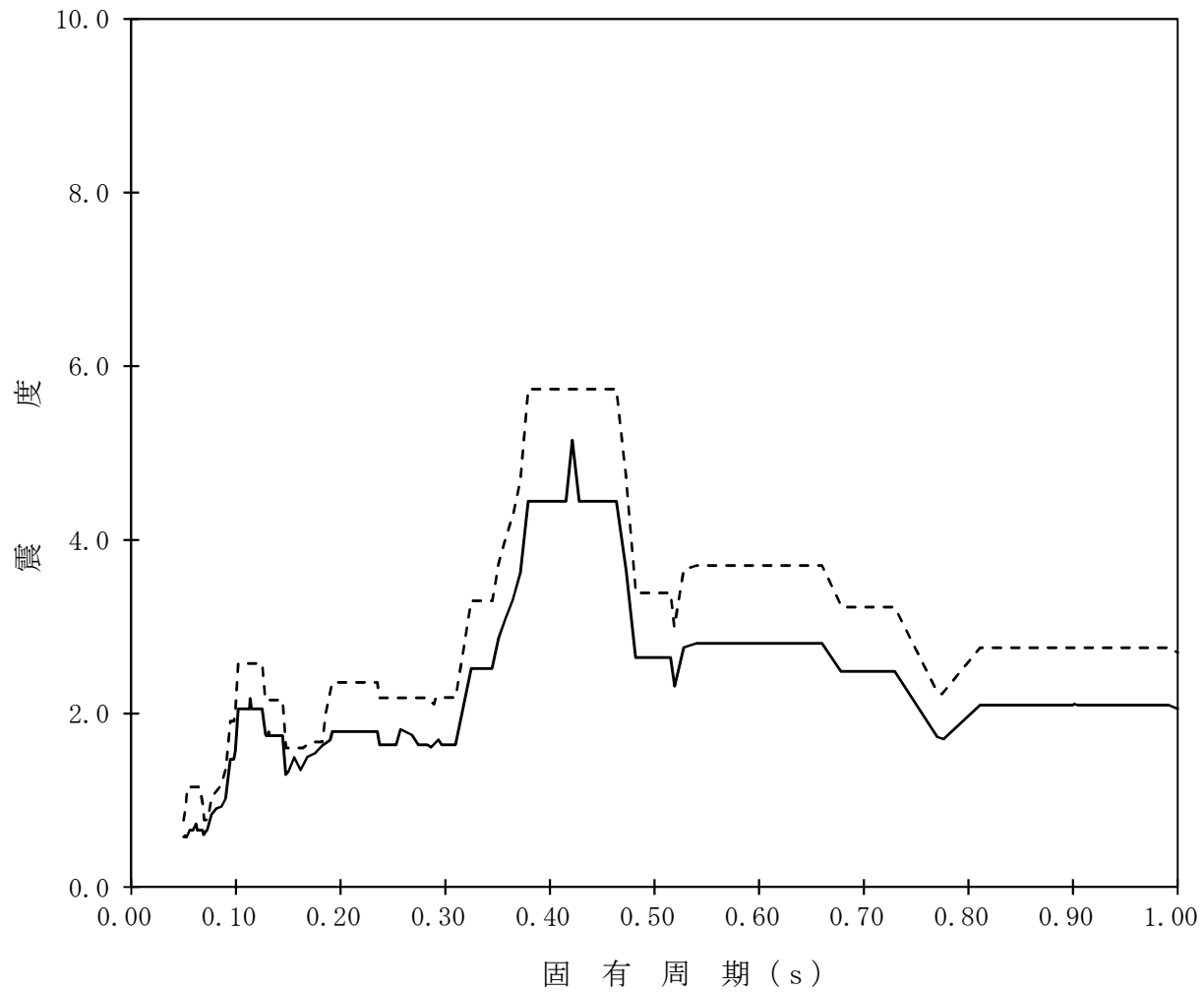
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 7.000m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



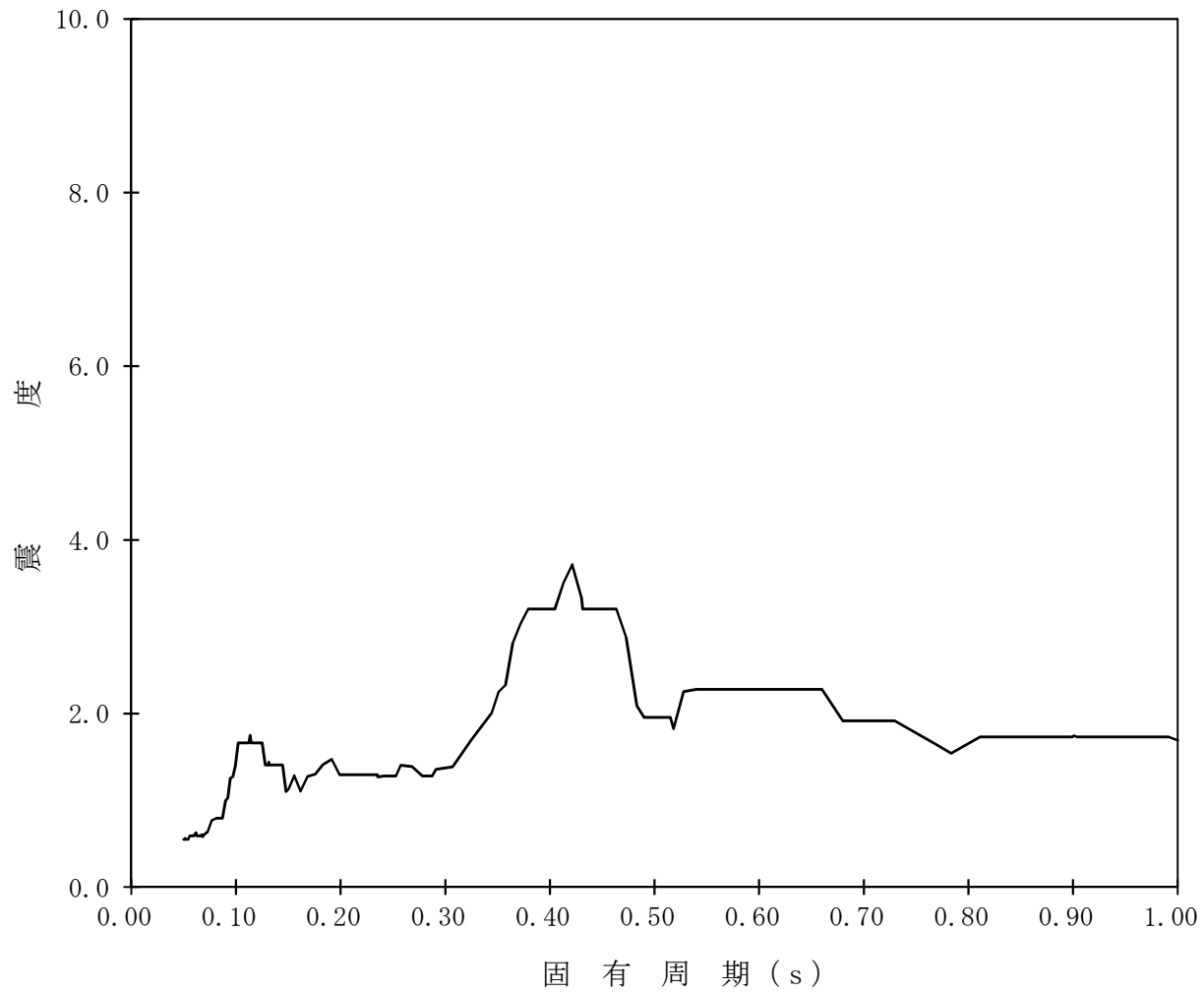
【K06-RCCV-SdH-PED74】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 7.000m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



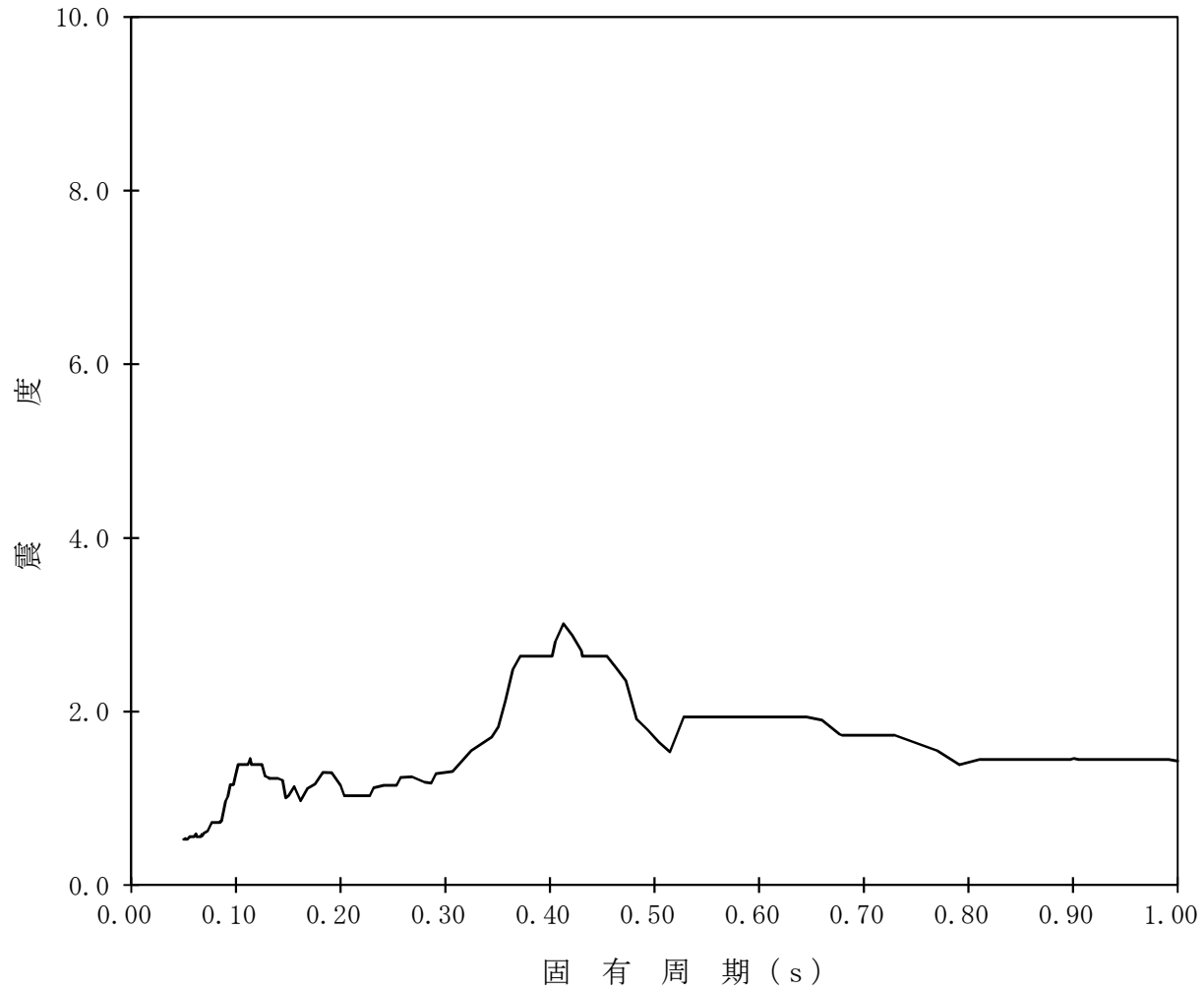
【K06-RCCV-SdH-PED75】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 7.000m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



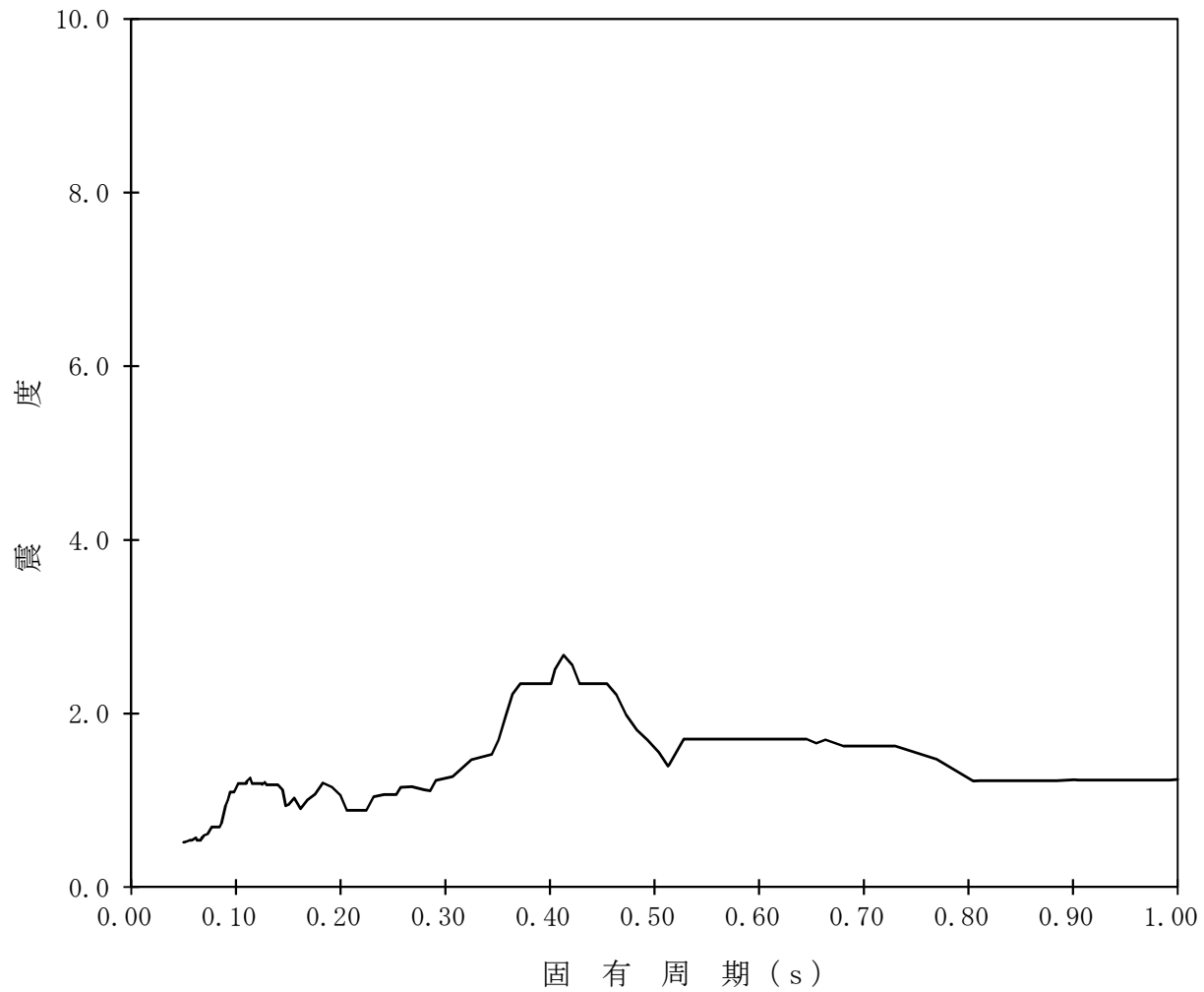
【K06-RCCV-SdH-PED76】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 7.000m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



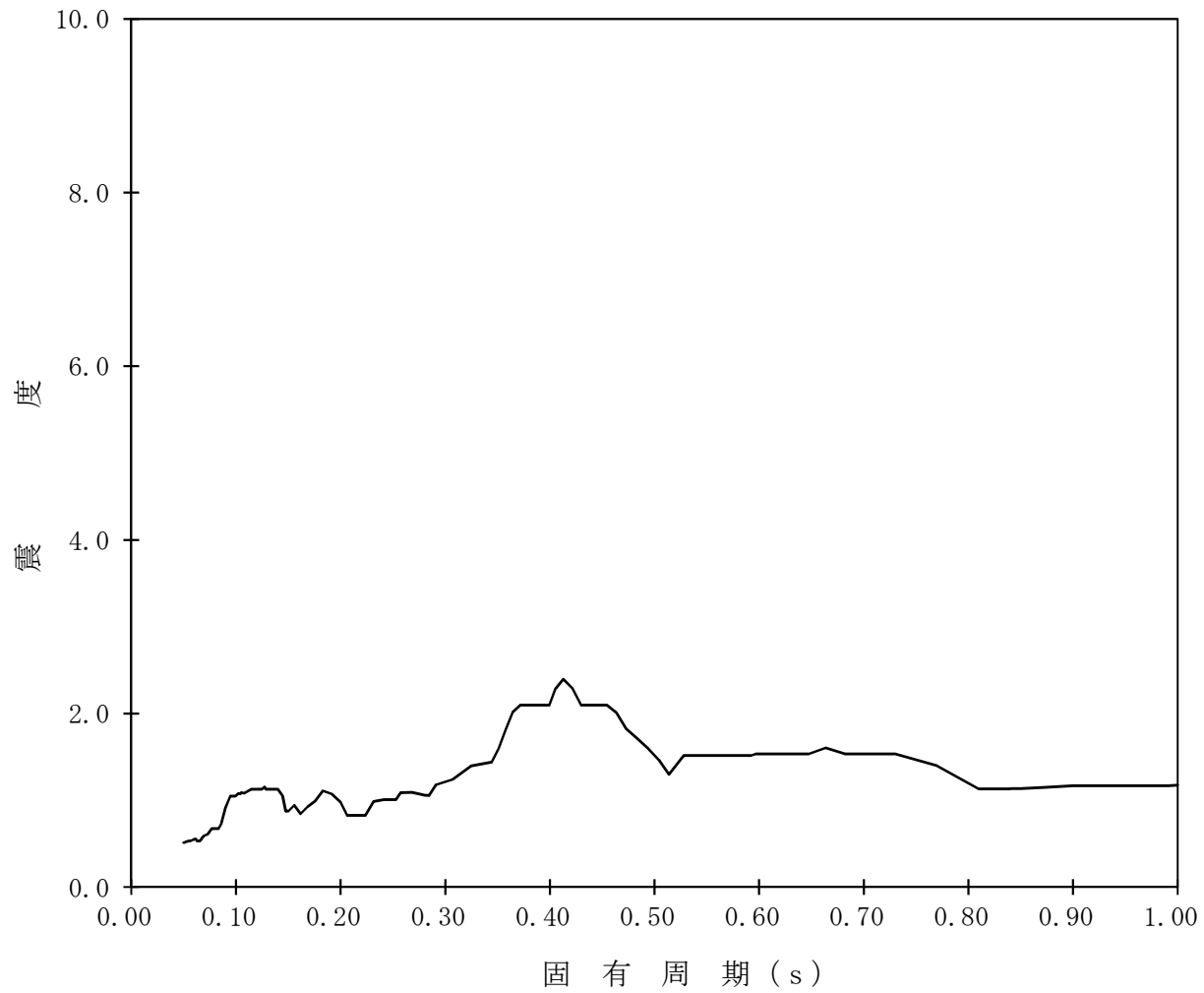
【K06-RCCV-SdH-PED77】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 7.000m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



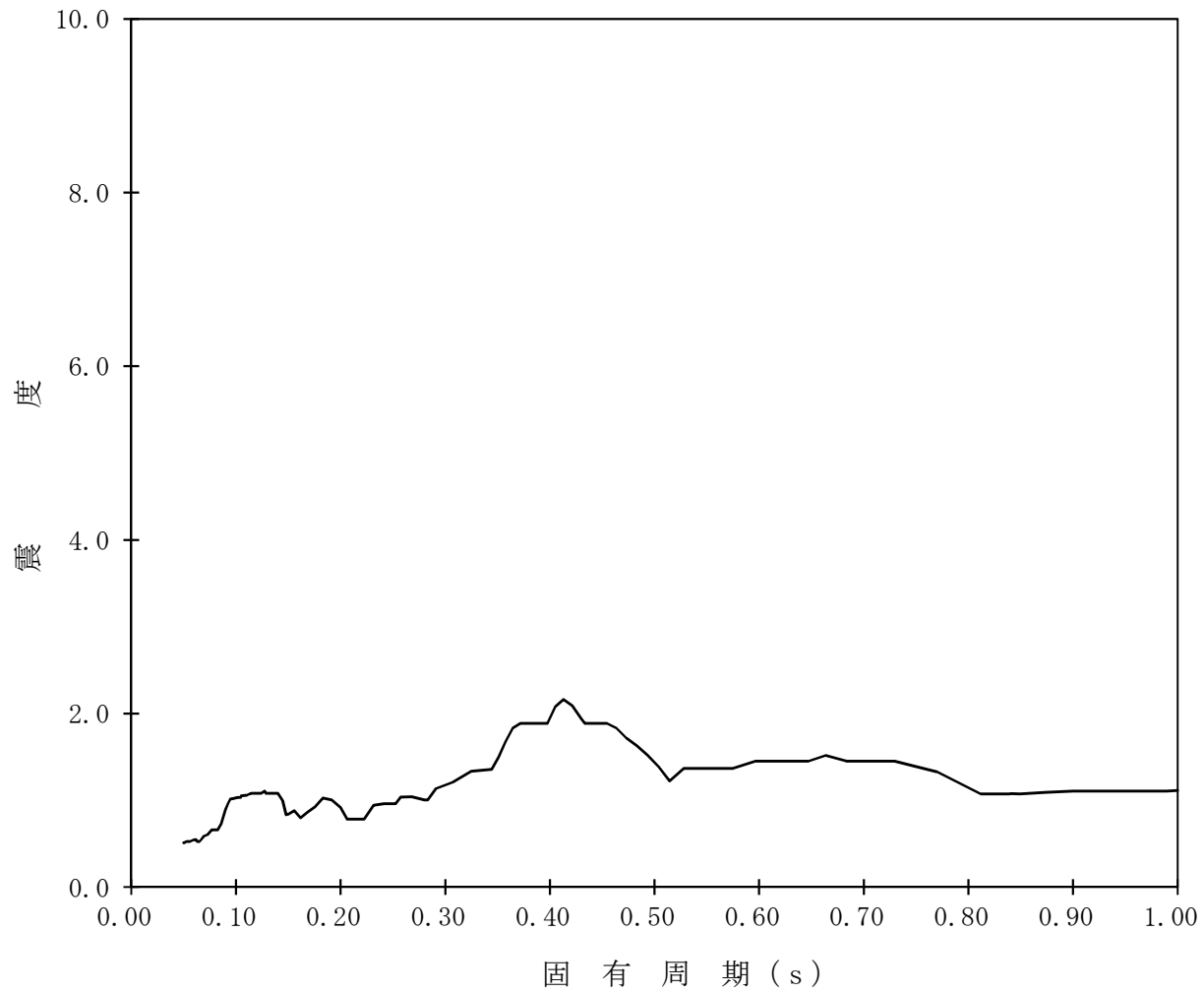
【K06-RCCV-SdH-PED78】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 7.000m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



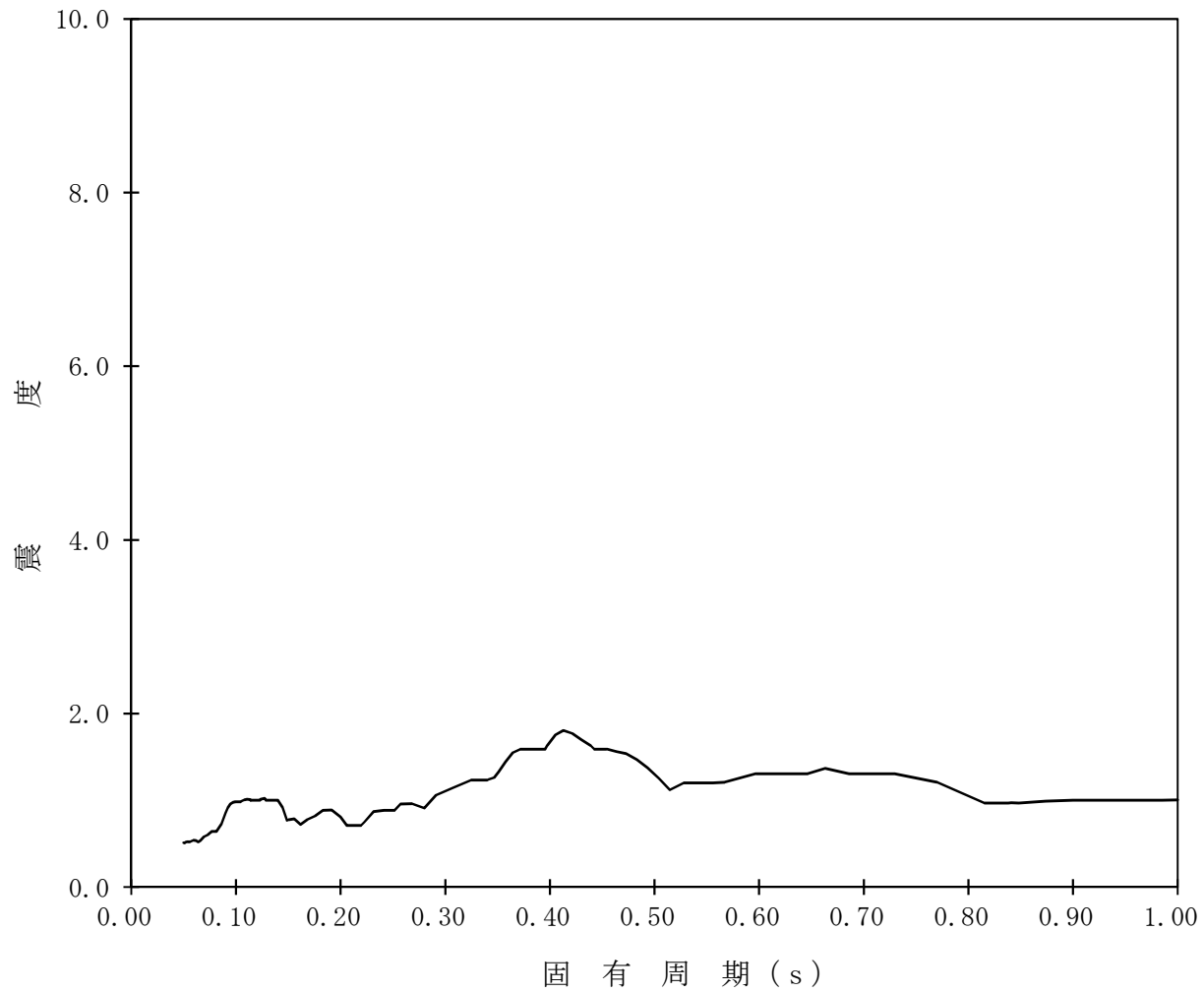
【K06-RCCV-SdH-PED79】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 7.000m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-PED80】

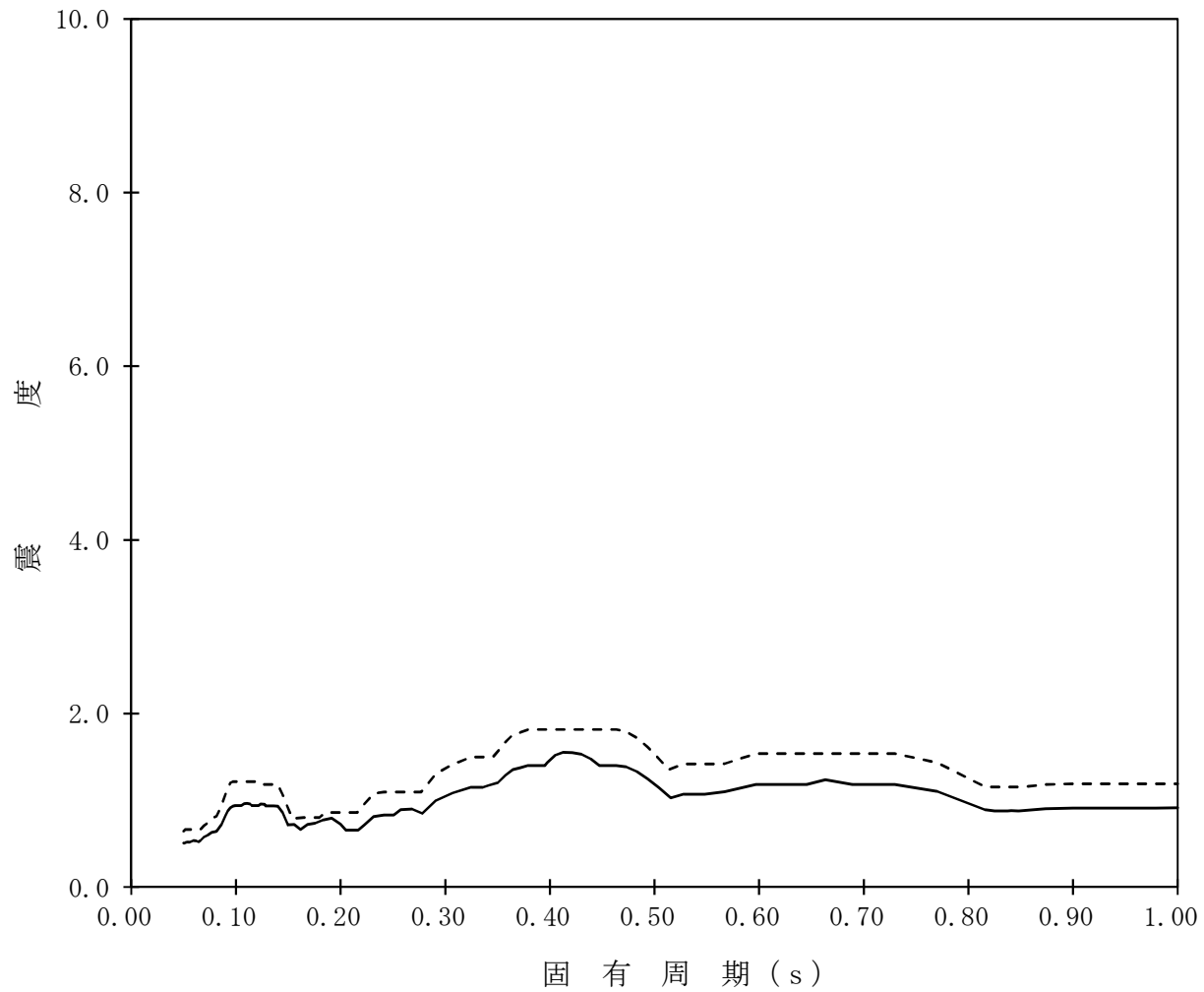
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 7.000m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED81】

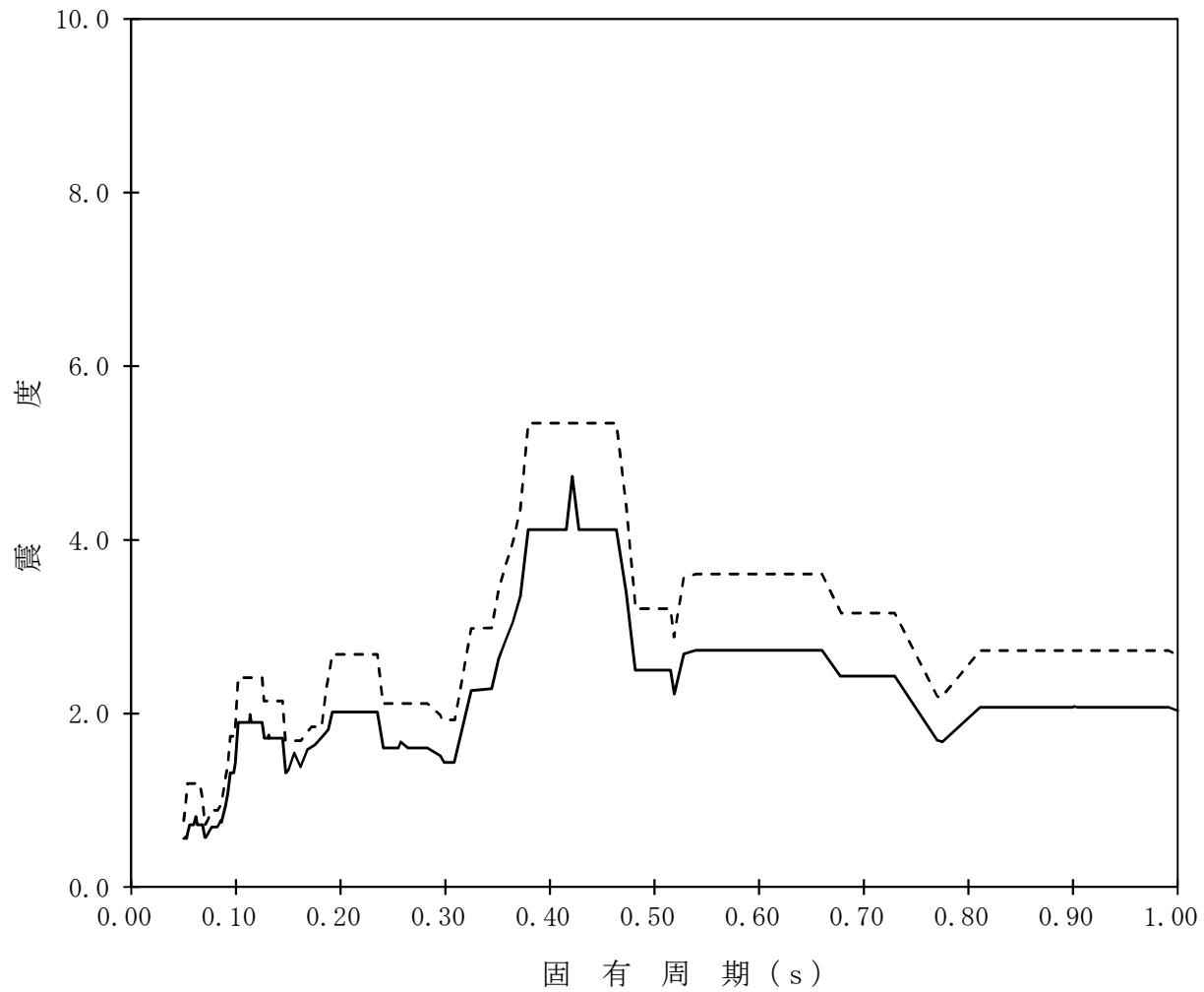
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED82】

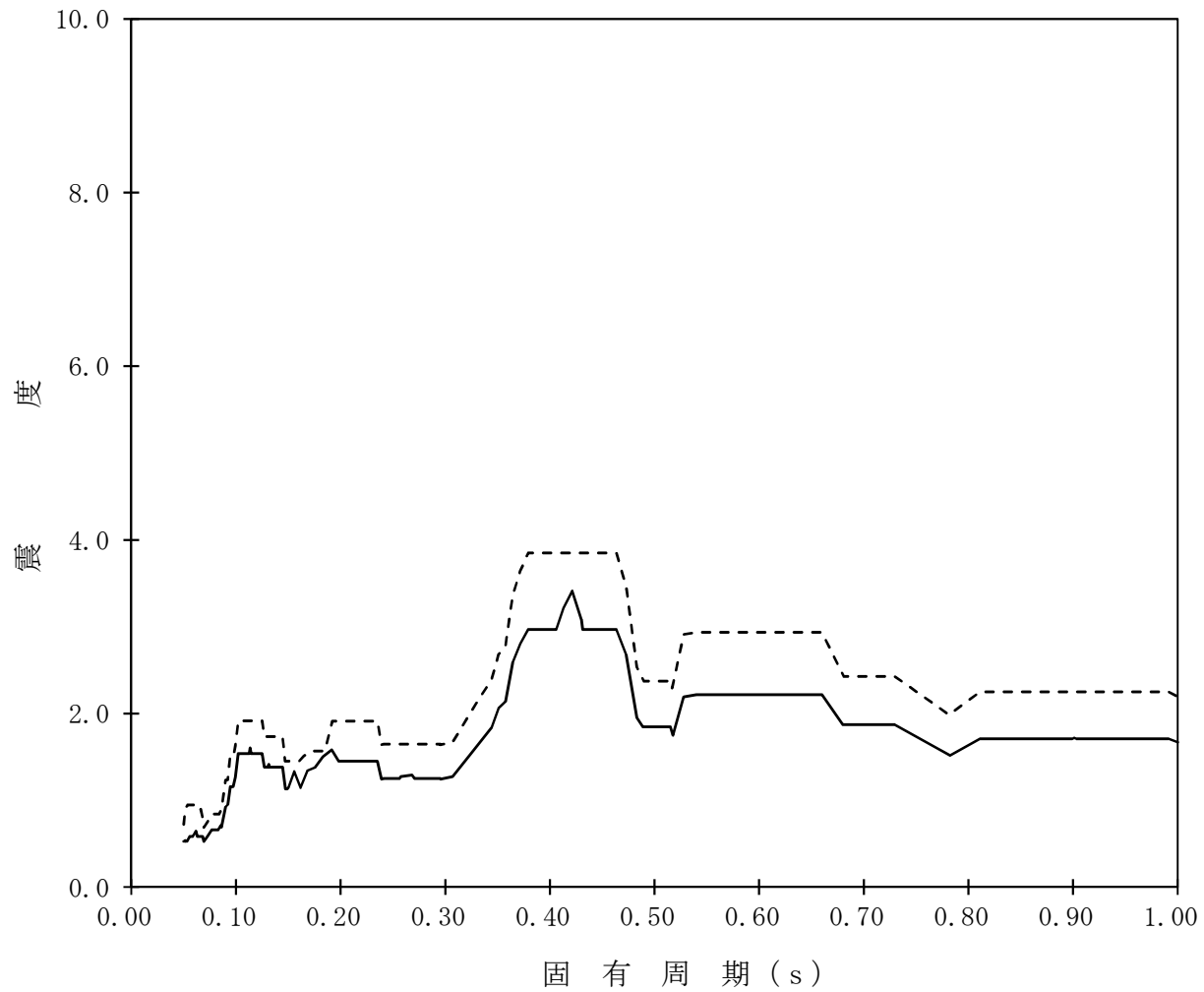
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



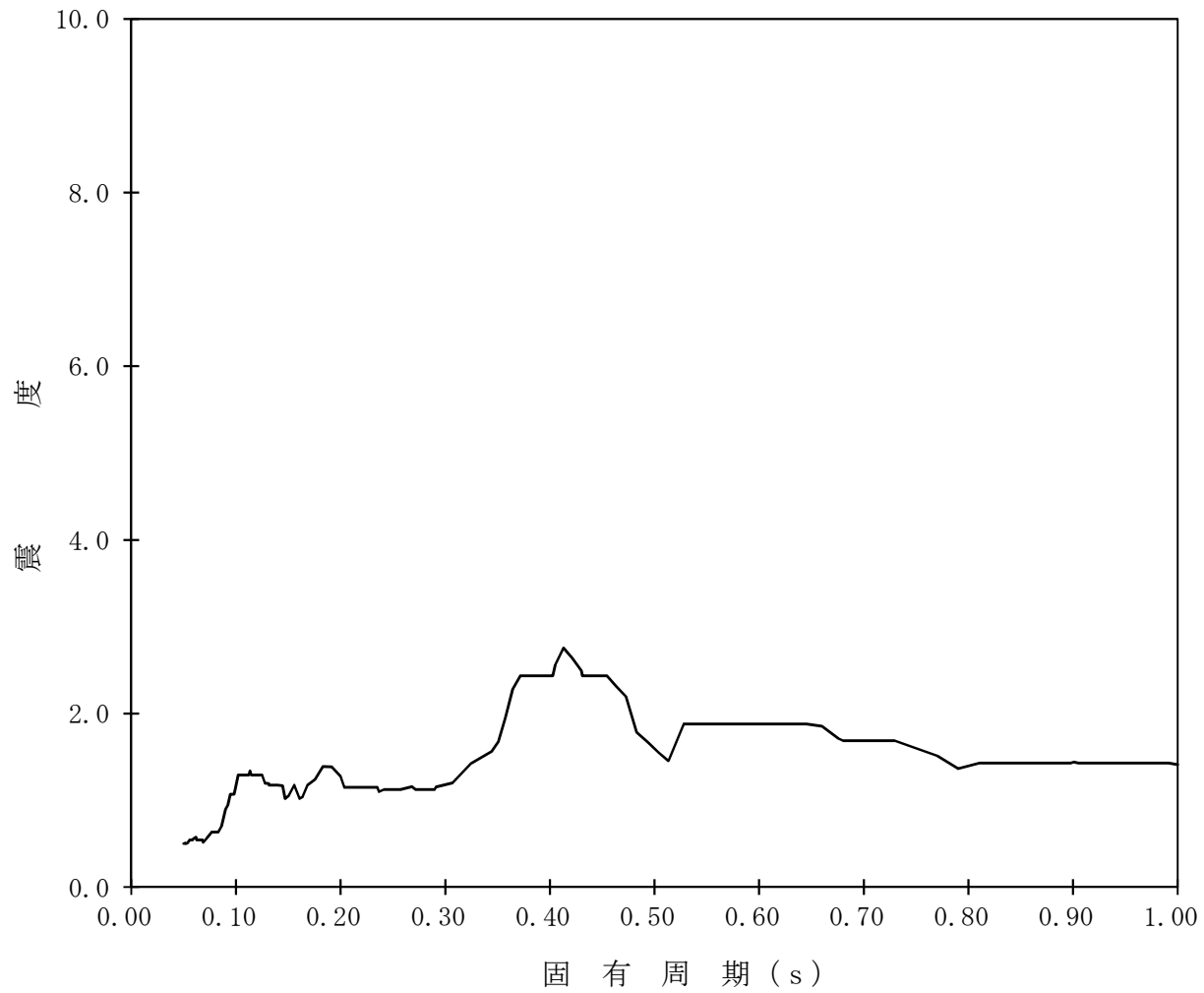
【K06-RCCV-SdH-PED83】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



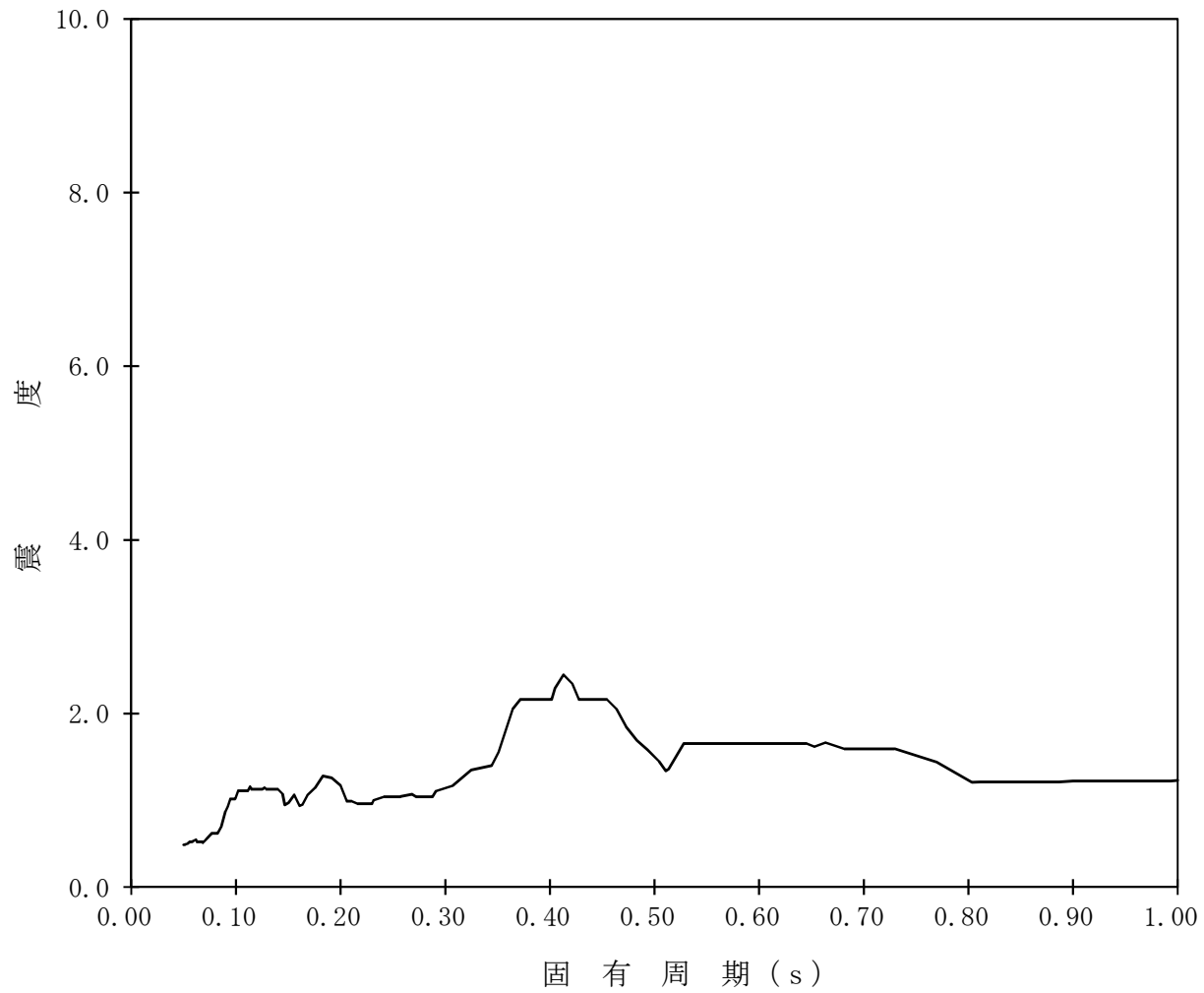
【K06-RCCV-SdH-PED84】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



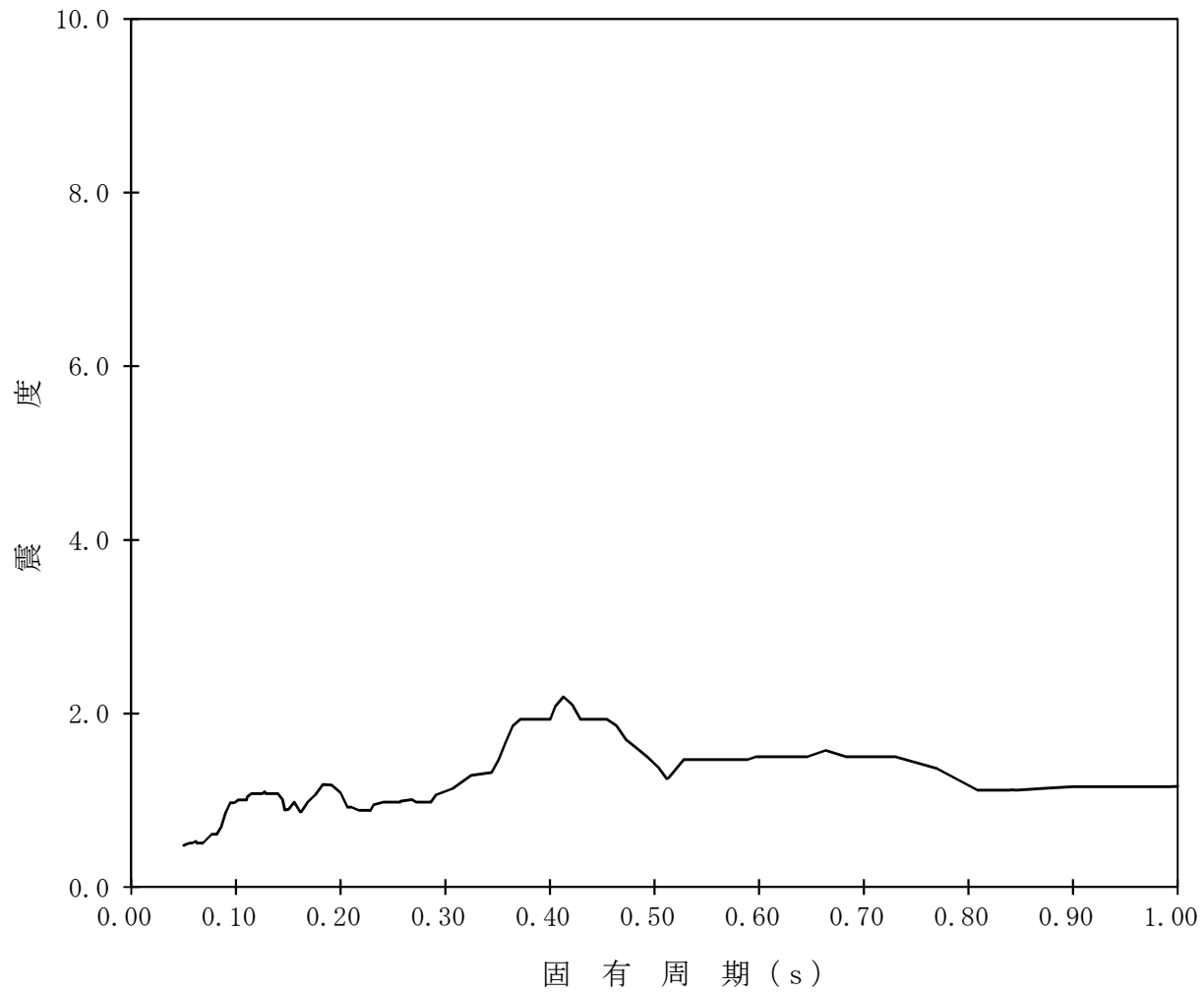
【K06-RCCV-SdH-PED85】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



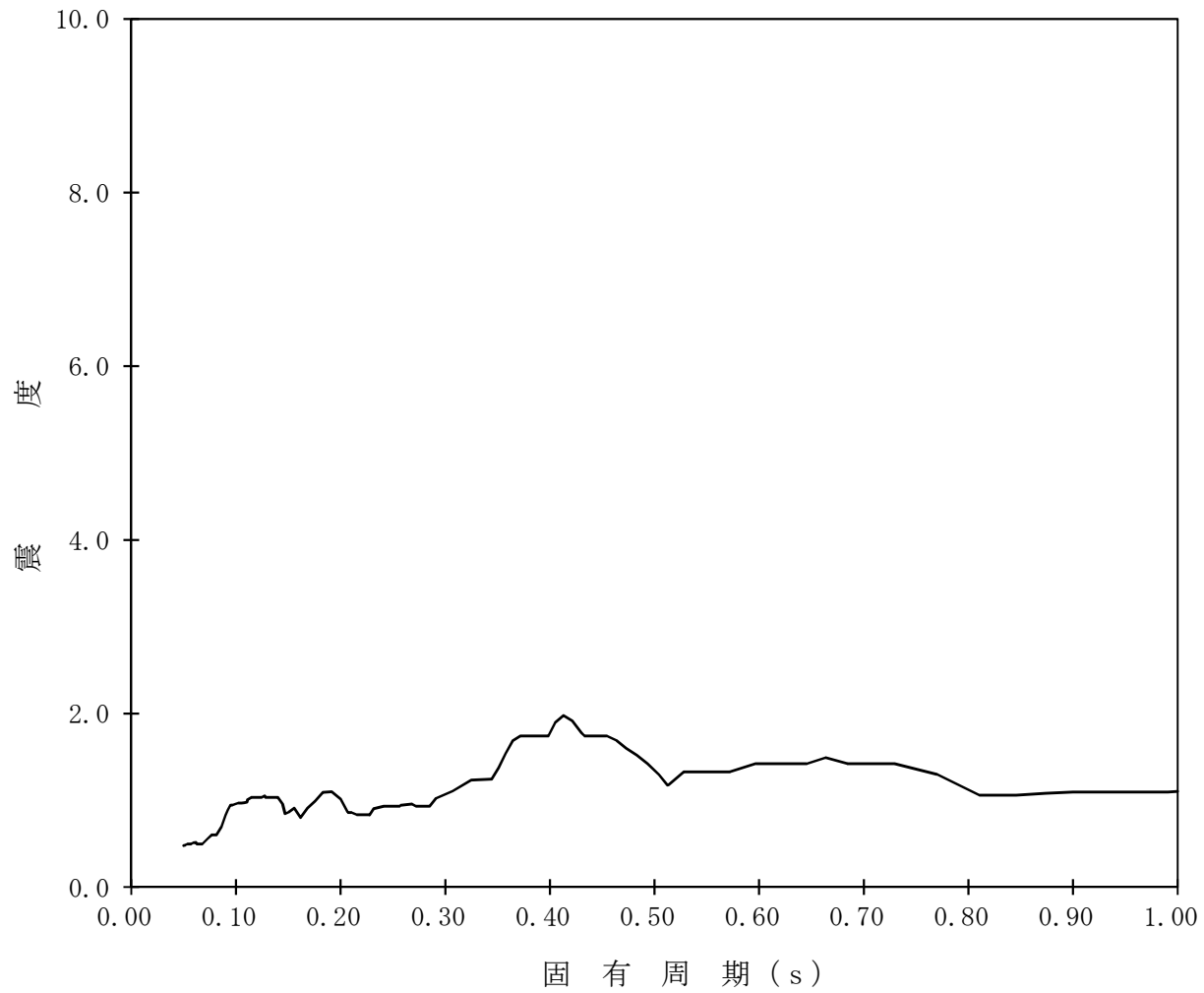
【K06-RCCV-SdH-PED86】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-PED87】

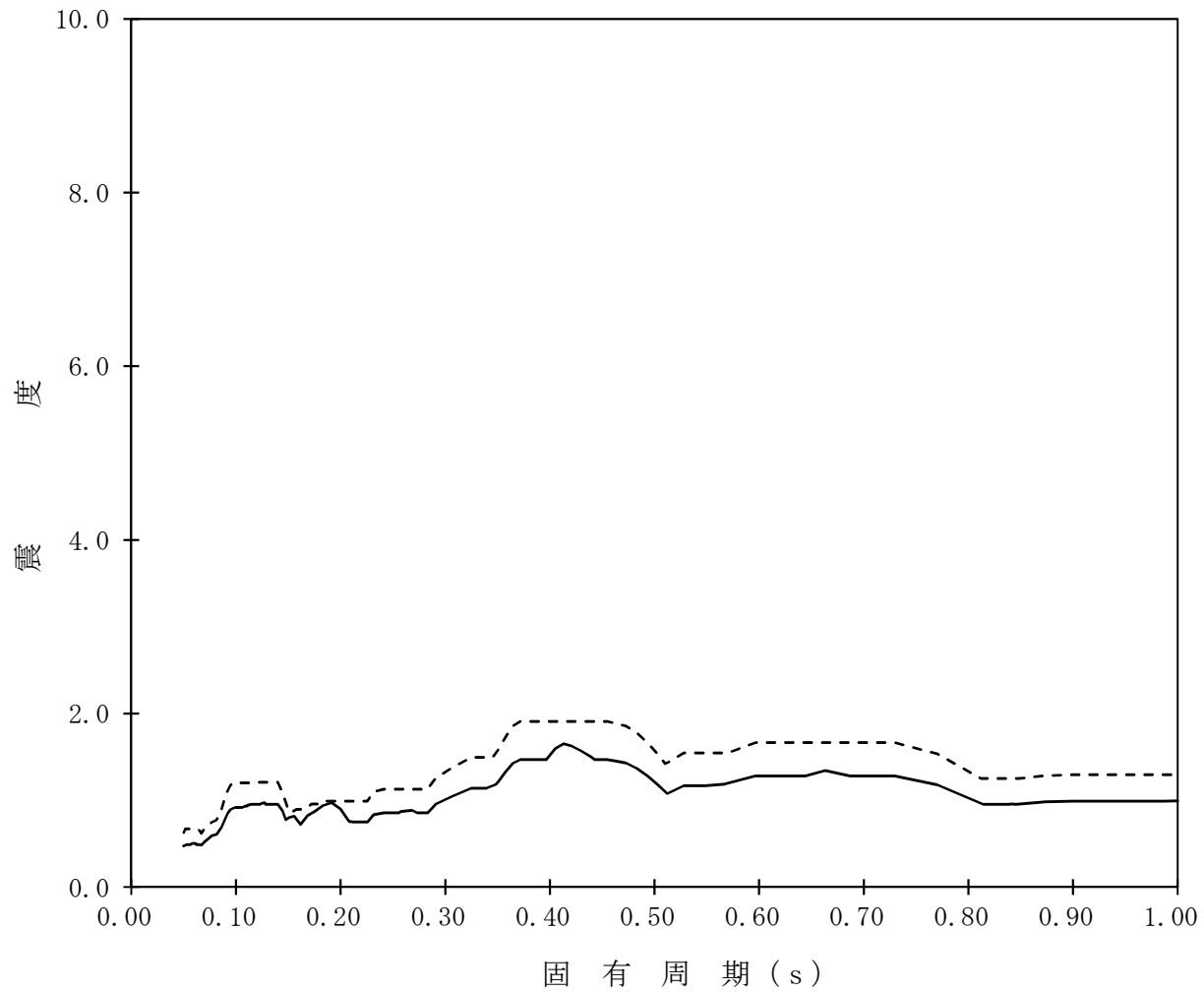
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED88】

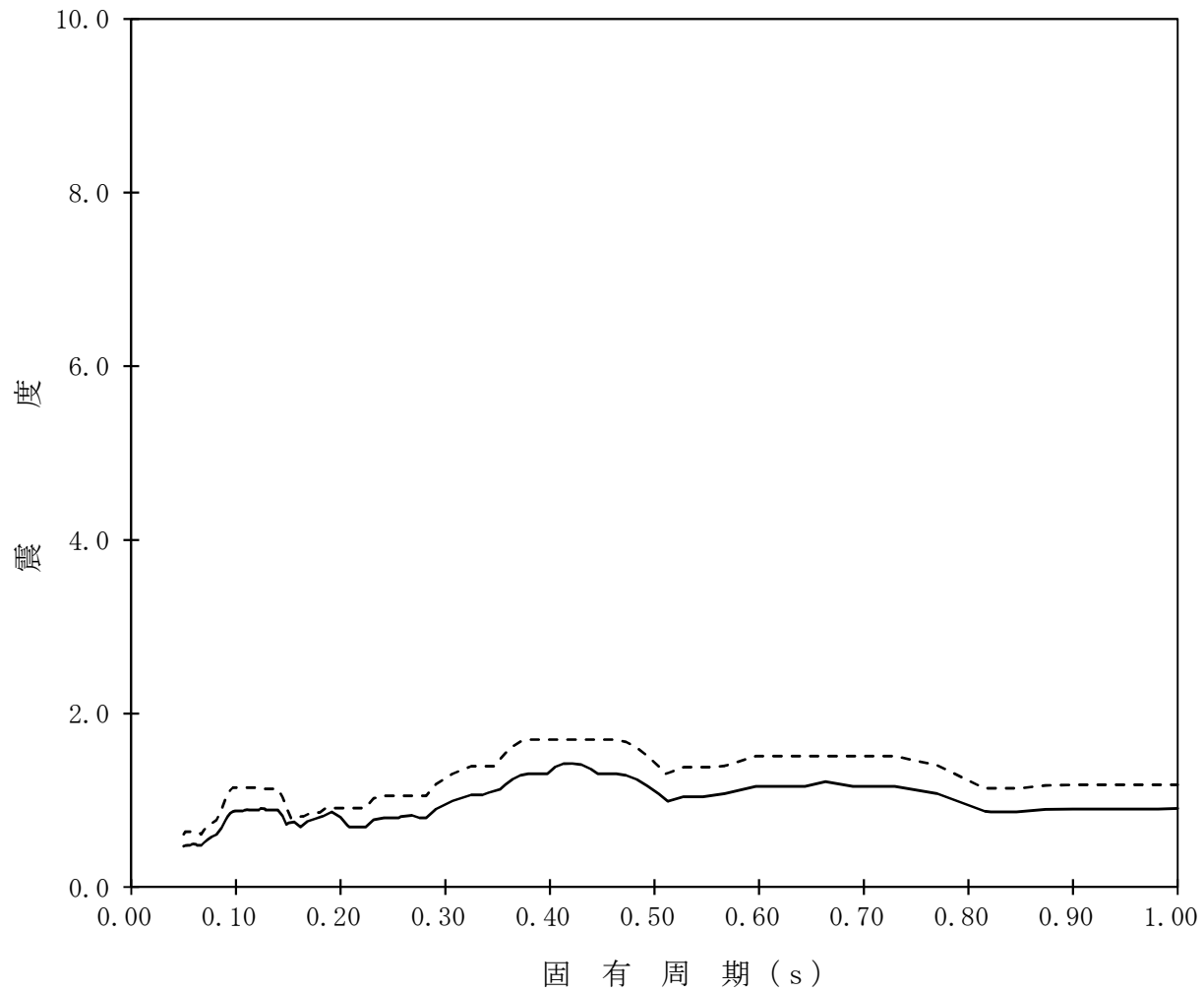
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 4. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED89】

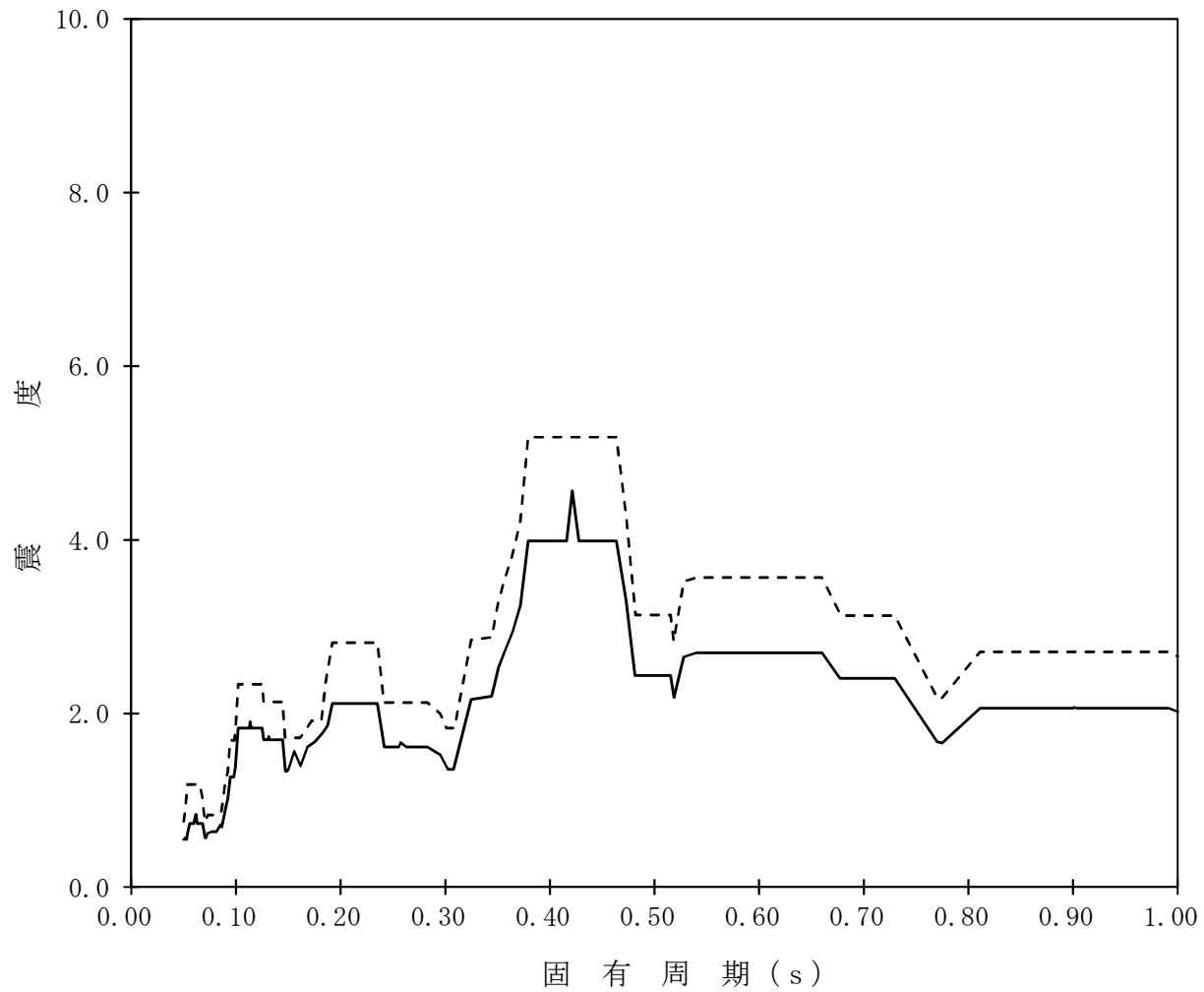
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 3. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED90】

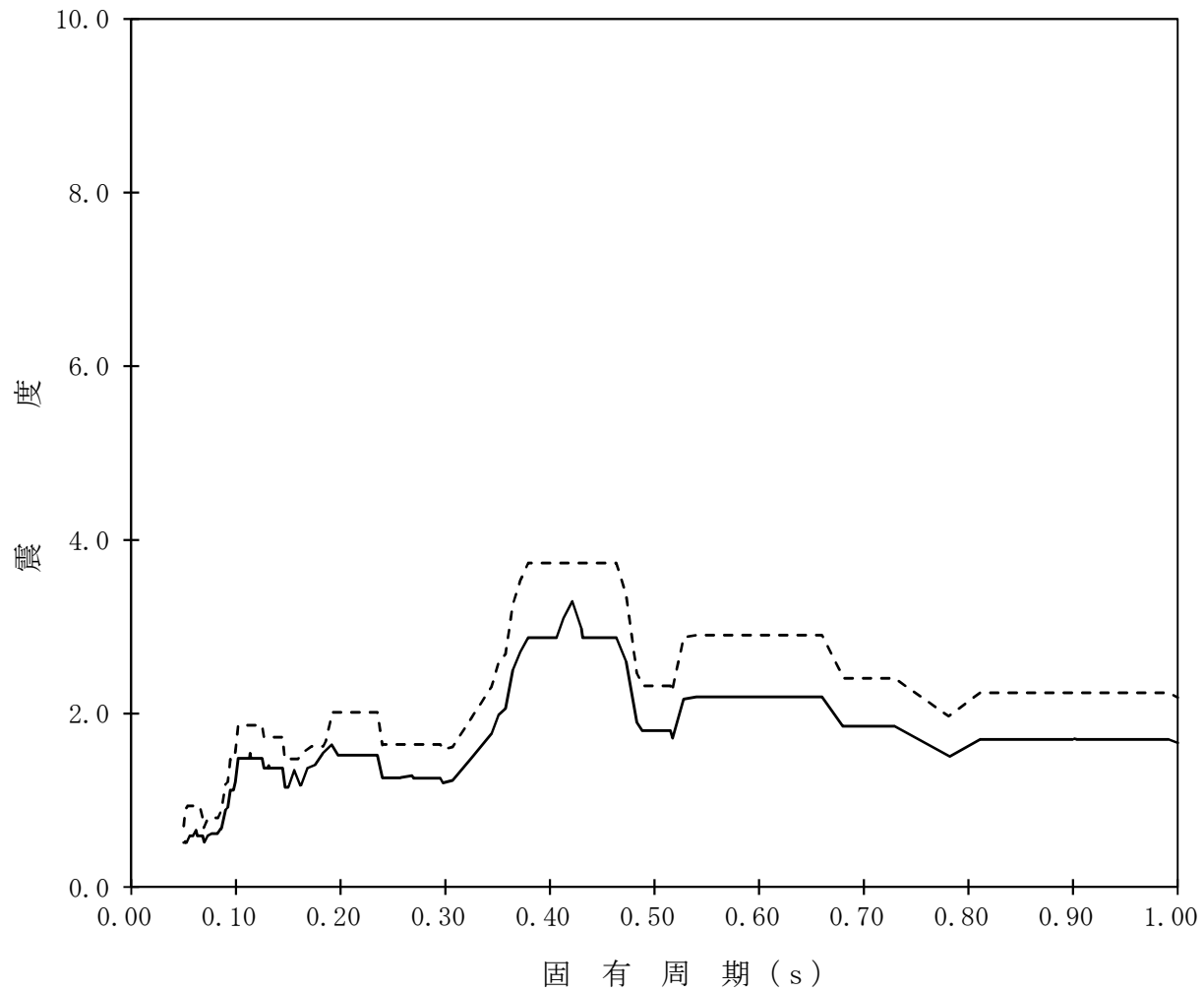
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 3. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



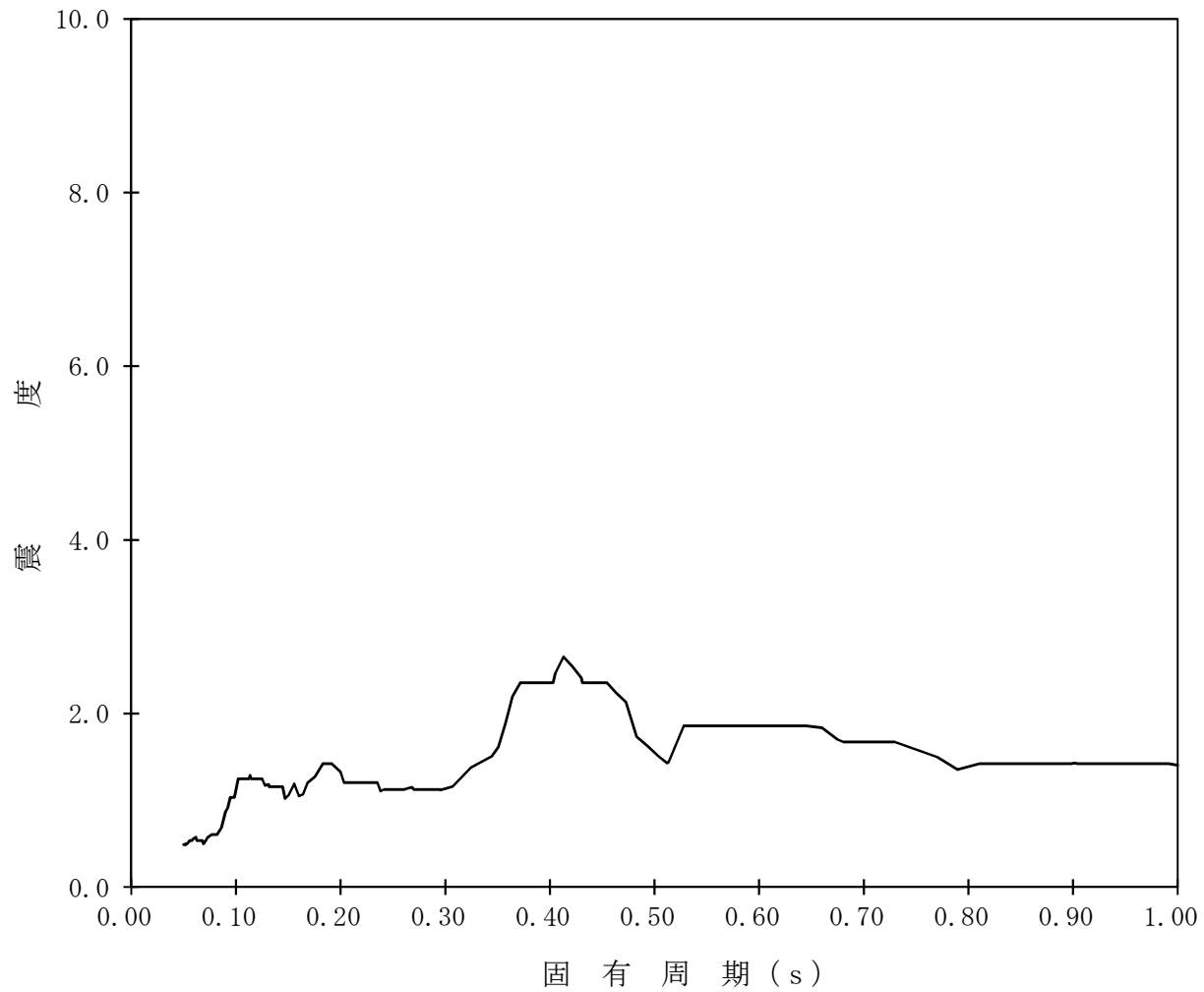
【K06-RCCV-SdH-PED91】

構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 3. 500m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-PED92】

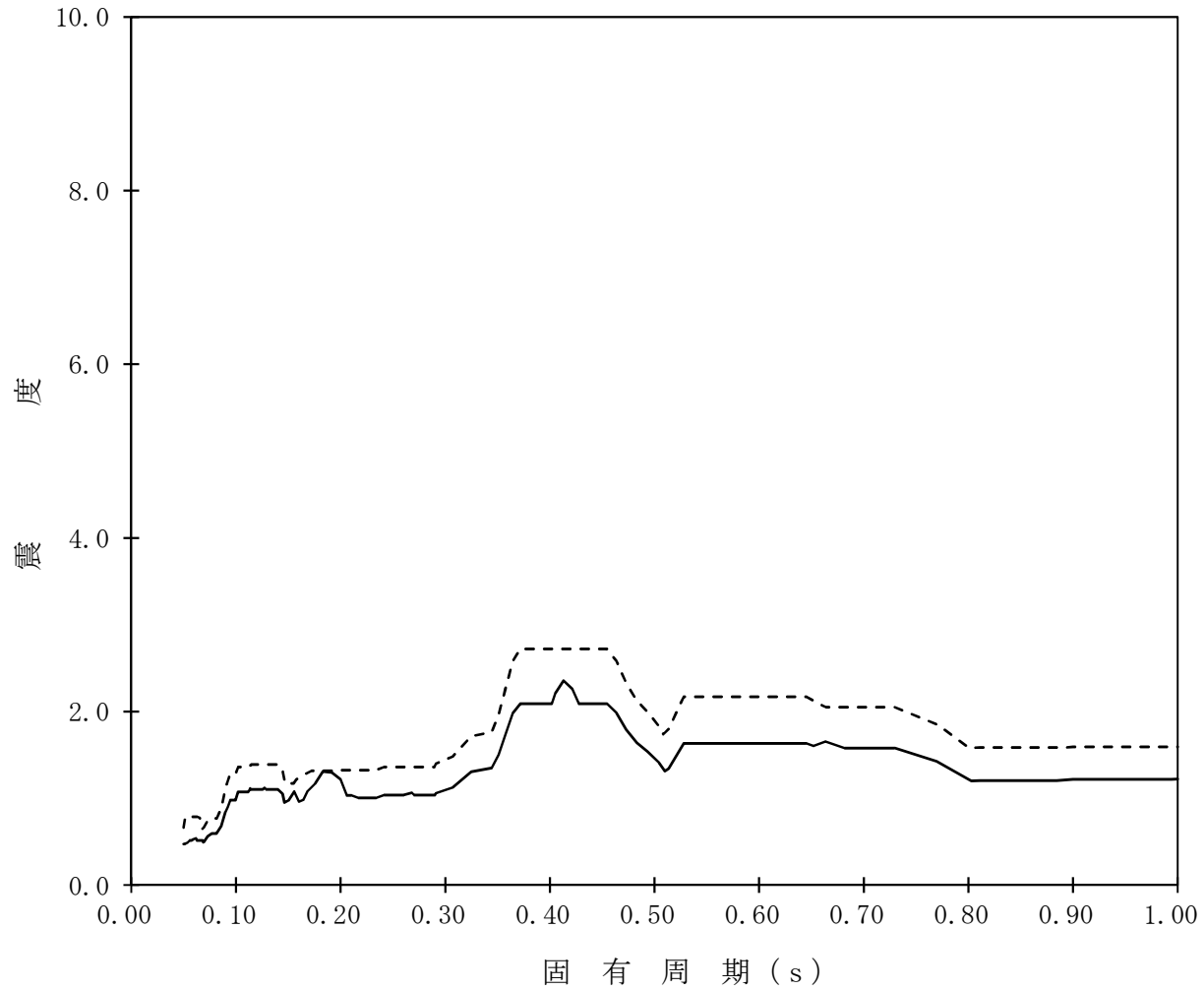
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 3. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED93】

構造物名：原子炉本体基礎

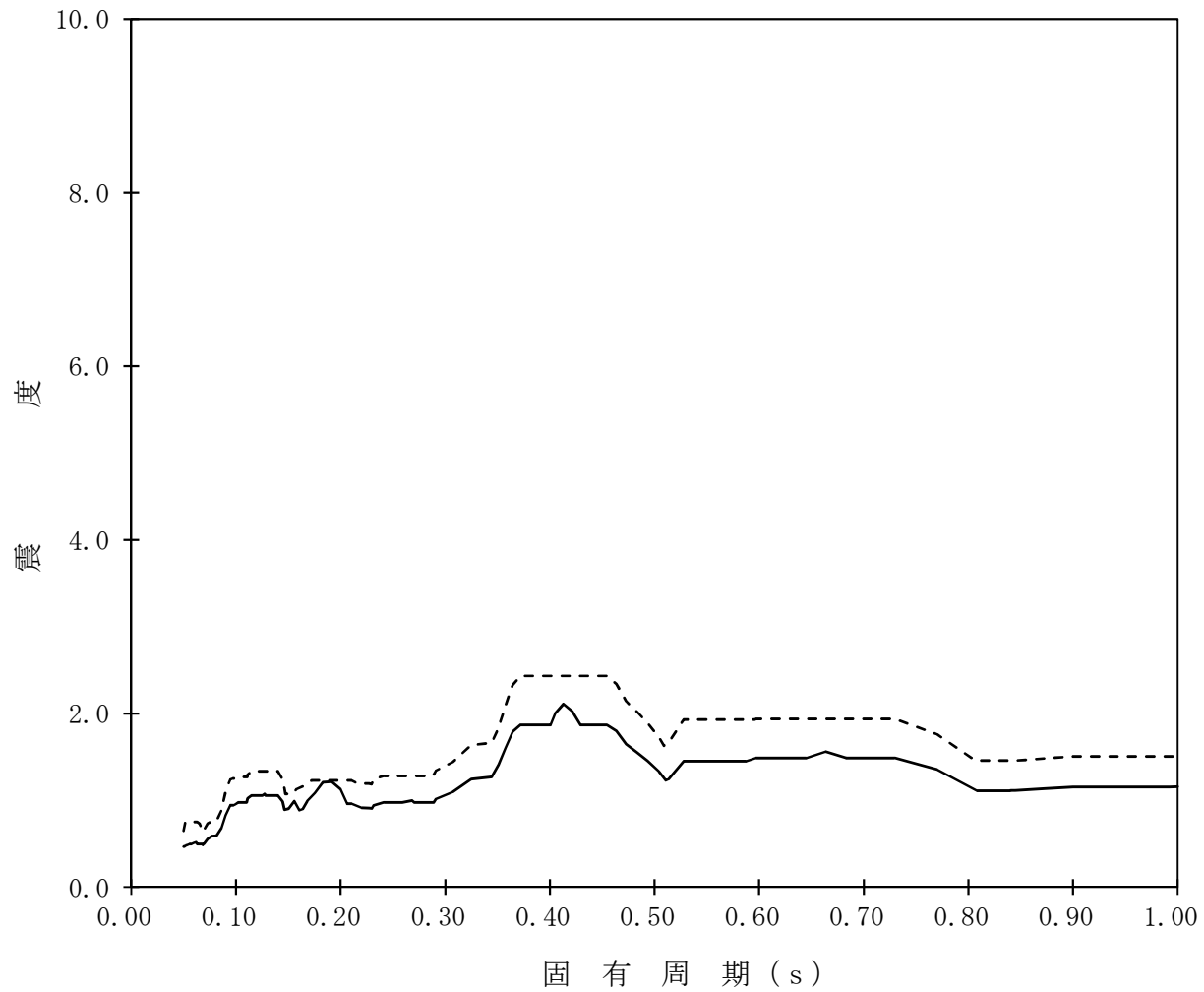
標高：T. M. S. L. 3. 500m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED94】

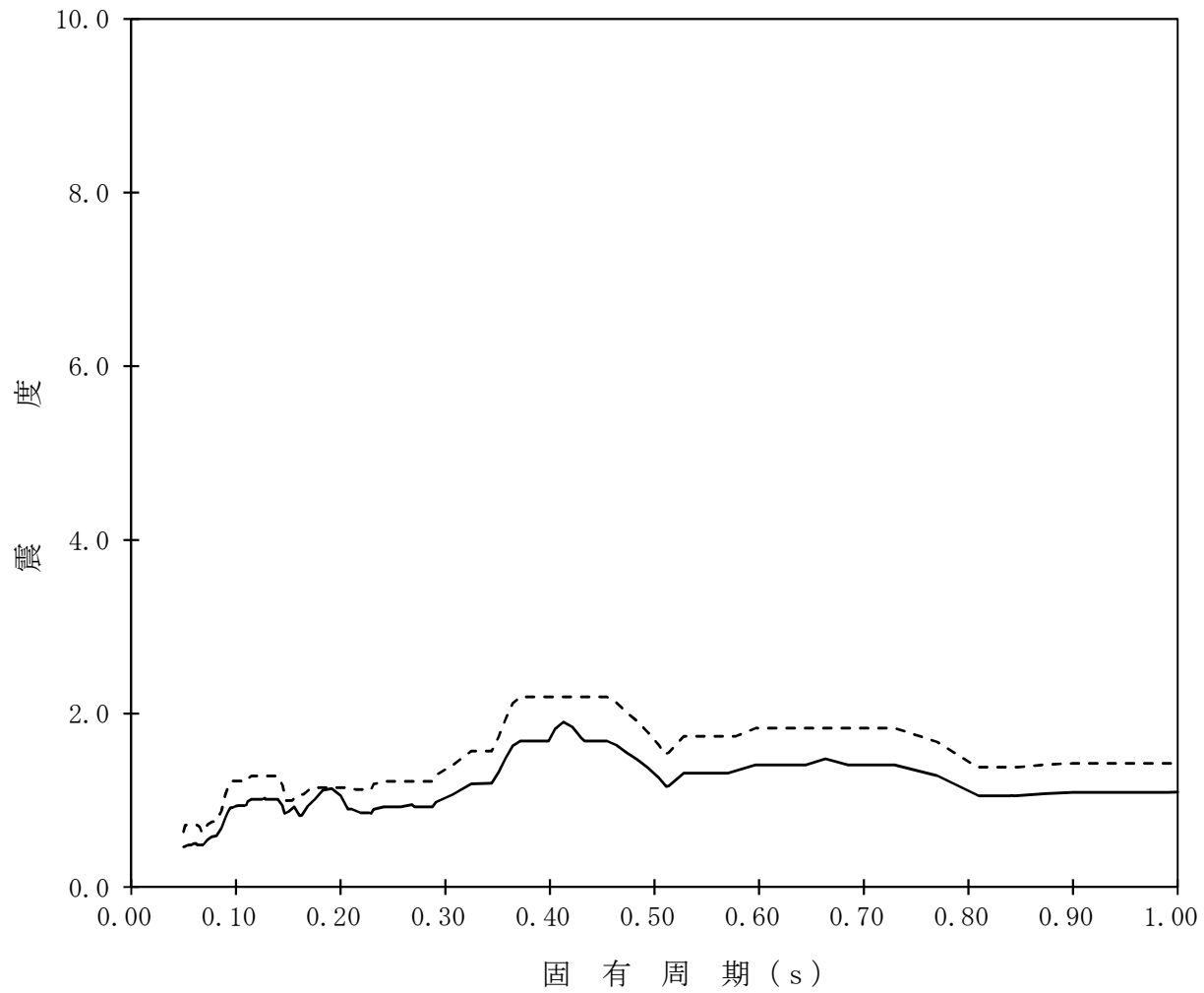
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 3. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED95】

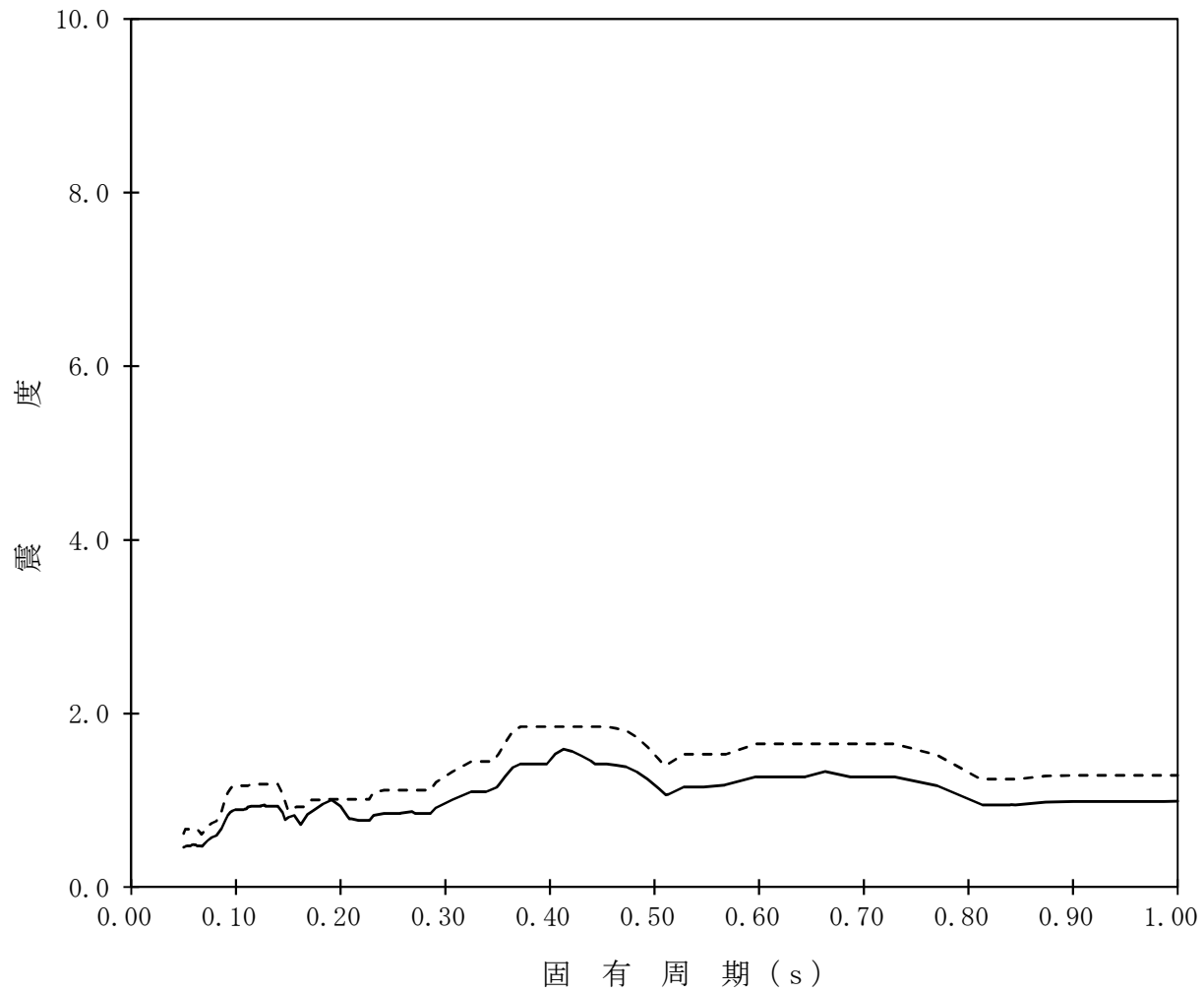
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 3. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED96】

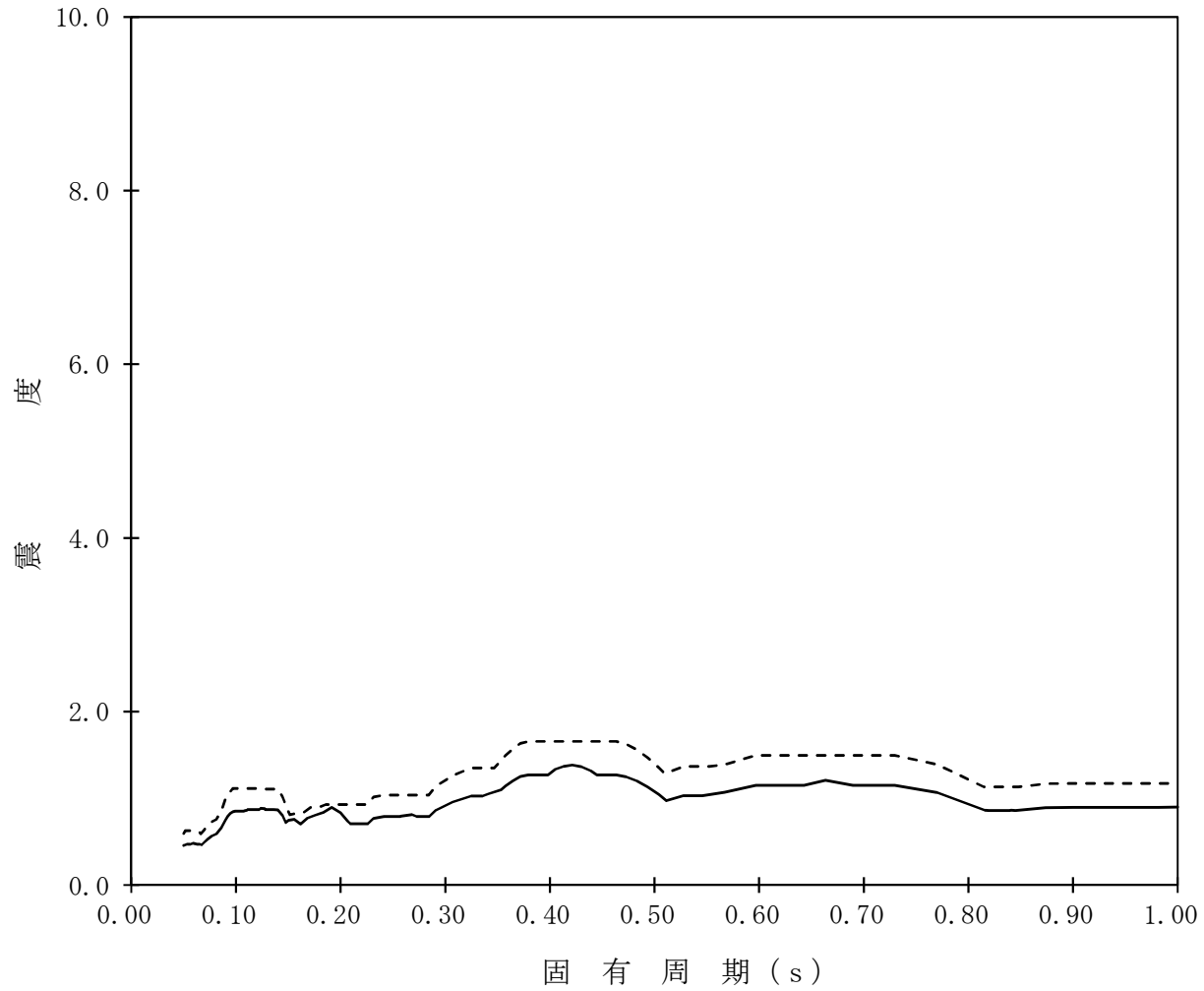
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 3. 500m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED97】

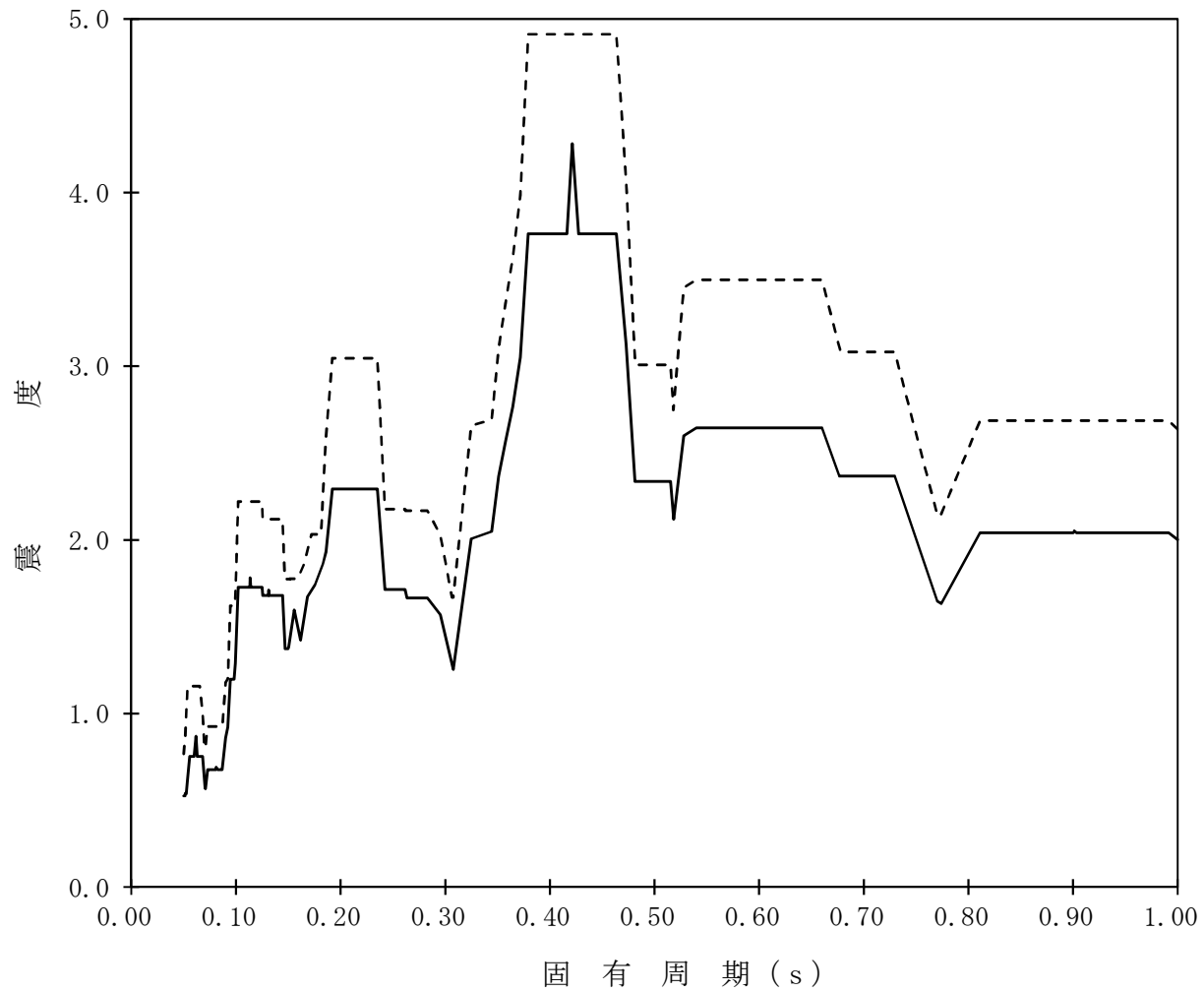
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED98】

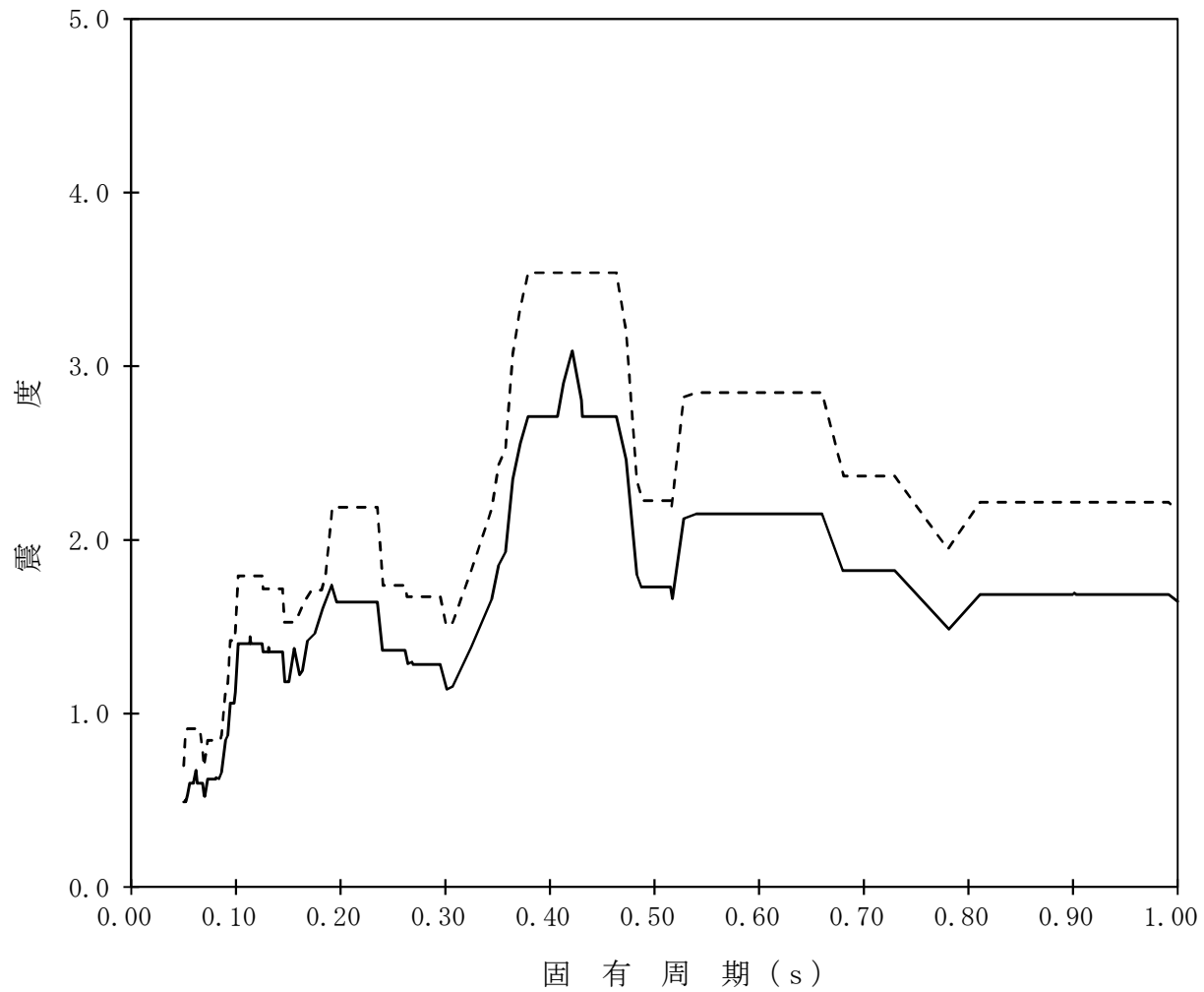
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED99】

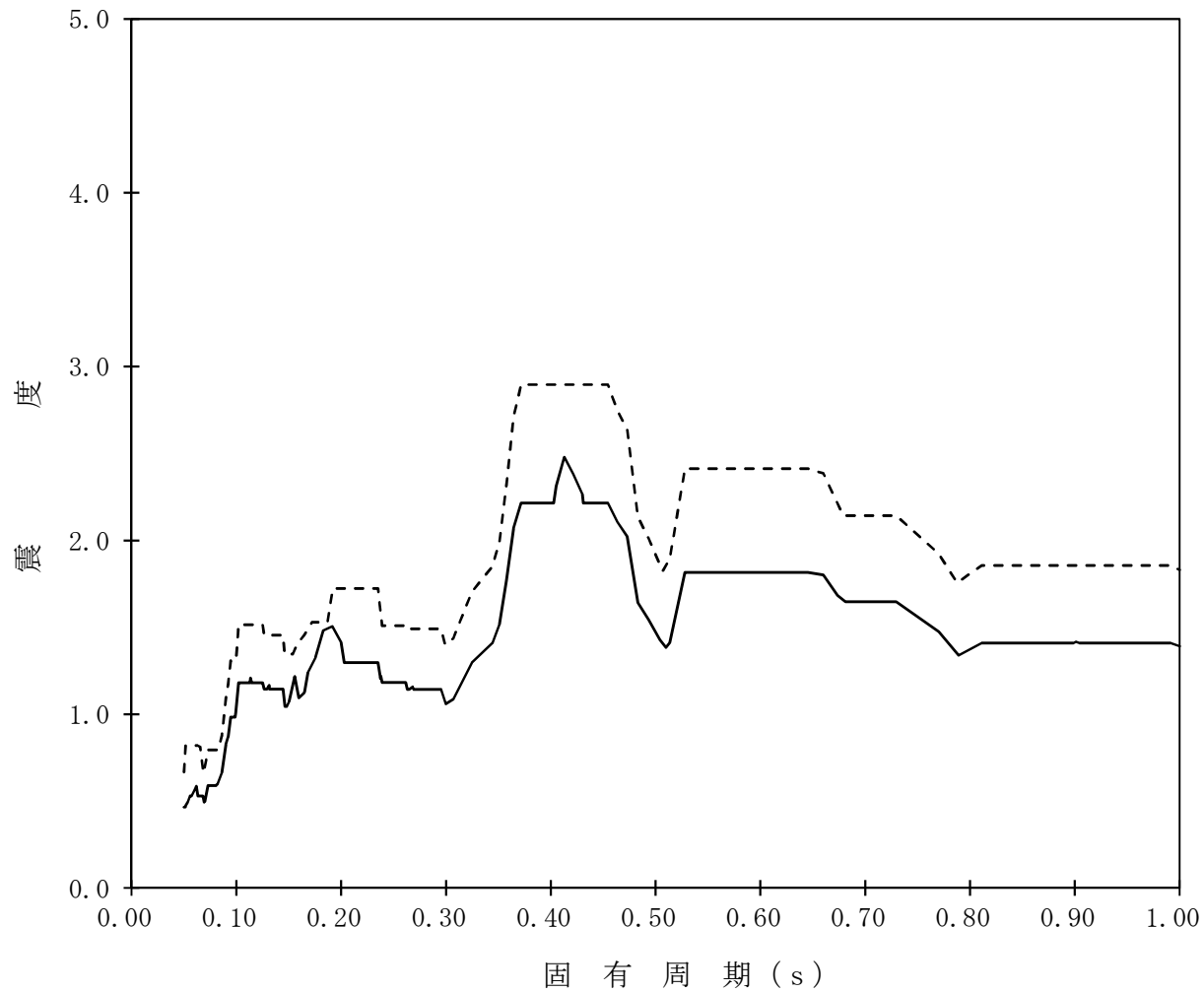
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED100】

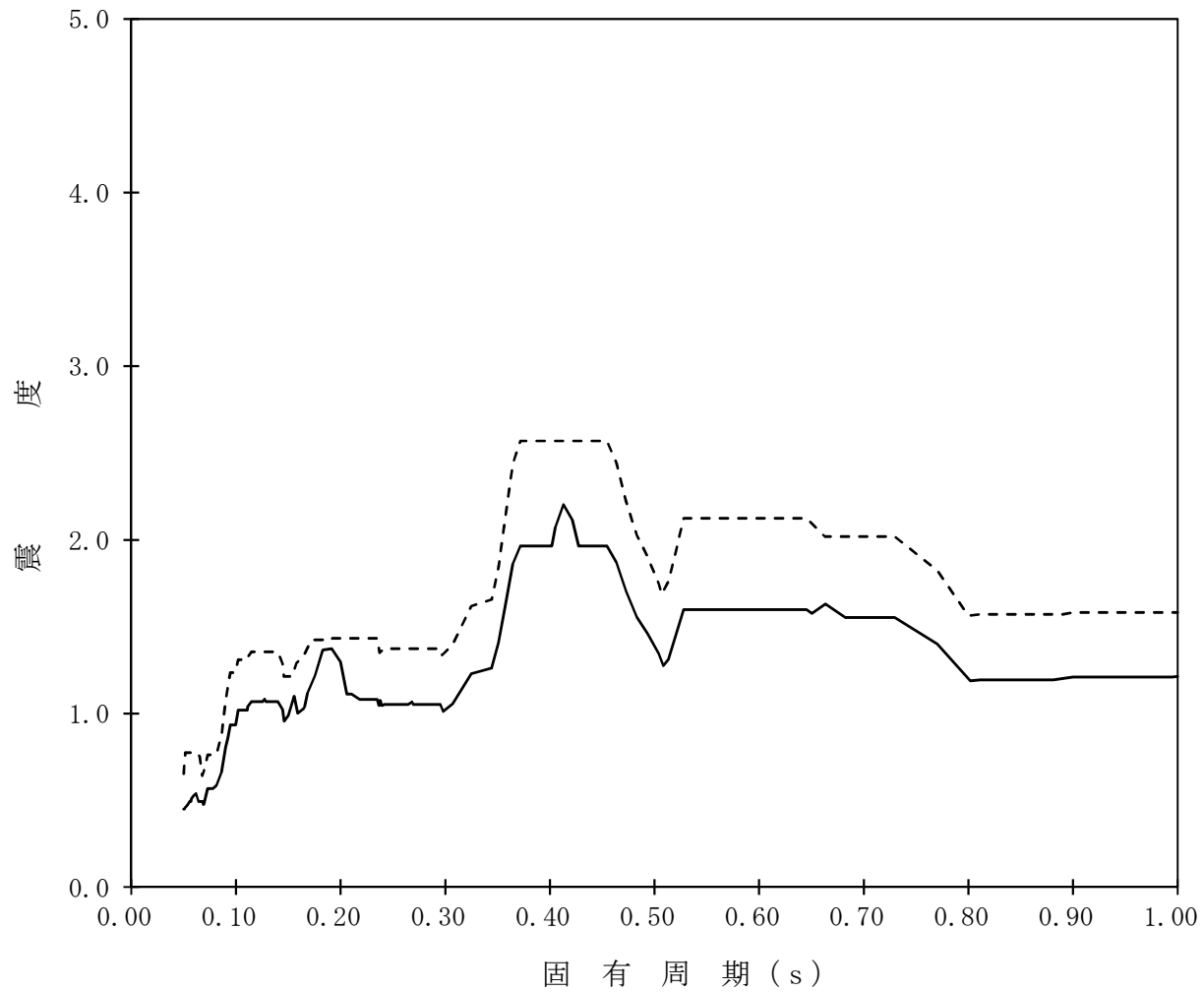
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED101】

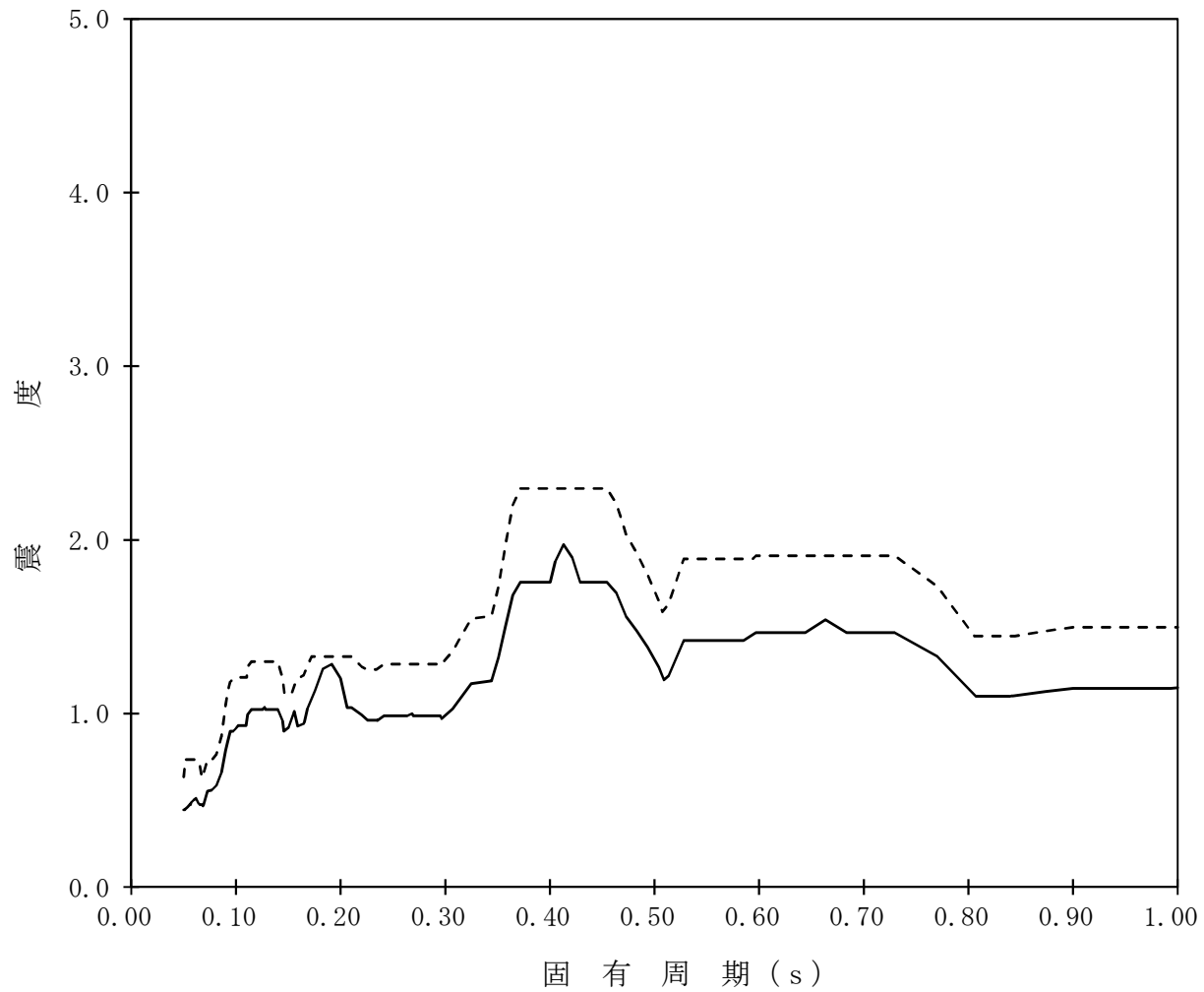
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED102】

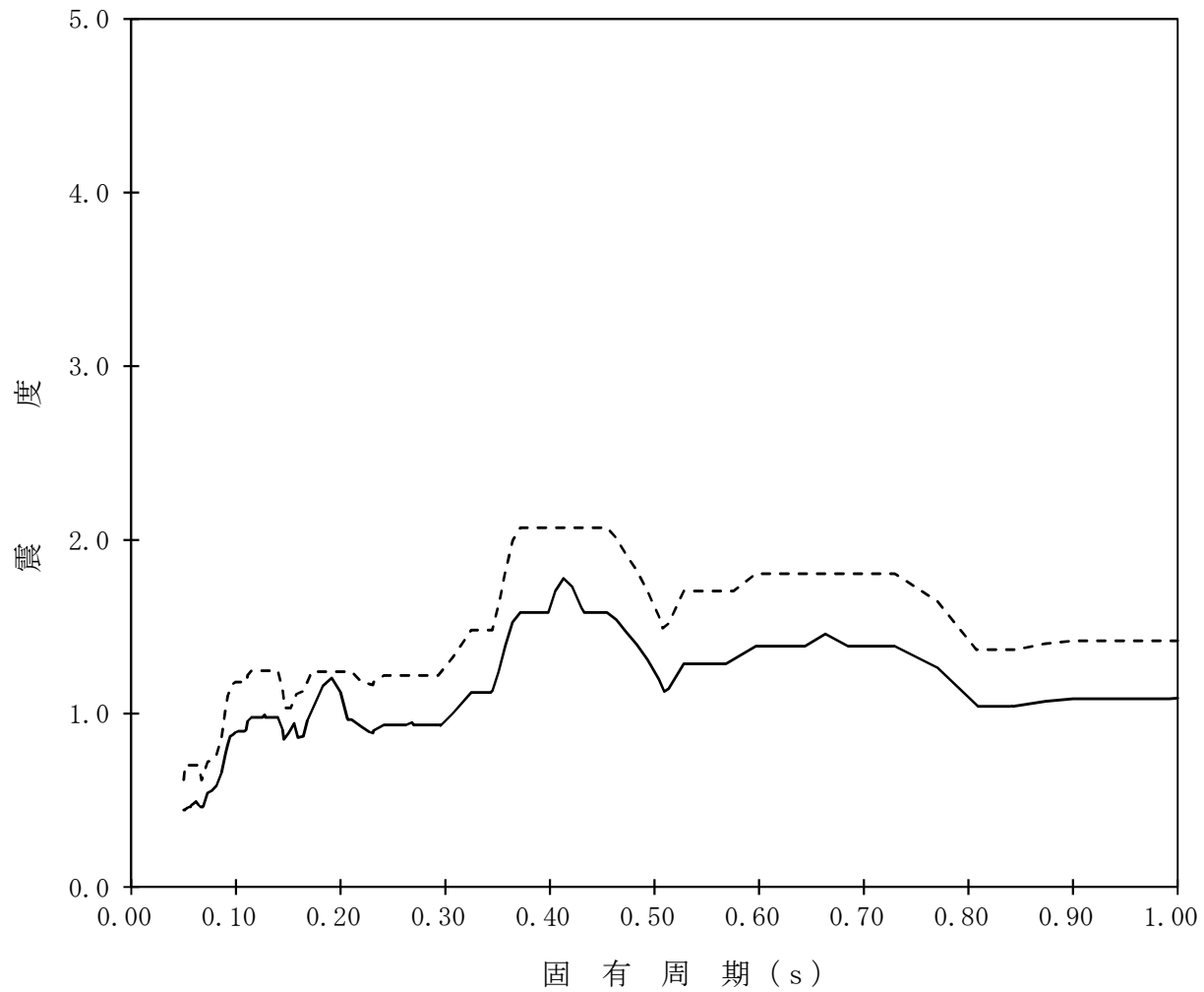
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED103】

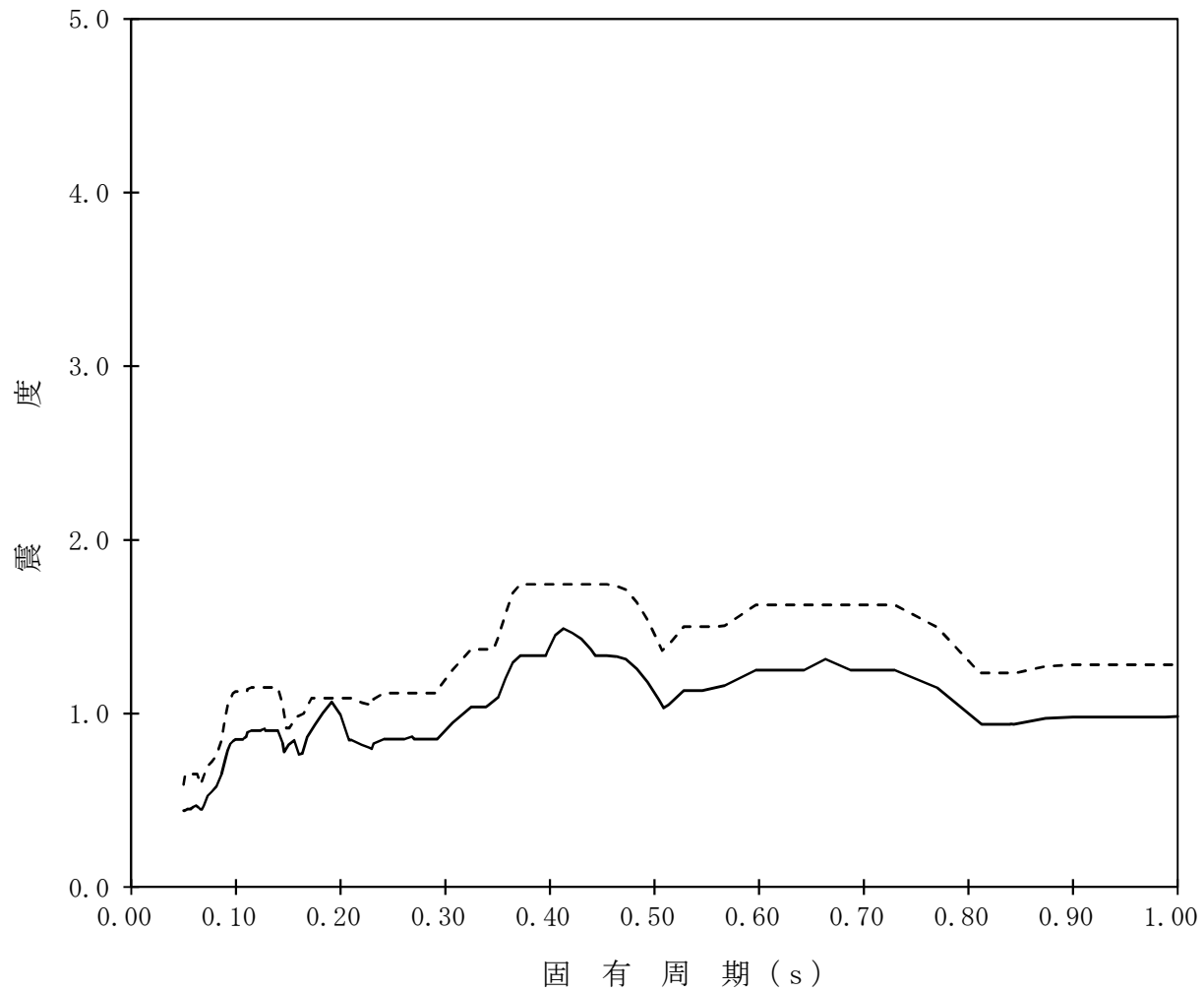
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED104】

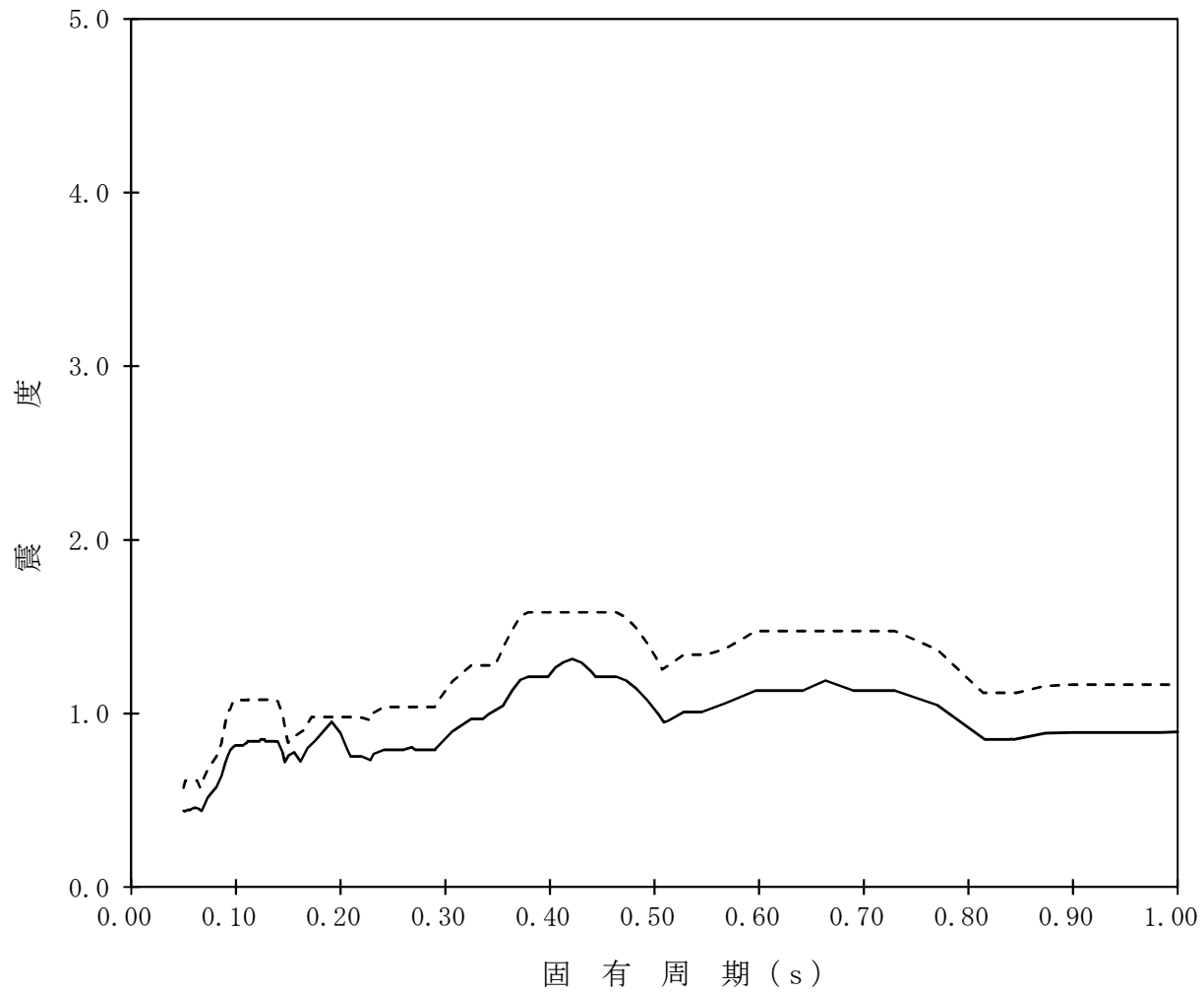
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 1.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED105】

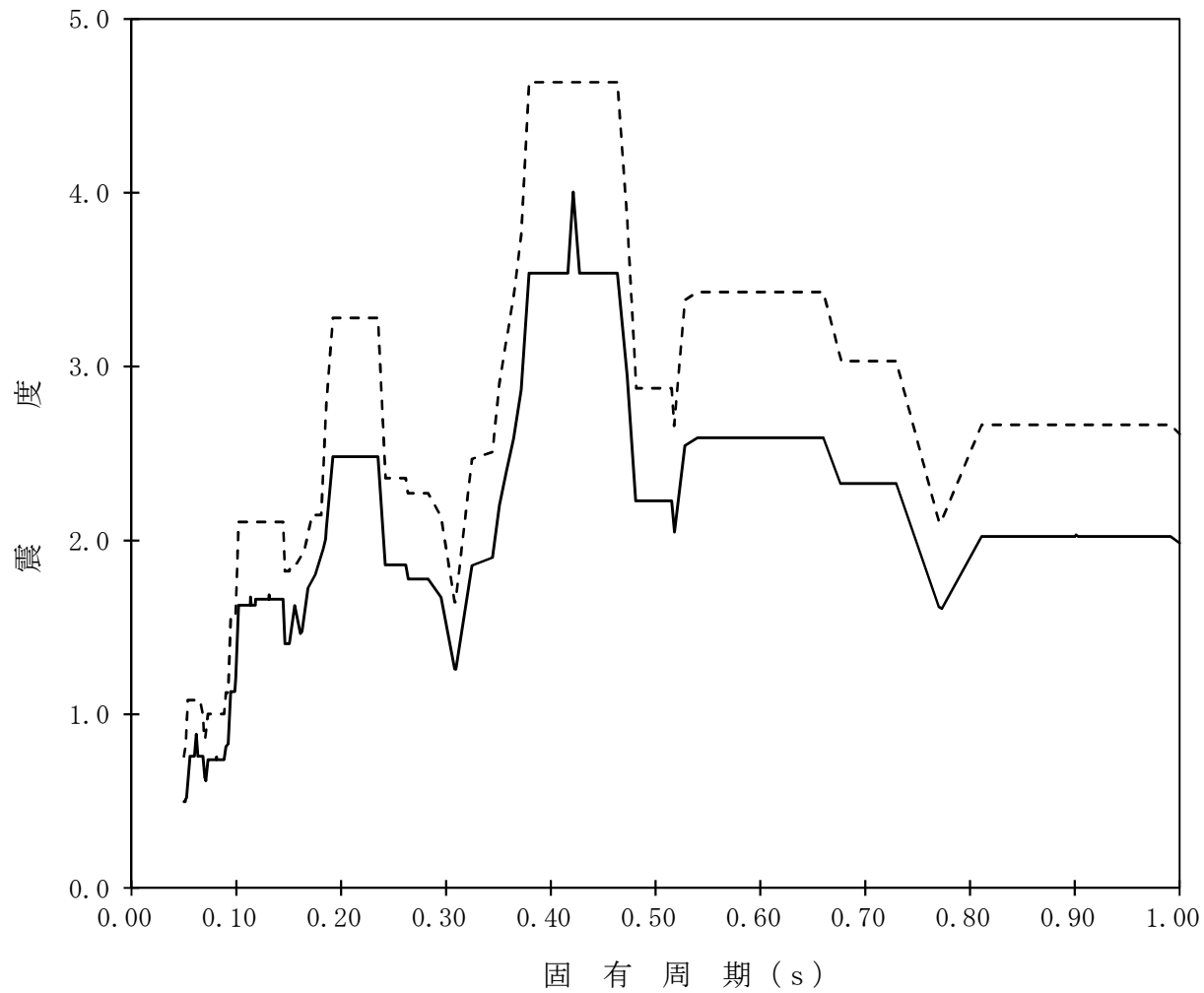
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

- - - - 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED106】

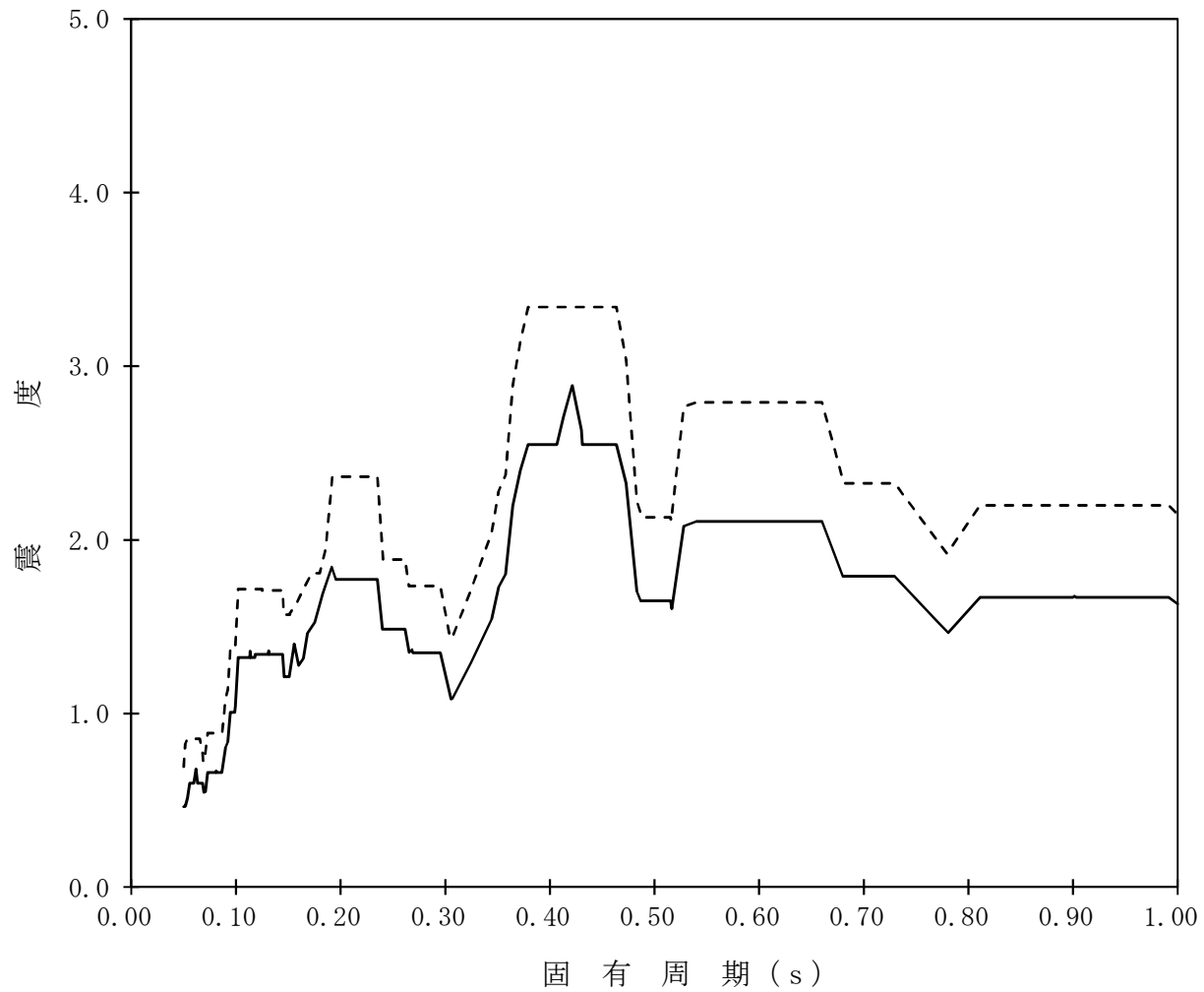
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED107】

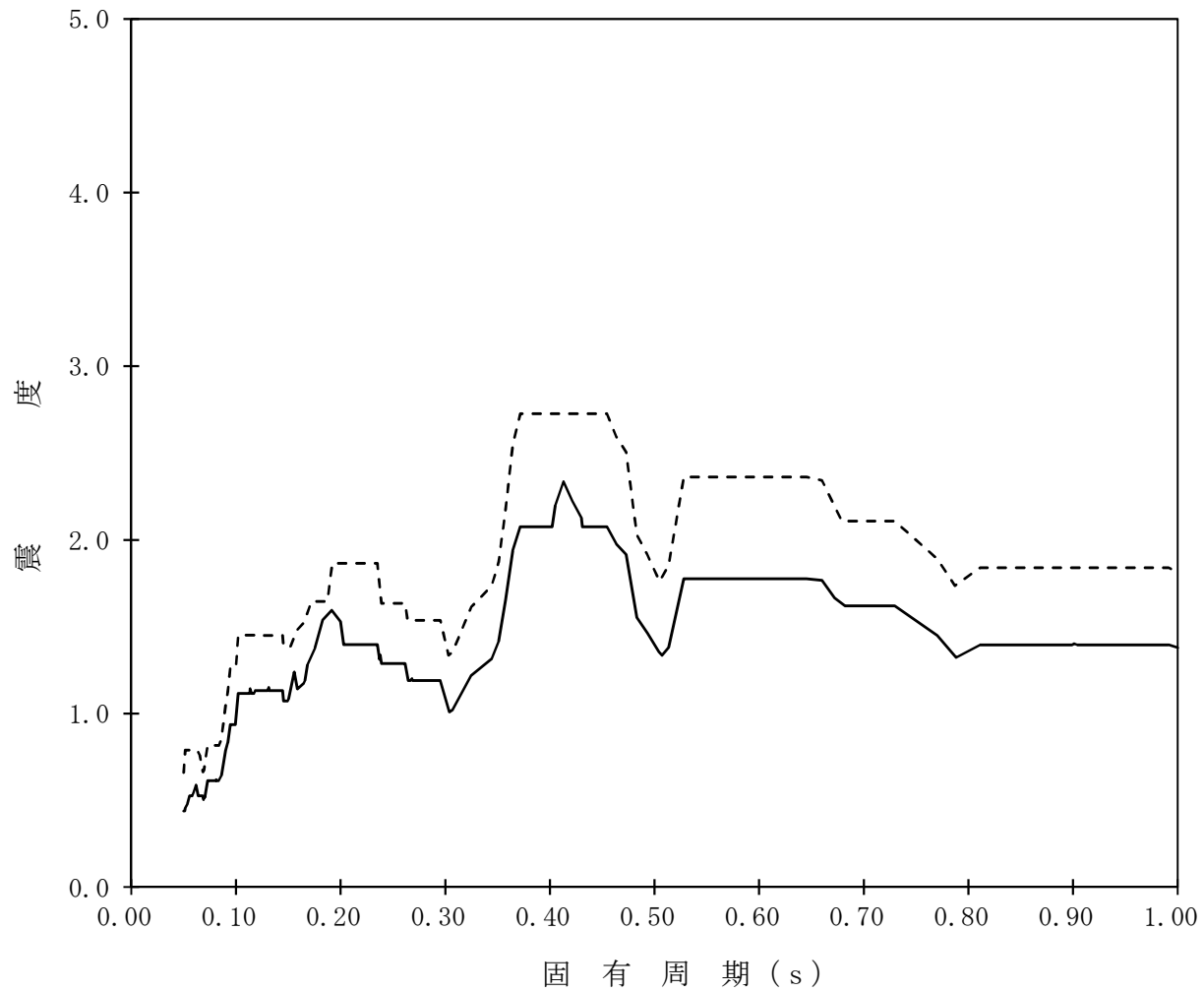
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED108】

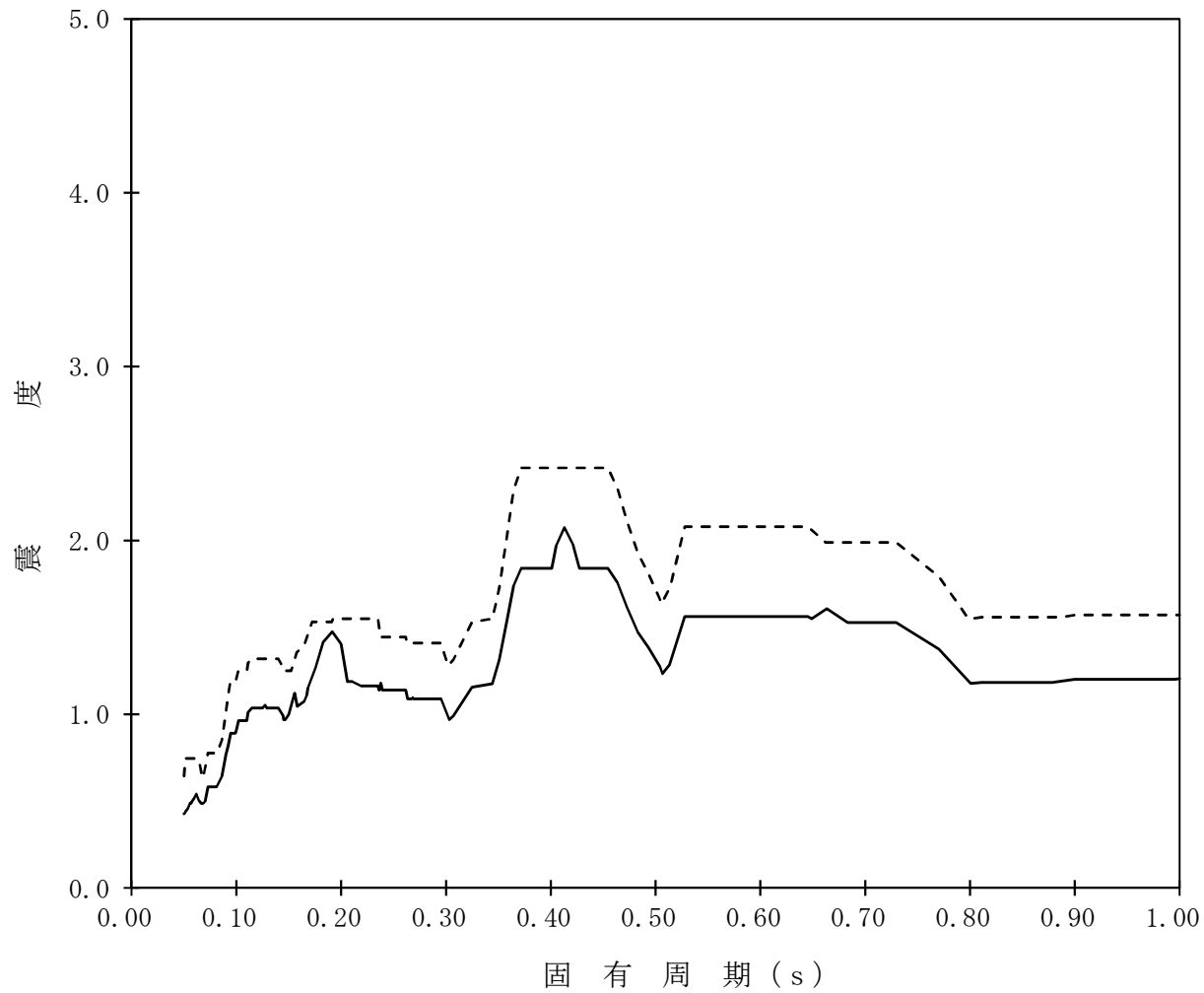
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED109】

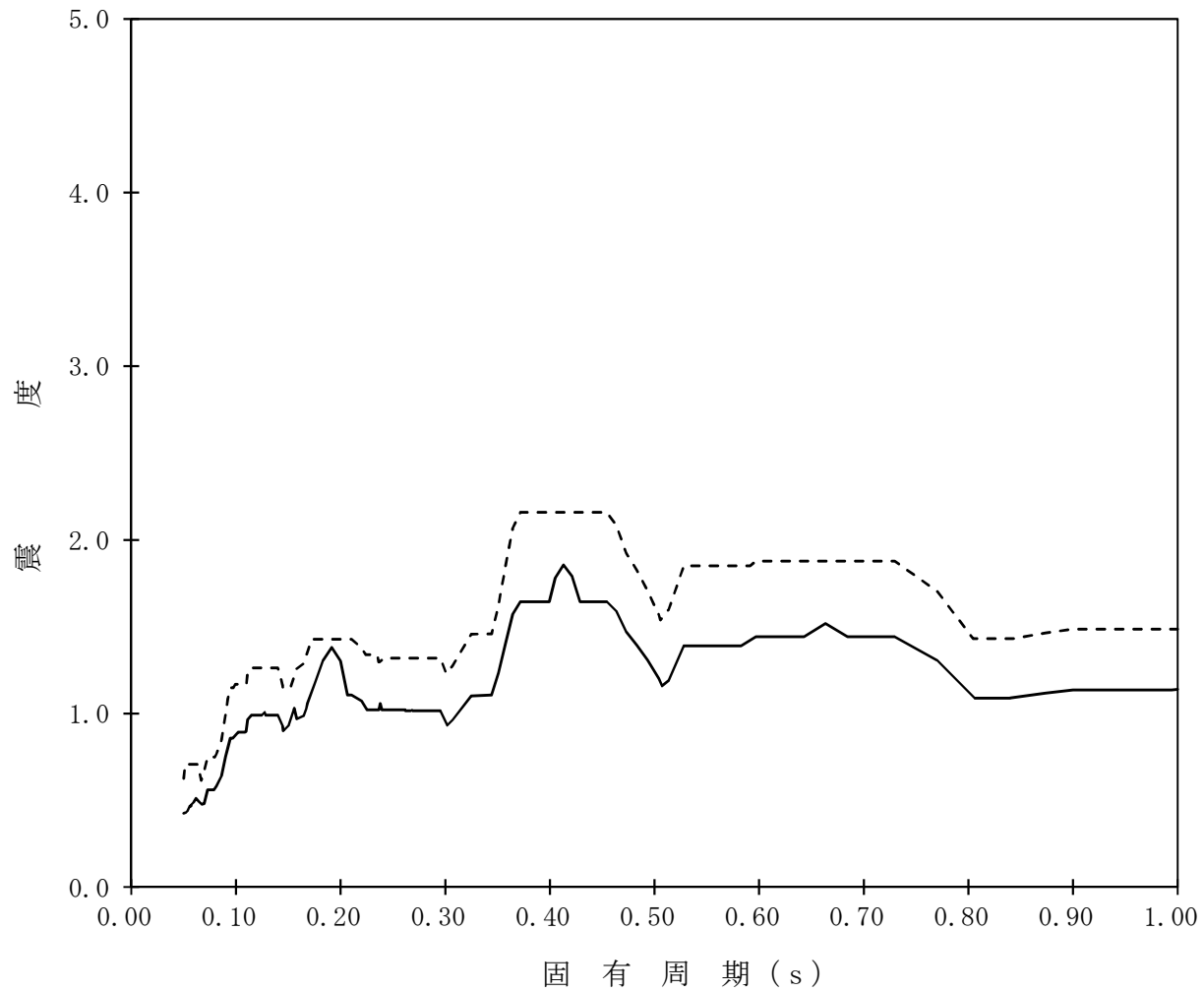
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED110】

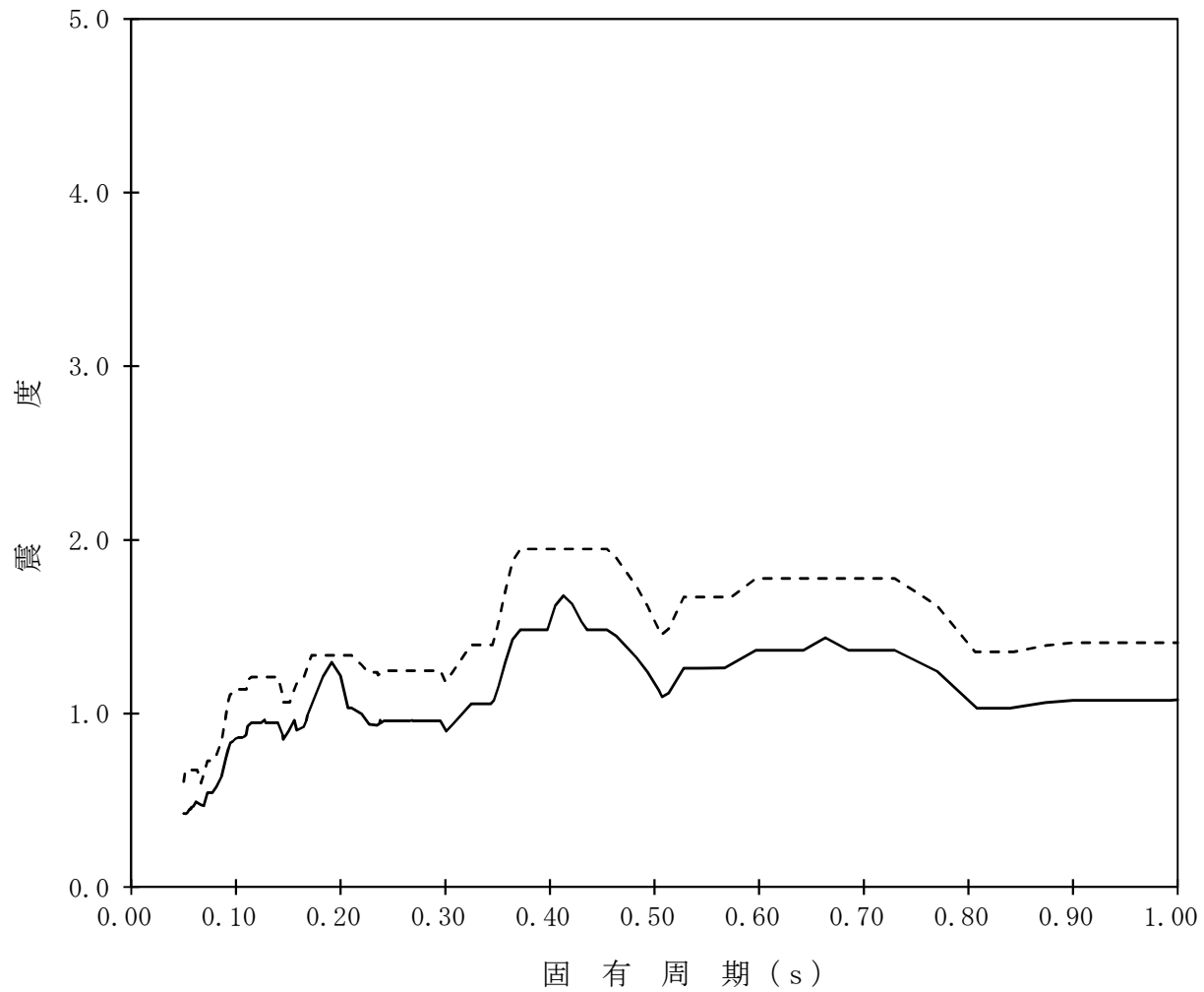
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED111】

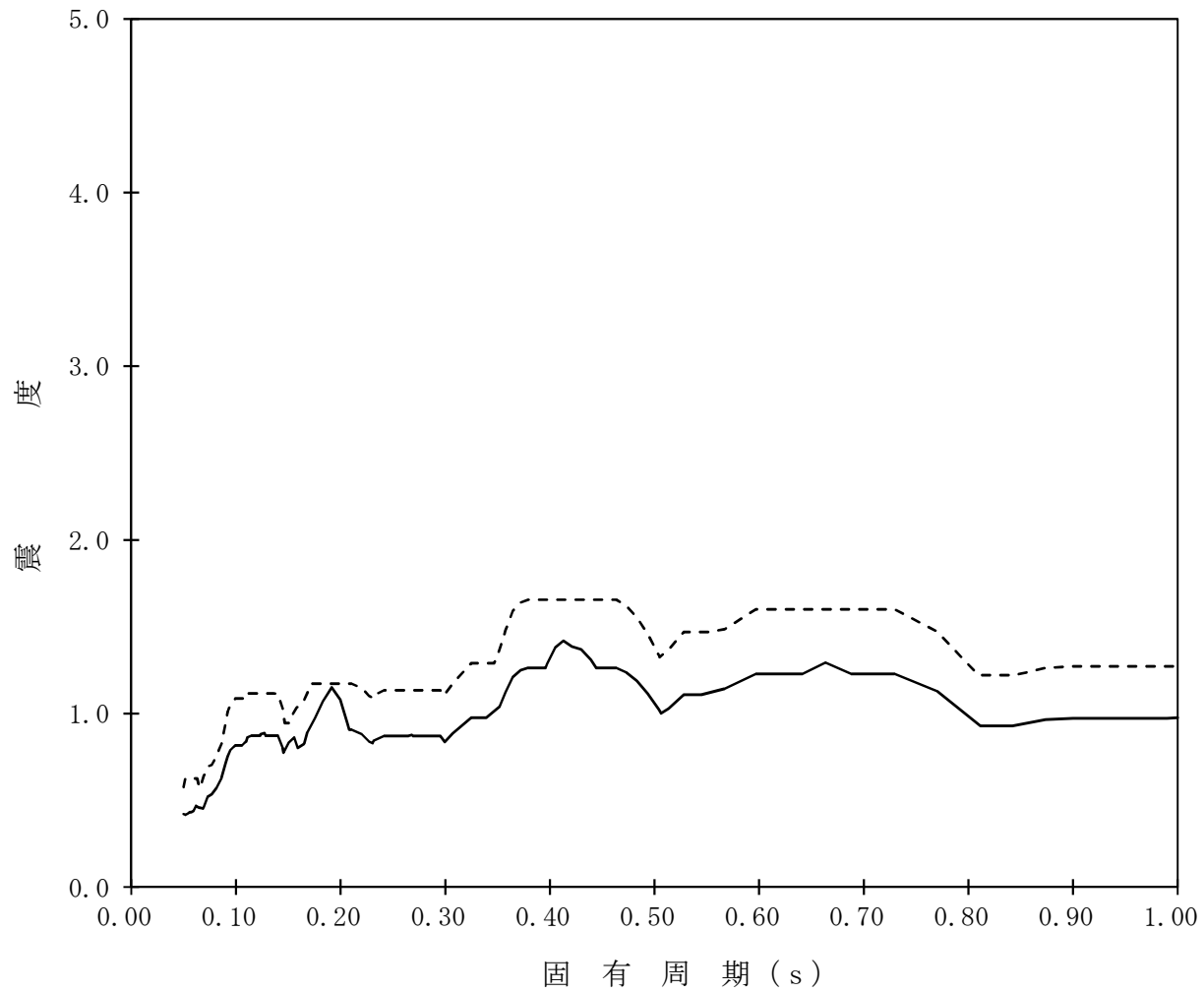
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED112】

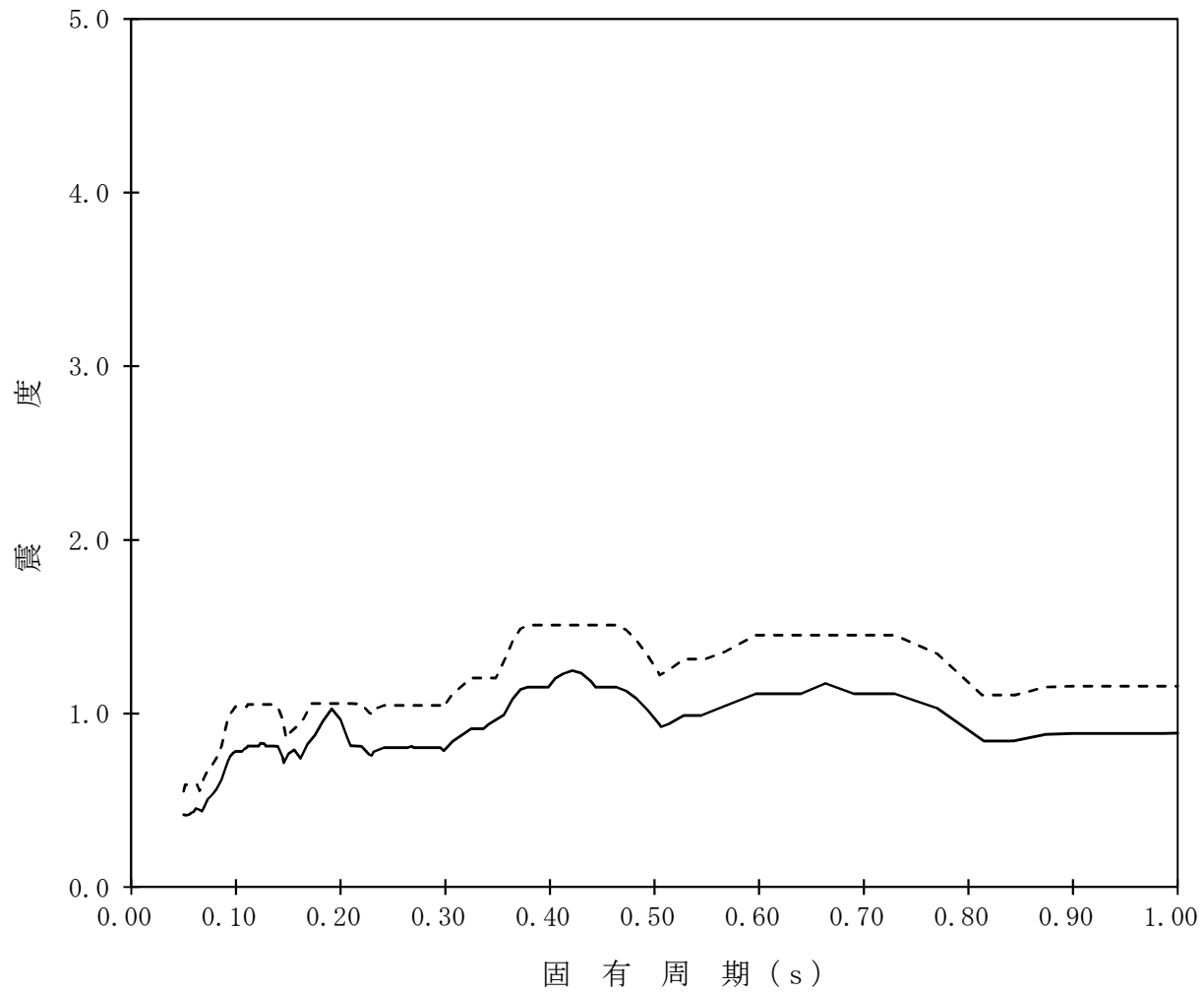
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -0.180m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED113】

構造物名：原子炉本体基礎

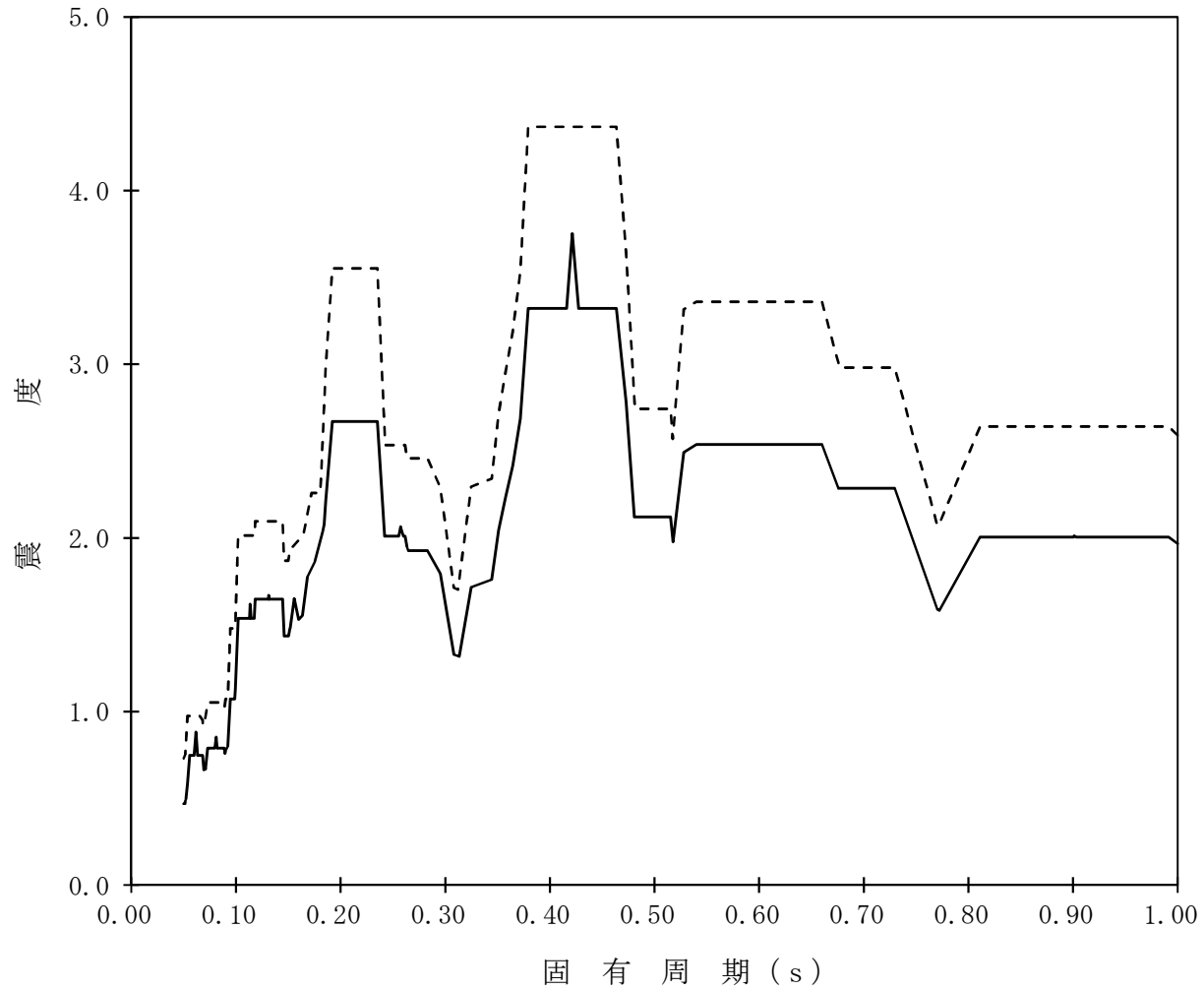
標高：T. M. S. L. -2. 100m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：0. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED114】

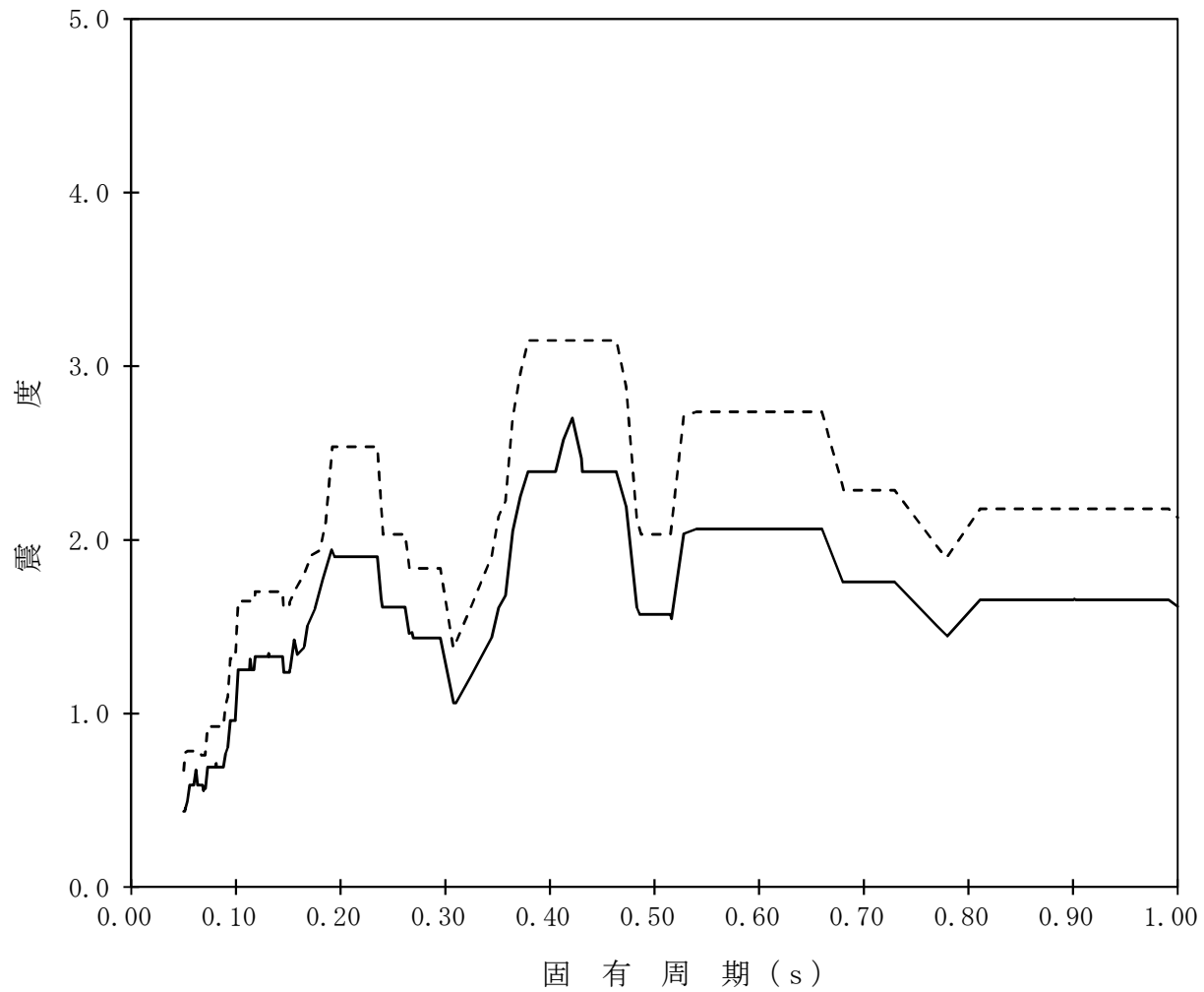
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -2.100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED115】

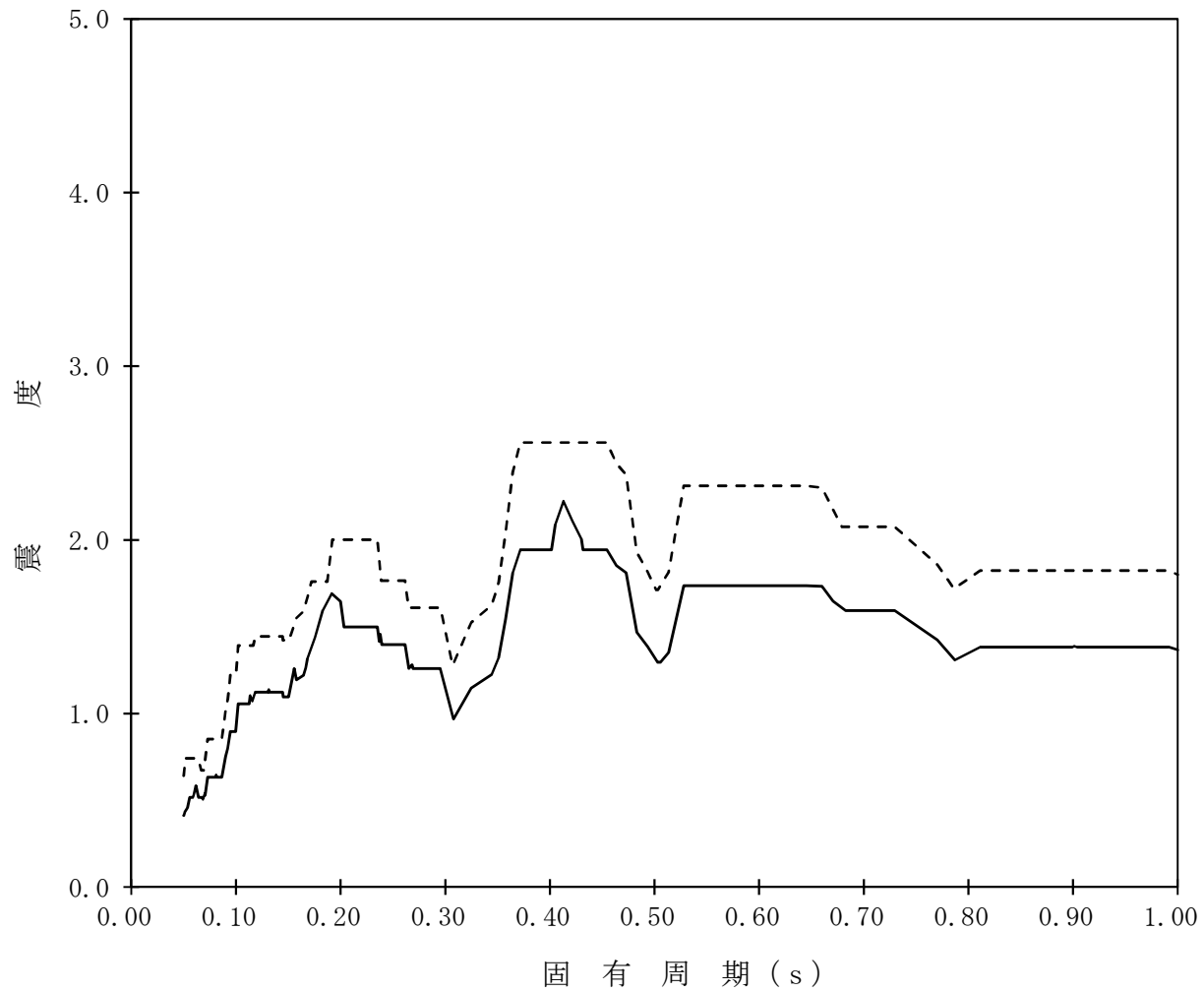
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -2.100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED116】

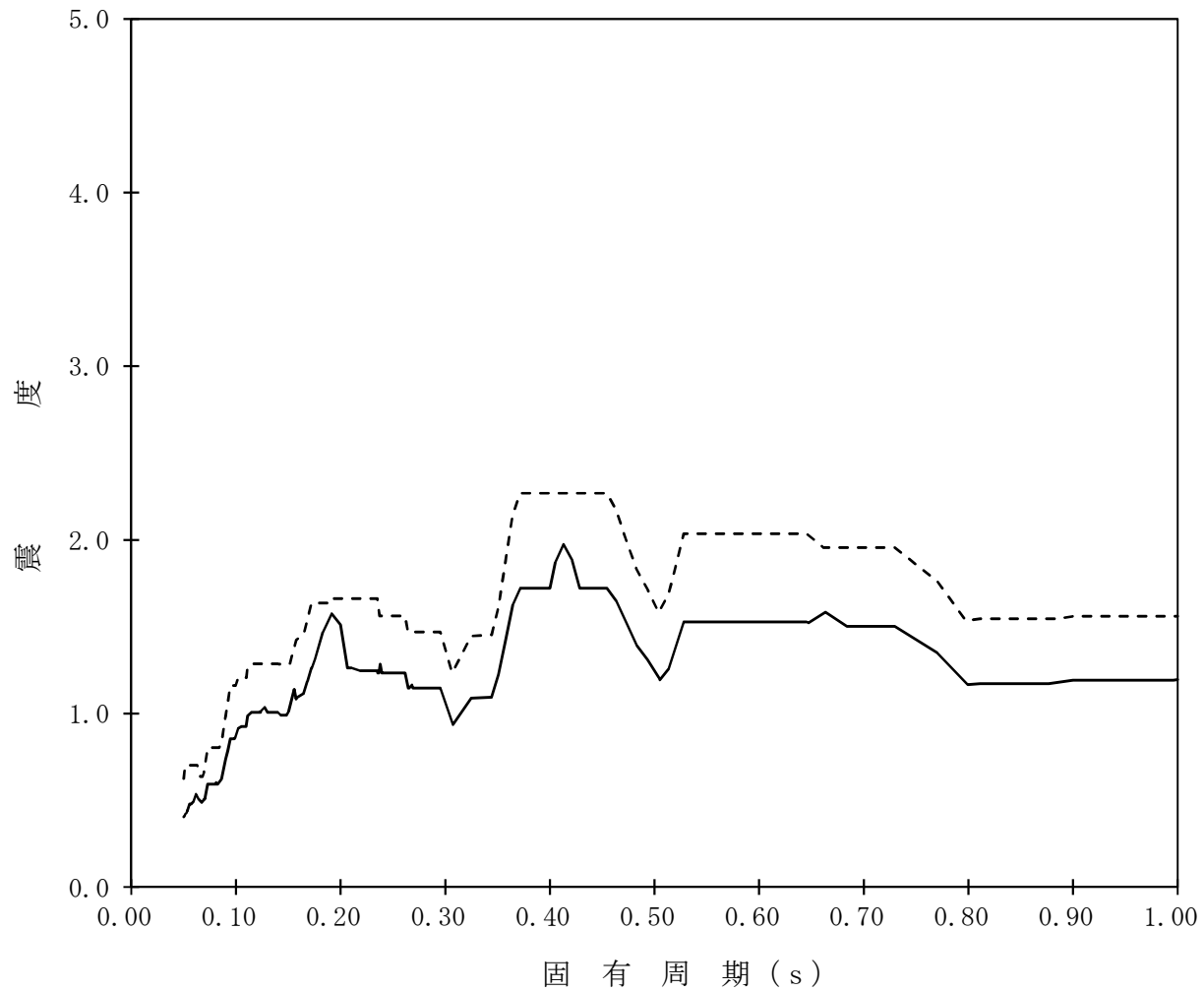
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -2.100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED117】

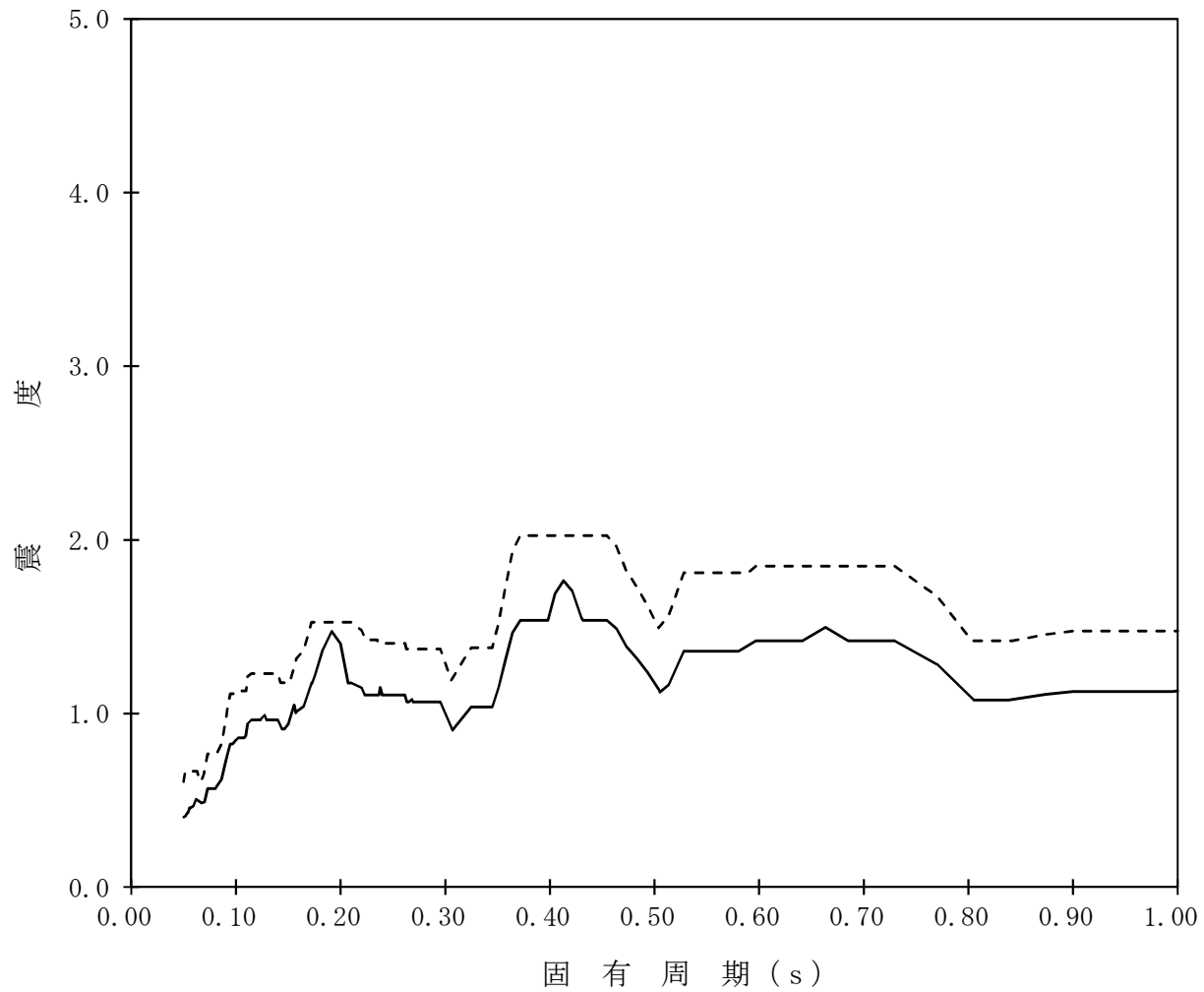
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -2. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED118】

構造物名：原子炉本体基礎

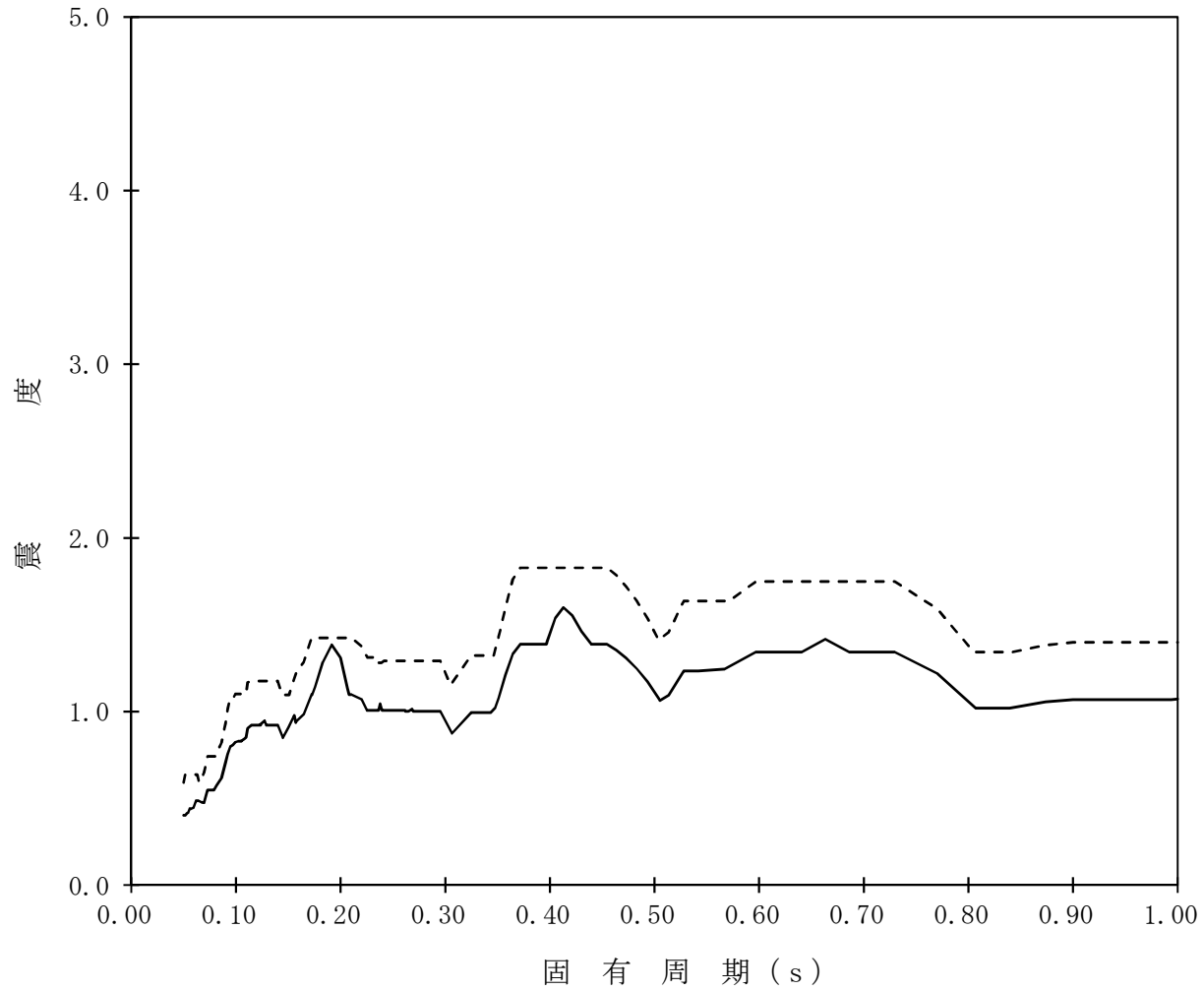
標高：T. M. S. L. -2.100m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：3.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED119】

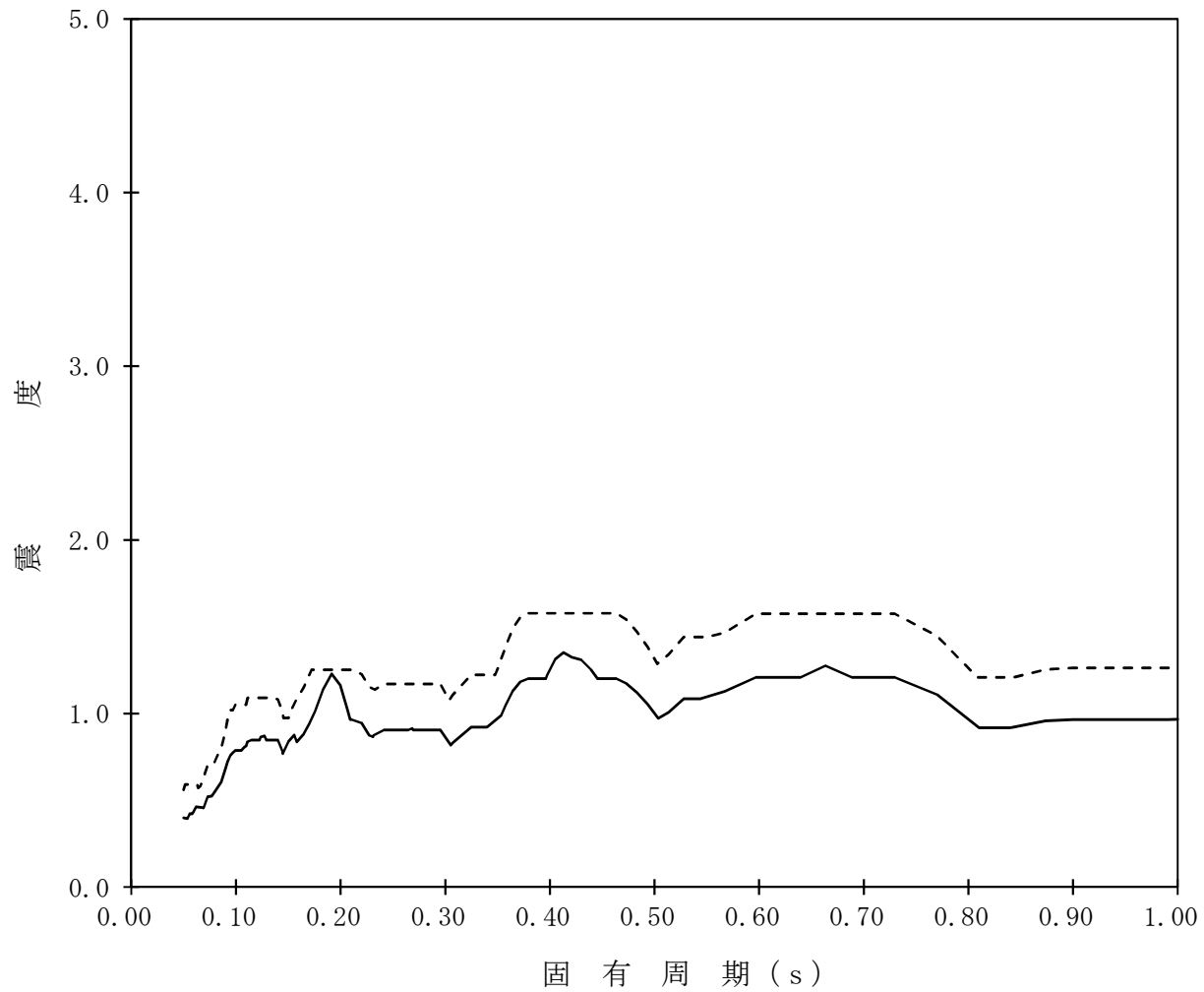
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -2. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED120】

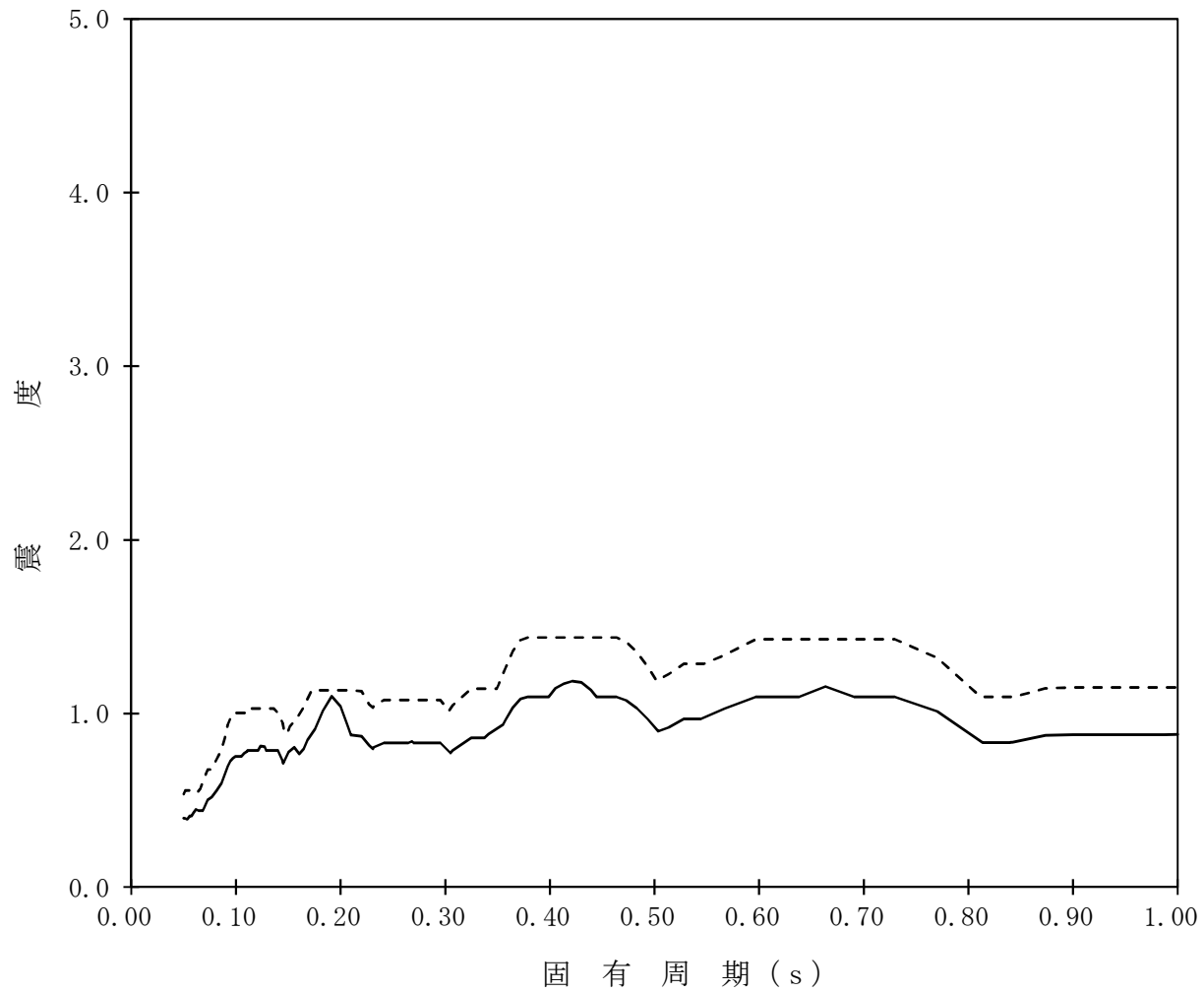
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -2. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED121】

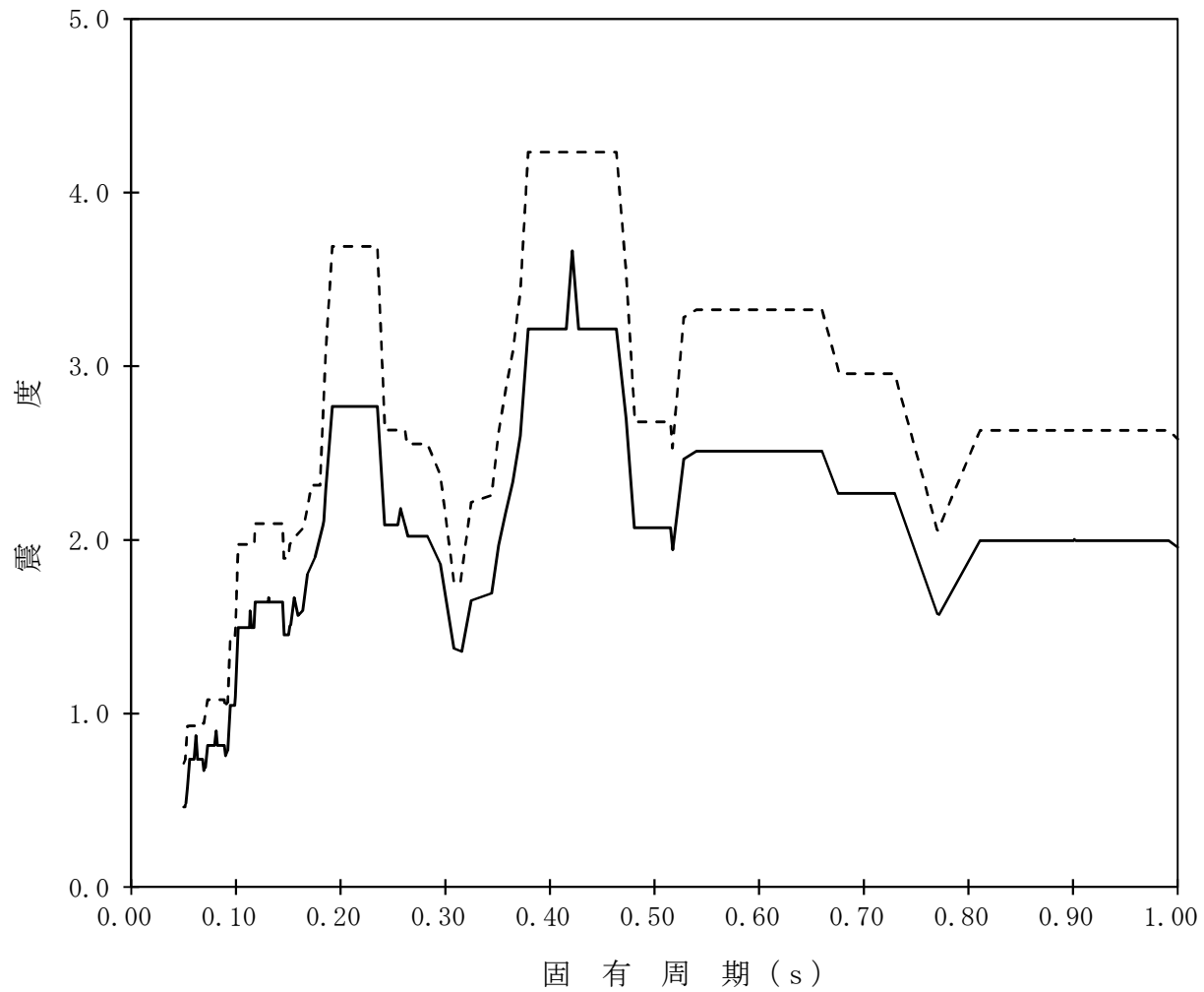
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. -3.100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED122】

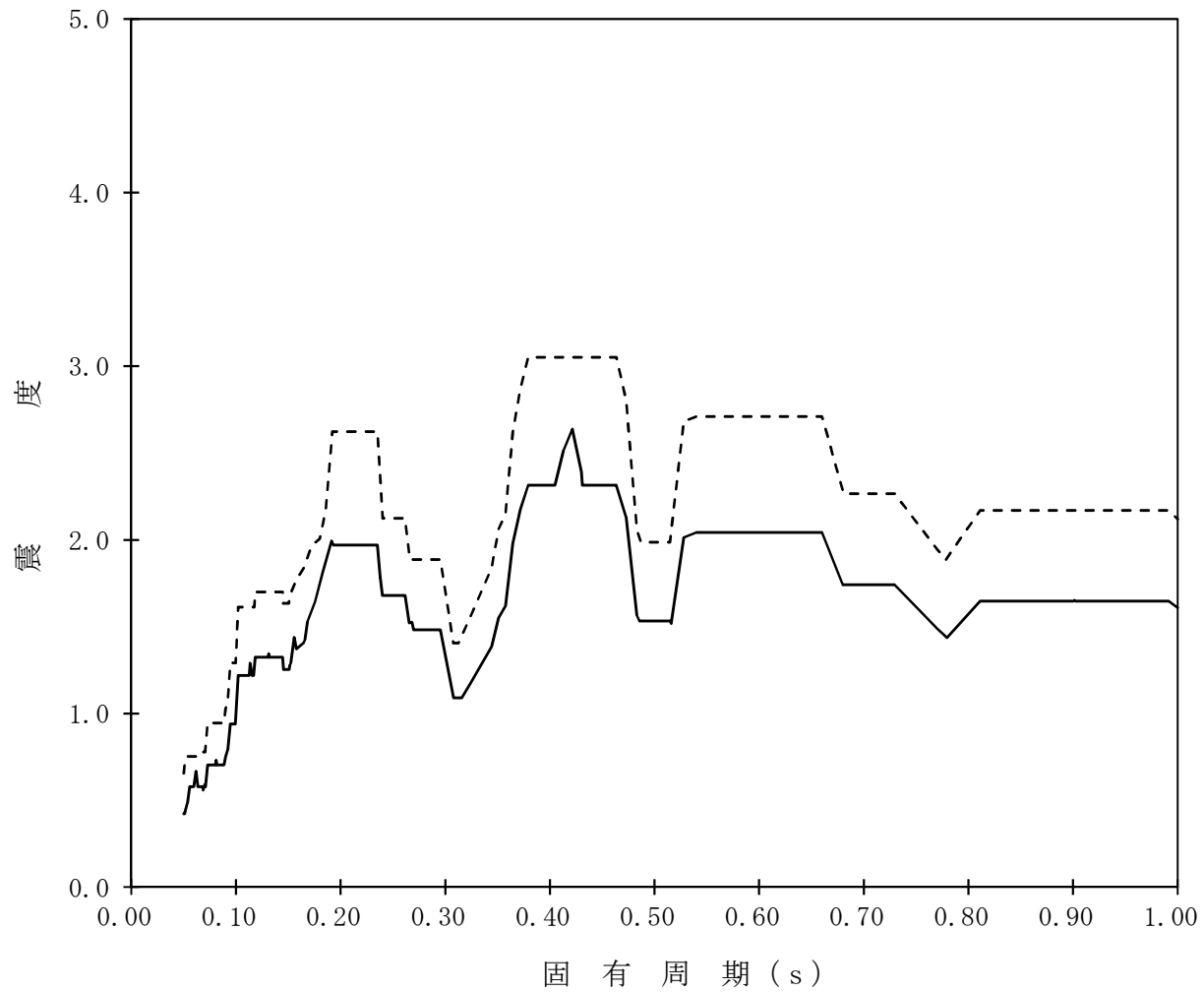
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. -3. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED123】

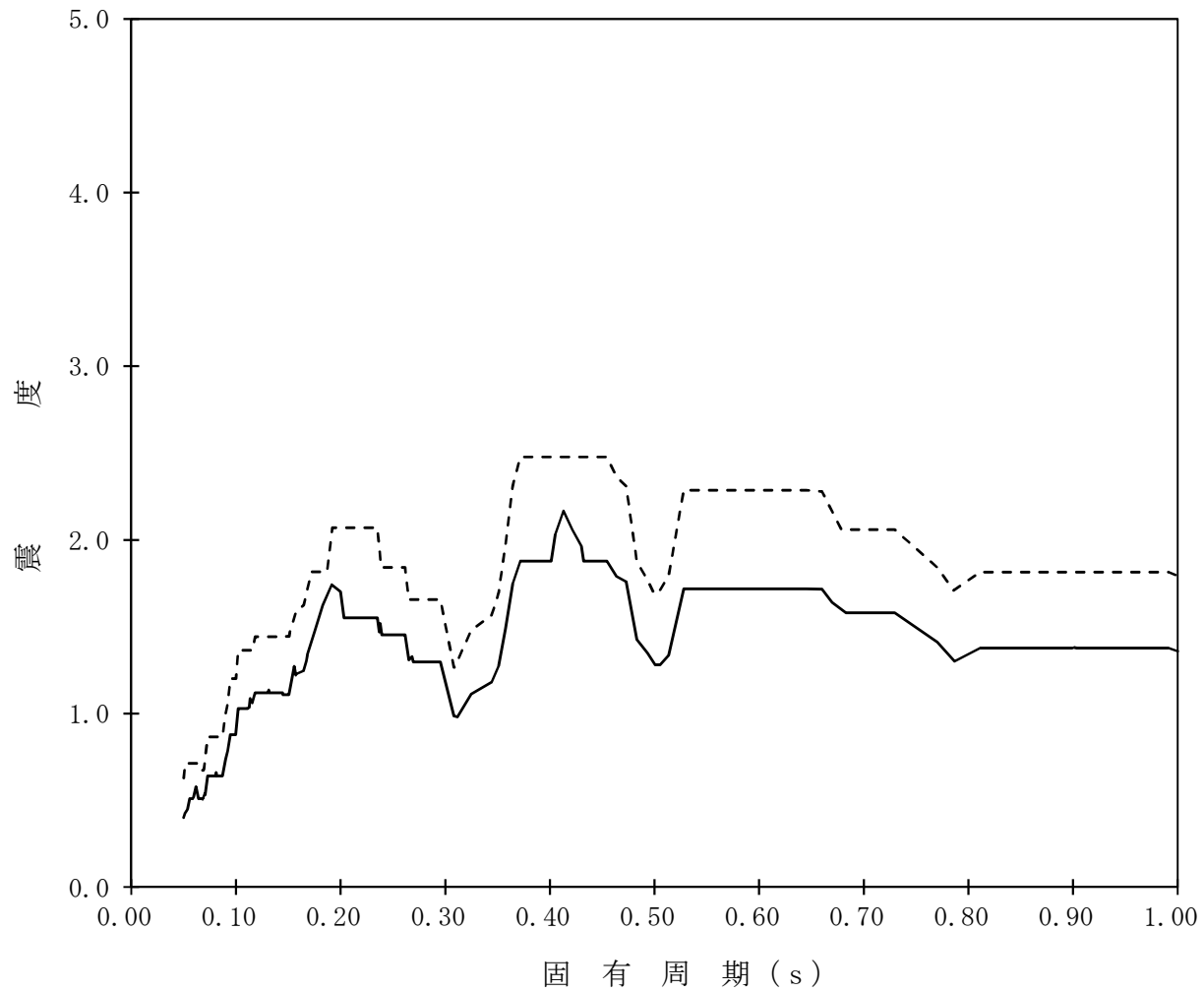
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -3.100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED124】

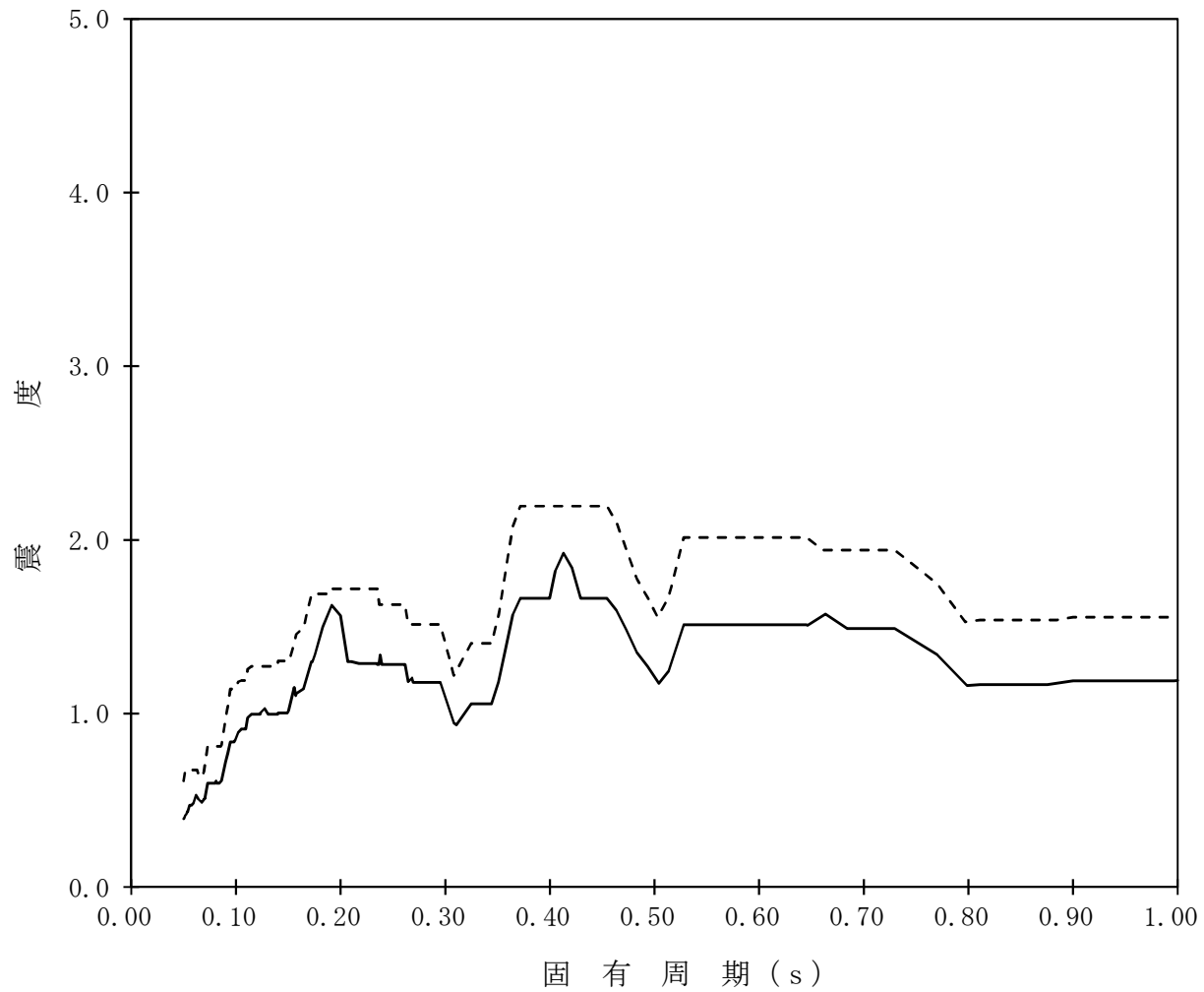
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -3. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED125】

構造物名：原子炉本体基礎

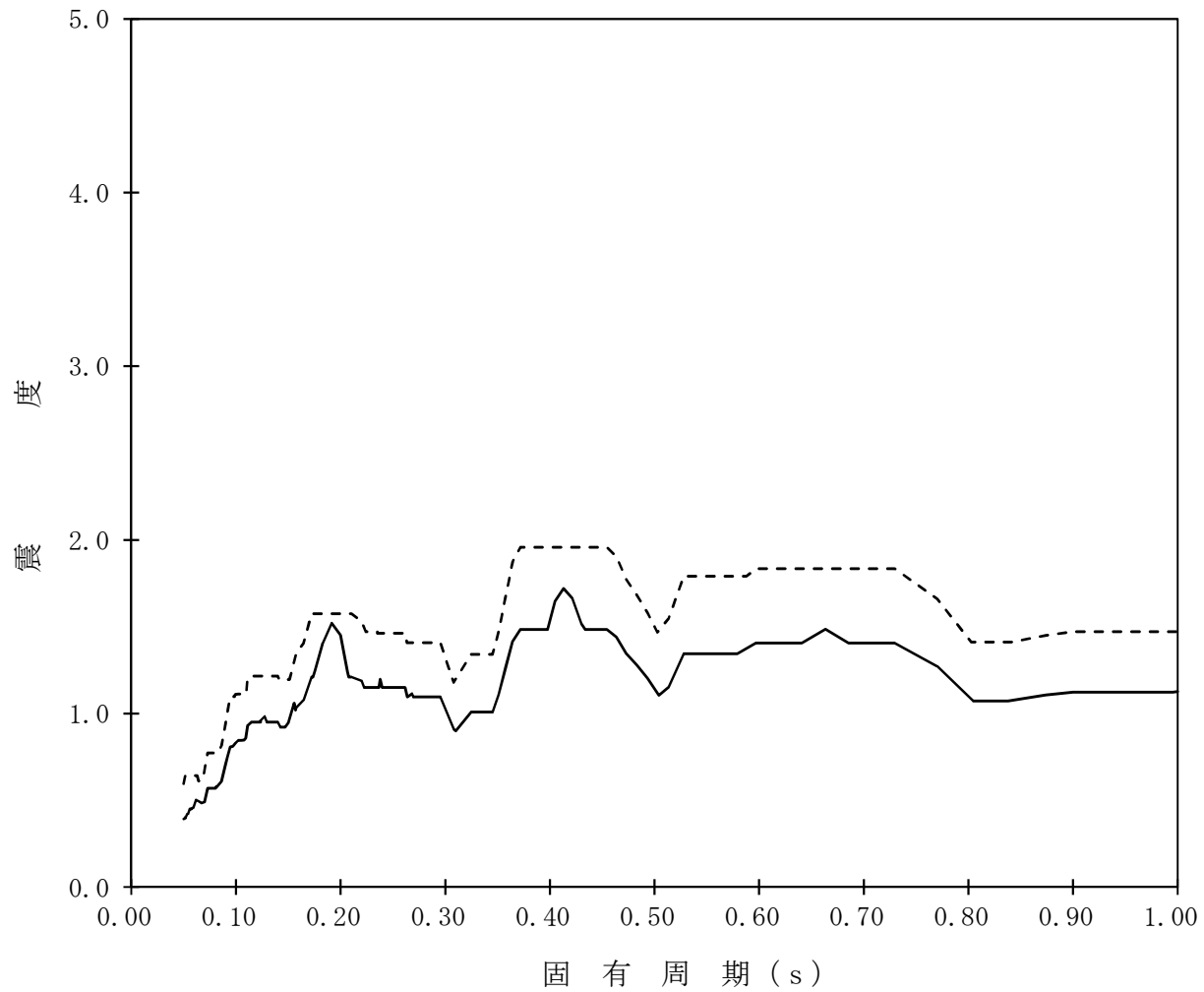
標高：T. M. S. L. -3. 100m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：2. 5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED126】

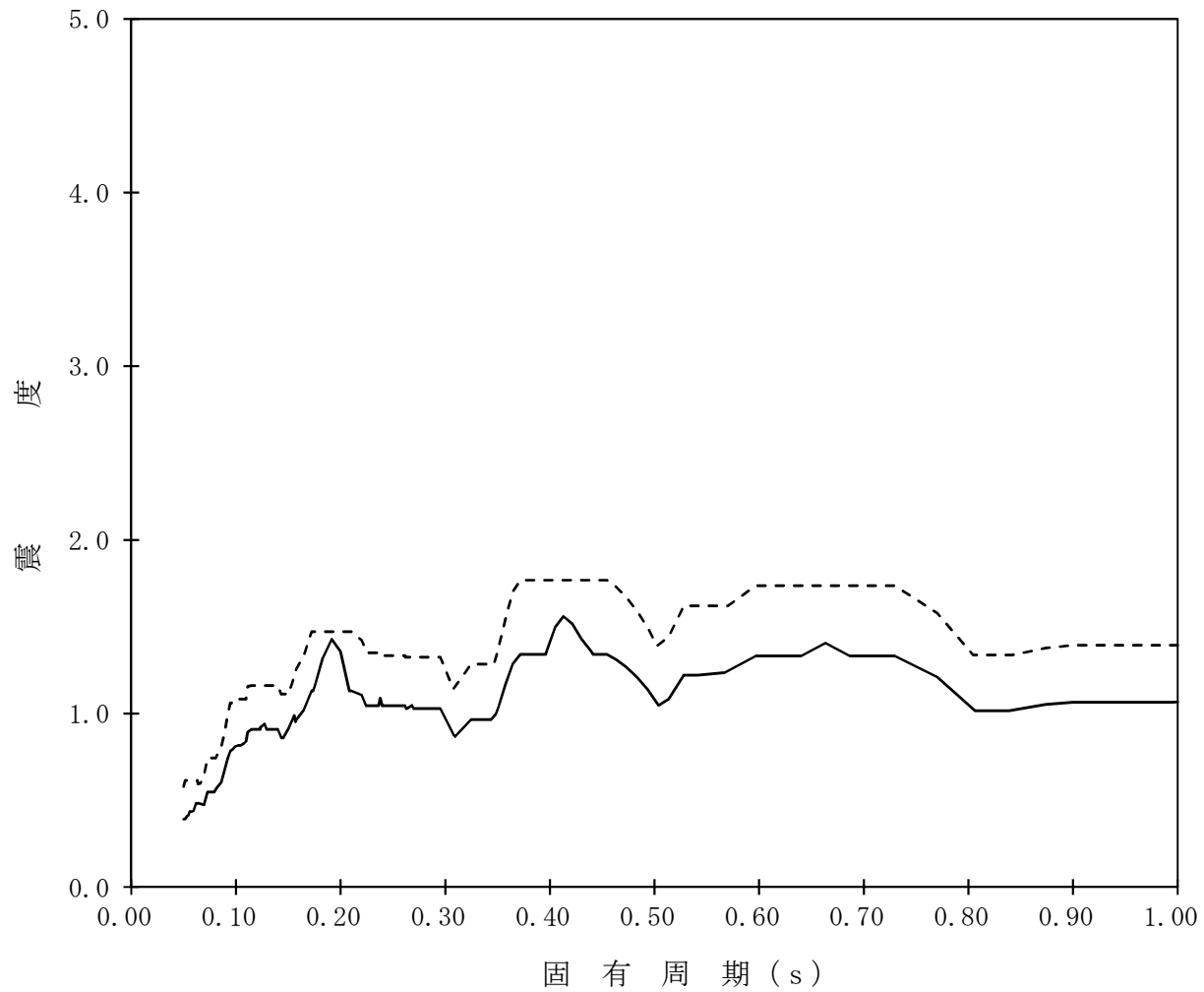
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -3.100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED127】

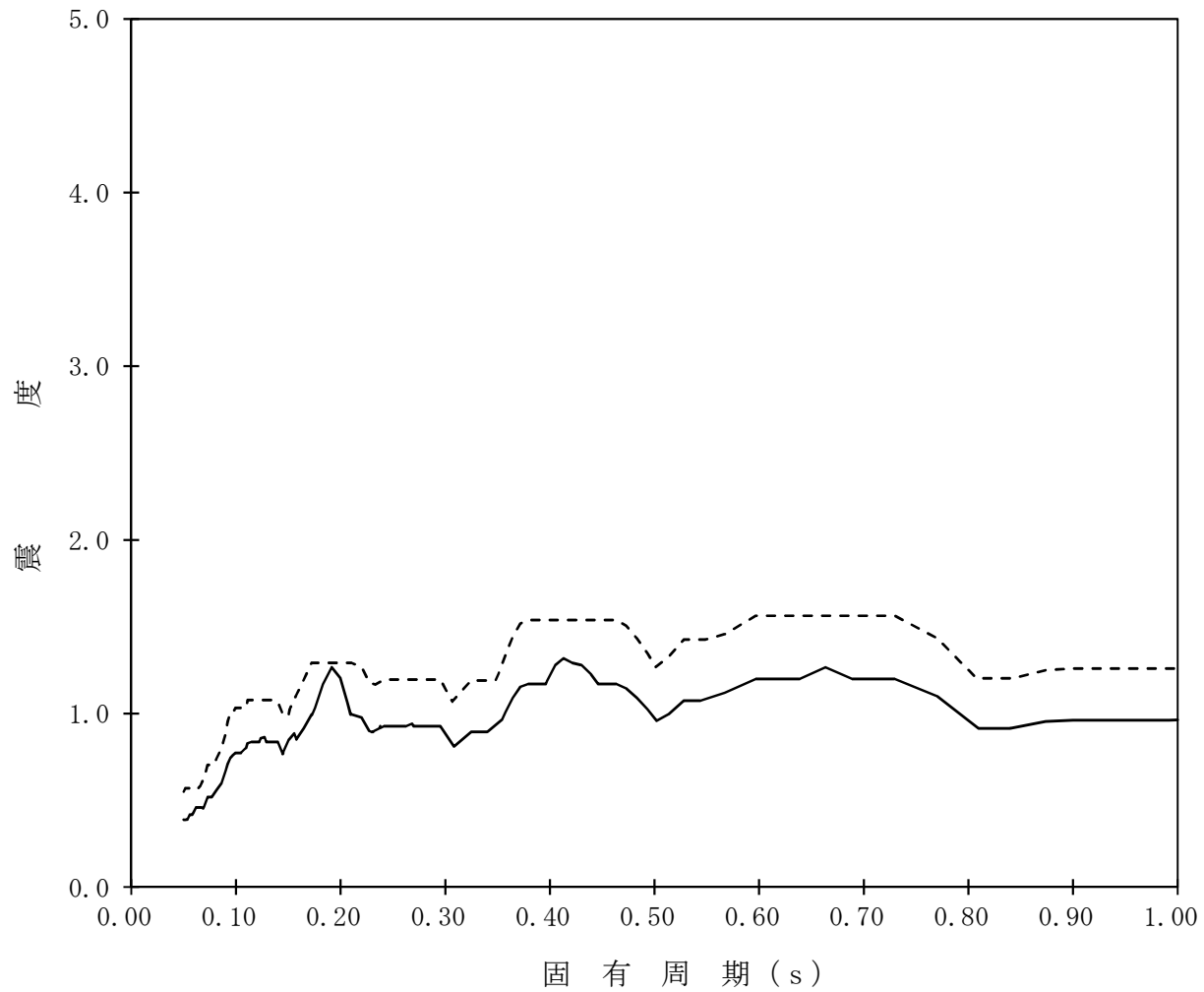
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -3. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED128】

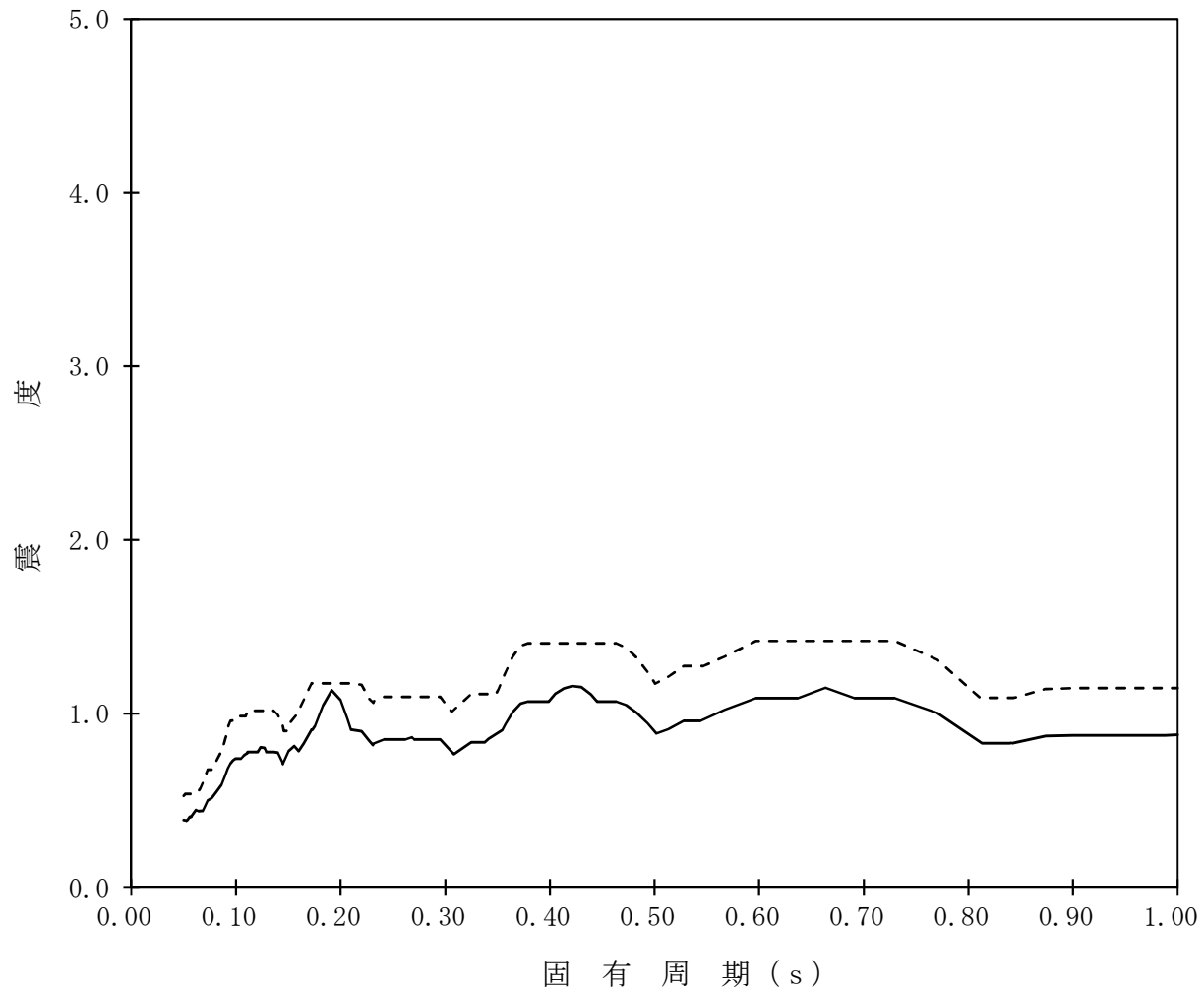
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -3. 100m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-PED129】

構造物名：原子炉本体基礎

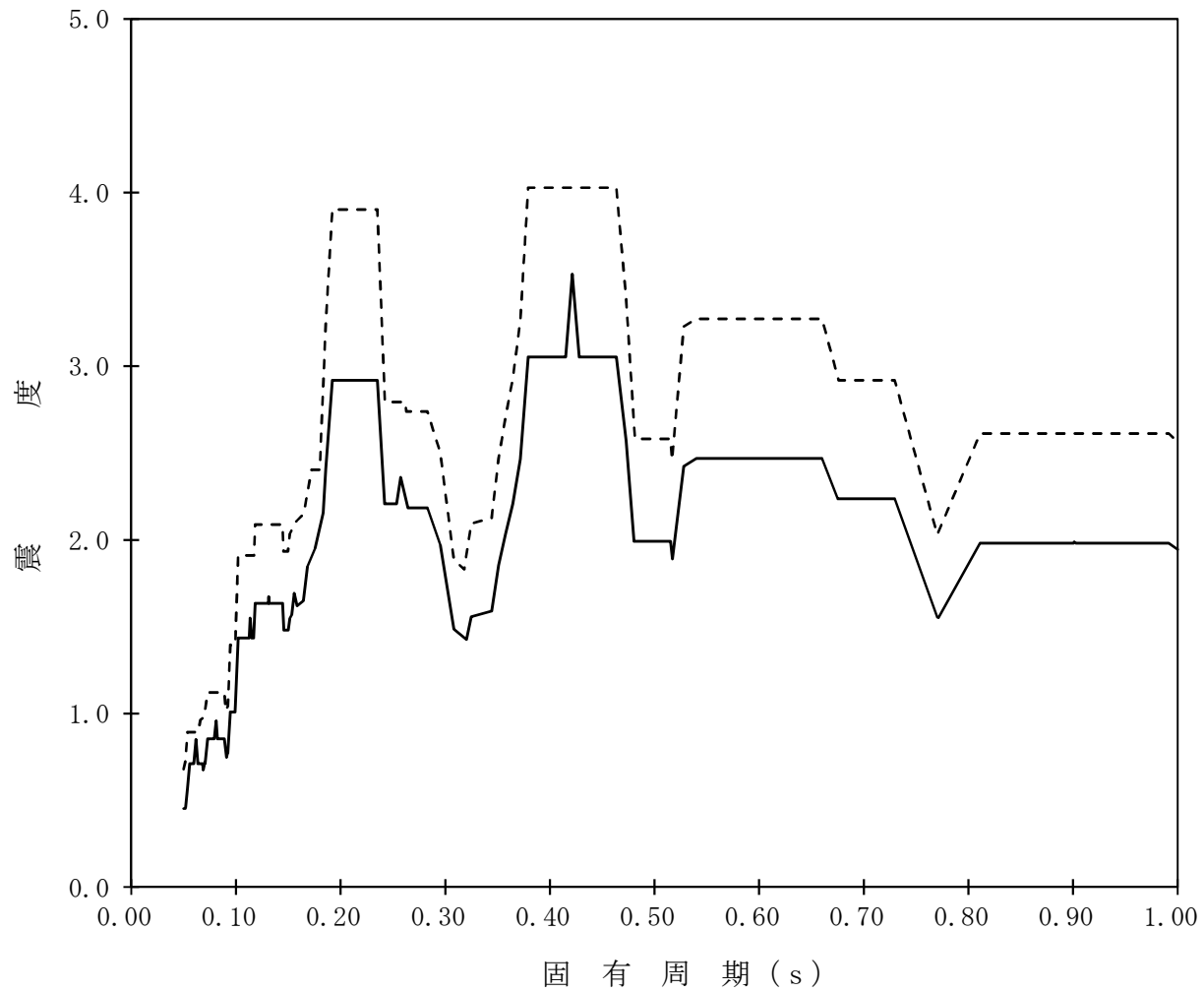
標高：T. M. S. L. -4.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：0.5%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED130】

構造物名：原子炉本体基礎

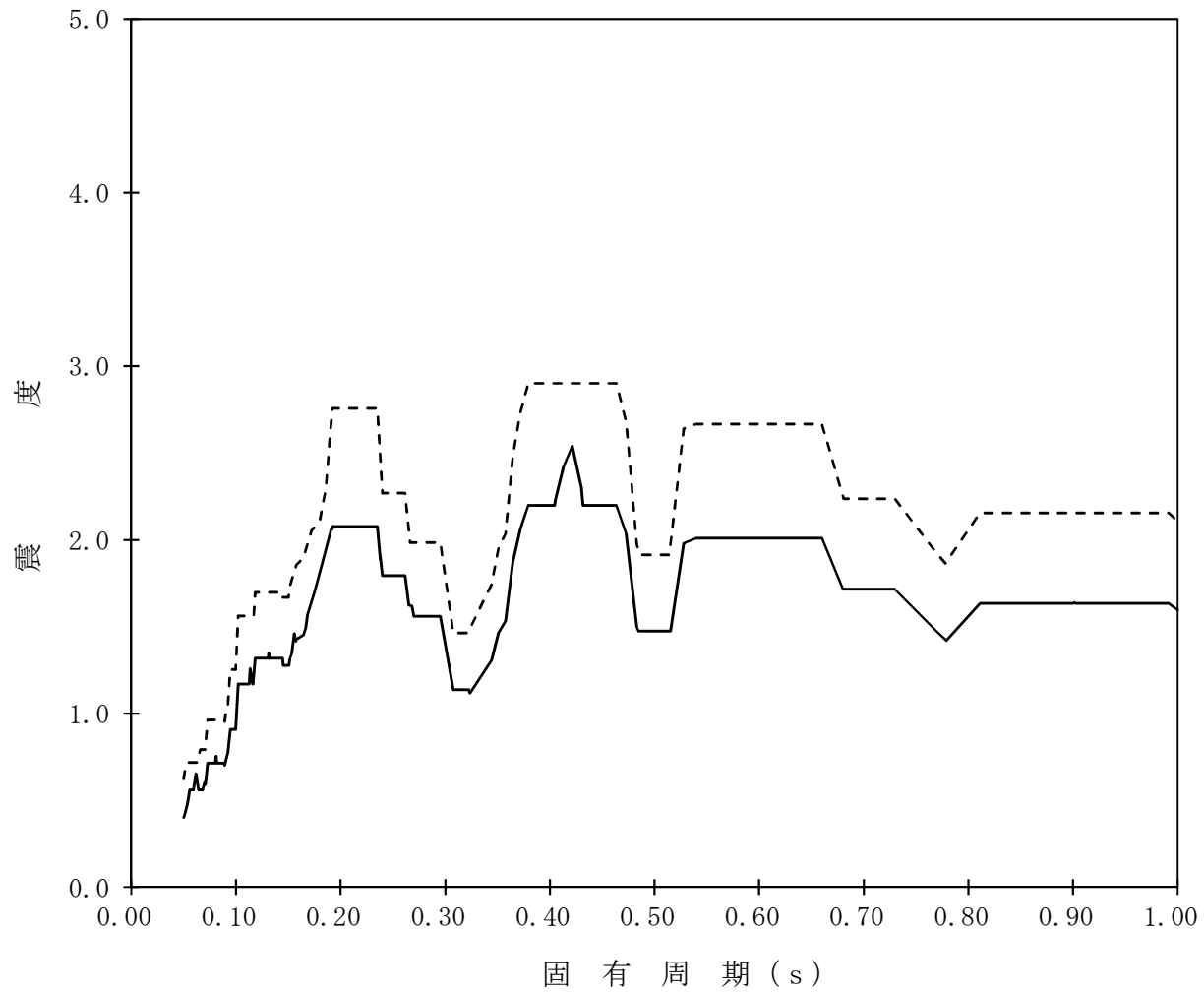
標高：T. M. S. L. -4.700m

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

減衰定数：1.0%

波形名：弾性設計用地震動 S d

- - - - 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED131】

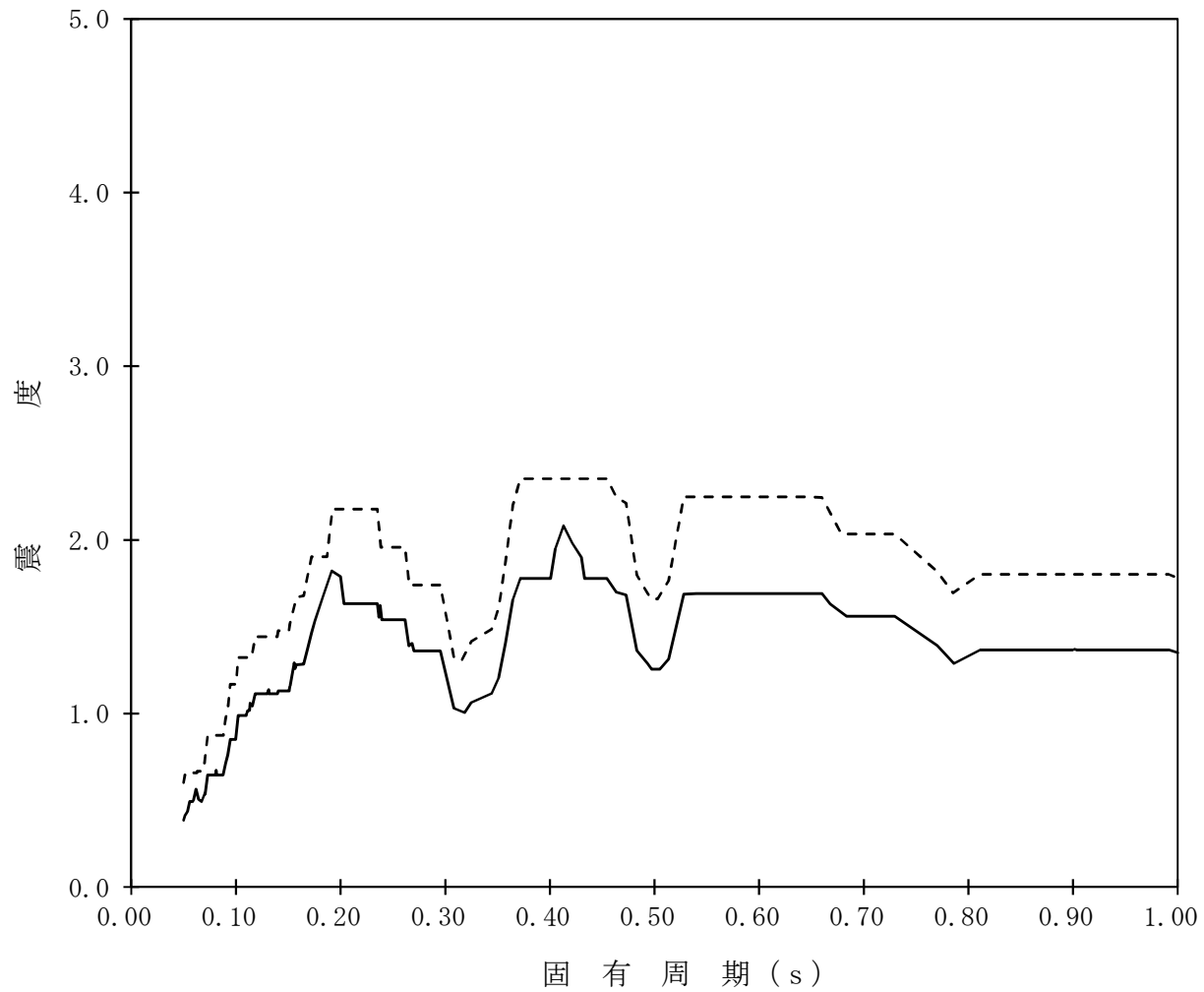
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. -4.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED132】

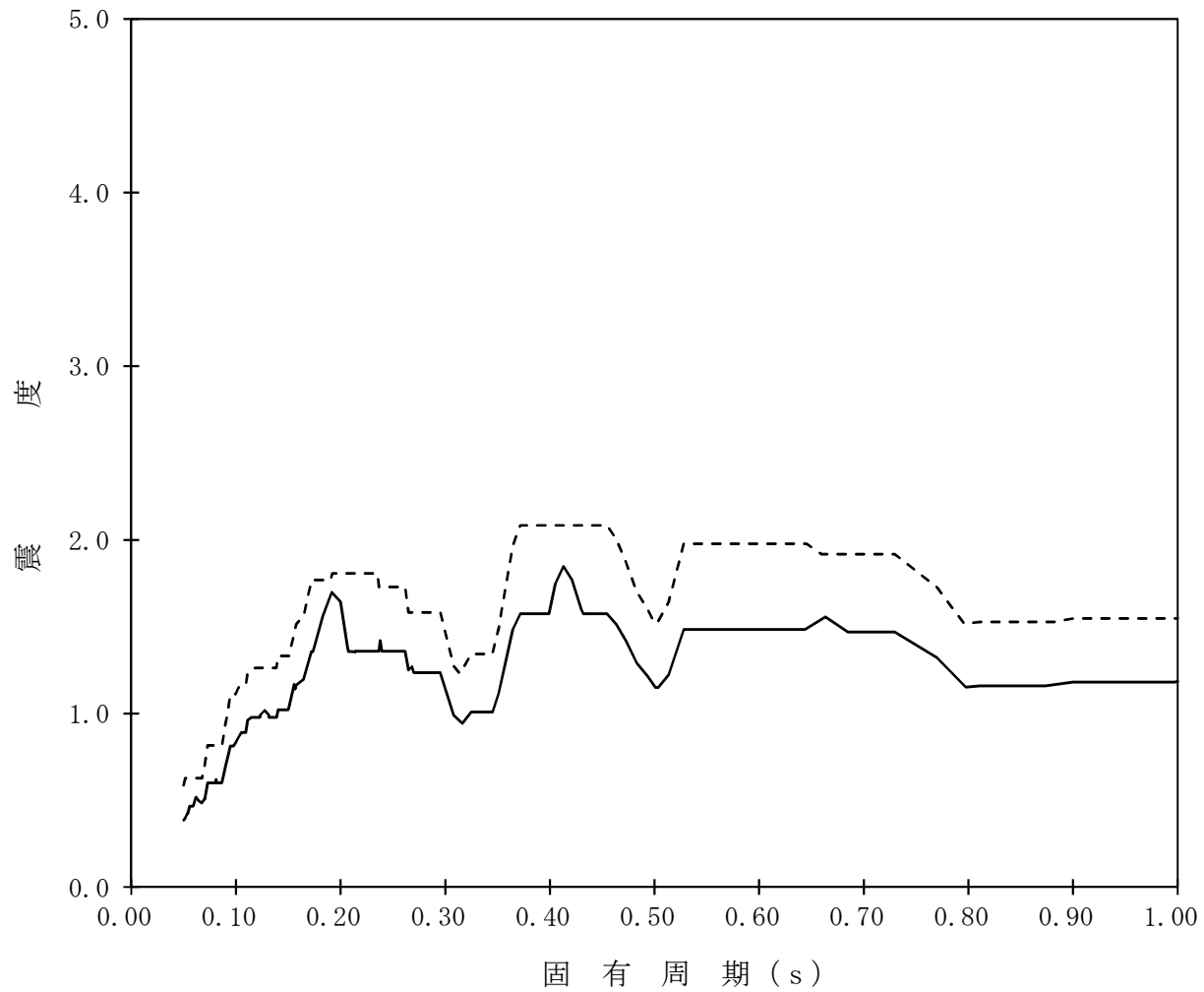
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. -4.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED133】

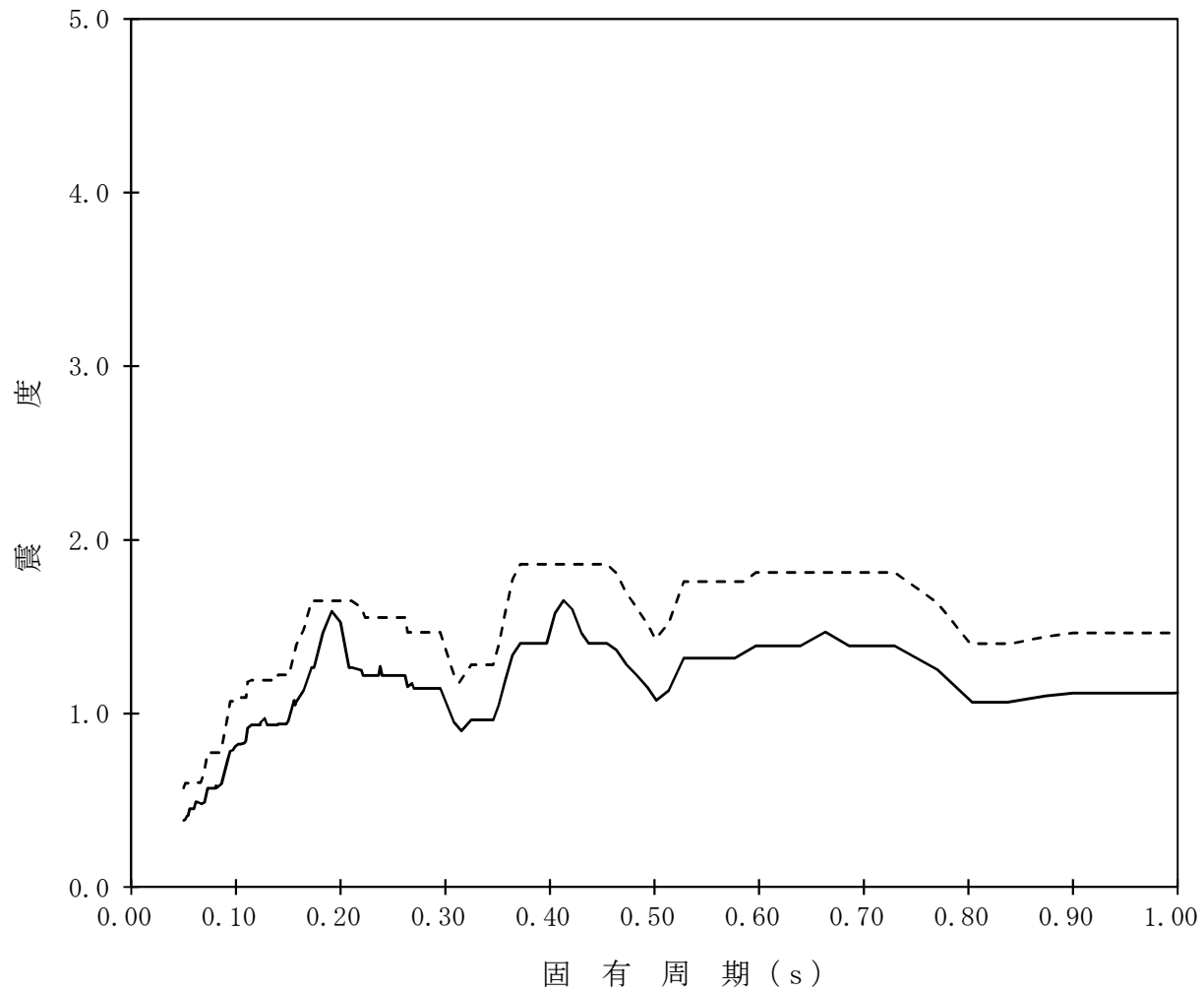
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. -4.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED134】

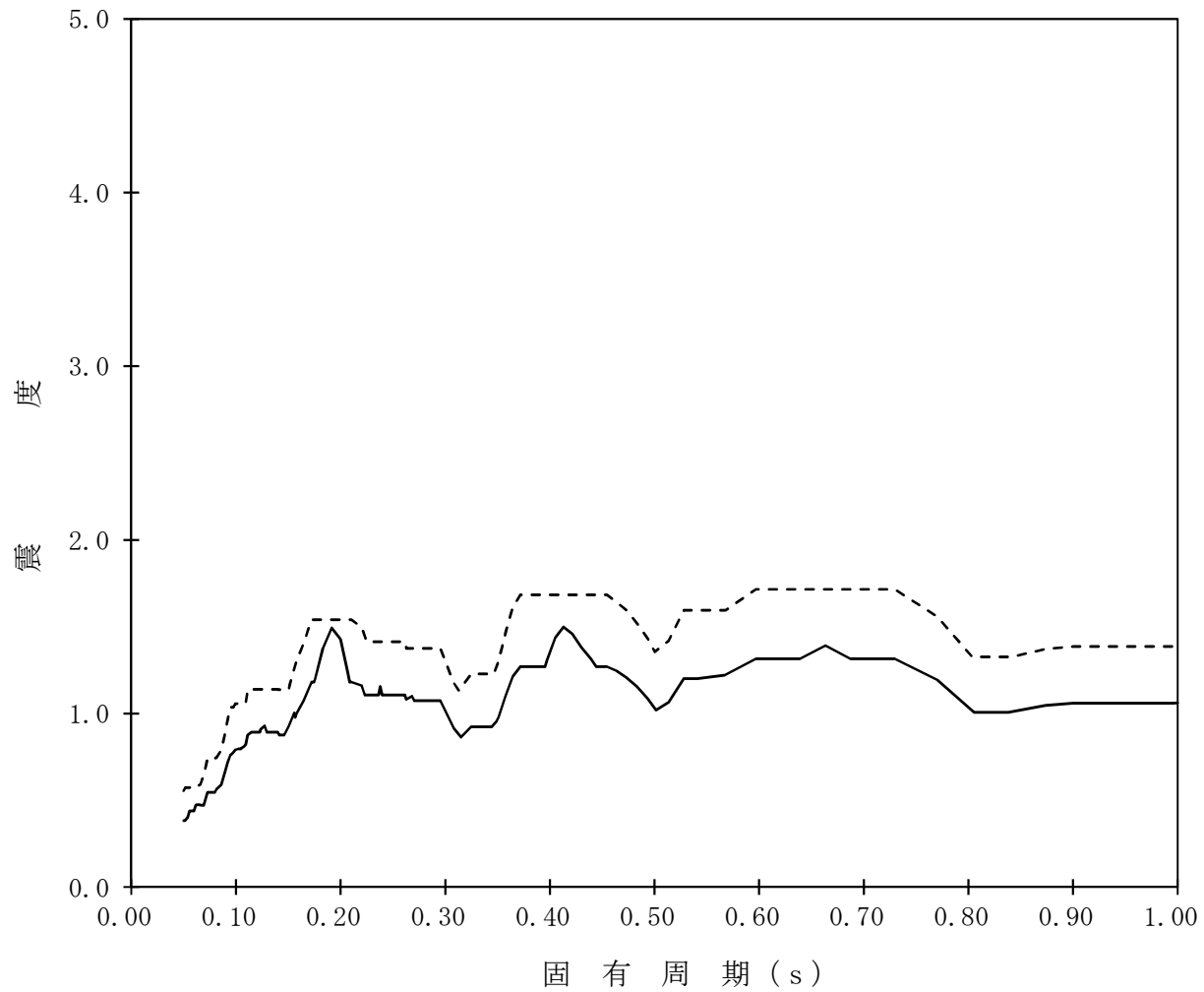
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. -4.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED135】

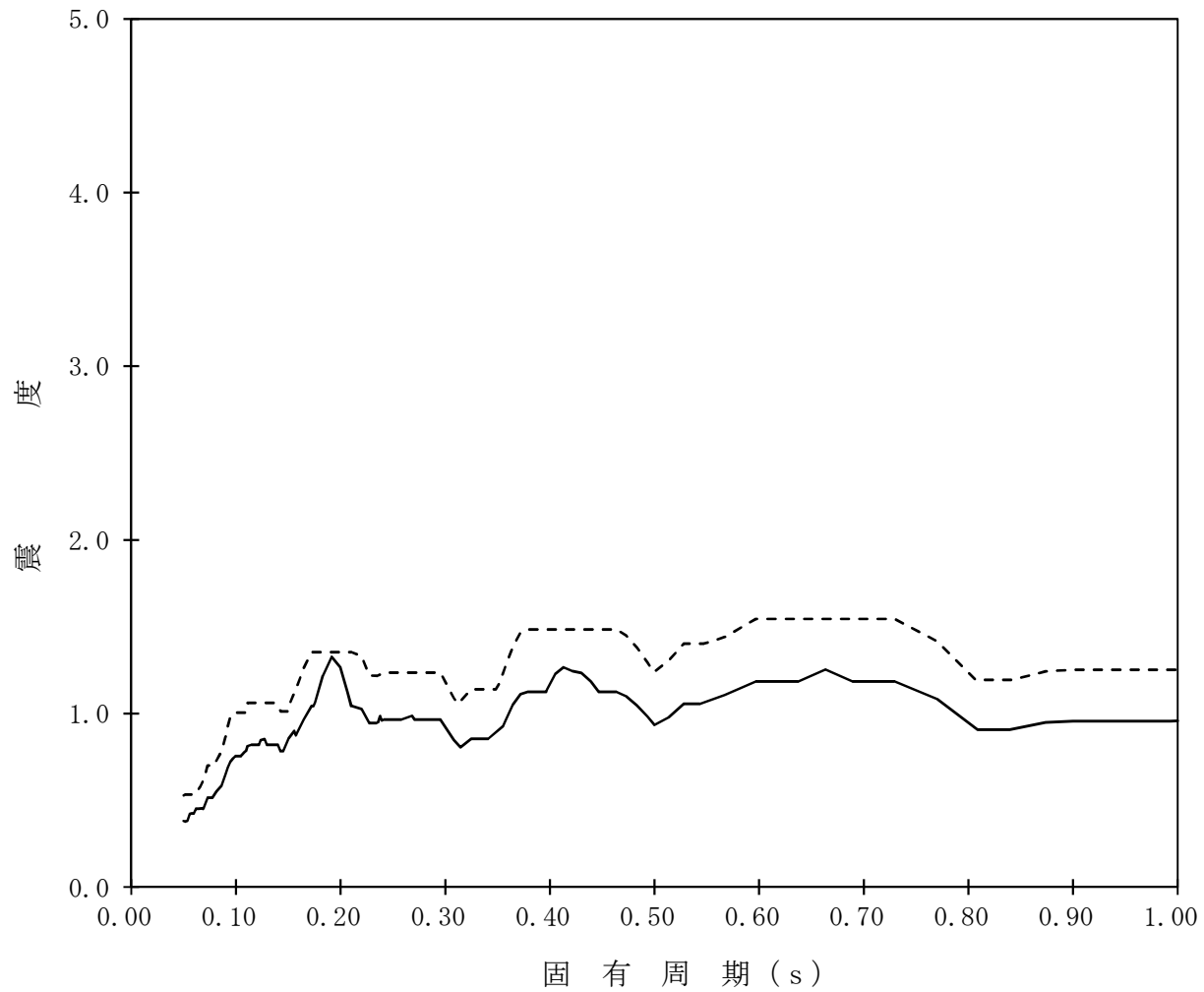
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. -4.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-PED136】

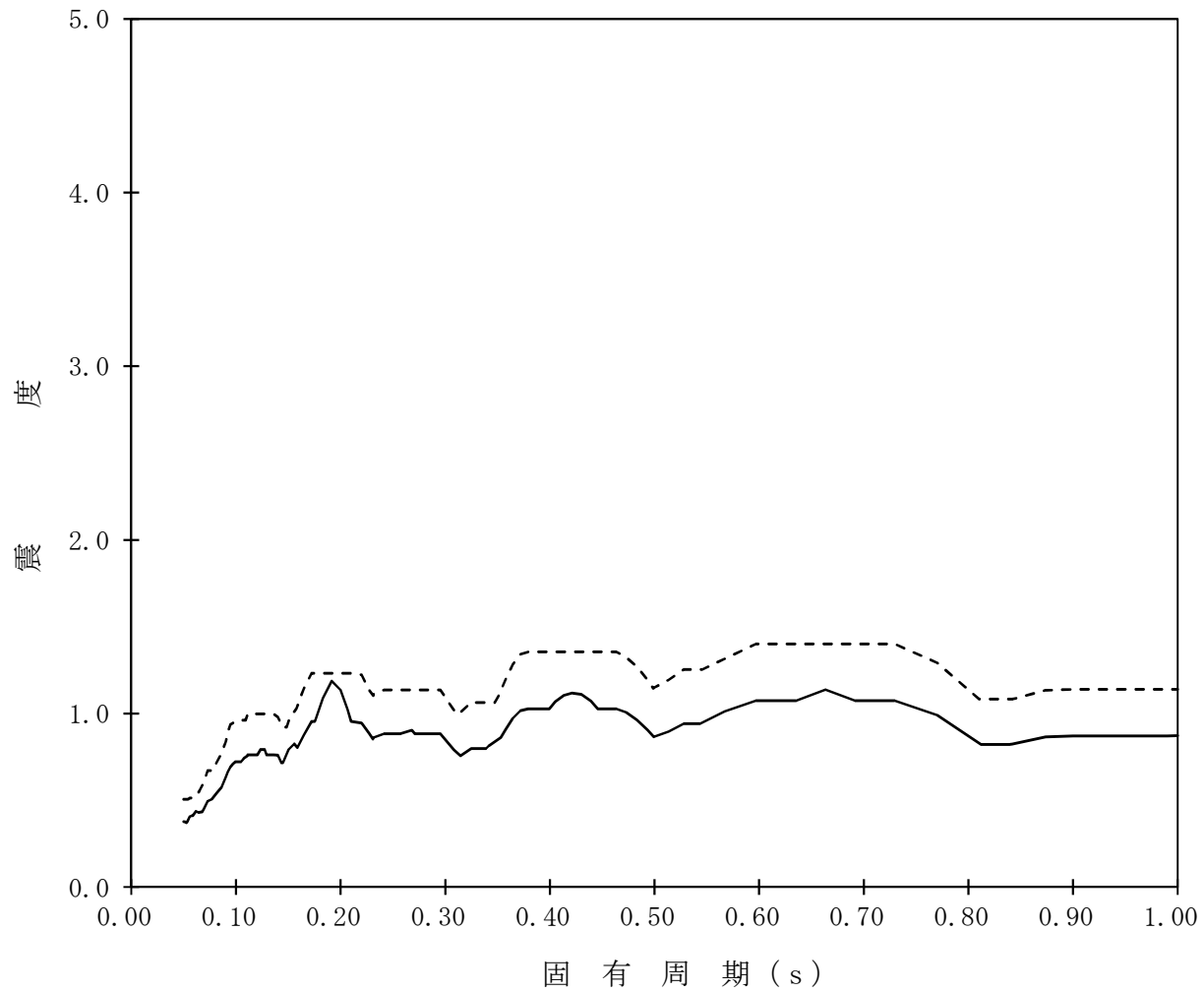
構造物名：原子炉本体基礎
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. -4.700m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)

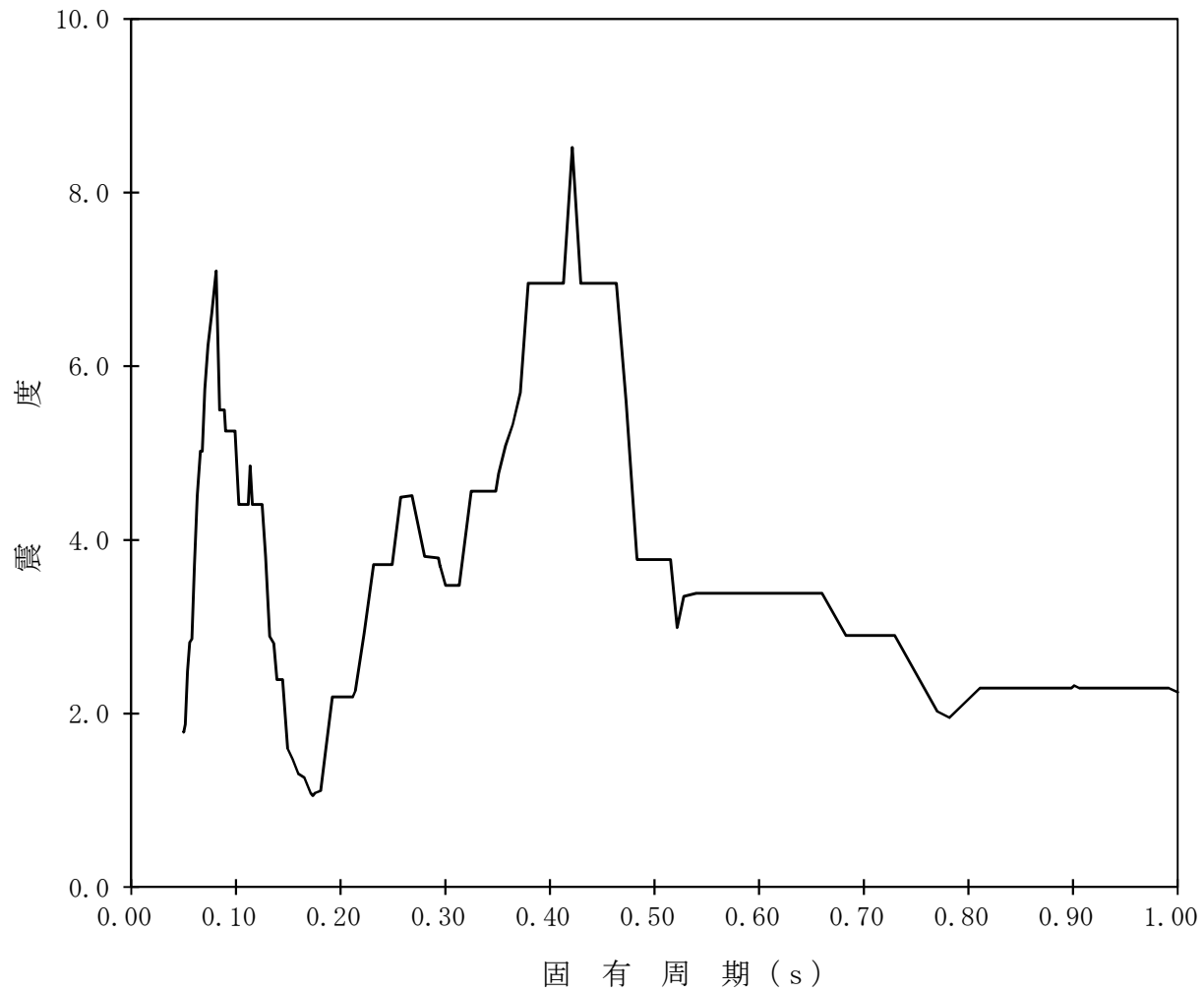


【K06-RCCV-SdH-RPV137】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 26. 013m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

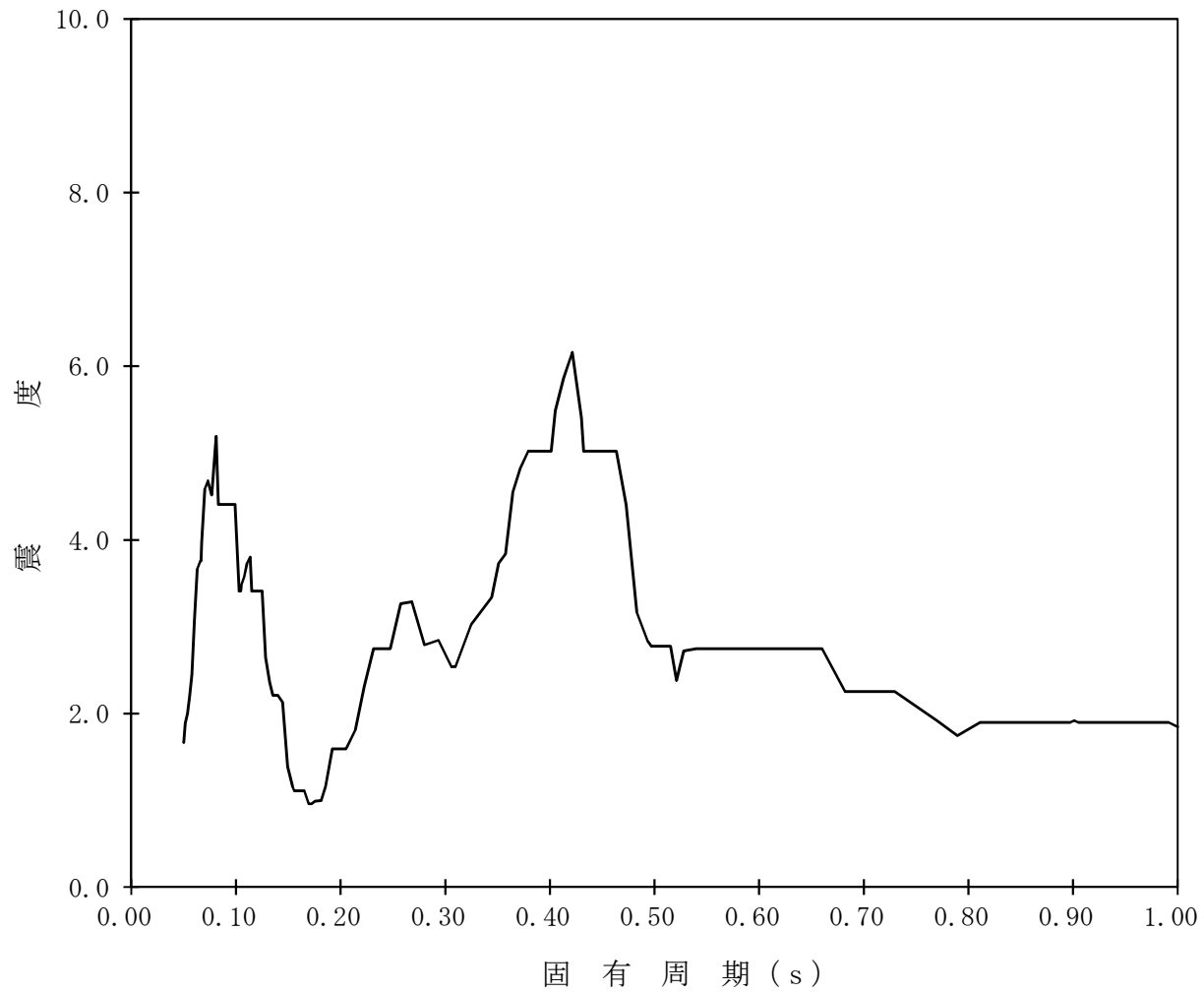


【K06-RCCV-SdH-RPV138】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 26. 013m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

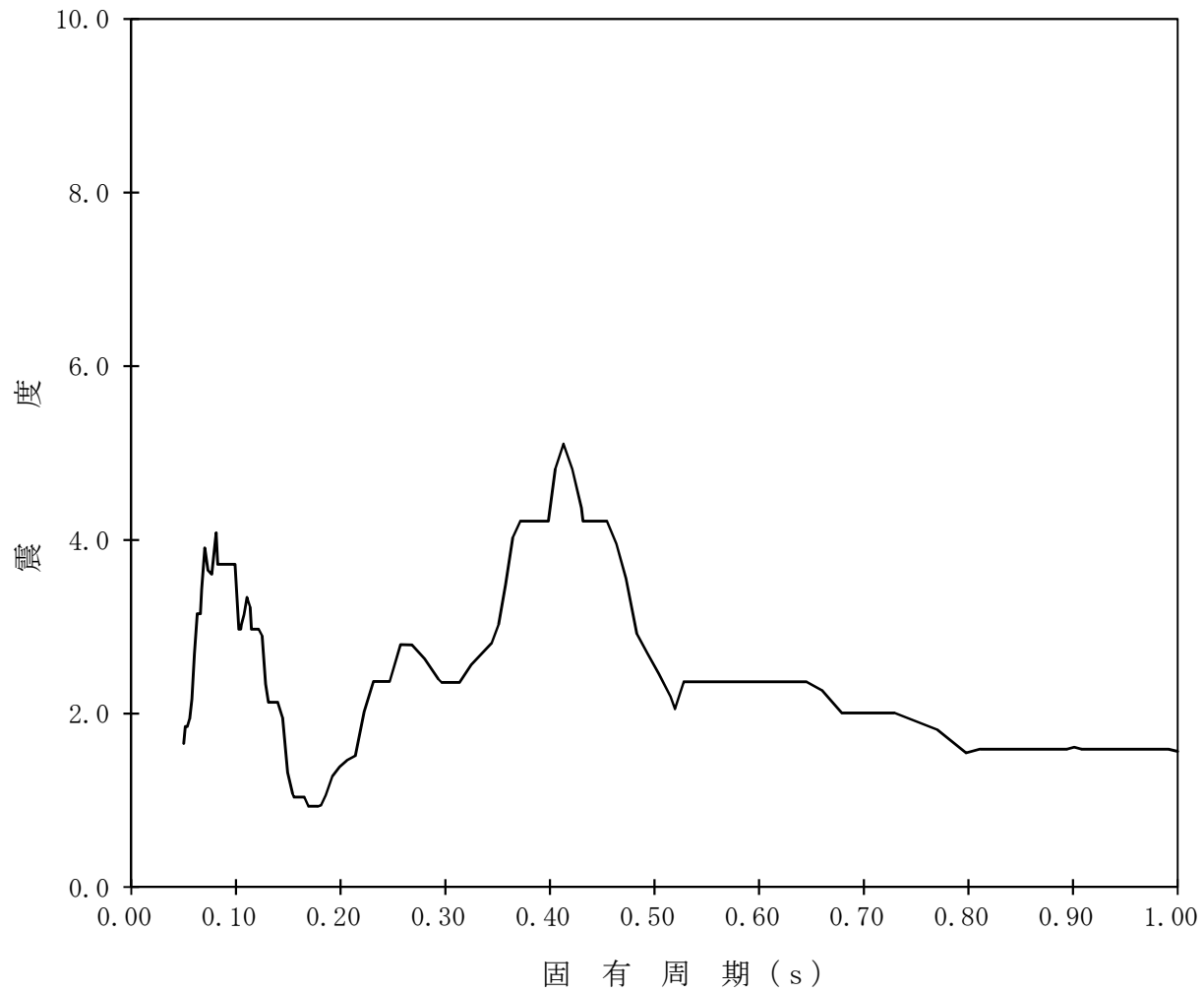


【K06-RCCV-SdH-RPV139】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 26. 013m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV140】

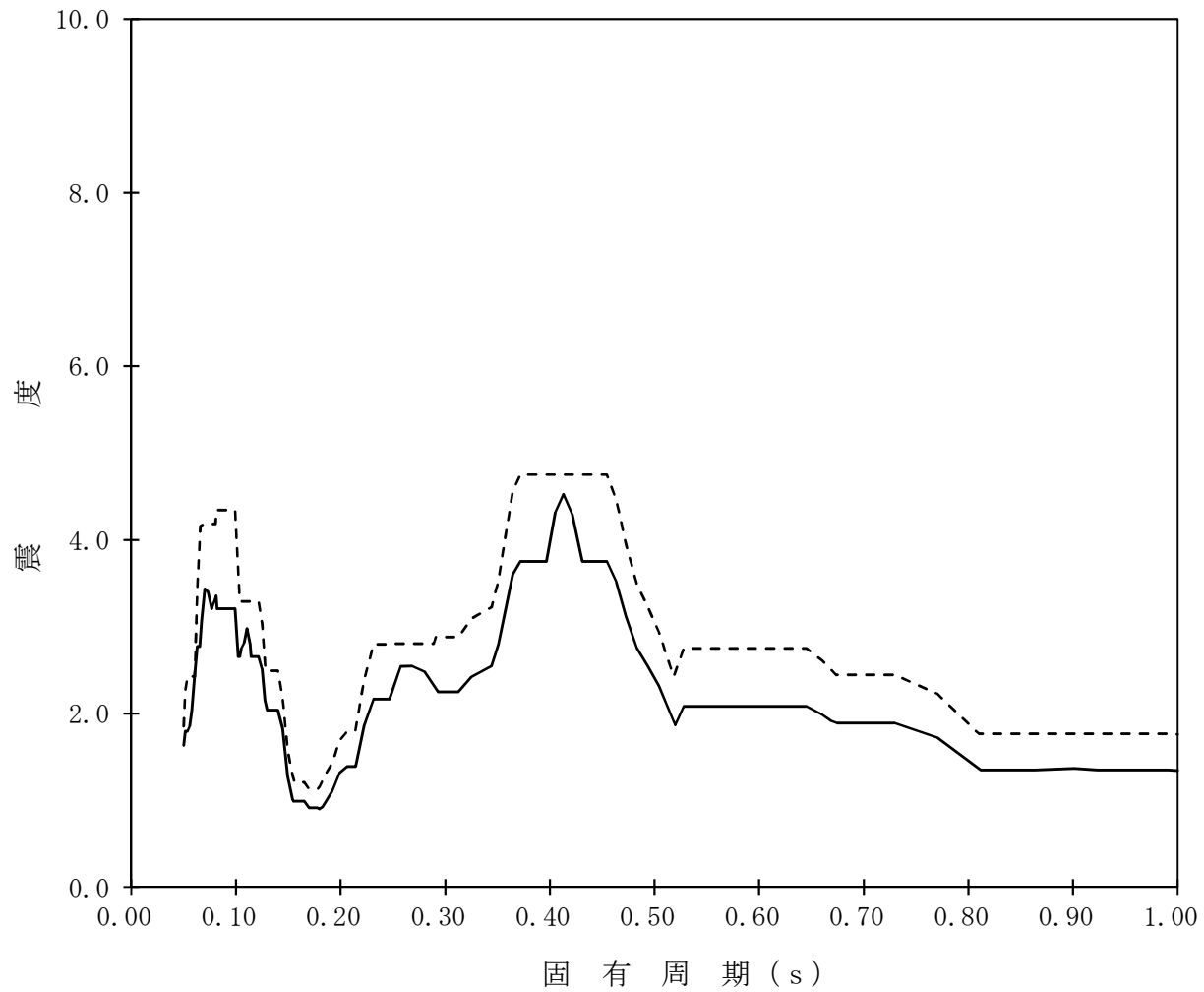
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 26. 013m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RPV141】

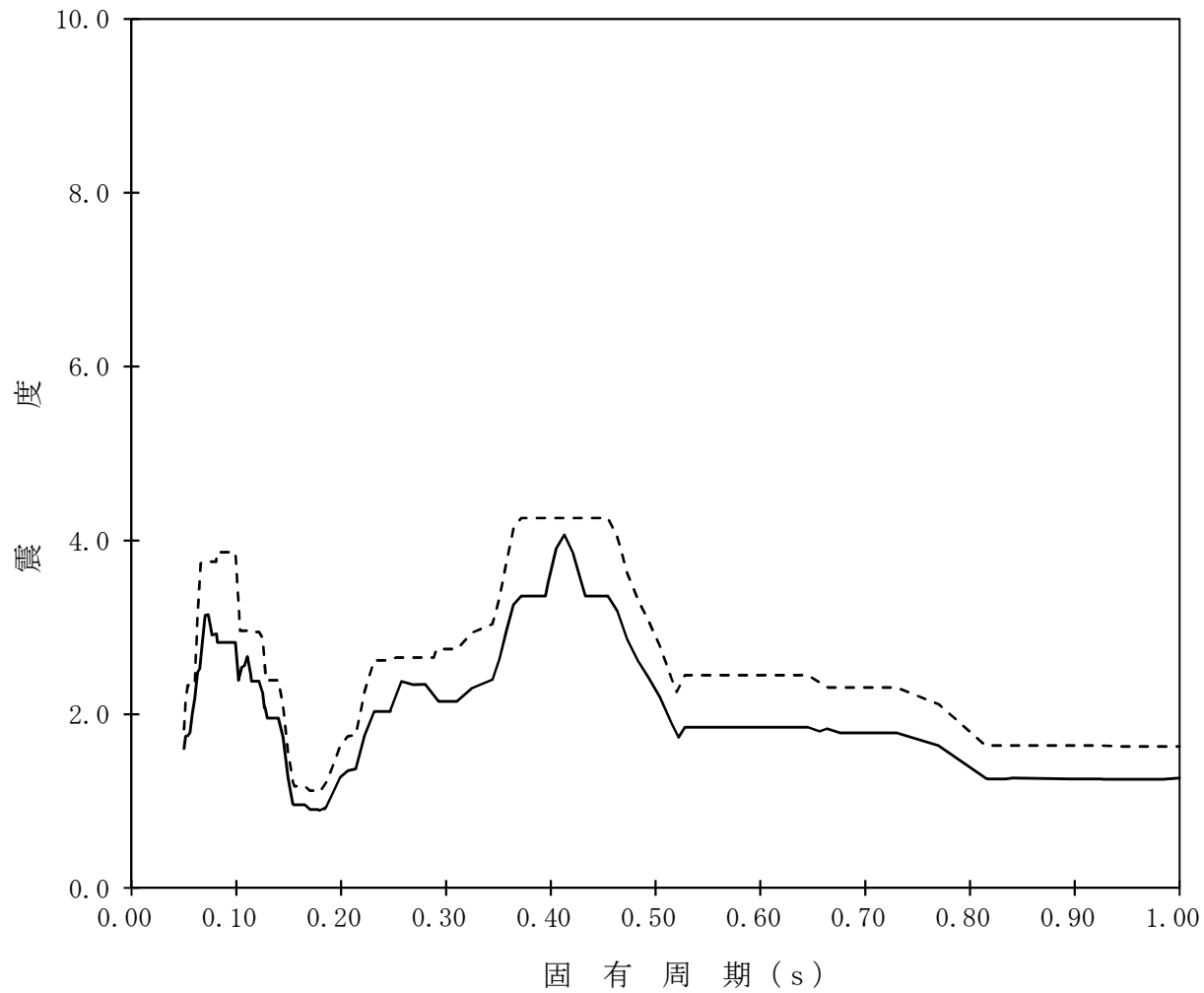
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 26. 013m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RPV142】

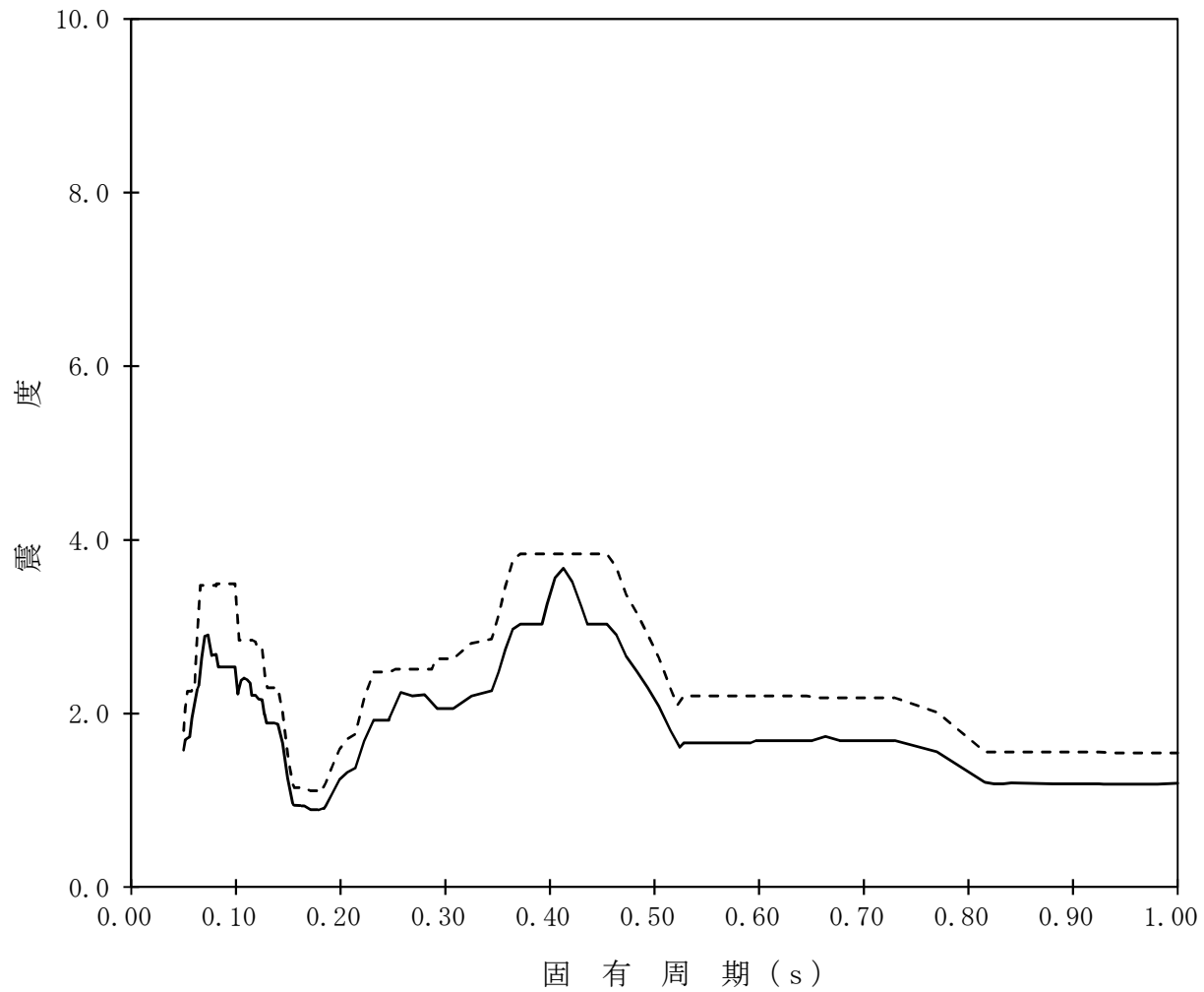
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 26. 013m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV143】

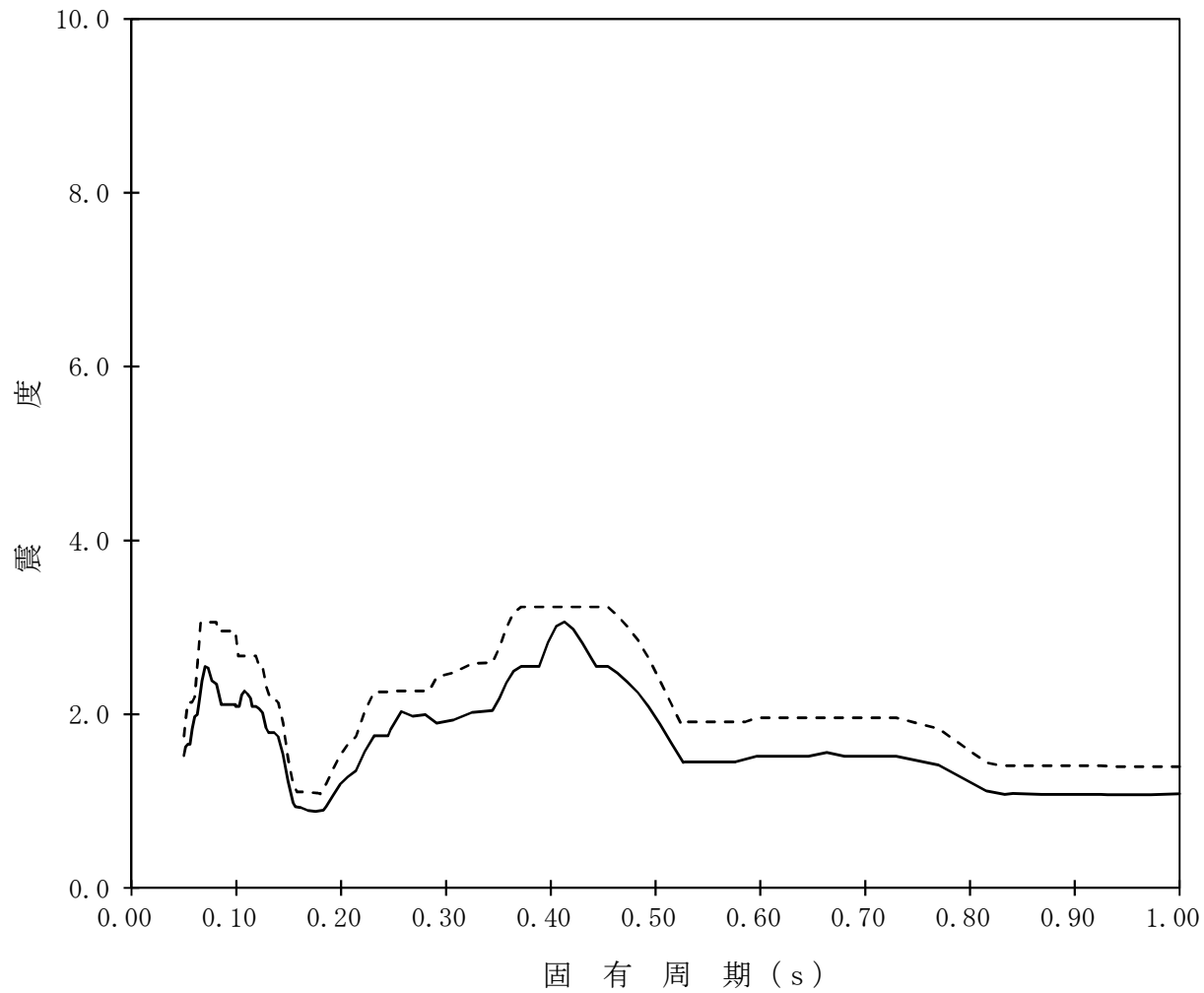
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 26. 013m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RPV144】

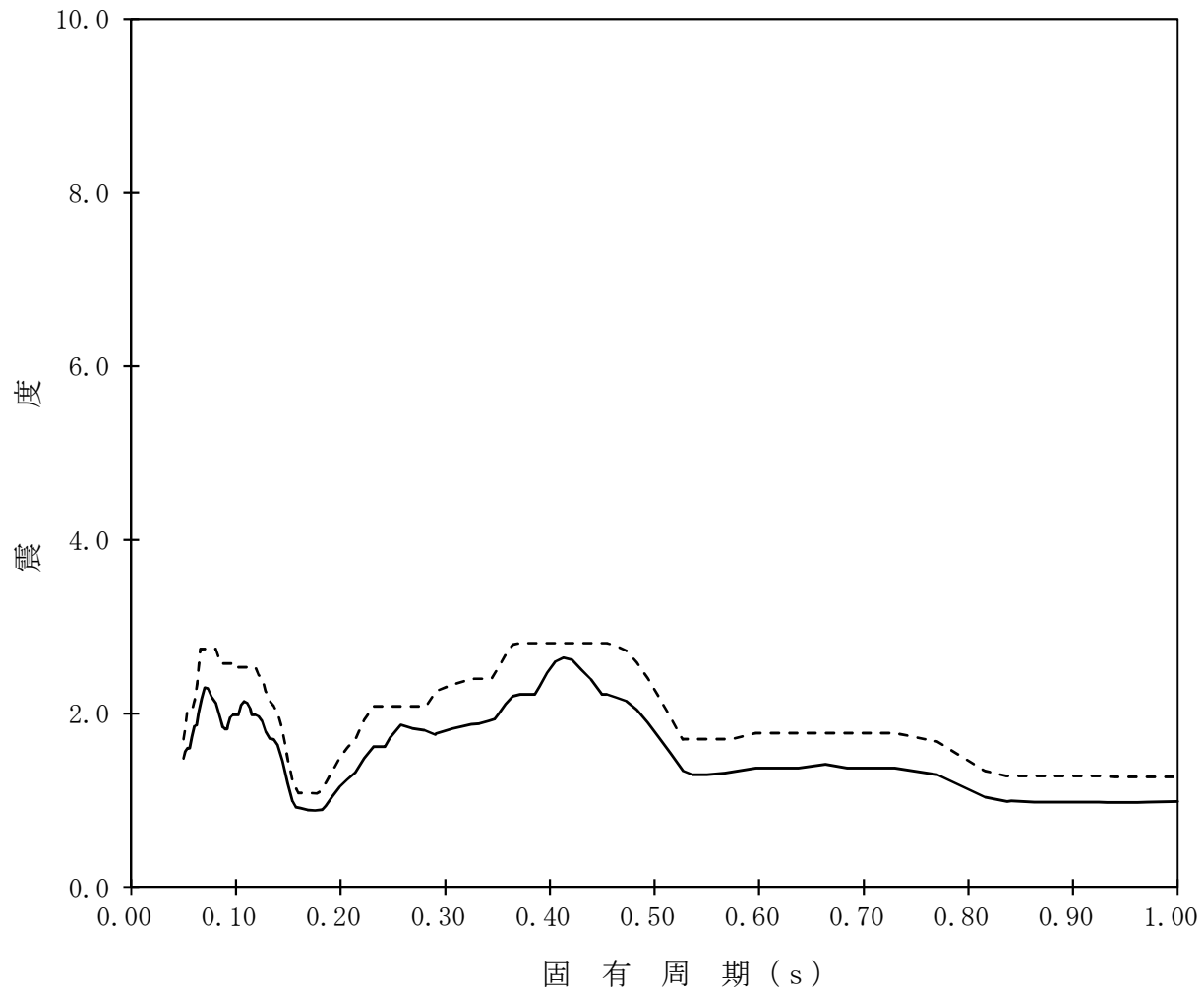
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 26. 013m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)

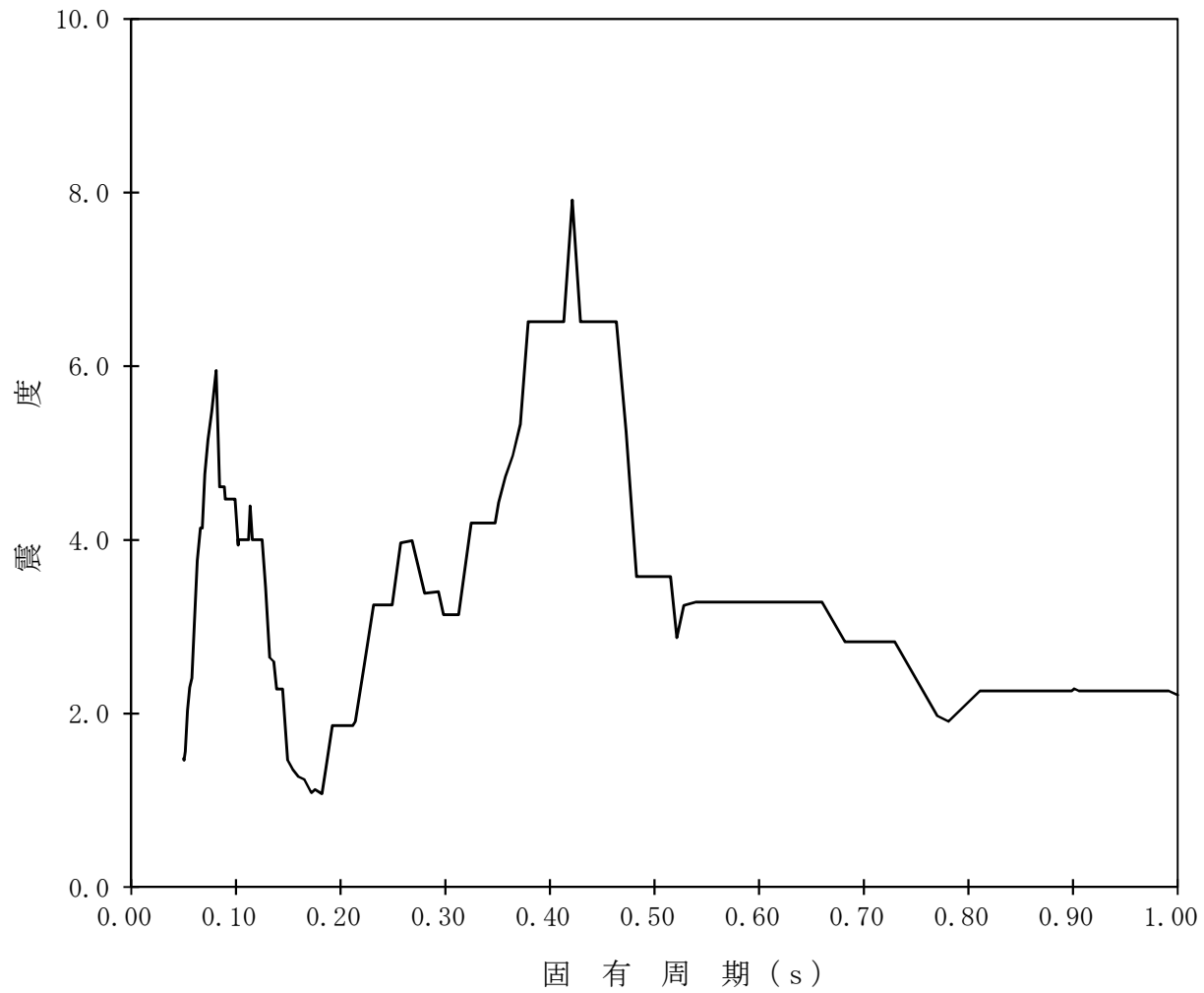


【K06-RCCV-SdH-RPV145】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 22. 653m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

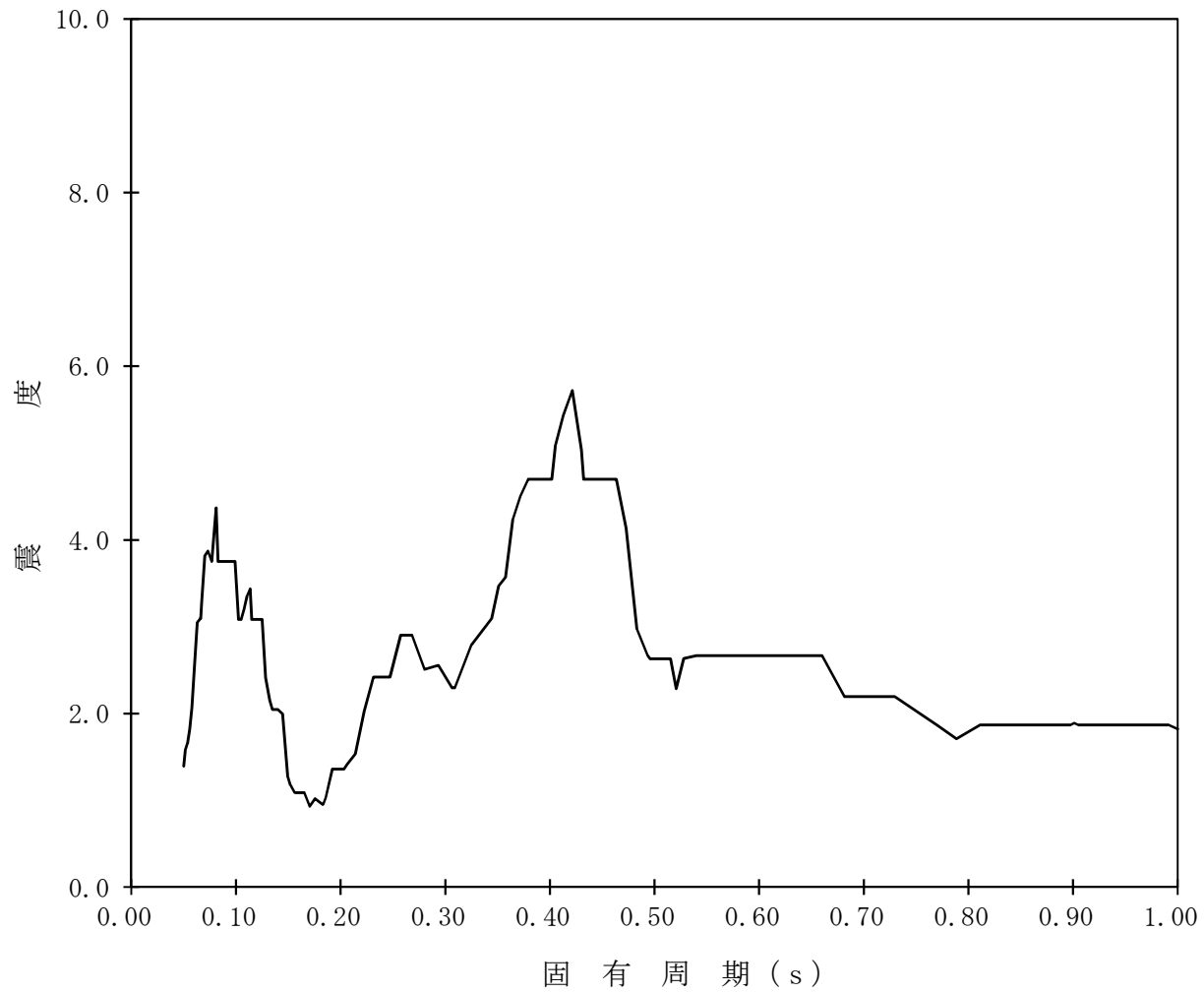


【K06-RCCV-SdH-RPV146】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 22. 653m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



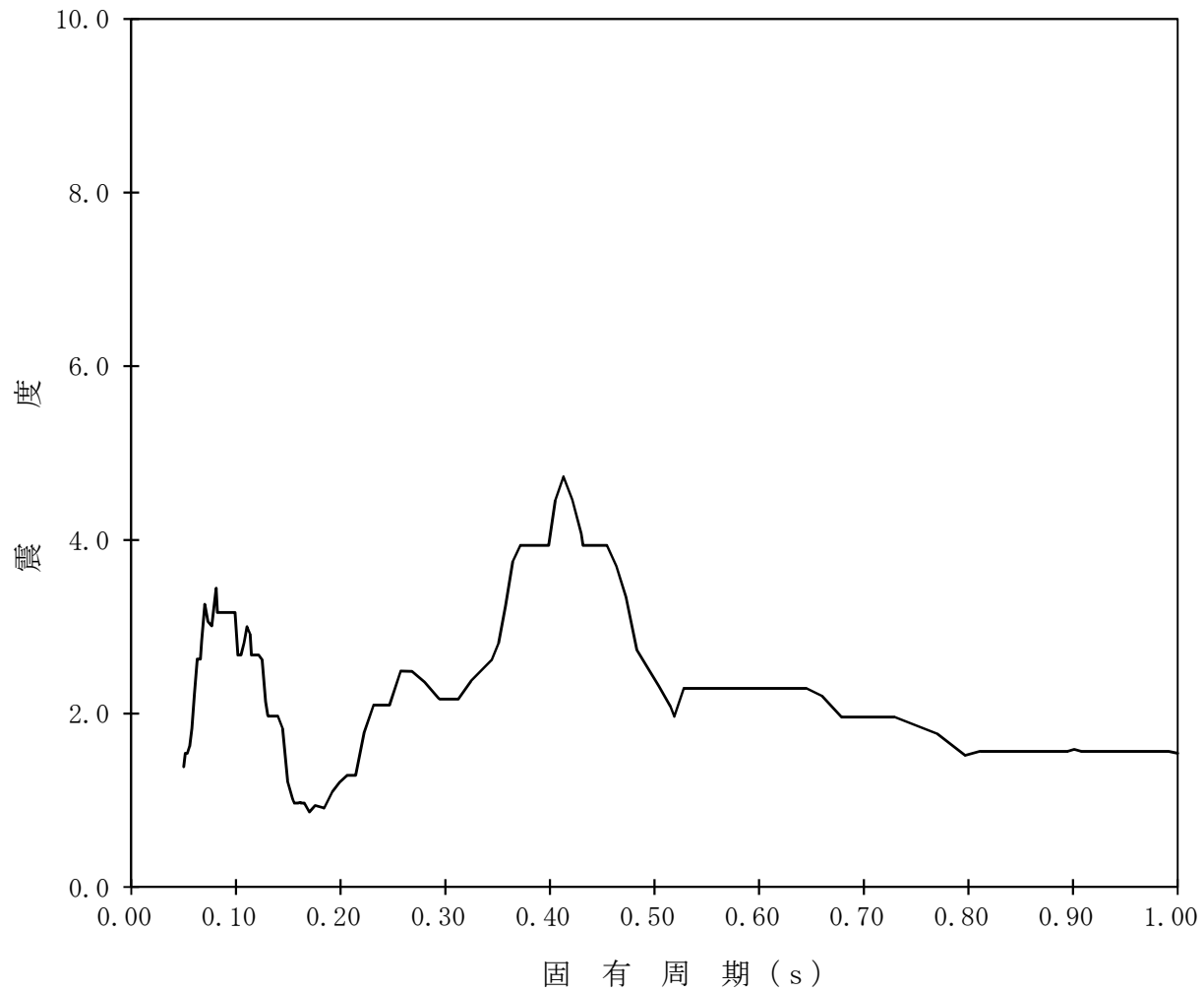
【K06-RCCV-SdH-RPV147】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 22. 653m

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

波形名：弾性設計用地震動 S d



【K06-RCCV-SdH-RPV148】

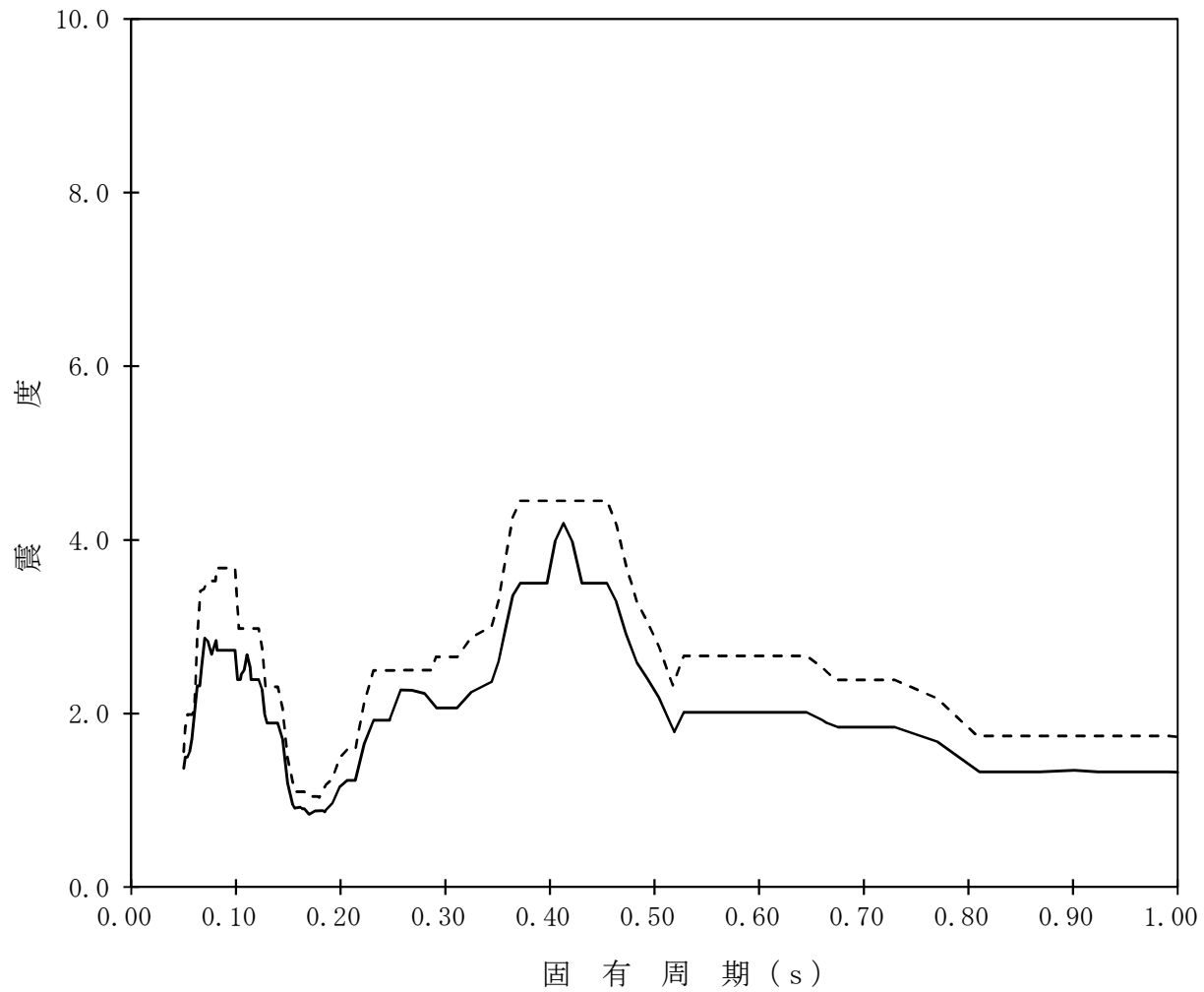
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 22. 653m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV149】

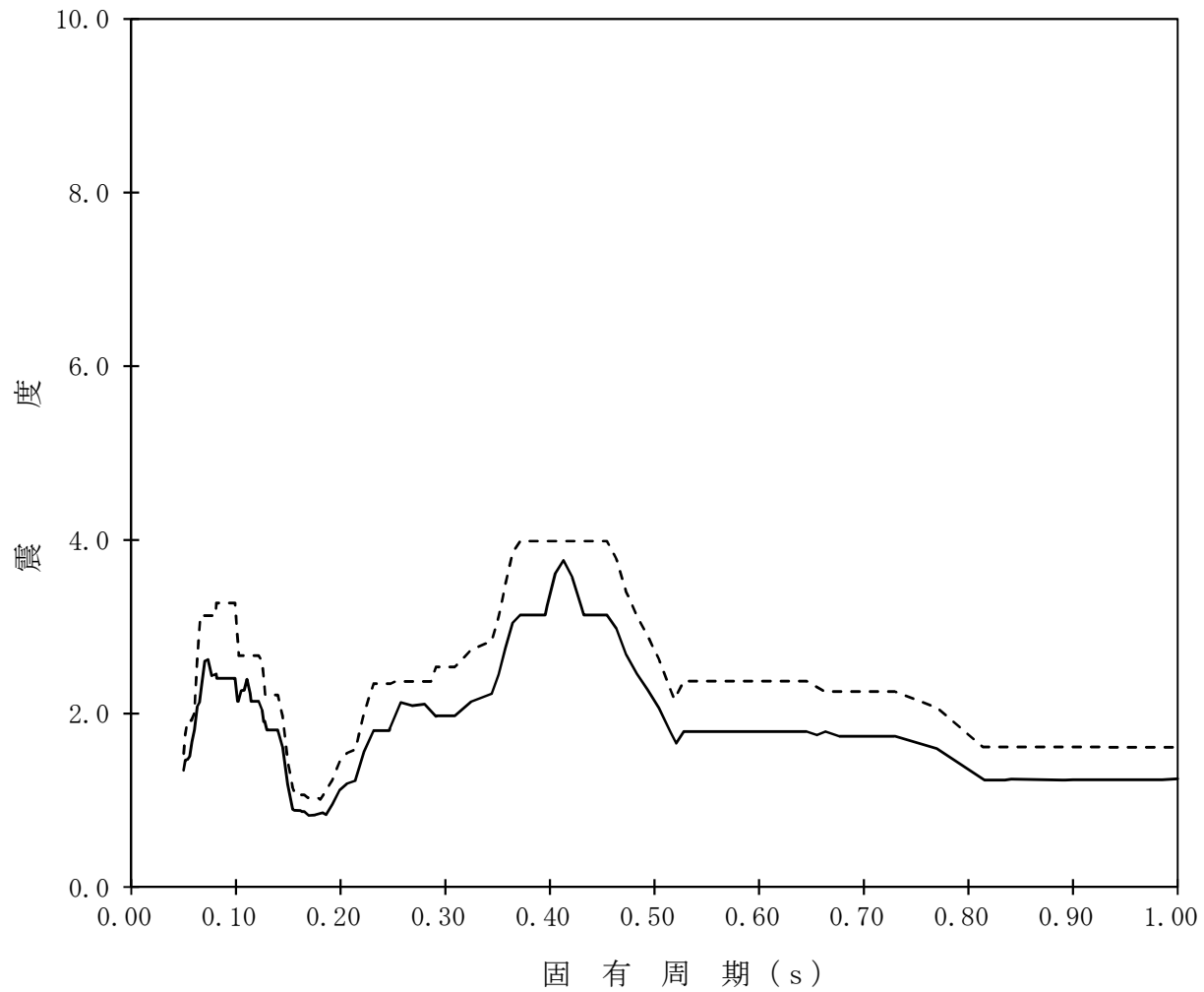
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 22. 653m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RPV150】

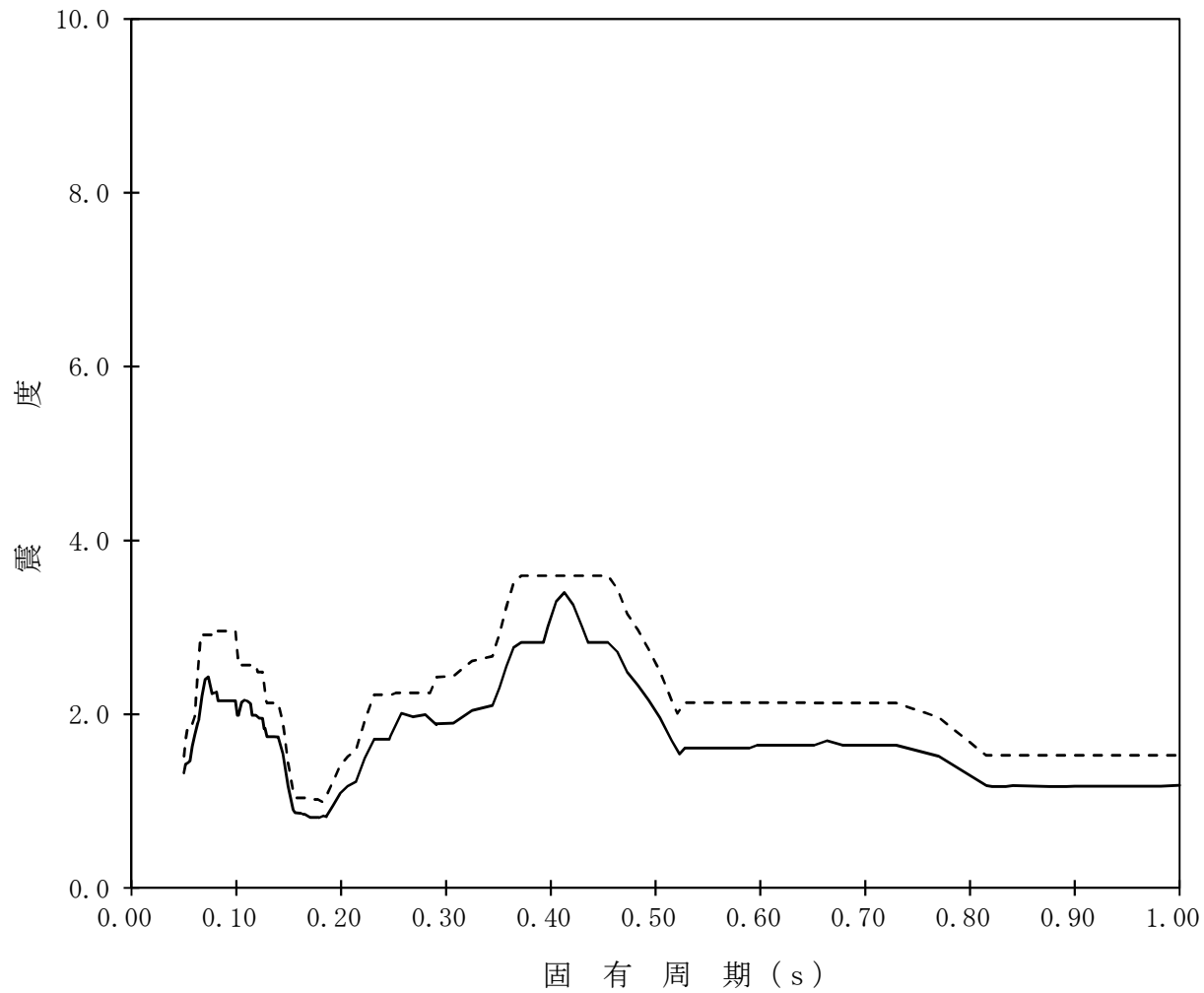
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 22. 653m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV151】

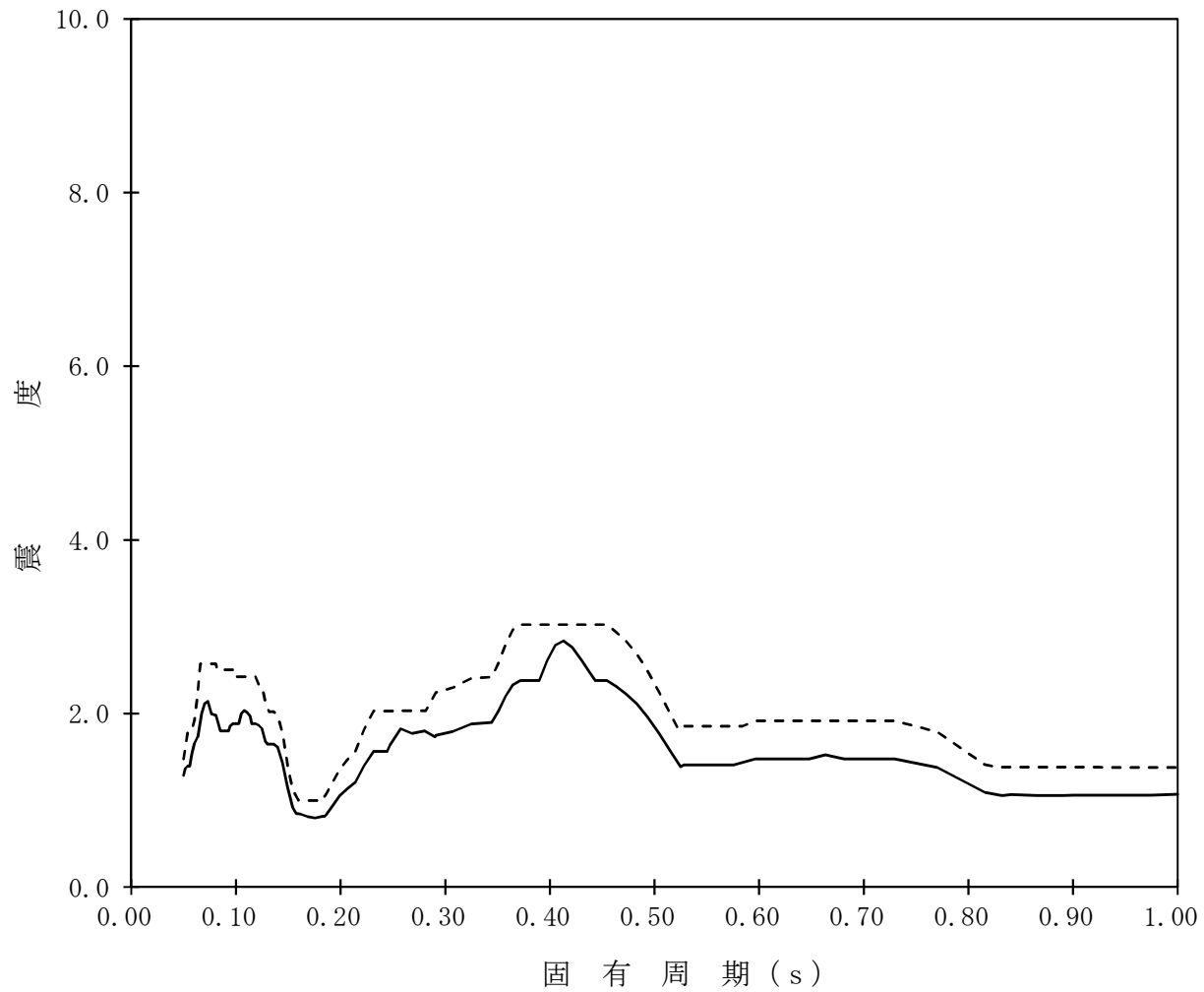
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 22. 653m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV152】

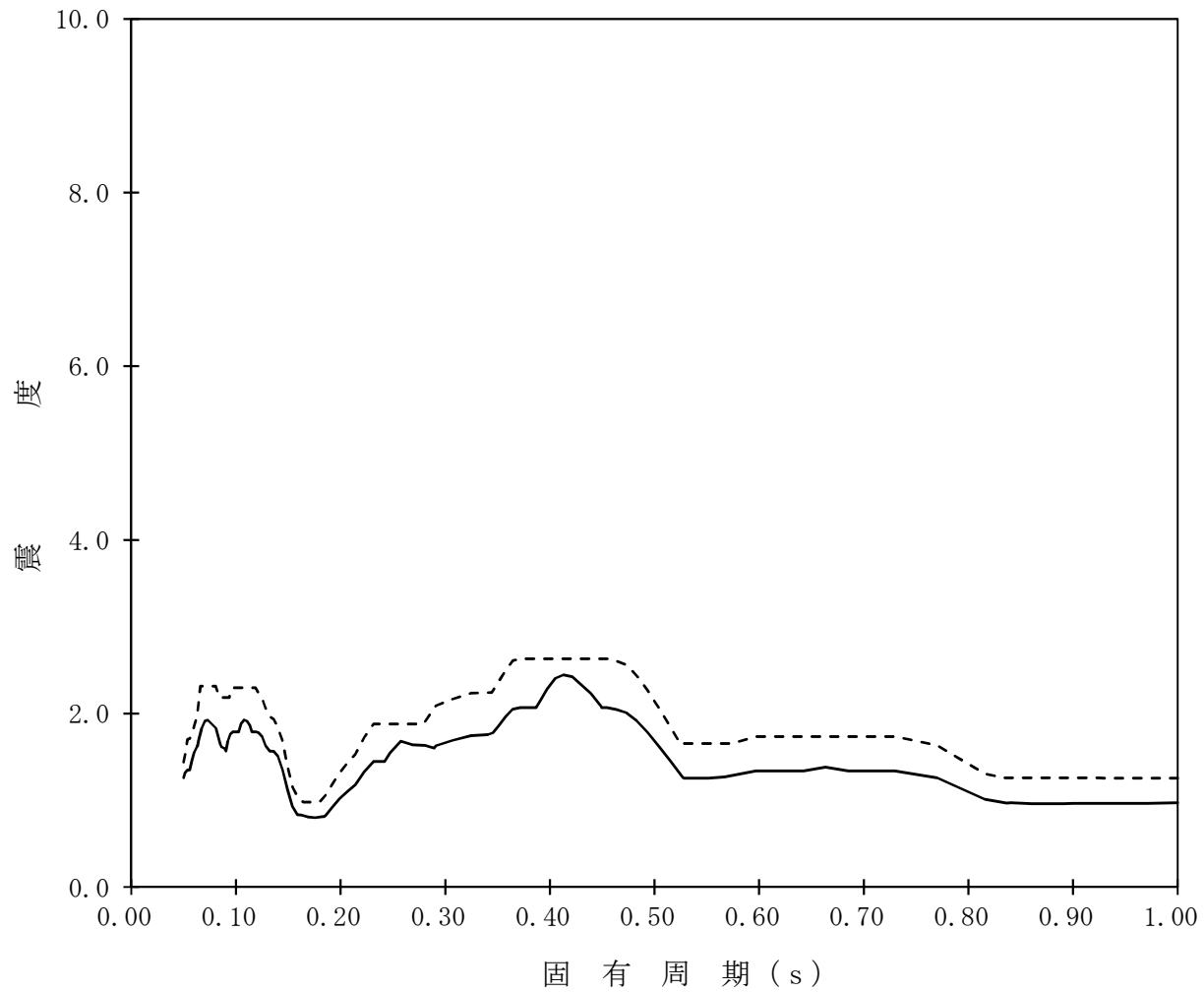
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 22. 653m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)

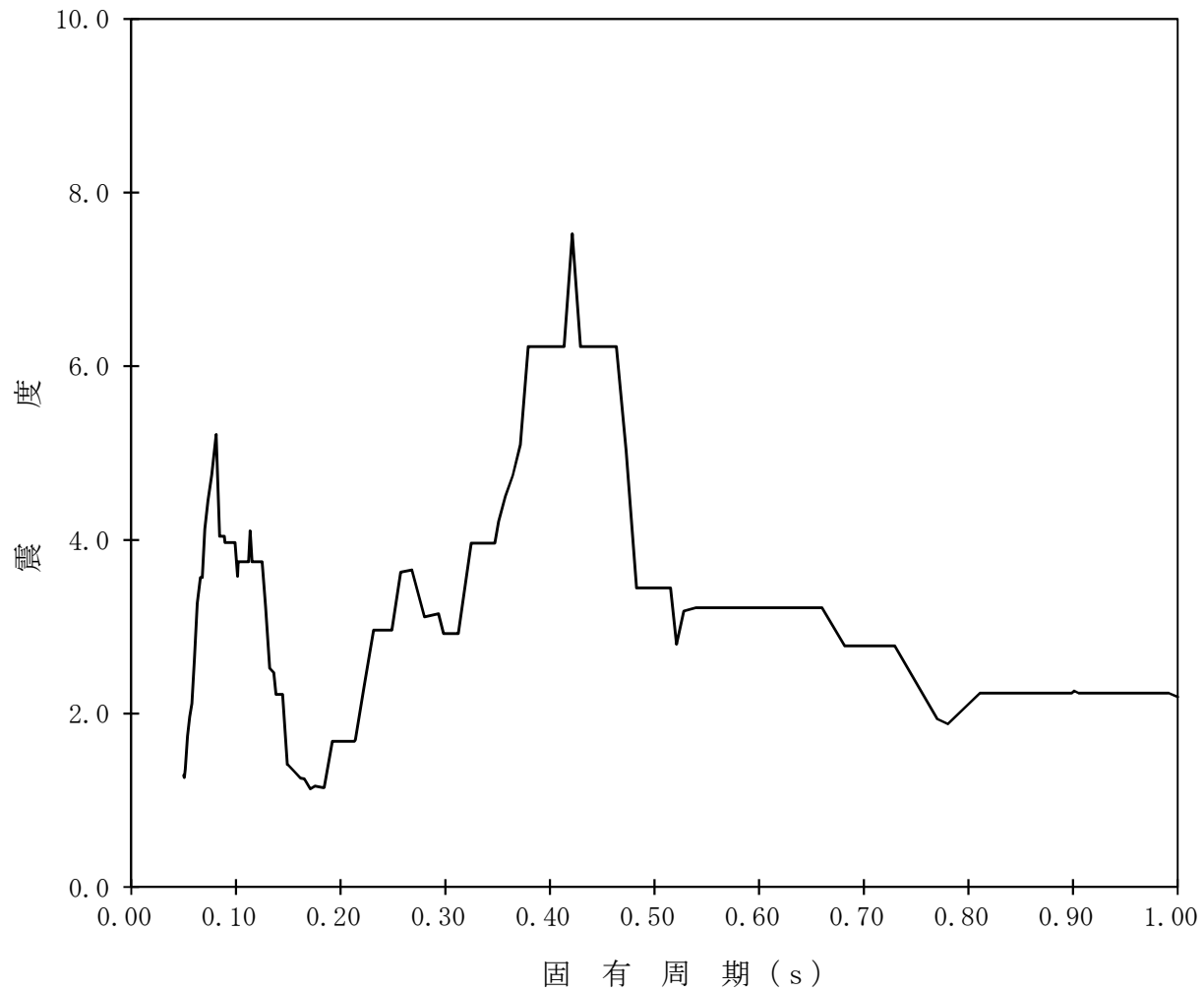


【K06-RCCV-SdH-RPV153】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 20. 494m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

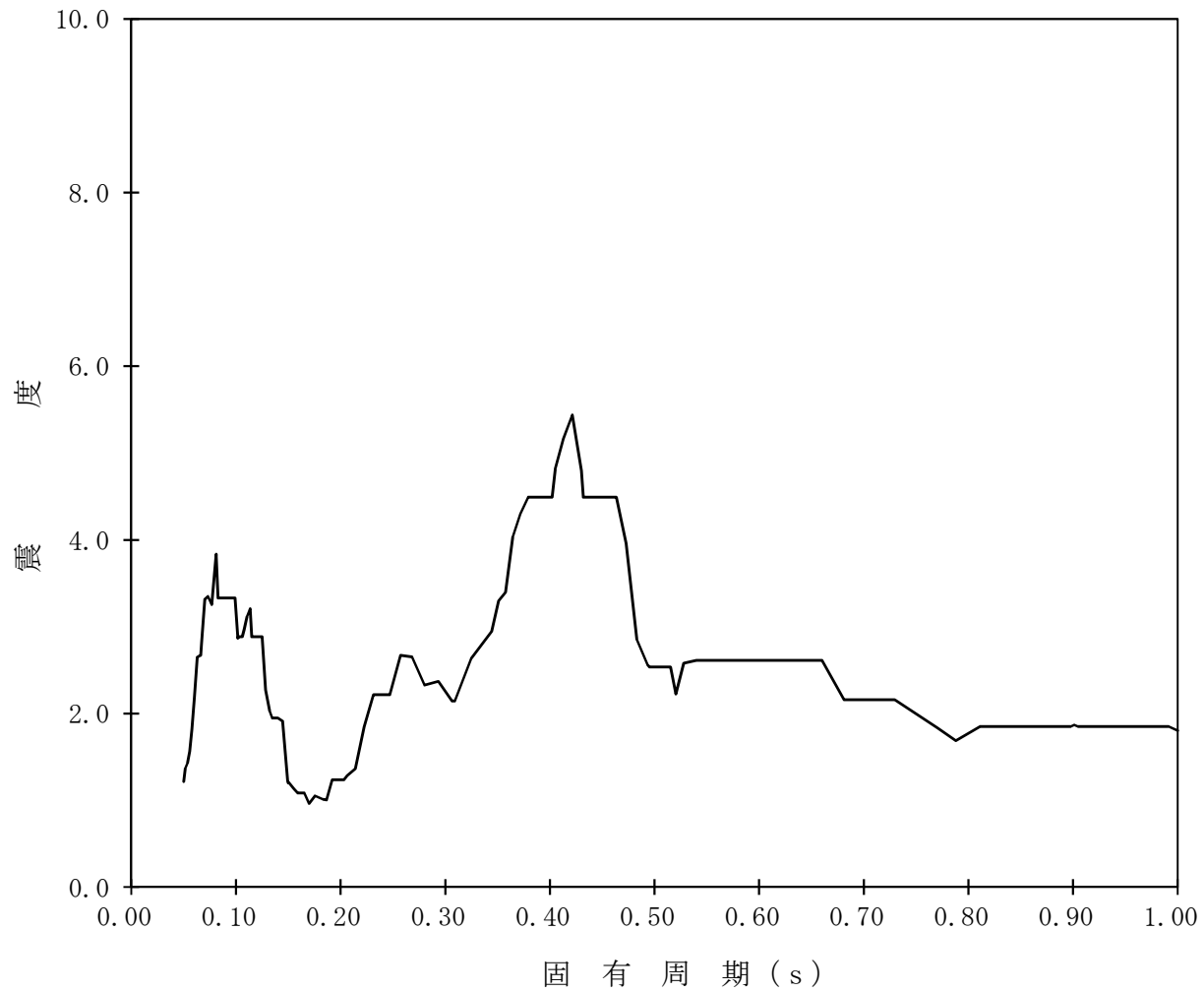


【K06-RCCV-SdH-RPV154】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 20. 494m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

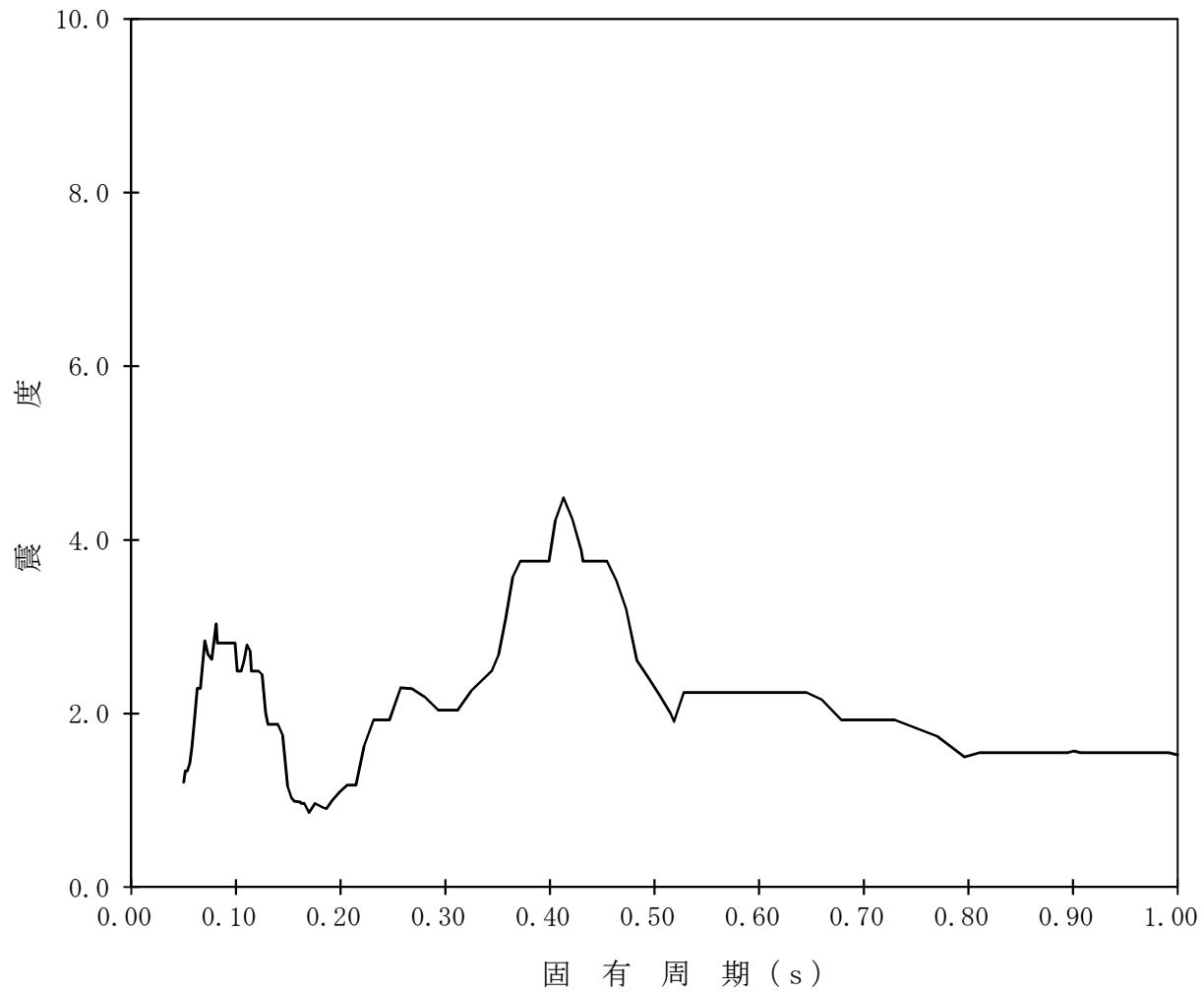


【K06-RCCV-SdH-RPV155】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：1.5%

標高：T. M. S. L. 20. 494m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV156】

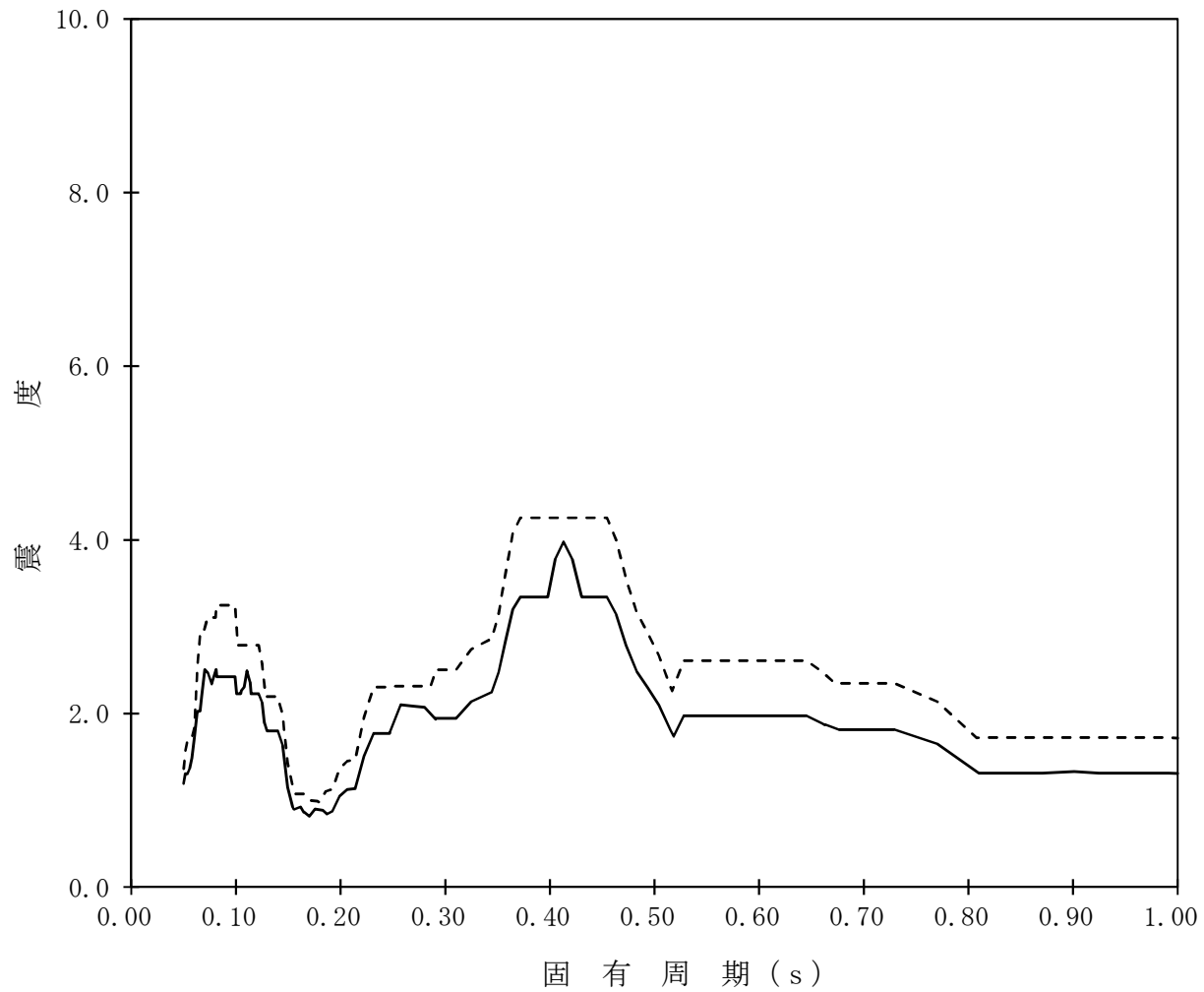
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：2.0%

標高：T. M. S. L. 20. 494m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV157】

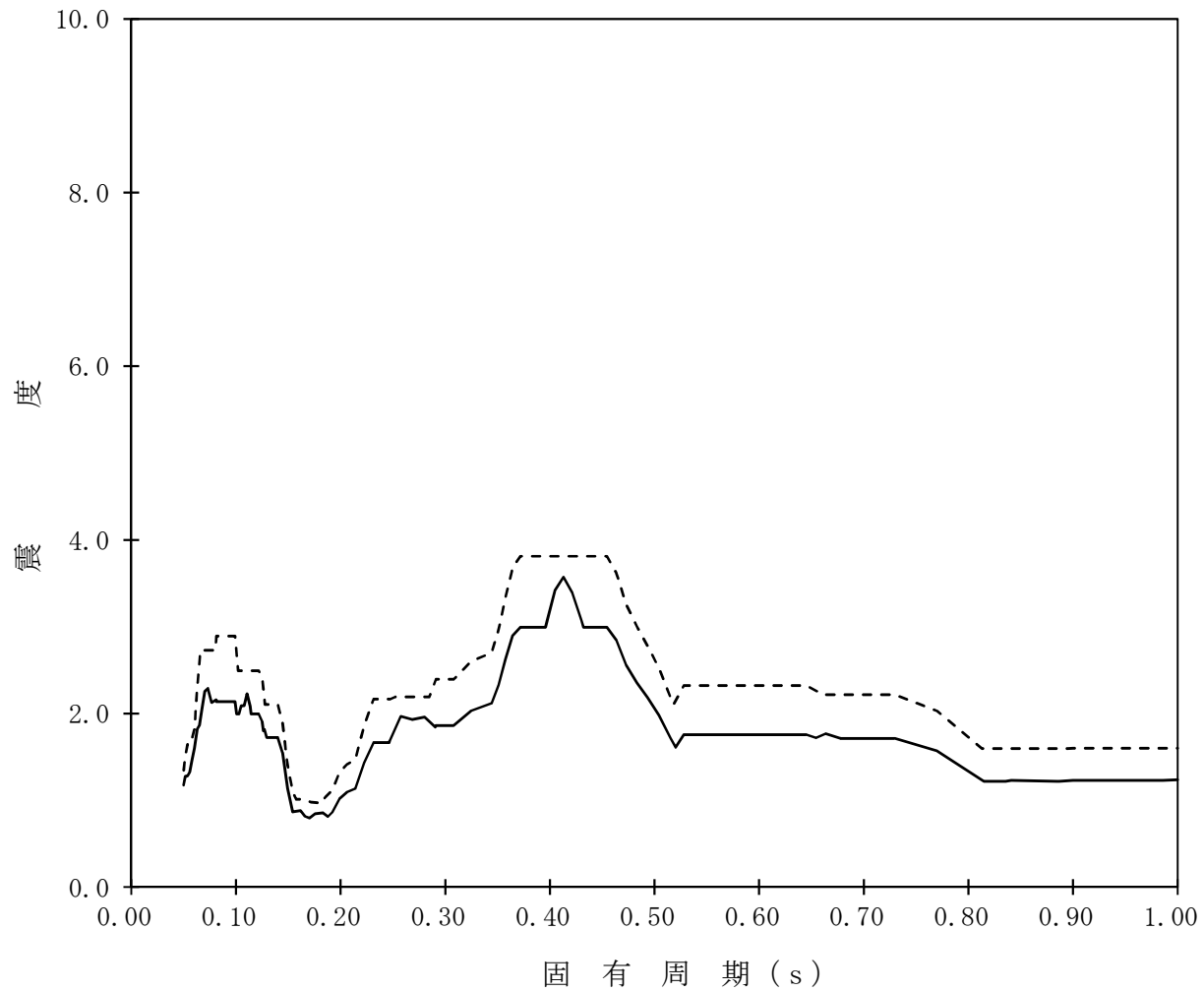
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：2.5%

標高：T. M. S. L. 20. 494m

波形名：彈性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

----- 設計用床応答曲線 II (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV158】

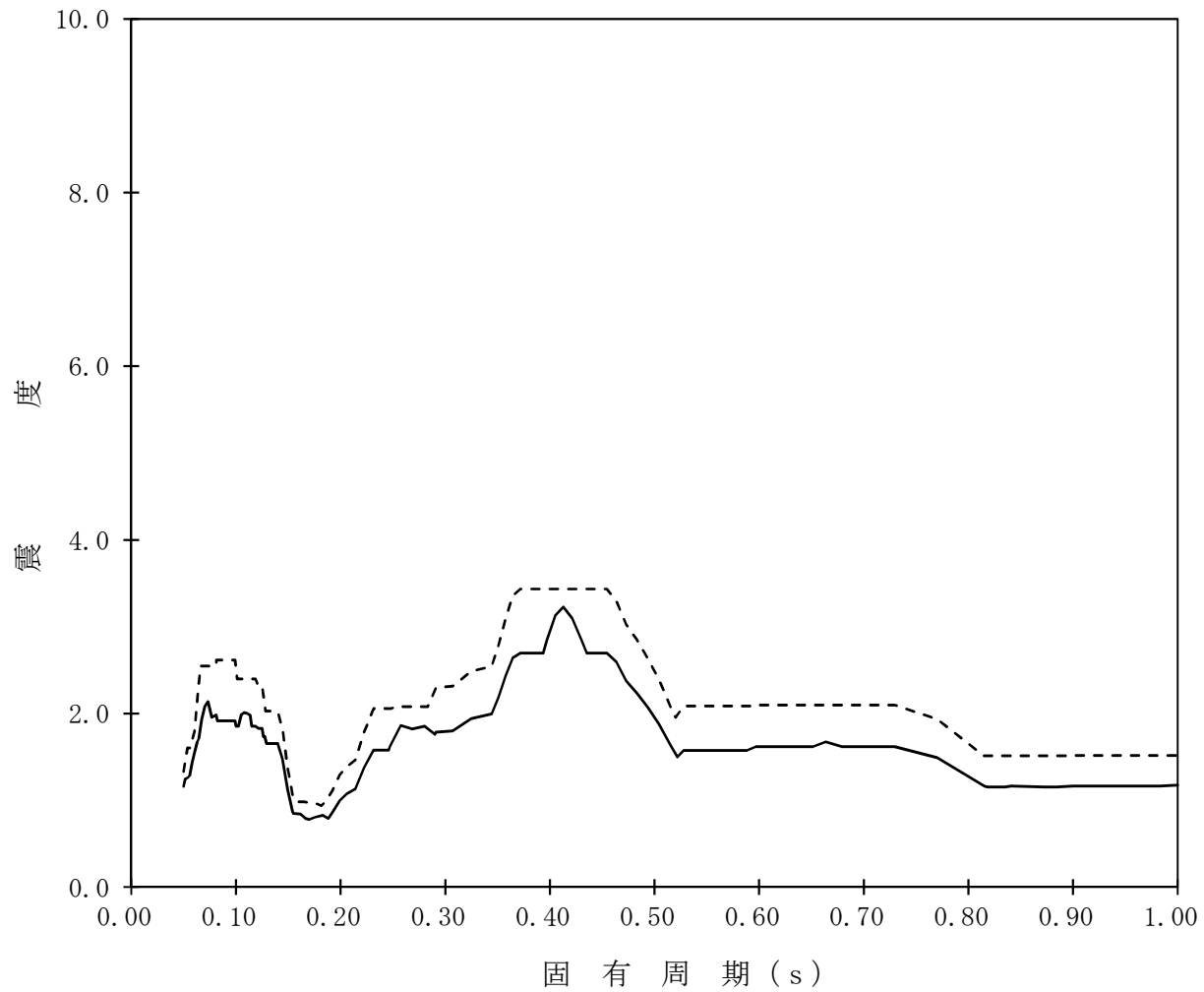
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：3.0%

標高：T. M. S. L. 20. 494m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RPV159】

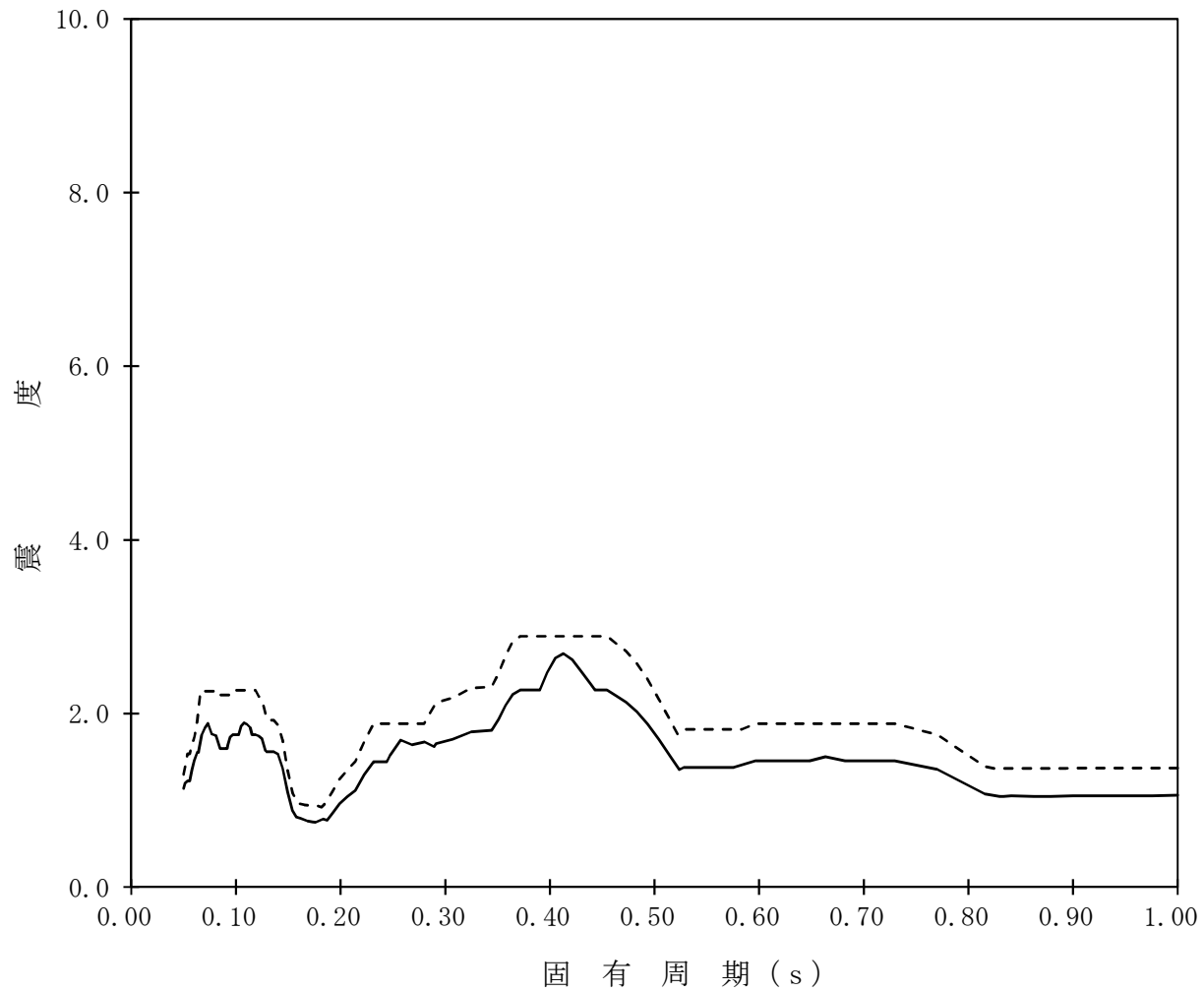
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：4.0%

標高：T. M. S. L. 20. 494m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）



【K06-RCCV-SdH-RPV160】

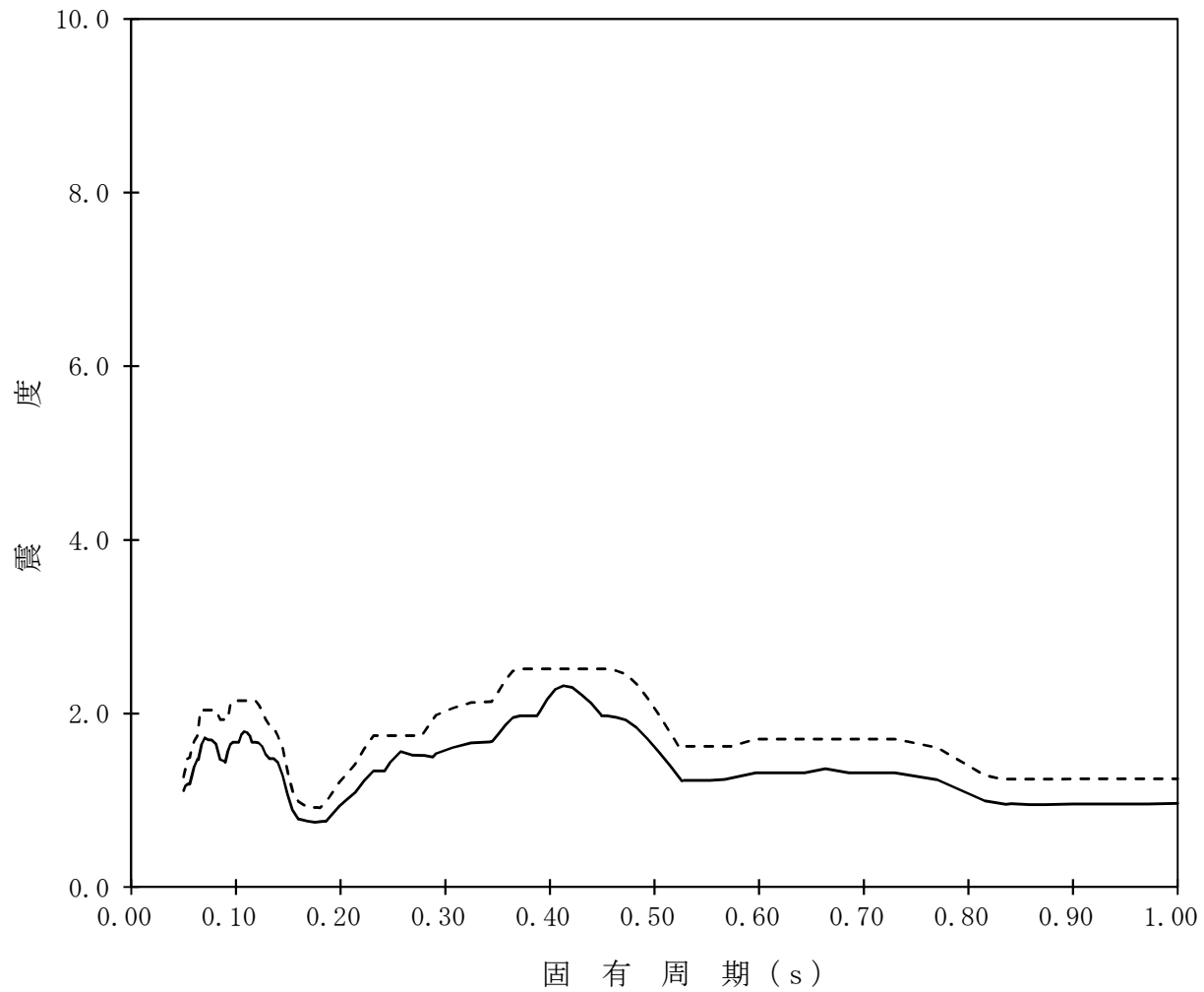
構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：5.0%

標高：T. M. S. L. 20. 494m

波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線Ⅰ（水平方向）

----- 設計用床応答曲線Ⅱ（水平方向）

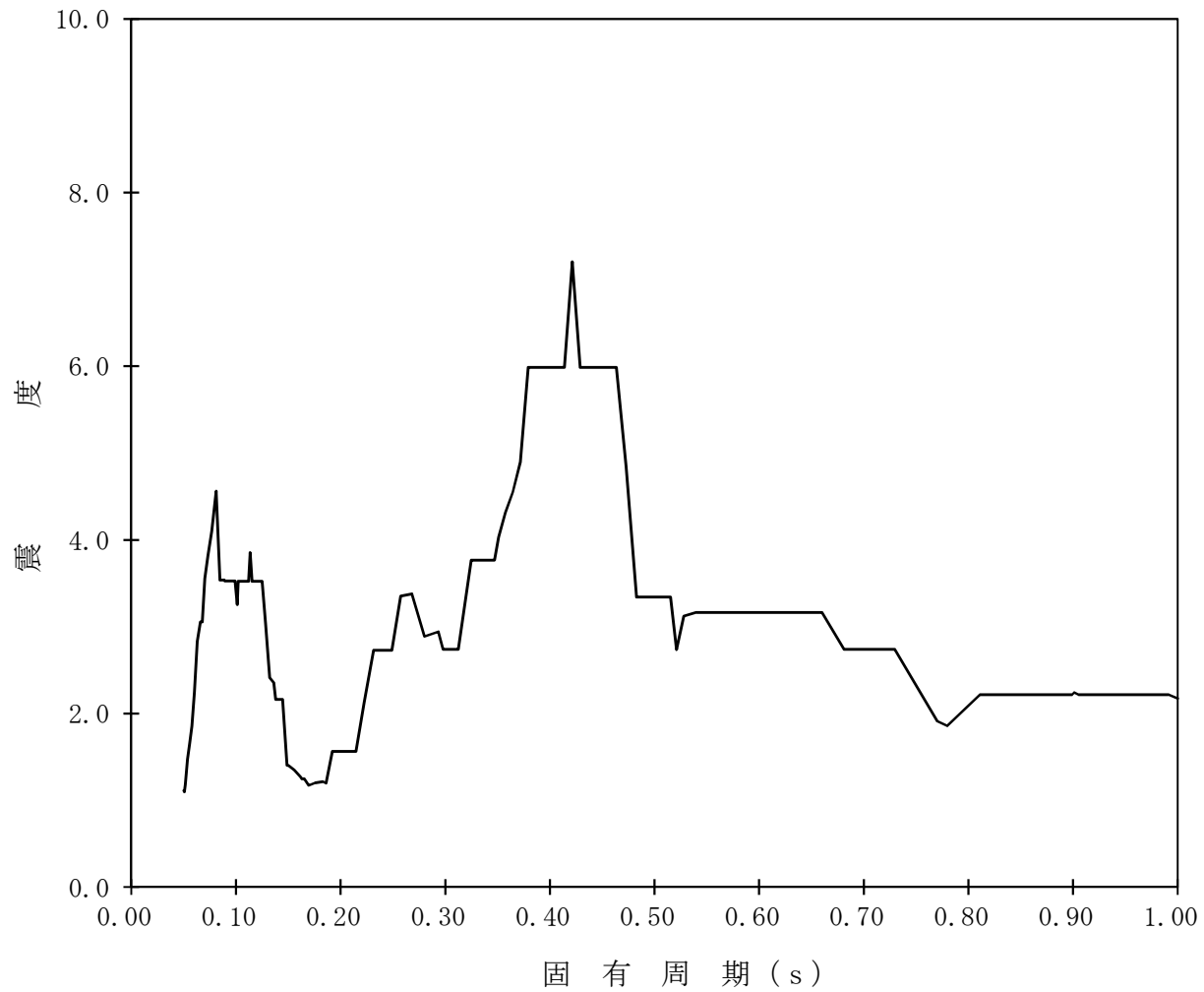


【K06-RCCV-SdH-RPV161】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：0.5%

標高：T. M. S. L. 18.716m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)



【K06-RCCV-SdH-RPV162】

構造物名：原子炉压力容器
減衰定数：1.0%

標高：T. M. S. L. 18.716m
波形名：弾性設計用地震動 S d

—— 設計用床応答曲線 I (水平方向)

